1. 別売部品一覧（室外ユニット）…… F-2

2. 冷媒関連部品
（1）分岐配管セット …… F-3
（2）ヘッダー配管セット …… F-5
（3）外付電動弁キット …… F-7
（4）ガス管弁キット（ATK-RX160A） …… F-25
（5）冷房試運転キット（SGP-STK560M）…… F-34
（6）交換用ストレーナー（SGP-STK560MK）…… F-39

3. 室外ユニット関連部品
（1）排気延長キット（SGP-PEX560K）…… F-42
（2）単相キット …… F-50
（3）遠隔監視アダプター取付金具（CZ-CAPMB） …… F-53

4. 室内ユニット関連部品取付図
■４方向天井カセット形　U1形 …… F-56
■４方向天井カセット形　T1形…… F-116
■２方向天井カセット形 …… F-134
■１方向天井カセット形 …… F-162
■１方向天井カセットスリム形 …… F-164
■高天井用１方向カセット形 …… F-166
■天井ビルトインカセット形 …… F-168
■ビルトインオールダクト形 …… F-186
■天井埋込形 …… F-196
■天井吊形　T1形…… F-201
■天井吊形　S1形…… F-209
■床置ダクト形 …… F-221
■床置形ハイフレッシュ …… F-222

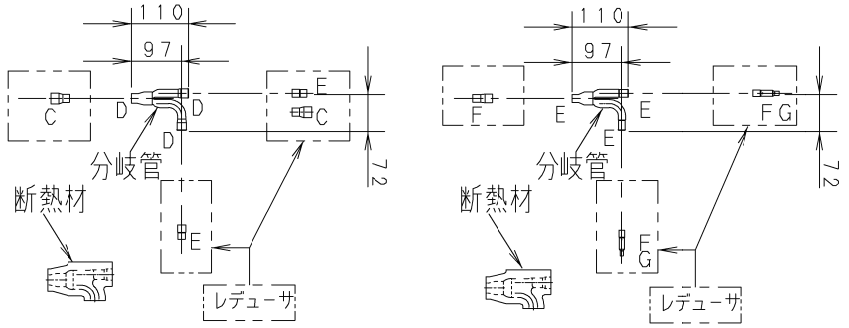
5. 室内ユニット関連部品の仕様と据付
■４方向天井カセット形　U1形 …… F-223
■４方向天井カセット形　T1形…… F-328
■２方向天井カセット形 …… F-414
■１方向天井カセット形 …… F-506
■１方向天井カセットスリム形 …… F-530
■高天井用１方向カセット形 …… F-538
■天井ビルトインカセット形、ビルトインオールダクト形 …… F-570
■天井埋込形、天井埋込形ハイフレッシュ …… F-645
■天井吊形　T1形…… F-686
■天井吊形　S1形…… F-716
■天吊形厨房用エアコン …… F-763
■床置プレナム形・床置ダクト形 …… F-764
■床置ダクト形 …… F-784
■壁ビルトイン形 …… F-802
■直膨コイル付外気処理ユニット …… F-816
■床置形ハイフレッシュ …… F-818
■クリーンエアコン …… F-825

品　名		品　番
分岐配管セット		APR-P160B APR-P680B SGP-PCH1400K
ヘッダー配管セット		SGP-HCH280M SGP-HCH280K SGP-HCH560K
外付電動弁キット		ATK-SVRK36B ATK-SVRK56BN ATK-SVRK160B
ガス管弁キット		ATK-RX160A
冷房試運転キット		SGP-STK560M
交換用ストレーナー		SGP-STK560MK
排気延長キット		SGP-PEX560K
単相キット	224/280/355形用	CZ-GTK280U
	450/560/710/850形用	CZ-GTK560U
遠隔監視アダプター取付金具		CZ-CAPMB

(1) 分岐配管セット

分岐後に接続される室内ユニットのトータル容量 (kW)	標準的な接続条件の場合			90m (相当長) <L1、または室外ユニットに対する室内ユニットの容量比率が130% を超える場合		
	APR-P160B	APR-P680B	SGP-PCH1400K	APR-P160B	APR-P680B	SGP-PCH1400K
～16.0	○	—	—	○	—	—
16.1～35.5	○	○	—	—	○	—
35.6～71.0	—	○	—	—	—	○
71.1～	—	—	○	—	—	○

1) APR-P160B

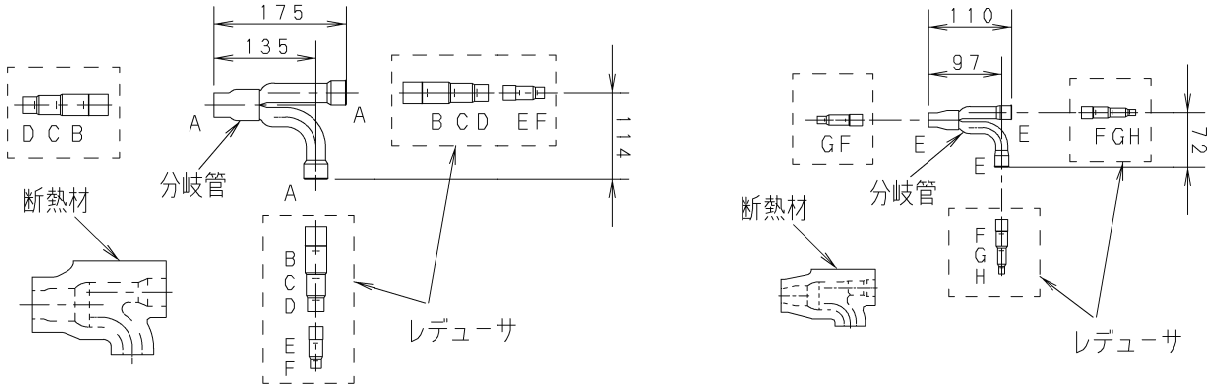


● 各部接続寸法（配管の内径を示す）

(mm)

位　置	C　部	D　部	E　部	F　部	G　部
寸　法	φ19.05	φ15.88	φ12.7	φ9.52	φ6.35

2) APR-P680B

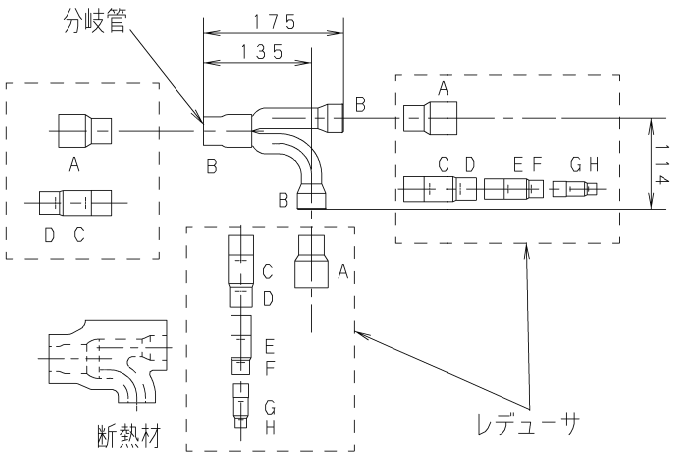


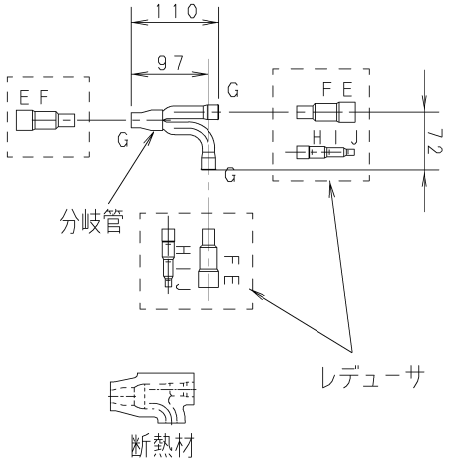
● 各部接続寸法（配管の内径を示す）

(mm)

位　置	A　部	B　部	C　部	D　部	E　部	F　部	G　部	H　部
寸　法	φ28.58	φ25.4	φ22.22	φ19.05	φ15.88	φ12.7	φ9.52	φ6.35

3) SGP-PCH1400K





● 各部接続寸法（配管の内径を示す）

(mm)

位 置	A 部	B 部	C 部	D 部	E 部	F 部	G 部	H 部	I 部	J 部
寸 法	φ38. 1	φ31. 75	φ28. 58	φ25. 4	φ22. 22	φ19. 05	φ15. 88	φ12. 7	φ9. 52	φ6. 35

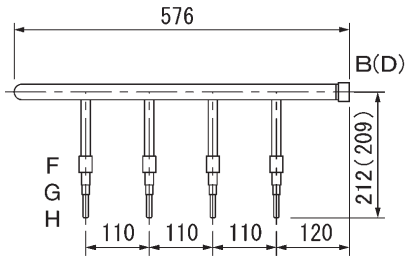
(2) ヘッダー配管セット

分岐後に接続される室内ユニットのトータル容量 (kW)	標準的な接続条件の場合			90m (相当長) <L1、または室外ユニットに対する室内ユニットの容量比率が 130% を超える場合		
	SGP-HCH280M ※2	SGP-HCH280K	SGP-HCH560K	SGP-HCH280M ※2	SGP-HCH280K	SGP-HCH560K
～ 16.0	○※1	—	—	○※1	—	—
16.1 ～ 28.0	○	○	—	○	○	—
28.1 ～ 45.0	—	○	—	—	—	○
45.1 ～	—	—	○	—	—	○

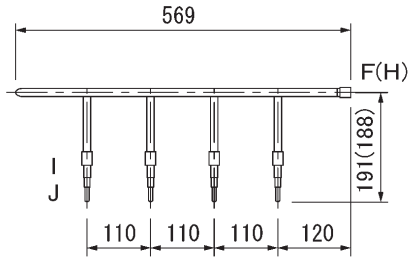
※1 現地にて、レデューサーの別途手配が必要です。

※2 受注対応品

部品1



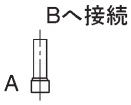
部品2



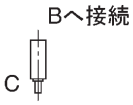
部品3

部品4

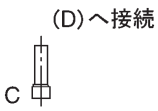
部品5



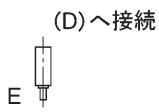
部品6



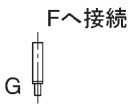
部品7



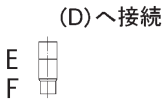
部品8



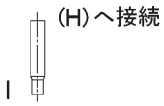
部品9



部品10



部品11



*( )は SGP-HCH280K-M の寸法を示します。

●各部接続寸法 (配管の内径を示す。) (mm)

位置	A部	B部	C部	D部	E部	F部	G部	H部	I部	J部
寸法	φ38.1	φ31.75	φ28.58	φ25.4	φ22.22	φ19.05	φ15.88	φ12.7	φ9.52	φ6.35

	使用箇所	個数
部品1	ガス側ヘッダー配管	1
部品2	液側ヘッダー配管	1
部品3	部品1の断熱材	1
部品4	部品2の断熱材	1
部品5	レデューサー (HCH560K に付属)	1
部品6	レデューサー (HCH560K に付属)	1
部品7	レデューサー (HCH280K に付属)	1
部品8	レデューサー (HCH280K に付属)	1
部品9	レデューサー (HCH560K に付属)	1
部品10	レデューサー (HCH280M に付属)	1
部品11	レデューサー (HCH280M に付属)	1

①SGP-HCH280M

●ガス管サイズがφ22.22の場合、部品1の（D）部に部品10をろう付してください。
●ガス管サイズがφ19.05の場合、部品1の（D）部に部品10をろう付してください。
●液管サイズがφ9.52の場合、部品2の（H）部に部品11をろう付してください。
●室内ユニットのトータル容量より選定された現地配管サイズに合わせたサイズ位置でパイプカッターで切断してください。（先端サイズと同一の場合は切断する必要はありません。）
●切断はウチダボ部よりできるだけ長く離れた所で行ってください。
●断熱材付属
●1個あたり相当長0.5m

②SGP-HCH280K

●ガス管サイズがφ22.22の場合、部品1の（D）部に部品8をろう付してください。
●ガス管サイズがφ28.58の場合、部品1の（D）部に部品7をろう付してください。
●室内ユニットのトータル容量より選定された現地配管サイズに合わせたサイズ位置でパイプカッターで切断してください。（先端サイズと同一の場合は切断する必要はありません。）
●切断はウチダボ部よりできるだけ長く離れた所で行ってください。
●断熱材付属
●1個あたり相当長0.5m

③SGP-HCH560K

●ガス管サイズがφ28.58の場合、部品1のB部に部品6をろう付してください。
●ガス管サイズがφ38.1の場合、部品1のB部に部品5をろう付してください。
●液管サイズがφ15.88の場合、部品2のF部に部品9をろう付してください。
●室内ユニットのトータル容量より選定された現地配管サイズに合わせたサイズ位置でパイプカッターで切断してください。（先端サイズと同一の場合は切断する必要はありません。）
●切断はウチダボ部よりできるだけ長く離れた所で行ってください。
●断熱材付属
●1個あたり相当長1.0m

(3) 外付電動弁キット

1) ATK-SVRK36B

適用：ガスヒートポンプエアコン室内ユニット / 一方向天井カセット形 (S1 形) / 一方向天井カセットスリム形

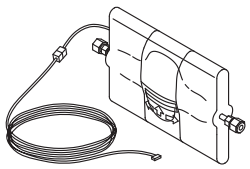
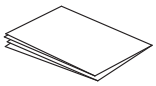
本文中に示した注意事項は、「⚠警告」・「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠警告 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

⚠注意 取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合

ご 確 認 事 項

内容を確認してください。下表に示す部品が同梱されています。

	名　　称	形　　状	個 数
1	外 付 電 動 弁 (延長ケーブル8m付属)		1
2	配 管 断 熱 材		2
3	クランパー (大：350mm、小：200mm)		大：2 小：4
4	取付説明書		1
5	断熱テープ	白色 (耐熱用)	2

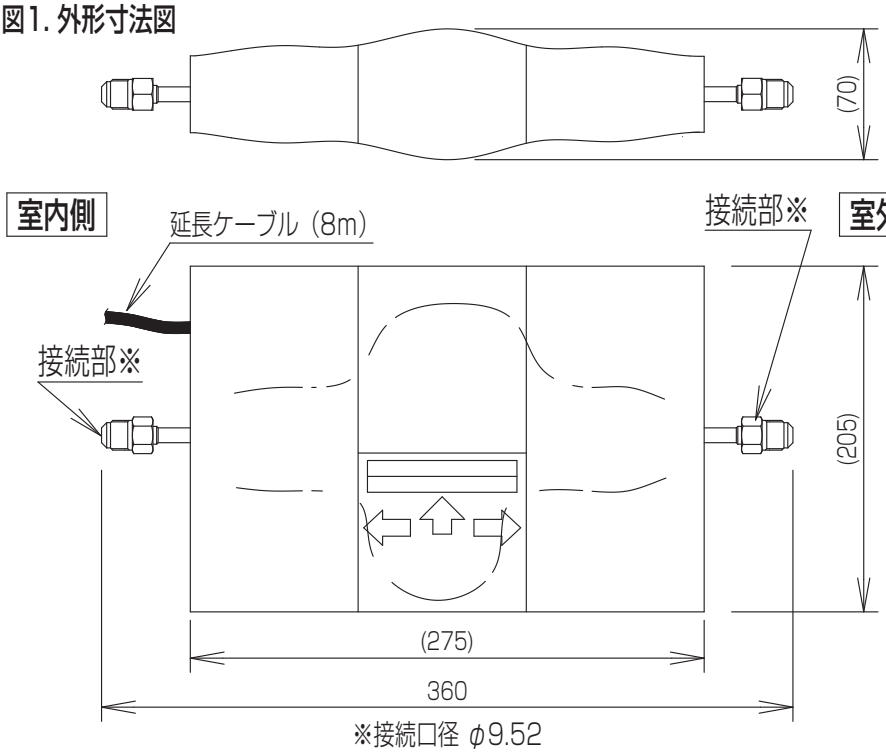
取 付 手 順

1. 取付位置の決定

●本体は液管に取り付けます。図1を参照し、取付位置を決定してください。
外付電動弁からは冷媒音が発生することがあります。室内ユニットからの距離は、5m以上8m以内を目安としてください。（静音を要求される場所からは遠ざけて設置してください。）
この距離がとれない場合には、天井裏等しゃ音の可能な場所への設置をお願いします。また、機能部品ですので、点検や交換が必要になる場合があります。この点も考慮して取付位置を決定してください。（点検口の付近等）

●本製品は屋内専用です。屋外には設置しないでください。

図1. 外形寸法図

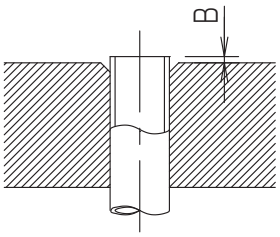


2. 液管の切断およびフレア加工

取付位置決定後、パイプカッターで液管を切断し、接続部をフレア加工してください。
（フレア加工は下記内容に注意して行なってください。）

（注）●配管切断後は、必ずバリ取りを行ない、正しい端面に仕上げてください。
●加工時に、配管をつぶさないよう注意してください。
●配管の内部に、ゴミや水分等の異物が入らないよう注意してください。
●フレアナットは本体付属のものを使用してください。
●R410A用のフレア加工寸法は、従来のR407C、R22用とは異なります。
R410A用に新規に製作されたフレアツールをおすすめしますが、従来のツールでも下表にしたがって銅管の出し代を調整すれば、使用できます。

図2



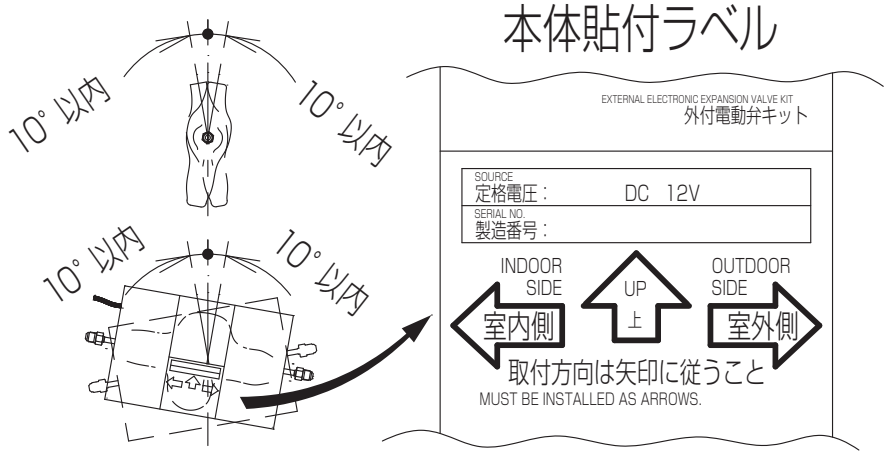
フレア加工の銅管出し代：B（mm）

リジッド（クラッチ式）の場合	
R410A	
R410A専用 ツール使用時	従来ツール使用時
B=0~0.5	B=1.0~1.5

3. 外付電動弁の配管への接続

配管への接続時、本体の向きに注意してください。ラベル内の UP マークが必ず上を向く様に設置してください。取付角度は鉛直線に対して±10度以内としてください。
また、フレア部の接続についても、ラベル内の矢印表示に従い、室内側・室外側の方向を確認してから接続してください。（配線引出し側が室内側となります。）（図3参照）

図3



●フレアナットの締め付けについて

⚠ 注意

配管接続部のフレアナットをはずす時および配管接続後にフレアナットを締め付ける時は、必ずダブルスパナで行い、締め付けは適正トルクで行なってください。フレア部等のゆるみ・破損が発生した場合に、冷媒漏れによる酸欠事故の原因になることがあります。

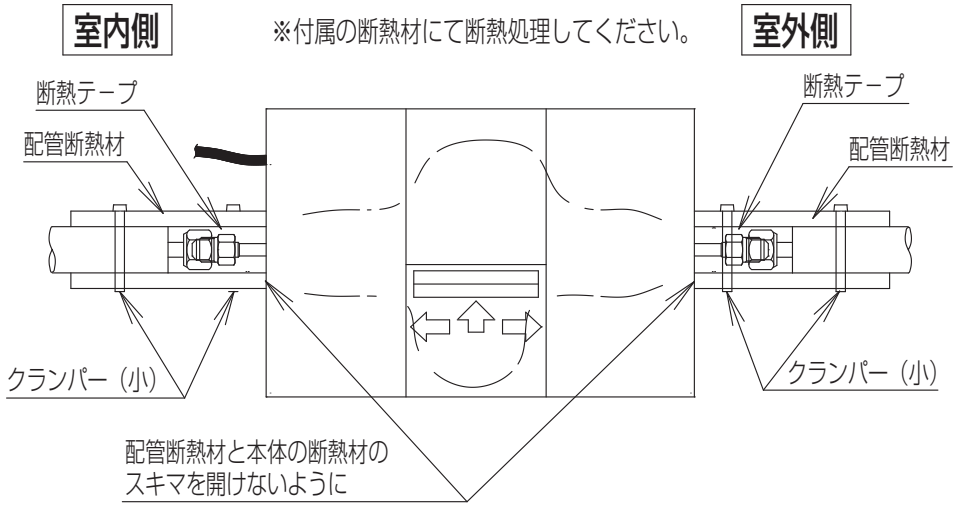
パイプ径	締め付けトルク
φ9.52（3/8"）	34～42N·m (340～420kgf・cm)

※この外付電動弁は「全開」で出荷しています。

4. 配管の断熱

漏れ検査が終了したら、図4のように付属の断熱材で配管接続部の断熱処理を施してください。

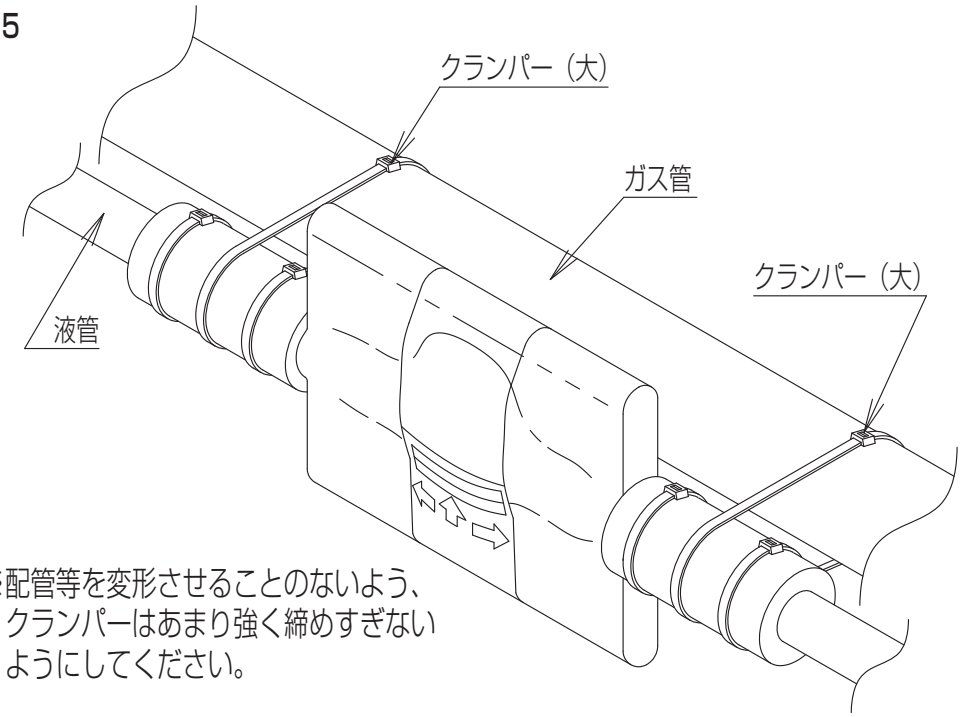
図4



5. 配管接続後の固定

外付電動弁は、配管への接続終了後、付属のクランパーを使用してガス管へ抱かせるように固定してください。（図5参照）

図5



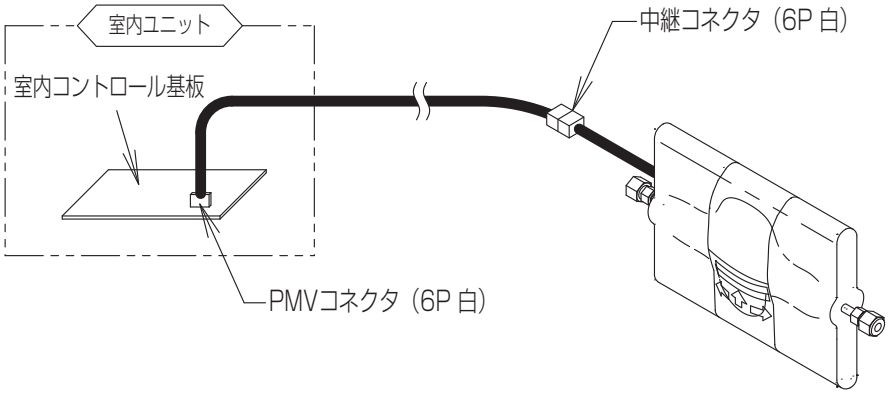
※配管等を変形させることのないよう、クランパーはあまり強く締めすぎないようにしてください。

配 線 手 順

注）**配線を引っ張らないようにしてください。**
基板のコネクタ部を破損する原因になります。
同様に電磁弁側も引っ張らないでください。

1　作業前に、必ず室内ユニットの電源を切ってください。
2　室内ユニットの電装ボックスを開けてください。
3　外付電動弁のコネクタを室内コントロール基板のPMVコネクタ（6P 白）に接続してください。
4　配線処理をして、電装ボックスを閉じてください。

図6



2) ATK-SVRK56BN

適用：ガスヒートポンプエアコン室内ユニット / 壁掛形

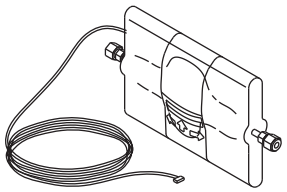
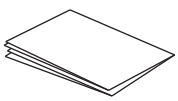
人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

⚠警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

ご 確 認 事 項

内容を確認してください。下表に示す部品が同梱されています。

	名　　称	形　　状	個 数
1	外 付 電 動 弁 （延長ケーブル8m付属）		1
2	配 管 断 熱 材		2
3	クランパー （大：350mm、小：200mm）		大：2 小：4
4	コネクタ変換ケーブル （延長ケーブル8m付属に接続済み）		1
5	取付説明書		1
6	断熱テープ	白色 （耐熱用）	2

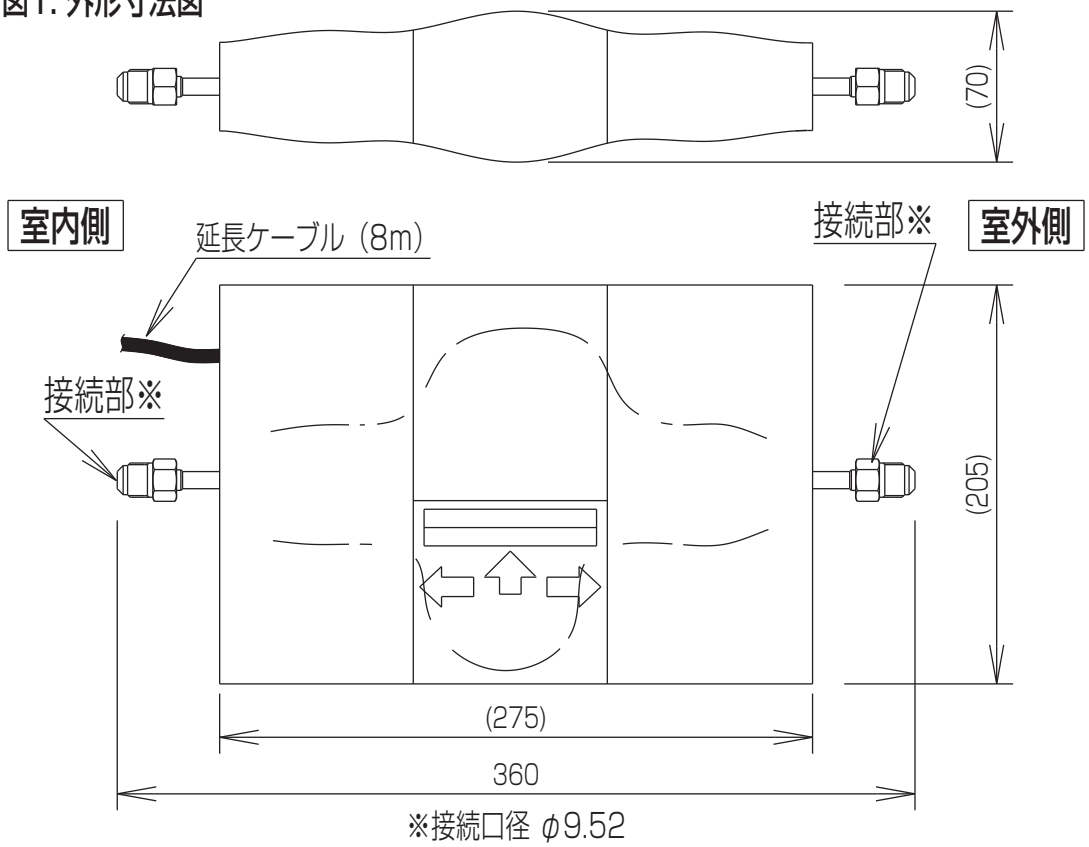
取 付 手 順

1. 取付位置の決定

●本体は液管に取り付けます。図1を参照し、取付位置を決定してください。
外付電動弁からは冷媒音が発生することがあります。室内ユニットからの距離は、5m以上8m以内を目安としてください。（静音を要求される場所からは遠ざけて設置してください。）
この距離がとれない場合には、天井裏等しゃ音の可能な場所への設置をお願いします。
また、機能部品ですので、点検や交換が必要になる場合があります。この点も考慮して取付位置を決定してください。（点検口の付近等）

●本製品は屋内専用です。屋外には設置しないでください。

図1. 外形寸法図

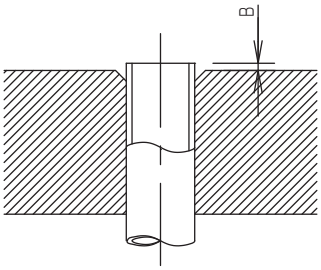


2. 液管の切断およびフレア加工

取付位置決定後、パイプカッターで液管を切断し、接続部をフレア加工してください。
（フレア加工は下記内容に注意して行なってください。）

（注）●配管切断後は、必ずバリ取りを行ない、正しい端面に仕上げてください。
●加工時に、配管をつぶさないよう注意してください。
●配管の内部に、ゴミや水分等の異物が入らないよう注意してください。
●フレアナットは本体付属のものを使用してください。
●R410A用のフレア加工寸法は、従来のR407C、R22用とは異なります。
R410A用に新規に製作されたフレアツールをおすすめしますが、従来のツールでも下表にしたがって銅管の出し代を調整すれば、使用できます。

図2



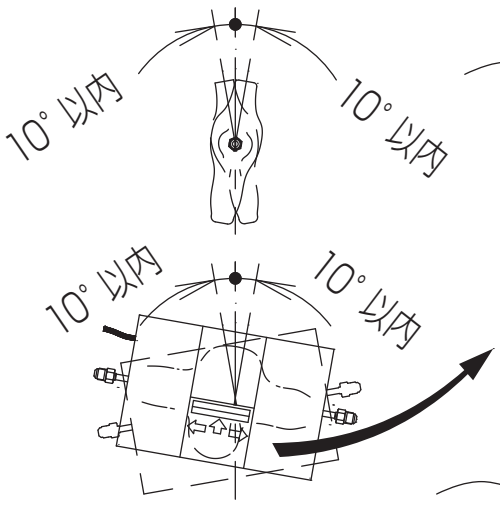
フレア加工の銅管出し代：B（mm）

リジッド（クラッチ式）の場合	
R410A	
R410A専用 ツール使用時	従来ツール使用時
B=0~0.5	B=1.0~1.5

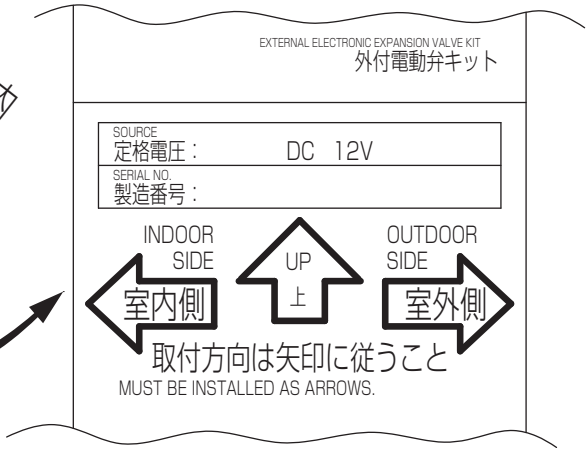
3. 外付電動弁の配管への接続

配管への接続時、本体の向きに注意してください。ラベル内の UP 上 マークが必ず上を向く様に設置してください。取付角度は鉛直線に対して±10度以内としてください。
また、フレア部の接続についても、ラベル内の矢印表示に従い、室内側・室外側の方向を確認してから接続してください。（配線引出し側が室内側となります。）（図3参照）

図3



本体貼付ラベル



●フレアナットの締め付けについて

⚠ 注意

配管接続部のフレアナットをはずす時および配管接続後にフレアナットを締め付ける時は、必ずダブルスパナで行い、締め付けは適正トルクで行なってください。フレア部等のゆるみ・破損が発生した場合に、冷媒漏れによる酸欠事故の原因になることがあります。

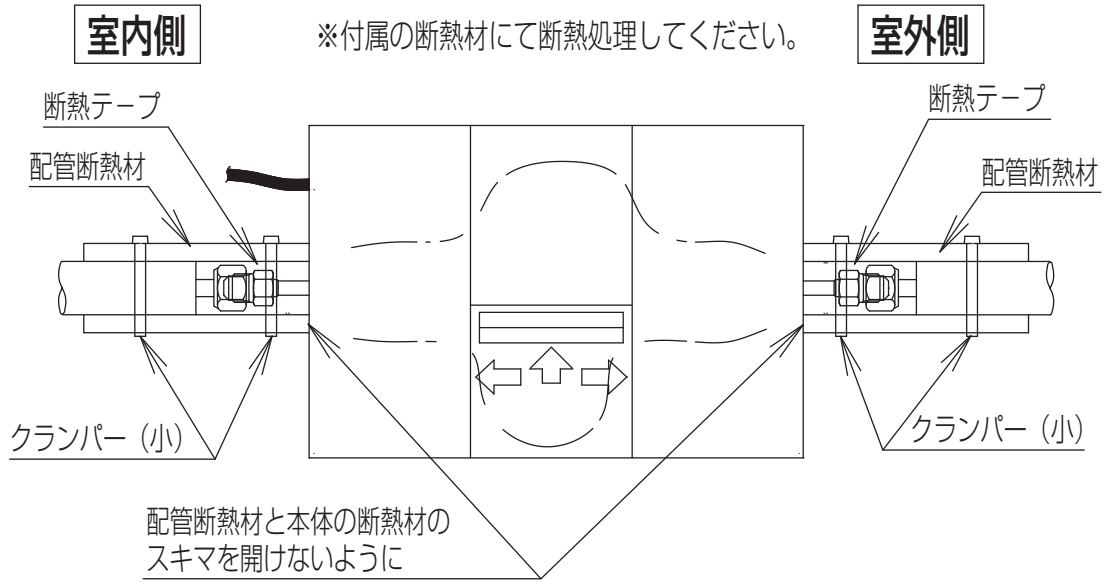
パイプ径	締め付けトルク
φ9.52（3/8"）	34~42N·m (340~420kgf · cm)

※この外付電動弁は「全開」で出荷しています。

4. 配管の断熱

漏れ検査が終了したら、図4のように付属の断熱材で配管接続部の断熱処理を施してください。

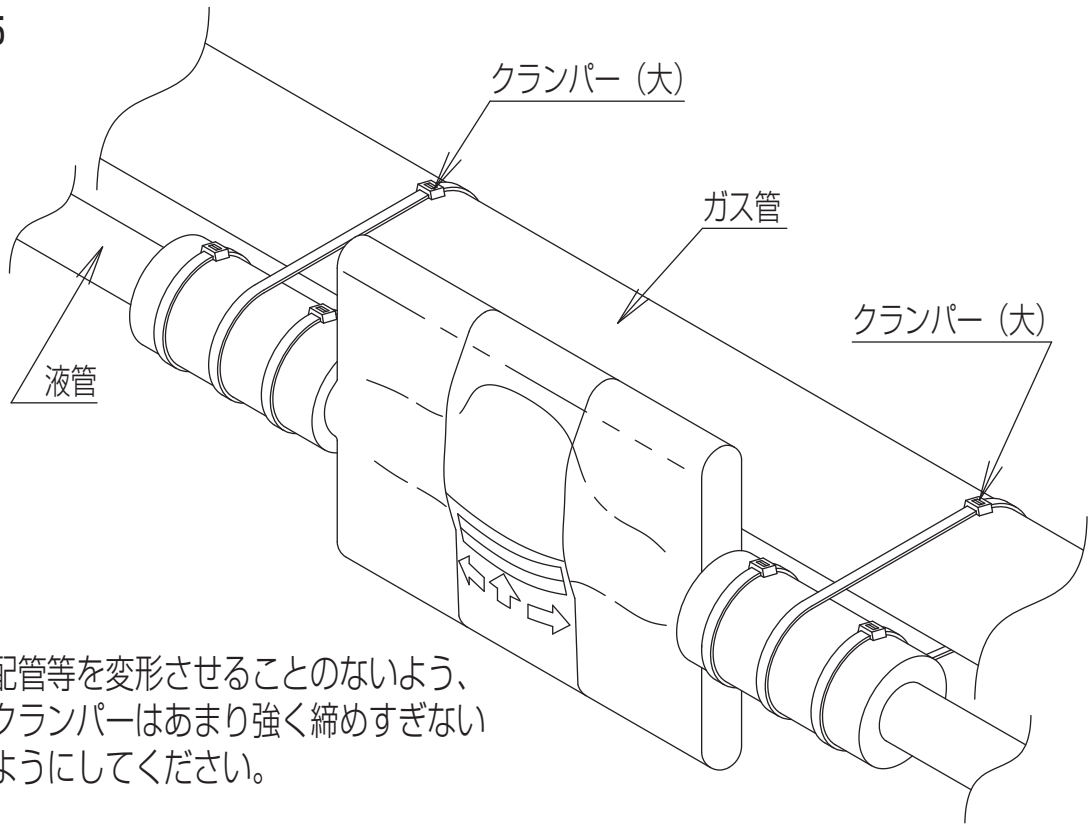
図4



5. 配管接続後の固定

外付電動弁は、配管への接続終了後、付属のクランパーを使用してガス管へ抱かせるように固定してください。（図5参照）

図5



※配管等を変形させることのないよう、
クランパーはあまり強く締めすぎない
ようにしてください。

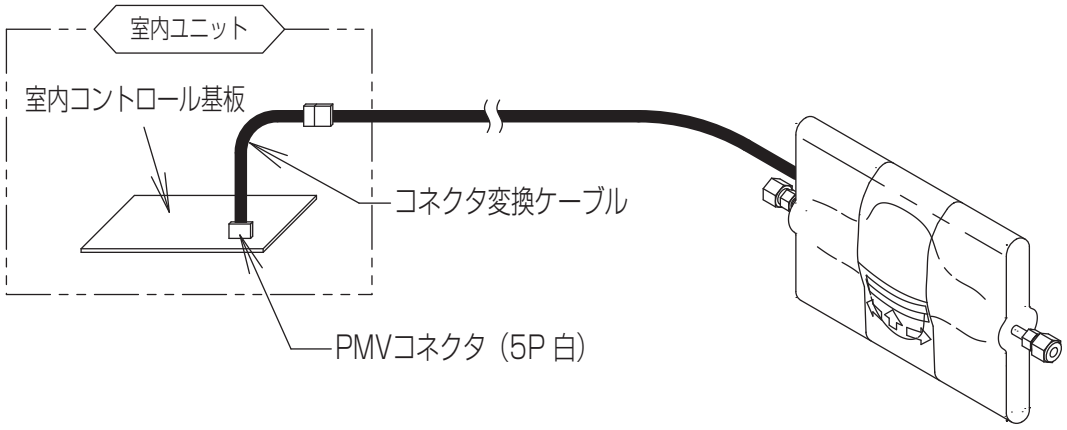
配 線 手 順

通電前の室内ユニットの場合

室内ユニット内蔵の電動弁は、全開で出荷されています。

1　作業前に、室内ユニットの電源が切れていることを確認してください。
2　室内ユニットの電装ボックスを開け、室内コントロール基板から内蔵の電動弁のコネクタを外してください。
3　外付電動弁のコネクタ（コネクタ変換ケーブル接続済み）を室内コントロール基板のPMVコネクタ（5P 白）に接続してください。
4　配線処理をして、電装ボックスを閉じてください。

図6



通電後の室内ユニットの場合

室内ユニットに通電すると、内蔵の電動弁が全閉になります。そのため、配線処理をする前に内蔵の電動弁を全開にする作業が必要となります。

1　GHP室外コントロール基板にて室内ユニットを一括停止させ、弁開操作により室内ユニット内蔵の電動弁を全開にします。
　《注》GHP室外コントロール基板の操作方法は、機種によって異なりますので、各機種のサービスマニュアルを参照してください。
2　内蔵の電動弁を全開にした状態で、室内ユニットの電源を切ってください。
3　室内ユニットの電装ボックスを開け、室内コントロール基板から内蔵の電動弁のコネクタを外してください。
4　外付電動弁のコネクタ（コネクタ変換ケーブル接続済み）を室内コントロール基板のPMVコネクタ（5P 白）に接続してください。
5　配線処理をして、電装ボックスを閉じてください。

3) ATK-SVRK160B

据付工事説明書　外付電動弁品番：ATK-SVRK160B

●室内ユニット対応（冷媒Ｒ４１０Ａ、Ｒ４０７Ｃ、Ｒ２２に対応可能です。）

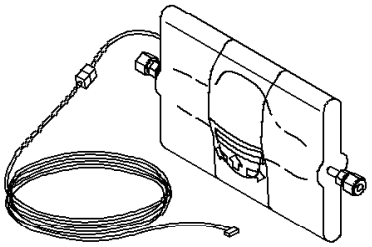
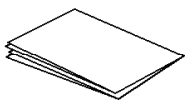
本文中に示した注意事項は、「⚠警告」・「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠**警告**　取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

⚠**注意**　取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合

ご確認事項

内容を確認してください。下表に示す部品が同梱されています。

	名　　称	形　　状	個　数
1	外　付　電　動　弁 （延長コード8ｍ付属）		1
2	配　管　断　熱　材		2
3	クランパー （大：３５０ｍｍ、小：２００ｍｍ）		大：2 小：4
4	コネクタ変換ケーブル		1
5	取付説明書		1
6	断熱テープ	白色 （耐熱用）	2

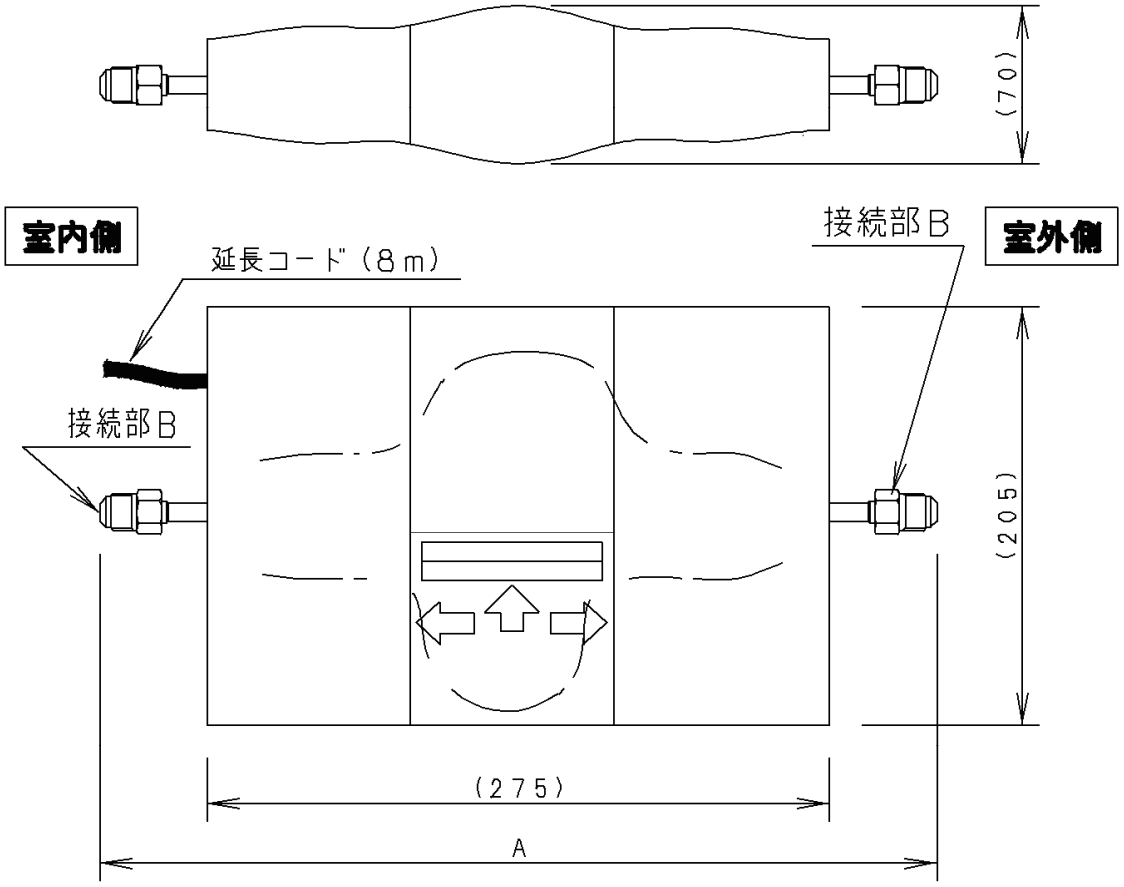
取　付　手　順

1．取付位置の決定

●本体は液管に取り付けます。図１の外形寸法図を参照し、取付位置を決定してください。
外付電動弁からは冷媒音が発生することがあります。室内ユニットからの距離は、**5ｍ以上8ｍ以内**を目安としてください。（静音を要求される場所からは遠ざけて設置してください。）この距離がとれない場合には、天井裏等しや音の可能な場所への設置をお願いします。
また、機能部品ですので、点検や交換が必要になる場合があります。この点も考慮して取付位置を決定してください。（点検口の付近等）

●本製品は屋内専用です。屋外には設置しないでください。

図１．外形寸法図



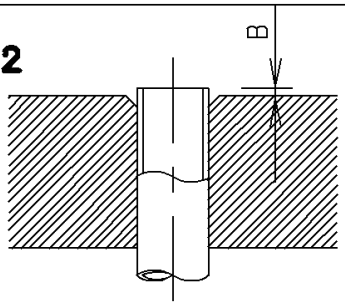
	56形	160形
A寸法（mm）	325	360
接続部B（mm）	φ6．35	φ9．52

2．液管の切断およびフレア加工

取付位置決定後、パイプカッターにて液管を切断し、接続部をフレア加工してください。
（フレア加工は下記内容に注意して行なってください。）

（注）●配管切断後は、必ずバリ取りを行ない、正しい端面に仕上げてください。
●加工時に、配管をつぶさないよう注意してください。
●配管の内部に、ゴミや水分等の異物が入らないよう注意してください。
●フレアナットは本体付属のものを使用してください。
●Ｒ４１０Ａ用のフレア加工寸法は、従来のＲ４０７Ｃ、Ｒ２２用とは異なります。
Ｒ４１０Ａ用に新規に製作されたフレアツールをおすすめしますが、従来のツールでも下表にしたがって銅管の出し代を調整すれば、使用できます。

図2



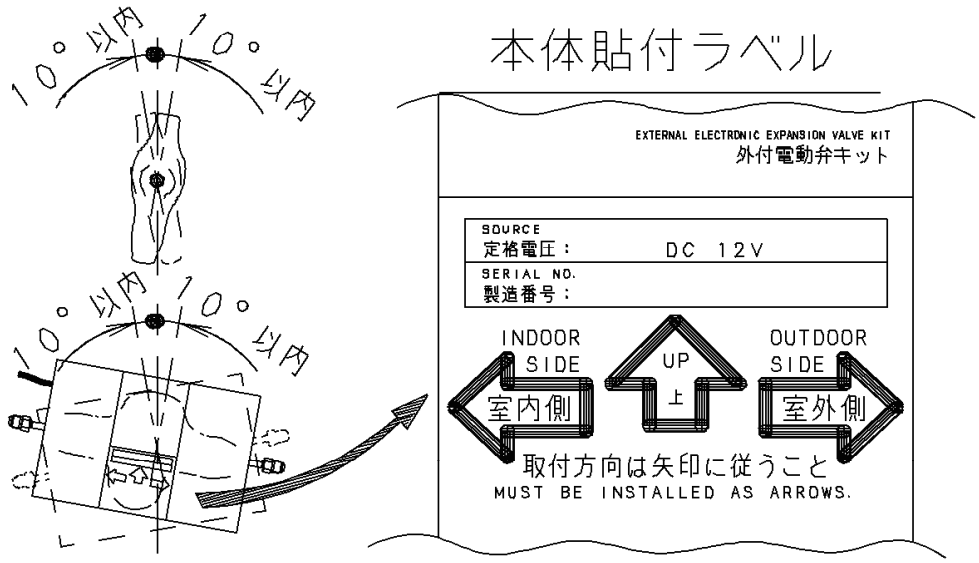
リジッド（クラッチ式）の場合		
R410A		R407C、R22
Ｒ４１０Ａ専用ツール使用時	従来ツール使用時	従来ツール使用時
B＝0～0.5	1.0～1.5	0～0.5

フレア加工の銅管出し代：Ｂ（ｍｍ）

3．外付電動弁の配管への接続

配管への接続時、本体の向きに注意してください。ラベル内の UP 上 マークが必ず上を向く様に設置してください。取付角度は鉛直線に対して±１０度以内としてください。また、フレア部の接続についても、ラベル内の矢印表示に従い、室内側・室外側の方向を確認してから接続してください。（配線引出し側が室内側となります。）（図３参照）

図3



●フレアナットの締め付けについて

⚠注 意

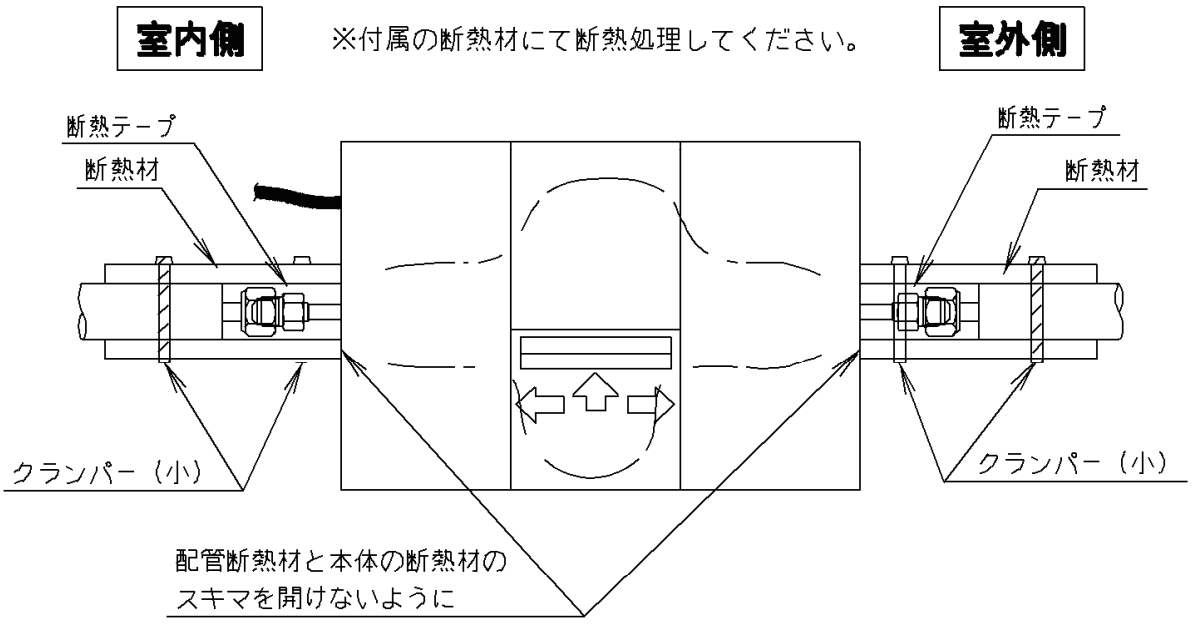
配管接続部のフレアナットをはずす時および配管接続後にフレアナットを締め付ける時は、必ずダブルスパナで行い、締め付けは適正トルクで行なってください。フレア部等のゆるみ・破損が発生した場合に、冷媒漏れによる酸欠事故の原因になることがあります。

パイプ径	締め付けトルク
φ6.35（1/4″）	14～18N・m （140～180kgf・cm）
φ9.52（3/8″）	34～42N・m （340～420kgf・cm）

4．配管の断熱

漏れ検査が終了したら、図４のように付属の断熱材で配管接続部の断熱処理を施してください。

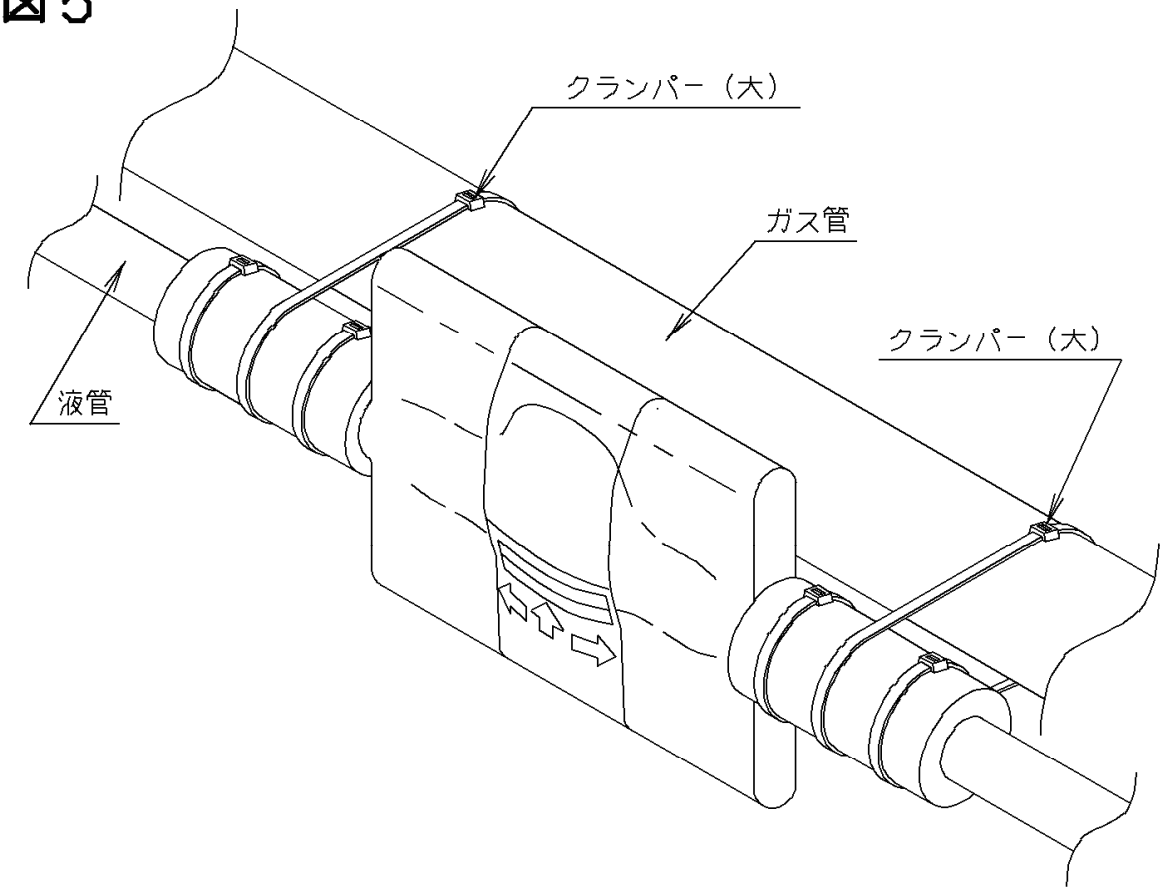
図4



5．配管接続後の固定

外付電動弁は、配管への接続終了後、付属のクランパーを使用してガス管へ抱かせるように固定してください。（図５参照）

図５



※配管等を変形させることのないよう、クランパーは
あまり強く締めすぎないようにしてください。

●配線の前に、お読みください。

⚠注 意

配線を引っ張らないようにしてください。基板のコネクタ部を破損する原因になります。
同様に外付電動弁の本体側も引っ張らないでください。

配線手順（ガスヒートポンプの場合）

通電前の室内ユニットの場合

室内ユニット内蔵の電動弁は、全開で出荷されていますので、配線処理（手順１～３）のみとなります。ただし、室内ユニットが外付電動弁タイプの場合は電動弁が内蔵されていないため、下記ａ、ｂのみとなります。

ａ．電動弁接続コネクタが電装ボックスの外に出ている機種は、電装ボックスを開ける必要はありません。中継コネクタ（“外付電動弁中継用”ラベルあり）に外付電動弁のコネクタを接続してください。

ｂ．電動弁接続コネクタの無い機種は、配線処理のみとなります。
電装ボックスを開けたあと、手順２、３を行なってください。

手順

１　室内ユニットの電装ボックスを開け、室内電動弁のコネクタを外してください。
２　外付電動弁のコネクタを室内コントロール基板（ＰＭＶまたはＴ６）に接続してください。
３　配線処理をして、電装ボックスを閉じてください。

通電後の室内ユニットの場合

室内ユニットに通電すると、内蔵電動弁が全閉になります。そのため、配線処理をする前に内蔵電動弁を全開にする作業が必要となります。（手順１～４）
ただし、室内ユニットが外付電動弁タイプの場合は電動弁が内蔵されていないため、下記ａ、ｂのみとなります。

ａ．電動弁接続コネクタが電装ボックスの外に出ている機種は、電装ボックスを開ける必要はありません。中継コネクタ（“外付電動弁中継用”ラベルあり）に外付電動弁のコネクタを接続してください。

ｂ．電動弁接続コネクタの無い機種は、配線処理のみとなります。
電装ボックスを開けたあと、手順３、４を行なってください。

手順

１　室外コントロール基板にて室内ユニットを一括停止させ、弁開操作により室内ユニットの電動弁を全開にします。
《注》室外コントロール基板の操作方法は、機種によって異なりますので、各機種のサービスマニュアルを参照してください。
２　電動弁を全開にしたうえで、電装ボックスを開き、電磁弁のコネクタを外してください。
３　外付電動弁のコネクタを室内コントロール基板（ＰＭＶまたはＴ６）に接続してください。
４　配線処理をして、電装ボックスを閉じてください。

配線手順（付属ケーブルの使用法）

本製品は、接続する室内ユニットの種類により、付属のコネクタ変換ケーブルを使用することになります。対象ユニット・使用法については以下をご参照ください。

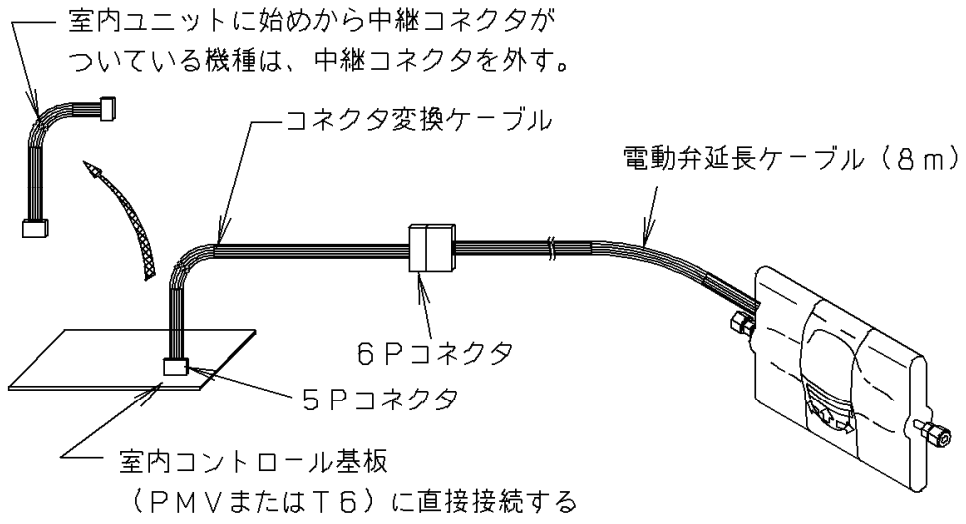
●コネクタ変換ケーブルを使用する室内ユニット
室内コントロール基板が５Ｐプラグの場合は、
付属のコネクタ変換ケーブルを使用してください。

コネクタ変換ケーブルの使用法

コネクタ変換ケーブルは、電動弁本体から出ている延長ケーブル（８ｍ）に継ぎ足して使用します。（図７参照）
コネクタ変換ケーブル接続後、前述の配線手順に従い室内コントロール基板に接続してください。

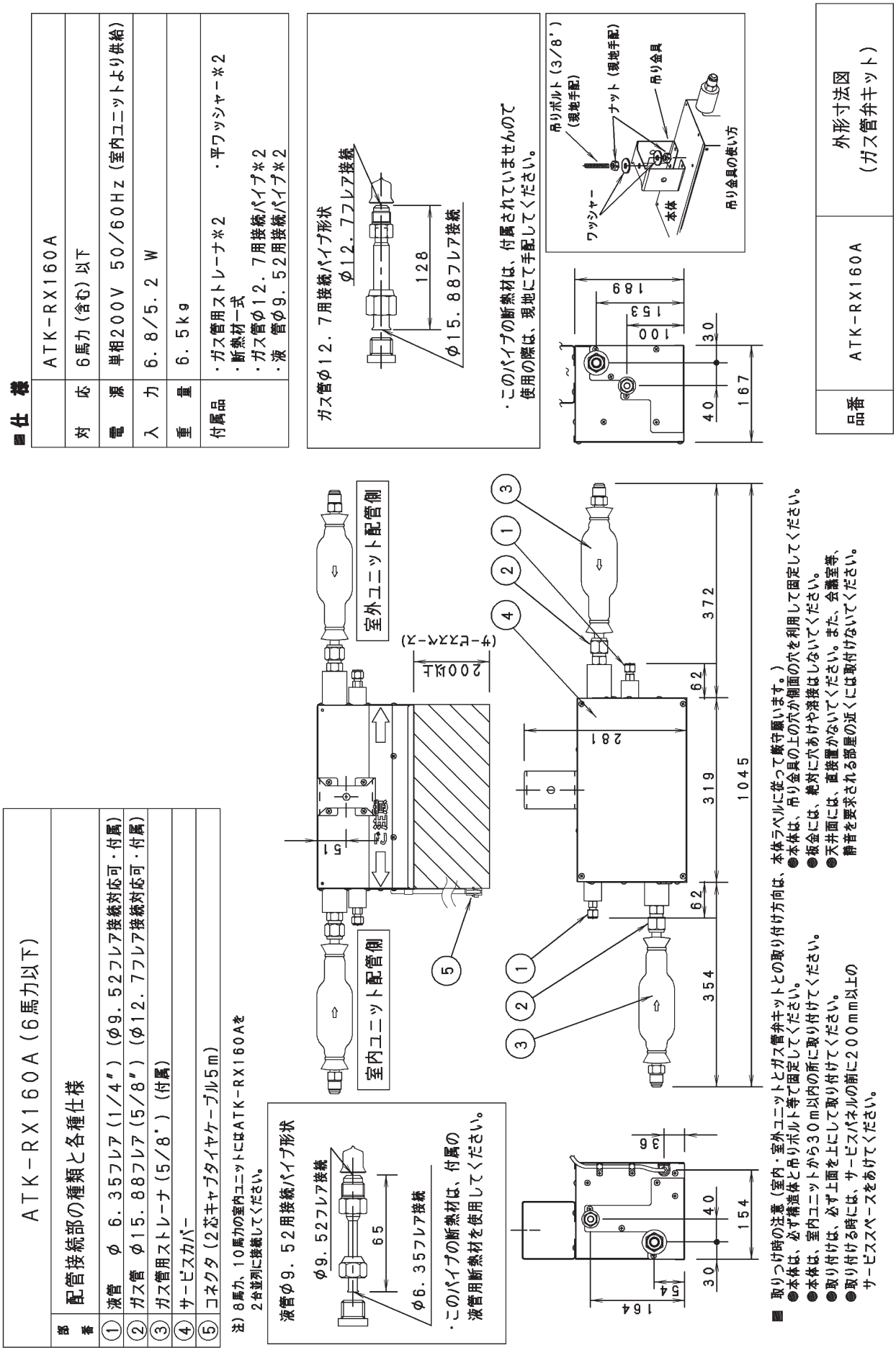
※機種により室内コントロール基板に中継コネクタ（“外付電動弁中継用”ラベルあり）が取り付けられている場合がありますが、本付属ケーブルを使用する際には中継コネクタは取り外し、付属ケーブルを直接室内コントロール基板に接続してください。

図7



(4) ガス管弁キット (ATK-RX160A)

GHP室内外ユニットの組み合わせが、ガス管弁キット (+基板ACC-3WAY-B1) を使用することにより拡大します。



①ガス管弁キット要否一覧表

適用機種※1	室外機1台に接続した場合			室外機2台（Wマルチ）に接続した場合	
	室内機1台接続	室内機複数台接続		室内機複数台接続	
		グループ制御	個別制御	グループ制御	個別制御
天井埋込形（224・280形） 床置ダクト形（224・280形） 壁ビルトイン形（140・224・280形） クリーンエアコン（45・56・71形）	×	○※2	◎※3	○※2	◎
上記以外の標準室内機（22～280形）	×				

※1.224・280形室内機はATK-RX160Aを2台並列に接続してください。
※2.「全室内機グループ制御でリモコンサーモ使用、かつブースターファンなどの別装置で外気導入を行っていない」場合、ガス管弁キットは不要です。
※3. クリーンエアコンは、3WAYマルチへ接続される場合は不要です。（電磁弁キットを使用します。）
※室内機が冷房専用の場合、ガス管弁キットは不要です。

◎：必須
○：必要だが例外あり
×：不要

室内ユニットで暖房サーモOFF時に冷風防止制御（室内風速LL風）のない機種をマルチ設置等する場合そのサーモOFFしている室内ユニットに冷媒が溜まり込む不具合を防ぐため、このガス管弁キットが必要となります。

注）1. ガス管弁キット2台並列使用時、別売の分岐配管セットを2セットご使用ください。
2. ガス管弁キットの室内ユニット内への取付けは不可です。（外付けとなります）
3. ガス管弁キットの取付けは、必ず上面を上にして取付けてください。
4. ガス管弁キットの取付けは、各別売品に同梱している「据付工事担当のかたへ」をご参照ください。

（＊1）

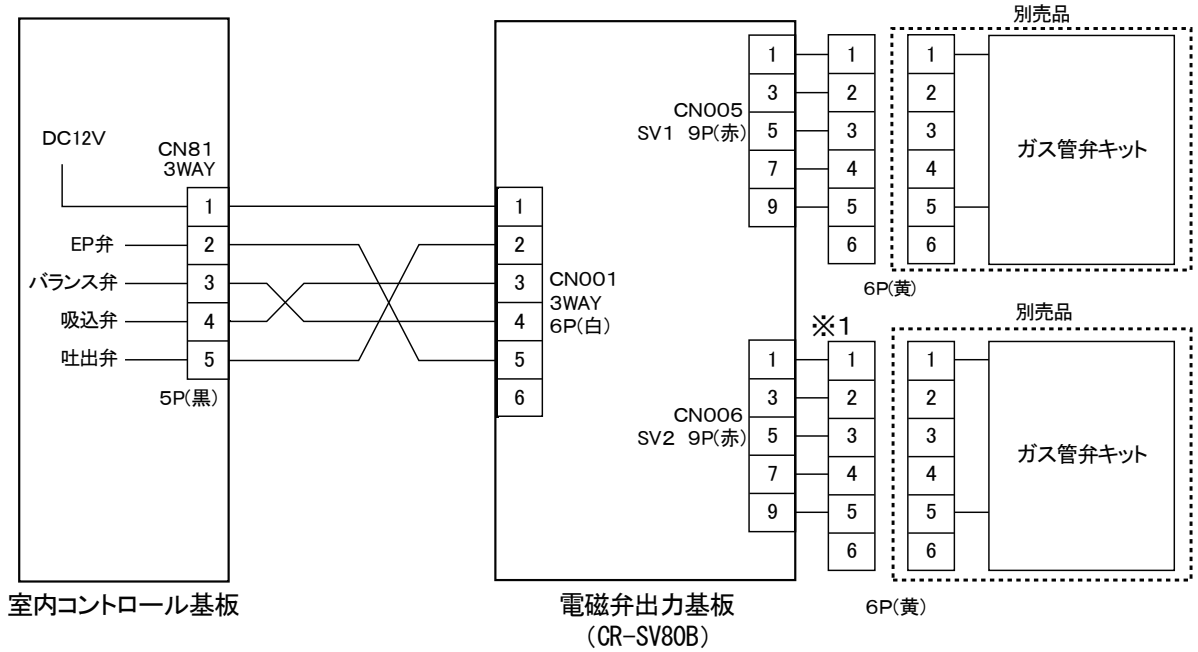
分岐後配管容量（kW）	分岐配管品番
35.6以上	SGP-PCH1400K
16.1～35.5	APR-P680B
16.0以下	APR-P160B

※224形で使用する場合は分岐後容量に関係なくすべてP160Bとなります。

②配線方法

ガス管弁キットのコネクタ（6P黄）付配線を、室内電装BOX内の電磁弁出力基板（CR-SV80B）から出ているコネクタ（6P黄）付配線と接続します。

※1:壁ビルトイン（140形）とクリーンエアコン（45・56・71形）は、電磁弁出力基板（CR-SV80B）のSV2（赤）にコネクタ（6P黄）付配線はありません。



③機能設定の変更

・システム内にガス管弁キットを接続している室内ユニットがある場合は、室内ユニットと接続されている室外ユニットの室外メイン基板からその室内ユニットの機能設定を変更します。
・設定変更は、アドレス設定を終了した後に行います。

1) ①HOME (SW4) キーを1秒以上押すとメニュー項目番号が表示されます。『ｎｏ００』
2) 次にUP (SW5)・DOWN (SW6) キーを押すとメニュー項目番号が表示されます。『ｎｏ０６』にします。
3) 『ｎｏ０６』の表示後、室内ユニット設定表示『ＳＥＴ　ｏｎ』になります。室内ユニット設定表示の状態で、SET (SW7) キーを押すと図1の様な表示に切り替わります。
(緑LED点灯)

※図1の場合、室内ユニット1号機・データコード1になります。

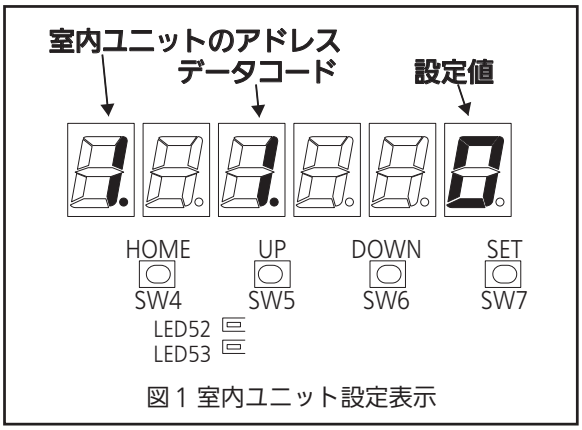


図1 室内ユニット設定表示

この状態でDOWN (SW6)・UP (SW5) キーを操作すると、設定項目を選択することができます。

	データコード	データ名	初期値	備考
↑down up↓	1	ガス管弁有無	0	0=無し　1=有り
	2	優先順位	0	0=最下位　1=1…4=最上位
	3	ドレンポンプ間欠制御	0	0=無し　1=四方弁冷房側中に間欠
	4	ドレンポンプ連続制御	0	0=無し　1=四方弁冷房側中に連続
	・			
	・			
	・			
	8	加湿器設定	0	0=無し　1=暖房結露防止制御有り
	L	冷房吹き出し温度設定	0	0=機種別　-35=-35…92=92
	N	暖房吹き出し温度設定	0	0=機種別　-35=-35…92=92
	・			
	・			

4) 室内ユニット設定項目選択操作状態でSET (SW7) キーを1秒以上押すと、LED赤 (LED52) が点灯します。この状態で、DOWN (SW6)・UP (SW5) キーを操作することで、選択されている設定項目の設定内容を変更することができます。

※ガス管弁キットへの設定変更

データコード『1』(ガス管弁有無) を選択し、設定値を『1』(有り) にしてください。(図2)

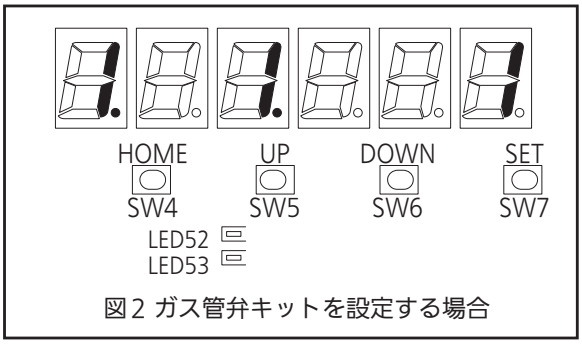


図2 ガス管弁キットを設定する場合

5) 変更した値を不揮発性メモリにしまいたい場合は、SET (SW7) キーを1秒以上押します。LED赤 (LED52) に消灯され、室内ユニット設定項目選択操作に戻ります。変更した値を破棄したい場合は、LED赤 (LED52) 点灯中にホーム (SW4) キーを1秒以上押します。(室内ユニット設定項目選択操作中にHOME (SW4) キーを1秒以上押した場合、設定した内容は破棄しません。)

④据付工事

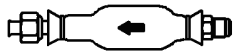
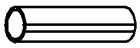
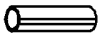
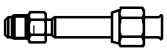
8546435956500 3

据付工事担当のかたへ

ガス管弁キット
R410A対応
ATK-RX160A

室外機や別売基板等に添付されています「据付工事担当のかたへ」「電気工事担当のかたへ」等の説明書を必ず参照してください。

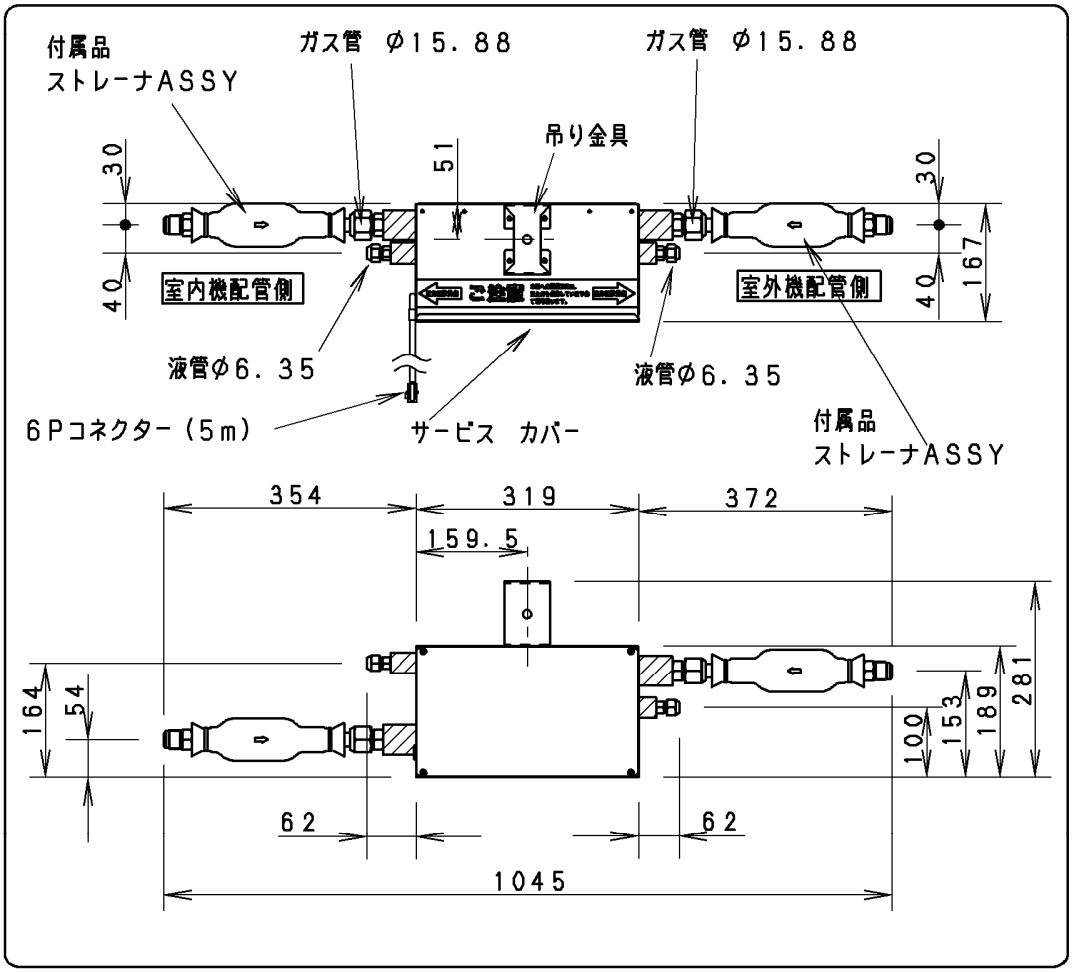
1. 付属品

名称	形状	個数	備考
ガス管用ストレーナASSY		2	ガス管用 注記）工場出荷時には2コをジョイントしてあります。分離してお使いください。
フレアー断熱材		2	ガス管用
		2	液管用
断熱テープ		4	ガス管フレアナット部用
ビニールクランパー		14	断熱材両端部
ワッシャー		2	吊りボルト用
吊り金具		1	本体吊り用
M4ネジ		4	吊り金具固定用
接続パイプ		2	φ12.7ガス管接続用
		2	φ9.52液管接続用

2．本体寸法及び各部名称

接続可能な室内機能力は１６０形（６馬力）以下です。
２２４形（８馬力）、２８０形（１０馬力）の場合はガス管弁キットを２台並列で使用してください。（図７　参照）

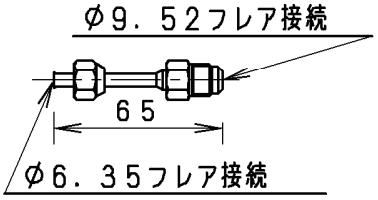
図１．寸法及び各部名称



（注記）この図は吊り金具、ストレーナＡＳＳＹを取付けた状態です。

図２．接続パイプ形状（φ９．５２液管接続用）

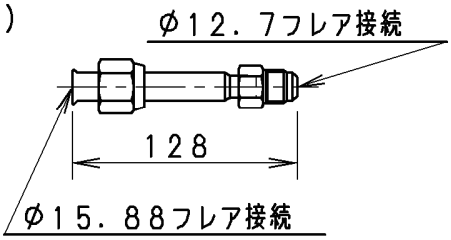
（付属品）



●このパイプの断熱材は、付属の液管用断熱材を使用してください。
●φ９．５２液管を接続する場合に使用します。

図３．接続パイプ形状（φ１２．７ガス管接続用）

（付属品）

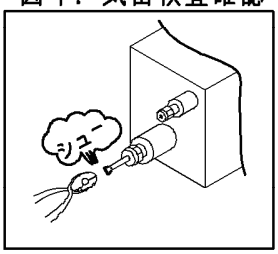


●このパイプの断熱材は、付属されていませんので使用の際は、現地にて手配してください。
●φ１２．７ガス管を接続する場合に使用します。
（ストレーナＡＳＳＹと接続配管の間に使用）

３．気密検査確認

●本体内部には窒素が封入されています。フレア部を緩める前に、室内機側密栓パイプ部をプライヤ等でつぶし、「シュー」という音がでてくる事を確認し気密チェックを行ってください。
図４参照

図４．気密検査確認



４．取付け

１．準備

●本体に付属の吊り金具を４個のビスで取付けてください。
●次にストレーナＡＳＳＹをガス管出入口に取付け、フレアナットを締め付けてください。
●その時必ずスパナ２丁掛けで行ない締め付けトルクは表１を参照してください。
●ガス管弁キットには窒素が封入されていますので、フレアナットを外すときは注意してください。
●室内機の配管径が本機の配管径と異なることがあります。　その時は、液管、ガス管それぞれ図２、図３を参照して対応してください。
２２４形、２８０形の室内機には、ＡＴＫ－ＲＸ１６０Ａを２台並列に接続してください。

図５．組立図

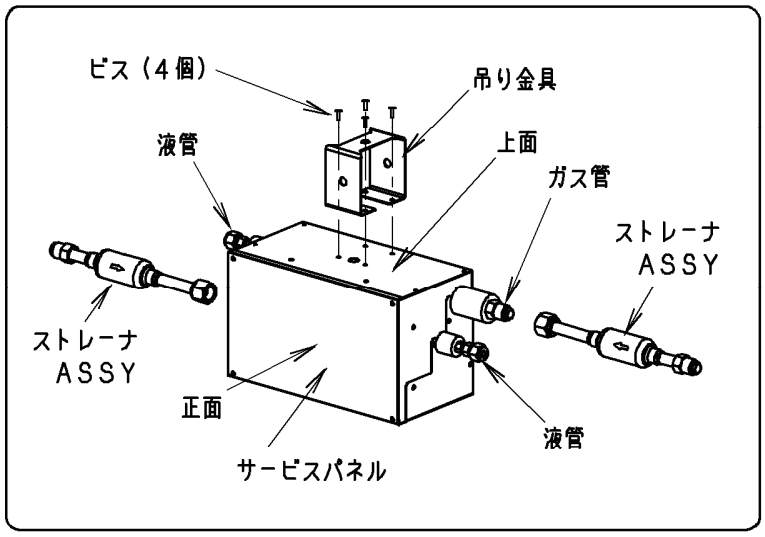


図６．サービススペースについて

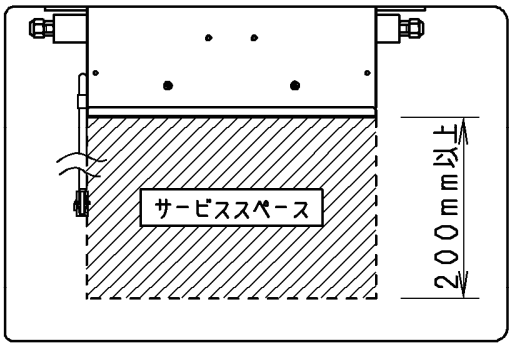
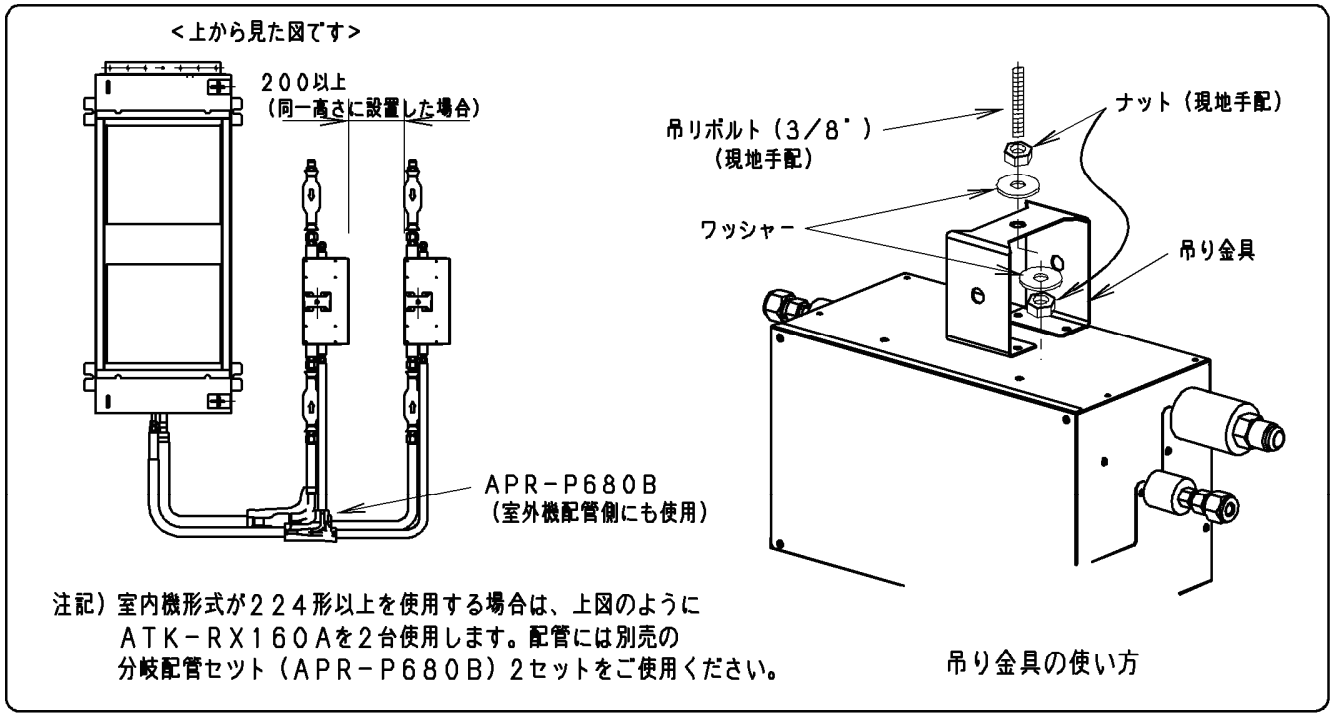


図７．ガス管弁キットの取付け例



注記）室内機形式が２２４形以上を使用する場合は、上図のように
ＡＴＫ－ＲＸ１６０Ａを２台使用します。配管には別売の
分岐配管セット（ＡＰＲ－Ｐ６８０Ｂ）２セットをご使用ください。

2．取付け時の注意

●室内外機とガス管弁キットとの取付け方向は、本体ラベルに従って厳守願います。

- 本体は必ず構造体と吊りボルト等で固定してください。
- 本体は室内機から３０ｍ以内の所に図７のように取付けてください。
- 取付けは必ず上面を上にして取付けてください。
- 取付ける時にはサービススペースとして２００ｍｍ以上あけてください。（図６）
- 本体は、吊り金具の上の穴か側面の穴を利用して固定してください。
- 天井面には直接置かないでください。また、会議室等、静音を要求される部屋の近くには取付けないでください。
- 板金には絶対に穴あけや溶接はしないでください。
- ドレンの邪魔にならないように配置してください。
- 別売の配管セットを使用する場合は、そちらの据付説明書を参照してください。

5．配線、配管、断熱

1．配線

- ガス管弁キットから出ている６Ｐのコネクターを室内機の電源取入口を通して、６Ｐのコネクター（黄色）と接続してください。　（図８参照）
- キャプタイヤケーブルは約５メートルあります。長さが足りないときは途中で切断して図９のようにターミナルボックス（現地手配）で中継してください。
- キャプタイヤケーブルはユニット内の結束バンドで固定してください。
- キャプタイヤケーブルはリモコン線、ユニット間操作線と同一電線管内に通さないでください。

図８．接続のしかた

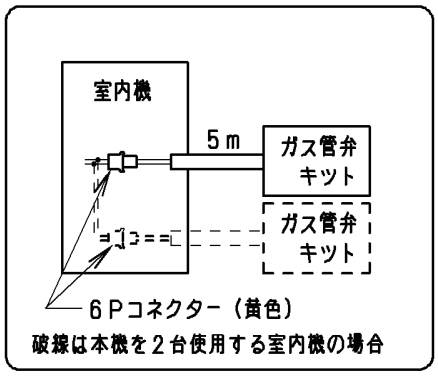
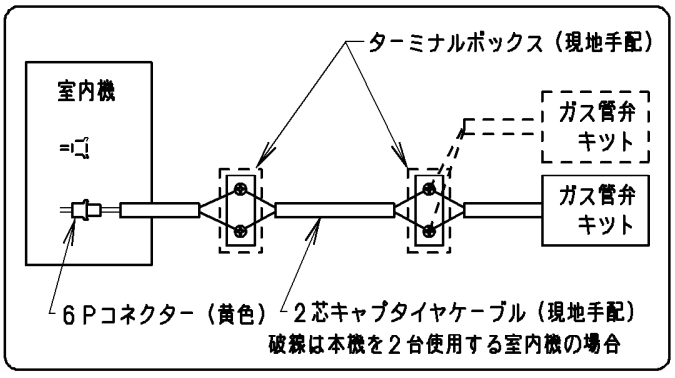
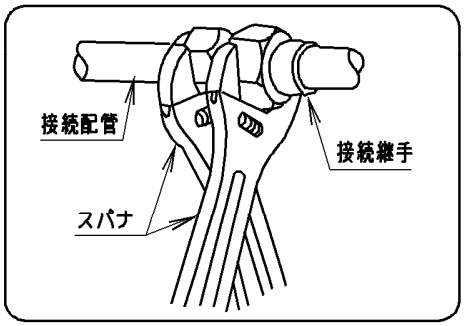


図９．延長配線のしかた



2．冷媒配管のしかた

●配管接続部のフレアナットを外すとき、および配管接続後にフレアナットを締め付けるときは、必ずスパナ２丁掛けで行ってください。



●フレアナットの締めすぎによるフレア部破壊を防ぐため、下表を目安に締め付けてください。

表１　　締付トルク

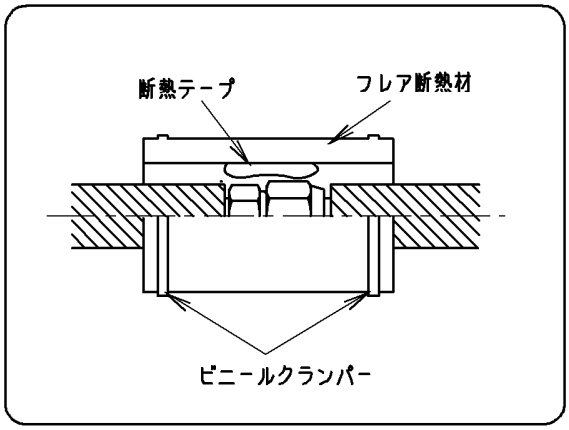
パイプ径	締め付けトルク	
	(N・m)	(kgf・cm)
φ 6.35(1/4")	16±2	約 140～180
φ 9.52(3/8")	38±4	約 340～420
φ12.7 (3/8")	55±6	約 490～610
φ15.88(5/8")	75±7	約 680～820
φ19.05(3/4")	110±10	約1000～1200

3．断熱のしかた

（断熱は必ずリーク検査終了後行うこと。）

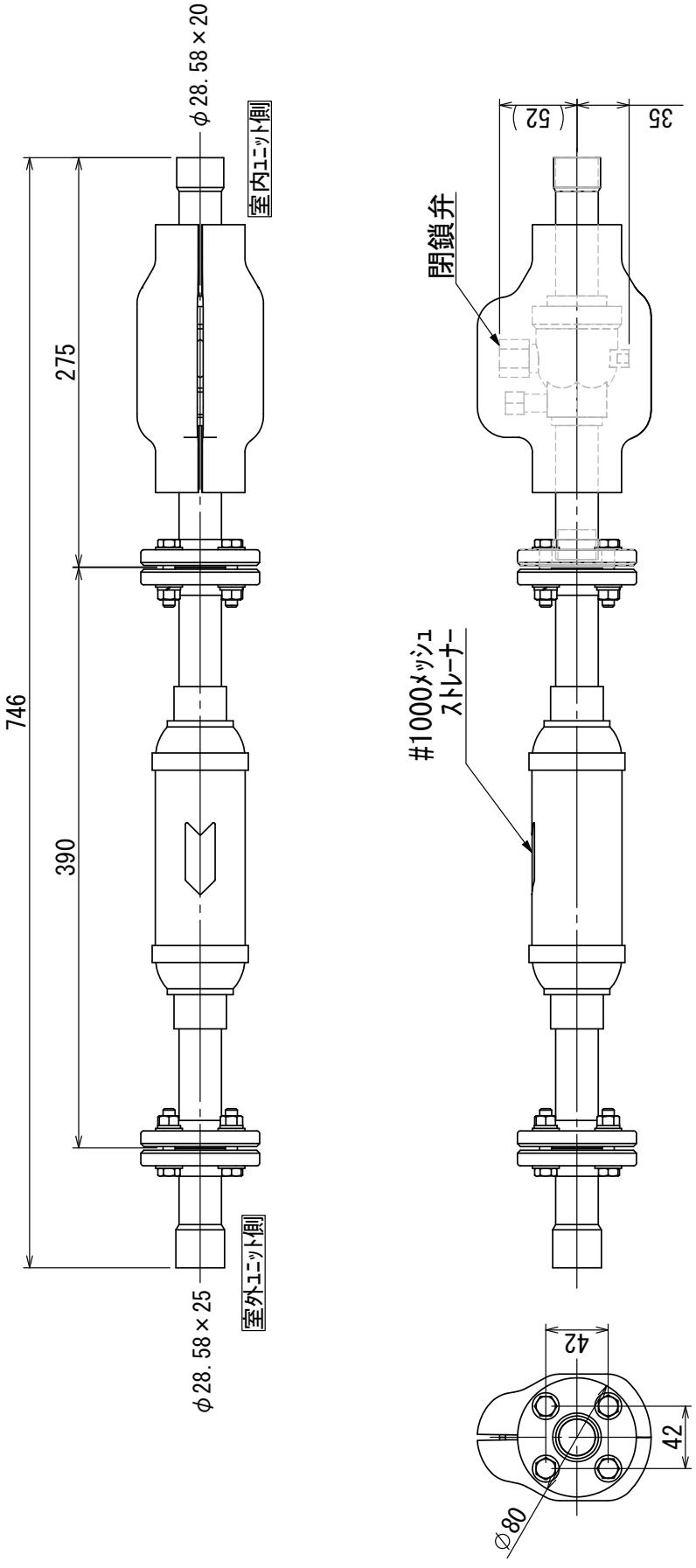
●配管は必ず断熱をしてください。
●ガス管は１２０°Ｃ以上、液管は８０°Ｃ以上の耐熱性断熱材で、厚さは１０ｍｍ以上を使用してください。　周囲がＤＢ３０℃、ＲＨ７０％を超える場合は、断熱材厚さを１ランクアップしてください。
●ガス管のフレアナット部には、付属の断熱テープを各２枚ずつ使用して巻き付けてください。
●次に、フレアナット部に付属のフレア断熱材を巻き付け、ビニールクランパーで両端を固定してください。
●断熱をしないと水漏れの原因になります。
●付属の接続パイプ（φ１２．７ガス管接続用）を使用する場合、断熱材は、付属されておりませんので現地手配として施工してください。

図１０．断熱のしかた



(5) 冷房試運転キット (SGP-STK560M)

■外形寸法図



■据付工事説明書

据付工事説明書

Panasonic

■冷房試運転キット　　品番　SGP−STK560M
対象GHP室外ユニット：U形、T形、S形、M6形シリーズ
（ハイパワーエクセル、エクセルプラス、ソーラーリンクエクセル機種は除く）

■据付工事は、この据付工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に行ってください。
特に「安全上のご注意」（1 ページ）は、据付工事をされる前に必ずお読みください。

■本キットは、リニューアル専用；冷房試運転キットです。据え付けについては、室外ユニットに付属の据付工事説明書（据付編）、据付工事説明書（電気工事編）、据付工事説明書（試運転編）を必ず参照してください。

■据付工事説明書（据付編）に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。

実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

必ず守る

- **据え付けはお買い上げの販売店または専門業者に依頼する**
（冷媒ガスが室内に漏れ、火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
- **作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気をする据付工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する**
（冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）

1．付属部品

下表に示す同梱の付属部品を確認してください。

	名　　称	個数	備　　考
1	外付ストレーナー配管	1	ー
2	断熱材	1	閉鎖弁用 カバー

2．据付場所の選定

⚠ 注意

必ず守る

- **本品の設置にはメンテナンス用にスペースを確保する**（図 1）
（メンテナンス作業時等ができなくなる原因）
- **本品は、なるべく室外ユニットに近い場所に設置する**（図 2）
（メンテナンス作業時等ができなくなる原因）
- **防振架台を使用する場合は、本品を室外ユニットのから1.5m以上離して取り付ける**（図 2）
（振動により配管が破損して、冷媒漏れの原因）
- **本品の、両側500mm以内で配管部を固定する**
（振動により配管が破損して、冷媒漏れの原因）

禁止

- **可燃性ガスの漏れるおそれのある場所、揮発性引火物を取り扱う場所に設置しない**（火災の原因）

●本品は、室外ユニットからの冷媒ガス配管（3WAYマルチシリーズの場合は、冷媒吸込管）に取り付けます。
図 1、2、3を参照にうえ取付位置を決定してください。

●本品には、取付方向がありますので注意してください。（図 1）
閉鎖弁がある方が室内ユニット側です。
室外ユニット側はフランジ配管です。

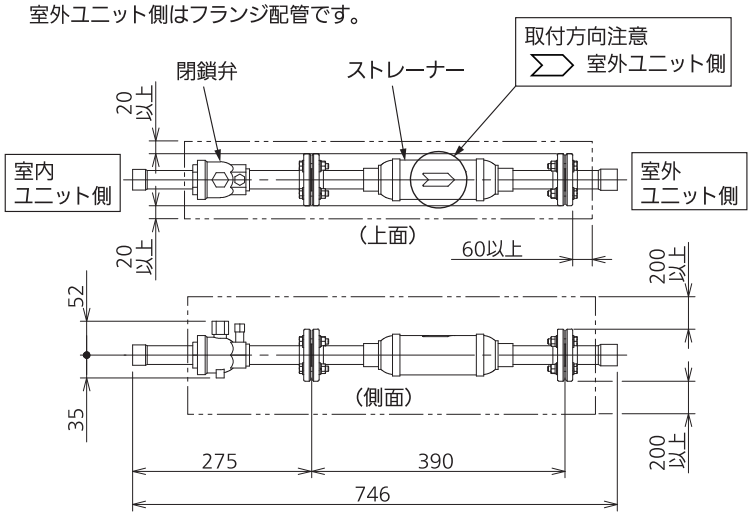
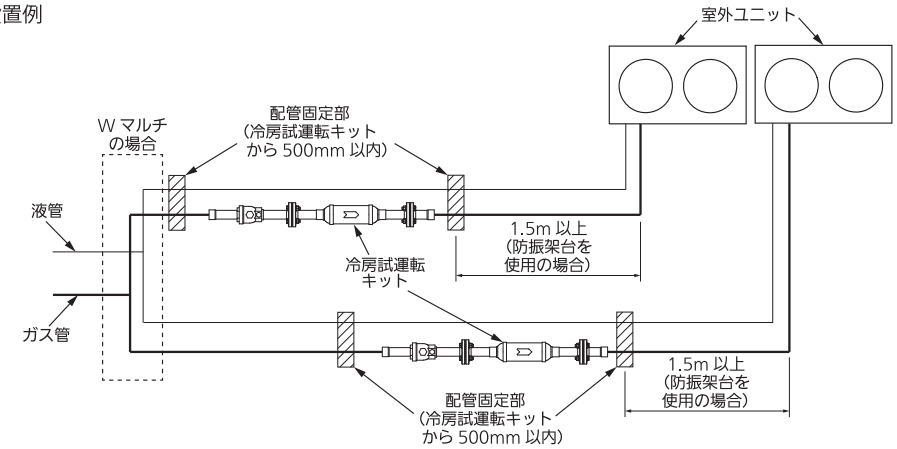


図 1　外形寸法図・メンテスペース　　（単位：mm）

図2　設置例



3. 取付手順

●本品の取付方向を確認し、室外ユニットからの冷媒ガス配管（3WAY マルチシリーズの場合は、冷媒吸込管）に“ろう付”接続します。
※本品には、接続方向（2.取付場所の選定 図 1 参照）がありますので、注意してください。

●ろう付の熱で、下記部品に損傷を与えないように、濡れウエス等で冷却してください。
・閉鎖弁・・・・・・・・・・100℃以下
・ストレーナー・・・・・300℃以下
・フランジ部・・・・・・・100℃以下(フランジ間にはガスケットが入っているため)

●酸化皮膜生成防止のため必ず配管内を窒素置換してください。
(酸素、炭酸ガス、冷媒等は不可)
窒素置換しないと酸化スケールによるストレーナー詰まり・機器の故障等の原因になります。

●気密検査および真空引きを行ってください。
※気密圧力　：　3.3 MPa
※室外ユニットに付属の「据付工事説明書（据付編）」を必ず参照してください。

●閉鎖弁部には、付属の断熱材(閉鎖弁カバー)を取り付けてください。（図 3）

●その他の部位（ストレーナー・配管）も、断熱材を巻いてください。
断熱材は現地調達です。

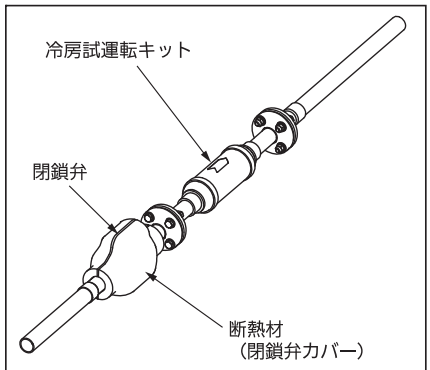


図3　断熱材(閉鎖弁カバー)取付

保温ラッキングについてのお願い事項

冷房試運転後、ストレーナー配管部を、新品のストレーナー（別売品：SGP−STK560MK）に交換しますので、その作業ができるよう図４の鎖線部分の保温ラッキングが脱着可能なように施工をお願いします。

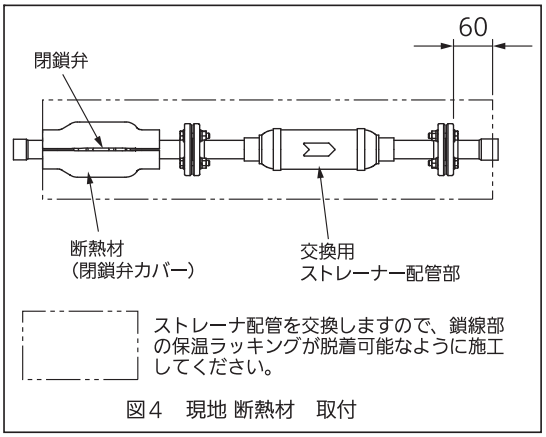


図4　現地 断熱材　取付

4. 試運転

●室外ユニットに付属の「据付工事説明書（試運転編）」および本キットに付属の「リニューアル機 冷房試運転 手順」を参照してください。

ACXF60-17281
GH0109-11223

■冷房試運転手順

冷房試運転 手順

Panasonic

■冷房試運転キット　　品番　SGP−STK560M
対象GHP室外ユニット：U形、T形、S形、M6形シリーズ
（ハイパワーエクセル、エクセルプラス、ソーラーリンクエクセル機種は除く）

■試運転は、この冷房試運転手順をよくお読みのうえ、正しく安全に行ってください。
特に「安全上のご注意」は試運転前に必ずお読みください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容（禁止事項）です。	❗ 実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

必ず守る

- **配管接続は漏れがないことを確認する**
（空気などを吸引すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂、けがの原因）
- **運転時、閉鎖弁の弁が開いていることを確認する**
（閉鎖弁が閉まった状態で圧縮機を運転すると、異常高圧となり圧縮機などの部 品の破損の原因）

1．冷房試運転

①自動アドレスを冷房運転で行ってください。（室外ユニット付属の「据付工事説明書（試運転編）」を参照）

②冷房試運転を“30分”行ってください。
※詳細は室外ユニット付属の「洗浄レスリニューアル手順」をお読みください。

2．ポンプダウン手順

●冷房ポンプダウンを行い、冷房試運転キット～冷媒ガス閉鎖弁（3WAYシリーズの場合、冷媒吸込閉鎖弁）までの間の冷媒をポンプダウンします。

①冷房ポンプダウンの準備をします。
- ●全室内ユニットのリモコンをオフし、運転を停止させてください。
- ●冷媒ガス閉鎖弁（3WAYシリーズの場合、冷媒吸込閉鎖弁）・冷房試運転キット閉鎖弁のキャップを取りはずしてください。
- ●ポンプダウン完了判断のため、冷媒圧力を監視する圧力ゲージ（ゲージマニホールド）を冷媒ガス閉鎖弁（3WAYシリーズの場合、冷媒吸込閉鎖弁）サービスポートに取り付けてください。（図1）

②冷房ポンプダウンを行います。
室外コントロール基板での作業は、サービス技術資料「主要部品交換マニュアル：ポンプダウン手順」を参照してください。

③レンチ等を用いて、冷房試運転キット閉鎖弁を『全閉』にしてください。（図2、3）

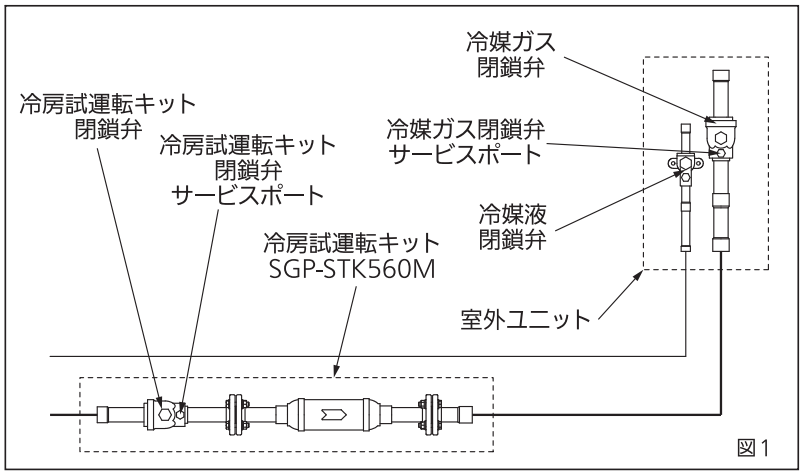


図1

閉鎖弁の開閉	全開	全閉
状態		

図2

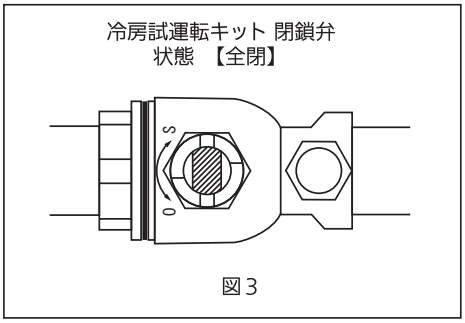


図3

④ポンプダウンが開始となります。圧力ゲージ（ゲージマニホールド）により、冷媒（低圧）圧力を監視します。

⑤冷媒圧力が0.00MPaまで降下したら、ポンプダウン完了となります。
レンチ等を用いて、冷媒ガス閉鎖弁（3WAYシリーズの場合、冷媒吸込閉鎖弁）を『全閉』にしてください（図4、5）

⑥室外ユニットの運転を停止し、室外コントロール基板の”STOPーSW”を『NORM』から『STOP』側にしてください。

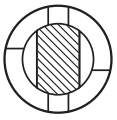
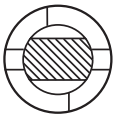
閉鎖弁の開閉	全開	全閉
状態		

図4

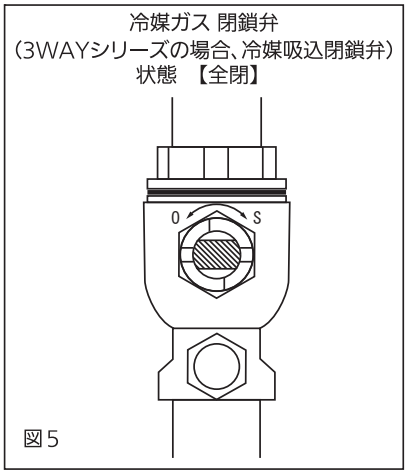


図5

※冷房ポンプダウンができない場合
“冷媒ガス閉鎖弁（3WAYシリーズの場合、冷媒吸込閉鎖弁）”と“冷房試運転キット閉鎖弁”を『全閉』にし、“冷媒ガス閉鎖弁（3WAYシリーズの場合、冷媒吸込閉鎖弁）” または“冷房試運転キット閉鎖弁”のサービスポートから”冷媒回収を行ってください。

3. 交換作業

①冷房試運転キット：フランジ部のM8ボルト・ナットを取りはずしてください。（図6）

②ストレーナー配管・ガスケットを取りはずしてください。（図6）

③交換用ストレーナー SGP-STK560MK （別売品）を取り付けてください。

※ガスケット（SGP-STK560MK 付属品）は新品に交換してください。（図6）

注意：ガスケットに冷凍機油を塗布すること。

④ボルト・ナットはトルクレンチで確実に締め付けてください。

※ 規定締付トルク：19 ～ 26 N・m

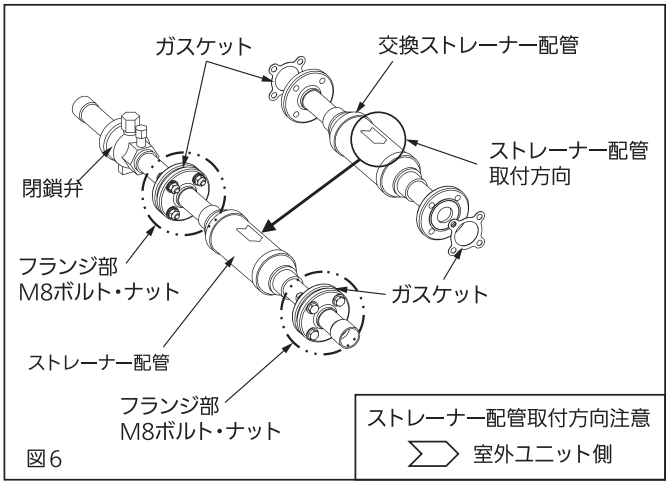


図6

4. 気密検査および真空引き

①“冷媒ガス閉鎖弁（3WAYシリーズの場合、冷媒吸込閉鎖弁）”から“冷房試運転キット閉鎖弁”間の気密検査を実施し、漏れがないことを確認してください。

※気密圧力：3.3 MPa

気密検査では、必ず窒素を使用してください。（酸素・炭酸ガス・冷媒等は不可）

②気密検査終了後、“冷媒ガス閉鎖弁（3WAYシリーズの場合、冷媒吸込閉鎖弁）”から“冷房試運転キット閉鎖弁”間を667Pa（-755mmHG,5Torr）以下まで真空引きを行ってください。

③配管部には、断熱材を巻いてください。（断熱材：現地調達）

5. 運転確認

①”冷房試運転キット閉鎖弁”と”冷媒ガス閉鎖弁（3WAYシリーズの場合、冷媒吸込閉鎖弁）”を『全開』にしてください。

②室外コントロール基板の”STOPーSW”を『STOP』から『NORM』側にしてください。

③室内ユニットのリモコンをオンにするか、室外ユニットからの試運転で運転をしてください。
運転中に冷媒漏れ・異常振動・異音等がないことを確認してください。

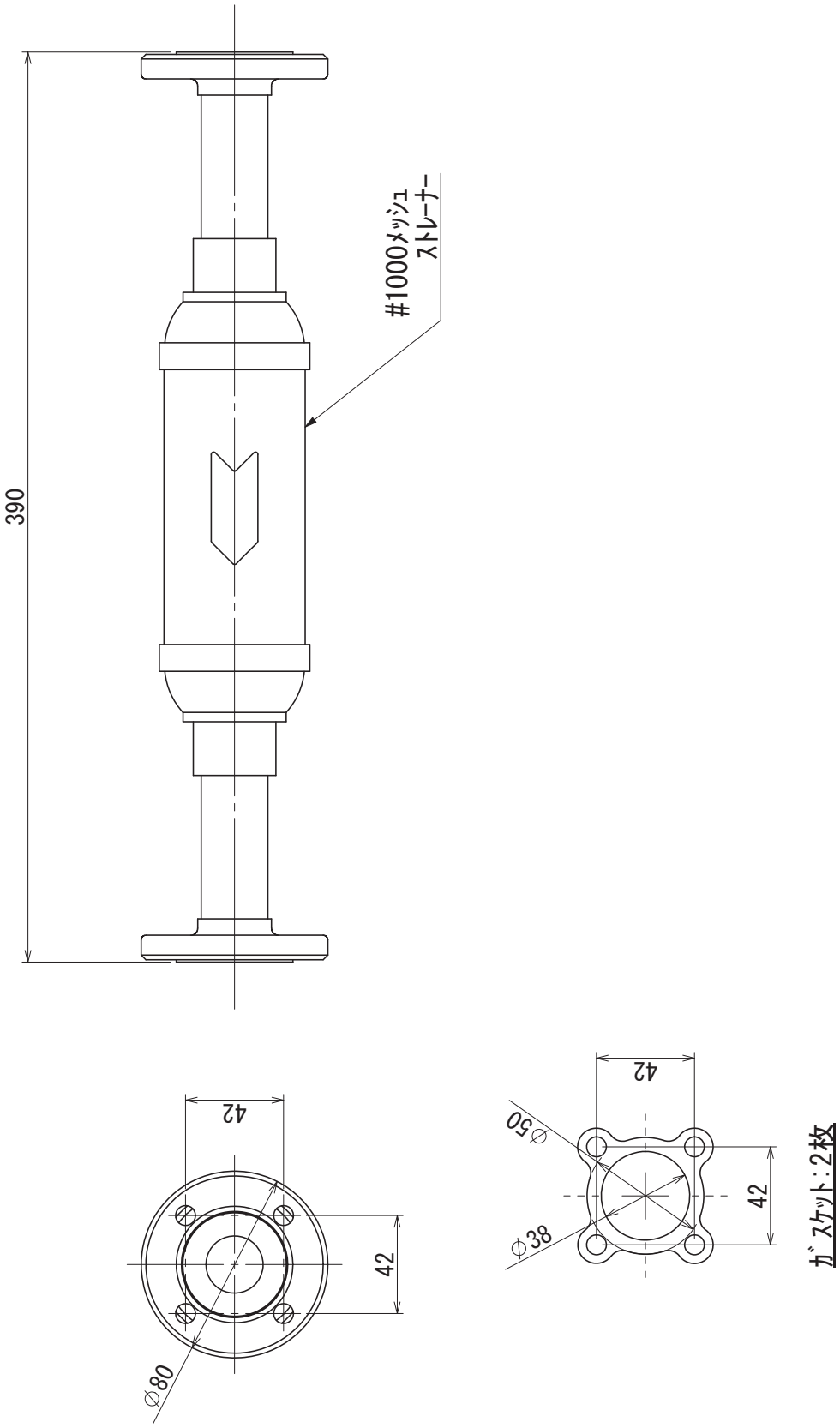
④外装パネルを取り付けてください。

以上で作業終了です。

ACXF60-17291
GH0109-11223

(6) 交換用ストレーナー（SGP-STK560MK）

■外形寸法図



■据付工事説明書

据付工事説明書

Panasonic

■交換用ストレーナー　　品番　SGP−STK560MK
対象GHP室外ユニット：U形、T形、S形、M6形シリーズ
（ハイパワーエクセル、エクセルプラス、ソーラーリンクエクセル機種は除く）

■据付工事は、この据付工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に行ってください。
特に「安全上のご注意」（1 ページ）は、据付工事をされる前に必ずお読みください。

■据付工事説明書（据付編）に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。

実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

必ず守る

● **据え付けはお買い上げの販売店または専門業者に依頼する**
（冷媒ガスが室内に漏れ、火気に触れると有毒ガスが発生する原因）

● **作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気をする据付工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する**
（冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）

1．付属部品

下表に示す同梱の付属部品を確認してください。

	名　　称	個数	備　　考
1	交換用ストレーナー配管	1	ー
2	ガスケット	2	フランジ部ガスケット

2．ポンプダウン手順

●冷房ポンプダウンを行い、冷房試運転キット～冷媒ガス閉鎖弁（3WAYシリーズの場合、冷媒吸込閉鎖弁）までの間の冷媒をポンプダウンします。

①冷房ポンプダウンの準備をします。
　●全室内ユニットのリモコンをオフし、運転を停止させてください。
　●冷媒ガス閉鎖弁（3WAYシリーズの場合、冷媒吸込閉鎖弁）・冷房試運転キット閉鎖弁のキャップを取り外してください。
　●ポンプダウン完了判断のため、冷媒圧力を監視する圧力ゲージ（ゲージマニホールド）を冷媒ガス閉鎖弁（3WAYシリーズの場合、冷媒吸込閉鎖弁）サービスポートに取り付けてください。（図1）

②冷房ポンプダウンを行います。
　室外コントロール基板での作業は、サービス技術資料「主要部品交換マニュアル：ポンプダウン手順」を参照してください。

③レンチ等を用いて、冷房試運転キット閉鎖弁を『全閉』にしてください。（図2、3）

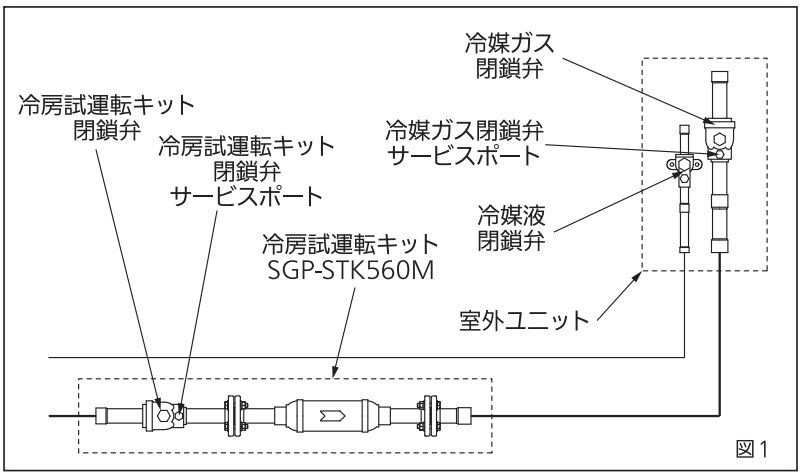


図1

閉鎖弁の開閉	全開	全閉
状態		

図2

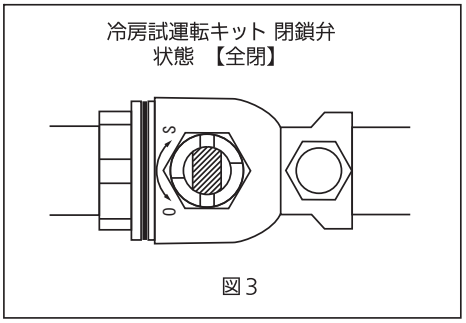


図3

④ポンプダウンが開始となります。圧力ゲージ（ゲージマニホールド）により、冷媒（低圧）圧力を監視します。

⑤冷媒圧力が0.00MPaまで降下したら、ポンプダウン完了となります。
レンチ等を用いて、冷媒ガス閉鎖弁（3WAYシリーズの場合、冷媒吸込閉鎖弁）を『全閉』にしてください（図4、5）

⑥室外ユニットの運転を停止し、室外コントロール基板の”STOPーSW”を『NORM』から『STOP』側にしてください。

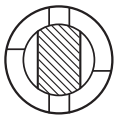
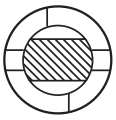
閉鎖弁の開閉	全開	全閉
状態		

図4

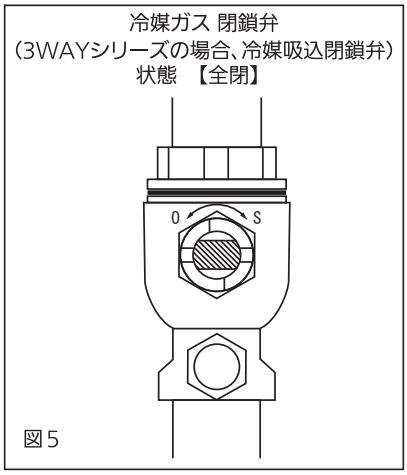


図5

※冷房ポンプダウンができない場合
“冷媒ガス閉鎖弁（3WAYシリーズの場合、冷媒吸込閉鎖弁）”と“冷房試運転キット閉鎖弁”を『全閉』にし、“冷媒ガス閉鎖弁（3WAYシリーズの場合、冷媒吸込閉鎖弁）” または“冷房試運転キット閉鎖弁”のサービスポートから冷媒回収を行ってください。

3. 交換作業

①冷房試運転キット：フランジ部のM8ボルト・ナットを取りはずしてください。（図6）

②ストレーナー配管・ガスケットを取りはずしてください。（図6）

③本キットの「交換用ストレーナー配管」を取り付けてください。
※ガスケットは新品に交換してください。（図6）
注意：ガスケットに冷凍機油を塗布すること。

④ボルト・ナットはトルクレンチで確実に締め付けてください。
※ 規定締付トルク：19 ～ 26 N･m

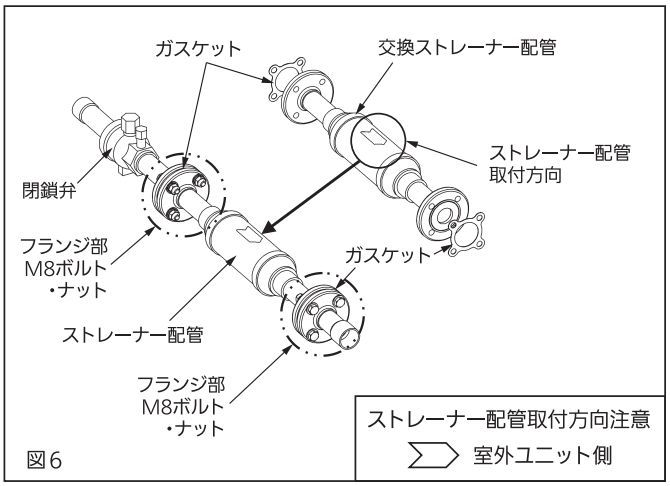


図6

4. 気密検査および真空引き

①“冷媒ガス閉鎖弁（3WAYシリーズの場合、冷媒吸込閉鎖弁）”から“冷房試運転キット閉鎖弁”間の気密検査を実施し、漏れがないことを確認してください。
※気密圧力：3.3 MPa
気密検査では、必ず窒素を使用してください。（酸素・炭酸ガス・冷媒等は不可）

②気密検査終了後、“冷媒ガス閉鎖弁（3WAYシリーズの場合、冷媒吸込閉鎖弁）”から“冷房試運転キット閉鎖弁”間を667Pa（-755mmHG,5Torr）以下まで真空引きを行ってください。

③配管部には、断熱材を巻いてください。（断熱材：現地調達）

5. 運転確認

①冷房試運転キット閉鎖弁と冷媒ガス閉鎖弁を『全開』にしてください。

②室外コントロール基板の”STOPーSW”を『STOP』から『NORM』側にしてください。

③室内ユニットのリモコンをオンにするか、室外ユニットからの試運転で運転をしてください。
運転中に冷媒漏れ・異常振動・異音等がないことを確認してください。

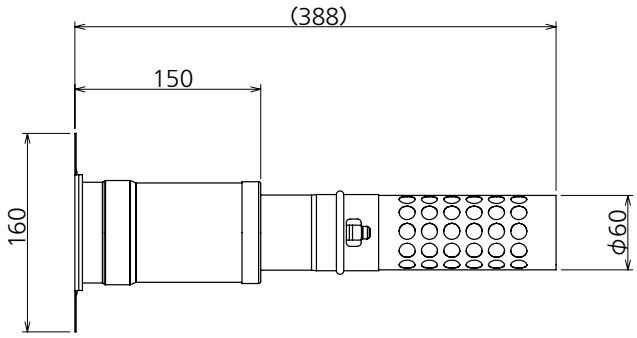
④外装パネルを取り付けてください。

以上で作業終了です。

ACXF60-17301
GH0209-11223

(1) 排気延長キット (SGP-PEX560K)

■外形寸法図



■排気延長キットの据付

安全上のご注意

安全に関する重要な内容です。よくお読みのうえ必ずお守りください。
誤った工事をしたときに、死亡や重傷等重大な結果に結び付く可能性が大きいものを『⚠ 警告』の欄に、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるものを『⚠ 注意』の欄にまとめてあります。

ご注意

⚠警告

- 取付け工事は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で工事をされ不備があると、排気ガスの中毒や火災の原因になります。
- 取付け工事は、この“排気延長用アダプタ取付説明書”に従って、確実に行ってください。
  取付けに不備があると、排気ガスの中毒や火災の原因になります。

据付場所の選定

⚠警告

- 排気トップの位置は、排気ガスが建物への給排気口や窓、または建物へ連絡する配管や通気口等から、建物に入らない場所に設置してください。排気ガスが建物に流入して、中毒等の原因になります。
- 排気トップの位置は、排気ガスが滞留しないよう大気に開放された、屋外に設置してください。
  排気ガスが建物に流入して、中毒等の原因になります。
- 排気ガスは、排水マスや溝等に直接排出する場合、周囲に悪影響を与えないところで、必ず大気に開放してください。
  排気ガスが建物に流入して、中毒等の原因になります。

⚠注意

- 排気筒や排気トップと可燃物との距離は、図8、9の定められた離隔距離をとってください。
  この距離がないと火災の原因になることがあります。
- 排気トップの位置は、排気ガスが動植物に被害を与えない場所に設置してください。
  動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。

排気筒延長時の制限内容

排気筒の延長工事を行う際には、下記の制限を厳守してください。

施工時の制限内容	制　限　値
外　気　温　度	−5℃以上
排気筒の延長	5m4曲がり以内
排気筒の勾配	上り勾配 3/100以上

使用する排気筒部材の指定

排気筒は、商品名 KPパイプφ60シリーズを使用し、取付け金具類（受け足、二つ割）を含め、下記販売会社に現地手配をしてください。

販売会社　株式会社ホクアイ
本　　社　札幌市西区発寒14条12丁目1−5
　　TEL 011−665−8241、 FAX 011−661−3452
東京支店　東京都墨田区東墨田1丁目1−2
　　TEL 03−3617−3001、 FAX 03−3617−3092
大阪支店　大阪市北区中津6丁目1−13
　　TEL 06−452−1336、　FAX 06−458−1797

排気延長用アダプタの取付手順

① 排気延長用アダプタの分解

1）梱包箱を開け、以下の部品が入っていることをご確認ください。
　排気延長用アダプタ　　×1
　排気TOP ASSY　　×1
　O−RING（P−70）　　×1
2）一度排気TOPを排気延長アダプタの奥まで差し込んでください。
3）排気延長アダプタのストッパ金具を押しながら、排気TOPを矢印の向きに引き抜いてください。

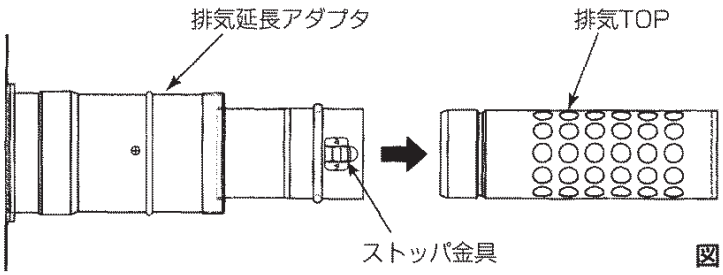


図 1

② CAP及び排気TOP(標準品)の取外し

1）室外ユニット上部に取り付けてあるCAP（M5ネジ）を取り外してください。
2）同様に排気管が抜けないように注意しながら、排気TOP（M4ネジ×2）を取り外します。（潤滑剤を使用し、回しながら取り外すと、簡単に抜けます。）なお、M4ネジ×2は再利用しますので、紛失に注意してください。
3）既存のO−RINGを排気管より、取り外し、付属のO−RINGを装着します。
　この際、排気管のエッジは鋭いので、怪我に注意しながら行ってください。

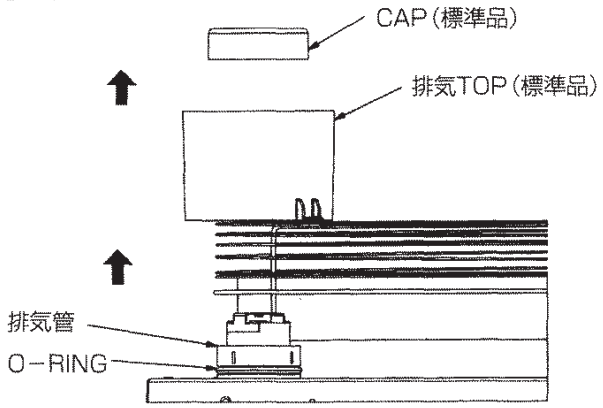


図 2

③ 排気延長用アダプタの取付け

1）排気延長アダプタを矢印の向きに、挿入します。(潤滑剤を使用すると、簡単に挿入できます。)
2）②−2)で外したM4ビス×2を使用し、室外ユニット天面パネルに固定します。

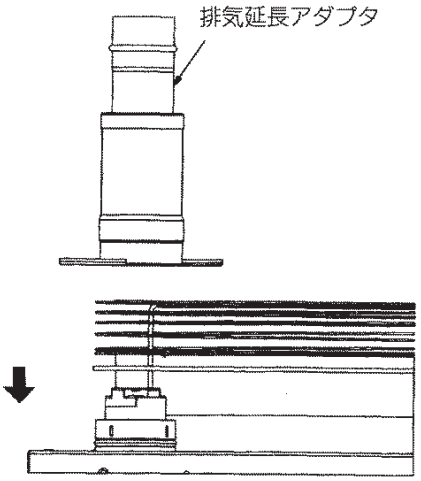


図３

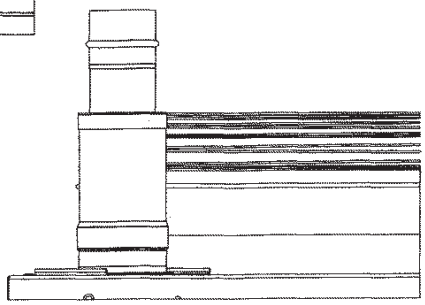


図４

④ 排気トップの取付

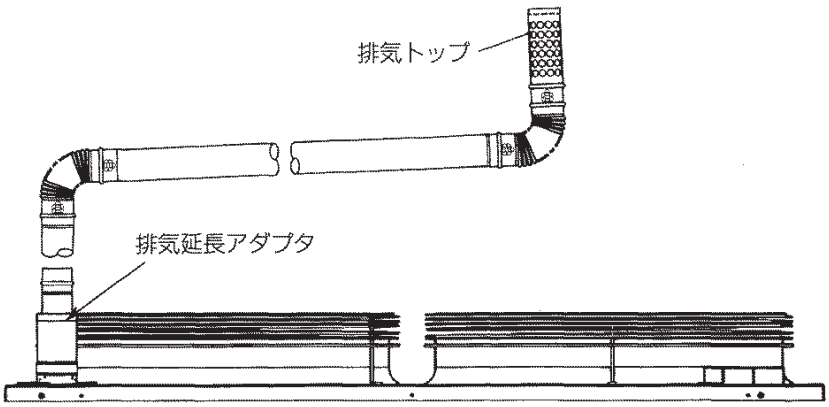


図５

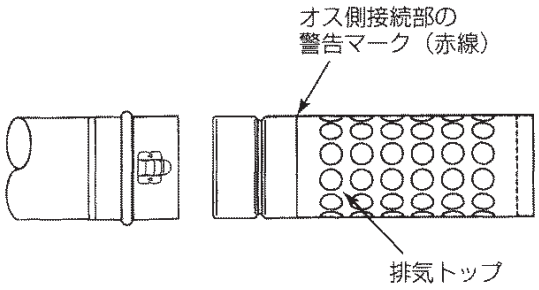


図６

1）排気筒最終端には、必ず付属の排気トップを取付けてください。
2）排気トップとＫＰパイプの接続は、オス側接続部の警告マーク（赤線）のところまで、十分に差し込んでください。図６を参照してください。確実に接続されると「カチット」音がします。
3）排気トップは、図５の様に必ず垂直に取付けてください。

施工時のご注意

① KPパイプ接続時のご注意

- KPパイプを接続する時は、オス側接続部の警告マーク（赤線）のところまで、十分に差し込んでください。確実に接続されると「カチット」音がします。図6を参照してください。
- KPパイプは絶対に切断しないでください。寸法の調整が必要な場合は、スライド管をご使用ください。
- その他に関しては、KPメーカの取扱説明書に従ってください。

② 排気筒の固定方法

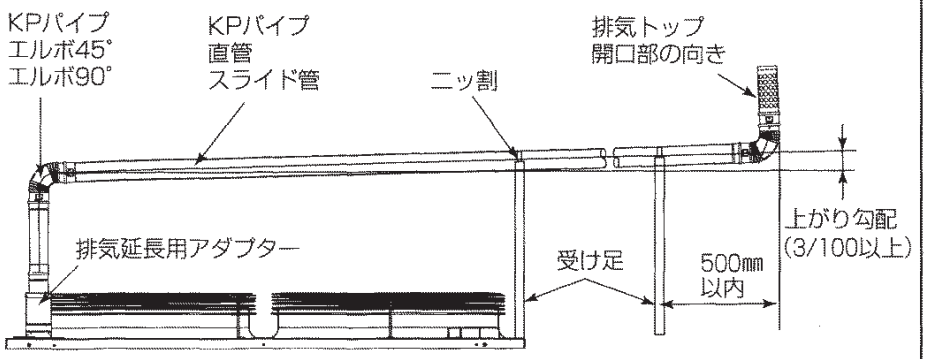


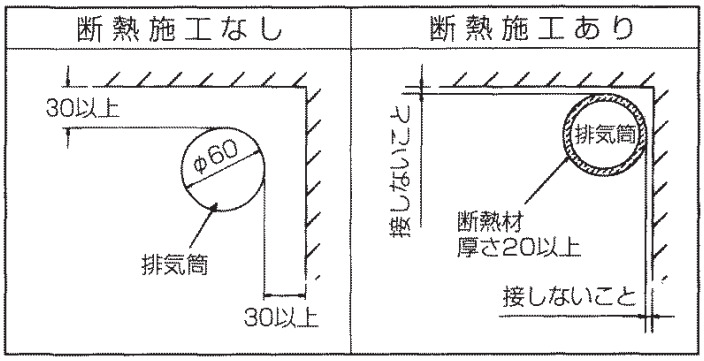
図 7

- 排気筒の固定は、取付け金具（受け足、二つ割り）を使用して現地加工を行い、ユニット天板のボルト・ビスを使用して共締めを行ってください。例として図7を参照してください。
- ユニット本体外に延長された排気筒は、取付け金具を使用して1.5～2.0m間隔で、外壁等に固定をしてください。
- 延長排気筒最終固定端からの長さ制限は、500㎜以内としてください。図7を参照してください。

③ 排気筒の離隔距離

●排気筒と「可燃材料、難燃材料または準不燃材料による仕上げをした建築物の部分等」との離隔距離（㎜）は、図８に従ってください。

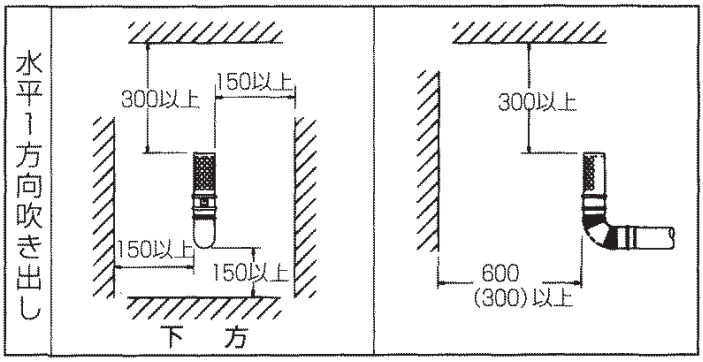
図８（空間部）



④ 排気トップの離隔距離

●排気筒の開口部と周囲の「可燃材料、難燃材料または準不燃材料による仕上げをした建築物の部分等」との離隔距離（㎜）は、図９に従ってください。

図９（排気トップ周囲の離隔距離）



〈備考〉（　）内の寸法は、防熱板を取付けた場合及び「不燃材料で有効に仕上げをした建築物の部分等」との寸法を示す。

⑤ 防振架台使用時のご注意

- 防振架台使用時にも排気延長は可能です。
- 延長排気筒の長さが500㎜以下で、垂直に取付ける場合は固定の必要はありません。
- その他の場合は、取付け金具等を使用してユニット天板のボルト・ビスを使用し、共締めを行ってください。
- 例として図７を参照してください。

⑥ 吹き出し延長ダクト設置時のご注意

- 吹き出し延長ダクトを設置する場合は、ダクトの形状等から受け足金具類の使用が困難な場合があります。
  その場合はワイヤ等を使用して、ダクトやユニット天板のボルト・ビスを使用し、共締めを行ってください。
- 受け足金具を使用する場合は、例として図10を参照してください。

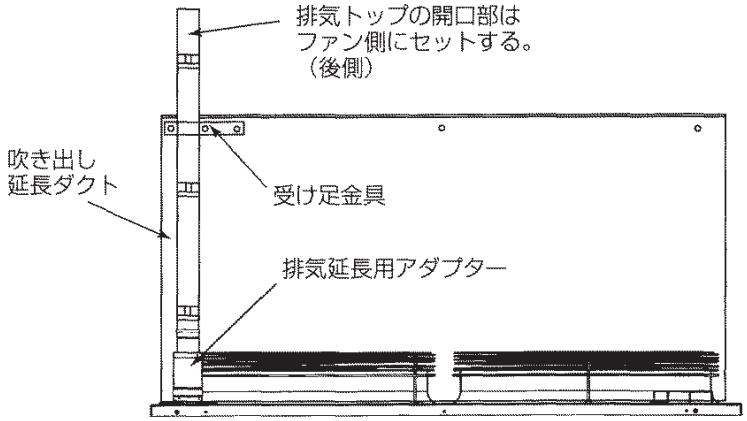


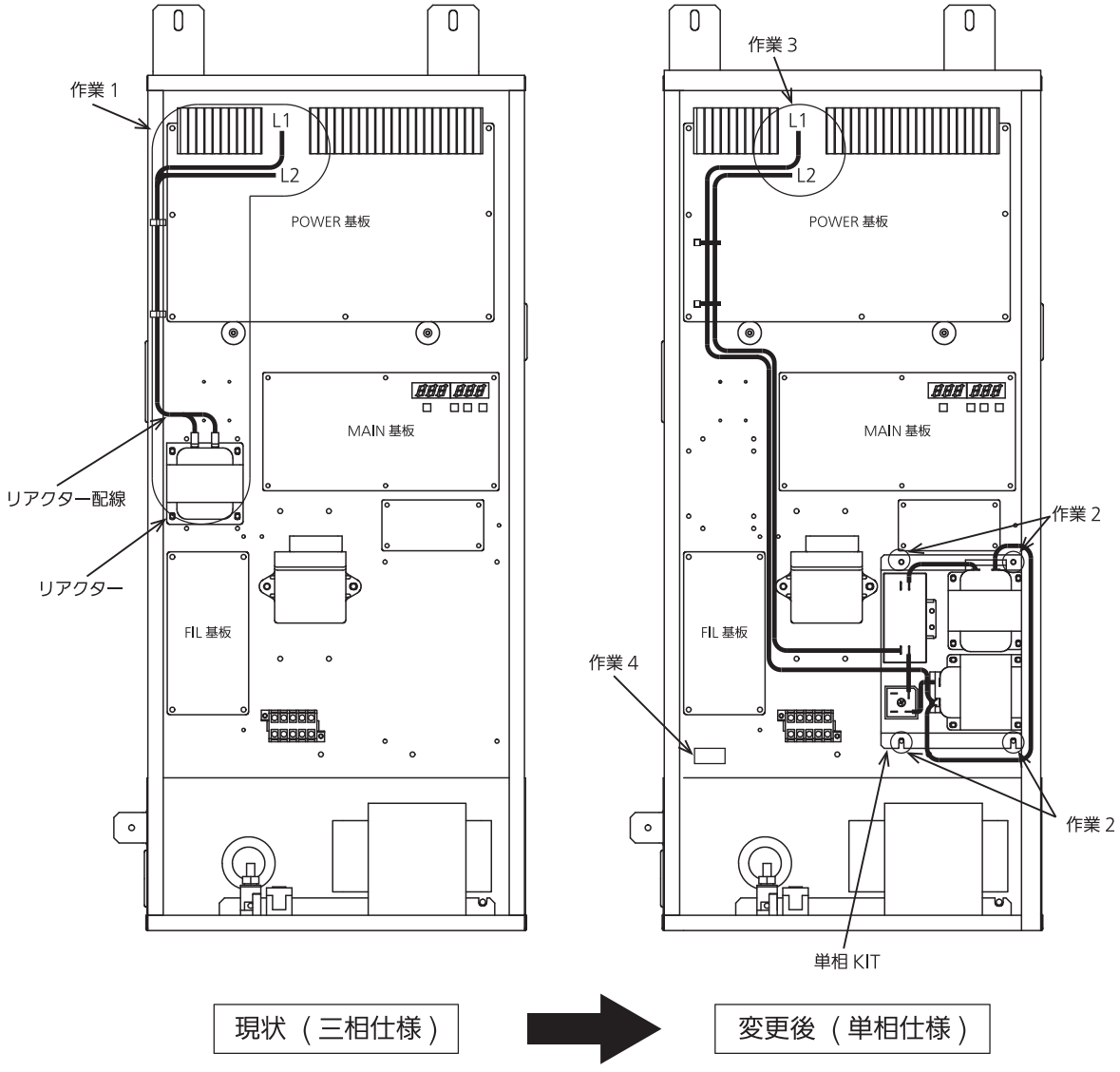
図10

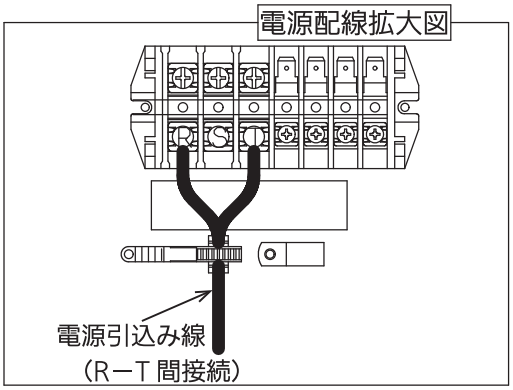
(2) 単相キット

CZ-GTK280U、CZ-GTK560U

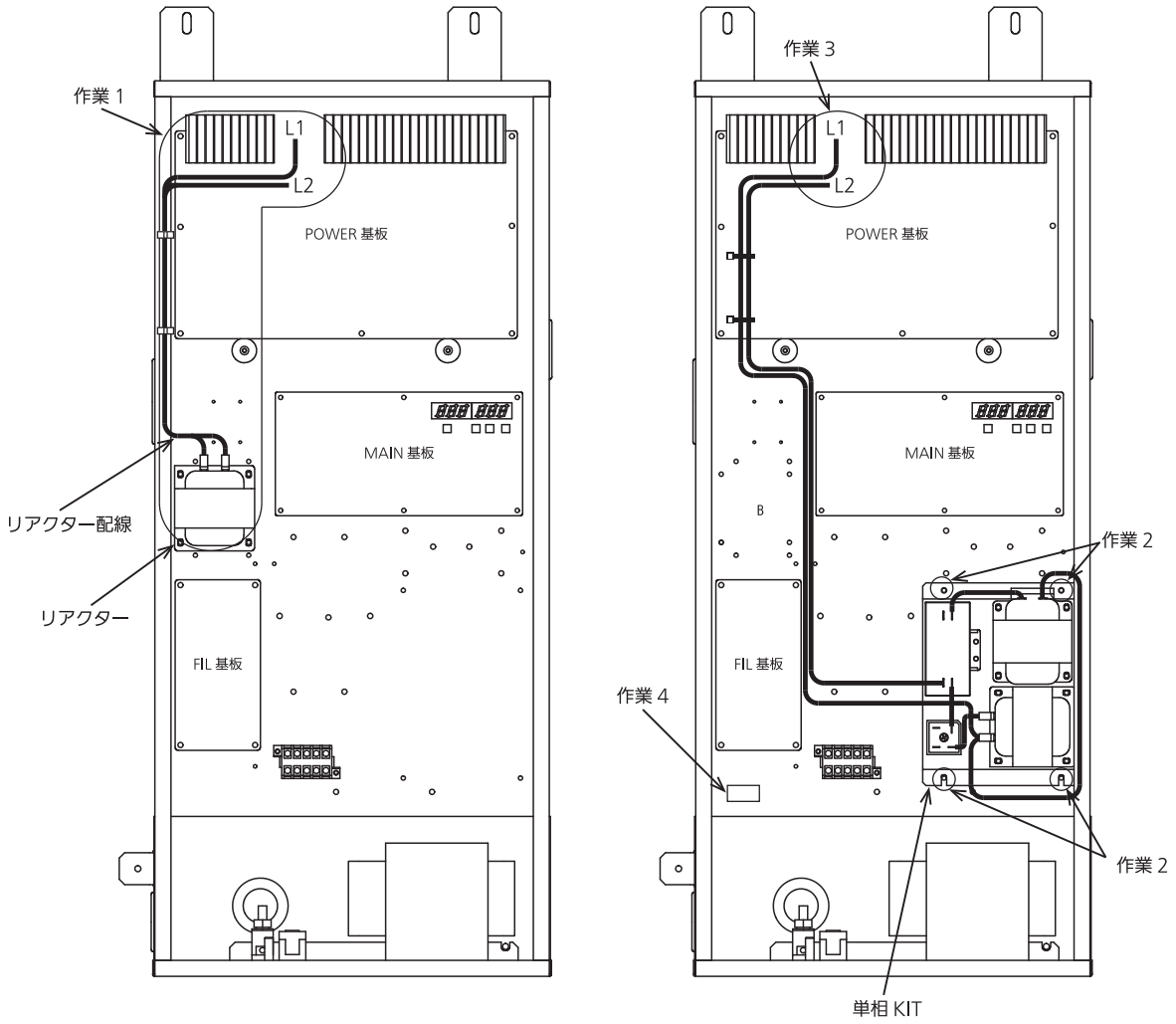
224･280･355･450U1　単相化作業手順

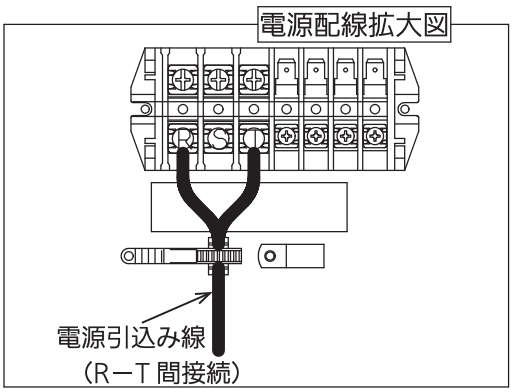
※224･280･355形は CZ-GTK280U を、450形は CZ-GTK560U を使用





560･710･850U1　単相化作業手順





配線容量 (電源配線は 600V ビニール配線・IV 線を使用基準とし、現地手配となります。)

区　分			三相 200V			単相 200V		
型　式			224 ～ 355	450 ～ 710	850	224 ～ 355	450 ～ 710	850
スイッチ容量（A）		A	30					
ヒューズ容量（A）		A	15					
漏電遮断器	容量（A）	A	20					
	漏れ電流（mA）	mA	30					
	動作時間（sec）	sec	0.1 以下					
電源配線 (金属管・塩ビ管) 電圧降下基準 2%	電線最小太さ	㎟	2（65）	2（35）	2（29）	2（39）	2（17）	2（14）
	こう長 25m 迄	㎟	2	2	2	2	3.5	3.5
	50m 迄	㎟	2	3.5	3.5	3.5	8	8
	75m 迄	㎟	3.5	5.5	5.5	5.5	14	14
	100m 迄	㎟	3.5	8	8	5.5	14	14
アース線太さ		㎟	2	2	2	2	2	2
ユニット間操作線太さ (室内外間)		㎟	0.5 ～ 2 (総延長 1,000m まで)					

※電線最小太さの ( ) 内数値は、その最大こう長（m）を表します。

※室外側の電源わたり配線はできません。

※室内側の配線容量は含みません。室内側に総合電源引込みを行う事はできませんのでご注意ください。

※電源側漏電遮断機の選択については保護協調をとられることを推奨します。

※本項に記載がない内容については「電気設備技術基準」「内線規程」に従って電気工事を実施してください。

注 1. 元電源を切った後、作業を行ってください。 **(室外機の漏電遮断器ではなく、元電源を必ず切ること。)**

注 2. 電源配線は必ず R－T に配線してください。 **(誤配線すると漏電遮断器が働きません。)**

作業 1：リアクターと POW 基板間のリアクター配線を POW 基板から外し、
リアクターも取り外してください。

注 3. POW 基板上の L1、L2 端子はポジティブロック端子です。(無理して引っ張ると基板を壊します。)
必ず端子の樹脂ケースを押さえて引き抜くこと。

作業 2：単相 KIT を付属のビス 4 本で固定してください。

作業 3：POW 基板の L1 端子に単相 KIT の白配線を接続します。
POW 基板の L2 端子に単相 KIT の黄配線を接続します。

注 4. L1、L2 端子には極性があるため、絶対に白と黄の配線は誤配線しないこと。
(誤配線すると部品が破壊されます。)

作業 4：CAUTION LABEL（ACXF75-04600)「単相に改造済」を貼ります。

作業 5：電源端子台の各 R，S，T とアース間でそれぞれ絶縁抵抗を測ります。(10MΩ以上であること。)

作業 6：元電源を入れて MAIN 基板の DOWN・UP キーを押して、NO.10 First を選択します。
First の中の項目 Sou を 0 から 1 へ変更してください。

作業後：試運転確認を行ってください。

(3) 遠隔監視アダプター取付金具 (CZ-CAPMB)

Panasonic®

据付工事説明書

遠隔監視アダプター取付金具

品番：CZ-CAPMB

適用ユニット　GHP室外ユニット（U形）

●取り付け工事の前にユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	⚠注意
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

必ず守る

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、水漏れ、感電、火災などの原因）
■ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する
（感電・火災等の原因）
■ 据付工事は、ユニットの「据付工事説明書」に従って行う
（感電・火災等の原因）
■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）
■ 配線は、所定のケーブルを確実に接続し、端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないように固定する
（発熱・火災等の原因）
■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する
（冷媒ガスが溶接バーナー等の火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
■ 据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
（冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
■ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う
● 電気設備に関する技術基準
● 内線規程
● 据付工事説明書
（感電・火災の原因）
■ 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う
（感電の原因）

禁止

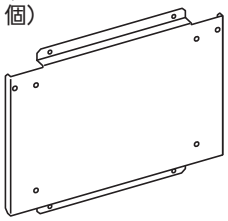
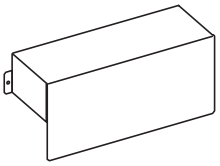
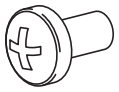
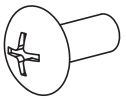
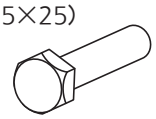
■ 改造・改修は絶対にしない
（修理はお買い上げの販売店または専門業者にご相談ください。故障や感電、火災の原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、各説明書に記載されていない本体および付属品への追加工、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

Printed in Japan
ACXF60-40311
BE0320-11121

1．付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

金具 A （1 個） 	金具 B （1 個） 	ドリルねじ（M4×10） （4 個） 	ねじ（M4×10） （2 個） 
		ボルト（M5×25） （4 個） 	平ワッシャ（呼び 5） （4 個）

2．取り付け位置

■ 取り付け位置の選定に関しては、遠隔監視アダプター本体付属の説明書をよくお読みください。
■ 金具Bにより本体に直射日光を当たりにくくしていますが、なるべく北向きの面へ取り付けてください。
■ 機種により取り付け可能範囲が異なりますので、図2『取り付け可能範囲図』をご覧ください。

3．取り付け手順

図1『取り付け状態図』を参照してください。

①取り付け位置を決めたら「金具A」を「ドリルねじ」で固定します。
②遠隔監視アダプターを「金具A」に「ボルト」「平ワッシャ」で取り付けます。
③「金具B」を「金具A」に「ねじ」で取り付けます。

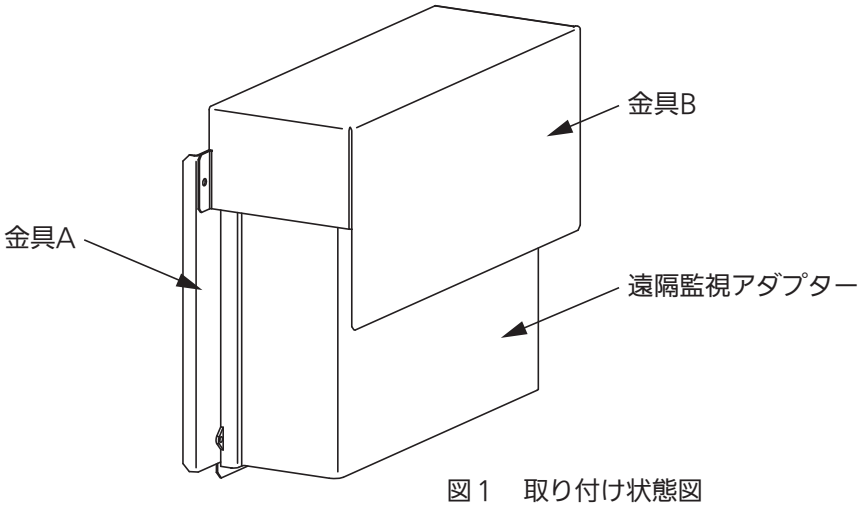


図 1　取り付け状態図

※通信線の引き込みは、ユニット配線口を利用してください。
　通信線引き込みのために、パネルに穴を開けないでください。
　雨水侵入による機器故障の原因となります。

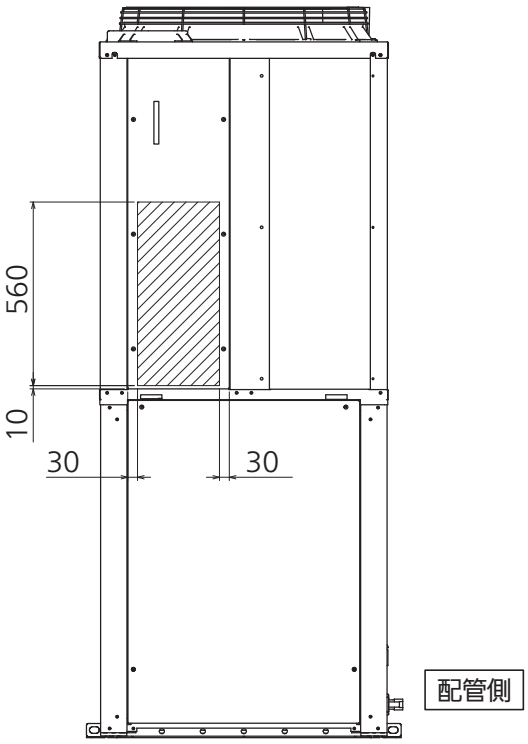
4. 取り付け可能範囲

図2『取り付け可能範囲図』をご覧ください。

斜線部が取り付け可能範囲です。

※G1形以降で図2に取り付け可能範囲が記載されていない機種は、お買い上げの販売店またはサービス会社へお問い合わせください。

■ GHP室外ユニット＜U形＞



左側面へも同寸法で取り付け可能です。

図 2　取り付け可能範囲図

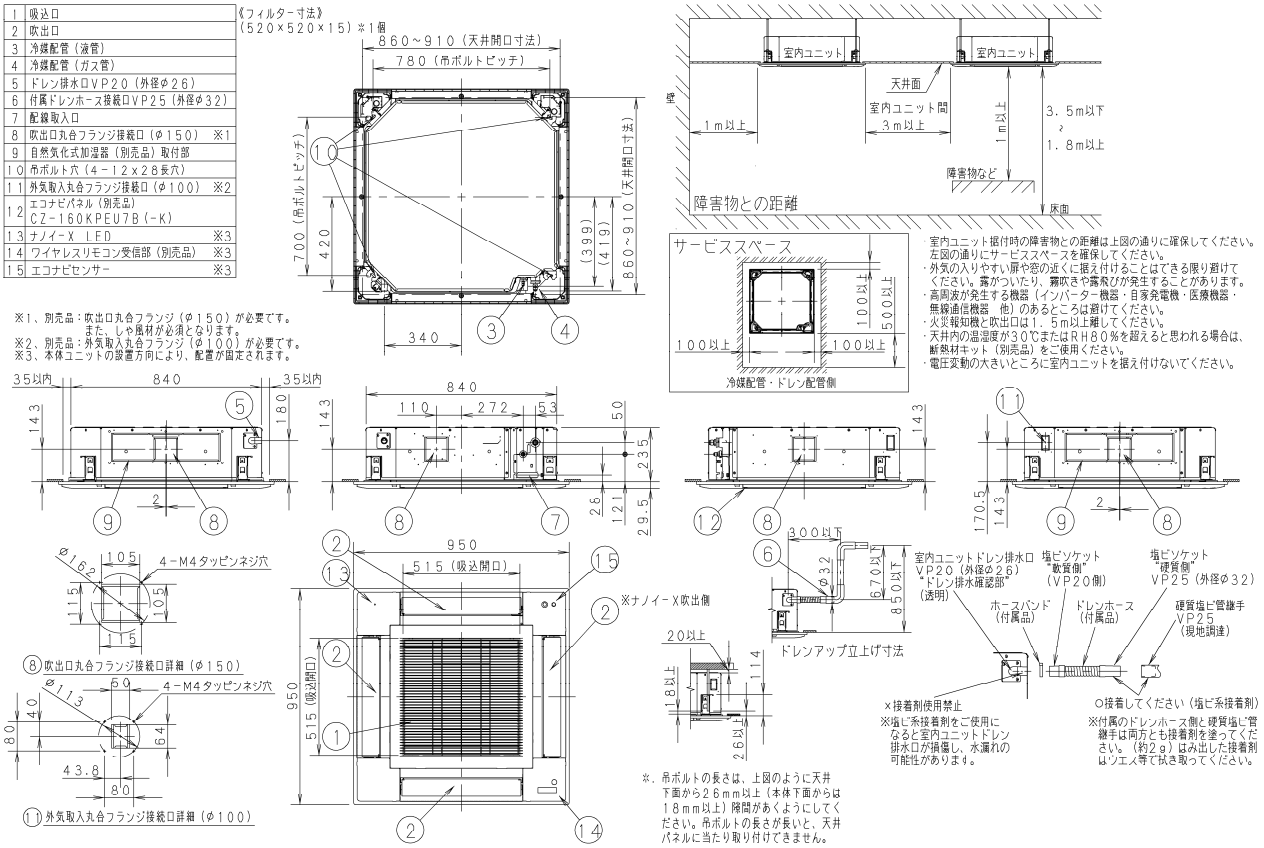
■エコナビパネル（CZ-160KPEU7B）

●S-G28 ～ 56UU1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
13	ナノイー X LED　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
15	エコナビセンサー　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

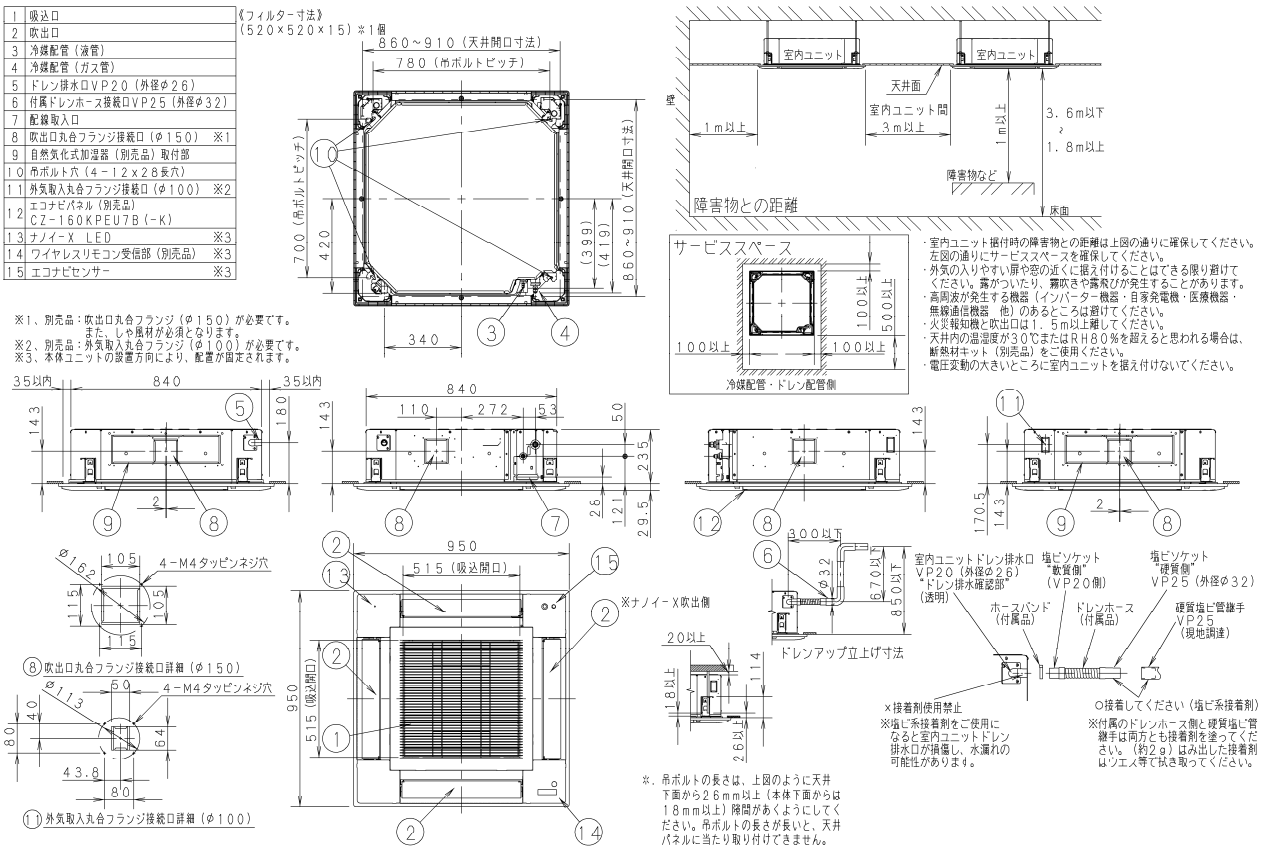
■エコナビパネル（CZ-160KPEU7B）

●S-G71･80UU1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
13	ナノイー X LED　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
15	エコナビセンサー　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

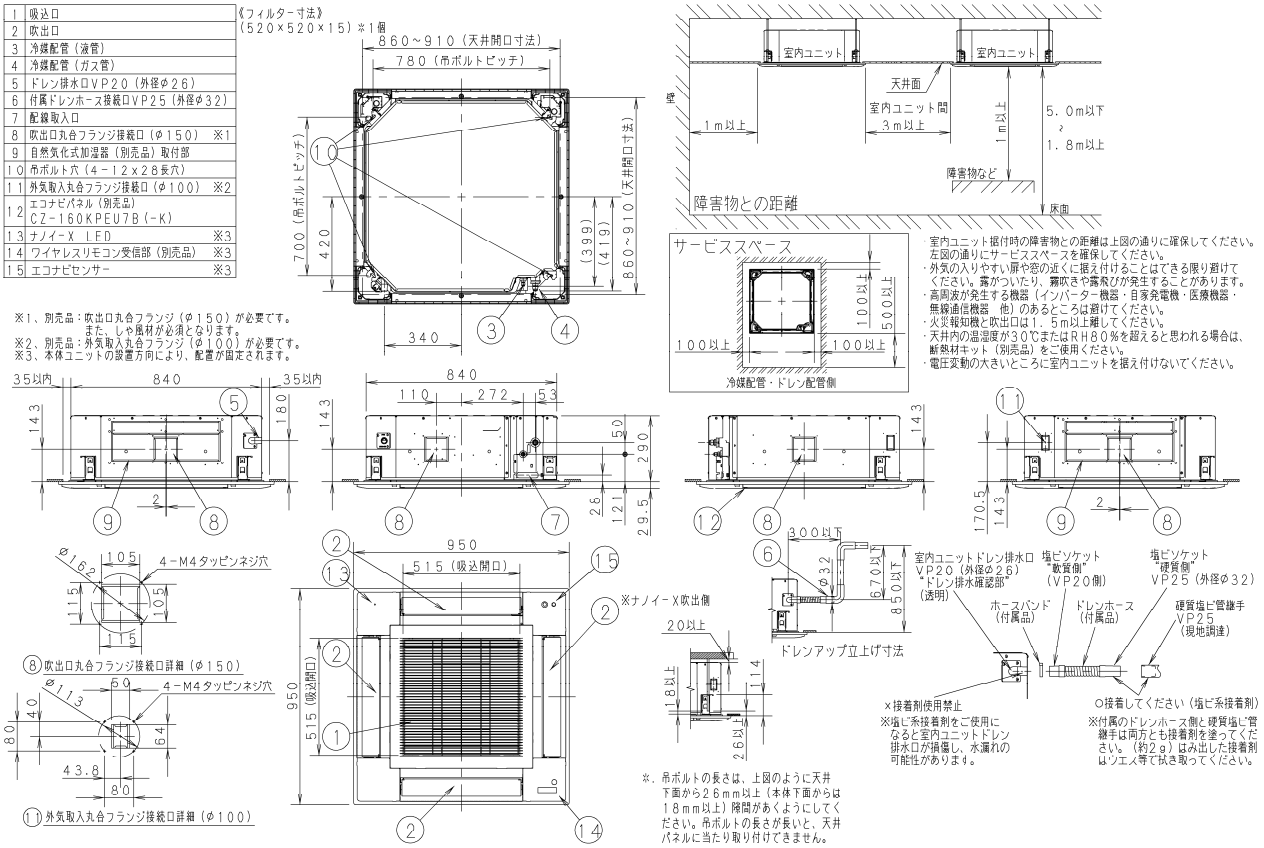


※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

■エコナビパネル（CZ-160KPEU7B）

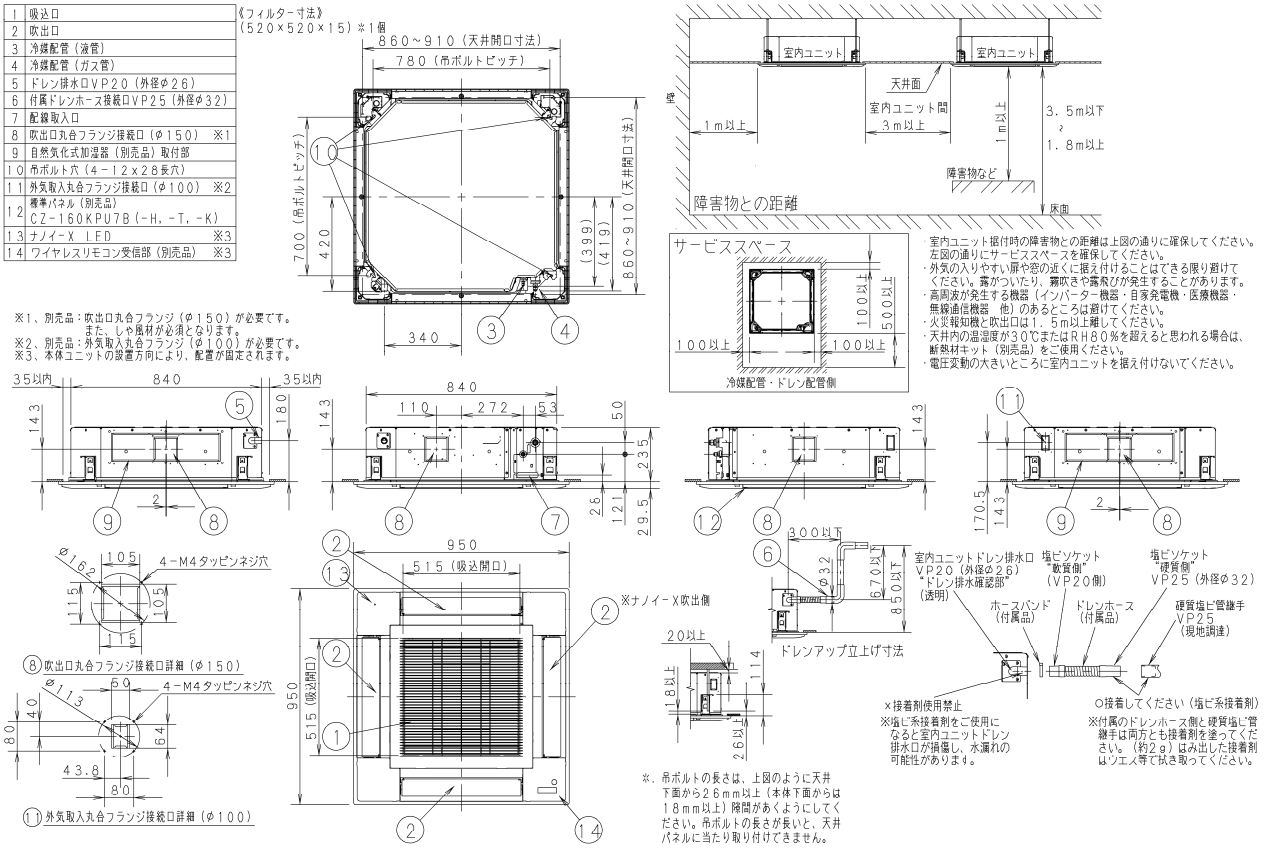
●S-G90 ～ 160UU1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	エコナビパネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＰＥＵ７Ｂ（－Ｋ）
13	ナノイー Ｘ ＬＥＤ　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
15	エコナビセンサー　※3



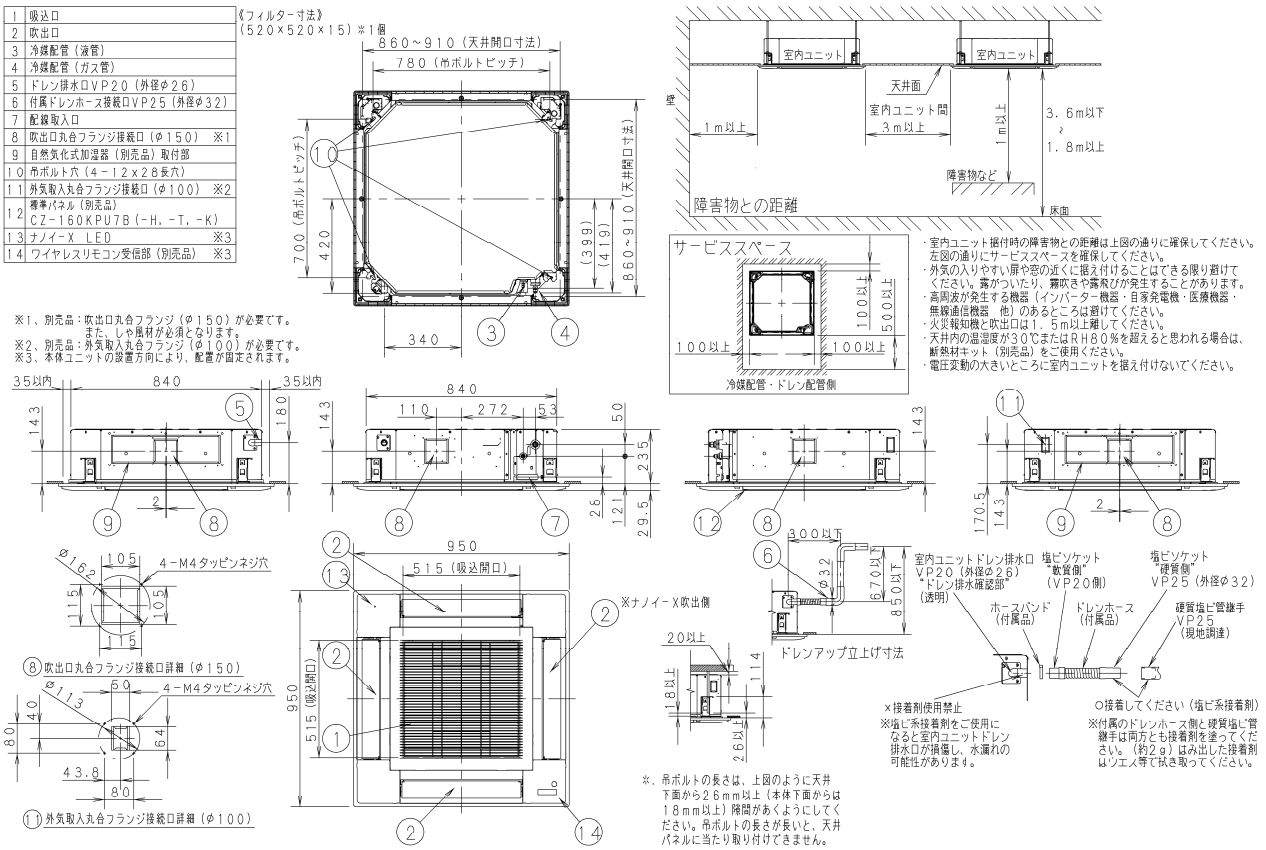
■標準パネル（CZ-160KPU7B）

●S-G28 ～ 56UU1



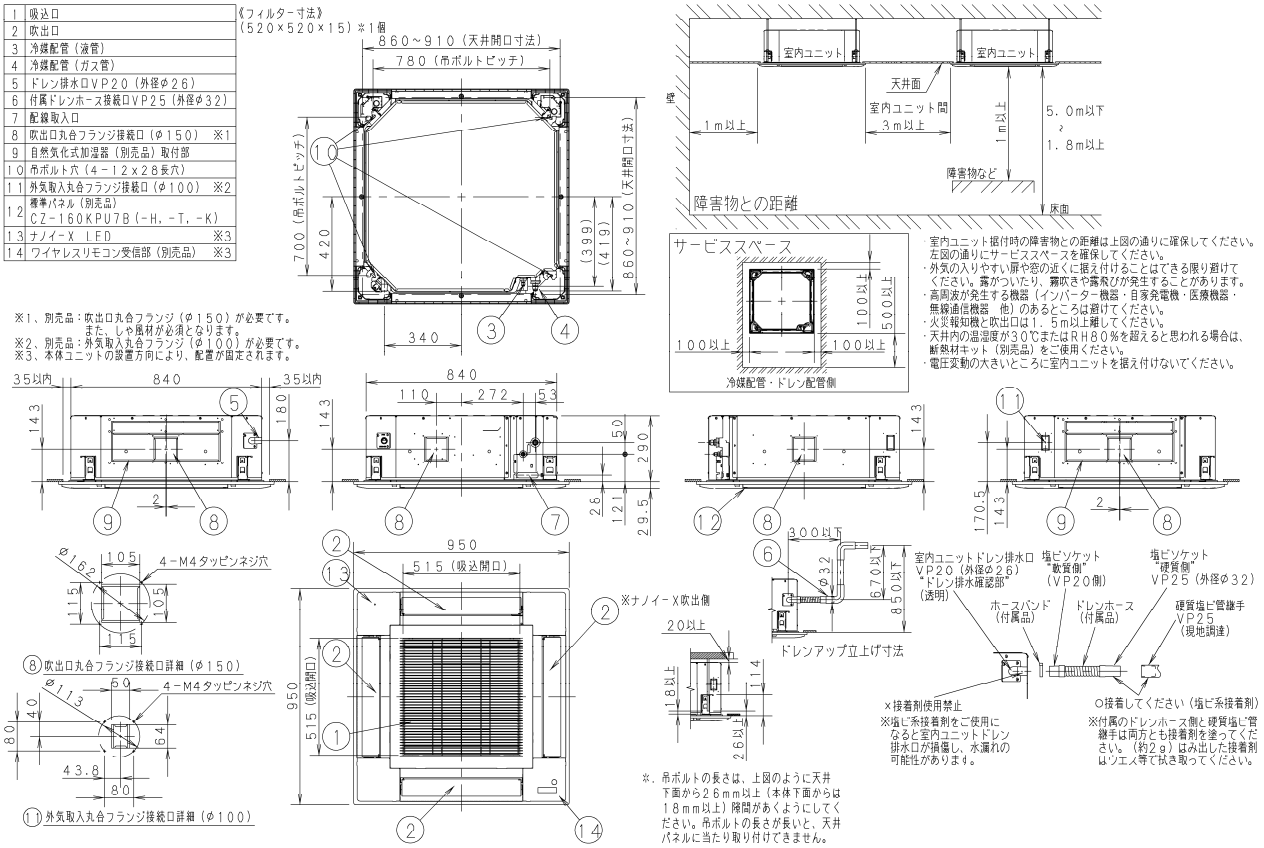
■標準パネル（CZ-160KPU7B）

●S-G71･80UU1



■標準パネル（CZ-160KPU7B）

●S-G90 ～ 160UU1

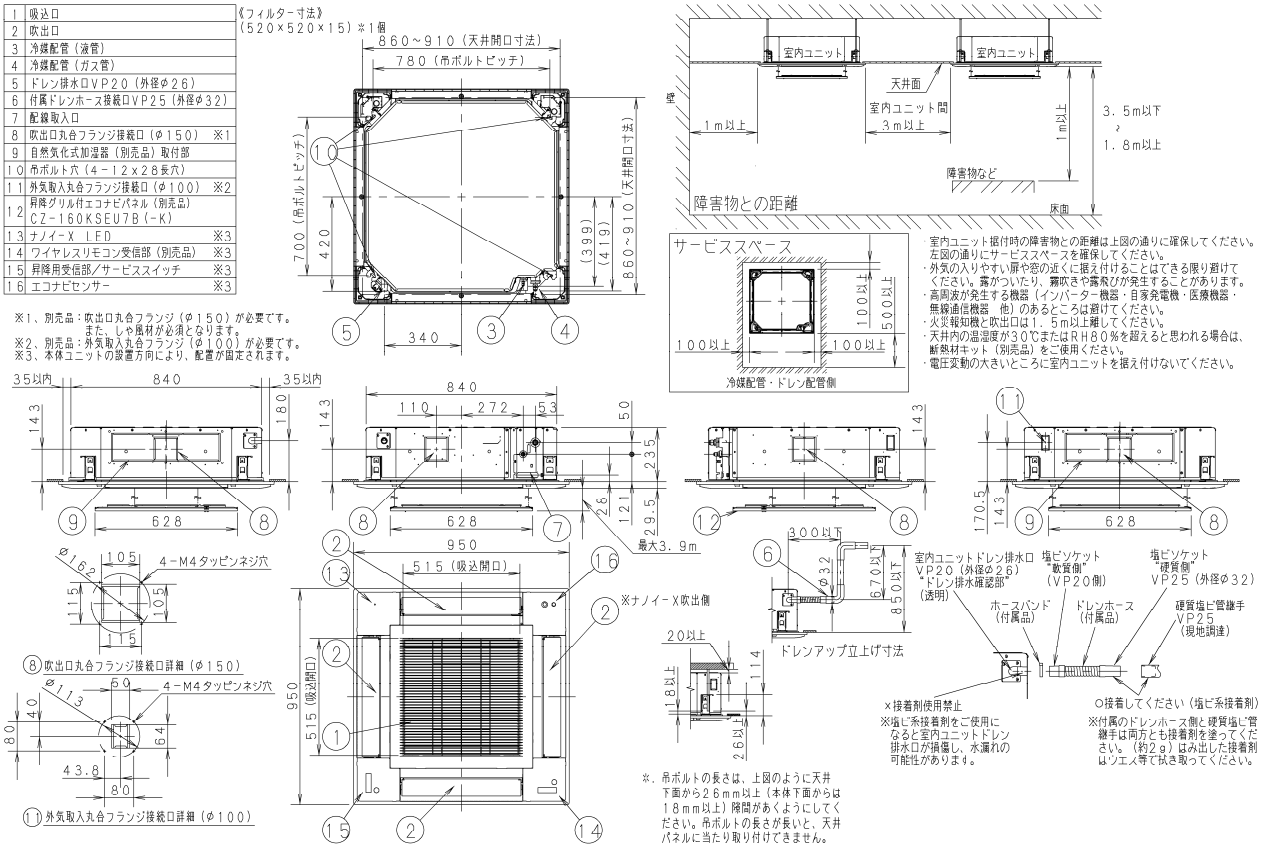


■昇降グリル付エコナビパネル（CZ-160KSEU7B）

●S-G28 ～ 56UU1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	昇降グリル付エコナビパネル（別売品）CZ-160KSEU7B(-K)
13	ナノイー X LED　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
15	昇降用受信部／サービススイッチ　※3
16	エコナビセンサー　※3

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

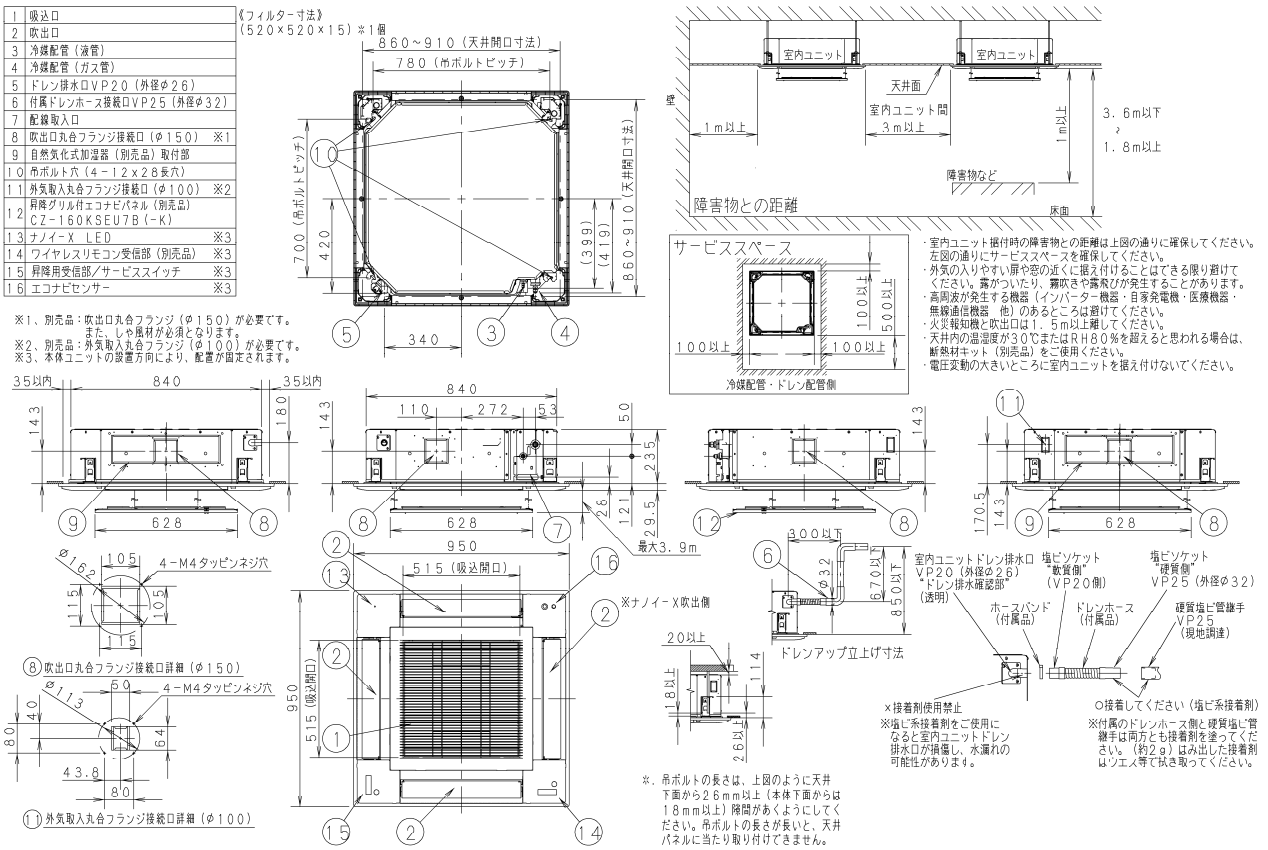


■昇降グリル付エコナビパネル（CZ-160KSEU7B）

●S-G71･80UU1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	昇降グリル付エコナビパネル（別売品）CZ-160KSEU7B(-K)
13	ナノイー X LED　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
15	昇降用受信部／サービススイッチ　※3
16	エコナビセンサー　※3

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

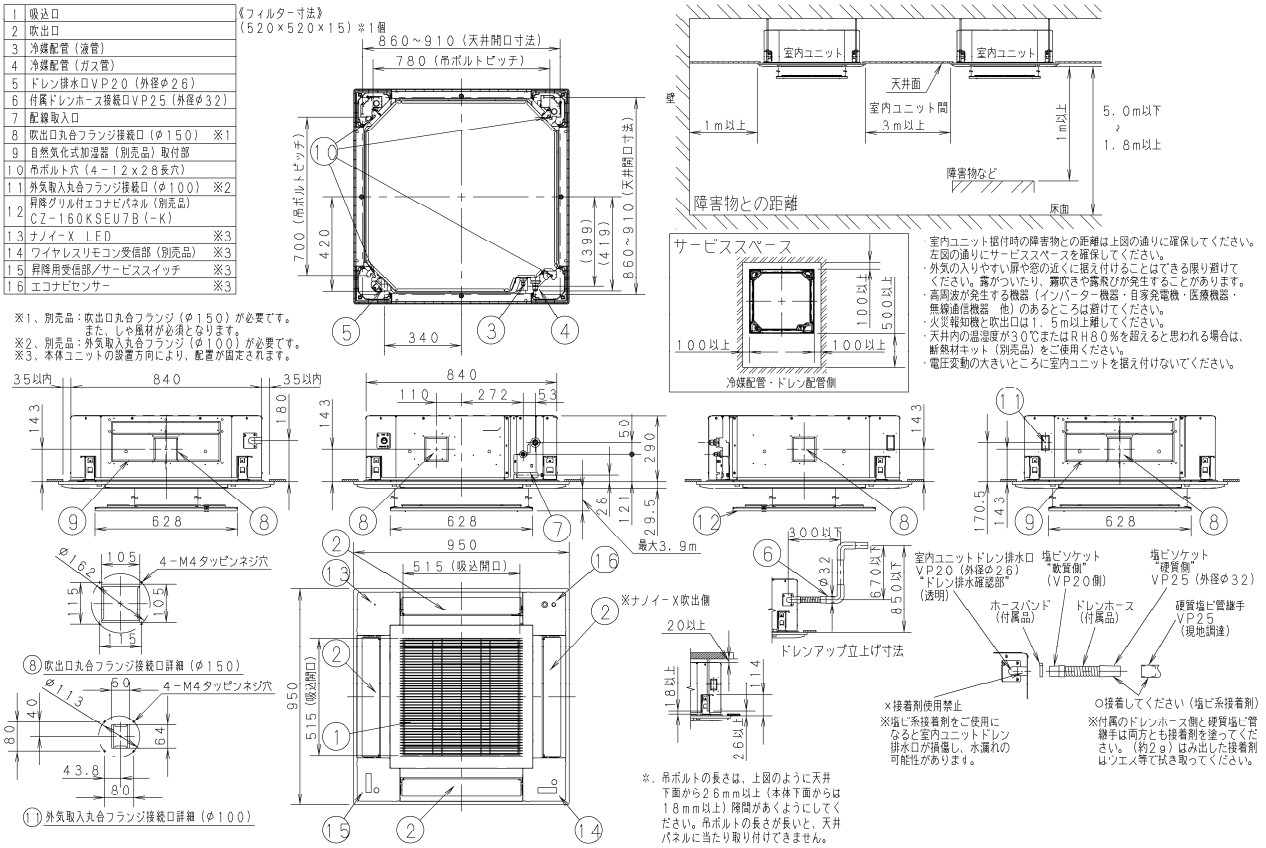


■昇降グリル付エコナビパネル（CZ-160KSEU7B）

●S-G90 ～ 160UU1

1	吸込口	
2	吹出口	
3	冷媒配管（液管）	
4	冷媒配管（ガス管）	
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）	
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）	
7	配線取入口	
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）	※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部	
10	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）	
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）	※2
12	昇降グリル付エコナビパネル（別売品）ＣＺ－１６０ＫＳＥＵ７Ｂ（－Ｋ）	
13	ナノイー Ｘ ＬＥＤ	※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）	※3
15	昇降用受信部／サービススイッチ	※3
16	エコナビセンサー	※3

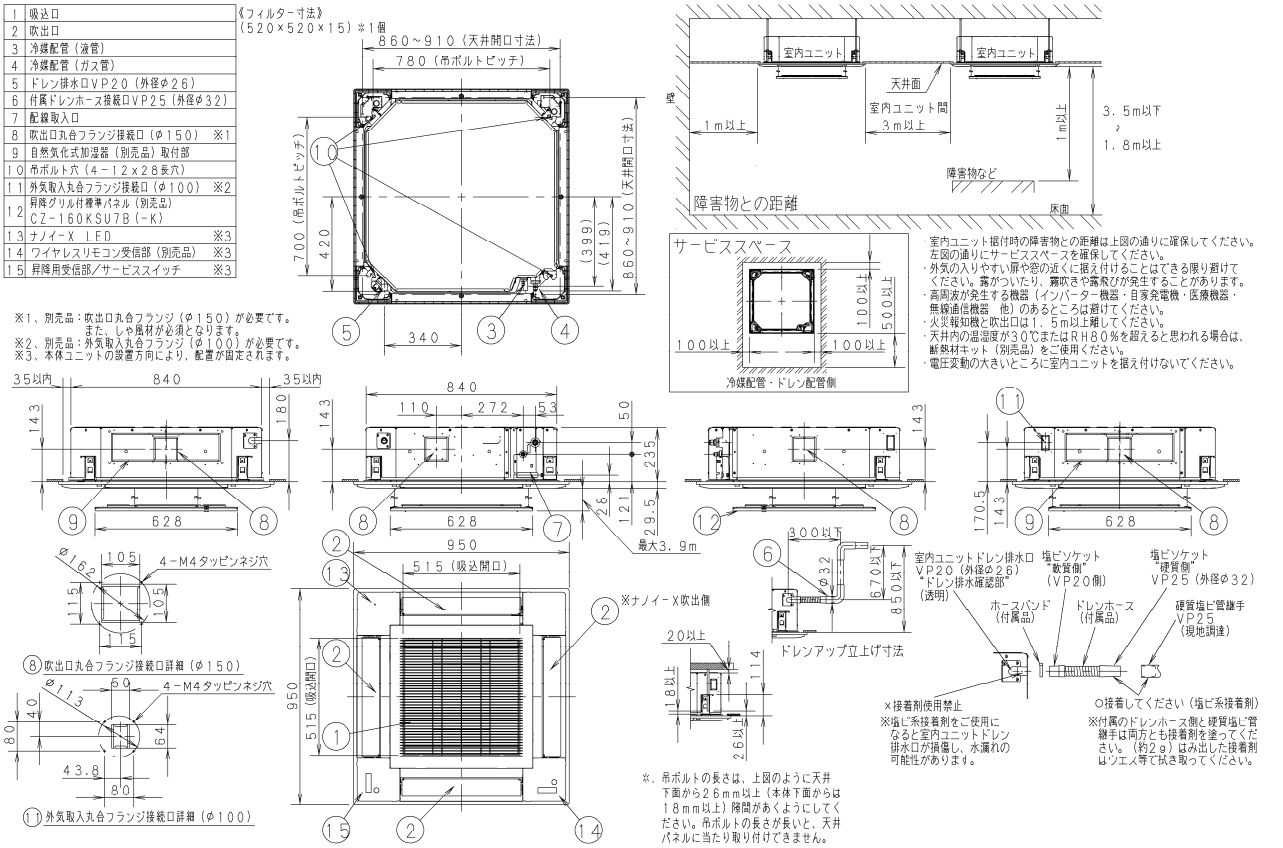
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



■昇降グリル付標準パネル（CZ-160KSU7B）

●S-G28 ～ 56UU1

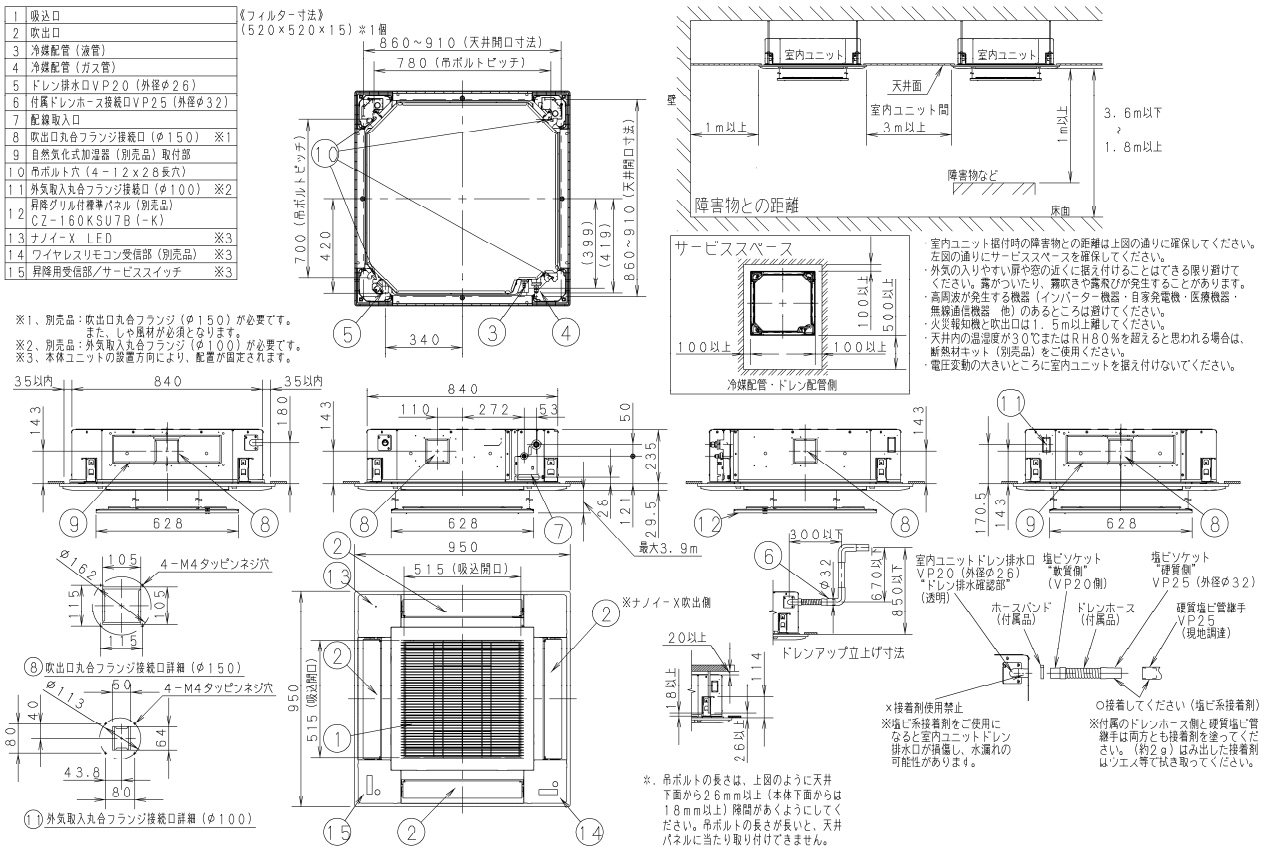
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	昇降グリル付標準パネル（別売品）CZ－160KSU7B（－K）
13	ナノイー X LED　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
15	昇降用受信部／サービススイッチ　※3



■昇降グリル付標準パネル（CZ-160KSU7B）

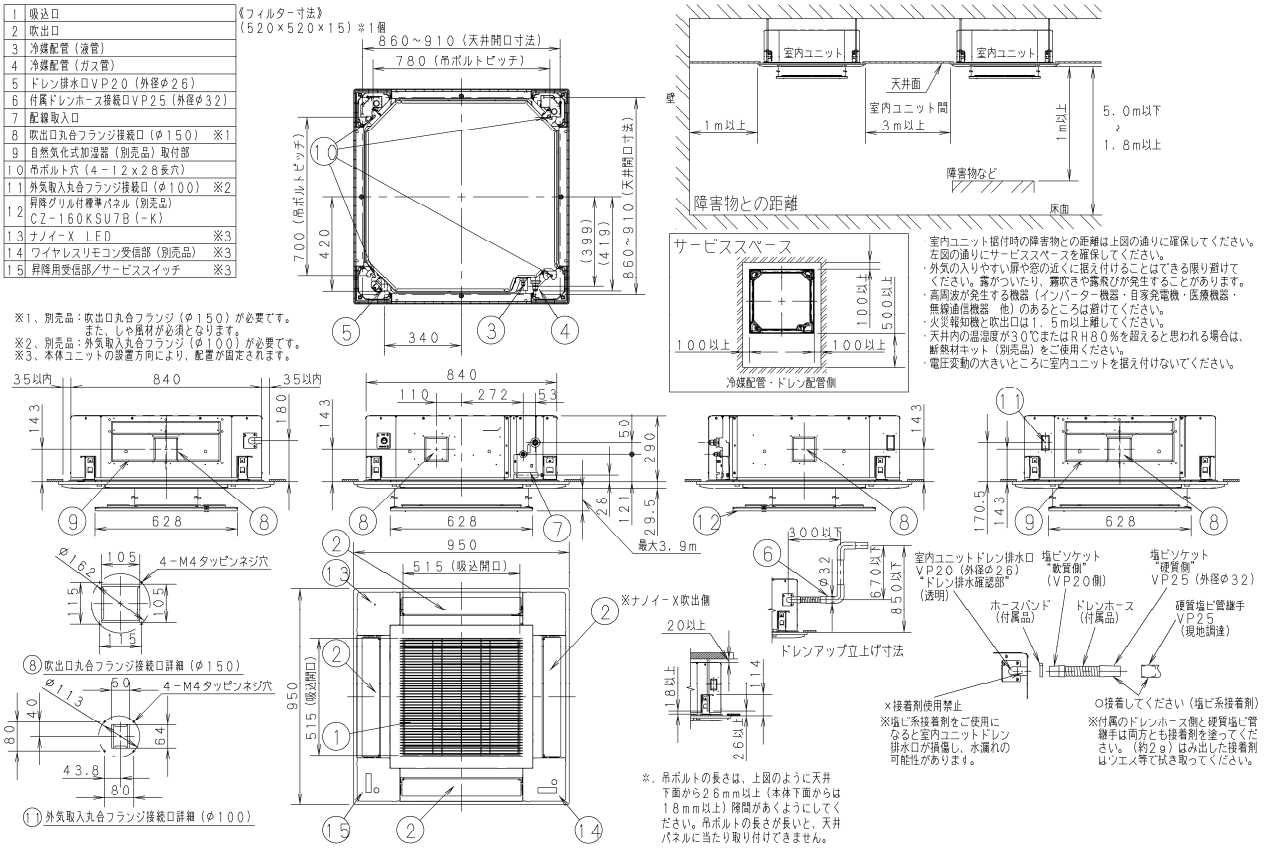
●S-G71･80UU1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	昇降グリル付標準パネル（別売品）CZ－160KSU7B（－K）
13	ナノイー X LED　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
15	昇降用受信部／サービススイッチ　※3



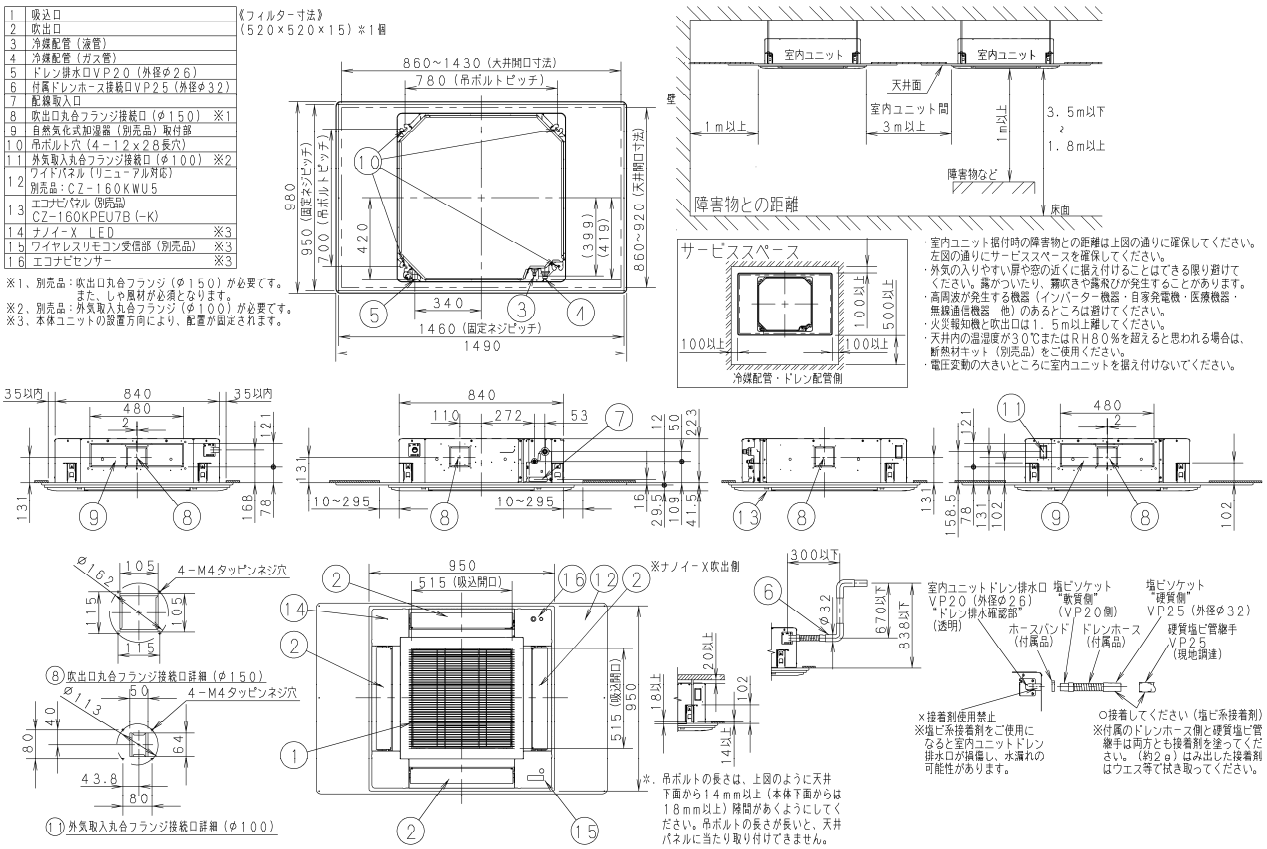
■昇降グリル付標準パネル（CZ-160KSU7B）

●S-G90 ～ 160UU1



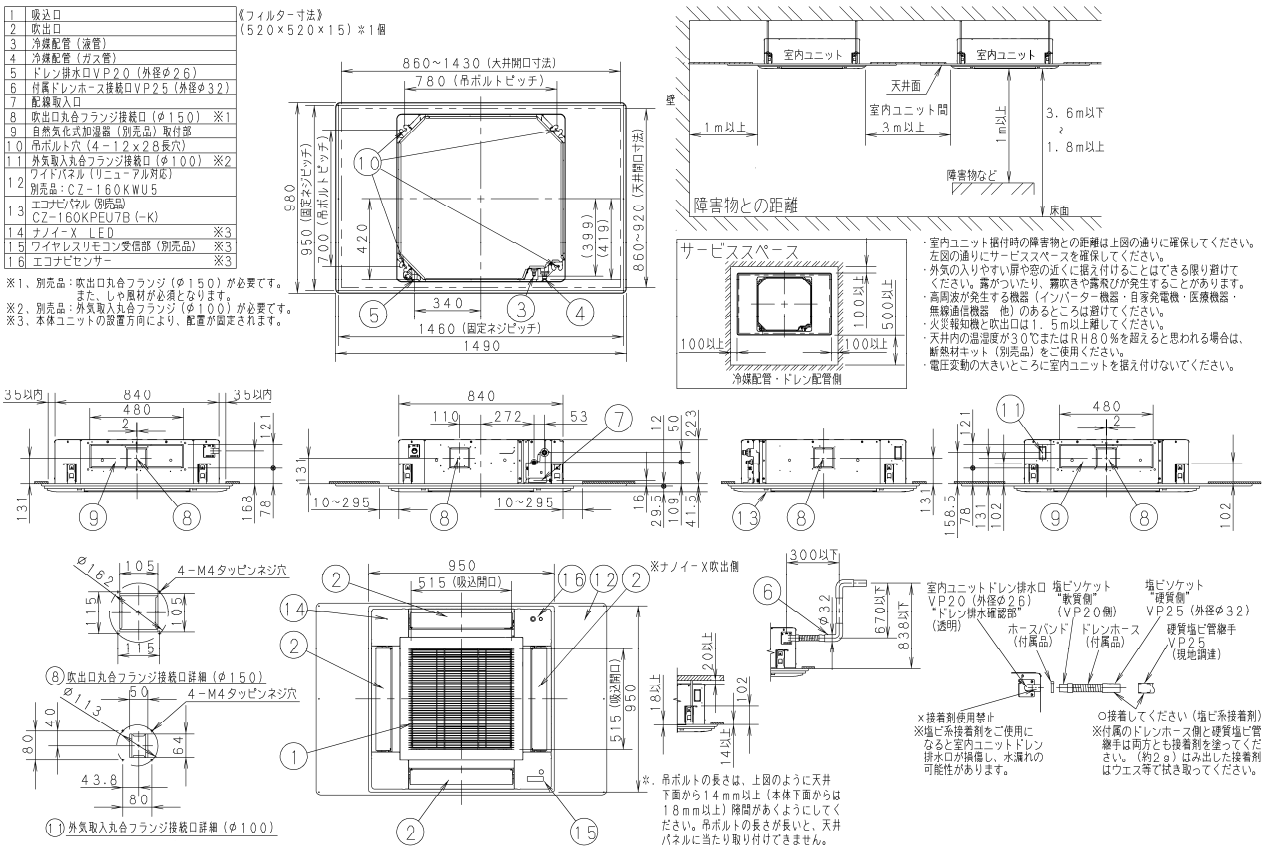
■ワイドパネル（CZ-160KWU5）

●S-G28 ～ 56UU1（エコナビパネル）



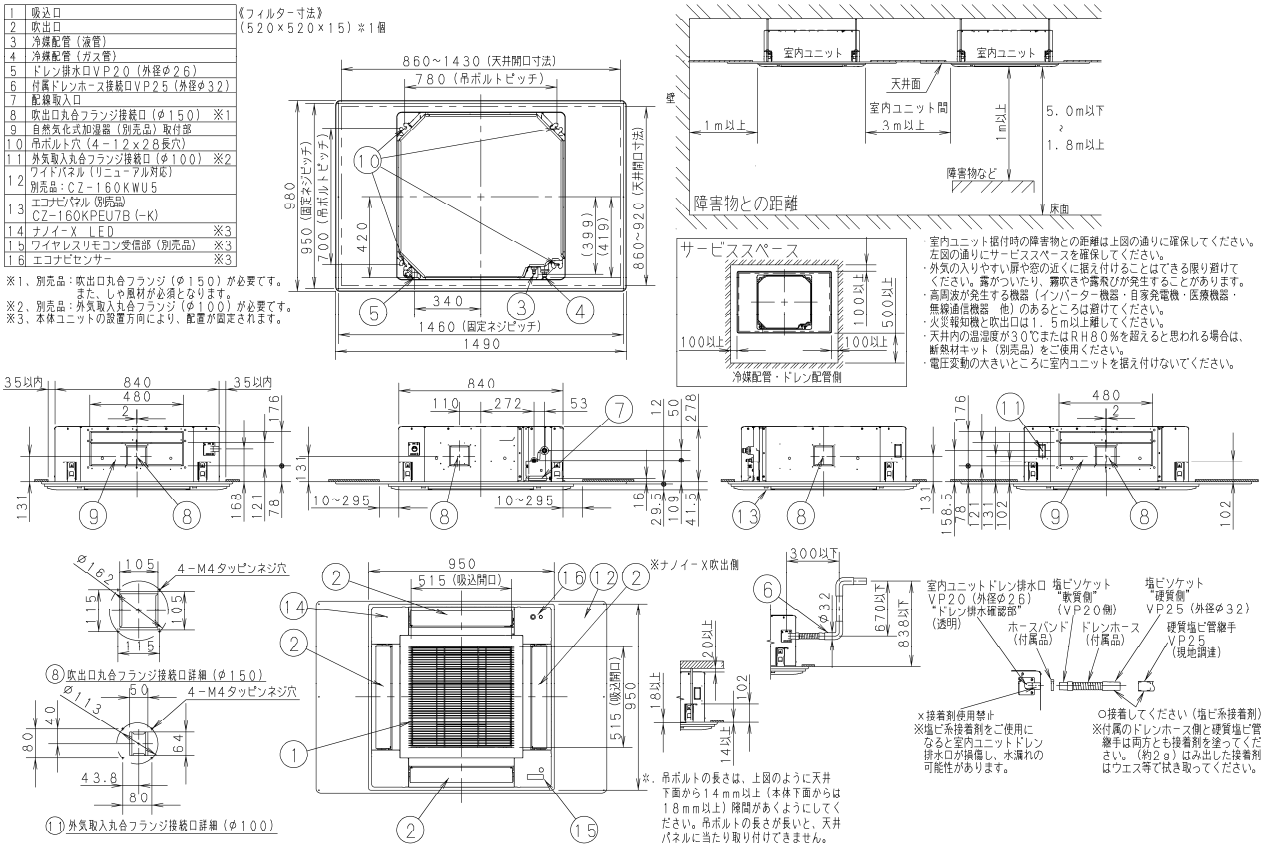
■ワイドパネル（CZ-160KWU5）

●S-G71･80UU1（エコナビパネル）



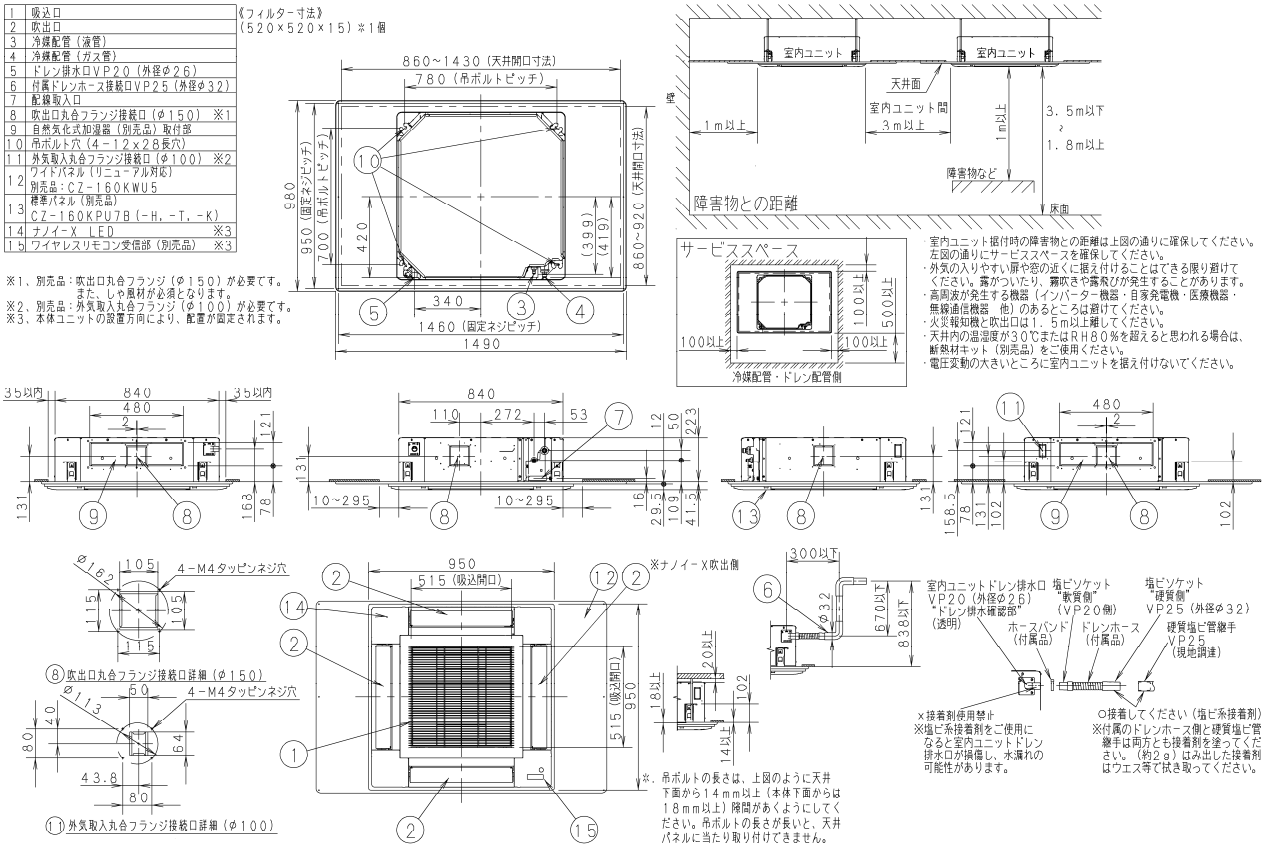
■ワイドパネル（CZ-160KWU5）

●S-G90 ～ 160UU1（エコナビパネル）



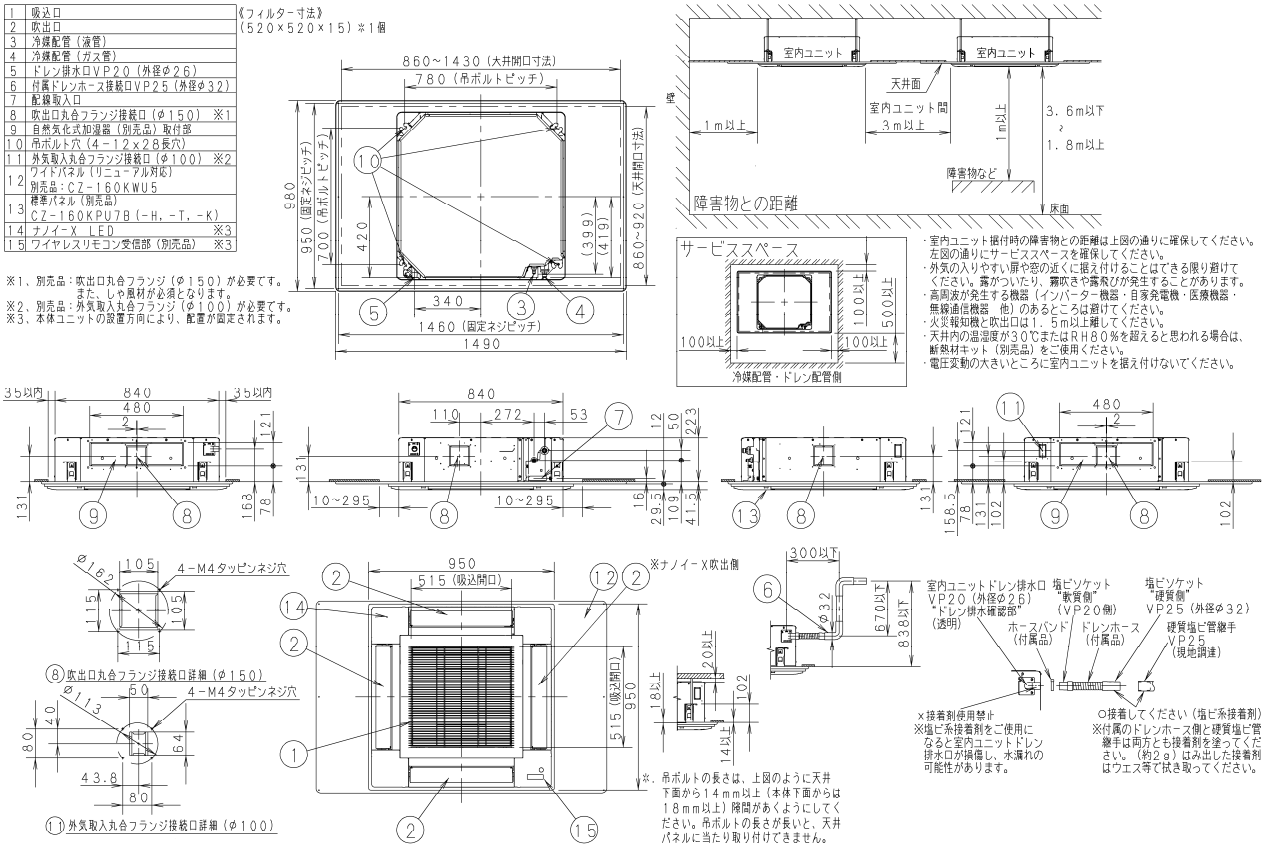
■ワイドパネル（CZ-160KWU5）

●S-G28 ～ 56UU1（標準パネル）



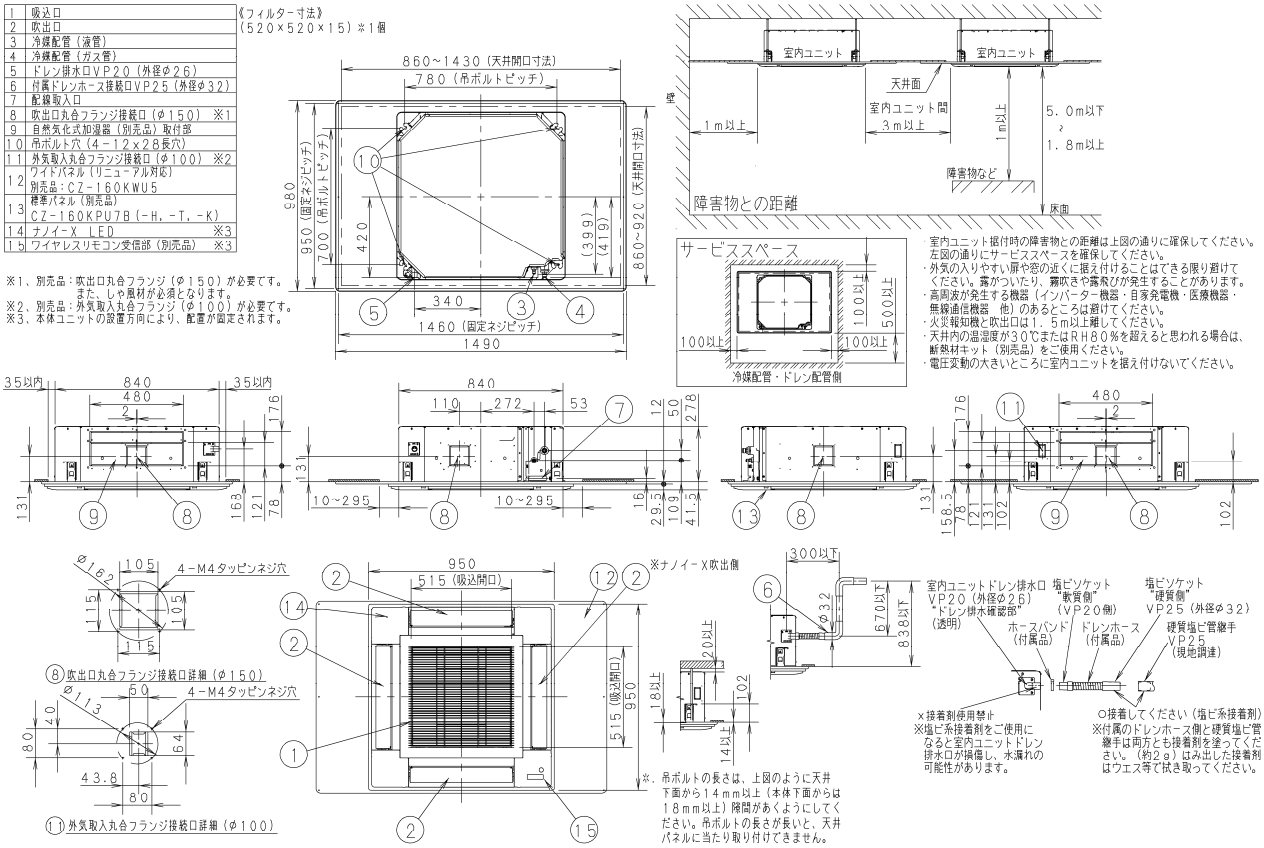
■ワイドパネル（CZ-160KWU5）

●S-G71･80UU1（標準パネル）



■ワイドパネル（CZ-160KWU5）

●S-G90 ～ 160UU1（標準パネル）

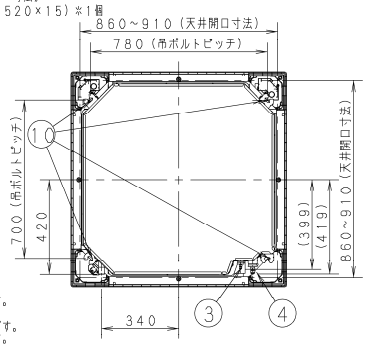


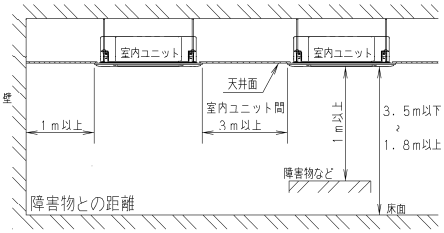
■オイルガードパネル（CZ-160KBU7）

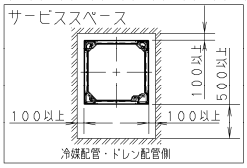
●S-G28 ～ 56UU1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	オイルガードパネル（別売品）CZ-160KBU7
13	ナノイーX LED　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

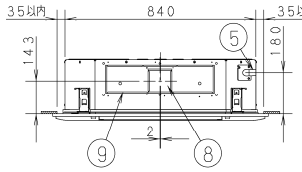


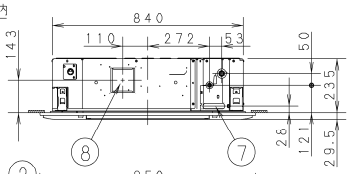


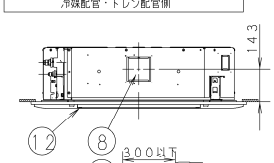


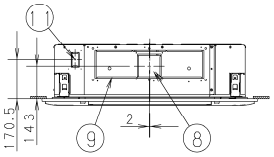
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

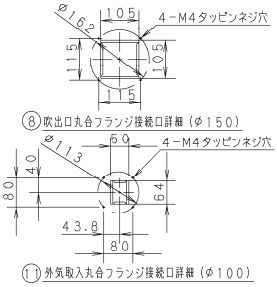
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

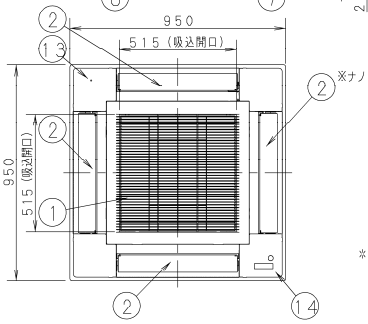


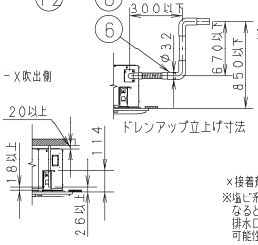


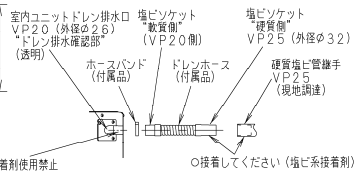












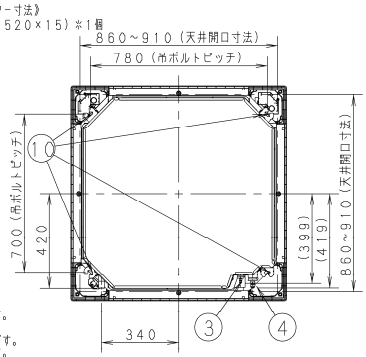
＊．吊ボルトの長さは、上図のように天井
下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは
１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてく
ださい。吊ボルトの長さが長いと、天井
パネルに当たり取り付けできません。

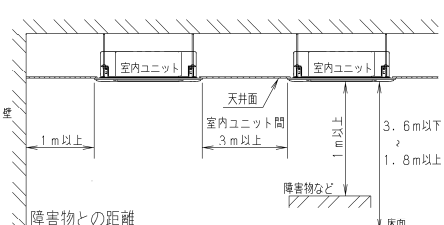
■オイルガードパネル（CZ-160KBU7）

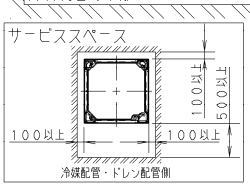
●S-G71･80UU1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	オイルガードパネル（別売品）CZ-160KBU7
13	ナノイーX LED　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

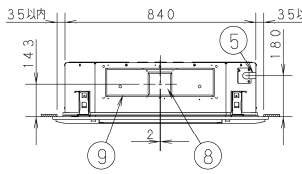


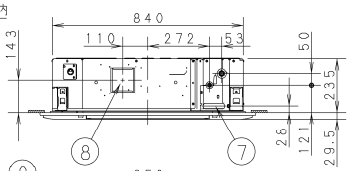


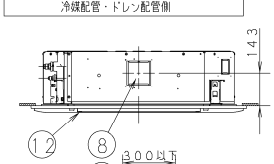


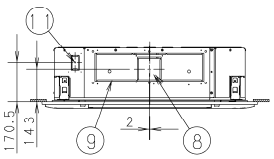
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

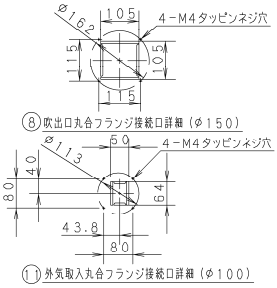
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

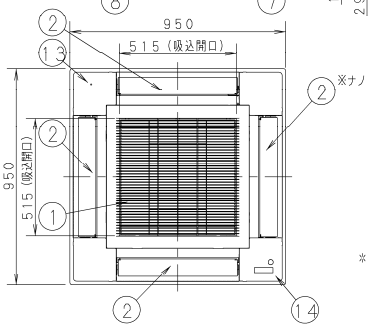


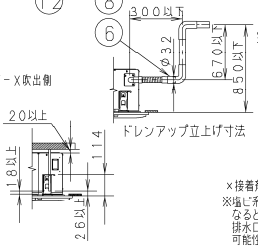


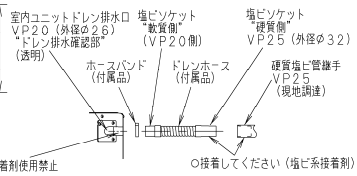








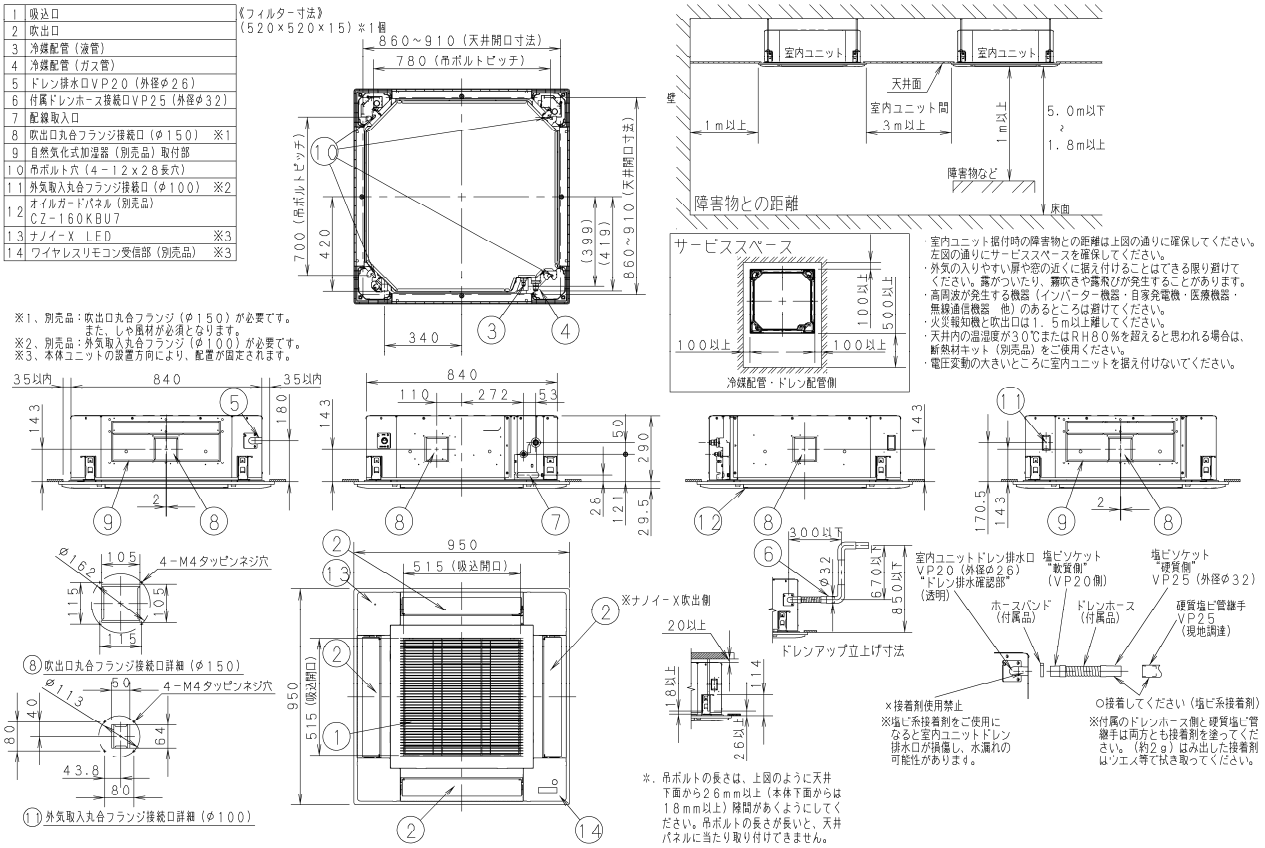




＊．吊ボルトの長さは、上図のように天井
下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは
１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてく
ださい。吊ボルトの長さが長いと、天井
パネルに当たり取り付けできません。

■オイルガードパネル（CZ-160KBU7）

●S-G90 ～ 160UU1



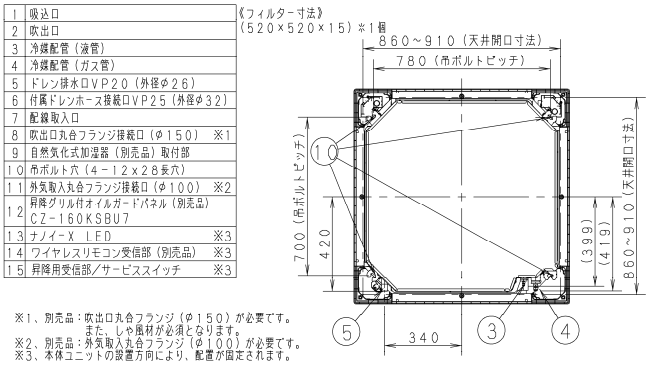
■昇降グリル付オイルガードパネル（CZ-160KSBU7）

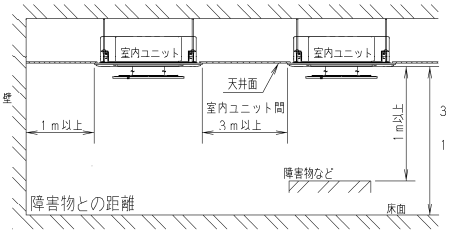
●S-G28 ～ 56UU1

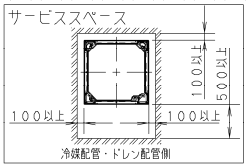
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	昇降グリル付オイルガードパネル（別売品）CZ-160KSBU7
13	ナノイーX LED　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
15	昇降用受信部／サービススイッチ　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

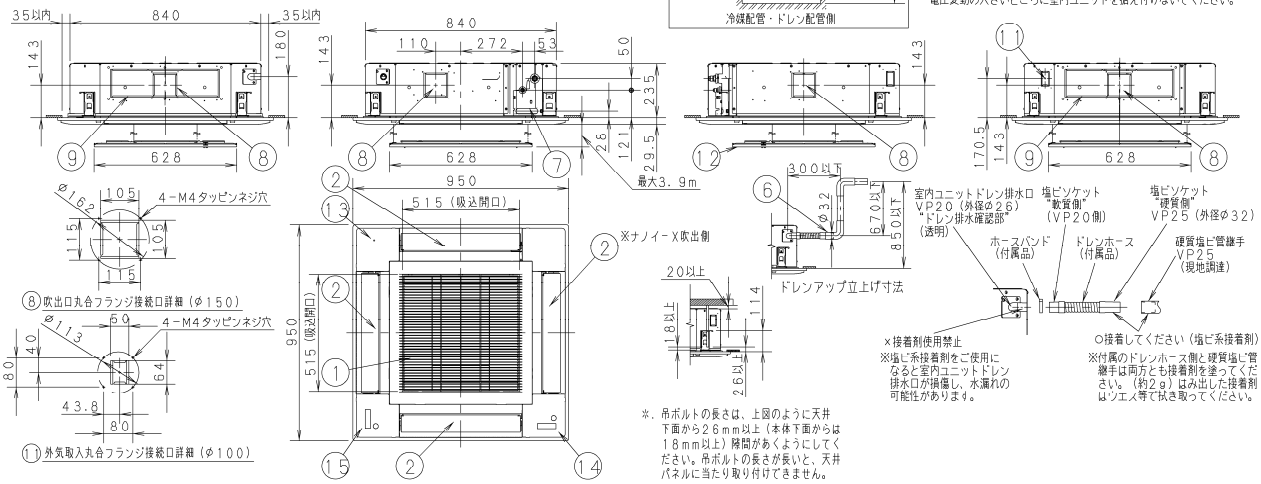
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。







・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
　ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
　無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
　断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



＊．吊ボルトの長さは、上図のように天井
　下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは
　１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてく
　ださい。吊ボルトの長さが長いと、天井
　パネルに当たり取り付けできません。

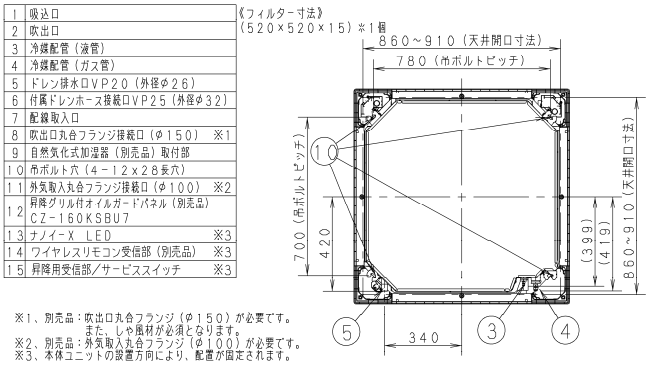
■昇降グリル付オイルガードパネル（CZ-160KSBU7）

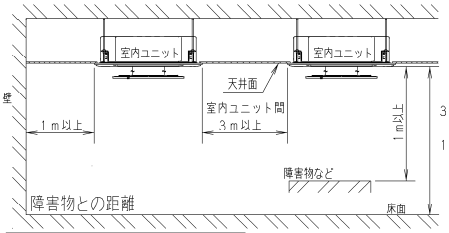
●S-G71･80UU1

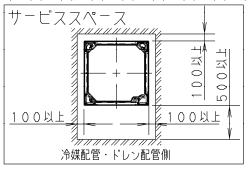
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	昇降グリル付オイルガードパネル（別売品）CZ-160KSBU7
13	ナノイーX LED　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
15	昇降用受信部／サービススイッチ　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

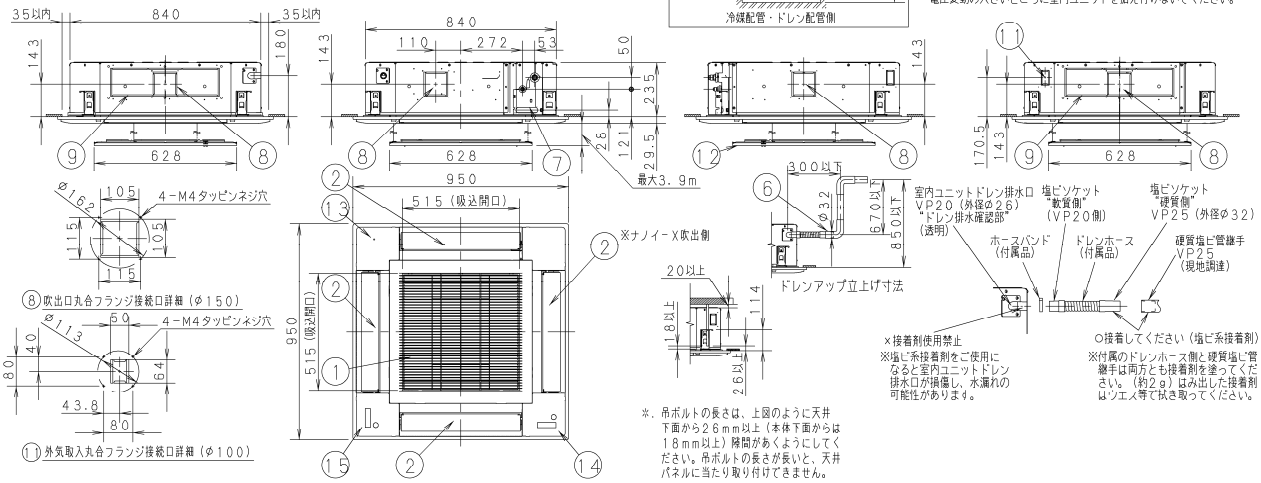
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。







・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
　ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
　無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
　断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

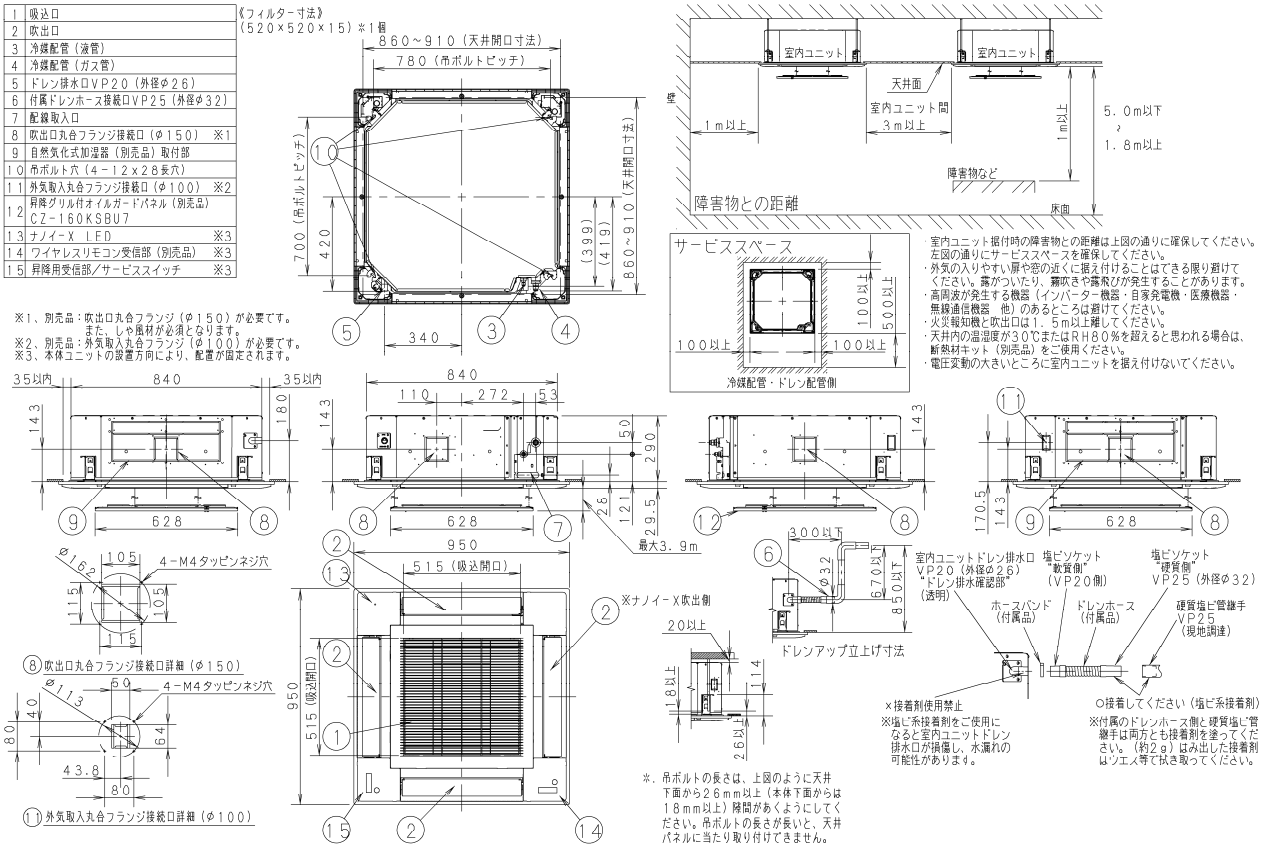


＊．吊ボルトの長さは、上図のように天井
　下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは
　１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてく
　ださい。吊ボルトの長さが長いと、天井
　パネルに当たり取り付けできません。

■昇降グリル付オイルガードパネル（CZ-160KSBU7）

●S-G90 ～ 160UU1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	昇降グリル付オイルガードパネル（別売品）CZ-160KSBU7
13	ナノイー Ｘ ＬＦＤ　※3
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
15	昇降用受信部／サービススイッチ　※3



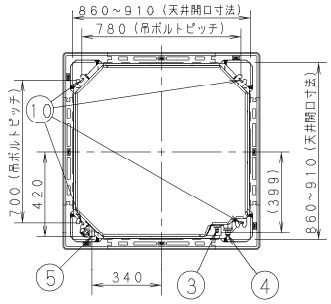
■パネルスペーサー（CZ-160SPU5）

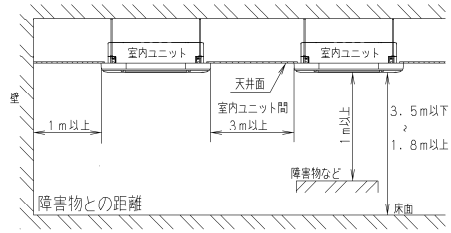
●S-G28 ～ 56UU1（エコナビパネル）

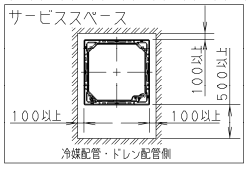
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	パネルスペーサー（別売品）CZ-160SPU5
13	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
14	ナノイー X LED　※3
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
16	エコナビセンサー　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

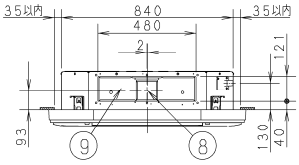
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

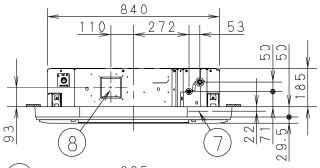


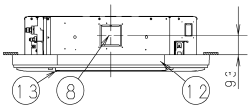


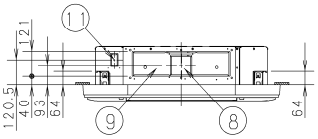


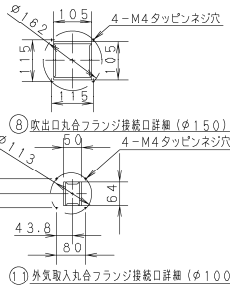
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
　ください。露がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
　無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、
　断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

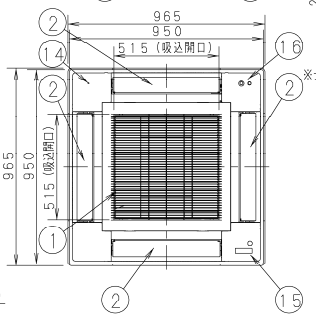


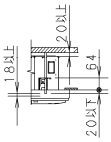




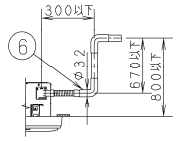


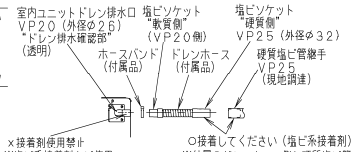






※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
　下面から20mm以上（本体下面からは
　18mm以上）隙間があくようにしてく
　ださい。吊ボルトの長さが長いと、天井
　パネルに当たり取り付けできません。





×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用に
　なると室内ユニットドレン
　排水口が損傷し、水漏れの
　可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管
　継手は両方とも接着剤を塗ってくだ
　さい。（約2g）はみ出した接着剤
　はウエス等で拭き取ってください。

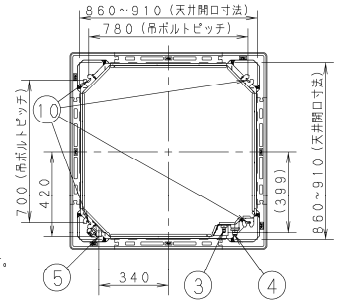
■パネルスペーサー（CZ-160SPU5）

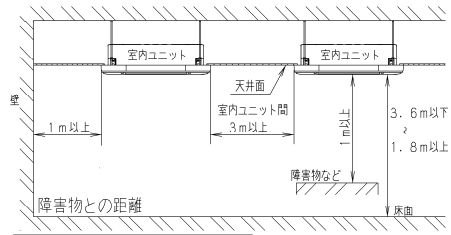
●S-G71･80UU1（エコナビパネル）

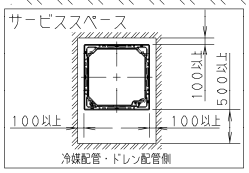
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	パネルスペーサー（別売品）CZ-160SPU5
13	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
14	ナノイー X LED　※3
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
16	エコナビセンサー　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

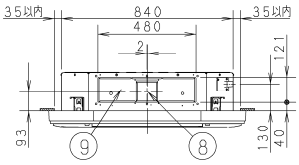
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

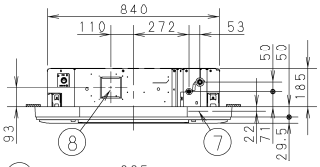


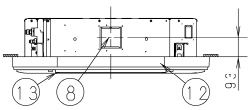


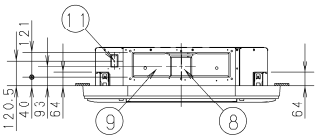


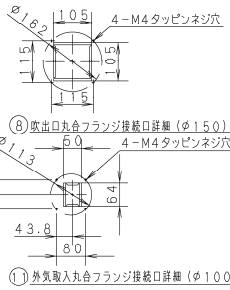
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
　ください。露がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
　無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、
　断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

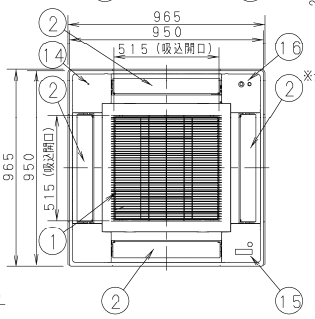


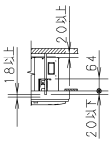




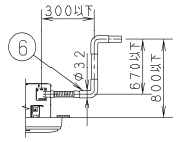


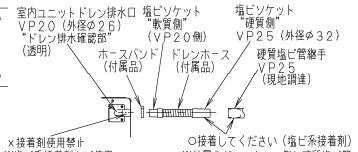






※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
　下面から20mm以上（本体下面からは
　18mm以上）隙間があくようにしてく
　ださい。吊ボルトの長さが長いと、天井
　パネルに当たり取り付けできません。





×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用に
　なると室内ユニットドレン
　排水口が損傷し、水漏れの
　可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管
　継手は両方とも接着剤を塗ってくだ
　さい。（約2g）はみ出した接着剤
　はウエス等で拭き取ってください。

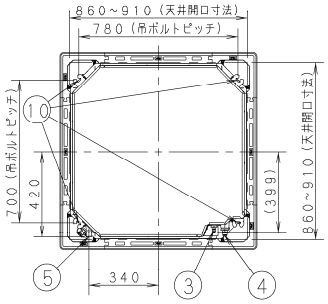
■パネルスペーサー（CZ-160SPU5）

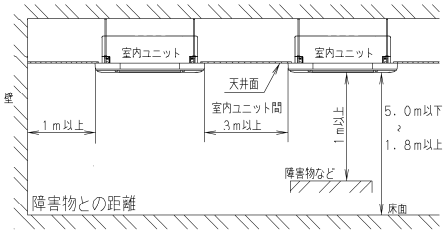
●S-G90 ～ 160UU1（エコナビパネル）

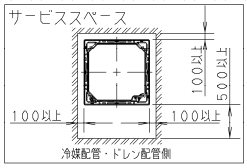
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	パネルスペーサー（別売品）CZ-160SPU5
13	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
14	ナノイー Ｘ　ＬＥＤ　※3
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
16	エコナビセンサー　※3

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

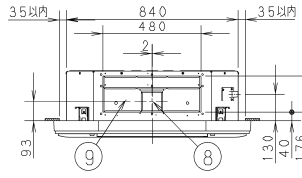
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

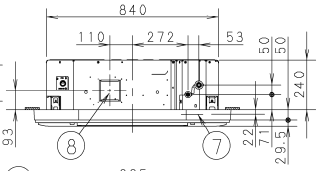


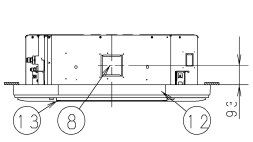


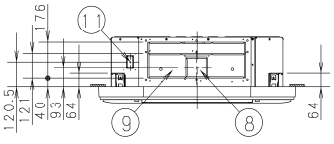


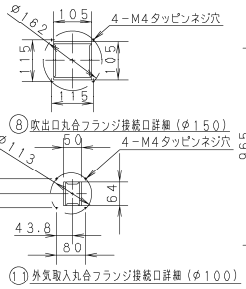
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
　ください。露がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
　無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
　断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

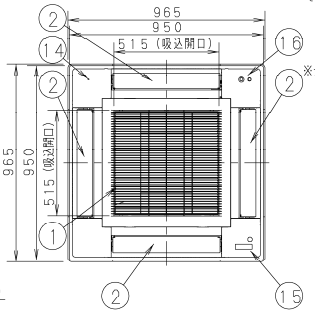




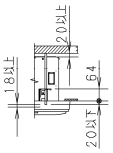




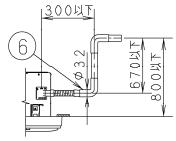


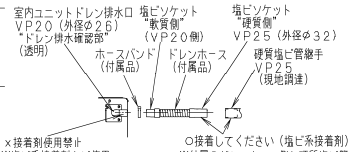


※ナノイーＸ吹出側



※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
　下面から２０ｍｍ以上（本体下面からは
　１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてく
　ださい。吊ボルトの長さが長いと、天井
　パネルに当たり取り付けできません。





×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用に
　なると室内ユニットドレン
　排水口が損傷し、水漏れの
　可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管
　継手は両方とも接着剤を塗ってくだ
　さい。（約２ｇ）はみ出した接着剤
　はウエス等で拭き取ってください。

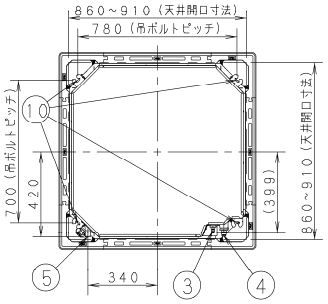
■パネルスペーサー（CZ-160SPU5）

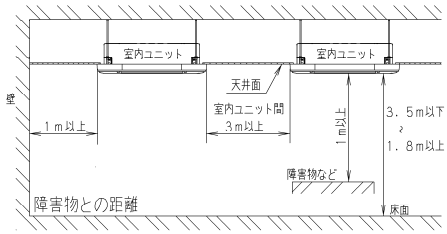
●S-G28 ～ 56UU1（標準パネル）

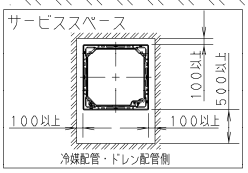
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	パネルスペーサー（別売品）CZ-160SPU5
13	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H, -T, -K）
14	ナノイーX　LED　　※3
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

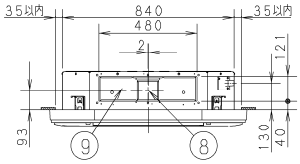
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

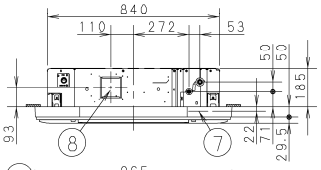


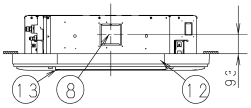


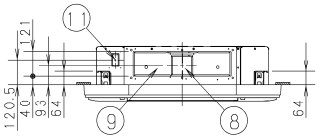


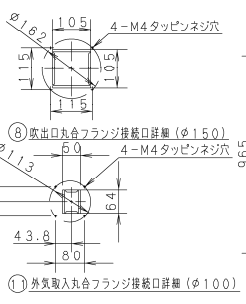
室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

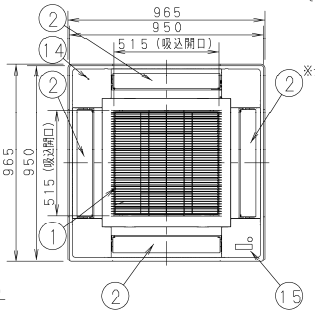


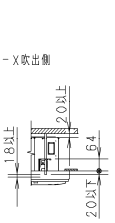




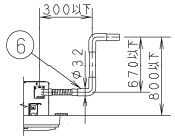


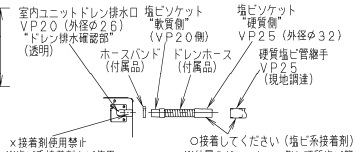






※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２０ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。





×接着剤併用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

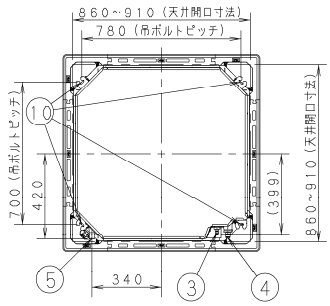
■パネルスペーサー（CZ-160SPU5）

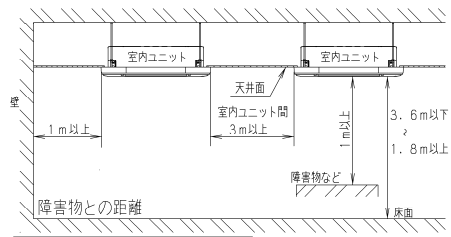
●S-G71･80UU1（標準パネル）

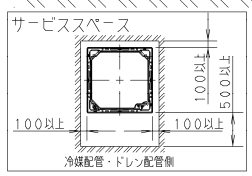
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
12	パネルスペーサー（別売品）CZ-160SPU5
13	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H, -T, -K）
14	ナノイーX　LED　　※3
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

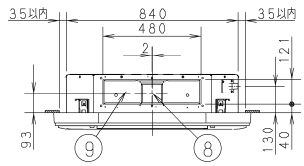
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

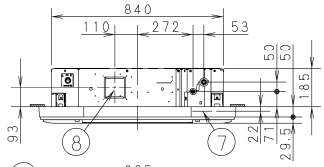


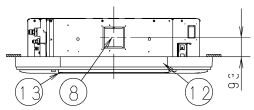


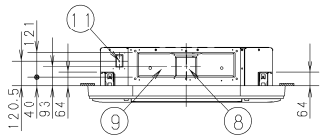


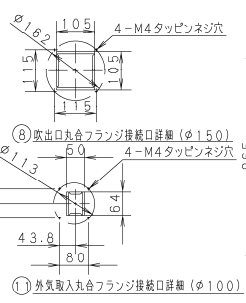
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

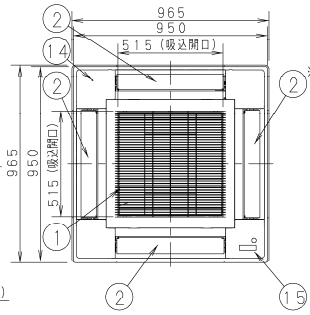


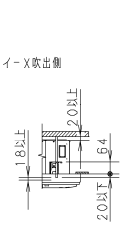




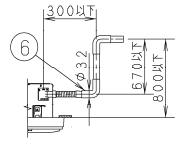


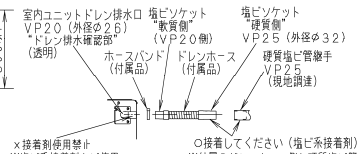






※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２０ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。





×接着剤併用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

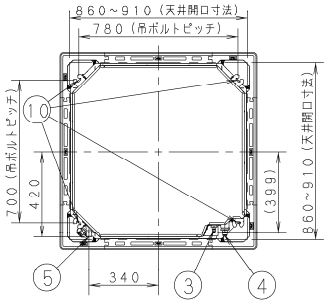
■パネルスペーサー（CZ-160SPU5）

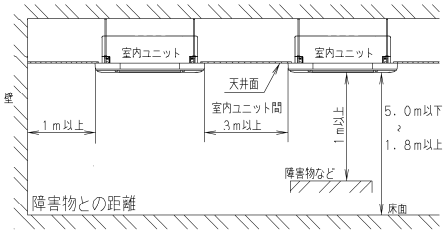
●S-G90 ～ 160UU1（標準パネル）

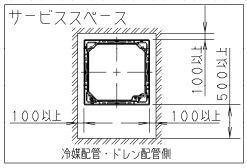
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２x２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	パネルスペーサー（別売品）CZ-160SPU5
13	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H, -T, -K）
14	ナノイーＸ　LED　※3
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

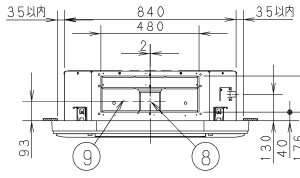
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

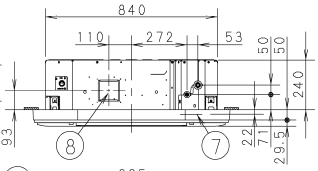


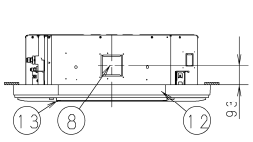


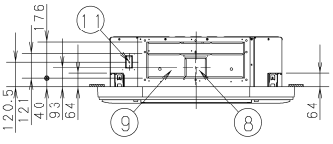


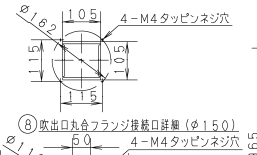
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
　ください。露がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
　無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
　断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

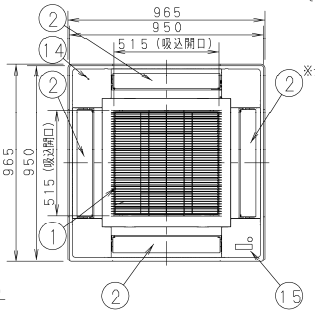




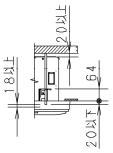




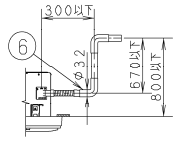


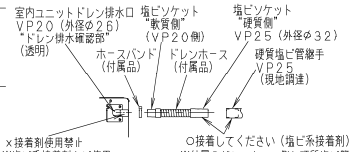


※ナノイーＸ吹出側



※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
　下面から２０ｍｍ以上（本体下面からは
　１８ｍｍ以上）隙間があくようにして
　ください。吊ボルトの長さが長いと、天井
　パネルに当たり取り付けできません。





×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用に
　なると室内ユニットドレン
　排水口が損傷し、水漏れの
　可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管
　継手は両方とも接着剤を塗ってくだ
　さい。（約２ｇ）はみ出した接着剤
　はウエス等で拭き取ってください。

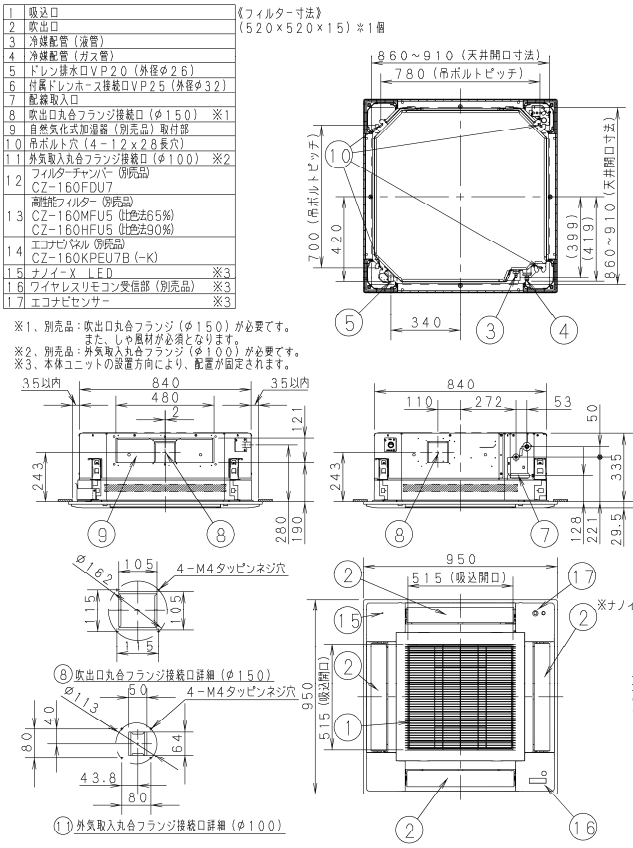
■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・高性能フィルター（CZ-160M・HFU5）

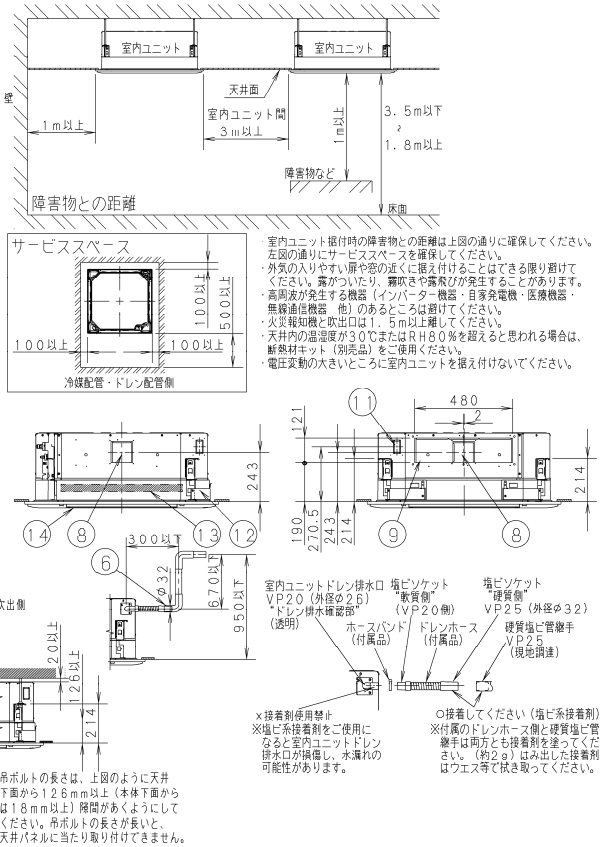
●S-G28 ～ 56UU1（エコナビパネル）

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※１
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２x２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※２
12	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
13	高性能フィルター（別売品） CZ-160MFU5（吐色法65%） CZ-160HFU5（吐色法90%）
14	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU7B（-K）
15	ナノイー Ｘ ＬＥＤ　※３
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※３
17	エコナビセンサー　※３

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

※１、別売品・吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※２、別売品・外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※３、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。





・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。霧がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から１２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

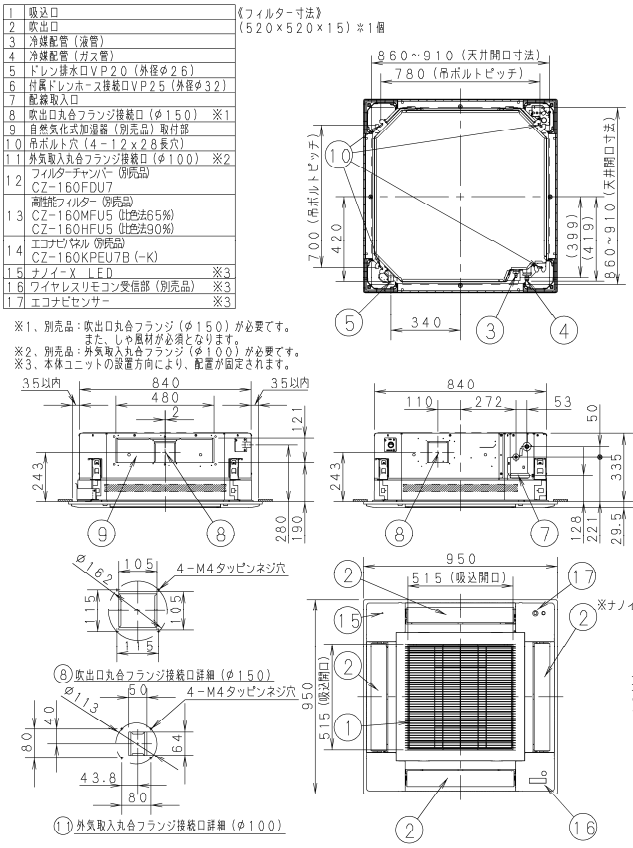
■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・高性能フィルター（CZ-160M・HFU5）

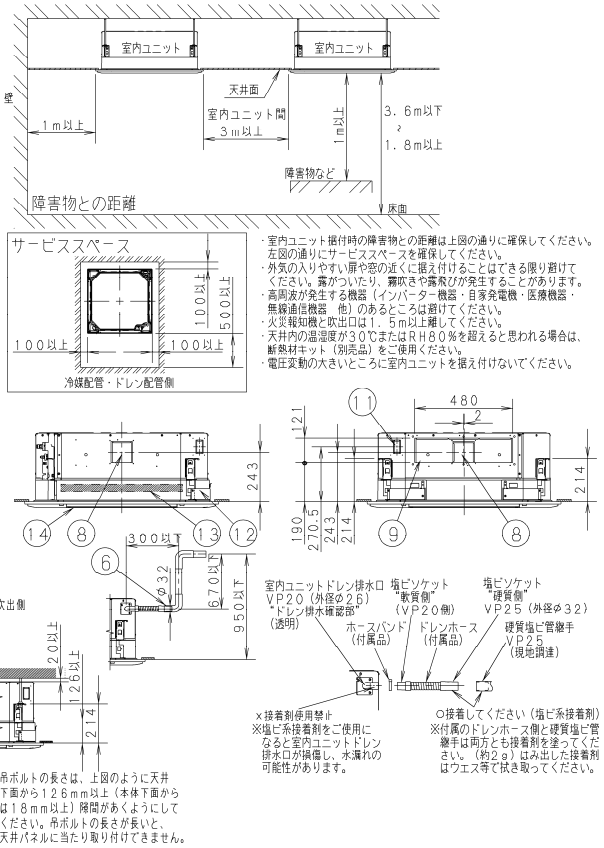
●S-G71･80UU1（エコナビパネル）

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※１
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２x２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※２
12	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
13	高性能フィルター（別売品） CZ-160MFU5（吐色法65%） CZ-160HFU5（吐色法90%）
14	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU7B（-K）
15	ナノイー Ｘ ＬＥＤ　※３
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※３
17	エコナビセンサー　※３

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

※１、別売品・吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※２、別売品・外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※３、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。





・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。霧がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から１２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

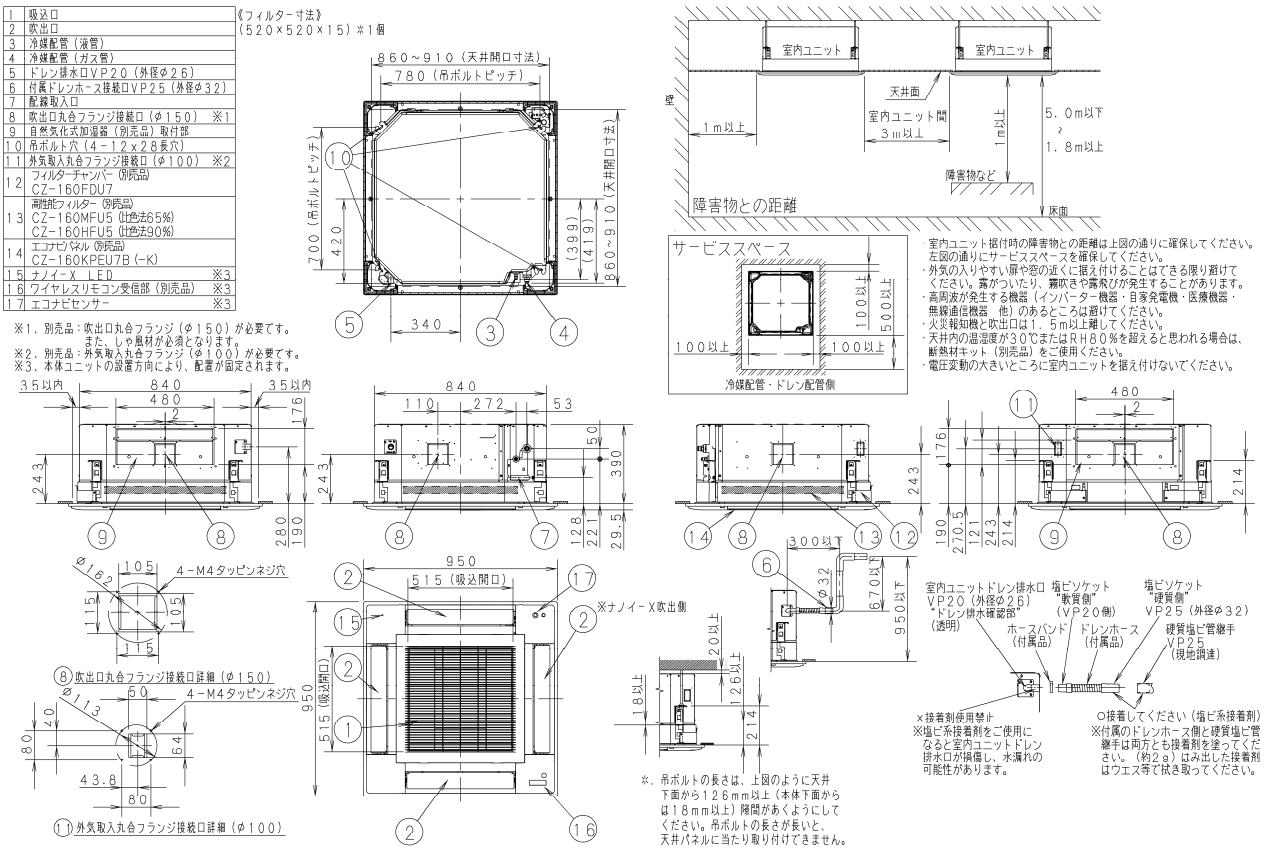
■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・高性能フィルター（CZ-160M・HFU5）

●S-G90 ～ 160UU1（エコナビパネル）

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２×２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
13	高性能フィルター（別売品） CZ-160MFU5（比色法65%） CZ-160HFU5（比色法90%）
14	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU7B（-K）
15	ナノイー X LED　※3
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
17	エコナビセンサー　※3

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

※1、別売品・吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品・外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



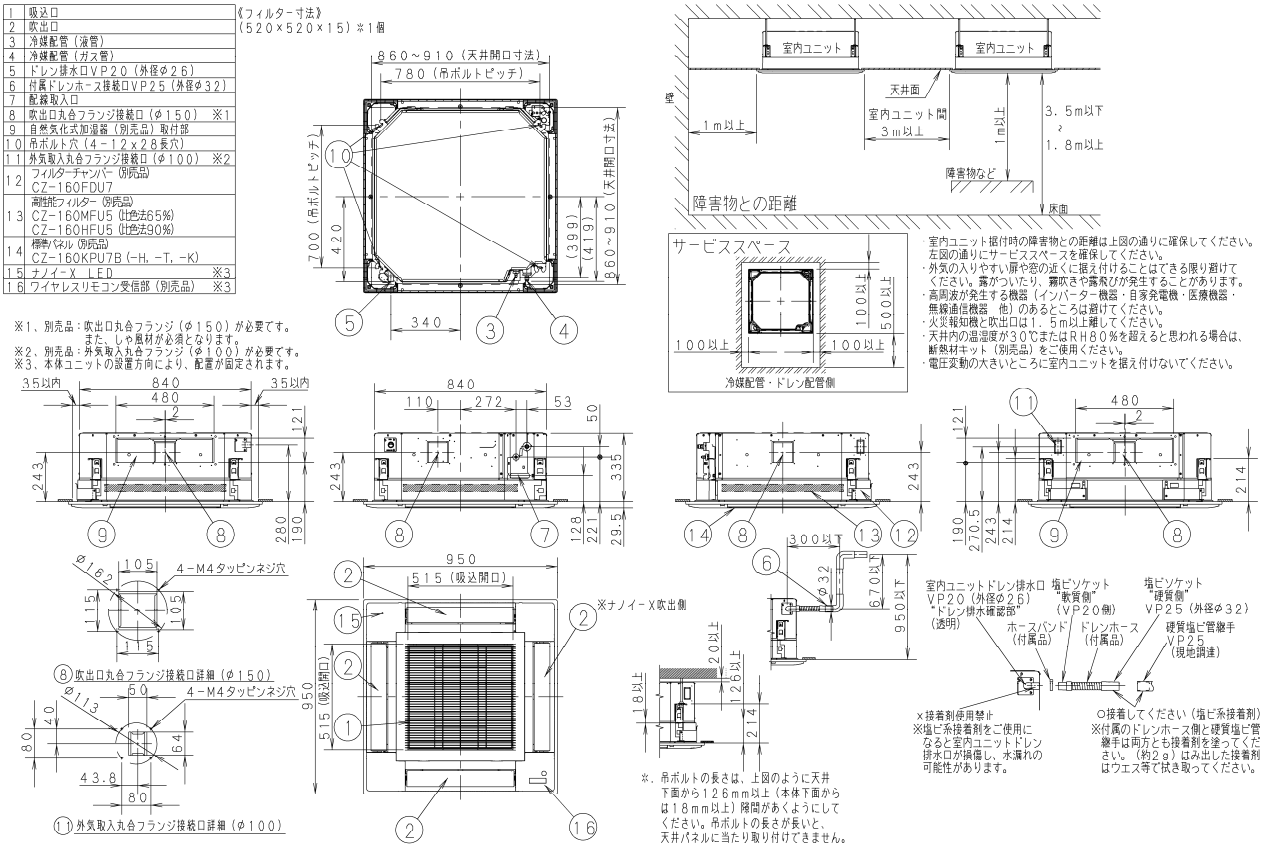
■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・高性能フィルター（CZ-160M・HFU5）

●S-G28 ～ 56UU1（標準パネル）

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※１
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※２
12	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
13	高性能フィルター（別売品） CZ-160MFU5（吐色法65%） CZ-160HFU5（吐色法90%）
14	標準パネル（別売品） CZ-160KPU7B（-H, -T, -K）
15	ナノイー Ｘ ＬＥＤ　※３
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※３

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

※１、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※２、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※３、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から１２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

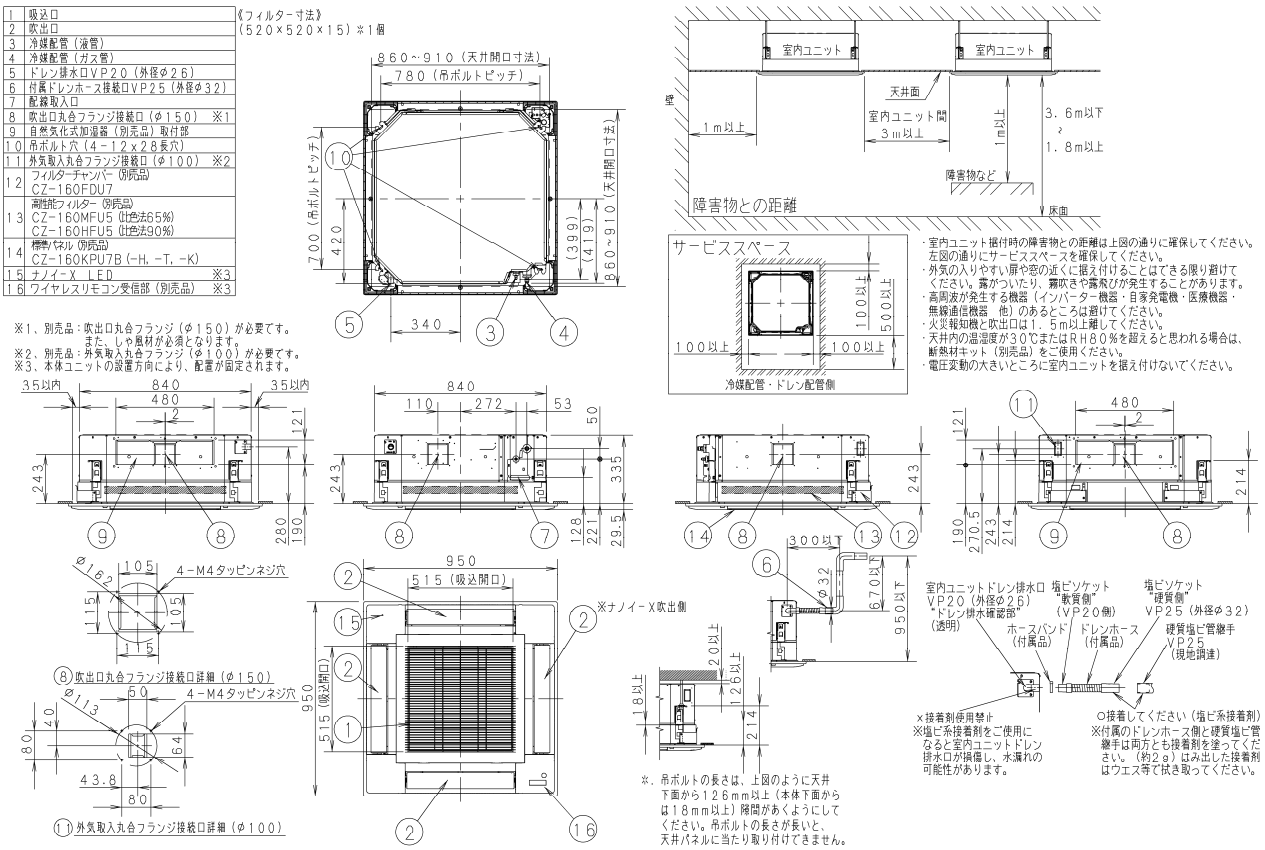
■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・高性能フィルター（CZ-160M・HFU5）

●S-G71･80UU1（標準パネル）

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※１
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※２
12	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
13	高性能フィルター（別売品） CZ-160MFU5（吐色法65%） CZ-160HFU5（吐色法90%）
14	標準パネル（別売品） CZ-160KPU7B（-H, -T, -K）
15	ナノイー Ｘ ＬＥＤ　※３
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※３

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

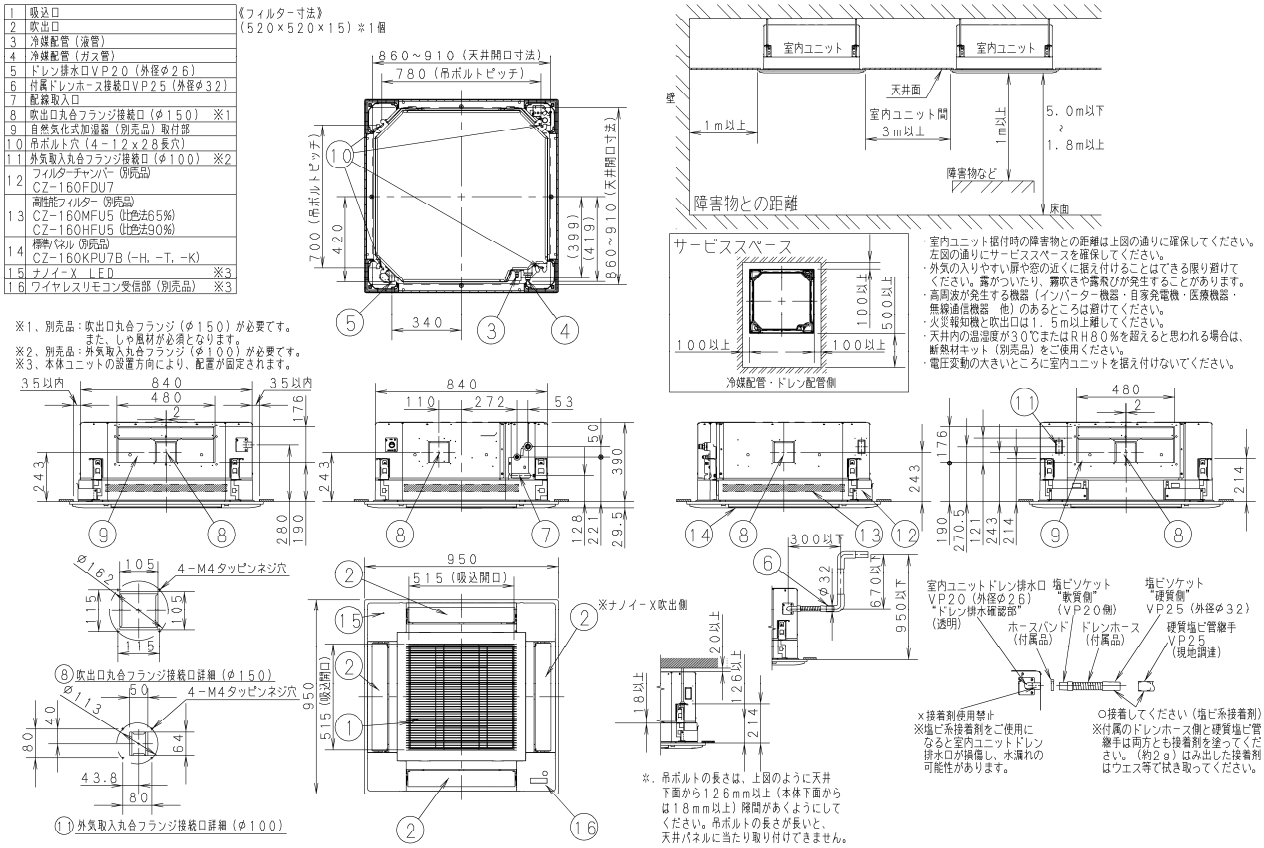
※１、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※２、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※３、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から１２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・高性能フィルター（CZ-160M・HFU5）

●S-G90 ～ 160UU1（標準パネル）



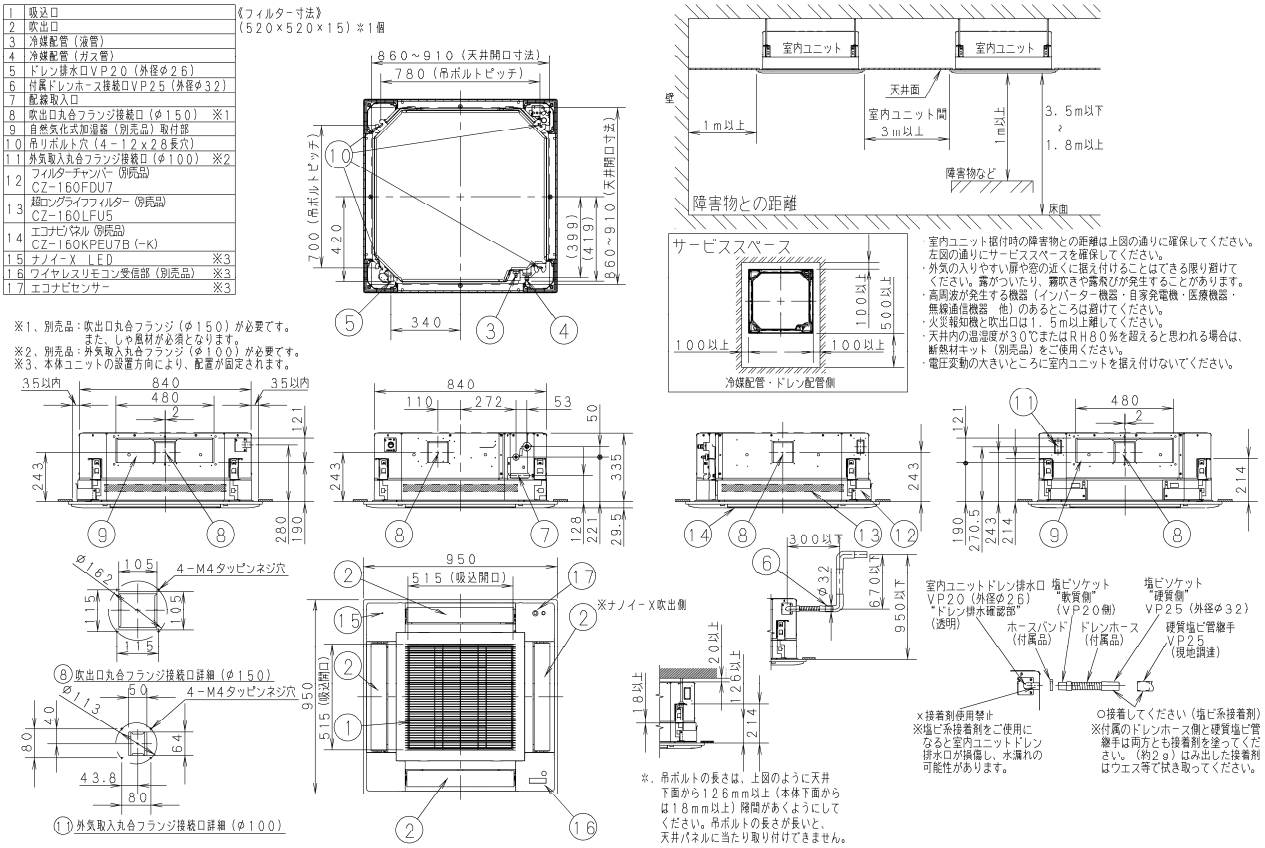
■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・超ロングライフフィルター（CZ-160LFU5）

●S-G28 ～ 56UU1（エコナビパネル）

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※１
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊りボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※２
12	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
13	超ロングライフフィルター（別売品） CZ-160LFU5
14	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU7B（-K）
15	ナノイー Ｘ ＬＥＤ　※３
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※３
17	エコナビセンサー　※３

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

※１、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※２、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※３、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から１２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

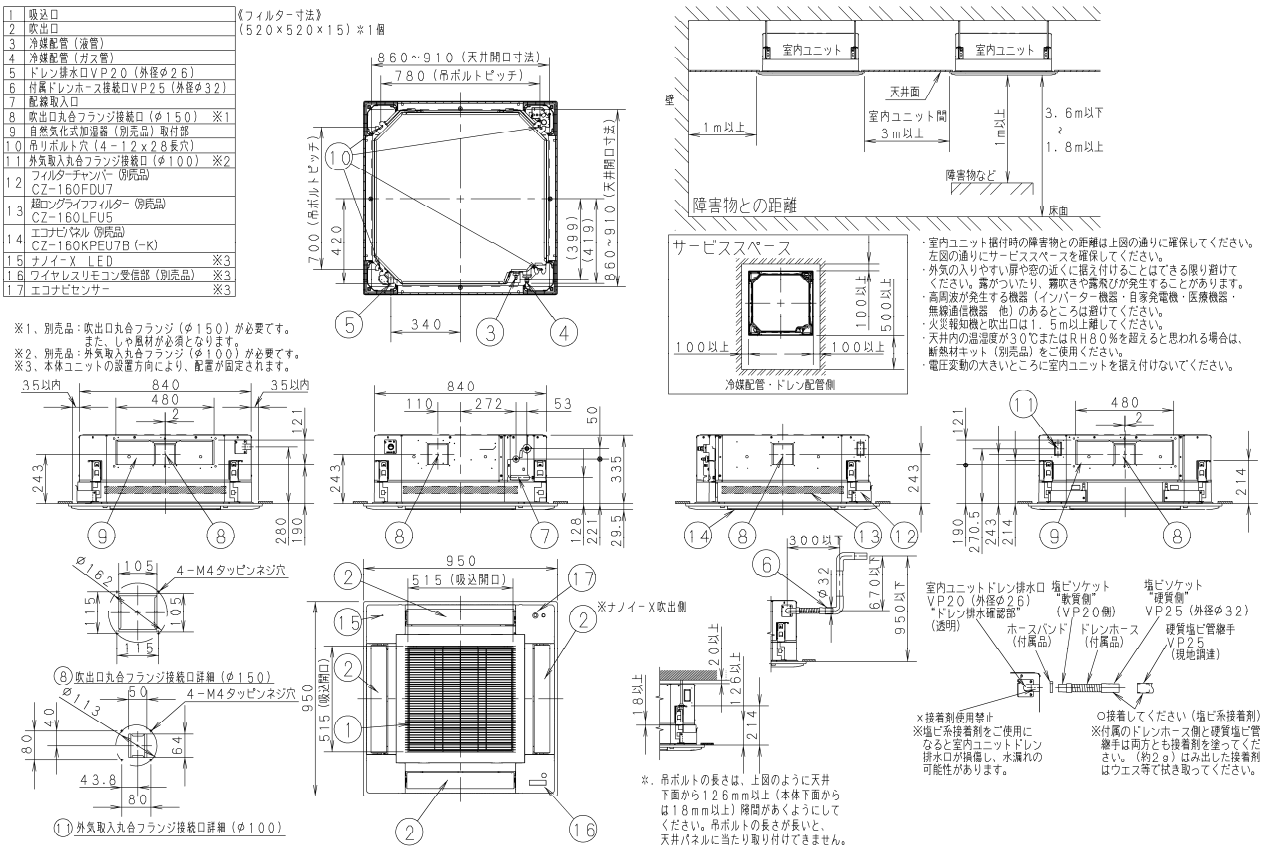
■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・超ロングライフフィルター（CZ-160LFU5）

●S-G71･80UU1（エコナビパネル）

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※１
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊りボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※２
12	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
13	超ロングライフフィルター（別売品） CZ-160LFU5
14	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU7B（-K）
15	ナノイー Ｘ ＬＥＤ　※３
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※３
17	エコナビセンサー　※３

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

※１、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※２、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※３、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



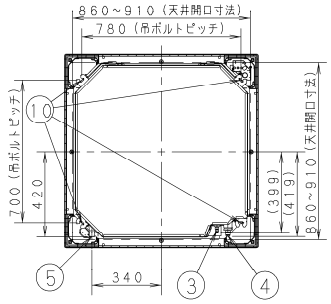
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から１２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

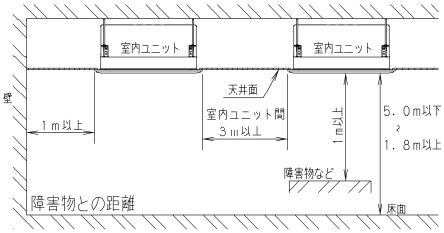
■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・超ロングライフフィルター（CZ-160LFU5）

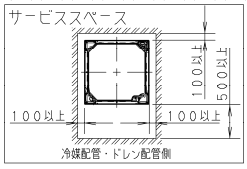
●S-G90 ～ 160UU1（エコナビパネル）

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
13	超ロングライフフィルター（別売品） CZ-160LFU5
14	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU7B（-K）
15	ナノイーＸ ＬＥＤ　※3
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3
17	エコナビセンサー　※3

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

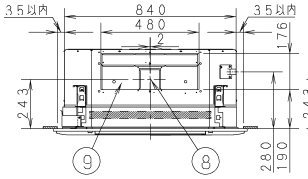


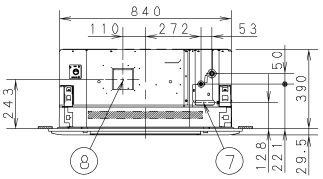


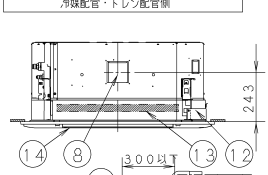


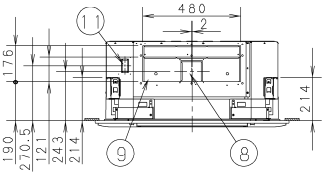
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

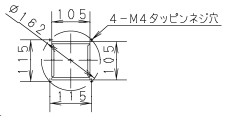
※1、別売品・吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品・外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



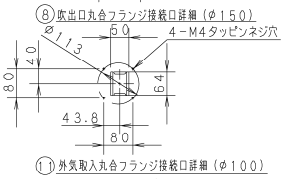




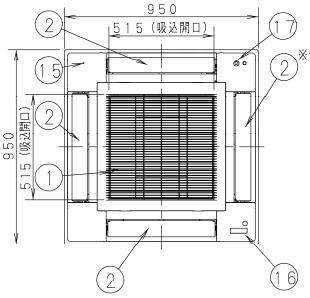


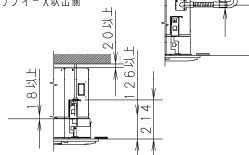


⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ１５０）

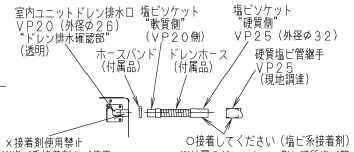


⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ１００）





※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から１２６mm以上（本体下面からは１８mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

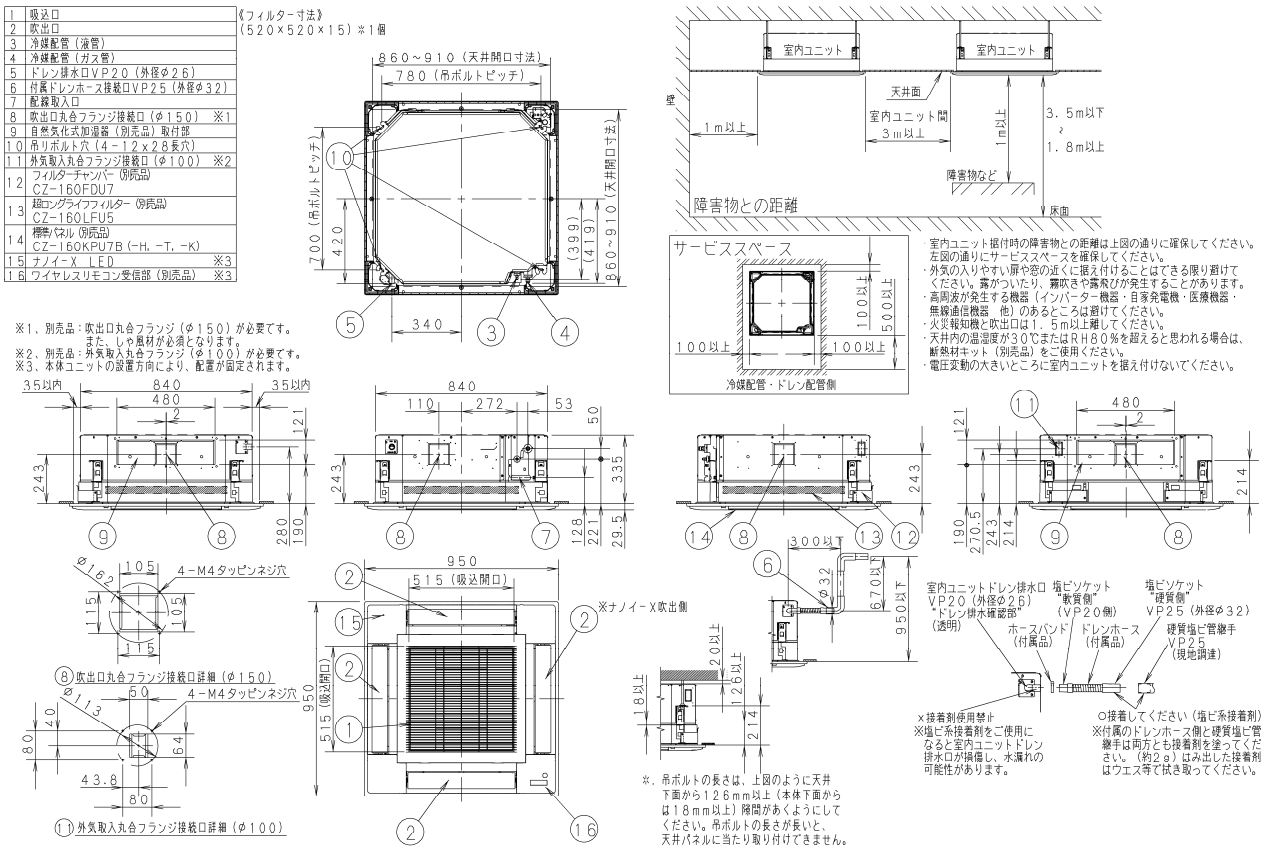


×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

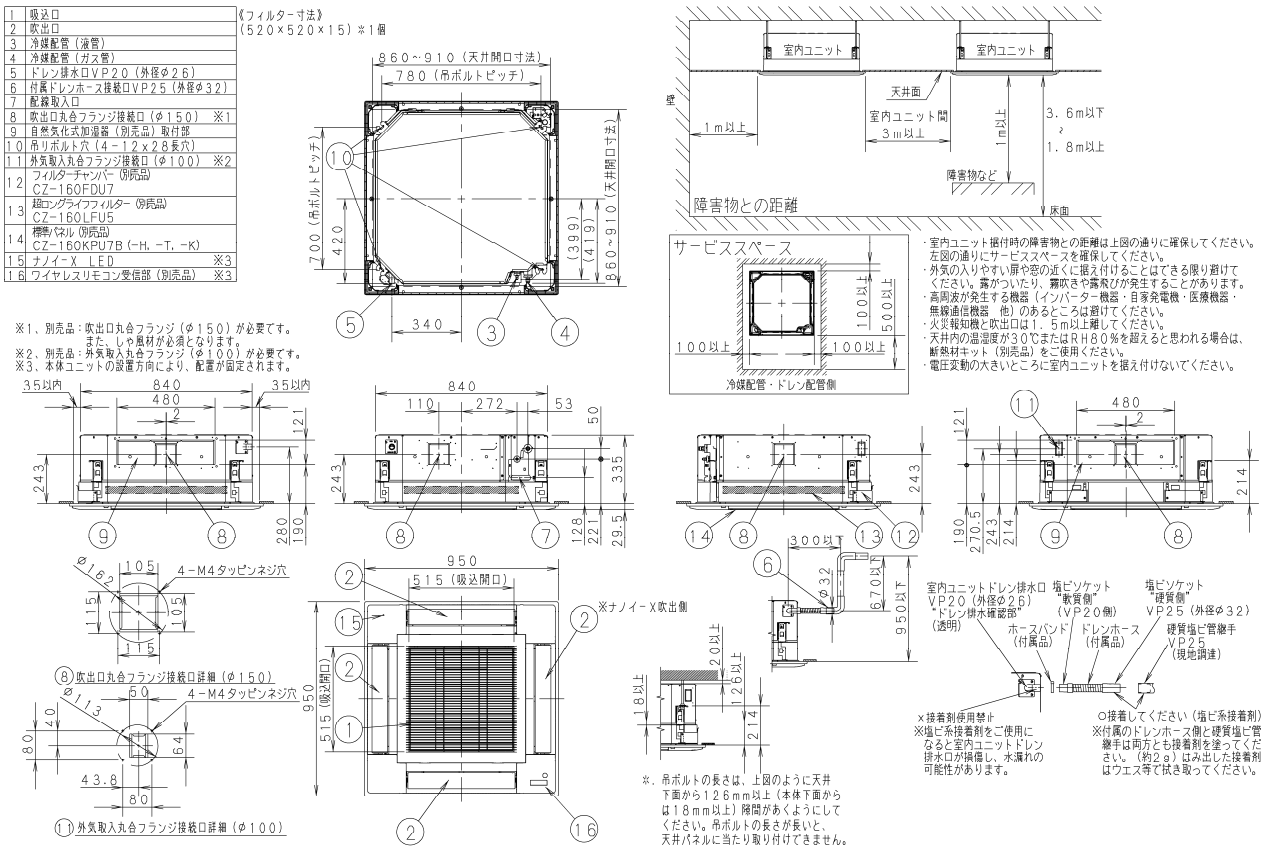
■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・超ロングライフフィルター（CZ-160LFU5）

●S-G28 ～ 56UU1（標準パネル）



■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・超ロングライフフィルター（CZ-160LFU5）

●S-G71･80UU1（標準パネル）

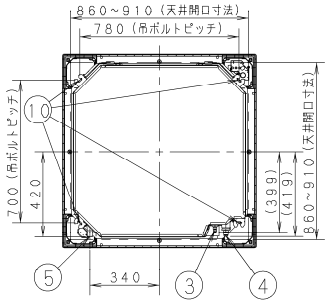


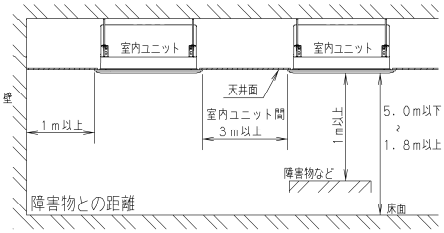
■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・超ロングライフフィルター（CZ-160LFU5）

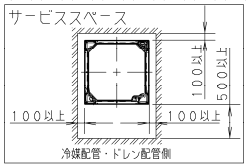
●S-G90 ～ 160UU1（標準パネル）

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※2
12	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU7
13	超ロングライフフィルター（別売品） CZ-160LFU5
14	標準パネル（別売品） CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
15	ナノイー Ｘ ＬＥＤ　　※3
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※3

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個

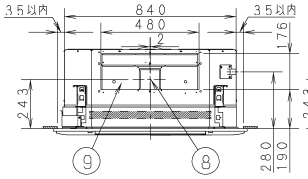


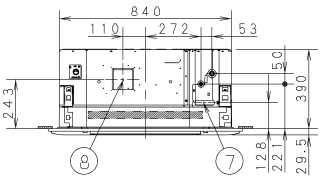


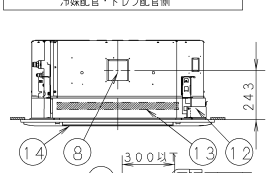


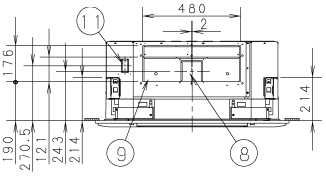
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

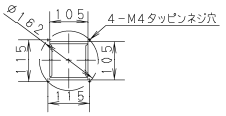
※1、別売品・吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
また、しゃ風材が必須となります。
※2、別売品・外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

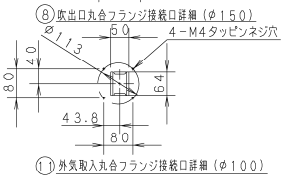




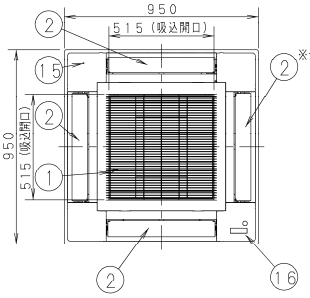


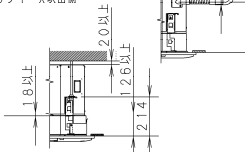




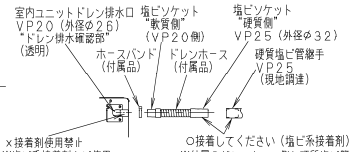


⑪外気取入丸合フランジ接続口詳細（φ１００）





※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から１２６mm以上（本体下面からは１８mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



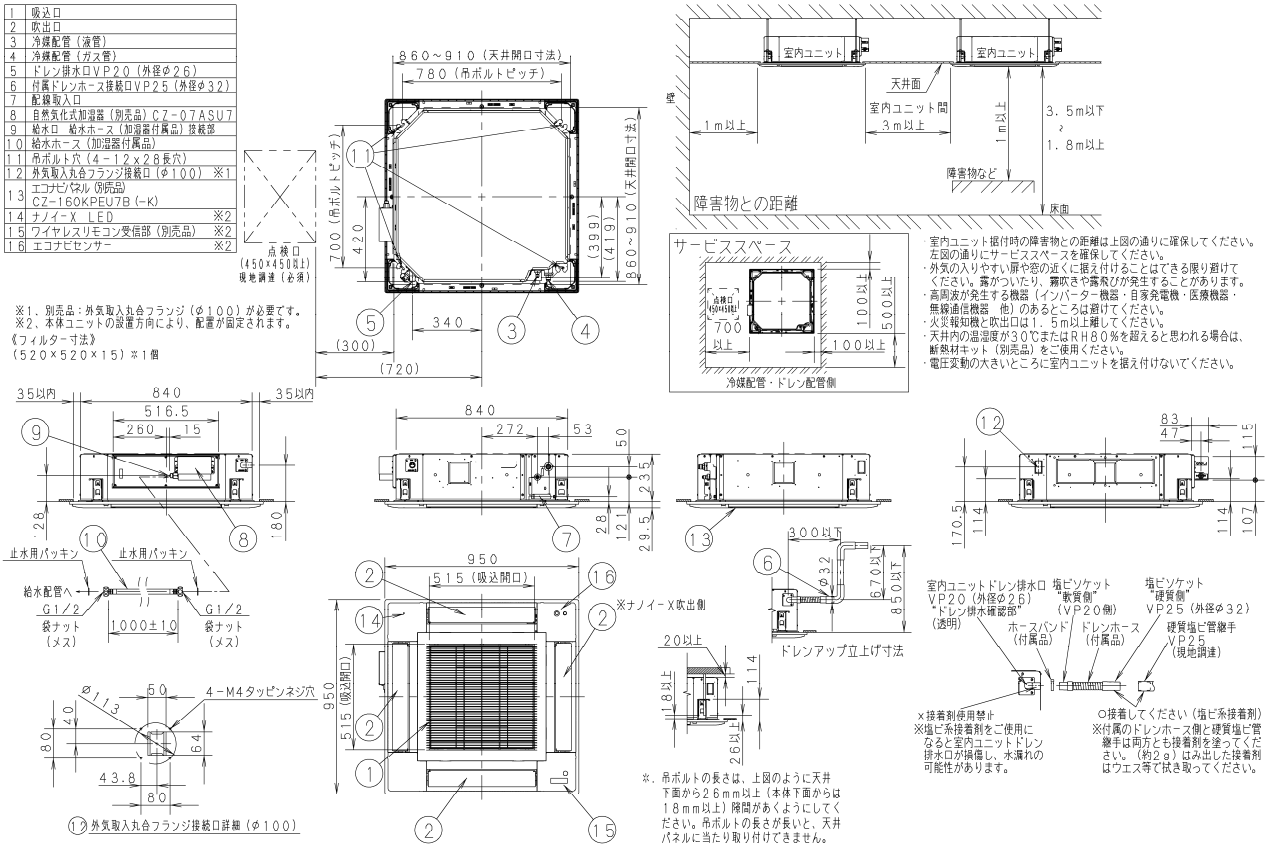
×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

■自然気化式加湿器（エコナビパネル）

●CZ-07ASU7（1）S-G28 ～ 56UU1

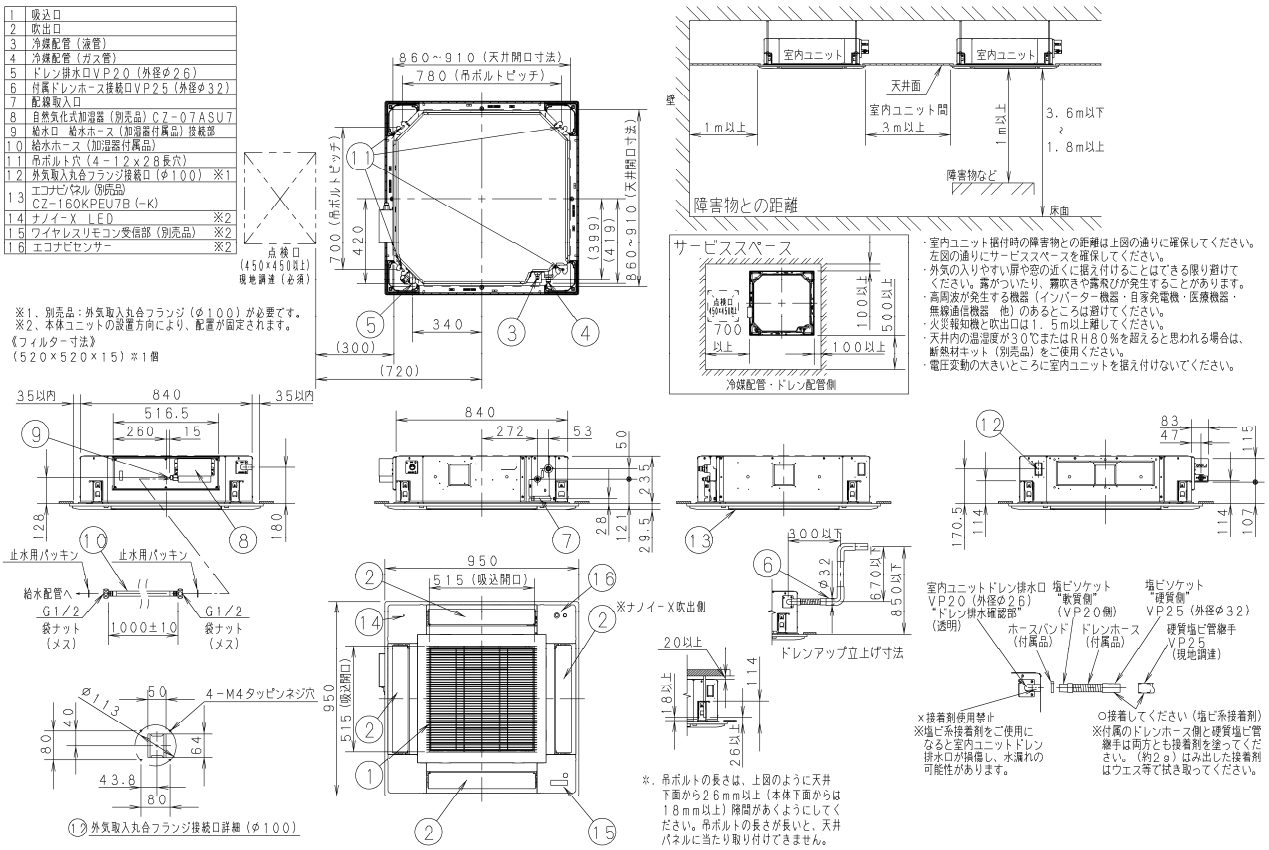
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU7
9	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
10	給水ホース（加湿器付属品）
11	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
12	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）※1
13	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
14	ナノイーX LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）※2
16	エコナビセンサー　※2



■自然気化式加湿器（エコナビパネル）

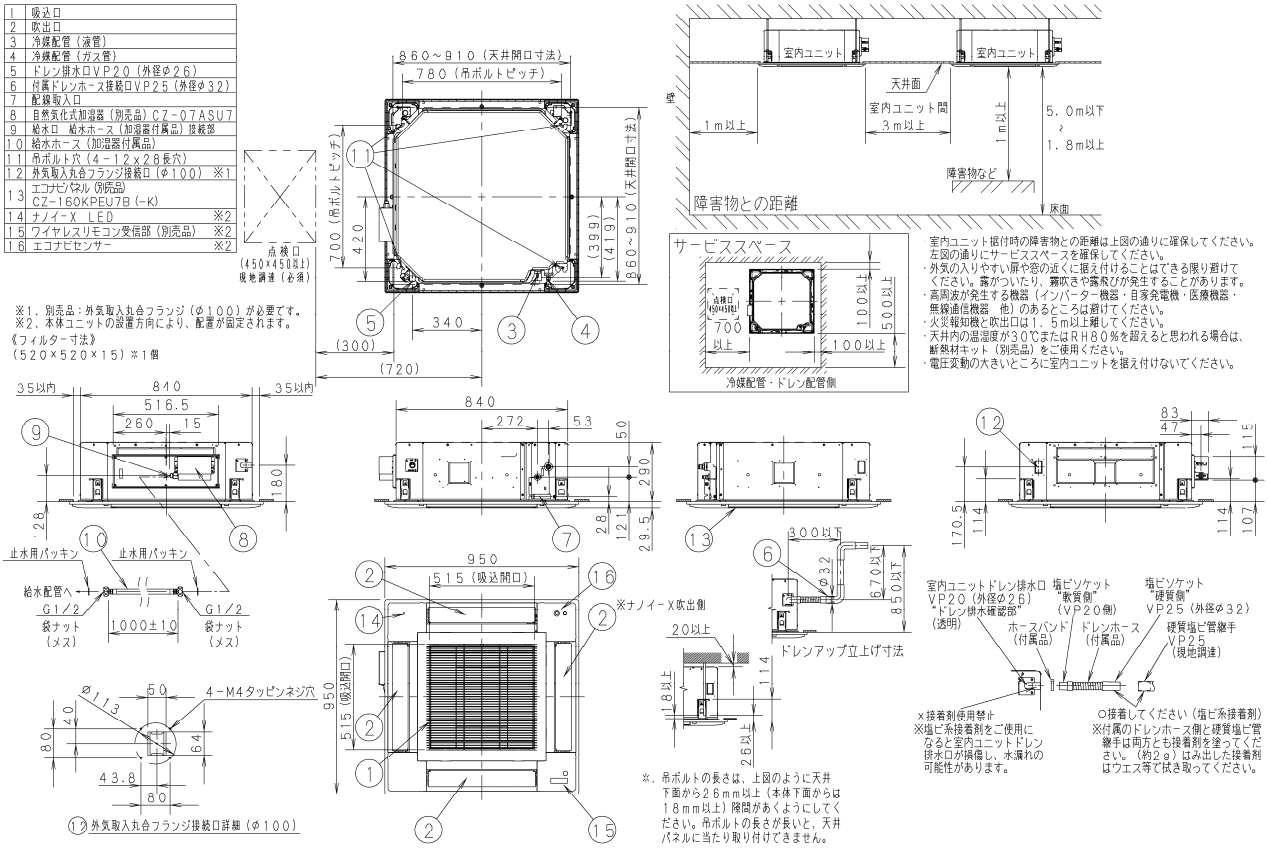
●CZ-07ASU7（1）S-G71･80UU1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU7
9	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
10	給水ホース（加湿器付属品）
11	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
12	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）※1
13	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
14	ナノイーX LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）※2
16	エコナビセンサー　※2



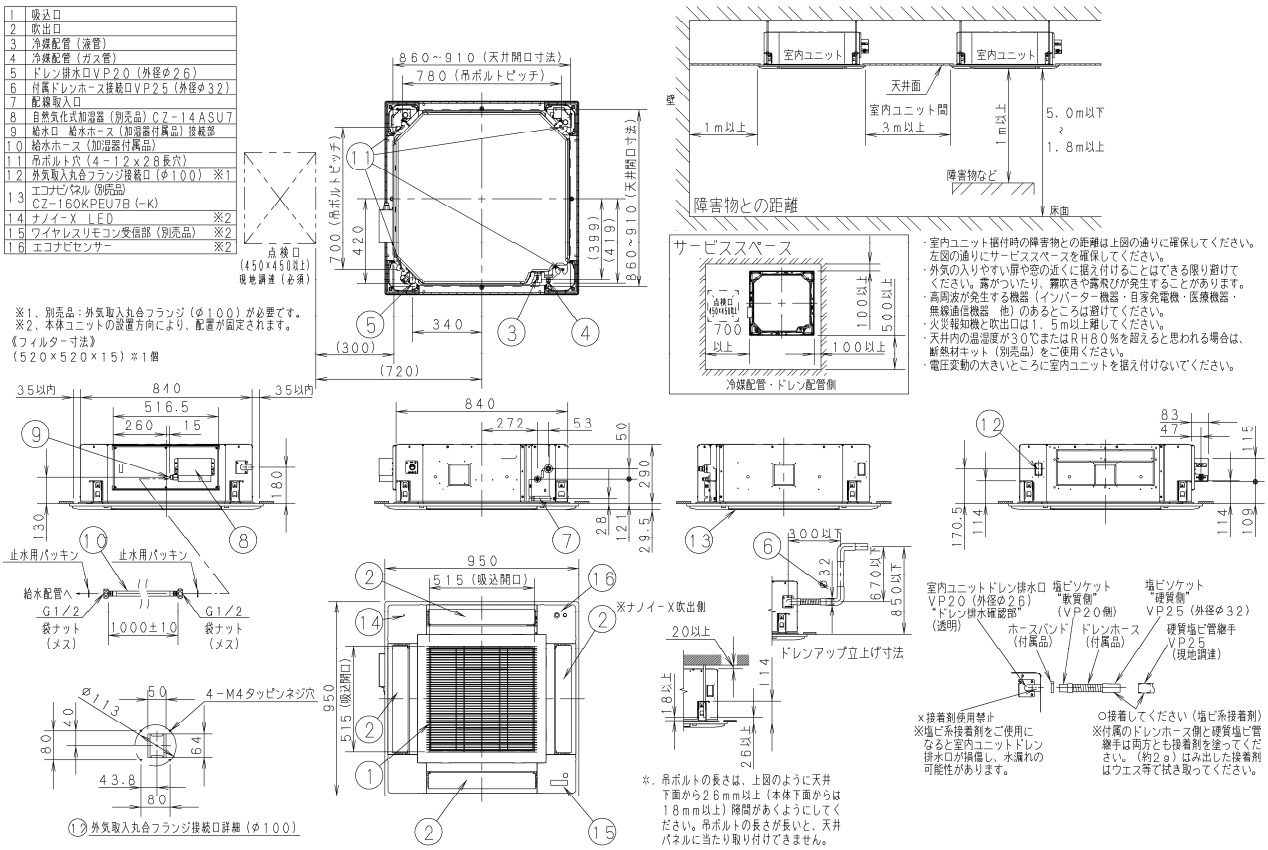
■自然気化式加湿器（エコナビパネル）

●CZ-07ASU7（1）S-G90UU1



■自然気化式加湿器（エコナビパネル）

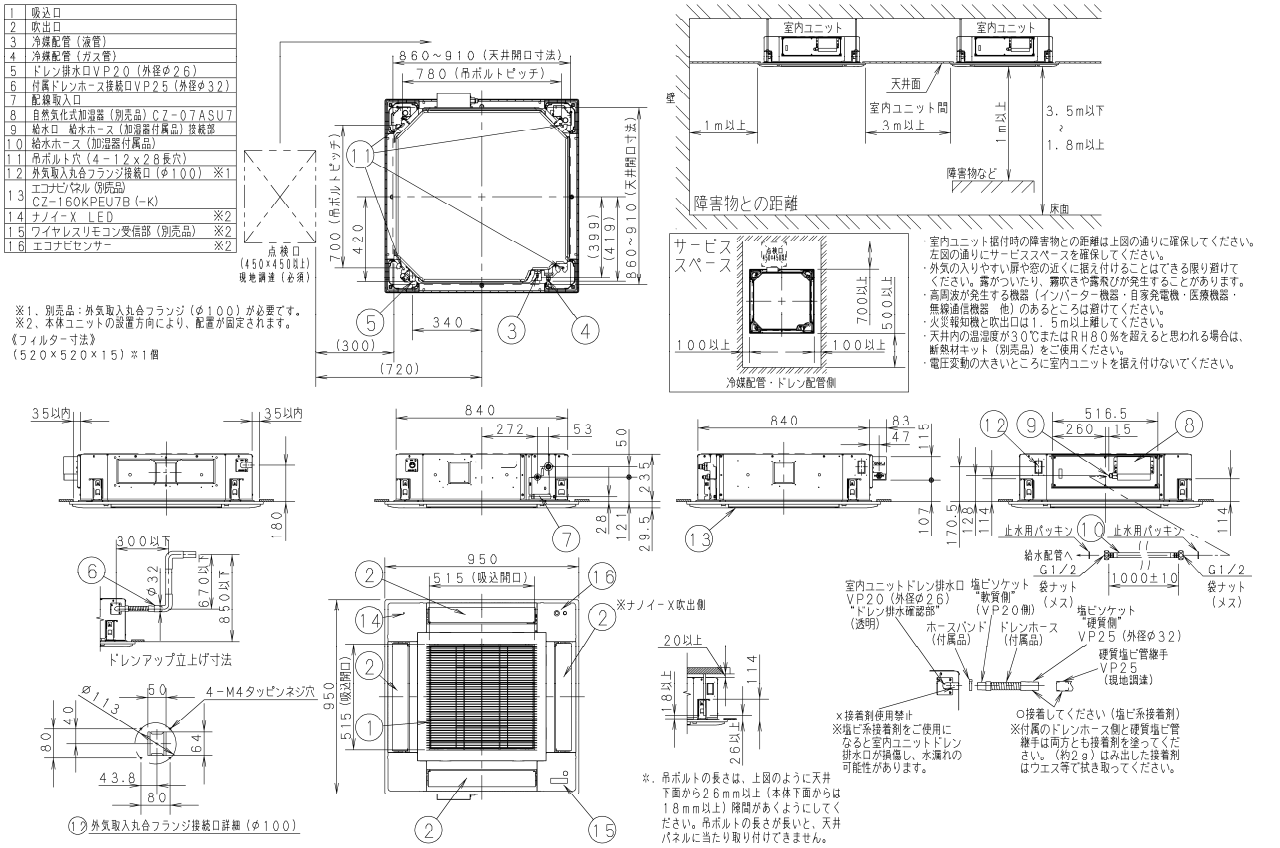
●CZ-14ASU7（1）S-G112 ～ 160UU1



■自然気化式加湿器（エコナビパネル）

●CZ-07ASU7（2）S-G28 ～ 56UU1

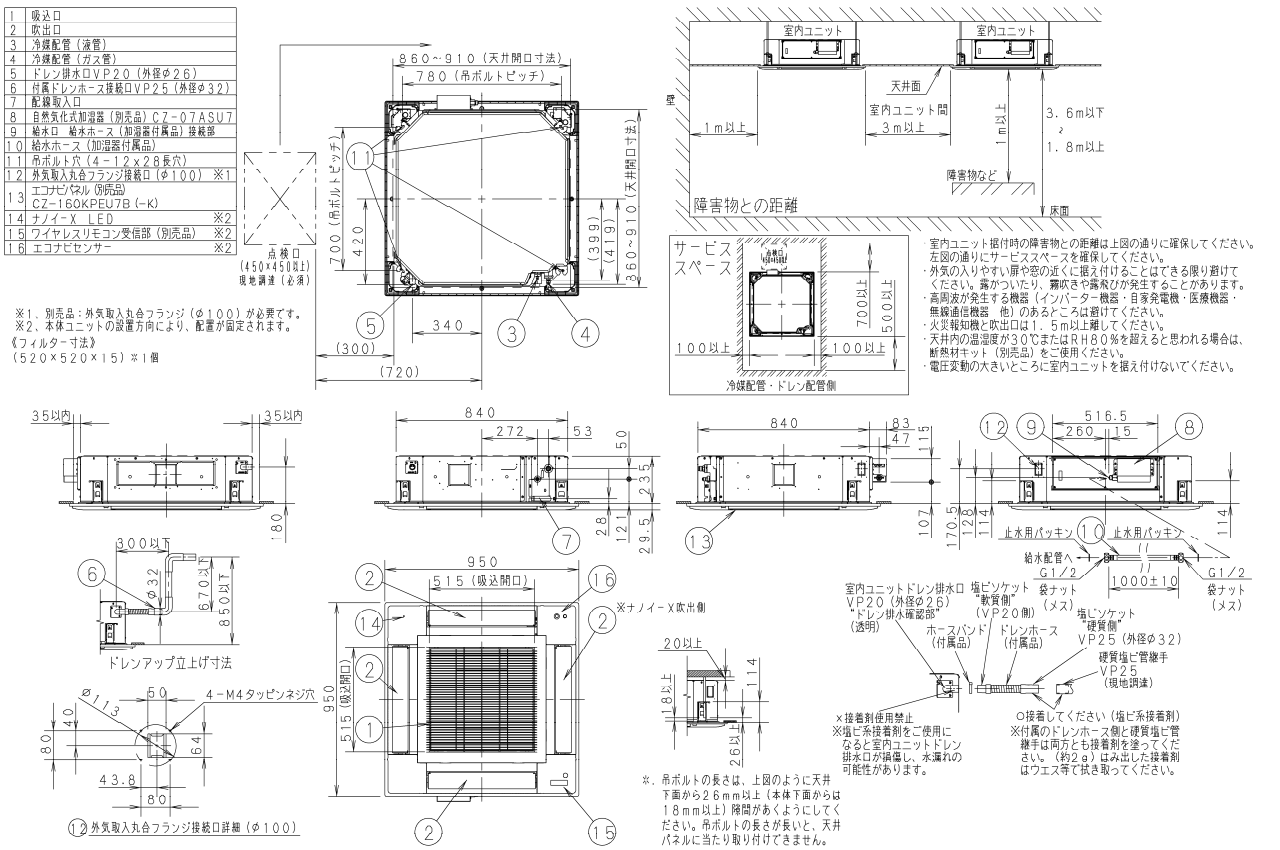
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続ＵＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器（別売品）ＣＺ－０７ＡＳＵ７
9	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
10	給水ホース（加湿器付属品）
11	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
12	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※１
13	エコナビパネル（別売品） ＣＺ－１６ＯＫＰＥＵ７Ｂ（－Ｋ）
14	ナノイー Ｘ ＬＥＤ　※２
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※２
16	エコナビセンサー　※２



■自然気化式加湿器（エコナビパネル）

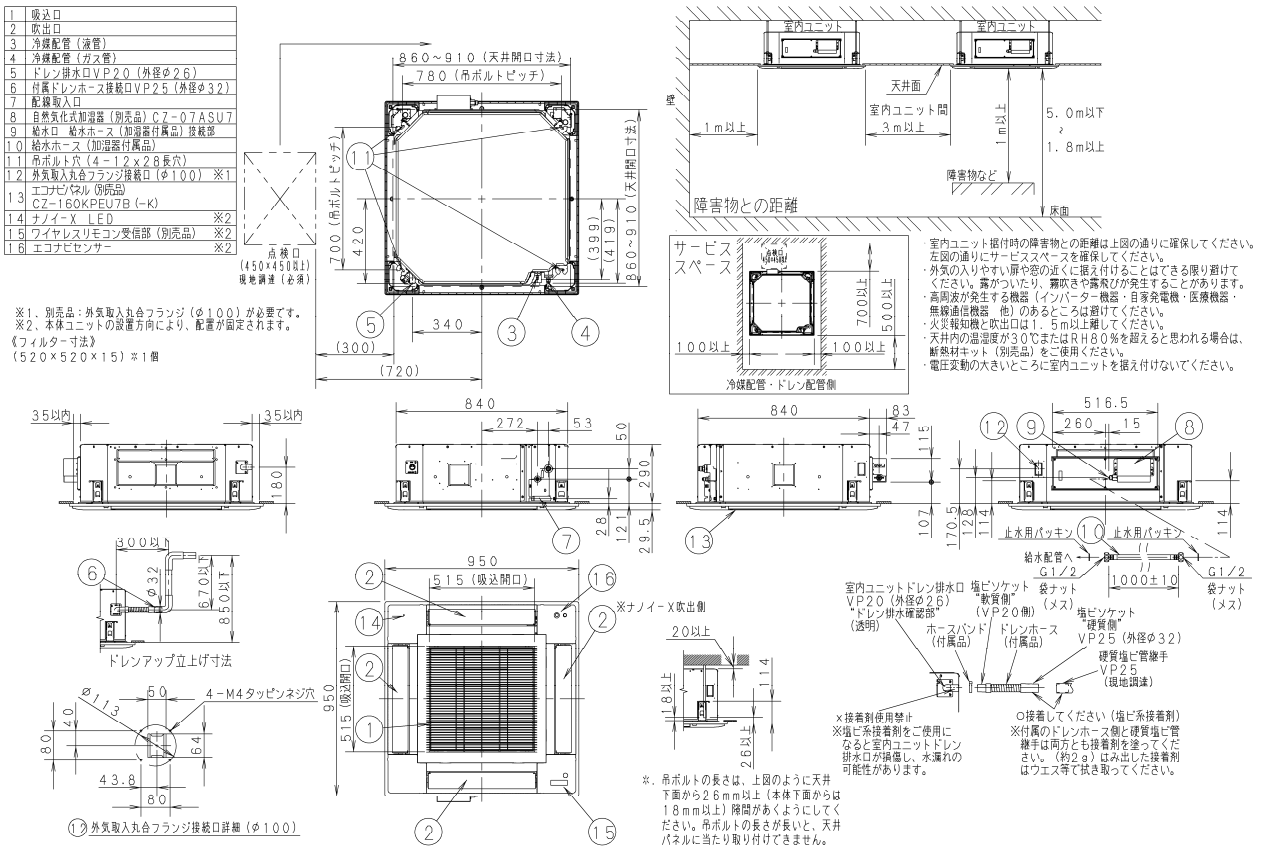
●CZ-07ASU7（2）S-G71･80UU1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続ＵＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器（別売品）ＣＺ－０７ＡＳＵ７
9	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
10	給水ホース（加湿器付属品）
11	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
12	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※１
13	エコナビパネル（別売品） ＣＺ－１６ＯＫＰＥＵ７Ｂ（－Ｋ）
14	ナノイー Ｘ ＬＥＤ　※２
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※２
16	エコナビセンサー　※２



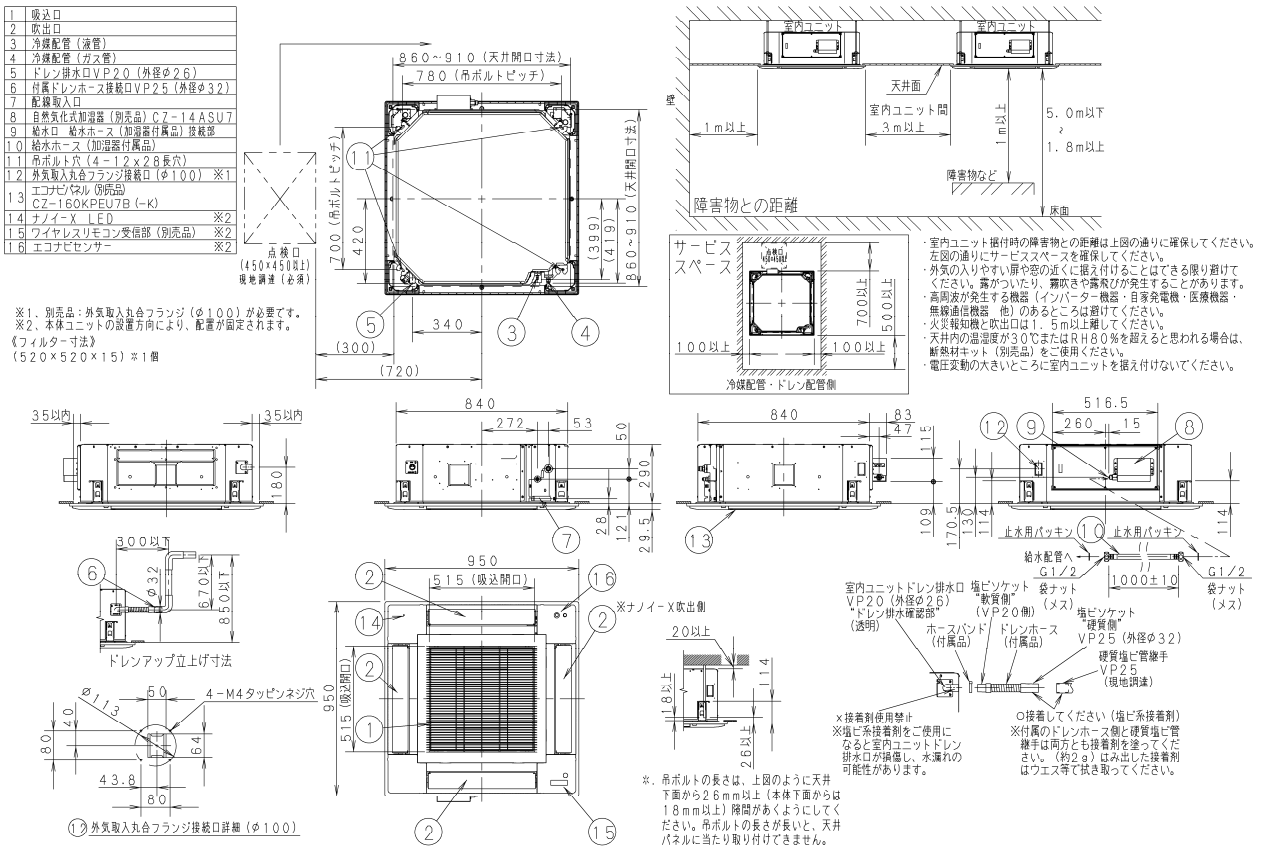
■自然気化式加湿器（エコナビパネル）

●CZ-07ASU7（2）S-G90UU1



■自然気化式加湿器（エコナビパネル）

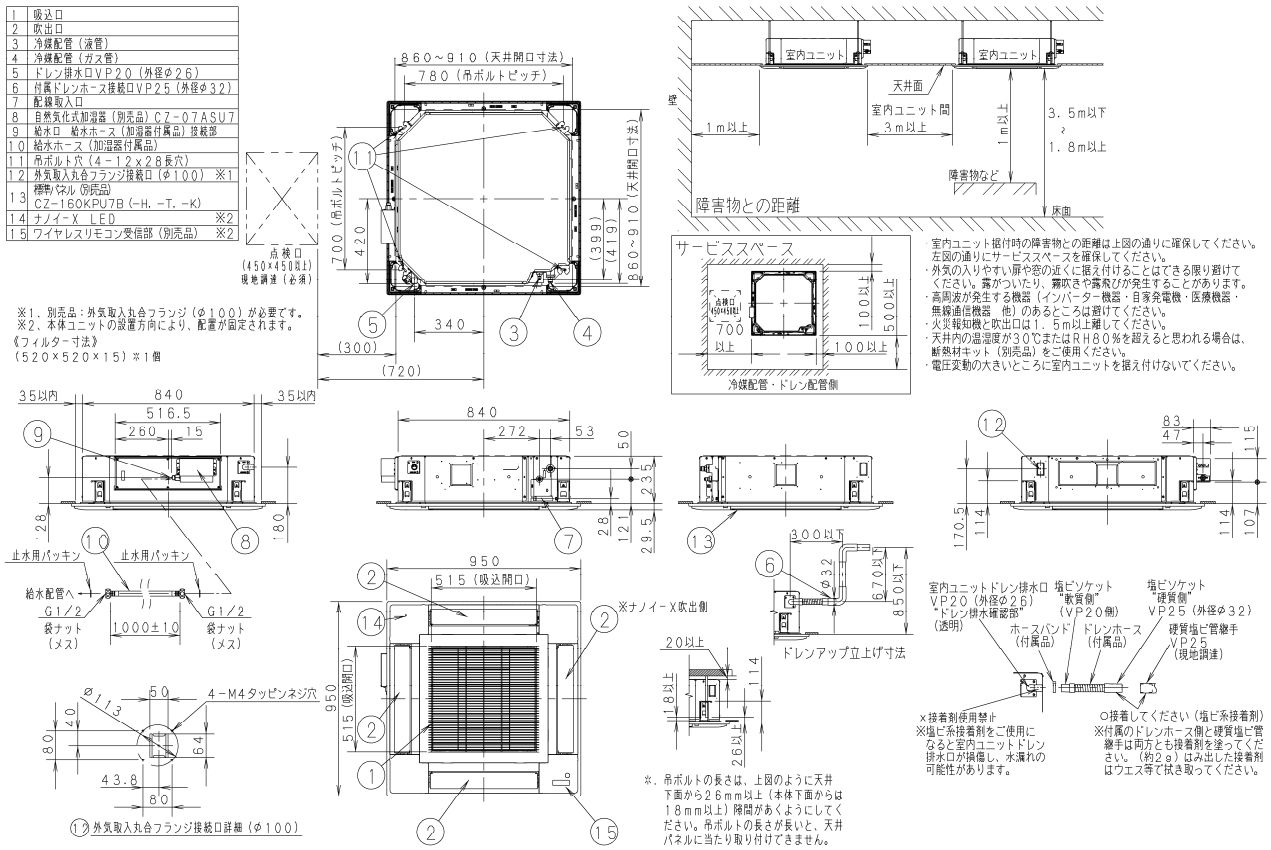
●CZ-14ASU7（2）S-G112 ～ 160UU1



■自然気化式加湿器（標準）

●CZ-07ASU7（1）S-G28 ～ 56UU1

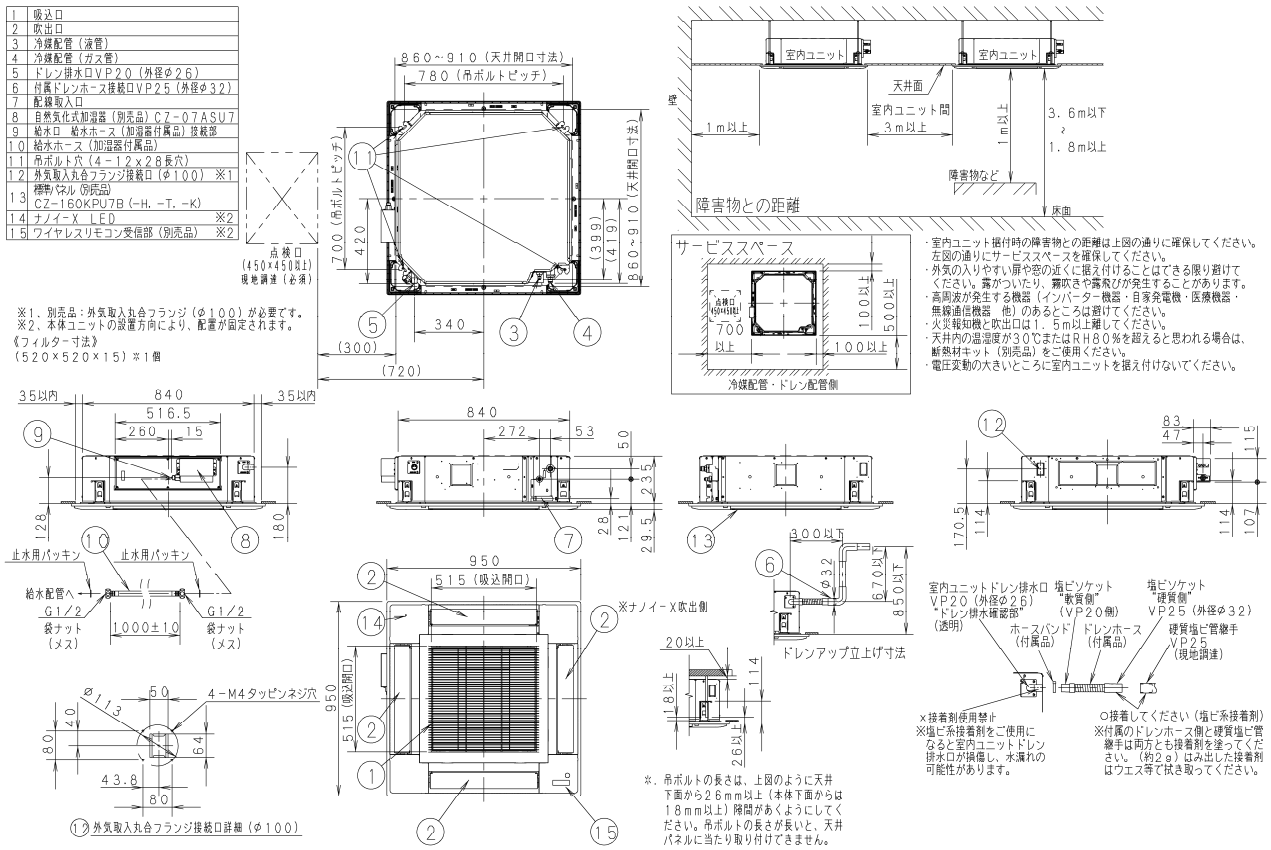
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU7
9	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
10	給水ホース（加湿器付属品）
11	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
12	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）※1
13	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H, -T, -K）
14	ナノイーX LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）※2



■自然気化式加湿器（標準）

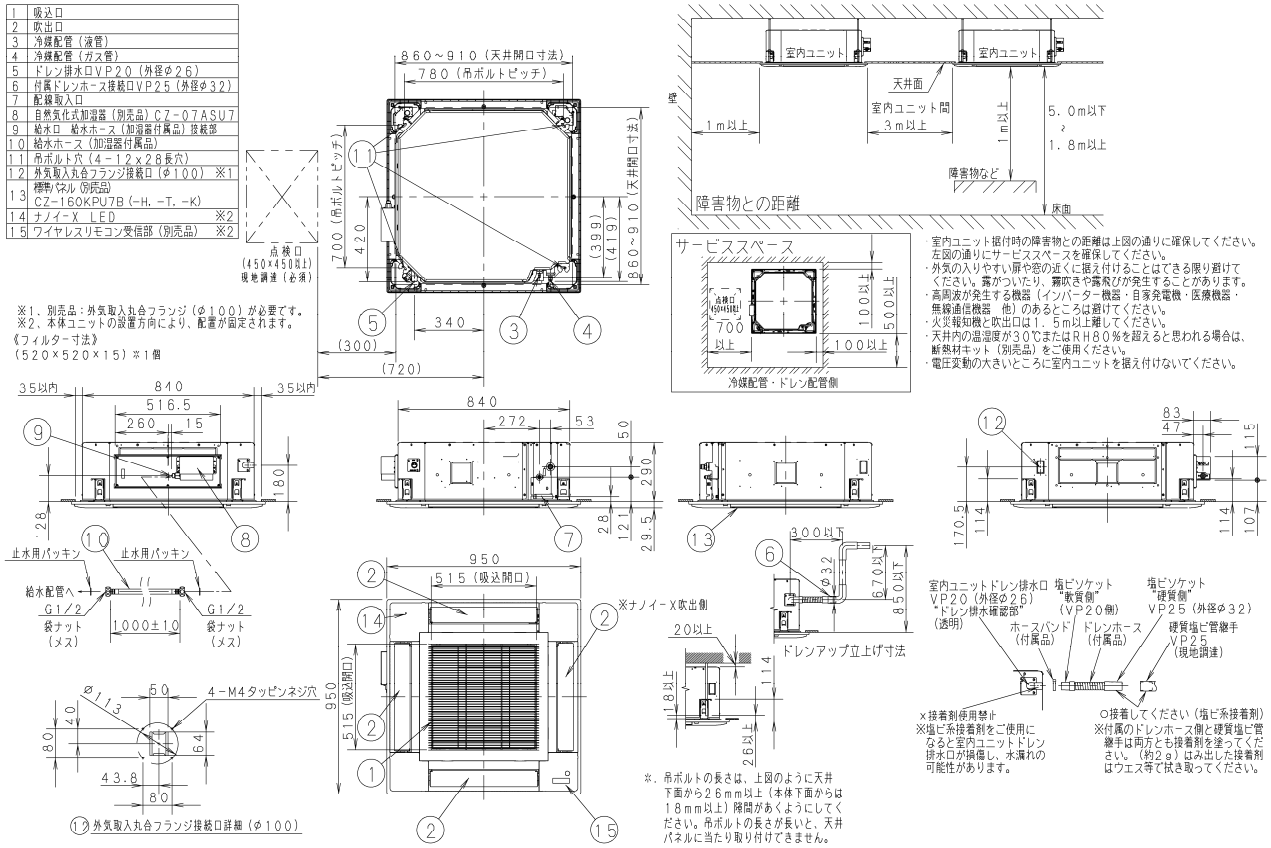
●CZ-07ASU7（1）S-G71･80UU1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU7
9	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
10	給水ホース（加湿器付属品）
11	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
12	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）※1
13	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H, -T, -K）
14	ナノイーX LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）※2



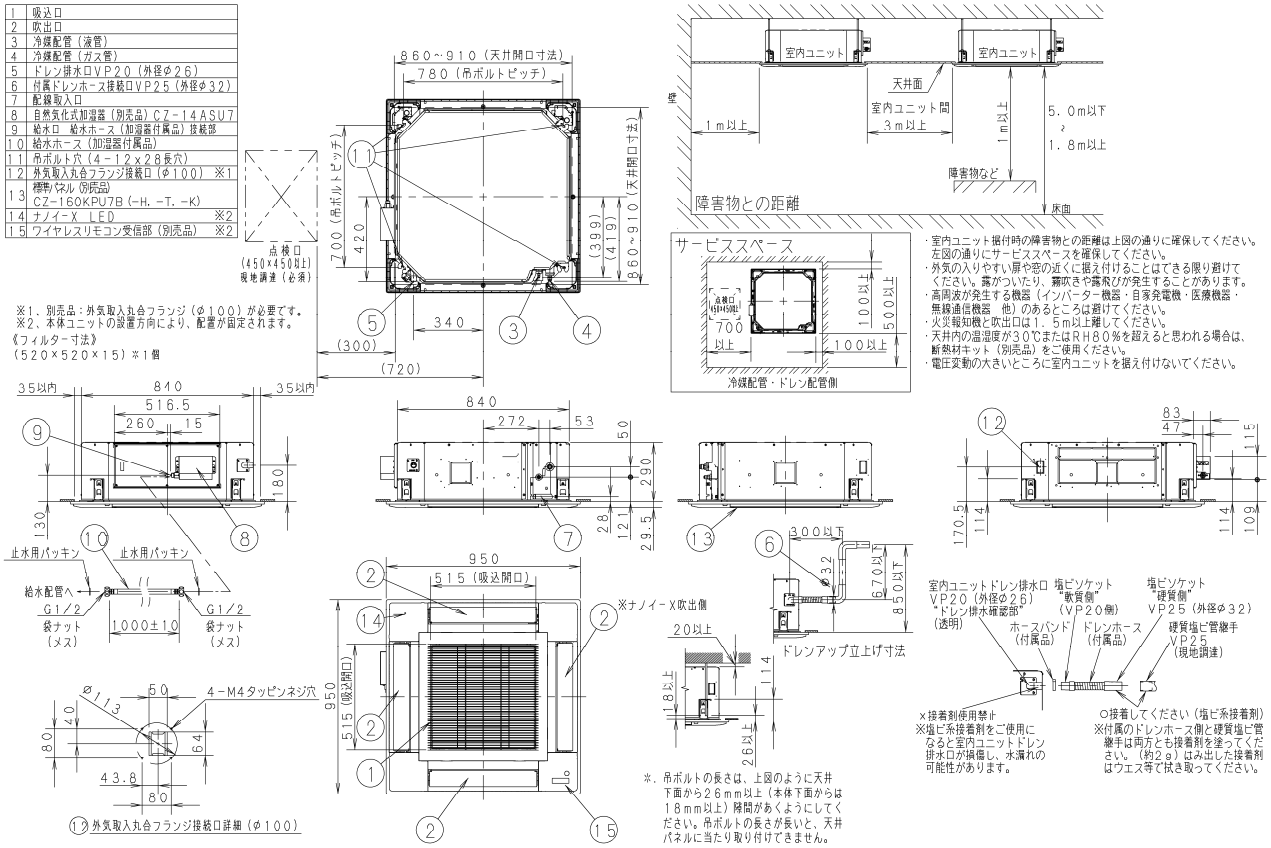
■自然気化式加湿器（標準）

●CZ-07ASU7（1）S-G90UU1



■自然気化式加湿器（標準）

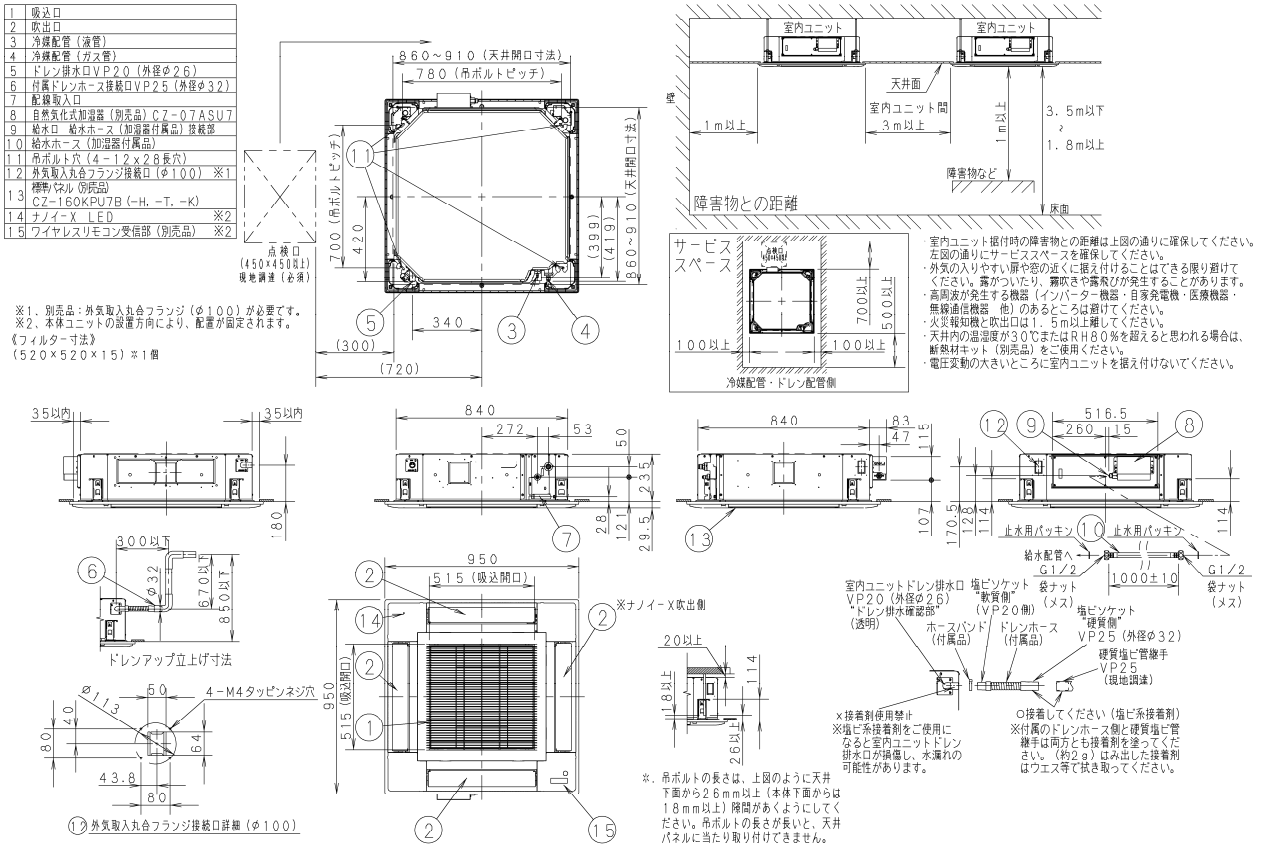
●CZ-14ASU7（1）S-G112 ～ 160UU1



■自然気化式加湿器（標準）

●CZ-07ASU7（2）S-G28 ～ 56UU1

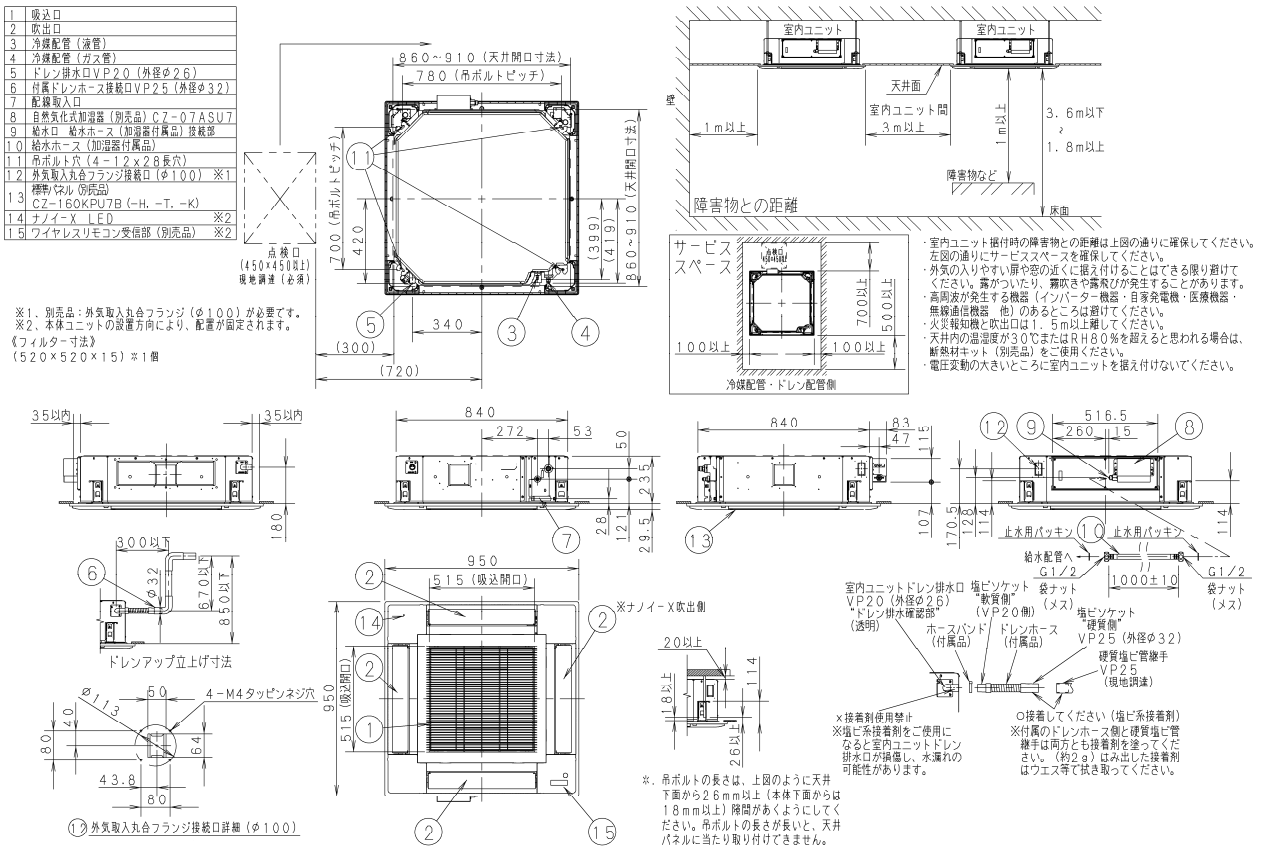
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器（別売品）ＣＺ－０７ＡＳＵ７
9	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
10	給水ホース（加湿器付属品）
11	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
12	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）※１
13	標準パネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＰＵ７Ｂ（－Ｈ，－Ｔ，－Ｋ）
14	ナノイー Ｘ　ＬＥＤ　※２
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※２



■自然気化式加湿器（標準）

●CZ-07ASU7（2）S-G71･80UU1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器（別売品）ＣＺ－０７ＡＳＵ７
9	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
10	給水ホース（加湿器付属品）
11	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
12	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）※１
13	標準パネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＰＵ７Ｂ（－Ｈ，－Ｔ，－Ｋ）
14	ナノイー Ｘ　ＬＥＤ　※２
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※２



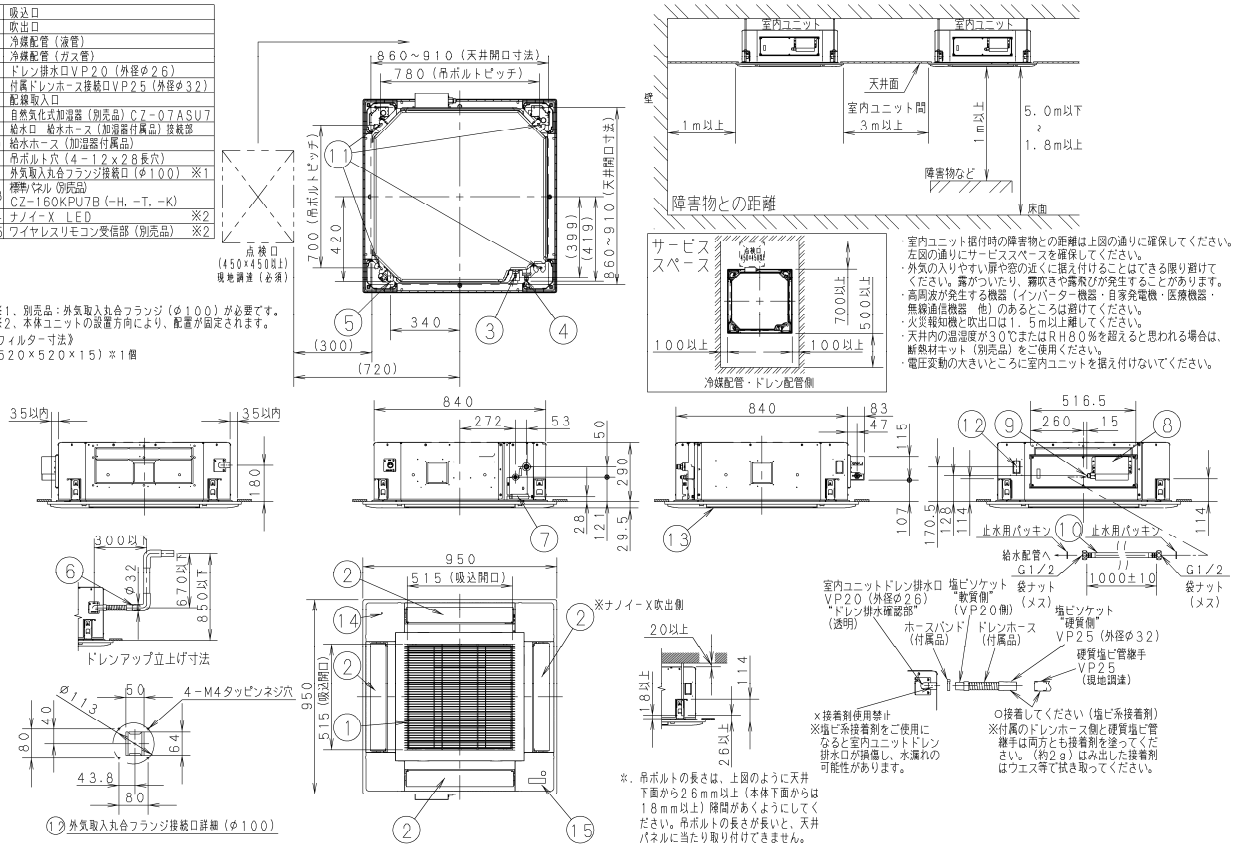
■自然気化式加湿器（標準）

●CZ-07ASU7（2）S-G90UU1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器（別売品）ＣＺ－０７ＡＳＵ７
9	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
10	給水ホース（加湿器付属品）
11	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
12	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）※１
13	標準パネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＰＵ７Ｂ（－Ｈ，－Ｔ，－Ｋ）
14	ナノイーＸ　ＬＥＤ　※２
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※２

※１．別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※２．本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個



※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

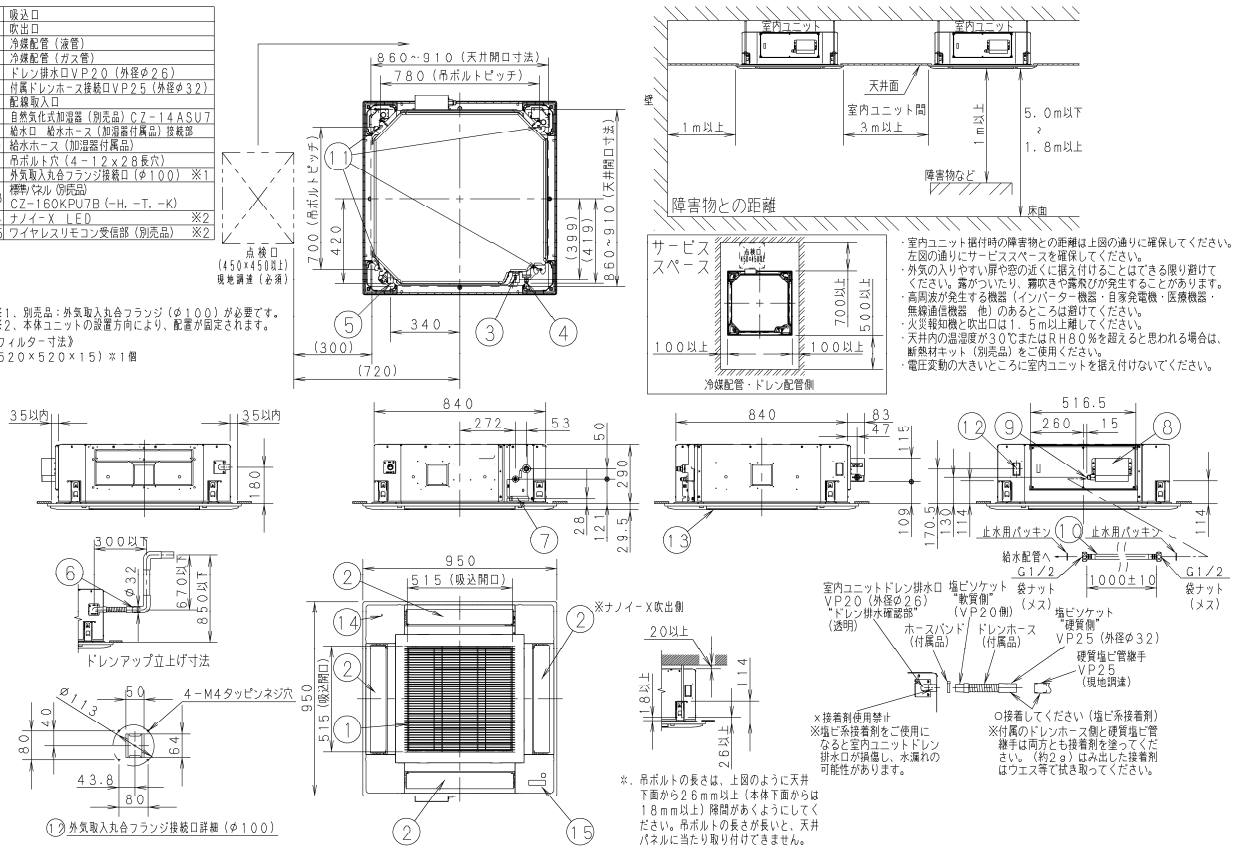
■自然気化式加湿器（標準）

●CZ-14ASU7（2）S-G112 ～ 160UU1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器（別売品）ＣＺ－１４ＡＳＵ７
9	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
10	給水ホース（加湿器付属品）
11	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
12	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）※１
13	標準パネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＰＵ７Ｂ（－Ｈ，－Ｔ，－Ｋ）
14	ナノイーＸ　ＬＥＤ　※２
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※２

※１．別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。
※２．本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個



※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

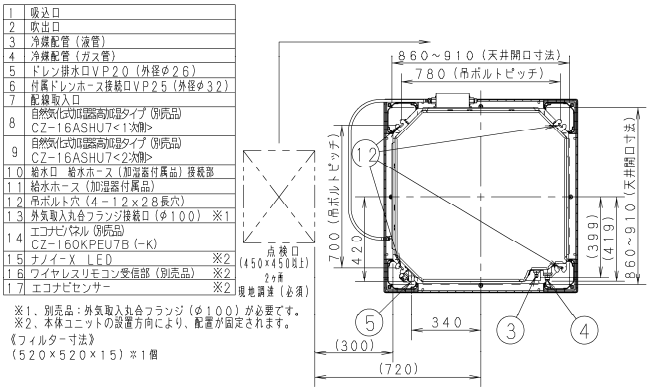
■自然気化式加湿器高加湿タイプ（エコナビパネル）

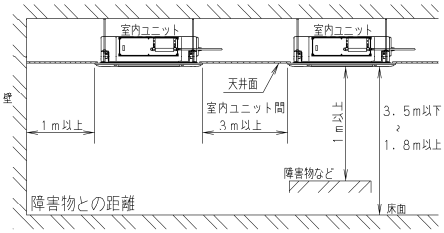
●CZ-16ASHU7　S-G28 ～ 56UU1

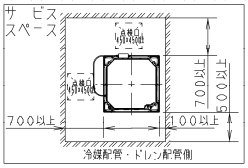
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-16ASHU7<1次側>
9	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-16ASHU7<2次側>
10	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
11	給水ホース（加湿器付属品）
12	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
13	外気取入れ合フランジ接続口（φ100）※1
14	エコナビパネル（別売品）CZ-16GKPEU7B（-K）
15	ナノイー X LED　※2
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2
17	エコナビセンサー　※2

※1．別売品：外気取入れ合フランジ（φ100）が必要です。
※2．本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

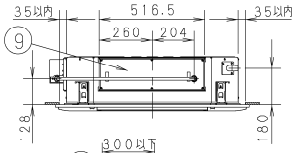
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

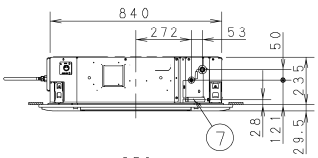


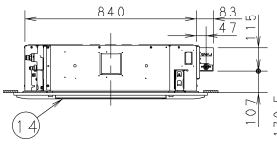


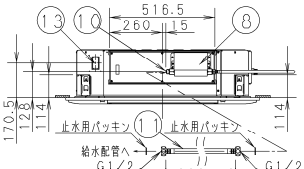


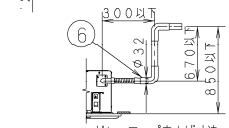
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
ください。霧がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

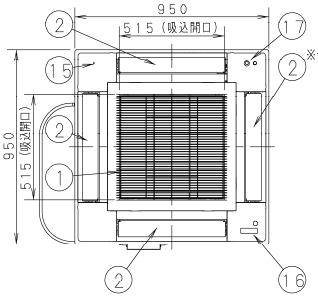


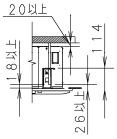


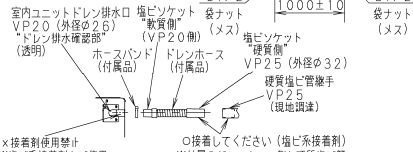






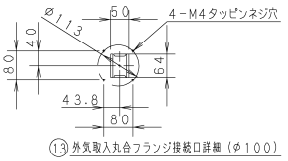






×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。



※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

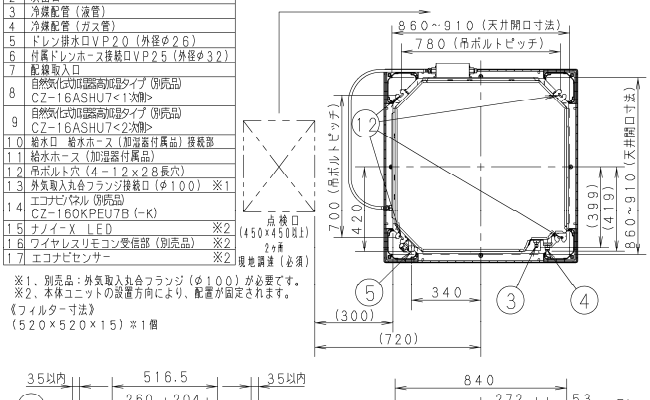
■自然気化式加湿器高加湿タイプ（エコナビパネル）

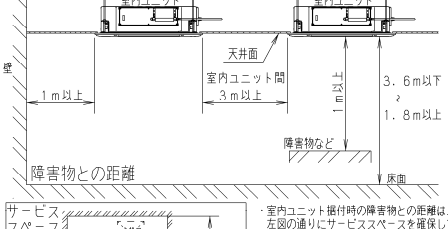
●CZ-16ASHU7　S-G71･80UU1

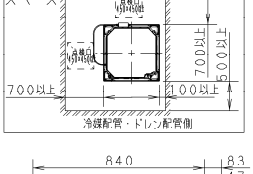
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-16ASHU7<1次側>
9	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-16ASHU7<2次側>
10	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
11	給水ホース（加湿器付属品）
12	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
13	外気取入れ合フランジ接続口（φ100）※1
14	エコナビパネル（別売品）CZ-16GKPEU7B（-K）
15	ナノイー X LED　※2
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2
17	エコナビセンサー　※2

※1．別売品：外気取入れ合フランジ（φ100）が必要です。
※2．本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

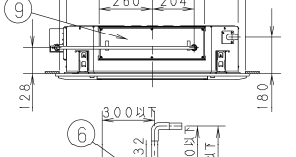
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

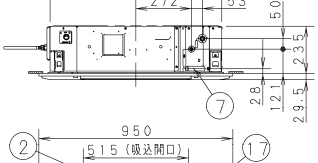


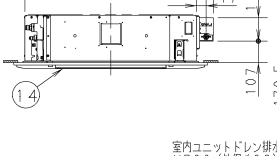


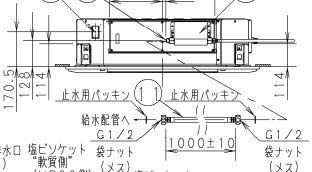


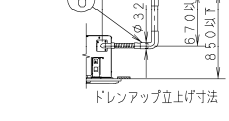
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
ください。霧がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

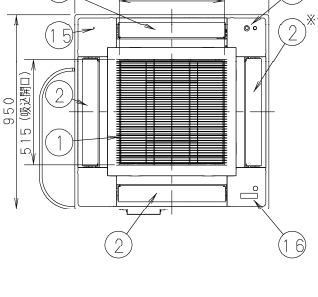


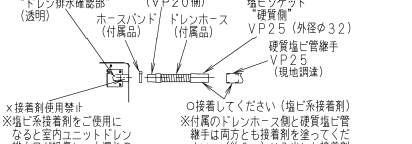












×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

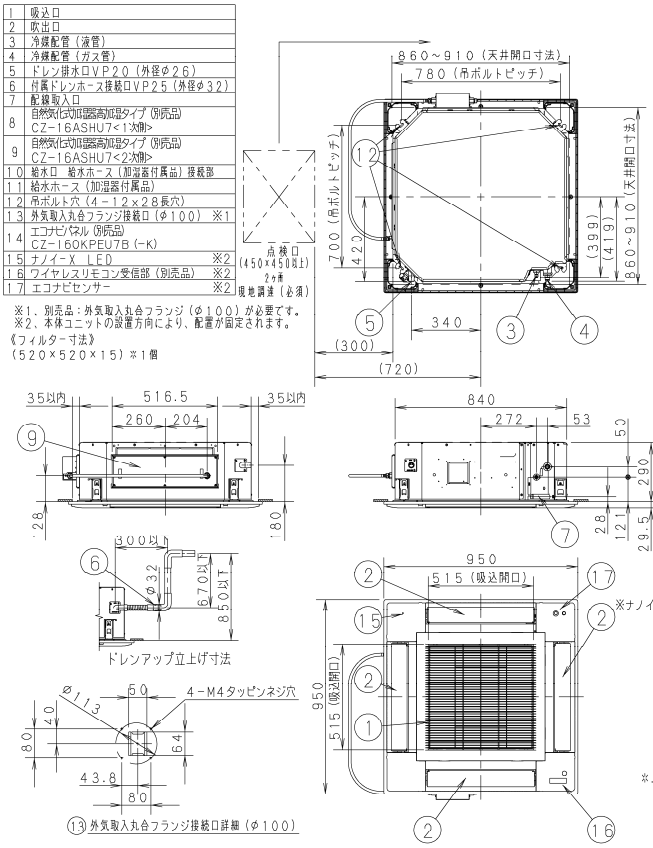
■自然気化式加湿器高加湿タイプ（エコナビパネル）

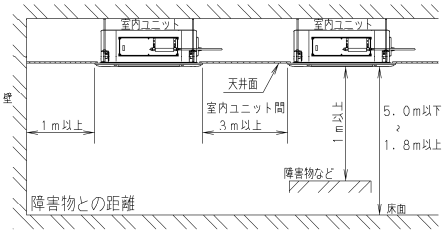
●CZ-16ASHU7　S-G90UU1

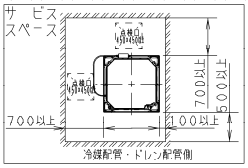
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-16ASHU7<1次側>
9	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-16ASHU7<2次側>
10	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
11	給水ホース（加湿器付属品）
12	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
13	外気取入れ合フランジ接続口（φ100）※1
14	エコナビパネル（別売品）CZ-16KPEU7B（-K）
15	ナノイーX LED　※2
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2
17	エコナビセンサー　※2

※1．別売品：外気取入れ合フランジ（φ100）が必要です。
※2．本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個







・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。霧がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2g）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

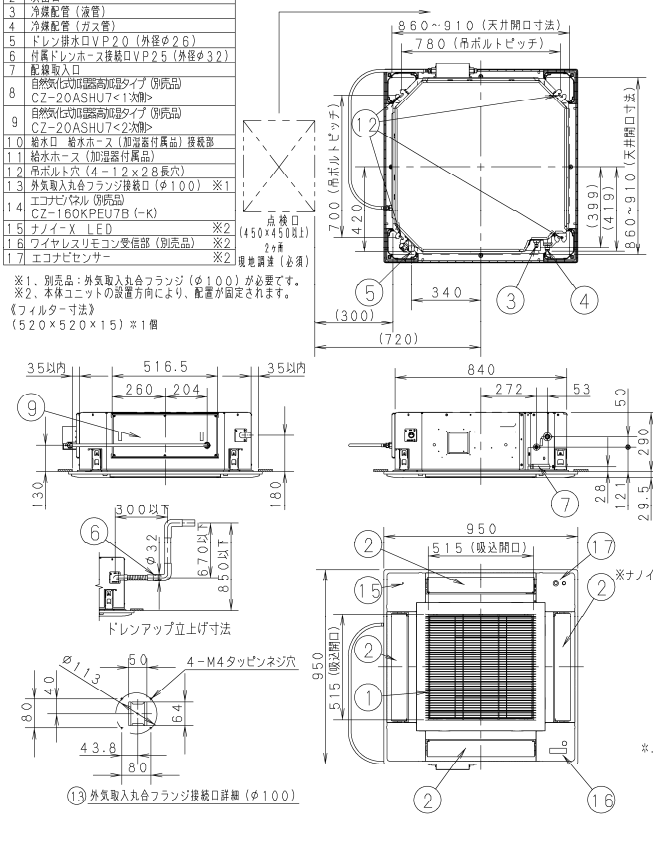
■自然気化式加湿器高加湿タイプ（エコナビパネル）

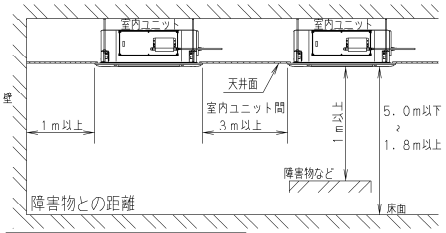
●CZ-20ASHU7　S-G112～160UU1

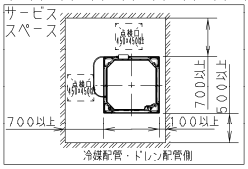
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-20ASHU7<1次側>
9	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-20ASHU7<2次側>
10	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
11	給水ホース（加湿器付属品）
12	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
13	外気取入れ合フランジ接続口（φ100）※1
14	エコナビパネル（別売品）CZ-16KPEU7B（-K）
15	ナノイーX LED　※2
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2
17	エコナビセンサー　※2

※1．別売品：外気取入れ合フランジ（φ100）が必要です。
※2．本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個







・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。霧がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2g）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

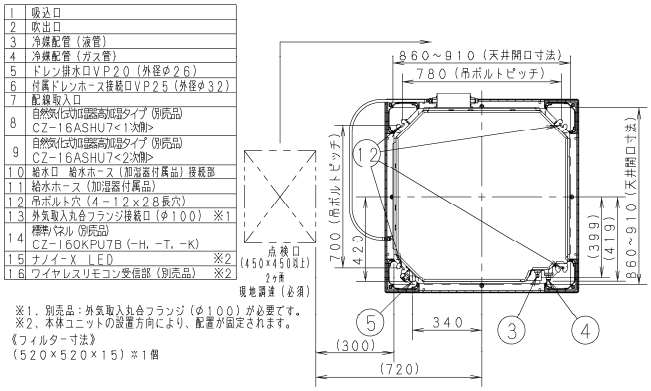
■自然気化式加湿器高加湿タイプ（標準）

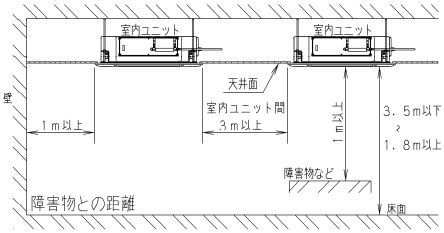
●CZ-16ASHU7　S-G28 ～ 56UU1

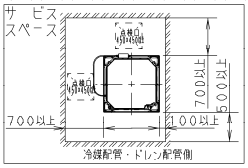
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-16ASHU7<1次側>
9	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-16ASHU7<2次側>
10	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
11	給水ホース（加湿器付属品）
12	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
13	外気取入れ合フランジ接続口（φ100）※1
14	標準パネル（別売品）CZ-16KPU7B（-H，-T，-K）
15	ナノイー X LED　※2
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2

※1．別売品：外気取入れ合フランジ（φ100）が必要です。
※2．本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

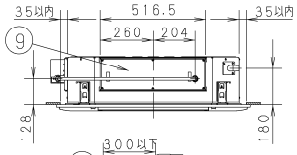
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

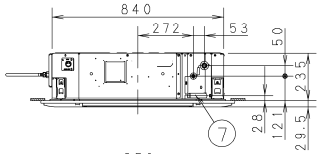


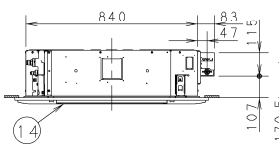


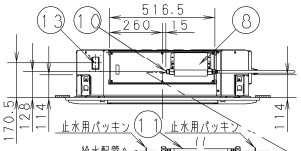


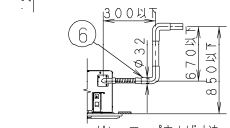
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
ください。霧がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



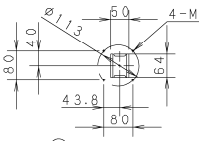




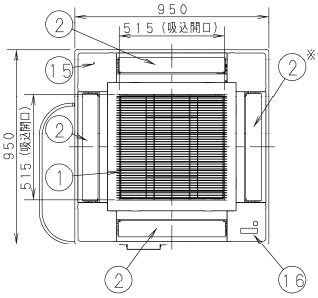


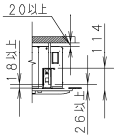


ドレンアップ立上げ寸法

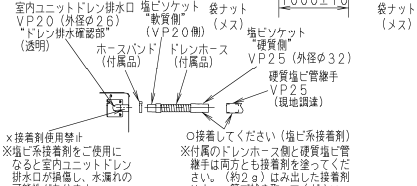


⑬外気取入れ合フランジ接続口詳細（φ100）





※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
下面から２６mm以上（本体下面からは
１８mm以上）隙間があくようにして
ください。吊ボルトの長さが長いと、天井
パネルに当たり取り付けできません。



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用に
なると室内ユニットドレン
排水口が損傷し、水漏れの
可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管
継手は両方とも接着剤を塗ってくだ
さい。（約２ｇ）はみ出した接着剤
はウエス等で拭き取ってください。

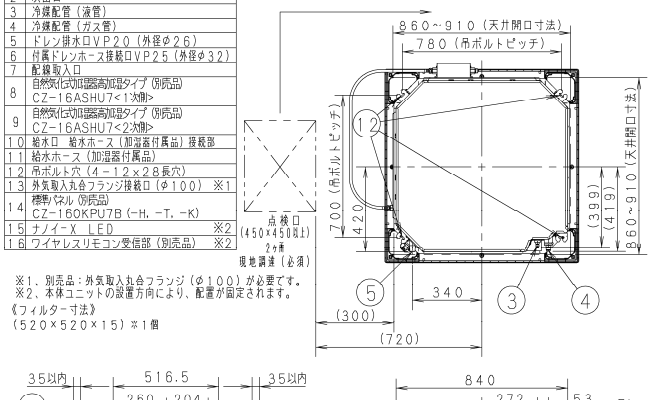
■自然気化式加湿器高加湿タイプ（標準）

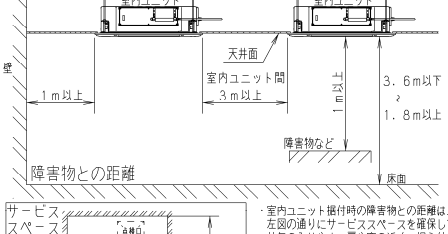
●CZ-16ASHU7　S-G71･80UU1

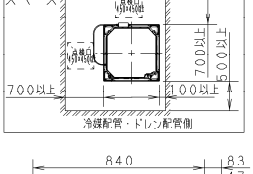
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-16ASHU7<1次側>
9	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-16ASHU7<2次側>
10	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
11	給水ホース（加湿器付属品）
12	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
13	外気取入れ合フランジ接続口（φ100）※1
14	標準パネル（別売品）CZ-16KPU7B（-H，-T，-K）
15	ナノイー X LED　※2
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2

※1．別売品：外気取入れ合フランジ（φ100）が必要です。
※2．本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

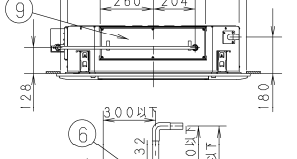
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

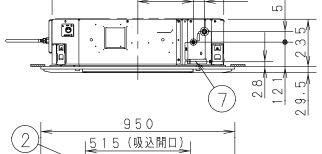


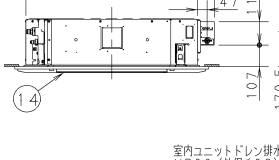


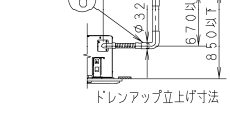


・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
ください。霧がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



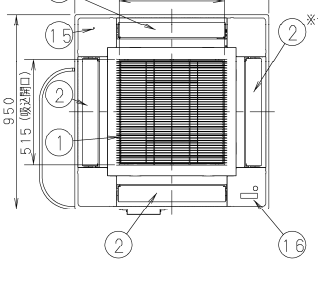




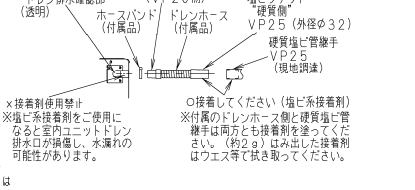


ドレンアップ立上げ寸法

⑬外気取入れ合フランジ接続口詳細（φ100）



※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
下面から２６mm以上（本体下面からは
１８mm以上）隙間があくようにして
ください。吊ボルトの長さが長いと、天井
パネルに当たり取り付けできません。



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用に
なると室内ユニットドレン
排水口が損傷し、水漏れの
可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管
継手は両方とも接着剤を塗ってくだ
さい。（約２ｇ）はみ出した接着剤
はウエス等で拭き取ってください。

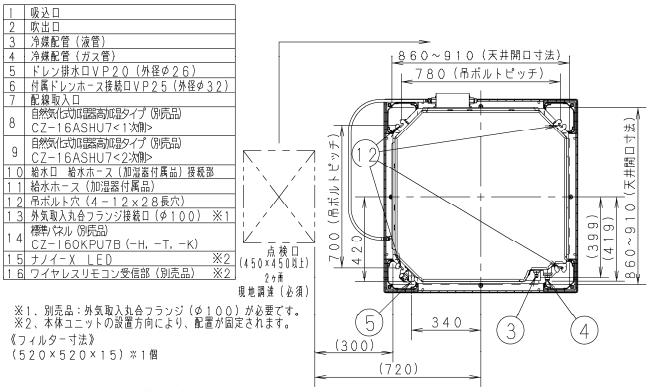
■自然気化式加湿器高加湿タイプ（標準）

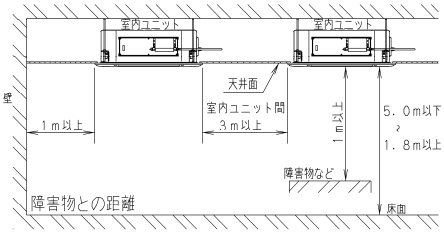
●CZ-16ASHU7　S-G90UU1

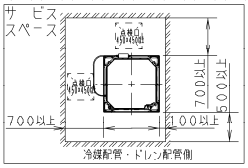
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-16ASHU7<1次側>
9	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-16ASHU7<2次側>
10	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
11	給水ホース（加湿器付属品）
12	吊ボルト穴（４－１２×２８長穴）
13	外気取入れ合フランジ接続口（φ１００）※１
14	標準パネル（別売品）CZ-16KPU7B（−H，−T，−K）
15	ナノイー Ｘ ＬＥＤ　※２
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※２

※１．別売品：外気取入れ合フランジ（φ１００）が必要です。
※２．本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

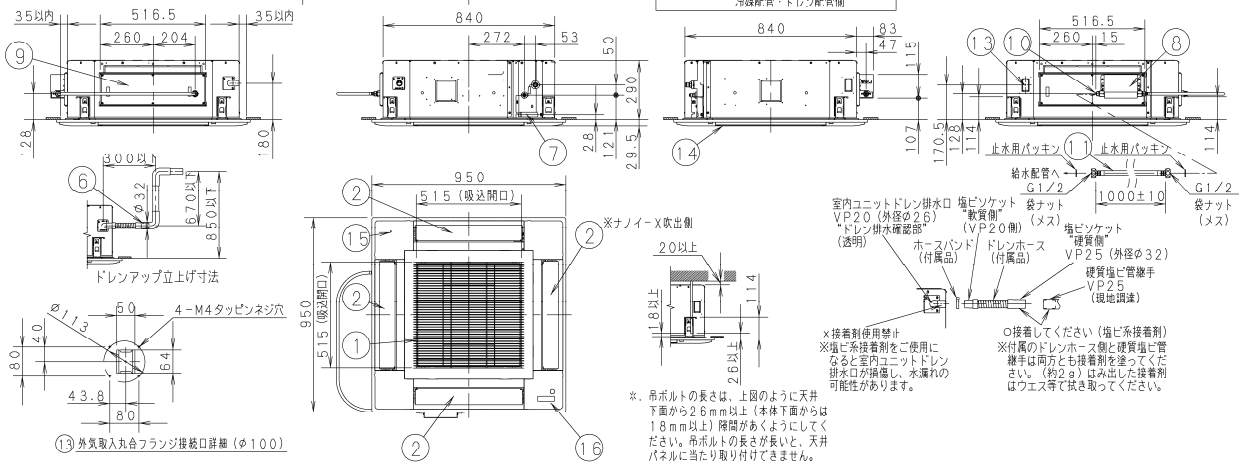
《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個







・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
ください。霧がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



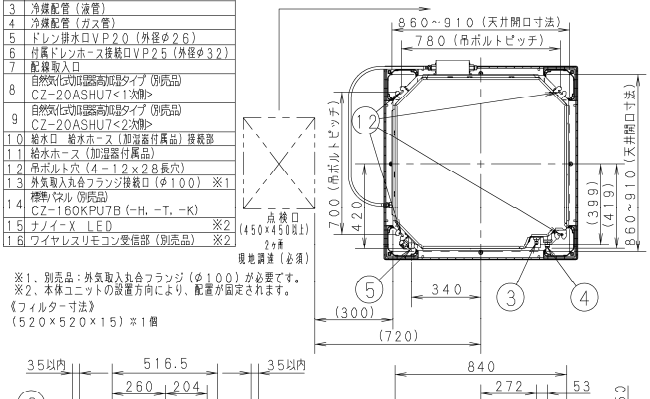
■自然気化式加湿器高加湿タイプ（標準）

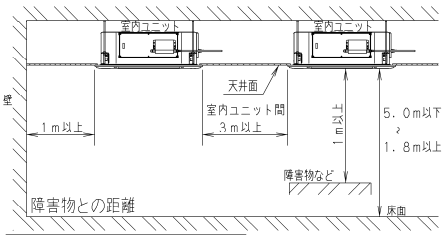
●CZ-20ASHU7　S-G112 ～ 160UU1

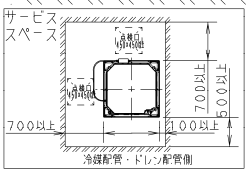
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-20ASHU7<1次側>
9	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-20ASHU7<2次側>
10	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
11	給水ホース（加湿器付属品）
12	吊ボルト穴（４－１２×２８長穴）
13	外気取入れ合フランジ接続口（φ１００）※１
14	標準パネル（別売品）CZ-16KPU7B（−H，−T，−K）
15	ナノイー Ｘ ＬＥＤ　※２
16	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※２

※１．別売品：外気取入れ合フランジ（φ１００）が必要です。
※２．本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

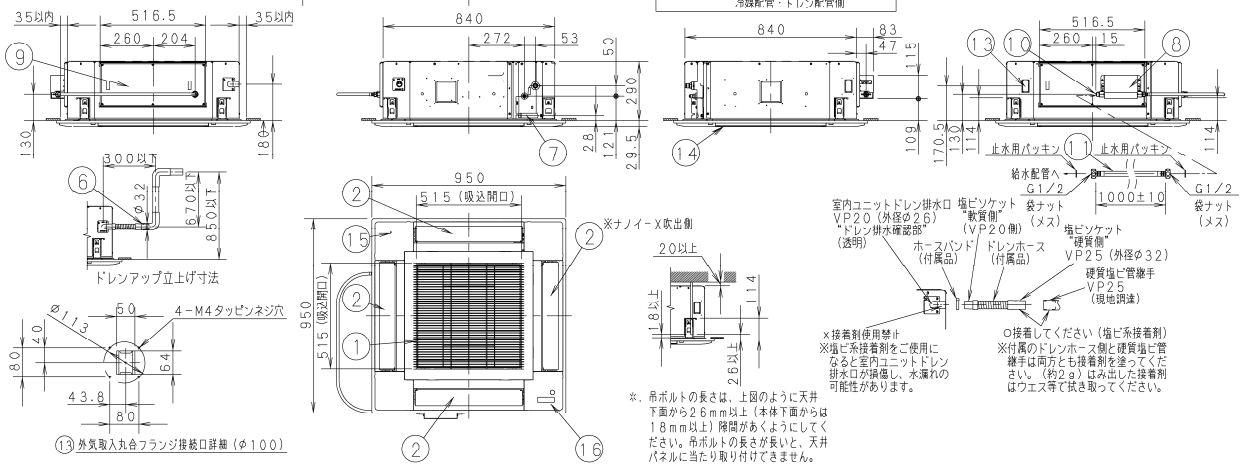
《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）※１個







・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
ください。霧がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



■丸合フランジ<外気取入用>（CZ-DA100）

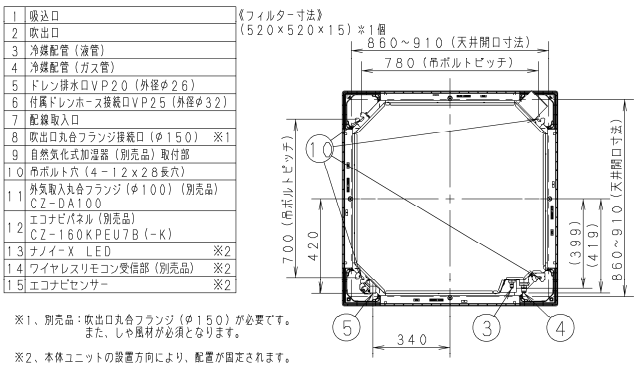
●S-G28 ～ 56UU1（エコナビパネル）

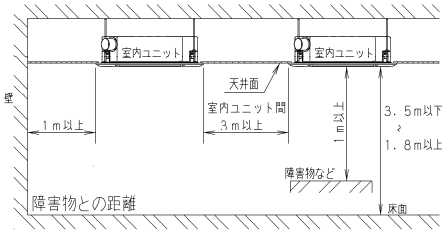
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ（φ100）（別売品）CZ-DA100
12	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
13	ナノイー X LED　※2
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2
15	エコナビセンサー　※2

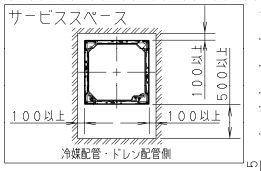
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
また、しゃ風材が必須となります。

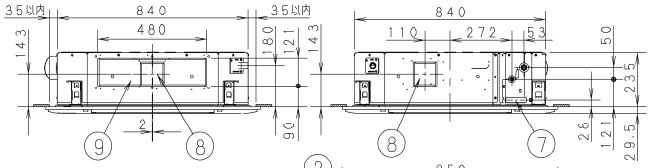
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

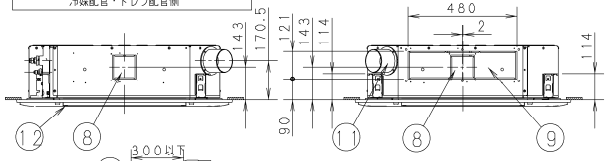


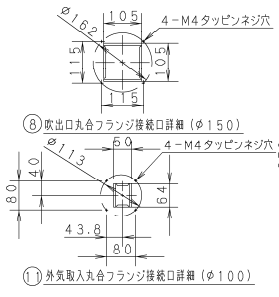


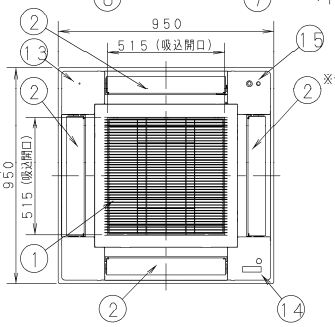


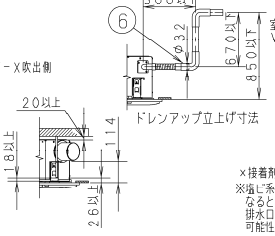
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
ください。露がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、
断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

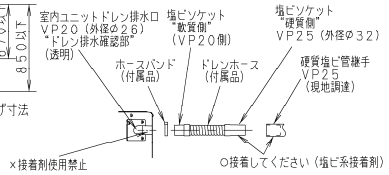












×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2ｇ）はみ出した接着剤はウエメ等で拭き取ってください。

※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

■丸合フランジ<外気取入用>（CZ-DA100）

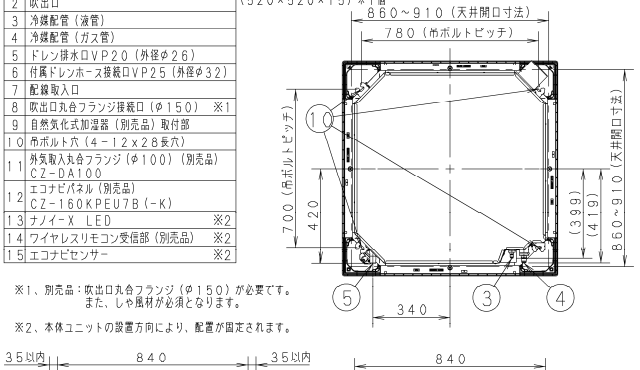
●S-G71･80UU1（エコナビパネル）

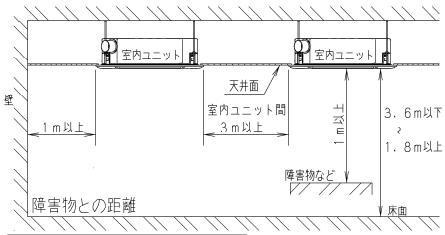
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ（φ100）（別売品）CZ-DA100
12	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
13	ナノイー X LED　※2
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2
15	エコナビセンサー　※2

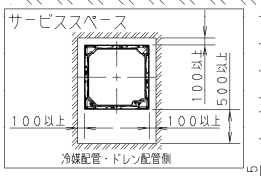
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
また、しゃ風材が必須となります。

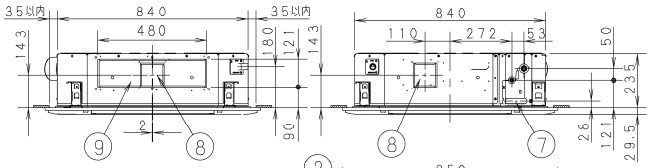
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

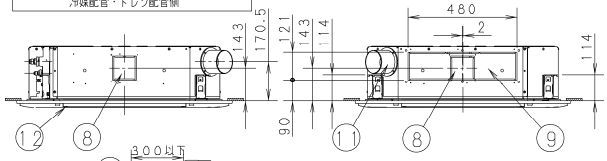


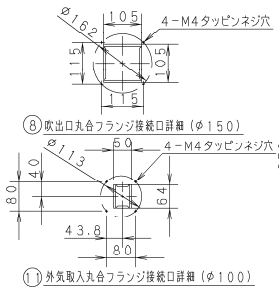


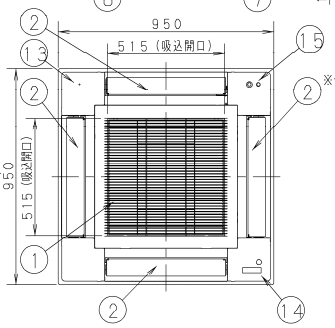


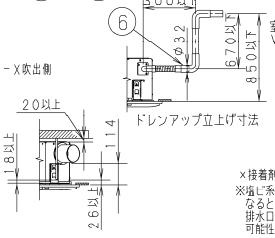
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
ください。露がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、
断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

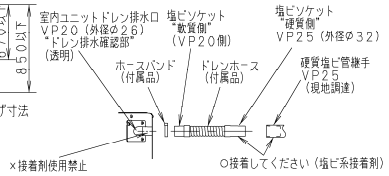












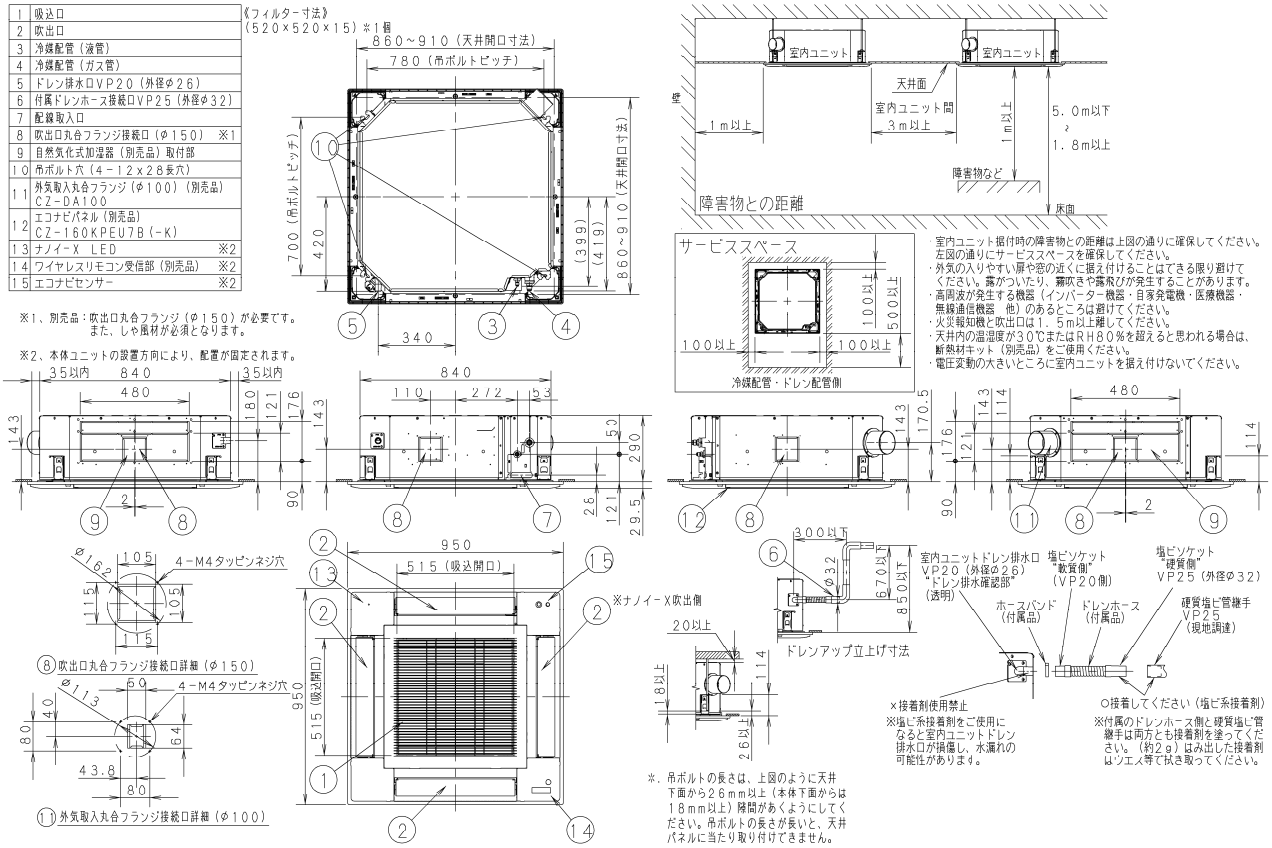
×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2ｇ）はみ出した接着剤はウエメ等で拭き取ってください。

※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

■丸合フランジ<外気取入用>（CZ-DA100）

●S-G90 ～ 160UU1（エコナビパネル）



■丸合フランジ<外気取入用>（CZ-DA100）

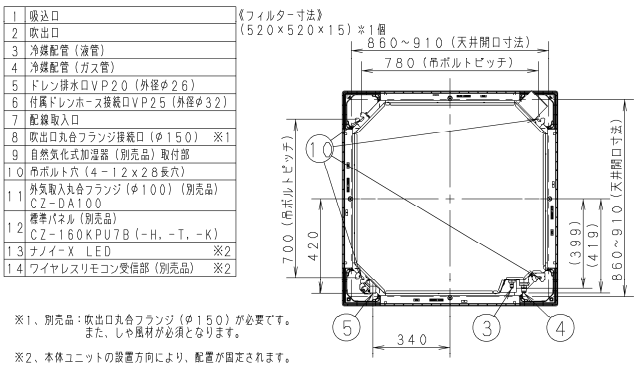
●S-G28 ～ 56UU1（標準パネル）

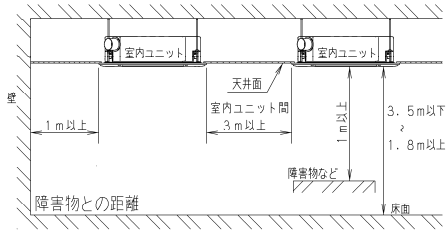
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ（φ100）（別売品）CZ-DA100
12	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
13	ナノイー X LED　※2
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2

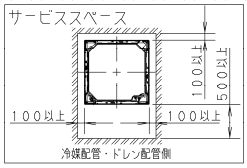
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
また、しゃ風材が必須となります。

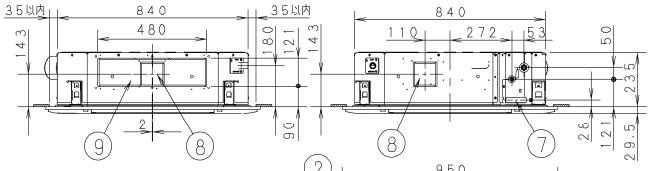
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

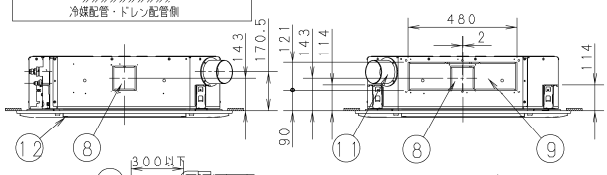


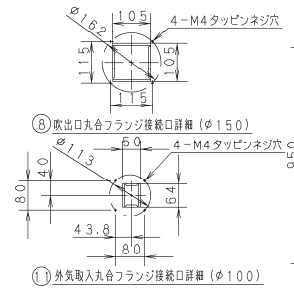


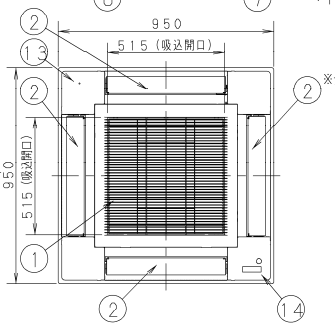


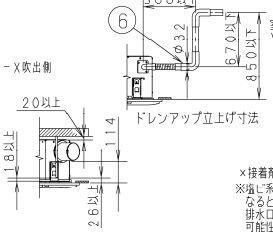
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
ください。露がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、
断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

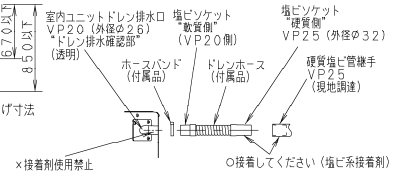












※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
下面から26mm以上（本体下面からは
18mm以上）隙間があくようにしてく
ださい。吊ボルトの長さが長いと、天井
パネルに当たり取り付けできません。

■丸合フランジ<外気取入用>（CZ-DA100）

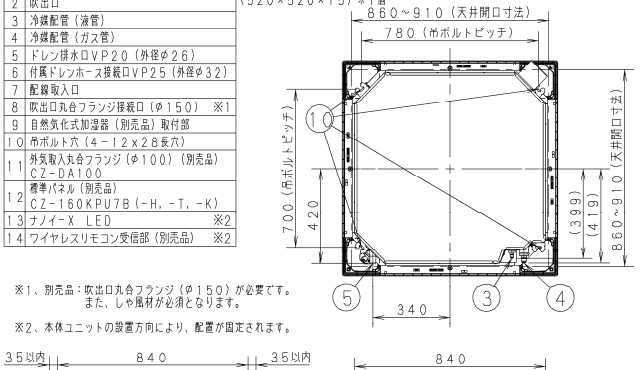
●S-G71･80UU1（標準パネル）

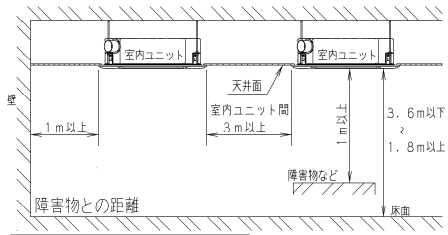
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ（φ100）（別売品）CZ-DA100
12	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
13	ナノイー X LED　※2
14	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2

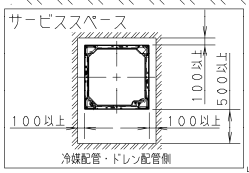
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
また、しゃ風材が必須となります。

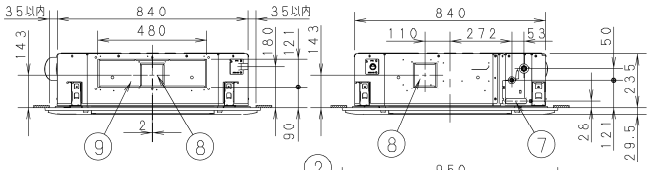
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

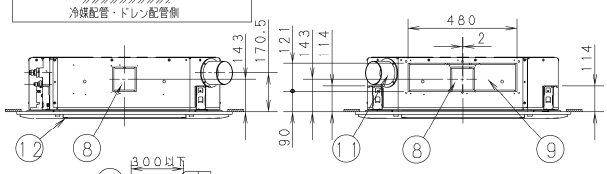


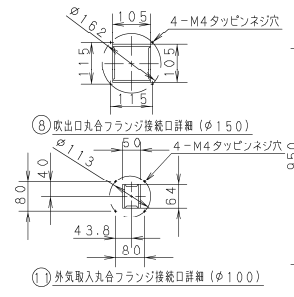


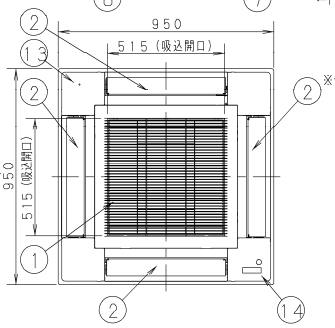


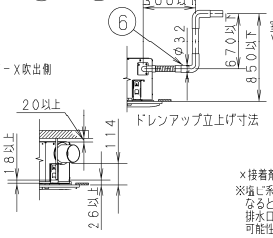
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
ください。露がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、
断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

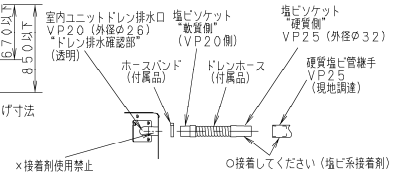








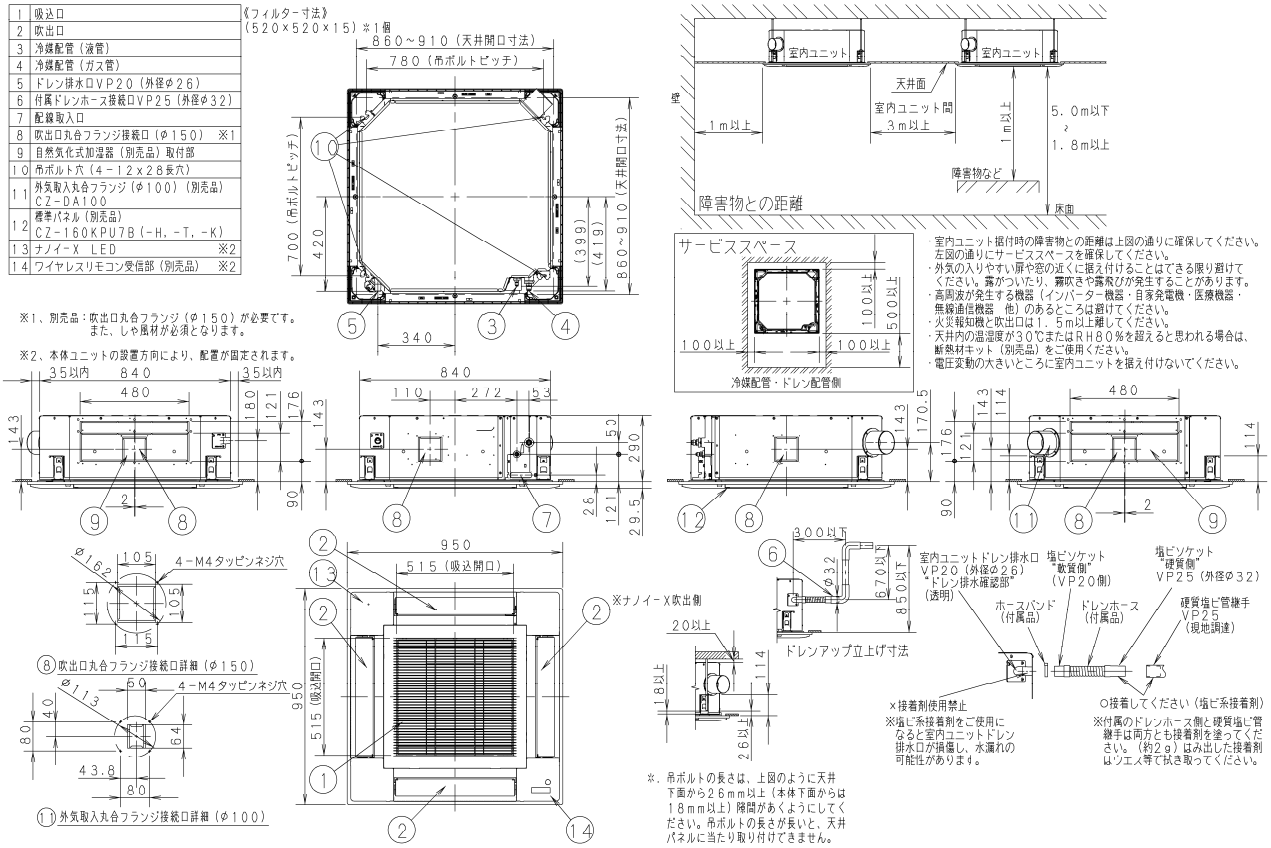




※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
下面から26mm以上（本体下面からは
18mm以上）隙間があくようにしてく
ださい。吊ボルトの長さが長いと、天井
パネルに当たり取り付けできません。

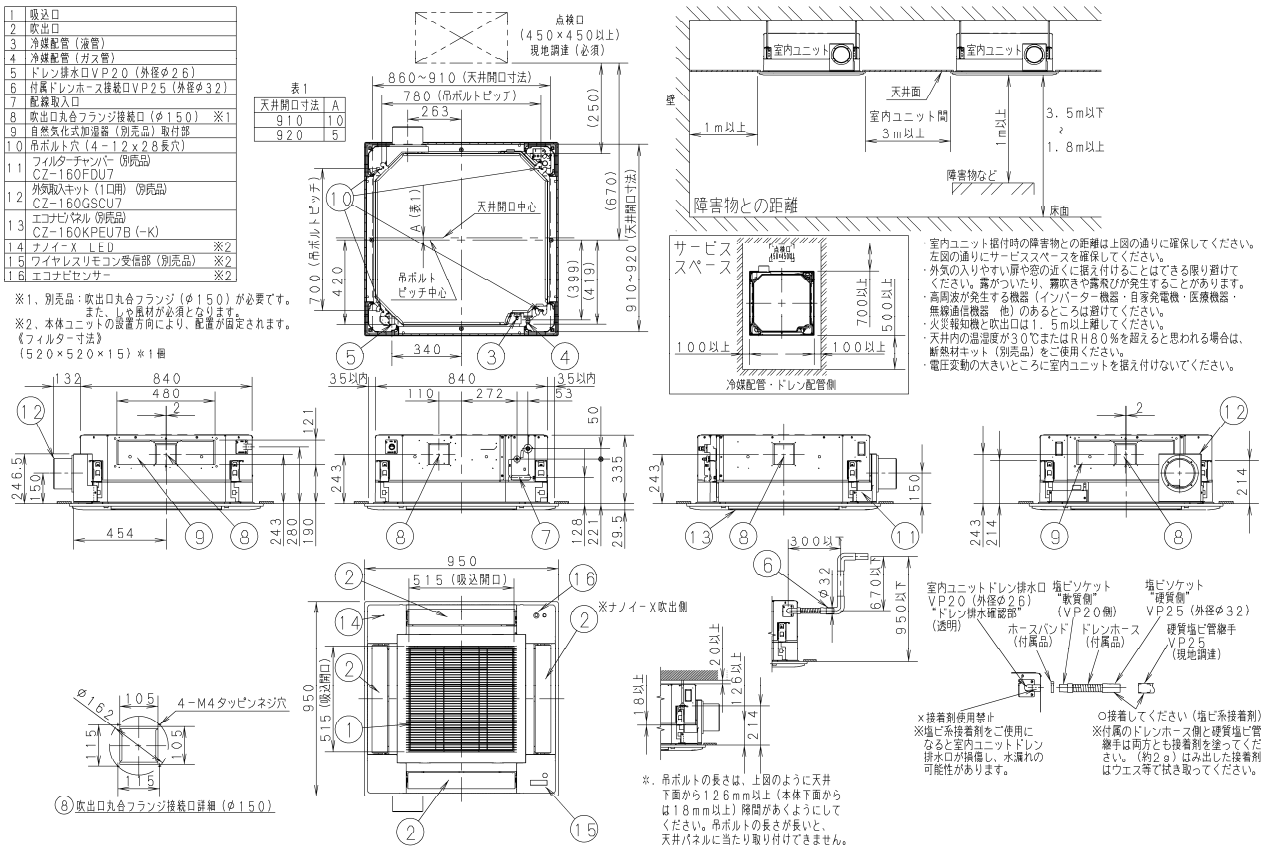
■丸合フランジ<外気取入用>（CZ-DA100）

●S-G90 ～ 160UU1（標準パネル）



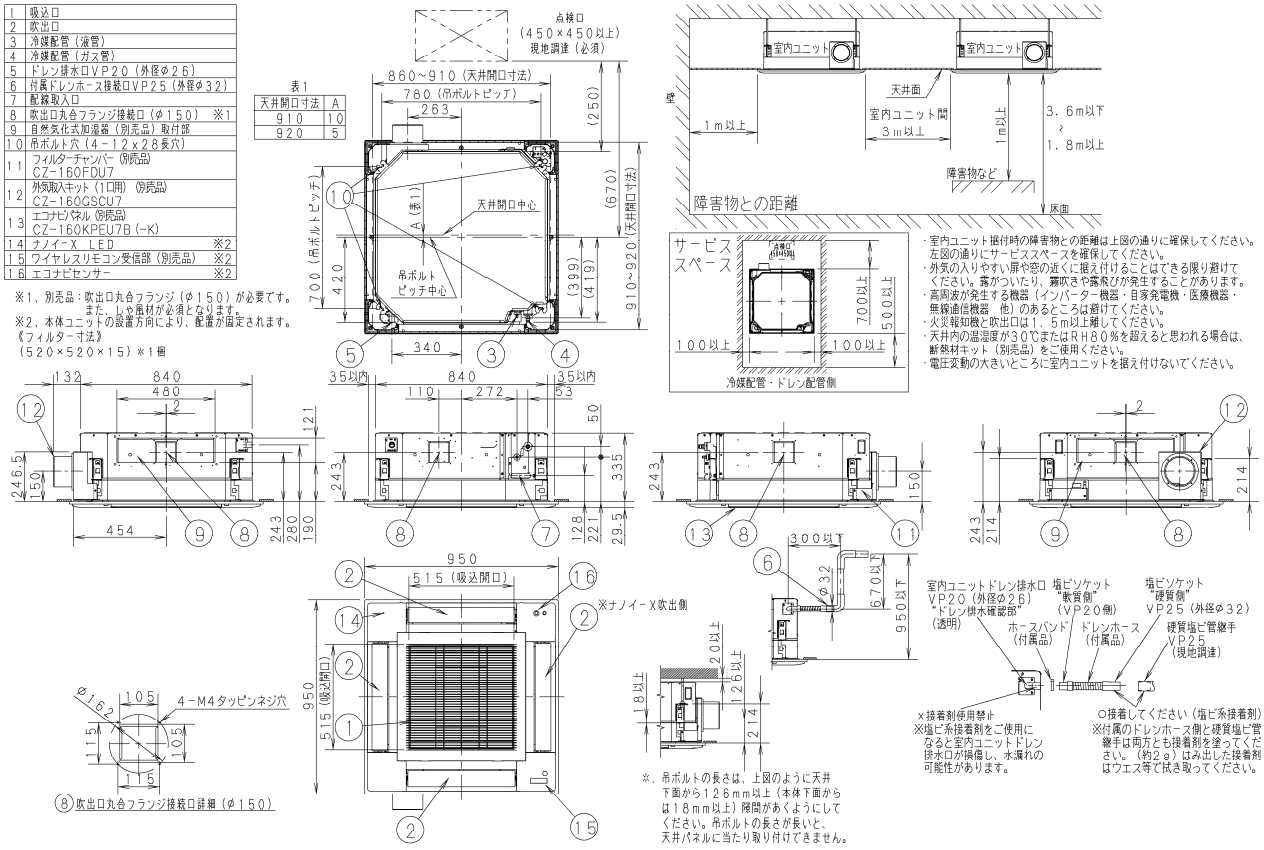
■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・外気取入キット（1口用）（CZ-160GSCU7）

●S-G28 ～ 56UU1（エコナビパネル）



■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・外気取入キット（1口用）（CZ-160GSCU7）

●S-G71･80UU1（エコナビパネル）



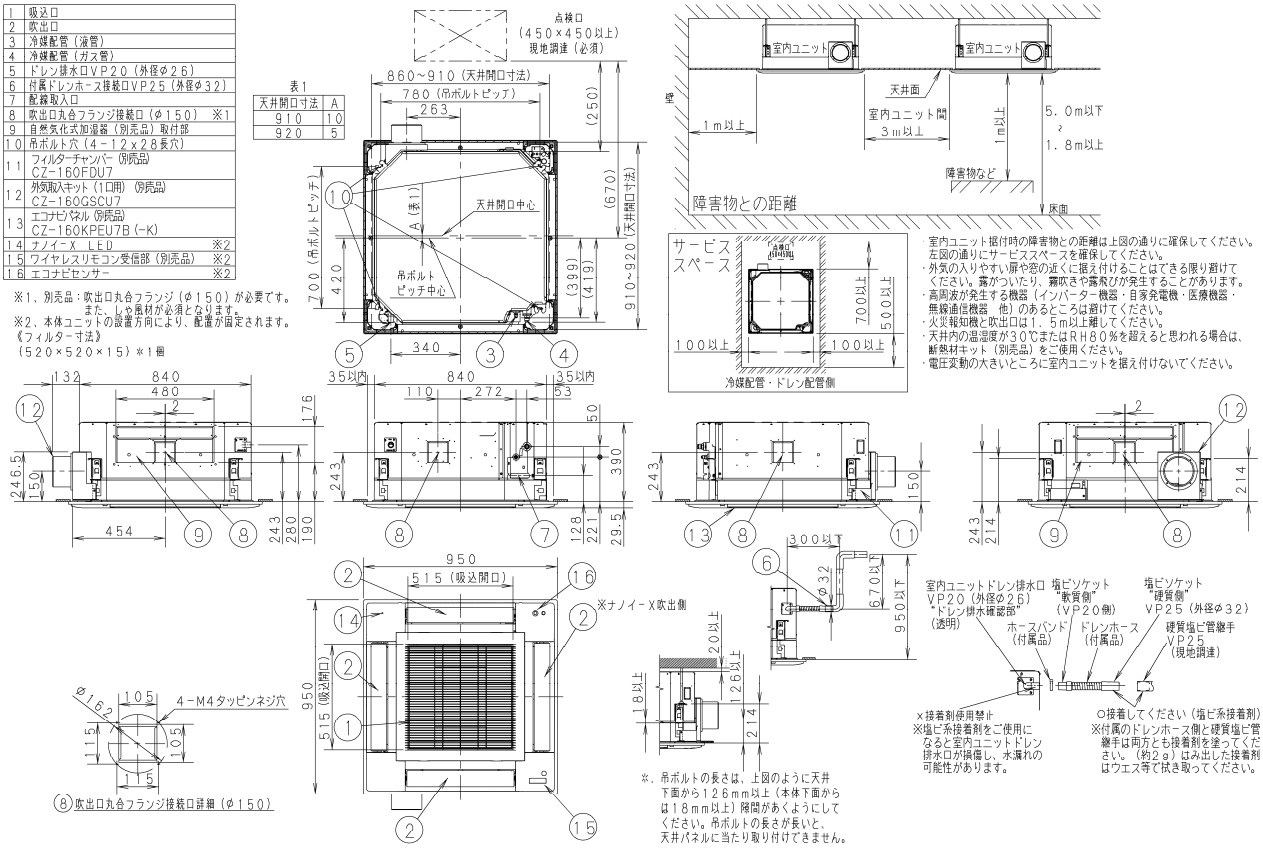
■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・外気取入キット（1口用）（CZ-160GSCU7）

●S-G90 ～ 160UU1（エコナビパネル）

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２×２８長穴）
11	フィルターチャンバー（別売品）CZ-160FDU7
12	外気取入キット（1口用）（別売品）CZ-160GSCU7
13	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
14	ナノイー Ｘ ＬＥＤ　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2
16	エコナビセンサー　※2

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）＊1個



・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

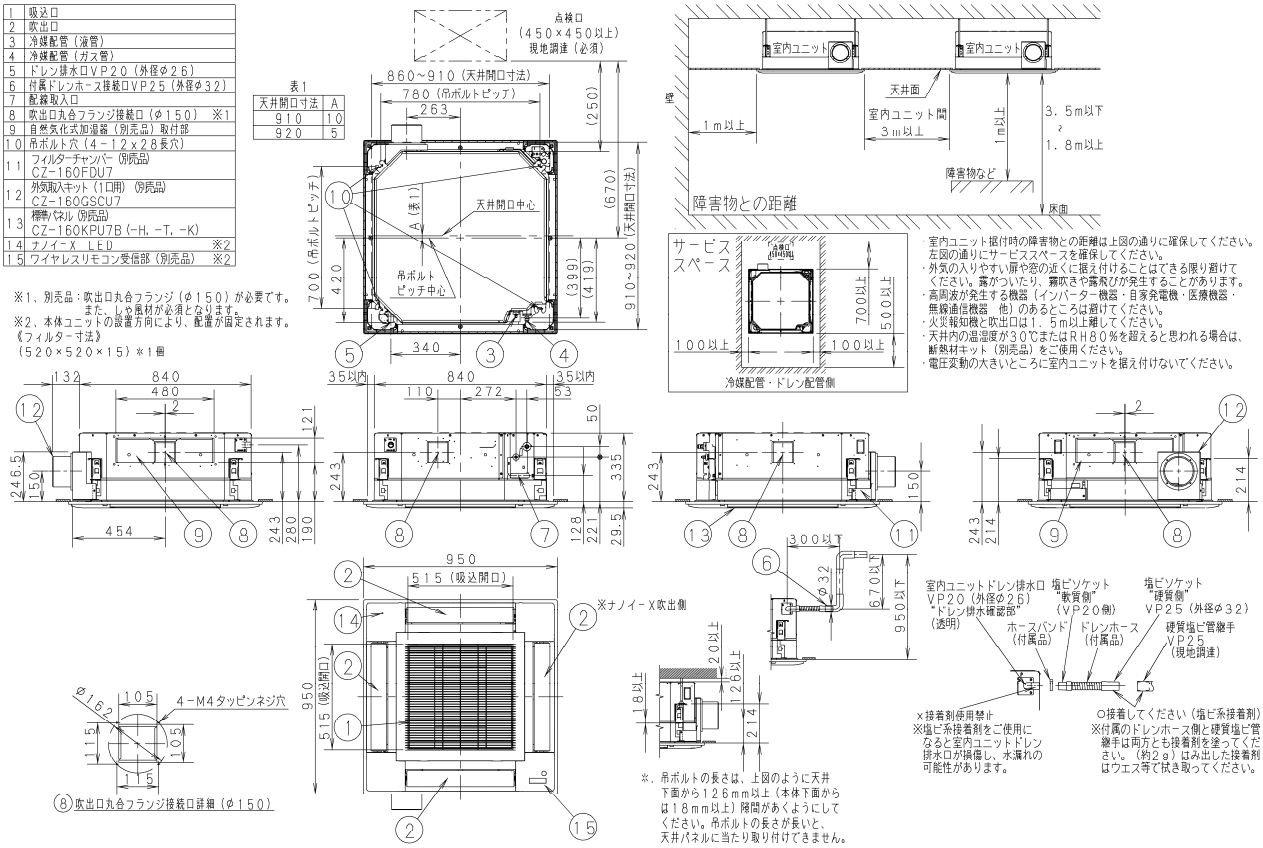
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から１２６mm以上（本体下面からは１８mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・外気取入キット（1口用）（CZ-160GSCU7）

●S-G28 ～ 56UU1（標準パネル）

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	フィルターチャンバー（別売品）CZ-160FDU7
12	外気取入キット（1口用）（別売品）CZ-160GSCU7
13	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
14	ナノイー X LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2

※1．別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※2．本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。
《フィルター寸法》
（520×520×15）＊1個



・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
　ください。露がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
　無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、
　断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

室内ユニットドレン排水口 VP20（外径φ26）"ドレン排水確認部"（透明）
塩ビソケット "軟質側"（VP20側）
塩ビソケット "硬質側" VP25（外径φ32）
ホースバンド（付属品）
ドレンホース（付属品）
硬質塩ビ管継手 VP25（現地調達）

×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

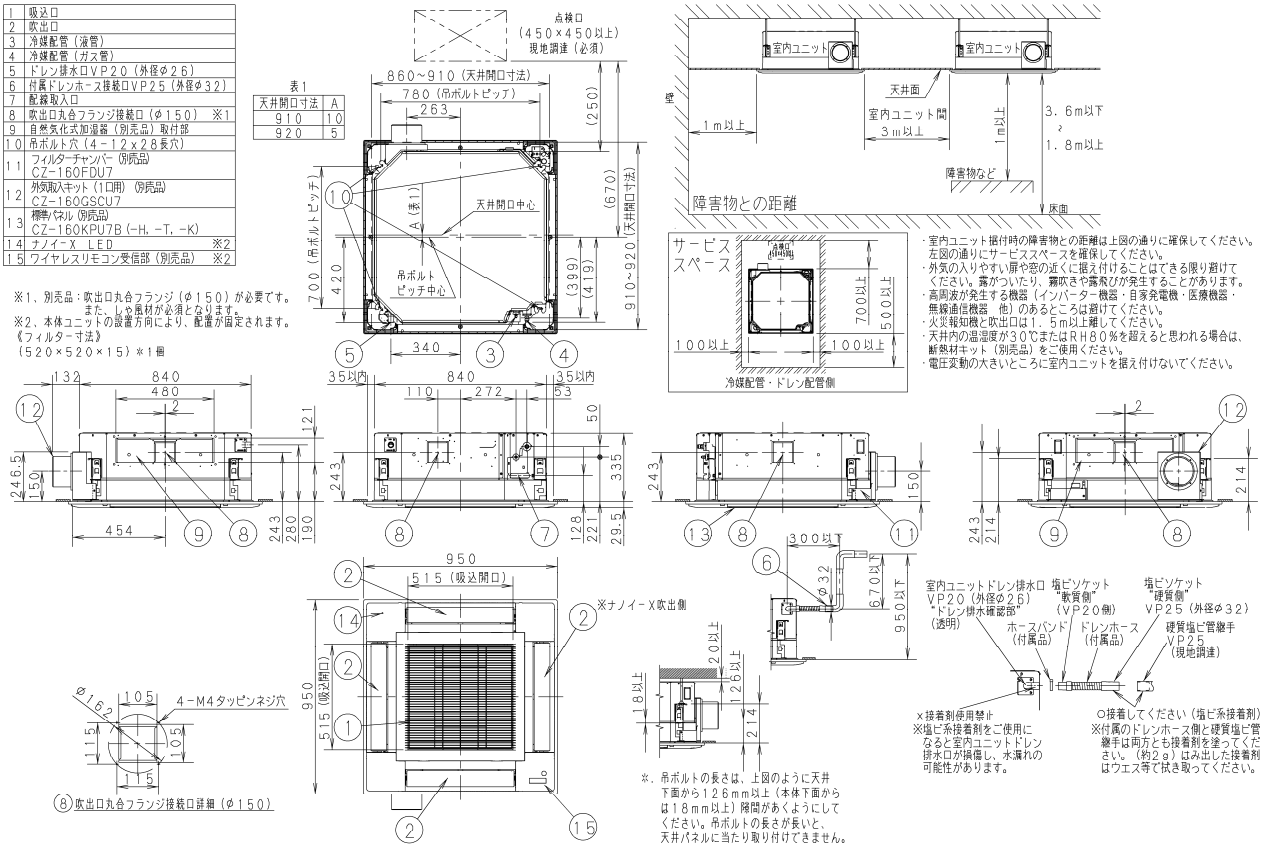
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から126mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・外気取入キット（1口用）（CZ-160GSCU7）

●S-G71･80UU1（標準パネル）

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	フィルターチャンバー（別売品）CZ-160FDU7
12	外気取入キット（1口用）（別売品）CZ-160GSCU7
13	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
14	ナノイー X LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2

※1．別売品：吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※2．本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。
《フィルター寸法》
（520×520×15）＊1個



・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
　ください。露がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
　無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、
　断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

室内ユニットドレン排水口 VP20（外径φ26）"ドレン排水確認部"（透明）
塩ビソケット "軟質側"（VP20側）
塩ビソケット "硬質側" VP25（外径φ32）
ホースバンド（付属品）
ドレンホース（付属品）
硬質塩ビ管継手 VP25（現地調達）

×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約2ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から126mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

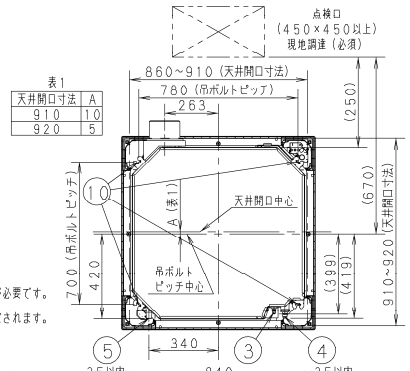
■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・外気取入キット（1口用）（CZ-160GSCU7）

●S-G90 ～ 160UU1（標準パネル）

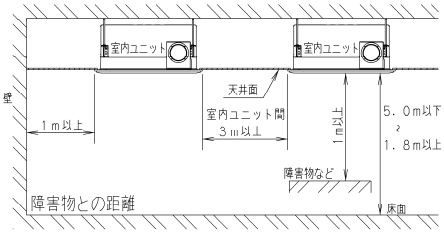
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	フィルターチャンバー（別売品）CZ-160FDU7
12	外気取入キット（1口用）（別売品）CZ-160GSCU7
13	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
14	ナノイーＸ　ＬＥＤ　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2

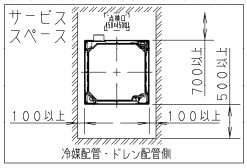
表1

天井開口寸法	A
910	10
920	5

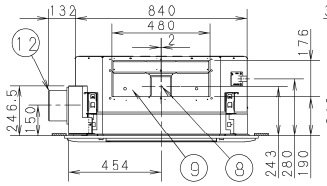


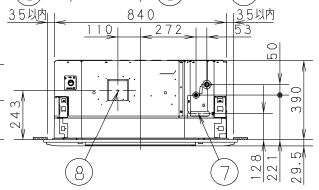
※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。
《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）＊1個

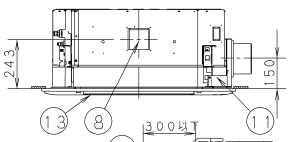


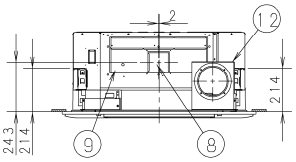


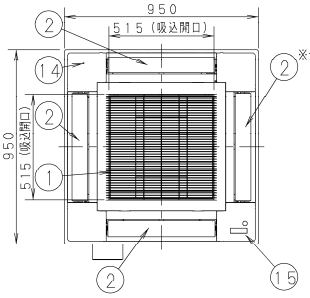
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
　ください。露がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
　無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０%を超えると思われる場合は、
　断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

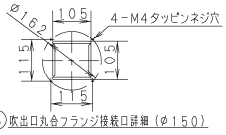




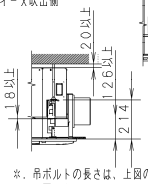




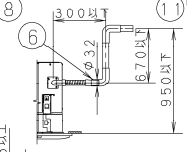


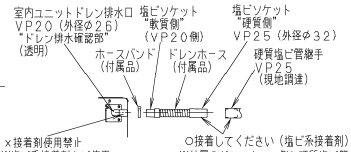


⑧吹出口丸合フランジ接続口詳細（φ１５０）



※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
　下面から１２６mm以上（本体下面から
　は１８mm以上）隙間があくようにして
　ください。吊ボルトの長さが長いと、
　天井パネルに当たり取り付けできません。



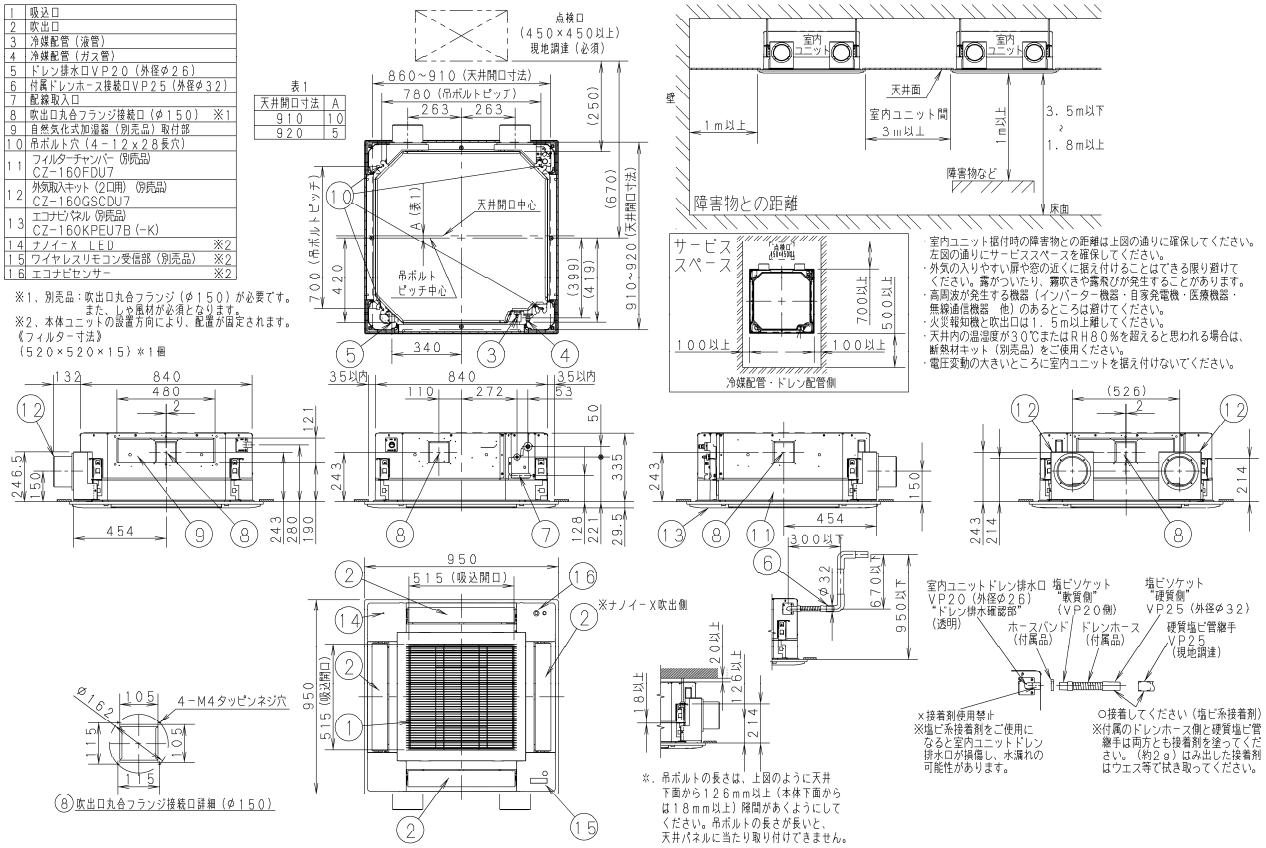


×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用に
　なると室内ユニットドレン
　排水口が損傷し、水漏れの
　可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管
　継手は両方とも接着剤を塗ってくだ
　さい。（約２ｇ）はみ出した接着剤
　はウエス等で拭き取ってください。

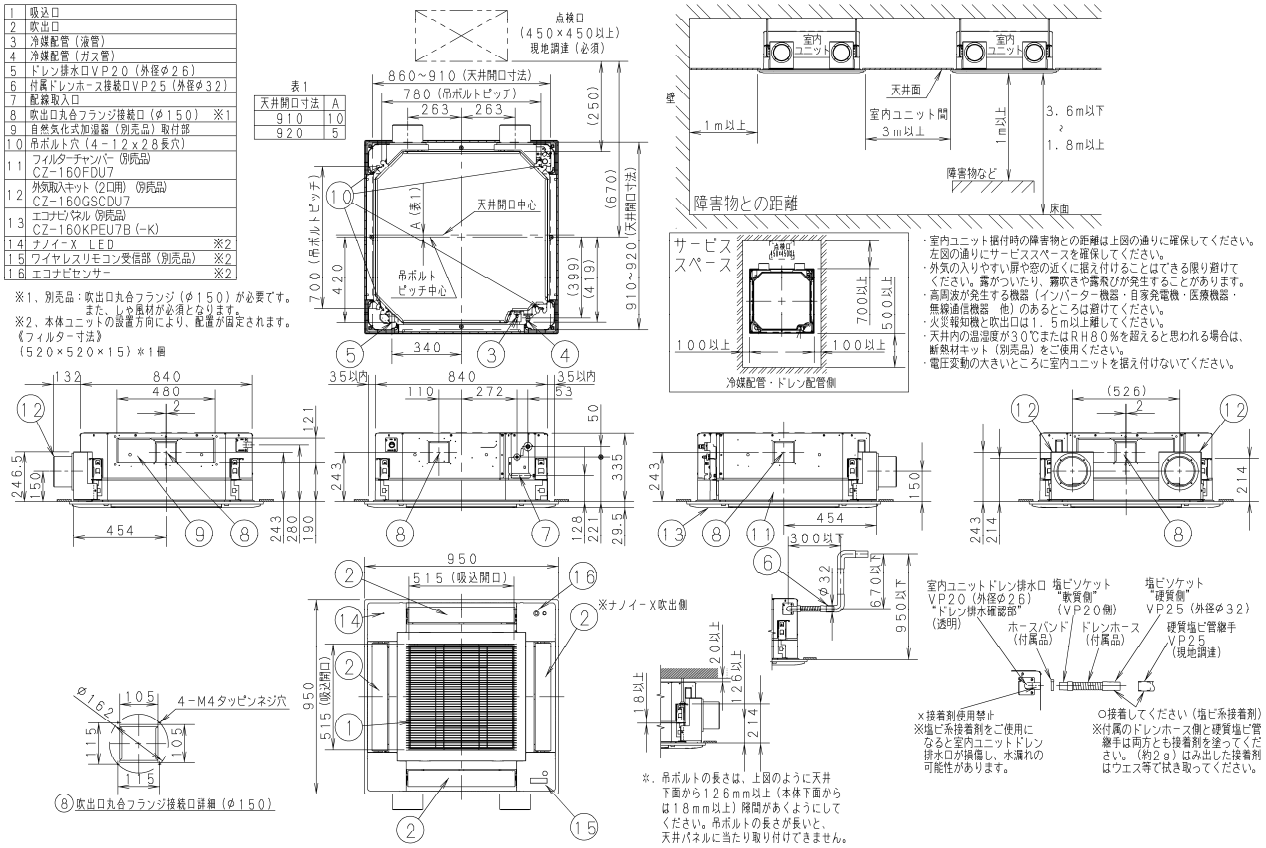
■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・外気取入キット（2口用）（CZ-160GSCDU7）

●S-G28 ～ 56UU1（エコナビパネル）



■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・外気取入キット（2口用）（CZ-160GSCDU7）

●S-G71･80UU1（エコナビパネル）

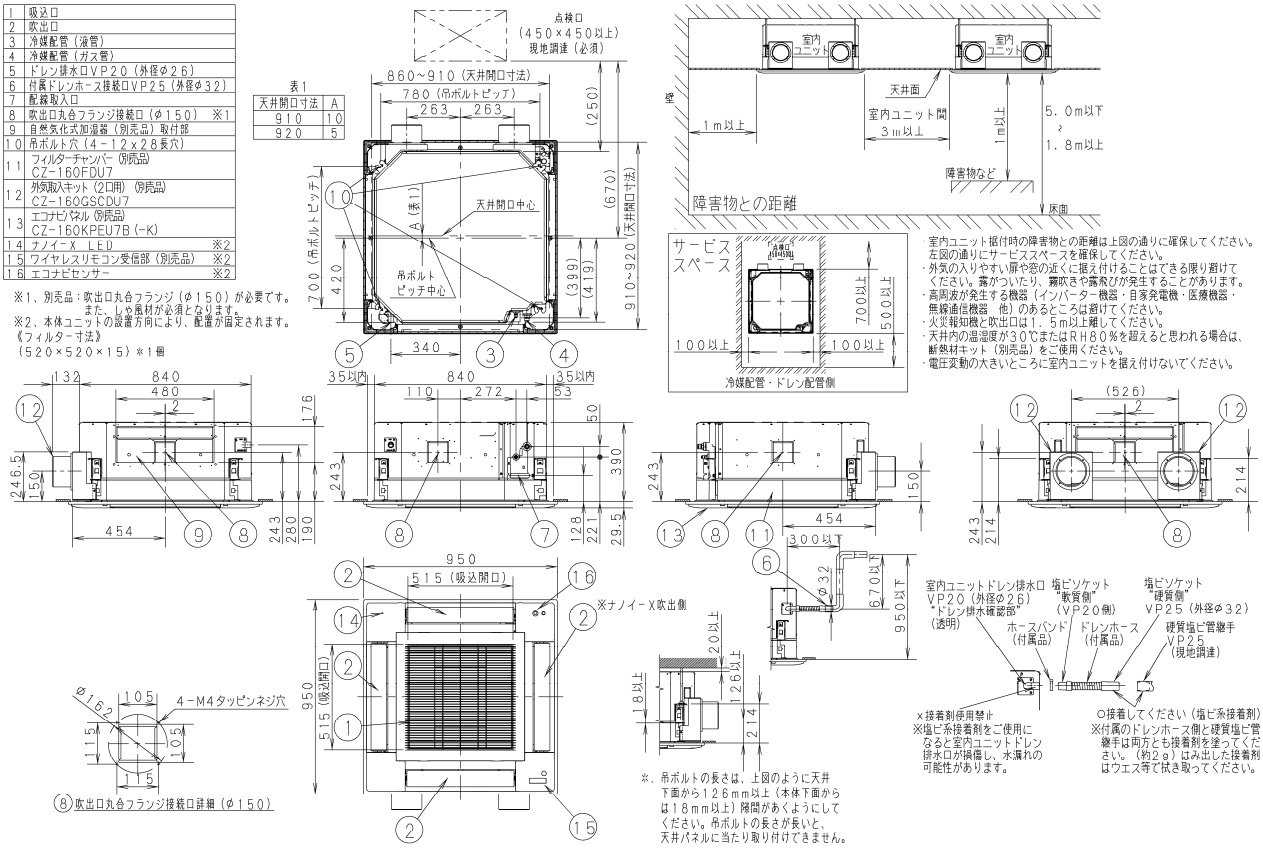


■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・外気取入キット（2口用）（CZ-160GSCDU7）

●S-G90 ～ 160UU1（エコナビパネル）

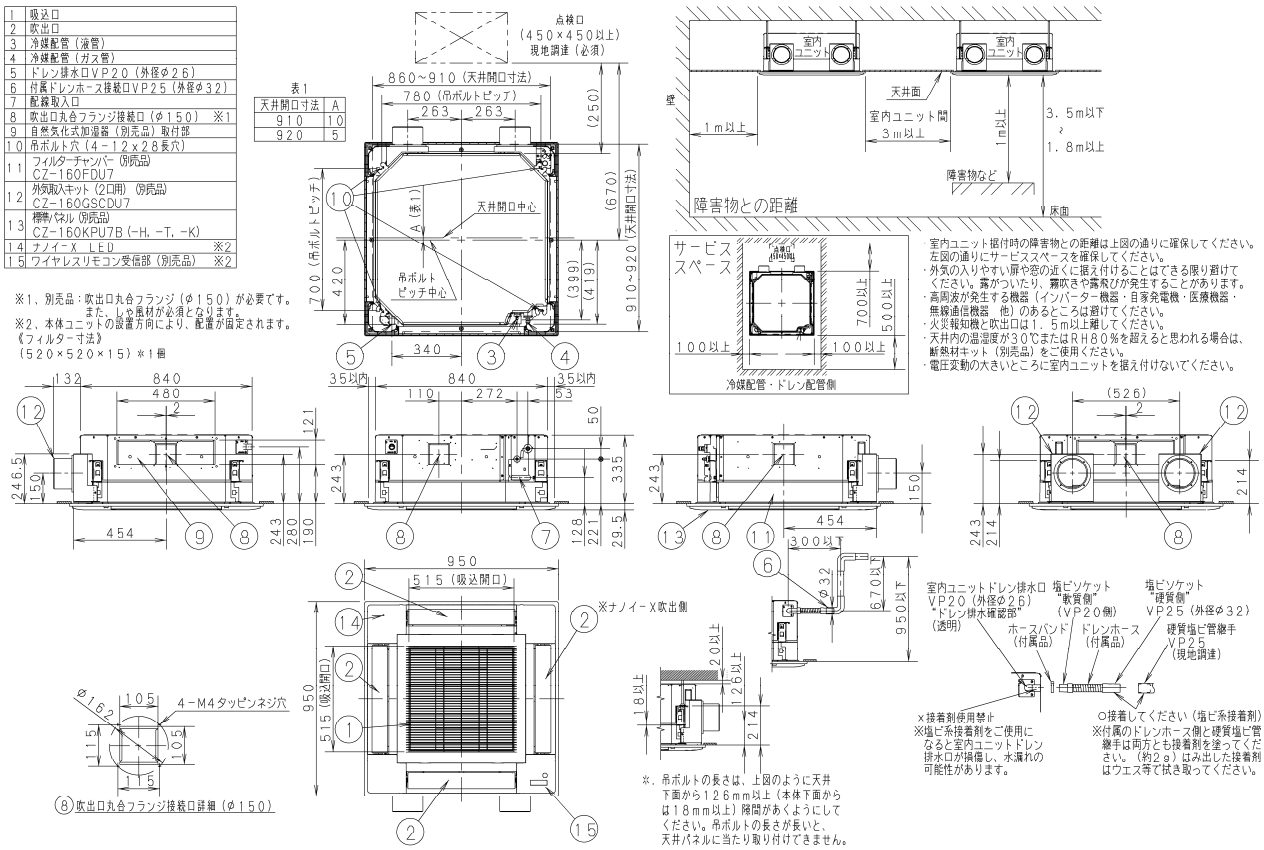
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	フィルターチャンバー（別売品）CZ-160FDU7
12	外気取入キット（2口用）（別売品）CZ-160GSCDU7
13	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
14	ナノイーＸ ＬＥＤ　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2
16	エコナビセンサー　※2

※1、別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　また、しゃ風材が必須となります。
※2、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。
《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）＊1個



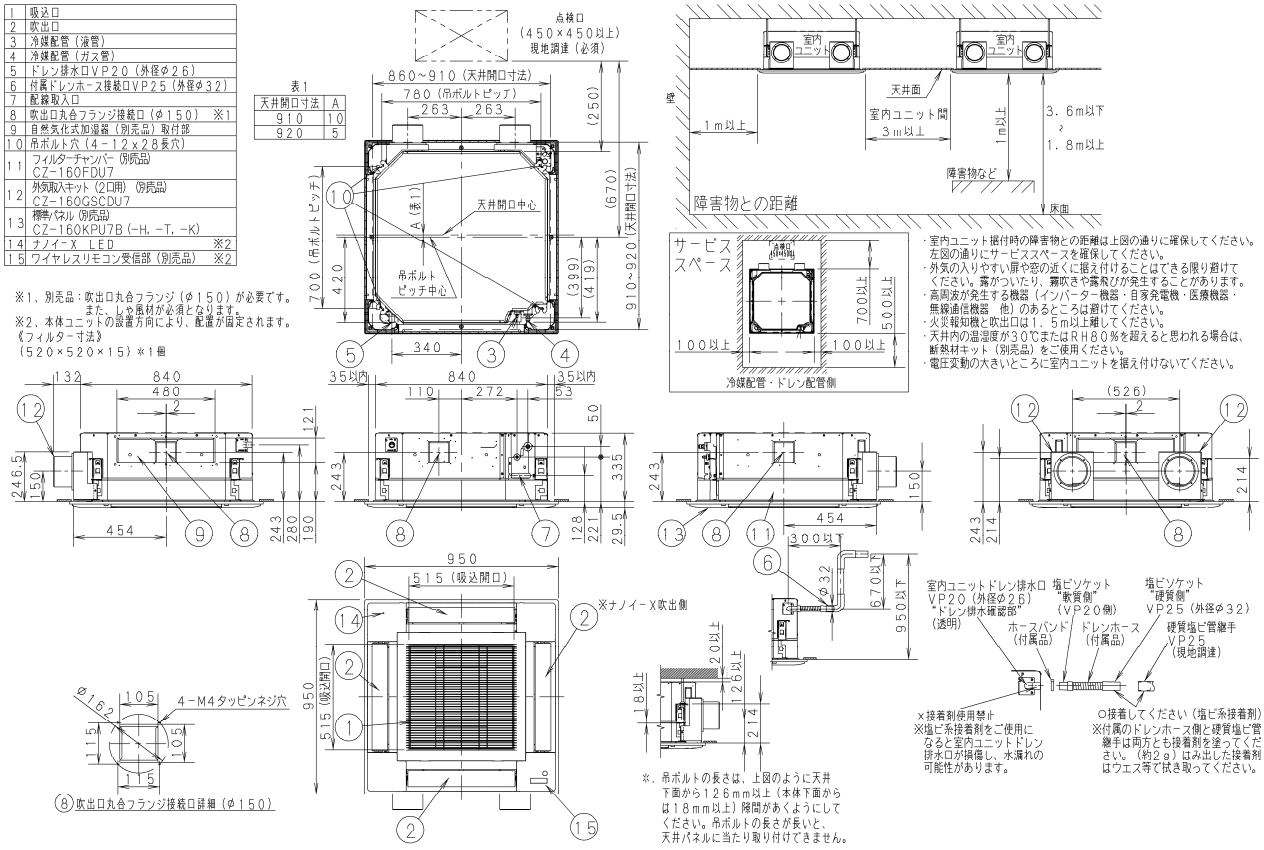
■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・外気取入キット（2口用）（CZ-160GSCDU7）

●S-G28 ～ 56UU1（標準パネル）



■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・外気取入キット（2口用）（CZ-160GSCDU7）

●S-G71･80UU1（標準パネル）



■フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）・外気取入キット（2口用）（CZ-160GSCDU7）

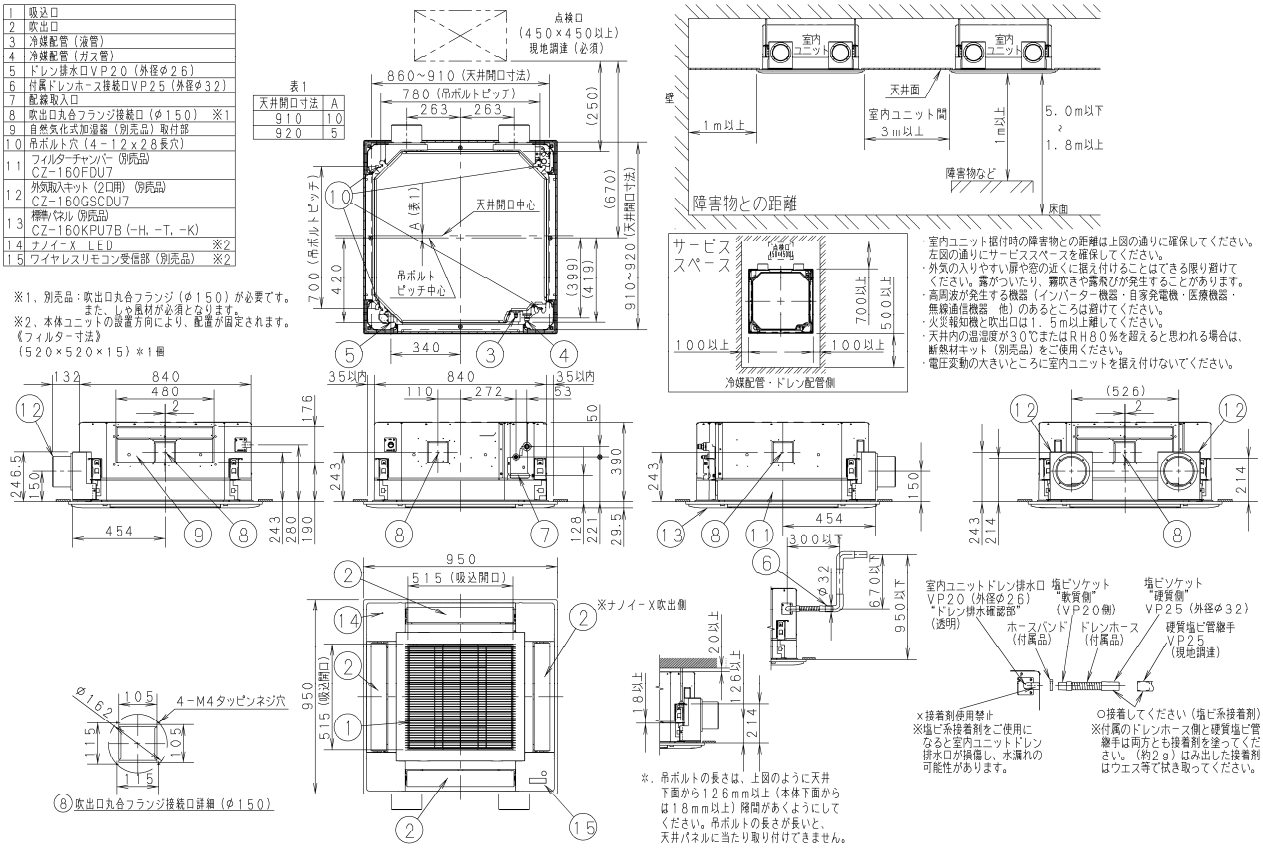
●S-G90 ～ 160UU1（標準パネル）

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ接続口（φ１５０）　※1
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4－12x28長穴）
11	フィルターチャンバー（別売品）CZ-160FDU7
12	外気取入キット（2口用）（別売品）CZ-160GSCDU7
13	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
14	ナノイーＸ　LED　※2
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※2

※1．別売品：吹出口丸合フランジ（φ１５０）が必要です。
　　また、しゃ風材が必須となります。
※2．本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。
《フィルター寸法》
（５２０×５２０×１５）＊1個

表1

天井開口寸法	A
910	10
920	5



・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
　ください。霧がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
　無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０%を超えると思われる場合は、
　断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から１２６mm以上（本体下面からは１８mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

■丸合フランジ<吹出用>（CZ-DA150A）

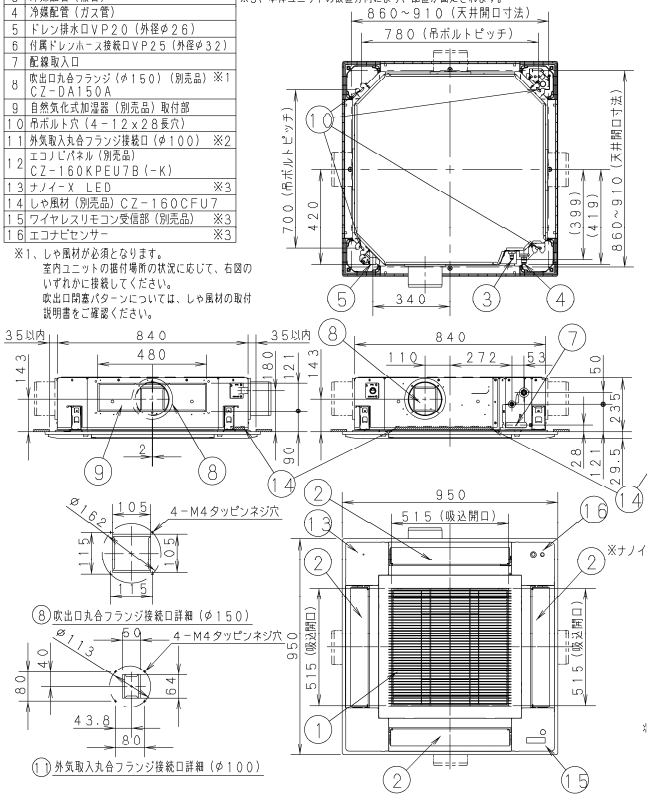
●S-G28 ～ 56UU1（エコナビパネル）

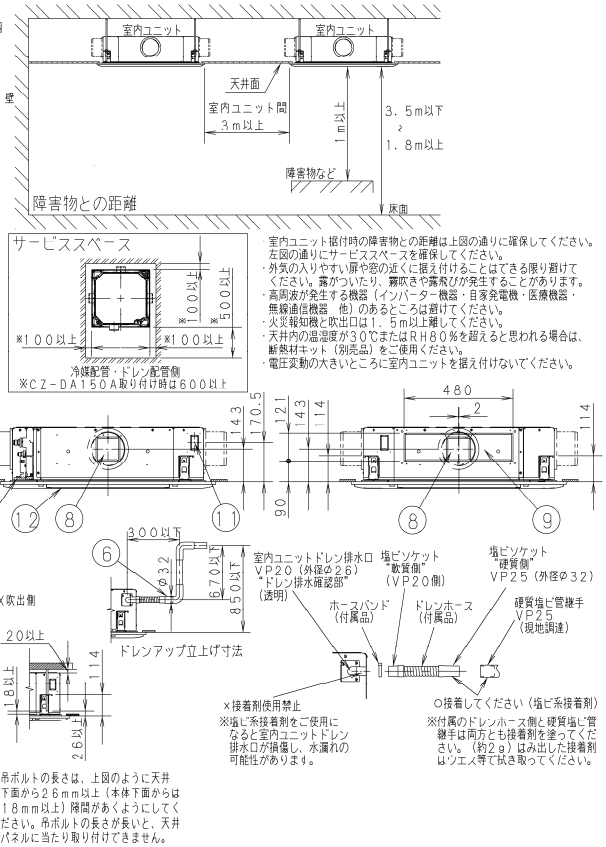
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ（φ150）（別売品）※1 CZ-DA150A
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4-12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※2
12	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU7B(-K)
13	ナノイー X LED ※3
14	しゃ風材（別売品）CZ-160CFU7
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品） ※3
16	エコナビセンサー ※3

※1、しゃ風材が必須となります。
室内ユニットの据付場所の状況に応じて、右図のいずれかに接続してください。
吹出口開口パターンについては、しゃ風材の取付説明書をご確認ください。

※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。《フィルター寸法》
また、しゃ風材が必須となります。　（520×520×15）※1個

※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。





※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

■丸合フランジ<吹出用>（CZ-DA150A）

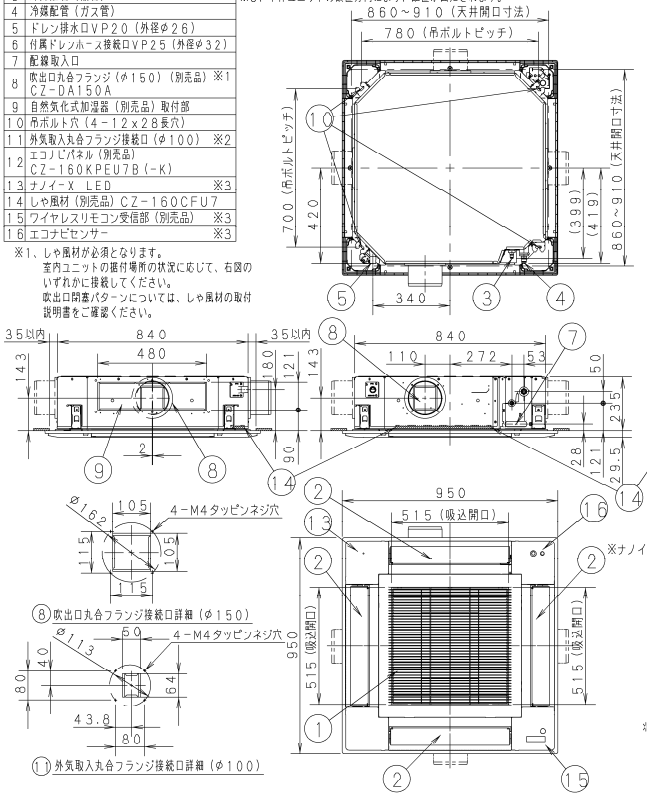
●S-G71･80UU1（エコナビパネル）

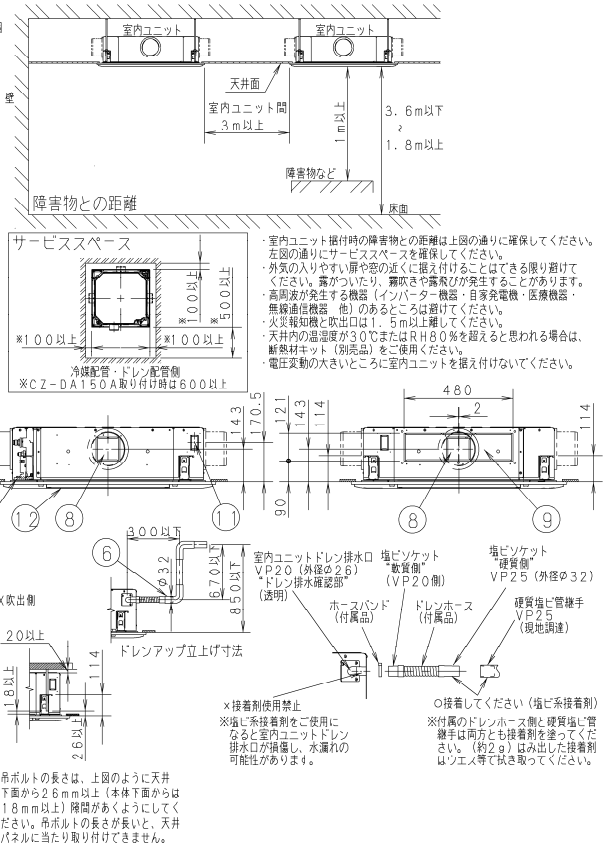
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ（φ150）（別売品）※1 CZ-DA150A
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4-12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※2
12	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU7B(-K)
13	ナノイー X LED ※3
14	しゃ風材（別売品）CZ-160CFU7
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品） ※3
16	エコナビセンサー ※3

※1、しゃ風材が必須となります。
室内ユニットの据付場所の状況に応じて、右図のいずれかに接続してください。
吹出口開口パターンについては、しゃ風材の取付説明書をご確認ください。

※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。《フィルター寸法》
また、しゃ風材が必須となります。　（520×520×15）※1個

※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

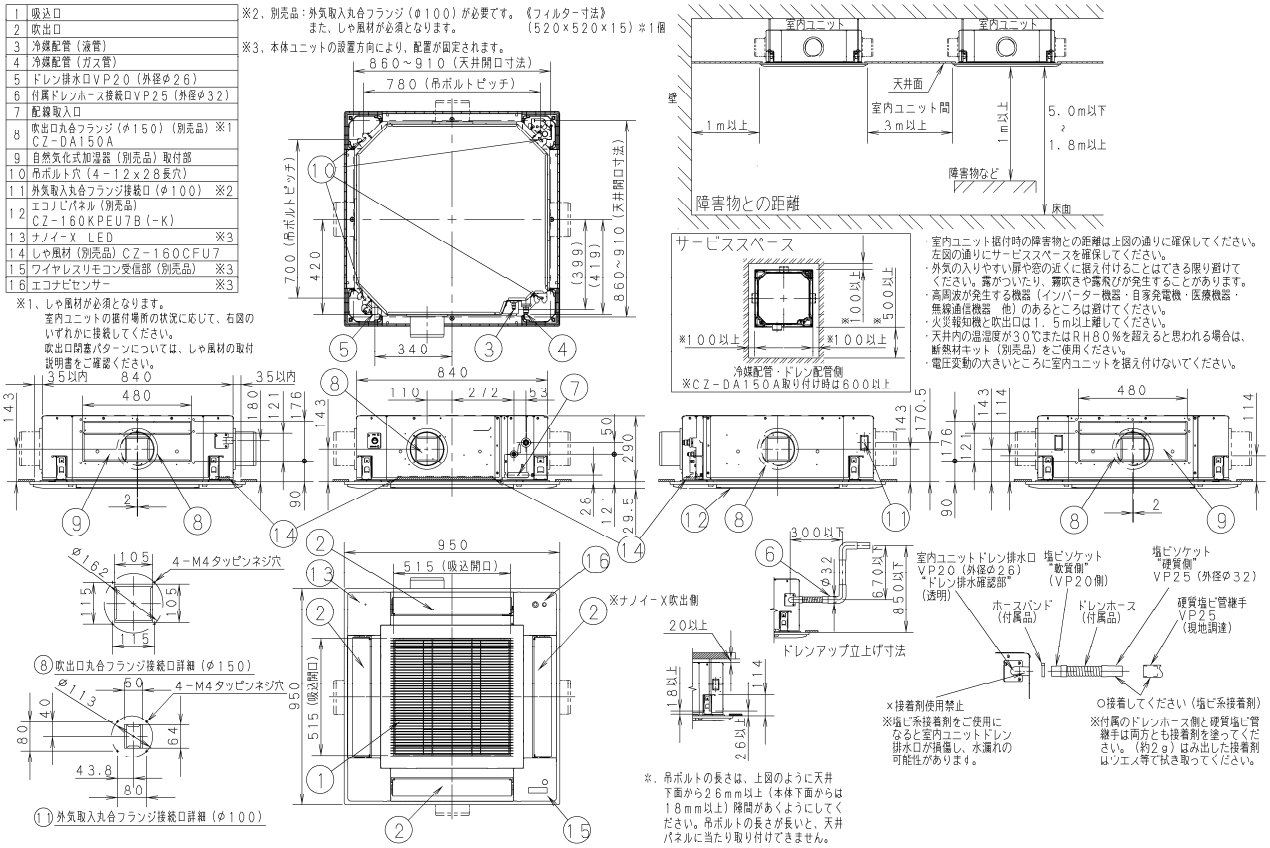




※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

■丸合フランジ<吹出用>（CZ-DA150A）

●S-G90 ～ 160UU1（エコナビパネル）



■丸合フランジ<吹出用>（CZ-DA150A）

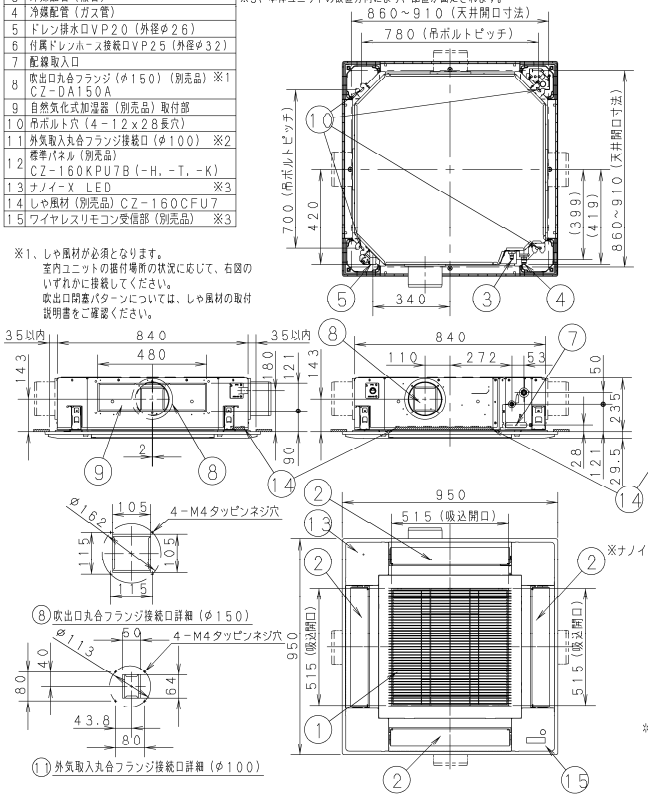
●S-G28 ～ 56UU1（標準パネル）

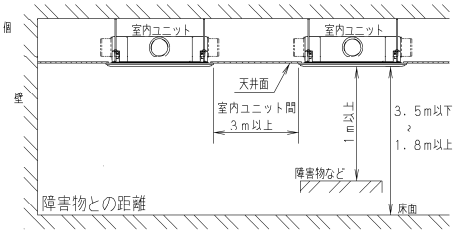
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ（φ150）（別売品）※1 CZ-DA150A
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4-12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※2
12	標準パネル（別売品） CZ-160KPU7B（-H、-T、-K）
13	ナノイー X LED ※3
14	しゃ風材（別売品）CZ-160CFU7
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品） ※3

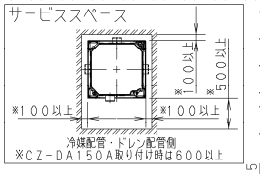
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。《フィルター寸法》
また、しゃ風材が必須となります。（520×520×15）※1個

※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

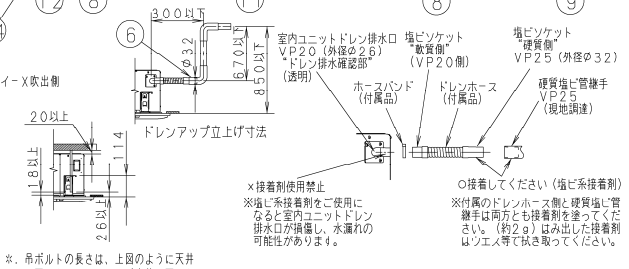
※1、しゃ風材が必須となります。
室内ユニットの据付場所の状況に応じて、右図のいずれかに接続してください。
吹出口開口パターンについては、しゃ風材の取付説明書をご確認ください。







・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

■丸合フランジ<吹出用>（CZ-DA150A）

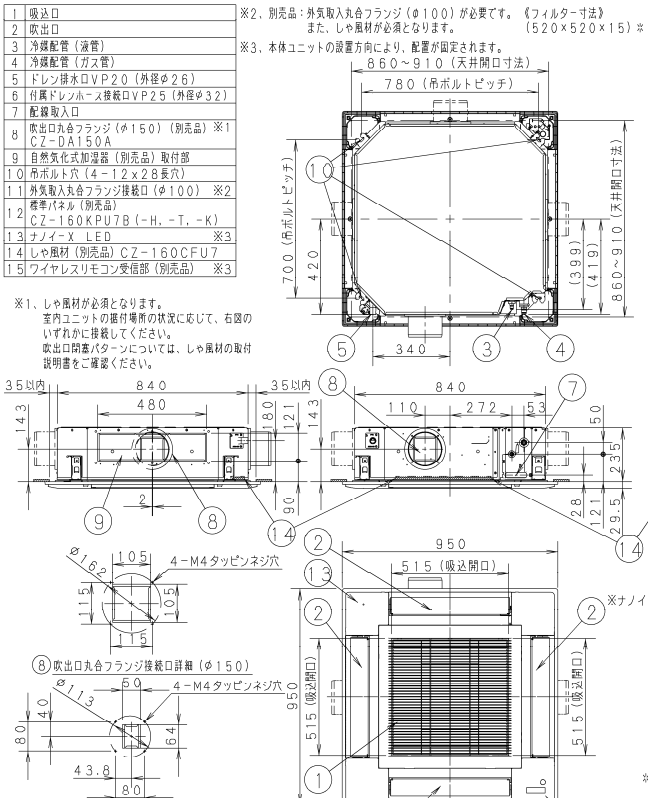
●S-G71･80UU1（標準パネル）

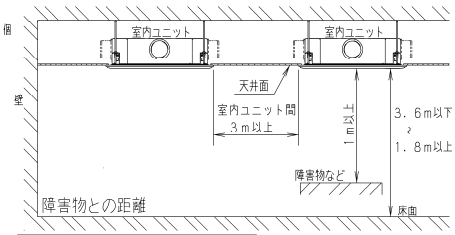
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口VP20（外径φ26）
6	付属ドレンホース接続口VP25（外径φ32）
7	配線取入口
8	吹出口丸合フランジ（φ150）（別売品）※1 CZ-DA150A
9	自然気化式加湿器（別売品）取付部
10	吊ボルト穴（4-12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※2
12	標準パネル（別売品） CZ-160KPU7B（-H、-T、-K）
13	ナノイー X LED ※3
14	しゃ風材（別売品）CZ-160CFU7
15	ワイヤレスリモコン受信部（別売品） ※3

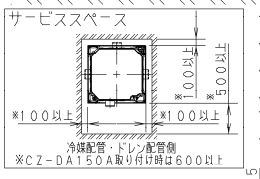
※2、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。《フィルター寸法》
また、しゃ風材が必須となります。（520×520×15）※1個

※3、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

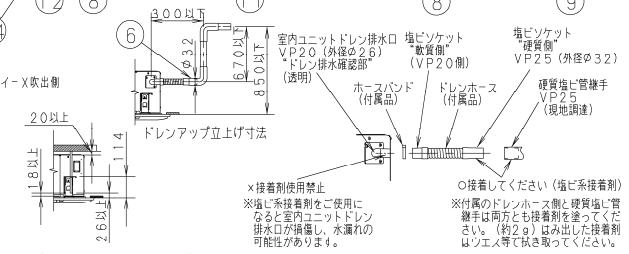
※1、しゃ風材が必須となります。
室内ユニットの据付場所の状況に応じて、右図のいずれかに接続してください。
吹出口開口パターンについては、しゃ風材の取付説明書をご確認ください。







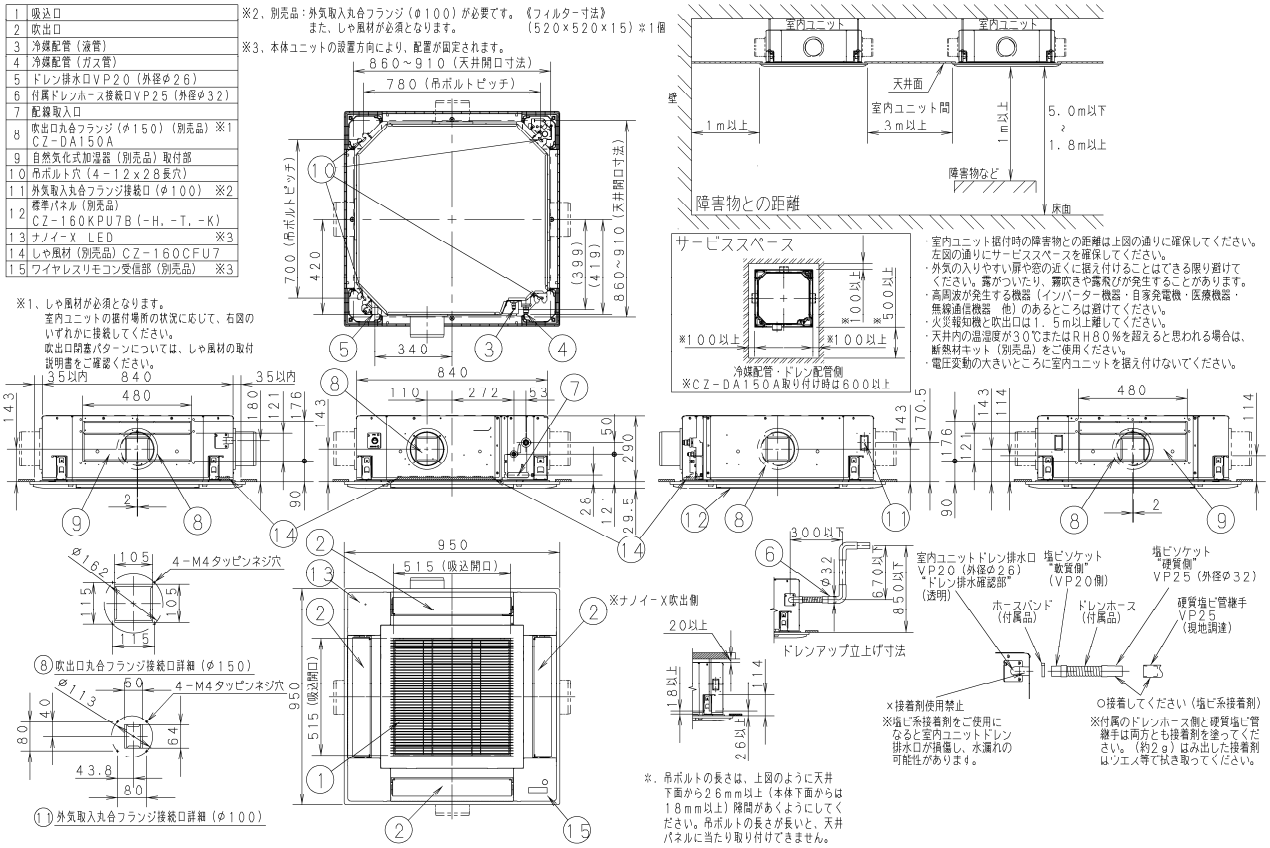
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は1．5m以上離してください。
・天井内の温湿度が30℃またはRH80％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から26mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

■丸合フランジ<吹出用>（CZ-DA150A）

●S-G90 ～ 160UU1（標準パネル）

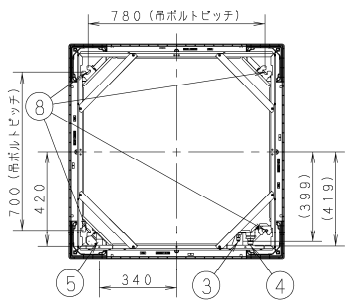


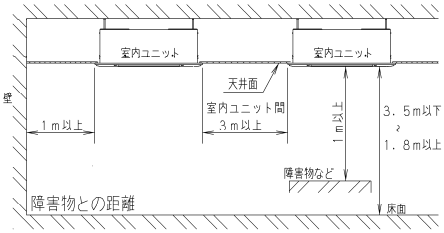
■スケルトン天井用側面カバー（CZ-160SKU7）

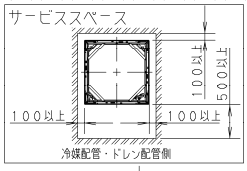
●S-G28 ～ 56UU1（エコナビパネル）

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
9	スケルトン天井用側面カバー（別売品）CZ-160SKU7
10	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
11	ナノイーＸ　ＬＥＤ　※1
12	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※1
13	エコナビセンサー　※1

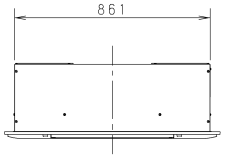
※1、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

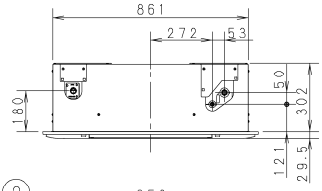


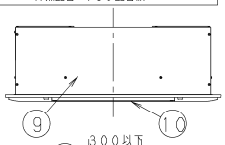


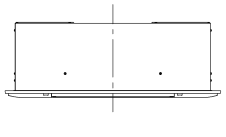


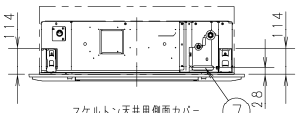
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。霧がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。





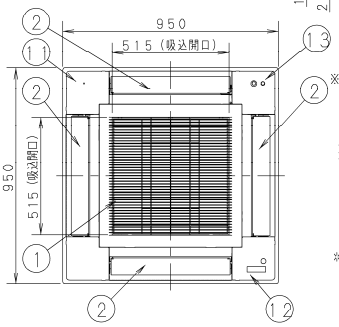


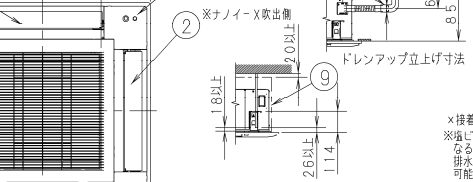




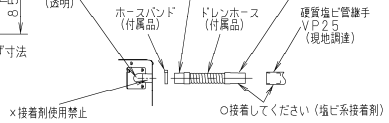
スケルトン天井用側面カバー
取付前

※本体高さ寸法は２３５mm、カバー取り付け寸法は３０２mmになります。





※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６mm以上（本体下面からは１８mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

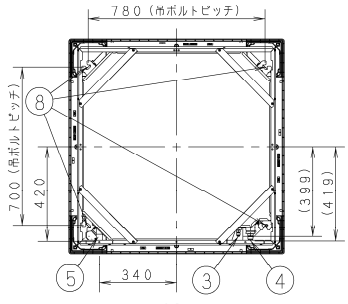
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はウエメ等で拭き取ってください。

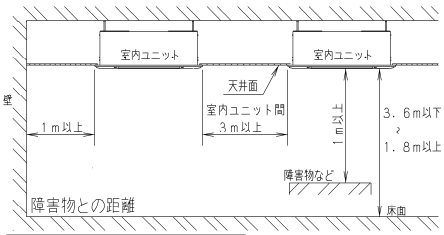
■スケルトン天井用側面カバー（CZ-160SKU7）

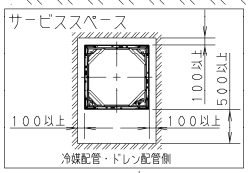
●S-G71･80UU1（エコナビパネル）

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
9	スケルトン天井用側面カバー（別売品）CZ-160SKU7
10	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU7B（-K）
11	ナノイーＸ　ＬＥＤ　※1
12	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※1
13	エコナビセンサー　※1

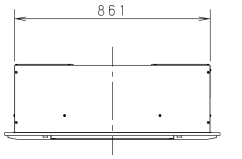
※1、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

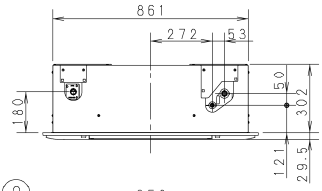


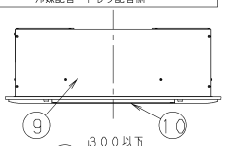


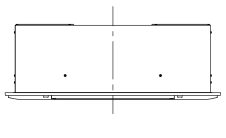


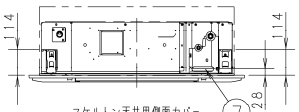
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。霧がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。





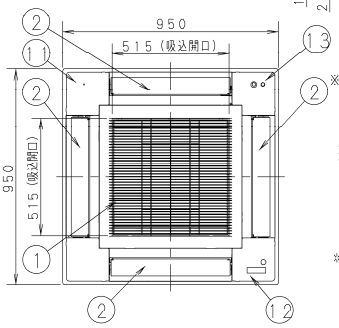


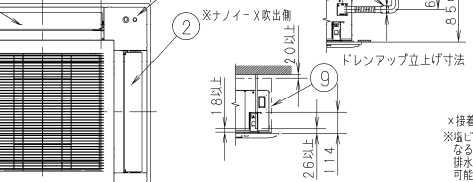




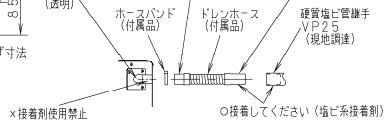
スケルトン天井用側面カバー
取付前

※本体高さ寸法は２３５mm、カバー取り付け寸法は３０２mmになります。





※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６mm以上（本体下面からは１８mm以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

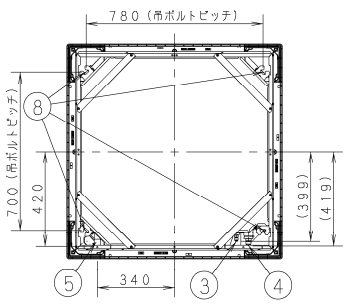
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はウエメ等で拭き取ってください。

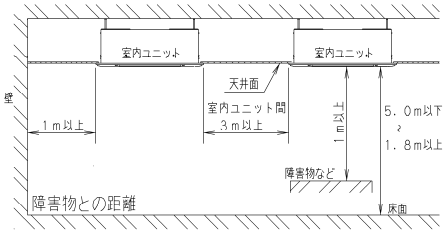
■スケルトン天井用側面カバー（CZ-160SKU7）

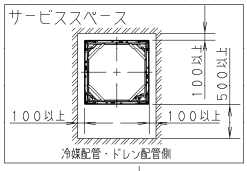
●S-G90 ～ 160UU1（エコナビパネル）

1	吸込口	
2	吹出口	
3	冷媒配管（液管）	
4	冷媒配管（ガス管）	
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）	
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）	
7	配線取入口	
8	吊ボルト穴（４－１２×２８長穴）	
9	スケルトン天井用側面カバー（別売品） ＣＺ－１６０ＳＫＵ７	
10	エコナビパネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＰＥＵ７Ｂ（－Ｋ）	
11	ナノイー Ｘ　ＬＥＤ	※1
12	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）	※1
13	エコナビセンサー	※1

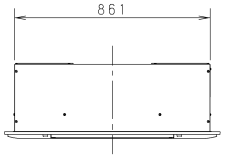
※1、本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

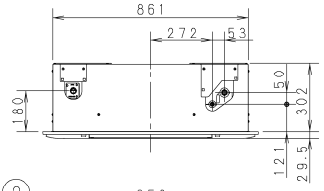


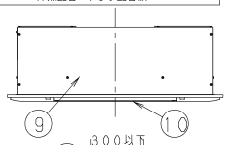


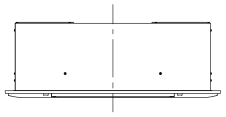


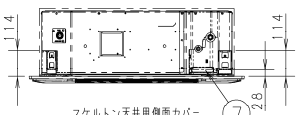
・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けてください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。





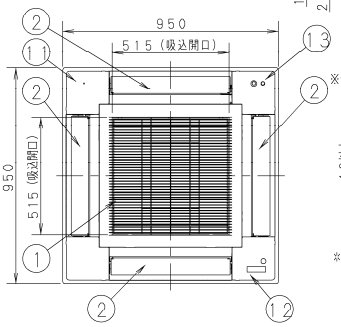


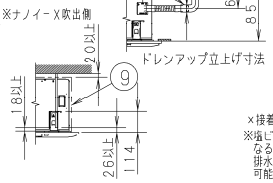




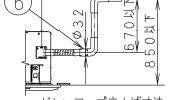
スケルトン天井用側面カバー
取付前

※本体高さ寸法は２９０ｍｍ、カバー取り付け寸法は３０２ｍｍになります。

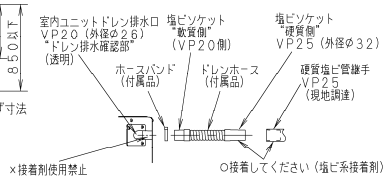




※．吊ボルトの長さは、上図のように天井下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊ボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



ドレンアップ立上げ寸法



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニットドレン排水口が損傷し、水漏れの可能性があります。

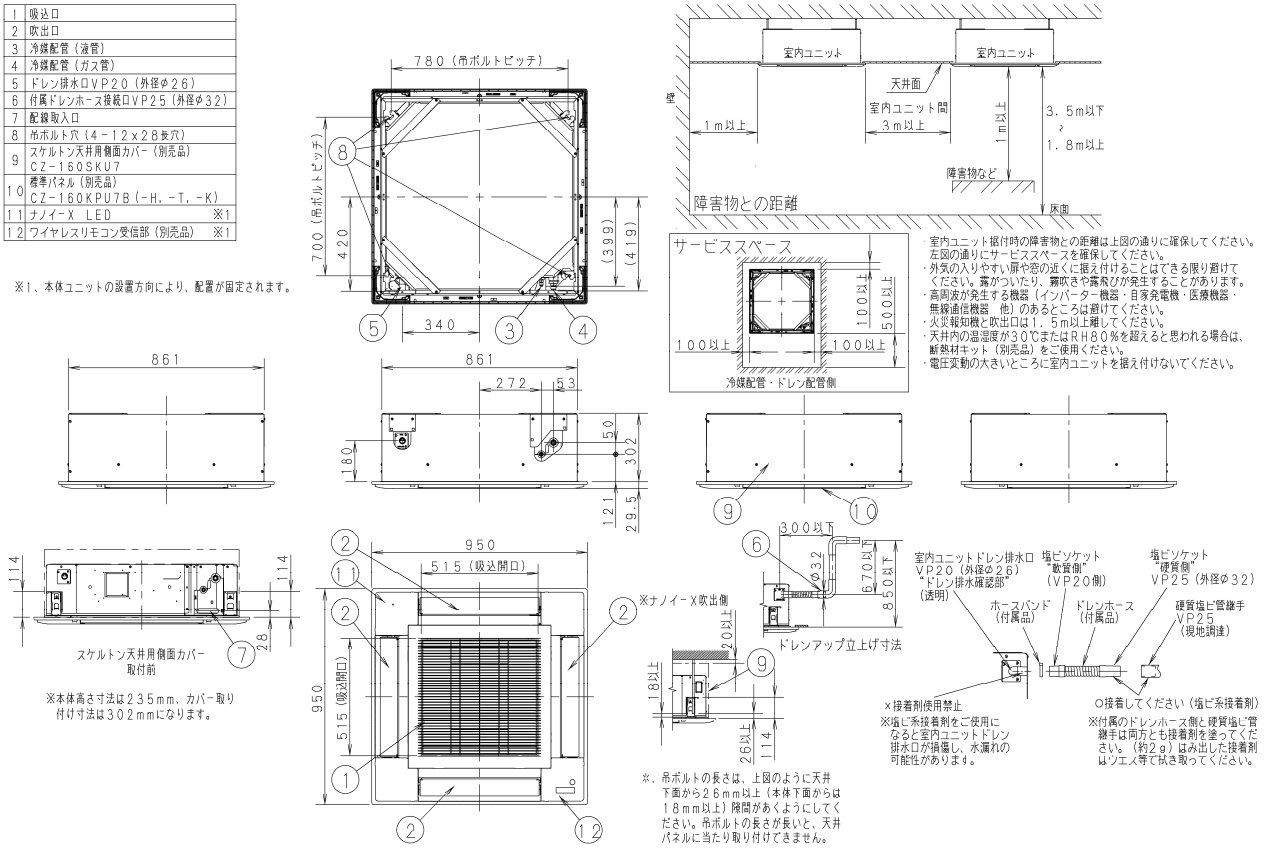
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管継手は両方とも接着剤を塗ってください。（約２ｇ）はみ出した接着剤はソエ〆等で拭き取ってください。

■スケルトン天井用側面カバー（CZ-160SKU7）

●S-G28 ～ 56UU1（標準パネル）

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
9	スケルトン天井用側面カバー（別売品）CZ-160SKU7
10	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
11	ナノイー X　LED　※1
12	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※1

※1．本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０%を超えると思われる場合は、
断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

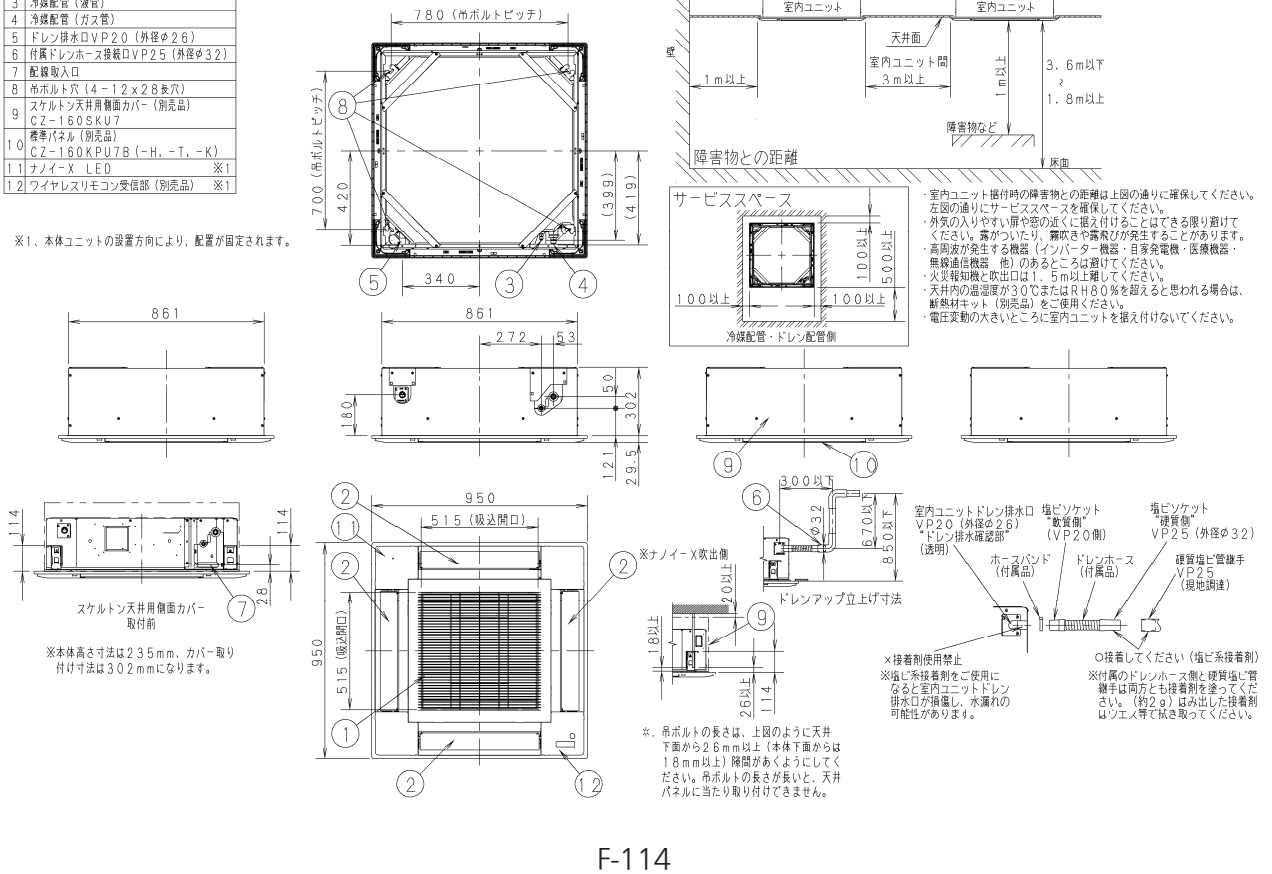
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
下面から２６mm以上（本体下面からは
１８mm以上）隙間があくようにしてく
ださい。吊ボルトの長さが長いと、天井
パネルに当たり取り付けできません。

■スケルトン天井用側面カバー（CZ-160SKU7）

●S-G71･80UU1（標準パネル）

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吊ボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
9	スケルトン天井用側面カバー（別売品）CZ-160SKU7
10	標準パネル（別売品）CZ-160KPU7B（-H，-T，-K）
11	ナノイー X　LED　※1
12	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※1

※1．本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。



・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
ください。露がついたり、霧吹きや露飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５m以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０%を超えると思われる場合は、
断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。

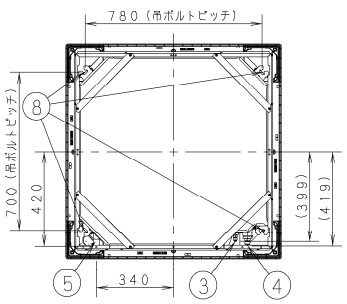
※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
下面から２６mm以上（本体下面からは
１８mm以上）隙間があくようにしてく
ださい。吊ボルトの長さが長いと、天井
パネルに当たり取り付けできません。

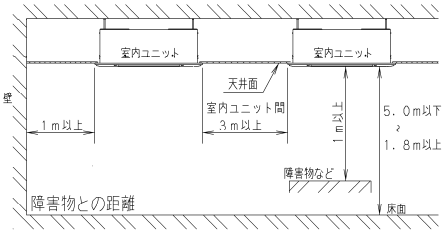
■スケルトン天井用側面カバー（CZ-160SKU7）

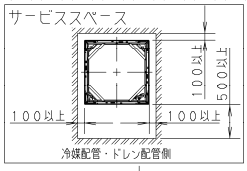
●S-G90 ～ 160UU1（標準パネル）

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン排水口ＶＰ２０（外径φ２６）
6	付属ドレンホース接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
7	配線取入口
8	吊ボルト穴（４－１２×２８長穴）
9	スケルトン天井用側面カバー（別売品） ＣＺ－１６０ＳＫＵ７
10	標準パネル（別売品） ＣＺ－１６０ＫＰＵ７Ｂ（－Ｈ，－Ｔ，－Ｋ）
11	ナノイー Ｘ　ＬＥＤ　※1
12	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）　※1

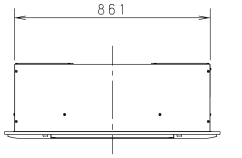
※1．本体ユニットの設置方向により、配置が固定されます。

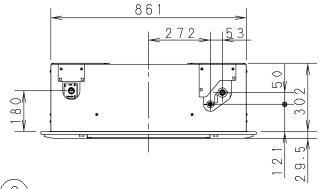


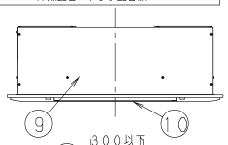


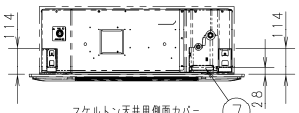


・室内ユニット据付時の障害物との距離は上図の通りに確保してください。
　左図の通りにサービススペースを確保してください。
・外気の入りやすい扉や窓の近くに据え付けることはできる限り避けて
　ください。露がついたり、霧吹きや霧飛びが発生することがあります。
・高周波が発生する機器（インバーター機器・自家発電機・医療機器・
　無線通信機器　他）のあるところは避けてください。
・火災報知機と吹出口は１．５ｍ以上離してください。
・天井内の温湿度が３０℃またはＲＨ８０％を超えると思われる場合は、
　断熱材キット（別売品）をご使用ください。
・電圧変動の大きいところに室内ユニットを据え付けないでください。



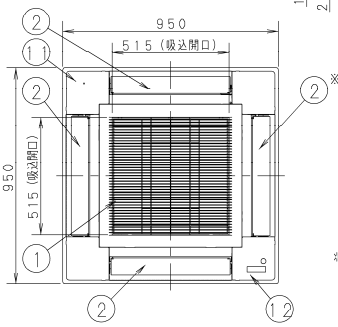


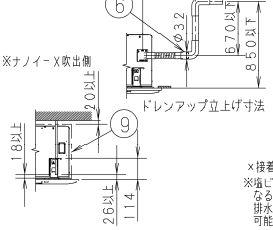




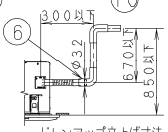
スケルトン天井用側面カバー
取付前

※本体高さ寸法は２９０ｍｍ、カバー取り
付け寸法は３０２ｍｍになります。

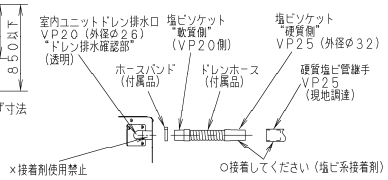




※．吊ボルトの長さは、上図のように天井
下面から２６ｍｍ以上（本体下面からは
１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてく
ださい。吊ボルトの長さが長いと、天井
パネルに当たり取り付けできません。



ドレンアップ立上げ寸法



×接着剤使用禁止
※塩ビ系接着剤をご使用に
なると室内ユニットドレン
排水口が損傷し、水漏れの
可能性があります。

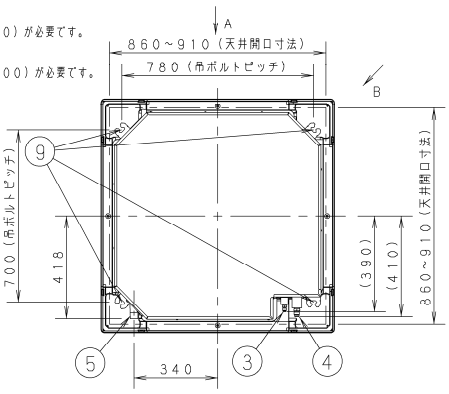
○接着してください（塩ビ系接着剤）
※付属のドレンホース側と硬質塩ビ管
継手は両方とも接着剤を塗ってくだ
さい。（約２ｇ）はみ出した接着剤
はソエ〆等で拭き取ってください。

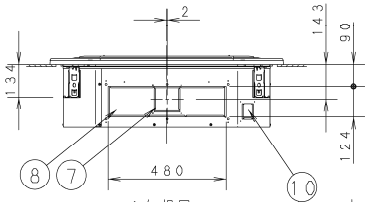
■エコナビパネル（CZ-160KPEU5（-K））

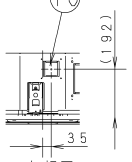
●S-G28・36・45・56・71・80UT1

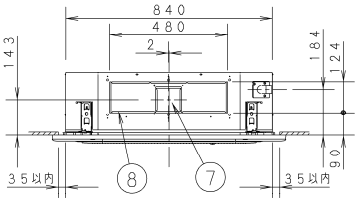
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管ロVP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りボルト穴（4－12x28長穴）
10	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
11	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU5（-K）
12	エコナビセンサー

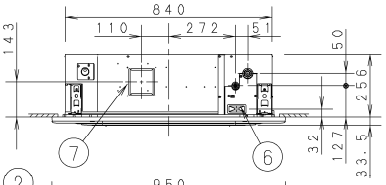
※1、別売品：
吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：
外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

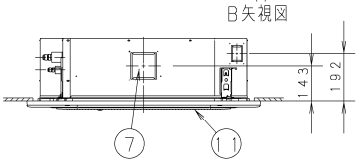


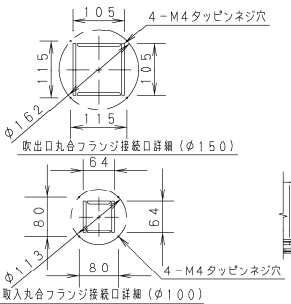


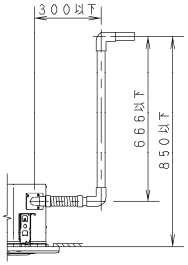


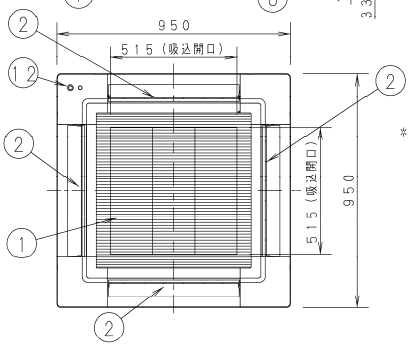




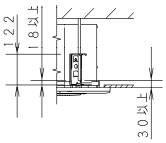








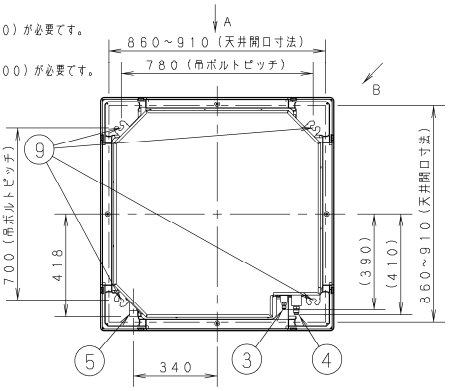
※．吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

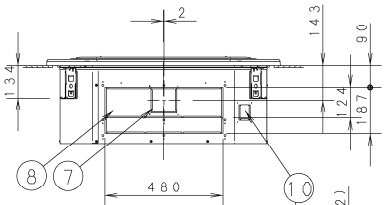


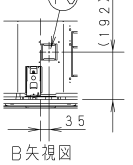
●S-G90・112・140・160UT1

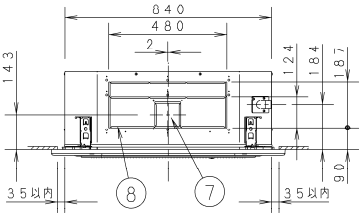
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管ロVP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りボルト穴（4－12x28長穴）
10	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
11	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU5（-K）
12	エコナビセンサー

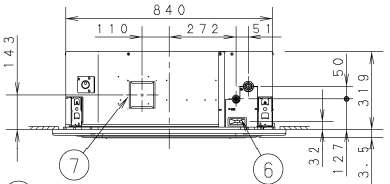
※1、別売品：
吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：
外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

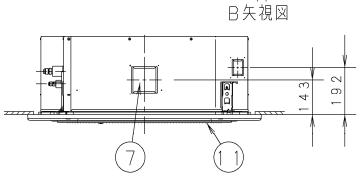


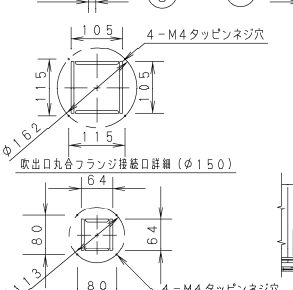


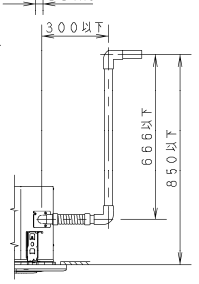


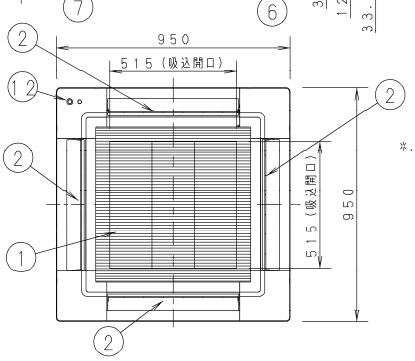




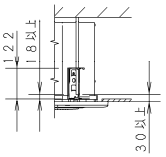








※．吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

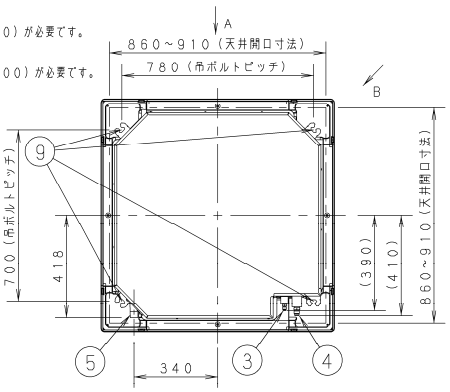


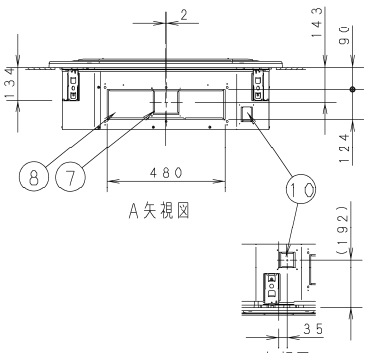
■標準パネル（CZ-160KPAU5(-H)、(-T)、(-K)）
■オイルガードパネル（CZ-160KBU5(-K)）

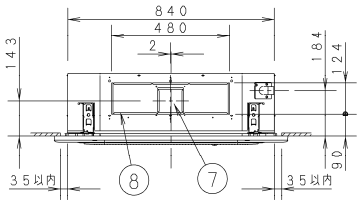
●S-G28・36・45・56・71・80UT1

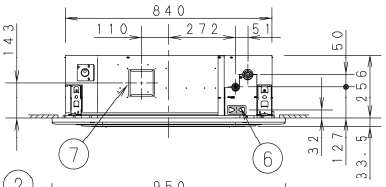
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管ロVP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りボルト穴（4－12x28長穴）
10	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
11	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）
12	標準パネル（別売品） CZ-160KPU5（-K、-T、-H） オイルガードパネル（別売品） CZ-160KBU5（-K）

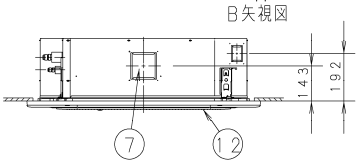
※1、別売品：
吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：
外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

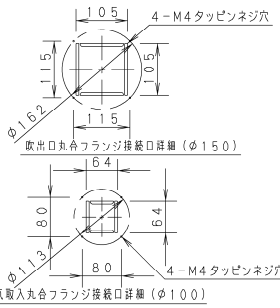


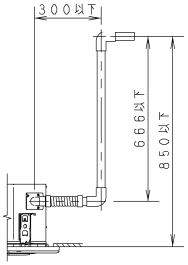


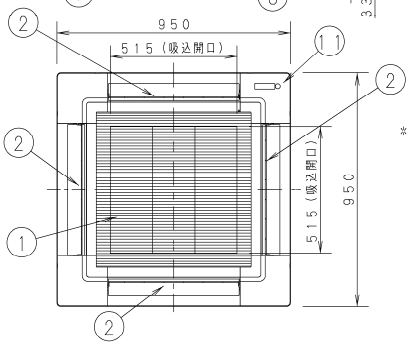




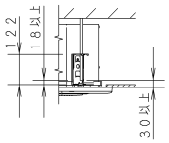








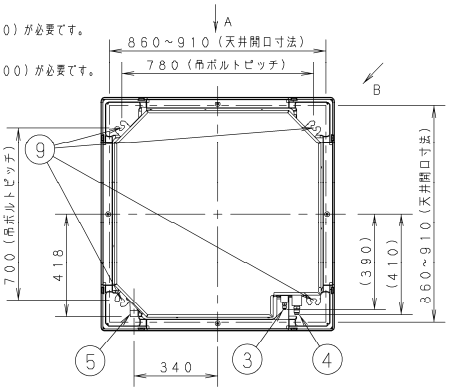
※．吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

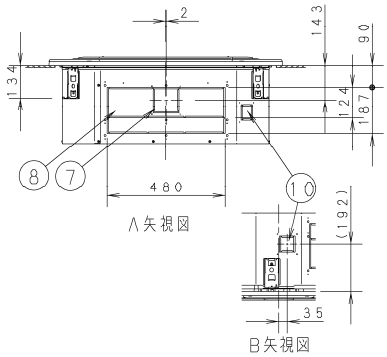


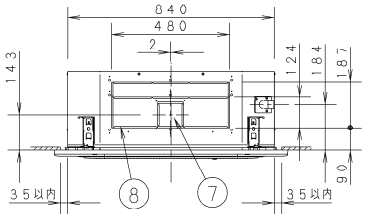
●S-G90・112・140・160UT1

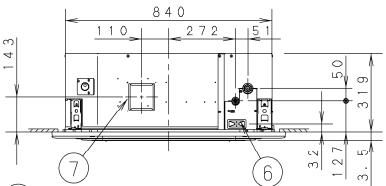
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管ロVP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りボルト穴（4－12x28長穴）
10	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
11	ワイヤレスリモコン受信部（別売品）
12	標準パネル（別売品） CZ-160KPU5（-K、-T、-H） オイルガードパネル（別売品） CZ-160KBU5（-K）

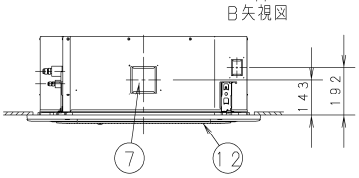
※1、別売品：
吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：
外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

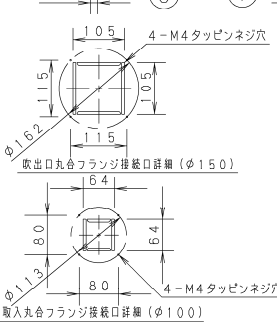


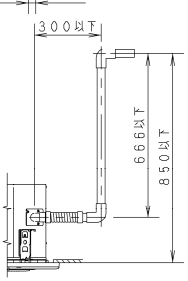


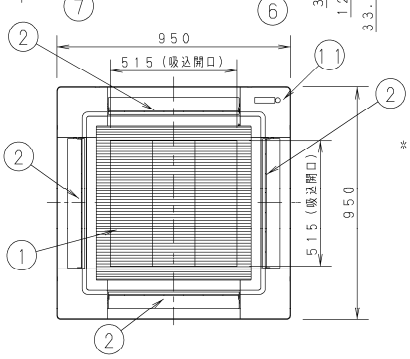




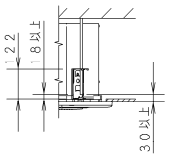








※．吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

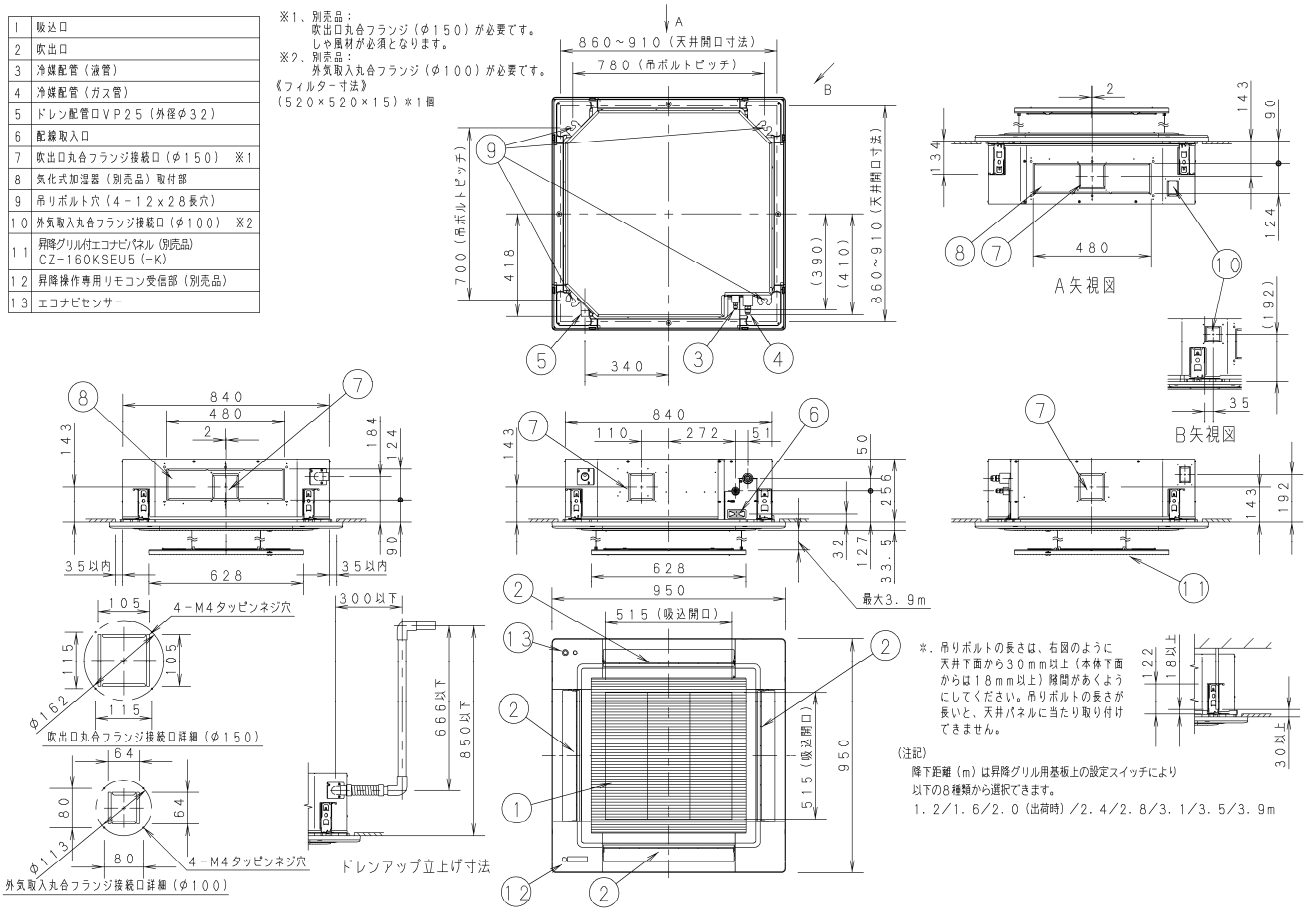


■昇降グリル付天井パネル（エコナビ:CZ-160KSEU5(-K)）

●S-G28・36・45・56・71・80UT1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管ロVP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口（φ150） ※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りボルト穴（4－12x28長穴）
10	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※2
11	昇降グリル付エコナビパネル（別売品） CZ-160KSEU5（-K）
12	昇降操作専用リモコン受信部（別売品）
13	エコナビセンサー

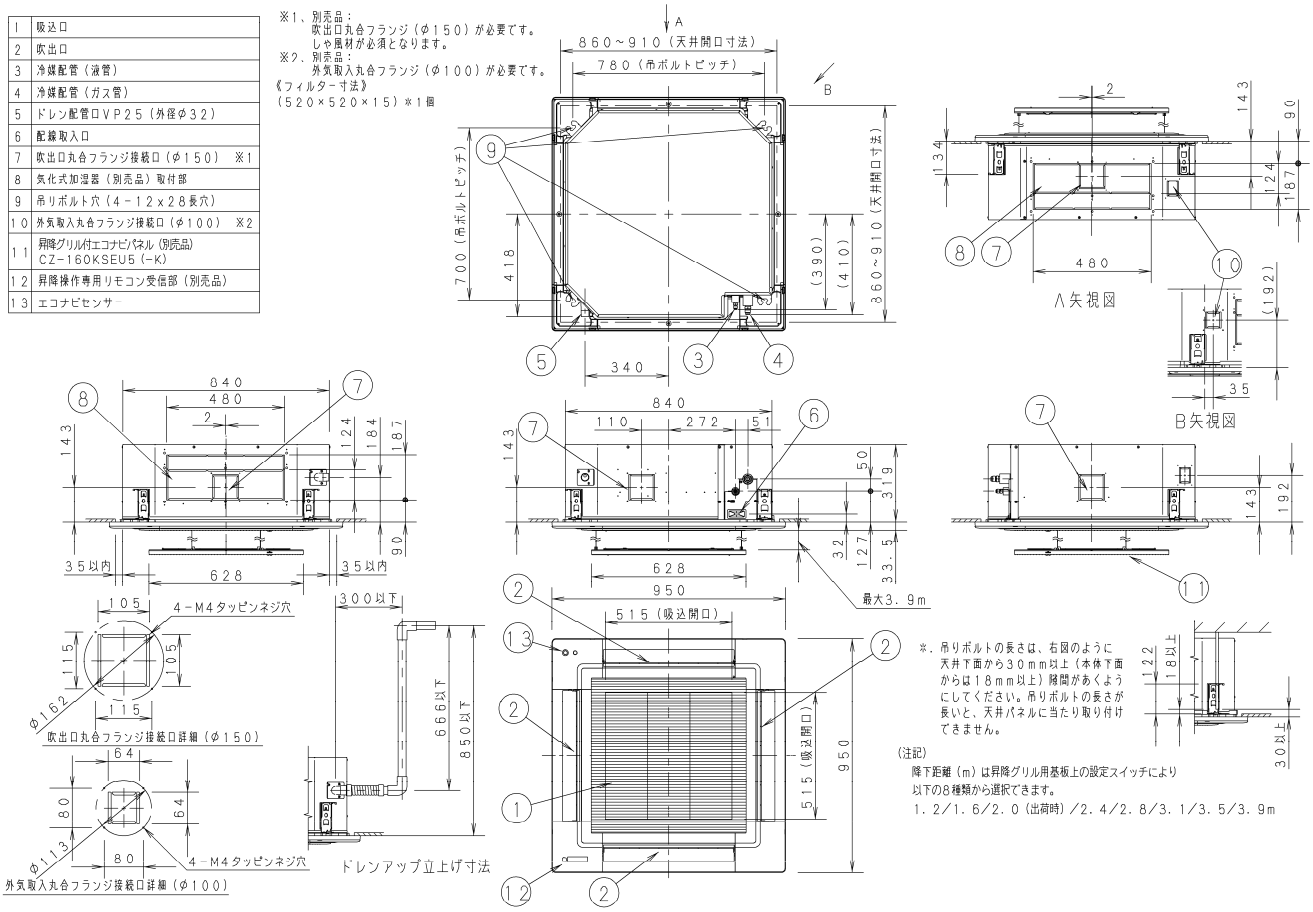
※1、別売品：
吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：
外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個



●S-G90・112・140・160UT1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管ロVP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口（φ150） ※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りボルト穴（4－12x28長穴）
10	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※2
11	昇降グリル付エコナビパネル（別売品） CZ-160KSEU5（-K）
12	昇降操作専用リモコン受信部（別売品）
13	エコナビセンサー

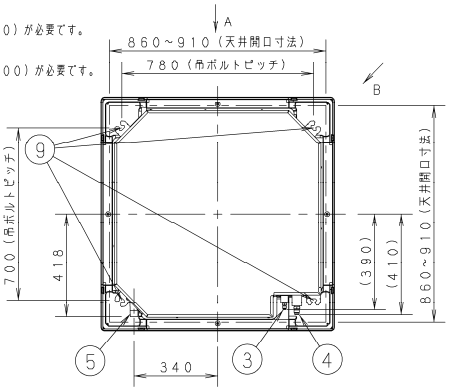
※1、別売品：
吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：
外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

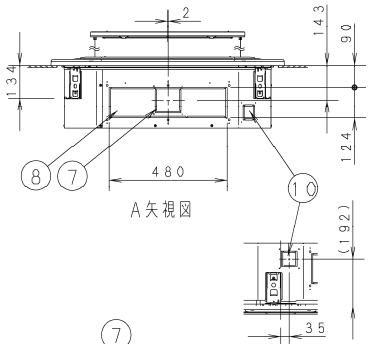


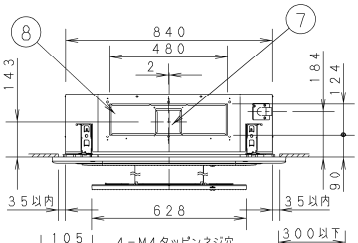
■昇降グリル付天井パネル（標準 :CZ-160KSU5(-K)）
■昇降グリル付オイルガードパネル（CZ-160KSBU5(-K)）
●S-G28・36・45・56・71・80UT1

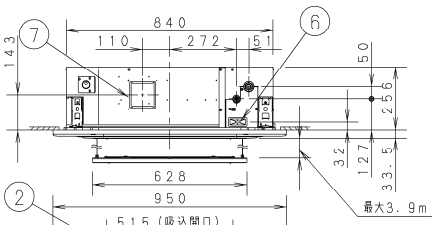
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口 VP25（外径φ 32）
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口（φ 150） ※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りボルト穴（4-12 × 28 長穴）
10	外気取入丸合フランジ接続口（φ 100） ※2
11	昇降グリル付標準パネル（別売品）CZ-160KSU5（-K） 昇降グリル付オイルガードパネル CZ-160KSBU5
12	昇降操作線用リモコン受信部（別売品）

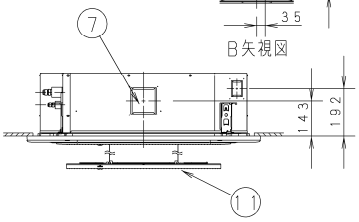
※1、別売品：
吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：
外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1 個

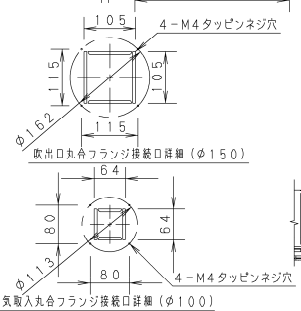


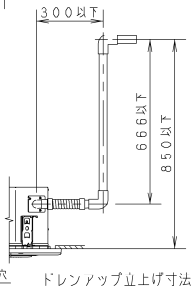


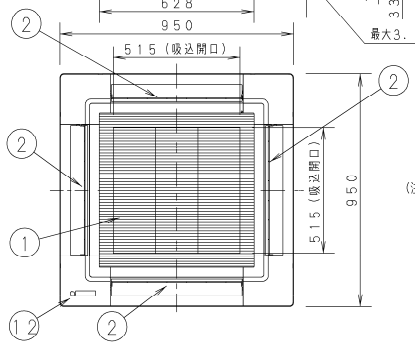




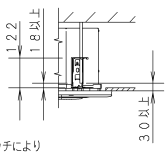








※．吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

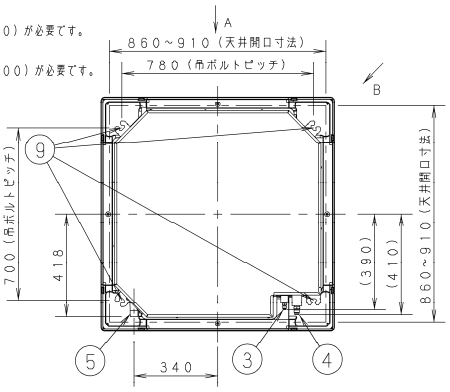


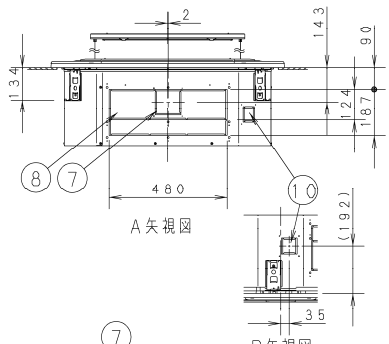
（注記）
降下距離（m）は昇降グリル用基板上の設定スイッチにより以下の8種類から選択できます。
1．2／1．6／2．0（出荷時）／2．4／2．8／3．1／3．5／3．9m

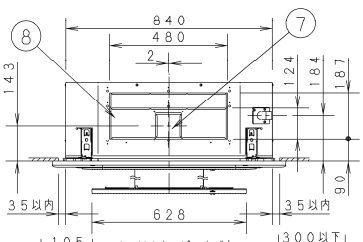
●S-G90・112・140・160UT1

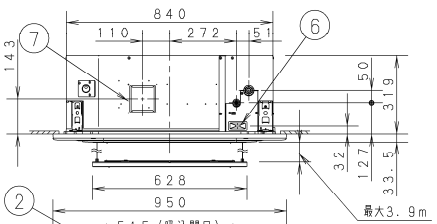
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口 VP25（外径φ 32）
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口（φ 150） ※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りボルト穴（4-12 × 28 長穴）
10	外気取入丸合フランジ接続口（φ 100） ※2
11	昇降グリル付標準パネル（別売品）CZ-160KSU5（-K） 昇降グリル付オイルガードパネル CZ-160KSBU5
12	昇降操作線用リモコン受信部（別売品）

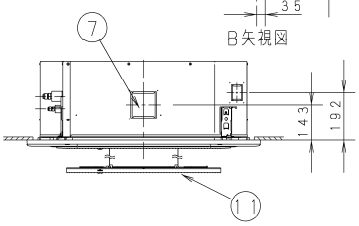
※1、別売品：
吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：
外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1 個

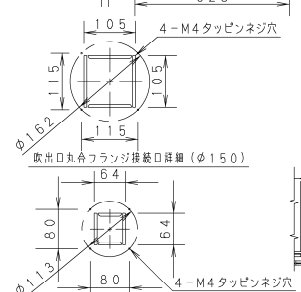


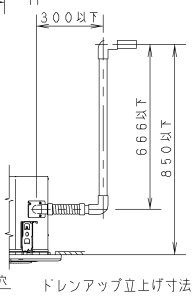


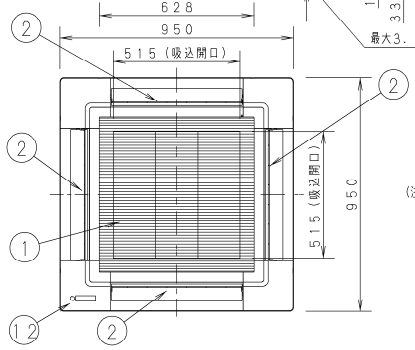




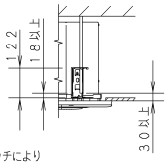








※．吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



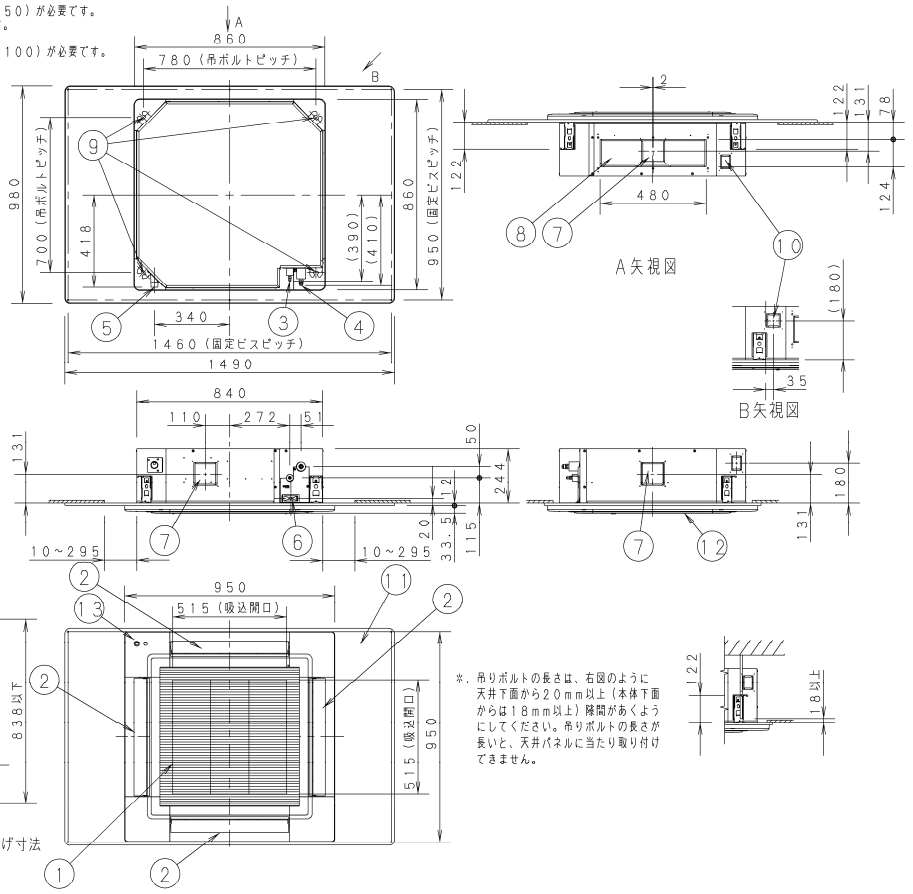
（注記）
降下距離（m）は昇降グリル用基板上の設定スイッチにより以下の8種類から選択できます。
1．2／1．6／2．0（出荷時）／2．4／2．8／3．1／3．5／3．9m

■ワイドパネル（CZ-160KWU5）

●S-G28・36・45・56・71・80UT1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口（φ150） ※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りボルト穴（4－12x28長穴）
10	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※2
11	ワイドパネル（リニューアル対応） 別売品：CZ-160KWU5
12	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU5（-K）
13	エコナビセンサー

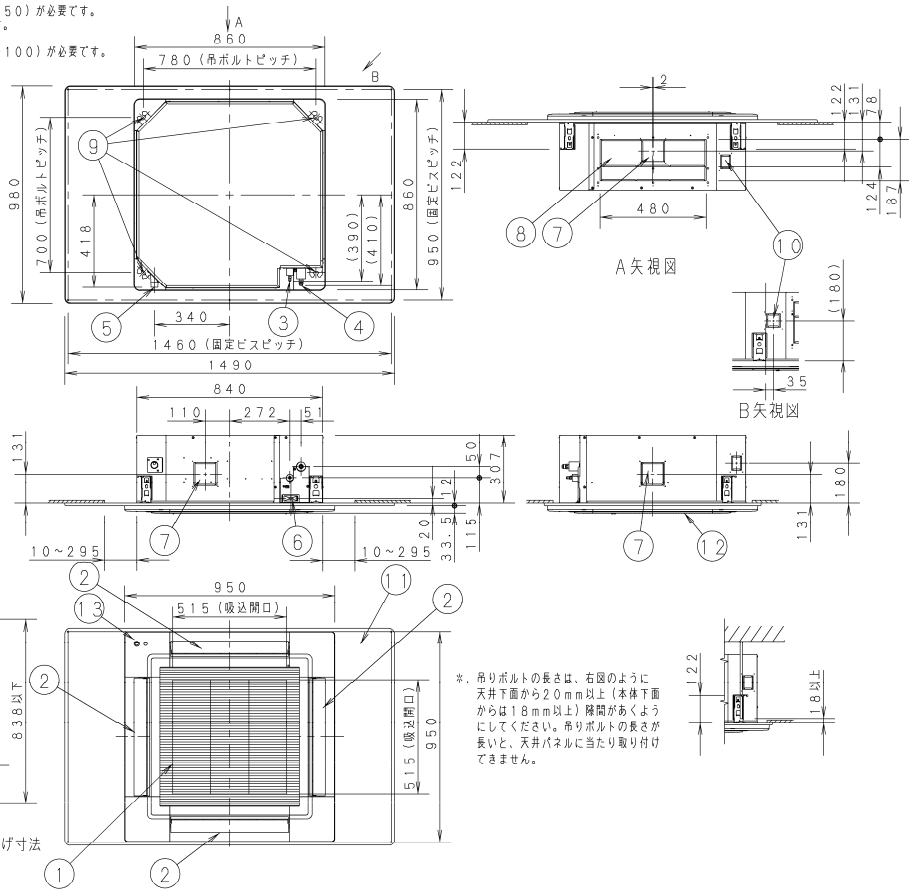
※1．別売品：
吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
しゃ風材が必須となります。
※2．別売品：
外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個



●S-G90・112・140・160UT1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口（φ150） ※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りボルト穴（4－12x28長穴）
10	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※2
11	ワイドパネル（リニューアル対応） 別売品：CZ-160KWU5
12	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU5（-K）
13	エコナビセンサー

※1．別売品：
吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
しゃ風材が必須となります。
※2．別売品：
外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個



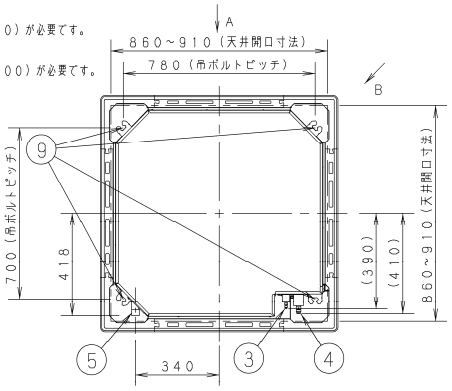
■パネルスペーサー（CZ-160-SPU5）

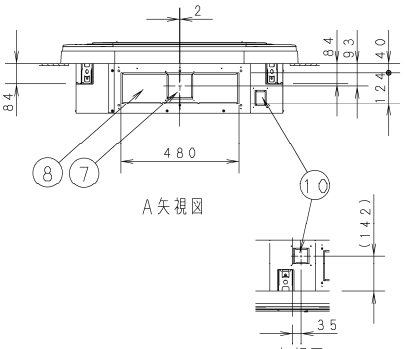
●S-G28・36・45・56・71・80UT1

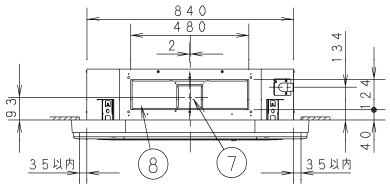
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管ロVP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りボルト穴（4－12x28長穴）
10	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
11	パネルスペーサー（別売品） CZ-160SPU5
12	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU5（-K）
13	エコナビセンサー

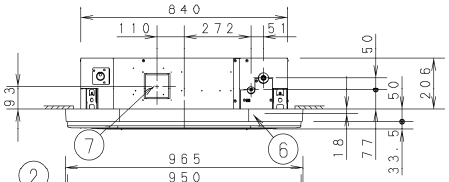
※1、別売品：
吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：
外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）＊1個

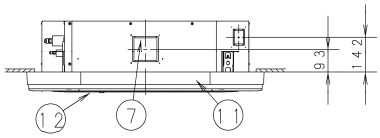
※パネルスペーサーをご使用いただく際には、取付位置が50mm下がりますので必ず外形寸法図をご確認の上　併設の可否をご判断ください。

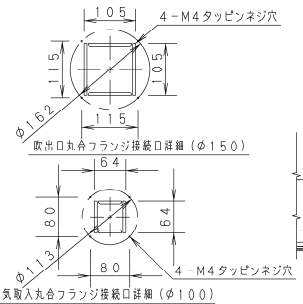


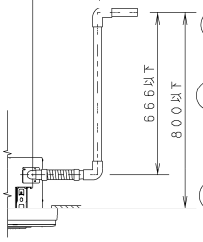


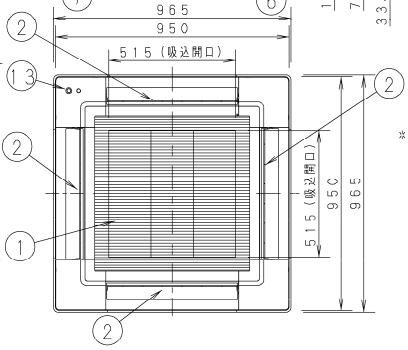




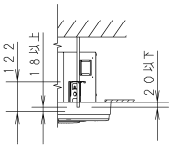








※．吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から20mm以下（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

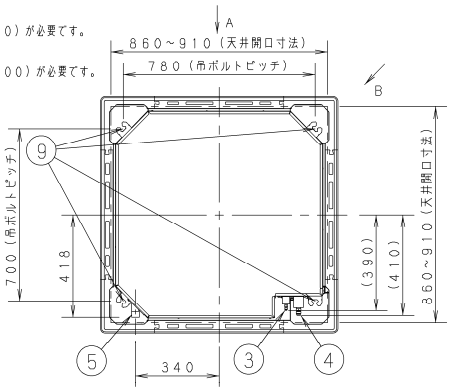


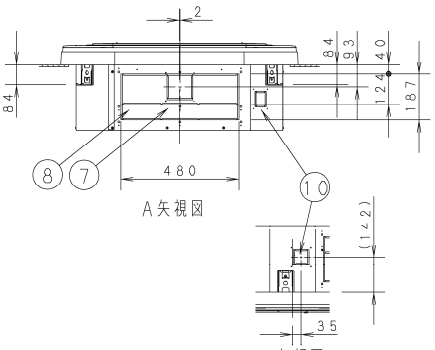
●S-G90・112・140・160UT1

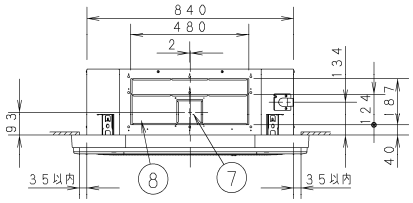
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管ロVP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りボルト穴（4－12x28長穴）
10	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
11	パネルスペーサー（別売品） CZ-160SPU5
12	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU5（-K）
13	エコナビセンサー

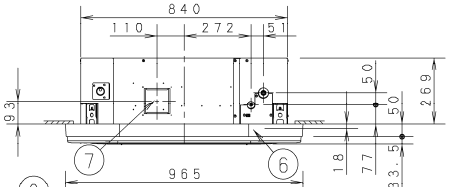
※1、別売品：
吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：
外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）＊1個

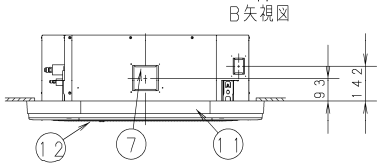
※パネルスペーサーをご使用いただく際には、取付位置が50mm下がりますので必ず外形寸法図をご確認の上　併設の可否をご判断ください。

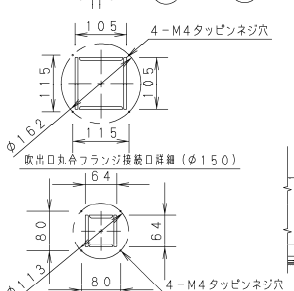


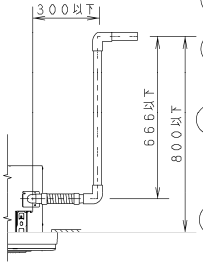


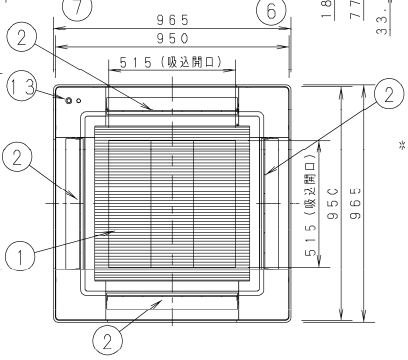




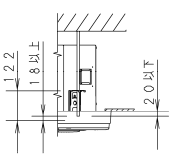








※．吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から20mm以下（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

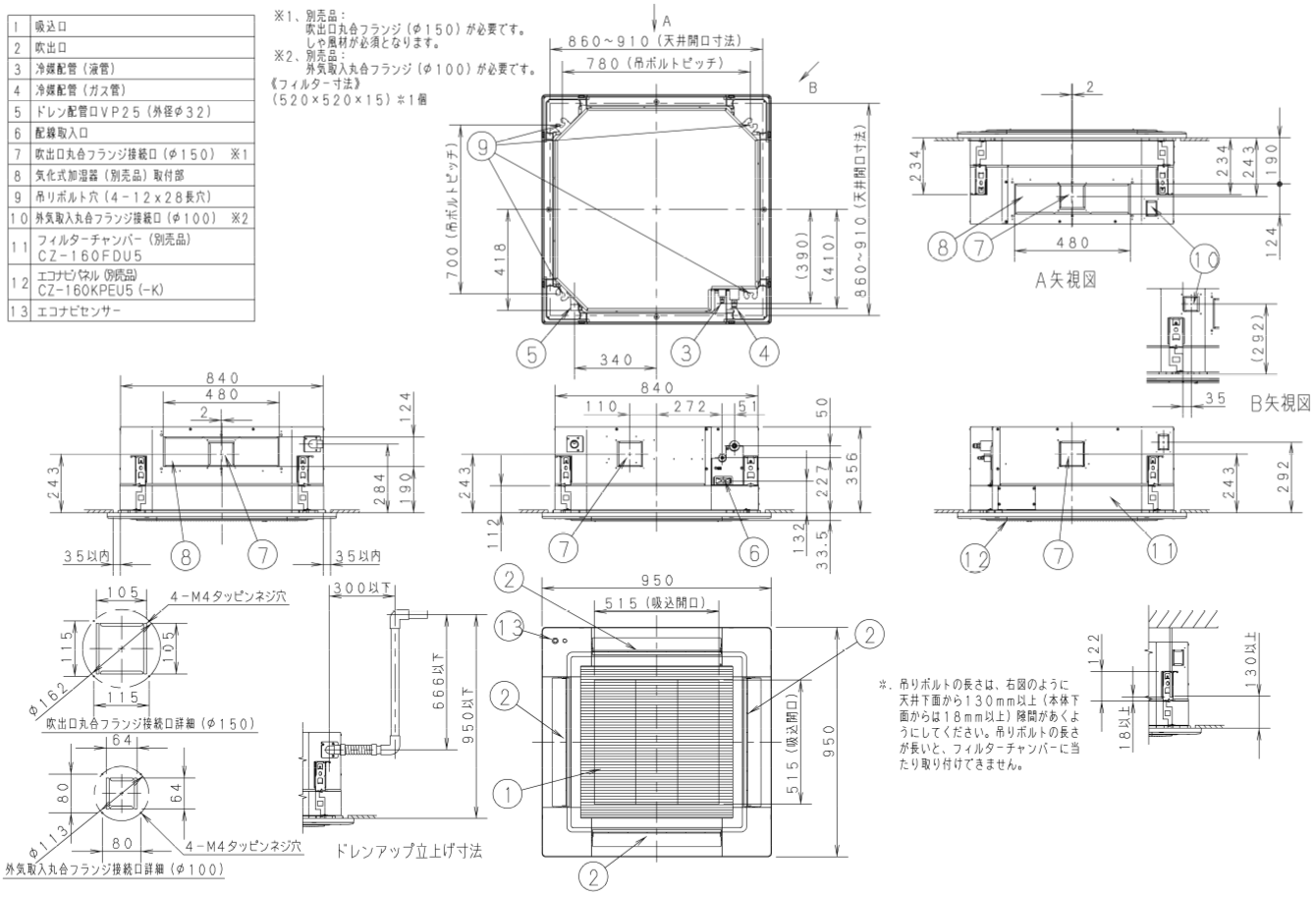


■フィルターチャンバー（CZ-160FDU5）

●S-G28・36・45・56・71・80UT1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口（φ150） ※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りボルト穴（4－12×28長穴）
10	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※2
11	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU5
12	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU5（-K）
13	エコナビセンサー

※1、別売品：
吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：
外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

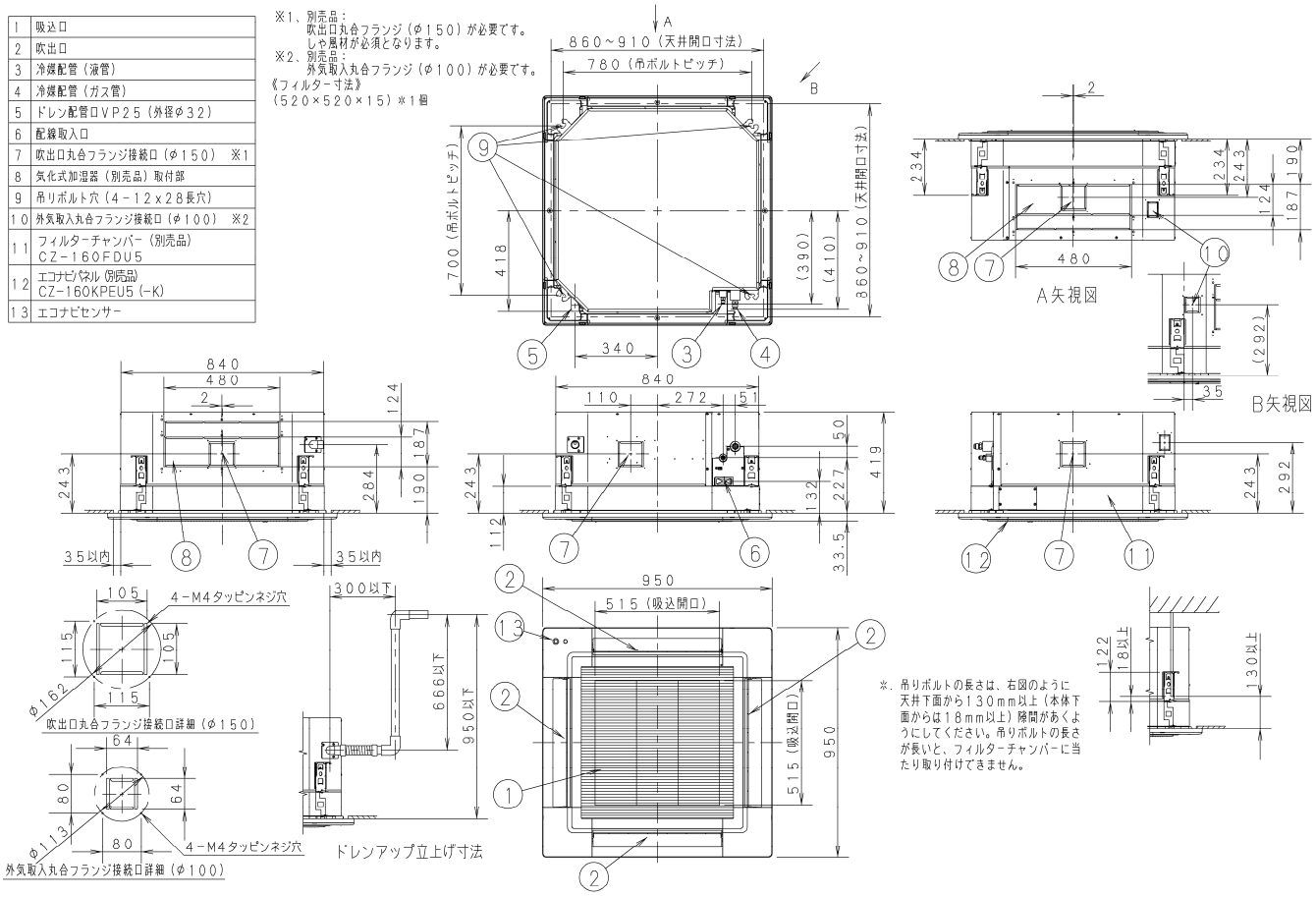


※．吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から130mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、フィルターチャンバーに当たり取り付けできません。

●S-G90・112・140・160UT1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口（φ150） ※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りボルト穴（4－12×28長穴）
10	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※2
11	フィルターチャンバー（別売品） CZ-160FDU5
12	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU5（-K）
13	エコナビセンサー

※1、別売品：
吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
しゃ風材が必須となります。
※2、別売品：
外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個



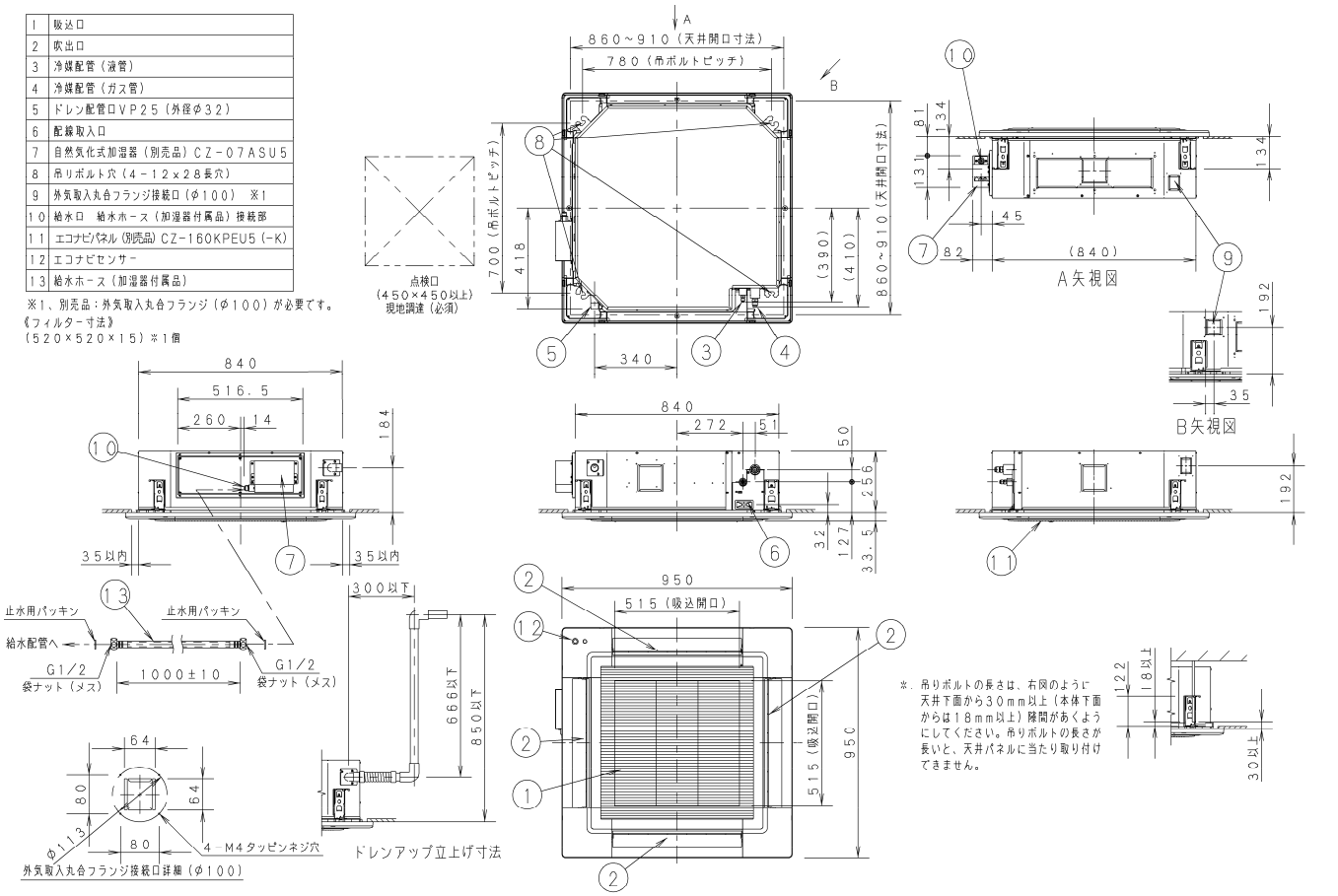
※．吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から130mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、フィルターチャンバーに当たり取り付けできません。

■自然気化式加湿器（CZ-07ASU5）

●S-G28・36・45・56・71・80UT1

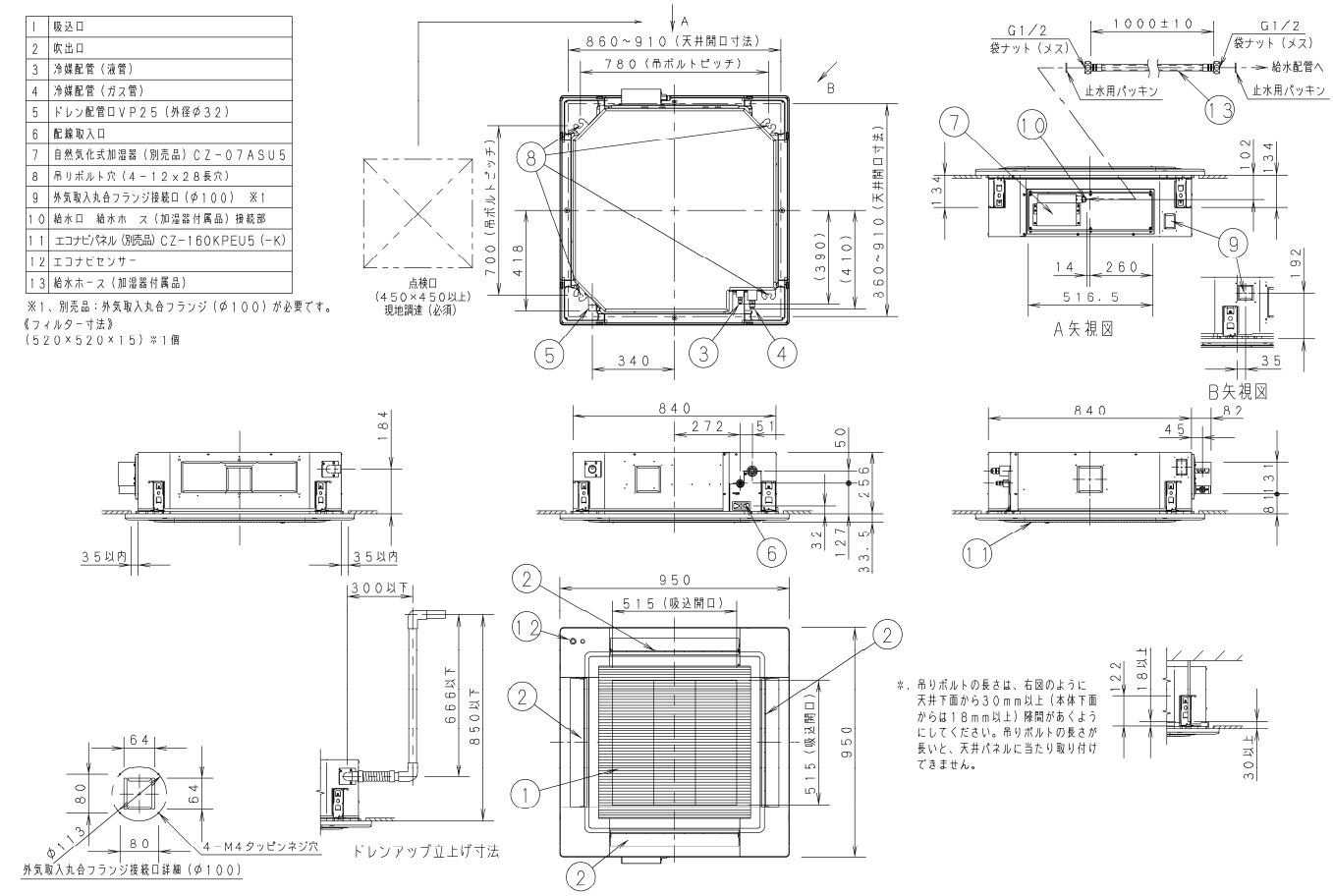
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管ロVP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU5
8	吊りボルト穴（4-12×28長穴）
9	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※1
10	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
11	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
12	エコナビセンサー
13	給水ホース（加湿器付属品）

※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個



1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管ロVP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU5
8	吊りボルト穴（4-12×28長穴）
9	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※1
10	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
11	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
12	エコナビセンサー
13	給水ホース（加湿器付属品）

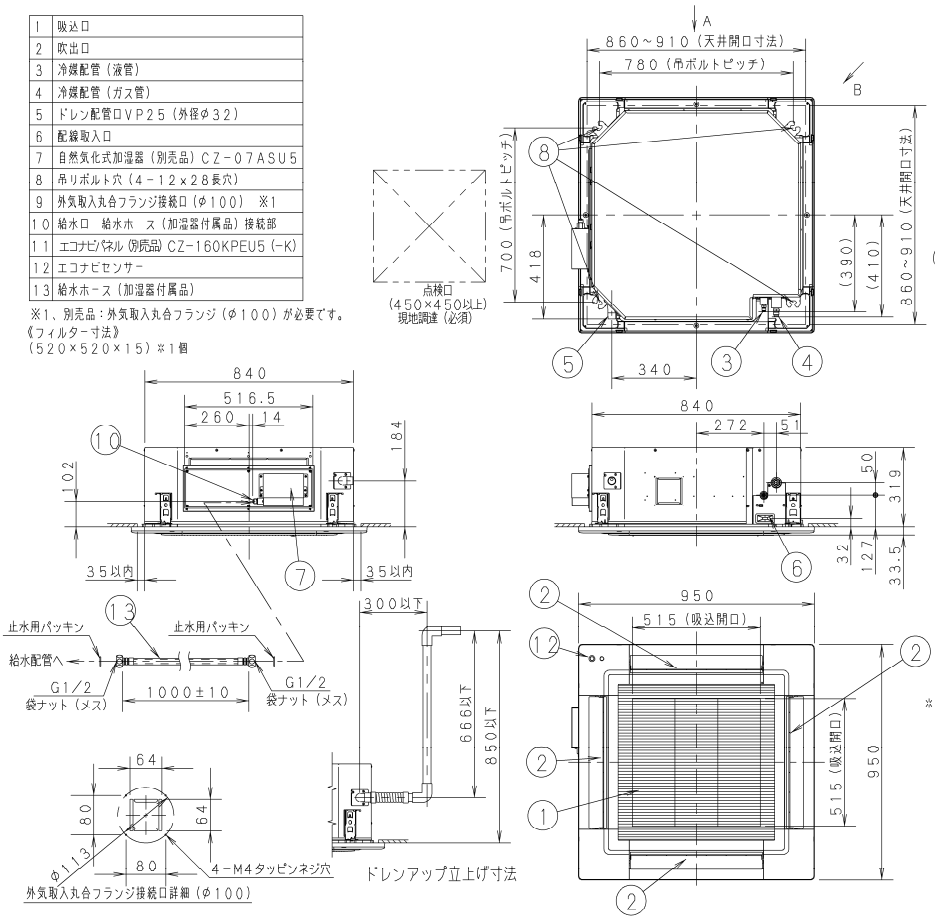
※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個



●S-G90UT1

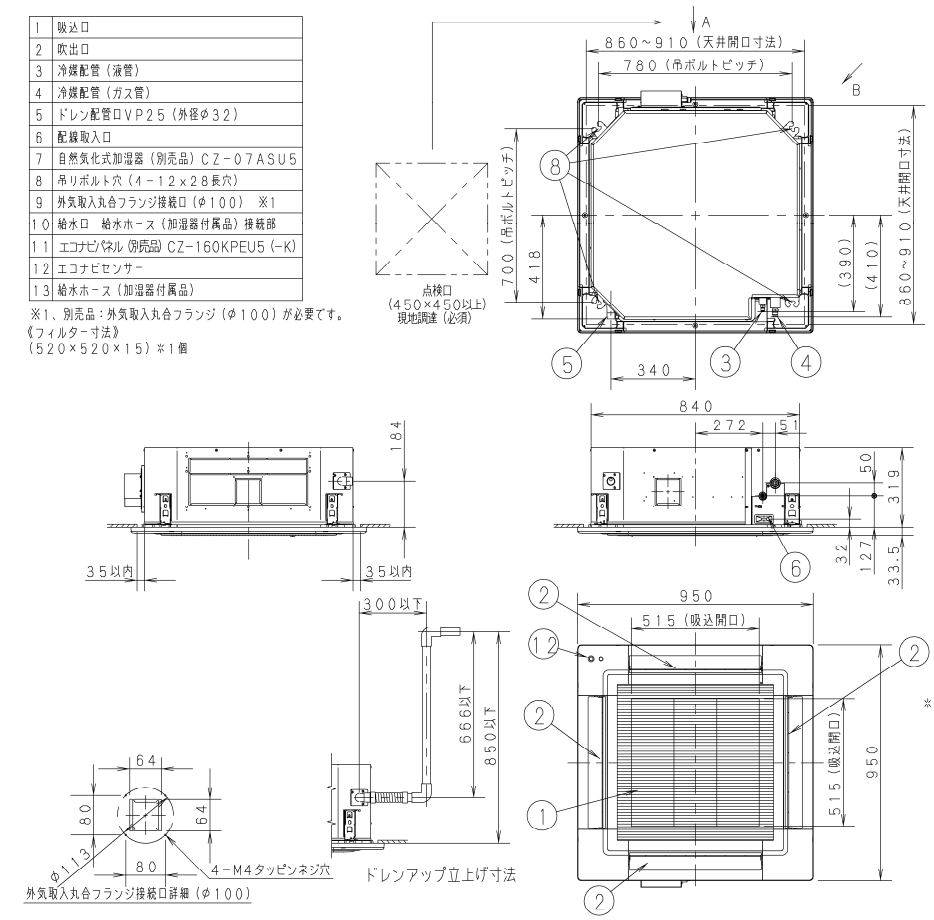
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管ロVP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU5
8	吊りボルト穴（4-12×28長穴）
9	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※1
10	給水口 給水ホース（加湿器付属品）接続部
11	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
12	エコナビセンサー
13	給水ホース（加湿器付属品）

※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個



1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管ロVP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU5
8	吊りボルト穴（4-12×28長穴）
9	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※1
10	給水口 給水ホース（加湿器付属品）接続部
11	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
12	エコナビセンサー
13	給水ホース（加湿器付属品）

※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

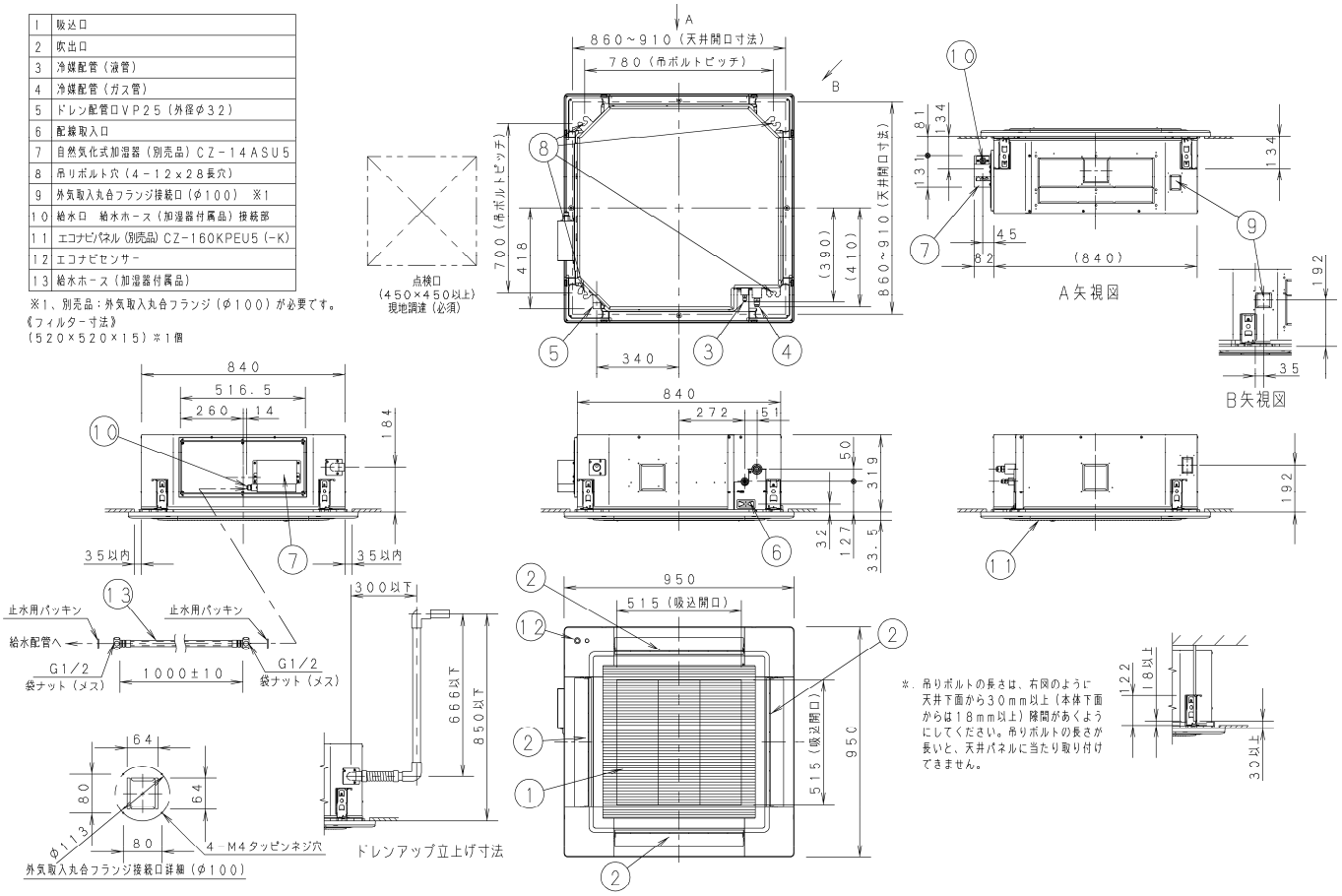


■自然気化式加湿器（CZ-14ASU5）

●S-G112・140・160UT1

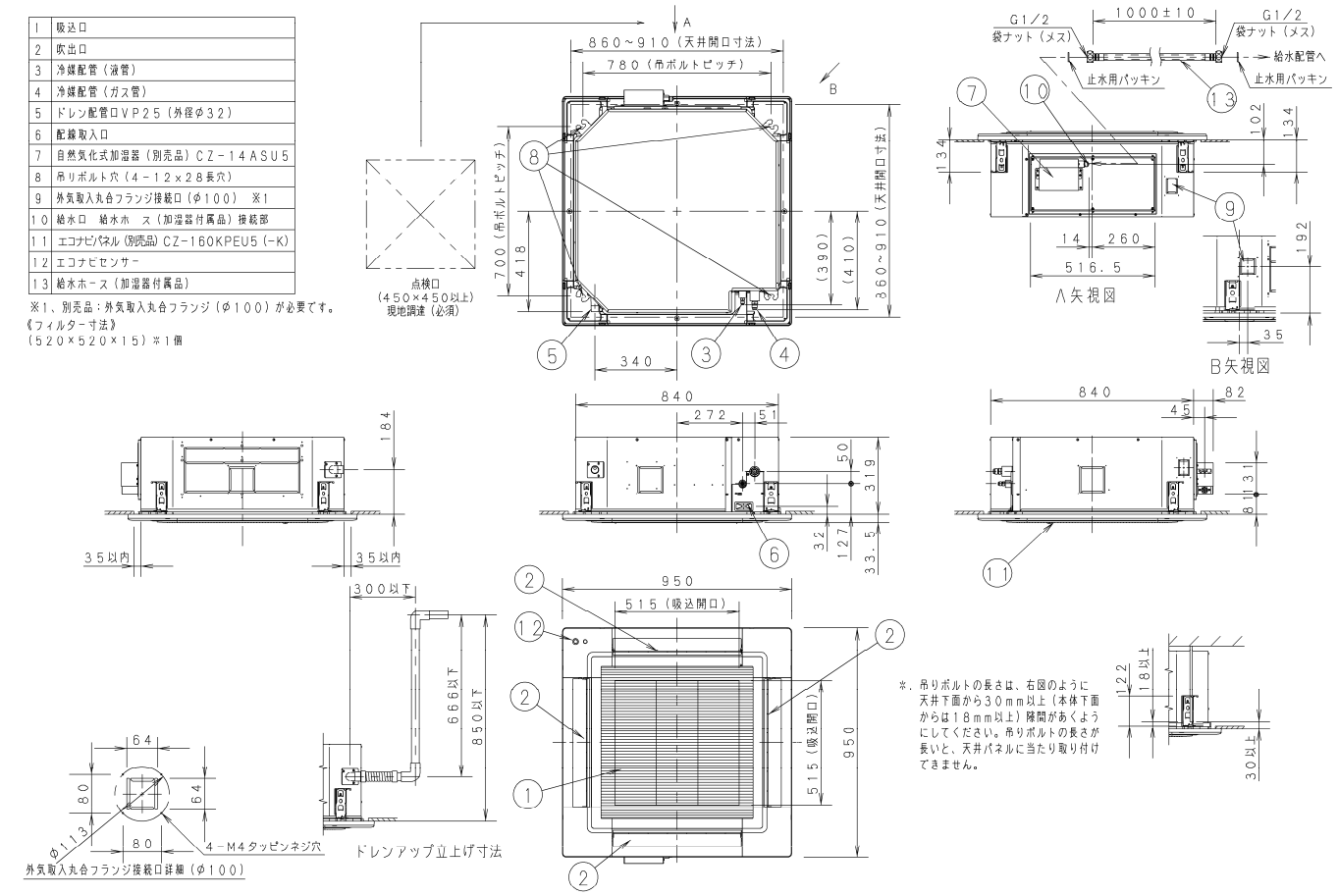
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口ＶＰ25（外径φ32）
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器（別売品）ＣＺ－14ＡＳＵ5
8	吊りボルト穴（4－12×28長穴）
9	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※1
10	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
11	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
12	エコナビセンサー
13	給水ホース（加湿器付属品）

※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個



1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口ＶＰ25（外径φ32）
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器（別売品）ＣＺ－14ＡＳＵ5
8	吊りボルト穴（4－12×28長穴）
9	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※1
10	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
11	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
12	エコナビセンサー
13	給水ホース（加湿器付属品）

※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個



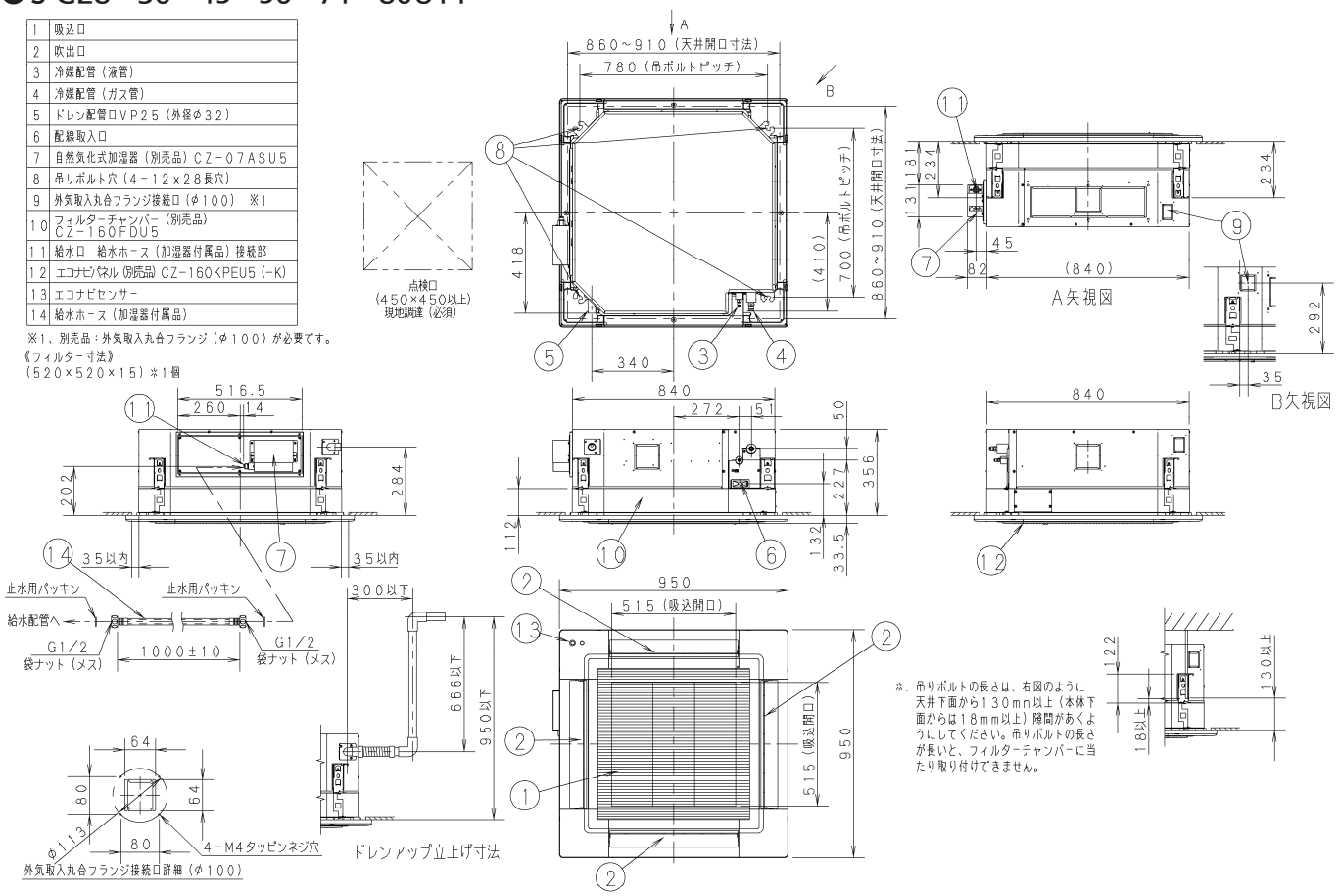
■フィルターチャンバー（CZ-160FDU5）

■自然気化式加湿器（CZ-07ASU5）

●S-G28・36・45・56・71・80UT1

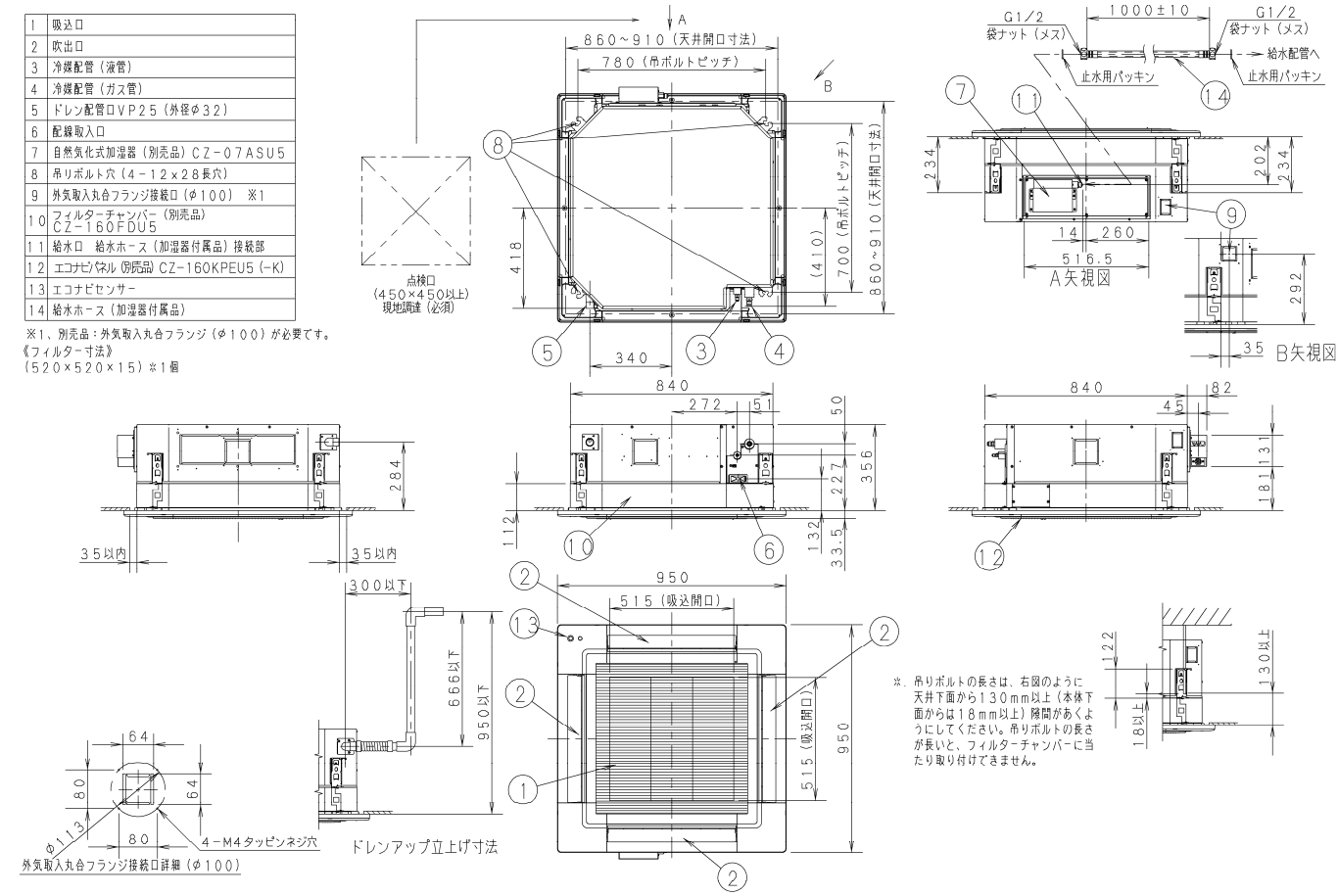
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU5
8	吊りボルト穴（4－12×28長穴）
9	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※1
10	フィルターチャンバー（別売品）CZ-160FDU5
11	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
12	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
13	エコナビセンサー
14	給水ホース（加湿器付属品）

※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個



1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU5
8	吊りボルト穴（4－12×28長穴）
9	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※1
10	フィルターチャンバー（別売品）CZ-160FDU5
11	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
12	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
13	エコナビセンサー
14	給水ホース（加湿器付属品）

※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

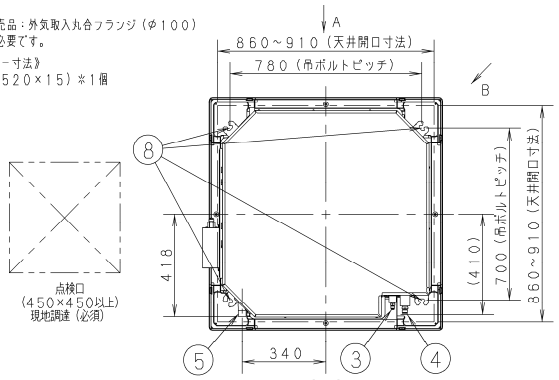


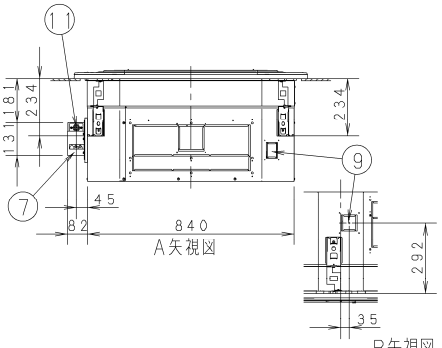
●S-G90UT1

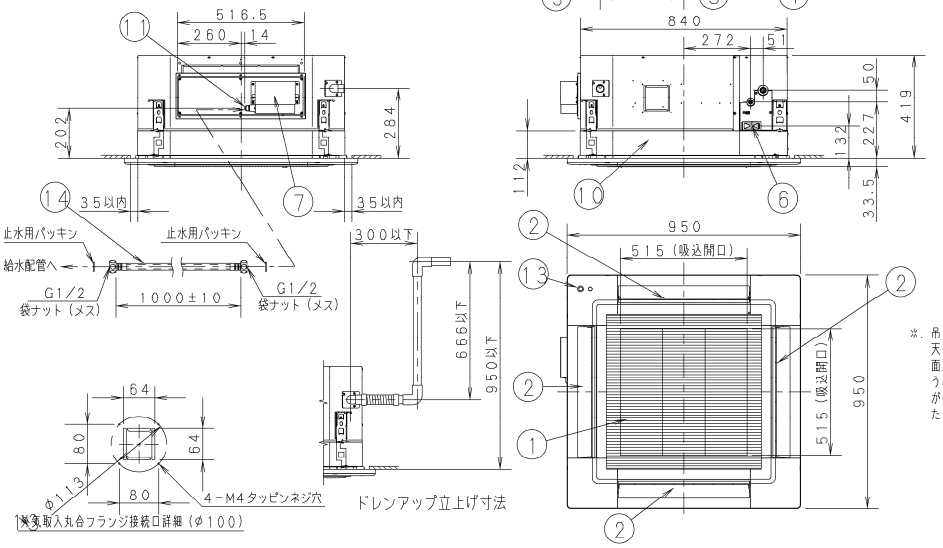
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU5
8	吊りボルト穴（4-12×28長穴）
9	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※1
10	フィルターチャンバー（別売品）CZ-160FDU5
11	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
12	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
13	エコナビセンサー
14	給水ホース（加湿器付属品）

※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。

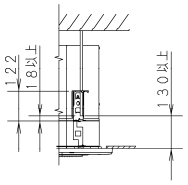
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個







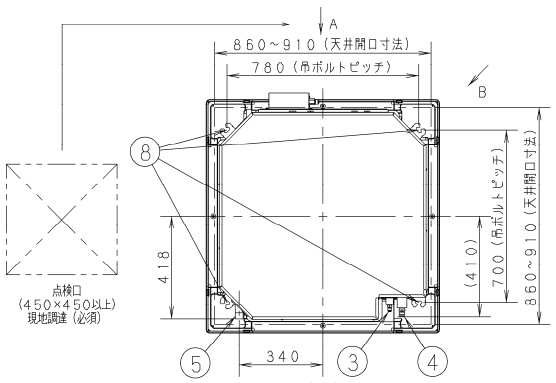
※．吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から130mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、フィルターチャンバーに当たり取り付けできません。

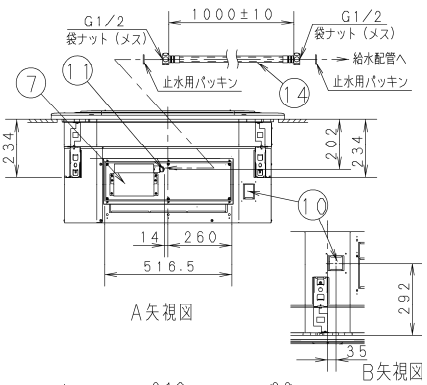


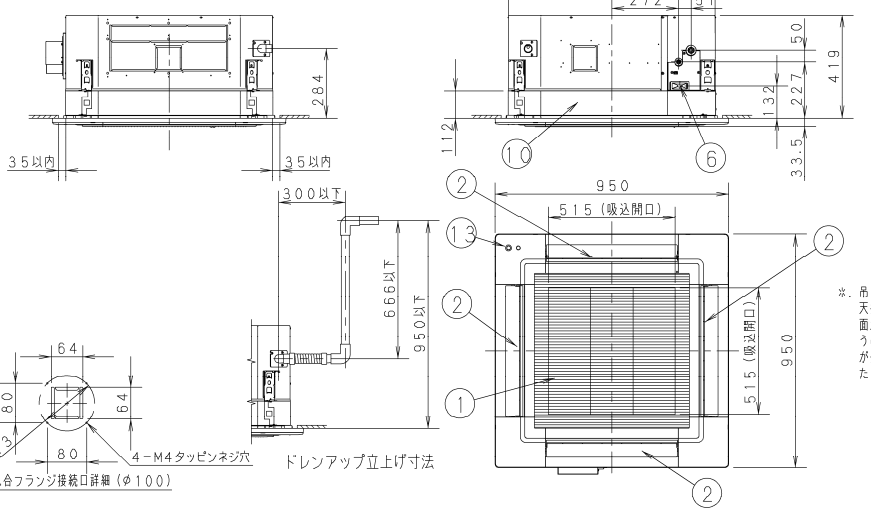
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器（別売品）CZ-07ASU5
8	吊りボルト穴（4-12×28長穴）
9	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※1
10	フィルターチャンバー（別売品）CZ-160FDU5
11	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
12	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
13	エコナビセンサー
14	給水ホース（加湿器付属品）

※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。

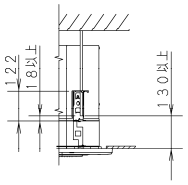
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個







※．吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から130mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、フィルターチャンバーに当たり取り付けできません。



■フィルターチャンバー（CZ-160FDU5）

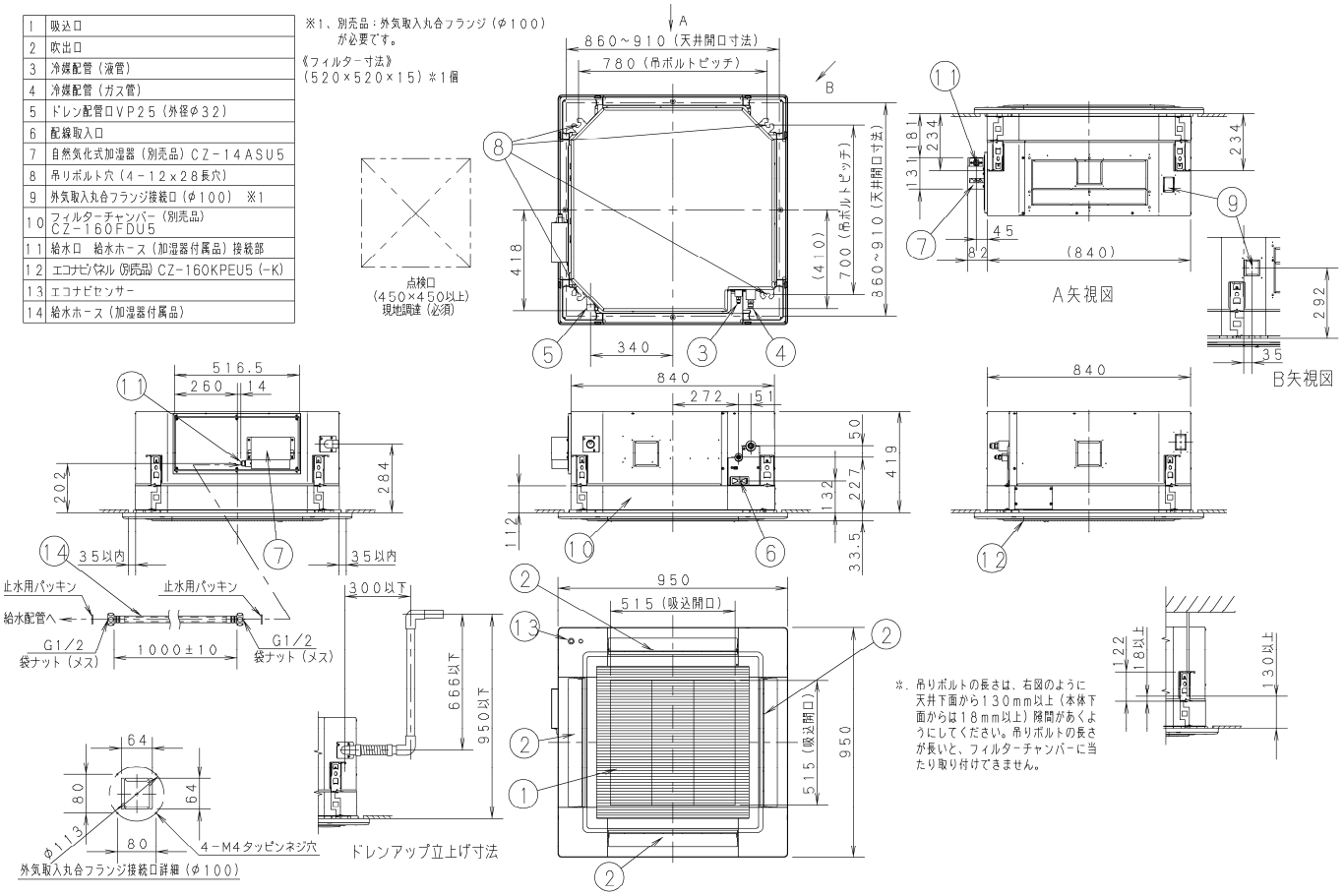
■自然気化式加湿器（CZ-14ASU5）

●S-G112・140・160UT1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器（別売品）CZ-14ASU5
8	吊りボルト穴（4-12×28長穴）
9	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※1
10	フィルターチャンバー（別売品）CZ-160FDU5
11	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
12	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
13	エコナビセンサー
14	給水ホース（加湿器付属品）

※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。

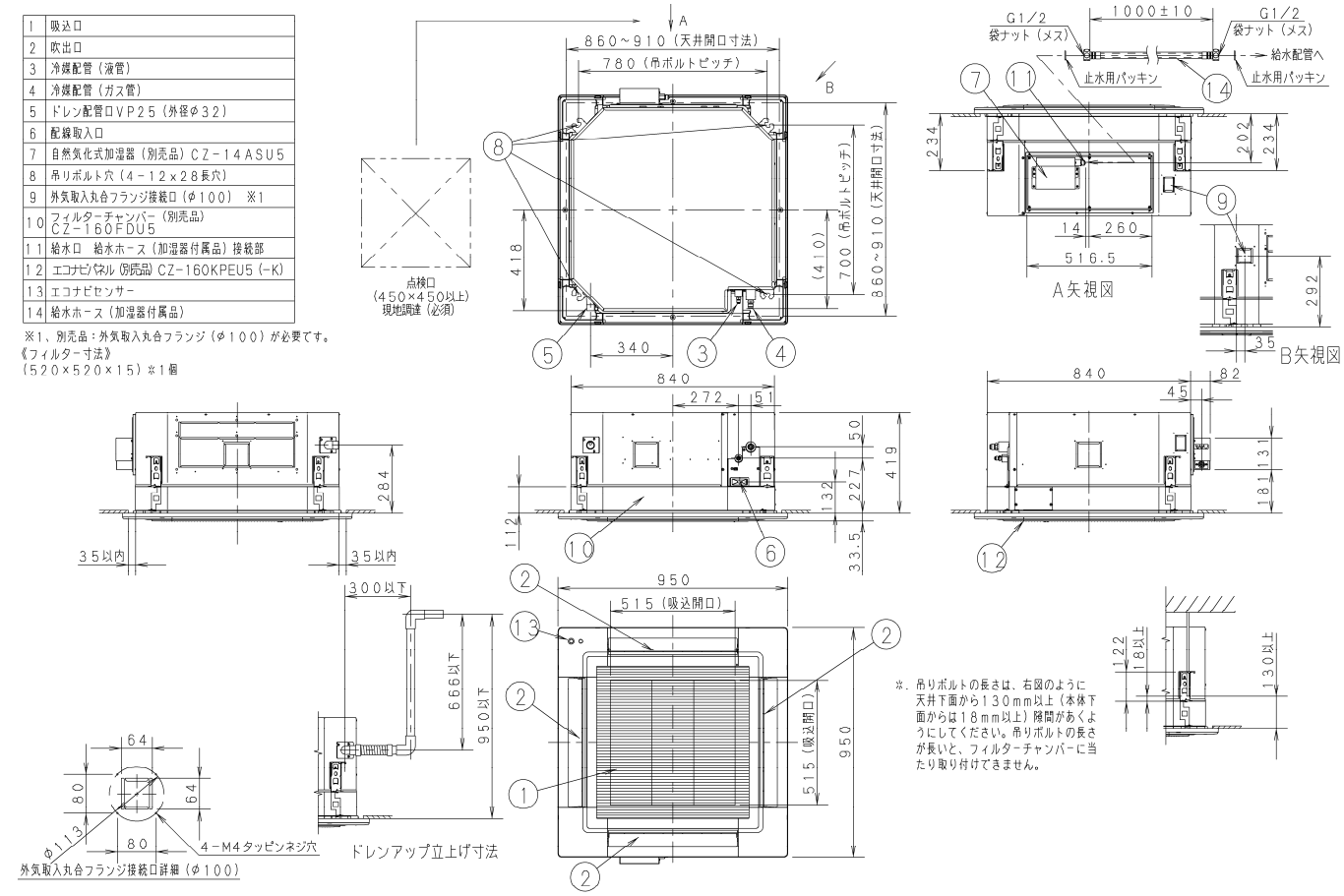
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個



1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器（別売品）CZ-14ASU5
8	吊りボルト穴（4-12×28長穴）
9	外気取入丸合フランジ接続口（φ100） ※1
10	フィルターチャンバー（別売品）CZ-160FDU5
11	給水口　給水ホース（加湿器付属品）接続部
12	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
13	エコナビセンサー
14	給水ホース（加湿器付属品）

※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。

《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個



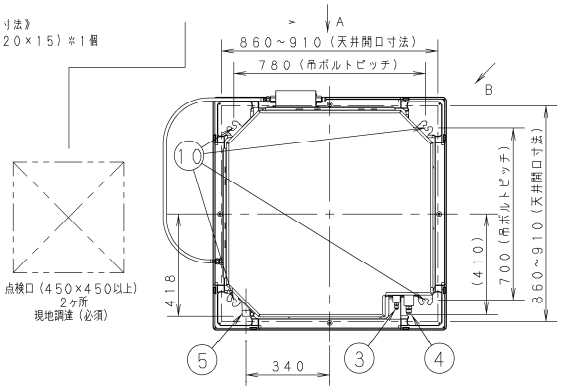
■自然気化式加湿器　高加湿タイプ（CZ-16ASHU5）

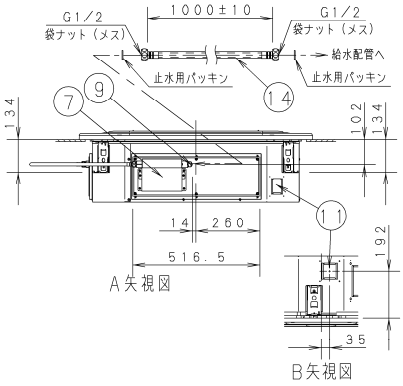
●S-G28・36・45・56・71・80UT1

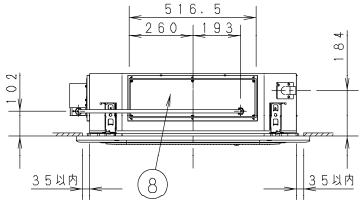
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管ロVP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-16ASHU5　<1次側>
8	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-16ASHU5　<2次側>
9	給水口　給水ホ　ス（加湿器付属品）接続部
10	吊りボルト穴（4-12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※1
12	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
13	エコナビセンサー
14	給水ホース（加湿器付属品）

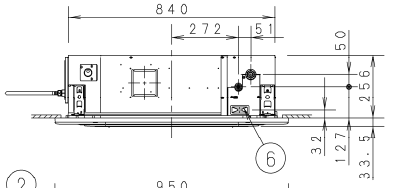
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

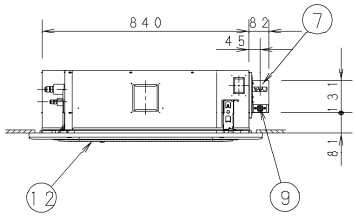
※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。

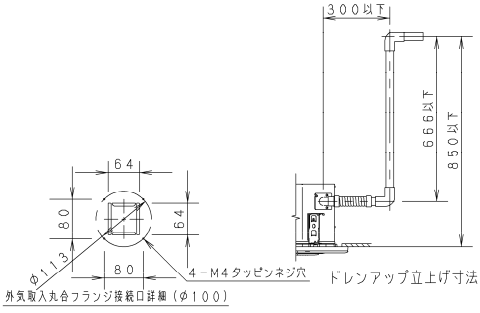


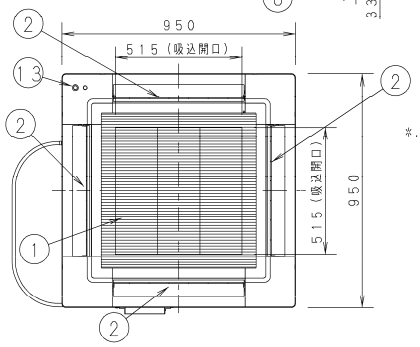




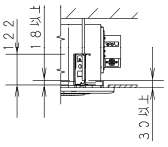








※．吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

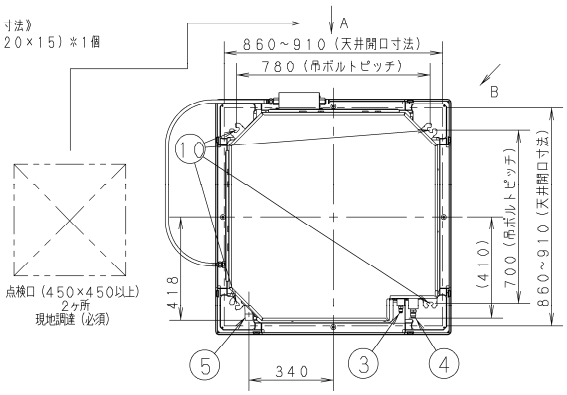


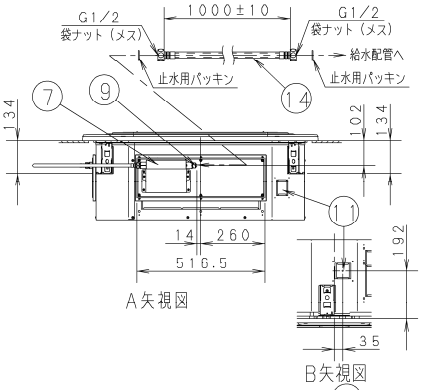
●S-G90UT1

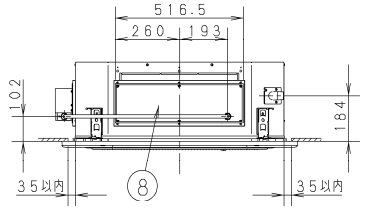
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管ロVP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-16ASHU5　<1次側>
8	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品）CZ-16ASHU5　<2次側>
9	給水口　給水ホ　ス（加湿器付属品）接続部
10	吊りボルト穴（4-12x28長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※1
12	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
13	エコナビセンサー
14	給水ホース（加湿器付属品）

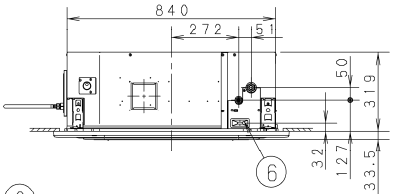
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

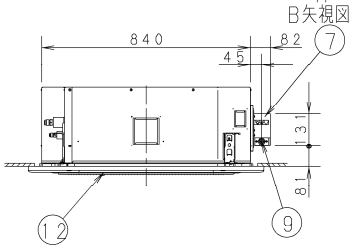
※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。

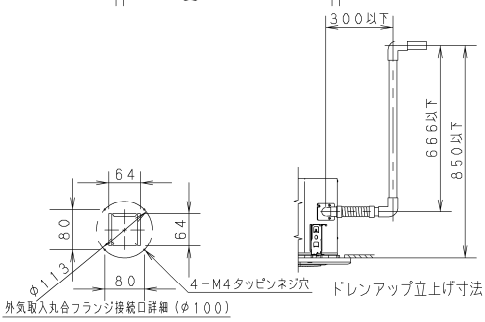


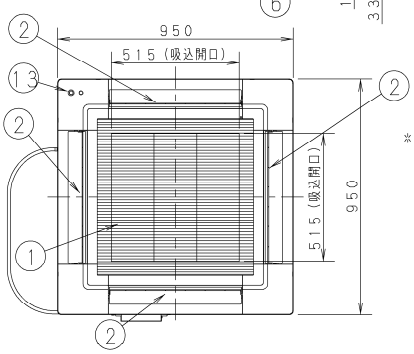




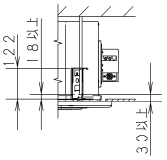








※．吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

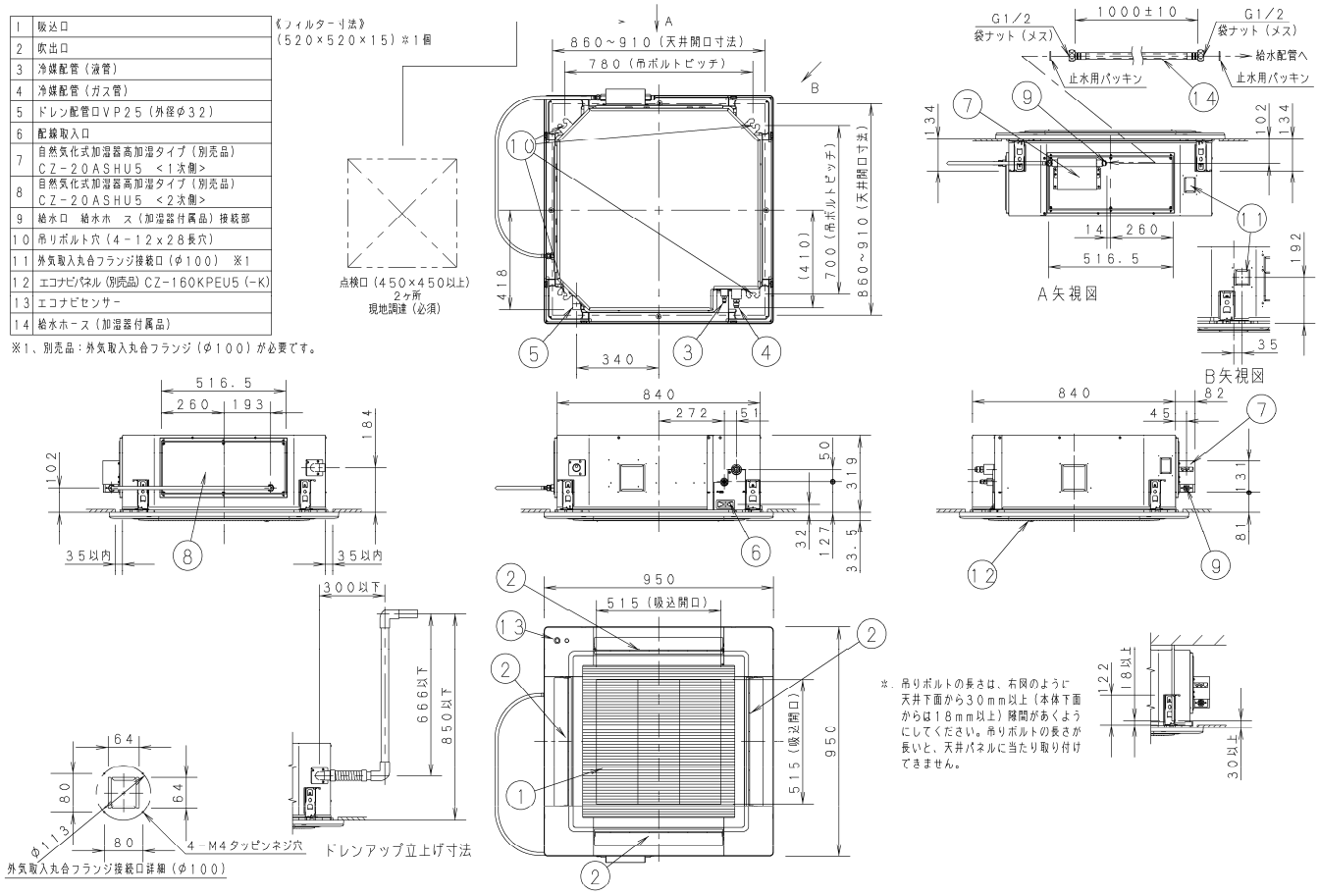


■自然気化式加湿器　高加湿タイプ（CZ-20ASHU5）

●S-G112・140・160UT1

1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口ＶＰ２５（外径φ３２）
6	配線取入口
7	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品） ＣＺ－２０ＡＳＨＵ５　＜１次側＞
8	自然気化式加湿器高加湿タイプ（別売品） ＣＺ－２０ＡＳＨＵ５　＜２次側＞
9	給水口　給水ホ　ス（加湿器付属品）接続部
10	吊りボルト穴（４－１２ｘ２８長穴）
11	外気取入丸合フランジ接続口（φ１００）　※1
12	エコナビパネル（別売品）ＣＺ－１６０ＫＰＥＵ５（－Ｋ）
13	エコナビセンサー
14	給水ホース（加湿器付属品）

※1、別売品：外気取入丸合フランジ（φ１００）が必要です。



※．吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から３０ｍｍ以上（本体下面からは１８ｍｍ以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

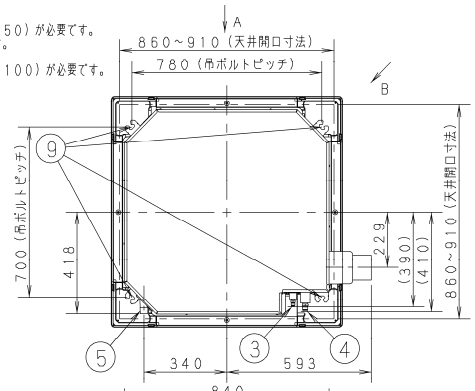
■フィルターチャンバー（CZ-160FDU5）

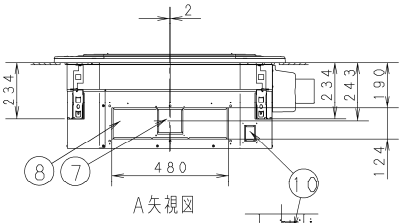
■外気取入れキット（チャンバー用）（CZ-160GSCU5）

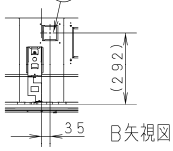
●S-G28・36・45・56・71・80UT1

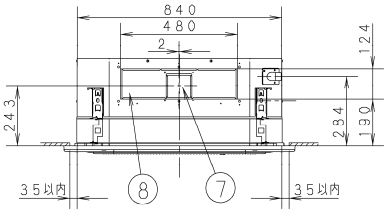
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管ロVP25（外径φ32）
6	
7	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りボルト穴（4－12x28長穴）
10	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
11	フィルターチャンバー（別売品） CZ－160FDU5
12	外気取入れキット（チャンバー用）（別売品） CZ－160GSCU5
13	エコナビパネル（別売品） CZ－160KPEU5（－K）
14	エコナビセンサー

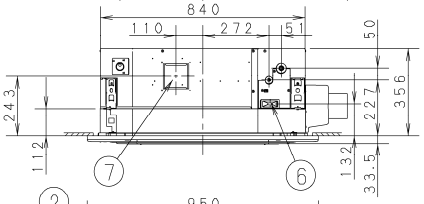
※1．別売品：
吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
しゃ風材が必須となります。
※2．別売品：
外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

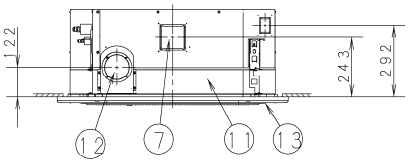


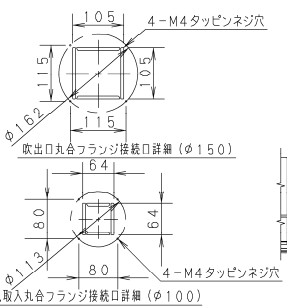


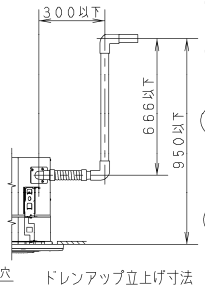


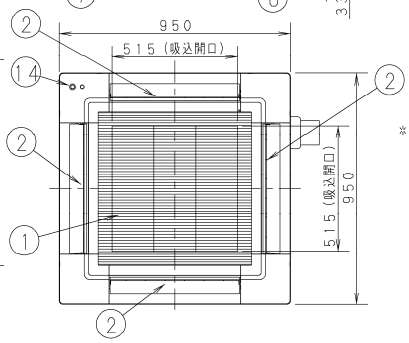




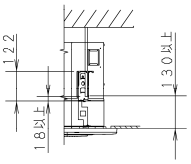








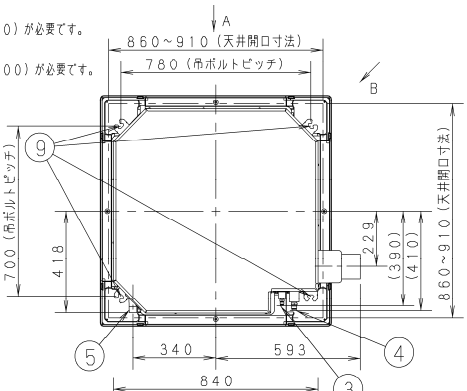
※．吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から130mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、フィルターチャンバーに当たり取り付けできません。

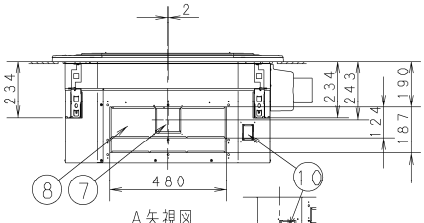


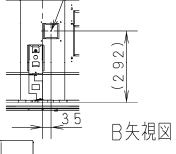
●S-G90・112・140・160T1

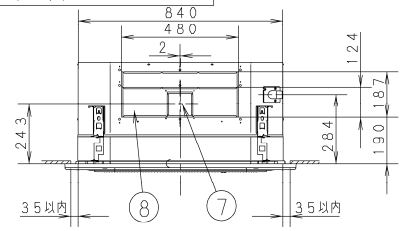
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管ロVP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りボルト穴（4－12x28長穴）
10	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
11	フィルターチャンバー（別売品） CZ－160FDU5
12	外気取入れキット（チャンバー用）（別売品） CZ－160GSCU5
13	エコナビパネル（別売品） CZ－160KPEU5（－K）
14	エコナビセンサー

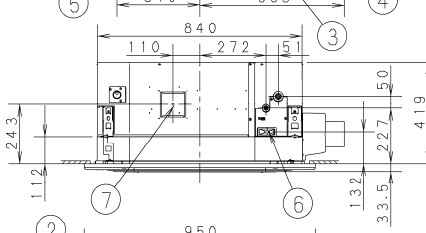
※1．別売品：
吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
しゃ風材が必須となります。
※2．別売品：
外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

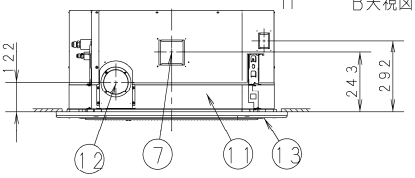


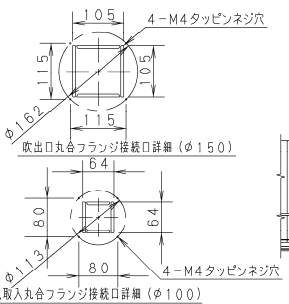


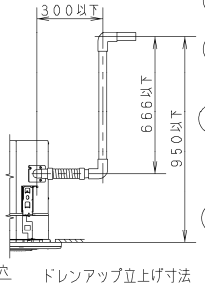


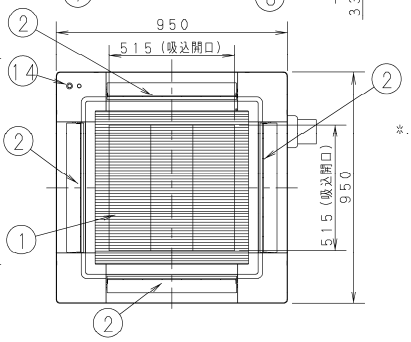




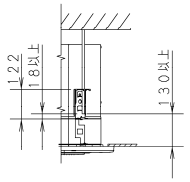








※．吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から130mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、フィルターチャンバーに当たり取り付けできません。

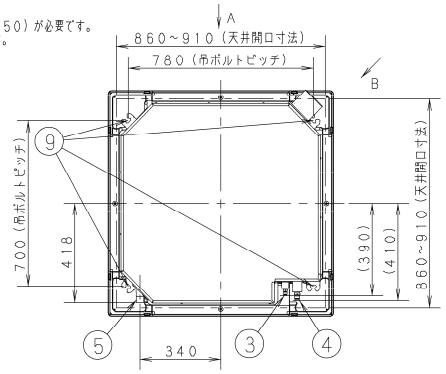


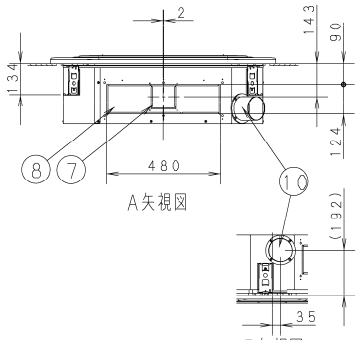
■外気取入丸合フランジ (φ 100) (CZ-AT100)

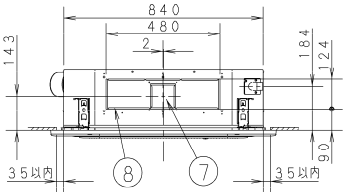
●S-G28・36・45・56・71・80UT1

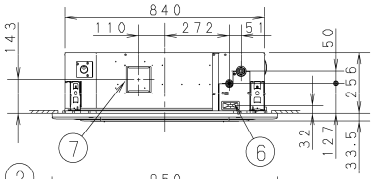
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りボルト穴（4－12x28長穴）
10	外気取入丸合フランジ（φ100）（別売品）CZ-DA100
11	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
12	エコナビセンサー

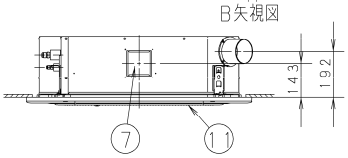
※1、別売品：
吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
しや風材が必須となります。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

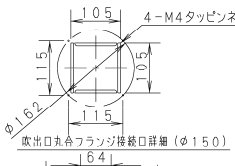


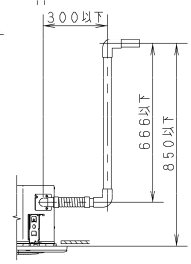


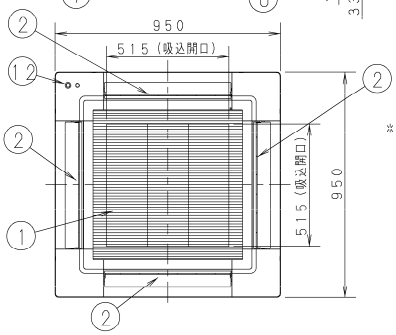


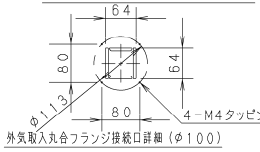




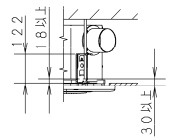








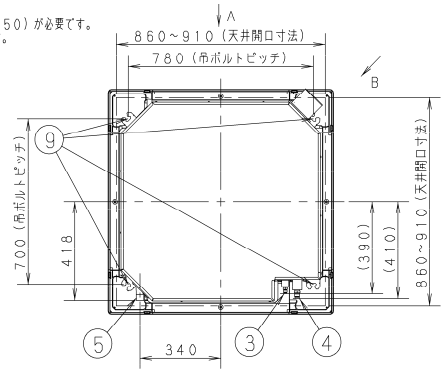
※　吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

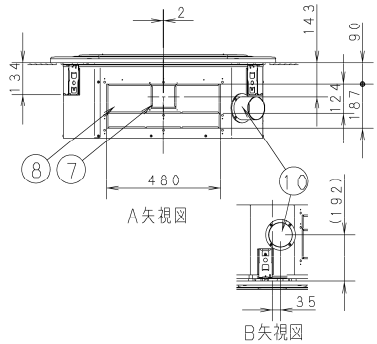


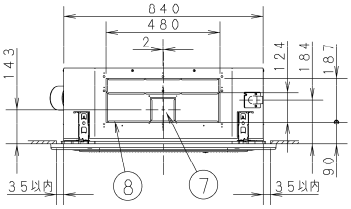
●S-G90・112・140・160UT1

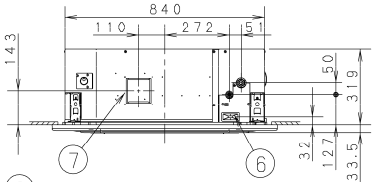
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管口VP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ接続口（φ150）　※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りボルト穴（4－12x28長穴）
10	外気取入丸合フランジ（φ100）（別売品）CZ-DA100
11	エコナビパネル（別売品）CZ-160KPEU5（-K）
12	エコナビセンサー

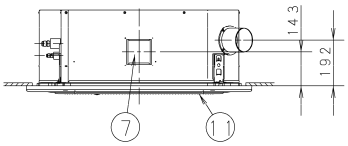
※1、別売品：
吹出口丸合フランジ（φ150）が必要です。
しや風材が必須となります。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

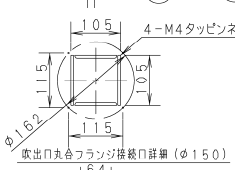


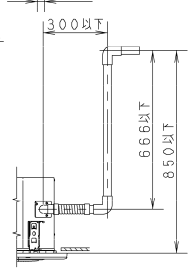


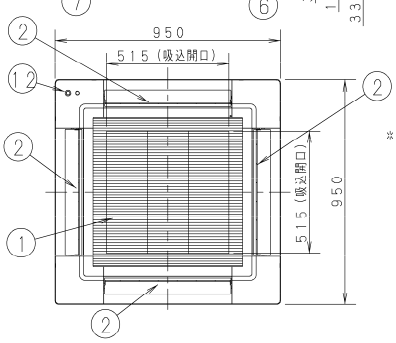


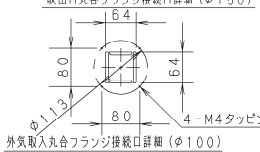




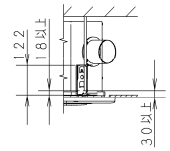








※　吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



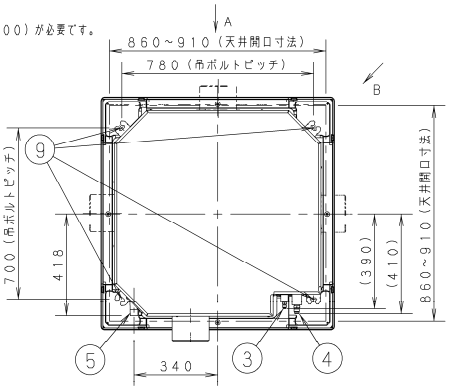
■吹出口丸合フランジ (φ 150) (CZ-AT150)

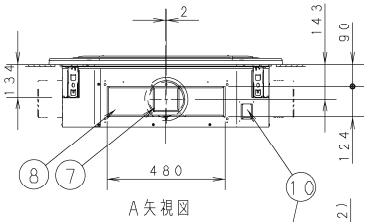
●S-G28・36・45・56・71・80UT1

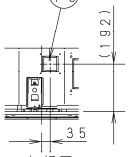
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管ロVP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ（φ150）（別売品） CZ-DA150　※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りボルト穴（4－12x28長穴）
10	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
11	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU5（-K）
12	エコナビセンサー

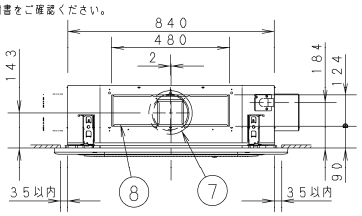
※1、しゃ風材が必須となります。
室内ユニットの据付場所の状況に応じて、右図のいずれかに接続してください。
吹出口開基パターンについては、しゃ風材の取付説明書をご確認ください。

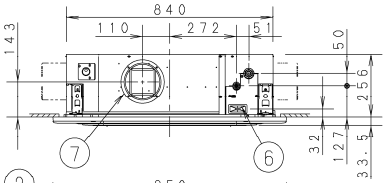
※2、別売品：
外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

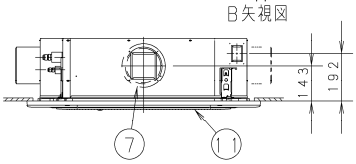


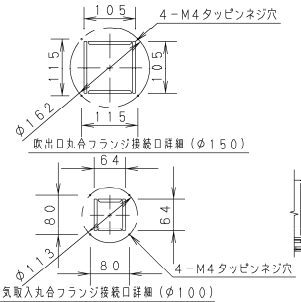


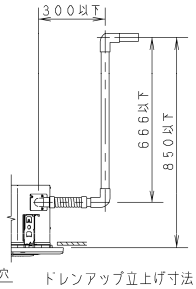


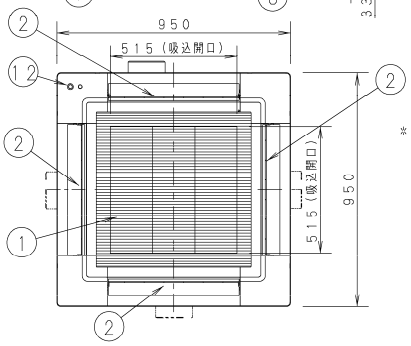




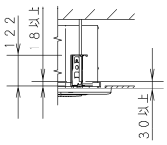








※．吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。

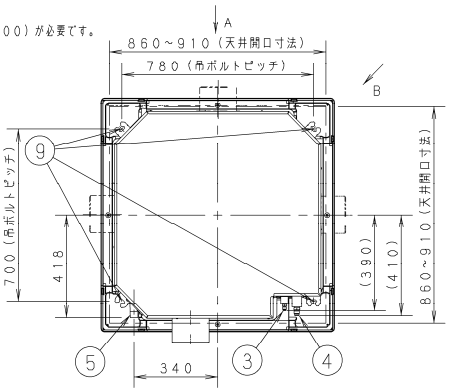


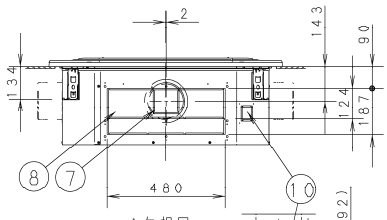
●S-G90・112・140・160UT1

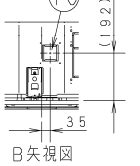
1	吸込口
2	吹出口
3	冷媒配管（液管）
4	冷媒配管（ガス管）
5	ドレン配管ロVP25（外径φ32）
6	配線取入口
7	吹出口丸合フランジ（φ150）（別売品） CZ-DA150　※1
8	気化式加湿器（別売品）取付部
9	吊りボルト穴（4－12x28長穴）
10	外気取入丸合フランジ接続口（φ100）　※2
11	エコナビパネル（別売品） CZ-160KPEU5（-K）
12	エコナビセンサー

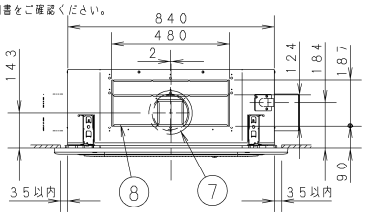
※1、しゃ風材が必須となります。
室内ユニットの据付場所の状況に応じて、右図のいずれかに接続してください。
吹出口開基パターンについては、しゃ風材の取付説明書をご確認ください。

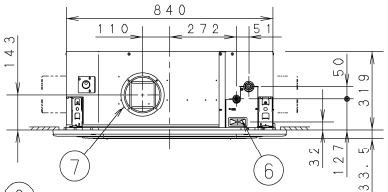
※2、別売品：
外気取入丸合フランジ（φ100）が必要です。
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

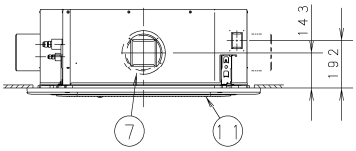


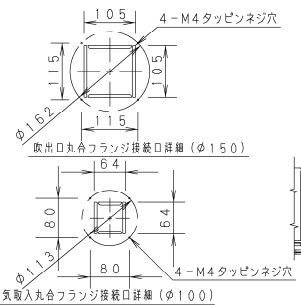


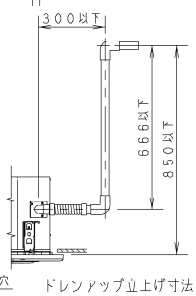


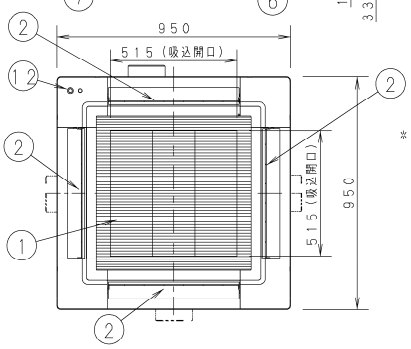




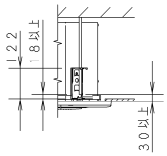








※．吊りボルトの長さは、右図のように天井下面から30mm以上（本体下面からは18mm以上）隙間があくようにしてください。吊りボルトの長さが長いと、天井パネルに当たり取り付けできません。



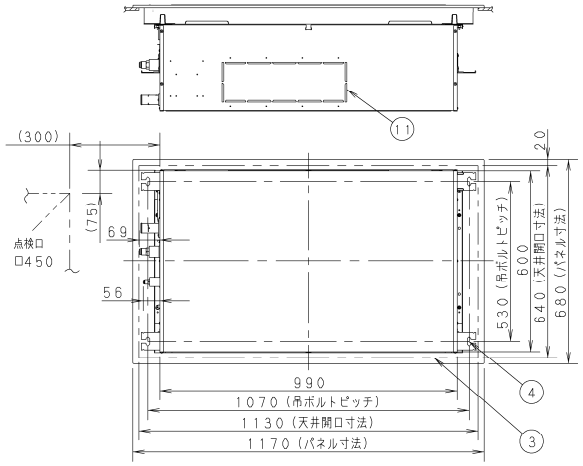
■エコナビパネル（CZ-80KPEL7）

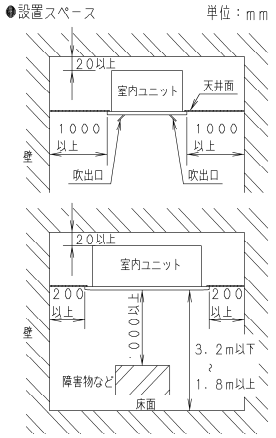
●S-G22 ～ 71LU1

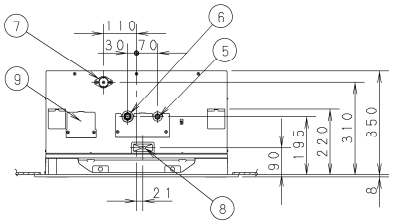
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑮	エコナビセンサー

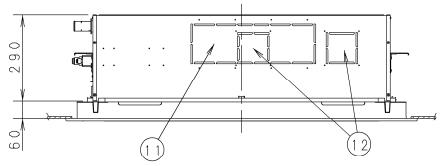
注記

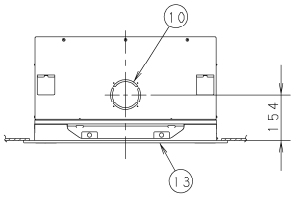
1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
ダクトの反対面のみ取付可能です。

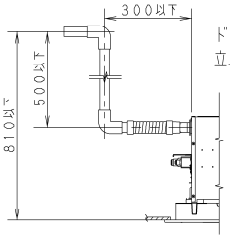


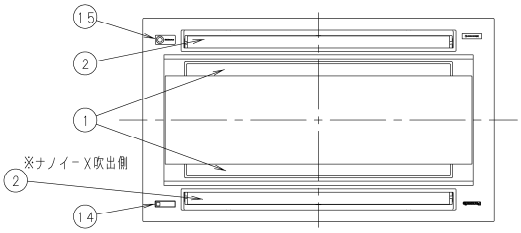












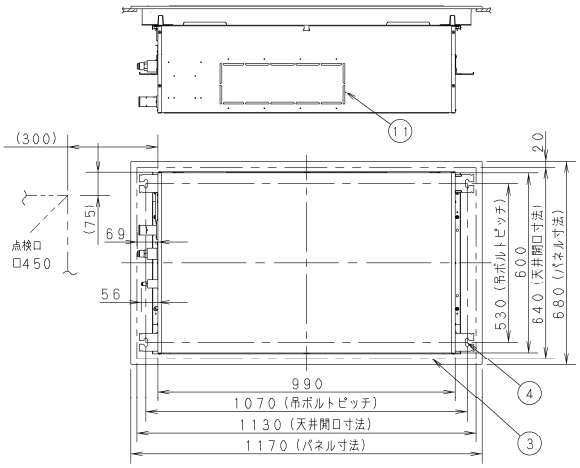
■エコナビパネル（CZ-80KPEL7）

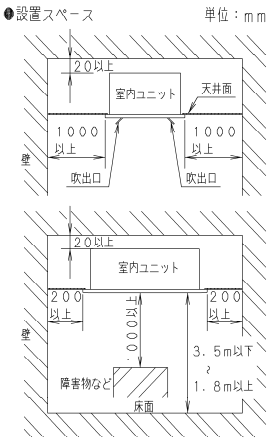
●S-G80・90LU1

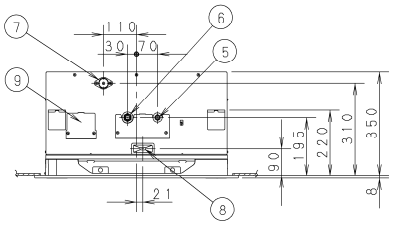
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑮	エコナビセンサー

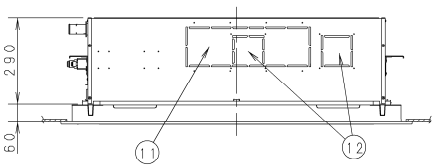
注記

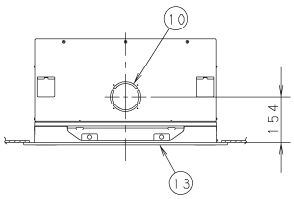
1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
ダクトの反対面のみ取付可能です。

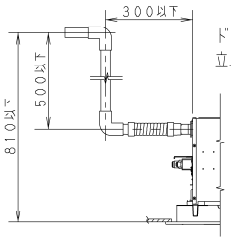


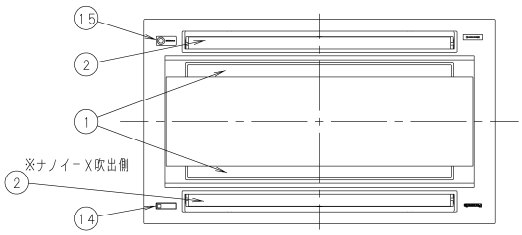












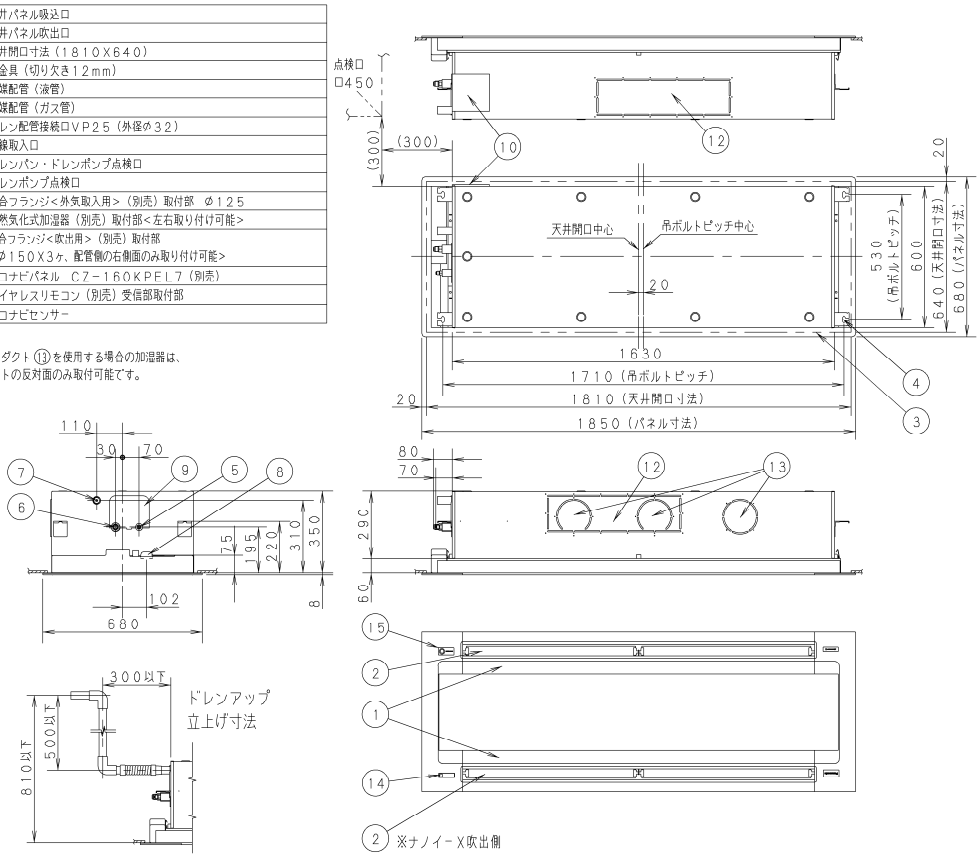
■エコナビパネル（CZ-160KPEL7）

●S-G112 ～ 160LU1

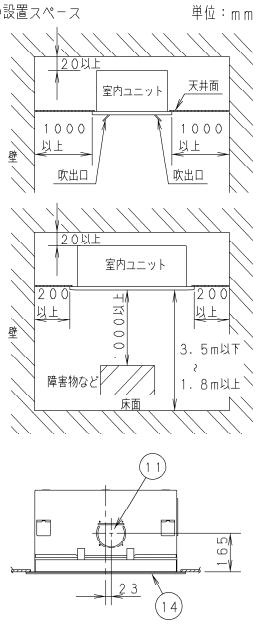
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（１８１０Ｘ６４０）
④	吊金具（切り欠き１２mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ＜外気取入用＞（別売）取付部　φ１２５
⑫	自然気化式加湿器（別売）取付部＜左右取り付け可能＞
⑬	丸合フランジ＜吹出用＞（別売）取付部 ＜φ１５０Ｘ３ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能＞
⑭	エコナビパネル　ＣＺ－１６０ＫＰＥＬ７（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑯	エコナビセンサー

注記

1．吹出ダクト⑬を使用する場合の加湿器は、
ダクトの反対面のみ取付可能です。



●設置スペース　　単位：mm



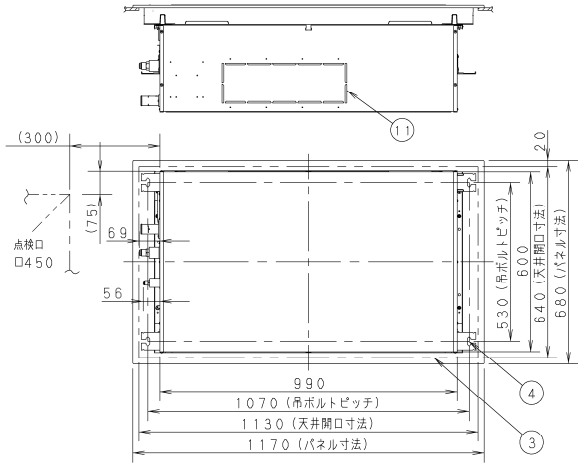
■標準パネル（CZ-80KPL7）

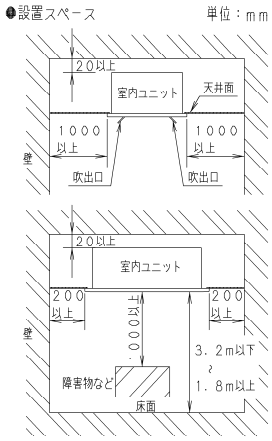
●S-G22 ～ 71LU1

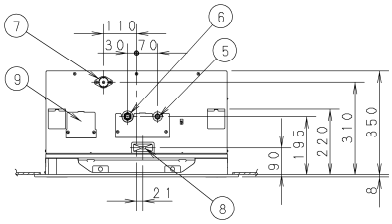
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

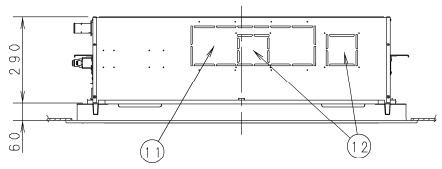
注記

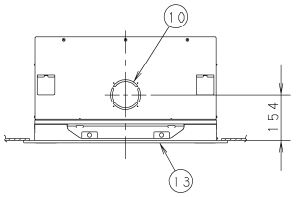
1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
　ダクトの反対面のみ取付可能です。

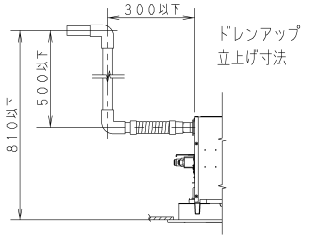


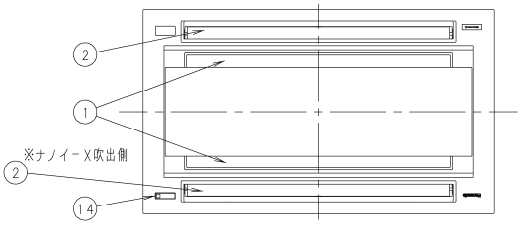












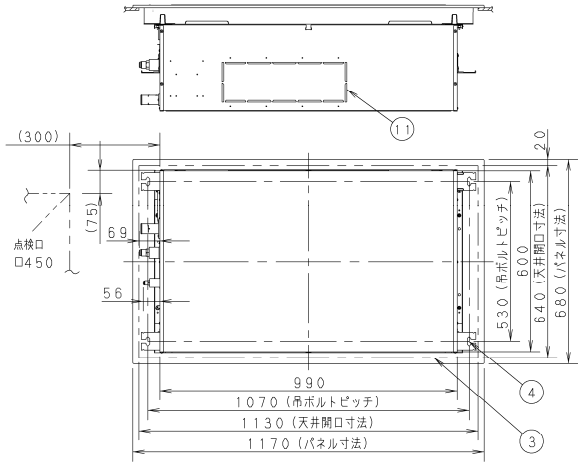
■標準パネル（CZ-80KPL7）

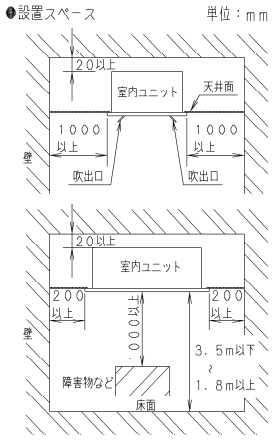
●S-G80・90LU1

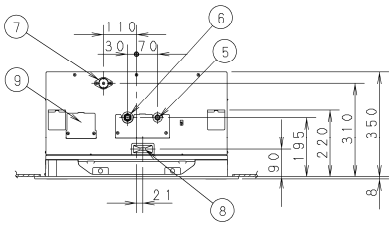
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

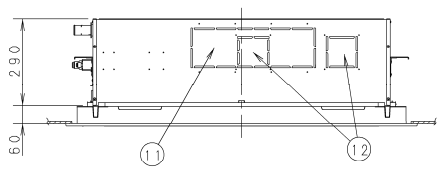
注記

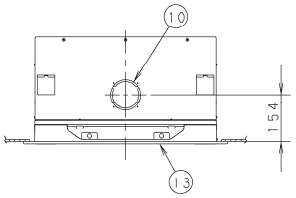
1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
　ダクトの反対面のみ取付可能です。

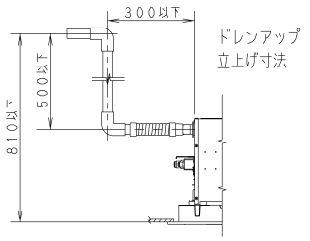


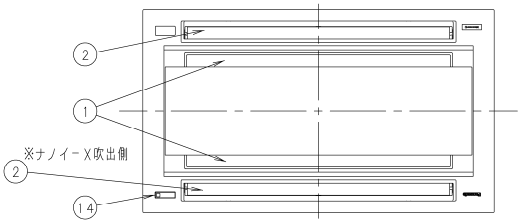












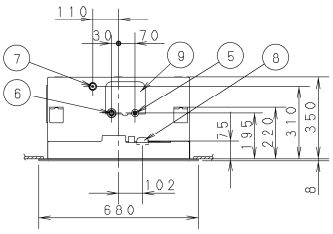
■標準パネル（CZ-160KPL7）

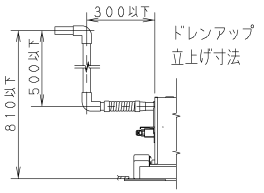
●S-G112 ～ 160LU1

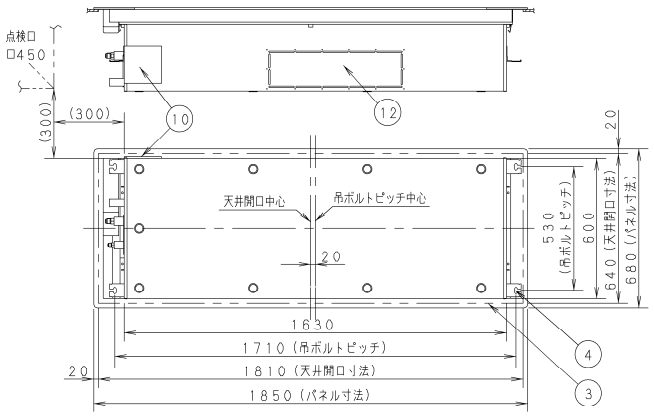
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（１８１０Ｘ６４０）
④	吊金具（切り欠き１２ｍｍ）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口ＶＰ２５（外径φ３２）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ＜外気取入用＞（別売）取付部　φ１２５
⑫	自然気化式加湿器（別売）取付部＜左右取り付け可能＞
⑬	丸合フランジ＜吹出用＞（別売）取付部 ＜φ１５０Ｘ３ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能＞
⑭	標準パネル　ＣＺ－１６０ＫＰＬ７（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

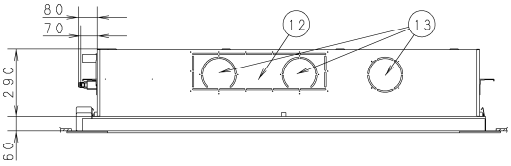
注記

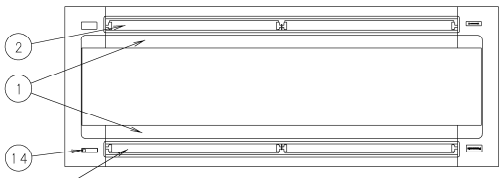
1．吹出ダクト⑬を使用する場合の加湿器は、
ダクトの反対面のみ取付可能です。



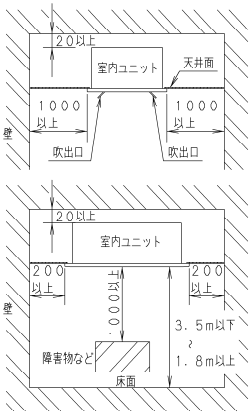


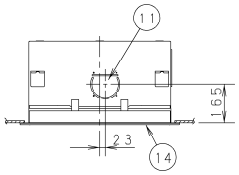






●設置スペース　　単位：mm





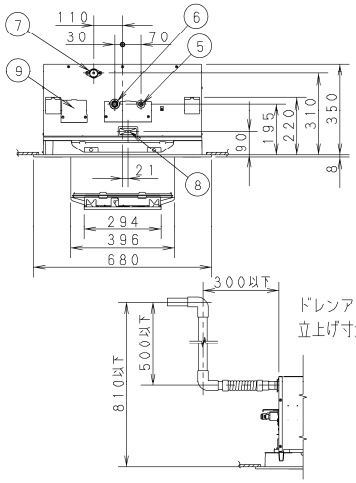
■昇降グリル付エコナビパネル（CZ-80KSEL6）

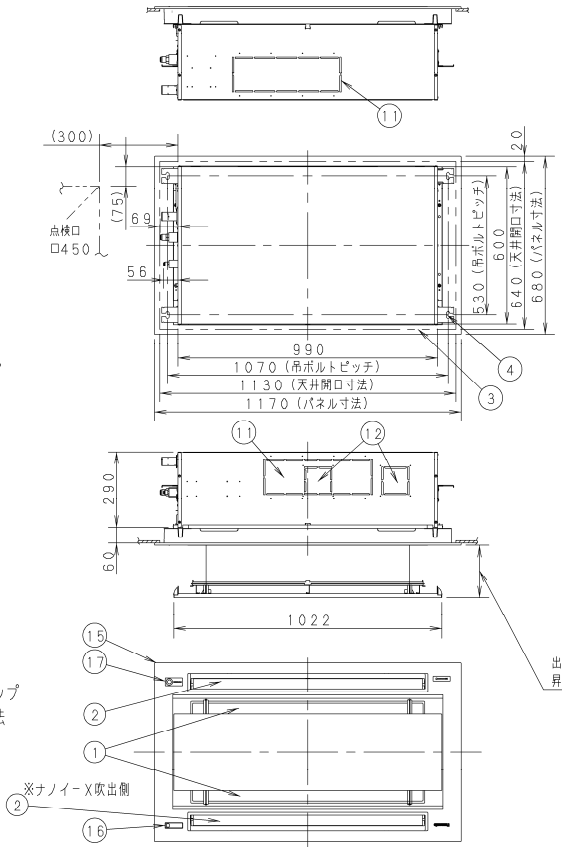
●S-G22 ～ 71LU1

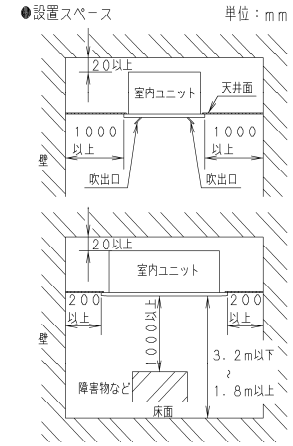
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	吸込パネル
⑭	昇降用エアフィルター
⑮	昇降グリル付エコナビパネル　CZ-80KSEL6（別売）
⑯	昇降操作専用リモコン（受信部）
⑰	エコナビセンサー

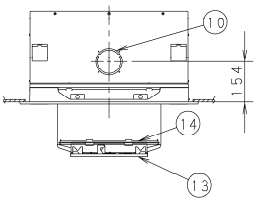
注記

1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、ダクトの反対面のみ取付可能です。









出荷時設定の昇降グリル降下距離は2mです。
昇降基板のSW設定で1．5mと2．5mに距離設定できます。

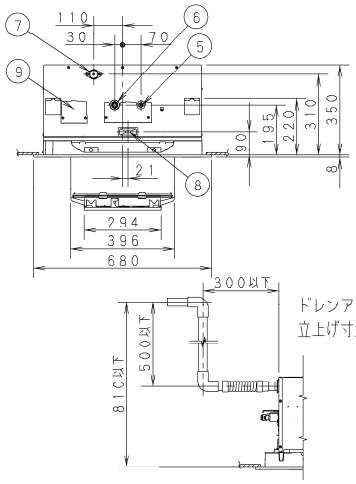
■昇降グリル付エコナビパネル（CZ-80KSEL6）

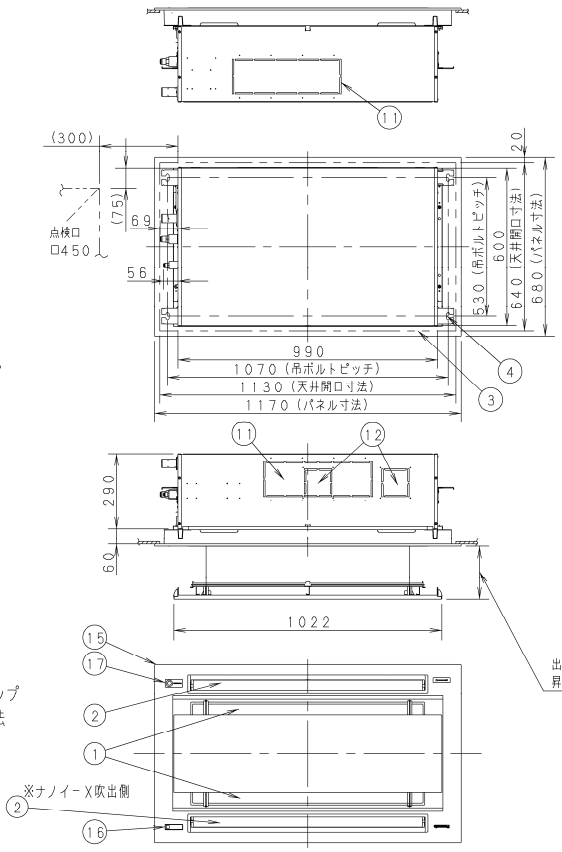
●S-G80・90LU1

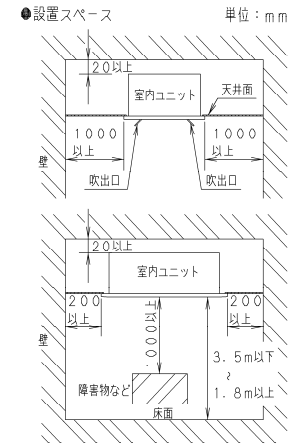
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	吸込パネル
⑭	昇降用エアフィルター
⑮	昇降グリル付エコナビパネル　CZ-80KSEL6（別売）
⑯	昇降操作専用リモコン（受信部）
⑰	エコナビセンサー

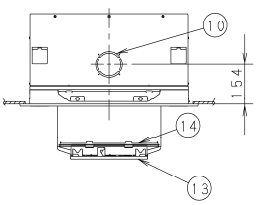
注記

1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、ダクトの反対面のみ取付可能です。









出荷時設定の昇降グリル降下距離は2mです。
昇降基板のSW設定で1．5mと2．5mに距離設定できます。

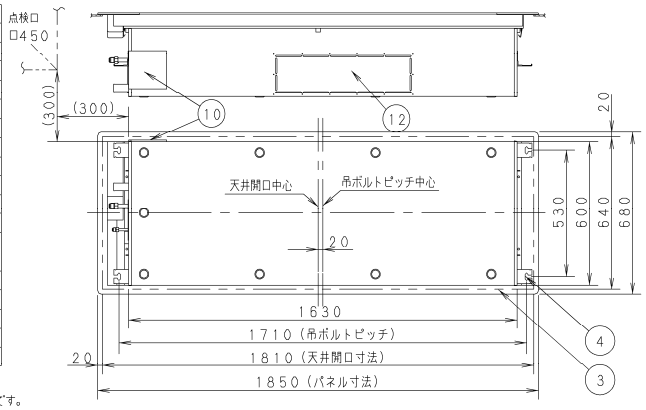
■昇降グリル付エコナビパネル（CZ-160KSEL6）

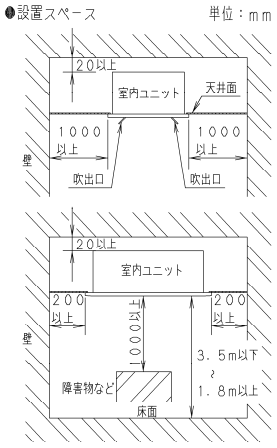
●S-G112 ～ 160LU1

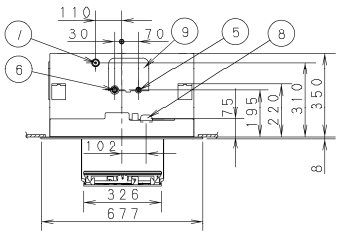
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）・・・・φ9．52フレア
⑥	冷媒配管（ガス管）・・・φ15．88フレア
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ125
⑫	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑬	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<φ150X3ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑭	吸込パネル
⑮	昇降用エアフィルター
⑯	昇降グリル付エコナビパネル　C7-160KSF16（別売）
⑰	昇降操作専用リモコン（受信部）
⑱	エコナビセンサー

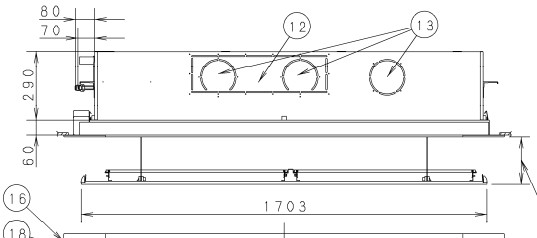
注記

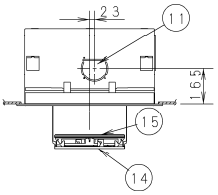
1．吹出ダクト⑬を使用する場合の加湿器は、ダクトの反対面のみ取付可能です。



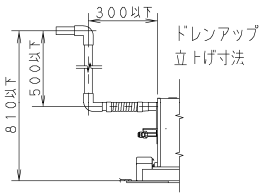


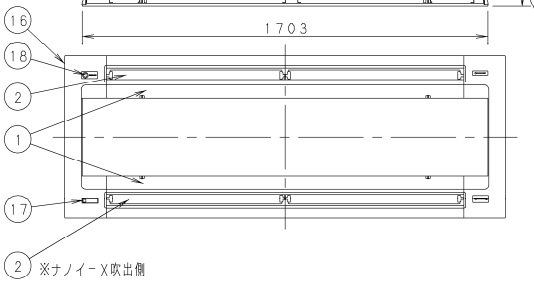






出荷時設定の昇降グリル降下距離は2mです。
昇降基板のSW設定で1．5mと2．5mに距離設定できます。





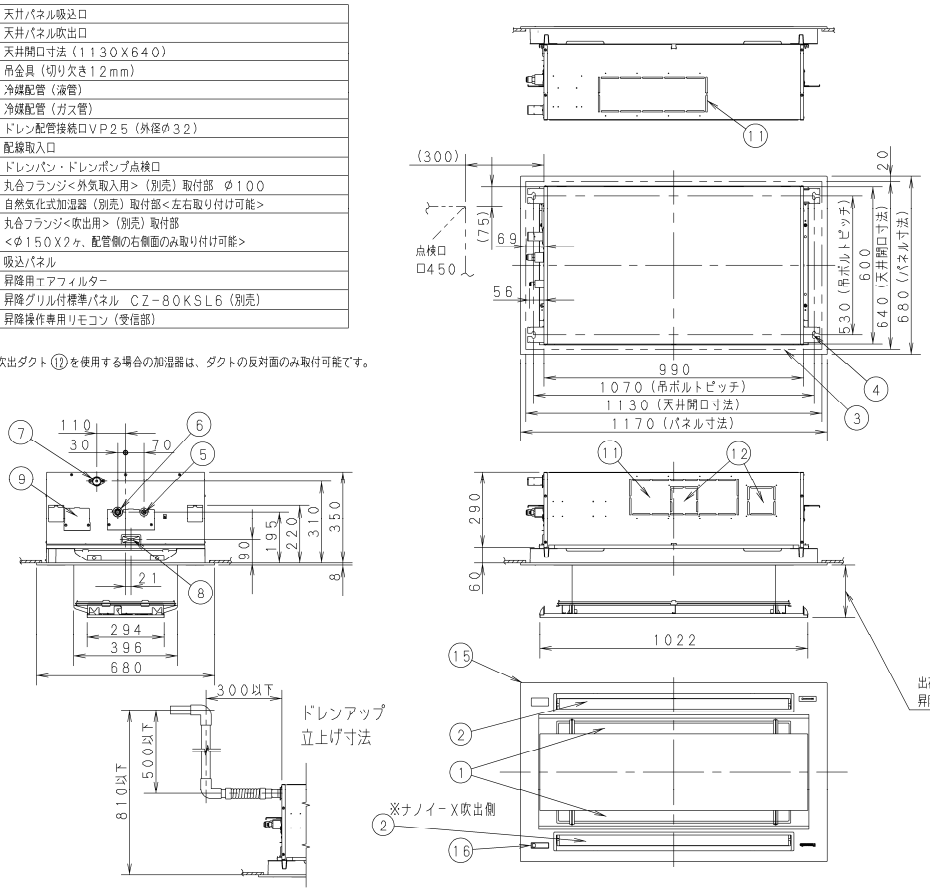
■昇降グリル付標準パネル（CZ-80KSL6）

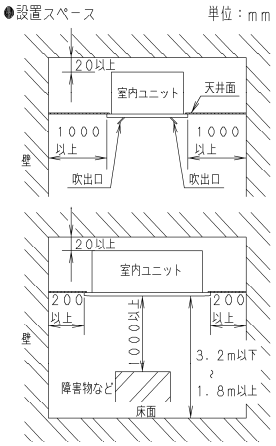
●S-G22 ～ 71LU1

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	吸込パネル
⑭	昇降用エアフィルター
⑮	昇降グリル付標準パネル　CZ-80KSL6（別売）
⑯	昇降操作専用リモコン（受信部）

注記

1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、ダクトの反対面のみ取付可能です。





出荷時設定の昇降グリル降下距離は2mです。
昇降基板のSW設定で1．5mと2．5mに距離設定できます。

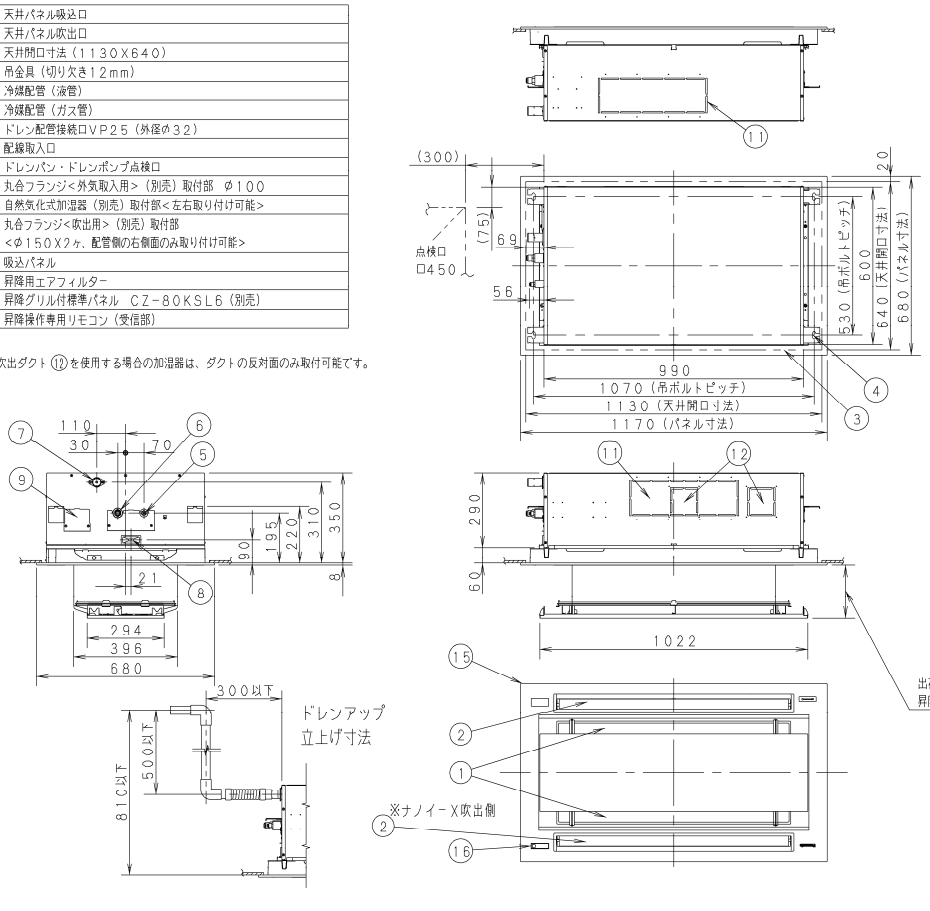
■昇降グリル付標準パネル（CZ-80KSL6）

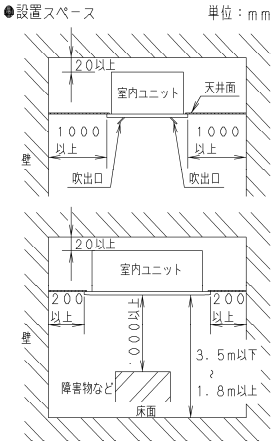
●S-G80・90LU1

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	吸込パネル
⑭	昇降用エアフィルター
⑮	昇降グリル付標準パネル　CZ-80KSL6（別売）
⑯	昇降操作専用リモコン（受信部）

注記

1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、ダクトの反対面のみ取付可能です。





出荷時設定の昇降グリル降下距離は2mです。
昇降基板のSW設定で1．5mと2．5mに距離設定できます。

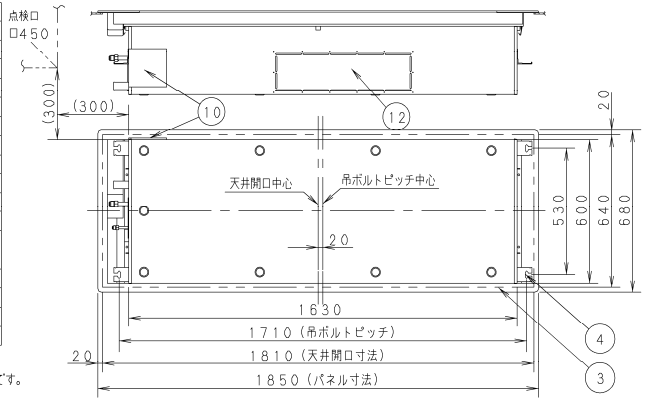
■昇降グリル付標準パネル（CZ-160KSL6）

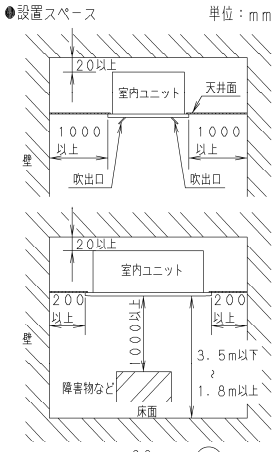
●S-G112 ～ 160LU1

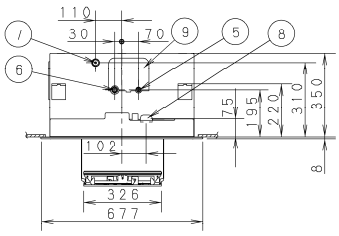
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）・・・・φ9．52フレア
⑥	冷媒配管（ガス管）・・・φ15．88フレア
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ125
⑫	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑬	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X3ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑭	吸込パネル
⑮	昇降用エアフィルター
⑯	昇降グリル付標準パネル　C7－160KSL6（別売）
⑰	昇降操作専用リモコン（受信部）

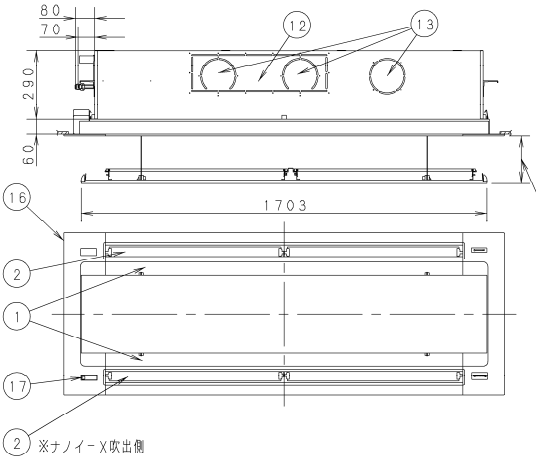
注記

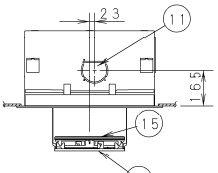
1．吹出ダクト⑪を使用する場合の加湿器は、ダクトの反対面のみ取付可能です。



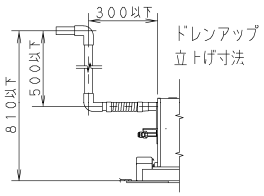








出荷時設定の昇降グリル降下距離は2mです。
昇降基板のSW設定で1．5mと2．5mに距離設定できます。



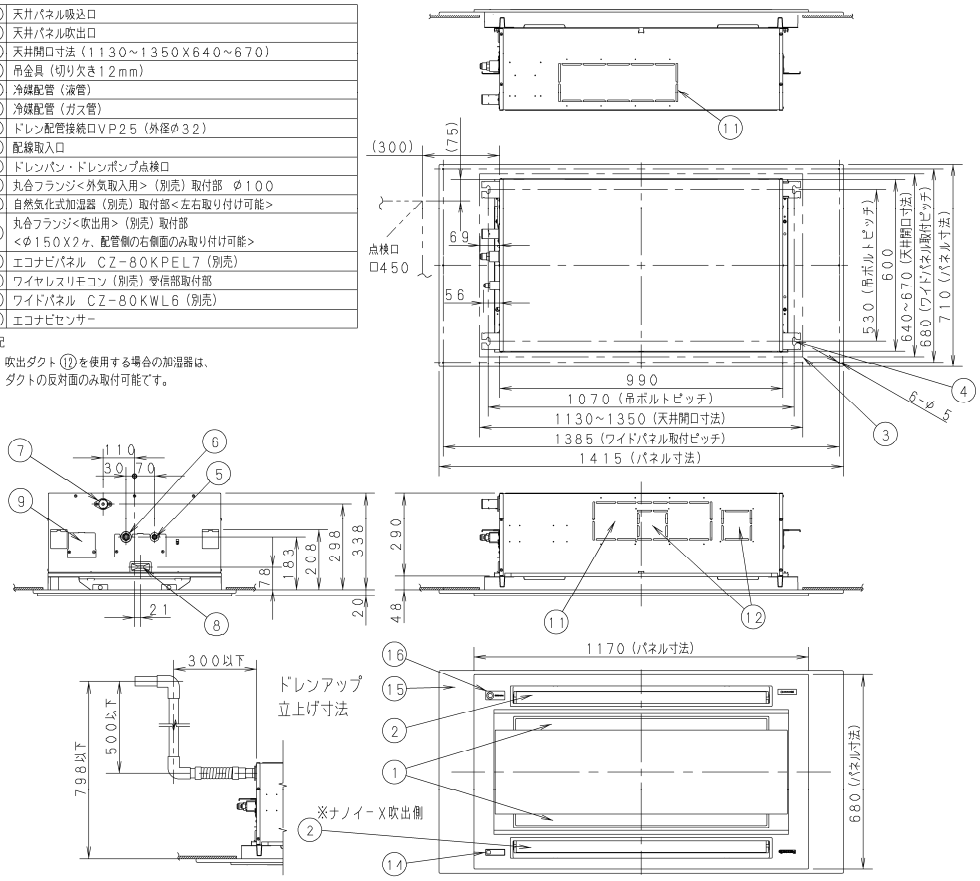
■ワイドパネル（CZ-80KWL6）

●S-G22 ～ 71LU1（エコナビパネル）

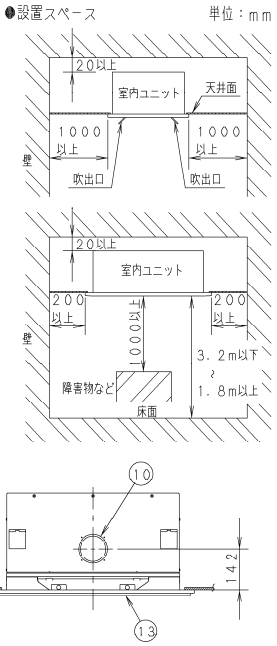
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130～1350X640～670）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑮	ワイドパネル　CZ-80KWL6（別売）
⑯	エコナビセンサー

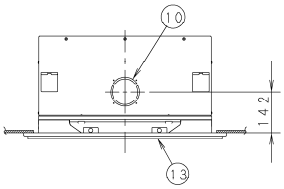
注記

1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
ダクトの反対面のみ取付可能です。



●設置スペース　　単位：mm





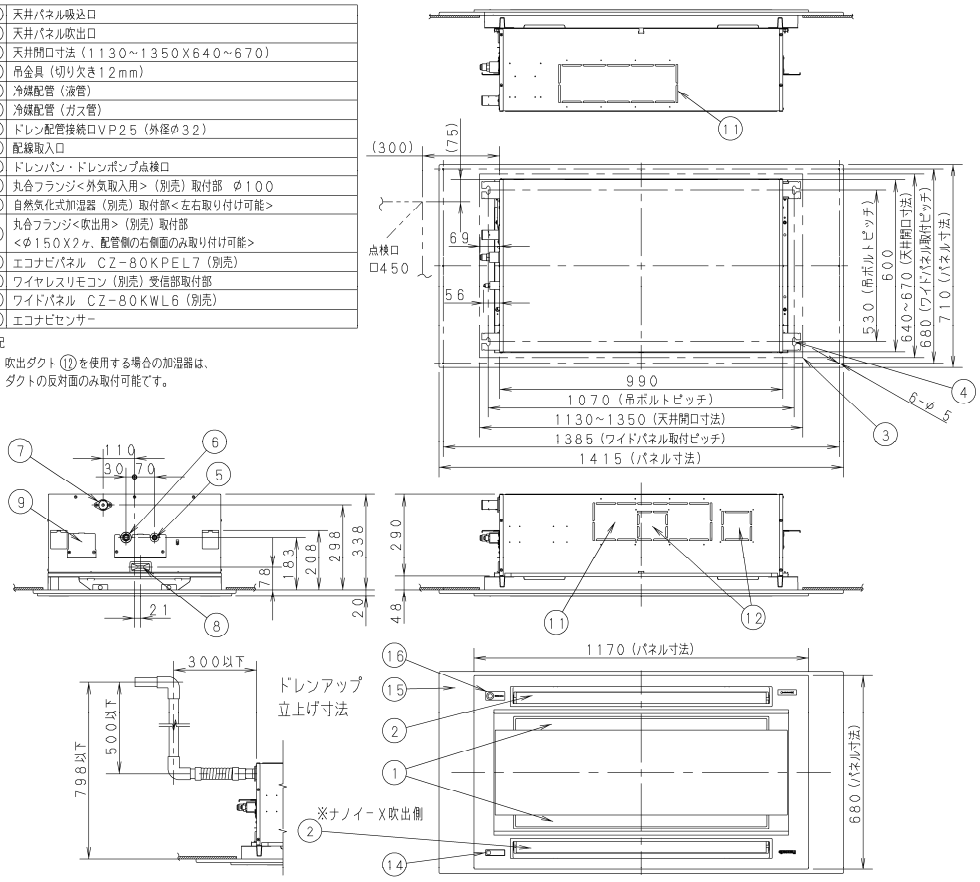
■ワイドパネル（CZ-80KWL6）

●S-G80・90LU1（エコナビパネル）

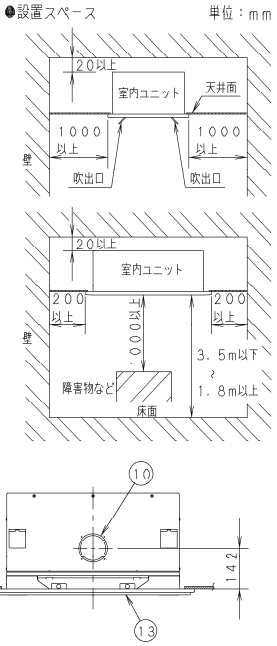
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130～1350X640～670）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑮	ワイドパネル　CZ-80KWL6（別売）
⑯	エコナビセンサー

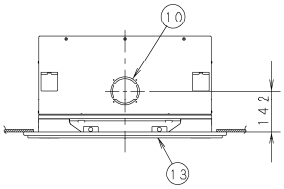
注記

1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
ダクトの反対面のみ取付可能です。



●設置スペース　　単位：mm





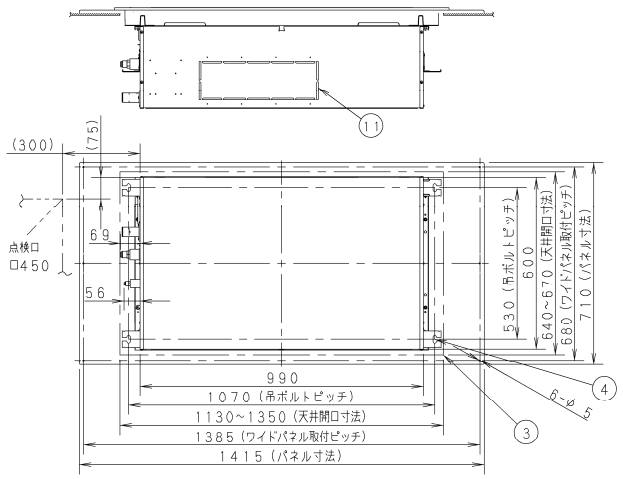
■ワイドパネル（CZ-80KWL6）

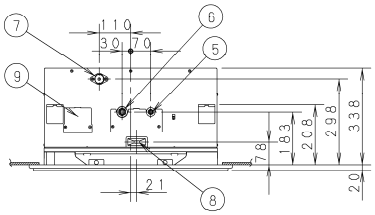
●S-G22 ～ 71LU1（標準パネル）

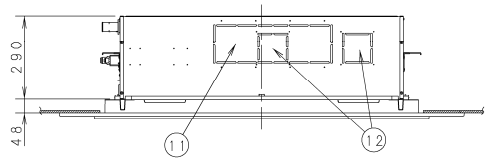
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130～1350X640～670）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑮	ワイドパネル　CZ-80KWL6（別売）

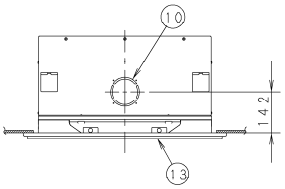
注記

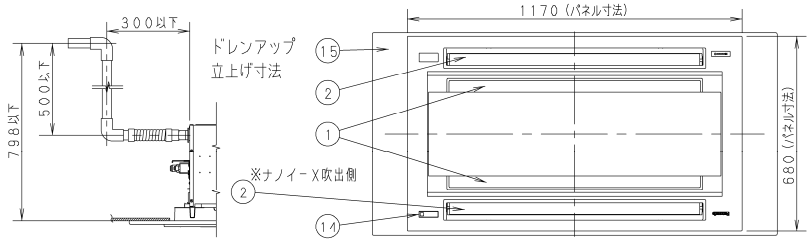
1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
ダクトの反対面のみ取付可能です。



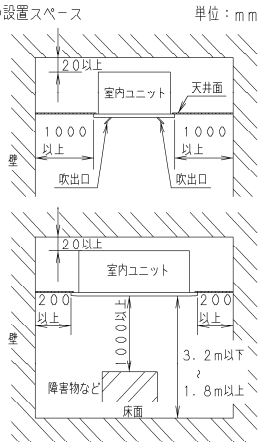








●設置スペース　単位：mm



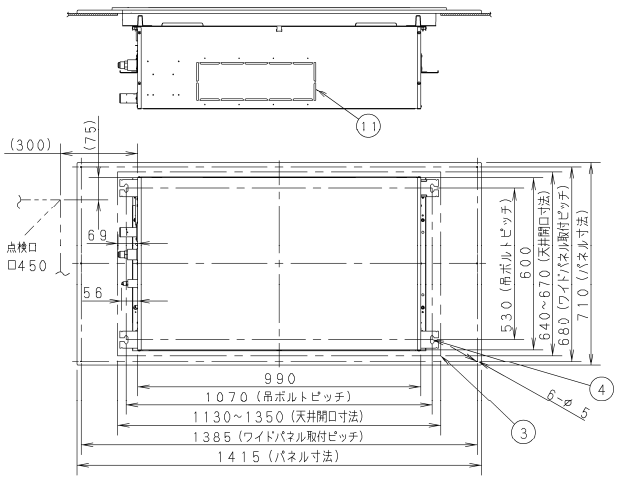
■ワイドパネル（CZ-80KWL6）

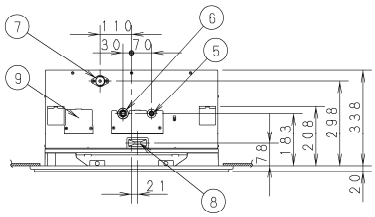
●S-G80・90LU1（標準パネル）

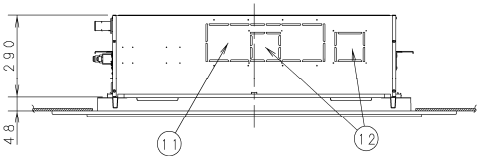
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130～1350X640～670）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑮	ワイドパネル　CZ-80KWL6（別売）

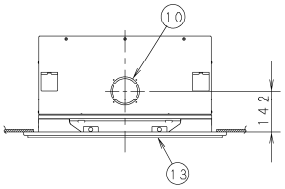
注記

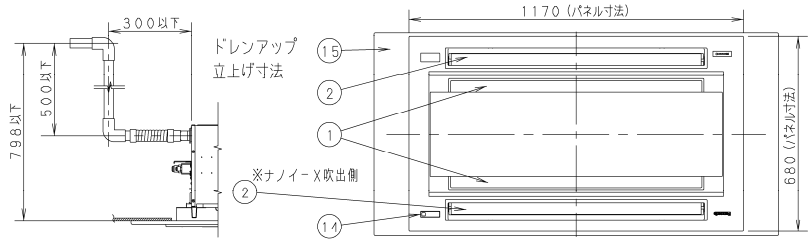
1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
ダクトの反対面のみ取付可能です。



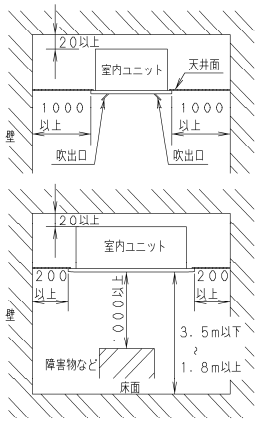








●設置スペース　単位：mm

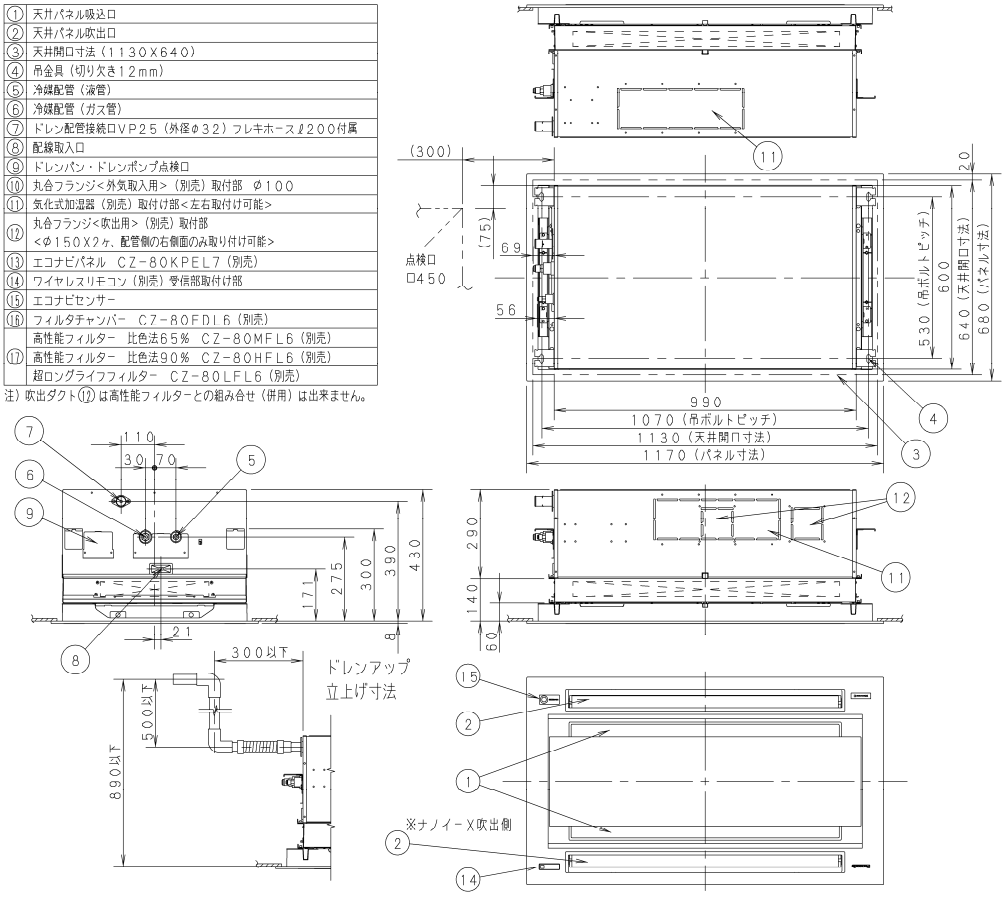


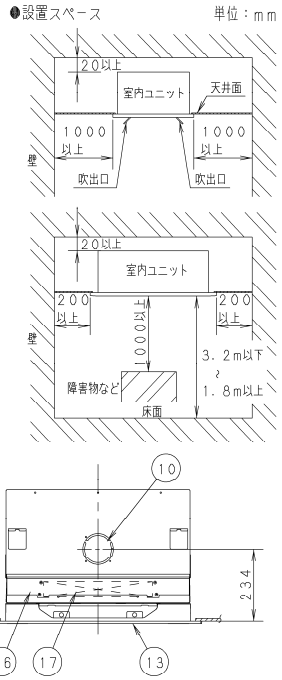
■フィルターチャンバー（CZ-80KWL6）・各フィルター（CZ-80M・H・LFL6）

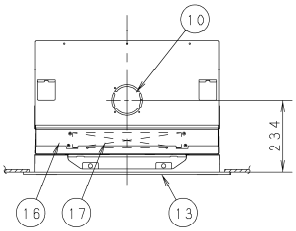
●S-G22 ～ 71LU1（エコナビパネル）

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）フレキホースℓ200付属
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部 φ100
⑪	気化式加湿器（別売）取付け部<左右取付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	エコナビパネル CZ-80KPEL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付け部
⑮	エコナビセンサー
⑯	フィルタチャンバー CZ-80FDL6（別売）
⑰	高性能フィルター 比色法65% CZ-80MFL6（別売） 高性能フィルター 比色法90% CZ-80HFL6（別売） 超ロングライフフィルター CZ-80LFL6（別売）

注）吹出ダクト⑫は高性能フィルターとの組み合せ（併用）は出来ません。





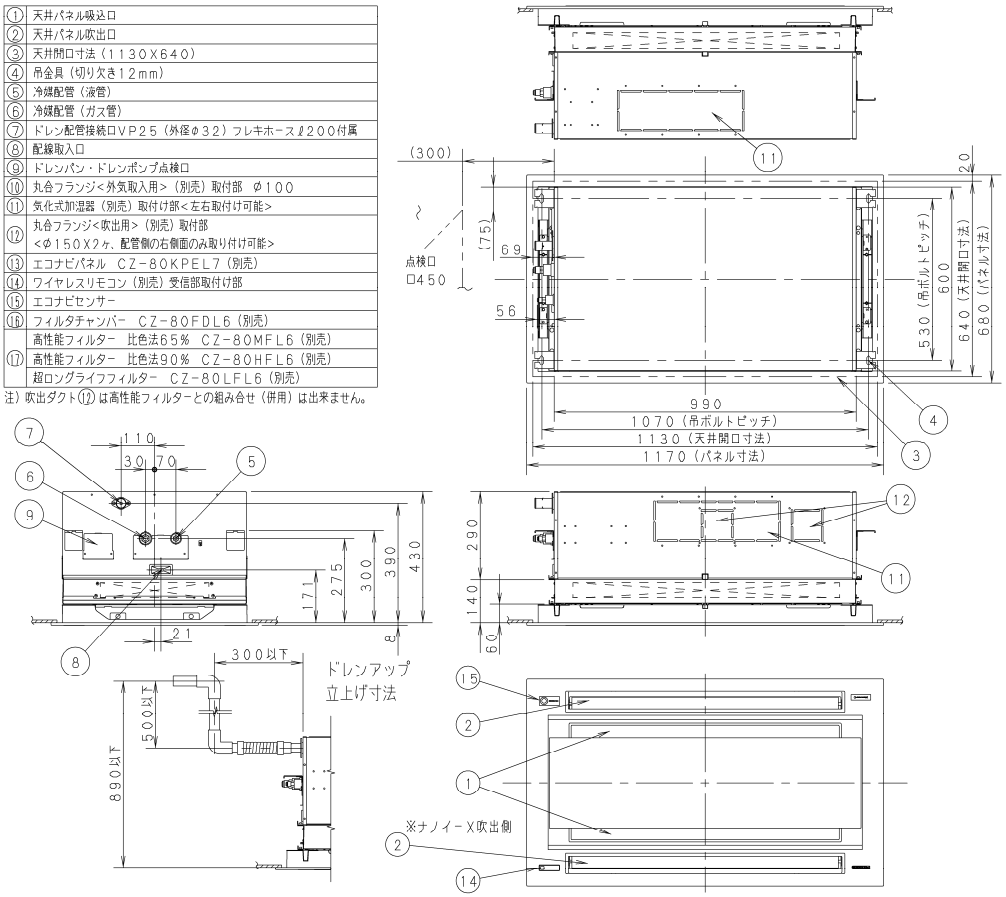


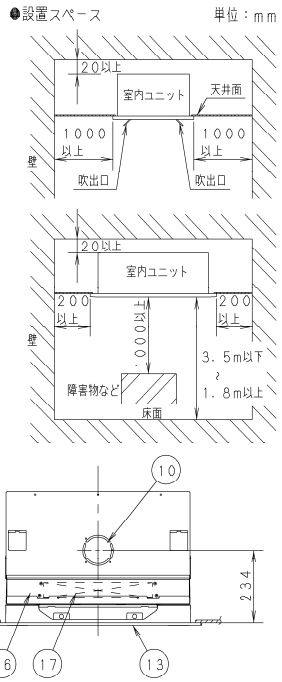
■フィルターチャンバー（CZ-80KWL6）・各フィルター（CZ-80M・H・LFL6）

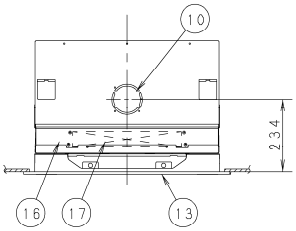
●S-G80・90LU1（エコナビパネル）

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）フレキホースℓ200付属
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部 φ100
⑪	気化式加湿器（別売）取付け部<左右取付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	エコナビパネル CZ-80KPEL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付け部
⑮	エコナビセンサー
⑯	フィルタチャンバー CZ-80FDL6（別売）
⑰	高性能フィルター 比色法65% CZ-80MFL6（別売） 高性能フィルター 比色法90% CZ-80HFL6（別売） 超ロングライフフィルター CZ-80LFL6（別売）

注）吹出ダクト⑫は高性能フィルターとの組み合せ（併用）は出来ません。





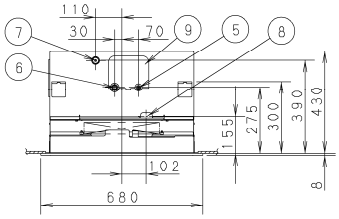


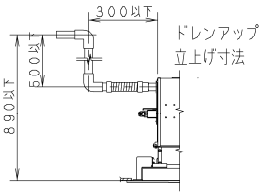
■フィルターチャンバー（CZ-160KWL6）・各フィルター（CZ-160M・H・LFL6）

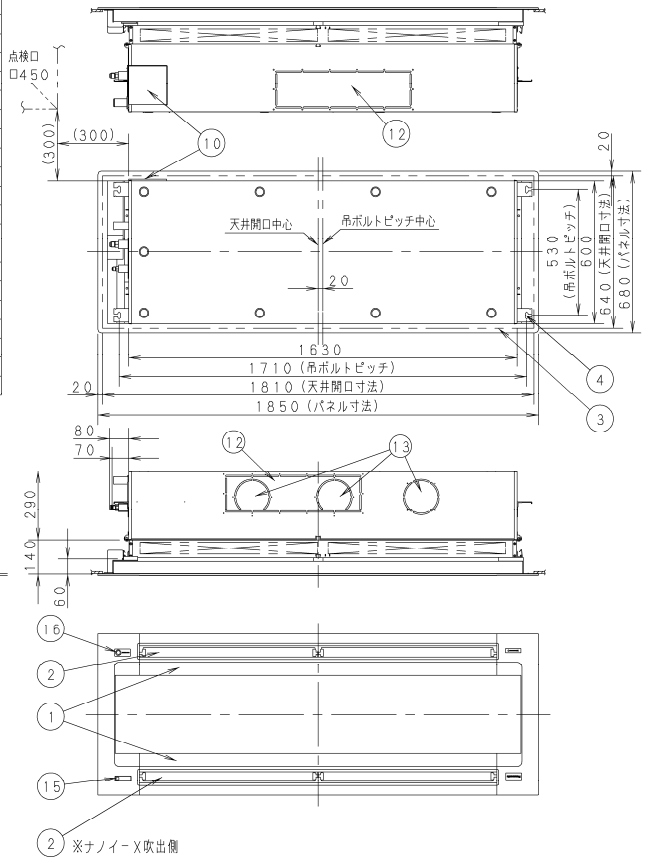
●S-G112 ～ 160LU1（エコナビパネル）

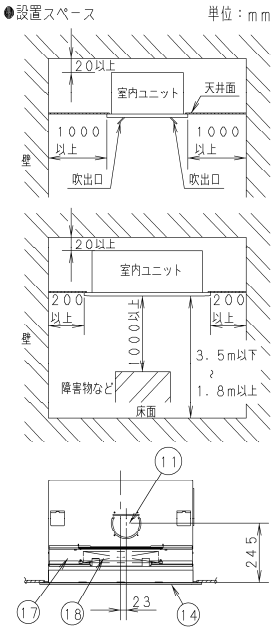
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）フレキホースℓ200付属
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部 φ125
⑫	気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑬	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X3ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑭	エコナビパネル CZ-160KPFL7（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑯	エコナビセンサー
⑰	フィルタチャンバー CZ-160FDL6（別売）
⑱	高性能フィルター 比色法65% CZ-160MFL6（別売） 高性能フィルター 比色法90% CZ-160HFL6（別売） 超ロングライフフィルター CZ-160LFL6（別売）

注）吹出ダクト⑬は高性能フィルターとの組み合せ（併用）は出来ません。







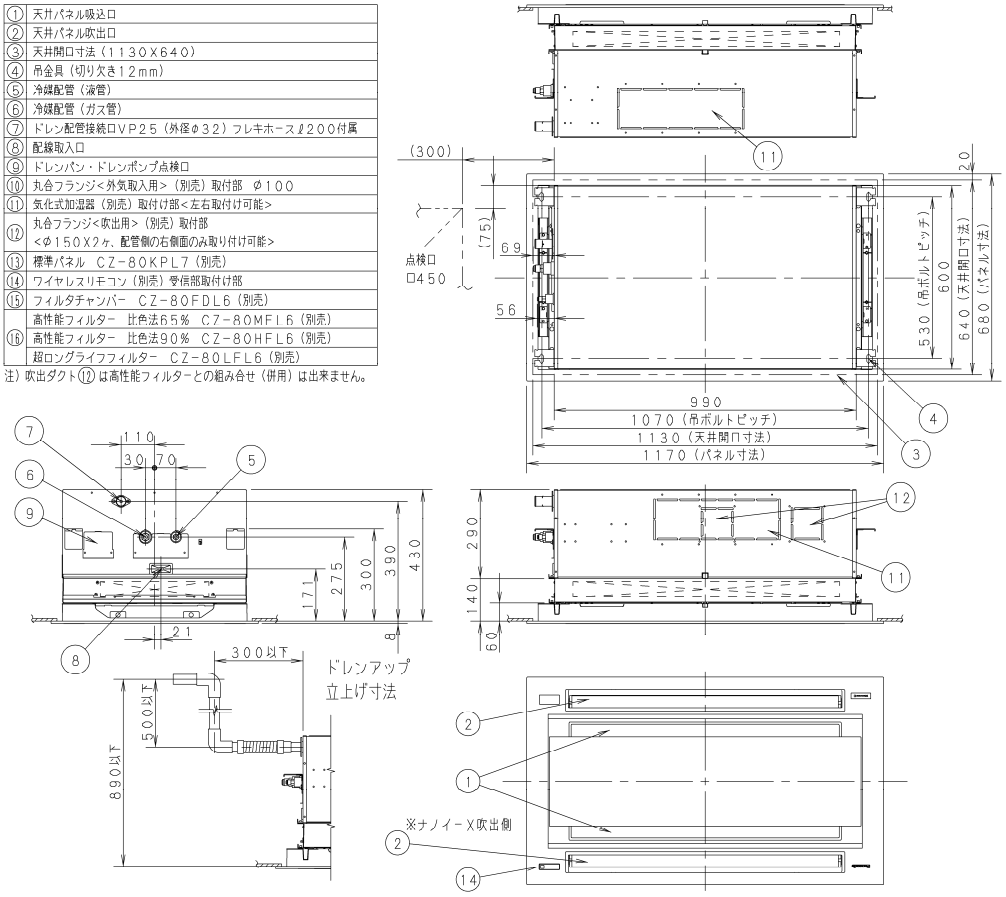


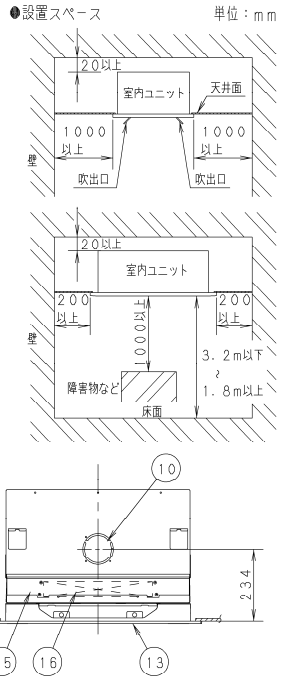
■フィルターチャンバー（CZ-80KWL6）・各フィルター（CZ-80M・H・LFL6）

●S-G22 ～ 71LU1（標準パネル）

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）フレキホースℓ200付属
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部 φ100
⑪	気化式加湿器（別売）取付け部<左右取付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	標準パネル CZ-80KPL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付け部
⑮	フィルタチャンバー CZ-80FDL6（別売）
⑯	高性能フィルター 比色法65% CZ-80MFL6（別売） 高性能フィルター 比色法90% CZ-80HFL6（別売） 超ロングライフフィルター CZ-80LFL6（別売）

注）吹出ダクト⑫は高性能フィルターとの組み合せ（併用）は出来ません。



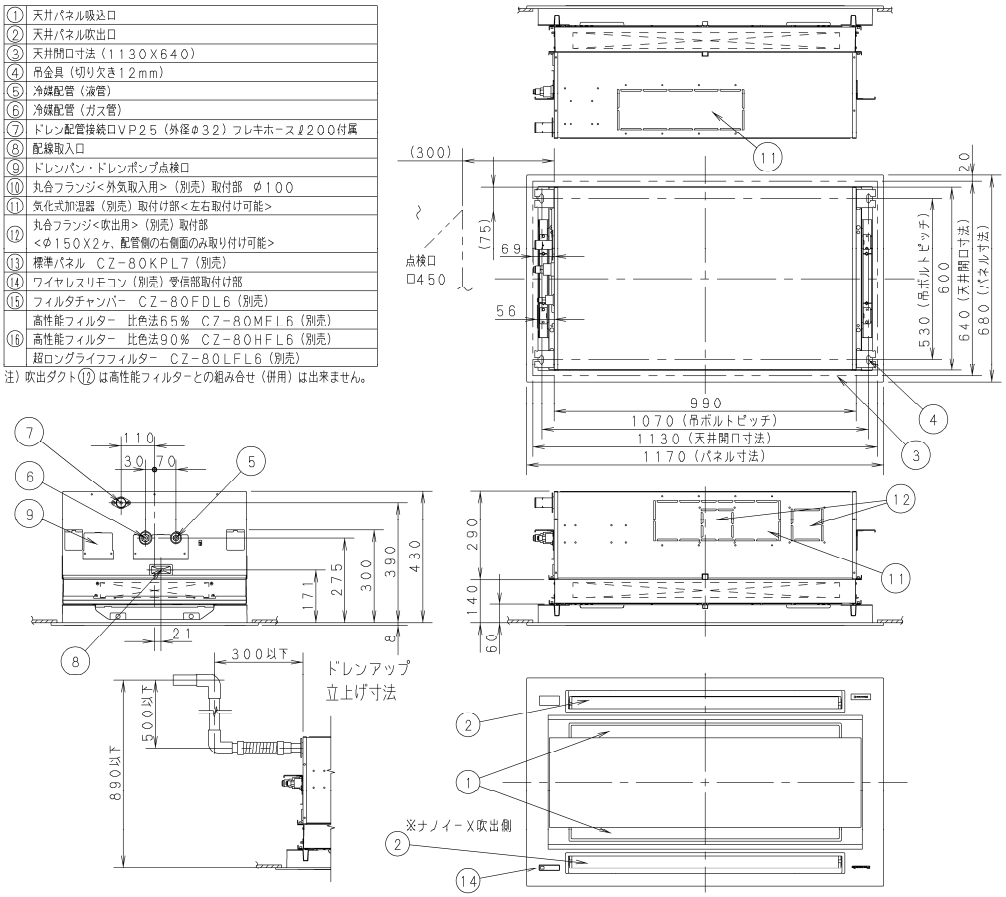


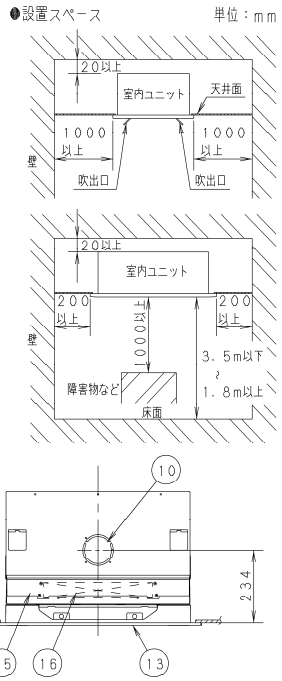
■フィルターチャンバー（CZ-80KWL6）・各フィルター（CZ-80M・H・LFL6）

●S-G80・90LU1（標準パネル）

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）フレキホースℓ200付属
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部 φ100
⑪	気化式加湿器（別売）取付け部<左右取付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	標準パネル CZ-80KPL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付け部
⑮	フィルタチャンバー CZ-80FDL6（別売）
⑯	高性能フィルター 比色法65% CZ-80MFL6（別売） 高性能フィルター 比色法90% CZ-80HFL6（別売） 超ロングライフフィルター CZ-80LFL6（別売）

注）吹出ダクト⑫は高性能フィルターとの組み合せ（併用）は出来ません。



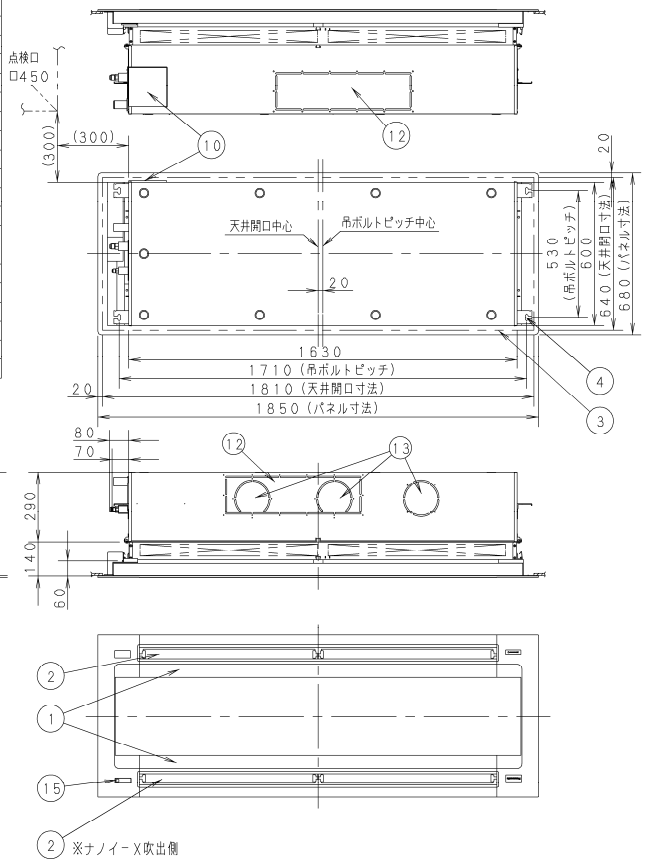


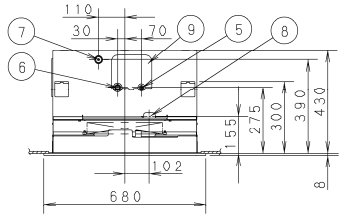
■フィルターチャンバー（CZ-160KWL6）・各フィルター（CZ-160M・H・LFL6）

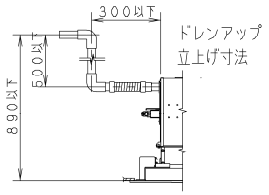
●S-G112 ～ 160LU1（標準パネル）

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）フレキホースℓ200付属
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ125
⑫	気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑬	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X3ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑭	標準パネル　C7-160KPL7（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑯	フィルタチャンバー　C7-160FDL6（別売）
⑰	高性能フィルター　比色法65%　CZ-160MFL6（別売）
	高性能フィルター　比色法90%　CZ-160HFL6（別売）
	超ロングライフフィルター　CZ-160LFL6（別売）

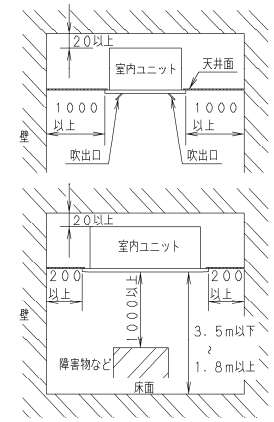
注）吹出ダクト⑬は高性能フィルターとの組み合せ（併用）は出来ません。

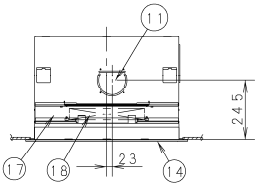






●設置スペース　　単位：mm

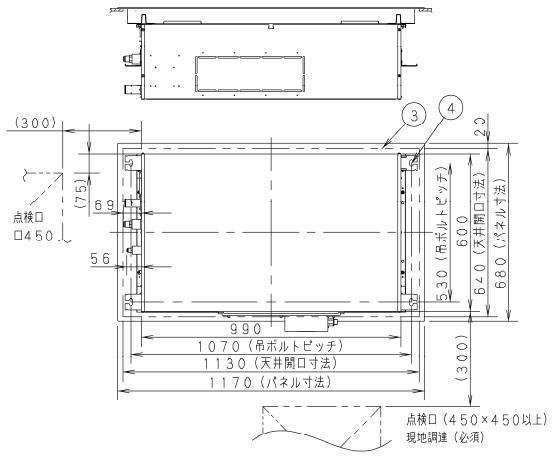


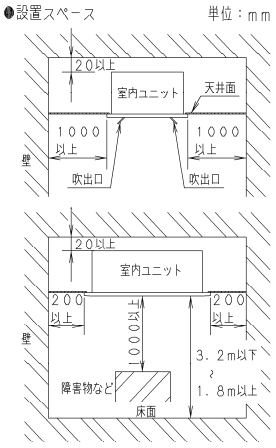


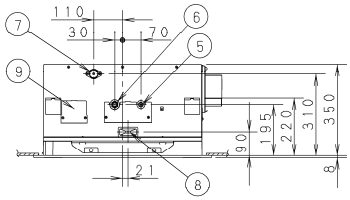
■自然気化式加湿器（エコナビパネル）

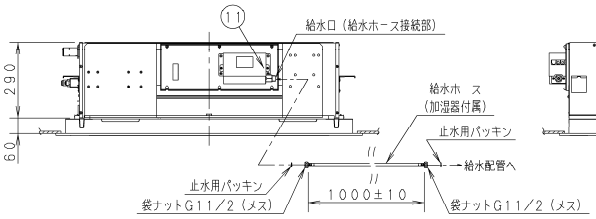
●CZ-07ASL6（1）S-G22 ～ 71LU1

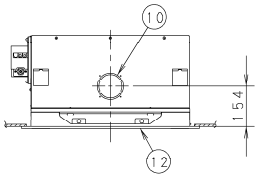
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø100
⑪	自然気化式加湿器　CZ-07ASL6（別売）
⑫	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑬	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑭	エコナビセンサー

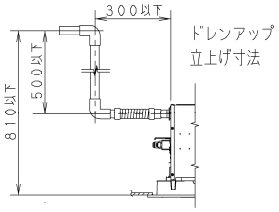


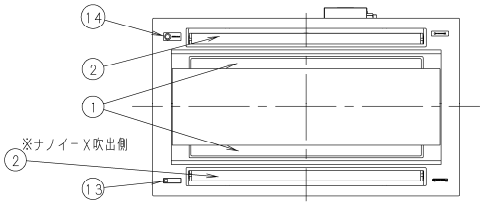






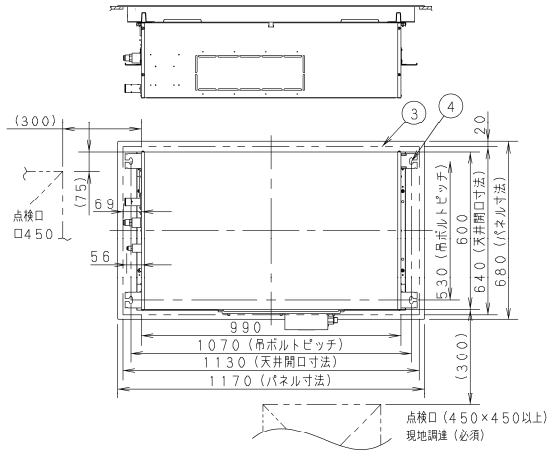


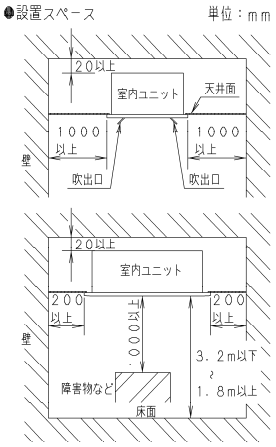


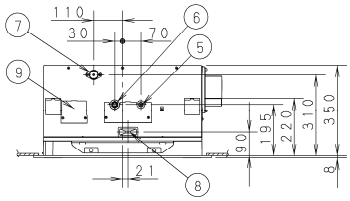


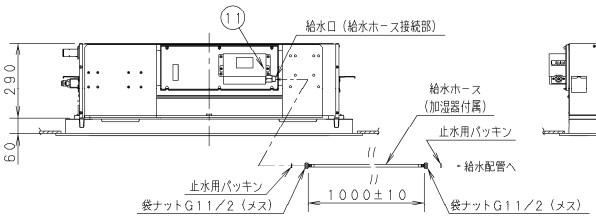
●CZ-07ASL6（2）S-G22 ～ 71LU1

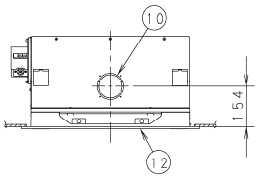
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø100
⑪	自然気化式加湿器　CZ-07ASL6（別売）
⑫	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑬	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

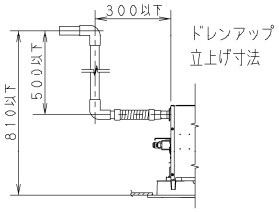


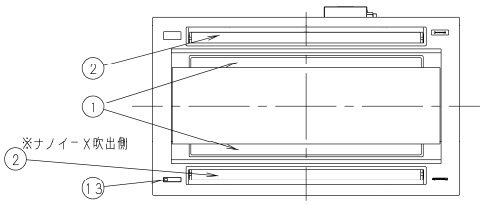








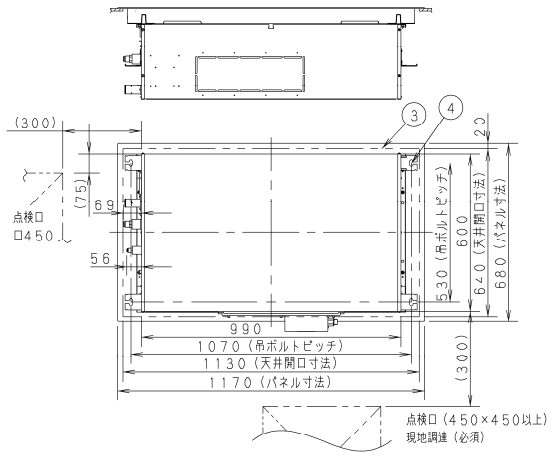


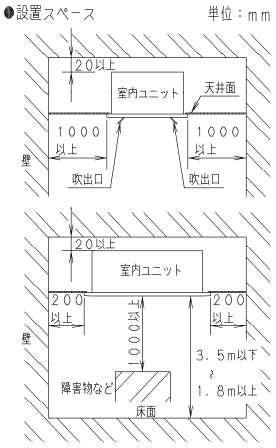


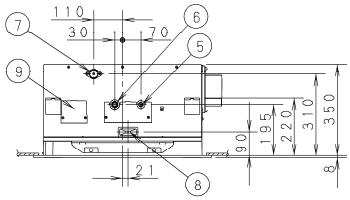
■自然気化式加湿器（エコナビパネル）

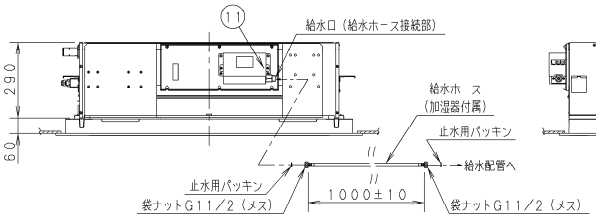
●CZ-07ASL6（1）S-G80・90LU1

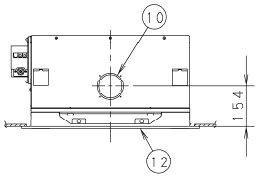
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	自然気化式加湿器　CZ-07ASL6（別売）
⑫	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑬	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑭	エコナビセンサー

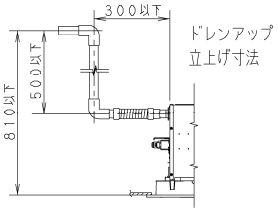


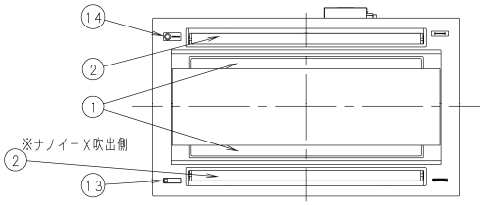






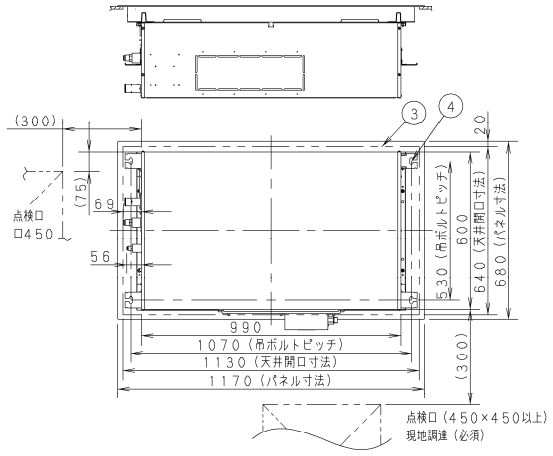


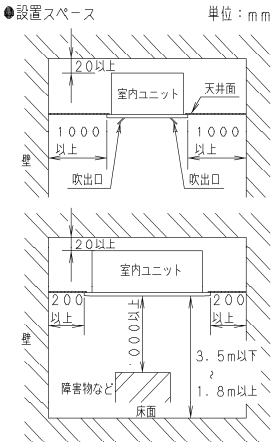


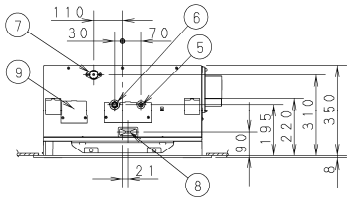


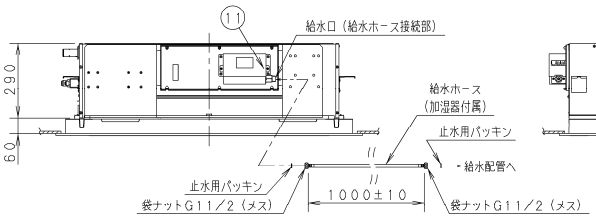
●CZ-07ASL6（2）S-G80・90LU1

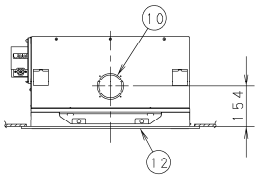
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	自然気化式加湿器　CZ-07ASL6（別売）
⑫	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑬	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

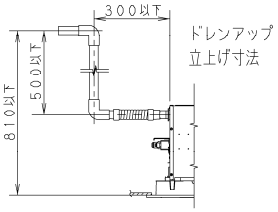


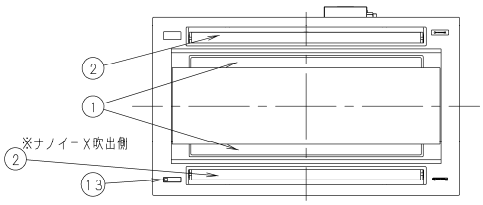








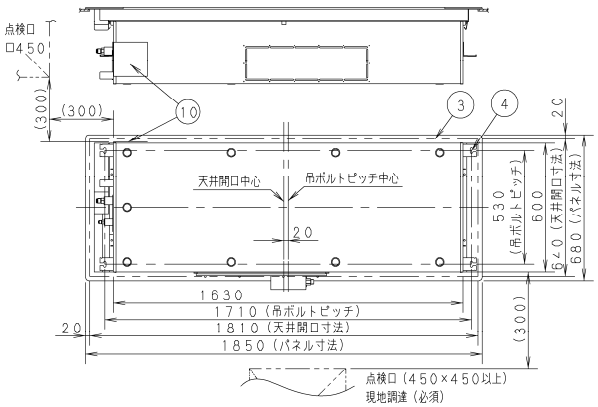


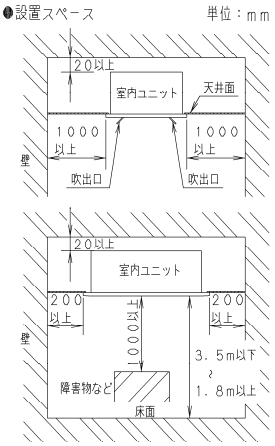


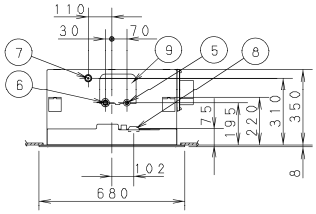
■自然気化式加湿器（エコナビパネル）

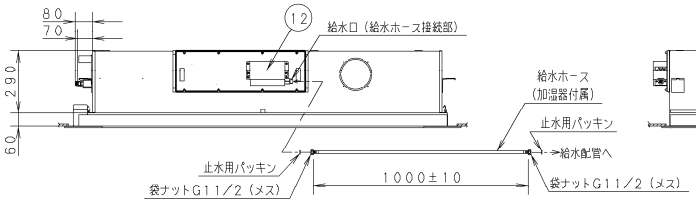
●CZ-14ASL6（1）S-G112 ～ 160LU1

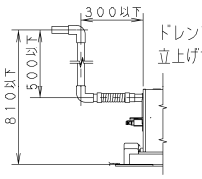
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸会フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø125
⑫	自然気化式加湿器　CZ-14ASL6（別売）
⑬	エコナビパネル　CZ-160KPEL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑮	エコナビセンサー

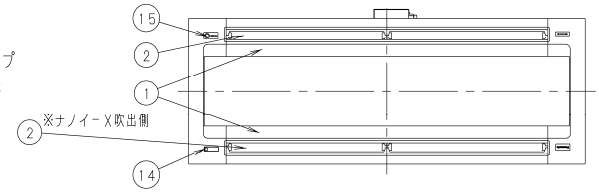






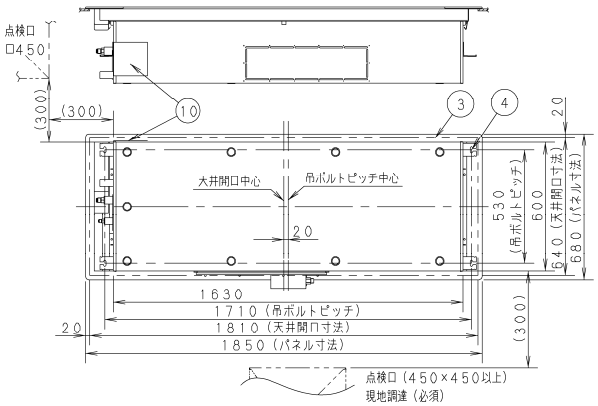


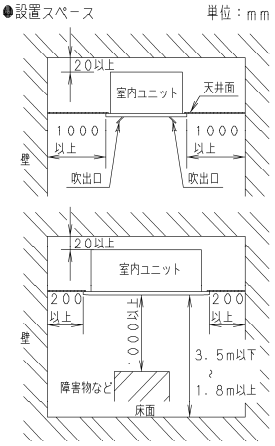


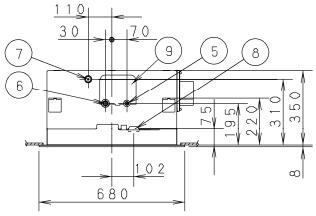


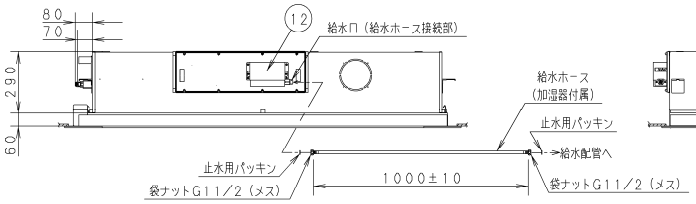
●CZ-14ASL6（2）S-G112 ～ 160LU1

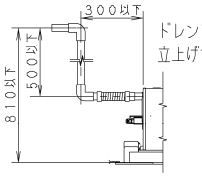
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸会フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø125
⑫	自然気化式加湿器　CZ-14ASL6（別売）
⑬	標準パネル　CZ-160KPL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

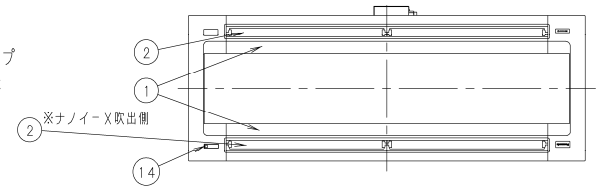








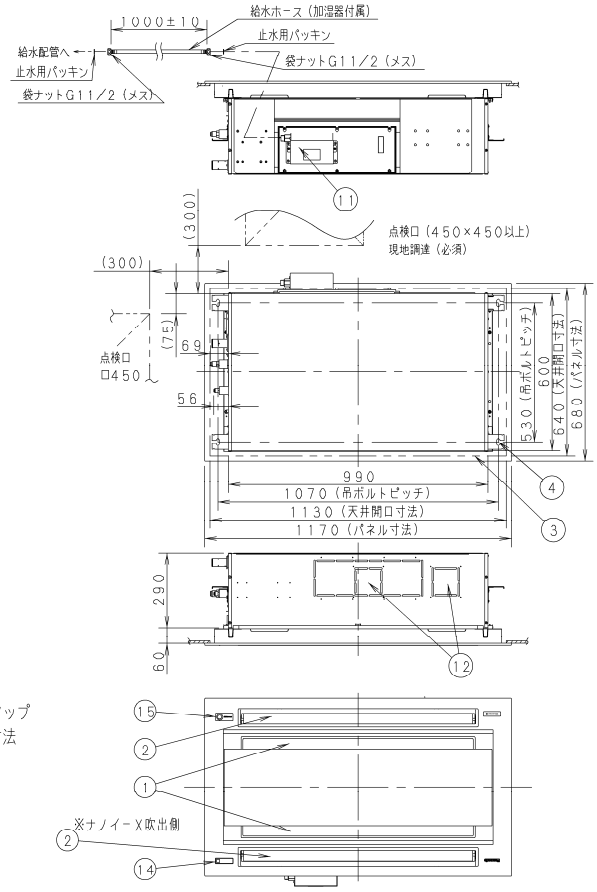


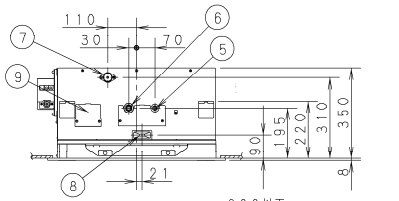


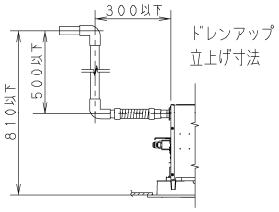
■自然気化式加湿器（標準パネル）

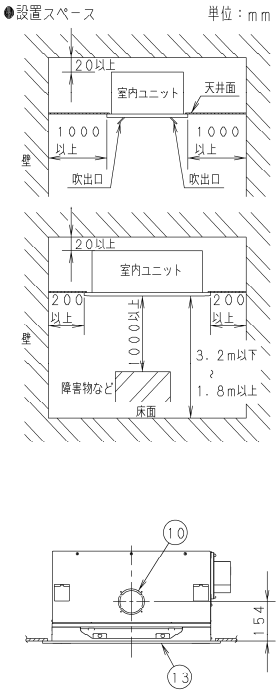
●CZ-07ASL6（1）S-G22 ～ 71LU1

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	自然気化式加湿器　CZ-07ASL6（別売）
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑮	エコナビセンサー



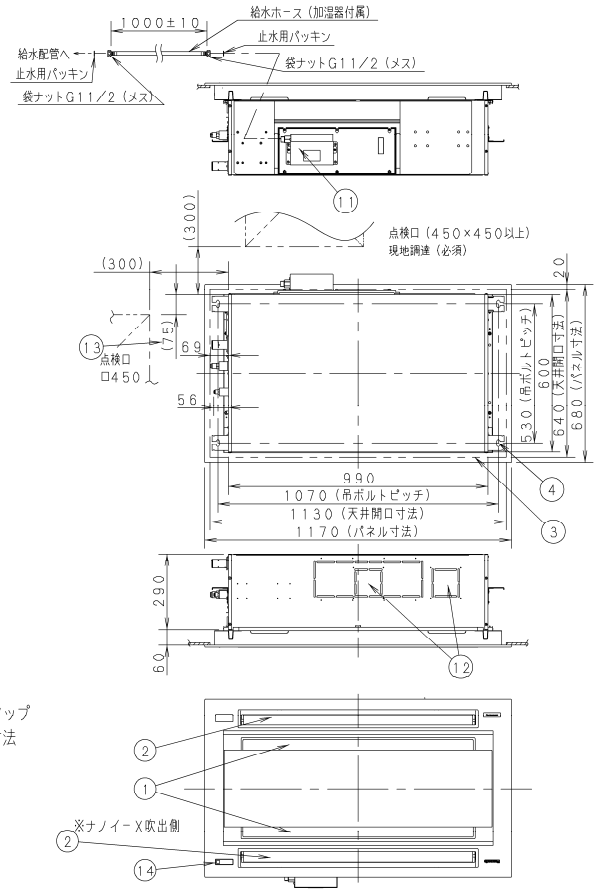


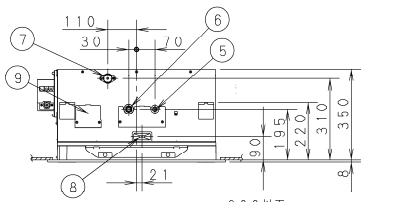


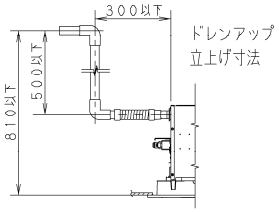


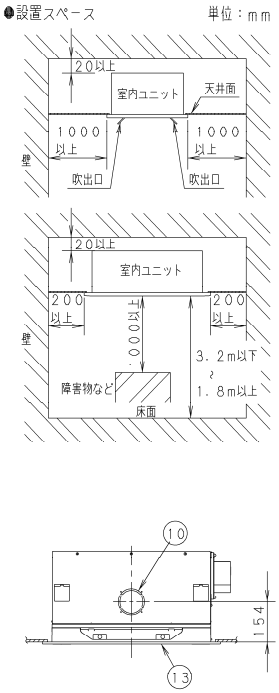
●CZ-07ASL6（2）S-G22 ～ 71LU1

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	自然気化式加湿器　CZ-07ASL6（別売）
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部





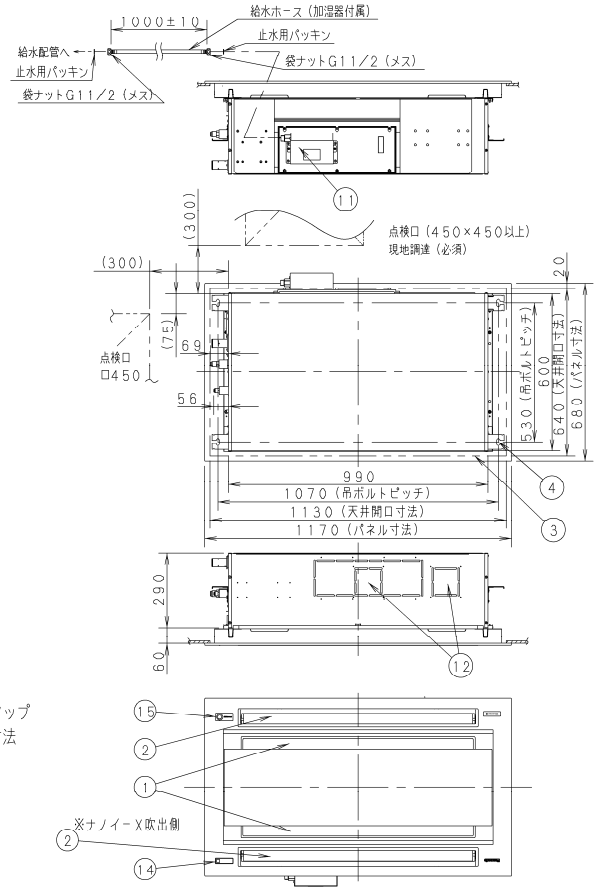


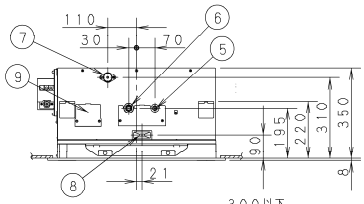


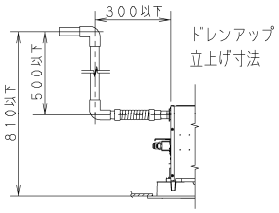
■自然気化式加湿器（標準パネル）

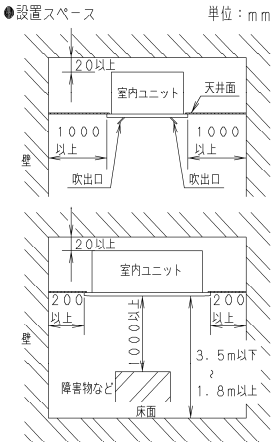
●CZ-07ASL6（1）S-G80・90LU1

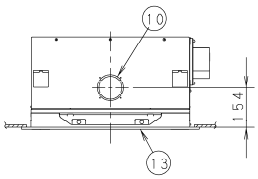
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	自然気化式加湿器　CZ-07ASL6（別売）
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑮	エコナビセンサー





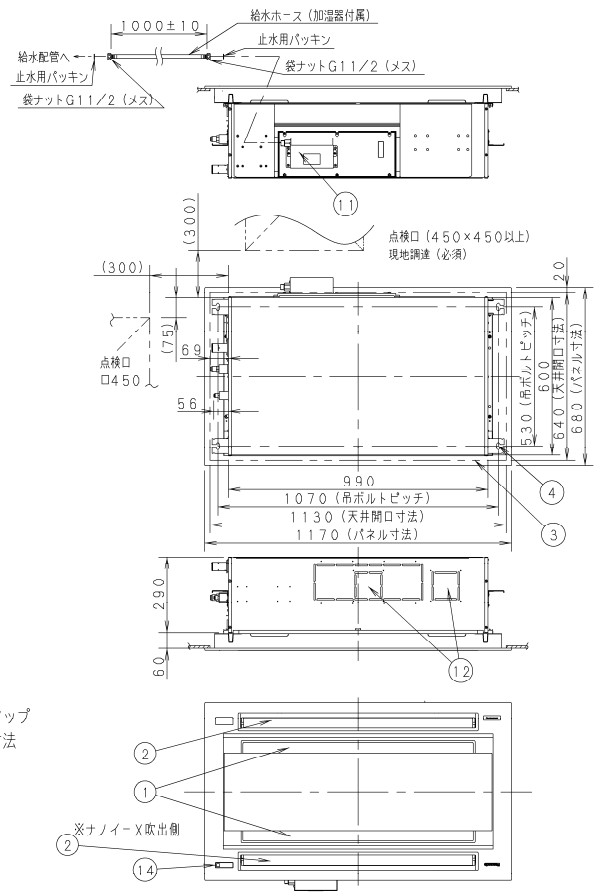


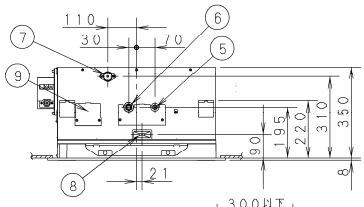


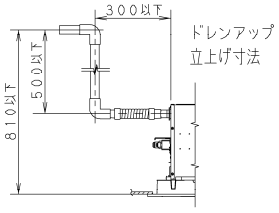


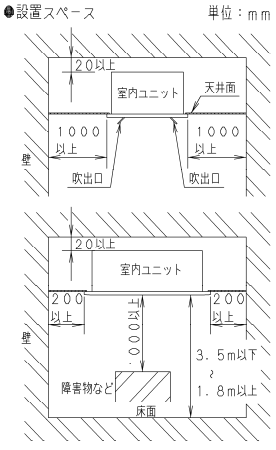
●CZ-07ASL6（2）S-G80・90LU1

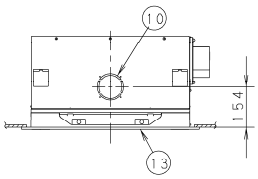
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	自然気化式加湿器　CZ-07ASL6（別売）
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部







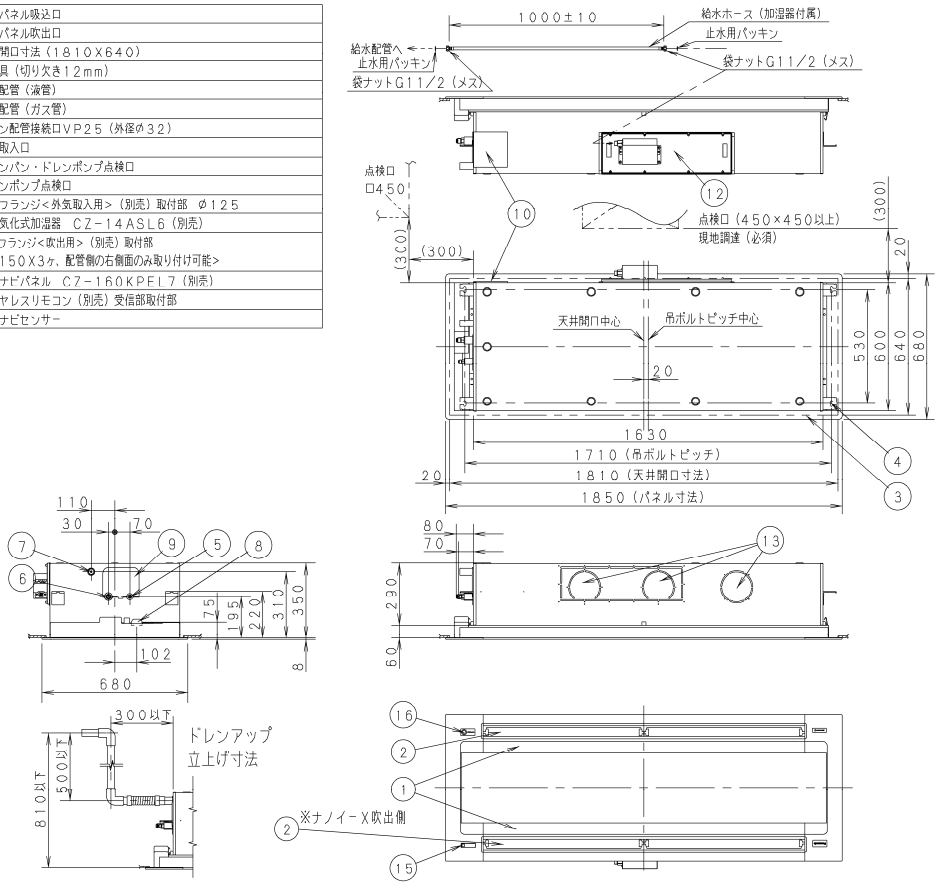


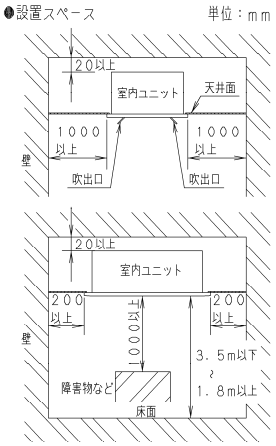


■自然気化式加湿器（標準パネル）

●CZ-14ASL6（1）S-G112 ～ 160LU1

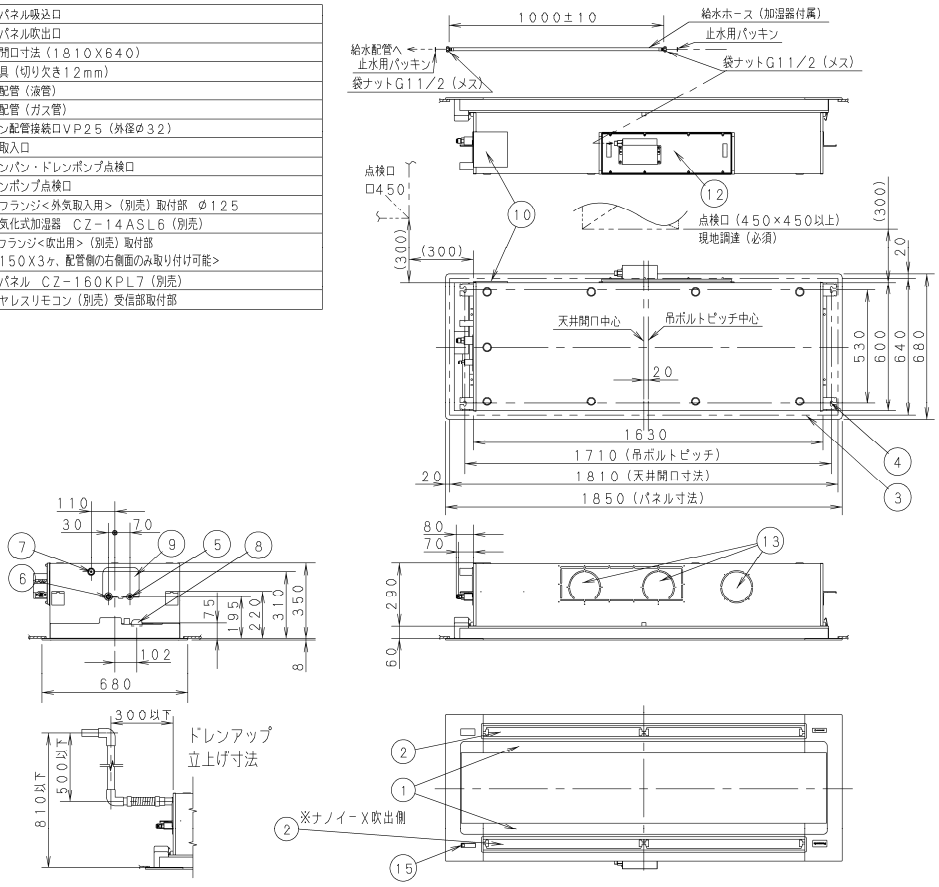
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ125
⑫	自然気化式加湿器　CZ-14ASL6（別売）
⑬	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X3ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑭	エコナビパネル　CZ-160KPFL7（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑯	エコナビセンサー

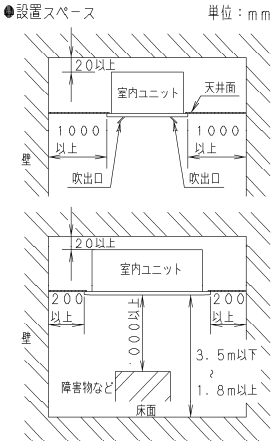




●CZ-14ASL6（2）S-G112 ～ 160LU1

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ125
⑫	自然気化式加湿器　CZ-14ASL6（別売）
⑬	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X3ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑭	標準パネル　CZ-160KPL7（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部





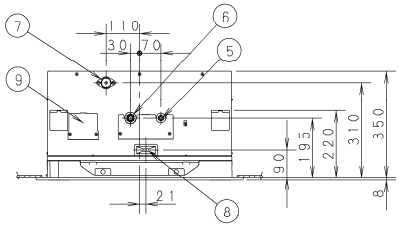
■丸合フランジ　<外気取入用>（CZ-DA100）

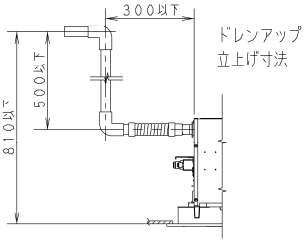
●S-G22 ～ 71LU1（エコナビパネル）

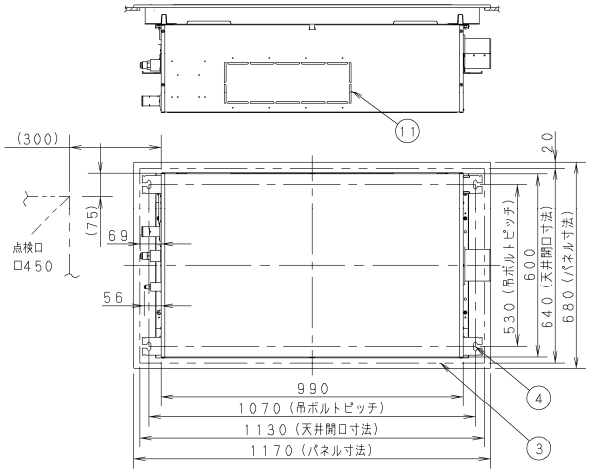
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径Ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>　CZ-DA100（別売）<Ø100>
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<Ø150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑮	エコナビセンサー

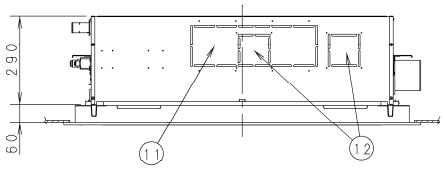
注記

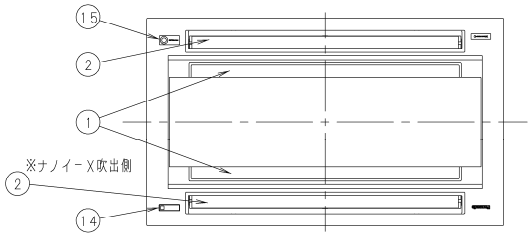
1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
ダクトの反対面のみ取付可能です。



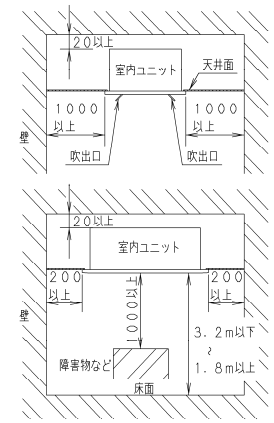


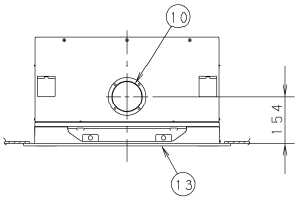






●設置スペース　単位：mm





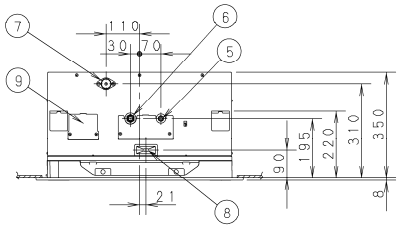
■丸合フランジ　<外気取入用>（CZ-DA100）

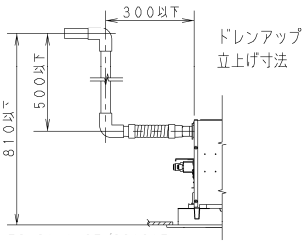
●S-G80・90LU1（エコナビパネル）

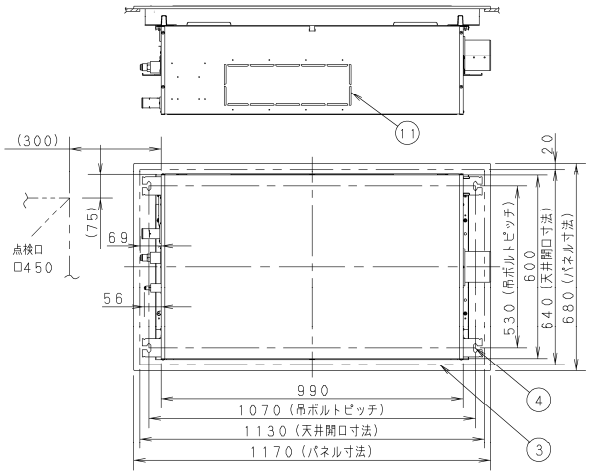
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径Ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>　CZ-DA100（別売）<Ø100>
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<Ø150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑮	エコナビセンサー

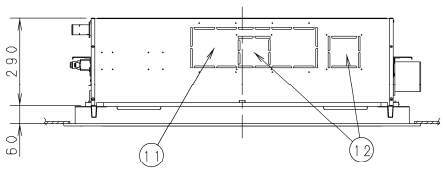
注記

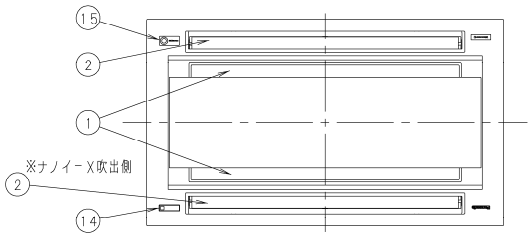
1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
ダクトの反対面のみ取付可能です。



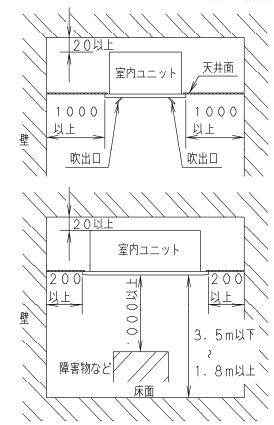


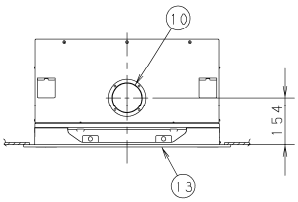






●設置スペース　単位：mm





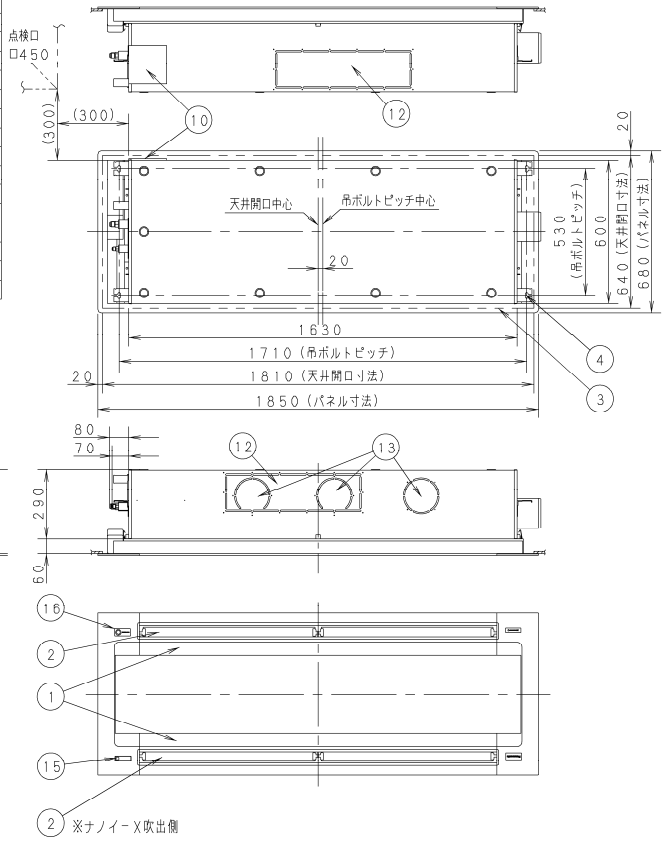
■丸合フランジ　<外気取入用>（CZ-DA125）

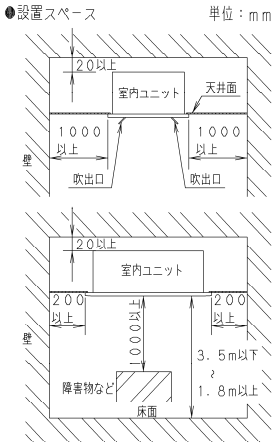
●S-G112 ～ 160LU1（エコナビパネル）

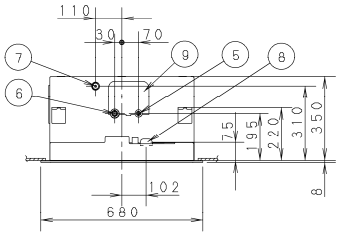
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ<外気取入用>　CZ-DA125（別売）<φ125>
⑫	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑬	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X3ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑭	エコナビパネル　CZ-160KPFL7（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑯	エコナビセンサー

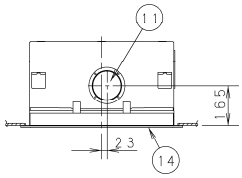
注記

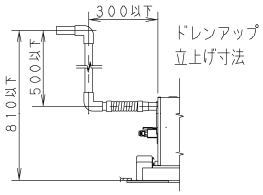
1．吹出ダクト⑬を使用する場合の加湿器は、
　ダクトの反対面のみ取付可能です。











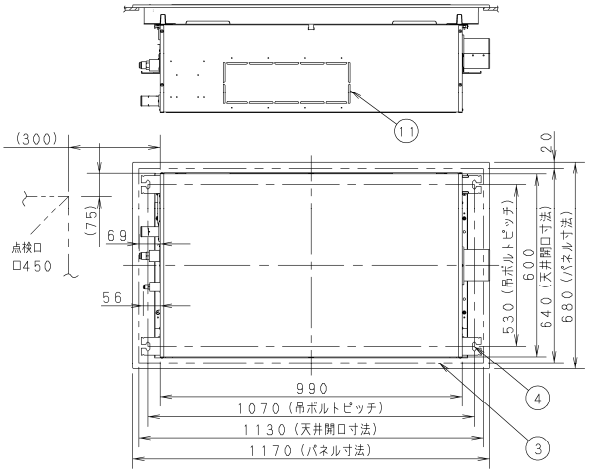
■丸合フランジ　<外気取入用>（CZ-DA100）

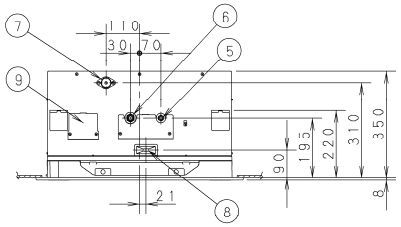
●S-G22 ～ 71LU1（標準パネル）

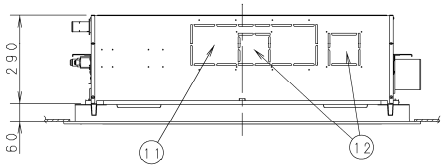
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径Ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>　CZ-DA100（別売）<Ø100>
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<Ø150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

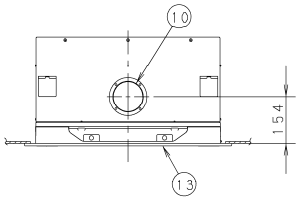
注記

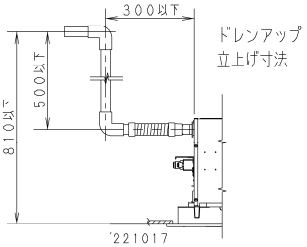
1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
ダクトの反対面のみ取付可能です。

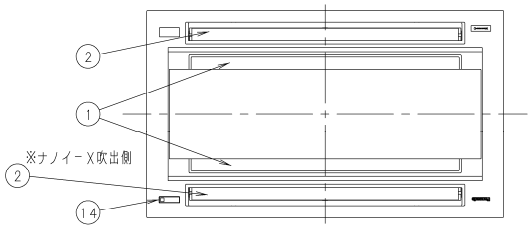


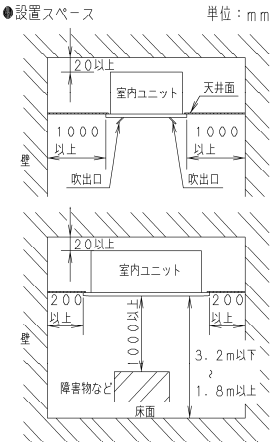












'221017

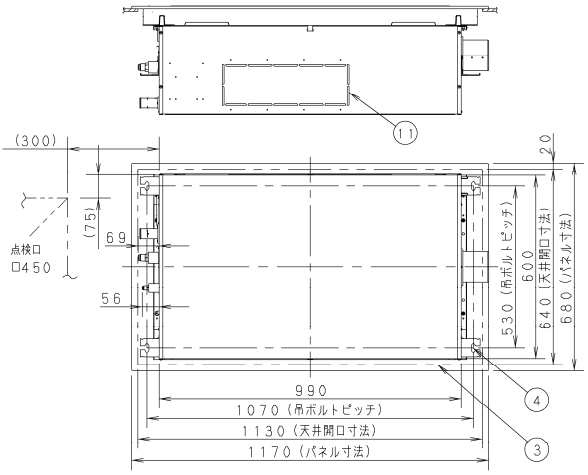
■丸合フランジ　<外気取入用>（CZ-DA100）

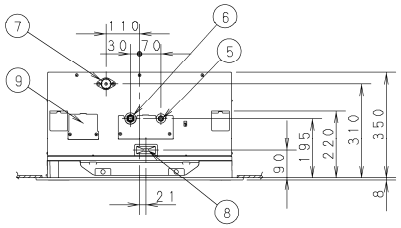
●S-G80・90LU1（標準パネル）

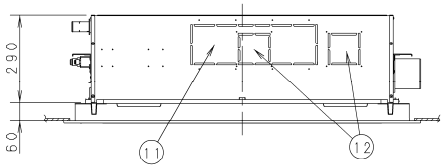
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径Ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>　CZ-DA100（別売）<Ø100>
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑫	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部<Ø150X2ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑬	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑭	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

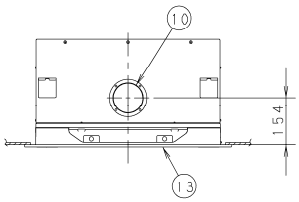
注記

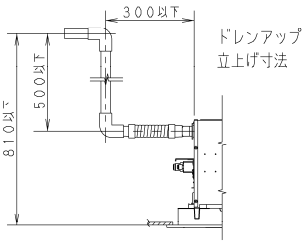
1．吹出ダクト⑫を使用する場合の加湿器は、
ダクトの反対面のみ取付可能です。

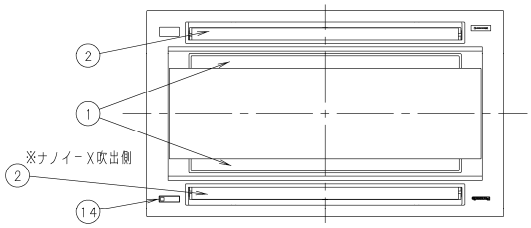


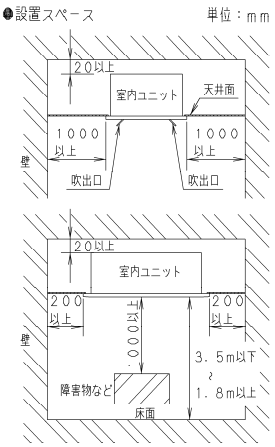












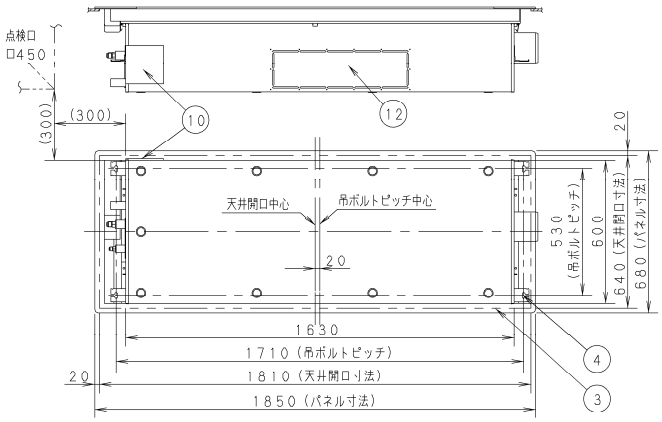
■丸合フランジ　<外気取入用>（CZ-DA125）

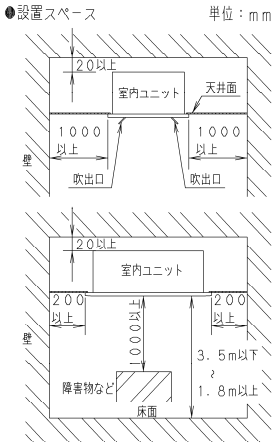
●S-G112 ～ 160LU1（標準パネル）

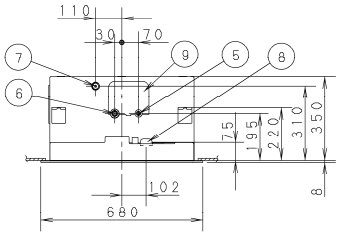
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ<外気取入用>　CZ-DA125（別売）<φ125>
⑫	自然気化式加湿器（別売）取付部<左右取り付け可能>
⑬	丸合フランジ<吹出用>（別売）取付部 <φ150X3ヶ、配管側の右側面のみ取り付け可能>
⑭	標準パネル　CZ-160KPL7（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

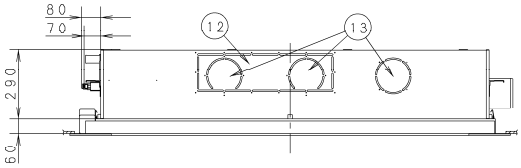
注記

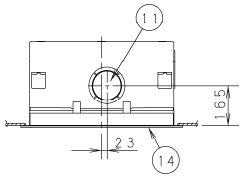
1．吹出ダクト⑬を使用する場合の加湿器は、
　ダクトの反対面のみ取付可能です。

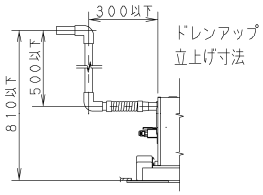


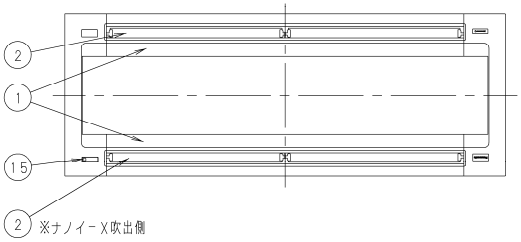












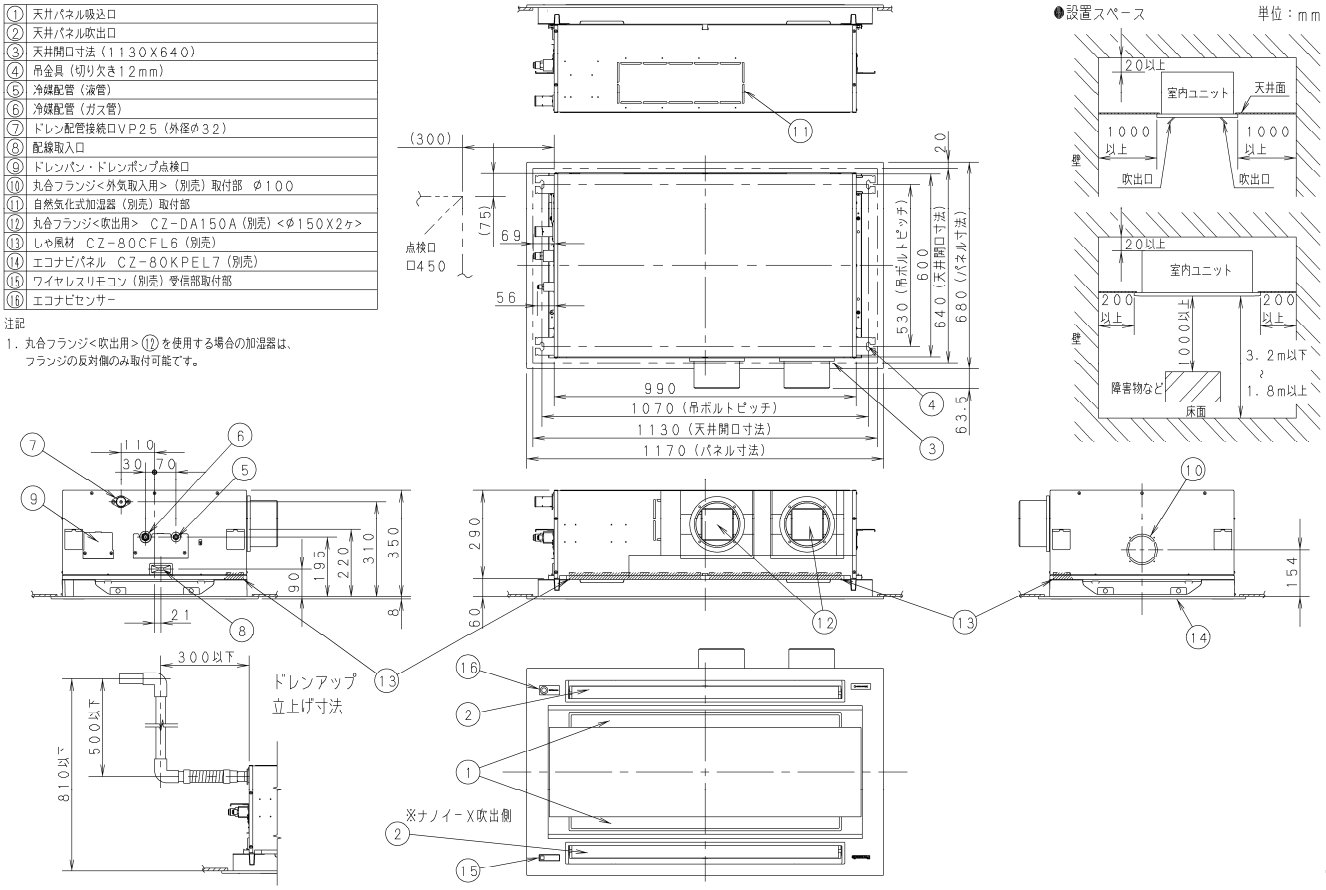
■丸合フランジ　<吹出用>（CZ-DA150A）

●S-G22 ～ 71LU1（エコナビパネル）

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径Ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　Ø100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部
⑫	丸合フランジ<吹出用>　CZ-DA150A（別売）<Ø150X2ヶ>
⑬	しゃ風材　CZ-80CFL6（別売）
⑭	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑯	エコナビセンサー

注記

1．丸合フランジ<吹出用>⑫を使用する場合の加湿器は、
フランジの反対側のみ取付可能です。



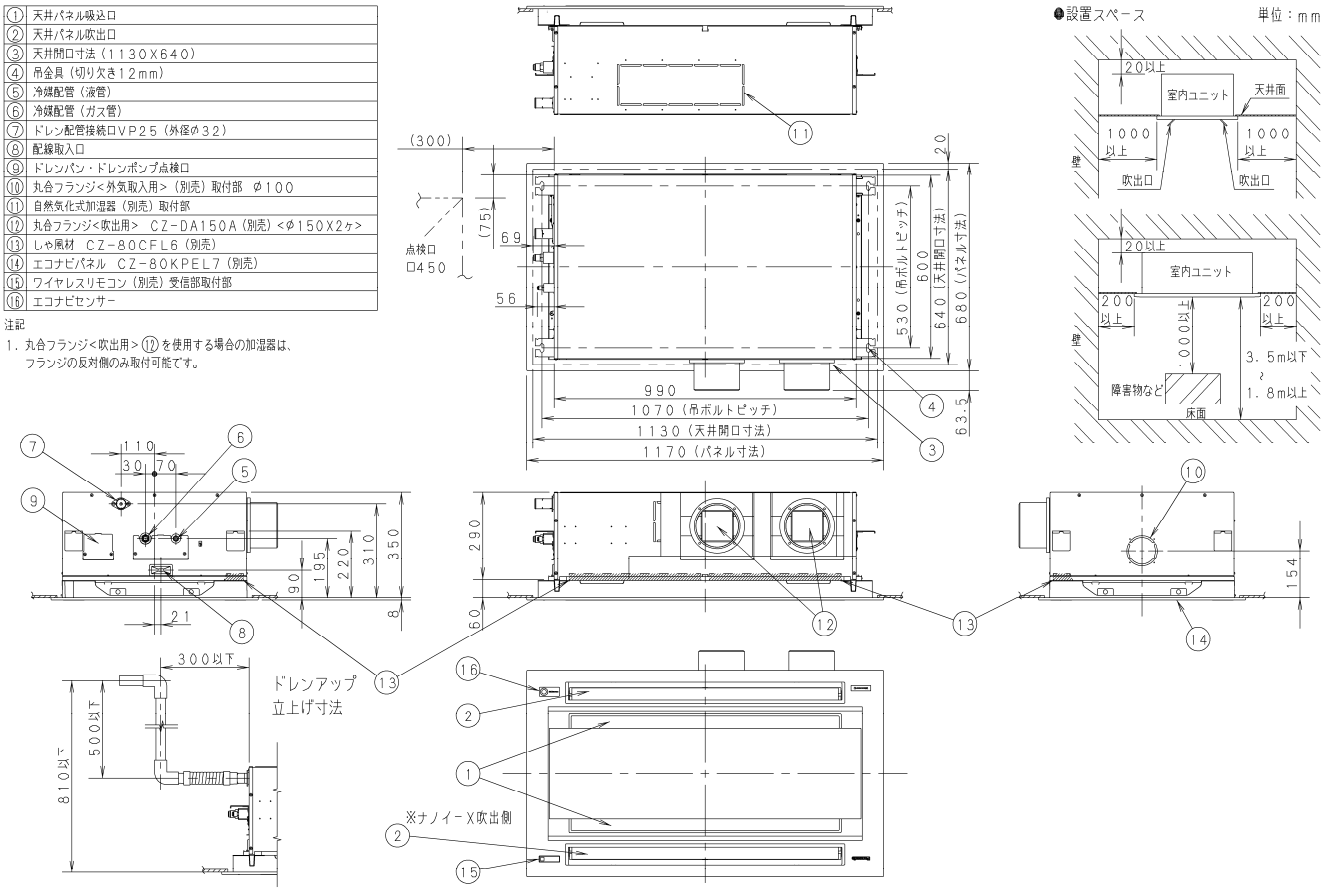
■丸合フランジ　<吹出用>（CZ-DA150A）

●S-G80・90LU1（エコナビパネル）

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径Ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　Ø100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部
⑫	丸合フランジ<吹出用>　CZ-DA150A（別売）<Ø150X2ヶ>
⑬	しゃ風材　CZ-80CFL6（別売）
⑭	エコナビパネル　CZ-80KPEL7（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑯	エコナビセンサー

注記

1．丸合フランジ<吹出用>⑫を使用する場合の加湿器は、
フランジの反対側のみ取付可能です。



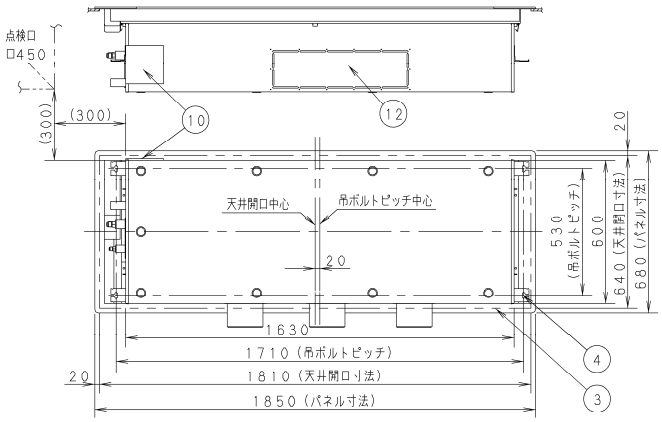
■丸合フランジ　<吹出用>（CZ-DA150A）

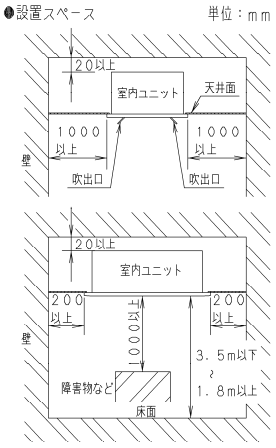
●S-G112 ～ 160LU1（エコナビパネル）

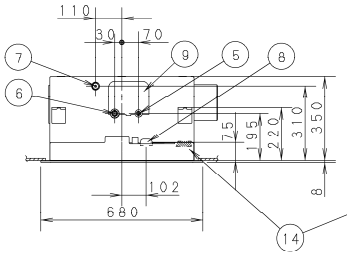
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø125
⑫	自然気化式加湿器（別売）取付部
⑬	丸合フランジ<吹出用>　CZ-DA150A（別売）<ø150X3ヶ>
⑭	しや風材　CZ-160CFL6（別売）
⑮	エコナビパネル　CZ-160KPFL7（別売）
⑯	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部
⑰	エコナビセンサー

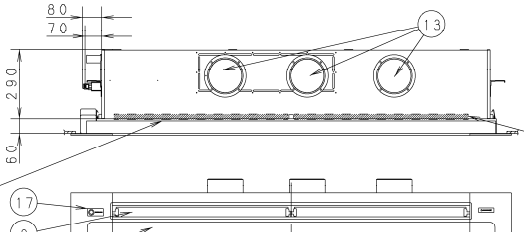
注記

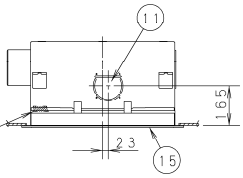
1．丸合フランジ<吹出用>⑬を使用する場合の加湿器は、フランジの反対側のみ取付可能です。

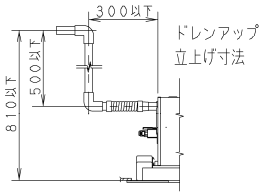


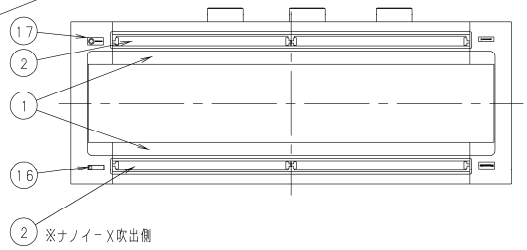












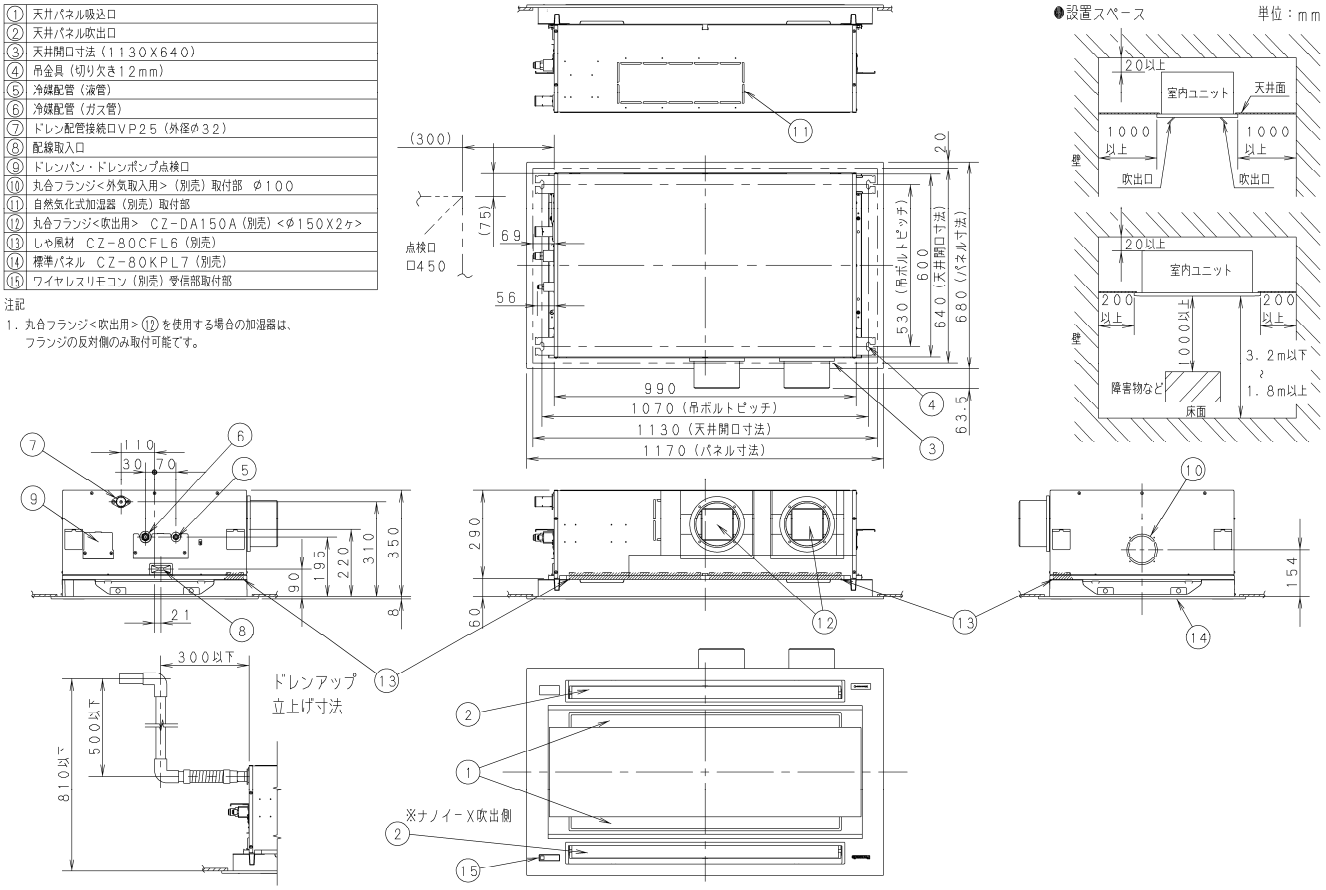
■丸合フランジ　<吹出用>（CZ-DA150A）

●S-G22 ～ 71LU1（標準パネル）

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部
⑫	丸合フランジ<吹出用>　CZ-DA150A（別売）<φ150X2ヶ>
⑬	しゃ風材　CZ-80CFL6（別売）
⑭	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

注記

1．丸合フランジ<吹出用>⑫を使用する場合の加湿器は、
フランジの反対側のみ取付可能です。



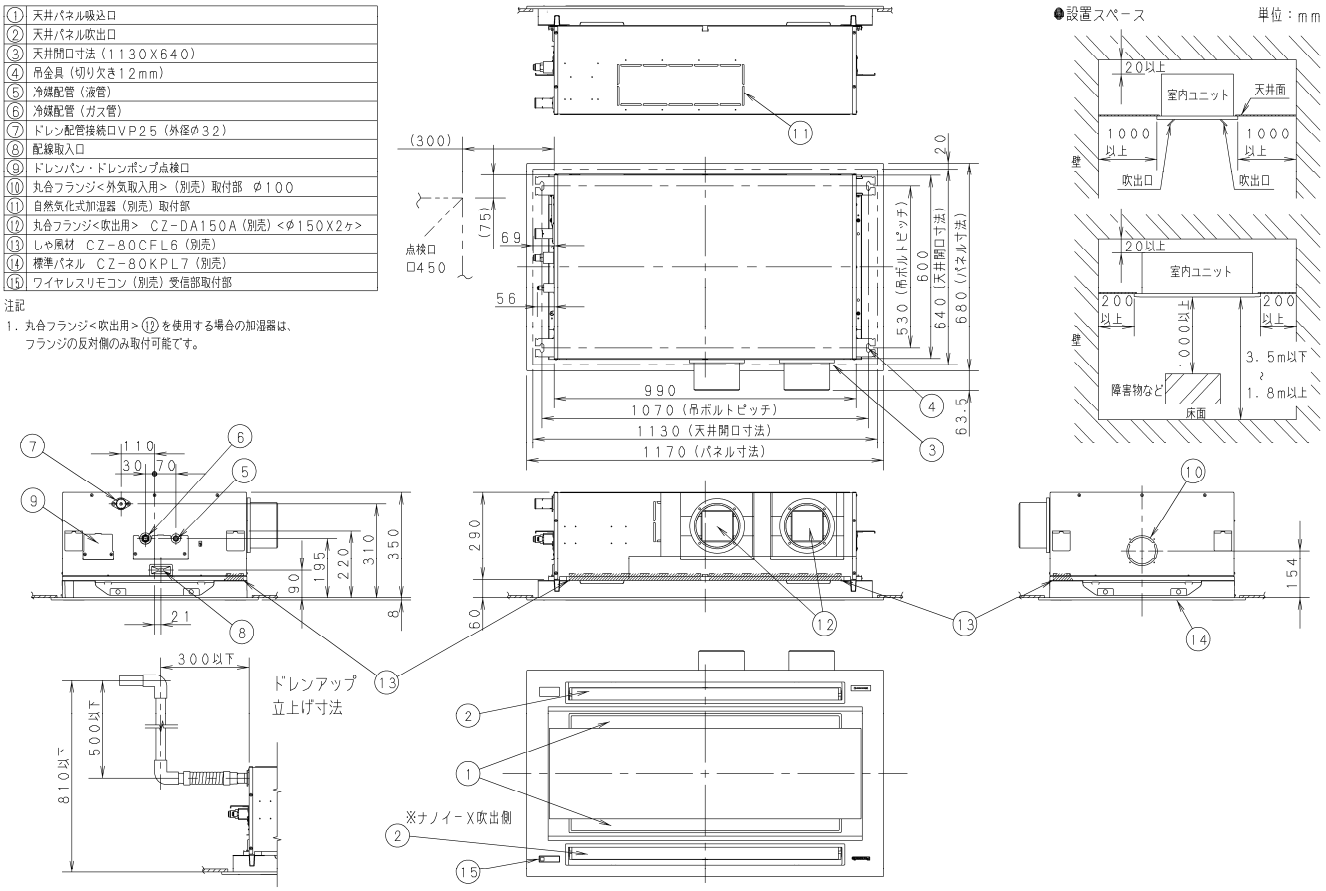
■丸合フランジ　<吹出用>（CZ-DA150A）

●S-G80・90LU1（標準パネル）

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1130X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径φ32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　φ100
⑪	自然気化式加湿器（別売）取付部
⑫	丸合フランジ<吹出用>　CZ-DA150A（別売）<φ150X2ヶ>
⑬	しゃ風材　CZ-80CFL6（別売）
⑭	標準パネル　CZ-80KPL7（別売）
⑮	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

注記

1．丸合フランジ<吹出用>⑫を使用する場合の加湿器は、
フランジの反対側のみ取付可能です。



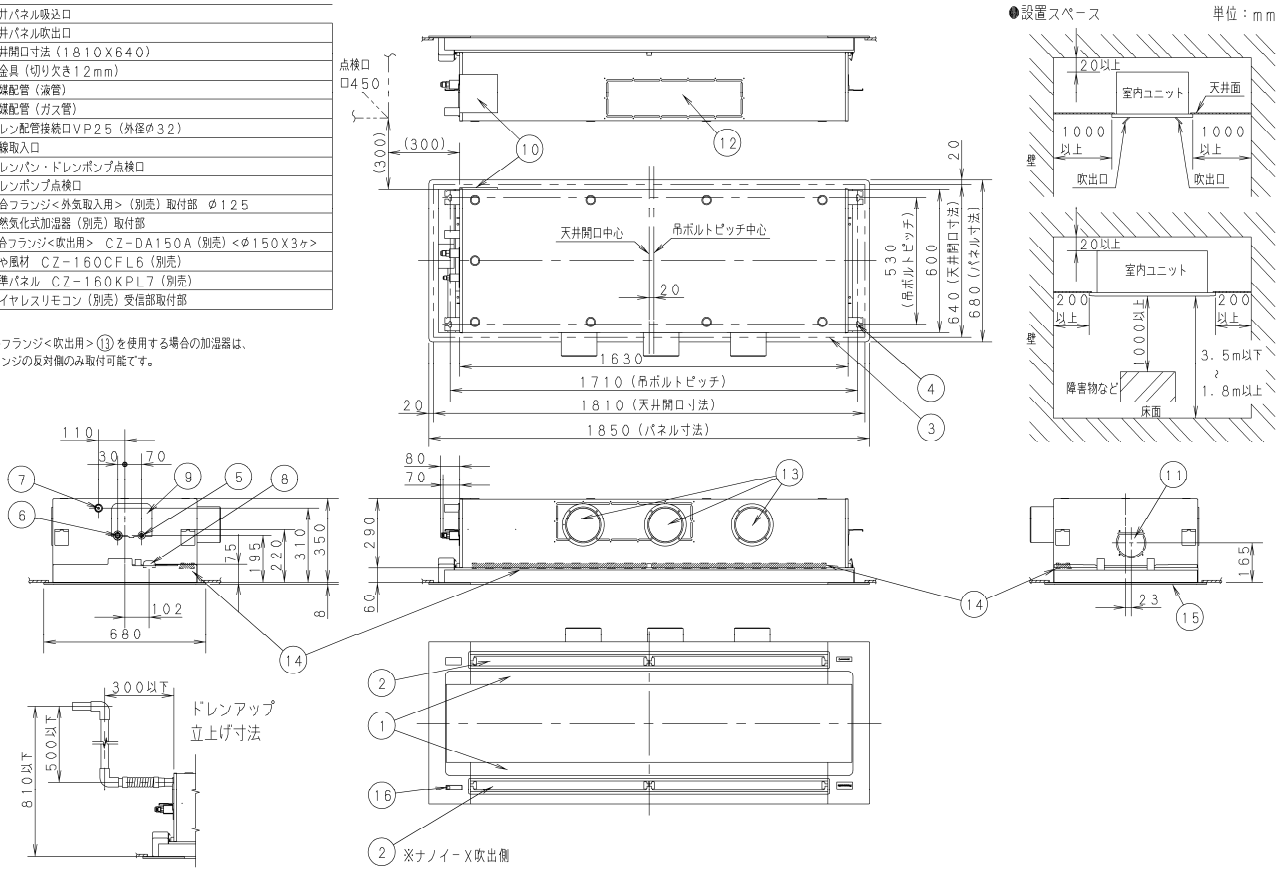
■丸合フランジ　<吹出用>（CZ-DA150A）

●S-G112 ～ 160LU1（標準パネル）

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井開口寸法（1810X640）
④	吊金具（切り欠き12mm）
⑤	冷媒配管（液管）
⑥	冷媒配管（ガス管）
⑦	ドレン配管接続口VP25（外径ø32）
⑧	配線取入口
⑨	ドレンパン・ドレンポンプ点検口
⑩	ドレンポンプ点検口
⑪	丸合フランジ<外気取入用>（別売）取付部　ø125
⑫	自然気化式加湿器（別売）取付部
⑬	丸合フランジ<吹出用>　CZ-DA150A（別売）<ø150X3ヶ>
⑭	しや風材　CZ-160CFL6（別売）
⑮	標準パネル　CZ-160KPL7（別売）
⑯	ワイヤレスリモコン（別売）受信部取付部

注記

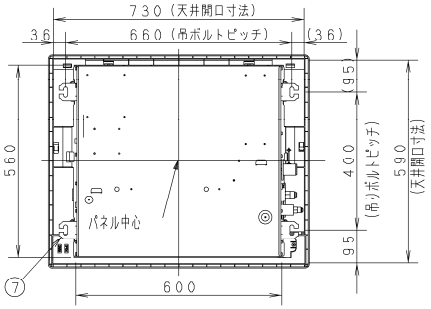
1. 丸合フランジ<吹出用>⑬を使用する場合の加湿器は、フランジの反対側のみ取付可能です。

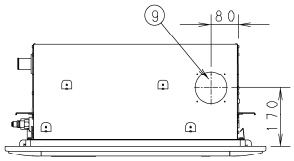


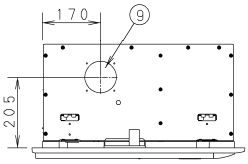
■各フィルター（AFT-DSA40B/DSA40B-AM　CZ-02FDDM3）

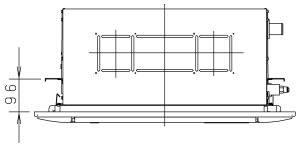
●S-G22・28・36MS1
S-G22・28・36MS1M(-A)

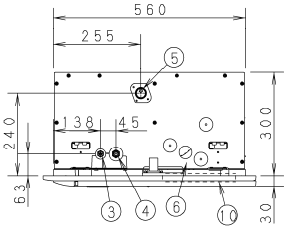
①	吸込口
②	吹出口
③	冷媒配管（液管）　　φ9．52（フレア）
④	冷媒配管（ガス管）　　φ12．7（フレア）
⑤	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32）
⑥	電源取入口
⑦	吊ボルト穴（4－12×30長穴）
⑧	ワイヤレスリモコン　受信部　取付部
⑨	外気取入ダクト接続口　　（φ100）
⑩	フィルター

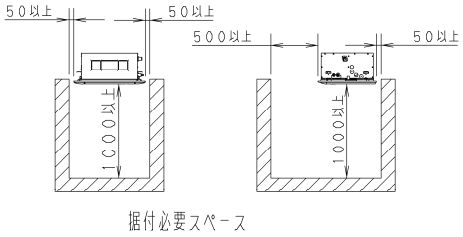




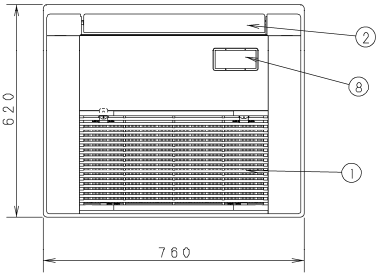


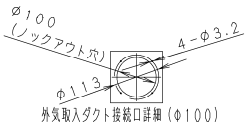






据付必要スペース

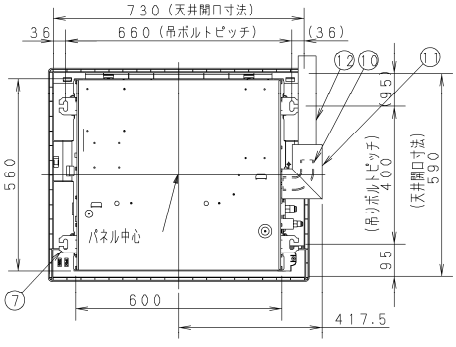


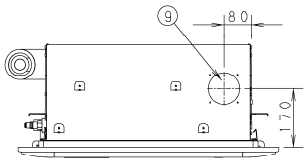


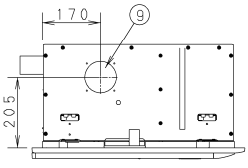
■L字ドレン配管キット（DP-LDSA40B）

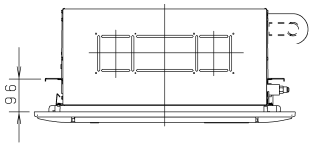
●S-G22・28・36MS1
S-G22・28・36MS1M(-A)

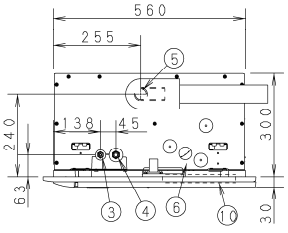
①	吸込口
②	吹出口
③	冷媒配管（液管）　　φ9．52（フレア）
④	冷媒配管（ガス管）　　φ12．7（フレア）
⑤	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32）
⑥	電源取入口
⑦	吊ボルト穴（4－12×30長穴）
⑧	ワイヤレスリモコン　受信部　取付部
⑨	外気取入ダクト接続口　　（φ100）
⑩	ドレン配管接続接手（DP－LDSA40B，別売品）
⑪	ドレン断熱材（DP－LDSA40B，別売品）
⑫	ドレン配管および断熱材（現地手配）

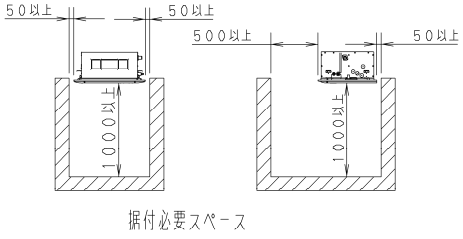




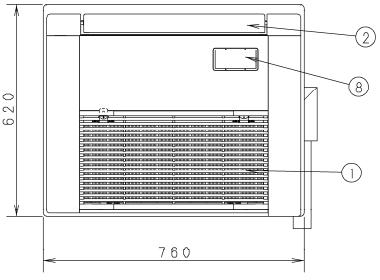


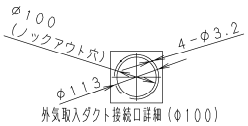






据付必要スペース

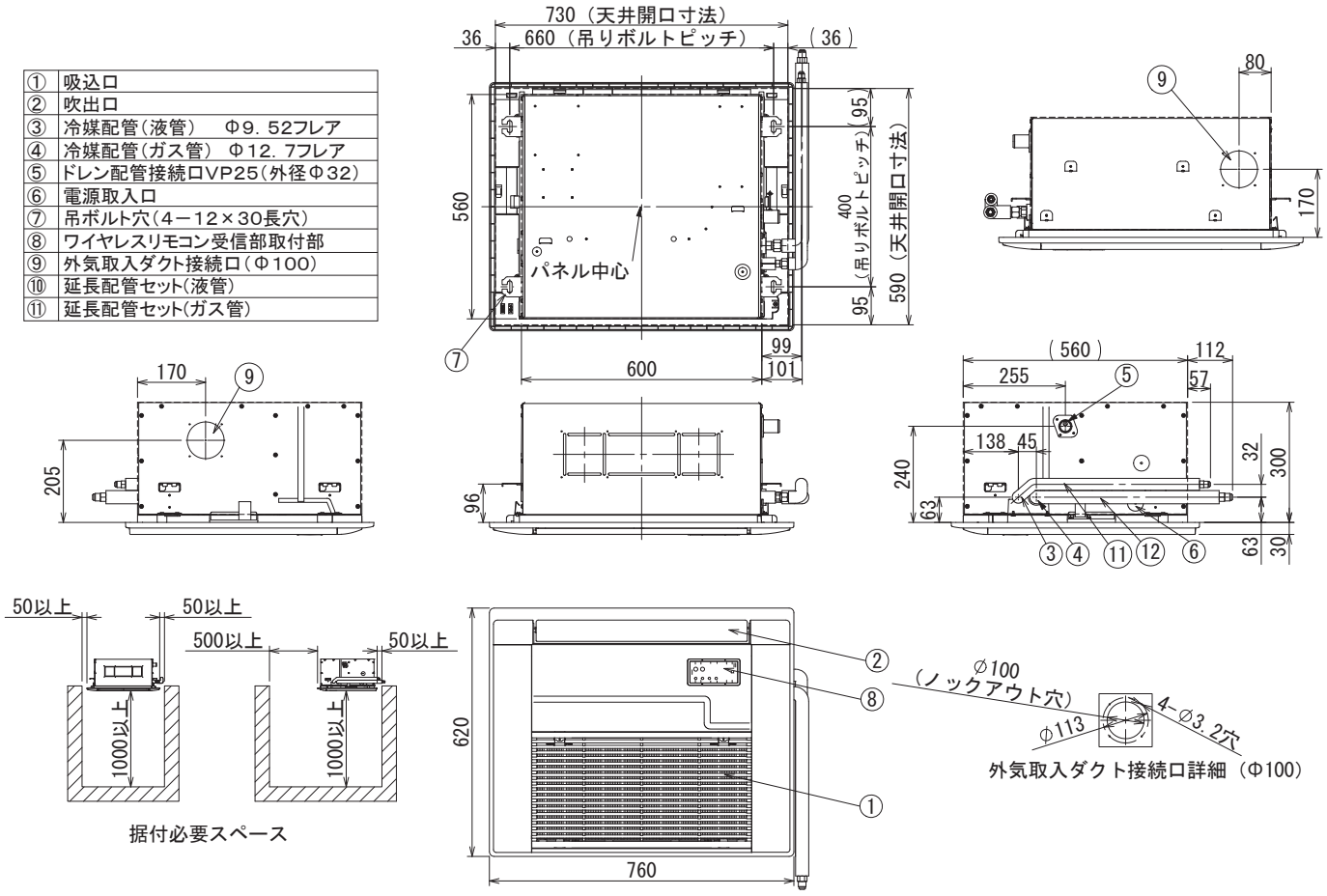




■延長配管セット（SGP-TE28JSA）

●S-G22・28・36MS1
S-G22・28・36MS1M(-A)

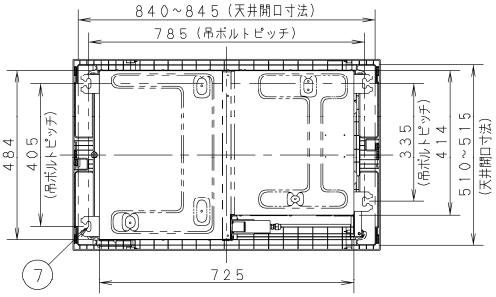
①	吸込口
②	吹出口
③	冷媒配管（液管）　Φ9．52フレア
④	冷媒配管（ガス管）　Φ12．7フレア
⑤	ドレン配管接続口VP25（外径Φ32）
⑥	電源取入口
⑦	吊ボルト穴（4－12×30長穴）
⑧	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑨	外気取入ダクト接続口（Φ100）
⑩	延長配管セット(液管)
⑪	延長配管セット(ガス管)

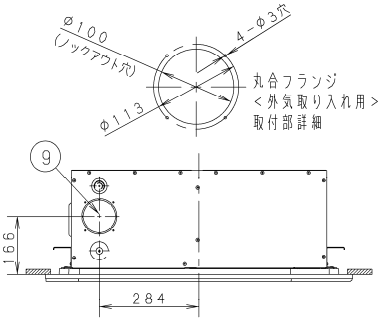


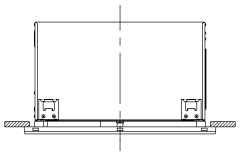
■天井パネル（CZ-28KPDS4）

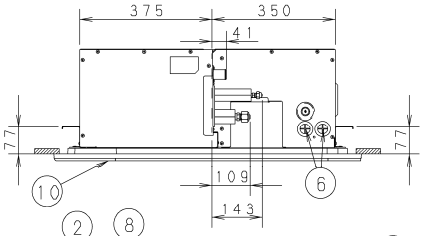
●S-G22・28DSU1(M)

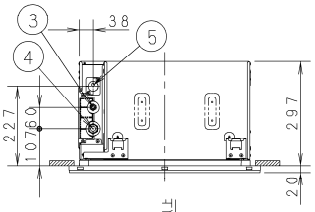
①	吸込口
②	吹出口
③	冷媒配管（液管）　φ9．52（フレア）
④	冷媒配管（ガス管）　φ12．7（フレア）
⑤	ドレン配管接続口　VP20（外径φ26）
⑥	電源取入口
⑦	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
⑧	照度センサー受光部
⑨	丸合フランジ<外気取り入れ用>（別売）取付部φ100
⑩	天井パネル（ホワイト）　CZ－28KPDS4（マンセル記号　N9．3）



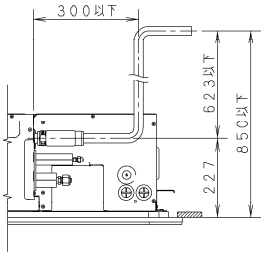


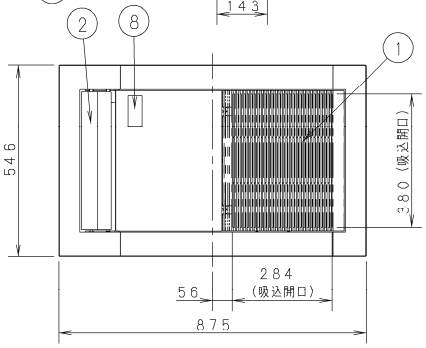


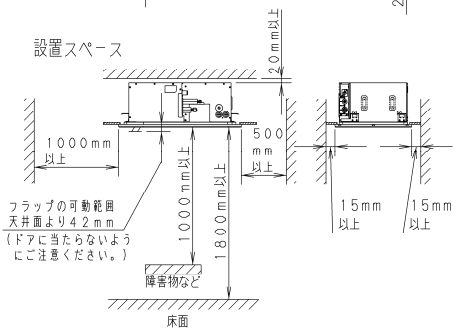




ドレンアップ立上げ寸法



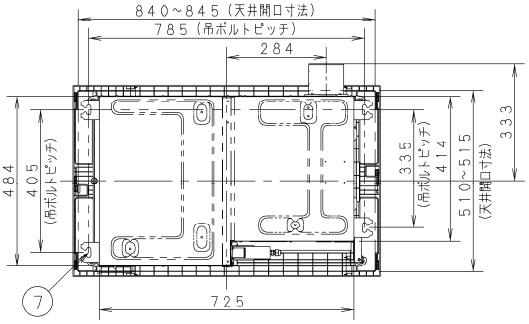


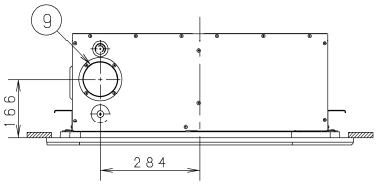


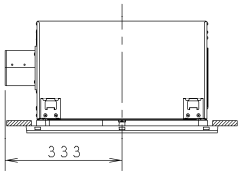
■丸合フランジ（CZ-DA100）

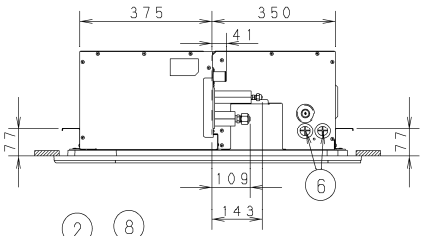
●S-G22・28DSU1(M)

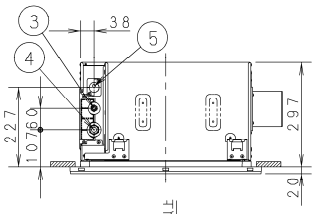
①	吸込口
②	吹出口
③	冷媒配管（液管）　　φ9．52（フレア）
④	冷媒配管（ガス管）　　φ12．7（フレア）
⑤	ドレン配管接続口　VP20（外径φ26）
⑥	電源取入口
⑦	吊ボルト穴（4－12×28長穴）
⑧	照度センサー受光部
⑨	丸合フランジ<外気取り入れ用> CZ－DA100（別売品）　φ100



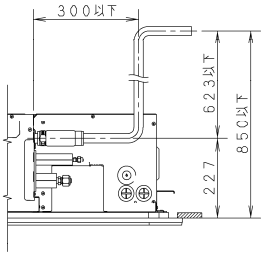


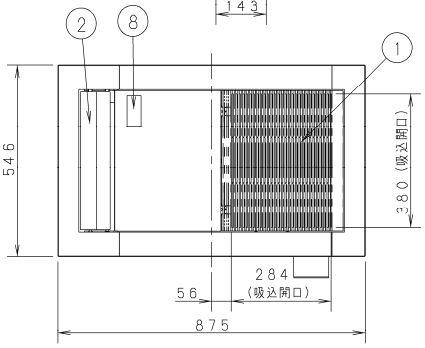




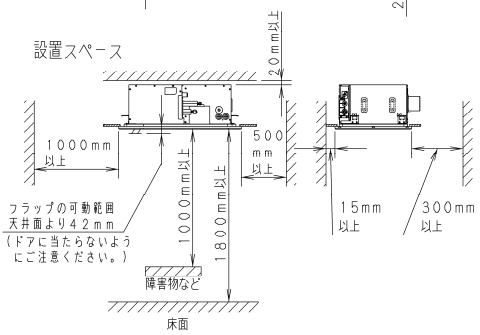


ドレンアップ立上げ寸法



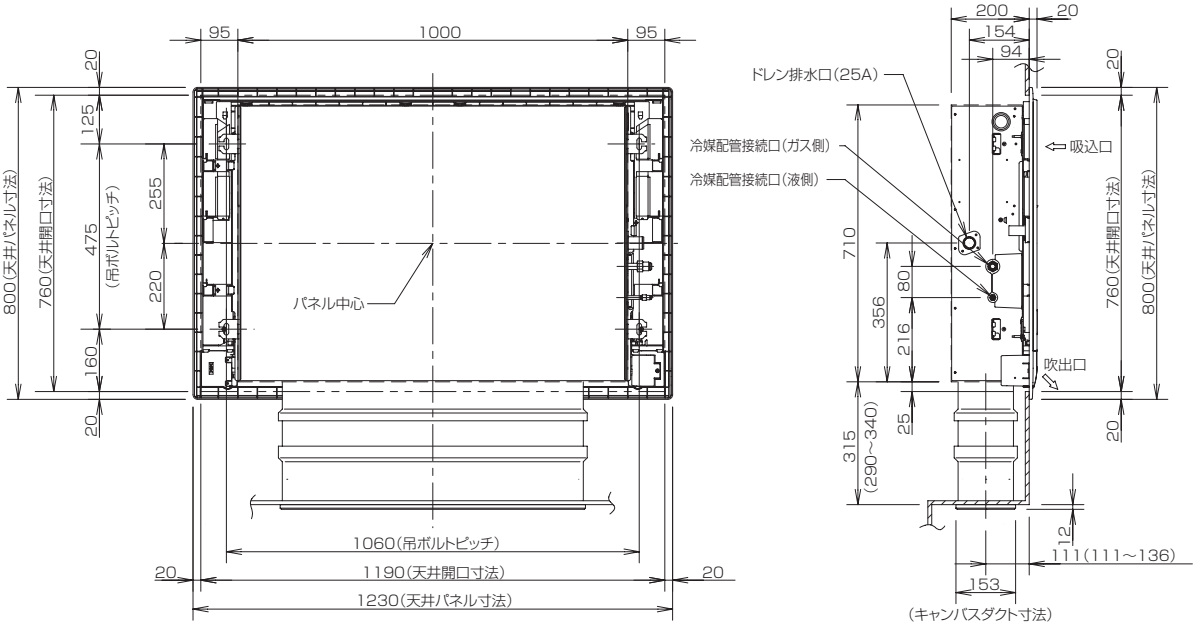


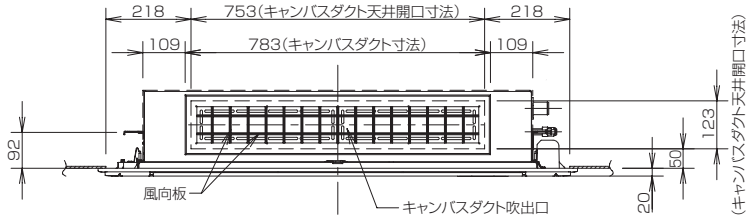
設置スペース



■吹出口グリル（DKT-CSL80B）

●S-G28・36・45・56・71・80DS1

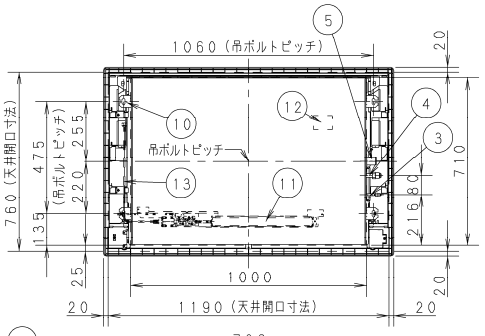


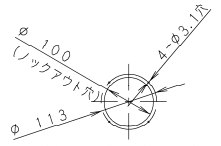


■自然気化式加湿器（CZ-09ASD1）

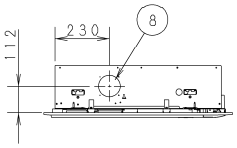
●S-G28・36・45・56・71・80DS1

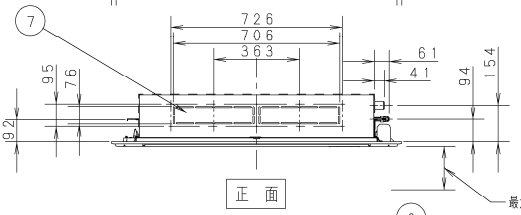
①	吸込口
②	吹出口
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	ドレン配管接続口ＶＰ２５（外形φ３２）
⑥	電源取入口
⑦	吐出ダクト接続口（下がり天井用）
⑧	外気取入ダクト接続口（φ１００）
⑨	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑩	吊ボルト穴（４－１２×３０長穴）
⑪	加湿器（ＣＺ－０９ＡＳＤ１、別売品）
⑫	加湿器電装ボックス（ＣＺ－０９ＡＳＤ１に付属）
⑬	加湿器給水口（１／４　フレア）

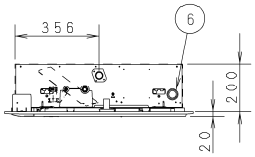


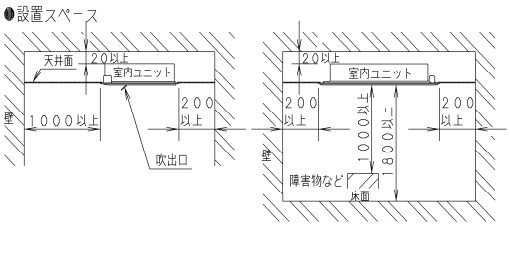


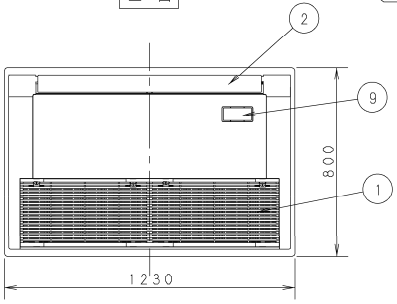
外気取入ダクト接続口詳細





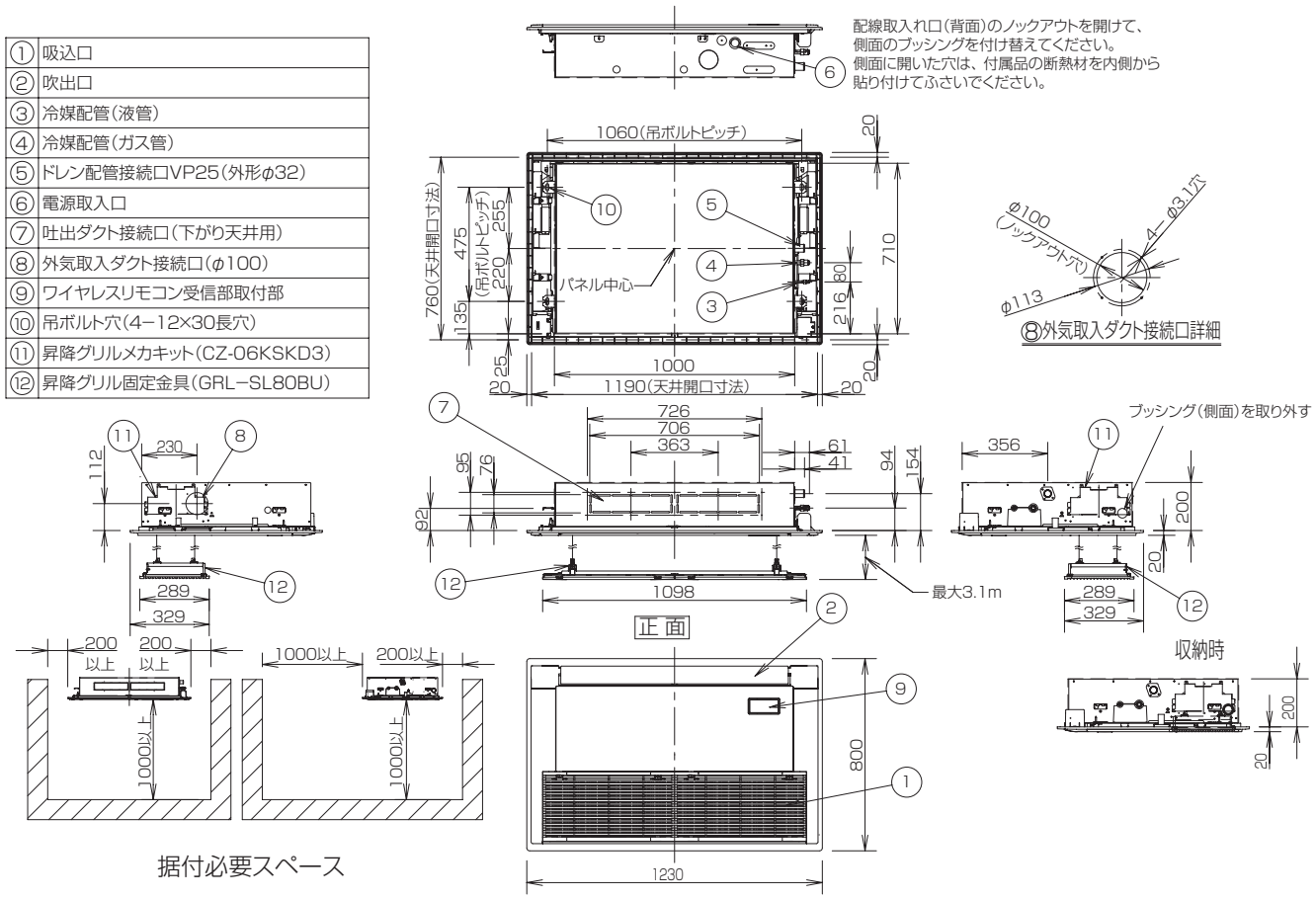






■昇降グリルメカキット（CZ-06KSKD3）
昇降グリル固定金具（GRL-SL80BU）
●S-G28・36・45・56・71･80DS1

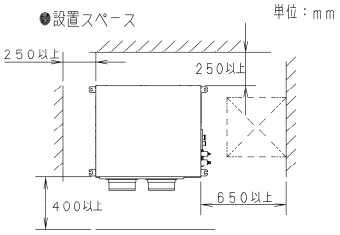
①	吸込口
②	吹出口
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	ドレン配管接続口VP25（外形φ32）
⑥	電源取入口
⑦	吐出ダクト接続口（下がり天井用）
⑧	外気取入ダクト接続口（φ100）
⑨	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑩	吊ボルト穴（4−12×30長穴）
⑪	昇降グリルメカキット（CZ-06KSKD3）
⑫	昇降グリル固定金具（GRL−SL80BU）

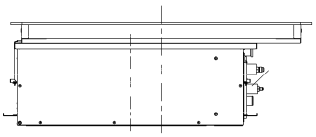


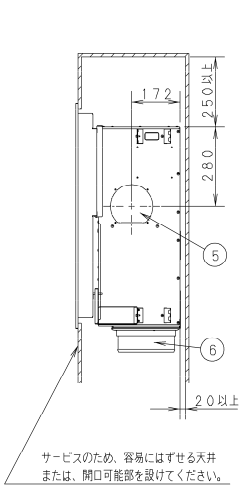
■大パネル標準タイプ（CZ-56KPF1）

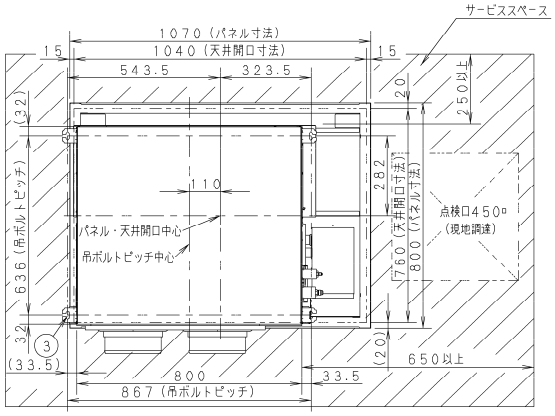
●S-G22・28・36・45・56FS2

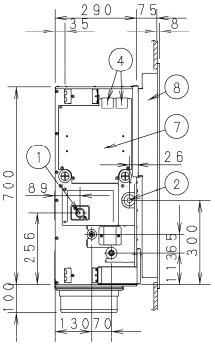
①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（2－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン大パネル　CZ-56KPF1（別売品）

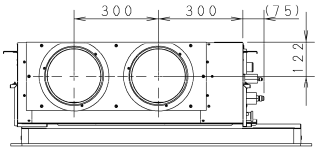










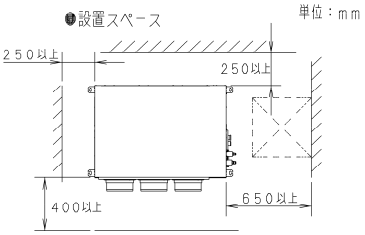


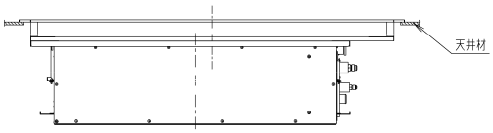
※1、サービススペース確保のお願い
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

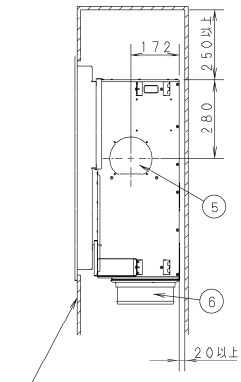
■大パネル標準タイプ（CZ-90KPF1）

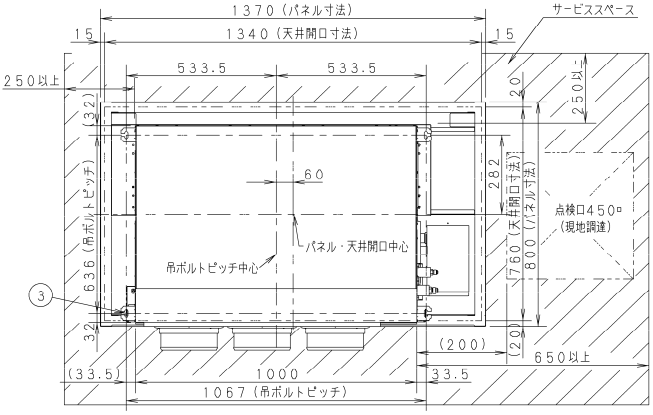
●S-G71・90FS2

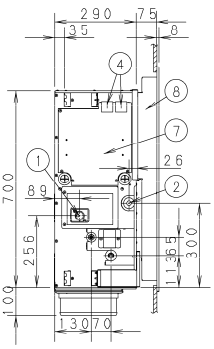
①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（3－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン大パネル　CZ-90KPF1（別売品）

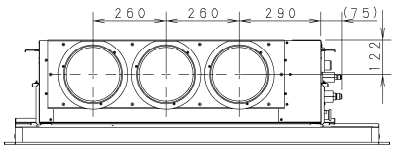












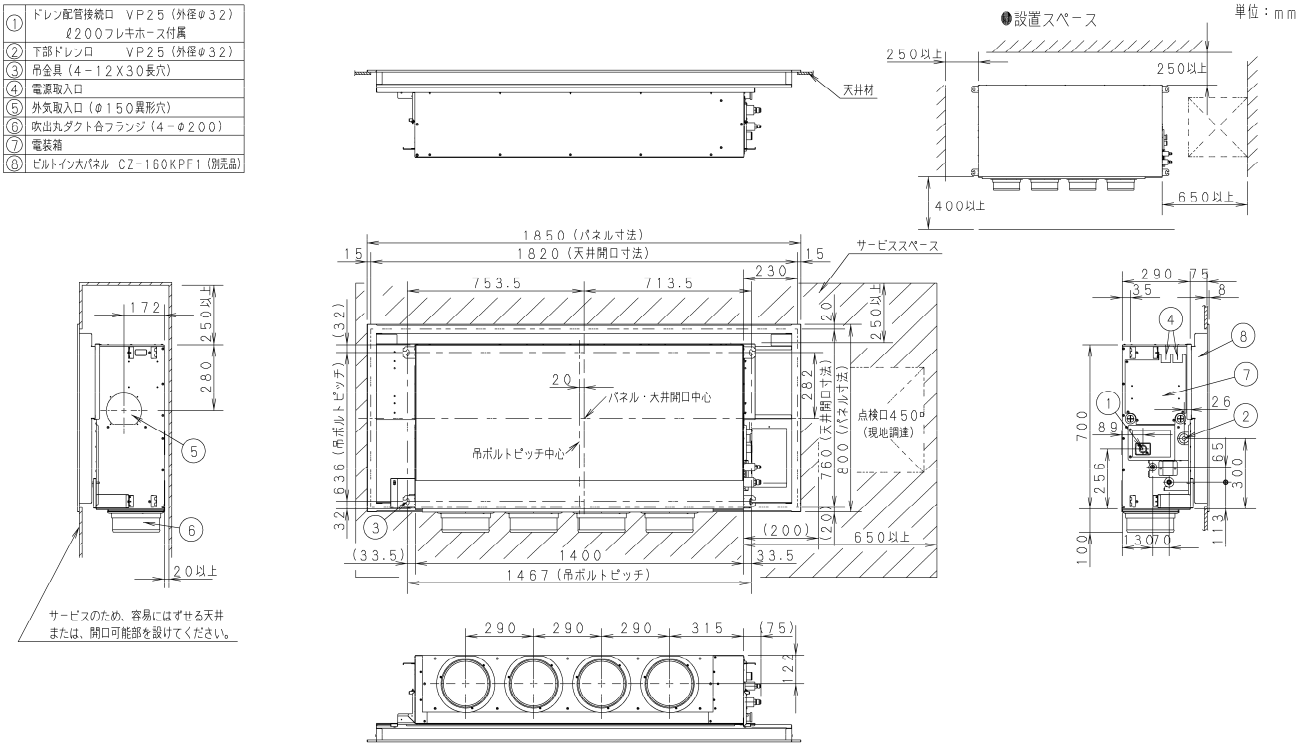
※1、サービススペース確保のお願い
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

■大パネル標準タイプ（CZ-160KPF1）

●S-G112・140・160FS2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（4－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン大パネル　CZ-160KPF1（別売品）

単位：mm

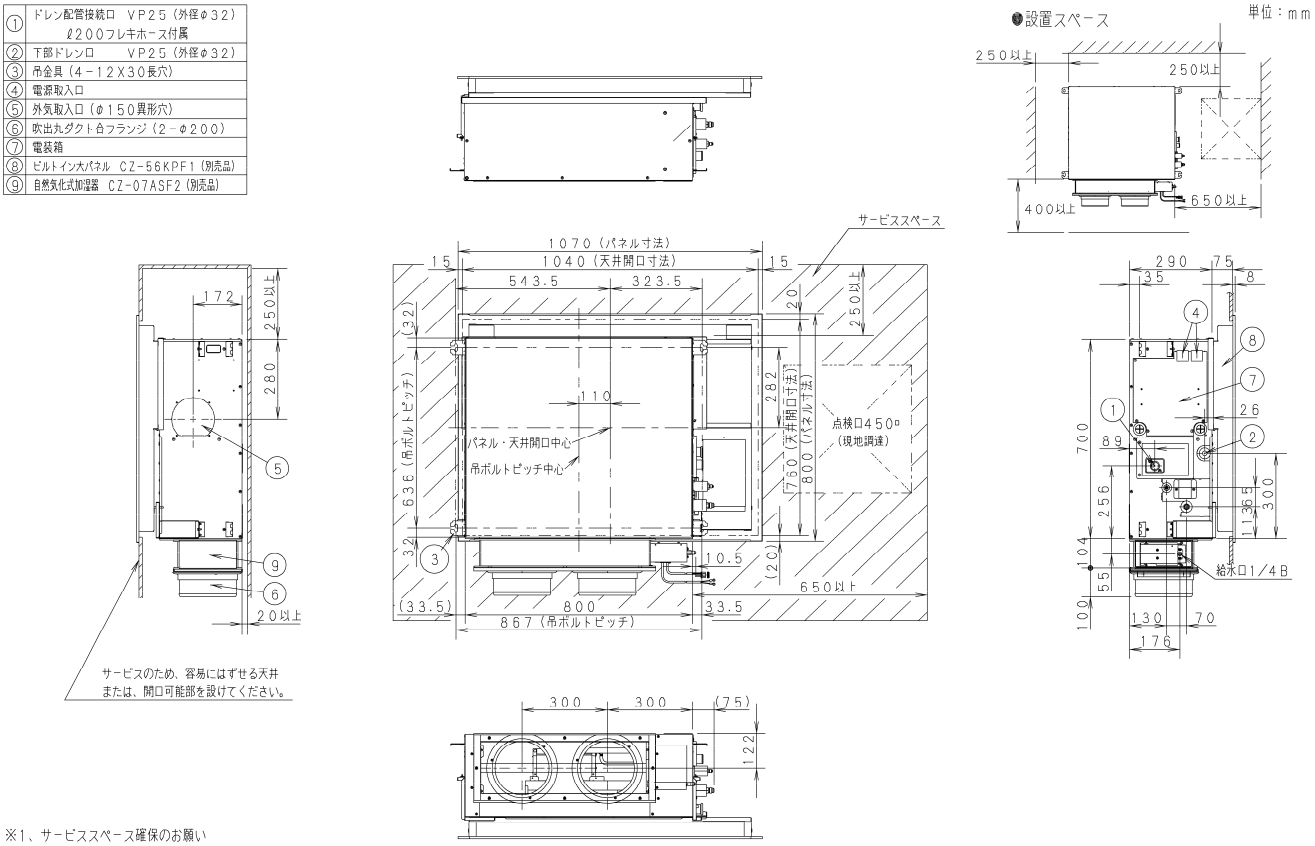


※1、サービススペース確保のお願い
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

■大パネル標準タイプ（CZ-56KPF1）・自然気化式加湿器（CZ-07ASF2）

●S-G22・28・36・45・56FS2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（2－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン大パネル　CZ-56KPF1（別売品）
⑨	自然気化式加湿器　CZ-07ASF2（別売品）

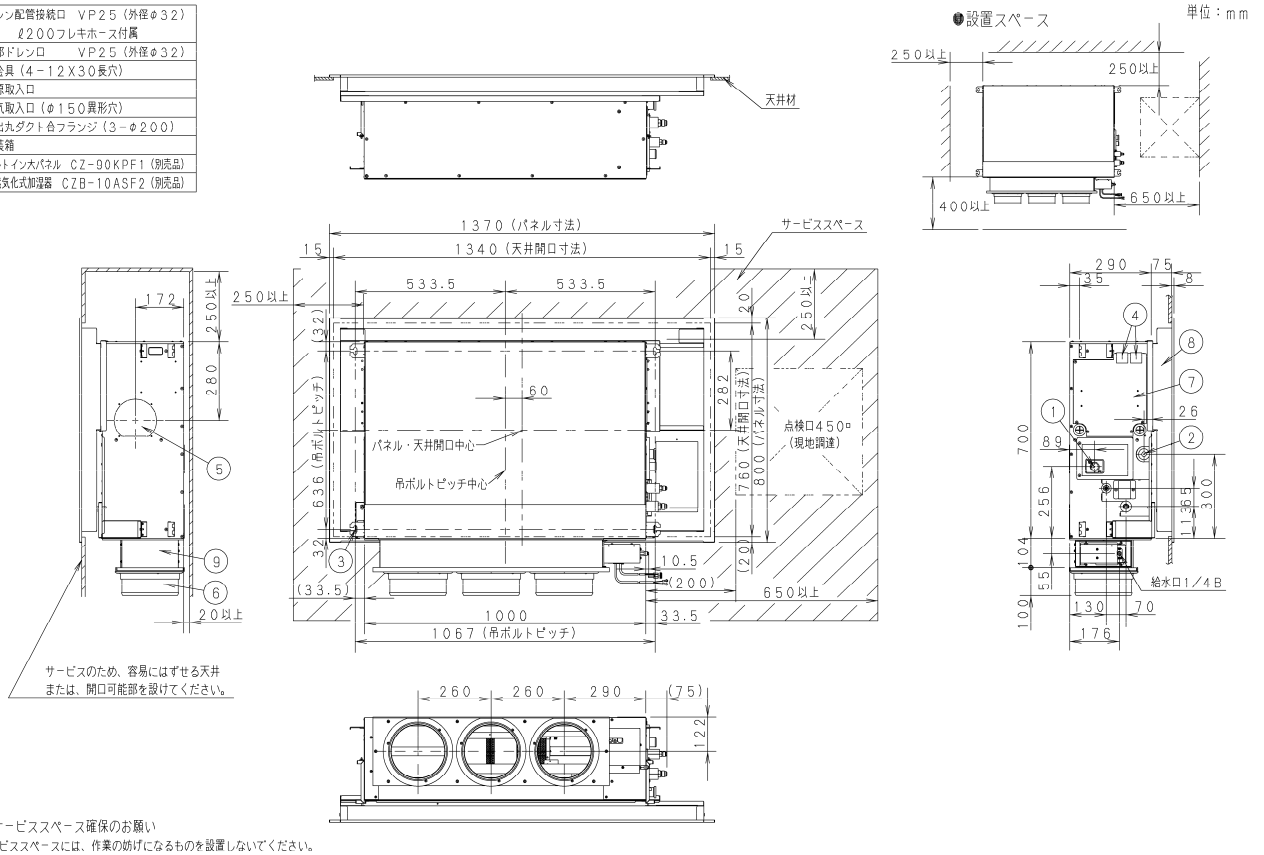


※1、サービススペース確保のお願い
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

■大パネル標準タイプ（CZ-90KPF1）・自然気化式加湿器（CZ-10ASF2）

●S-G71・90FS2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（3－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン大パネル　CZ-90KPF1（別売品）
⑨	自然気化式加湿器　CZB-10ASF2（別売品）



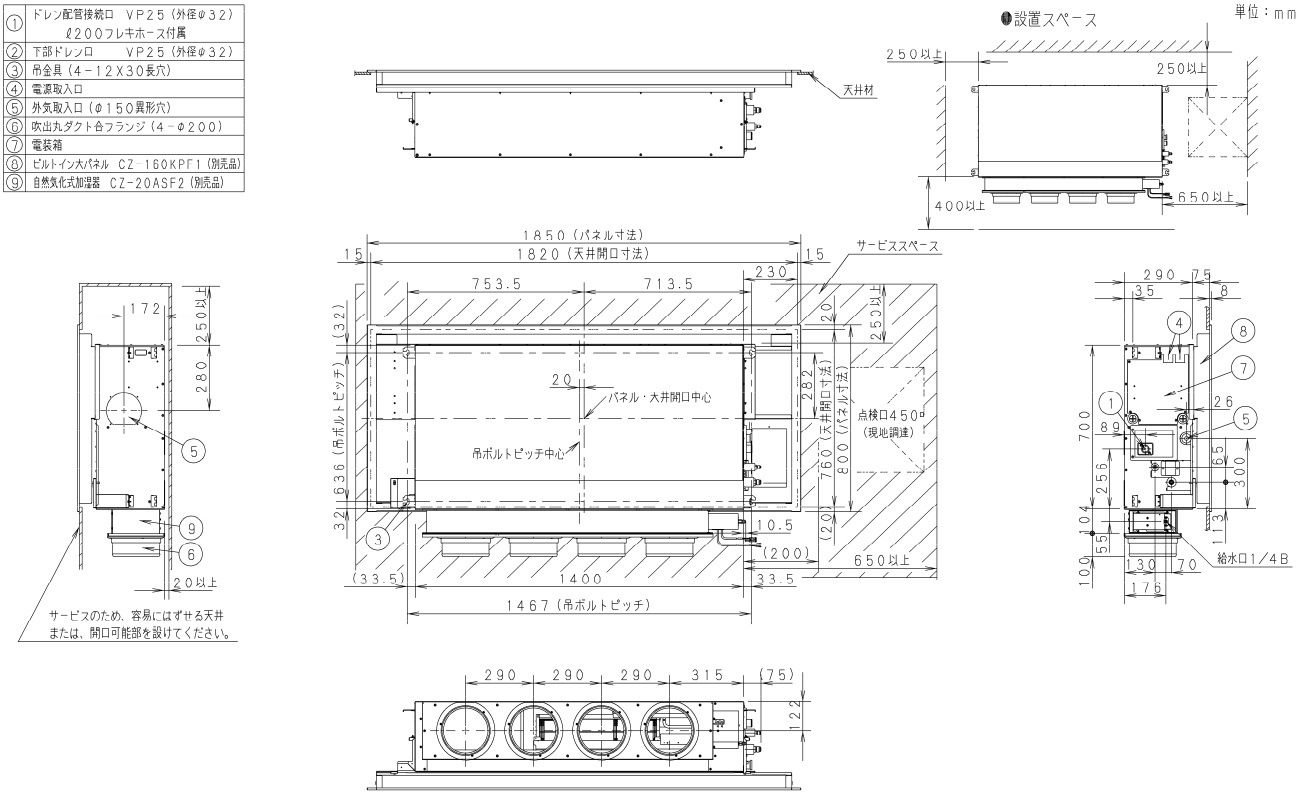
※1、サービススペース確保のお願い
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

■大パネル標準タイプ（CZ-160KPF1）・自然気化式加湿器（CZ-20ASF2）

●S-G112・140・160FS2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（4－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン大パネル　CZ－160KPF1（別売品）
⑨	自然気化式加湿器　CZ-20ASF2（別売品）

単位：mm

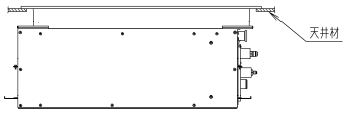


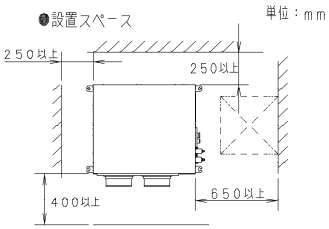
※1、サービススペース確保のお願い
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

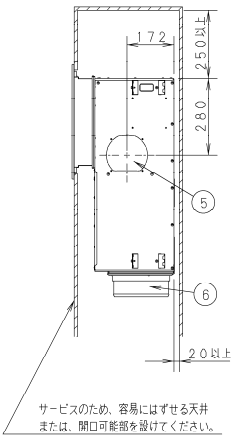
■小パネル標準タイプ（CZ-02HPF3）

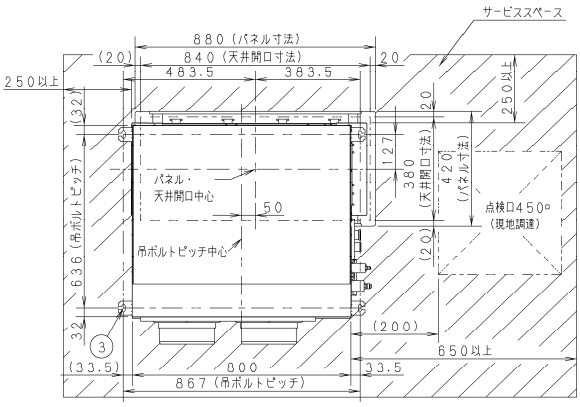
●S-G22 ～ 56FS2

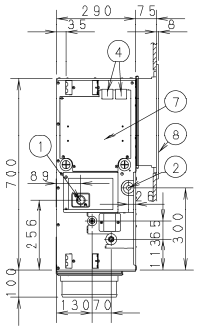
①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（2－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル　CZ-02HPF3（別売品）

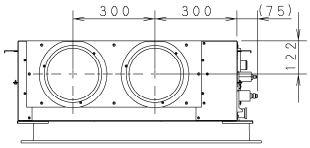










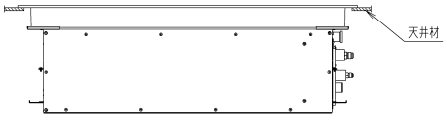


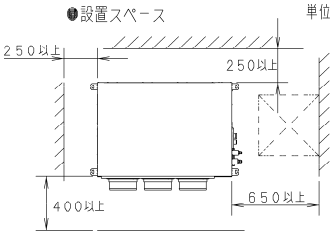
※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル（CZ－56KPF1）を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

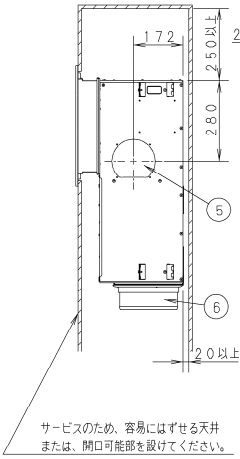
■小パネル標準タイプ（CZ-03HPF3）

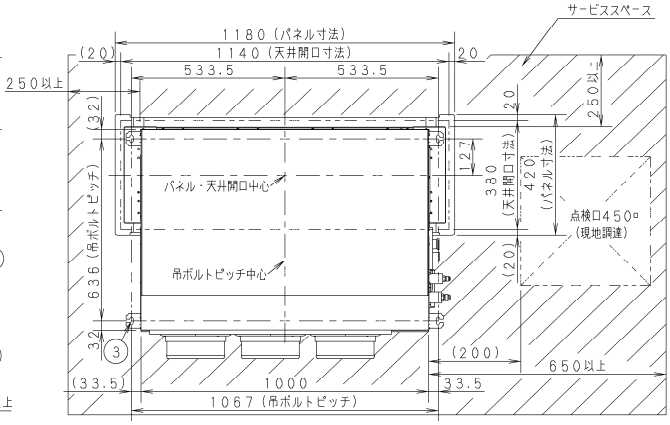
●S-G71・90FS2

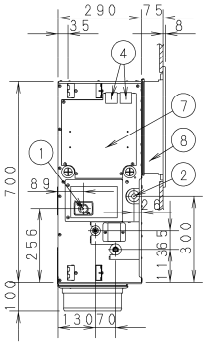
①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（3－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル　CZ-03HPF3（別売品）

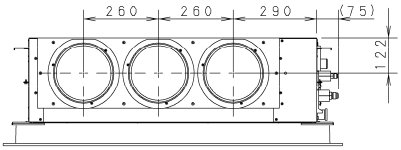












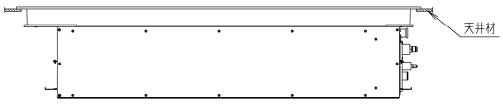
※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル（CZ－90KPF1）を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

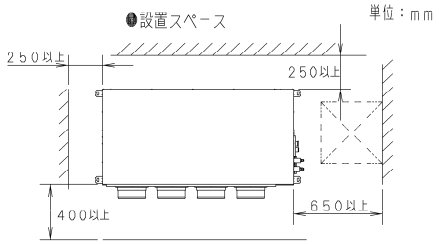
■小パネル標準タイプ（CZ-06HPF3）

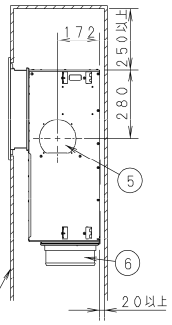
●S-G112 ～ 160FS2

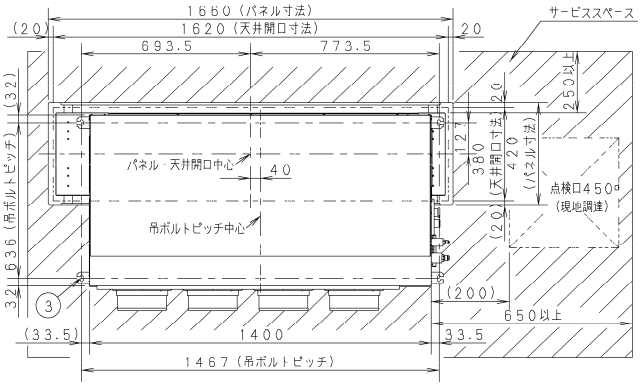
①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（4－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル　CZ　06IIPF3（別売品）

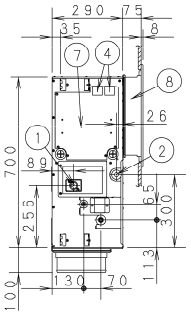
単位：mm



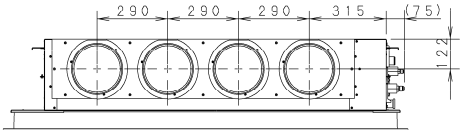








サービスのため、容易にはずせる天井
または、開口可能部を設けてください。

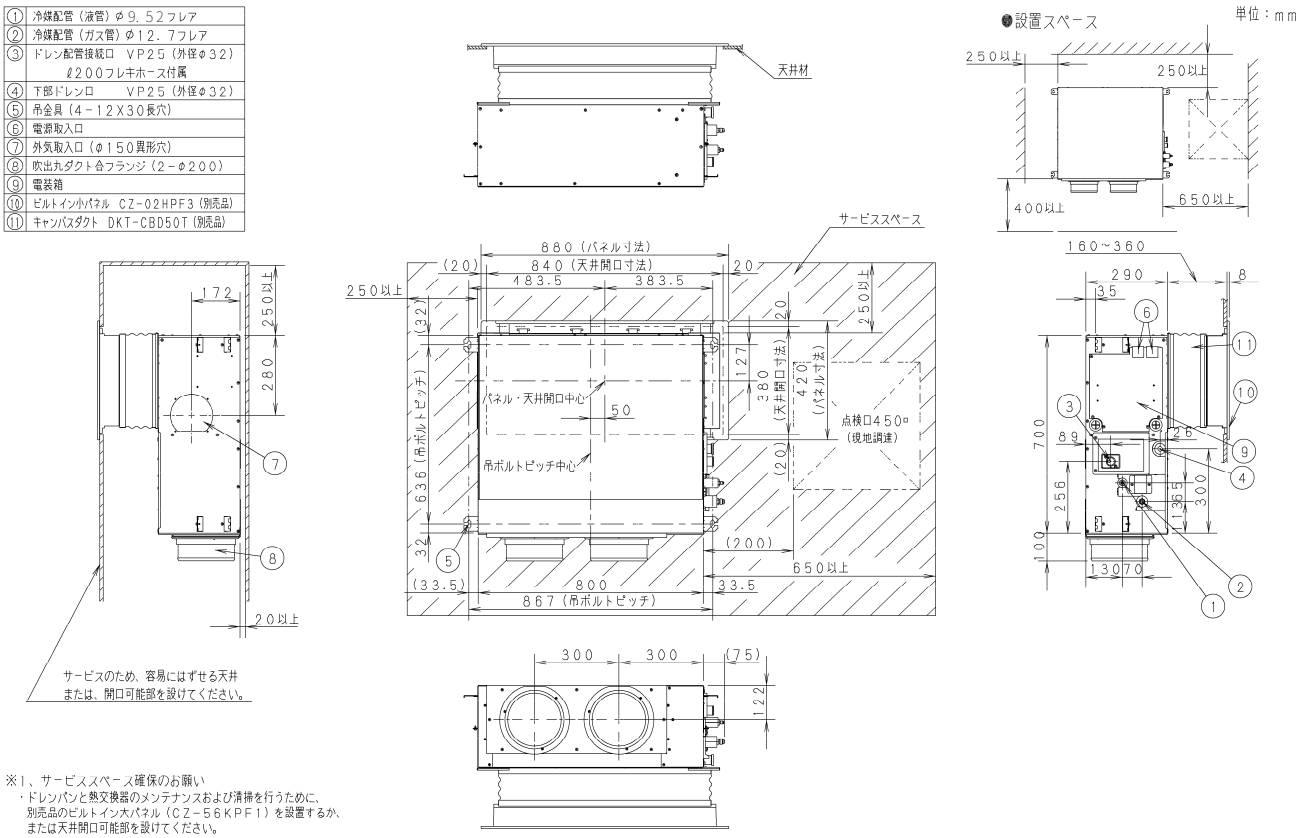


※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル（CZ－16OKPF1）を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

■小パネル（CZ-02HPF3）・キャンバスダクト（DKT-CBD50T）

●S-G22 ～ 56FS2

①	冷媒配管（液管）φ9．52フレア
②	冷媒配管（ガス管）φ12．7フレア
③	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4－12X30長穴）
⑥	電源取入口
⑦	外気取入口（φ150異形穴）
⑧	吹出丸ダクト合フランジ（2－φ200）
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン小パネル　CZ-02HPF3（別売品）
⑪	キャンバスダクト　DKT-CBD50T（別売品）

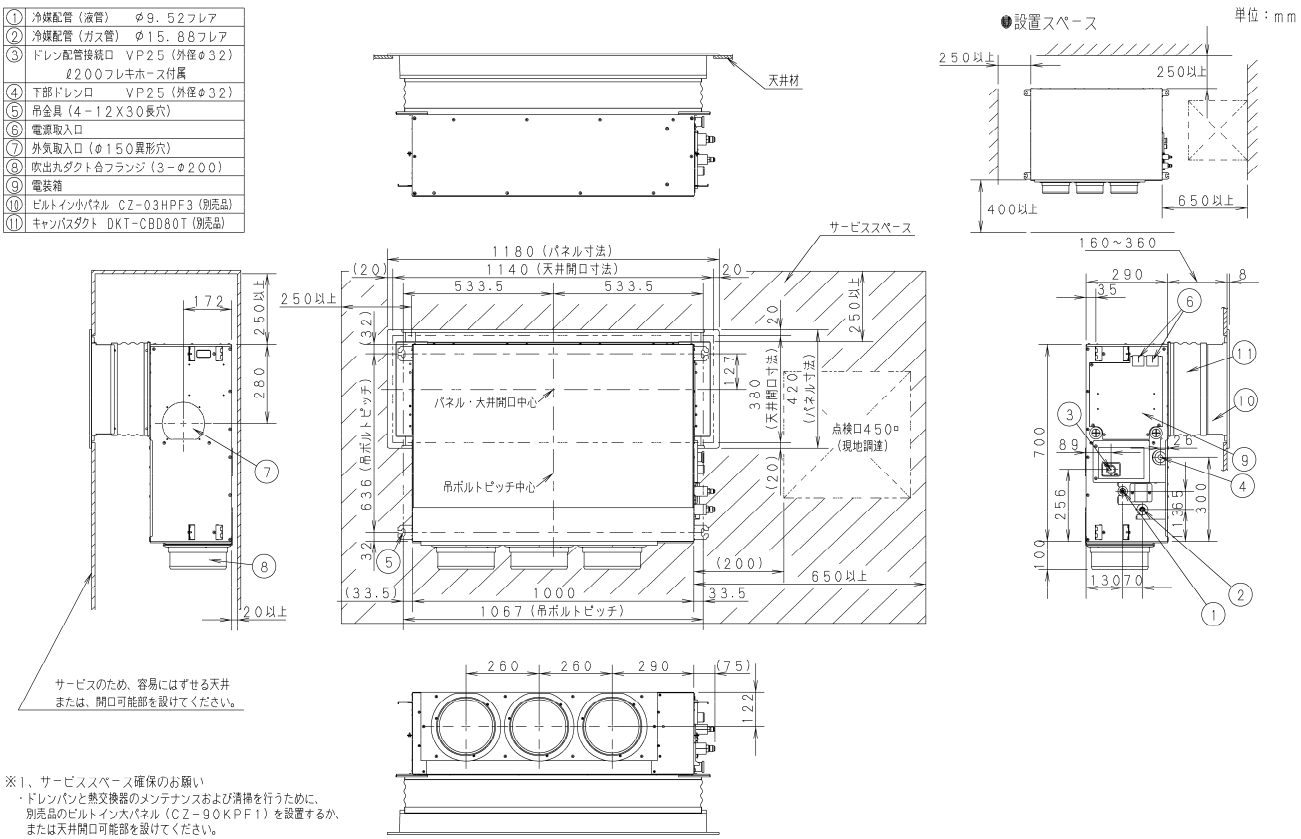


※1．サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル（CZ－56KPF1）を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

■小パネル（CZ-03HPF3）・キャンバスダクト（DKT-CBD80T）

●S-G71・90FS2

①	冷媒配管（液管）　φ9．52フレア
②	冷媒配管（ガス管）　φ15．88フレア
③	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
④	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4－12X30長穴）
⑥	電源取入口
⑦	外気取入口（φ150異形穴）
⑧	吹出丸ダクト合フランジ（3－φ200）
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン小パネル　CZ-03HPF3（別売品）
⑪	キャンバスダクト　DKT-CBD80T（別売品）



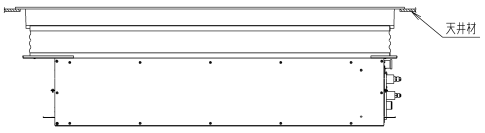
※1．サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル（CZ－90KPF1）を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

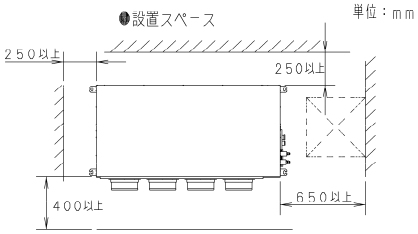
■小パネル（CZ-06HPF3）・キャンバスダクト（DKT-CBD140T）

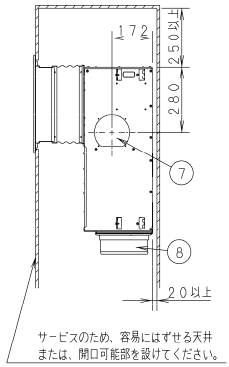
●S-G112 ～ 160FS2

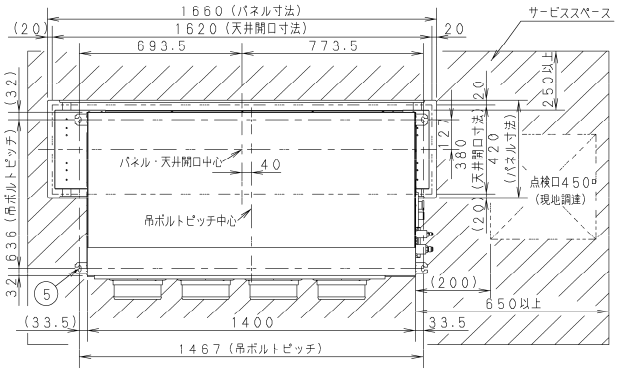
①	冷媒配管（液管）　φ9．52フレア
②	冷媒配管（ガス管）　φ15．88フレア
③	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
④	下部ドレン口　VP25（外径φ32）
⑤	吊金具（4－12X30長穴）
⑥	電源取入口
⑦	外気取入口（φ150異形穴）
⑧	吹出丸ダクト合フランジ（4－φ200）
⑨	電装箱
⑩	ビルトイン小パネル　CZ-04HPF3（別売品）
⑪	キャンバスダクト　DKT-CBD140T（別売品）

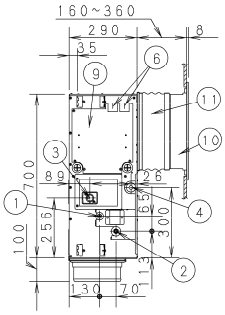
単位：mm

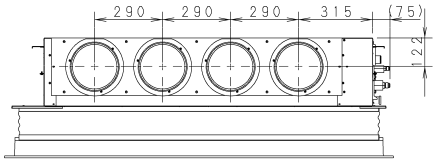










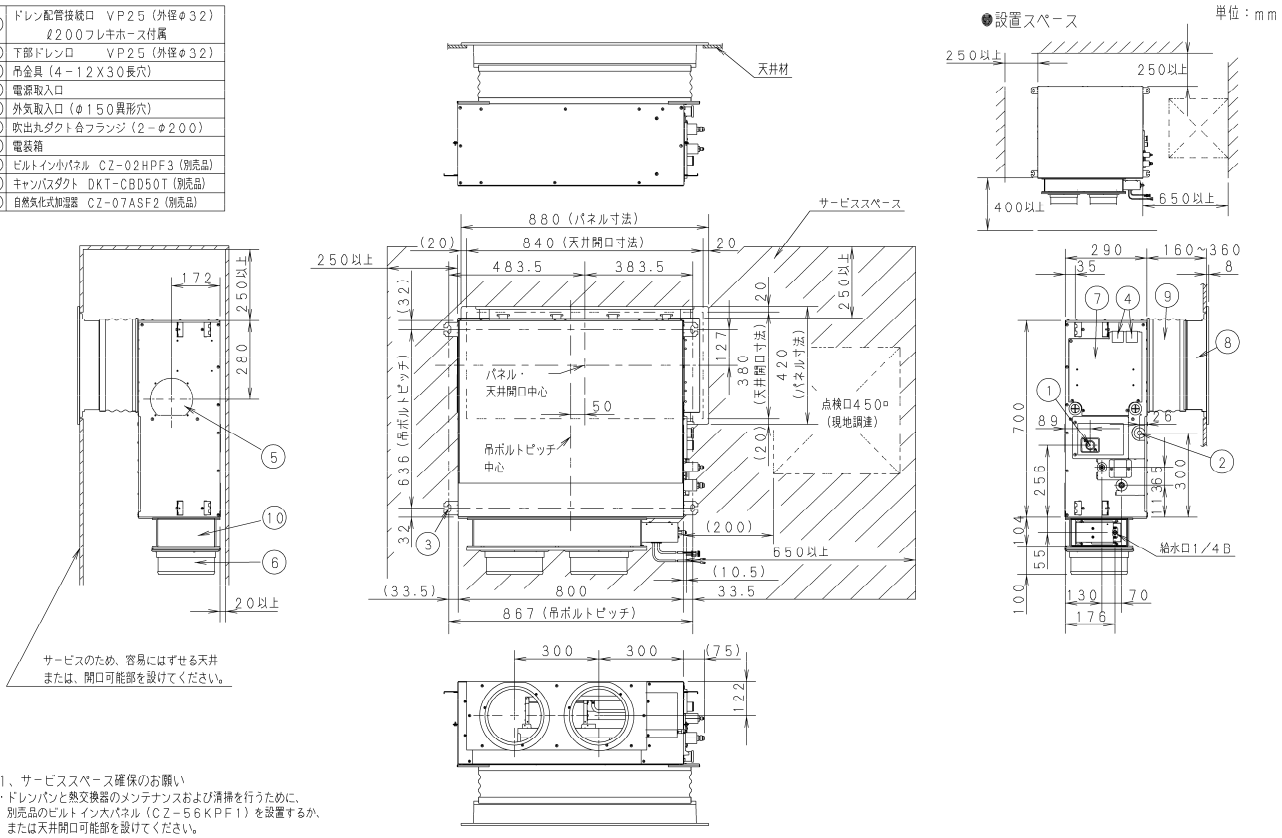


※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル（CZ－160KPF1）を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

■小パネル（CZ-02HPF3）・キャンバスダクト（DKT-CBD50T）
自然気化式加湿器（CZ-07ASF2）

●S-G22 ～ 56FS2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（2－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル　CZ-02HPF3（別売品）
⑨	キャンバスダクト　DKT-CBD50T（別売品）
⑩	自然気化式加湿器　CZ-07ASF2（別売品）

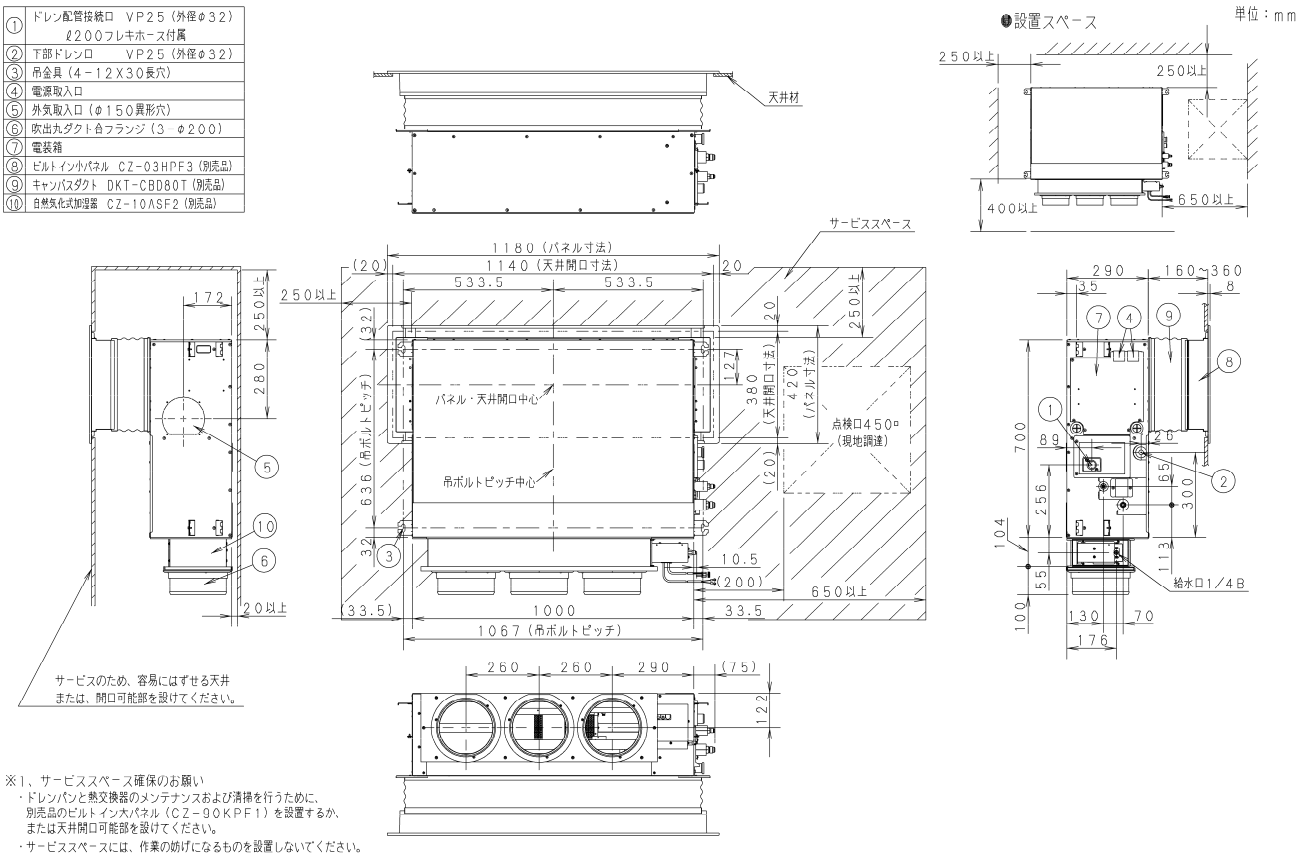


※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル（CZ－56KPF1）を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

■小パネル（CZ-03HPF3）・キャンバスダクト（DKT-CBD80T）
自然気化式加湿器（CZ-10ASF2）

●S-G71・90FS2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（3　φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル　CZ-03HPF3（別売品）
⑨	キャンバスダクト　DKT-CBD80T（別売品）
⑩	自然気化式加湿器　CZ-10ASF2（別売品）

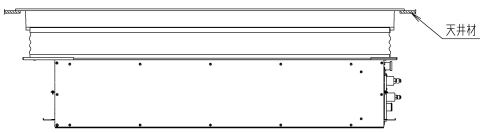


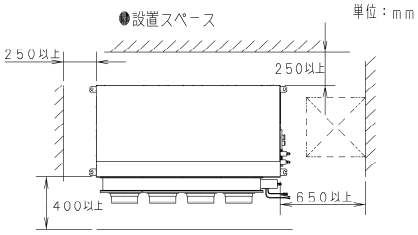
※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル（CZ－90KPF1）を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

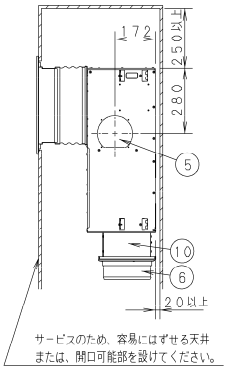
■小パネル（CZ-06HPF3）・キャンバスダクト（DKT-CBD140T）
自然気化式加湿器（CZ-20ASF2）

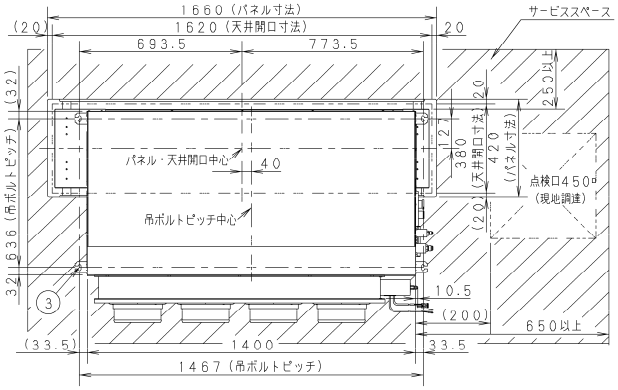
●S-G112 ～ 160FS2

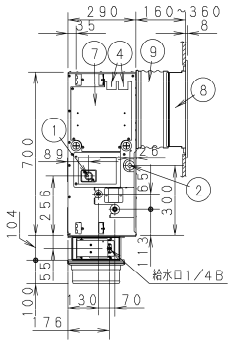
①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（4－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル　CZ－06HPF3（別売品）
⑨	キャンバスダクト　DKT－CBD140T（別売品）
⑩	自然気化式加湿器　CZ－20ASF2（別売品）

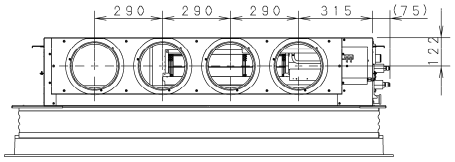










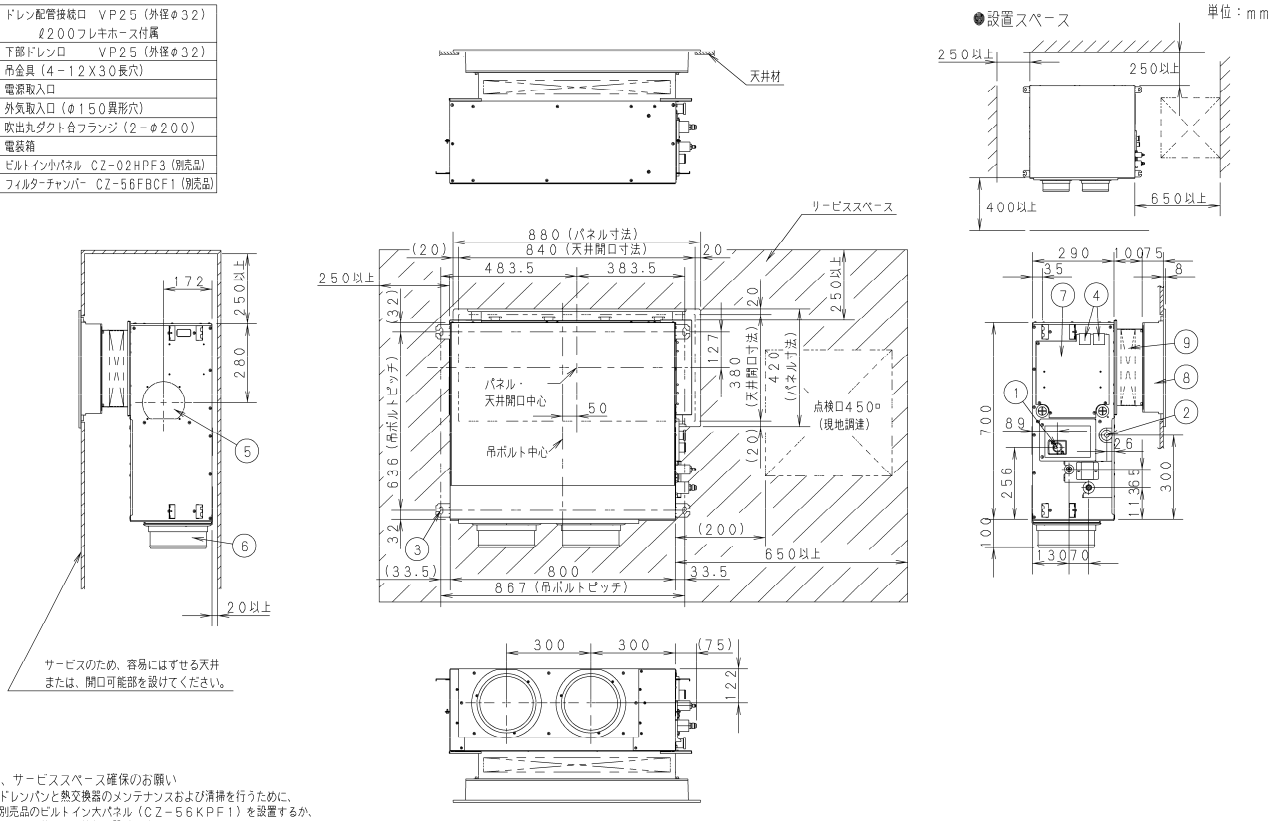


※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル（CZ－160KPF1）を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

■小パネル（CZ-02HPF3）・フィルターチャンバー（CZ-56FBCF1）

●S-G22 ～ 56FS2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（2－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル　CZ-02HPF3（別売品）
⑨	フィルターチャンバー　CZ-56FBCF1（別売品）

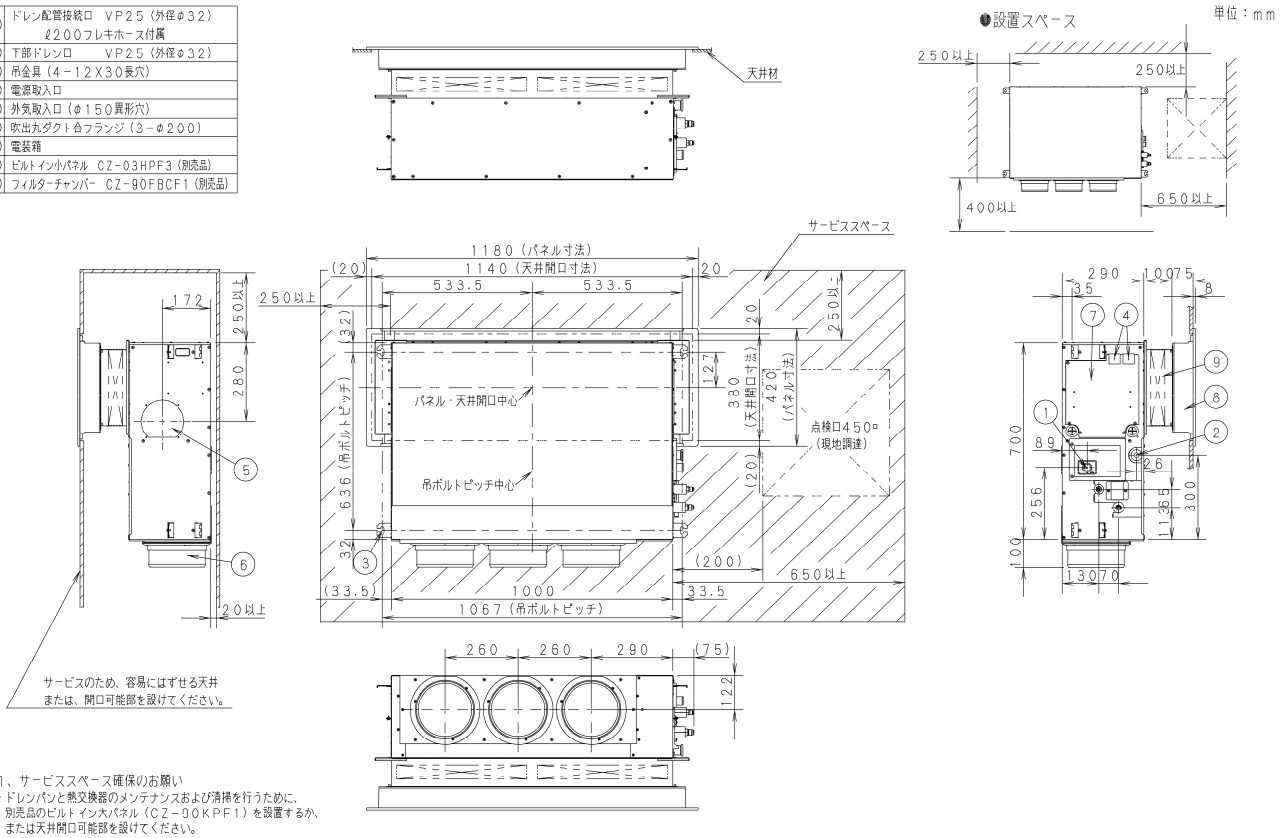


※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル（CZ－56KPF1）を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

■小パネル（CZ-03HPF3）・フィルターチャンバー（CZ-90FBCF1）

●S-G71・90FS2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（3－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル　CZ-03HPF3（別売品）
⑨	フィルターチャンバー　CZ-90FBCF1（別売品）



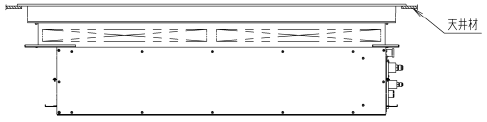
※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル（CZ－90KPF1）を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

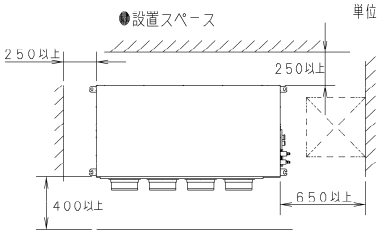
■小パネル（CZ-06HPF3）・フィルターチャンバー（CZ-160FBCF1）

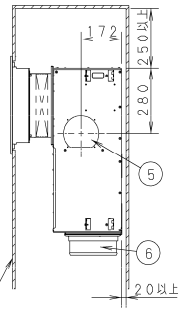
●S-G112 ～ 160FS2

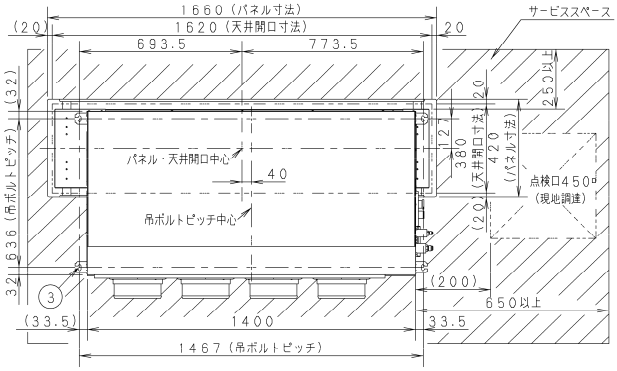
①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（4－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトインパネル　CZ-06HPF3（別売品）
⑨	フィルターチャンバー　CZ-160FBCF1（別売品）

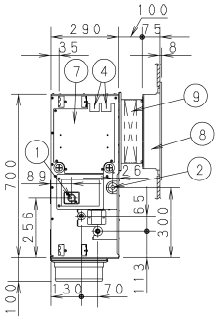
単位：mm



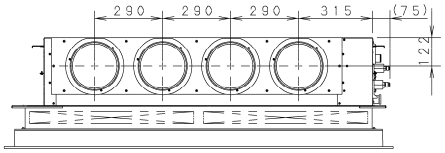








サービスのため、容易にはずせる天井
または、開口可能部を設けてください。

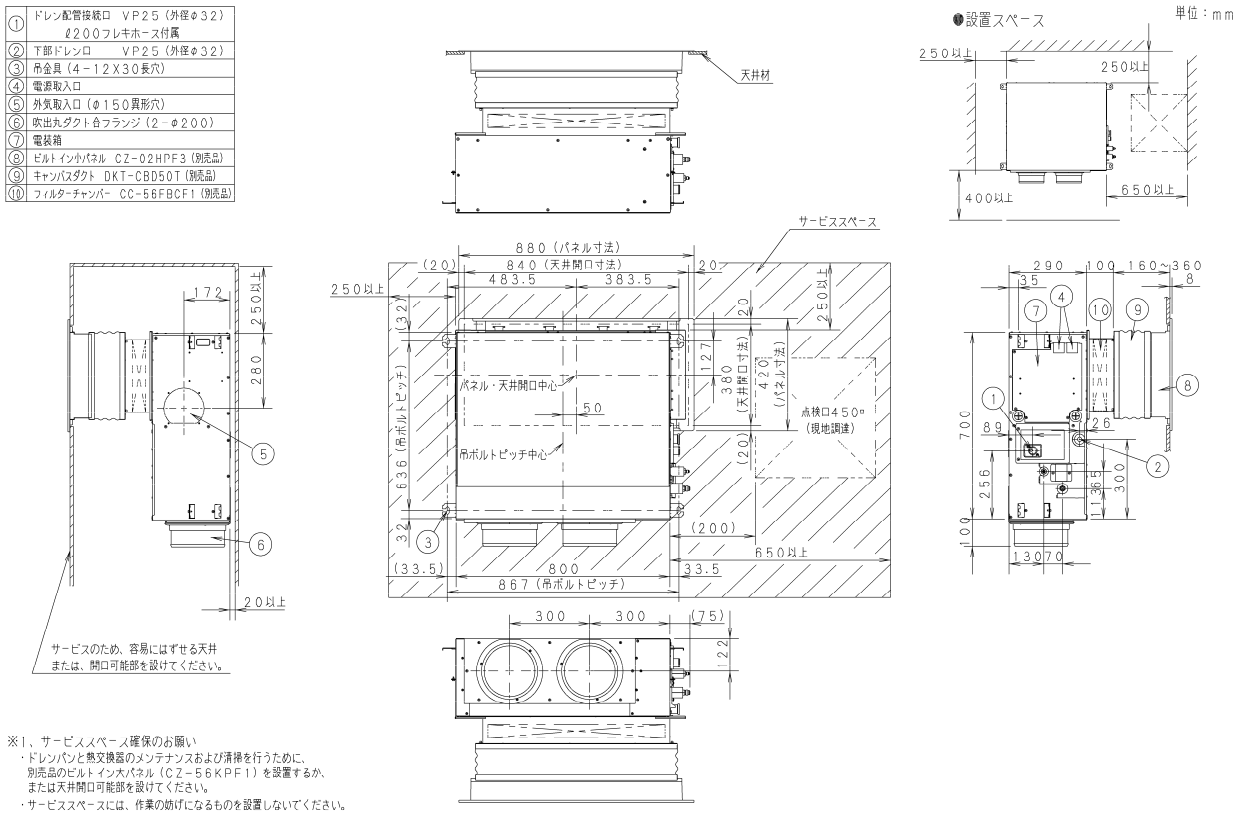


※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル（CZ－160KPF1）を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

■小パネル（CZ-02HPF3）・フィルターチャンバー（CZ-56FBCF1）キャンバスダクト（DKT-CBD50T）

●S-G22 ～ 56FS2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32）ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（2－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル　CZ-02HPF3（別売品）
⑨	キャンバスダクト　DKT-CBD50T（別売品）
⑩	フィルターチャンバー　CC-56FBCF1（別売品）

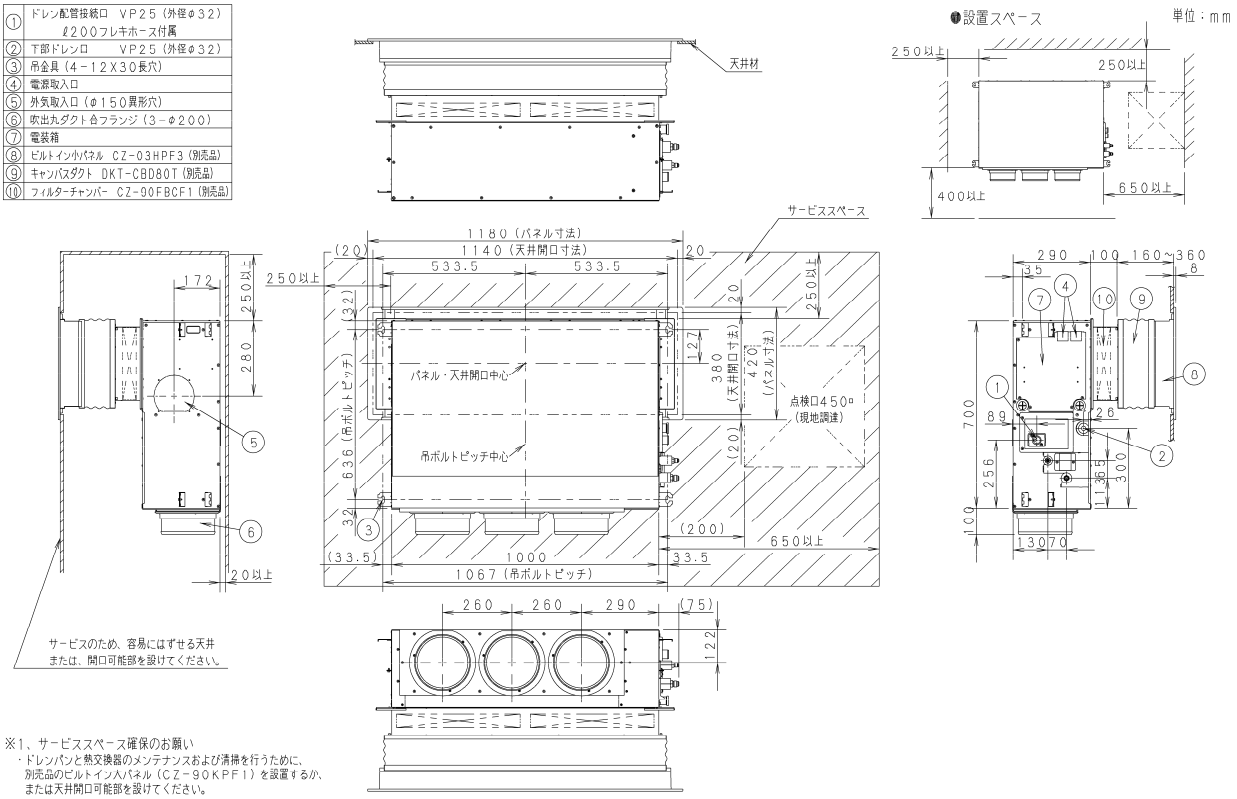


※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、別売品のビルトイン大パネル（CZ－56KPF1）を設置するか、または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

■小パネル（CZ-03HPF3）・フィルターチャンバー（CZ-90FBCF1）キャンバスダクト（DKT-CBD80T）

●S-G71・90FS2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32）ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（3－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル　CZ-03HPF3（別売品）
⑨	キャンバスダクト　DKT-CBD80T（別売品）
⑩	フィルターチャンバー　CZ-90FBCF1（別売品）



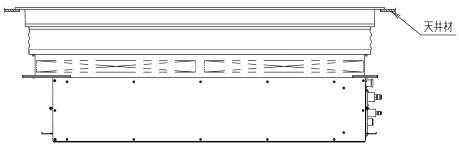
※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、別売品のビルトイン小パネル（CZ－90KPF1）を設置するか、または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

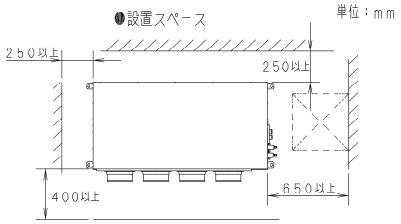
■小パネル（CZ-06HPF3）・フィルターチャンバー（CZ-160FBCF1）
キャンバスダクト（DKT-CBD140T）

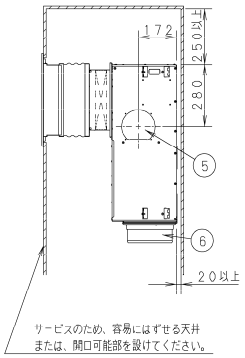
●S-G112 ～ 160FS2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） L200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（4－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル　CZ-06HPF3（別売品）
⑨	キャンバスダクト　DKT-CBD140T（別売品）
⑩	フィルターチャンバー　CZ-160FBCF1（別売品）

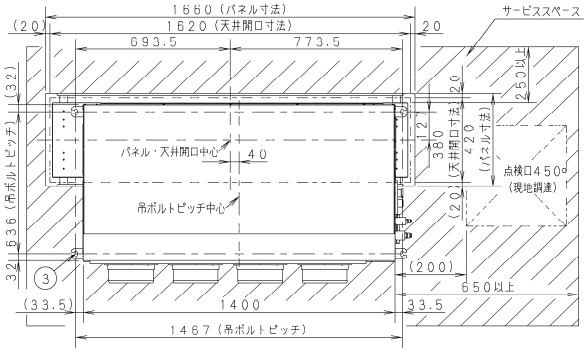
単位：mm

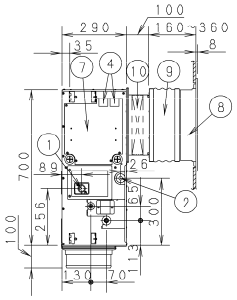


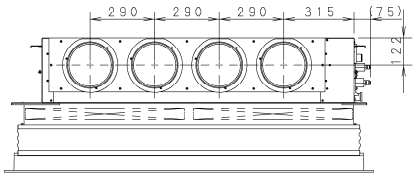




サービスのため、容易にはずせる天井
または、開口可能部を設けてください。





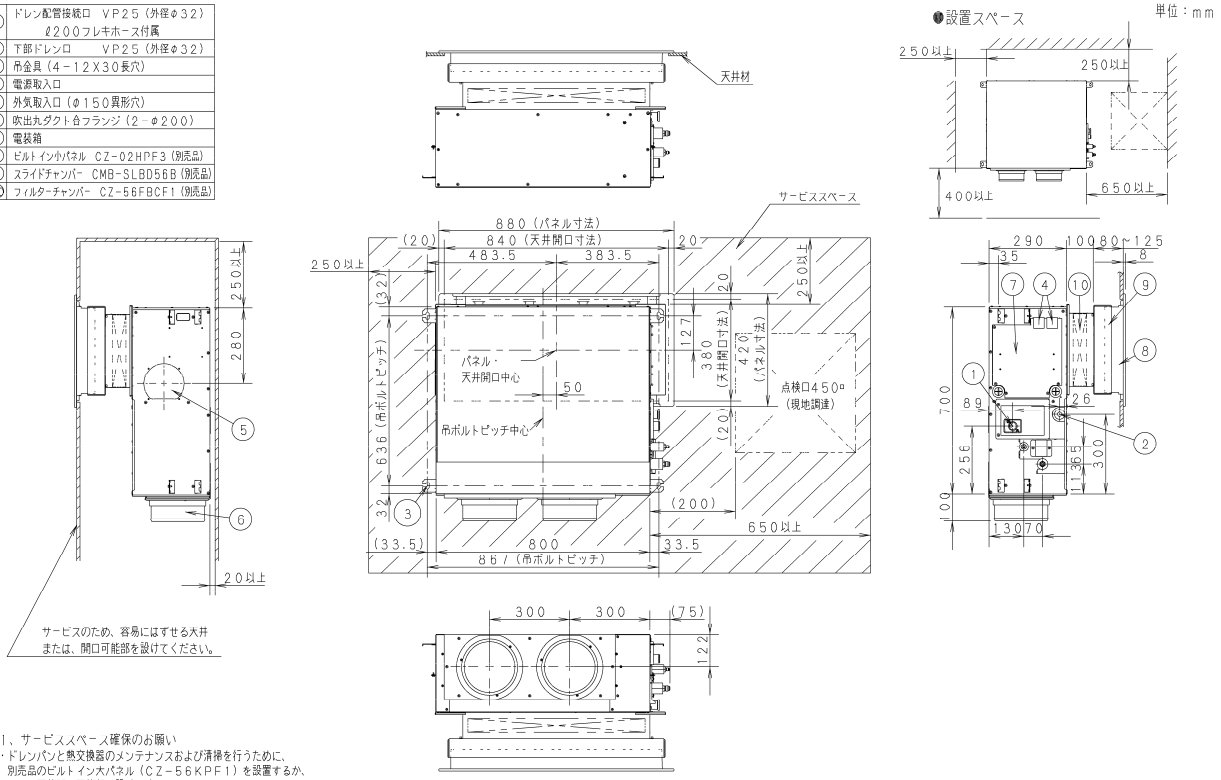


※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル（CZ－160KPF1）を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

■小パネル（CZ-02HPF3）・フィルターチャンバー（CZ-56FBCF1）スライドチャンバー（CMB-SLBD56B）

●S-G22 ～ 56FS2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32）ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（2－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル　CZ-02HPF3（別売品）
⑨	スライドチャンバー　CMB-SLBD56B（別売品）
⑩	フィルターチャンバー　CZ-56FBCF1（別売品）

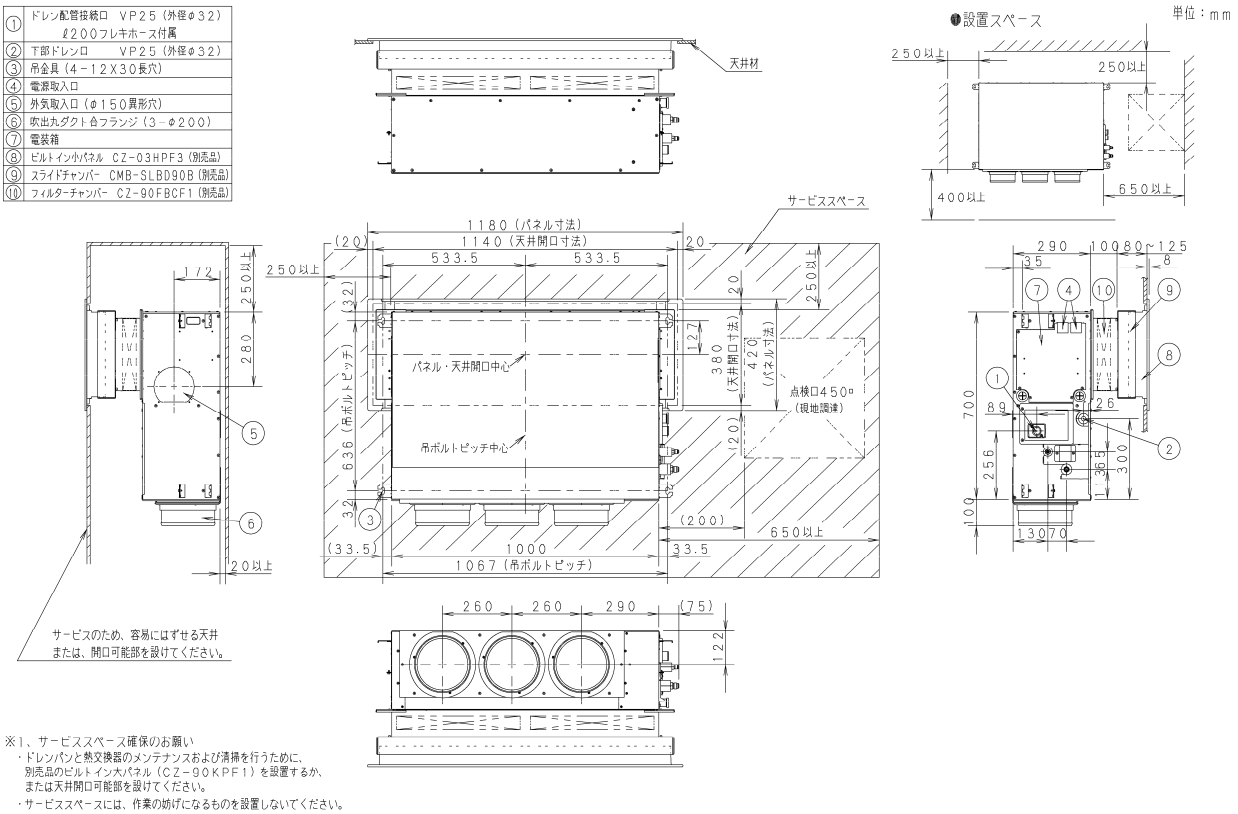


※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、別売品のビルトイン大パネル（CZ－56KPF1）を設置するか、または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

■小パネル（CZ-03HPF3）・フィルターチャンバー（CZ-90FBCF1）スライドチャンバー（CMB-SLBD90B）

●S-G71・90FS2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32）ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（3－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル　CZ-03HPF3（別売品）
⑨	スライドチャンバー　CMB-SLBD90B（別売品）
⑩	フィルターチャンバー　CZ-90FBCF1（別売品）

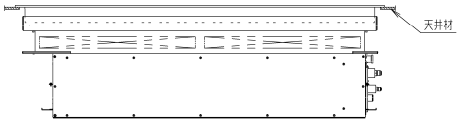


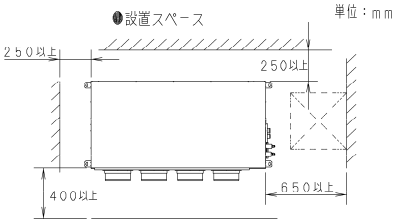
※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、別売品のビルトイン大パネル（CZ－90KPF1）を設置するか、または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

■小パネル（CZ-06HPF3）・フィルターチャンバー（CZ-160FBCF1）
スライドチャンバー（CMB-SLBD160B）

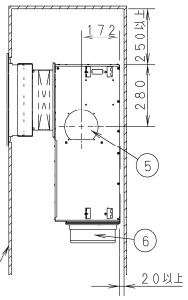
●S-G112 ～ 160FS2

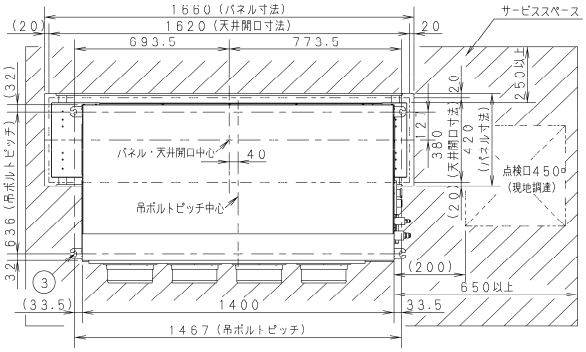
①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（4－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル　CZ-06HPF3（別売品）
⑨	スライドチャンバー　CMB-SLBD160B（別売品）
⑩	フィルターチャンバー　CZ-160FBCF1（別売品）

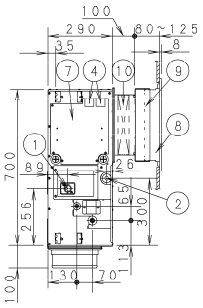




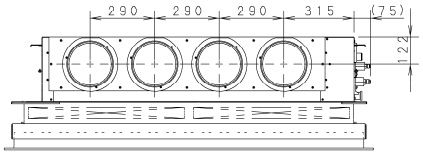
単位：mm







サービスのため、容易にはずせる天井
または、開口可能部を設けてください。

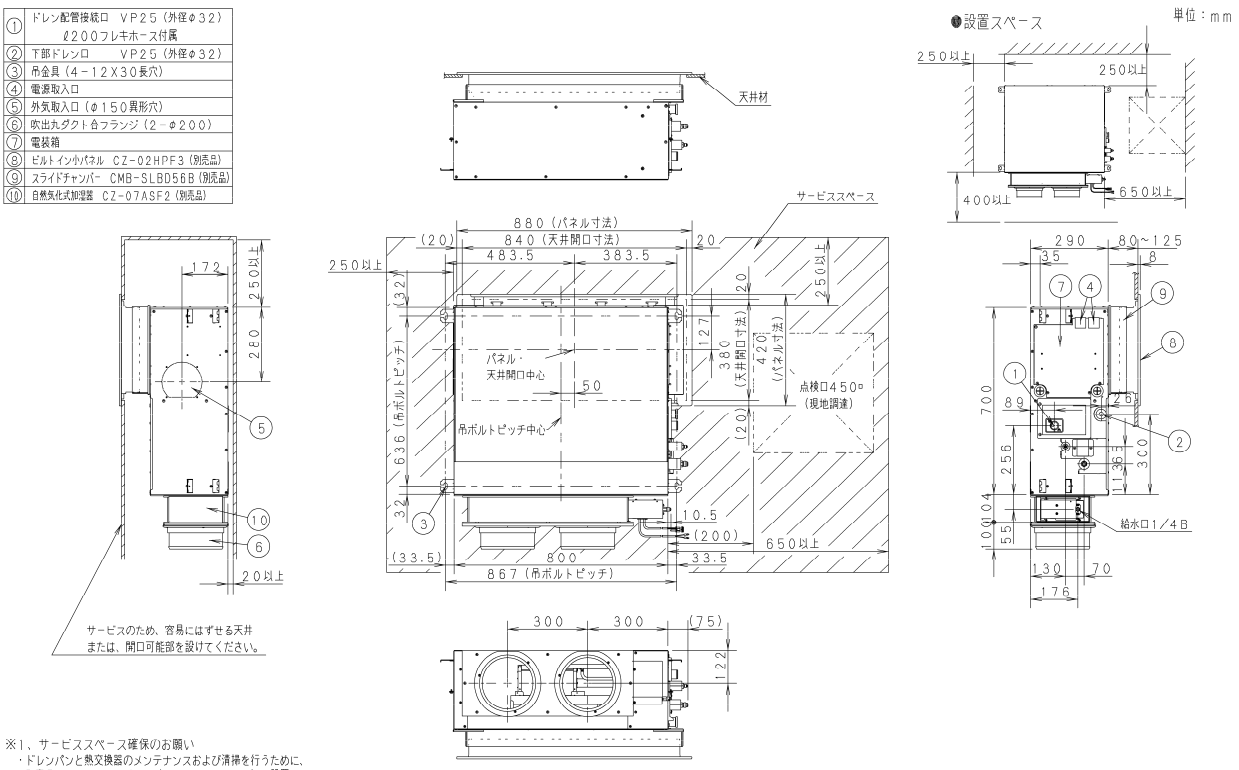


※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル（CZ－16GKPF1）を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

■小パネル（CZ-02HPF3）・自然気化式加湿器（CZ-07ASF2）
スライドチャンバー（CMB-SLBD56B）

●S-G22 ～ 56FS2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（2－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル　CZ-02HPF3（別売品）
⑨	スライドチャンバー　CMB-SLBD56B（別売品）
⑩	自然気化式加湿器　CZ-07ASF2（別売品）

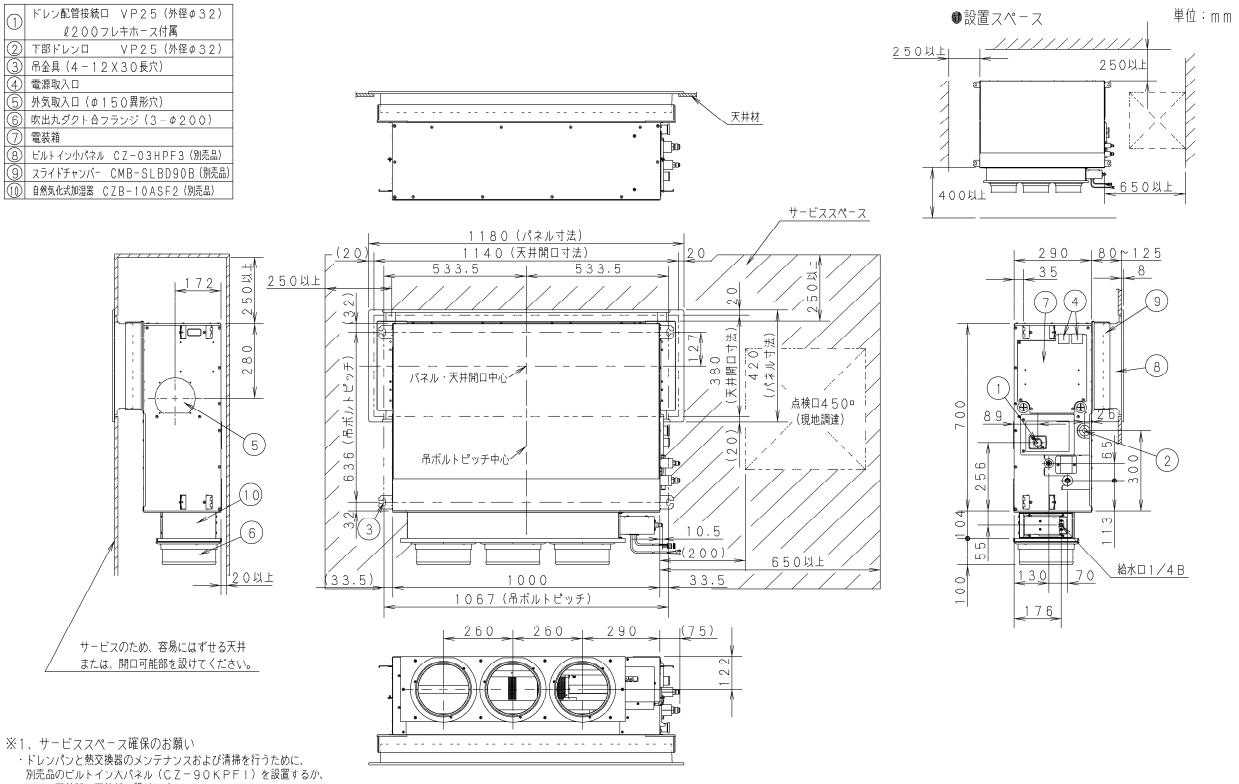


※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル（CZ－56KPF1）を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

■小パネル（CZ-03HPF3）・自然気化式加湿器（CZ-10ASF2）
スライドチャンバー（CMB-SLBD90B）

●S-G71・90FS2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（3－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトイン小パネル　CZ-03HPF3（別売品）
⑨	スライドチャンバー　CMB-SLBD90B（別売品）
⑩	自然気化式加湿器　CZB-10ASF2（別売品）



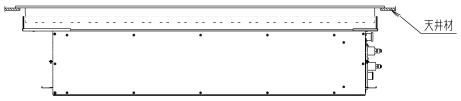
※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル（CZ－90KPF1）を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

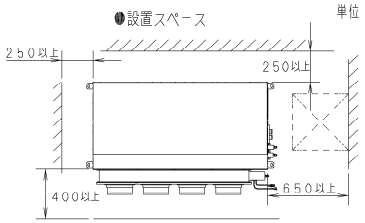
■小パネル（CZ-06HPF3）・自然気化式加湿器（CZ-20ASF2）
スライドチャンバー（CMB-SLBD160B）

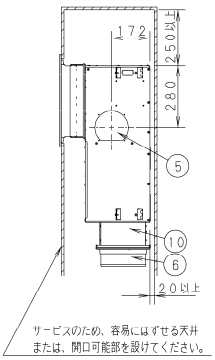
●S-G112 ～ 160FS1

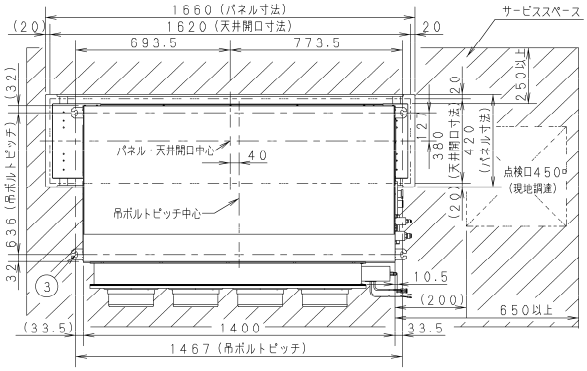
①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出丸ダクト合フランジ（4－φ200）
⑦	電装箱
⑧	ビルトインパネル　CZ-06HPF3（別売品）
⑨	スライドチャンバー　CMB-SLBD160B（別売品）
⑩	自然気化式加湿器　CZ-20ASF2（別売品）

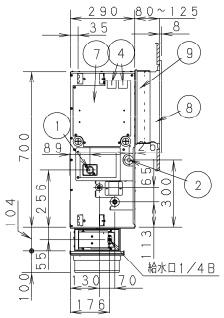
単位：mm

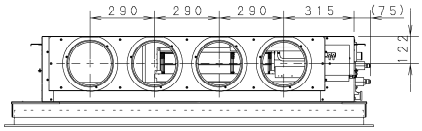












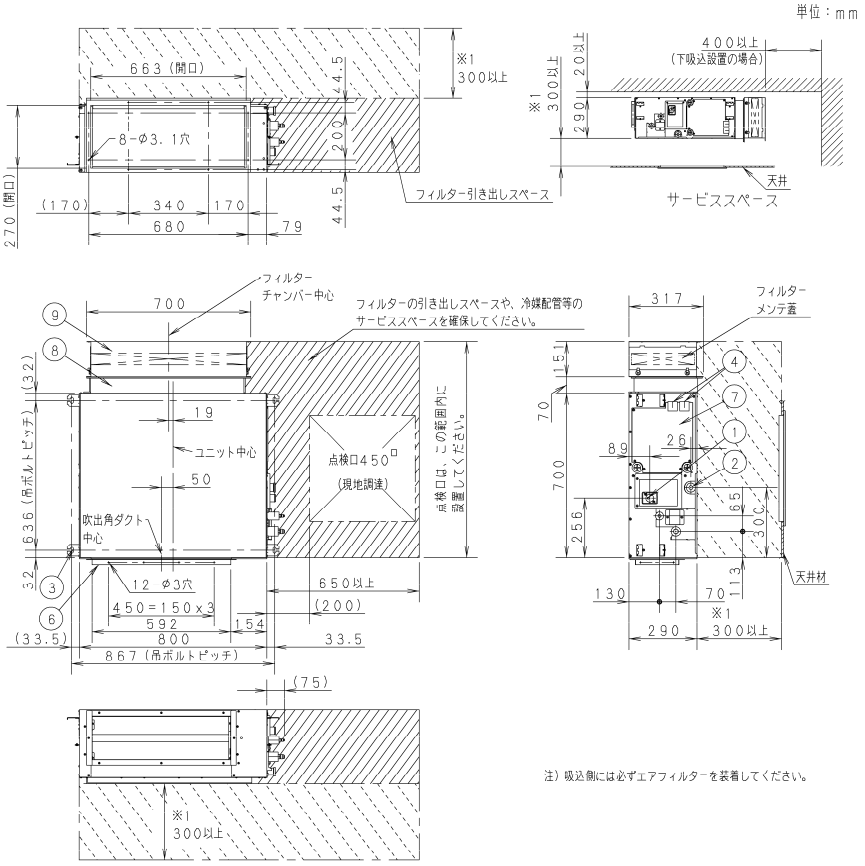
※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、
別売品のビルトイン大パネル（CZ－16GKPF1）を設置するか、
または天井開口可能部を設けてください。
・サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。

■フィルターチャンバー（CMB-FBU50T）・接続チャンバー（CZ-56SPF1）

●S-G28 ～ 56FES2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） L200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出角ダクト合フランジ
⑦	電装箱
⑧	接続チャンバー　CZ-56SPF1（別売品）
⑨	フィルターチャンバー　CMB-FBU50T（別売品）

単位：mm



※1、サービススペース確保のお願い
- ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
- 天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテパネル（PNR-MBD45RF）を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
- メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面と天井材とのスペースを300mm以上確保してください。

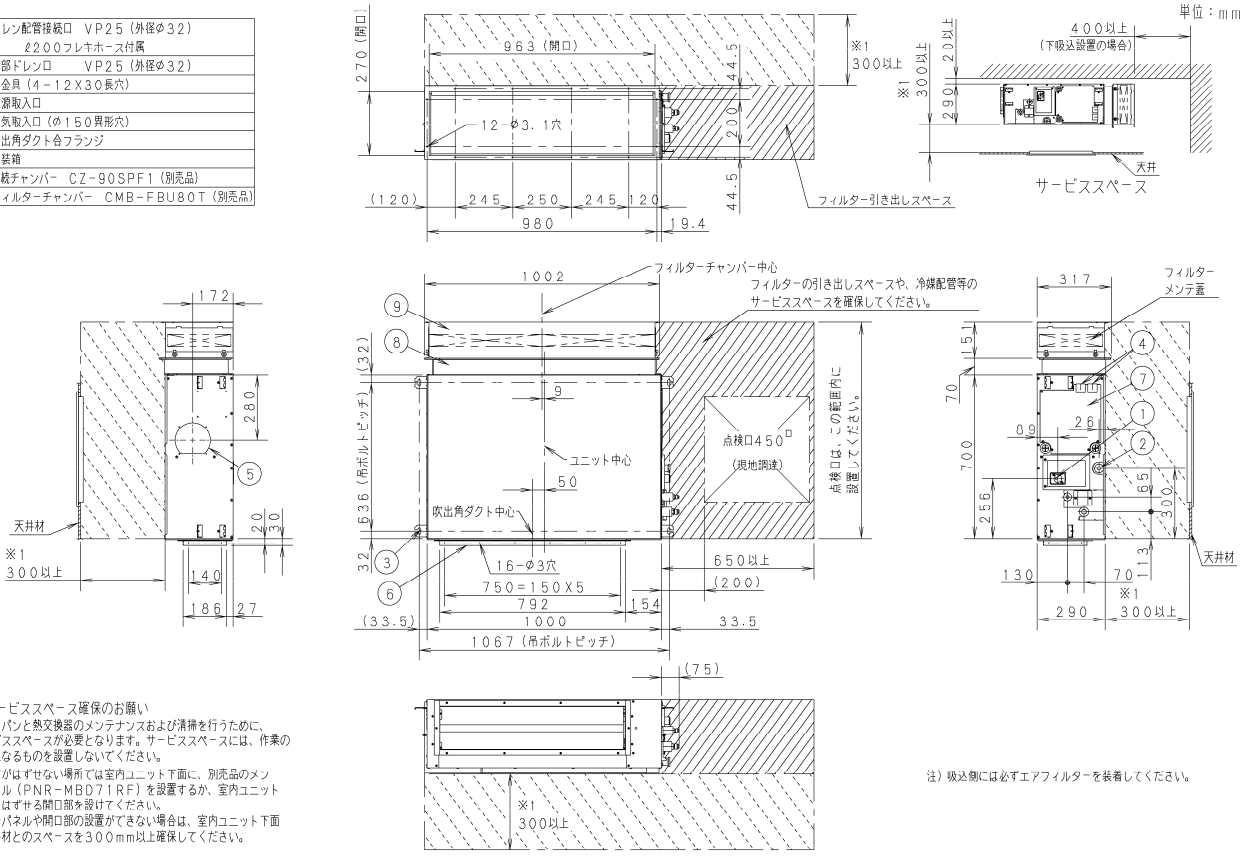
注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

■フィルターチャンバー（CMB-FBU80T）・接続チャンバー（CZ-90SPF1）

●S-G71・90FES2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） L200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出角ダクト合フランジ
⑦	電装箱
⑧	接続チャンバー　CZ-90SPF1（別売品）
⑨	フィルターチャンバー　CMB-FBU80T（別売品）

単位：mm



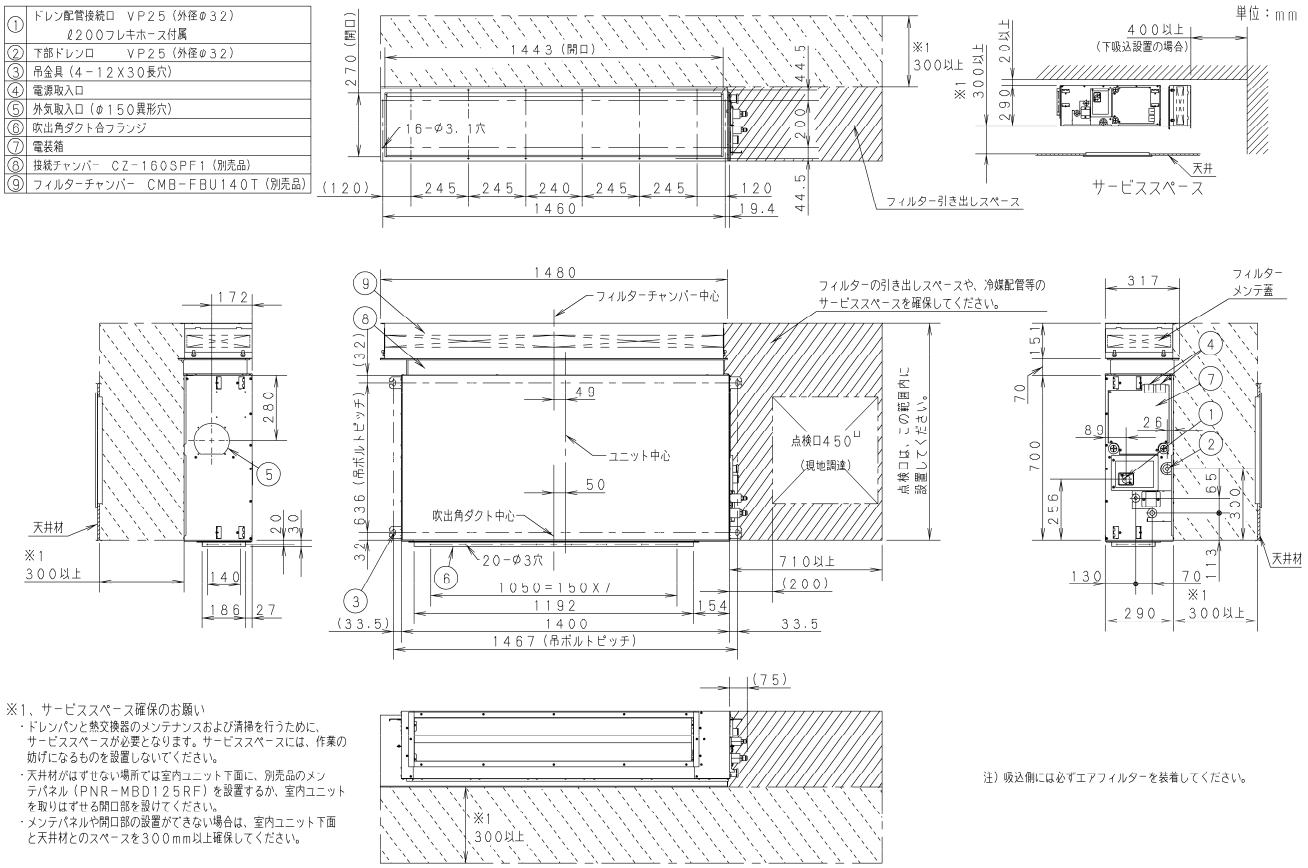
※1、サービススペース確保のお願い
- ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
- 天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテパネル（PNR-MBD71RF）を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
- メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面と天井材とのスペースを300mm以上確保してください。

注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

■フィルターチャンバー（CMB-FBU140T）・接続チャンバー（CZ-160SPF1）

●S-G112 ～ 160FES2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出角ダクト合フランジ
⑦	電装箱
⑧	接続チャンバー　CZ-160SPF1（別売品）
⑨	フィルターチャンバー　CMB-FBU140T（別売品）

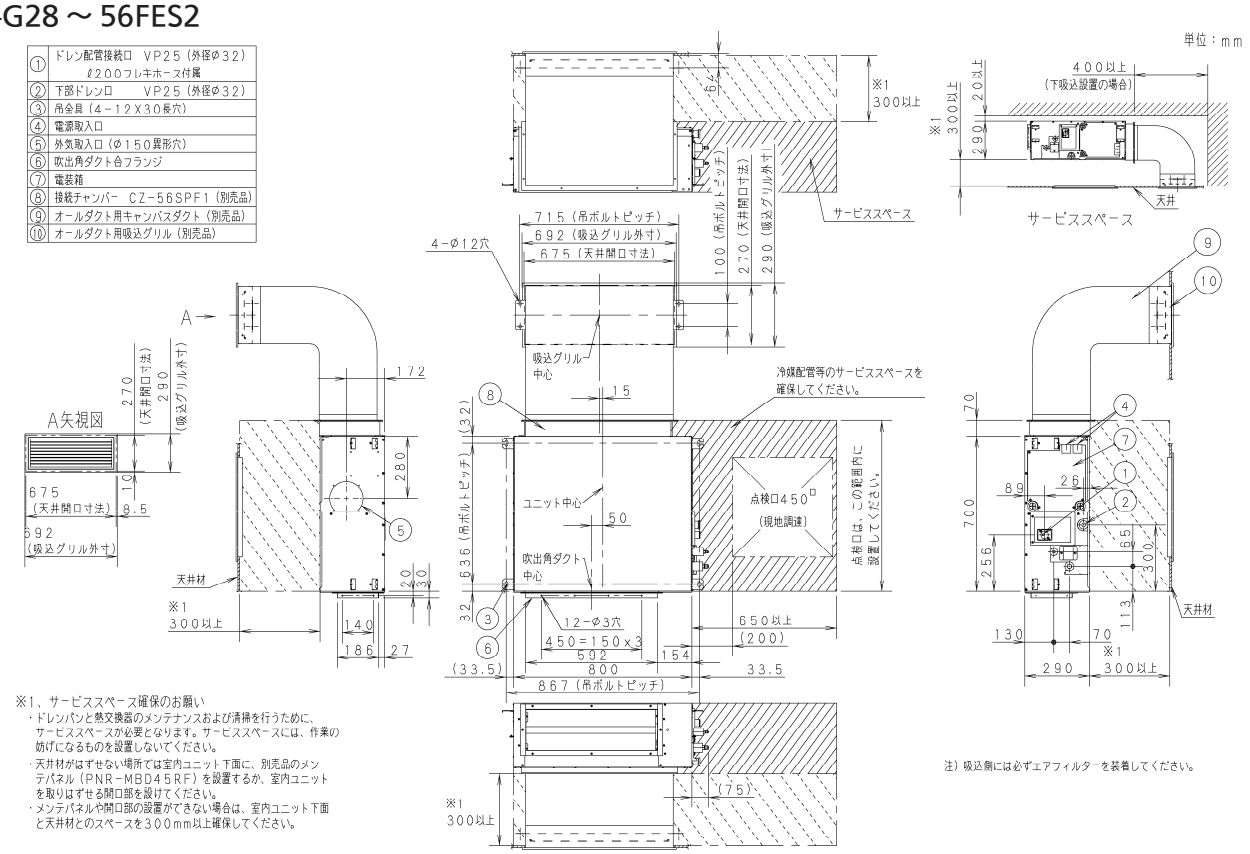


※1、サービススペース確保のお願い
- ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
- 天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテパネル（PNR-MBD125RF）を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
- メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面と天井材とのスペースを300mm以上確保してください。

注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

■接続チャンバー（CZ-56SPF1）・キャンバスダクト（DKT-CBU50T）
吸込グリル（GRL-RBU50TN）
●S-G28 ～ 56FES2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径ø32） ø200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径ø32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（ø150異形穴）
⑥	吹出角ダクト合フランジ
⑦	電装箱
⑧	接続チャンバー　CZ-56SPF1（別売品）
⑨	オールダクト用キャンバスダクト（別売品）
⑩	オールダクト用吸込グリル（別売品）

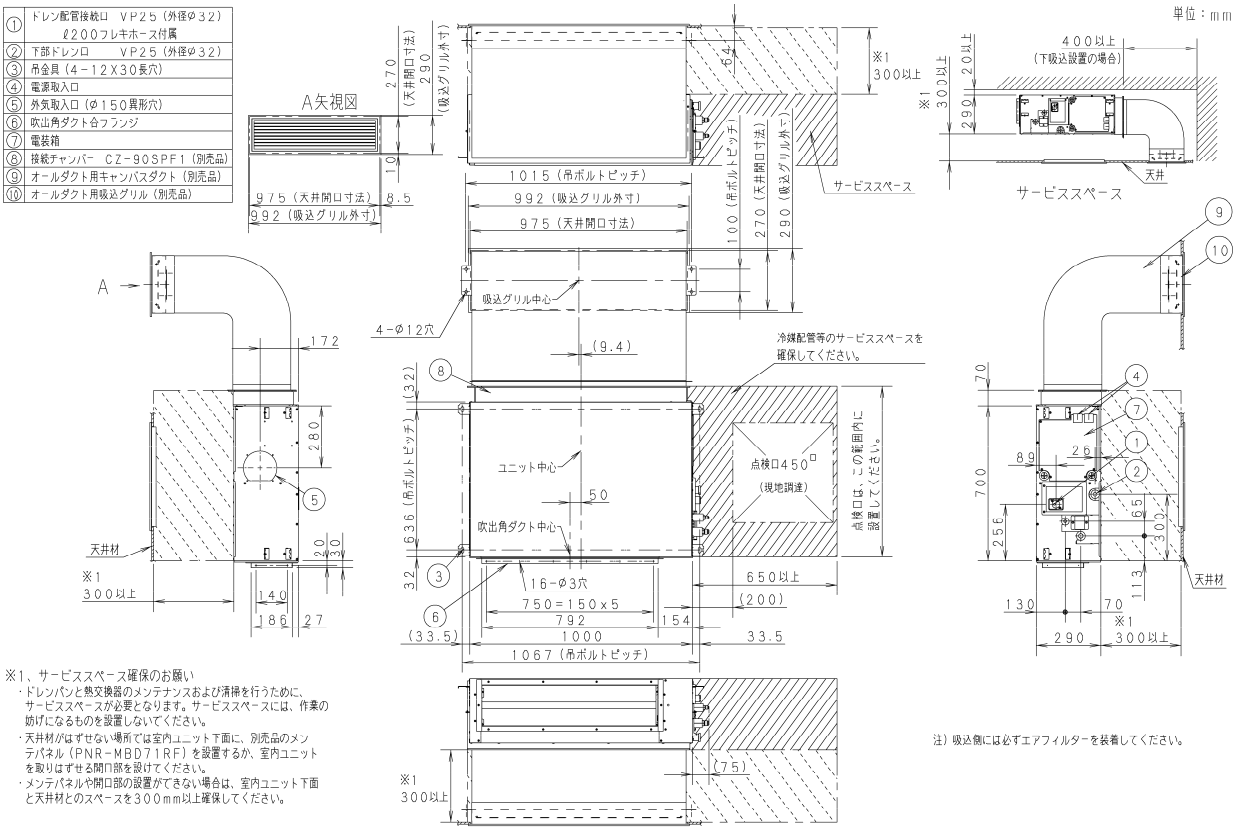


※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテパネル（PNR-MBD45RF）を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
・メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面と天井材とのスペースを300mm以上確保してください。

注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

■接続チャンバー（CZ-90SPF1）・キャンバスダクト（DKT-CBU80T）
吸込グリル（GRL-RBU80TN）
●S-G71・90FES2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径ø32） ø200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径ø32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（ø150異形穴）
⑥	吹出角ダクト合フランジ
⑦	電装箱
⑧	接続チャンバー　CZ-90SPF1（別売品）
⑨	オールダクト用キャンバスダクト（別売品）
⑩	オールダクト用吸込グリル（別売品）



※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテパネル（PNR-MBD71RF）を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
・メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面と天井材とのスペースを300mm以上確保してください。

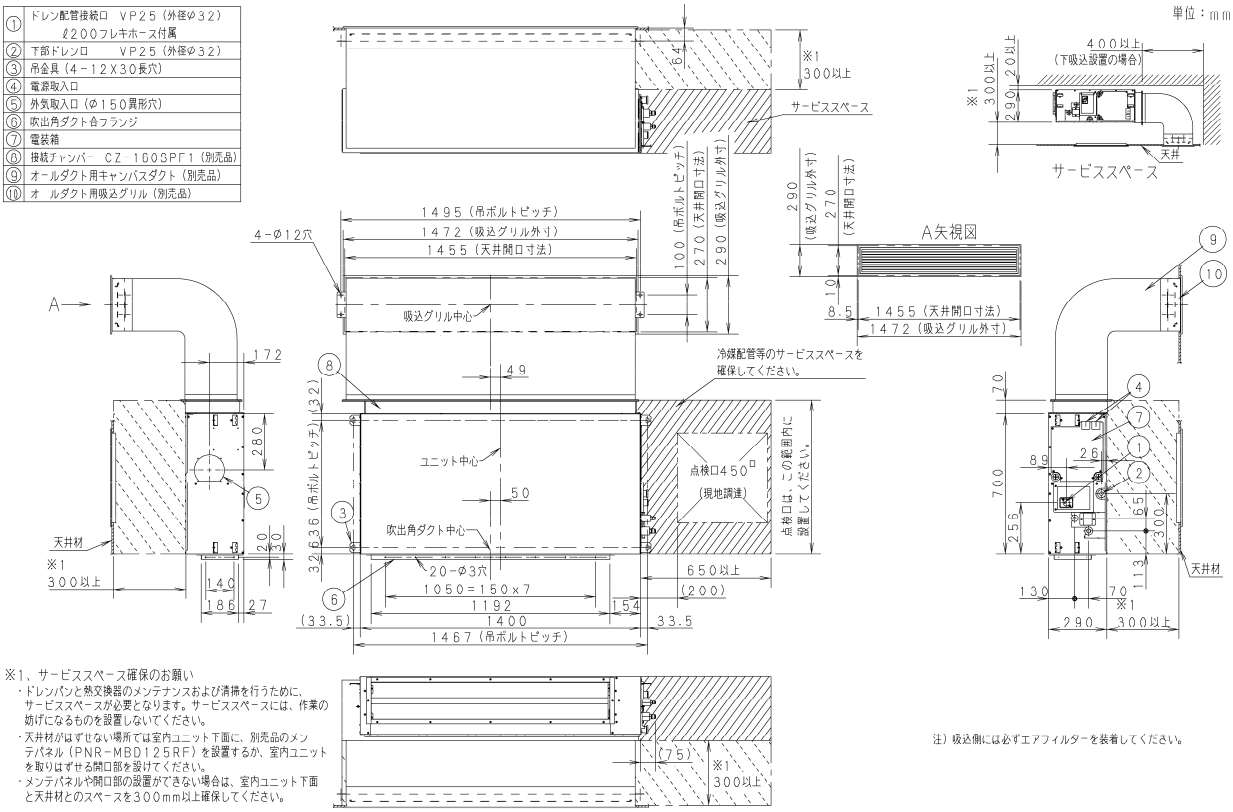
注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

■接続チャンバー（CZ-160SPF1）・キャンバスダクト（DKT-CBU140T）
吸込グリル（GRL-RBU140TN）

●S-G112 ～ 160FES2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出角ダクト合フランジ
⑦	電装箱
⑧	接続チャンバー　CZ－160SPF1（別売品）
⑨	オールダクト用キャンバスダクト（別売品）
⑩	オ　ルダクト用吸込グリル（別売品）

単位：mm



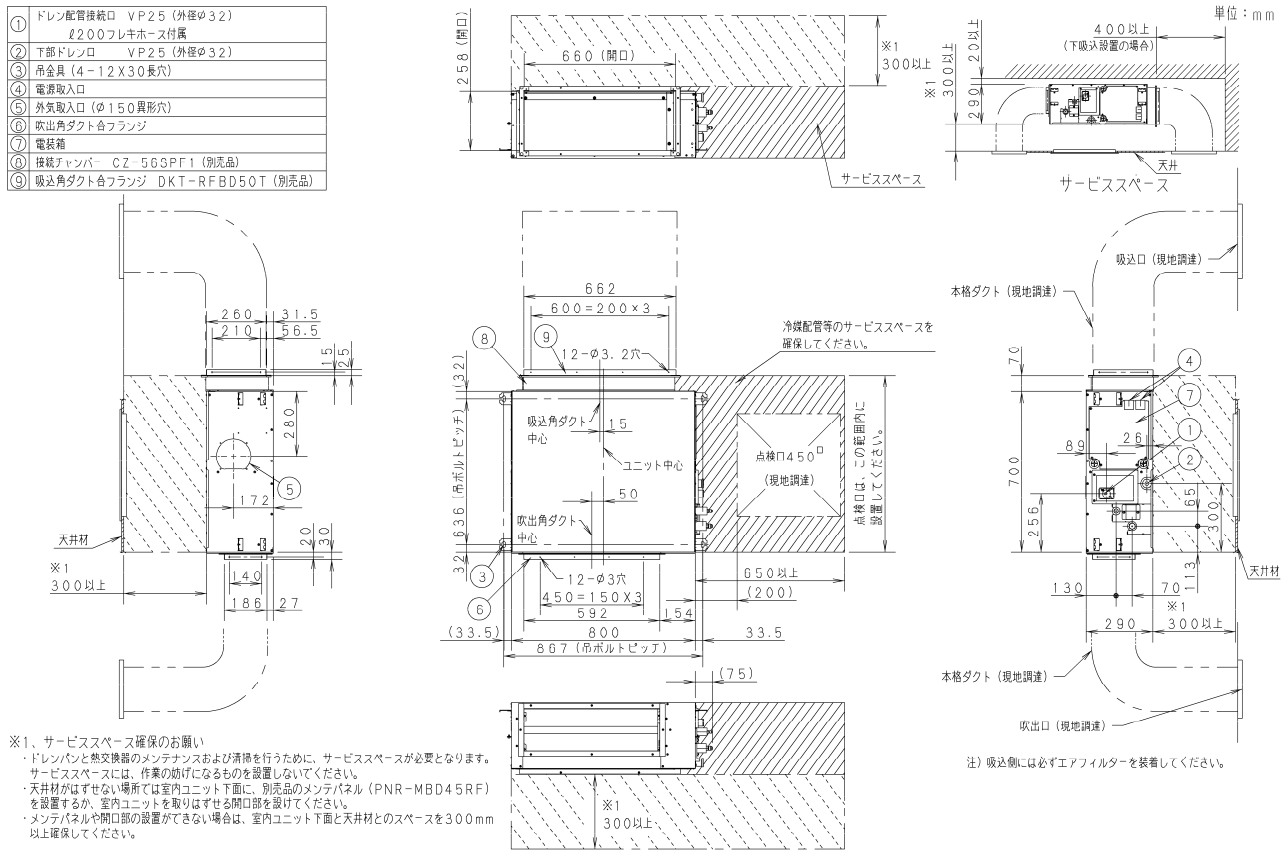
※1、サービススペース確保のお願い
- ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
- 天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテパネル（PNR－MBD125RF）を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
- メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面と天井材とのスペースを300mm以上確保してください。

注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

■接続チャンバー（CZ-56SPF1）・吸込角ダクト合フランジ（DKT-RFBD50T）

●S-G28 ～ 56FES2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出角ダクト合フランジ
⑦	電装箱
⑧	接続チャンバー　CZ－56SPF1（別売品）
⑨	吸込角ダクト合フランジ　DKT－RFBD50T（別売品）



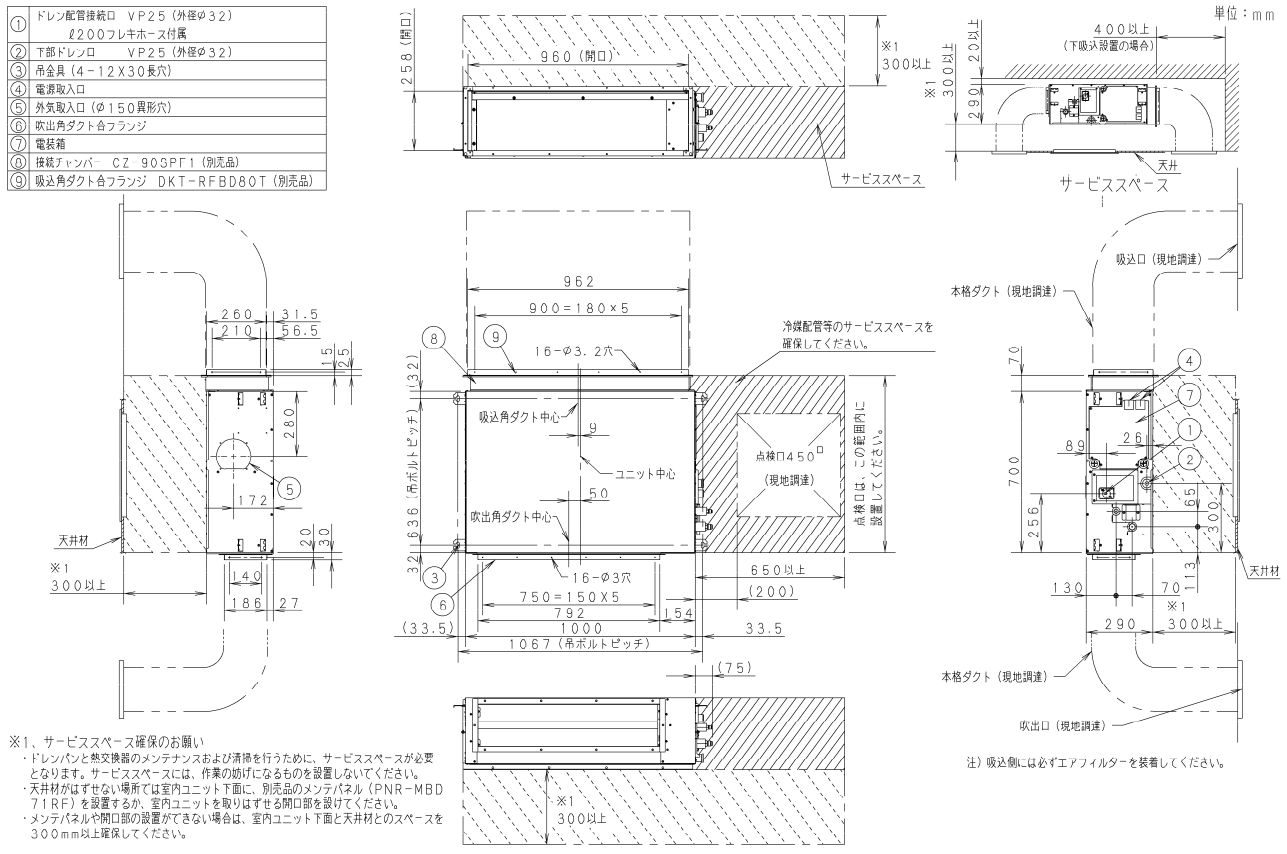
※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。
サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテパネル（PNR－MBD45RF）
を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
・メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面と天井材とのスペースを300mm
以上確保してください。

注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

■接続チャンバー（CZ-90SPF1）・吸込角ダクト合フランジ（DKT-RFBD80T）

●S-G71・90FES2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出角ダクト合フランジ
⑦	電装箱
⑧	接続チャンバー　CZ－90SPF1（別売品）
⑨	吸込角ダクト合フランジ　DKT－RFBD80T（別売品）



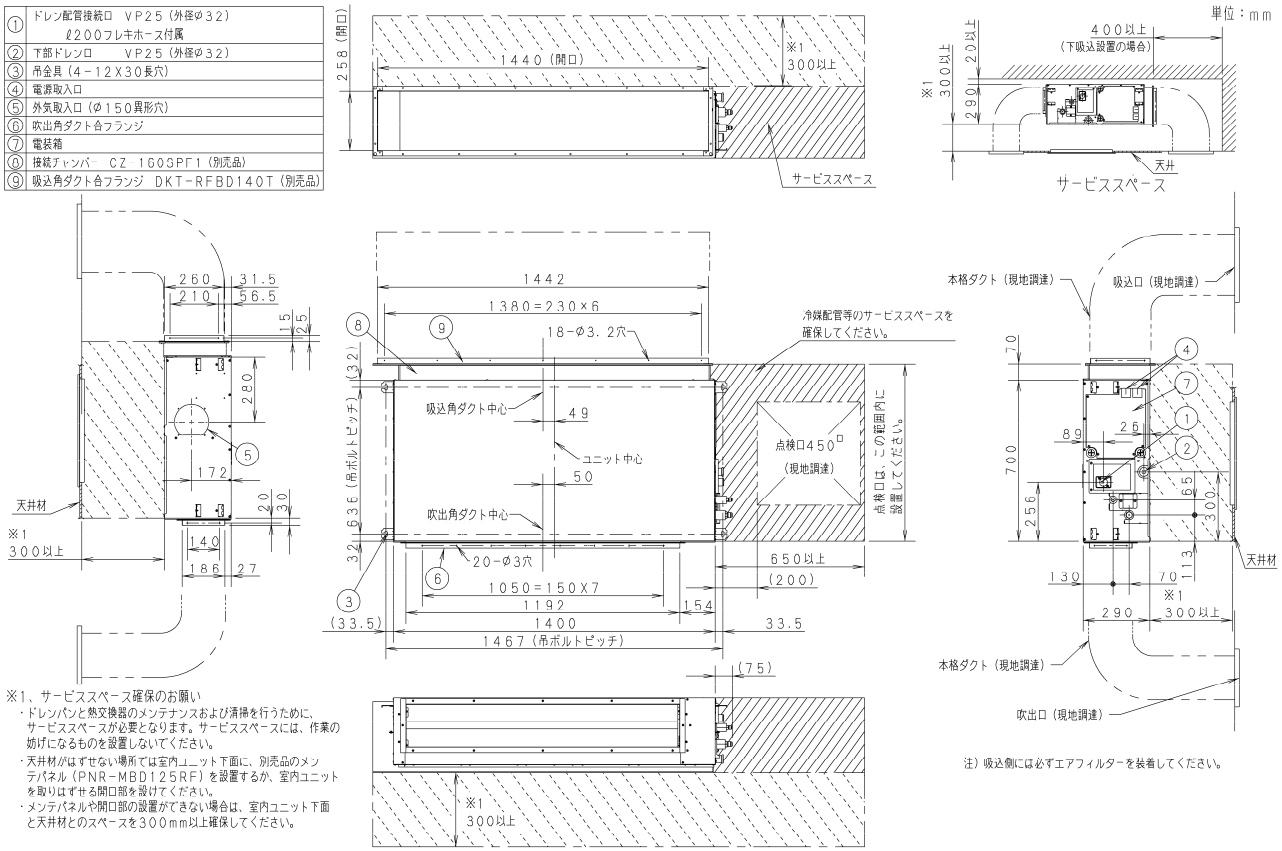
※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要
となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテパネル（PNR－MBD
71RF）を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
・メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面と天井材とのスペースを
300mm以上確保してください。

注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

■接続チャンバー（CZ-160SPF1）・吸込角ダクト合フランジ（DKT-RFBD140T）

●S-G112 ～ 160FES2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出角ダクト合フランジ
⑦	電装箱
⑧	接続チャンバー　CZ 160SPF1（別売品）
⑨	吸込角ダクト合フランジ　DKT-RFBD140T（別売品）



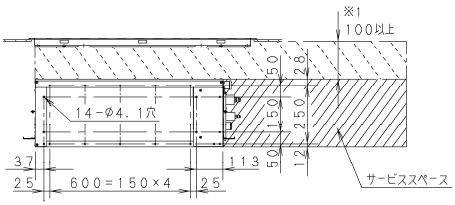
※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテパネル（PNR-MBD125RF）を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
・メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面と天井材とのスペースを300mm以上確保してください。

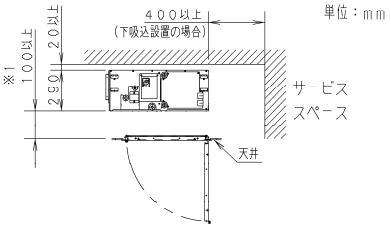
注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

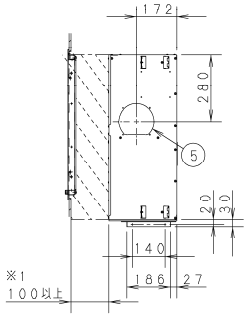
■オールダクト用メンテパネル（PNR-MBD45RF）

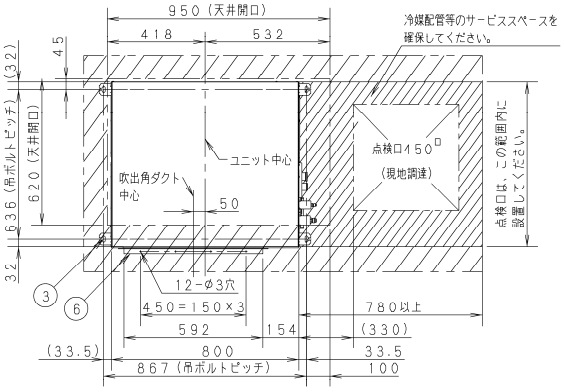
●S-G28～56FES2

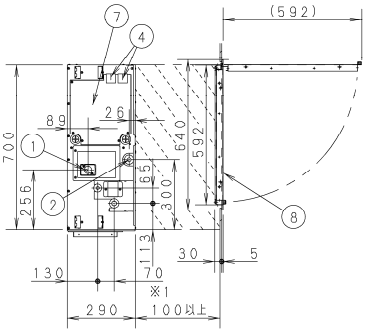
①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出角ダクト合フランジ
⑦	電装箱
⑧	オールダクト用メンテパネル　PNR－MBD45RF（別売品）

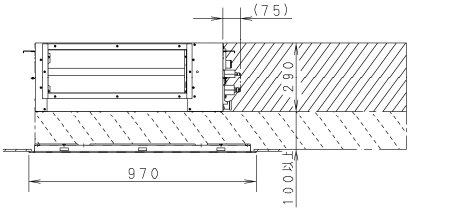












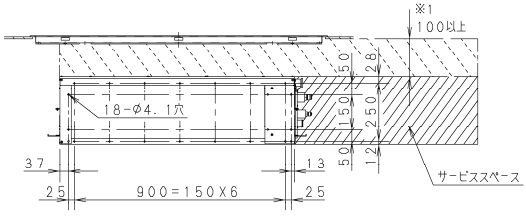
※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテパネル（PNR－MBD45RF）を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。

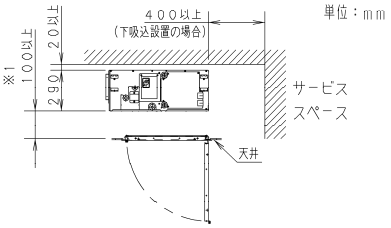
注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。
エアフィルターは集塵効率50％（重量法）以上のものを選定してください。

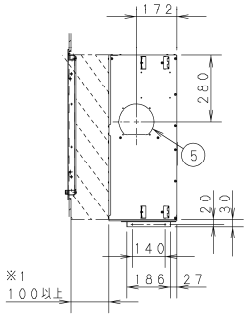
■オールダクト用メンテパネル（PNR-MBD71RF）

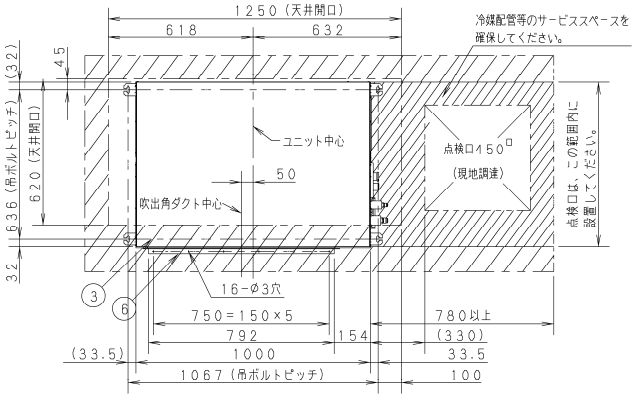
●S-G71・90FES2

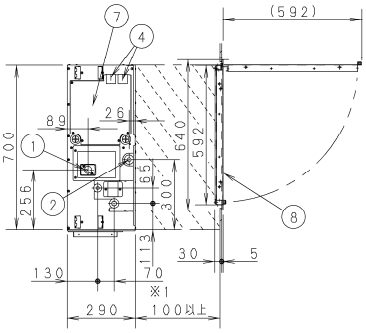
①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出角ダクト合フランジ
⑦	電装箱
⑧	オールダクト用メンテパネル　PNR－MBD71RF（別売品）

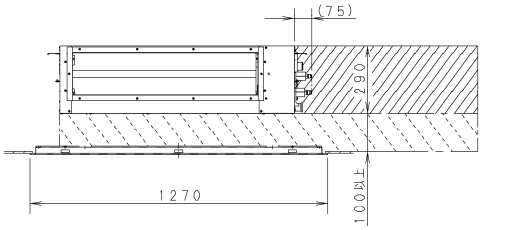












※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテパネル（PNR－MBD71RF）を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。

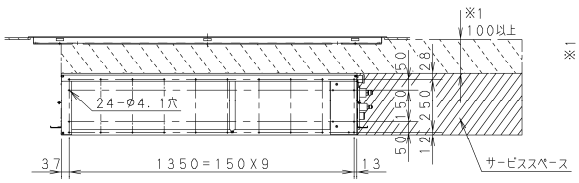
注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。
エアフィルターは集塵効率50％（重量法）以上のものを選定してください。

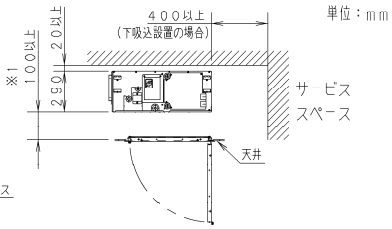
■オールダクト用メンテパネル（PNR-MBD125RF）

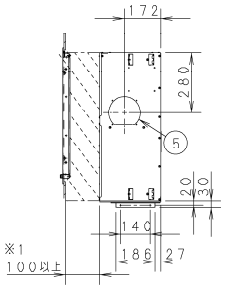
●S-G112 ～ 160FES2

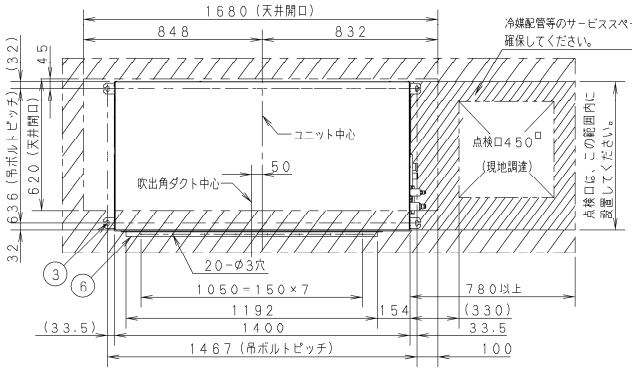
①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出角ダクト合フランジ
⑦	電装箱
⑧	オールダクト用メンテパネル　PNR-MBD125RF（別売品）

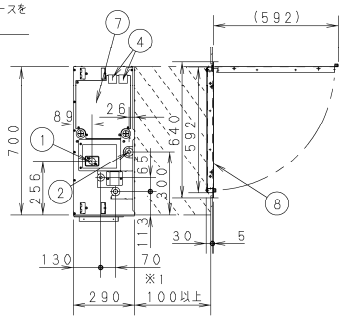
単位：mm

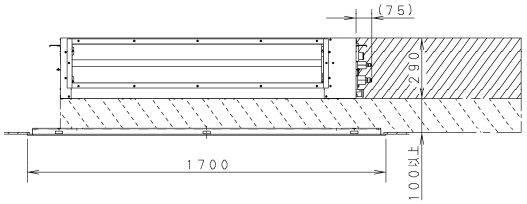












※1、サービススペース確保のお願い
・ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
・天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテパネル（PNR-MBD125RF）を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。

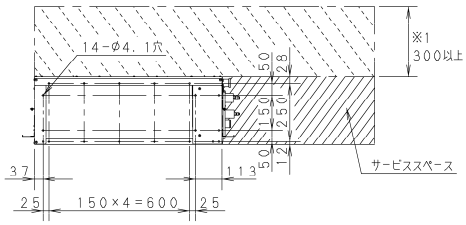
注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。
エアフィルターは集塵効率50％（重量法）以上のものを選定してください。

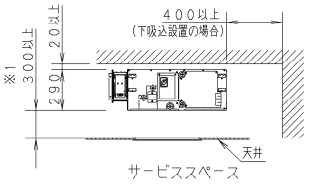
■自然気化式加湿器（CZ-07ASF2）

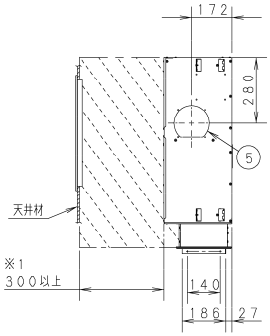
●S-G28 ～ 56FES2

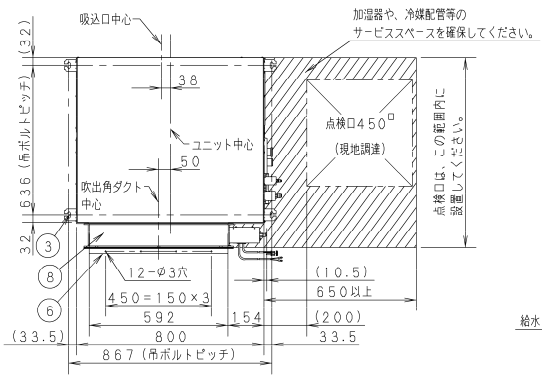
単位：mm

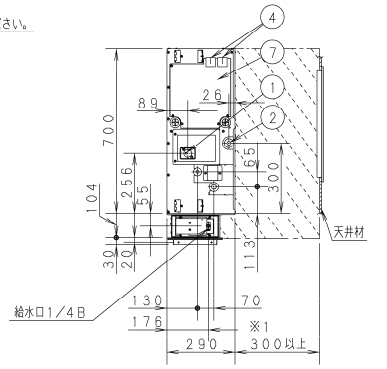
①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出角ダクト合フランジ
⑦	電装箱
⑧	自然気化式加湿器　CZ-07ASF2（別売品）



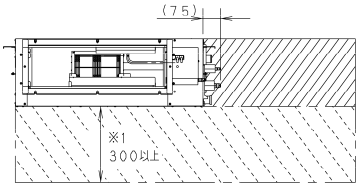








※1、サービススペース確保のお願い
- ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
- 天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテパネル（PNR－MBD45RF）を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
- メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面と天井材とのスペースを300mm以上確保してください。



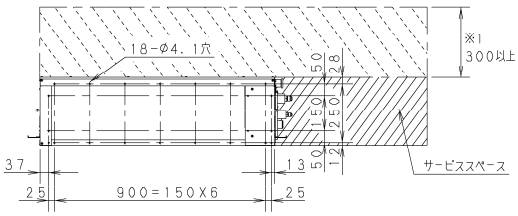
注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

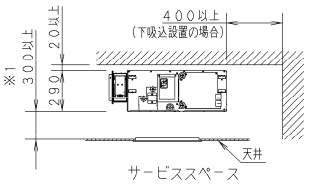
■自然気化式加湿器（CZ-10ASF2）

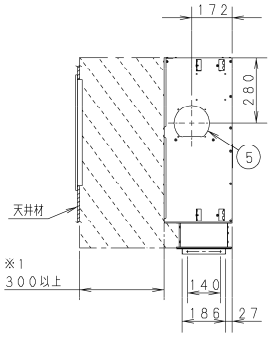
●S-G71・90FES2

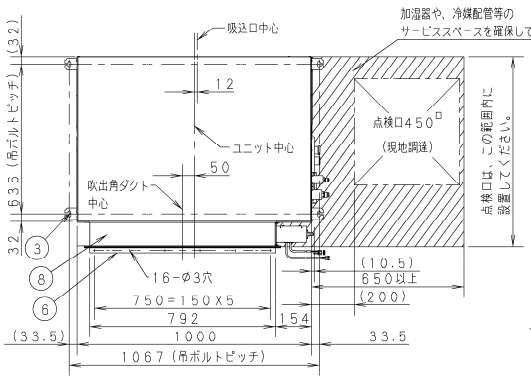
単位：mm

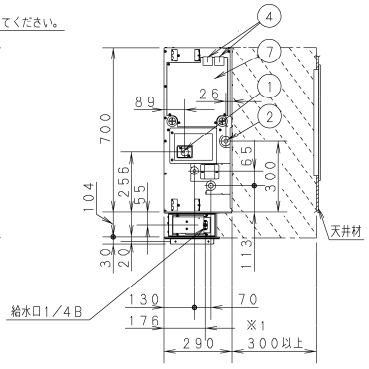
①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） φ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出角ダクト合フランジ
⑦	電装箱
⑧	自然気化式加湿器　CZ-10ASF2（別売品）



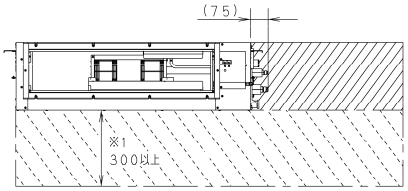








※1、サービススペース確保のお願い
- ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
- 天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテパネル（PNR－MBD71RF）を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
- メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面と天井材とのスペースを300mm以上確保してください。



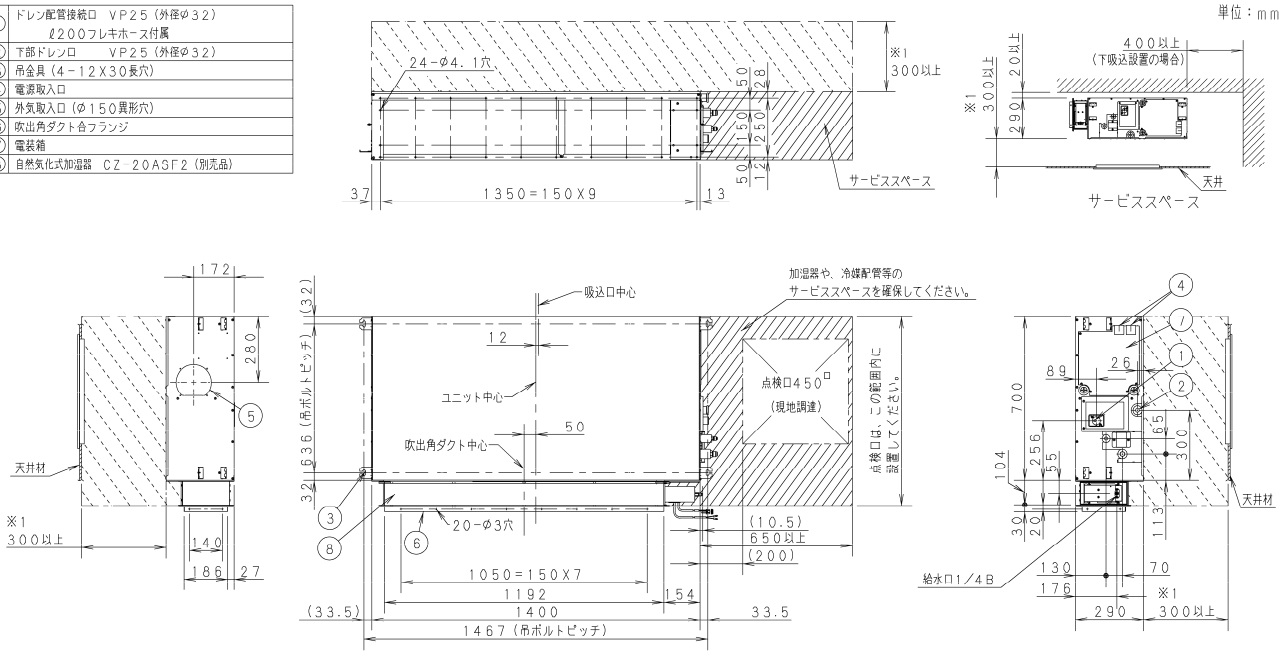
注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

■自然気化式加湿器（CZ-20ASF2）

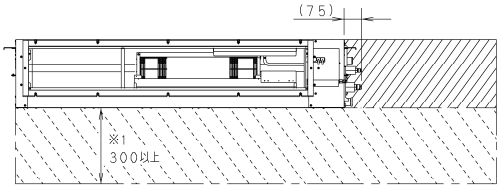
●S-G112 ～ 160FES2

①	ドレン配管接続口　VP25（外径φ32） ℓ200フレキホース付属
②	下部ドレン口　　VP25（外径φ32）
③	吊金具（4－12X30長穴）
④	電源取入口
⑤	外気取入口（φ150異形穴）
⑥	吹出角ダクト合フランジ
⑦	電装箱
⑧	自然気化式加湿器　CZ－20ASF2（別売品）

単位：mm



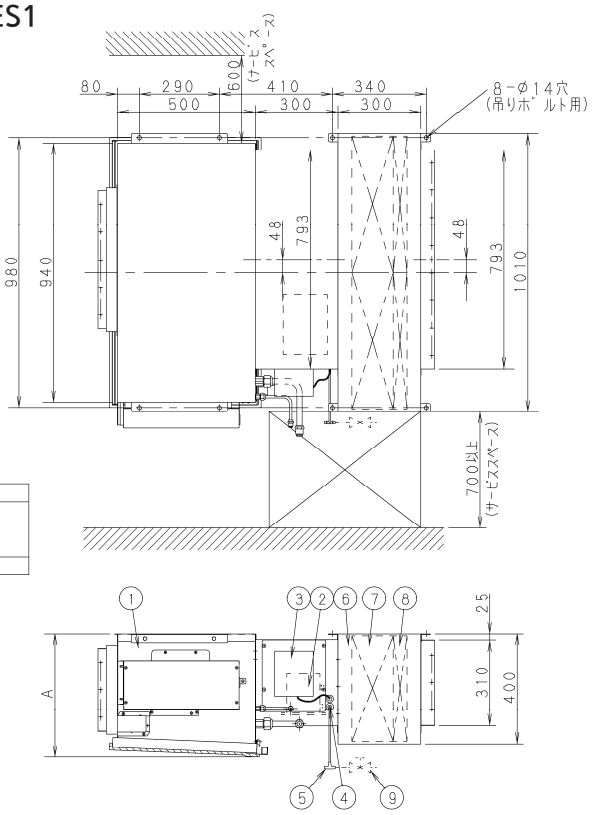
※1、サービススペース確保のお願い
- ドレンパンと熱交換器のメンテナンスおよび清掃を行うために、サービススペースが必要となります。サービススペースには、作業の妨げになるものを設置しないでください。
- 天井材がはずせない場所では室内ユニット下面に、別売品のメンテパネル（PNR-MBD125RF）を設置するか、室内ユニットを取りはずせる開口部を設けてください。
- メンテパネルや開口部の設置ができない場合は、室内ユニット下面と天井材とのスペースを300mm以上確保してください。



注）吸込側には必ずエアフィルターを装着してください。

■ロングライフフィルター（SPW-LFU125R1）
高性能フィルター（SPW-M/HFU125R（比色法65%/90%））
フィルターチャンバー（SPW-MFU125RR）

●S-G71 ～ 140ES1

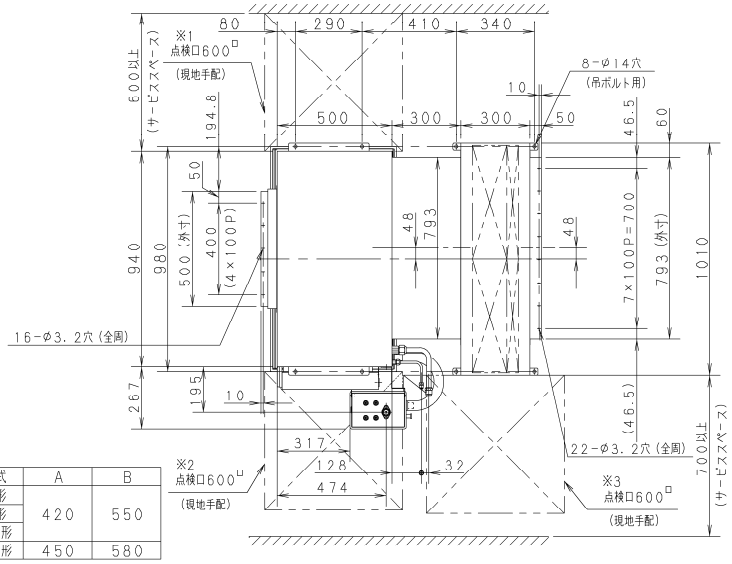


形　式	A
71形	420
90形	
112形	
140形	450

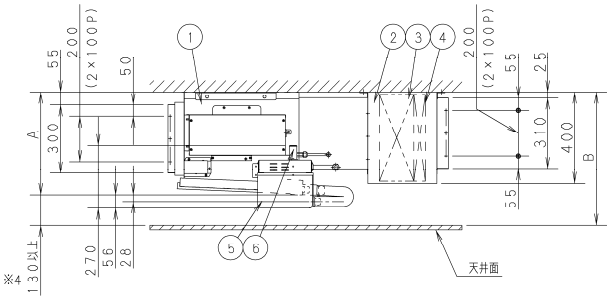
①	天井埋込形本体
②	加湿器本体　（現地調達）
③	加湿器用トランス箱　（現地調達）
④	加湿器給水管接続口
⑤	給水ストレーナー1／2B（客先御取付）
⑥	フィルターチャンバー　SPW-MFU125RR
⑦	高性能フィルタ　SPW-MFU125R（比色法65%） SPW-HFU125R（比色法90%）
⑧	ロングライフフィルタ　SPW-LFU125R1
⑨	給水サービス弁（客先御用意）

■ロングライフフィルター（SPW-LFU125R1）
高性能フィルター（SPW-M/HFU125R（比色法65%/90%））
ドレンアップキット（DP-U140B）・フィルターチャンバー（SPW-MFU125R）

●S-G71 ～ 140ES1



形　式	A	B
71形	420	550
90形		
112形		
140形	450	580



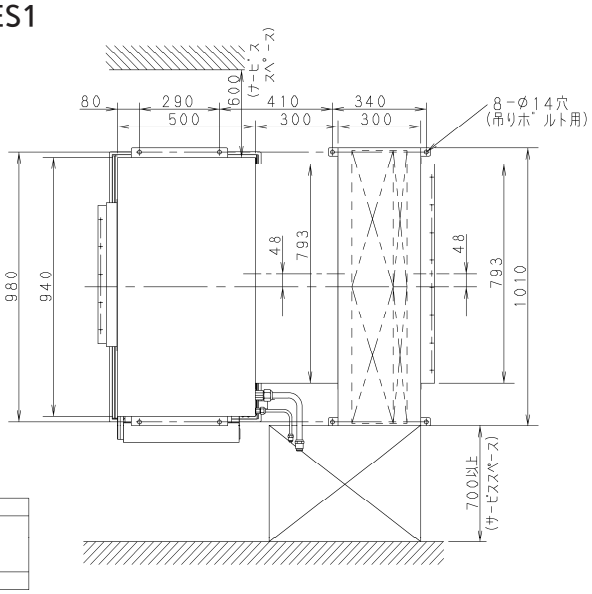
①	天井埋込形本体
②	フィルターチャンバー　SPW-MFU125RR
③	高性能フィルター　SPW-MFU125R（比色法65%） 高性能フィルター　SPW-HFU125R（比色法90%）
④	ロングライフフィルター　AFT-LFU125R1
⑤	ドレンアップキット　DP-U140B
⑥	ドレンポンプ排水口

注　記

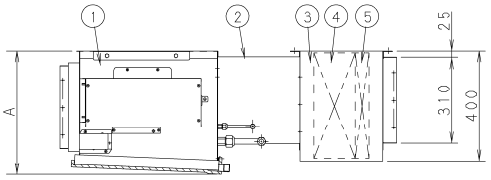
1. ドレンアップキット使用時の吸込み側機外静圧は、定格機外静圧の８０%以下で使用してください。

※1：ファンモータ及び別売品点検用
※2：主要部品点検用
※3：チャンバ内別売品点検用
※4：ドレンパン取り外しスペース

■スペーサーチャンバー（CZ-03SPE3）・フィルターチャンバー（SPW-MFU125RR）
高性能フィルター（SPW-M/HFU125R（比色法65%/90%））
ロングライフフィルター（SPW-LFU125R1）
●S-G71 ～ 140ES1

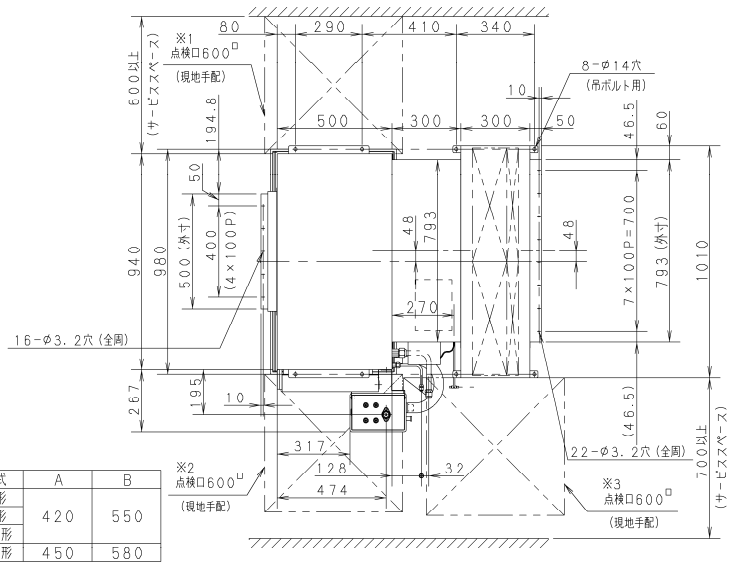


形　式	A
71形	420
90形	
112形	
140形	450

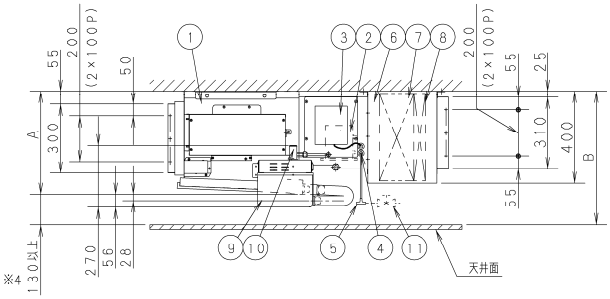


①	天井埋込形本体	
②	スペーサチャンバー	C7-03SPE3
③	フィルターチャンバー	SPW-MFU125RR
④	高性能フィルター	SPW-MFU125R（比色法65%） SPW-HFU125R（比色法90%）
⑤	ロングライフフィルター	SPW-LFU125R1

■ロングライフフィルター（SPW-LFU125R1）
高性能フィルター（SPW-M/HFU125R（比色法65%/90%））
ドレンアップキット（DP-U140B）・フィルターチャンバー（SPW-MFU125RR）
●S-G71 ～ 140ES1



形　式	A	B
71形	420	550
90形		
112形		
140形	450	580



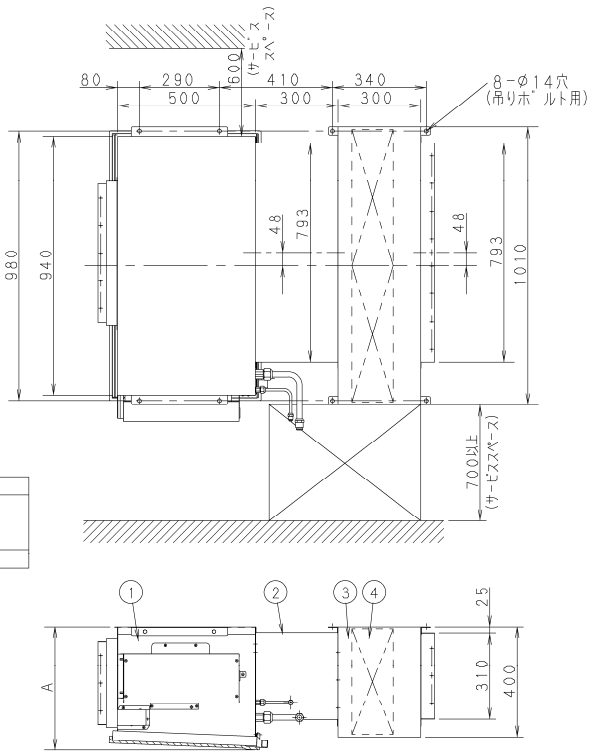
①	天井埋込形本体	
②	加湿器本体	（現地調達）
③	加湿器用トランス箱	（現地調達）
④	加湿器給水管接続口	
⑤	給水ストレーナー1／2B	（現地手配）
⑥	フィルターチャンバー	SPW-MFU125RR
⑦	高性能フィルター	SPW-MFU125R（比色法65%）
	高性能フィルター	SPW-HFU125R（比色法90%）
⑧	ロングライフフィルター	AFT-LFU125R1
⑨	ドレンアップキット	DP-U140B
⑩	ドレンポンプ様水口	
⑪	給水サービス弁（現地手配）	

注　記

1. 加湿器とドレンアップキットを併用する場合は無通電時（停電時やブレーカOFF時、ドレンアップキットは動作しません。）の電磁弁ゴミやその故障等による漏水（給水しっぱなし）を防ぐ為、電磁弁の二重設置や元バルブ設置を行って下さい。
2. ドレンアップキット使用時の吸込み側機外静圧は、定格機外静圧の80%以下で使用してください。

※1：ファンモータ及び別売品点検用
※2：主要部品点検用
※3：チャンバ内別売品点検用
※4：ドレンパン取り外しスペース

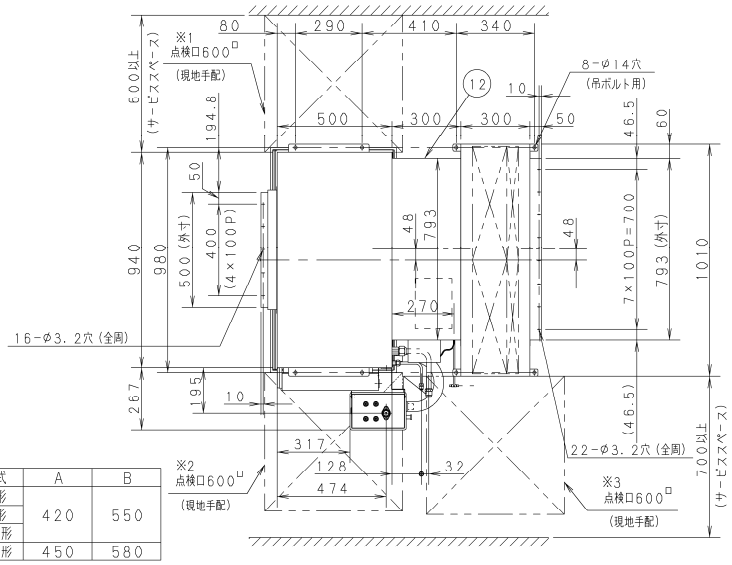
■高性能フィルター（SPW-M/HFU125R（比色法65%/90%））
フィルターチャンバー（SPW-MFU125RR）
スペーサーチャンバー（CZ-03SPE3）
●S-G71 ～ 140ES1



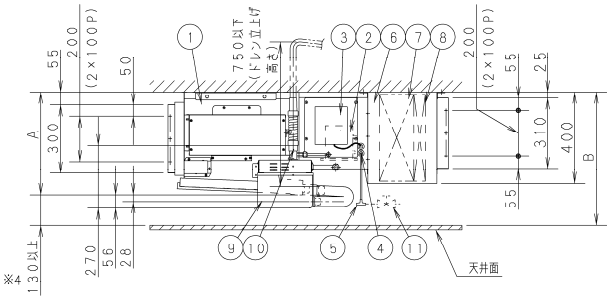
形　式	A
71形	420
90形	
112形	
140形	450

①	天井埋込形本体
②	スペーサチャンバー　CZ-03SPE3
③	フィルターチャンバー　SPW-MFU125RR
④	高性能フィルタ　SPW-MFU125R（比色法65%） SPW-HFU125R（比色法90%）

■フィルターチャンバー（SPW-MFU125RR）・ロングライフフィルター（SPW-LFU125R1）
高性能フィルター（SPW-M/HFU125R（比色法65%/90%））
スペーサーチャンバー（CZ-03SPE3）・ドレンアップキット（DP-U140B）
●S-G71 ～ 140ES1



形　式	A	B
71形	420	550
90形		
112形		
140形	450	580



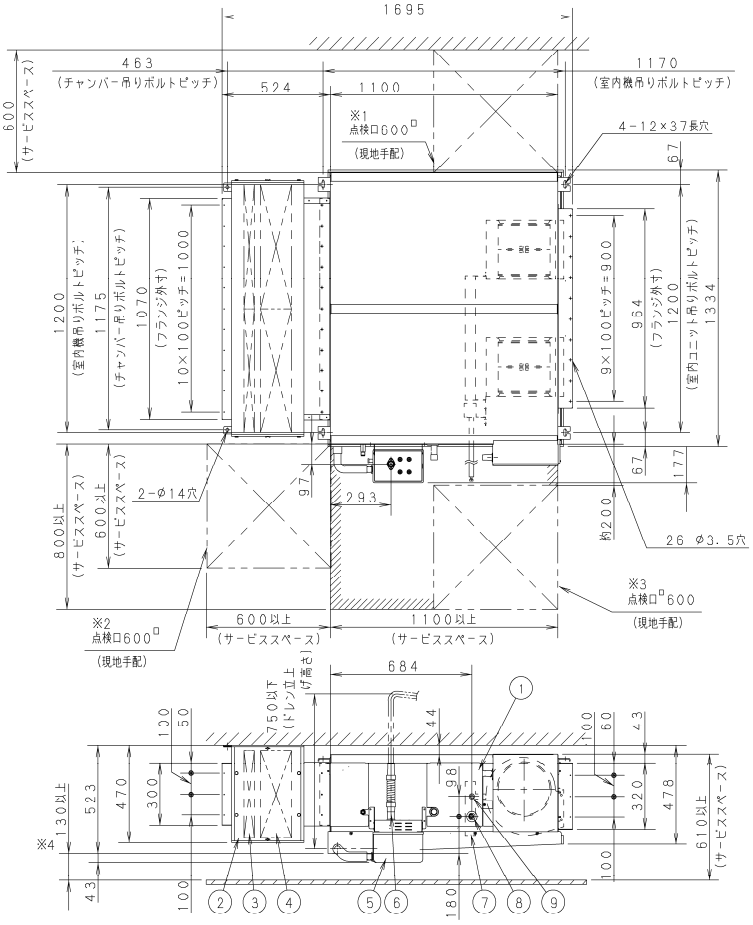
①	天井埋込形本体
②	加湿器本体　（現地調達）
③	加湿器用トランス箱（現地調達）
④	加湿器給水管接続口
⑤	給水ストレーナー1／2B（現地手配）
⑥	フィルターチャンバー　SPW-MFU125RR
⑦	高性能フィルター　SPW-MFU125R（比色法65%）
	高性能フィルター　SPW-HFU125R（比色法90%）
⑧	ロングライフフィルター　AFT-LFU125R1
⑨	ドレンアップキット　DP-U140B
⑩	ドレンポンプ排水口
⑪	給水サービス弁（現地手配）
⑫	スペーサーチャンバー　CZ-03SPE3

注　記

1. エアコンの周囲には、点検、保守が容易にできるように
サービススペースを確保し、必ず点検口を設けてください。
2. 加湿器とドレンアップキットを併用する場合は無通電時（停電時や
ブレーカOFF時、ドレンアップキットは動作しません。）
の電磁弁ゴミやその故障等による漏水（給水しっぱなし）を防ぐ為、
電磁弁の二重設置や元バルブ設置を行って下さい。
3. ドレン立上げ高さは750mm以内です。（左図参照）
（製品本体ドレンロセンターより750mm以内です）
4. 加湿器チャンバー取付時には、スペーサーチャンバーは不要です。
5. ドレンアップキット使用時の吸込み側機外静圧は定格
機外制圧の80%以下で使用してください。

※1：ファンモータ及び別売品点検用
※2：主要部品点検用
※3：チャンバ内別売品点検用
※4：ドレンパン取り外しスペース

■フィルターチャンバー（CMB-FU280U）・ロングライフフィルター（AFT-LU280U）
高性能フィルター（AFT-M/HU280U（比色法65%/90%））
ドレンアップキット（DP-U280B）・気化式加湿器（RH-UN45U）
●S-G224・280ES1



①	天井埋込形本体	下記
②	フィルタチャンバー	CMB-FU280U
③	ロングライフフィルター	AFT-LU280U
④	高性能フィルター	AFT-MU280U（比色法65%）
		AFT-HU280U（比色法90%）
⑤	ドレンアップキット	DP-U280B
⑥	ドレンアップキット排水口（内径φ26）	
⑦	気化式加湿器	RH-UN45U
⑧	加湿器給水配管口	
⑨	加湿器電気配線口	

注記

1. エアコンの周囲には、点検、保守が容易にできるようにサービススペースを確保し、必ず点検口を設けて下さい。
2. ドレン立上げ高さは750mm以内です。（左図参照）（製品本体ドレンロセンターより750mm以内です）
3. ドレンアップキット使用時の吸込み側機外静圧は定格機外制圧の80%以下で使用してください。

※1：主要部品点検用
※2：ドレンパン等取り外し時使用
※3：チャンバ内別売品点検用
※4：ドレンパン取り外しスペース

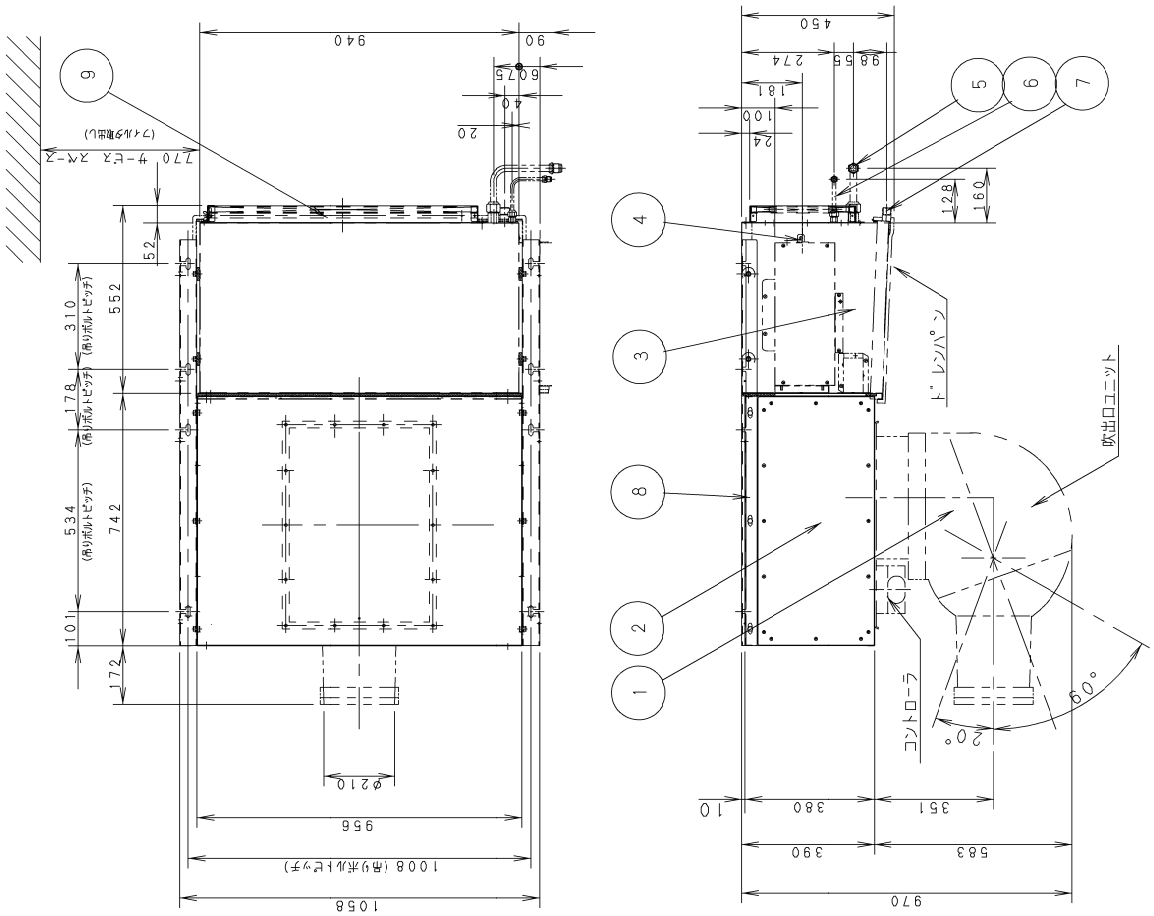
■バリアゾーンシステム

吹出口ユニット（FY-20XGR-D）・吹出口チャンバー（SGP-CMB140J）

吊金具セット（SGP-ATK140J）・吸込口グリル（SGP-GRL140J）

●S-G71・90・112・140ES1

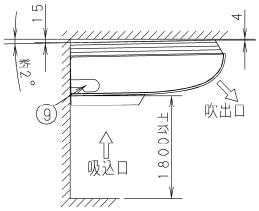
①	吹出口ユニット（ノズル形）　FY-20XGR-D
②	吹出口チャンバー　SGP-CMB140J
③	天井埋込形室内機　S-G140ES1
④	室内機電源取入口
⑤	冷媒配管（ガス管）　φ15.88
⑥	冷媒配管（液管）　φ 9.52
⑦	ドレンロ　25A 又は VP25
⑧	吊り金具セット　SGP-ATK140J
⑨	吸込口グリル　SGP-GRL140J

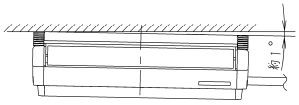


■フィルターチャンバー（CZ-56FBCT）

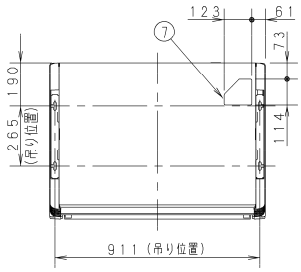
●S-G36・45・56TT1

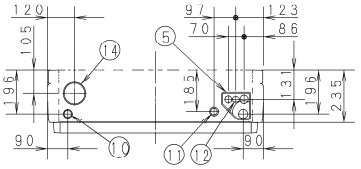
①	ドレン口　VP20（内径φ26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（φ100穴）
⑦	上配管取出口
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	ドレン左配管背面取出口（ノックアウト穴）
⑪	電源取入口
⑫	リモコン線取入口
⑬	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑭	丸合フランジ<外気取り入れ用>（別売）取付部 φ100
⑮	高性能フィルター（CZ-56MFT，別売品） 超ロングライフフィルター（CZ-56FLT，別売品）
⑯	フィルターチャンバー（CZ-56FBCT，別売品）



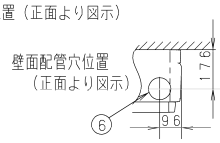


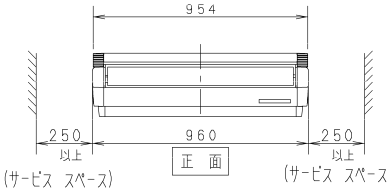
●水平もしくは、ドレン配管側
および背面を下げる。

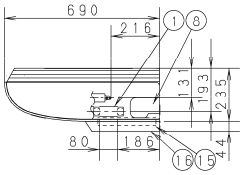


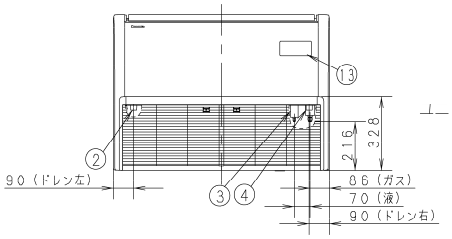


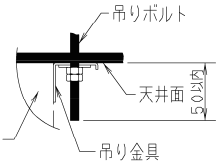
ユニット背面穴位置（正面より図示）



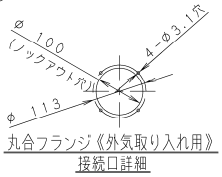








吊りボルト長さ

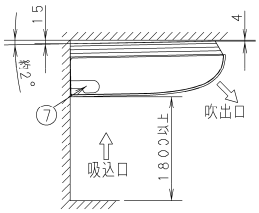


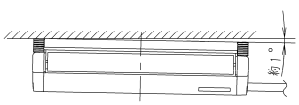
丸合フランジ《外気取り入れ用》
接続口詳細

■フィルターチャンバー（CZ-80FBCT）

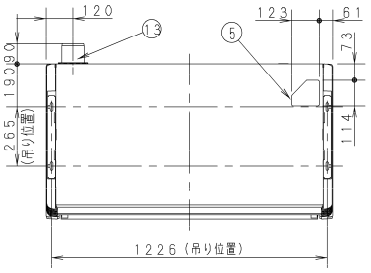
●S-G71・80・90TT1

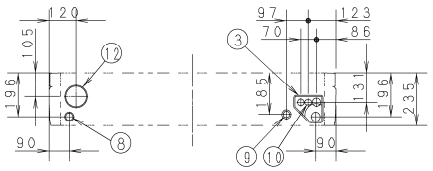
①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	後配管取出口
④	壁面配管穴（φ100穴）
⑤	上配管取出口
⑥	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑦	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑧	ドレン左配管背面取出口（ノックアウト穴）
⑨	電源取入口
⑩	リモコン線取入口
⑪	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑫	丸合フランジ<外気取り入れ用>（別売）取付部 φ100
⑬	丸合フランジ<外気取り入れ用> CZ-DA100（別売品）　φ100



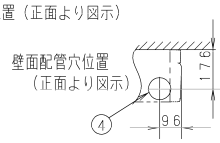


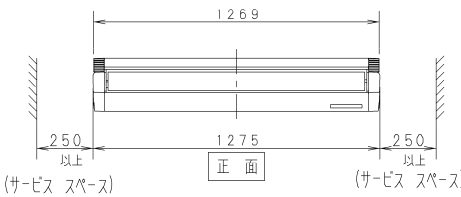
●水平もしくは、ドレン配管側
および背面を下げる。

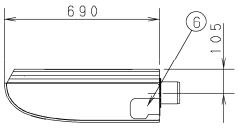


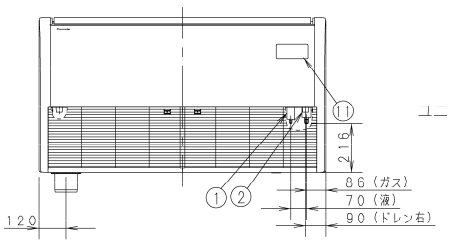


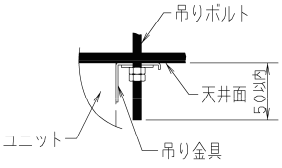
ユニット背面穴位置（正面より図示）



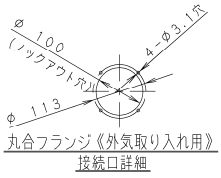








吊りボルト長さ

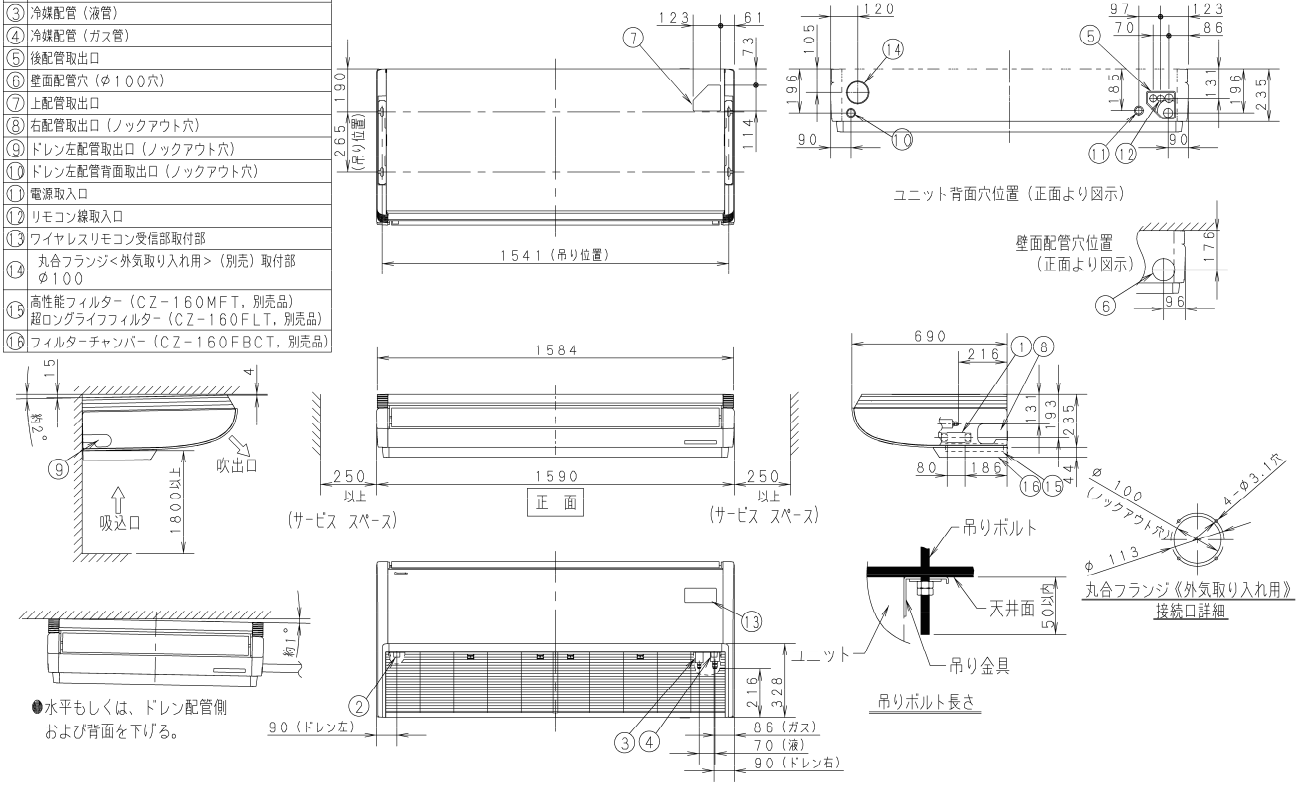


丸合フランジ《外気取り入れ用》
接続口詳細

■フィルターチャンバー（CZ-160FBCT）

●S-G112・140・160TT1

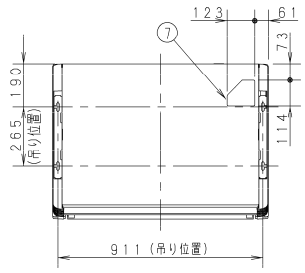
①	ドレン口　VP20（内径φ26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（φ100穴）
⑦	上配管取出口
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	ドレン左配管背面取出口（ノックアウト穴）
⑪	電源取入口
⑫	リモコン線取入口
⑬	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑭	丸合フランジ<外気取り入れ用>（別売）取付部 φ100
⑮	高性能フィルター（CZ-160MFT，別売品） 超ロングライフフィルター（CZ-160FLT，別売品）
⑯	フィルターチャンバー（CZ-160FBCT，別売品）

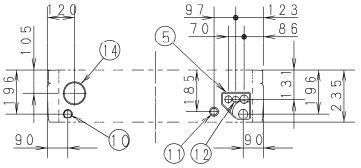


■オイルミストフィルター（CZ-56FBT）

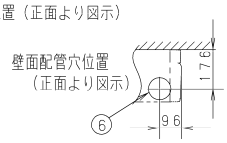
●S-G36・45・56TT1

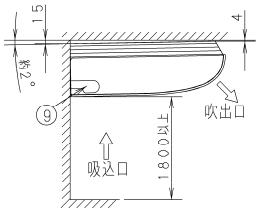
①	ドレンロ　VP20（内径φ26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（φ100穴）
⑦	上配管取出口
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	ドレン左配管背面取出口（ノックアウト穴）
⑪	電源取入口
⑫	リモコン線取入口
⑬	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑭	丸合フランジ<外気取り入れ用>（別売）取付部 φ100
⑮	オイルミストフィルター　CZ-56FBT

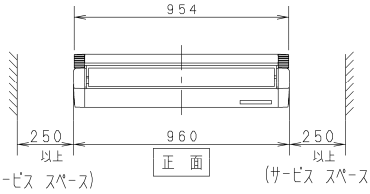


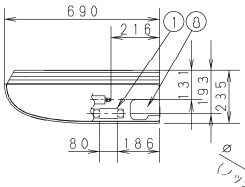


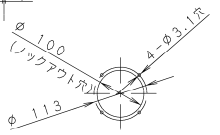
ユニット背面穴位置（正面より図示）

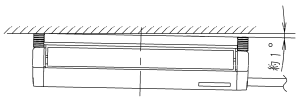




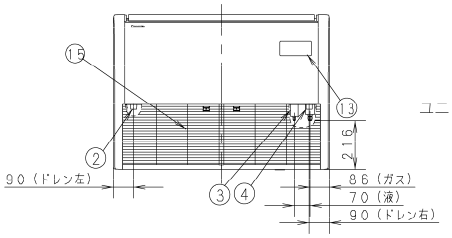


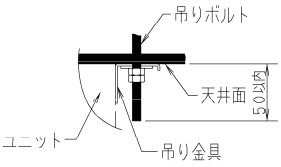






●水平もしくは、ドレン配管側
および背面を下げる。



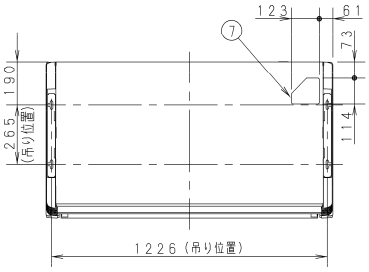


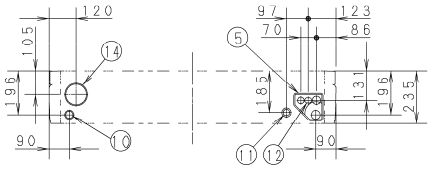
吊りボルト長さ

■オイルミストフィルター（CZ-80FBT）

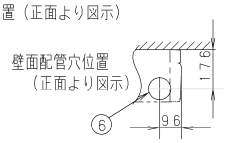
●S-G71・80・90TT1

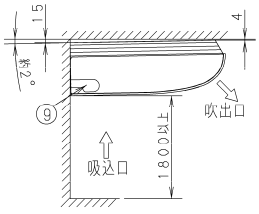
①	ドレンロ　VP20（内径φ26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（φ100穴）
⑦	上配管取出口
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	ドレン左配管背面取出口（ノックアウト穴）
⑪	電源取入口
⑫	リモコン線取入口
⑬	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑭	丸合フランジ<外気取り入れ用>（別売）取付部 φ100
⑮	オイルミストフィルター　CZ-80FBT

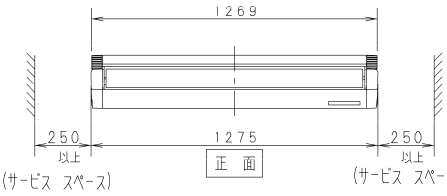


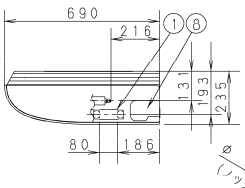


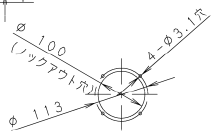
ユニット背面穴位置（正面より図示）

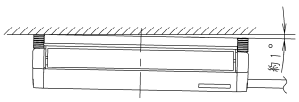




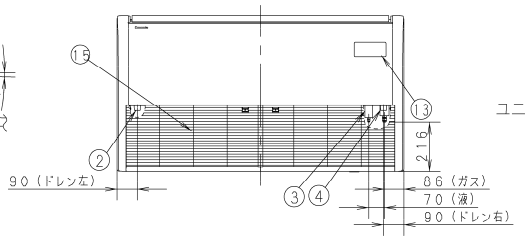


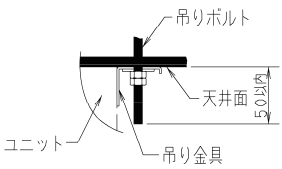






●水平もしくは、ドレン配管側
および背面を下げる。



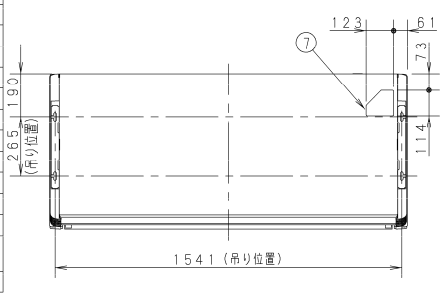


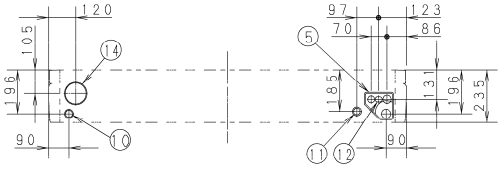
吊りボルト長さ

■オイルミストフィルター（CZ-160FBT）

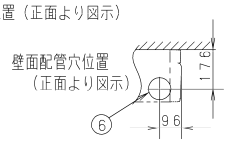
●S-G112・140・160TT1

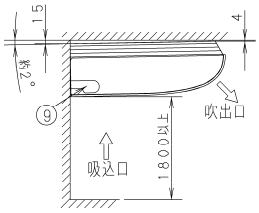
①	ドレンロ　VP20（内径φ26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（φ100穴）
⑦	上配管取出口
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	ドレン左配管背面取出口（ノックアウト穴）
⑪	電源取入口
⑫	リモコン線取入口
⑬	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑭	丸合フランジ<外気取り入れ用>（別売）取付部 φ100
⑮	オイルミストフィルター　CZ-160FBT

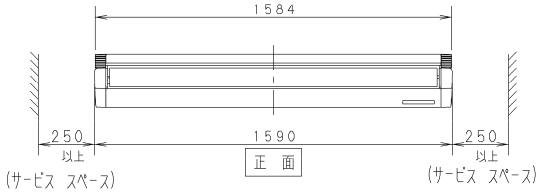


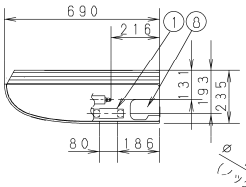


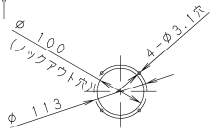
ユニット背面穴位置（正面より図示）



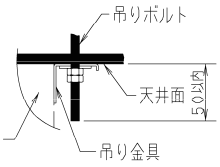




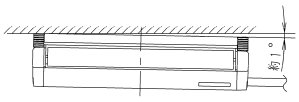




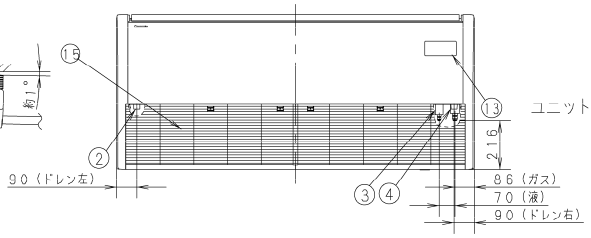
丸合フランジ《外気取り入れ用》
接続口詳細



吊りボルト長さ



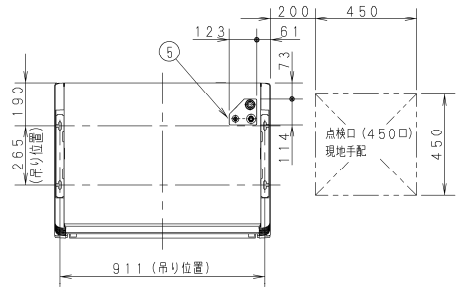
●水平もしくは、ドレン配管側
および背面を下げる。

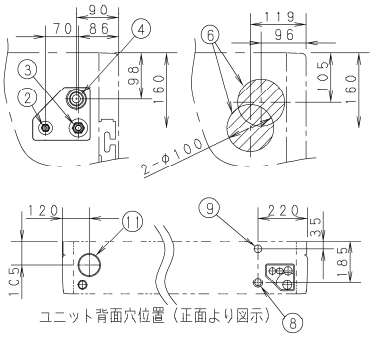


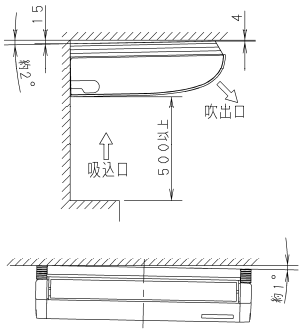
■ドレンアップキット（CZ-56DMTA）

●S-G36・45・56TT1

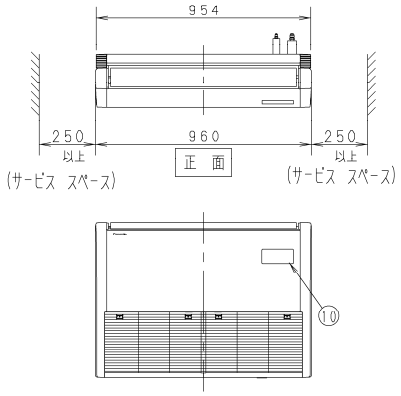
①	ドレンアップキット（CZ-56DMTA）
②	冷媒配管（液管）
③	冷媒配管（ガス管）
④	ドレンアップキット排水口（20A）
⑤	上配管取出口カバー
⑥	天井壁面穴（2-φ100穴）
⑦	上配管取出口
⑧	電源取入口
⑨	リモコン線取入口
⑩	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑪	丸合フランジ《外気取り入れ用》（別売）取付部 φ100

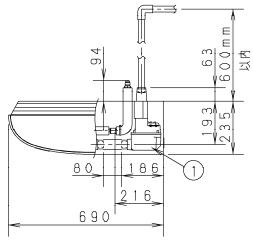


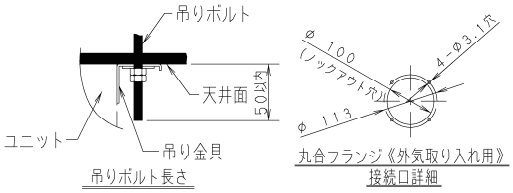




●水平もしくは、ドレン配管側
および背面を下げる。



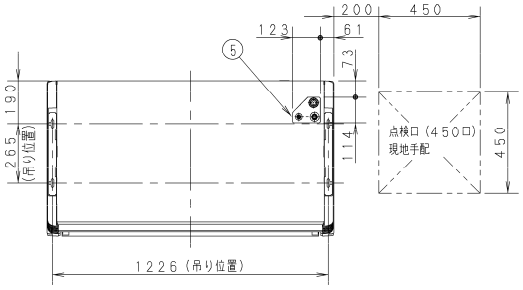


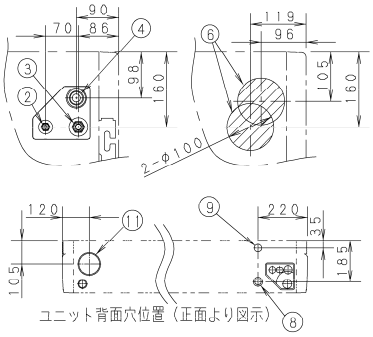


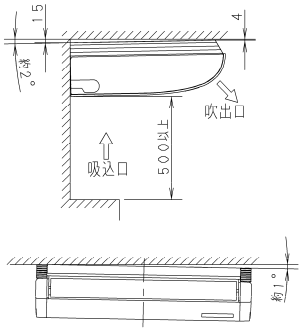
■ドレンアップキット（CZ-160DMTA）

●S-G71・80・90TT1

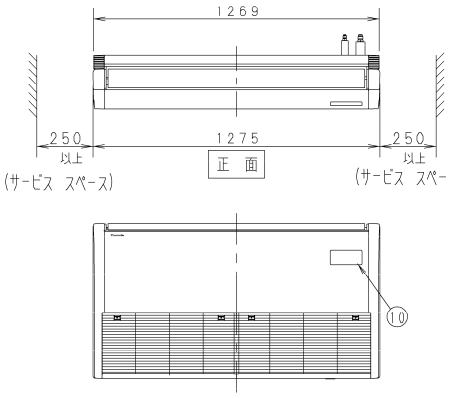
①	ドレンアップキット（CZ-160DMTA）
②	冷媒配管（液管）
③	冷媒配管（ガス管）
④	ドレンアップキット排水口（20A）
⑤	上配管取出口カバー
⑥	天井壁面穴（2-φ100穴）
⑦	上配管取出口
⑧	電源取入口
⑨	リモコン線取入口
⑩	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑪	丸合フランジ《外気取り入れ用》（別売）取付部 φ100

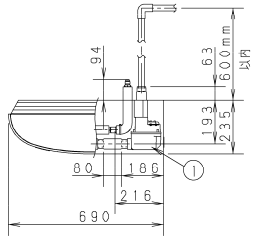


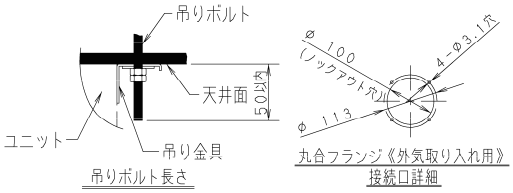




●水平もしくは、ドレン配管側
および背面を下げる。



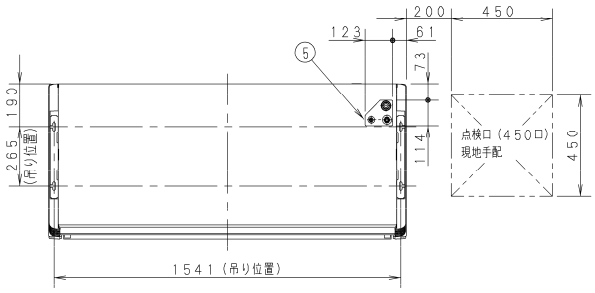


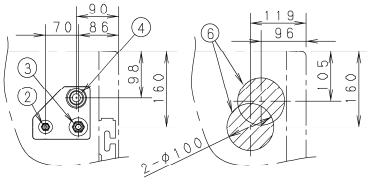


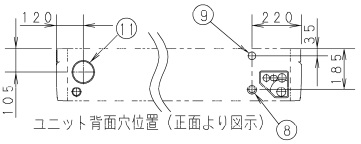
■ドレンアップキット（CZ-160DMTA）

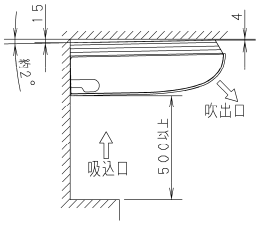
●S-G112・140・160TT1

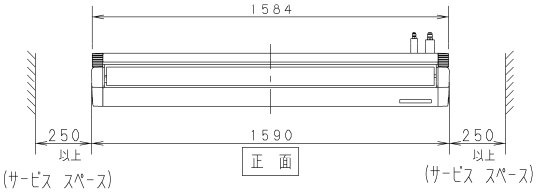
①	ドレンアップキット（CZ－160DMTA）
②	冷媒配管（液管）
③	冷媒配管（ガス管）
④	ドレンアップキット排水口（20A）
⑤	上配管取出口カバー
⑥	天井壁面穴（2－φ100穴）
⑦	上配管取出口
⑧	電源取入口
⑨	リモコン線取入口
⑩	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑪	丸合フランジ《外気取り入れ用》（別売）取付部 φ100

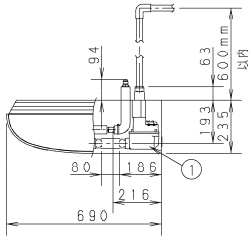


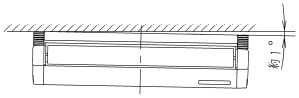




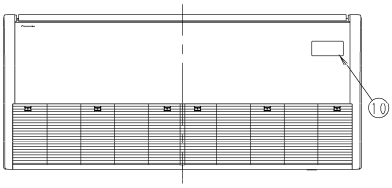


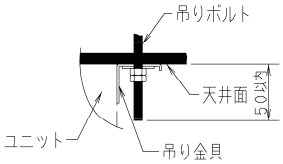




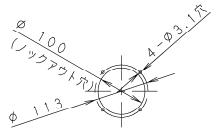


●水平もしくは、ドレン配管側
および背面を下げる。





吊りボルト長さ

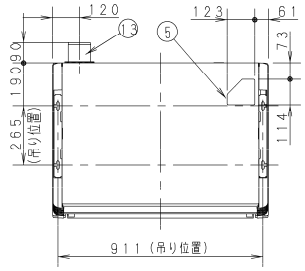


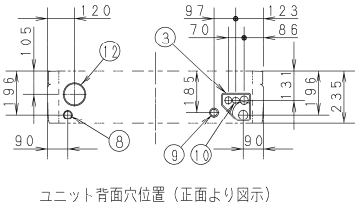
丸合フランジ《外気取り入れ用》
接続口詳細

■丸合いフランジ<外気取入れ用>（φ 100）〈CZ-DA100〉

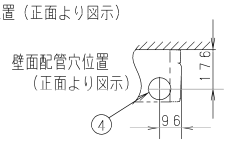
●S-G36・45・56TT1

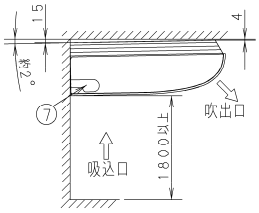
①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	後配管取出口
④	壁面配管穴（φ１００穴）
⑤	上配管取出口
⑥	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑦	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑧	ドレン左配管背面取出口（ノックアウト穴）
⑨	電源取入口
⑩	リモコン線取入口
⑪	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑫	丸合フランジ<外気取り入れ用>（別売）取付部 φ１００
⑬	丸合フランジ<外気取り入れ用> ＣＺ－ＤＡ１００（別売品）　φ１００

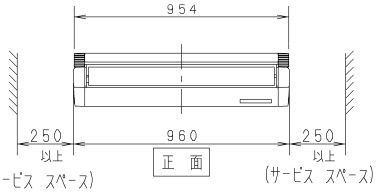


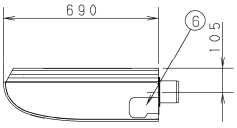


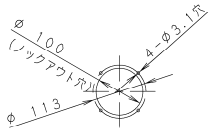
ユニット背面穴位置（正面より図示）



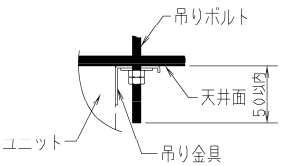




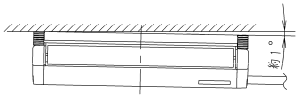




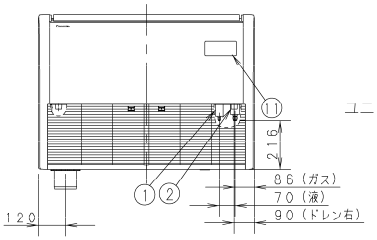
丸合フランジ《外気取り入れ用》
接続口詳細



吊りボルト長さ



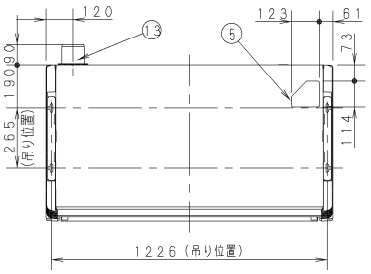
●水平もしくは、ドレン配管側
および背面を下げる。

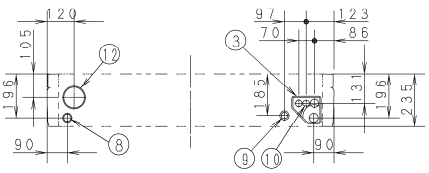


■丸合いフランジ<外気取入れ用>（φ 100）〈CZ-DA100〉

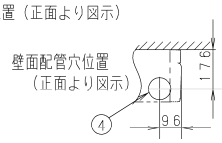
●S-G71・80・90TT1

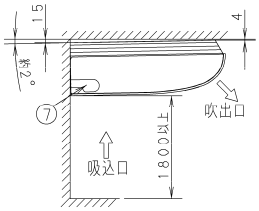
①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	後配管取出口
④	壁面配管穴（φ１００穴）
⑤	上配管取出口
⑥	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑦	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑧	ドレン左配管背面取出口（ノックアウト穴）
⑨	電源取入口
⑩	リモコン線取入口
⑪	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑫	丸合フランジ<外気取り入れ用>（別売）取付部 φ１００
⑬	丸合フランジ<外気取り入れ用> ＣＺ－ＤＡ１００（別売品）　φ１００

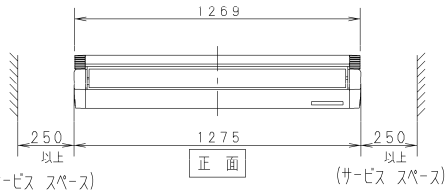


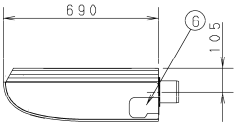


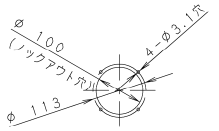
ユニット背面穴位置（正面より図示）



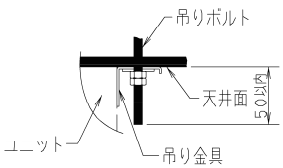




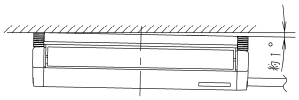




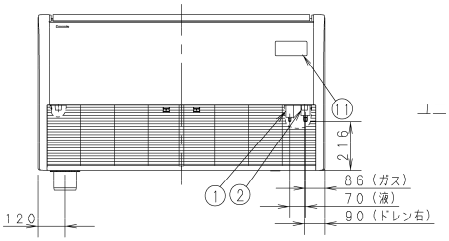
丸合フランジ《外気取り入れ用》
接続口詳細



吊りボルト長さ



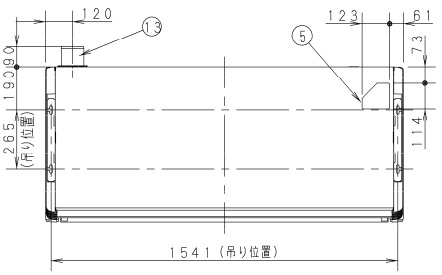
●水平もしくは、ドレン配管側
および背面を下げる。

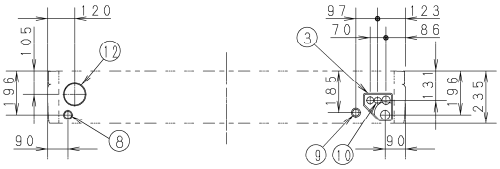


■丸合いフランジ<外気取入れ用>（φ100）〈CZ-DA100〉

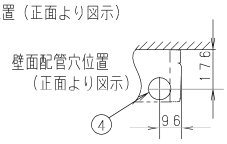
●S-G112・140・160TT1

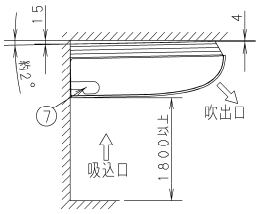
①	冷媒配管（液管）
②	冷媒配管（ガス管）
③	後配管取出口
④	壁面配管穴（φ100穴）
⑤	上配管取出口
⑥	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑦	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑧	ドレン左配管背面取出口（ノックアウト穴）
⑨	電源取入口
⑩	リモコン線取入口
⑪	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑫	丸合フランジ<外気取り入れ用>（別売）取付部 φ100
⑬	丸合フランジ<外気取り入れ用> CZ-DA100（別売品） φ100

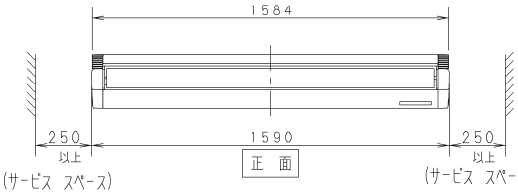


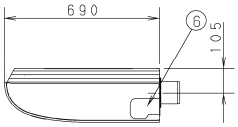


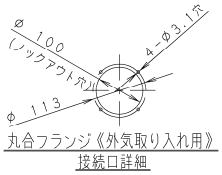
ユニット背面穴位置（正面より図示）



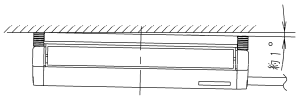




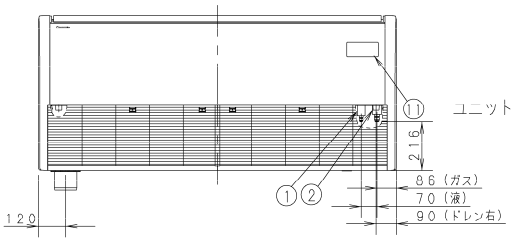


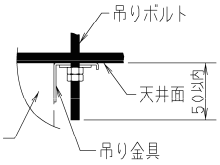


丸合フランジ《外気取り入れ用》
接続口詳細



●水平もしくは、ドレン配管側
および背面を下げる。



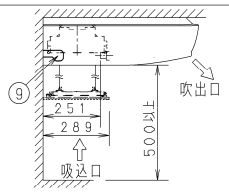


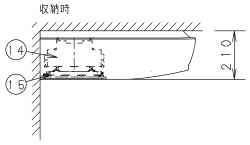
吊りボルト長さ

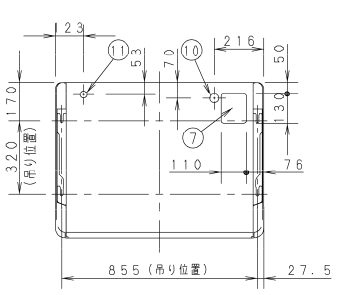
■昇降グリルメカキット（CZ-06KSKD3）・昇降グリル固定金具（GRL-T56AU）

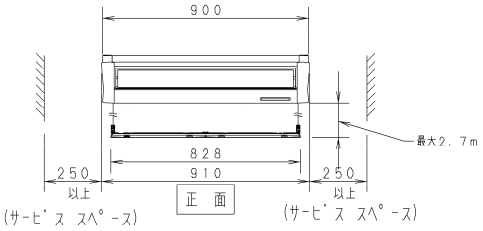
●S-G36・45・56TS1

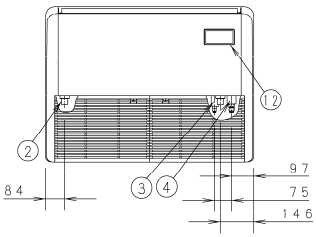
①	ドレンロ　VP20（内径Ø26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（Ø100穴）
⑦	上配管取出口（ノックアウト穴）
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	電源取入口（ノックアウト穴　Ø40）
⑪	リモコン配線取入口
⑫	昇降グリル受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口（ノックアウト穴　Ø100）
⑭	昇降グリルメカキット（CZ-06KSKD3）
⑮	昇降グリル固定金具（GRL-T56AU）

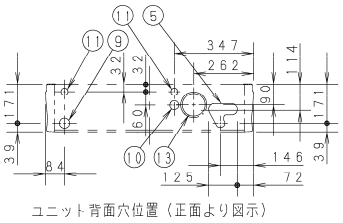




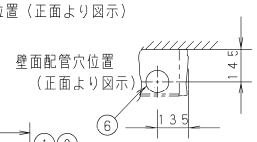


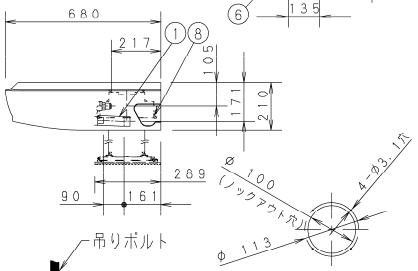




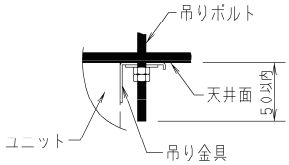


ユニット背面穴位置（正面より図示）





外気取入ダクト接続口詳細

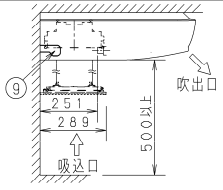


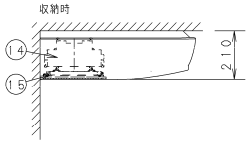
吊りボルト長さ

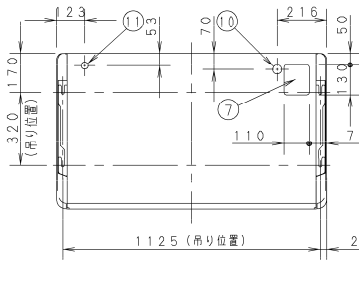
■昇降グリルメカキット（CZ-06KSKD3）・昇降グリル固定金具（GRL-T80AU）

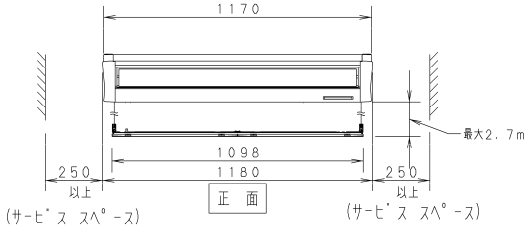
●S-G71・80・90TS1

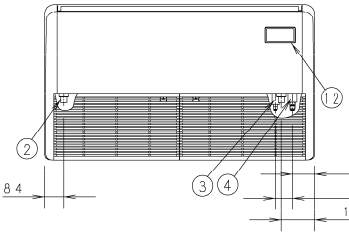
①	ドレンロ　VP20（内径Ø26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（Ø100穴）
⑦	上配管取出口（ノックアウト穴）
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	電源取入口（ノックアウト穴　Ø40）
⑪	リモコン配線取入口
⑫	昇降グリル受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口（ノックアウト穴　Ø100）
⑭	昇降グリルメカキット（CZ-06KSKD3）
⑮	昇降グリル固定金具（GRL-T80AU）

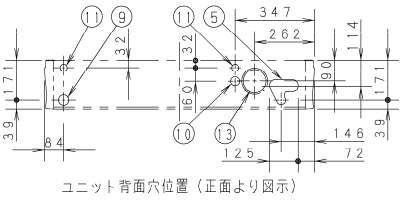




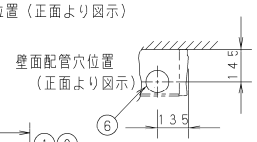


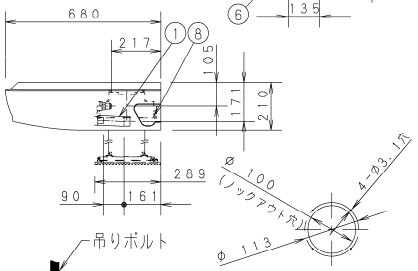




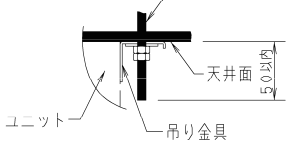


ユニット背面穴位置（正面より図示）





外気取入ダクト接続口詳細

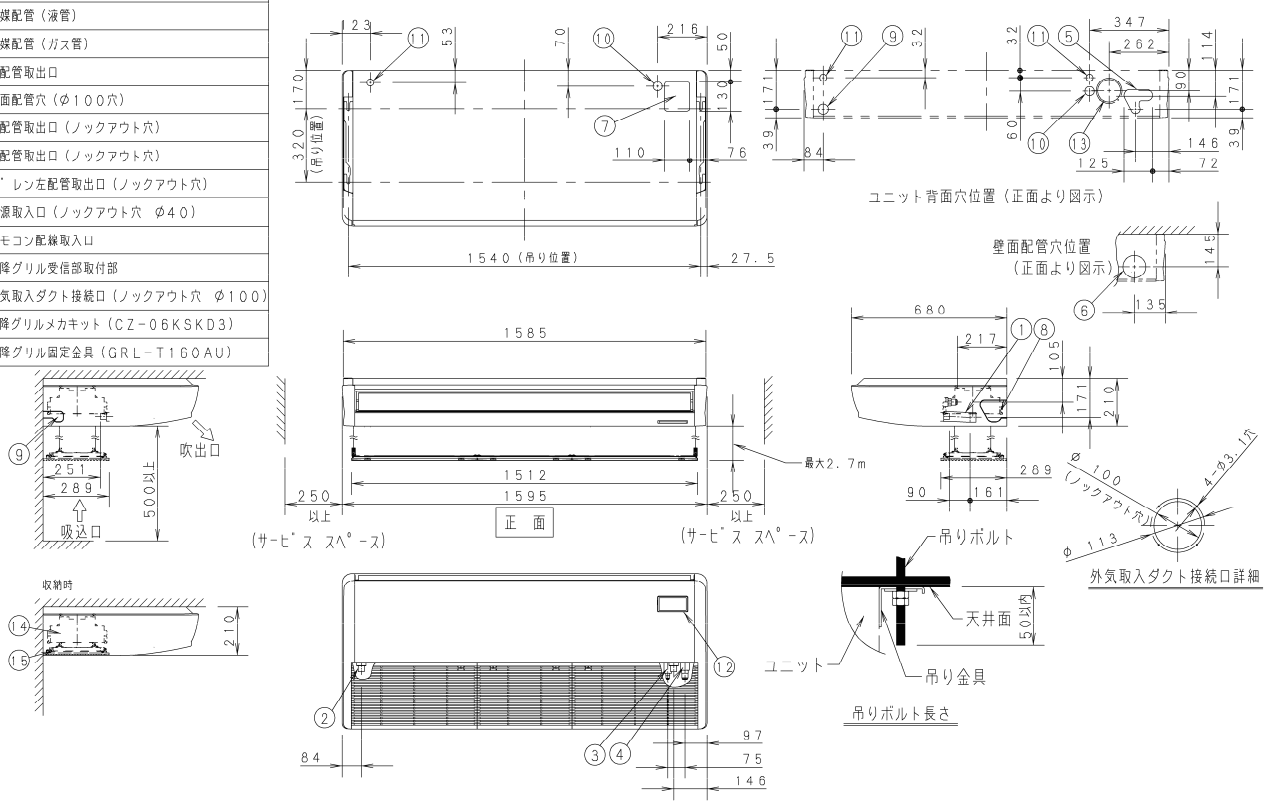


吊りボルト長さ

■昇降グリルメカキット（CZ-06KSKD3）・昇降グリル固定金具（GRL-T160AU）

●G112・140・160TS1

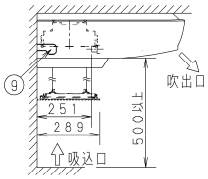
①	ドレンロ　VP20（内径φ26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（φ100穴）
⑦	上配管取出口（ノックアウト穴）
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ﾄﾞﾚﾝ左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	電源取入口（ノックアウト穴　φ40）
⑪	リモコン配線取入口
⑫	昇降グリル受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口（ノックアウト穴　φ100）
⑭	昇降グリルメカキット（CZ-06KSKD3）
⑮	昇降グリル固定金具（GRL-T160AU）

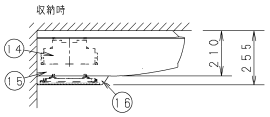


■フィルターチャンバー（CMB-FT56A）・昇降グリルメカキット（CZ-06KSKD3）
昇降グリル固定金具（GRL-T56AU）

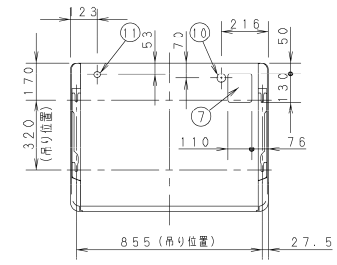
●S-G36・45・56TS1

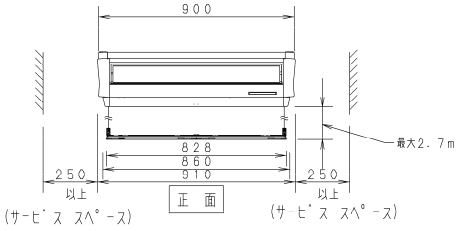
①	ドレンロ　VP20（内径Φ26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（Φ100穴）
⑦	上配管取出口（ノックアウト穴）
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	電源取入口（ノックアウト穴　Φ40）
⑪	リモコン配線取入口
⑫	昇降グリル受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口（ノックアウト穴　Φ100）

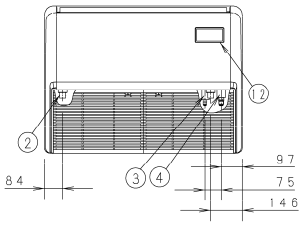


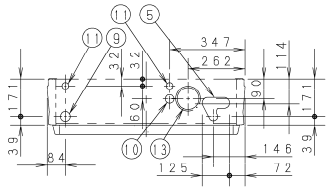


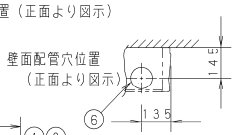
⑭	昇降グリルメカキット（CZ-06KSKD3）
⑮	昇降グリル固定金具（GRL-T56AU）
⑯	フィルターチャンバー（CMB-FT56A）

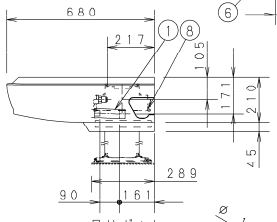


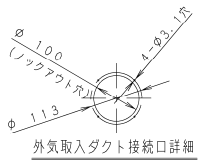


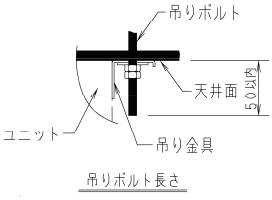








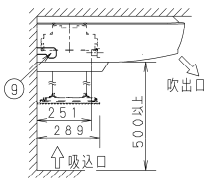


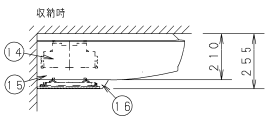


■フィルターチャンバー（CMB-FT80A）・昇降グリルメカキット（CZ-06KSKD3）
昇降グリル固定金具（GRL-T80AU）

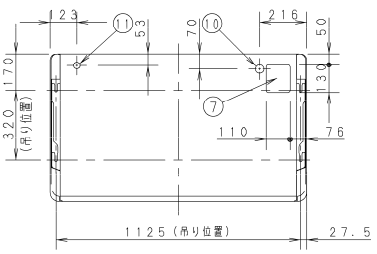
●S-G71・80・90TS1

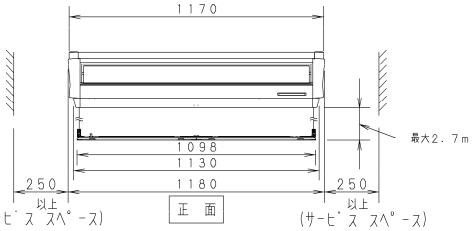
①	ドレンロ　VP20（内径Φ26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（Φ100穴）
⑦	上配管取出口（ノックアウト穴）
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	電源取入口（ノックアウト穴　Φ40）
⑪	リモコン配線取入口
⑫	昇降グリル受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口（ノックアウト穴　Φ100）

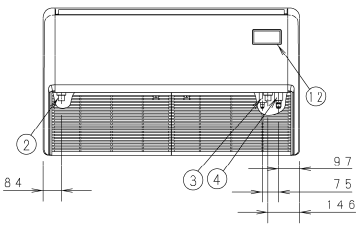


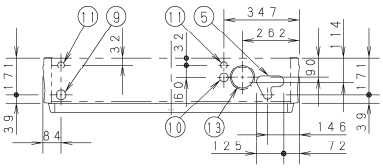


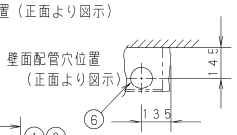
⑭	昇降グリルメカキット（CZ-06KSKD3）
⑮	昇降グリル固定金具（GRL-T80AU）
⑯	フィルターチャンバー（CMB-FT80A）

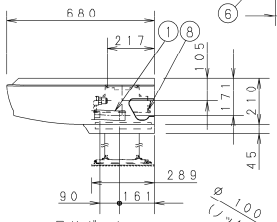


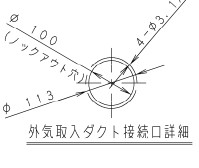


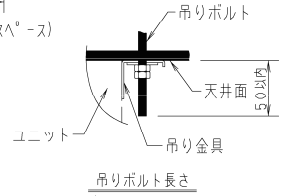








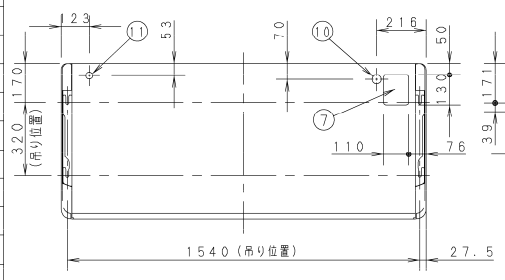


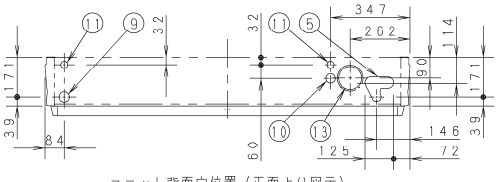


■フィルターチャンバー（CMB-FT160A）・昇降グリルメカキット（CZ-06KSKD3）
昇降グリル固定金具（GRL-T160AU）

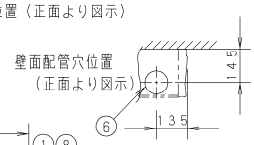
●S-G112・140・160TS1

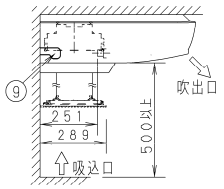
①	ドレンロ　VP20（内径φ26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（φ100穴）
⑦	上配管取出口（ノックアウト穴）
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	電源取入口（ノックアウト穴　φ40）
⑪	リモコン配線取入口
⑫	昇降グリル受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口（ノックアウト穴　φ100）

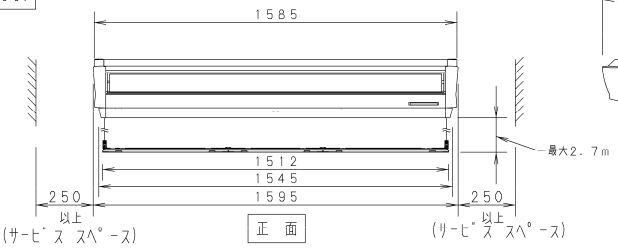


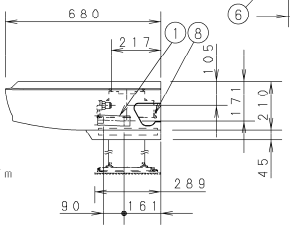


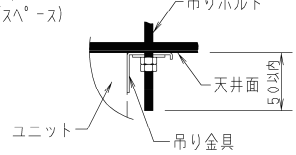
ユニット背面穴位置（正面より図示）



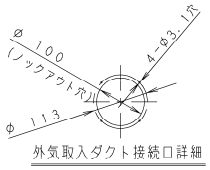




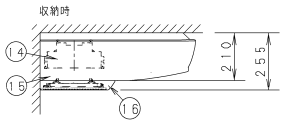


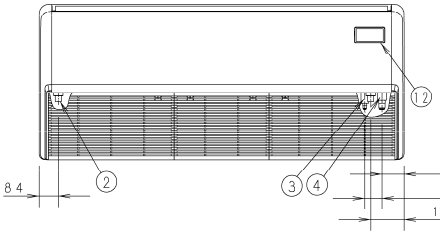


吊りボルト長さ



外気取入ダクト接続口詳細



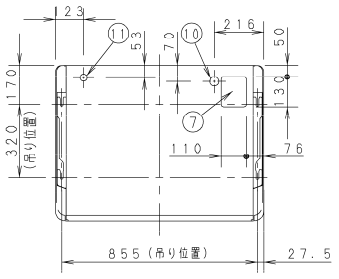


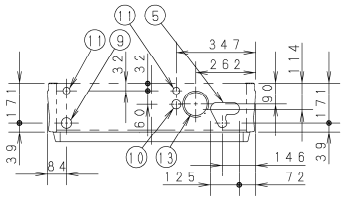
⑭	昇降グリルメカキット（CZ-06KSKD3）
⑮	昇降グリル固定金具（GRL-T160AU）
⑯	フィルターチャンバー（CMB-FT160A）

■各フィルター・フィルターチャンバー（CMB-FT56A）

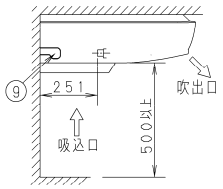
●S-G36・45・56TS1

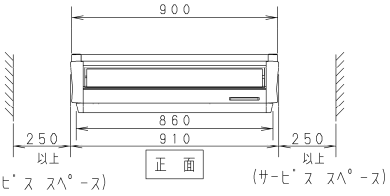
①	ドレンロ　VP20（内径φ26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（φ100穴）
⑦	上配管取出口（ノックアウト穴）
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	電源取入口（ノックアウト穴　φ40）
⑪	リモコン配線取入口
⑫	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口（ノックアウト穴　φ100）

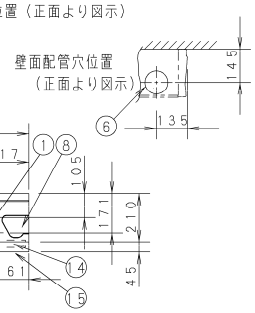




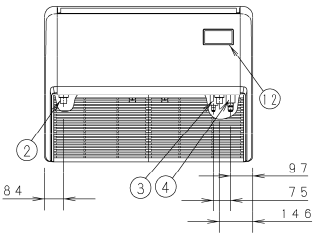
ユニット背面穴位置（正面より図示）

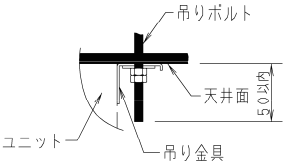




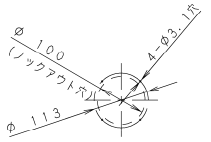


⑭	高性能フィルター（AFT-MT56A，別売品）
	超ロングライフフィルター（AFT-LT56A，別売品）
	デオドラントフィルター（AFT-DT56A，別売品）
	アンモニア脱臭フィルター（CZ-02FET3，別売品）
	光再生脱臭フィルター（CZ-02FDT3，別売品）
⑮	フィルターチャンバー（CMB-FT56A，別売品）





吊りボルト長さ

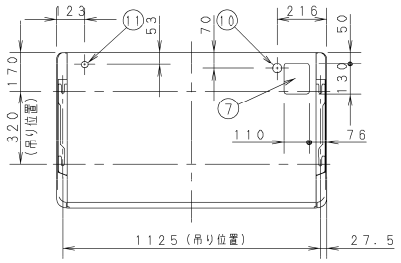


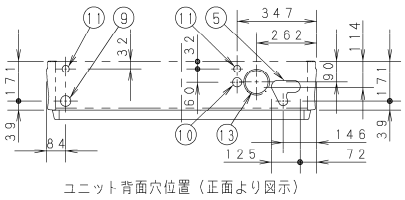
外気取入ダクト接続口詳細

■各フィルター・フィルターチャンバー（CMB-FT80A）

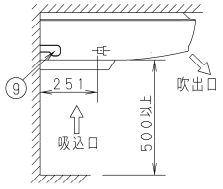
●S-G71・80・90TS1

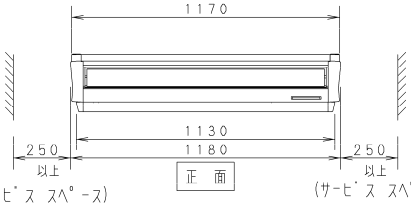
①	ドレンロ　VP20（内径φ26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（φ100穴）
⑦	上配管取出口（ノックアウト穴）
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	電源取入口（ノックアウト穴　φ40）
⑪	リモコン配線取入口
⑫	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口（ノックアウト穴　φ100）

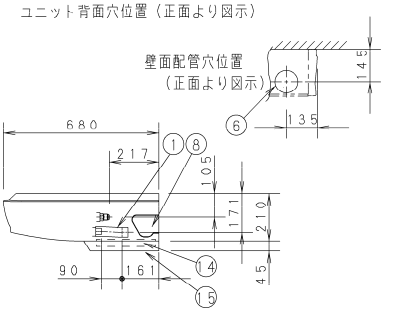




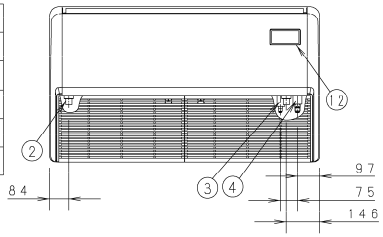
ユニット背面穴位置（正面より図示）

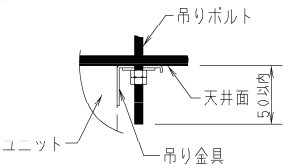




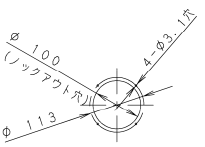


⑭	高性能フィルター（AFT-MT80A，別売品）
	超ロングライフフィルター（AFT-LT80A，別売品）
	デオドラントフィルター（AFT-DT80A，別売品）
	アンモニア脱臭フィルター（CZ-03FET3，別売品）
	光再生脱臭フィルター（CZ-03FDT3，別売品）
⑮	フィルターチャンバー（CMB-FT80A，別売品）





吊りボルト長さ

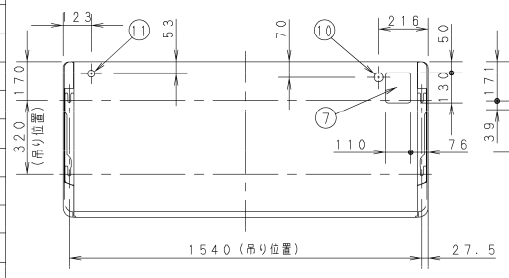


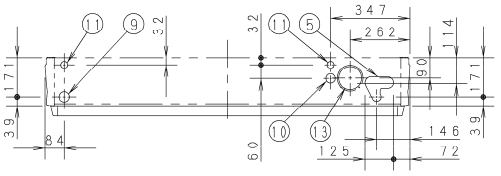
外気取入ダクト接続口詳細

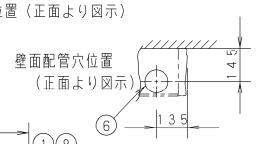
■各フィルター・フィルターチャンバー（CMB-FT160A）

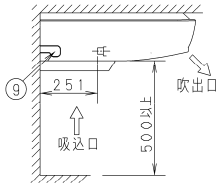
●S-G112・140・160TS1

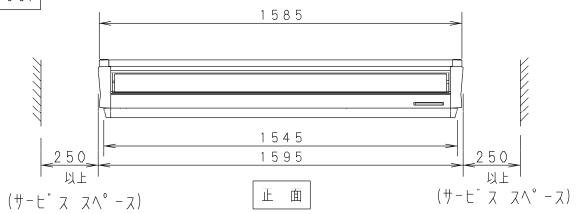
①	ドレンロ　VP20（内径φ26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（φ100穴）
⑦	上配管取出口（ノックアウト穴）
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	電源取入口（ノックアウト穴　φ40）
⑪	リモコン配線取入口
⑫	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口（ノックアウト穴　φ100）

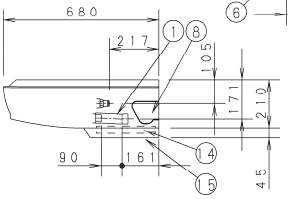




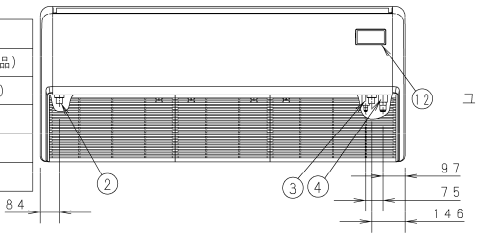


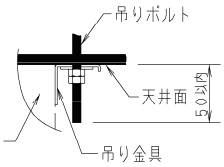


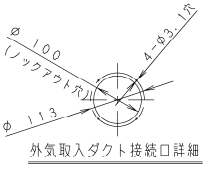




⑭	高性能フィルター（AFT-MT160A，別売品）
	超ロングライフフィルター（AFT-LT160A，別売品）
	デオドラントフィルター（AFT-DT160A，別売品）
	アンモニア脱臭フィルター（CZ-06FET3，別売品）
	光再生脱臭フィルター（CZ-06FDT3，別売品）
⑮	フィルターチャンバー（CMB-FT160A，別売品）



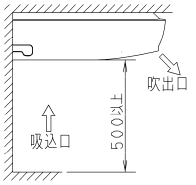


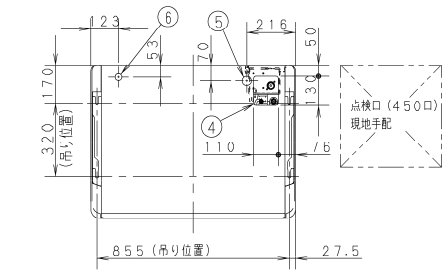


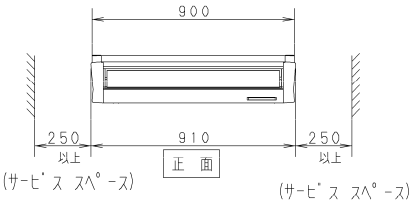
■ドレンアップキット（DP-TR160AN）・L字配管キット（DP-TR34LA）

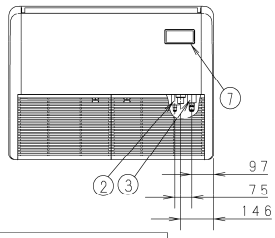
●S-G36・45・56TS1

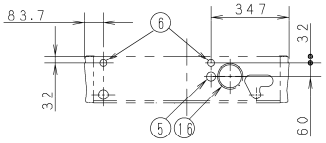
①	ドレンロ　VP20（内径φ26、ホース付属）	⑮	L字配管キット（別売品：DP-TR34LA）
②	冷媒配管（液管）	⑯	外気取入ダクト接続口（ノックアウト穴　φ100）
③	冷媒配管（ガス管）		
④	上配管取出し口（ノックアウト穴）		
⑤	電源取入れ口（ノックアウト穴　φ40）		
⑥	リモコン配線取入れ口		
⑦	ワイヤレスリモコン受信部取付け部		
⑧	天井面配管取出穴（2－φ100穴）		
⑨	ドレンアップキット本体		
⑩	ドレン排水接続ホース（付属）		
⑪	塩ビ管（25A）（現地手配）		
⑫	エルボ（25A）（現地手配）		
⑬	ドレンアップキット排水口（25A）		
⑭	ドレンアップキット固定金具（付属）		





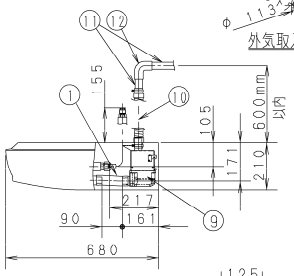


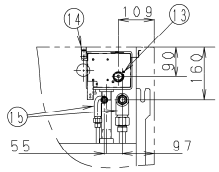




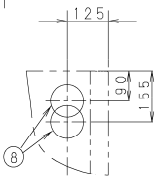
ユニット背面穴位置（正面より図示）

外気取入ダクト接続口詳細





ドレンアップキット取付状態詳細図
（上面より図示）



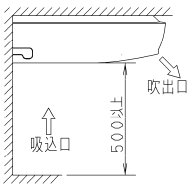
天井面配管取出穴位置
（上面より図示）

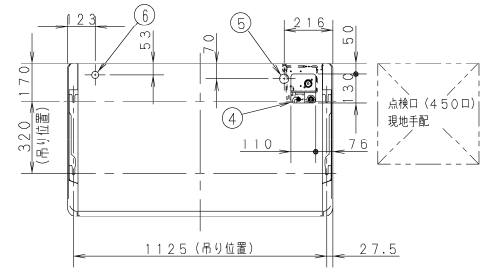
ドレンアップキット取付時には、必ず別売品のL字配管キットを使用してください。

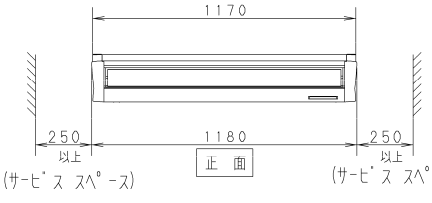
■ドレンアップキット（DP-TR160AN）・L字配管キット（DP-TR35LA）

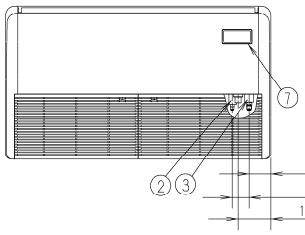
●S-G71・80・90TS1

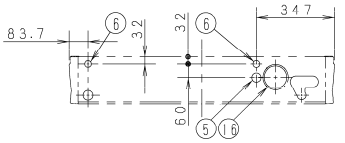
①	ドレンロ　VP20（内径φ26、ホース付属）	⑮	L字配管キット（別売品：CP-TR35LA）
②	冷媒配管（液管）	⑯	外気取入ダクト接続口（ノックアウト穴　φ100）
③	冷媒配管（ガス管）		
④	上配管取出し口（ノックアウト穴）		
⑤	電源取入れ口（ノックアウト穴　φ40）		
⑥	リモコン配線取入れ口		
⑦	ワイヤレスリモコン受信部取付け部		
⑧	天井面配管取出穴（2－φ100穴）		
⑨	ドレンアップキット本体		
⑩	ドレン排水接続ホース（付属）		
⑪	塩ビ管（25A）（現地手配）		
⑫	エルボ（25A）（現地手配）		
⑬	ドレンアップキット排水口（25A）		
⑭	ドレンアップキット固定金具（付属）		



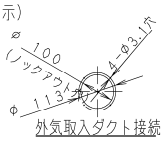




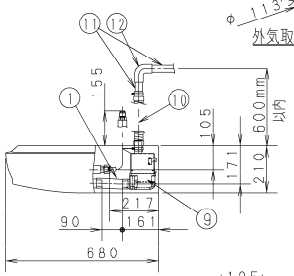


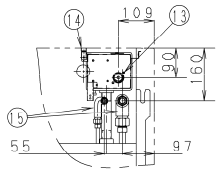


ユニット背面穴位置（正面より図示）

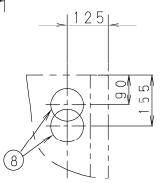


外気取入ダクト接続口詳細





ドレンアップキット取付状態詳細図
（上面より図示）

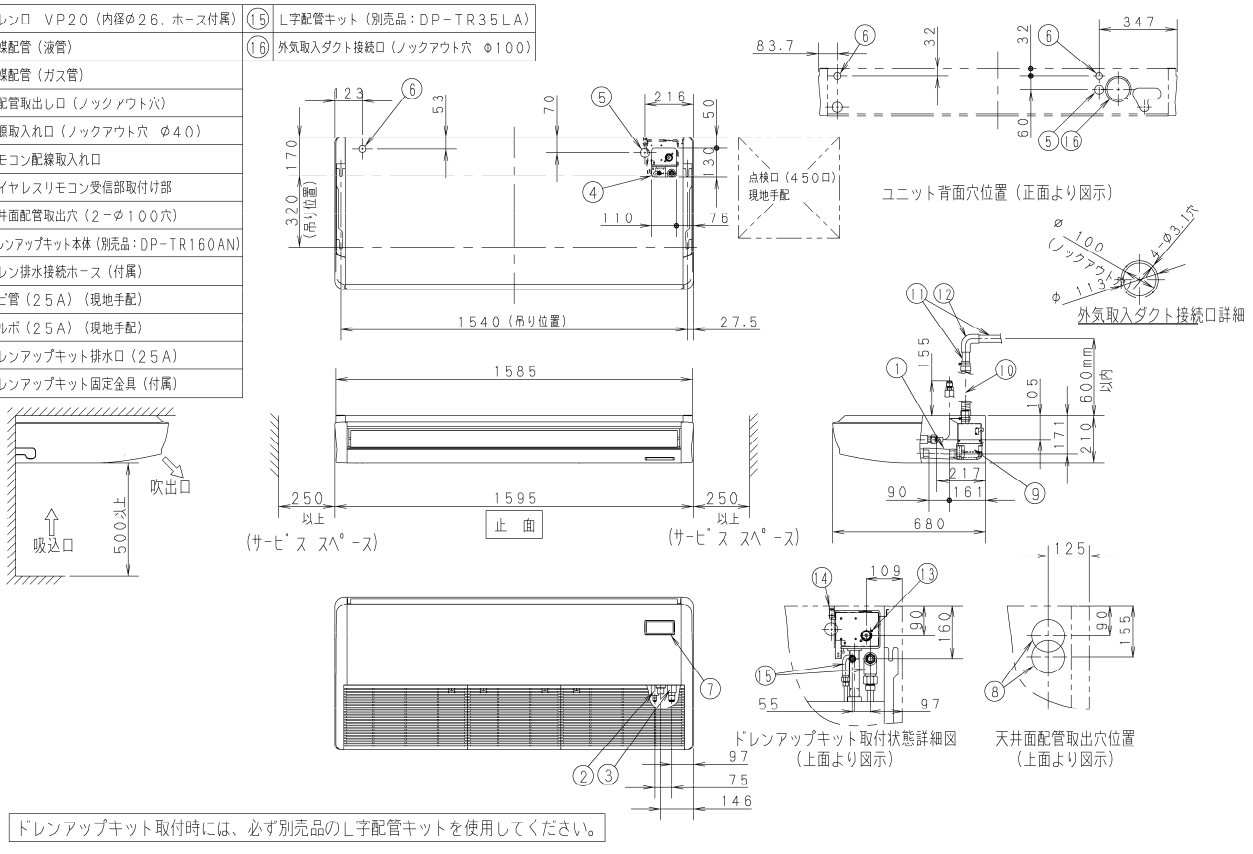


天井面配管取出穴位置
（上面より図示）

ドレンアップキット取付時には、必ず別売品のl 字配管キットを使用してください。

●S-G112・140・160TS1

①	ドレンロ　VP20（内径ø26、ホース付属）	⑮	L字配管キット（別売品：DP-TR35LA）
②	冷媒配管（液管）	⑯	外気取入ダクト接続口（ノックアウト穴　Φ100）
③	冷媒配管（ガス管）		
④	上配管取出し口（ノックアウト穴）		
⑤	電源取入れ口（ノックアウト穴　ø40）		
⑥	リモコン配線取入れ口		
⑦	ワイヤレスリモコン受信部取付け部		
⑧	天井面配管取出穴（2-ø100穴）		
⑨	ドレンアップキット本体（別売品：DP-TR160AN）		
⑩	ドレン排水接続ホース（付属）		
⑪	塩ビ管（25A）（現地手配）		
⑫	エルボ（25A）（現地手配）		
⑬	ドレンアップキット排水口（25A）		
⑭	ドレンアップキット固定金具（付属）		

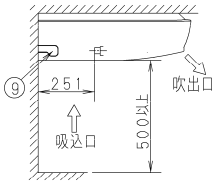


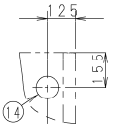
ドレンアップキット取付時には、必ず別売品のL字配管キットを使用してください。

■L字配管キット（DP-TR34LA）

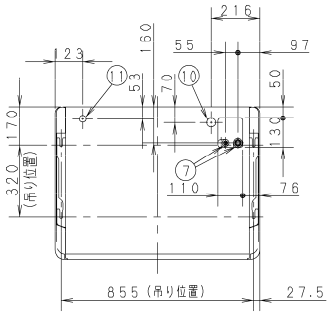
●S-G36・45・56TS1

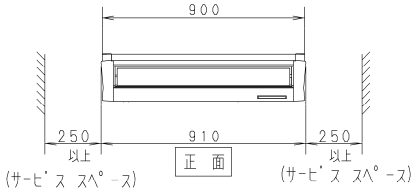
①	ドレンロ　VP20（内径φ26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（φ100穴）
⑦	L字配管キット（DP-TR34LA）
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	電源取入口（ノックアウト穴　φ40）
⑪	リモコン配線取入口
⑫	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口（ノックアウト穴　φ100）
⑭	天井面配管取出穴（φ100穴）

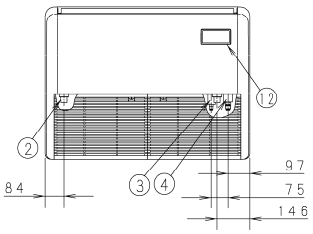


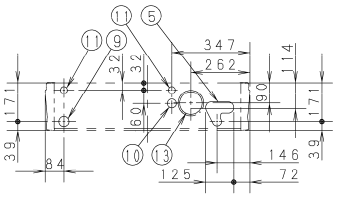


天井面配管取出穴位置
（上面より図示）

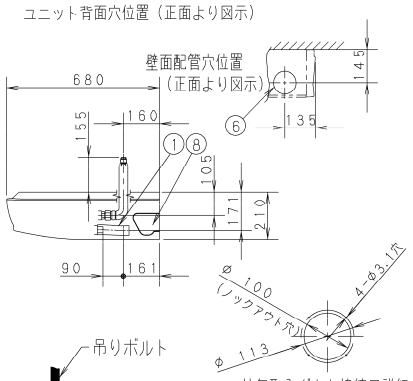


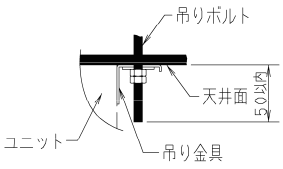






ユニット背面穴位置（正面より図示）



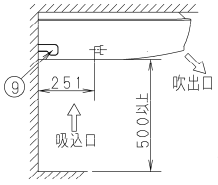


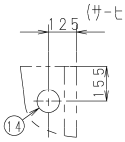
吊りボルト長さ

■L字配管キット（DP-TR35LA）

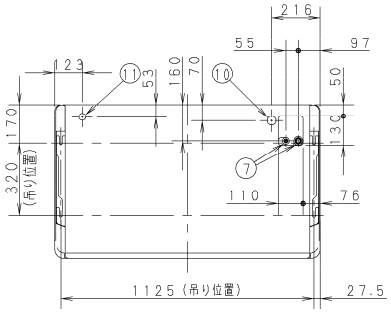
●S-G71・80・90TS1

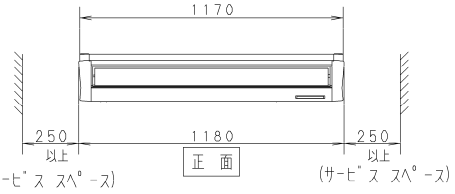
①	ドレンロ　VP20（内径φ26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（φ100穴）
⑦	L字配管キット（DP-TR35LA）
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	電源取入口（ノックアウト穴　φ40）
⑪	リモコン配線取入口
⑫	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口（ノックアウト穴　φ100）
⑭	天井面配管取出穴（φ100穴）

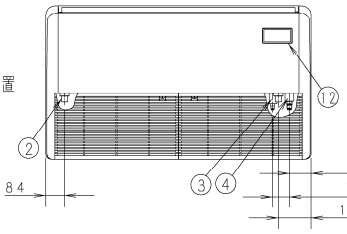


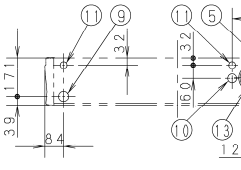


天井面配管取出穴位置
（上面より図示）

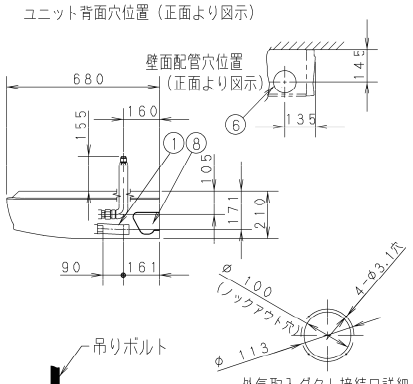


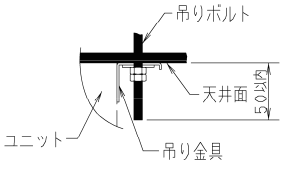






ユニット背面穴位置（正面より図示）

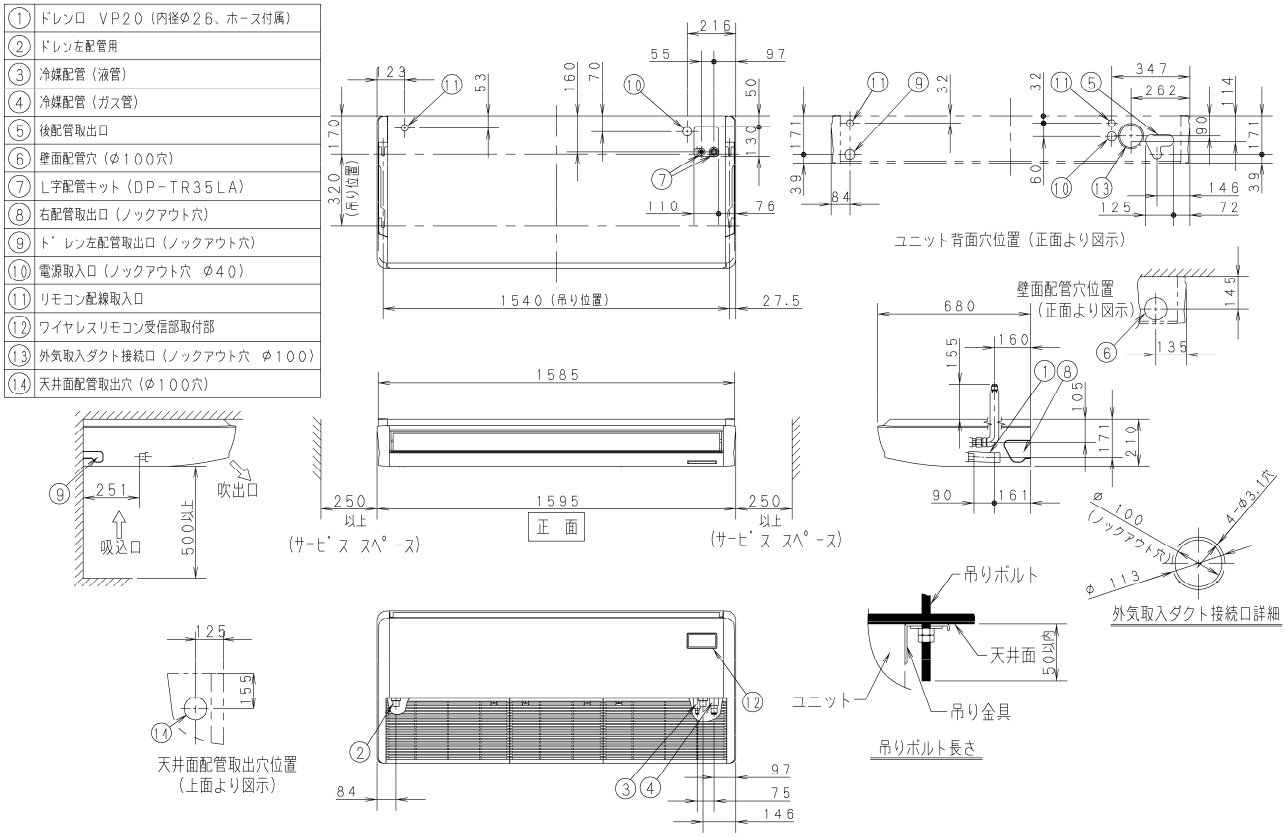




吊りボルト長さ

●G112・140・160TS1

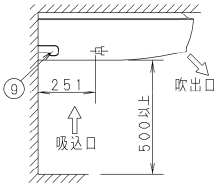
①	ドレンロ　VP20（内径φ26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（φ100穴）
⑦	L字配管キット（DP-TR35LA）
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ドレン左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	電源取入口（ノックアウト穴　φ40）
⑪	リモコン配線取入口
⑫	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口（ノックアウト穴　φ100）
⑭	天井面配管取出穴（φ100穴）

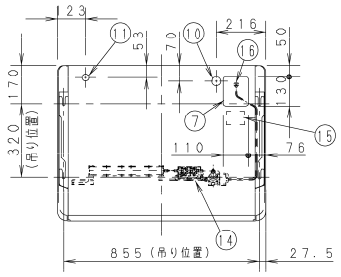


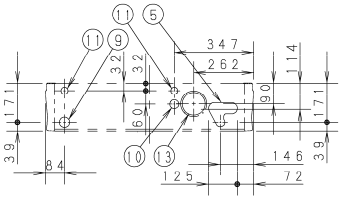
■自然気化式加湿器（RH-TN05A）

●S-G36・45・56TS1

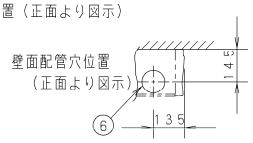
①	ドレンロ　VP20（内径Ø26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（Ø100穴）
⑦	上配管取出口（ノックアウト穴）
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ﾄﾞﾚﾝ左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	電源取入口（ノックアウト穴　Ø40）
⑪	リモコン配線取入口
⑫	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口（ノックアウト穴　Ø100）
⑭	加湿器（RH－TN05A、別売品）
⑮	制御箱（RH－TN05Aに付属）
⑯	加湿器給水口

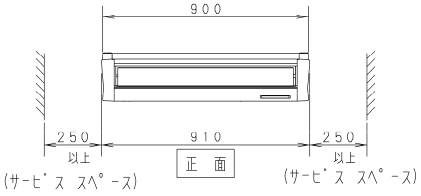


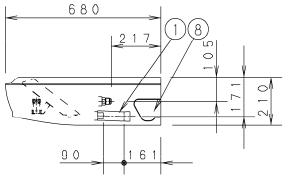


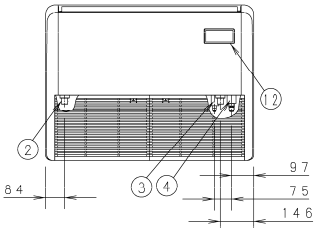


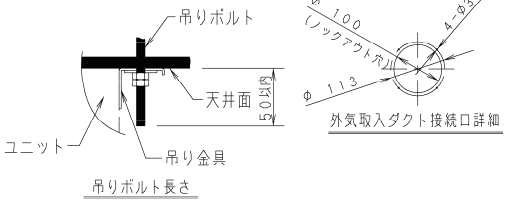
ユニット背面穴位置（正面より図示）







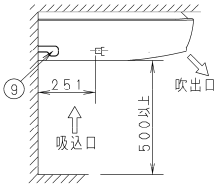


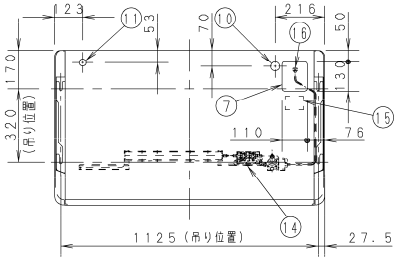


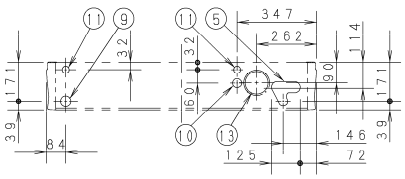
■自然気化式加湿器（RH-TN07A）

●S-G71・80・91TS1

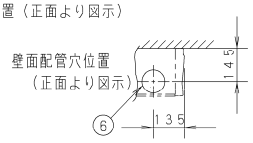
①	ドレンロ　VP20（内径Ø26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（Ø100穴）
⑦	上配管取出口（ノックアウト穴）
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ﾄﾞﾚﾝ左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	電源取入口（ノックアウト穴　Ø40）
⑪	リモコン配線取入口
⑫	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口（ノックアウト穴　Ø100）
⑭	加湿器（RH－TN07A、別売品）
⑮	制御箱（RH－TN07Aに付属）
⑯	加湿器給水口（1／4　フレア）

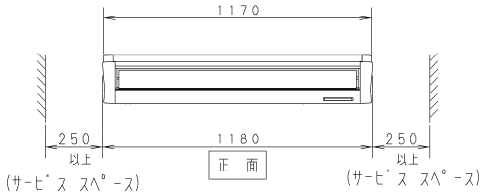


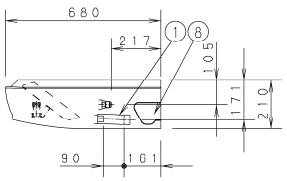


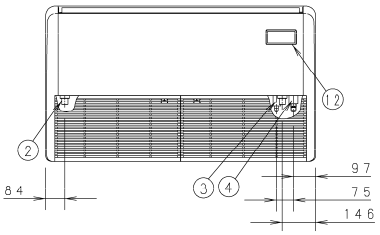


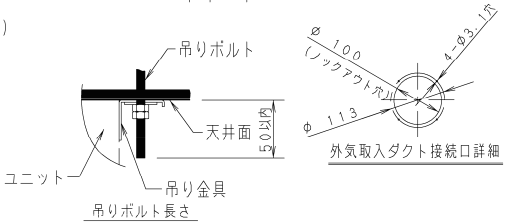
ユニット背面穴位置（正面より図示）







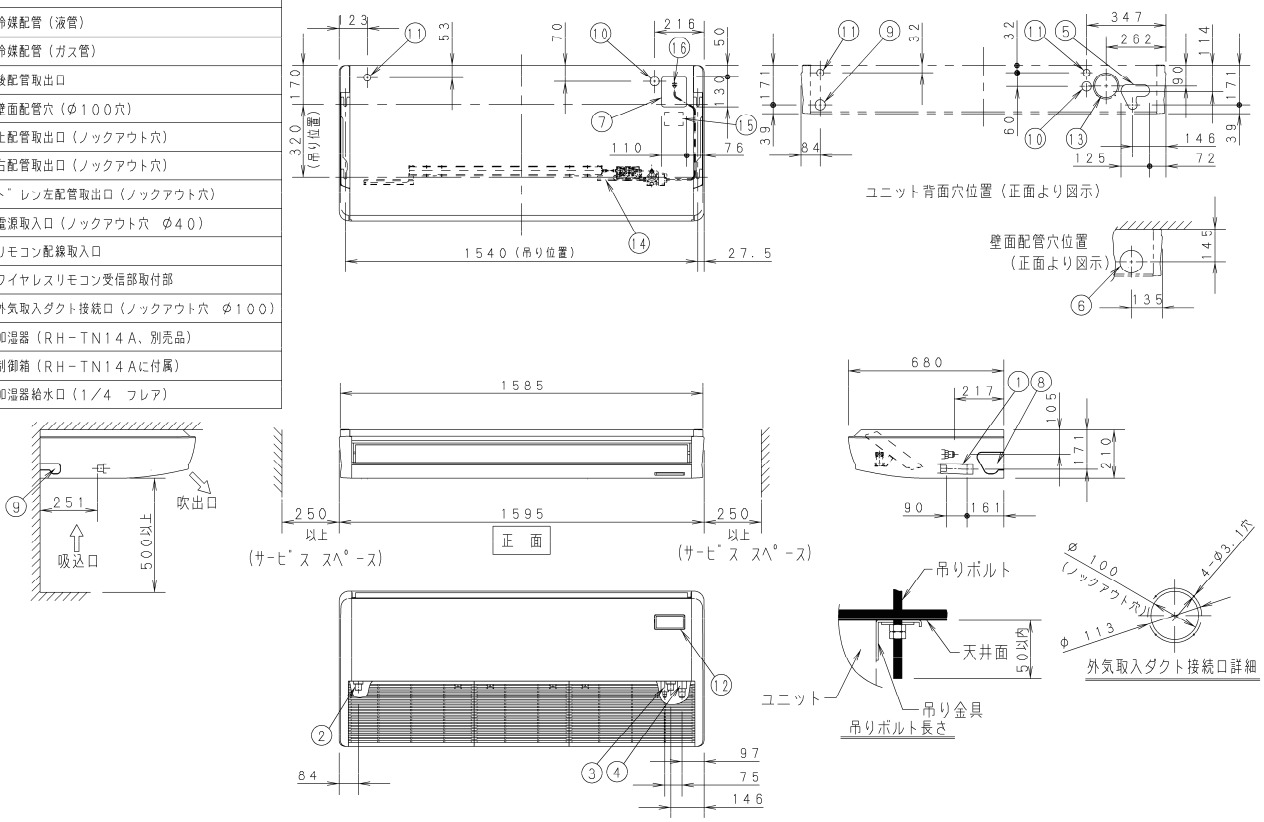




■自然気化式加湿器（RH-TN14A）

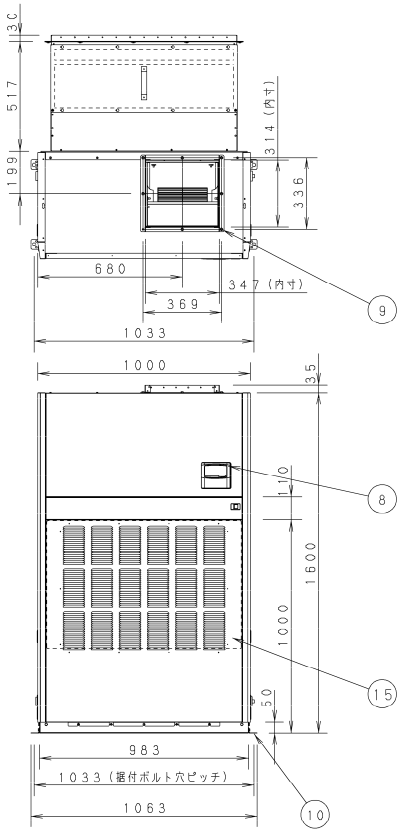
●S-G112・140・160TS1

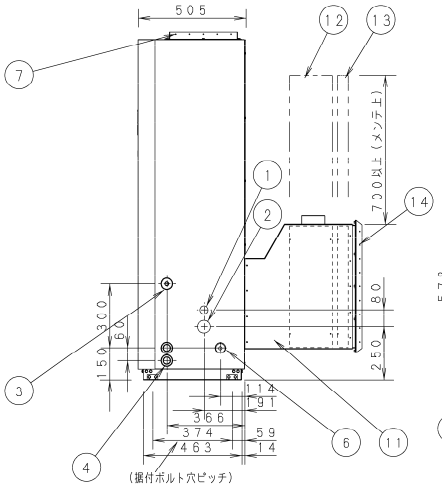
①	ドレン口　VP20（内径φ26、ホース付属）
②	ドレン左配管用
③	冷媒配管（液管）
④	冷媒配管（ガス管）
⑤	後配管取出口
⑥	壁面配管穴（φ100穴）
⑦	上配管取出口（ノックアウト穴）
⑧	右配管取出口（ノックアウト穴）
⑨	ﾄﾞﾚﾝ左配管取出口（ノックアウト穴）
⑩	電源取入口（ノックアウト穴　φ40）
⑪	リモコン配線取入口
⑫	ワイヤレスリモコン受信部取付部
⑬	外気取入ダクト接続口（ノックアウト穴　φ100）
⑭	加湿器（RH-TN14A、別売品）
⑮	制御箱（RH-TN14Aに付属）
⑯	加湿器給水口（1／4　フレア）

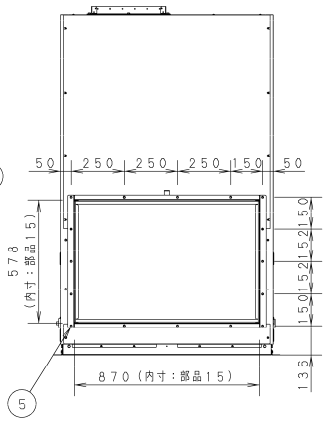


■フィルターチャンバー（CMB-FE224E）

●S-G224BDU1







番号	名称
1	冷媒配管口，液側
2	冷媒配管口，ガス側
3	加湿器（別売品）配管口
4	電源取入口
5	16−φ10穴（M6ボルト）（後ろの吸い込み口を外し、16個の穴がある）
6	ドレンロ（PS1めねじ）
7	吹出側ダクト用フランジ
8	コントロールスイッチ

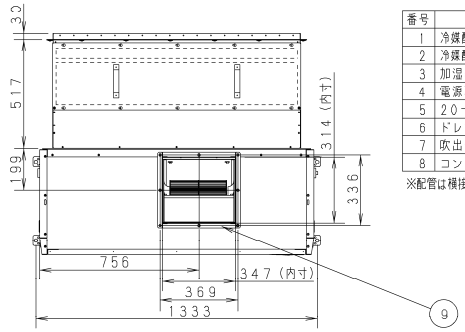
※配管は横接続となります。（後接続はできません。）

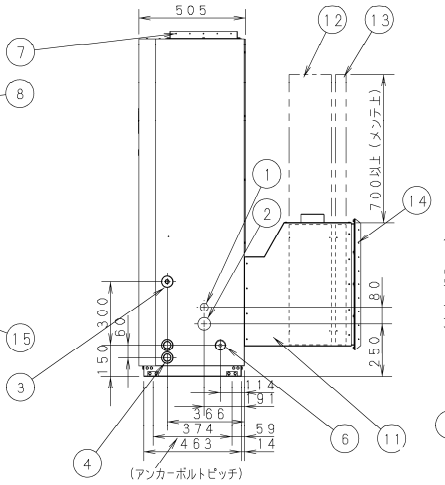
番号	名称	
9	8−φ8穴（M6ボルト）	
10	据付金具（据付穴φ16　M10ボルトを推奨する）	
11	フィルターチャンバー　（CMB−FE224E）	別売品
12	高性能フィルター　（AFT−HE224E又はAFT−ME224E）	別売品
13	ロングライフフィルター　（AFT−LE224E）	別売品
14	吸込側ダクト用フランジ　（DKT−RFD224E）	別売品
15	前閉塞きパネル　（PNR−E224E）	別売品

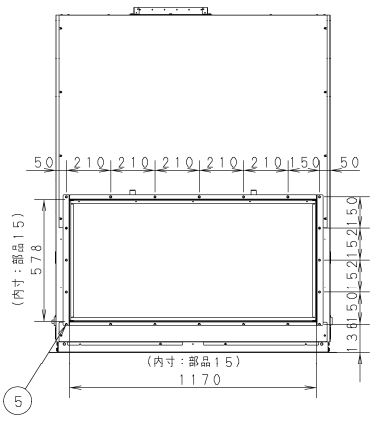
※冷媒配管、電源、ドレン配管はユニット左右取出しが可能です。
※ヒーター配管口（φ60ノックアウトホール）は、左右にあります。
※フィルターは上面取出しです。

■フィルターチャンバー（CMB-FE280E）

●S-G280BDU1







番号	名称
1	冷媒配管口，液側
2	冷媒配管口，ガス側
3	加湿器（別売品）配管口
4	電源取入口
5	20−φ10穴（M6ボルト）（後ろの吸い込み口を外し、20個の穴がある）
6	ドレンロ　Rp1（PS1　めねじ）
7	吹出側ダクト用フランジ
8	コントロールスイッチ

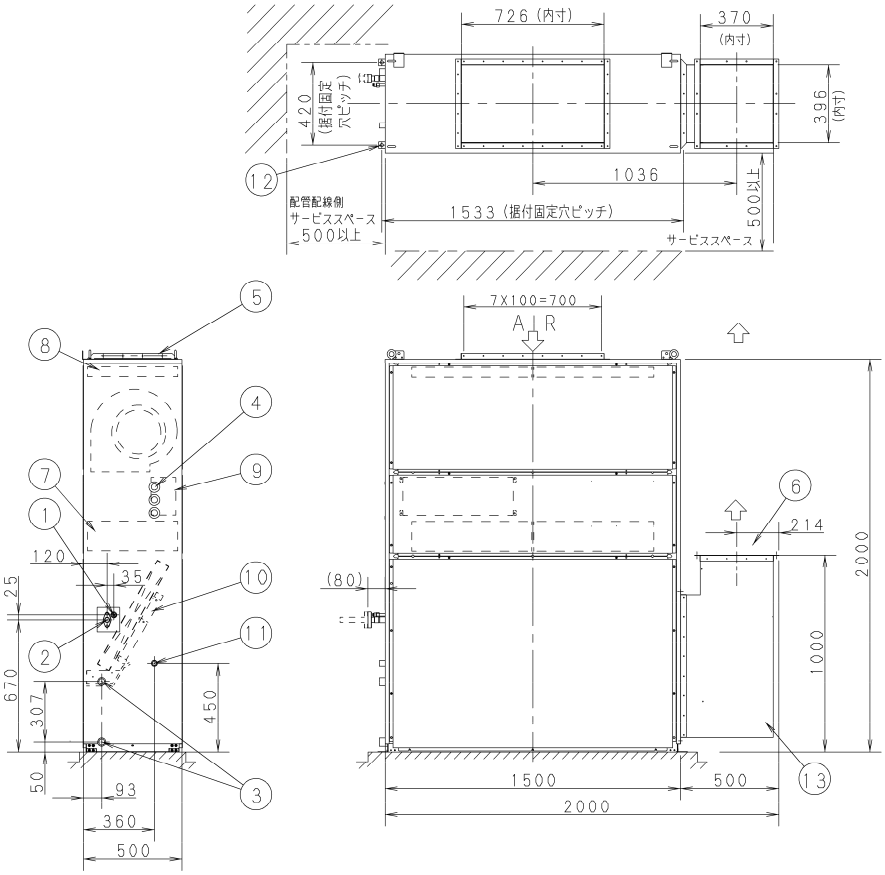
※配管は横接続となります。（後接続はできません。）

番号	名称	
9	8−φ8穴（M6ボルト）	
10	据付金具（据付穴φ16　M10ボルトを推奨する）	
11	フィルターチャンバー　（CMB−FE280E）	別売品
12	高性能ノィルター　（AFT−HE280E又はAFT−ME280E）	別売品
13	ロングライフフィルター　（AFT−LE280E）	別売品
14	吸込側ダクト用フランジ　（DKT−RFD280E）	別売品
15	前閉塞きパネル　（PNR−E280E）	別売品

※冷媒配管、電源、ドレン配管はユニット左右取出しが可能です。
※ヒーター配管口（φ60ノックアウトホール）は、左右にあります。
※フィルターは上面取出しです。
※背面吸込みは特注対応になります。

■吹出口チャンバー（CMB-GUF）

●S-G200XWS2



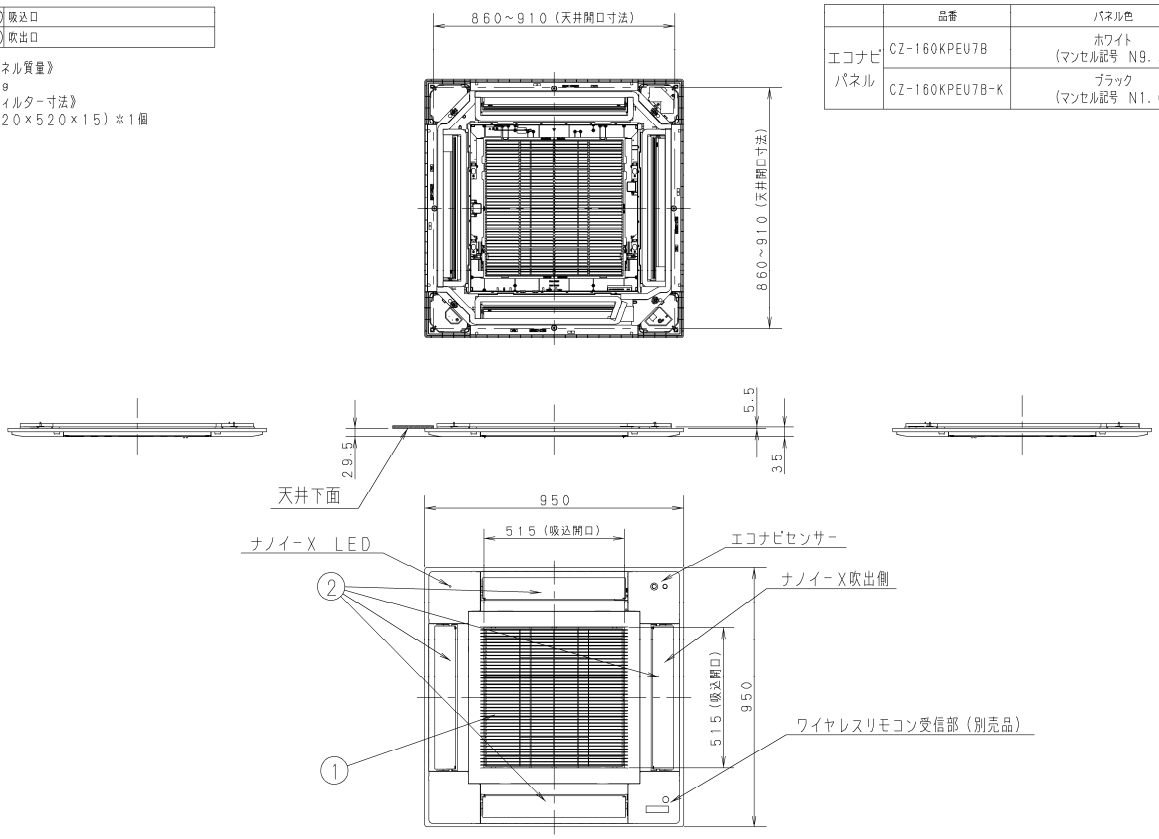
1	冷媒接続配管口（液管）
2	冷媒接続配管口（ガス管）
3	ドレン出口（上部、下部ともPS1Bメネジ）
4	電源取入口（ゴムブッシュ付）
5	吸込側ダクトフランジ
6	吹出側ダクトフランジ
7	高性能フィルター（別売品）
8	ロングライフフィルター（標準装備）
9	電装ボックス
10	気化式加湿器（標準装備）
11	加湿器用給水口（PS1／2Bメネジ）
12	据付固定穴　4－φ16
13	吹出チャンバー（別売品）

●エコナビパネル（CZ-160KPEU7B）

■外形寸法図

①	吸込口
②	吹出口

《パネル質量》
5kg
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個



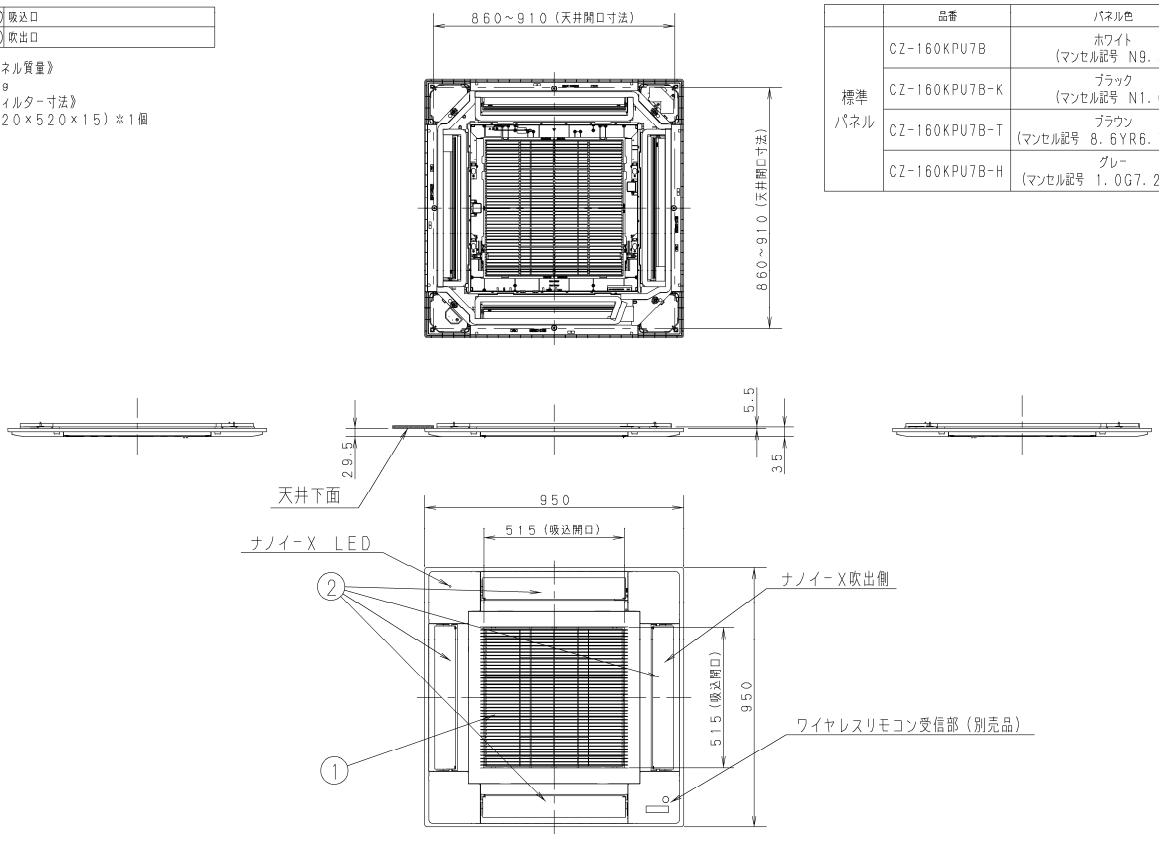
	品番	パネル色
エコナビパネル	CZ-160KPEU7B	ホワイト（マンセル記号 N9.3）
	CZ-160KPEU7B-K	ブラック（マンセル記号 N1.0）

●標準パネル（CZ-160KPU7B）

■外形寸法図

①	吸込口
②	吹出口

《パネル質量》
5kg
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個



	品番	パネル色
標準パネル	CZ-160KPU7B	ホワイト（マンセル記号 N9.3）
	CZ-160KPU7B-K	ブラック（マンセル記号 N1.0）
	CZ-160KPU7B-T	ブラウン（マンセル記号 8.6YR6.7/3.4）
	CZ-160KPU7B-H	グレー（マンセル記号 1.0G7.2/0.1）

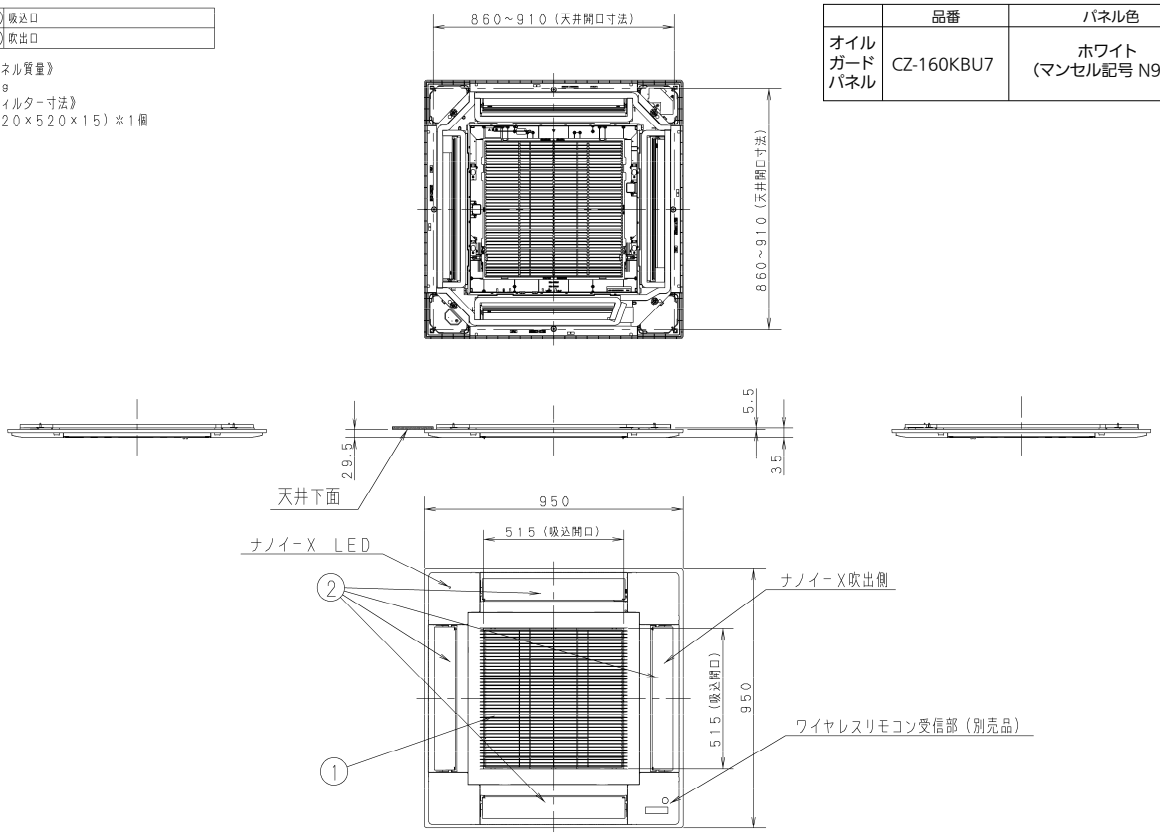
●オイルガードパネル（CZ-160KBU7）

■外形寸法図

①	吸込口
②	吹出口

《パネル質量》
5kg
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

	品番	パネル色
オイルガードパネル	CZ-160KBU7	ホワイト（マンセル記号 N9.3）



■標準パネル、エコナビパネル、オイルガードパネル　仕様

	標準パネル	エコナビパネル	オイルガードパネル
品　　番	CZ-160KPU7B	CZ-160KPEU7B	CZ-160KBU7
外形寸法　W×D×H (mm)	950×950×47 (29.5)	950×950×47 (29.5)	950×950×47 (29.5)
製品質量 (kg)	5.0	5.0	5.0
色 (マンセル記号)	ホワイト (N9.3) -H：グレー（1.0G 7.2/0.1） -T ：ブラウン (8.6YR 6.7/3.4) -K：ブラック (N1.0)	ホワイト (N9.3) -K：ブラック (N1.0)	ホワイト (N9.3)
適用形式	28 ～ 160形		

※外形寸法の（　）内数値は、天井面からでているパネルの高さの寸法です。

Panasonic®

据付工事説明書（詳細版）をダウンロードできます。
QRコードから代表機種（CZ-160KPU7B）のページにアクセスします。
https://www2.panasonic.biz/scvb/a2A/top.G01
「品番・品名・キーワード」欄に「CZ-160KPU7B」と入力し据付工事説明書をダウンロードしてください。

QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

据付工事説明書　標準パネル／エコナビパネル／オイルガードパネル

品番		
標準パネル	CZ-160KPU7B　CZ-160KPU7B-K　CZ-160KPU7B-H　CZ-160KPU7B-T	
エコナビパネル	CZ-160KPEU7B　CZ-160KPEU7B-K	
オイルガードパネル	CZ-160KBU7	

適用室内ユニット　４方向天井カセット形　Uシリーズ*
（*対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください）

●取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている据付工事説明書と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

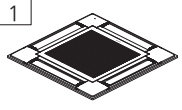
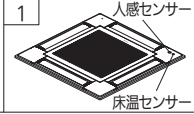
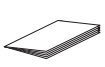
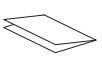
⚠ 警告

■ **据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する**
（感電・火災などの原因）
■ **据付工事は、室内ユニットの据付工事説明書に従って行う**（感電・火災などの原因）
■ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（ユニットの落下による、けがの原因）
■ **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
●電気設備に関する技術基準　●内線規程
●据付工事説明書
（感電・火災の原因）
■ **据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する**
据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
（冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
■ **配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する**
●端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。
（発熱・火災などの原因）
■ **工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う**
（感電の原因）

⚠ 注意

■ **可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない**
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ **据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。**

本体			付属品			エコナビパネルのみ	
品名	標準パネル／オイルガードパネル	エコナビパネル	座付ネジ	ネ　ジ	据付工事説明書	取扱説明書	据付工事説明書
個数	1	1	4	4	2	1	1
形状			（座付ネジはパネル本体にあらかじめ取り付けられています）				

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

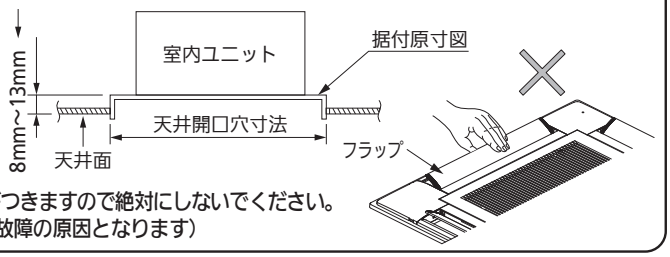
Printed in Japan
ACXF60-54970
BE1123-0

1. 取り付け前の準備

（1）室内ユニット位置の確認

①天井開口穴が下記の範囲内か確認します。
860mm×860mm～910mm×910mm
②室内ユニットの梱包箱に印刷されている据付原寸図を使用し、
天井面と室内ユニットの位置出しを行ないます。
天井面と室内ユニットの位置が合わないと風漏れや水漏れ
およびフラップの動作不良等の原因となります。

必ず8mm～13mmの範囲内とすること。
この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。

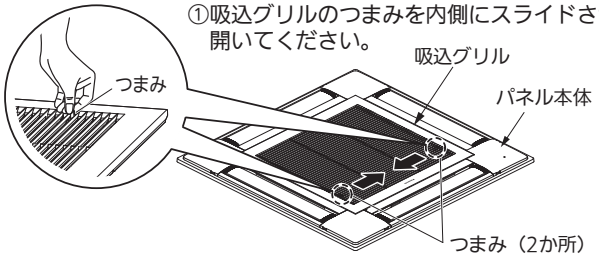


● パネルを下向きに置くことや、立掛け、突起物の上への放置は表面に傷がつきますので絶対にしないでください。
● フラップをさわったり、力を加えたりしないでください。（フラップの故障の原因となります）

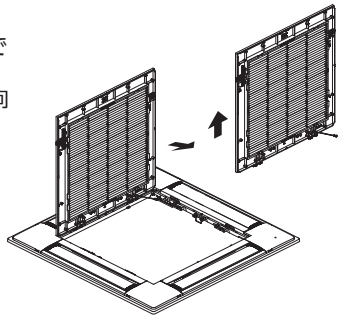
2. 取り付けかた

（1）吸込グリルの取りはずし

①吸込グリルのつまみを内側にスライドさせ、開いてください。

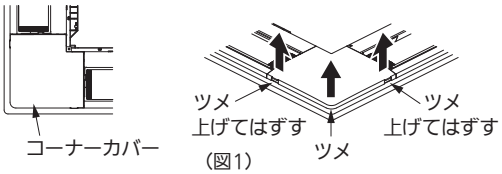


②吸込グリルが開いた状態で
吸込グリルのヒンジ部を
パネル本体から矢印の方向
にはずしてください。



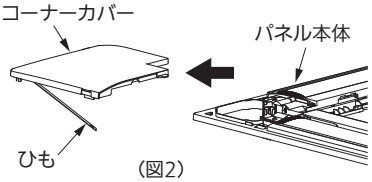
（2）コーナーカバーの取りはずし

①コーナーカバーのツメを矢印の方向へ押し上げてはずして
ください。（図1）



（図1）

②コーナーカバーを矢印の方向へスライドしはずして
ください。（図2）



（図2）

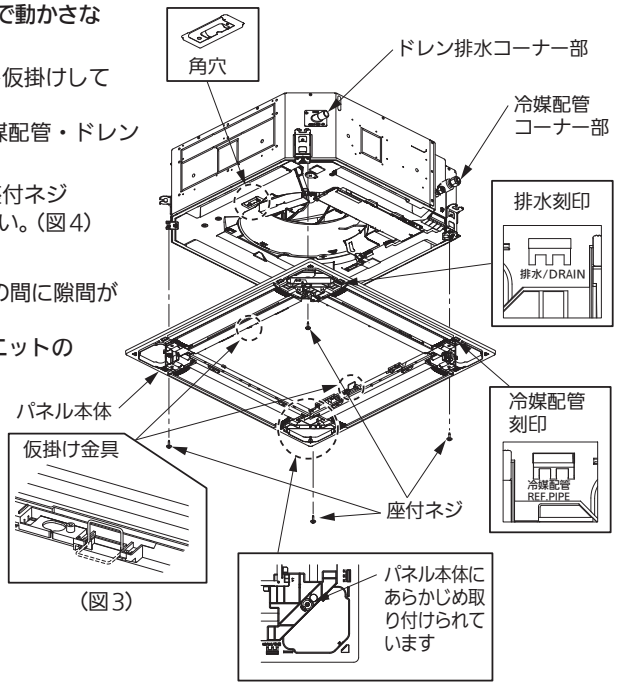
（3）パネル本体の取り付け

フラップの角度変更は電源を入れなければできません。（フラップを手で動かさないでください。手で動かすと壊れるおそれがあります）

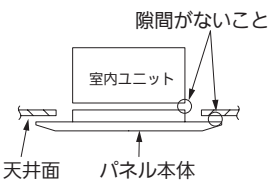
①パネル本体内面の仮掛け金具を起こし、室内ユニットの角穴に挿入し仮掛けしてください。（図3）
パネル本体コーナー部の**冷媒配管・排水**の刻印を室内ユニットの冷媒配管・ドレン排水コーナー部に合わせてください。

②パネル本体の取付穴と室内ユニットのネジ穴を合わせパネル本体の座付ネジ（M5×26）4か所を室内ユニットに密着するまで締め込んでください。（図4）

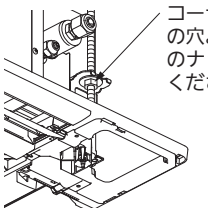
③パネル本体が天井に密着したことを確認してください。
この時、室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面との間に隙間がないようにしてください。（図5）
天井との隙間が生じた場合、パネル本体を取り付けたまま、室内ユニットの据え付け高さを微調整し、天井との隙間をなくしてください。（図6）
はずす場合はパネル本体を支えながら仮掛け金具を外側に押してください。



（図3）
（図4）



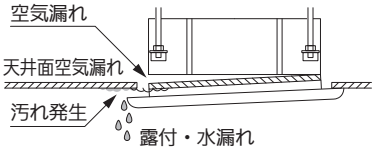
（図5）



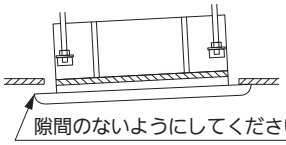
（図6）

ご 注 意

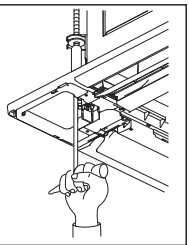
- 座付ネジの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。



- 座付ネジを締め込んでも天井面とパネル本体との間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。



室内ユニットの水平度、ドレン配管等に影響がでない程度であればパネル本体のコーナー部の穴よりパネル本体を付けたまま本体の高さ調整ができます。



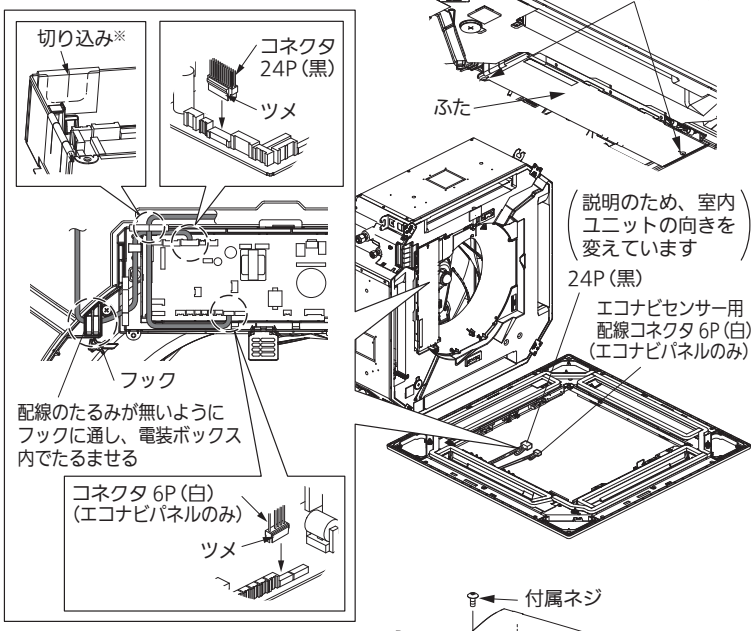
(4) パネル本体の配線方法

①電装ボックスのふたを取りはずしてください。(ネジ2か所)

②パネル本体から出ている配線コネクタ（標準パネルとオイルガードパネルは 24P（黒）のみ、エコナビパネルは 24P（黒）と 6P（白）の両方）を室内ユニットの基板のコネクタに接続してください。
その際、図のように 24P（黒）はフックに通して電装ボックス内へ引き込んでください。6P（白）はフックを通さず電装ボックス内へ引き込んでください。
コネクタにはツメがありますので、ツメが基板の外側を向くようにロックがかかるまで確実に挿入してください。
（確実に接続されていないとオートフラップが動作せず、リモコンに "P09" が表示されます。
また、逆差しした場合は基板部品の破損のおそれがあります）

※6P（白）コネクタの配線を接続する際には、配線経路の EPT を電装 BOX の縁までハサミで切って配線してください。

③電装ボックスのふたを元通りに取り付けてください。
配線が電装ボックスとふたの間にはさまれていないことを確認してください。
配線が室内ユニットとパネル本体の間にはさまれていないことを確認してください。

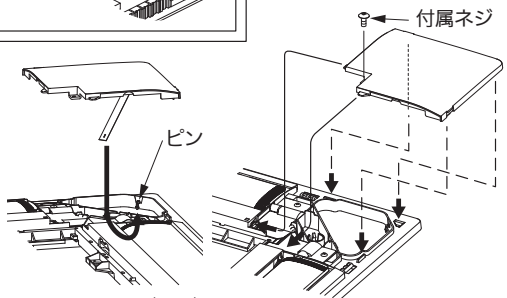


(5) コーナーカバー・吸込グリルの取り付け

A.コーナーカバーの取り付け

①コーナーカバーのひもを図7のようにパネル本体のピンに引っかけてください。（ナノイーX LEDおよびエコナビセンサーが付いているコーナーカバーには、ひもは付いていません）

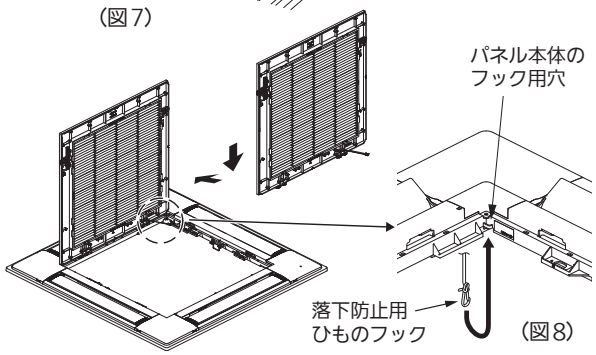
②コーナーカバーをパネル本体に、付属のネジで取り付けてください。



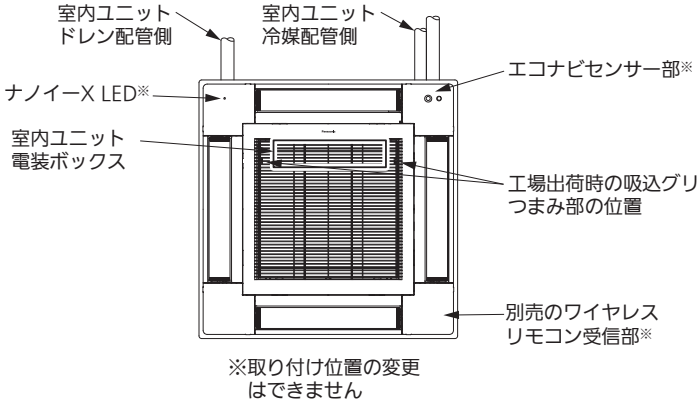
（図7）

B.吸込グリルの取り付け

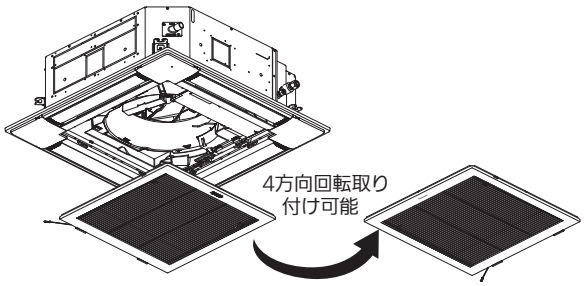
- 取付方法は**吸込グリルの取りはずし**と逆の手順で取り付けてください。（2 ページ　2.（1））
- **吸込グリルを取り付ける際、配線をはさまないよう注意してください。**
- **必ず吸込グリル落下防止用ひもをパネル本体に図8のように取り付けてください。落下防止用ひもを取り付けない場合、吸込グリルが落下するおそれがあります。**
- 吸込グリルは4辺いずれの向きでも取り付けが可能です。（図9）



（図8）



※取り付け位置の変更はできません



（図9）

3. その他

A.据え付け後の確認

- 室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間のないことを再確認してください。
  ＊隙間があると水漏れや露付の原因となります。
- 配線接続が確実にされていることを確認してください。
  ＊接続されてないとオートフラップが動かない（リモコンにP09の表示が出ます）、また水漏れや露付等の原因となります。

B.ワイヤレスリモコン対応の場合

- 取り付け方法の詳細は、別売のワイヤレスリモコン受信部に付属の据付説明書を参照してください。

C.DCファンモータータップの選択（4方向天井カセット形）

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表1）
ファン回転数を設定する方法は、（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する方法（2）ワイヤードリモコンで設定する方法があります。どちらかの方法で設定してください。＊ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1　DCファンモータータップ設定表

設定No.	リモコンの設定データ項目コード5D	使用用途／別売品名称　※1
(出荷設定)	0000	標準
		ロングライフフィルター
(1)	0001	高天井設定1（標準、エコナビパネル時）
		オイルガードパネル　※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター　※2
		高性能フィルター（比色法65%）
		重量法60%フィルター
		昇降グリル付きオイルガードパネル　※2
		しゃ風材（3方向吹出時）　※3
		しゃ風材（吹出ダクト接続時）　※3
(3)	0003	高天井設定2（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（比色法90%）
(6)	0006	しゃ風材（2方向吹出時）

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組合せ可能な別売品を確認し選定してください。

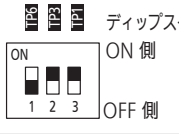
※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルターを組み合わせる場合は、設定No.（3）または設定データ0003を設定してください。

※3. しゃ風材とそれ以外の左表中の設定変更が必要な別売品を併用する場合、
3方向吹出時　設定No.（3）または設定データ0003
吹出ダクト接続時　設定No.（3）または設定データ0003
2方向吹出時　設定No.（6）または設定データ0006
を設定してください。
なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

高性能フィルター（比色法90%）の場合は、高天井対応はできません。
その他の別売品取り付け時の高天井対応については
設備設計資料等をご確認ください。

(1) 基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

〈手順〉必ず電源（配線用しゃ断器（電源））を切ってください。
①ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。
②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。
③表1で確認した設定Noに合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。
□：つまみ側

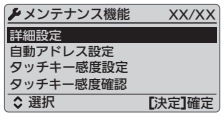
設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ
(1)		(3)		(6)	

(2) ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT5 シリーズ）

ご使用の用途、別売品に応じた「リモコンの設定データ項目コード5D」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

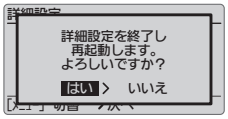
① 戻る ＋ 決定 ＋ ＞ ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ∧ / ∨ ボタンで「詳細設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
③ ∧ / ∨ ボタンで変更するユニットNo.を選択してください。
＜ / ＞ ボタンで項目コードを選択してください。
∧ / ∨ ボタンで項目コードを「0005D」に変更してください。
＜ / ＞ ボタンで設定データを選択してください。
∧ / ∨ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、決定 ボタンを押してください。
④ ＜ / ＞ ボタンでユニットNo.を選択後、戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面］が表示されます。「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。

①メンテナンス機能画面



②詳細設定画面

③詳細設定終了画面



D.エコナビパネルを同時運転マルチ、グループ制御で使用する場合

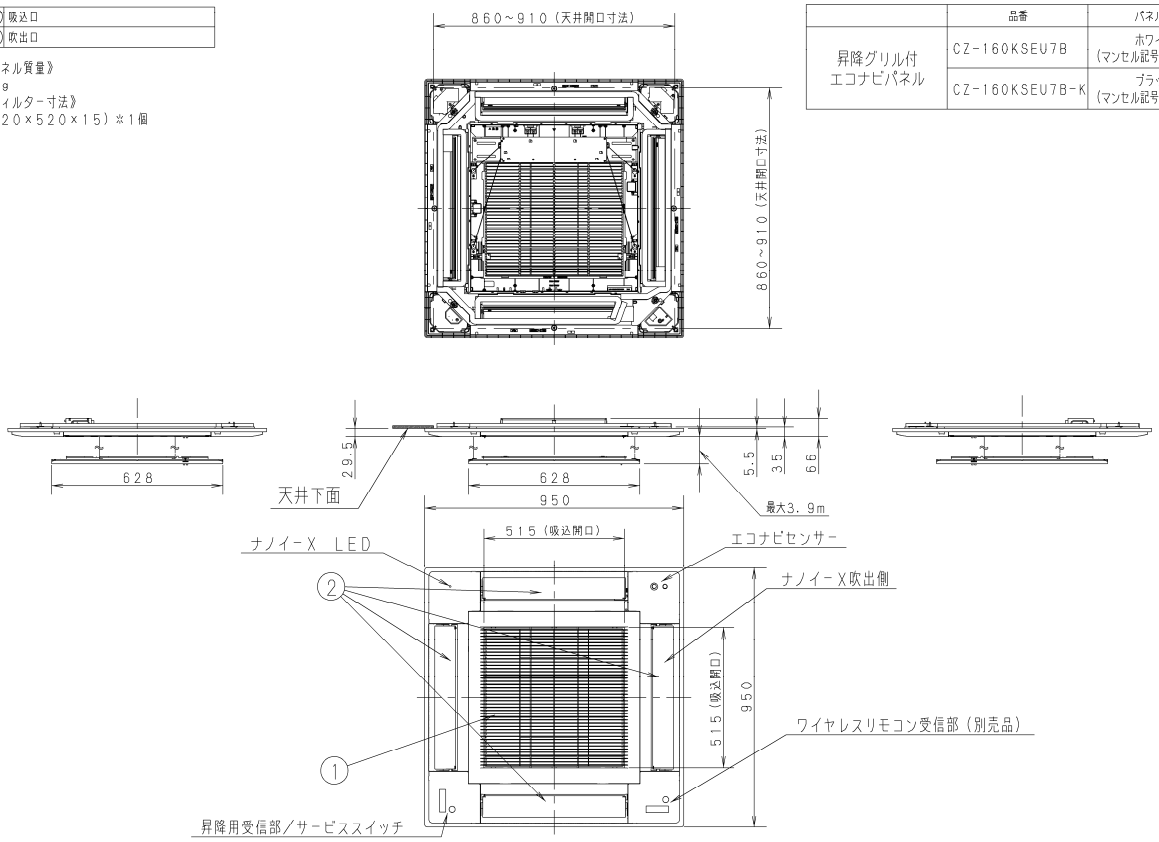
エコナビパネルを取り付けた室内ユニットを親機に設定してください。
それ以外を親機に設定する場合の設定方法については、室内ユニットの据付工事説明書に従ってください。

■昇降グリル付エコナビパネル（CZ-160KSEU7B）

●外形寸法図

①	吸込口
②	吹出口

《パネル質量》
7kg
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個



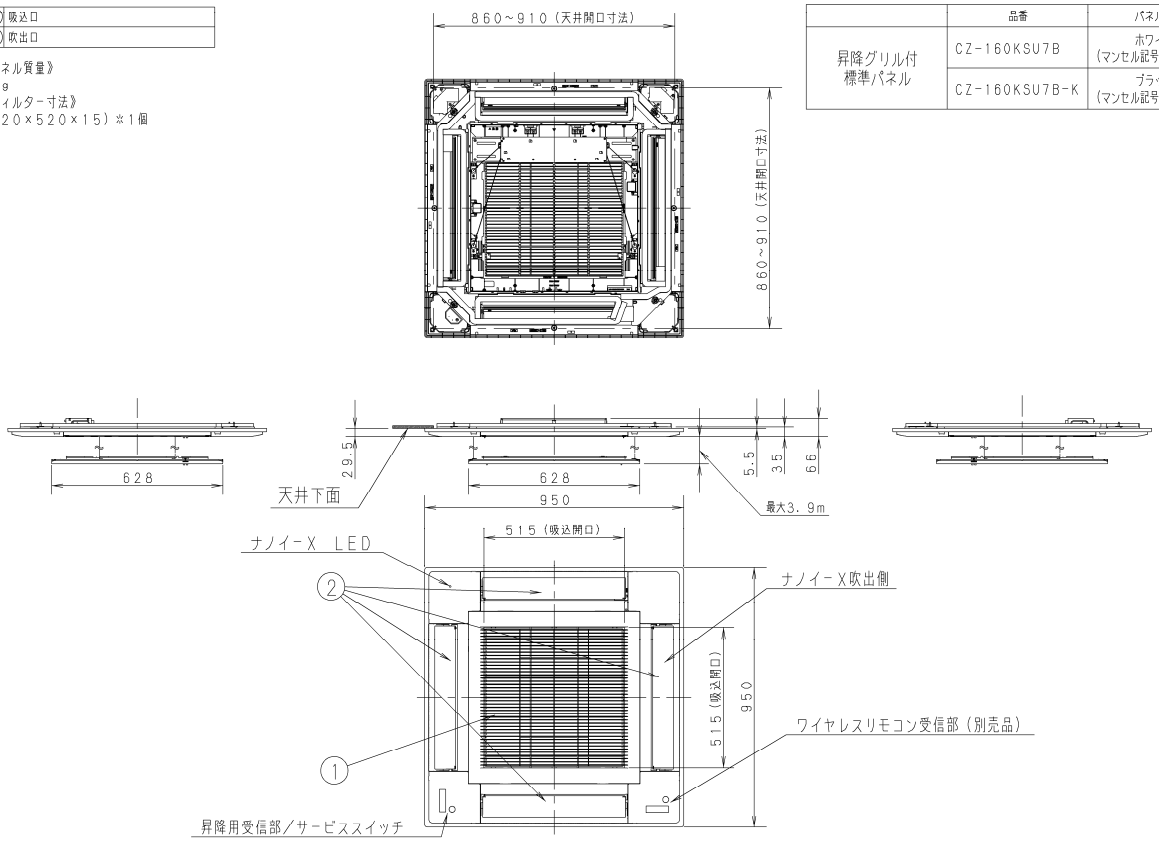
	品番	パネル色
昇降グリル付エコナビパネル	CZ-160KSEU7B	ホワイト（マンセル記号 N9.3）
	CZ-160KSEU7B-K	ブラック（マンセル記号 N1.0）

■昇降グリル付標準パネル（CZ-160KSU7B）

●外形寸法図

①	吸込口
②	吹出口

《パネル質量》
7kg
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個



	品番	パネル色
昇降グリル付標準パネル	CZ-160KSU7B	ホワイト（マンセル記号 N9.3）
	CZ-160KSU7B-K	ブラック（マンセル記号 N1.0）

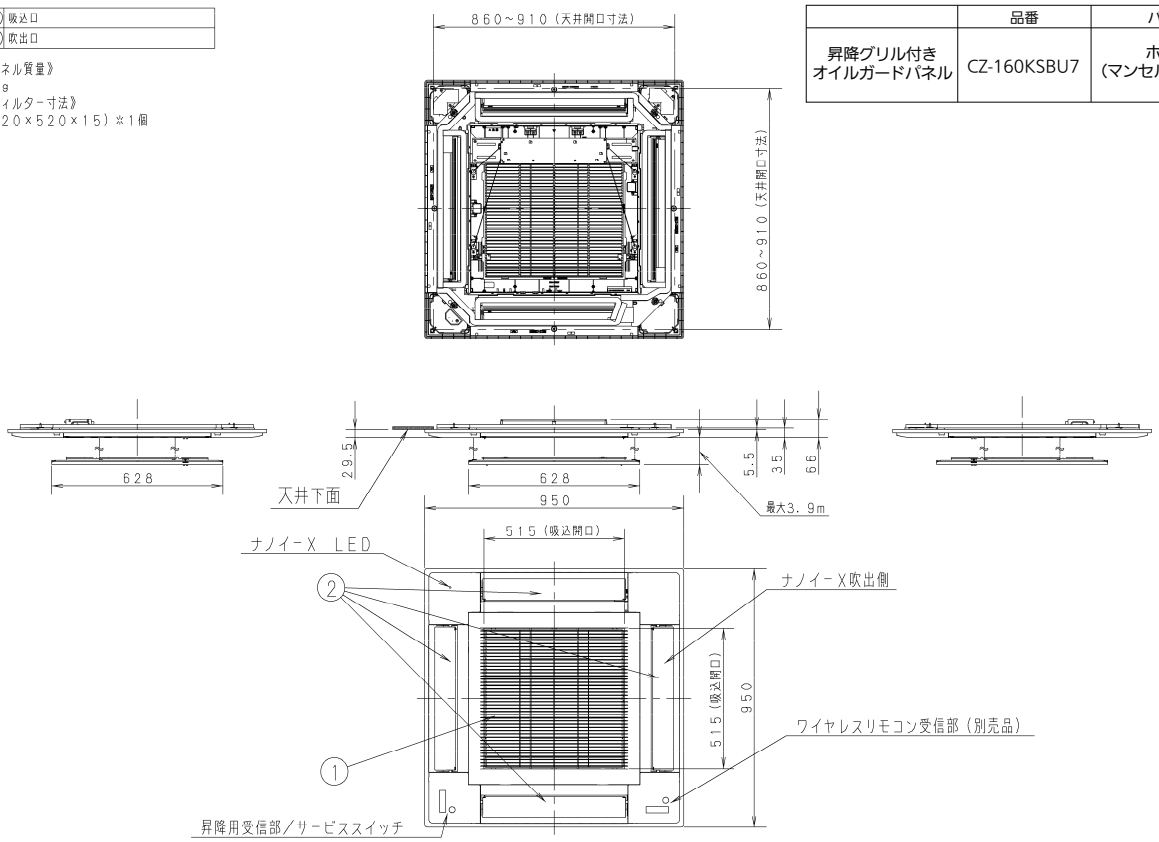
■昇降グリル付オイルガードパネル（CZ-160KSBU7）

●外形寸法図

①	吸込口
②	吹出口

《パネル質量》
7kg
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

	品番	パネル色
昇降グリル付き オイルガードパネル	CZ-160KSBU7	ホワイト （マンセル記号 N9.3）



■昇降グリル付標準パネル、昇降グリル付エコナビパネル、昇降グリル付オイルガードパネル　仕様

	昇降グリル付標準パネル	昇降グリル付エコナビパネル	昇降グリル付オイルガードパネル
品　　番	CZ-160KPU7B	CZ-160KPEU7B	CZ-160KBU7
外形寸法　W×D×H (mm)	950×950×66 (29.5)	950×950×66 (29.5)	950×950×66 (29.5)
製品質量 (kg)	7.0	7.0	7.0
色 (マンセル記号)	ホワイト (N9.3) -K：ブラック (N1.0)	ホワイト (N9.3) -K：ブラック (N1.0)	ホワイト (N9.3)
適用形式	28～160形		

※外形寸法の (　) 内数値は、天井面からでているパネルの高さの寸法です。

Panasonic®

据付工事説明書(詳細版)をダウンロードできます。
QRコードから代表機種 (CZ-160KSU7B)のページに
アクセスします。
https://www2.panasonic.biz/scvb/a2A/top.G01
「品番・品名・キーワード」欄に「CZ-160KSU7B」と
入力し据付工事説明書をダウンロードしてください。

QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

据付工事説明書　昇降グリル付標準パネル／昇降グリル付エコナビパネル

品番　昇降グリル付標準パネル　CZ-160KSU7B　CZ-160KSU7B-K
　　昇降グリル付エコナビパネル　CZ-160KSEU7B　CZ-160KSEU7B-K

適用室内ユニット　４方向天井カセット形　Uシリーズ*
（*対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください）

●取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている据付工事説明書と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

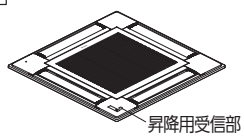
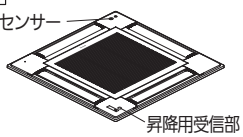
❗
- **■ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する**
  （感電・火災などの原因）
- **■ 据付工事は、室内ユニットの据付工事説明書に従って行う**
  （感電・火災などの原因）
- **■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
  （ユニットの落下による、けがの原因）
- **■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する**
  据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
  （冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
- **■ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - ●電気設備に関する技術基準
  - ●内線規程
  - ●据付工事説明書
  （感電・火災の原因）
- **■ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する**
  - ●端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。
  （発熱・火災などの原因）
- **■ 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う**
  （感電の原因）

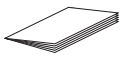
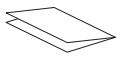
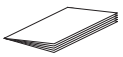
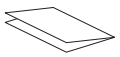
⚠注意

⃠
- **■可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない**
  （万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

Printed in Japan
ACXF60-54980
BE1123-0

本体（昇降グリル付）		
品名	標準パネル／オイルガードパネル	エコナビパネル
個数	1	1
形状		

付属品						
					エコナビパネルのみ	
品名	座付ネジ	ネ　ジ	取扱説明書	据付工事説明書	取扱説明書	据付工事説明書
個数	4　M5X26　（座付ネジはパネル本体にあらかじめ取り付けられています）	4　4X12　コーナーカバー用	1	1	1	1　試運転編
形状						

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

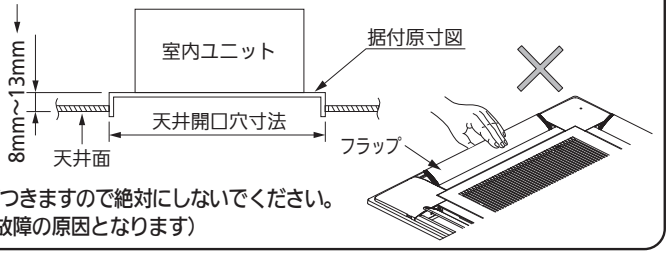
1. 取り付け前の準備

（1）室内ユニット位置の確認

①天井開口穴が下記の範囲内か確認します。
860mm×860mm～910mm×910mm

②本体ユニットの梱包箱に印刷されている据付原寸図を使用し、天井面と室内ユニットの位置出しを行ないます。
天井面と室内ユニットの位置が合わないと風漏れや水漏れおよびフラップの作動不良等の原因となります。

必ず8mm～13mmの範囲内とすること。
この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。

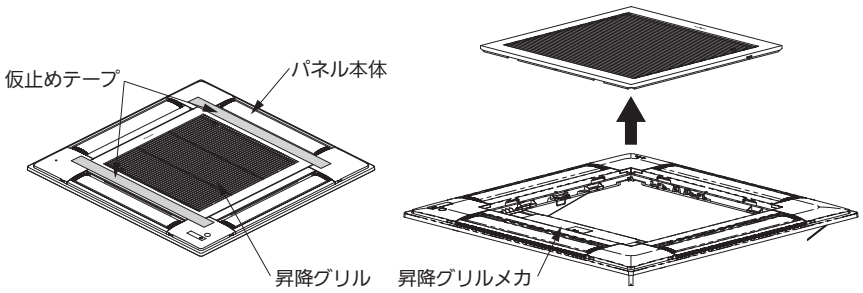


- パネルを下向きに置くことや、立掛け、突起物の上への放置は表面に傷がつきますので絶対にしないでください。
- フラップをさわったり、力を加えたりしないでください。（フラップの故障の原因となります）

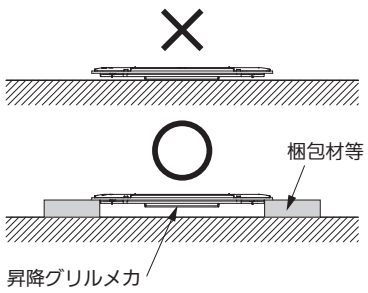
2. 取り付けかた

（1）昇降グリルの取りはずし

①仮止めテープをはがし、昇降グリルを上方向に持ち上げ、パネル本体からはずしてください。

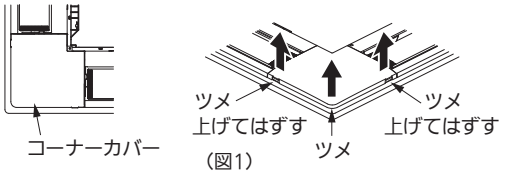


昇降グリルメカに負荷がかからないよう、梱包材等でパネルを支えてください。



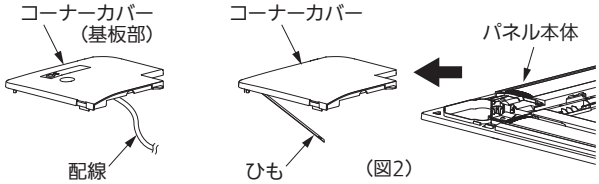
（2）コーナーカバーの取りはずし

①コーナーカバーのツメを矢印の方向へ押し上げてはずしてください。（図 1）



（図1）

②コーナーカバーを矢印の方向へスライドしはずしてください。（図 2）



（図2）

(3) パネル本体の取り付け

フラップの角度変更は電源を入れなければできません。（フラップを手で動かさないでください。手で動かすと壊れるおそれがあります）

①パネル本体内面の仮掛け金具を室内ユニットの角穴に挿入し仮掛けしてください。（図3）

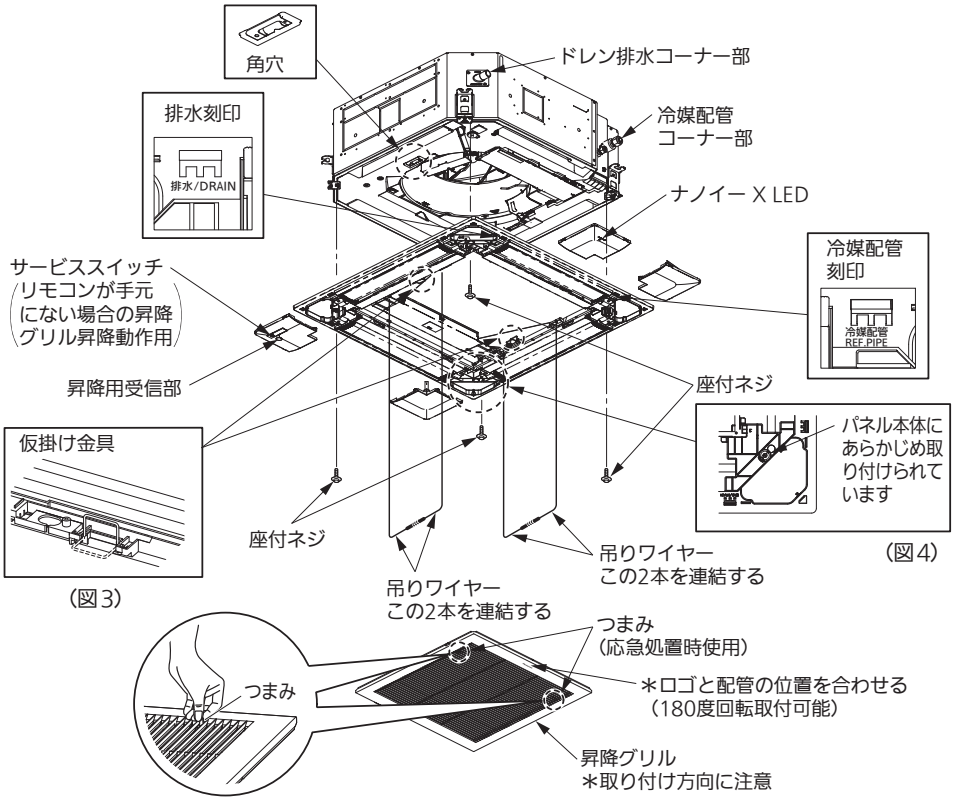
- パネル本体コーナー部の**冷媒配管・排水**の刻印を室内ユニットの冷媒配管・ドレン排水コーナー部に合わせてください。

②パネル本体の取付穴と室内ユニットのネジ穴を合わせてください。

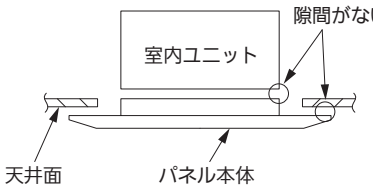
③パネル本体に取り付けられている座付ネジ（M5×26）でパネル本体取付部の4か所を室内ユニットに密着するまで締め込んでください。（図4）

④パネル本体が天井に密着したことを確認してください。

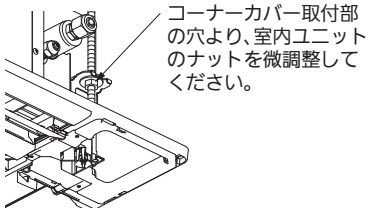
- このとき、室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面との間に隙間がないようにしてください。（図5）
- **天井との隙間が生じた場合、パネル本体を取り付けたまま、室内ユニットの据え付け高さを微調整し、天井との隙間をなくしてください。（図6）**
- はずす場合はパネル本体を支えながら仮掛け金具を外側に押してください。



(図3)　(図4)



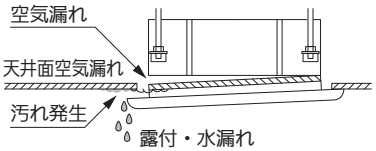
(図5)



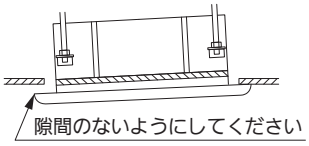
(図6)

ご 注 意

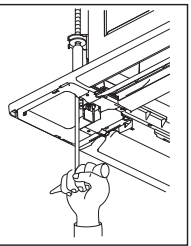
- 座付ネジの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。



- 座付ネジを締め込んでも天井面とパネル本体との間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。



室内ユニットの水平度、ドレン配管等に影響がでない程度であればパネル本体のコーナー部の穴よりパネル本体を付けたまま本体の高さ調整ができます。



(4) パネル本体の配線方法

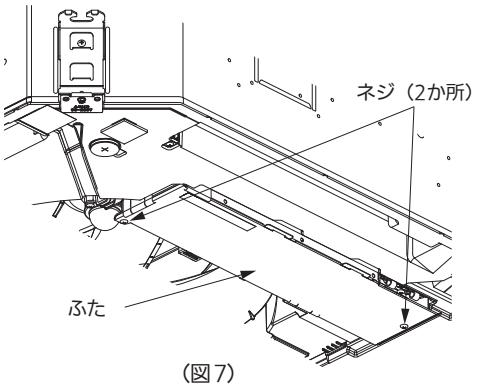
A.フラップモーター、エコナビパネルの配線

①電装ボックスのふたを取りはずしてください。(ネジ 2 か所) (図 7)

②パネル本体から出ている配線コネクタ (標準パネルとオイルガードパネルは 24P (黒) のみ、エコナビパネルは 24P (黒) と 6P (白) の両方) を室内ユニットの基板のコネクタに接続してください。
その際、図のように 24P (黒) はフックに通して電装ボックス内へ引き込んでください。
6P (白) と 7P (白) はフックを通さず電装ボックス内へ引き込んでください。(図 8)

- **コネクタにはツメがありますので、ツメが基板の外側を向くようにロックがかかるまで確実に挿入してください。**
  (確実に接続されていないとオートフラップが動作せず、リモコンに "P09" が表示されます。
  また、逆差しした場合は基板部品の破損のおそれがあります)

※6P (白) コネクタの配線を接続する際には、配線経路の EPT を電装 BOX の縁までハサミで切って配線してください。



(図 7)

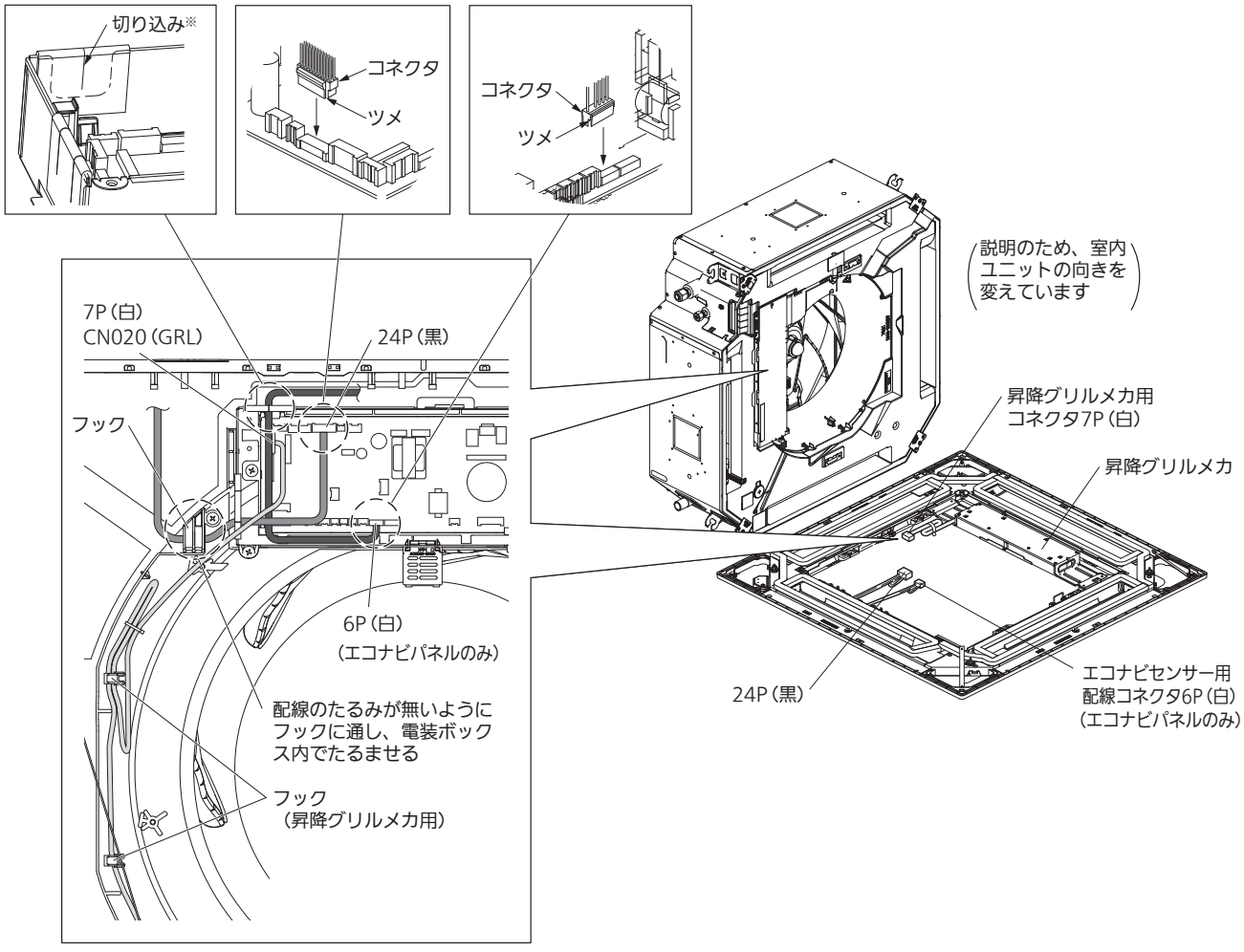
B.昇降グリルメカの配線

①昇降グリルメカから出ている配線コネクタ7P (白) を室内ユニットの基板のコネクタに接続してください。
その際、配線は室内ユニットのフックに通して下図のように配線をしてください。(図8)

- **コネクタにはツメがありますので、ツメが基板の外側を向くようにロックがかかるまで確実に挿入してください。**
  (確実に接続されてないと、昇降グリルが動作しません)

②電装ボックスのふたを元通りに取り付けてください。(図7)

- **配線が電装ボックスとふたの間にはさまれていないことを確認してください。**
- **配線が室内ユニットとパネル本体の間にはさまれていないことを確認してください。**



(図8)

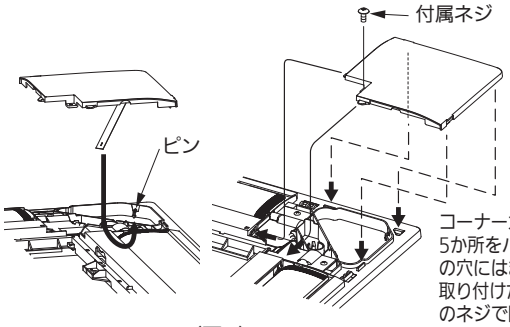
(5) コーナーカバー・昇降グリルの取り付け

A.コーナーカバーの取り付け

①コーナーカバーのひもを図 9 のようにパネル本体のピンに引っかけてください。(エコナビセンサー、昇降用受信部、ナノイー X LED が付いているコーナーカバーには、ひもは付いていません)

②コーナーカバーをパネル本体に、付属のネジで取り付けてください。

- **エコナビセンサー、昇降用受信部、ナノイー X LED が付いているコーナーカバーを取り付けるときは、配線がパネル本体との間にはさまれていないことを確認してください。**



(図9)

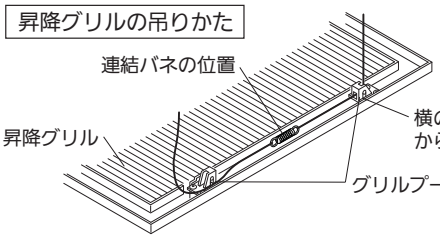
B.昇降グリルの取り付け

①図のようにプーリーへ吊りワイヤーを確実に通してください。(図10、11)

②通電の有無で次の対応を行ってください。

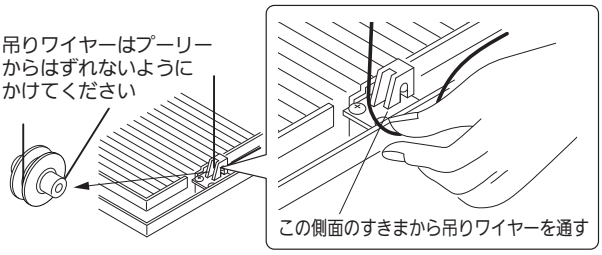
- **取り付けが終わったらもう一度次の確認をしてください。**
  - **・昇降グリルの吊りワイヤーが配線などと接触していませんか**
  - **・吊りワイヤーがプーリーからはずれたりはさまったりしていませんか**

昇降グリルの吊りかた



(図 10)

プーリーへのワイヤーの通しかた



(図11)

エアコンに電源が通電されている場合

①昇降グリルのつまみ（2か所）（図12）が昇降グリルよりはみだしていないことを確認してください。

②リモコンで昇降グリルを上昇させてください。

エアコンに電源が通電されていない場合

応急処置のしかた

電源が通電されていなくてリモコンで昇降グリルを上昇できない場合は応急用部品を使用し仮固定してください。

①昇降グリルに取り付けてある応急用部品（ヒンジ）は、ネジをはずして収納部から図の位置に付け替えます。（図13）

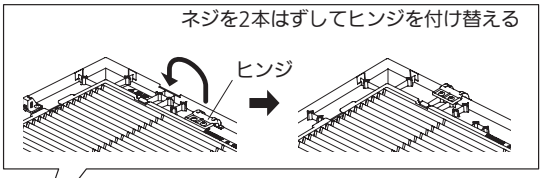
②昇降グリルに取り付けてある応急用部品（ストッパー）は、ネジをはずして図のように向きを変えて付け直します。（図12）

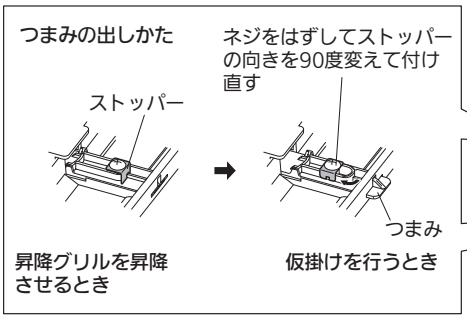
③昇降グリルの応急用部品（ヒンジ）をパネル本体に引っ掛けて、つまみをスライドさせて取り付けます。

④昇降動作をするときは必ずつまみを収納し、応急用部品 (ヒンジ) を収納部に取り付けてください。

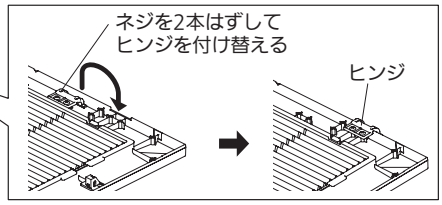
応急用部品の取り付けかた

停止時昇降グリルの昇降動作が出来ないときに、降ろした昇降グリルをパネル本体に取り付ける場合

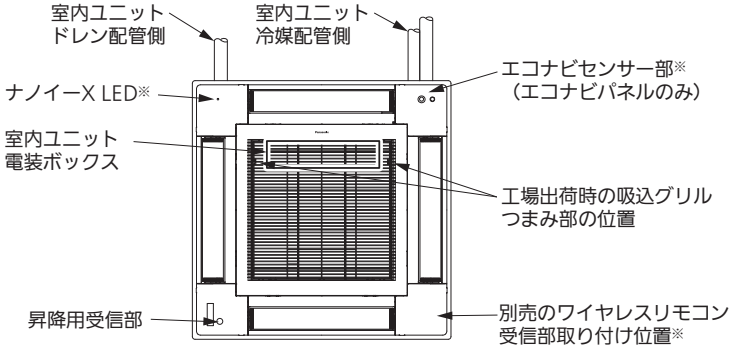




(図 12)



(図13)



※コーナーカバーの取り付け位置の変更はできません

3. その他

A.据え付け後の確認

- 室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間のないことを再確認してください。
  ＊隙間があると水漏れや露付の原因となります。
- 配線接続が確実にされていることを確認してください。
  ＊接続されてないとオートフラップが動かない（リモコンに P09 の表示が出ます）、また水漏れや露付等の原因となります。

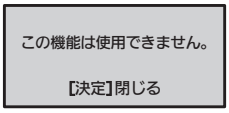
B.昇降グリルを操作するための設定方法

（別売品：CZ-10RT5シリーズ）

■ 多機能ワイヤードリモコンで昇降グリルを操作するためには必ず（ワイヤードリモコンから）下記設定を行ってください。

この設定をしないと、昇降グリル操作時に

“この機能は使用できません。”が表示されます。



多機能ワイヤードリモコン

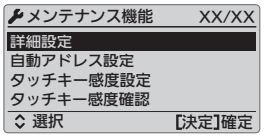
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① 戻る ＋ 決定 ＋ ＞ ボタンを同時に４秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

② ∧/∨ ボタンで「詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
詳細設定画面が表示されます。

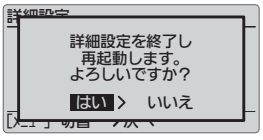
③ ∧/∨ ボタンで変更するユニットNo.を選択してください。
＜/＞ ボタンで項目コードを選択してください。
∧/∨ ボタンで項目コード「00030」に変更してください。
＜/＞ ボタンで設定データを選択してください。
∧/∨ ボタンで設定データを「0000」から「0001」に変更し、 決定 ボタンを押してください。

④ ＜/＞ ボタンでユニットNo.を選択後、 戻る ボタンを押してください。
「詳細設定終了画面」が表示されます。
「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。



［メンテナンス機能画面］

［詳細設定画面］



［詳細設定終了画面］

（別売品：CZ-10RT3）

ワイヤードリモコンの フィルター ボタンでグリルを操作するためには必ずワイヤードリモコンから下記設定を行なってください。この設定をしないと フィルター ボタンを押しても“この操作は出来ません”または“ ⃠ ” が表示されます。

〈手順〉停止中に行ってください。

① 点検＋セット＋取消ボタンを同時に４秒間以上押します。

＊ 昇降グリルを設置している室内ユニットを含むグループ制御を行なう場合は親機に対して設定する必要があります。最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内ユニットアドレスですので ユニット選択 ボタンを押さないでください。

② 温度設定▽／△ボタンで項目コード「３０」を指定します。

③ タイマー時間▼／▲ボタンで設定データを「００００」から「０００１」に変更します。

④ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればＯＫ）

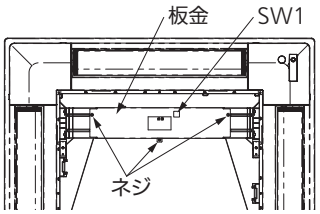
⑤ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。

⑥ フィルター ボタンを４秒間以上押して液晶表示部に“フィルター 昇降”
または“ ”と表示されることを確認してください。
再度 フィルター ボタンを４秒間以上押すと通常の停止状態に戻ります。

C.昇降グリル下降距離の設定

- 下記方法で昇降グリルの下降距離の設定が可能です。
- 図のネジ（3本）をはずし、板金をはずしてください。
- 昇降グリルメカのふたを開け、基板上のSW1で設定してください。
- 出荷時は2.0mの設定になっています。

昇降高さの設定



昇降グリル下降距離設定（SW1）
（出荷設定＝2.0m）

□：つまみ側

0 (OFF)　1 (ON)

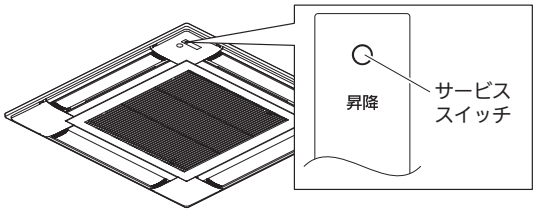
[m]	1	2	3	4
1.2	0	0	0	未使用（常時0）
1.6	1	0	0	
2.0	0	1	0	
2.4	1	1	0	
2.8	0	0	1	
3.1	1	0	1	
3.5	0	1	1	
3.9	1	1	1	

据え付け後の動作確認

- 設定終了後に、動作確認を行ってください。
- 電源投入時、はじめて操作した場合は、下げるを押しても上昇動作をします。
- 昇降グリルがパネル本体にきちんと収まると、収納動作を2回くり返した後、モーターが停止します。

サービス時

- リモコン（ワイヤード・昇降リモコン・ワイヤレス）を使用しなくても、右図のサービススイッチにて、昇降が可能です。サービススイッチは押すごとに、上昇、停止、下降をくり返します。



D.ワイヤレスリモコン対応の場合

- 取り付け方法の詳細は、別売のワイヤレスリモコン受信部に付属の据付説明書を参照してください。

E.DCファンモータータップの選択（4方向天井カセット形）

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表1）
ファン回転数を設定する方法は、（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する方法（2）ワイヤードリモコンで設定する方法があります。どちらかの方法で設定してください。＊ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1　DCファンモータータップ設定表

設定No.	リモコンの設定データ項目コード5D	使用用途／別売品名称　※1
(出荷設定)	0000	標準
		ロングライフフィルター
(1)	0001	高天井設定1（標準、エコナビパネル時）
		オイルガードパネル　※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター　※2
		高性能フィルター（比色法65%）
		重量法60%フィルター
		昇降グリル付きオイルガードパネル　※2
		しゃ風材（3方向吹出時）　※3
		しゃ風材（吹出ダクト接続時）　※3
(3)	0003	高天井設定2（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（比色法90%）
(6)	0006	しゃ風材（2方向吹出時）

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組合せ可能な別売品を確認し選定してください。

※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルターを組み合わせる場合は、設定No.（3）または設定データ0003を設定してください。

※3. しゃ風材とそれ以外の左表中の設定変更が必要な別売品を併用する場合、

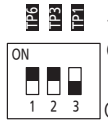
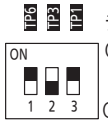
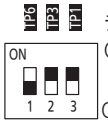
3方向吹出時	設定No.（3）または設定データ0003
吹出ダクト接続時	設定No.（3）または設定データ0003
2方向吹出時	設定No.（6）または設定データ0006

を設定してください。
なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

高性能フィルター（比色法90%）の場合は、高天井対応はできません。
その他の別売品取り付け時の高天井対応については
設備設計資料等をご確認ください。

(1) 基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

＜手順＞必ず電源（配線用しゃ断器（ブレーカー））を切ってください。
①ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。
②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。
③表1で確認した設定Noに合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。
□:つまみ側

設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ
(1)		(3)		(6)	

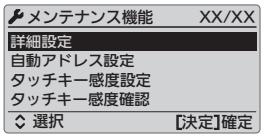
(2) ワイヤードリモコンで設定する場合
(別売品：CZ-10RT5 シリーズ)

多機能ワイヤードリモコン

ご使用の用途、別売品に応じた「リモコンの設定データ項目コード5D」を表1（7ページ）で確認してください。

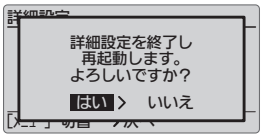
＜手順＞ユニットが運転を停止した状態で行ってください

① 戻る ＋ 決定 ＋ › ボタンを同時に４秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ^ / v ボタンで「詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
詳細設定画面が表示されます。
③ ^ / v ボタンで変更するユニットNo.を選択してください。
‹ / › ボタンで項目コードを選択してください。
^ / v ボタンで項目コード「0005D」に変更してください。
‹ / › ボタンで設定データを選択してください。
^ / v ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、 決定 ボタンを押してください。
④ ‹ / › ボタンでユニットNo.を選択後、 戻る ボタンを押してください。
「詳細設定終了画面」が表示されます。
「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。



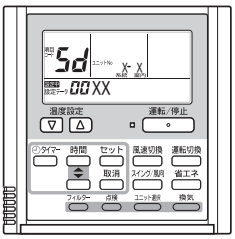
①メンテナンス機能画面

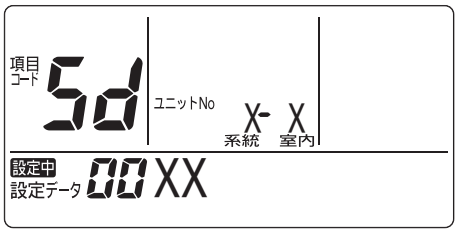
②詳細設定画面



③詳細設定終了画面

(別売品：CZ-10RT3)





〈手順〉停止中に行ってください。

① 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを同時に４秒間以上押します。
② ユニット選択 ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③ 温度設定 ▽ ／ △ ボタンで項目コード「５ｄ」を指定します。
④ タイマー時間 ▼ ／ ▲ ボタンで設定データを変更します。設定データは同梱の据付工事説明書をご確認ください。
⑤ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればＯＫ）
⑥ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。

Panasonic

据付工事説明書

昇降グリル付標準パネル／昇降グリル付エコナビパネル／
昇降グリル付オイルガードパネル

品番	昇降グリル付標準パネル	CZ-160KSU7	CZ-160KSU7-K
	昇降グリル付エコナビパネル	CZ-160KSEU7	CZ-160KSEU7-K
	昇降グリル付オイルガードパネル	CZ-160KSBU7	

適用室内ユニット　４方向天井カセット形　Uシリーズ*
（*対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

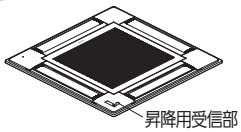
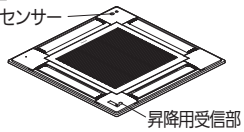
❗
- ■ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する
  （感電・火災等の原因）
- ■ 据付工事は、室内ユニットの「据付工事説明書」に従って行う
  （感電・火災等の原因）
- ■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
  （ユニットの落下による、けがの原因）
- ■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する
  据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
  （冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
- ■ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う
  - ●電気設備に関する技術基準
  - ●内線規程
  - ●据付工事説明書
  （感電・火災の原因）
- ■ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する
  - ●端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。
  （発熱・火災等の原因）
- ■ 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う
  （感電の原因）

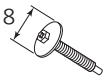
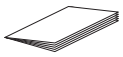
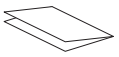
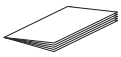
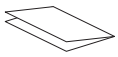
⚠ 注意

⃠
- ■ 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない
  （万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

ACXF60-44962
BE1121-20723

本体（昇降グリル付）		
品名	標準パネル／オイルガードパネル	エコナビパネル
個数	1	1
形状		

付属品					エコナビパネルのみ	
品名	座付ネジ	ネ　ジ	取扱説明書	据付工事説明書	取扱説明書	据付工事説明書
個数	4 M5X26	4 4X12	1	1	1	1 試運転編
形状	 （座付ネジはパネル本体にあらかじめ取り付けられています）					

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

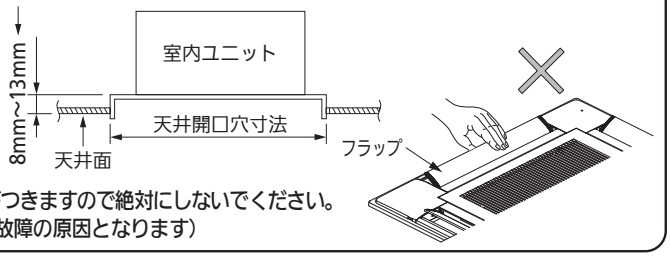
1. 取り付け前の準備

（1）室内ユニット位置の確認

①天井開口穴が下記の範囲内か確認します。
860mm×860mm～910mm×910mm

②梱包箱に印刷されている据付原寸図を使用し、天井面と室内ユニットの位置出しを行ないます。天井面と室内ユニットの位置が合わないと風漏れや水漏れおよびフラップの作動不良等の原因となります。

必ず8mm～13mmの範囲内とすること。
この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。

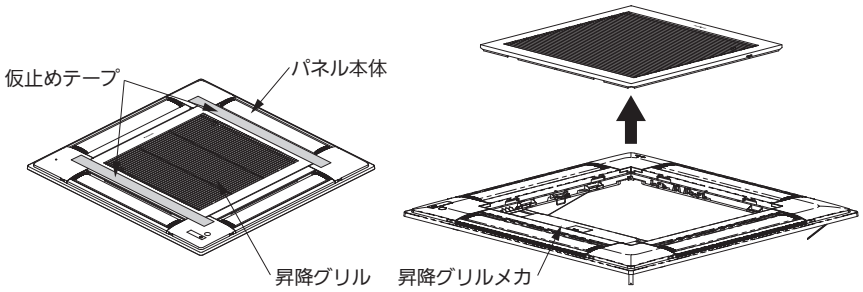


- パネルを下向きに置くことや、立掛け、突起物の上への放置は表面に傷がつきますので絶対にしないでください。
- フラップをさわったり、力を加えたりしないでください。（フラップの故障の原因となります）

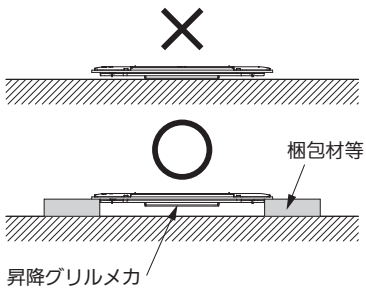
2. 取り付けかた

（1）昇降グリルの取りはずし

①仮止めテープをはがし、昇降グリルを上方向に持ち上げ、パネル本体からはずしてください。

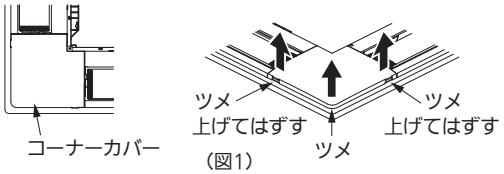


昇降グリルメカに負荷がかからないよう、梱包材等でパネルを支えてください。



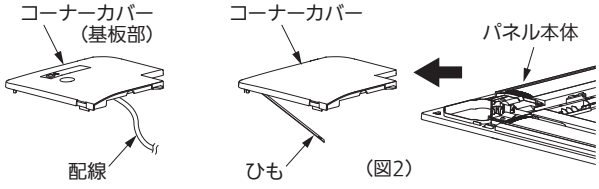
（2）コーナーカバーの取りはずし

①コーナーカバーのツメを矢印の方向へ押し上げてはずしてください。（図 1）



（図1）

②コーナーカバーを矢印の方向へスライドしはずしてください。（図 2）



（図2）

（3）パネル本体の取り付け

フラップの角度変更は電源を入れなければできません。（フラップを手で動かさないでください。手で動かすと壊れるおそれがあります。）

①パネル本体内面の仮掛け金具を室内ユニットの角穴に挿入し仮掛けしてください。（図3）

●パネル本体コーナー部の**冷媒配管・排水**の刻印を室内ユニットの冷媒配管・ドレン排水コーナー部に合わせてください。

②パネル本体の取付穴と室内ユニットのネジ穴を合わせてください。

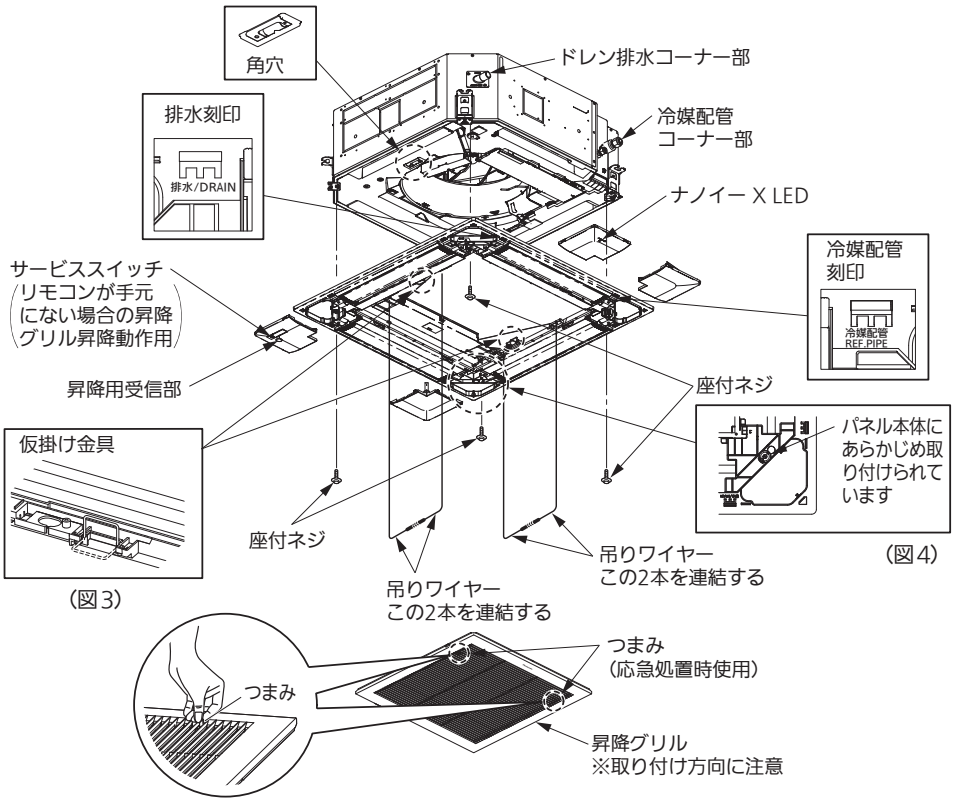
③パネル本体に取り付けられている座付ネジ（M5×26）でパネル本体取付部の4か所を室内ユニットに密着するまで締め込んでください。（図4）

④パネル本体が天井に密着したことを確認してください。

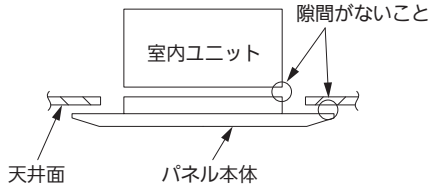
●この時、室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面との間に隙間がないようにしてください。（図5）

●**天井との隙間が生じた場合、パネル本体を取り付けたまま、室内ユニットの据え付け高さを微調整し、天井との隙間をなくしてください。（図6）**

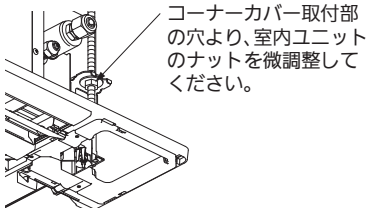
●はずす場合はパネル本体を支えながら仮掛け金具を外側に押してください。



（図3）　（図4）



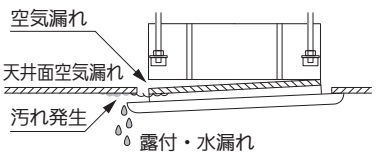
（図5）



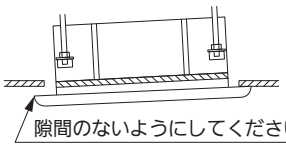
（図6）

ご　注　意

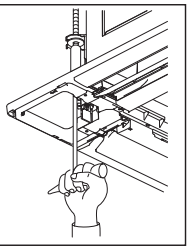
●座付ネジの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。



●座付ネジを締め込んでも天井面とパネル本体との間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。



室内ユニットの水平度、ドレン配管等に影響がでない程度であればパネル本体のコーナー部の穴よりパネル本体を付けたまま本体の高さ調整ができます。



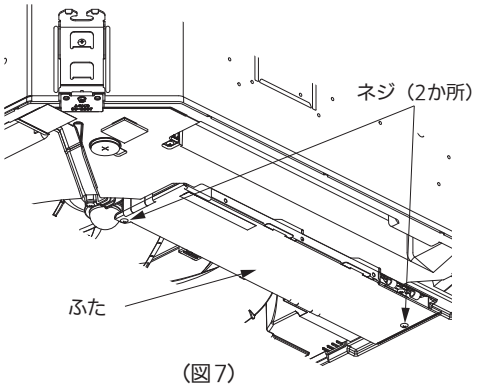
（4）パネル本体の配線方法

A.フラップモーター、エコナビパネルの配線

①電装ボックスのふたを取りはずしてください。（ネジ 2 か所）（図7）

②パネル本体から出ている配線コネクタ（標準パネルとオイルガードパネルは24P（黒）のみ、エコナビパネルは24P（黒）と6P（白）の両方）を室内ユニットの基板のコネクタに接続してください。
その際、24P（黒）の配線は室内ユニットのフックに通して下図のように配線をしてください。（図8）

- **コネクタにはツメがありますので、ツメが基板の外側を向くようにロックがかかるまで確実に挿入してください。**
  （確実に接続されていないとオートフラップが動作せず、リモコンに“P09”が表示されます。
  また、逆差しした場合は基板部品の破損のおそれがあります。）



（図7）

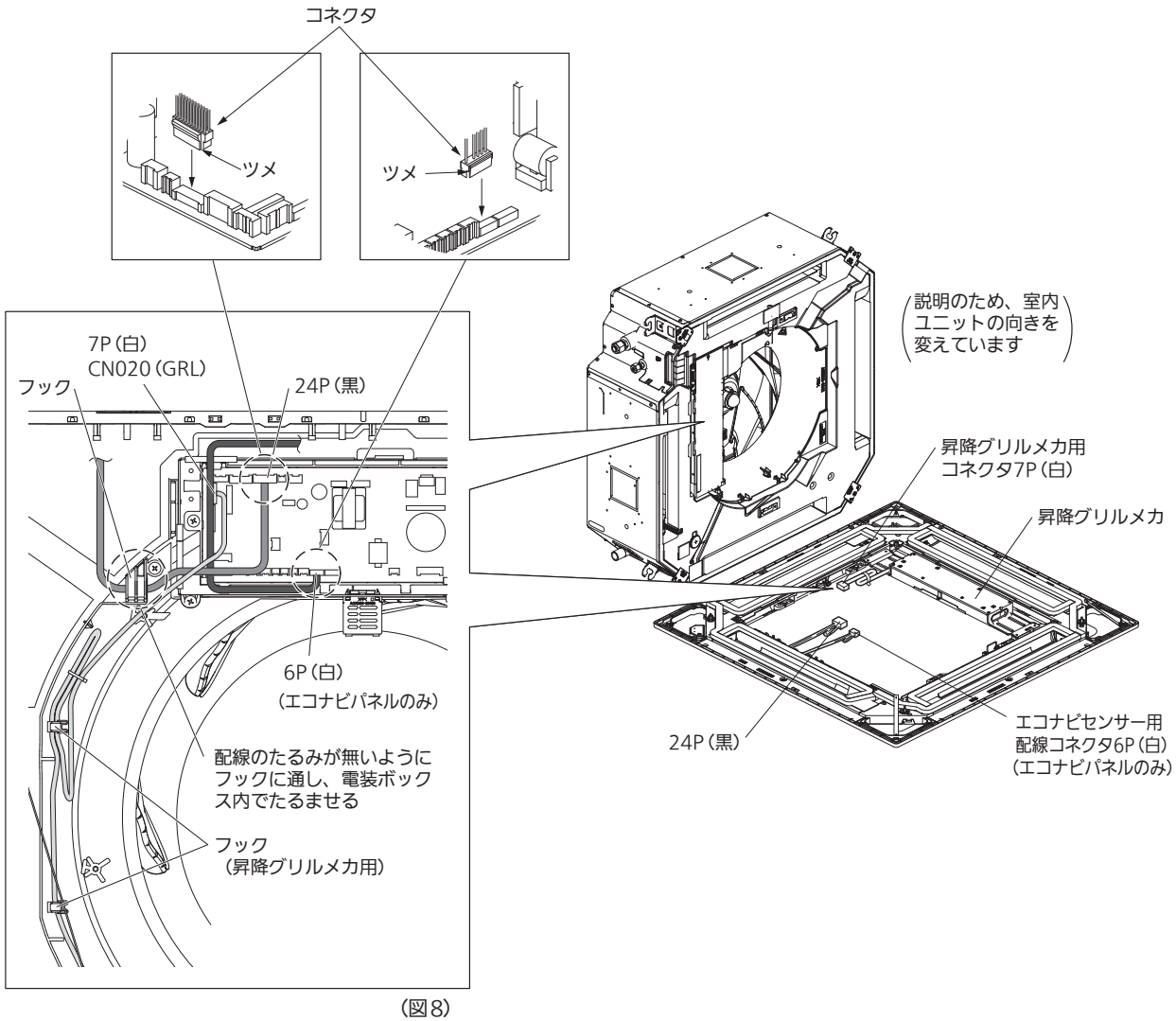
B.昇降グリルメカの配線

①昇降グリルメカから出ている配線コネクタ7P（白）を室内ユニットの基板のコネクタに接続してください。
その際、配線は室内ユニットのフックに通して下図のように配線をしてください。（図8）

- **コネクタにはツメがありますので、ツメが基板の外側を向くようにロックがかかるまで確実に挿入してください。**
  （確実に接続されてないと、昇降グリルが動作しません。）

②電装ボックスのふたを元通りに取り付けてください。（図7）

- **配線が電装ボックスとふたの間にはさまれていないことを確認してください。**
- **配線が室内ユニットとパネル本体の間にはさまれていないことを確認してください。**



（図8）

裏面につづく

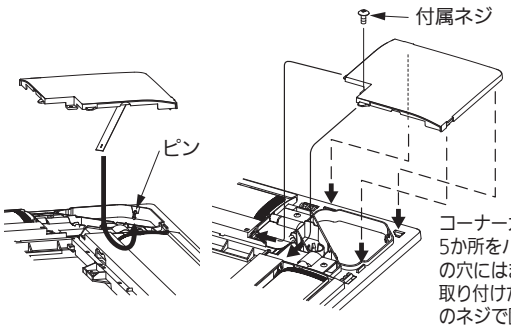
(5) コーナーカバー・昇降グリルの取り付け

A.コーナーカバーの取り付け

①コーナーカバーのひもを図9のようにパネル本体のピンに引っかけてください。(エコナビセンサー、昇降用受信部、ナノイー X LEDが付いているコーナーカバーには、ひもは付いていません。)

②コーナーカバーをパネル本体に、付属のネジで取り付けてください。

● **エコナビセンサー、昇降用受信部、ナノイー X LEDが付いているコーナーカバーを取り付ける時は、配線がパネル本体との間にはさまれていないことを確認してください。**



(図9)

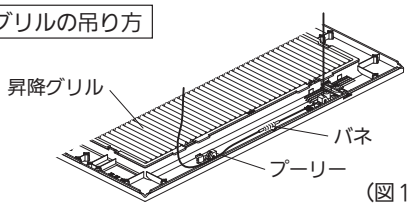
B.昇降グリルの取り付け

①図のようにプーリーへ吊りワイヤーを確実に通してください。(図10、11)

②通電の有無で次の対応を行ってください。

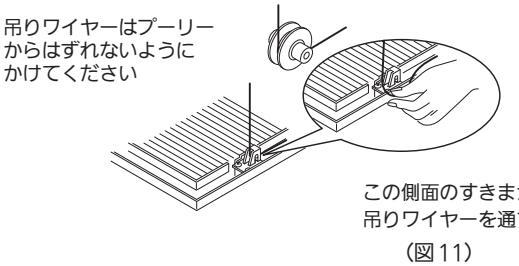
● **取り付けが終わったらもう一度次の確認をしてください。**
- **昇降グリルの吊りワイヤーが配線などと接触していませんか**
- **吊りワイヤーがプーリーからはずれたりはさまったりしていませんか**

昇降グリルの吊り方



(図10)

プーリーへのワイヤーの通し方



(図11)

エアコンに電源が通電されている場合

①昇降グリルのつまみ(2か所)(図12)が昇降グリルよりはみだしていないことを確認してください。

②リモコンで昇降グリルを上昇させてください。

エアコンに電源が通電されていない場合

応急処置のしかた

電源が通電されていなくてリモコンで昇降グリルを上昇できない場合は応急用部品を使用し仮固定してください。

①昇降グリルに取り付けてある応急用部品(ヒンジ)は、ネジをはずして収納部から図の位置に付け替えます。(図13)

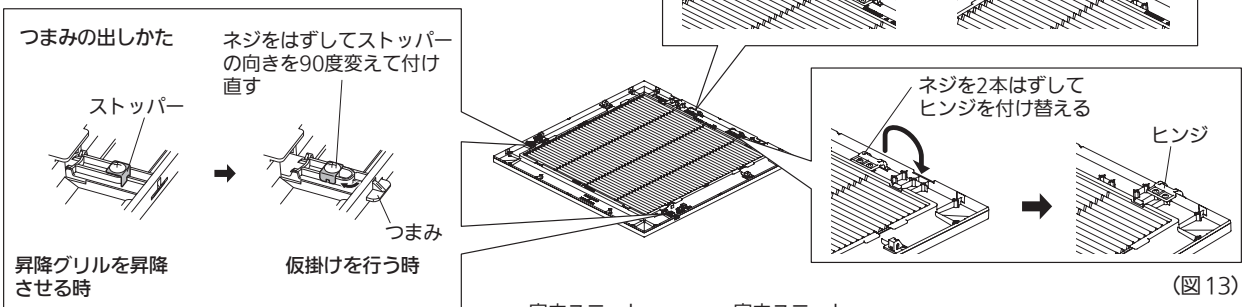
②昇降グリルに取り付けてある応急用部品(ストッパー)は、ネジをはずして図のように向きを変えて付け直します。(図12)

③昇降グリルの応急用部品(ヒンジ)をパネル本体に引っ掛けて、つまみをスライドさせて取り付けます。

④昇降動作をするときは必ずつまみを収納し、応急用部品(ヒンジ)を収納部に取り付けてください。

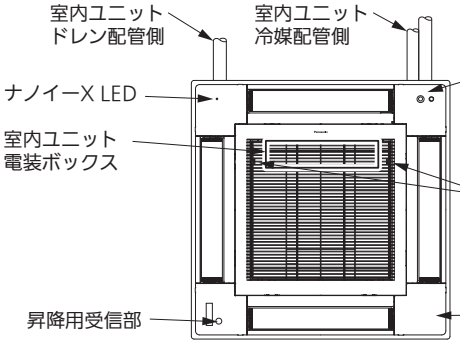
応急用部品の取り付け方

停止時昇降グリルの昇降動作が出来ないときに、降ろした昇降グリルをパネル本体に取り付ける場合



(図12)

(図13)



※コーナーカバーの取り付け位置の変更はできません

3. その他

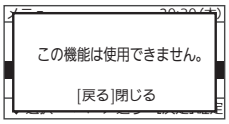
A.据え付け後の確認

- 室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間のないことを再確認してください。
  ※隙間があると水漏れや露付の原因となります。
- 配線接続が確実にされていることを確認してください。
  ※接続されてないとオートフラップが動かない（リモコンにP09の表示が出ます）、また水漏れや露付等の原因となります。

B.昇降グリルを操作するための設定方法

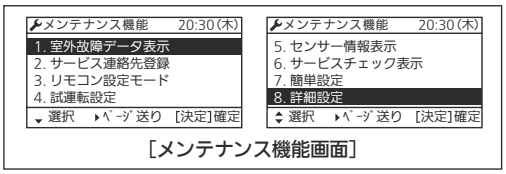
（別売品：CZ-10RT4C）

■ 多機能ワイヤードリモコンで昇降グリルを操作するためには必ず（ワイヤードリモコンから）下記設定を行ってください。
この設定をしないと、昇降グリル操作時に
“この機能は使用できません。”が表示されます。



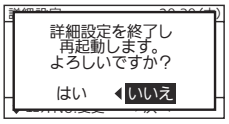
多機能ワイヤードリモコン

〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
① 戻る + 決定 + ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
③ ▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNo.を選択してください。
◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「30」に変更してください。
◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを「0000」から「0001」に変更し、 決定 ボタンを押してください。
④ ◄ / ► ボタンでユニットNo.を選択後、 戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面］が表示されます。
「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。



［メンテナンス機能画面］

［詳細設定画面］



［詳細設定終了画面］

（別売品：CZ-10RT3）

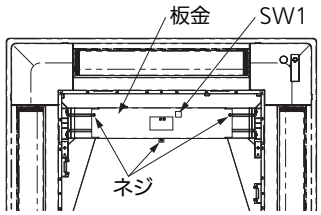
ワイヤードリモコンの フィルター ボタンでグリルを操作するためには必ずワイヤードリモコンから下記設定を行なってください。この設定をしないと フィルター ボタンを押しても“この操作は出来ません”または“ ⃠ ” が表示されます。

〈手順〉停止中に行ってください。
① 点検＋セット＋取消ボタンを同時に４秒間以上押します。
※ 昇降グリルを設置している室内ユニットを含むグループ制御を行なう場合は親機に対して設定する必要があります。
最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内ユニットアドレスですので ユニット選択 ボタンを押さないでください。
② 温度設定▽／△ボタンで項目コード「３０」を指定します。
③ タイマー時間▼／▲ボタンで設定データを「００００」から「０００１」に変更します。
④ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればＯＫ）
⑤ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。
⑥ フィルター ボタンを４秒間以上押して液晶表示部に“フィルター 昇降”
または“ ”と表示されることを確認してください。
再度 フィルター ボタンを４秒間以上押すと通常の停止状態に戻ります。

C.昇降グリル下降距離の設定

- 下記方法で昇降グリルの下降距離の設定が可能です。
- 図のネジ（3本）をはずし、板金をはずしてください。
- 昇降グリルメカのふたを開け、基板上のSW1で設定してください。
- 出荷時は2.0mの設定になっています。

昇降高さの設定



昇降グリル下降距離設定（SW1）
（出荷設定＝2.0m）

■：つまみ側

0 (OFF)　1 (ON)

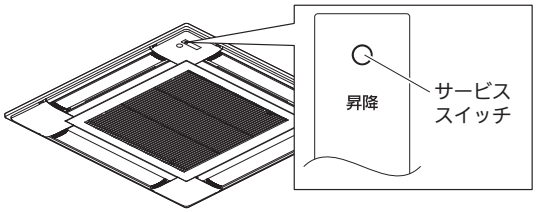
[m]	1	2	3	4
1.2	0	0	0	未使用（常時0）
1.6	1	0	0	
2.0	0	1	0	
2.4	1	1	0	
2.8	0	0	1	
3.1	1	0	1	
3.5	0	1	1	
3.9	1	1	1	

据え付け後の動作確認

- 設定終了後に、動作確認を行ってください。
- 電源投入時、はじめて操作した場合は、下げるを押しても上昇動作をします。
- 昇降グリルがパネル本体にきちんと収まると、収納動作を2回くり返した後、モーターが停止します。

サービス時

- リモコン（ワイヤード・昇降リモコン・ワイヤレス）を使用しなくても、右図のサービススイッチにて、昇降が可能です。サービススイッチは押すごとに、上昇、停止、下降をくり返します。



D.ワイヤレスリモコン対応の場合

- 取り付け方法の詳細は、別売のワイヤレスリモコン受信部に付属の据付説明書を参照してください。

E.DCファンモータータップの選択（4方向天井カセット形）

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表1）
ファン回転数を設定する方法は、（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する方法（2）ワイヤードリモコンで設定する方法があります。どちらかの方法で設定してください。※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1　DCファンモータータップ設定表

設定No.	項目コード5Dの設定データ	使用用途／別売品名称　※1
	0000	標準（出荷設定）
		ロングライフフィルター
(1)	0001	高天井設定1（標準、エコナビパネル時）
		オイルガードパネル　※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター　※2
		高性能フィルター（比色法65%）
		重量法60%フィルター
		昇降グリル付きオイルガードパネル　※2
		しゃ風材（3方向吹出時）　※3
		しゃ風材（吹出ダクト接続時）　※3
(3)	0003	高天井設定2（標準、エコナビパネル時） 高性能フィルター（比色法90%）
(6)	0006	しゃ風材（2方向吹出時）

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組合せ可能な別売品を確認し選定してください。

※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルターを組み合わせる場合は、設定No.（3）または設定データ0003を設定してください。

※3. しゃ風材とそれ以外の左表中の設定変更が必要な別売品を併用する場合、

3方向吹出時	設定No.（3）または設定データ0003
吹出ダクト接続時	設定No.（3）または設定データ0003
2方向吹出時	設定No.（6）または設定データ0006

を設定してください。
なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

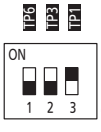
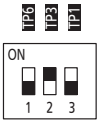
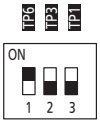
高性能フィルター（比色法90%）の場合は、高天井対応はできません。
その他の別売品取り付け時の高天井対応については
設備設計資料等をご確認ください。

(1) 基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

<手順>必ず電源（漏電しゃ断器）を切ってください。

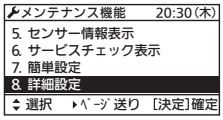
①ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。
②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。(図16)
③表1で確認した設定Noに合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

■：つまみ側

設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ
(1)		(3)		(6)	

(2) ワイヤードリモコンで設定する場合
(別売品：CZ-10RT4C)

①メンテナンス機能画面

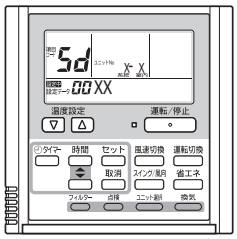


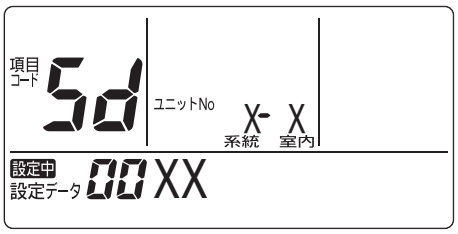
②詳細設定画面

ユニット No.　項目コード　設定データ

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
① 戻る + 決定 + ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
③ ▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNo.を選択してください。
◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、 決定 ボタンを押してください。
④ ◄ / ► ボタンでユニットNo.を選択後、 戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面」が表示されます。
「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。

(別売品：CZ-10RT3)





〈手順〉停止中に行ってください。
① 点検＋セット＋取消ボタンを同時に４秒間以上押します。
② ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③ 温度設定▽／△ボタンで項目コード「５ｄ」を指定します。
④ タイマー時間▼／▲ボタンで設定データを変更します。設定データは同梱の据付工事説明書をご確認ください。
⑤ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればＯＫ）
⑥ 点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。

Panasonic®

据付工事説明書（詳細版）をダウンロードできます。
QRコードから代表機種（CZ-160KPEU7B）のページにアクセスします。
https://www2.panasonic.biz/scvb/a2A/top.G01
「品番・品名・キーワード」欄に「CZ-160KPEU7B」と入力し据付工事説明書をダウンロードしてください。

QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

据付工事説明書　試運転編

エコナビパネル／昇降グリル付エコナビパネル

品番　CZ-160KPEU7B, CZ-160KPEU7B-K / CZ-160KSEU7B, CZ-160KSEU7B-K

適用室内ユニット　4 方向天井カセット形　Uシリーズ*
（*対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください）

●据付工事完了後、この据付工事説明書 試運転編をよくお読みのうえ、試運転を行い異常がないことを確認してください。
特に「安全上のご注意」は、試運転前に必ずお読みください。
●室内ユニットなどに付属の据付工事説明書も合わせてご覧ください。
●この据付工事説明書 試運転編は取扱説明書、据付工事説明書とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
移設、修理の場合はお客様から据付工事説明書 試運転編を工事担当の方へお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ **据付工事は、据付工事説明書に従って行う**
（感電・火災などの原因）

■ **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
- 電気設備に関する技術基準
- 内線規程
- 据付工事説明書
（感電・火災の原因）

■ **据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する**
（感電・火災などの原因）

■ **配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する**
- 端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。
（発熱・火災などの原因）

■ **工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う**
（感電の原因）

■ **据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。**

使用上のお願い

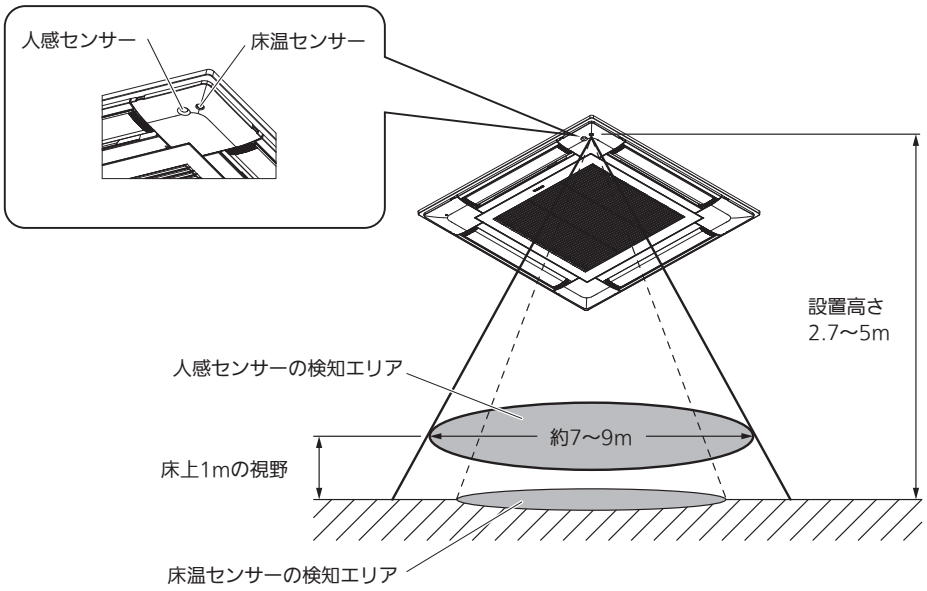
- 次のような場所に設置しないでください。
故障や誤作動の原因となる場合があります。
  - ・湿気、油分、振動が多い場所
  - ・直射日光があたる場所や熱源の近く
  - ・結露する場所
  - ・ノイズが発生する場所（誤動作の原因）
- エコナビパネルは、屋内専用です。
- センサーの表面に傷を付けない
（センサーが正しく検知しなくなる原因）
- センサーを強く押さない（破損の原因）
- 熱源や冷却するものが検知エリア内にあると、センサーが正しく検知できない場合があります。
- ベンジンやシンナー、化学雑巾などでふかない（変色や変形の原因）
  - ・汚れがひどい場合は、布に水でうすめた中性洗剤を含ませ、よく絞ってからふいてください。その後、乾いた布でふいてください。
- エコナビパネルと併用不可の別売品を同時設置しない
（動作不良の原因）
併用可/ 不可の判断はカタログ等でご確認ください。
- センサーからガラス越しの人の動きは、検知できません。
- センサーでの不在判定には起動後、 2～5分かかります。

Printed in Japan
ACXF60-55000
BE1123-0

設置上のご注意

検知エリアの目安

●人感センサーの死角になる場所では、人を検知することはできません。
　人を検知できる位置にエコナビパネルを取り付けるようにしてください。
●熱源や冷却するものが検知エリア内にあると、センサーが正しく検知できない場合があります。
●床温センサーは、人感センサーエリアの内側を検知しています。



＜人感センサー検知エリア目安＞
・室内ユニット設置高さ 2.7mの場合　：直径 約 7m
・室内ユニット設置高さ 4mの場合　：直径 約 8m
・室内ユニット設置高さ 5mの場合　：直径 約 9m

●取り付け時に、センサー部を強く押さないでください。また、センサー部の表面に傷を付けないでください。
　センサーが破損し、正しく検知できなくなる場合があります。
●次のような場所には設置しないでください。故障や誤作動の原因となる場合があります。
　・湿気、油分、振動が多い場所
　・直射日光があたる場所や熱源の近く
　・結露する場所
　・ノイズが発生する場所（誤動作の原因）

設定する （CZ-10RT5シリーズの場合）

エコナビシステム設定

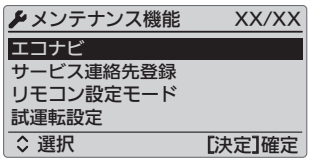
エコナビ機能向けに、室内ユニットの親機 / 子機設定を変更します。
<手順>ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① 3つのボタンを押す

戻る ＋ 決定 ＋ ＞ ボタンを同時に 4 秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。

②「エコナビ」を選ぶ

＜ / ＞ ボタンで「エコナビ」を選択し、
決定 ボタンを押してください。

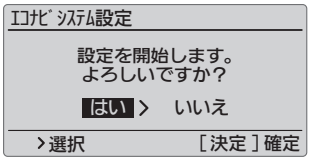


③「エコナビシステム設定」を選ぶ

＜ / ＞ ボタンで「エコナビシステム設定」を選択し、
決定 ボタンを押してください。

④ 設定を開始する

＜ / ＞ ボタンで「はい」を選択し、
決定 ボタンを押してください。
（リモコンに「設定中」と表示します。）



⑤「設定中」の表示が消え、システムが自動的に再起動します

⑥ エコナビが設定されたか確認する

右図のように ECONAVI が表示されます。
＊ 運転中の画面になっていない場合は、
⏻ ボタンを押して、運転状態にしてください。
＊ 運転モードが送風の場合は ECONAVI は表示されません。
「送風」以外の運転モードにしてください。
＊ エコナビがオフの場合は ECONAVI が表示されません。
エコナビをオンに設定してください。

お知らせ

●手順 2 の操作後、以下のようなメッセージがリモコン画面に表示されることがあります。

表示メッセージ	説　　明
室内ユニットの構成情報を取得中です。	しばらくしてから再度「エコナビ」を選択してください。約 10 分程度待っても状況が変わらない場合は、室内ユニットの据付工事説明書　試運転編を参照し、自動アドレスを行った後「エコナビ」を選択してください。

●手順 3 の操作後、以下のようなメッセージがリモコン画面に表示されることがあります。

表示メッセージ	説　　明
設定の必要はありません。	室内ユニットの親機が既にエコナビ機能に対応しています。そのままの設定でエコナビ機能をお使いいただけます。
室内ユニットの親機が見つかりません。	室内ユニットの電源が落ちている可能性があります。室内ユニットの電源を確認してください。
エコナビ機能対応の室内ユニットが見つかりません。	グループ制御対象の室内ユニットがすべてエコナビ機能に対応していないため、エコナビ機能をお使いいただけません。

試運転する （CZ-10RT5シリーズの場合）

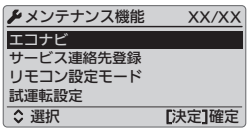
準備：室内ユニットの据付工事説明書を参照し、事前に電源（配線用しゃ断器（ブレーカー））を入れてください。
　　電源投入後の約 90 秒間は、人感センサーは初期設定中のため、人の検知を行いません。
＜手順＞ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① 3つのボタンを押す

戻る ＋ 決定 ＋ ＞ ボタンを同時に 4 秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。

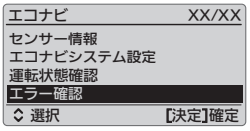
②「エコナビ」を選ぶ

＜ / ＞ ボタンで選択、＜ / ＞ ボタンでページが切り替わります。
「エコナビ」を選択し、決定 ボタンを押してください。



③「エラー確認」を選ぶ

＜ / ＞ ボタンで「エラー確認」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



④ センサーの状態が「正常」であることを確認する

＜ / ＞ ボタンで画面表示の室内ユニットをスクロールできます。
すべての室内ユニットのセンサーの状態が表示されます。

- **「正常」**：エコナビパネルのセンサーは正常に動作しています。
- **「準備中」**：エコナビパネルのセンサーは初期設定中です。
  90 秒以内に「正常」と表示されることを確認してください。
- **「未対応」**：エコナビ機能に対応していない室内ユニットです。

試運転は以上です。エコナビパネルを接続しているが「正常」「準備中」以外の表示の場合は、手順 5 を確認してください。
＊「1-1」、「1-2」は室内ユニット No. を示します。エコナビパネルが接続されていない室内ユニットは、「接続なし」が表示されます。
＊「センサー 1」とは、別売品のエコナビセンサー（CZ-CSEN1 等）を指します。接続されていない場合は、「センサー 1」に「接続なし」が表示されます。

⑤ センサーの状態が「正常」「準備中」以外の場合

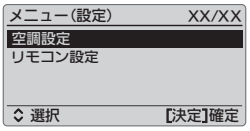
エコナビパネルを接続しているにもかかわらずセンサーの状態が「異常」「接続なし」になる場合は、以下の症状が発生している可能性があります。
対象の室内ユニットを特定し、センサーを確認してください。

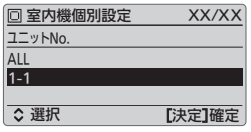
- **「異常」**：センサーが故障している可能性があります。
- **「接続なし」**：室内ユニットとセンサー間の配線が接続されていない可能性があります。

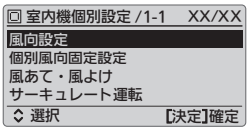
＊ 室内ユニットの特定は、風向操作で確認できます。
確認方法：

① メンテナンス機能を終了する
　メニュー ボタンを押して、メンテナンス機能画面を表示し、戻る ボタンを押す。

② 風向操作をする
　対象の「室内ユニット No.」を選んで、風向設定を行ってください。
　設定したフラップ動作に変化したユニットが対象機種になります。
　1. メニュー を押しメニュー設定画面に切り替える。
　2. ＜ / ＞ ボタンで「空調設定」選択し、決定 ボタンを押してください。
　3. ＜ / ＞ ボタンで「室内機個別設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
　4. ＜ / ＞ ボタンで対象の「室内ユニット No.」を選んで室内機を選ぶ。
　　「ALL」を選んだときは設定できません。
　5. ＜ / ＞ ボタンで「風向設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
　6. ＜ / ＞ ボタンで風向を選んで、決定 ボタンを押してください。







室内ユニットが特定できましたら、電源（配線用しゃ断器（ブレーカー））を切り、センサー配線のコネクターを基板からはずして再接続してください。電源（配線用しゃ断器（ブレーカー））を入れ、再度①～④を操作し「エラー確認」にて状態を確認してください。
再度、「異常」「接続なし」が表示された場合、エコナビパネルの交換が必要です。

外部機器連動機能 （CZ-10RT5の場合）

外部機器連動機能をご利用になると、室内コントロール基板から人感センサー出力やサーモ ON 出力、運転信号出力のいずれか 1 つを取り出せ、外部機器との連動が可能です。

■制御内容

●人感センサー出力に連動（警報とは連動しません）
人の在→不在の変化を検知時：外部機器の運転をオフします。
「**不在検知時間設定**」(P.6) により運転オフのタイミングを遅延させることが可能です。
人の不在→在の変化を検知時：外部機器の運転をオンします。

●運転信号出力に連動（エアコン連動）
室内ユニットが運転時：外部機器の運転をオンします。
室内ユニットが停止時：外部機器の運転をオフします。

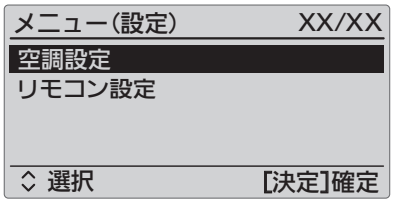
●サーモ出力に連動
サーモ ON 時 ：外部機器の運転をオンします。
サーモ OFF 時：外部機器の運転をオフします。

① メニュー画面を表示する

メニュー ボタンを押しメニュー設定画面に切り替える。

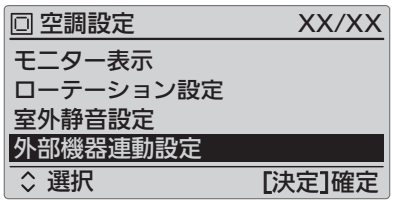
②「空調設定」を選ぶ

/ ボタンで「空調設定」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



③「外部機器連動設定」を選ぶ

/ ボタンで「外部機器連動設定」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



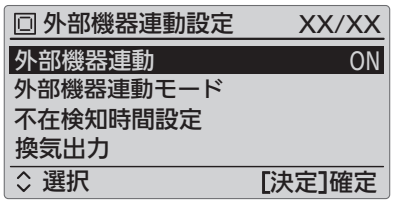
④ パスワードを入力する

/ ボタンで数字を選択し、 ボタンで
次の桁に移行します。(繰り返す)
入力が完了したら 決定 ボタンを押してください。

＊ パスワードが未設定のときは、パスワード入力画面が
表示されたら 決定 ボタンを押し、画面に従い、
設定してください。

⑤「外部機器連動」を選択する

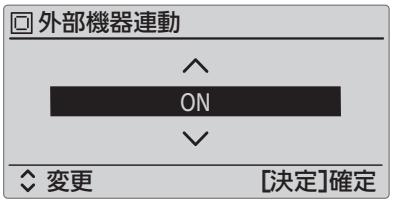
/ ボタンで「外部機器連動」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



外部機器連動機能（つづき）

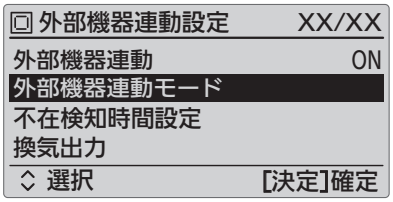
⑥ 外部機器連動で「ON」を選ぶ

∧ / ∨ ボタンで「ON」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



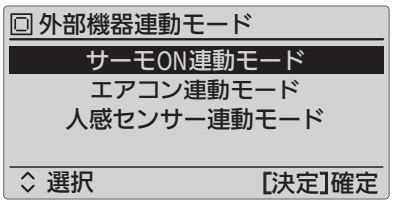
⑦「外部機器連動モード」を選ぶ

∧ / ∨ ボタンで「外部機器連動モード」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



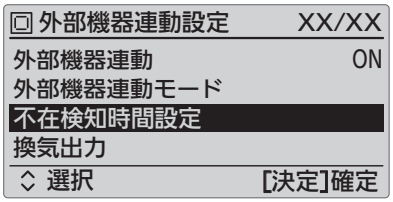
⑧「外部機器連動モード」のモードを選ぶ

∧ / ∨ ボタンでモードを選択し、
決定 ボタンを押してください。
●人感センサー連動モード：
人感センサーの在・不在出力に連動します。
続いて「不在検知時間設定」手順⑨～⑩を行ってください。
●エアコン連動モード：
エアコンの運転/停止出力に連動します。
●サーモON連動モード：
エアコンサーモON/OFF出力に連動します。



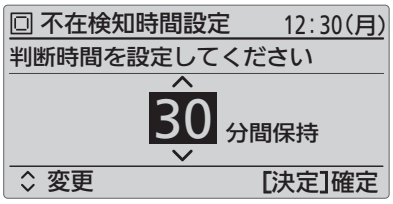
⑨「人感センサー連動モード」を選んだとき「不在検知時間設定」を選ぶ

∧ / ∨ ボタンで「不在検知時間設定」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



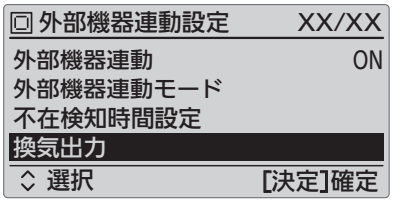
⑩ 運転オフする時間を設定する

∧ / ∨ ボタンで設定時間を選択し、設定後、
決定 ボタンを押してください。
●0分～60分（1分単位）



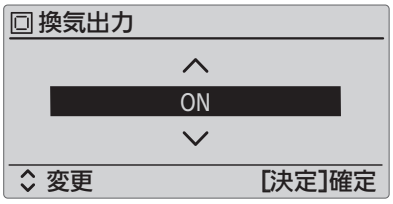
⑪「換気出力」を選ぶ

∧ / ∨ ボタンで「換気出力」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



⑫「ON」を選ぶ

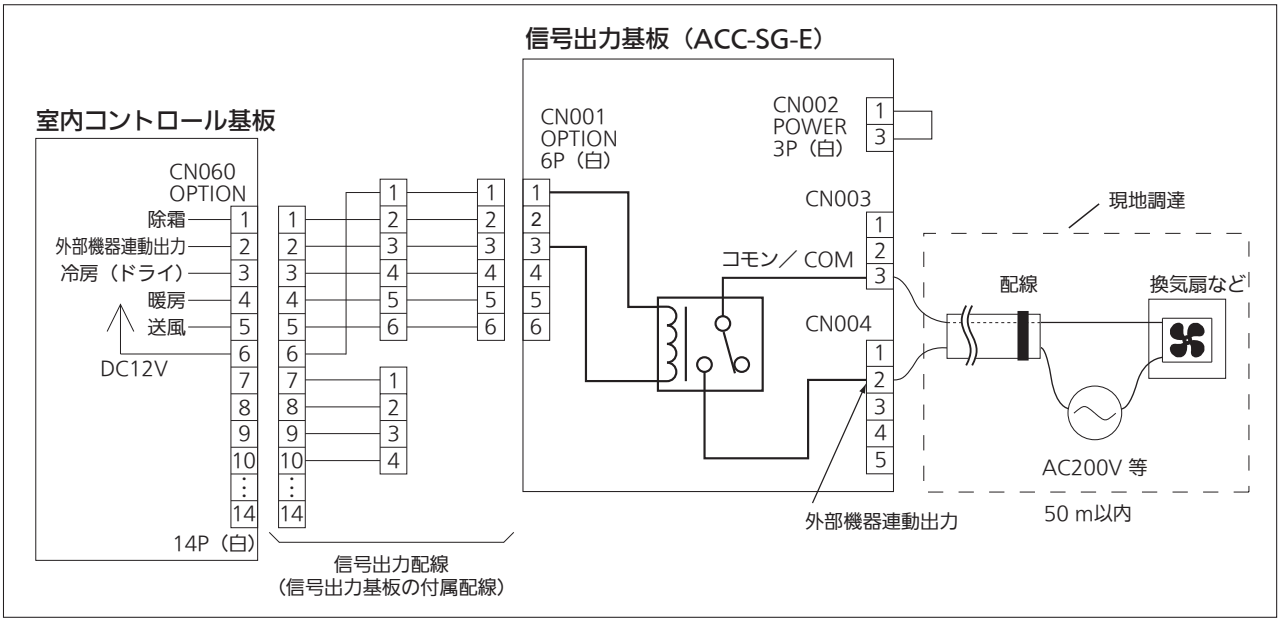
∧ / ∨ ボタンで「ON」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



外部機器連動機能（つづき）

■配線例

信号出力基板（ACC-SG-E、別売品）を使用した連動システム例



お知らせ

●空調機からの外部出力信号は外部機器の管理用に設けられていますが、 空調機が動作しなくなった場合でも、外部接続機器が安全側へ動作を移行するよう事前に措置を講じてください。

●空調機からの外部出力信号は停電時にはオフとなります。
停電時の特別な配慮が必要な場合は、外部回路で対応してください。

仕様

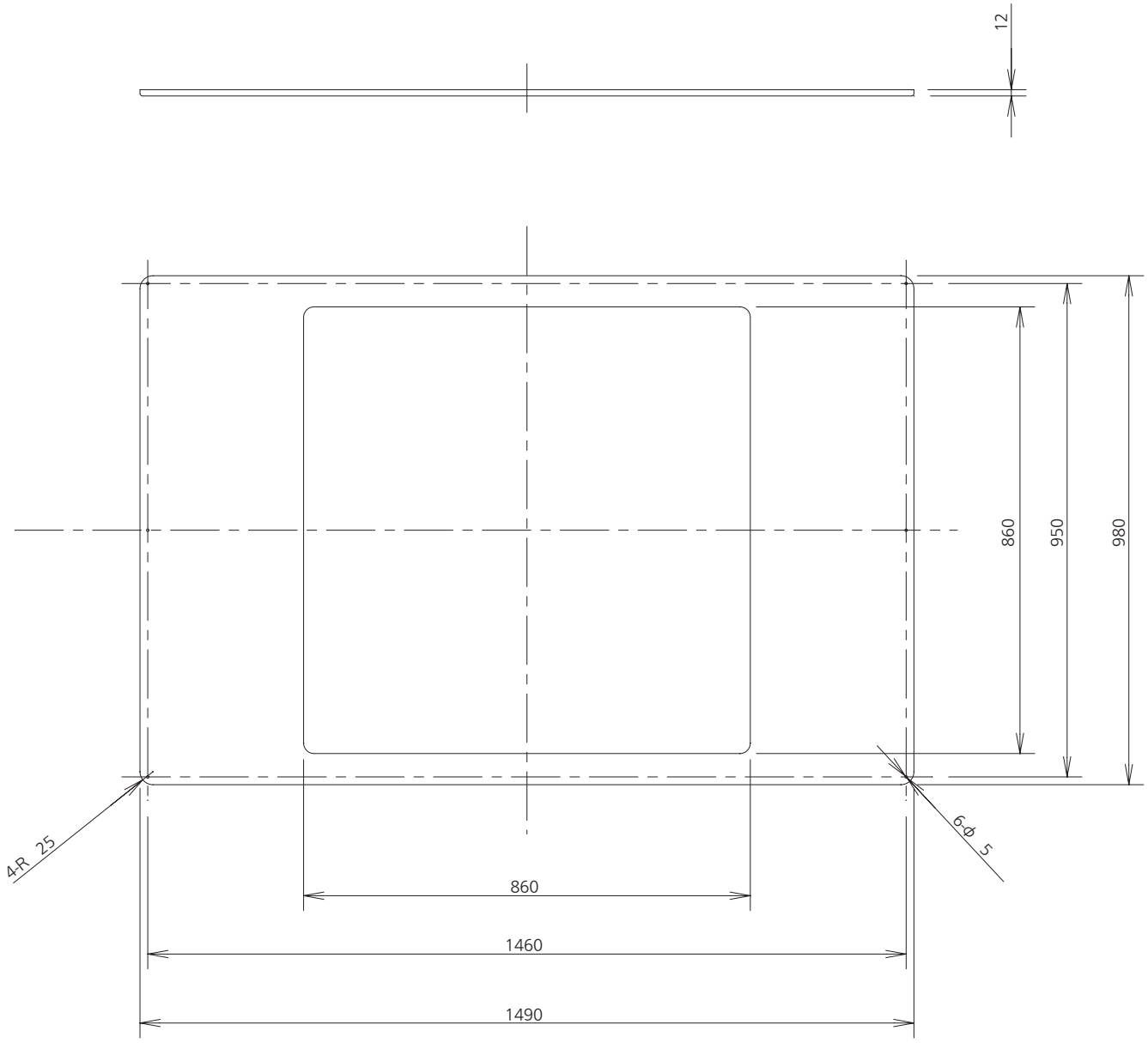
品番	CZ-160KPEU7B, CZ-160KPEU7B-K	CZ-160KSEU7B, CZ-160KSEU7B-K
外形寸法	（幅）950㎜×（奥行き）950㎜×（高さ）29.5㎜	
質量	5㎏	6.5㎏
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 %～ 80 %（屋内設置専用）	
電源	DC5V（室内ユニットより供給）	

●ワイドパネル（CZ-160KWU5）

■仕様

品番			CZ-160KWU5
外形寸法		mm	W：1490＊D：980＊H：12
開口寸法		mm	W：860＊D：860
天井開口寸法	短手	mm	860 ～ 920
	長手		860 ～ 1430
製品質量		kg	4.0
色（マンセル記号）			ホワイト（N9.3）
適応機種			28 ～ 160形

■外形寸法図



Panasonic

据付工事説明書

ワイドパネル

品番　CZ-160KWU5

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」とこの「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗ ■ **据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う**
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ **付属品は当社指定の部品を使用する**
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

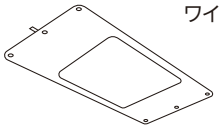
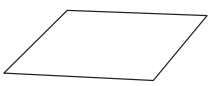
⃠ ■ **周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない**
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意
- ワイドパネルは、室内ユニットの冷媒配管・ドレン配管終了後、天井パネルを取り付ける際に、同時に取り付けてください。※先に天井パネルを取り付けてしまうと、ワイドパネルを取り付けできなくなります。
- 別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

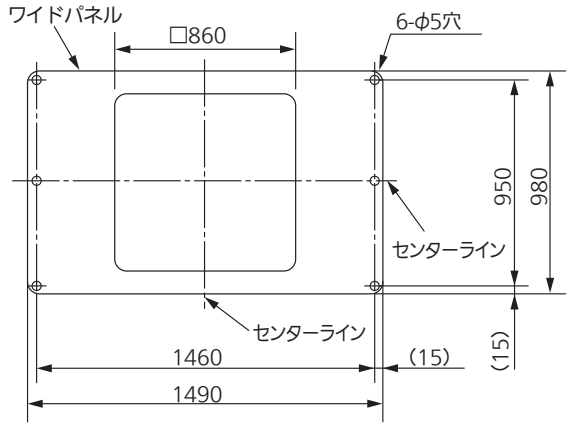
名　称	個数	名　称	個数	名　称	個数
ワイドパネル 	1	取付ネジ 4×45 白色塗装付き 近似色 19年版 日本塗料工業会 KN-93	6	据付工事説明書 	1

ACXF60-21744
85464369935000
BE0716 - 40723

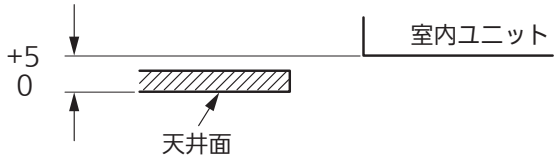
2. 取り付け前の準備

● 天井開口寸法が下記の範囲内か確認してください。
短手×長手：860～920×860～1,430

● ワイドパネルは、下図の位置でネジ止めします。
取付ネジが締められない天井材（石膏ボード等）の場合は、木材または天井材固定用Mバー等（現地調達、ダブルバー推奨）を天井材裏面に取り付けてください。

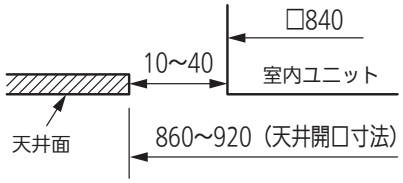


● 天井面の水平を確認してください。
※天井面が水平でない場合、ワイドパネルと天井面に多少の隙間が開く場合があります。
室内ユニットと天井面は、0～5mmの範囲に高さ設定してください。この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。（図は、寸法を見やすくするために、室内ユニットの位置を高く表示しています。）



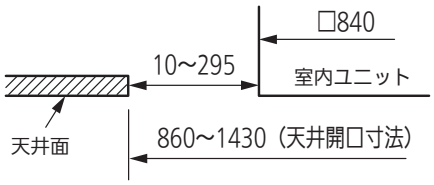
天井開口寸法　短手

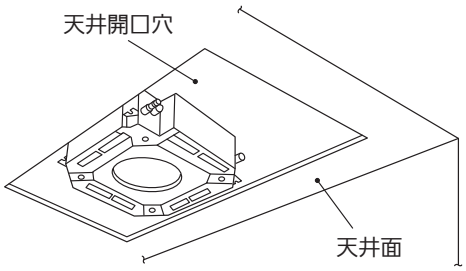
短手方向で天井と室内ユニットの隙間が10～40で左右同一寸法になるように調整してください。



天井開口寸法　長手

長手方向で天井と室内ユニットの隙間が10～295で左右同一寸法になるように調整してください。

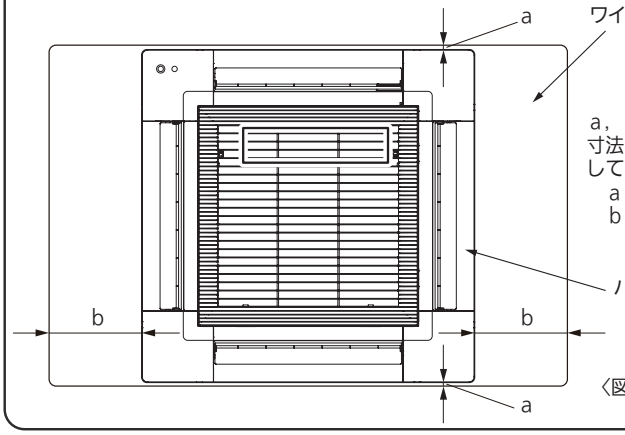




3. 取り付けかた

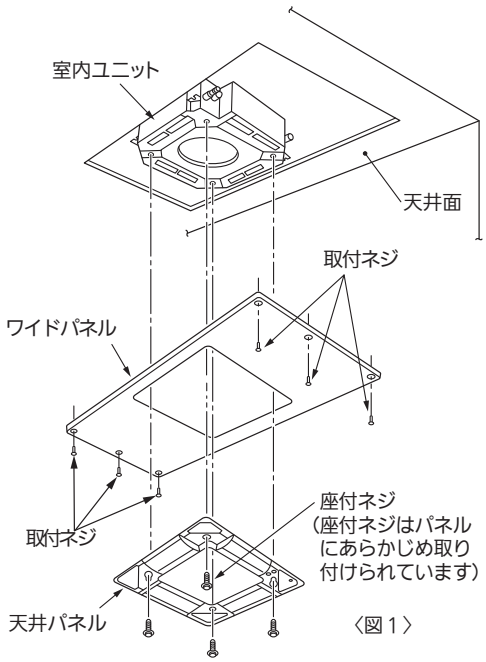
● 天井パネルの上にワイドパネルを載せて、天井パネルを室内ユニットに取り付けます。〈図 1〉
※天井パネルの取り付けかたは、天井パネルに同梱されている据付工事説明書を参照してください。
※天井パネルとワイドパネルの位置合わせは〈図 2〉を参照してください。

● ワイドパネルを取付ネジ 6 本で天井面へ固定します。
※取付ネジはワイドパネルが変形しない程度に締め込んでください。
変形した場合は、取付ネジを少し緩めてください。



a，bがそれぞれ同一寸法になるように調整してください。
a：約 15mm
b：約270mm

〈図 2〉

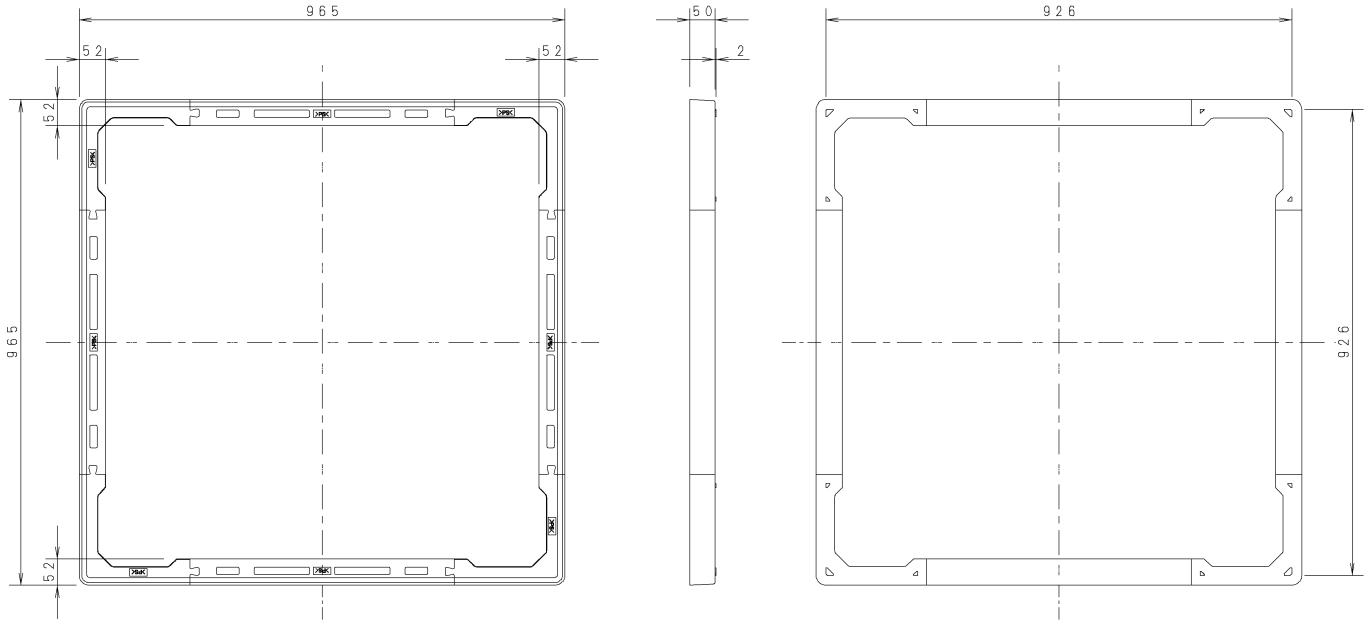


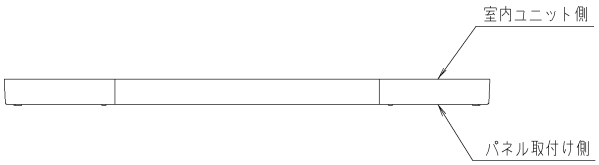
〈図 1〉

●パネルスペーサー（CZ-160SPU5）

■外形寸法図

△





＜外装色＞　（マンセル記号）
ホワイト　（5．2Y　9．7／0．2）

Panasonic

据付工事説明書

パネルスペーサー

品番　CZ-160SPU5

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

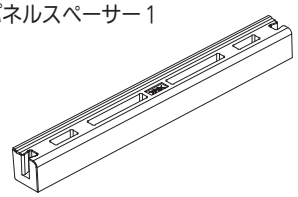
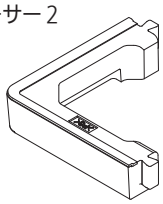
■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
- 天井パネルを室内ユニットに取り付ける前に、パネルスペーサーを取り付けてください。
  ※先に天井パネルを室内ユニットに取り付けてしまうと、パネルスペーサーを取り付けできなくなります。
- 別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-21754
85464369936000
BE0716 - 40723

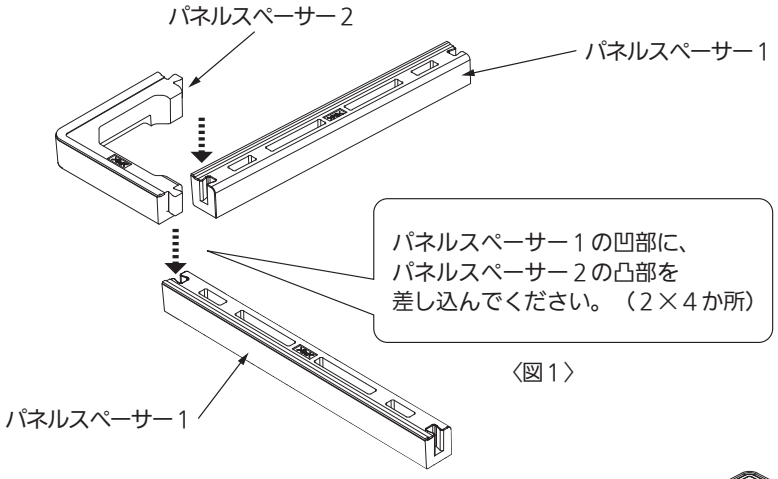
1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

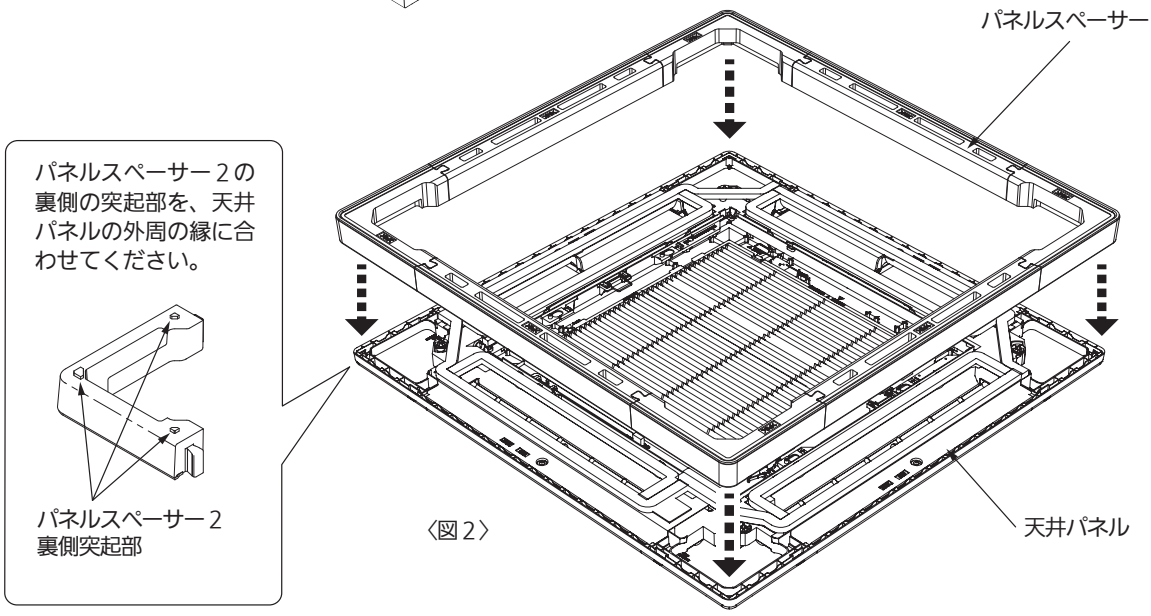
名　称	個数	名　称	個数	名　称	個数
パネルスペーサー 1 	4	パネルスペーサー 2 	4	据付工事説明書	1

2. 取り付けかた

1. パネルスペーサー 1 と 2 を、〈図 1〉のように組み立てます。
2. 組み立てたパネルスペーサーを、天井パネルの外周に取り付けます。〈図 2〉
   ※取り付ける際は、パネルスペーサー 2 の裏側の突起部を天井パネル外周の縁に合わせてください。
   ※取り付け時、天井パネル全周でパネルスペーサーが天井パネルより約 5 mm外側に出ていることを確認してください。
3. パネルスペーサー取り付け後、天井パネルを室内ユニットに取り付けてください。



〈図 1〉



〈図 2〉

●高性能フィルター（CZ-160MFU5）

■仕様（比色法 65%）

名　称			高性能フィルター(比色法65%)							
品　番			CZ-160MFU5							
適用室内ﾕﾆｯﾄ		UU1	28,36,45形	56形	71形	80形	90形	112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	16.4	17.3	20.2	20.7	32.8	32.8	33.3	33.3
最終風量		m^3/min	14.1	14.9	17.6	18.0	18.0	18.0	18.1	18.1
初期圧損		Pa	11.3	13.0	16.4	16.9	30.8	30.8	31.5	31.5
最終圧損		Pa	19.0	20.8	26.7	27.6	80.4	80.4	83.2	83.2
フィルター寿命		時間	2,500	2,500	2,400	2,400	2,200	2,200	2,200	2,200
平均効率			比色法　65%(JIS 11種)							
使用濾材			ポリオレフィン系帯電繊維							
フィルター分割数			1枚組							
質量		kg	1.8							
フィルター外形寸法	幅	mm	594							
	奥行	mm	560							
	厚み	mm	35							
適用フィルターチャンバー	品　番		CZ-160FDU7							
	質量	kg	2.0							
	厚み	mm	100							

注記

(1)高性能フィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
　これを防止するため、チャンバー付属の据付工事説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
　（据付工事説明書参照）

(2)高性能フィルター組み込みの場合は、ダクト接続や２方向・３方向吹き出しはできません。
　天井高さは高天井設定１までの対応が可能です。
　※フィルターが目詰まりすると到達距離が短くなる傾向になります。

(3)フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m^3（ビル管理法規制値）で算出した値を示します。（JIS 11種）
　フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。

(4)高性能フィルターを組み込む場合は、別売品のフィルターチャンバーが必要ですのでご用意ください。

(5)天井パネルのエアーフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。

(6)風量・圧損・寿命は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。

(7)この仕様はUU1形の値です。

●高性能フィルター（CZ-160HFU5）

■仕様（比色法 90%）

名　称			高性能フィルター(比色法90%)							
品　番			CZ-160HFU5							
適用室内ﾕﾆｯﾄ		UU1	28,36,45形	56形	71形	80形	90形	112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	15.5	16.8	19.9	19.9	31.5	31.5	32.0	32.0
最終風量		m^3/min	12.6	12.7	13.2	13.2	19.6	19.6	19.8	19.8
初期圧損		Pa	16.8	18.9	23.8	23.8	36.2	36.2	37.1	37.1
最終圧損		Pa	25.3	31.2	46.6	46.6	76.0	76.0	78.6	78.6
フィルター寿命		時間	1,750	1,700	1,700	1,700	1,500	1,500	1,500	1,500
平均効率			比色法　90%(JIS 11種)							
使用濾材			ポリオレフィン系帯電繊維							
フィルター分割数			1枚組							
質量		kg	1.8							
フィルター外形寸法	幅	mm	594							
	奥行	mm	560							
	厚み	mm	35							
適用フィルターチャンバー	品　番		CZ-160FDU7							
	質量	kg	2.0							
	厚み	mm	100							

注記

(1)高性能フィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
　これを防止するため、チャンバー付属の据付工事説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
　（据付工事説明書参照）

(2)高性能フィルター組み込みの場合は、ダクト接続や２方向・３方向吹き出し、高天井対応はできません。
　※フィルターが目詰まりすると到達距離が短くなる傾向になります。

(3)フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m^3（ビル管理法規制値）で算出した値を示します。（JIS 11種）
　フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。

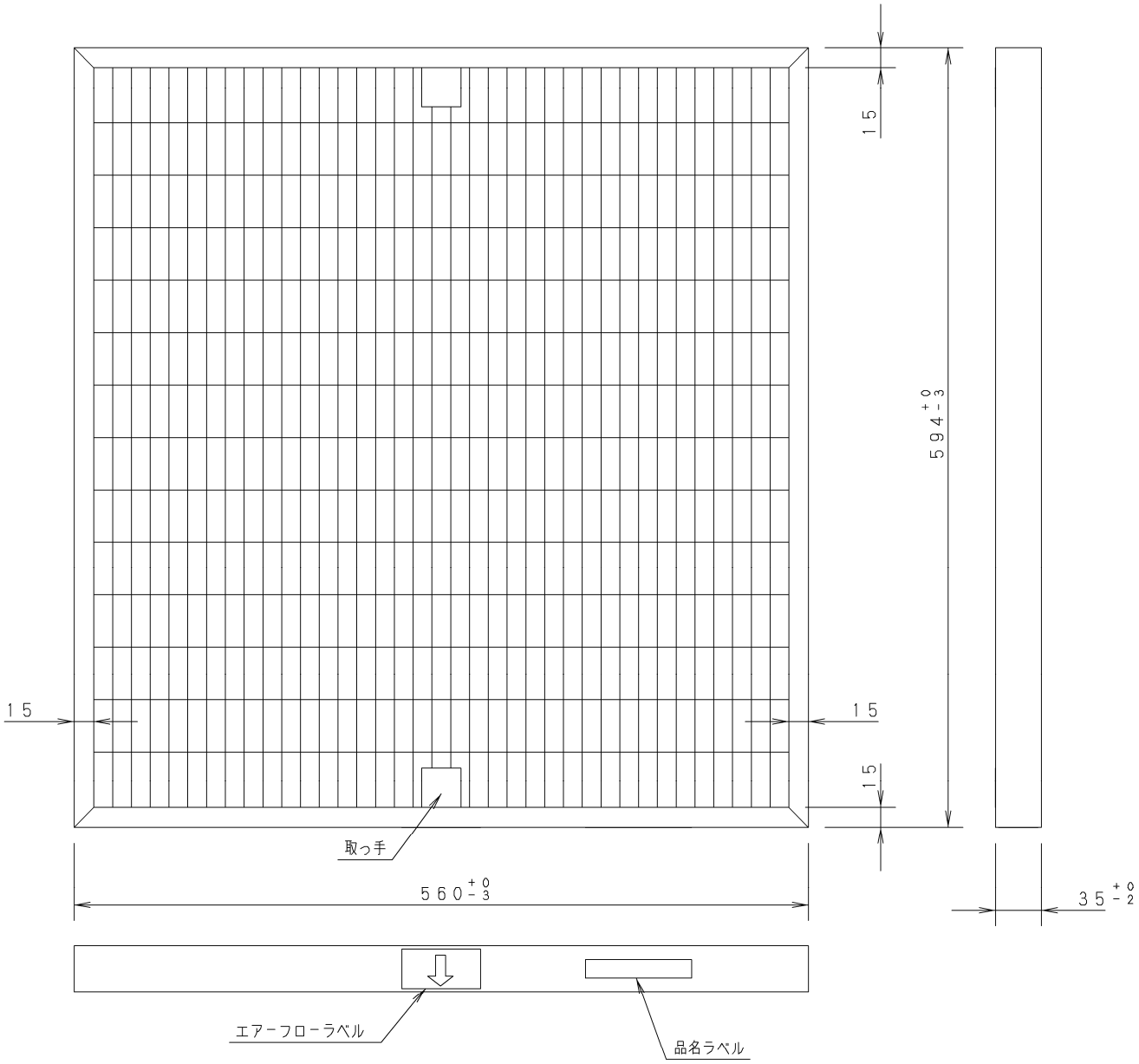
(4)高性能フィルターを組み込む場合は、別売品のフィルターチャンバーが必要ですのでご用意ください。

(5)天井パネルのエアーフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。

(6)風量・圧損・寿命は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。

(7)この仕様はUU1形の値です。

■外形寸法図 (CZ-160MFU5, CZ-160HFU5)



●超ロングライフフィルター（CZ-160LFU5）

■仕様（重量法 40%）

名　称			超ロングライフフィルター(重量法40%)							
品　番			CZ-160LFU5							
適用室内ﾕﾆｯﾄ		UU1	28,36,45形	56形	71形	80形	90形	112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	17.8	18.8	22.0	22.5	34.7	34.7	35.2	35.2
最終風量		m^3/min	14.1	14.9	17.6	18.0	18.0	18.0	18.1	18.1
初期圧損		Pa	6.7	7.2	8.6	8.7	14.6	14.6	22.9	22.9
最終圧損		Pa	19.0	20.8	26.7	27.6	80.4	80.4	83.2	83.2
フィルター寿命		時間	6,200	6,800	6,300	6,500	5,300	5,200	5,200	5,100
平均効率			重量法　40%(JIS 11種)							
使用濾材			PPハニカム（防カビ仕様）							
フィルター分割数			1枚組							
質量		kg	1.9							
フィルター外形寸法	幅	mm	594							
	奥行	mm	560							
	厚み	mm	35							
適用フィルターチャンバー	品　番		CZ-160FDU7							
	質量	kg	2.0							
	厚み	mm	100							

注記

(1)超ロングライフフィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。

これを防止するため、チャンバー付属の据付工事説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。

（据付工事説明書参照）

天井高さは高天井設定 1 、高天井設定 2 の対応が可能です。

※フィルターが目詰まりすると到達距離が短くなる傾向になります。

(2)フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m^3（ビル管理法規制値）で算出した値を示します。（JIS 11種）

フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。

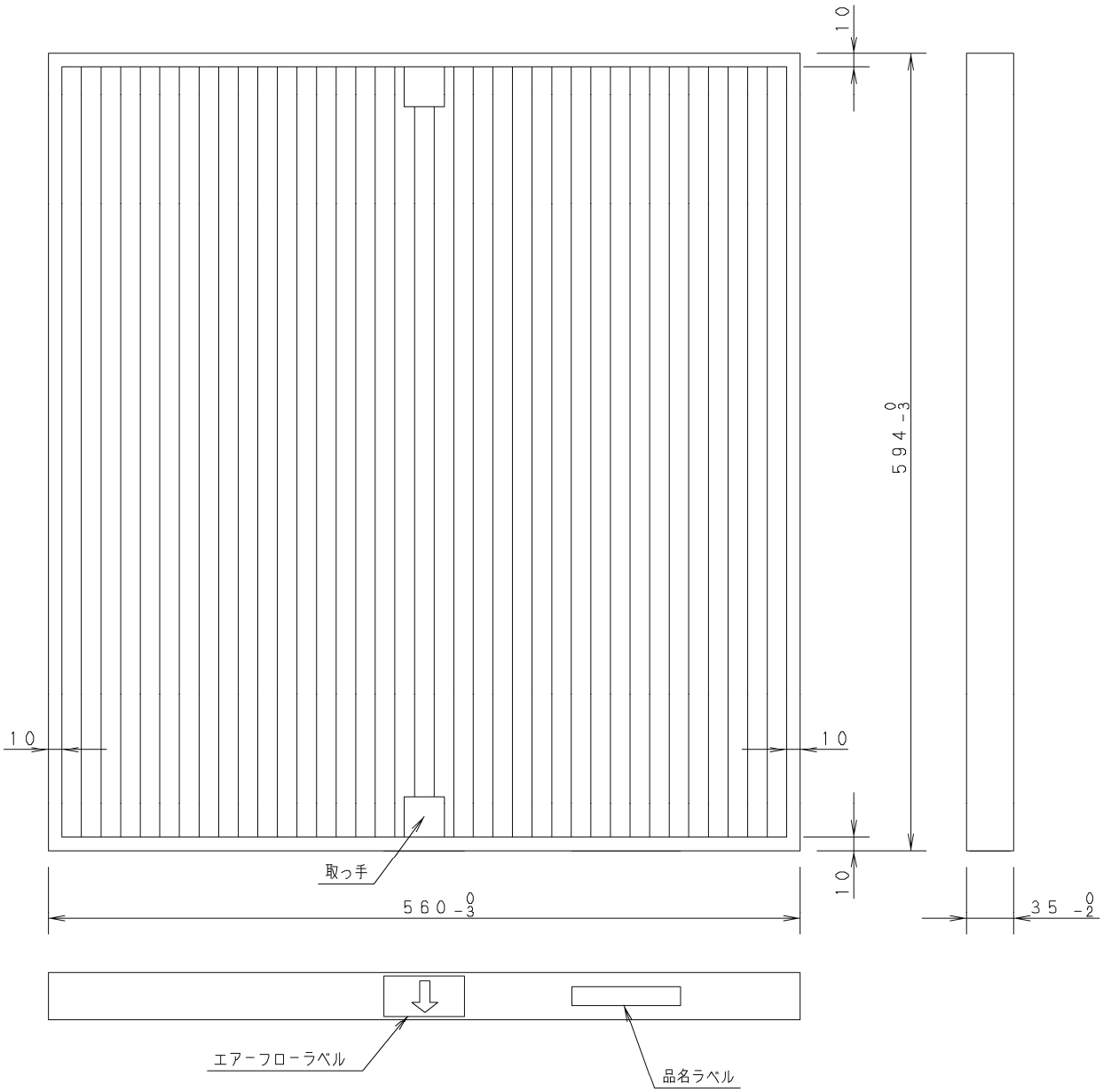
(3)超ロングライフフィルターを組み込む場合は、別売品のフィルターチャンバーが必要ですのでご用意ください。

(4)天井パネルのエアーフィルターは、取り外してご使用ください。

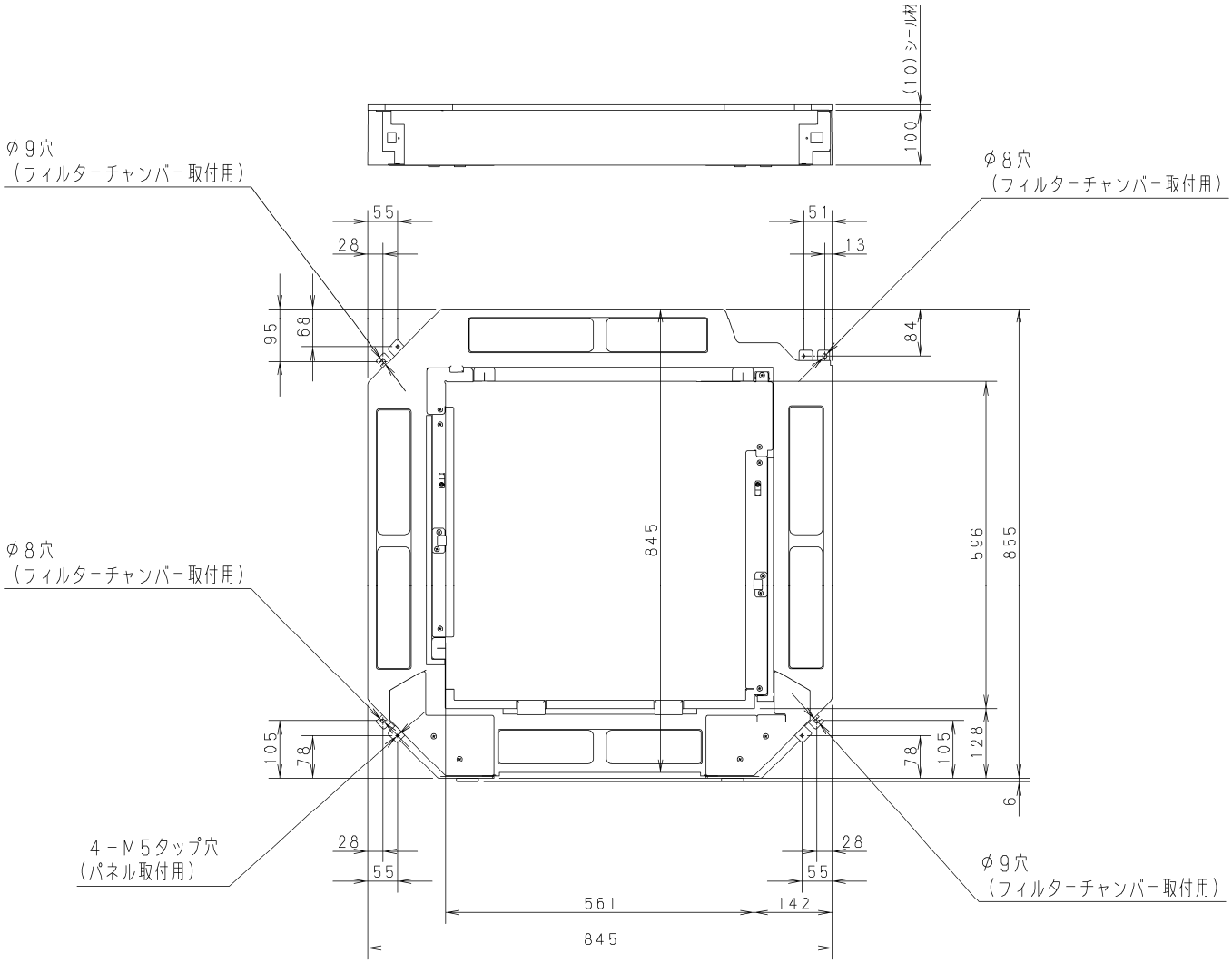
(5)風量・圧損・寿命は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。

(7)この仕様はUU1形の値です。

■外形寸法図 (CZ-160LFU5)



●フィルターチャンバー（CZ-160FDU7）



Panasonic

据付工事説明書

フィルターチャンバー

品番　CZ-160FDU7

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットおよび天井パネルに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

⃠ ■ 電源配線をバンドなどで束ねて収納しない
（発熱、火災の原因）

■ 配線は途中接続しない
（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）

❗ ■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）

■ 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
（故障や発熱、火災の原因）

■ 配線をはさまないように、カバーは元どおり確実に取り付ける
（感電、火災の原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、ケガの原因）

■ 電気工事（アース工事を含む）は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの「据付工事説明書」に従って施工する
（施工の不備や電気回路容量に不備があると、感電や火災等の原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）

⚠ 注意

⃠ ■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
・フィルターチャンバーは28～160形まで共通で使用できます。
・フィルターチャンバーは、室内ユニットを据え付ける前に室内ユニットに取り付けてください。
・据え付け時、フィルターチャンバーの側面に衝撃を与えると破損することがありますので、取扱いには十分注意してください。
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-49562
BE1122-20823

1 . 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

●下記部品が梱包内部に付属されていますので、確認してください。

名　　称	個数	名　　称	個数	名　　称	個数
取付ネジ（5×40） （フィルターチャンバー固定用）	4	ワッシャー （フィルターチャンバー固定用）	4	据付工事説明書 	1

2 . 取り付けかた

取り付け前に吹出口（４か所）に挿入してある緩衝材（ダンボール）を取り出してください。

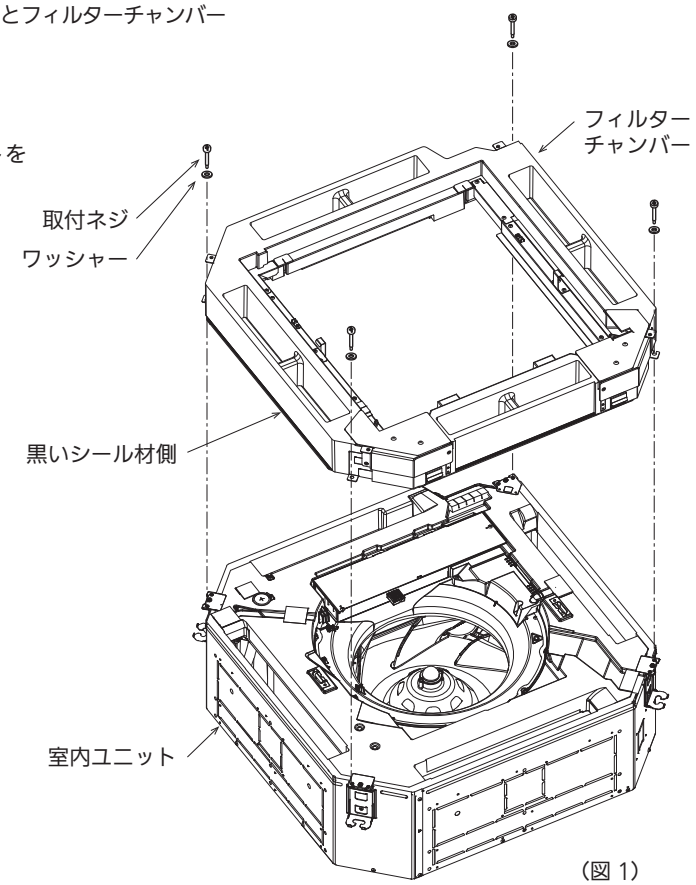
①フィルターチャンバーの取り付け　（図1）

・フィルターチャンバーの黒いシール材側と室内ユニットを合わせてください。
（取り付けの方向性がありますので、室内ユニットとフィルターチャンバーの形状を合わせてください。）

・付属の取付ネジ（４本）で固定します。

②室内ユニットの据え付け

・フィルターチャンバーを取り付けた室内ユニットを天井に据え付けます。
（据え付けは、室内ユニットに同梱されている据付工事説明書に従って行ってください。）



（図 1）

③天井パネルの取り付け（P3.図2）

・室内ユニット（フィルターチャンバー付き）に天井パネルを取り付けます。
（取り付けかたは、天井パネルまたは、昇降グリル付天井パネルに同梱されている据付工事説明書を参照してください。）

④天井パネル配線の接続（P3.図2）

・フィルターチャンバーの板金カバーをはずし、電装ボックスのふたを取りはずします。

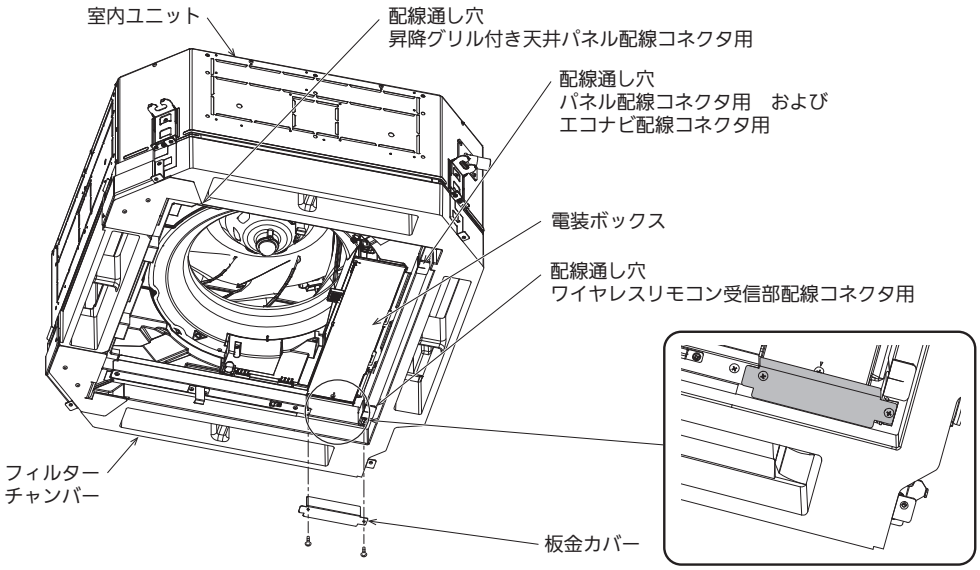
・天井パネルの配線コネクタ 24P（黒）および、エコナビパネルの配線コネクタ 6P（白）は、束ねてある結束バンドをカットしてからフィルターチャンバーの配線通し穴に差し込んで、電装ボックス内のコネクタと接続してください。

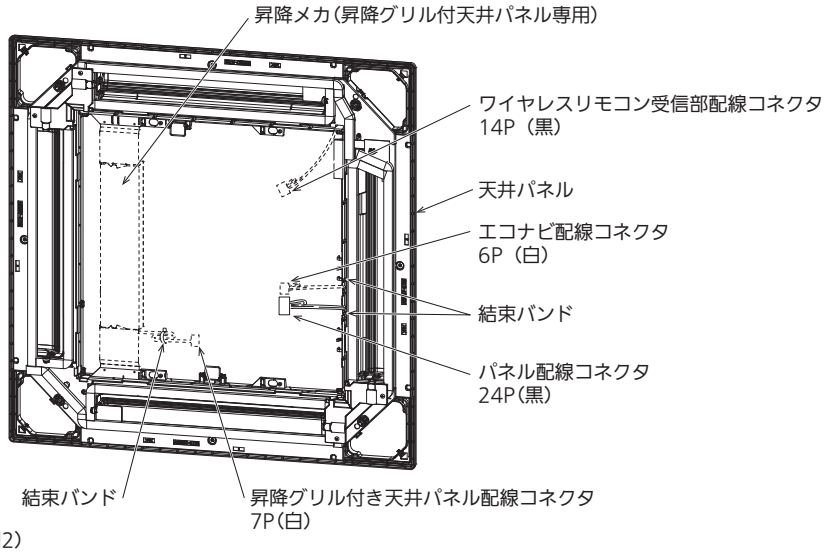
・昇降グリル付天井パネルの場合は、配線コネクタ 24P（黒）の他に昇降グリル付き天井パネル配線コネクタ 7P（白）がありますので、束ねてある結束バンドをカットしてからフィルターチャンバーの配線通し穴に差し込んで、電装ボックス内の基板に接続してください。

・ワイヤレスリモコン受信部をご使用の場合は、ワイヤレスリモコン受信部の説明書を参照のうえ、受信部をパネルに取り付けてから、受信部の配線をフィルターチャンバーの配線通し穴に差し込み、電装ボックス内のコネクタと接続してください。

・電装ボックスのふたとフィルターチャンバーの板金カバーを元に戻してください。

2 . 取り付けかた（つづき）



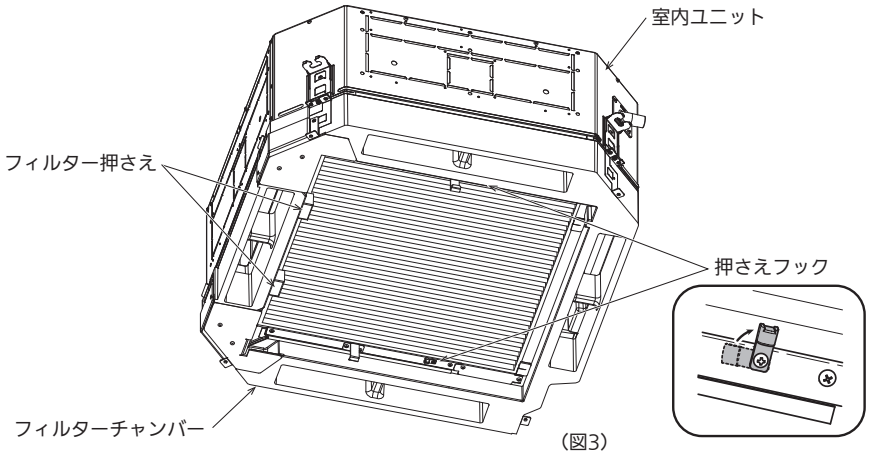


（図2）

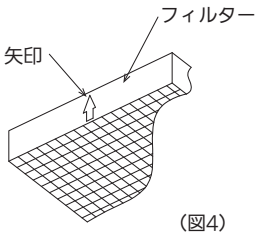
⑤高性能フィルター・超ロングライフフィルターの取り付け（図3）

・フィルターをフィルター押さえ（フィルターチャンバー）に差し込みます。
（取り付けの方向性があります。フィルター側面の矢印を下図（図4）の方向にして差し込んでください。）

・フィルターチャンバーの押さえフック（2か所）を回転させて固定します。
（取り付けかたは、高性能フィルターまたは、超ロングライフフィルターに同梱されている据付工事説明書を参照してください。）



（図3）



（図4）

3. DCファンモータータップの選択

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表1）
変更を行わない場合、風量減少により冷房時吹出温度が低下、露付きの原因となります。
ファン回転数を設定する方法は、【1】基板上のディップスイッチを切り替えて設定する方法【2】ワイヤードリモコンで設定する方法があります。どちらかの方法で設定してください。※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1　DCファンモータータップ設定表

設定No.	項目コード 5D/5dの設定データ	使用用途／別売品名称　※1
(出荷設定)	0000	標準
		ロングライフフィルター
(1)	0001	高天井設定 1（標準、エコナビパネル時）
		オイルガードパネル　※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター　※2
		高性能フィルター（比色法 65%）
		重量法 60% フィルター
		昇降グリル付きオイルガードパネル　※2
		しゃ風材（3 方向吹出時）　※3
		しゃ風材（吹出ダクト接続時）　※3
(3)	0003	高天井設定 2（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（比色法 90%）
(6)	0006	しゃ風材（2 方向吹出時）　※3

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組合せ可能な別売品を確認し選定してください。

※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルターを組み合わせる場合は、設定No.（3）または設定データ0003を設定してください。

※3. しゃ風材とそれ以外の左表内の設定変更が必要な別売品を併用する場合、
3方向吹出時　設定No.（3）または設定データ0003
吹出ダクト接続時　設定No.（3）または設定データ0003
2方向吹出時　設定No.（6）または設定データ0006
を設定してください。
なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

高性能フィルター（比色法 90%）の場合は、高天井対応はできません。
その他の別売品取り付け時の高天井対応については設備設計資料等をご確認ください。

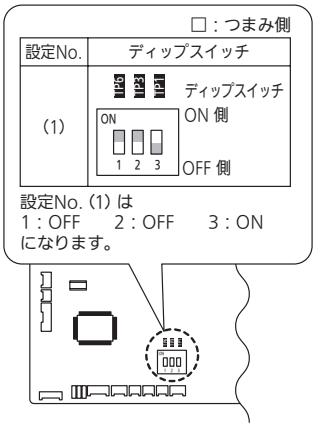
【1】基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

＜手順＞必ず（電源配線用しゃ断器（ブレーカー））を切ってください。

①ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。
②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。(図 5）
③表1で確認した設定Noに合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

□つまみ側

設定 No.	ディップスイッチ	設定 No.	ディップスイッチ	設定 No.	ディップスイッチ
(1)	SW3 SW2 SW1 ディップスイッチ ON 側 ON 1 2 3 OFF 側	(3)	SW3 SW2 SW1 ディップスイッチ ON 側 ON 1 2 3 OFF 側	(6)	SW3 SW2 SW1 ディップスイッチ ON 側 ON 1 2 3 OFF 側

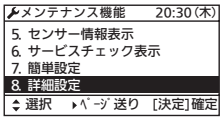


（図 5）室内コントロール基板

【2】-1 ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT4C）

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉**ユニットが運転を停止した状態で行ってください。**

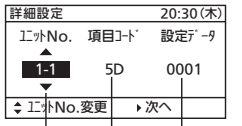
① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、 決定 ボタンを押してください。
④ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、 戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面］が表示されます。
「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。

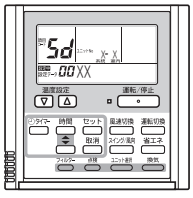


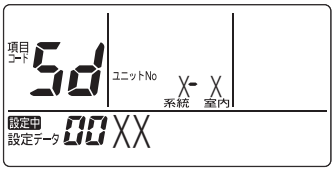
【2】-2 ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT3）

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5ｄの設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉**ユニットが運転を停止した状態で行ってください。**

①点検＋セット ＋取消ボタンを同時に４秒間以上押します。
②ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③ 温度設定▼／▲ボタンで項目コード「５ｄ」を指定します。
④ 時間▼／▲ボタンで設定データを変更します。
設定データの内容は表１のようになっています。
⑤セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
⑥点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ
⑦点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。

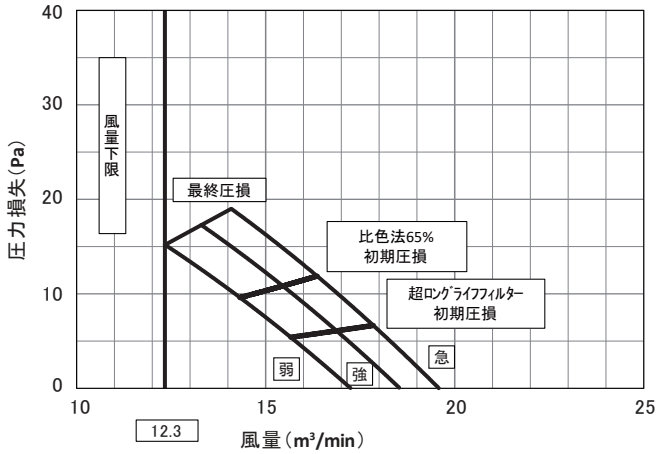




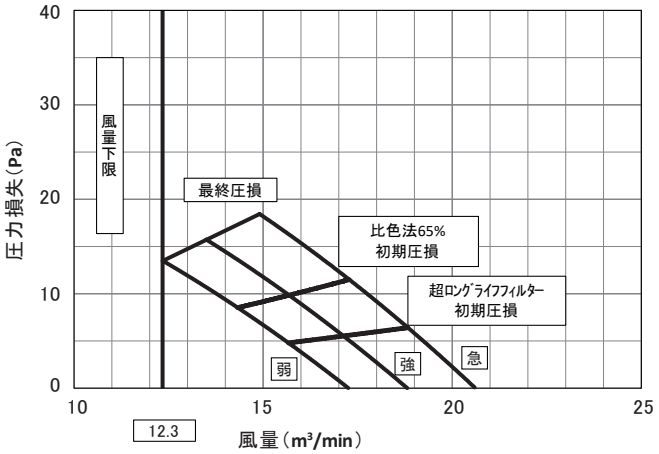


■ 風量－圧力損失特性（CZ-160MFU5, CZ-160LFU5）

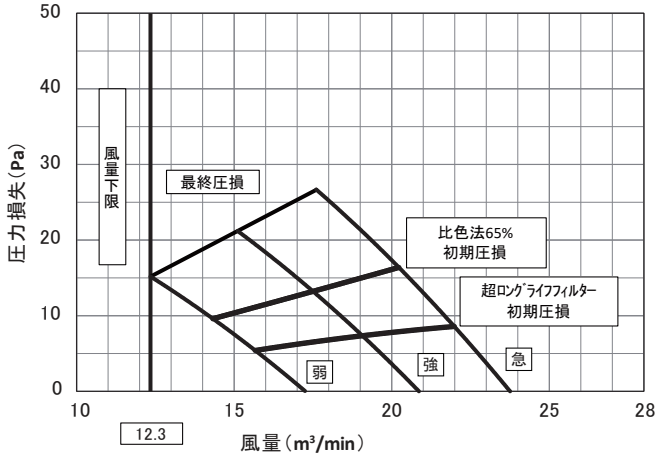
28・36・45形



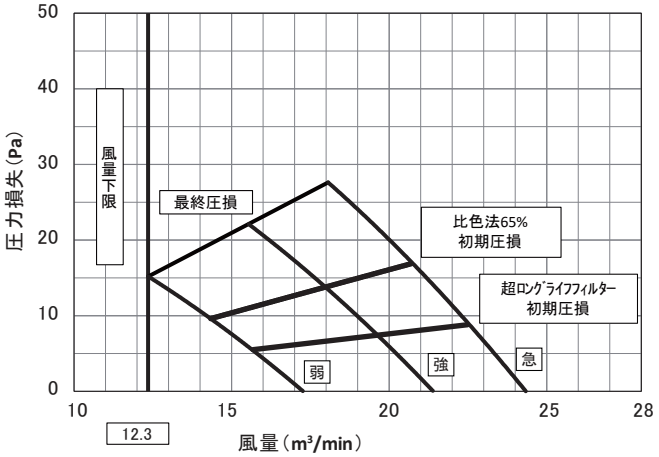
56形



71形

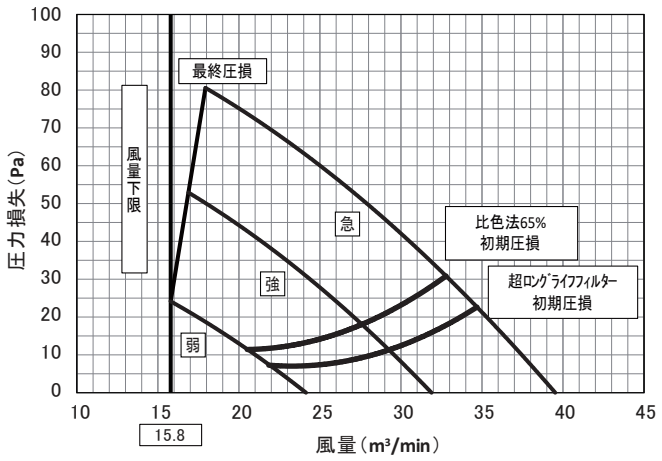


80形

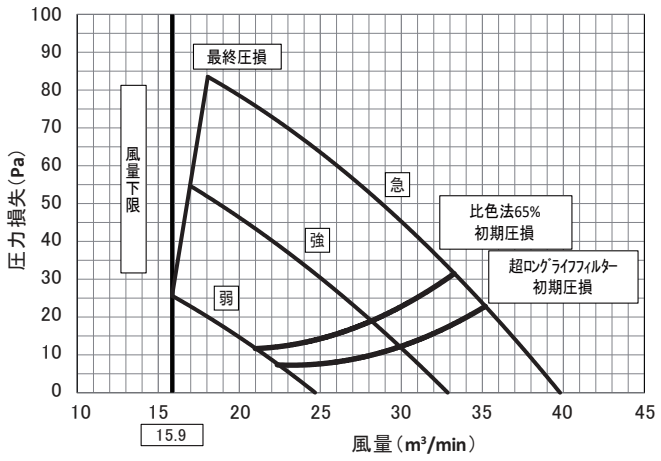


■ 風量－圧力損失特性（CZ-160MFU5, CZ-160LFU5）

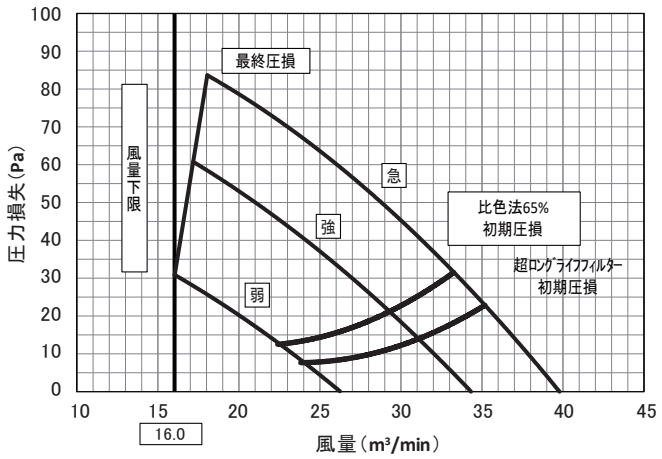
90・112形



140形

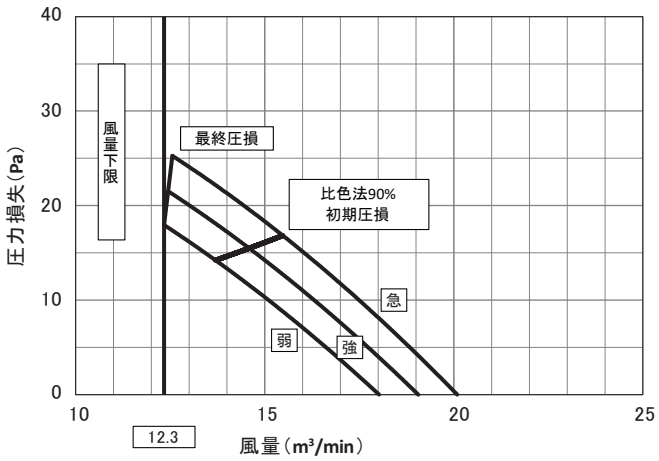


160形

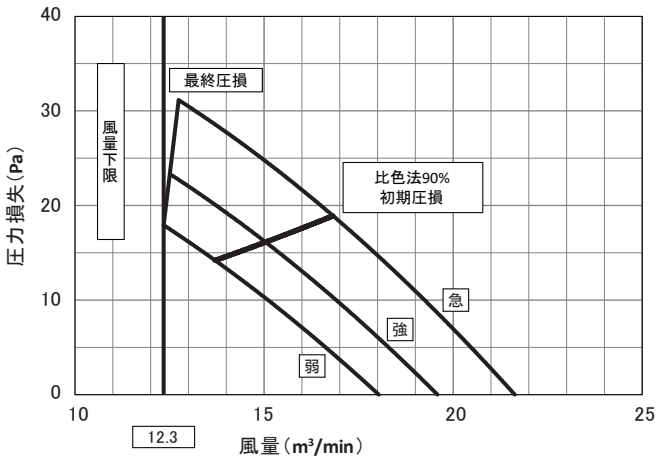


■ 風量－圧力損失特性（CZ-160HFU5）

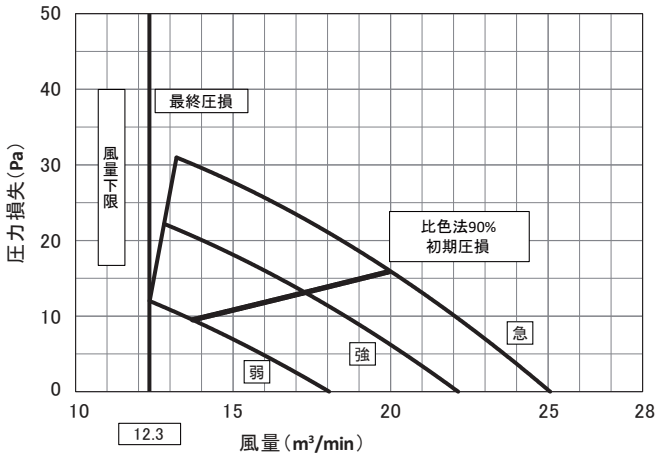
28・36・45形



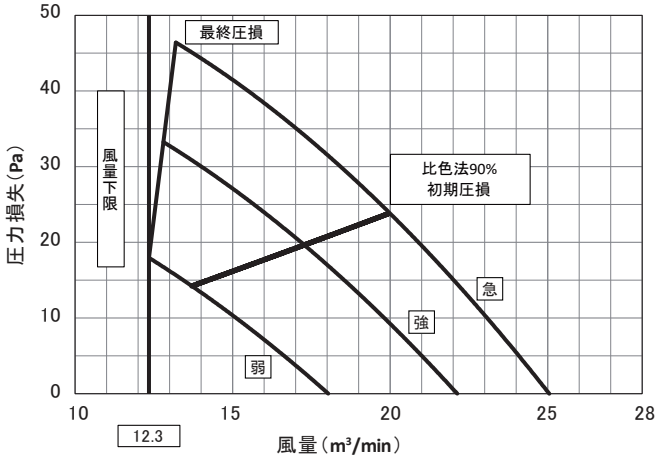
56形



71形

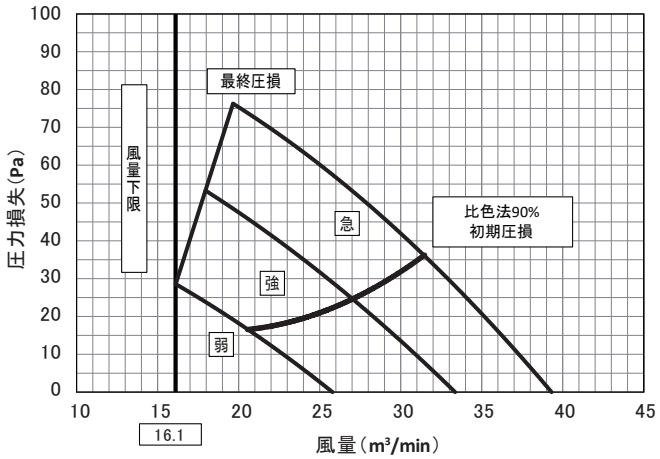


80形

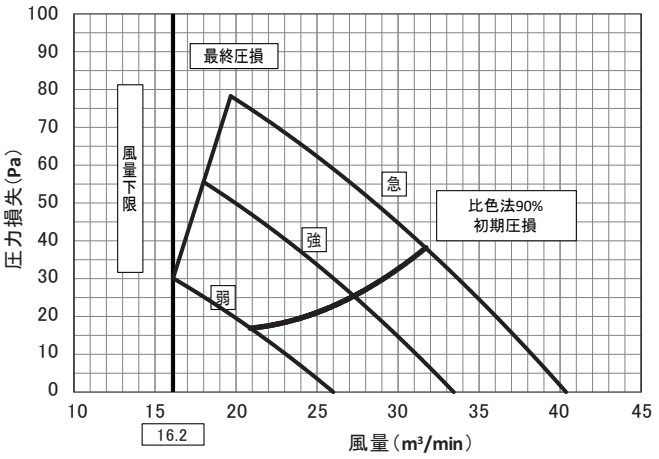


■ 風量－圧力損失特性（CZ-160HFU5）

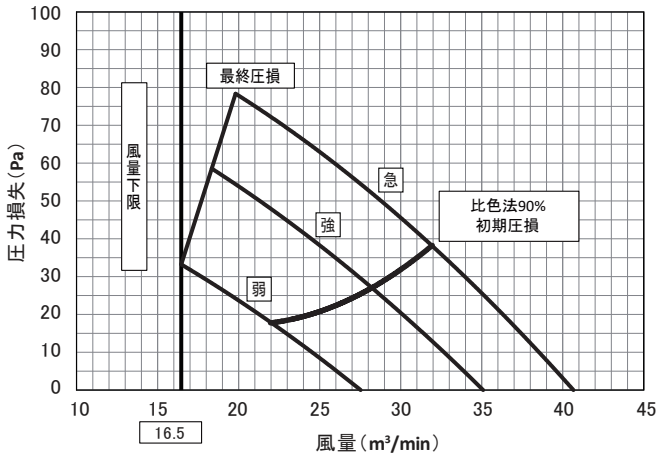
90・112形



140形



160形



●ロングライフフィルター（CZ-160SLFU7B）

■仕様（重量法 20%）

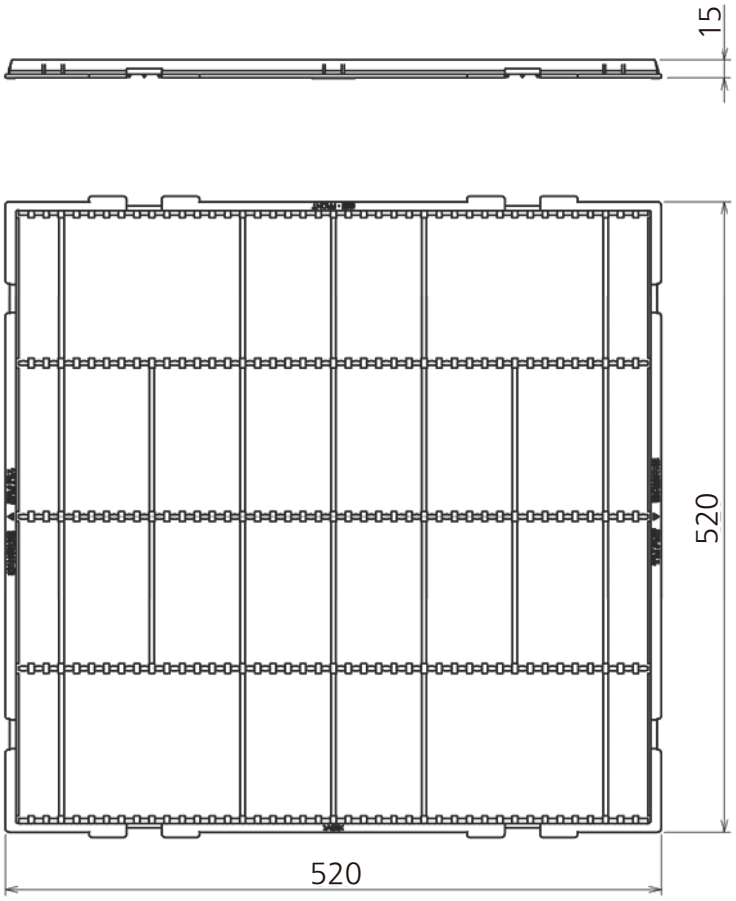
名称		ロングライフフィルター(別売部品)									
品番		CZ-160SLFU7B									
適用パネル		CZ-160KP(E)U7B									
適用室内ユニット		S-G**UU1									
		28形	36形	45形	56形	71形	80形	90形	112形	140形	160形
初期風量 ※1	m^3/min	14.5	14.5	15.5	16.5	21.0	22.5	35.0	36.0	37.0	38.0
フィルター寿命※2	時間	2,500									
平均効率		重量法　20%　(JIS 15種)									
使用濾材		PPハニカム（抗ウイルス仕様）									

注記

※1　初期風量は急風時の数値となります。

※2　フィルター寿命はフィルター清掃が必要なめやすの時間となります。
　　フィルター清掃のめやすはリモコンへのフィルターサインでお知らせします。

＜外形寸法図＞



フィルター外形寸法	幅	mm	520
	奥行	mm	520
	厚み	mm	15

Panasonic

据付工事説明書

ロングライフフィルター

品番　CZ-160SLFU7B

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている据付工事説明書と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

❗
■ **据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う**
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）

■ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ **付属品は当社指定の部品を使用する**
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電や火災の原因）

⚠注意

⃠
■ **漏れた冷媒が滞留するおそれのある場所に設置しない**
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、酸欠事故や火災などの原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

Printed in Japan
ACXF60-54990
BE1223-0

1 . 仕様

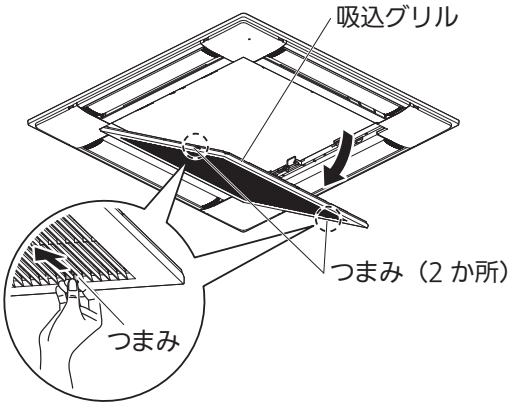
品　名（型　番）	ろ　　材	平均捕集効率 重量法（JIS 15種）
ロングライフフィルター （　CZ-160SLFU7B　）	PP ハニカム（抗ウイルス仕様）	2 0%

2 . 交換のしかた

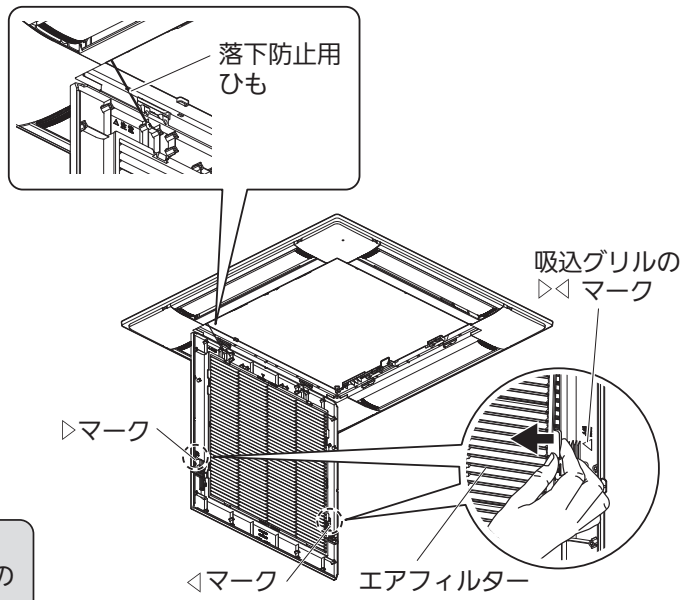
標準パネル／エコナビパネル

●取りはずしかた

① 吸込グリルのつまみを内側にスライドさせ、開く。



② 吸込グリルの▷、◁マークが示しているエアフィルターの側面を押しながら手前に引いてはずす。



●取りつけかた

取りはずしと逆の手順で取りつけてください。

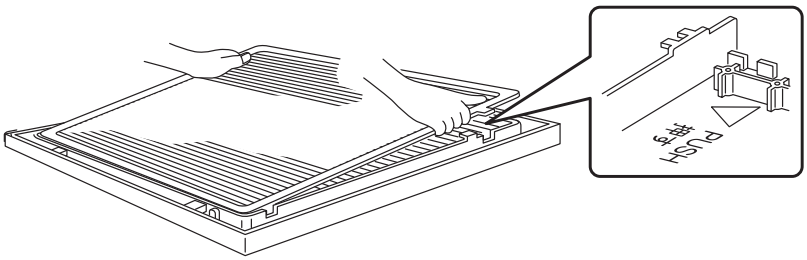
お願い
●お手入れ時には、吸込グリル（吸込パネル）の落下防止用ひもを取りはずさないでください。

昇降グリル付き標準パネル／昇降グリル付きエコナビパネル

●取りはずしかた

昇降グリルを下ろしエアフィルターを下図のように、取りはずします。

昇降グリルの▷、◁マークが示しているエアフィルターの側面を押しながら手前に引いてはずす。



●取りつけかた

取りはずしと逆の手順で取りつけてから、昇降グリルを上げます。

3. お手入れのしかた

・室内ユニットの取扱説明書をご覧いただき、リモコンにフィルターサインが表示されたときを目安にお手入れをしてください。
（ほこりや油汚れの多い環境では、表示に関係なく、こまめにお手入れをしてください。）
・お手入れは、ほこりを掃除機で吸い取るか、水洗いしてください。
水洗い後は、直射日光を避けて、よく乾燥させてください。
・破損や破れが生じたときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

●重量法 60%（CZ-160FGU7）

■仕様

名称		重量法60%フィルター(別売部品)									
品番		CZ-160FGU7									
適用パネル		CZ-160KP(E)U7									
適用室内ユニット		S-G**UU1									
		28形	36形	45形	56形	71形	80形	90形	112形	140形	160形
初期風量 ※1	m^3/min	17.0	17.0	17.0	18.0	21.0	22.0	34.0	34.0	35.0	35.0
フィルター寿命※2	時間	1,600									
平均効率		重量法　60%（JIS 15種）									
使用濾材		PPハニカム（防カビ仕様）									

注記

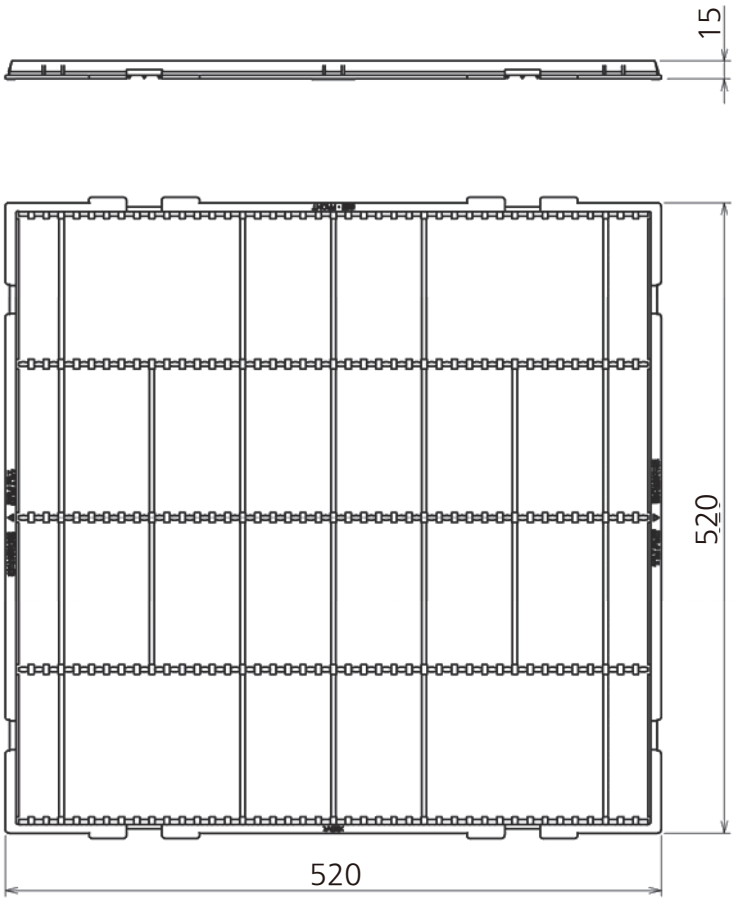
重量法60%フィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。これを防止するため、重量法60%フィルター付属の据付工事説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。（据付工事説明書参照）

※1 初期風量は急風時（ファンタップ変更後）の数値となります。

※2 フィルター寿命はフィルター清掃が必要なめやすの時間となります。
フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。

※3 重量法60%フィルター組み込みの場合は、ダクト接続や 2 方向・ 3方向吹き出しはできません。
天井高さは高天井設定 1 までの対応が可能です。
※フィルターが目詰まりすると到達距離が短くなる傾向になります。

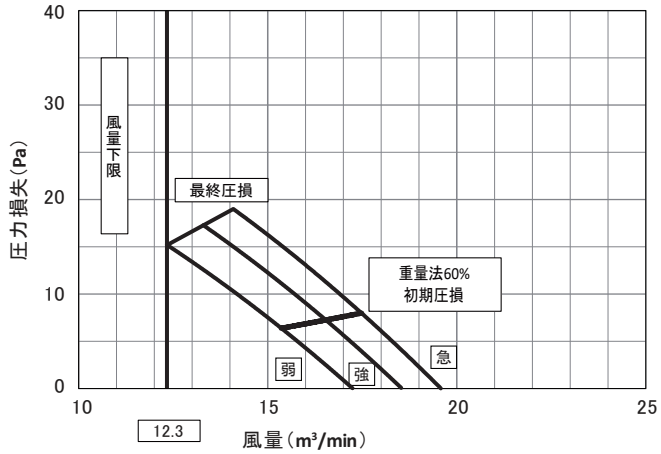
＜外形寸法図＞



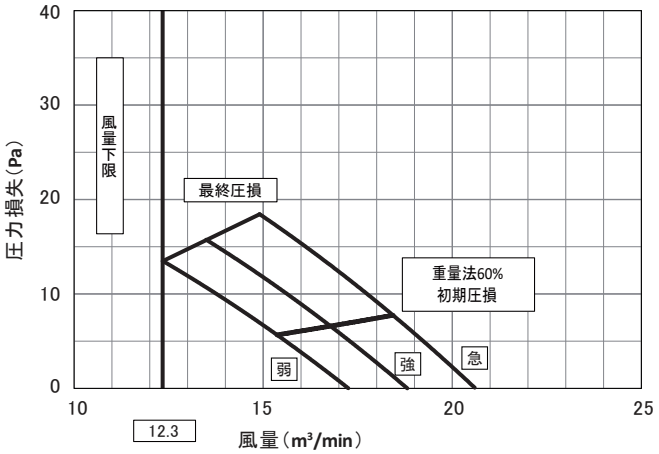
フィルター外形寸法	幅	mm	520
	奥行	mm	520
	厚み	mm	15

■風量－圧力損失特性（CZ-160FGU7）

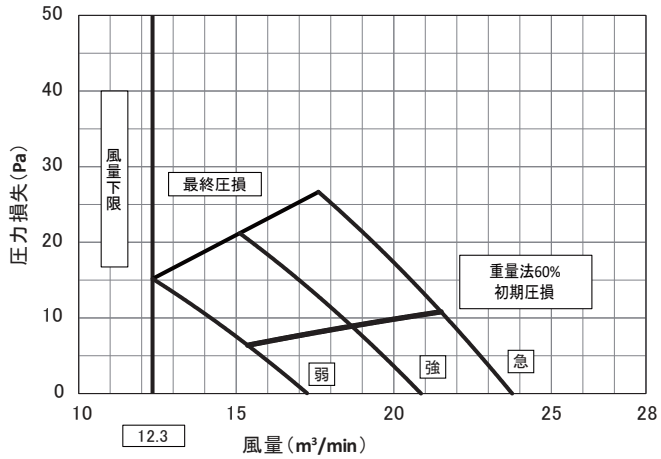
28・36・45形



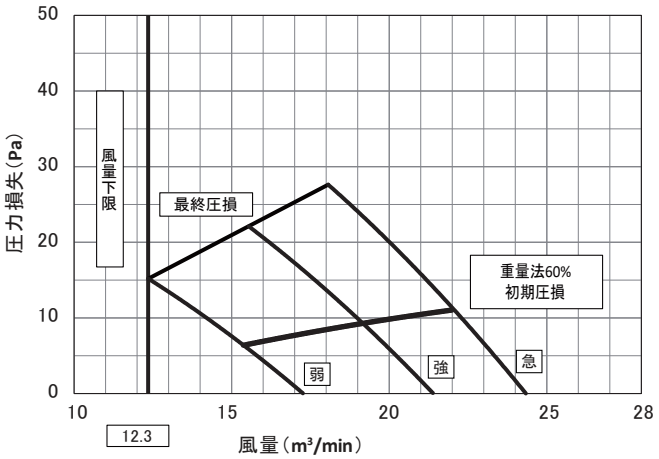
56形



71形

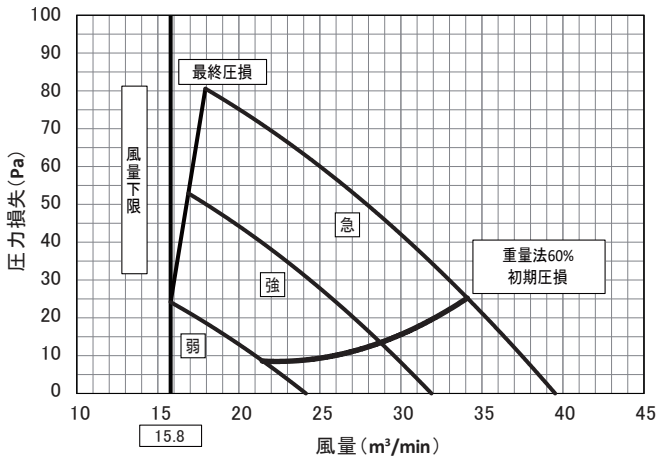


80形

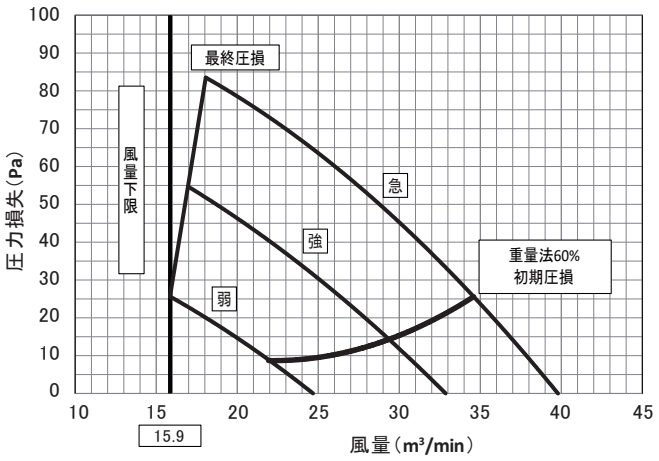


■風量－圧力損失特性（CZ-160FGU7）

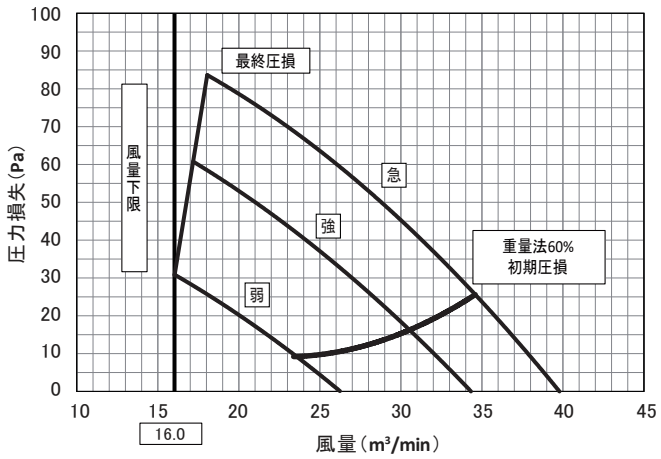
90・112形



140形



160形



Panasonic

据付工事説明書

重量法60%フィルター

品番　CZ-160FGU7

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容（禁止事項）です。	❗ ⏚ 実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗ ■ **据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う**
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ **付属品は当社指定の部品を使用する**
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

⃠ ■ **周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない**
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-51360
BE1122-0

1 . 仕様

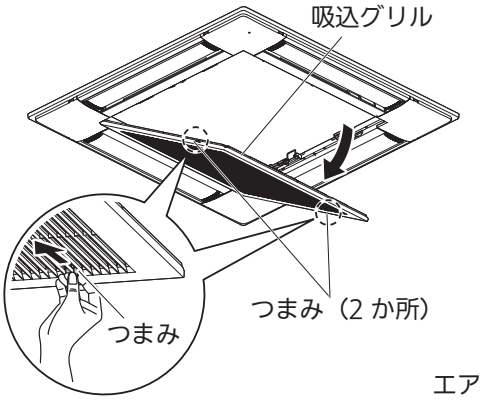
品　名（品　番）	ろ　　材	平均捕集効率 重量法（JIS 15種）
重量法 60% フィルター （ CZ-160FGU7 ）	PP ハニカム（防カビ仕様）	6 0%

2 . 交換のしかた

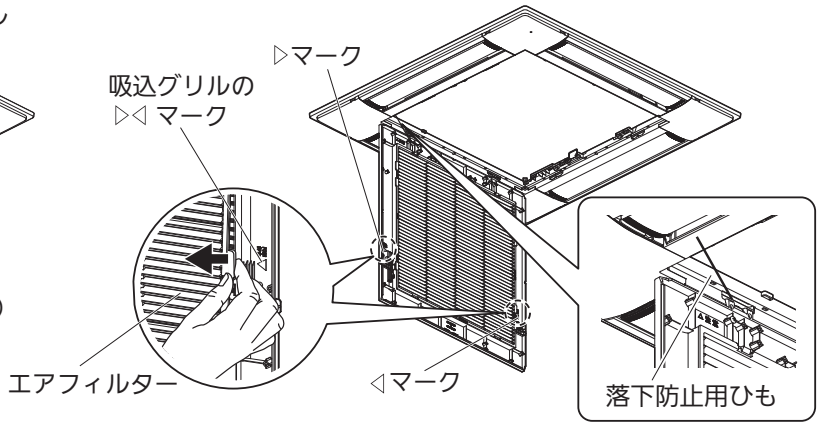
標準パネル／エコナビパネル

●取りはずしかた

① 吸込グリルのつまみを内側にスライドさせ、開く。



② 吸込グリルの▷、◁マークが示しているエアフィルターの側面を押しながら手前に引いてはずす。



●取りつけかた

取りはずしと逆の手順で取りつけてください。

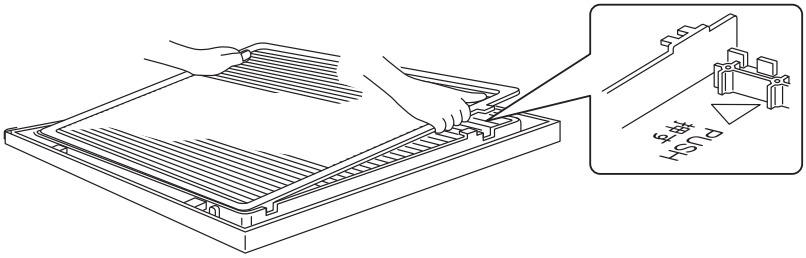
お願い
●お手入れ時には、吸込グリル（吸込パネル）の落下防止用ひもを取りはずさないでください。

昇降グリル付き標準パネル／昇降グリル付きエコナビパネル

●取りはずしかた

昇降グリルを下ろしエアフィルターを右図のように、取りはずします。

昇降グリルの▷、◁マークが示しているエアフィルターの側面を押しながら手前に引いてはずす。



●取りつけかた

取りはずしと逆の手順で取りつけてから、昇降グリルを上げます。

3. お手入れのしかた

・室内ユニットの取扱説明書をご覧いただき、リモコンにフィルターサインが表示されたときを目安にお手入れをしてください。
（ほこりや油汚れの多い環境では、表示に関係なく、こまめにお手入れをしてください。）
・お手入れは、ほこりを掃除機で吸い取るか、水洗いしてください。
水洗い後は、直射日光を避けて、よく乾燥させてください。
・破損や破れが生じたときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

4. DCファンモータータップの選択

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。(表 1)
変更を行わない場合、風量減少により冷房時吹出温度が低下、露付きの原因となります。
ファン回転数を設定する方法は、
【1】基板上のディップスイッチを切り替えて設定する方法
【2】ワイヤードリモコンで設定する方法
があります。どちらかの方法で設定してください。
※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表 1　DC ファンモータータップ設定表

設定 No.	項目コード 5D/5d の設定データ	使用用途／別売品名称　※1
＼	0000	標準（出荷設定）
		ロングライフフィルター
(1)	0001	高天井設定 1（標準、エコナビパネル時）
		オイルガードパネル　※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター　※2
		高性能フィルター（比色法 65%）
		重量法 60% フィルター
		昇降グリル付きオイルガードパネル　※2
		しゃ風材（3 方向吹出時）　※3
		しゃ風材（吹出ダクト接続時）　※3
(3)	0003	高天井設定 2（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（比色法 90%）
(6)	0006	しゃ風材（2 方向吹出時）　※3

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組合せ可能な別売品を確認し選定してください。

※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルターを組み合わせる場合は、設定No.（3）または設定データ0003を設定してください。

※3. しゃ風材とそれ以外の左表内の設定変更が必要な別売品を併用する場合、
　3方向吹出時　　設定No.（3）または設定データ0003
　吹出ダクト接続時　設定No.（3）または設定データ0003
　2方向吹出時　　設定No.（6）または設定データ0006
を設定してください。
なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

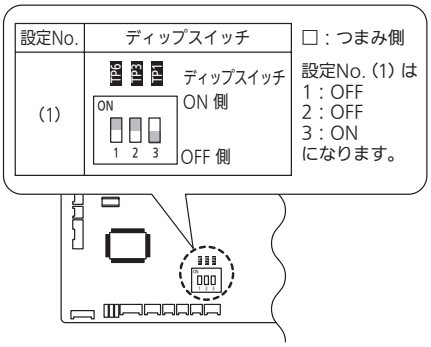
【1】基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

＜手順＞必ず（電源配線用しゃ断器（ブレーカー））を切ってください。

①ご使用の用途、別売品に応じた「設定 No.」を表 1 で確認してください。

②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。（図 1）

③表 1 で確認した設定 No に合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。



（図 1）室内コントロール基板

□つまみ側

設定 No.	ディップスイッチ	設定 No.	ディップスイッチ	設定 No.	ディップスイッチ
(1)	ディップスイッチ ON 側 OFF 側	(3)	ディップスイッチ ON 側 OFF 側	(6)	ディップスイッチ ON 側 OFF 側

4. DCファンモータータップの選択（つづき）

【2】-1　ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT4C）

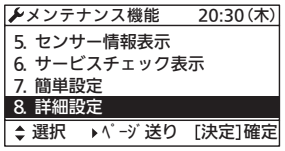
ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード 5D の設定データ」を表 1 で確認してください。

〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

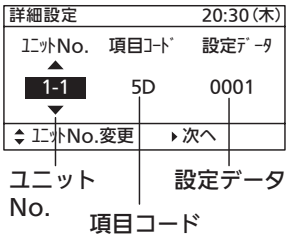
① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に 4 秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。

② ▲ / ▼ ボタンで選択、◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8. 詳細設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNo を選択してください。

③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表 1 で確認した値に変更し、
決定 ボタンを押してください。



④ ◄ / ► ボタンでユニットNo を選択後、戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面」が表示されます。
「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。



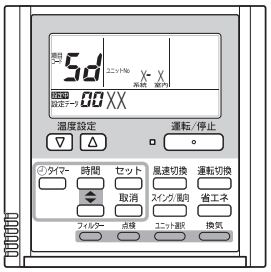
【2】-2　ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT3）

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード 5ｄの設定データ」を表 1 で確認してください。

〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

①点検＋セット＋取消ボタンを同時に 4 秒間以上押します。

②ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニット No を順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。



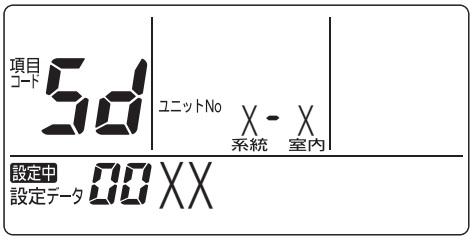
③ 温度設定▼／▲ボタンで項目コード「5 ｄ」を指定します。

④ 時間▼／▲ボタンで設定データを変更します。
設定データの内容は表 1 のようになっています。

⑤セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変われば OK）

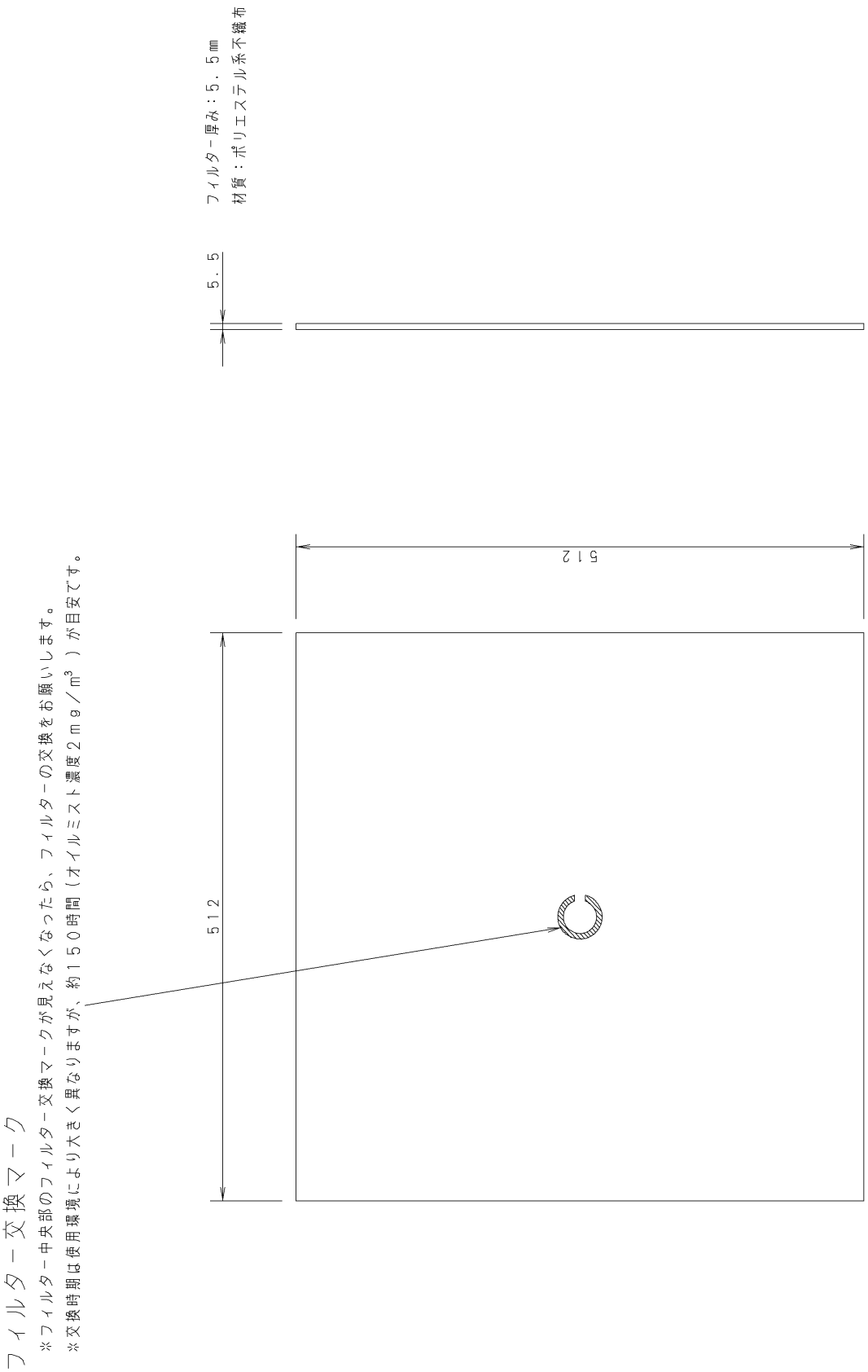
⑥点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ

⑦点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。



●オイルミストフィルター（CZ-160FBU5）

■外形寸法図



Panasonic

据付工事説明書

オイルミストフィルター

品番　CZ-160FBU5

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠　してはいけない内容（禁止事項）です。	❗⏚　実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

⃠ ■ フィルターが入っているポリ袋を幼児の手が届くところに置かない
（頭からかぶるなどしたとき口や鼻をふさぎ、窒息の原因）

❗ ■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

⃠ ■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

❗ ■ 吸込グリルはパネル本体に確実に取り付ける
（取り付けが不完全な場合、吸込グリルの落下によるケガの原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
- ご使用になるまで開封しないでください。
  開封後は、袋の口を閉じて、ほこりが入らないように保管してください。
- 別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-21823
85464369944000
PA0716 - 30823

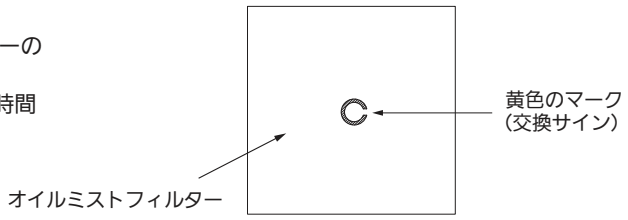
1 . 仕様

入　　数	10枚入り
フィルター交換の目安	150時間（オイルミスト濃度：2.0mg／m³）

※ オイルミストフィルターは室内ユニットの保護を目的とするもので、店内に発生する油煙を捕集するものではありません。

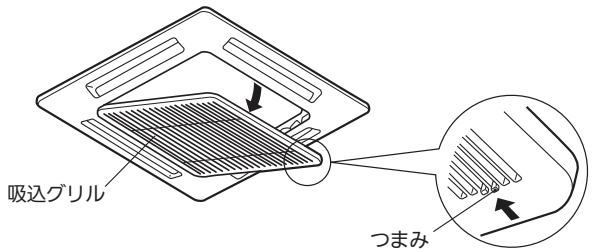
2 . 交換サインについて

オイルミストフィルターの中央部に黄色のマークがあります。
（汚れではありません）
このマークが目立たなくなりましたら、オイルミストフィルターの
交換をお願いします。
交換時期は使用環境により大きく異なりますが、およそ150時間
（オイルミスト濃度：2.0mg／m³）が目安です。

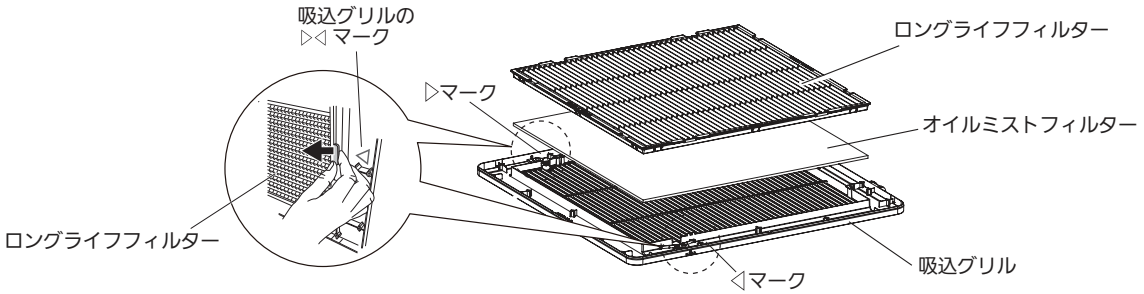


3. 交換のしかた

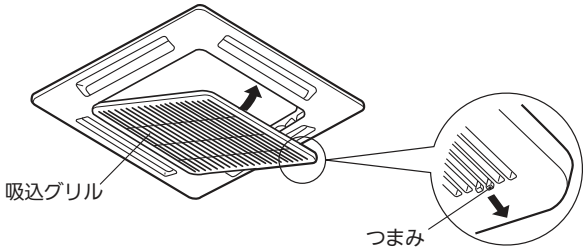
① 吸込グリルのつまみを内側にスライドさせ、吸込グリルを持って静かに開きます。



② 吸込グリルに印字されている◁ マーク部のロングライフフィルター側面を押して手前に引くと、フィルターが
はずれます。吸込グリルの上にオイルミストフィルターを置き、ロングライフフィルターを取り付けます。



③ 吸込グリルを閉じ、つまみを外側にスライドさせて、確実に固定してください。

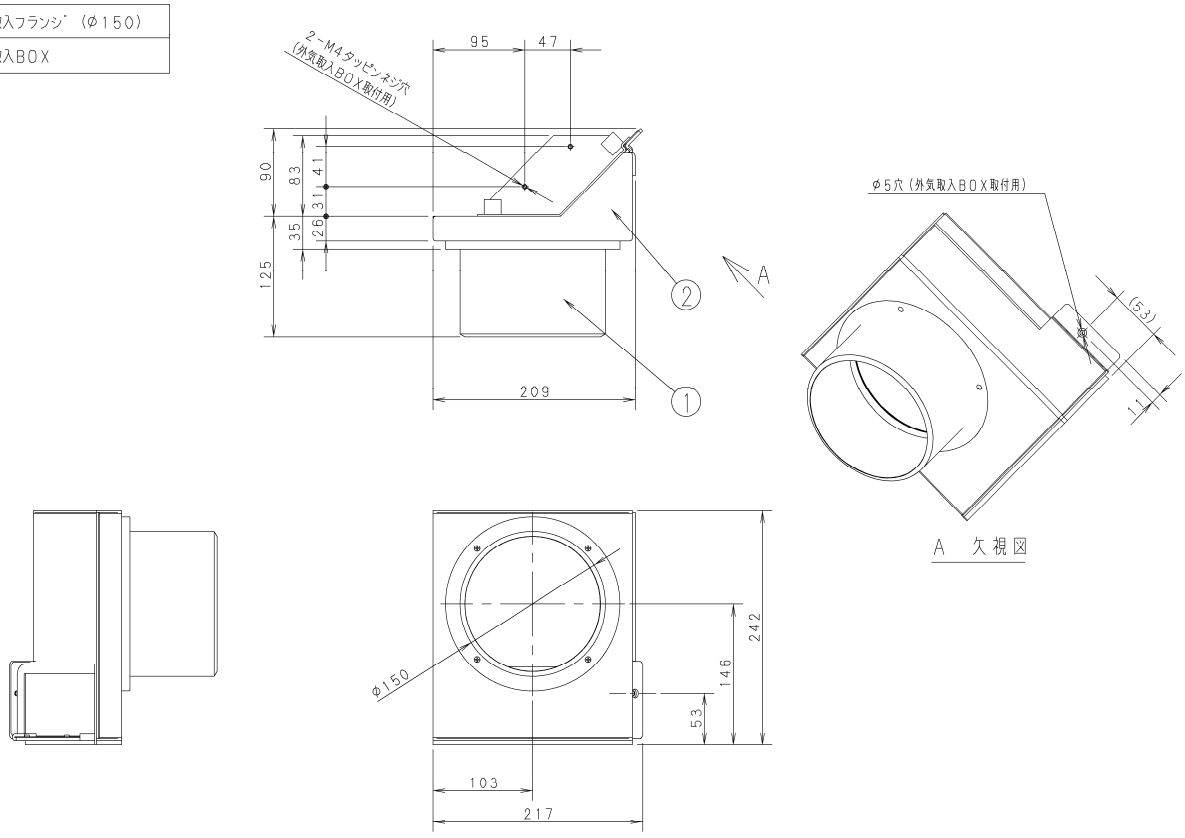


別売の昇降グリル付天井パネルが取り付けてある場合の吸込グリルの昇降操作（下降・停止・上昇）については、昇降グリル付天井パネルに同梱されている取扱説明書を参照してください。

●外気取入れキット（1 口用）（チャンバー用）〈CZ-160GSCU7〉

■外形寸法図

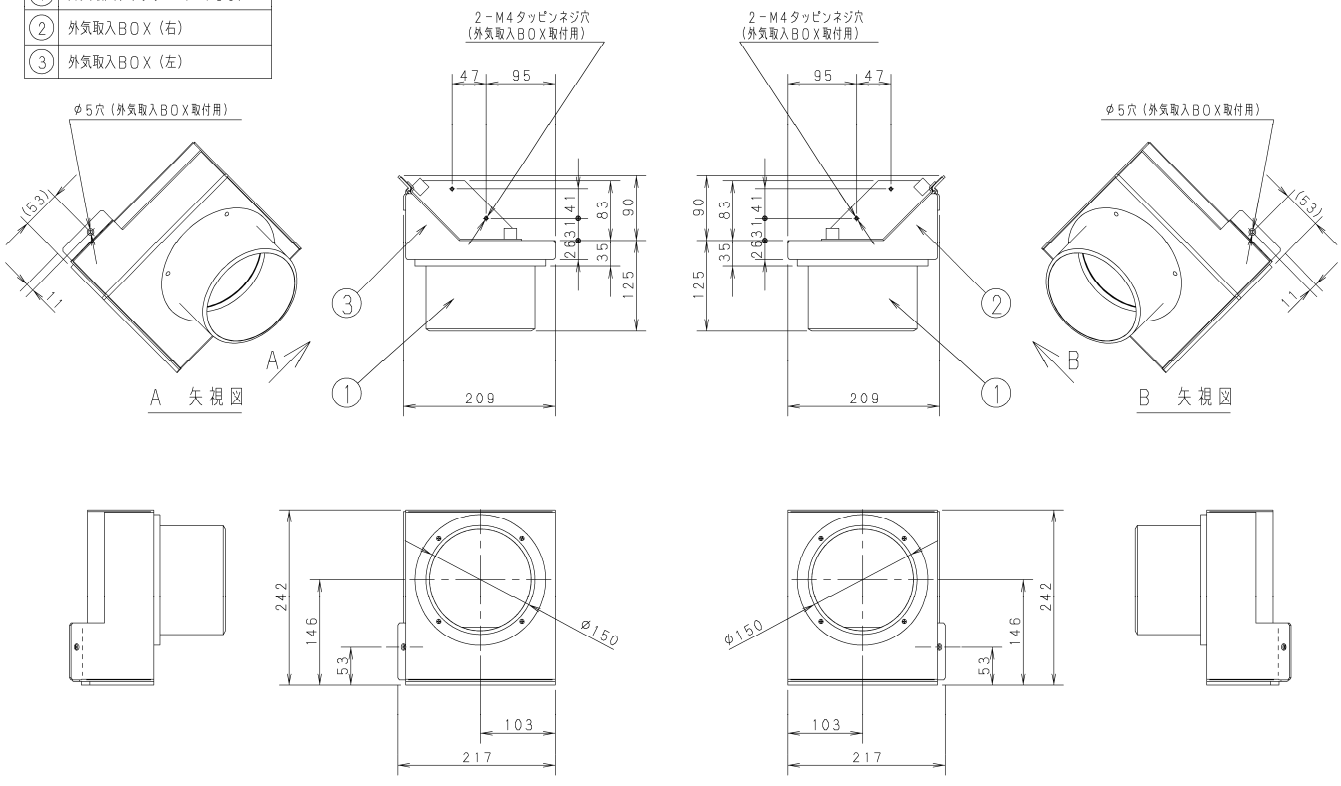
①	外気取入フランジ゛（φ150）
②	外気取入BOX



●外気取入れキット（2 口用）（チャンバー用）〈CZ-160GSCDU7〉

■外形寸法図

①	外気取入フランジ゛（φ150）
②	外気取入BOX（右）
③	外気取入BOX（左）



Panasonic

据付工事説明書

外気取入れキット（1口用）
外気取入れキット（2口用）

品番　CZ-160GSCU7
　　CZ-160GSCDU7

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●外気取入れキットの取り付けには、フィルターチャンバー（別売品）が必要です。
●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」、フィルターチャンバーに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

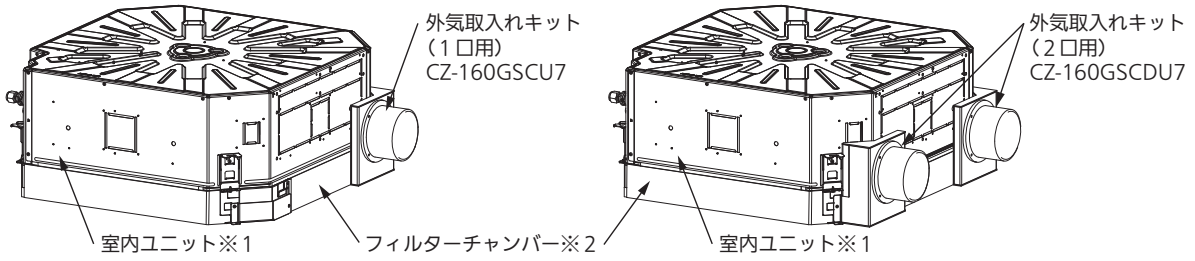
■ **据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う**
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ **付属品は当社指定の部品を使用する**
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書等と一緒に保管してください。
・取込風量の上限値については、設備設計資料をご確認ください。



※1. 室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。
※2. 外気取入れキットの取り付けには、フィルターチャンバー（別売品）が必要です。
フィルターチャンバーの室内ユニットへの取り付けと、天井パネルの取り付けはフィルターチャンバーに同梱されている「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

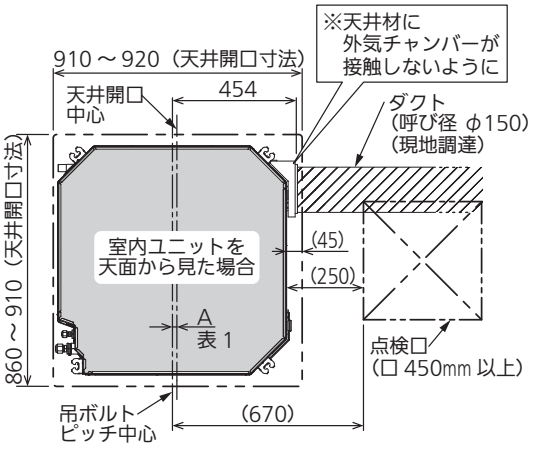
名称		外気チャンバー(右)	外気チャンバー(左)	取付ネジ(4×10)	据付工事説明書
形状		フランジ部 φ150	フランジ部 φ150		
外気取入れキット(1 口用)	個数	1	ー	3	1
外気取入れキット(2 口用)	個数	1	1	6	1

2. 据付場所と点検口の設置

据付場所は図を参照してください。

- 外気チャンバー側面の天井開口寸法は、910 ～ 920mm とし、図に従って室内ユニットを設置してください。天井開口中心と吊ボルトピッチ中心の位置（寸法A）については、表1を参照してください。
- 点検口（口 450 mm 以上）を設置してください。サービス・メンテナンス等の作業時に必要になります。作業スペースを確保するために、点検口を塞がないようにフレキシブルダクトやダクトを設置してください。
- 外気取入れキット（2 口用）で使用するフレキシブルダクトは、2本同一の長さのものをご使用ください。(呼び径φ150、推奨長さ 1,000mm) 別売品のフレキシブルダクト（CZ-F1510）をご使用できます。
  (呼び径φ150、長さ 1,000mm)
- 外気取入れキット（2 口用）で使用する分岐管は、別売品の分岐 Y 管 (FY-YHH661）をご使用できます。
  また、ご使用する場合は「(2)−1　別売品の分岐管（分岐 Y 管 FY-YHH661）を使用する場合」に従って設置することで、点検口の作業スペースを確保することができます。
- フレキシブルダクト、分岐管、ダクトは、外気チャンバーに荷重がかからないように吊ボルト、吊バンド等（現地調達）で吊り固定を行ってください。(「5. フレキシブルダクト、ダクトの接続」参照)
  荷重がかかると破損、結露の原因となります。

（1）外気取入れキット（1 口用）の場合



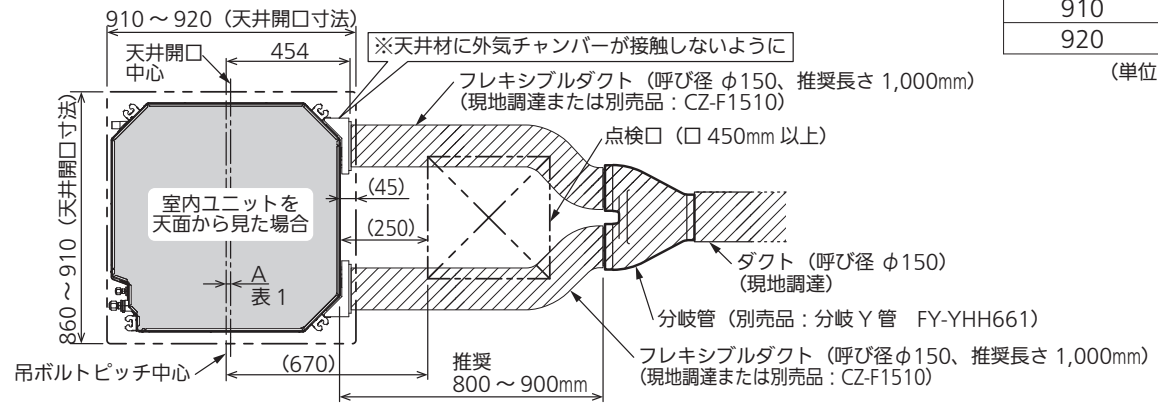
（2）外気取入れキット（2 口用）の場合

表 1

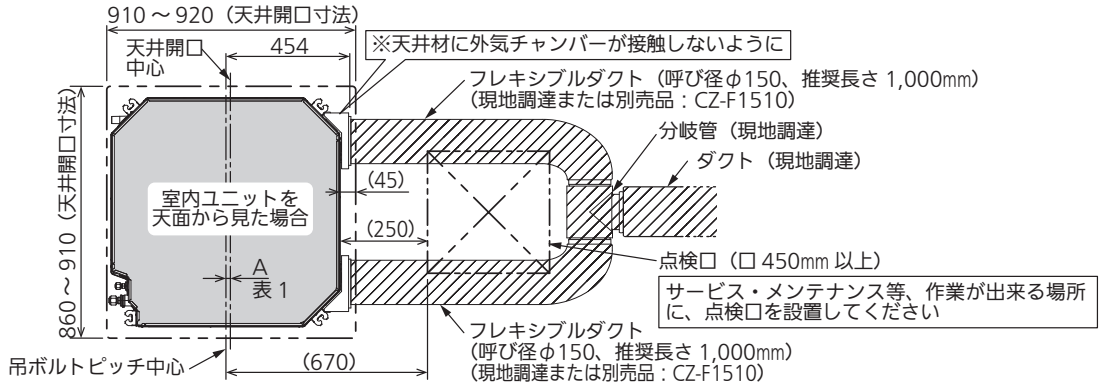
天井開口寸法	A
910	10
920	5

(単位：mm)

（2）−1　別売品の分岐管（分岐 Y 管 FY-YHH661）を使用する場合



（2）−2　現地調達の分岐管を使用する場合



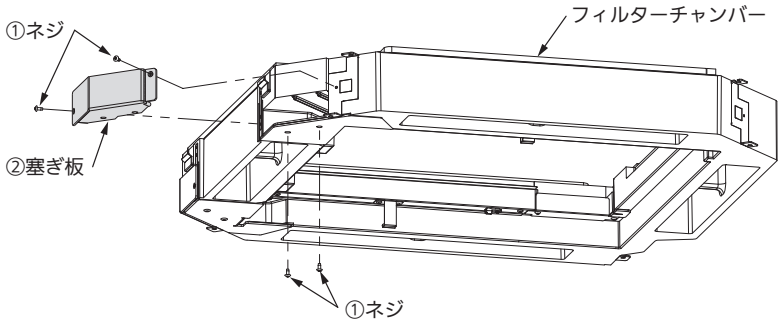
3. フィルターチャンバー塞ぎ板の取りはずし

① 塞ぎ板を固定しているネジ４本をはずします。
② 塞ぎ板をはずします。
③ フィルターチャンバーを室内ユニットへ取り付けます。

※フィルターチャンバーの室内ユニットへの取り付けはフィルターチャンバーに同梱されている「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。

＊ 取りはずし時のご注意 ＊

・図１は外気取入れキット（１口用）の場合です。
　外気取入れキット（２口用）は、２か所を同様にはずしてください。
・フィルターチャンバーの側面に衝撃を与えると破損することがありますので、取りはずし時は十分注意してください。



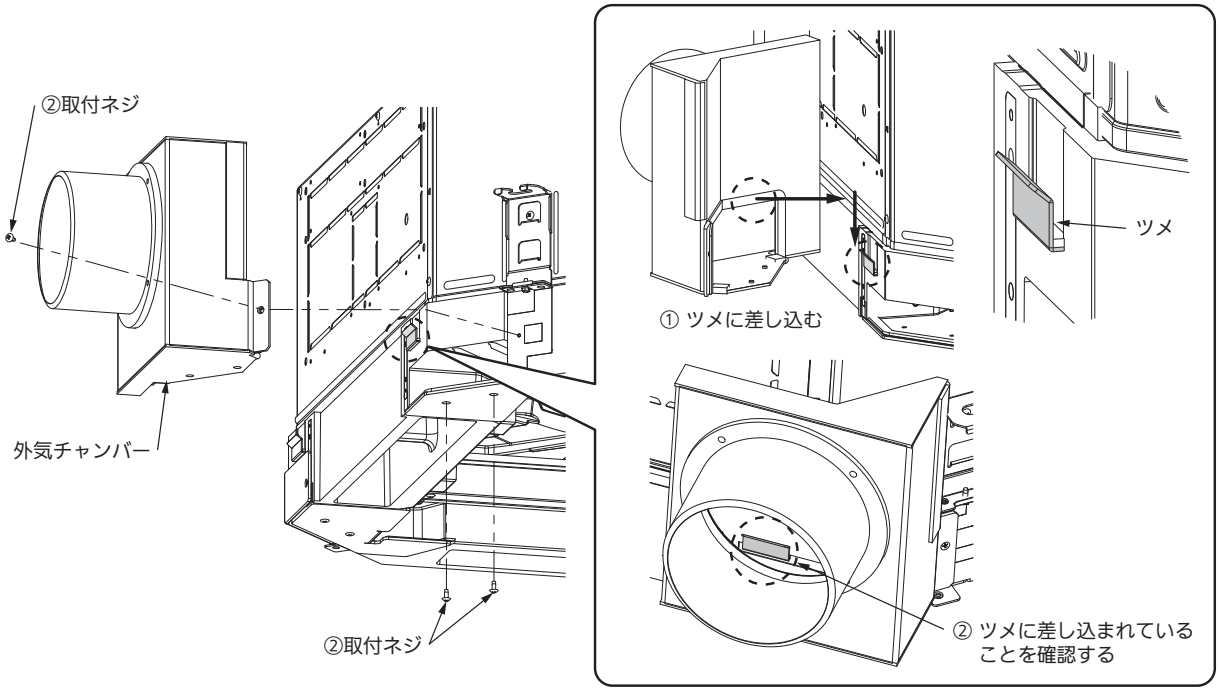
（図１）

4. 外気チャンバーの取り付け

①外気チャンバーをフィルターチャンバーのツメに差し込みながらはめ込みます。
②外気チャンバーがツメに差し込まれていることを目視で確認し、付属の取付ネジ３本で固定します。

＊ 取り付け時のご注意 ＊

・図２は外気取入れキット（１口用）の場合です。外気取入れキット（２口用）の場合は２か所を同様に取り付けてください。
・外気チャンバーの取り付けは、室内ユニットおよびフィルターチャンバーの据え付け後に行ってください。
・フィルターチャンバーの側面に衝撃を与えると破損することがありますので、取り付け時は十分注意してください。



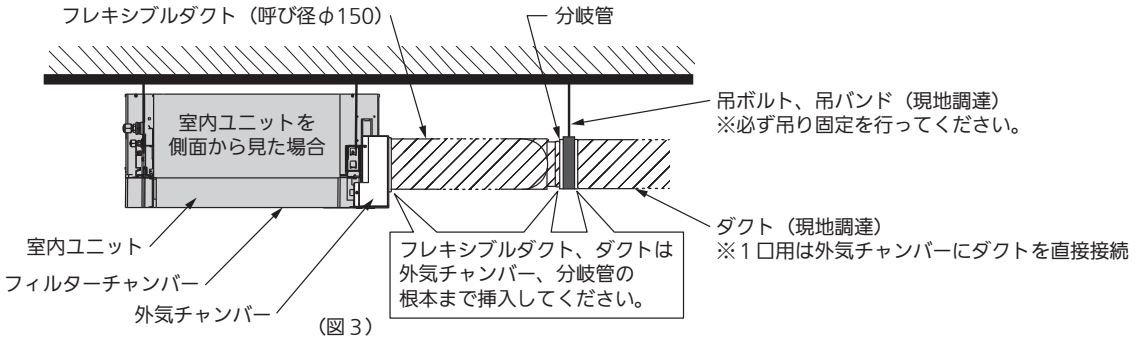
（図２）

5. フレキシブルダクト、ダクトの接続

外気チャンバー、フレキシブルダクト（現地調達または別売品：CZ-F1510）、分岐管（現地調達または別売品：分岐 Y 管 FY-YHH661）、ダクト（現地調達）を接続してください。（図 3）
・フレキシブルダクト、分岐管、ダクトは結露防止のため断熱仕様のものを使用、または断熱処理を必ず行ってください。
・フレキシブルダクト、分岐管、ダクトの接続部は板バンド（現地調達 ※3）、粘着テープ（現地調達 ※3）等で空気が漏れないようにしてください。
・フレキシブルダクト、分岐管、ダクトの接続部は結露防止のため断熱処理 ※3 を必ず行ってください。
・外気チャンバーに荷重がかからないように吊ボルト、吊バンド（現地調達）等で吊り固定を行ってください。※4
荷重がかかると破損・結露の原因となります。

※3.別売品のフレキシブルダクト（CZ-F1510）には、フレキシブルダクト（CZ-F1510）接続用の板バンド、粘着テープ、断熱材が付属されております。取り付けについては CZ-F1510 に同梱されている「取付説明書」を参考にして取り付けてください。
※4.別売品の分岐 Y 管（FY-YHH661）の吊り固定については、FY-YHH661 に同梱されている「工事説明書」を参考にして取り付けてください。

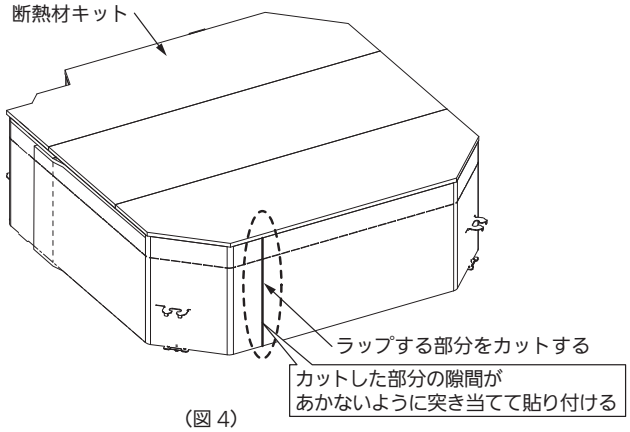
＊ご注意＊
・不燃性のダクトを使用しなければいけない場合があります。（建築基準法および地域消防条令等 参照）
・ダクトが耐火構造等の防火区画を貫通する場合は、ダンパを設けるか、防火上支障がない構造にしてください。
（建築基準法および建設省告示 参照）
・金属製のダクトを使用して木造の壁を貫通する場合は、ダクトと壁とは電気的に絶縁してください。（電気設備技術基準 参照）



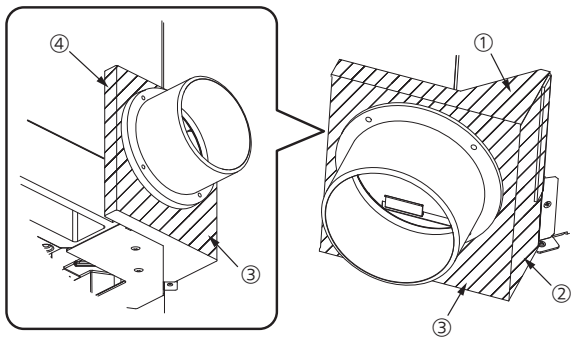
（図 3）

6. 高温・高湿度の環境で使用する場合

＊ご注意＊
天井内の温湿度が、30℃ または RH80% を超えると思われる場合は、断熱材キット（別売品）をご使用ください。
（断熱しないと結露することがあります）
・断熱材キットの外気チャンバーを取り付ける面は、断熱材キットの側面が重ならないようにラップする部分をカットし、隙間があかないように付き当てて貼り付けてください。（図 4）
・外気チャンバーの図 5 ①、②、③、④の面に追加で断熱処理（推奨 t 5 ～ t 10 ㎜）を行ってください。
2 口用の場合は 2 口とも同様に図 5 の作業を行ってください。
・必要に応じてフレキシブルダクト（現地調達）、分岐管（現地調達）、ダクト（現地調達）も追加で断熱を行ってください。



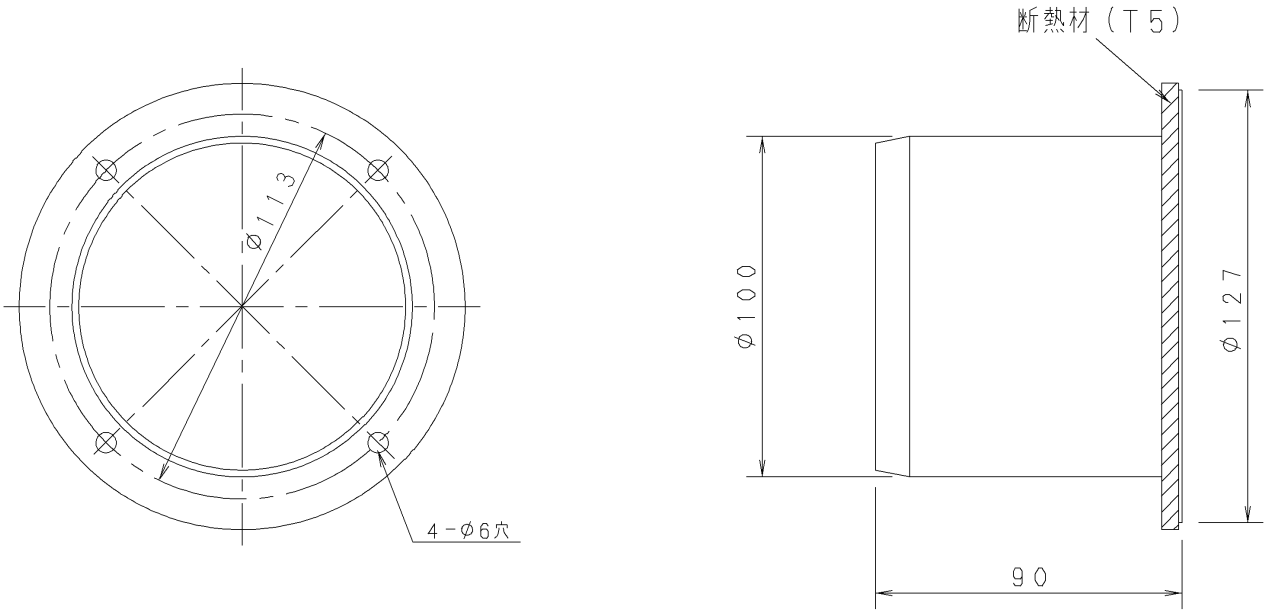
（図 4）



（図 5）

●外気取入丸合フランジφ 100（CZ-DA100）

■外形寸法図



Panasonic

据付工事説明書

丸合フランジ（φ100）

品番　CZ-DA100

適用室内ユニット　４方向天井カセット形（Uシリーズ）＊

（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意

・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-31574
PA0518 - 40823

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

名　　称	個数	名　　称	個数	据付工事説明書	個数
丸合フランジ（φ100）	1	取付ネジ（M4×12）	4		1

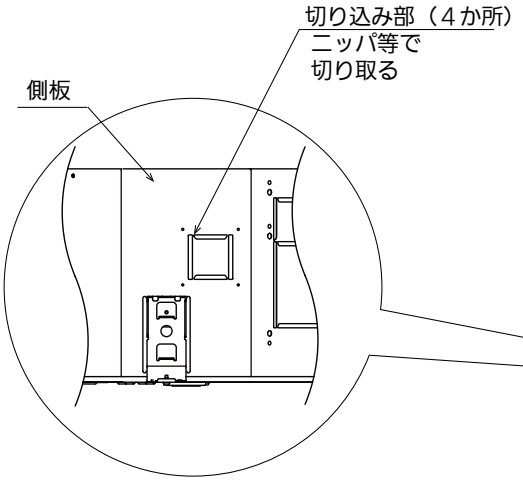
2. 取り付けかた

●４方向天井カセット形の場合

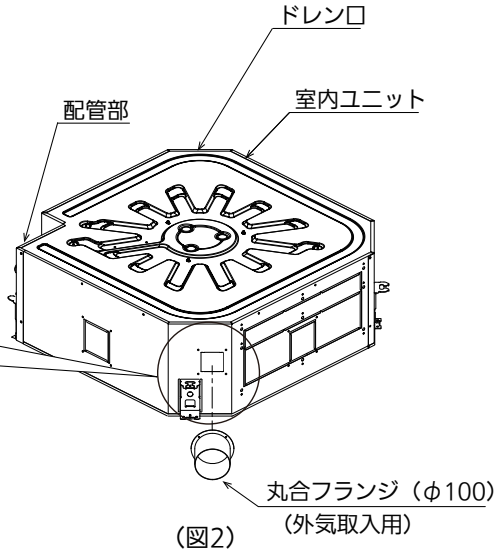
（1）室内ユニット側板の切り込み部を、ニッパ等で切断してください。（図１）

（2）丸合フランジを付属の取付ネジ４本で取り付けてください。（図２）

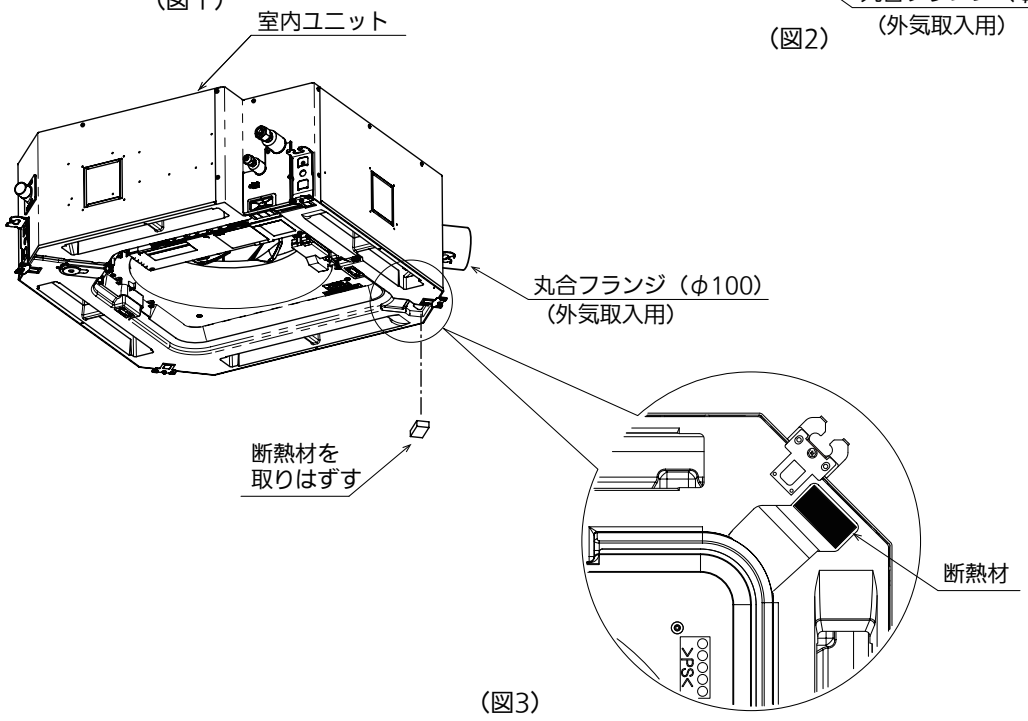
（3）断熱材を取りはずしてください。（図3）



（図１）



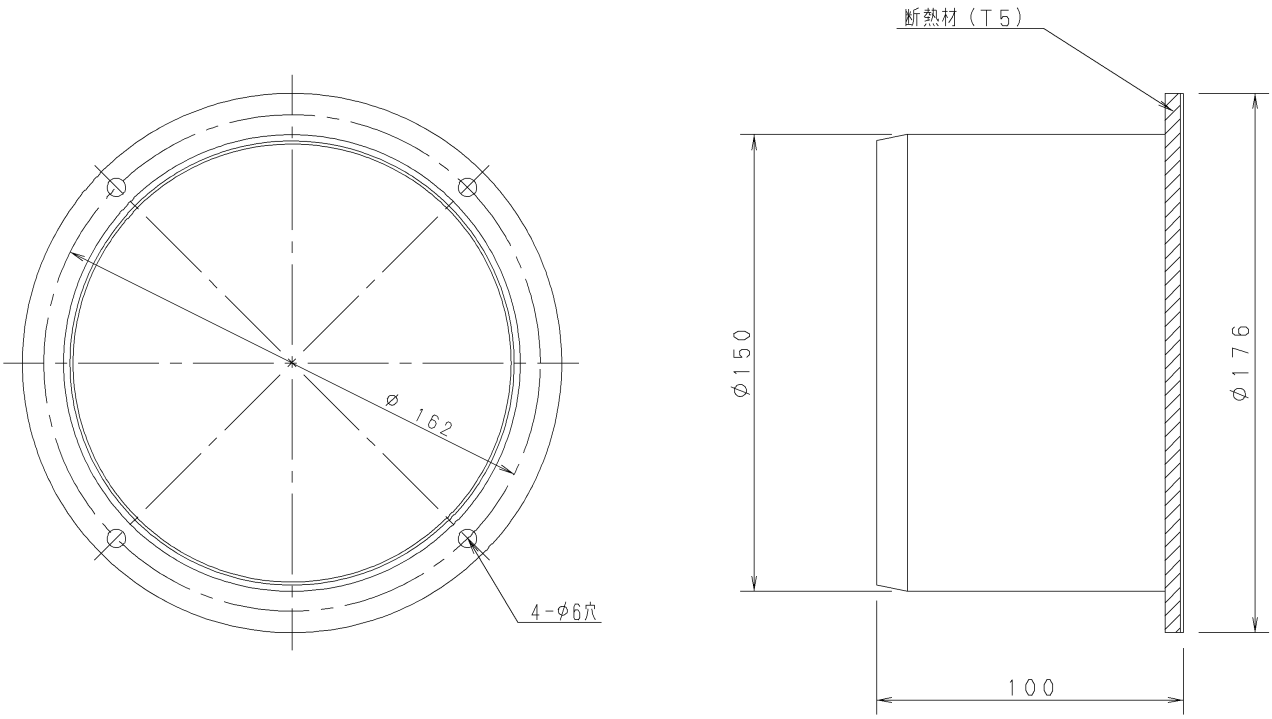
（図2）



（図3）

●吹出口丸合フランジφ 150（CZ-DA150A）

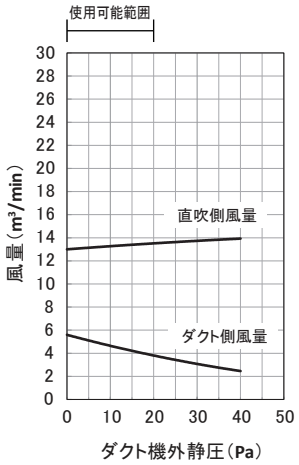
■外形寸法図



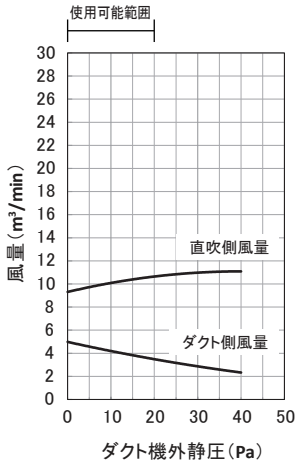
■送風機特性図

28, 36, 45形

3方向吹出し

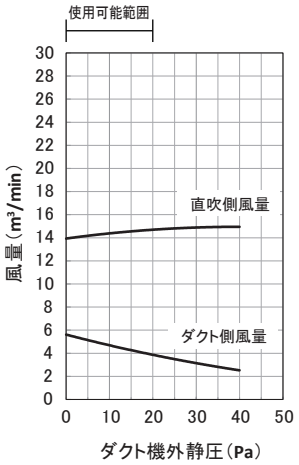


2方向吹出し

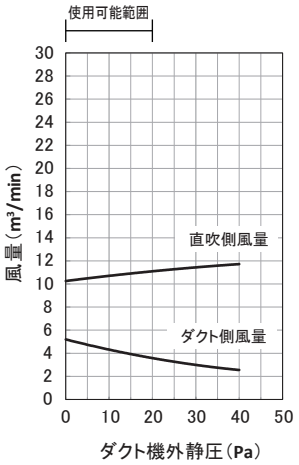


56形

3方向吹出し

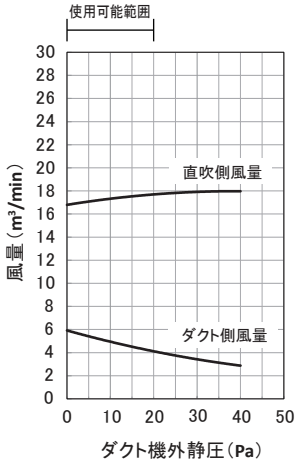


2方向吹出し

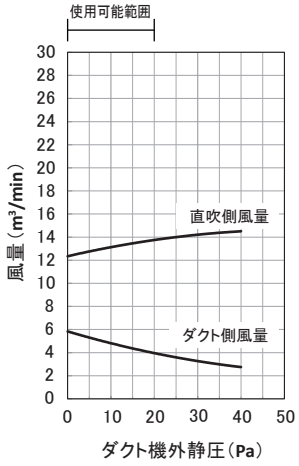


71形

3方向吹出し

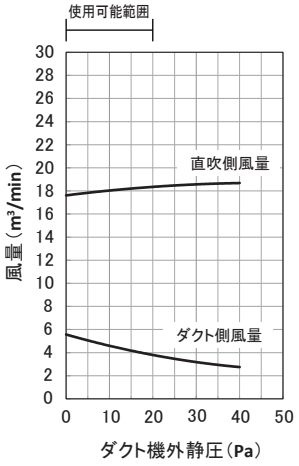


2方向吹出し

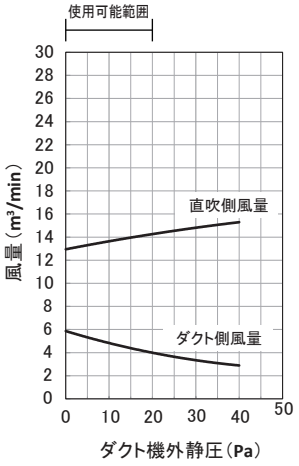


80形

3方向吹出し



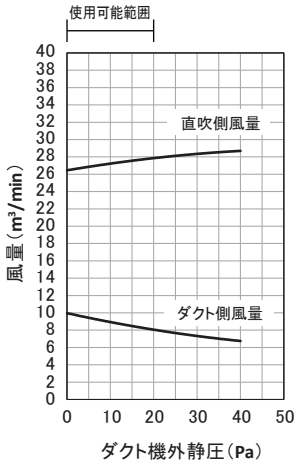
2方向吹出し



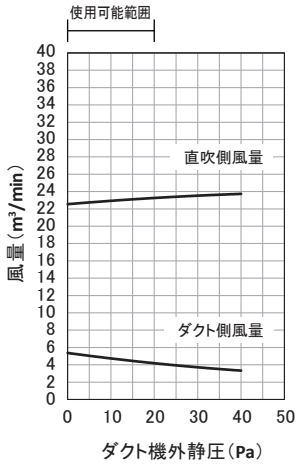
■送風機特性図

90形

3方向吹出し

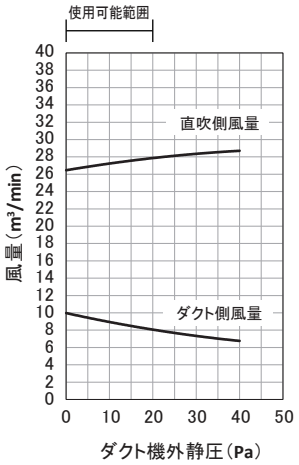


2方向吹出し

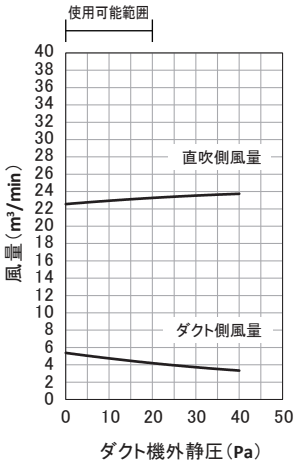


112形

3方向吹出し

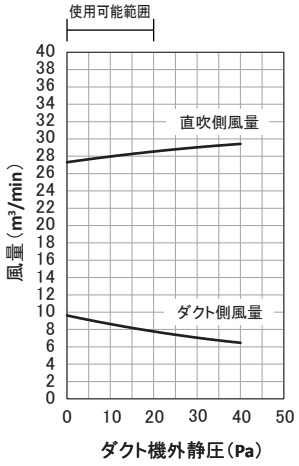


2方向吹出し

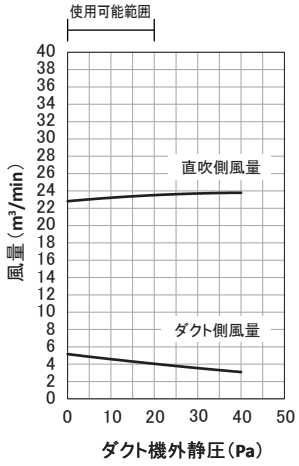


140, 160形

3方向吹出し



2方向吹出し



据付工事説明書

丸合フランジ（φ150）

品番　CZ-DA150A

適用室内ユニット　4 方向天井カセット形（Uシリーズ）
＊　（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

❗ ■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠注意

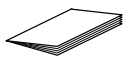
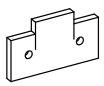
⃠ ■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

品名	丸合フランジ	取付ネジ	据付工事説明書	シール用断熱材 A	シール用断熱材 B
個数	1	4	1	2	2
形状	φ150	M4×12	 本説明書 お客さまに必ず渡してください		

ACXF60-31564
BE0518 - 40823

2. 取り付けかた

●取り付け前の準備

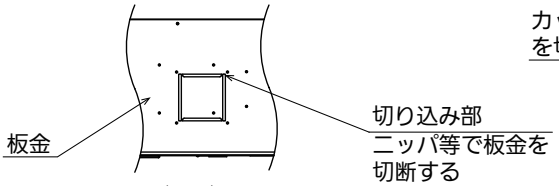
丸合フランジの使用には、別売品のフレキシブルダクト（丸）が必要ですので用意してください。
取り付け可能なフレキシブルダクト長については、別途、設備設計資料をご確認ください。
フレキシブルダクトの取り付けかたについては、フレキシブルダクトに同梱されている取付説明書を参照してください。

丸合フランジ	フレキシブルダクト（丸）
CZ-DA150A	CZ-F1510　φ150　1m CZ-F1520　φ150　2m

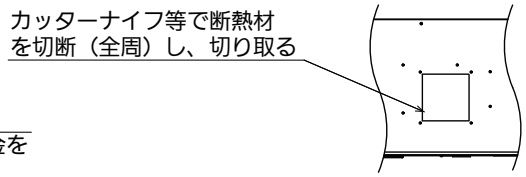
使いかたにより、別売品のしゃ風材が必要になりますので組み合わせをご確認の上、用意してください。
※使いかたは、各しゃ風材に同梱されている据付工事説明書を参照してください。

●取り付けかた（共通）

（1）室内ユニット側板の切り込み部を、ニッパ等で切り取ってください。(図1)
（2）室内ユニット断熱材（スチロールまたはポリエチレン）をカッターナイフ等で切断し、切り取ってください。（図2）
注意　断熱材の切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。
断熱材を切断するとき、カッターナイフ等の刃は30㎜以上差し込まないよう注意してください。
(内部のドレンパンおよび熱交換器を傷つけると、水漏れの原因になります。)



（図1）

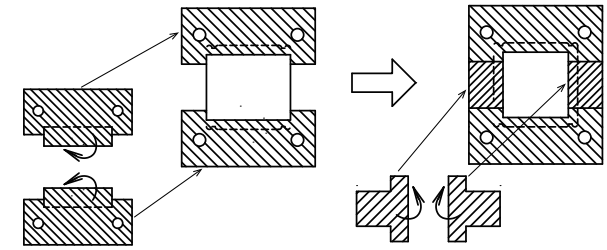


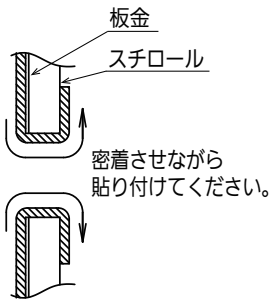
（図2）

（3）断熱材がスチロールの機種については必ず下記の 断熱材貼り付け手順 に従い、シール用断熱材A・Bを貼り付けてください。ただし、クリーンエアコンの場合は本手順は不要です。
スチロールと板金の間に隙間があると結露等の問題が発生します。（図3）

断熱材貼り付け手順

付属のシール用断熱材Aをネジ穴に合わせて貼り付けた後、
シール用断熱材Bを貼り付けてください。

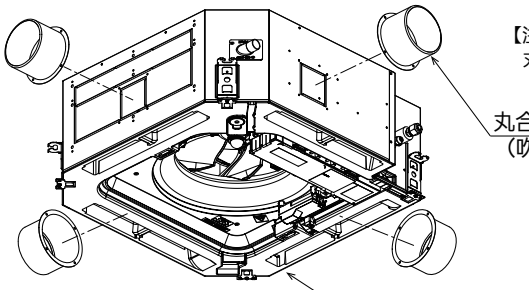




（図3）

●取り付けかた（4方向天井カセット形の場合）

丸合フランジの使用には、別売品のしゃ風材が必要になります。
室内ユニット断熱材はスチロールです。上記の 断熱材貼り付け手順 に従い、シール用断熱材A・Bを貼り付けてください。
丸合フランジを付属の取付ネジ4本で取り付けてください。（図4）

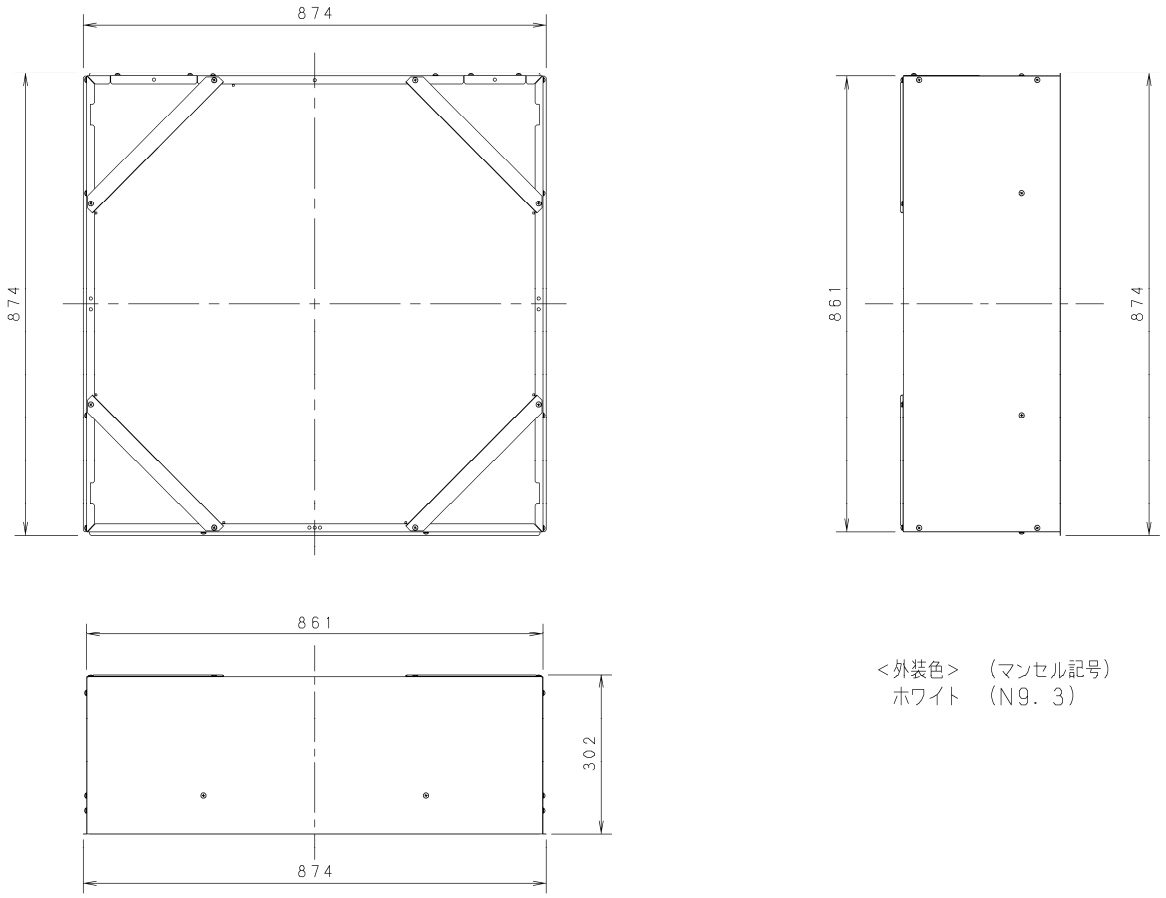


【注意】
丸合フランジの取り付けは、一面のみ可能です。

（図4）

●スケルトン天井用側面カバー（CZ-160SKU7）

■外形寸法図



＜外装色＞　（マンセル記号）
ホワイト　（N9．3）

Panasonic

据付工事説明書

スケルトン天井用側面カバー

品番　CZ-160SKU7

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠　してはいけない内容（禁止事項）です。	❗⏚　実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗ ■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

⃠ ■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
- スケルトン天井用側面カバーは２８～１６０形まで共通で使用できます。
- スケルトン天井用側面カバーは、室内ユニットの冷媒配管・ドレン配管終了後に、室内ユニットに取り付けてください。
- 別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-46131
BE1221-10823

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

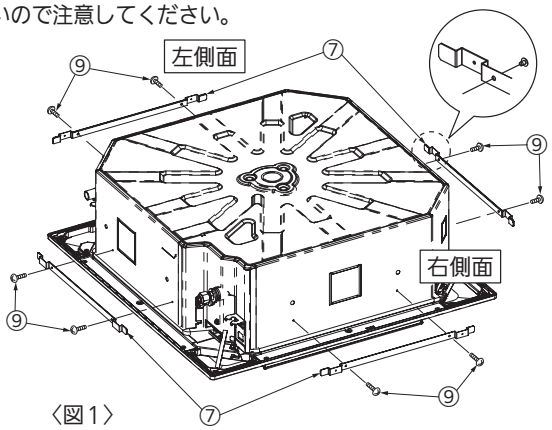
部品番号	名　称	個数	部品番号	名　称	個数	部品番号	名　称	個数
①	化粧パネル 1（配管側）	1	④	配管部カバー	1	⑧	化粧ネジ（2 本予備）	30
②	化粧パネル 2（左右側面）	2	⑤	ドレン部カバー	1	⑨	取付ネジ（2 本予備）	10
③	化粧パネル 3 （配管側反対面）	1	⑥	補強金具	4	⑩	据付工事説明書	1
			⑦	固定金具	4			

2. 取り付けかた

＊取り付け時のご注意＊

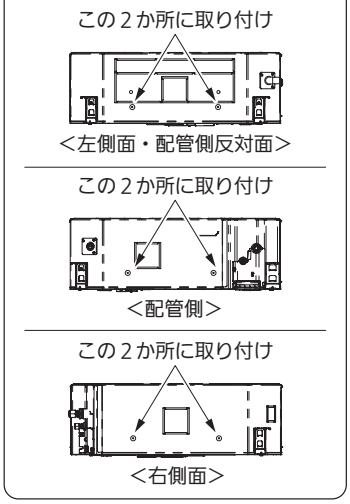
- ⑦固定金具は、曲げ形状の内側の穴を使用して取り付けてください。〈図 1 －拡大図参照〉
- 化粧パネル天面（A部）に部品番号と等しい数の穴（1 ～ 3 個）が開いているので、穴の数で部品を見分けてください。〈図 3 －A部拡大図参照〉
- 化粧パネルは、①→③→②（右側面）→②（左側面）の順番で取り付けてください。
- 取り付け面と取り付け順序を間違えると、化粧パネルが取り付けられないので注意してください。

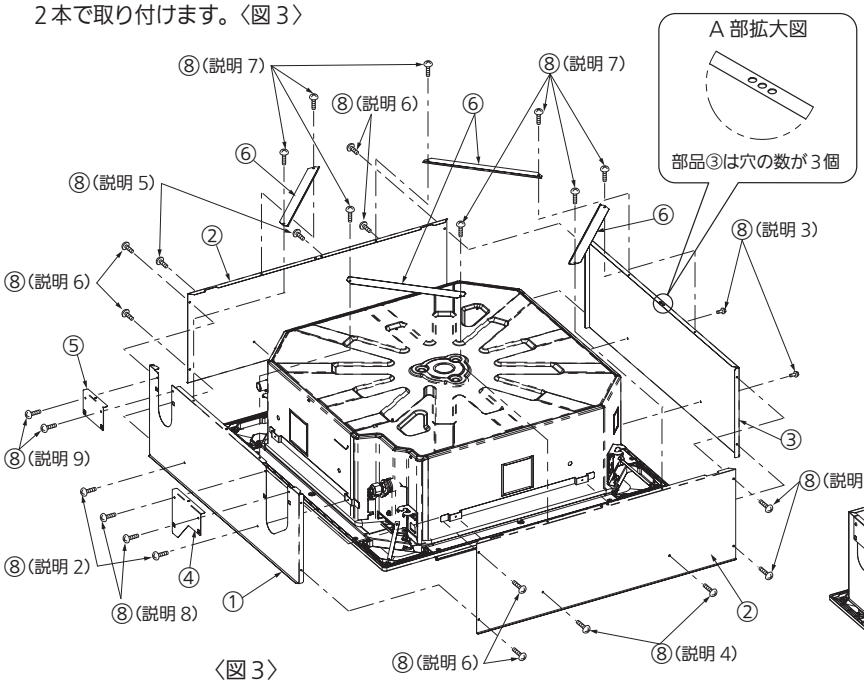
1. ⑦固定金具 4 個を、それぞれ⑨取付ネジ 2 本で、側面 4 か所に取り付けます。〈図 1〉〈図 2〉
2. ①化粧パネル 1 を、⑧化粧ネジ 2 本で、⑦固定金具の 2 か所の穴に取り付けます。〈図 3〉
3. ①化粧パネル 1 の反対面に、③化粧パネル 3 を、⑧化粧ネジ 2 本で⑦固定金具の 2 か所の穴に取り付けます。〈図 3〉
4. ①化粧パネル 1 の右側面に、②化粧パネル 2 を、⑧化粧ネジ 2 本で⑦固定金具の 2 か所の穴に取り付けます。〈図 3〉
5. ①化粧パネル 1 の左側面に、②化粧パネル 2 を、⑧化粧ネジ 2 本で⑦固定金具の 2 か所の穴に取り付けます。〈図 3〉
6. ②化粧パネル 2 の両端をそれぞれ、⑧化粧ネジ 2 本ずつで、①化粧パネル 1 と③化粧パネルの 2 か所の穴に取り付けます。〈図 3〉
7. ⑥補強金具を、それぞれ⑧化粧ネジ 2 本で 4 か所に取り付けます。〈図 3〉
8. ④配管部カバーの爪を①化粧パネル 1 の角穴にはめ込み、⑧化粧ネジ 2 本で取り付けます。〈図 3〉
9. ⑤ドレン部カバーの爪を①化粧パネル 1 の角穴にはめ込み、⑧化粧ネジ 2 本で取り付けます。〈図 3〉



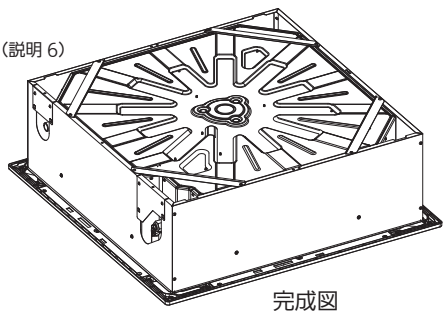
〈図 1〉

固定金具の取り付け穴〈図 2〉





〈図 3〉


完成図

●高湿度対応キット（CZ-160INSU7）

Panasonic

据付工事説明書

高湿度対応キット

品番　CZ-160INSU7

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ※
（※対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
- 高湿度対応キットは２８～１６０形まで共通で使用できます。
- 高湿度対応キットは室内ユニット据え付け前に取り付けてください。
- 高湿度対応キットを使用する場合、別売品の組合せ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

■ 付属品
- 天井パネル取付用　一式
- 室内ユニット取付用　一式
- 据付工事説明書　１部

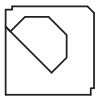
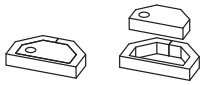
ACXF60-46152
BE0222-20224

この高湿度対応キットには、天井パネル取付用と室内ユニット取付用が同梱されています。

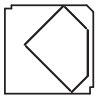
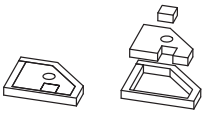
天井パネル取付用

●部品内容（コーナーカバー）　※⑤⑧は、標準コーナーカバーにも使用できます

	共通	
形状	①	② 幅 6 mm 長さ 34 mm
個数	4	8

	ナノイー X LED部	
形状	③ 	④  梱包時　分割時
個数	1	1

〈各受信部〉

	エコナビ用受信部		
形状	⑤ ※ 	⑥  梱包時　分割時	⑦ 幅 20 mm 長さ 280 mm
個数	1	1	1

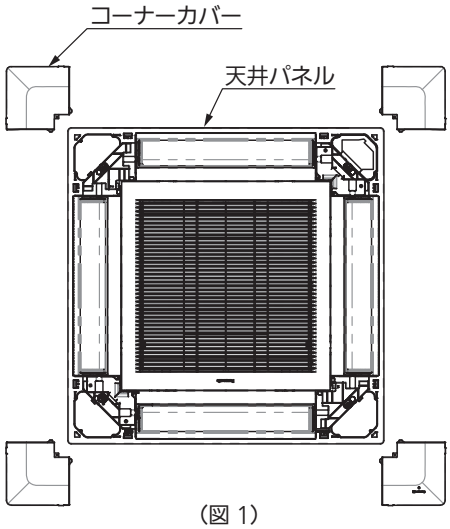
	ワイヤレスリモコン・昇降グリル用受信部		
形状	⑧ ※	⑨	⑩ 幅 20 mm 長さ 285 mm
個数	2	2	2

●部品内容（天井パネル）

	共通	
形状	⑪	⑫ 幅 25 mm 長さ 660 mm
個数	4	4

●取付要領

1. 四隅のコーナーカバーを取りはずします。（図 1 ）
2. 3ページ目の図 2 ～ 5 にしたがって、各コーナーカバーに断熱材を取り付けます。
   ＊各受信部がある場合、各受信部のコーナーカバーから取り付けます。
   ＊各受信部に取り付ける場合は、断熱材を分割して取り付けます。
3. 3ページ目の図 6 にしたがって、天井パネルに断熱材を取り付けます。
4. 天井パネルを室内ユニットに取り付けます。
   （天井パネルの取り付けかたは、天井パネルに同梱されている据付工事説明書を参照してください。）
5. コーナーカバーを取り付けます。落下のおそれがありますので、必ず天井パネルに付属のネジで固定してください。

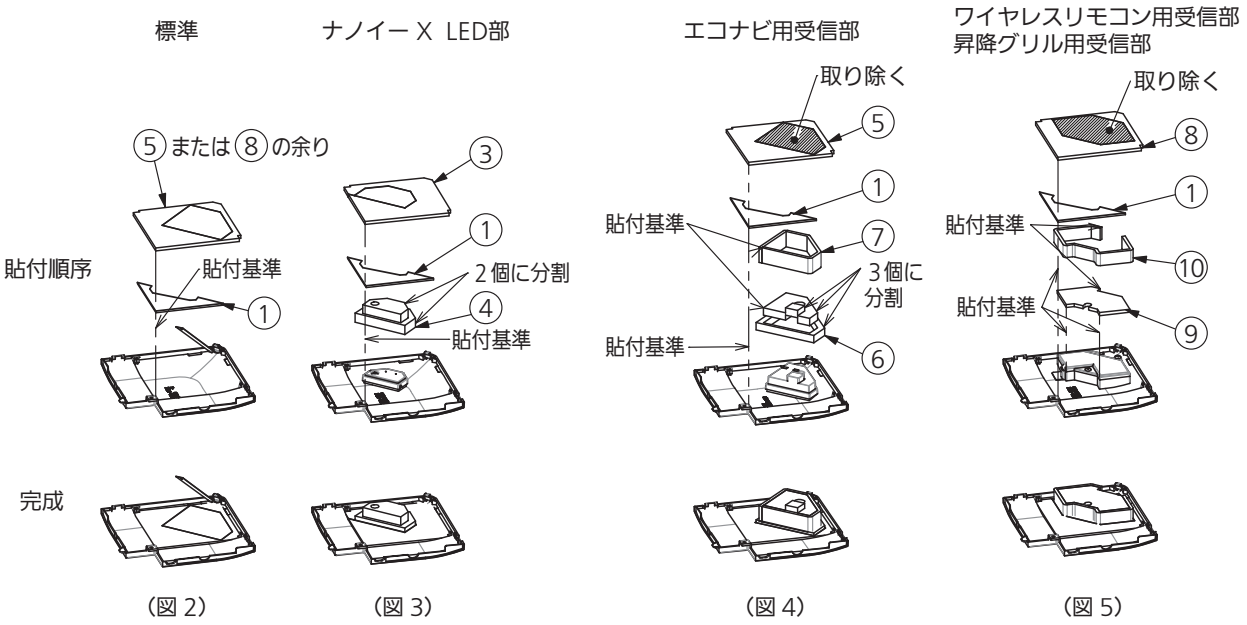


（図 1）
パネル表面

天井パネル取付用（つづき）

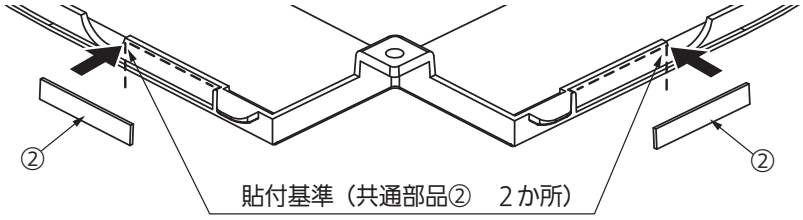
●コーナーカバーへの取り付け方　＊共通部品①は既存の断熱材と隙間ができないように取り付ける

〈標準パネル〉　〈各受信部〉

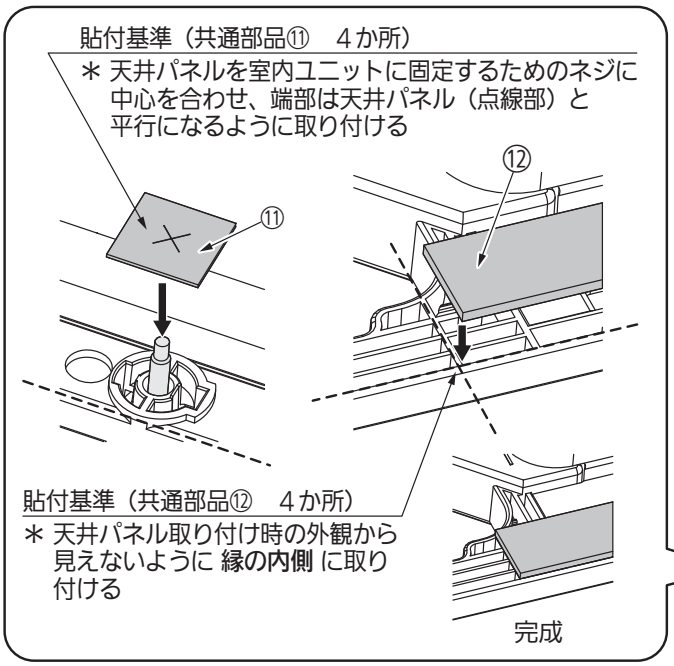


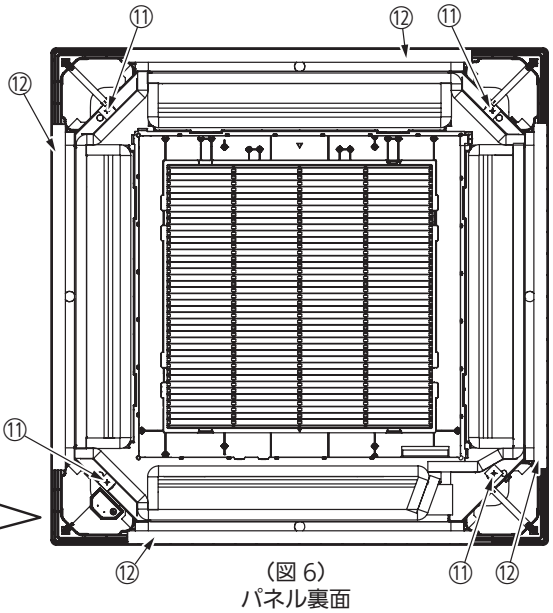
（図 2）　（図 3）　（図 4）　（図 5）

＊取り付け忘れ注意
各コーナーカバー共通



●天井パネルへの取り付け方

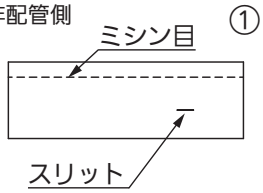
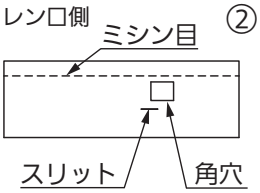
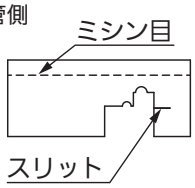




（図 6）
パネル裏面

室内ユニット取付用

●部品内容

名称	側板断熱材			
形状	非配管側 ① 	ドレン口側 ② 	配管側 ③ 	④
個数	2	1	1	1
名称	天井断熱材			吊金具断熱材
形状	非配管側 ⑤ 	中央 ⑥ 	配管側 ⑦ 	⑧
個数	1	1	1	4

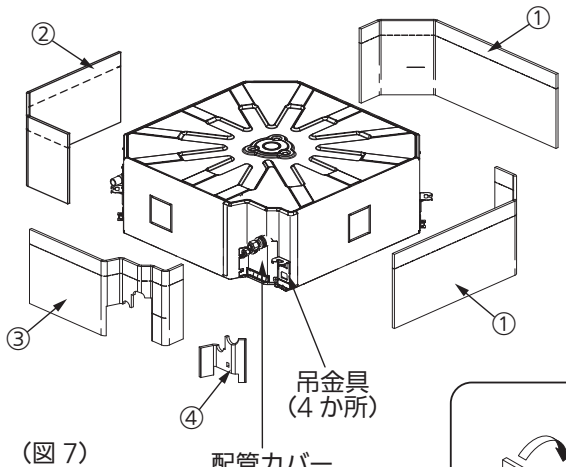
●貼付要領

＊　室内ユニットの高さは 2 種類あります（大筐体＝290㎜、小筐体＝235㎜）
小筐体に取り付ける場合は、① ～ ③ 部品のミシン目をカットしてから、貼り付けてください。

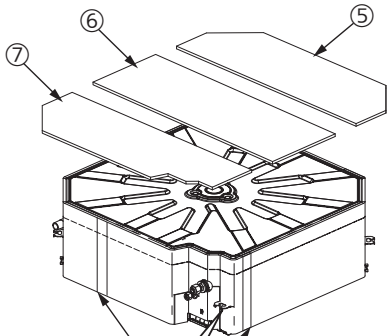
1．側板断熱材①～③のスリットを吊金具に合わせて室内ユニット側板に貼り付けてください。（図 7）
側板断熱材④を配管カバーに合わせて貼り付けてください。（図 7）
2．各断熱材をラップさせて貼り付けてください。（図 8）
3．天井断熱材⑤～⑦を隙間がないよう貼り付けてください。（図 8）

以下は、室内ユニット本体を据え付けた後に実施してください。

4．吊金具断熱材⑧を図の方向で吊金具をはさむように貼り付けてください。（図 8）
＊吊金具断熱材⑧は、室内ユニット本体を据え付けるまで保管してください。

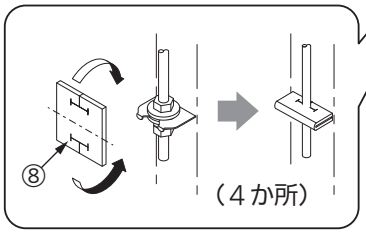


（図 7）



（図 8）

各断熱材をラップさせて
貼り付ける
（側板断熱材①～③）

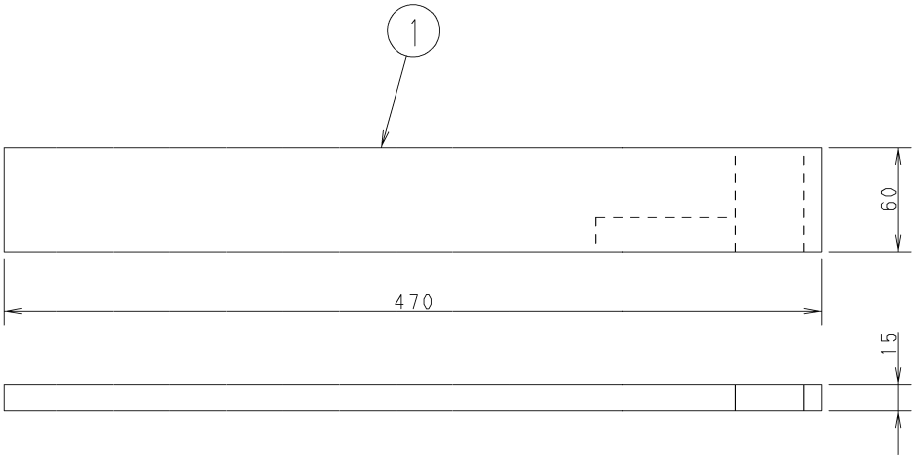


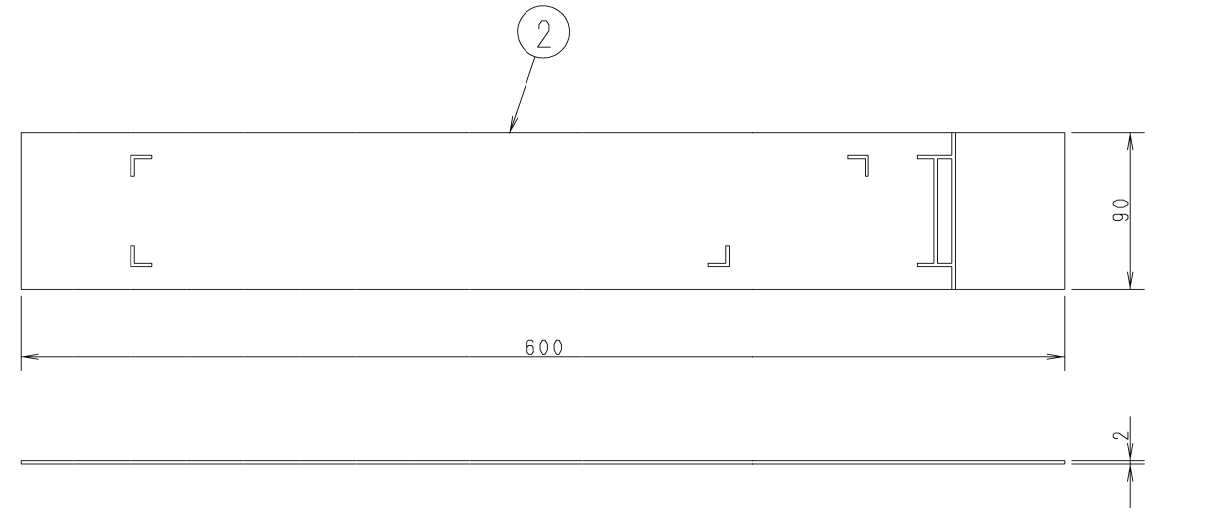
＊ パネルスペーサー CZ-160SPU5（別売品）と組み合わせてご使用される場合は、側面の断熱材が重ならないようラップする部分を現物に合わせてカットし、隙間があかないよう貼付けてください。

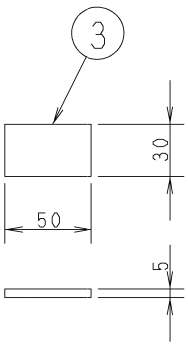
●しゃ風材（CZ-160CFU7）

■外形寸法図

	名　称	材　質	個数
①	しゃ風材	発泡ポリエチ　T15	2
②	パッキン	発泡ポリエチ　T2	2
③	パッキン	発泡EPT　T5	1







Panasonic

据付工事説明書

しゃ風材

品番　CZ-160CFU7

適用室内ユニット　４方向天井カセット形　U シリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
- しゃ風材をご使用になる場合、吹出口閉塞パターンによっては、ナノイー機能が使用できませんのでご注意ください。
- 別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-46142
BE1121-20723

1 . 付属品

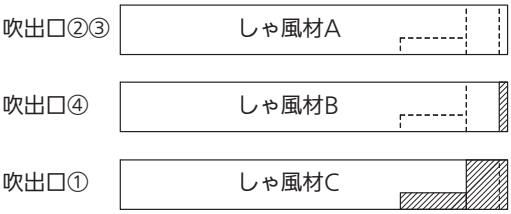
付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

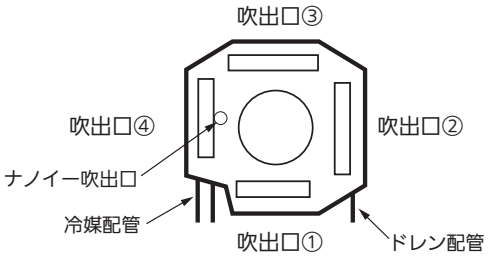
名　　称	個数	名　　称	個数	名　　称	個数	名　　称	個数
しゃ風材（470×60×T15）	2	パッキン A（600×90×T2）	2	パッキン B（50×30×T5）	1	据付工事説明書	1

2. 取り付けかた

（1）取り付け位置の確認〈図 1〉
しゃ風材を、取り付ける吹出口の位置に合わせて、ミシン目にそって折り曲げて、斜線部を切り取ってください。
吹出口②③に取り付ける場合は、そのまま使用してください。

〈図 1〉

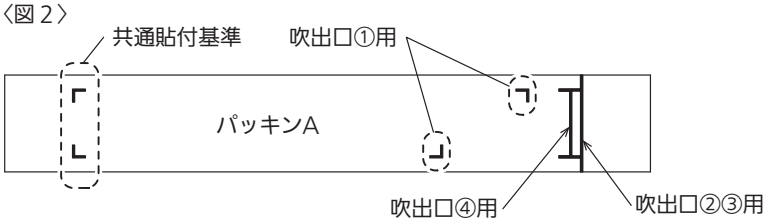




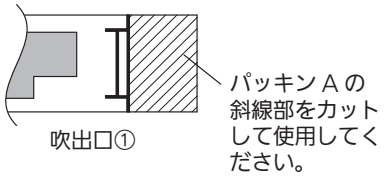
〈吹出口の配置〉

（2）準備したしゃ風材を、貼付基準に合わせて、パッキンAに貼り付けてください。

〈図 2〉

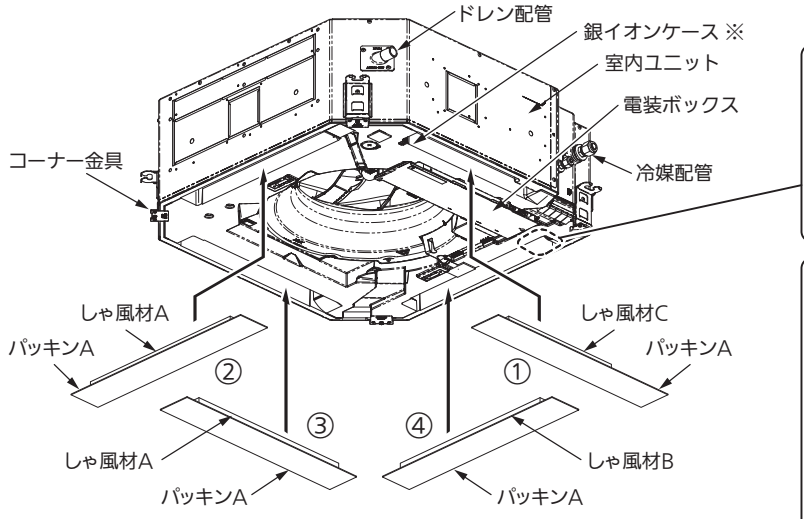


吹出口①はパッキンを貼り付けたあと、下図の通りカットしてご使用ください。

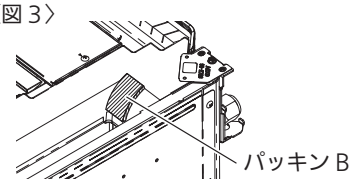


（3）吹出口④を閉塞する場合、<図3>の位置に、パッキンBを貼り付けて下さい。

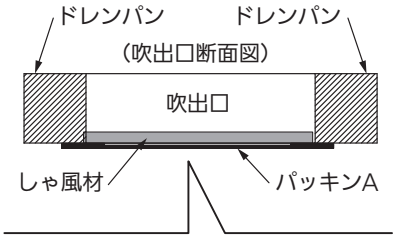
（4）最後に、しゃ風材の形状が合っていることを確認し、<図 4 >のようにパッキンAの付いたしゃ風材を、隙間がないように吹出口にはめ込んでください。パッキンAがはみ出した部分は、そのままにしてください。

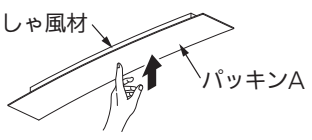


〈図 3〉



〈図 4〉



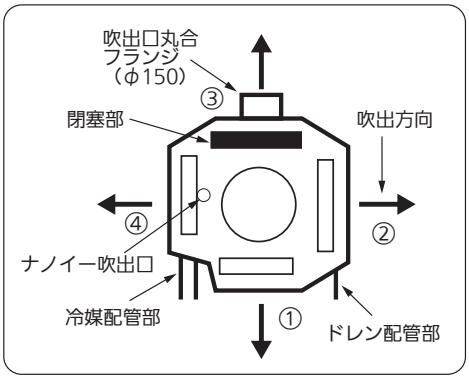


※しゃ風材の取りはずし
銀イオンケースの交換などで、しゃ風材を取りはずす際はパッキンが破損しないように注意してはずしてください。
吹出口中央部付近を軽く指で押すとパッキンが浮き上がるので、そこをつまんでゆっくり引き抜いてください。

3. 吹出口閉塞パターン　室内ユニット下部より見た状態

● 3方向吹出し，2方向吹出し時、および吹出口丸合フランジ(φ150)接続時は、下記の吹出口閉塞パターンに従って吹出口閉塞を行ってください。
また、下表を参照の上、配管部の位置をご検討ください。
(イラストの見かたは右図参照)
吹出口丸合フランジ（φ150）の取り付けは結露防止のため、冷風漏れ、断熱不足のないようにしてください。

〈ご注意〉
④の吹出口を閉塞すると、「ナノイー X」の効果はなくなります。
(下表網掛けの吹出口閉塞パターン)
必ずナノイー設定をオフにしてください。設定についてはワイヤードリモコンの取扱説明書をご覧ください。
(ナノイーを操作する時は、多機能リモコン（CZ-10RT4C）もしくはワイヤレスリモコン（CZ-10RWP2）が必要です。)



● 下表の吹出口閉塞パターン以外は絶対に行わないでください。

3方向吹出し 1か所を閉塞可能です。	■			
2方向吹出し 2か所を閉塞可能です。	■		■	
	■	■		
吹出口丸合フランジ （φ150）接続 3方向吹出し 1か所を閉塞しダクトに 接続可能です。	■			
吹出口丸合フランジ （φ150）接続 2方向吹出し 2か所を閉塞しダクトに 接続可能です。 注）ダクト接続はどちらか1か所のみ可能です。	■	■	■	■
	■			
	■			

■DCファンタップ設定変更
「4.DCファンモータータップの選択」に従って、ワイヤードリモコンまたは室内コントロール基板（ディップスイッチ）の設定を行ってください。

4．DCファンモータータップの選択

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表1）
変更を行わない場合、風量減少により冷房時吹出温度が低下、露付きの原因となります。
ファン回転数を設定する方法は、【1】基板上のディップスイッチを切り替えて設定する方法【2】ワイヤードリモコンで設定する方法があります。どちらかの方法で設定してください。※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1　DCファンモータータップ設定表

設定No.	項目コード 5D/5d の設定データ	使用用途／別売品名称　※1
	0000	標準（出荷設定）
		ロングライフフィルター
(1)	0001	高天井設定1（標準、エコナビパネル時）
		オイルガードパネル　※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター　※2
		高性能フィルター（比色法65%）
		重量法60%フィルター
		昇降グリル付きオイルガードパネル　※2
		しゃ風材（3方向吹出時）　※3
		しゃ風材（吹出ダクト接続時）　※3
(3)	0003	高天井設定2（標準、エコナビパネル時） 高性能フィルター（比色法90%）
(6)	0006	しゃ風材（2方向吹出時）

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組合せ可能な別売品を確認し選定してください。

※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルターを組み合わせる場合は、設定No.（3）または設定データ0003を設定してください。

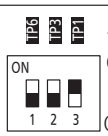
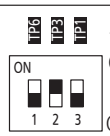
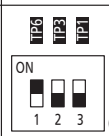
※3. しゃ風材とそれ以外の左表内の設定変更が必要な別売品を併用する場合、
3方向吹出時　　設定No.（3）または設定データ0003
吹出ダクト接続時　　設定No.（3）または設定データ0003
2方向吹出時　　設定No.（6）または設定データ0006
を設定してください。
なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

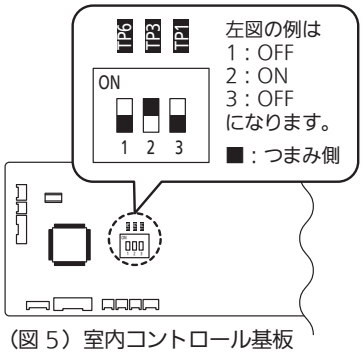
高性能フィルター（比色法90%）の場合は、高天井対応はできません。
その他の別売品取り付け時の高天井対応については
設備設計資料等をご確認ください。

【1】基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

＜手順＞必ず電源（漏電しゃ断器）を切ってください。

①ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。
②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。（図５）
③表1で確認した設定Noに合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ
(1)		(3)		(6)	



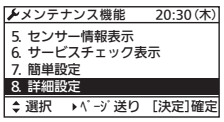
（図 5）室内コントロール基板

【2】-1 ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT4C）

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。

〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、決定 ボタンを押してください。
④ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面］が表示されます。
「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。

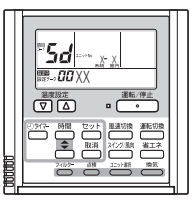


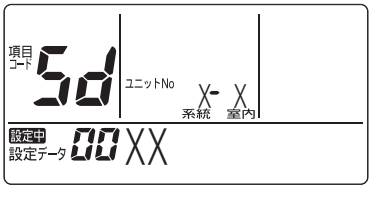
【2】-2 ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT3）

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5ｄの設定データ」を表1で確認してください。

〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

①点検＋セット ＋取消ボタンを同時に４秒間以上押します。
②ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③ 温度設定▼／▲ボタンで項目コード「５ｄ」を指定します。
④ 時間▼／▲ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表１のようになっています。
⑤セット ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればＯＫ)
⑥点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ
⑦点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。





●自然気化式加湿器（CZ-07ASU7, CZ-14ASU7）

■仕様

品　番			CZ-07ASU7							CZ-14ASU7		
適用室内ユニット			28	36	45	56	71	80	90	112	140	160
加湿性能※1		kg/h	0.336	0.336	0.452	0.551	0.824	0.861	0.940	1.33	1.45	1.56
有効加湿量※1		kg/h	0.195	0.234	0.341	0.466	0.699	0.755	0.651	0.810	1.10	1.31
加湿方式			自然蒸発式									
給水量		L/h	2.75±30%									
加湿材			ポリエステル繊維（抗菌・防カビ仕様）									
給水制御方式			タイマー制御による断続給水									
			ON22秒、OFF38秒									
電源電圧			AC200V（50/60Hz）									
定格消費電力		W	3.5±15%									
質量(水無し)		kg	2.5							2.8		
使用範囲	給水圧力	MPa	0.049（0.5kgf/cm^2）～0.49（5kgf/cm^2）									
	給水圧力(ポンプ使用時)	MPa	0.049（0.5kgf/cm^2）～0.29（3kgf/cm^2）									
	減圧弁		加湿器本体に内蔵									
	使用周囲温湿度		5～40℃、90%RH以下									
	使用水		上水道水またはこれと同等以上のもの									
	取付角度		全方向共±2°以内のこと									
保護装置			タイマー基板内に保護ヒューズ内蔵									
外形寸法	H	mm	157							212		
	W	mm	163							163		
	L	mm	516.5							516.5		

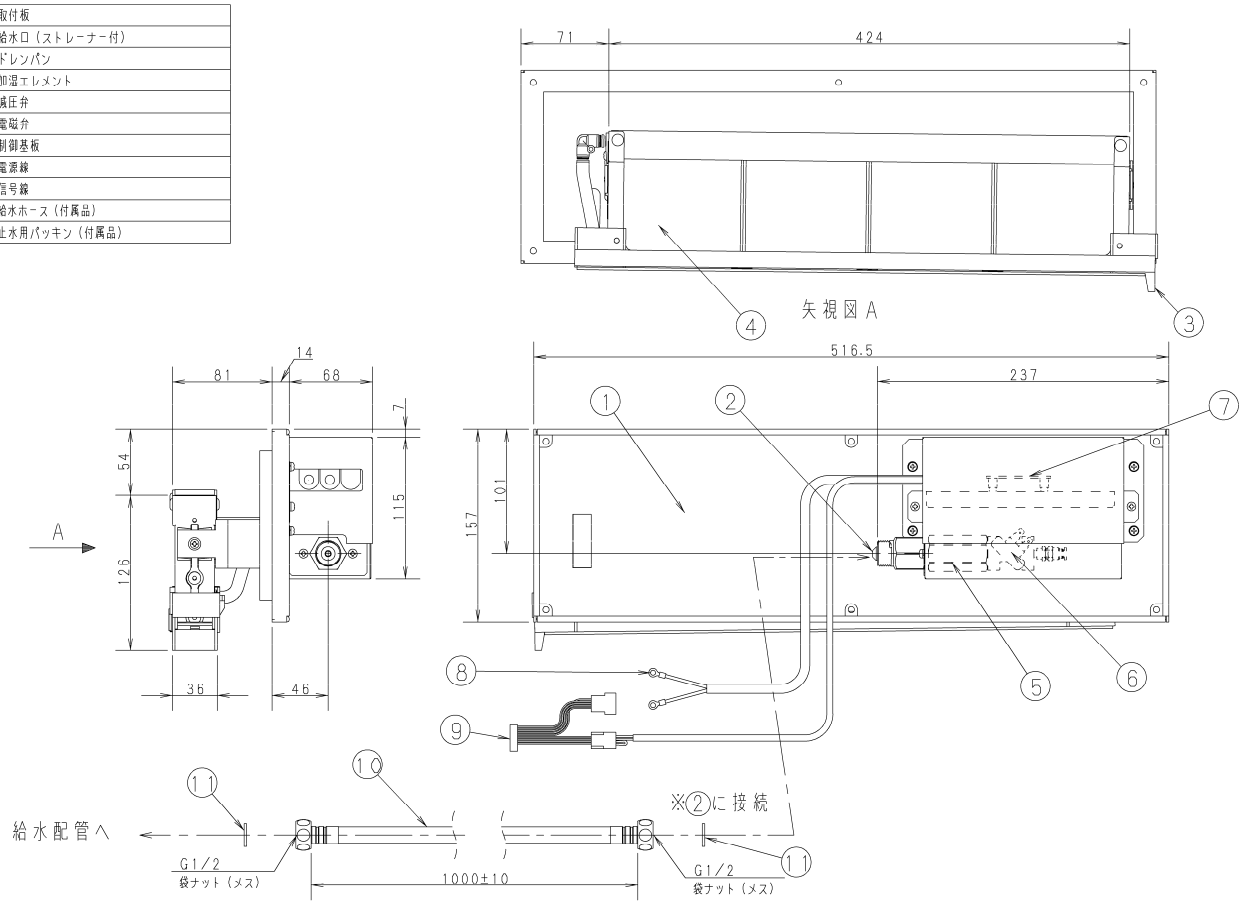
注意）

- 加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。
  公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン(型式認可品：現地調達)をご使用ください。
- CZ-07ASU7 加湿性能は、加湿器入口空気温度４５℃、１５%ＲＨ、定格風量時の通過風速での値を示します。
- CZ-14ASU7 加湿性能は、加湿器入口空気温度４５℃、１５%ＲＨ、定格風量時の通過風速での値を示します。
- 有効加湿量は加湿器を室内ユニットに組み込んだ状態で、下記の条件で運転した場合の加湿量です。
  温度条件 室温20℃DB、　外気温7℃DB・6℃WB
  運転条件 定格風量、フラップ位置F5、定格能力運転時、
  風量設定やフラップ角度、ユニット運転状態により加湿量が低くなる場合もあります。

※1　　加湿能力±20%

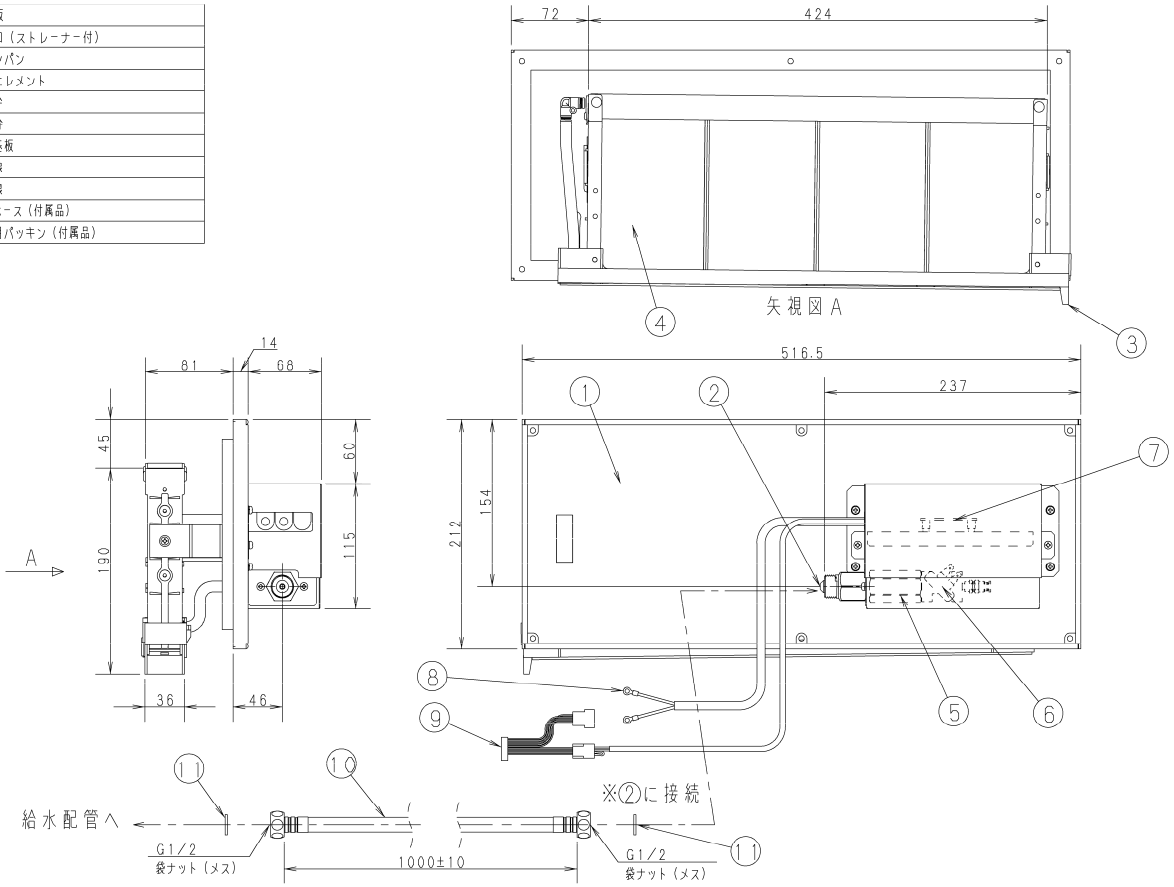
■外形寸法図 (CZ-07ASU7)

①	取付板
②	給水口 (ストレーナー付)
③	ドレンパン
④	加湿エレメント
⑤	減圧弁
⑥	電磁弁
⑦	制御基板
⑧	電源線
⑨	信号線
⑩	給水ホース (付属品)
⑪	止水用パッキン (付属品)



■外形寸法図 (CZ-14ASU7)

①	取付板
②	給水口 (ストレーナー付)
③	ドレンパン
④	加湿エレメント
⑤	減圧弁
⑥	電磁弁
⑦	制御基板
⑧	電源線
⑨	信号線
⑩	給水ホース (付属品)
⑪	止水用パッキン (付属品)



●自然気化式加湿器（高加湿タイプ）（CZ-07ASU7, CZ-14ASU7）

■仕様

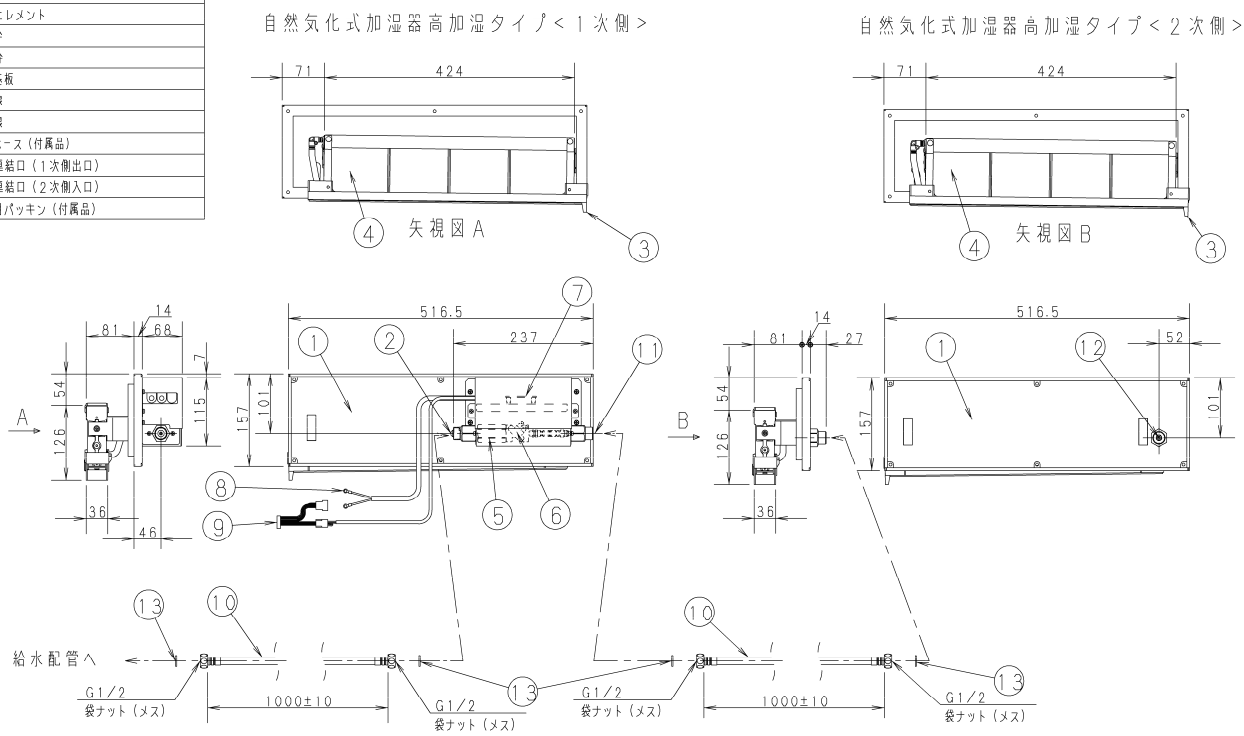
品　番			CZ-16ASHU7							CZ-20ASHU7		
適用室内ユニット			28	36	45	56	71	80	90	112	140	160
加湿性能※1		kg/h	0.663	0.663	0.880	1.07	1.61	1.68	1.85	1.90	2.08	2.27
有効加湿量※1		kg/h	0.439	0.512	0.725	0.979	1.47	1.58	1.42	1.49	1.88	2.12
加湿方式			自然蒸発式									
給水量		L/h	2.75±30%							5.00±30%		
加湿材			ポリエステル繊維（抗菌・防カビ仕様）									
給水制御方式			タイマー制御による断続給水									
			ON22秒、OFF38秒							ON40秒、OFF20秒		
電源電圧			AC200V（50/60Hz）									
定格消費電力		W	3.5±15%									
質量(水無し)		kg	4.1							4.7		
使用範囲	給水圧力	MPa	0.049（0.5kgf/cm^2）～0.49（5kgf/cm^2）									
	給水圧力(ポンプ使用時)	MPa	0.049（0.5kgf/cm^2）～0.29（3kgf/cm^2）									
	減圧弁		加湿器本体に内蔵									
	使用周囲温湿度		5～40℃、90%RH以下									
	使用水		上水道水またはこれと同等以上のもの									
	取付角度		全方向共±2°以内のこと									
保護装置			タイマー基板内に保護ヒューズ内蔵									
外形寸法1(電装BOX付)	H	mm	157							212		
	W	mm	163							163		
	L	mm	516.5							516.5		
外形寸法2(電装BOX無し)	H	mm	157							212		
	W	mm	121							121		
	L	mm	516.5							516.5		

注意）

- 加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。
  公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン(型式認可品：現地調達)をご使用ください。
- CZ-16ASHU7 加湿性能は、加湿器入口空気温度４５℃、１５%ＲＨ、定格風量時の通過風速での値を示します。
- CZ-20ASHU7 加湿性能は、加湿器入口空気温度４５℃、１５%ＲＨ、定格風量時の通過風速での値を示します。
- 有効加湿量は加湿器を室内ユニットに組み込んだ状態で、下記の条件で運転した場合の加湿量です。
  温度条件 室温20℃DB、　外気温7℃DB・6℃WB
  運転条件 定格風量、フラップ位置F5、定格能力運転時、
  風量設定やフラップ角度、ユニット運転状態により加湿量が低くなる場合もあります。

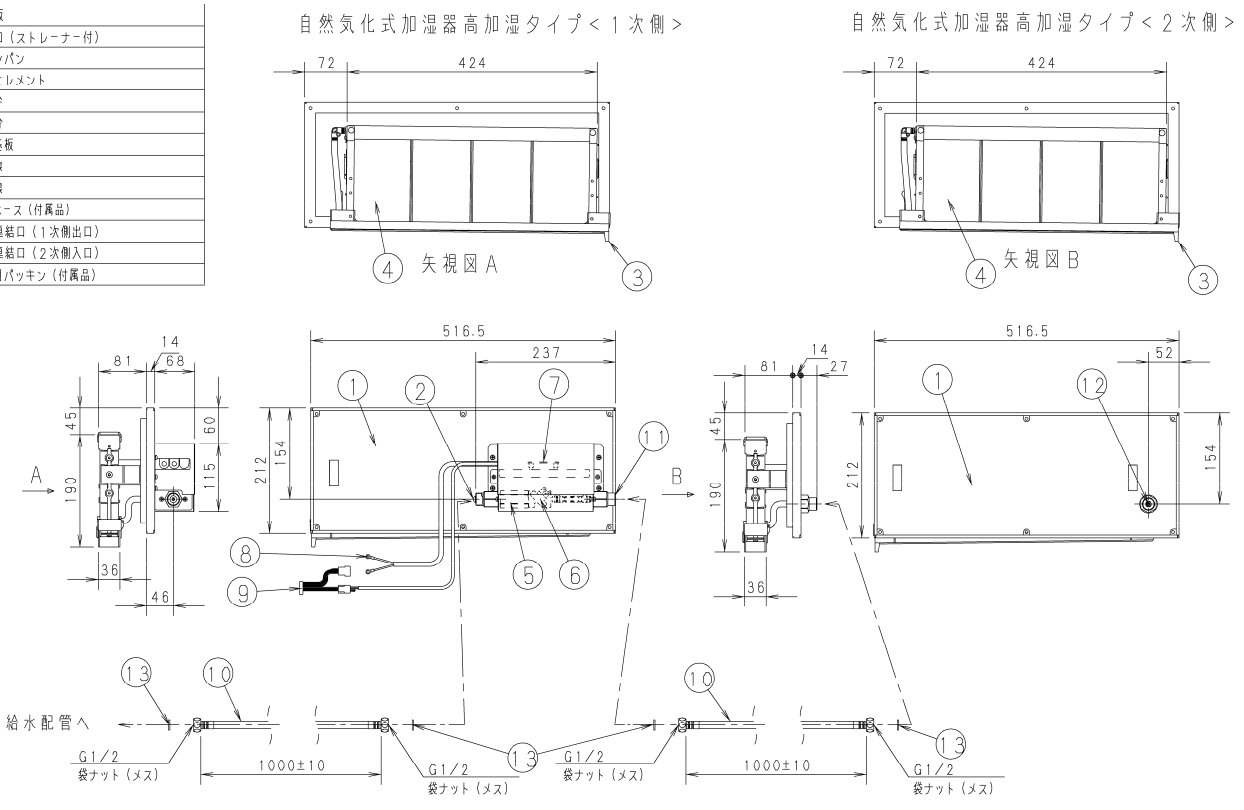
■外形寸法図（CZ-16ASHU7）

①	取付板
②	給水口（ストレーナー付）
③	ドレンパン
④	加湿エレメント
⑤	減圧弁
⑥	電磁弁
⑦	制御基板
⑧	電源線
⑨	信号線
⑩	給水ホース（付属品）
⑪	給水連結口（1次側出口）
⑫	給水連結口（2次側入口）
⑬	止水用パッキン（付属品）



■外形寸法図（CZ-20ASHU7）

①	取付板
②	給水口（ストレーナー付）
③	ドレンパン
④	加湿エレメント
⑤	減圧弁
⑥	電磁弁
⑦	制御基板
⑧	電源線
⑨	信号線
⑩	給水ホース（付属品）
⑪	給水連結口（1次側出口）
⑫	給水連結口（2次側入口）
⑬	止水用パッキン（付属品）



Panasonic®

据付工事説明書

自然気化式加湿器

品番 CZ-07ASU7 CZ-14ASU7 CZ-16ASHU7 CZ-20ASHU7

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ*
（*対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

● 据付工事の前に、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

● 給水配管の施工後、必ず試運転確認を実施し動作確認してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗ ⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 電源配線をバンドなどで束ねて収納しない
（発熱、火災の原因）

■ 配線は途中接続しない
（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）

■ 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する（故障や発熱、火災の原因）

■ 配線をはさまないように、カバーは元どおり確実に取り付ける （感電、火災の原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 電気工事（アース工事を含む）は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの「据付工事説明書」に従って施工する（感電、火災のおそれ）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）

⚠ 注意

■ 0℃以下の雰囲気となり、凍結のおそれがある場所には取り付けない
（破損・水漏れの原因）

■ 現地調達の給水配管にも必ず断熱処理（現地調達）を行う
（結露による水漏れ、凍結による配管や接続部の破損、水漏れの原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

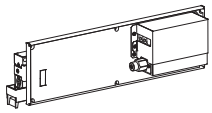
ACXF60-44861
PA1221-10823

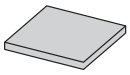
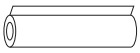
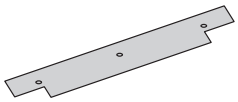
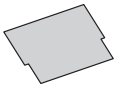
■ 据付前のご注意

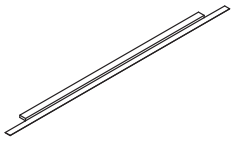
・加湿器の取付工事は、必ず室内ユニットを据え付ける前に行ってください。加湿器組込み後の輸送はしないでください。
・定期清掃や点検のため、加湿器取り付け側の天井面に□４５０以上の点検口を必ず設置してください。
・ヒューミディスタット（現地調達）は、湿度低下で接点がＯＮとなる方式のもので、接点容量２００ＶＡ以上のものを準備してください。
・供給水質は上水または同等以上の水を使用し、保守管理のため加湿器毎に給水配管にサービスバルブ（現地調達）を設けてください。
・現地調達の給水配管には死水排水バルブおよびＹ形ストレーナー（現地調達）を必ず取り付けてください。
・給水配管は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン（型式認可品：現地調達）をご使用ください。
・給水圧力は0.049～0.49MPaの範囲内でご使用ください。ただしポンプを使用して給水する場合は0.049～0.29MPaの範囲内でご使用ください。この範囲を超える場合は、給水系統毎に減圧弁（現地調達）を設けてください。また給水配管にトラップがあるとエアーだまりができ異音が発生することがありますので、トラップが無いように設置してください。

1. 付属品

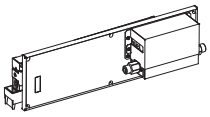
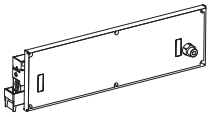
標準加湿タイプ　CZ-07ASU7, CZ-14ASU7

品名	説明書	加湿ユニット	取付プレート	給水ホース	パッキン
形状	・据付工事説明書 ・取扱説明書			 L=1000	 水道用19㎜パッキン （ノンアスベスト）
数量	各1	1	2	1	2

品名	給水ホース断熱材	断熱パイプ	ビニタイ	断熱材Ａ	断熱材Ｂ
形状	 100×100　t10	 L=920	 コード締結用:１本 断熱材固定用:４本		
数量	2	1	5	2	2

品名	取付ネジ	取付ナット	閉端接続子	風向板
形状	 トラス頭　２種 4×10タッピンネジ	 M4Ｌ15	 ヒューミディスタット用	
数量	6	6	2	1

高加湿タイプ　CZ-16ASHU7, CZ-20ASHU7

品名	加湿ユニット(電装付)	加湿ユニット(電装無)
形状		
数量	1	1

据付工事説明書 ……	１部	断熱パイプ ……	２本
取扱説明書 ……	１部	ビニタイ ……	９本
給水ホース ……	２本	取付ナット ……	１２個
パッキン ……	４個	取付ネジ ……	１２本
閉端接続子 ……	２個	風向板 ……	２枚
断熱材Ａ，Ｂ ……	各４枚		
取付プレート ……	４個		
給水ホース断熱材 ……	４枚		

2. 取り付けかた

※加湿器の組み込みは、必ず室内ユニットを据え付ける前に行ってください。

1．室内ユニット側面の加湿器取付面板金のハーフカット部を金鋸・ニッパー等でていねいに切断し、板金を取り除いてください。（側面を切断する前に、加湿ユニットを合わせて切断位置を確認してください。組み合わせる加湿器によりハーフカット部が異なります。）
さらに板金のカット面に沿って、室内ユニット内部の発泡スチロールをよく切れるカッターでカットし、角穴を開けてください。内部に熱交換器がありますので注意して作業してください。（図１）
※発泡スチロールの切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。
※製品が破損するおそれがありますので、発泡スチロールは割り取らず、必ず切り取ってください。
※カッターの刃は出代50mm以下にしてください。

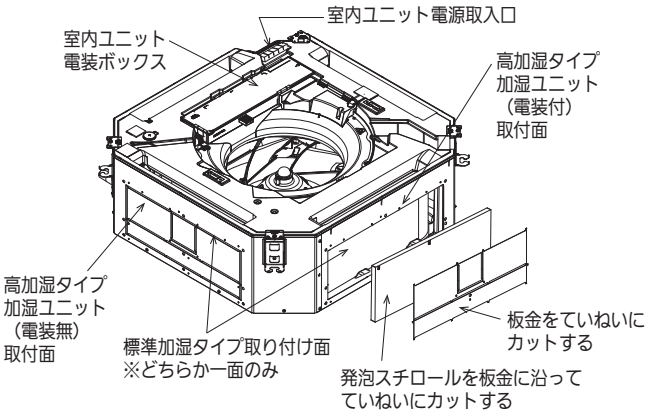
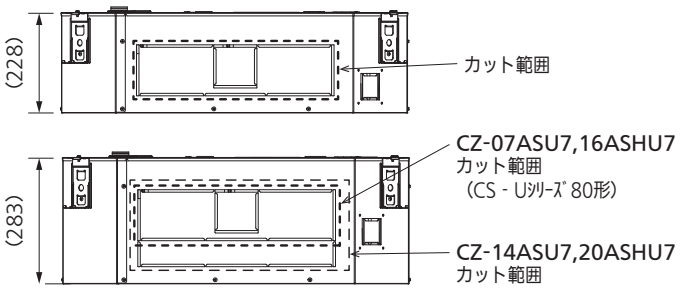


図１

CZ-07ASU7,CZ-16ASHU7



上記室内ユニット（高さ283mm）は２種類の加湿器が取り付けられます。
側面を切断する前に、加湿ユニットを合わせて切断位置を確認してください。

2．室内ユニット側面の角穴部に付属の取付プレートを取り付けます。
取り付けには付属の取付ネジを使用します。（図２）

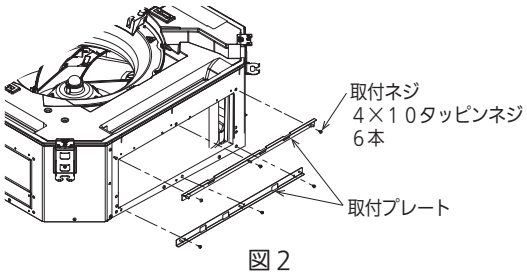


図２

3．角穴の開口部周囲に付属品の断熱材Ａ、Ｂを貼り付けてください。
（図３、４）

4．加湿ユニットの緩衝材（各２個）を取り除いてください。（図５）

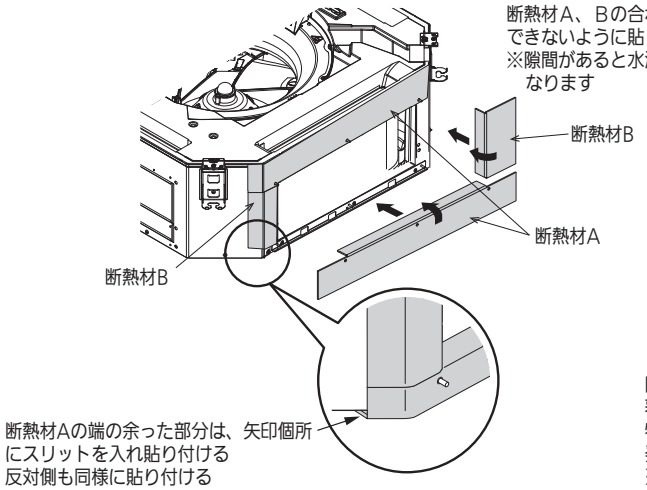
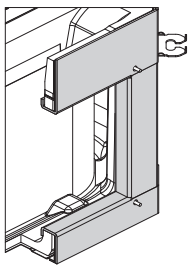


図３



断熱材Ａ、Ｂは板金と発泡スチロールを
覆うように全周密着させながら貼り付ける
特に発泡スチロールとの密着面に浮きが
発生しないように、しっかりと密着させる
※隙間があると水漏れの原因となります

図４

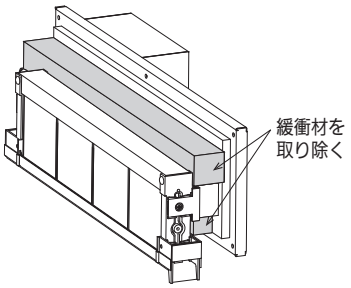


図５

5．室内ユニット側面の角穴に、向きに注意しながら加湿ユニットを挿入します。このとき加湿器排水口が室内ユニット本体のドレンパンに入っていることを必ず確認してください。（図６、７）

6．付属品の取付ナットで加湿ユニットをしっかり固定してください。（図６）

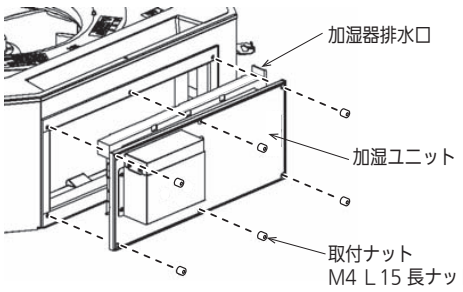


図６

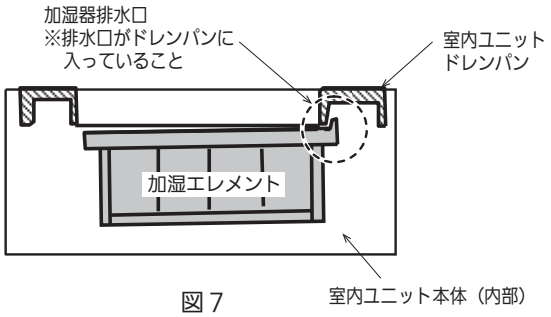


図７

7．高加湿タイプは、加湿ユニットの給水連結口に付属の給水ホースを接続し、断熱パイプを取り付けてください。（図８）
※必ず付属のパッキンを入れて袋ナットをダブルスパナで締め付けてください。(締付トルクの目安15.0N･m)
8．給水口については、P ②「4. 給水配管」にそって給水配管を接続して、接続部の水漏れがないことを確認し、給水ホースの接続部に付属品の給水ホース断熱材を巻きつけてビニタイで固定してください。（図８）

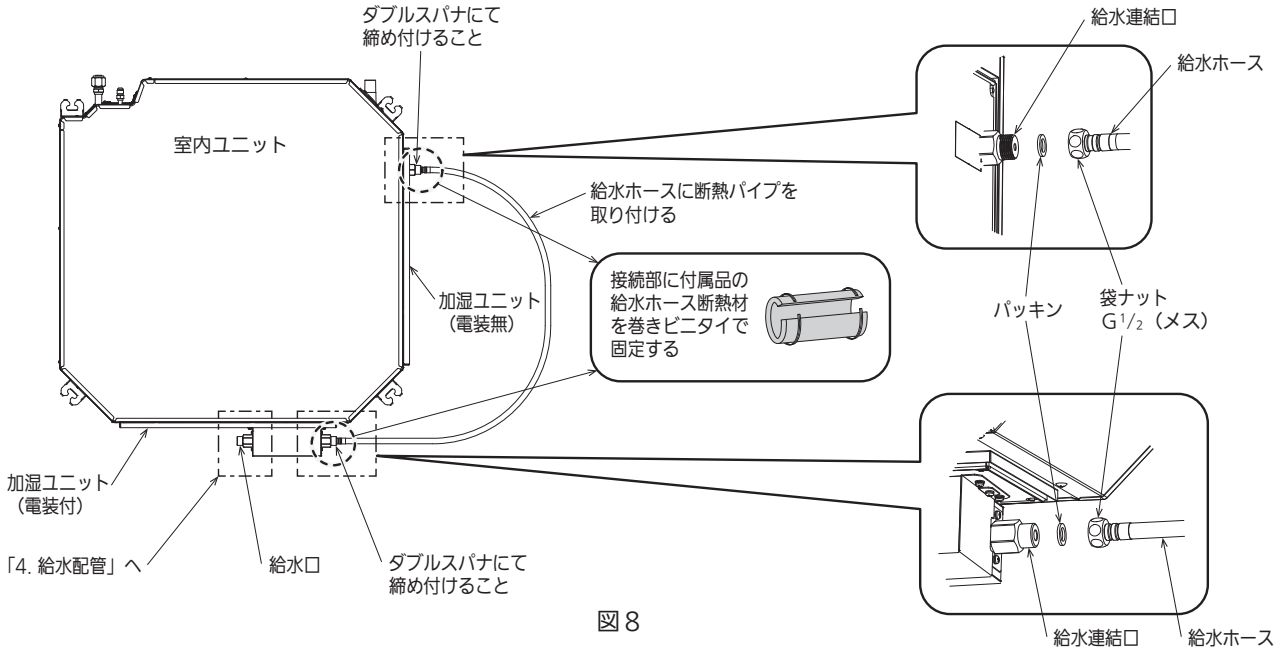


図８

9．加湿ユニットを取り付けた側面の吹出口に付属品の風向板を取り付けてください。
高加湿タイプは2か所になります。（図9、10、11）

⚠注意	●風向板を必ず取り付ける （結露、水漏れの原因）

※加湿器と併せてフィルターチャンバーを取り付ける場合は風向板は不要です。

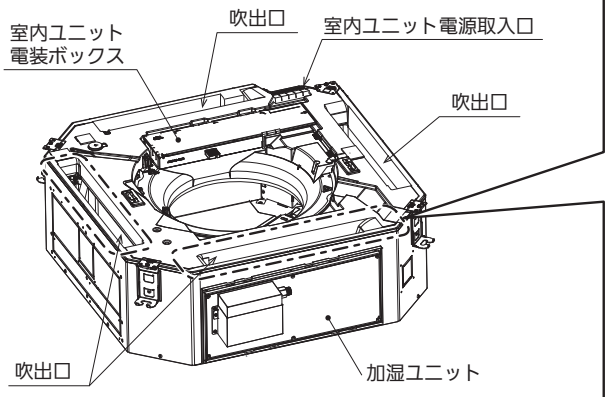


図９

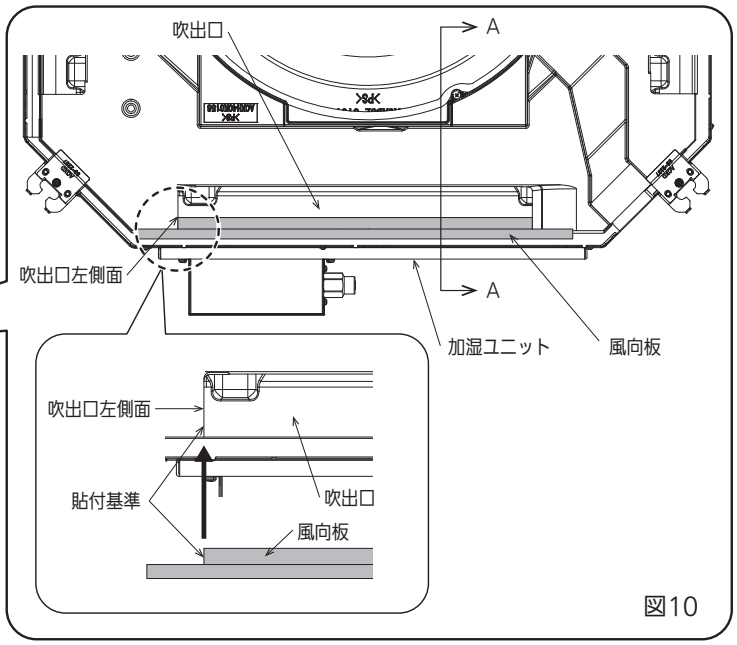


図10

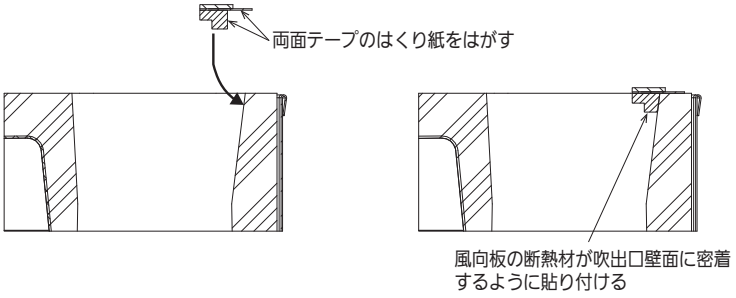


図11（図10のA－A断面）

3. 電気配線

1．室内ユニット電源取入口から、室内ユニット内へ配線を引き込みます。
2．室内ユニット電装ボックスの蓋を開き、加湿器の電源線を電源端子板に接続します。（図12）
※電源線は黒を電源端子板の【R】に、白を【S】に接続してください。
※電源線は3本以上の共締めにならないよう、必要に応じてプルボックスを使用して接続を行ってください。
3．加湿器信号線のソケットを室内コントロール基板の【OPTION（CN060:14P 白）】コネクタに接続します。（図12）
※加湿器と信号出力基板（ACC-SG-E）を併用する場合、OPTIONコネクタ（CN060）に接続する中継配線が重複します。
この中継配線はどちらか1つを使用し接続します。（図13）

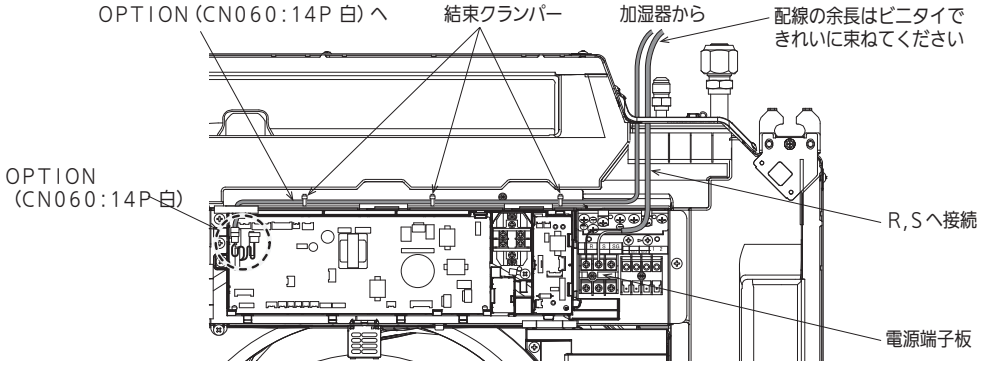


図12

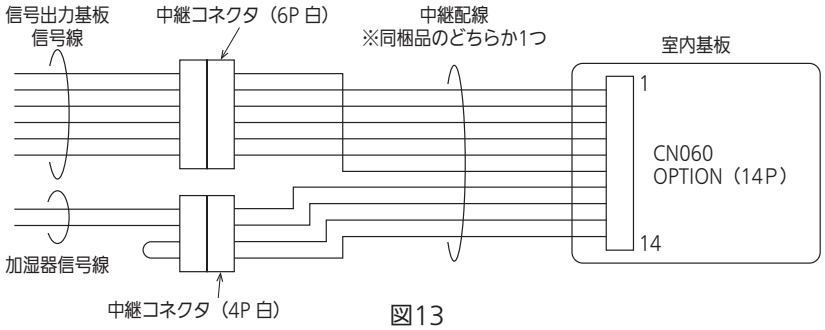
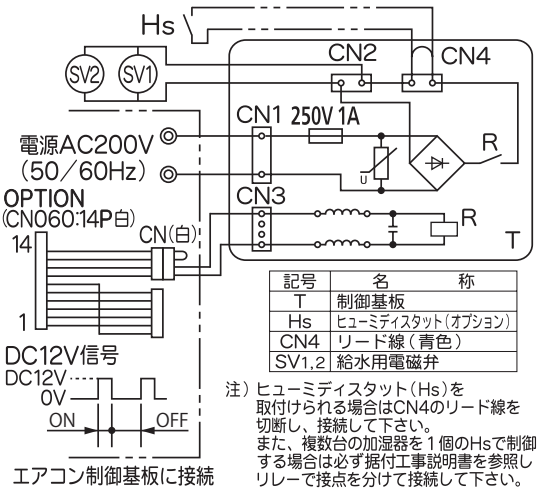


図13

4．ヒューミディスタットをご使用になる場合は、加湿器電気回路図（図14）を参考に加湿器電装ボックス内にあるジャンパー線（UL1007、AWG22/0.3mm²、線長210mm、青色）を切断し、付属品の閉端接続子（CE1（CE-100）、日本圧着端子製造（株）、適用電線範囲：0.5～1.75mm²）でヒューミディスタットの配線（0.2～1.45mm²）と接続します。
接続部（閉端接続子）は、加湿器電装ボックス内に収納してください。

加湿器電気回路図



記号	名　　称
T	制御基板
Hs	ヒューミディスタット（オプション）
CN4	リード線（青色）
SV1,2	給水用電磁弁

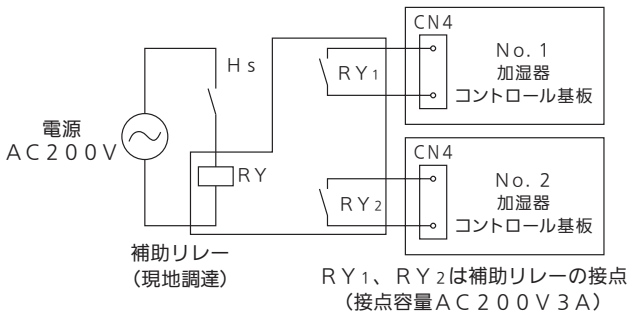
注）ヒューミディスタット（Hs）を取付けられる場合はCN4のリード線を切断し、接続して下さい。
また、複数台の加湿器を１個のHsで制御する場合は必ず据付工事説明書を参照しリレーで接点を分けて接続して下さい。

図14

お願い

ヒューミディスタット（現地調達）を取り付ける場合は、加湿器電装ボックス１台毎にヒューミディスタットを１個接続を基本としてください。
複数台の加湿器を１個のヒューミディスタットで制御する場合は、リレーにて個別に接点を分けて各加湿器に接続してください。（図15）
接点を分けないと正常な加湿動作が行えず、水漏れの原因になります。

例.　２台の加湿器を補助リレー接点にて制御する場合



RY1、RY2は補助リレーの接点
（接点容量AC200V3A）

図15

4. 給水配管

⚠注意	● 0℃以下の雰囲気となり、凍結のおそれがある場所には取り付けない （破損、水漏れの原因）

1．室内ユニットの「据付工事説明書」に従って、加湿器を組み込んだ室内ユニットを据え付けてください。
2．現地調達の給水配管内に通水し、配管内の汚れを取り除いてください。
3．給水ホースに断熱パイプを取り付けてから加湿ユニットの給水口に接続してください。（図16）
※必ず付属のパッキンを入れて袋ナットをダブルスパナで締め付けてください。（締付トルクの目安15.0N・m）
※加湿ユニットの給水口に給水ストレーナーを取り付けた状態で配管を接続してください。
4．図16を参考に現地調達の給水配管等を接続してください。
● 以下の項目は試運転の後、問題が無いことを確認した上で行ってください。
5．給水接続部の水漏れ確認を行ってください。
6．水漏れが無ければ、給水ホースの接続部に付属品の給水ホース断熱材を巻きつけてビニタイで固定してください。（図16）
7．現地調達の給水配管にも、断熱処理を行ってください。配管の凍結は漏水事故の原因となります。
十分に保温工事をしてください。この断熱材は現地調達になります。

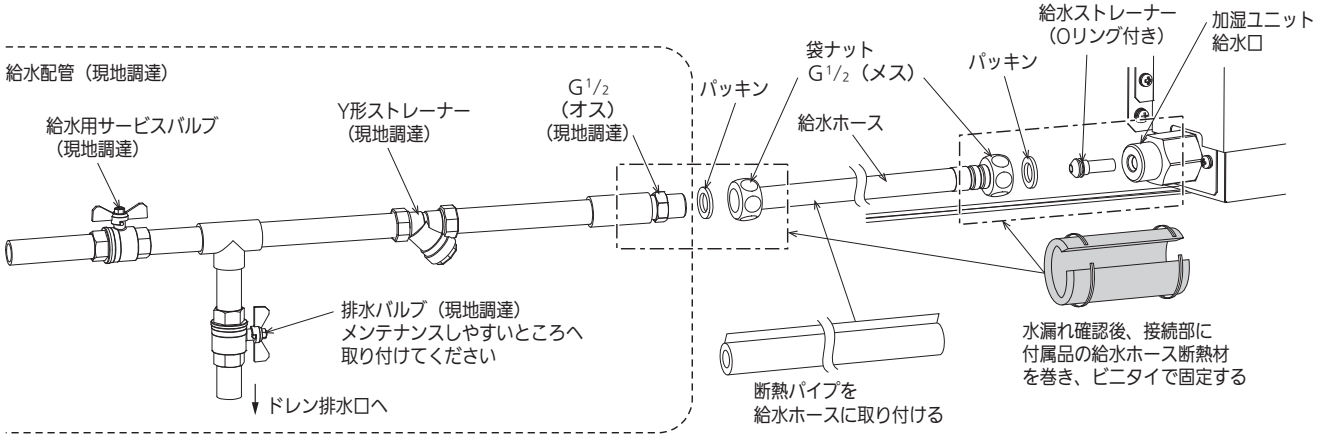


図16

5. 給水動作設定

高加湿タイプ（CZ-20ASHU7）は必ず下記給水動作設定を行ってください。

項目コード5Eの設定データ変更により、給水動作を変更してください。

項目コード	設定データ	加湿動作
5E	0022	給水ON２２秒、OFF３８秒（出荷設定）
	0040	給水ON４０秒、OFF２０秒 （CZ-20ASHU7のみ設定する）

注意）ユニットが運転を停止した状態で設定データの変更を行なってください。
設定中はリモコンで選択されている室内ユニットのファンが回転します。

＜CZ-10RT3の場合＞

P③「2. 室内ユニットの送風運転時に加湿動作する設定」の①～⑥と同一の手順で項目コードを「5E」に設定して、設定データを「0040」に設定してください。

＜CZ-10RT4シリーズの場合＞

P④「2. 室内ユニットの送風運転時に加湿動作する設定」の①～⑨と同一の手順で項目コードを「5E」に設定して、設定データを「0040」に設定してください。

注意）CZ-20ASHU7は必ず項目コード「5E」の設定データを、「0040」にしてください。
加湿エレメントの寿命が短くなる原因となります。

据付工事説明書　試運転編

● 給水配管の施工後、試運転確認を実施し動作確認してください。
● 室内ユニットに付属の「取扱説明書」とワイヤードリモコンに付属の「取扱説明書」もあわせてご覧ください。

1. 動作確認方法

1．漏電しゃ断器を入れ、加湿器の給水用サービスバルブを開いて通水してください。
2．高加湿タイプ（CZ-20ASHU7）は必ずP②「5. 給水動作設定」を行ってください。
3．リモコンの運転/停止ボタンを押し空調機を運転させた後、運転切換ボタンで暖房運転にします。
※通常、加湿器への給水は暖房運転時に行われますが、冷房シーズン（暖房運転できないとき）や、暖房運転時にサーモオンになりにくいときは、ワイヤードリモコンから「2. 室内ユニットの送風運転時に加湿動作する設定」にて加湿動作を変更し、送風運転にて動作確認してください。
4．加湿器に内蔵されている給水用電磁弁が作動し、加湿エレメントに給水して加湿します。加湿エレメントから流出した水は、室内ユニットのドレンパンに入り室内ユニットのドレン配管から排出されます。
※給水配管の継手（現地調達）、加湿ユニットの給水口継手、加湿ユニットの給水連結口継手（高加湿タイプのみ）、加湿器本体の電装ボックス周り、室内ユニットの吹出口、ドレンパン等から水漏れがないか確認してください。
※30分程度運転を続け、室内ユニットのドレン排水管から排水されているか確認してください。
5．正常な運転を確認したら、運転/停止ボタンを押し運転を停止してください。

※ヒューミディスタット（現地調達）をご使用の場合は、ご希望の湿度目盛りに合わせます。設定を変化させて、給水用電磁弁が正常に加湿制御していることを確認してください。
※試運転時、加湿器から「ビーン」という異音が発生した場合に、給水用サービスバルブを閉めると音が消えるようであれば、給水系（減圧弁等）へのエアーのかみ込みが考えられます。この場合、いったん給水配管の接続をはずしてエアー抜きおよび加湿ユニット給水口のストレーナーの清掃を実施してください。ポンプを使用して給水する場合は、ポンプによるエアーのかみ込みが考えられます。給水圧力を調整できる場合は、給水圧を下げて使用してください。

2. 室内ユニットの送風運転時に加湿動作する設定

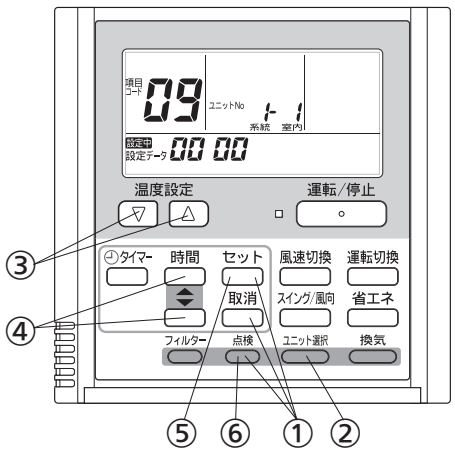
項目コード09の設定データ変更により、加湿動作を変更してください。

項目コード	設定データ	加湿動作
09	0000	暖房サーモオン時に加湿する（出荷設定）
	0001	送風時に加湿する

注意）ユニットが運転を停止した状態で設定データの変更を行なってください。
設定中はリモコンで選択されている室内ユニットのファンが回転します。

＜CZ-10RT3の場合＞

ワイヤードリモコン



① 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを、同時に4秒間以上押します。
② ユニット選択 ボタンを押すごとに、「ユニットNo」を順次表示します。
この時、選択された室内ユニットのファンが回転します。
（リモコンの液品部に、 設定中 と「ユニットNo」「項目コード」詳細データが点滅表示されます。）
③ 温度設定 ▲ ▼ ボタンで項目コードを「09」に指定します。
④ 時間またはタイマーの ▲ ▼ ボタンで設定データを「0000（出荷設定）」→「0001」へ変更します。
⑤ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ
⑥ 点検 ボタンを押します。（通常の停止状態になります）
⑦ 加湿器動作の確認後①～⑥と同一の手順で項目コードを「09」に指定して、設定データを「0000」に戻してください。

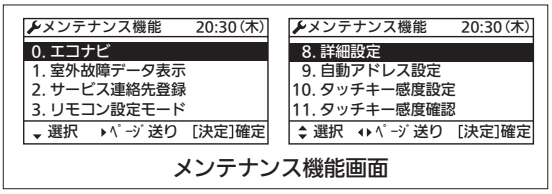
注意）試運転後は、必ず項目コード09の設定データを、出荷設定（0000）に戻してください。
設定を戻さないと、使用環境によっては露飛びや水漏れの原因になります。

＜CZ-10RT4シリーズの場合＞

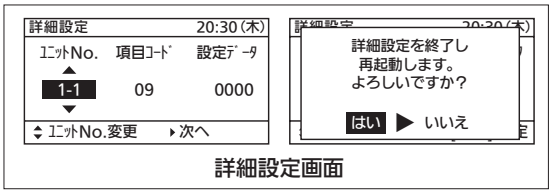
メンテナンス機能画面の表示

① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

② ▲ ／ ▼ ボタンで選択、 ◄ ／ ► ボタンでページが切り替わります。
必要な機能のページを表示し、選択してください。



メンテナンス機能画面



詳細設定画面

詳細設定方法　（ユニットが停止中に行ってください。）

③ ▲ ／ ▼ ボタンで『8.詳細設定』を選択し、 決定 ボタンを押してください。詳細設定画面が表示されます。

④ ◄ ／ ► ボタンでユニットNo.／項目コード／設定データの選択を切り替えてください。

【加湿動作の設定】

⑤ ▲ ／ ▼ ボタンでユニットNo.，項目コード，設定データを変更します。

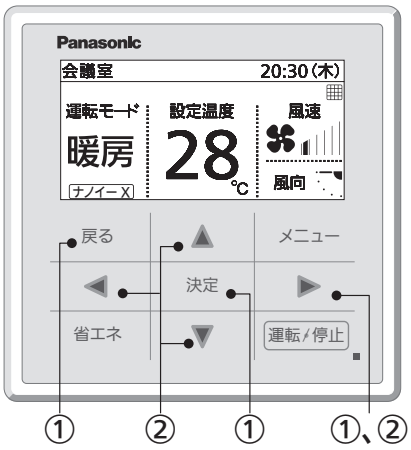
⑥ ユニットNo.を変更して、設定するユニットを選択してください。

⑦ 項目コードを「09」に、設定データを「0001」に変更し、 決定 ボタンを押してください。

⑧ 続けて別のユニットを設定する場合は、ユニットNo.を変更し、⑦を実施してください。

⑨ 戻る ボタンを押し、再起動：“はい”を選択し、 決定 ボタンを押してください。

ワイヤードリモコン



⑩ 加湿器動作の確認後、①～⑨と同一の手順で項目コード「09」の設定データを「0001」から「0000」に戻してください。

注意）試運転後は、必ず項目コード09の設定データを、出荷設定（0000）に戻してください。
設定を戻さないと、使用環境によっては露飛びや水漏れの原因になります。

Panasonic

取扱説明書

自然気化式加湿器

品番　CZ-07ASU7　CZ-16ASHU7
　　CZ-14ASU7　CZ-20ASHU7

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ*
（*対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
● 室内ユニットに付属の取扱説明書もあわせてお読みください。
● ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
● この取扱説明書は室内ユニットに付属の取扱説明書とともに大切に保管してください。
● 商品の品番は、6. 仕様でご確認ください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 据付工事や移動修理は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れ、感電・火災の原因）

■ 改造・改修は絶対にしない
（修理に不備があると、水漏れや感電・火災の原因）
修理はお買い上げの販売店またはサービス会社にご相談ください。

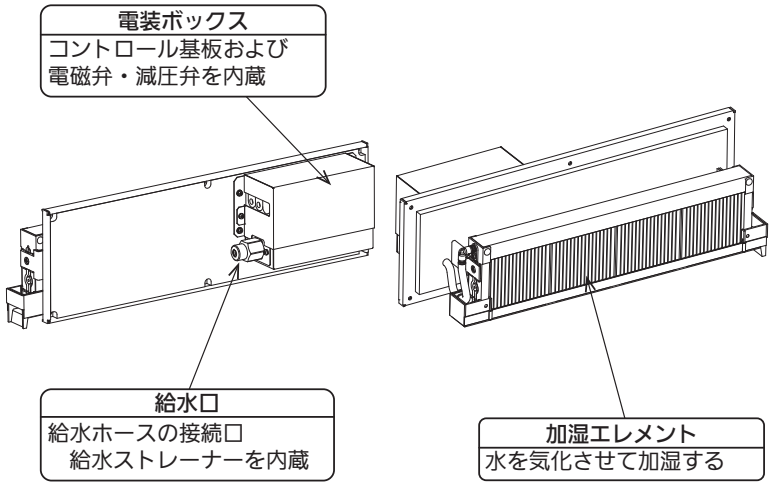
⚠ 注意

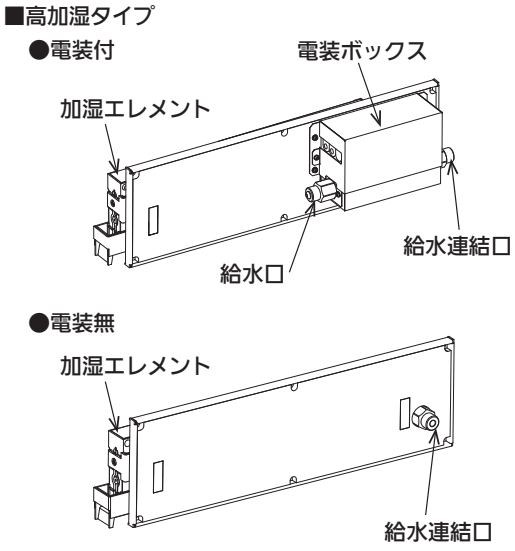
■ お手入れ時は必ず運転を停止し、漏電しゃ断器を切る
（感電や、ファンが高速回転しているため、けがの原因）

1. 使用上のお願い

・シーズンオフなど長期間加湿（暖房）運転をしない場合は、給水用のサービスバルブを閉めてください。
・加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、給水ホース内を新しい水に置き換えて給水確認を行ってから使用してください。
そのまま給水されますと汚れや異物による能力不足、加湿エレメントから異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。
・シーズンオフ中に加湿エレメントに付着した汚れを取るため、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に必ず保守点検を行ってください。
・室内ユニットのフィルターが汚れていると、加湿能力や加湿器の寿命に悪影響を与える原因になります。
フィルターは定期的に点検を行い、汚れている場合は清掃してください。

2. 各部の名前





3. 運転のしかた

加湿器は室内ユニットに接続されており、エアコンを暖房運転したときに自動で加湿運転をします。
エアコンの運転操作方法については室内ユニットに付属の取扱説明書に従ってください。

4. 保守点検

長く安心してご使用していただくために、サービス技術者による定期的な保守点検を行ってください。

1．点検周期および保全周期一覧

●本表は主要部品を示します。
また、この保全周期（交換周期）は、製品を長く安心してご使用していただくために、保全行為（交換行為）が生じるまでのめやす期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。

●保全周期（交換周期）は保証期間を示しているものではありません。保守点検実施の場合でも、予期せぬ故障が発生することがあります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

主要部品名	点検周期	保全周期（交換周期）	主要部品名	点検周期	保全周期（交換周期）
加湿エレメント	1年	3年*	電磁弁	1年	20,000時間
給水ストレーナー		―	ヒューズ		―
電子基板類		25,000時間			

＊室内ユニットに付属の取扱説明書に記載されている「保証とアフターサービスについて」もあわせてご覧ください。
加湿エレメント交換の際は、下表を参照して、交換用加湿エレメントをご注文ください。

自然気化式加湿器　品番	CZ-07ASU7	CZ-16ASHU7	CZ-14ASU7	CZ-20ASHU7
交換用加湿エレメント ※サービスパーツ 使用数	ACPB50C0016 1個	ACPB50C0016 2個	ACPB50C0017 1個	ACPB50C0017 2個

2．作業前の準備

●作業は安全に留意して行ってください。特に板金のエッジ部分や熱交換器の温度等には十分に注意してください。
加湿器の据付工事説明書もあわせてご覧ください。

●作業にかかる前に必ず漏電しゃ断器を切り、給水用のサービスバルブを閉めてください。

●給水ホースの脱着の際に、パッキンを必ず新しいものに交換してください。
パッキンを交換しないと漏水の原因になります。パッキンは市販の水道用19mm、厚さ2mmのノンアスベストパッキンまたは、サービスパーツ（CV6233336015）をご使用ください。

3．作業手順

1）加湿エレメントの洗浄（1 回/年：シーズンイン時）

①給水ホースを取りはずしてください。（図 1）
※加湿器給水口、給水連結口に巻いてある断熱材をはずしてください。
※給水ホース、加湿器内の残水が出てくることがありますので、バケツやウエスなどを準備してください。

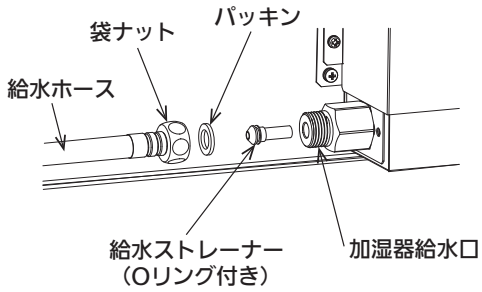
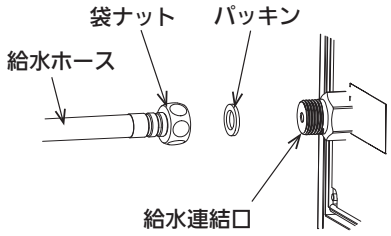


図 1

高加湿タイプ（電装無）



②加湿器本体を固定している長ナット（M4×L15）6 個をはずし、電気配線を引っ張らないように加湿器を室内ユニットから取り出してください。（図 2）
※給水ストレーナーを紛失しないようご注意ください。（図 1）

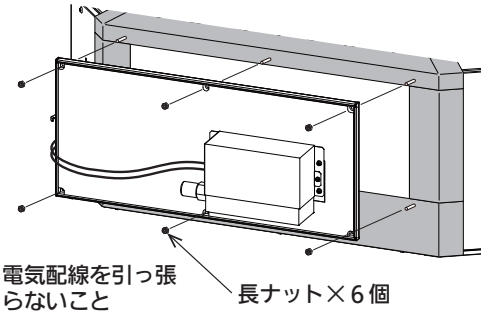


図 2

③固定用のネジ（2 本）とジョイントをはずして加湿エレメントを取りはずしてください。（図 3）
④容器に水またはぬるま湯を入れたうえで市販の中性洗剤を溶かして洗浄液を用意してください。
⑤洗浄液を浸した柔らかいブラシ等で加湿部表面等の汚れを取ってください。（図 4）
⑥十分に水洗いをした後、水気を落とした上で、取りはずしと逆の手順で加湿エレメントを組み付け、加湿器を室内ユニットに取り付けてください。
※下記の 2）給水ストレーナーの清掃もあわせて行ってください。
⑦給水ホースを加湿器給水口、給水連結口に接続してください。
※給水ストレーナを元に戻し、パッキンを新しいものに変えてください。
※袋ナットをダブルスパナで締め付けてください。（締付トルクの目安15.0N・m）
※給水用サービスバルブを開き、水漏れがないことを必ず確認した後、はずした断熱材を加湿器給水口、給水連結口と袋ナットをおおうように巻き付けてビニタイで固定してください。

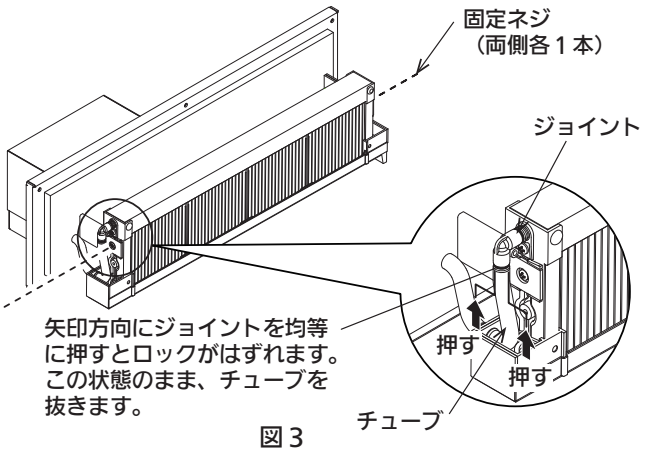


図 3

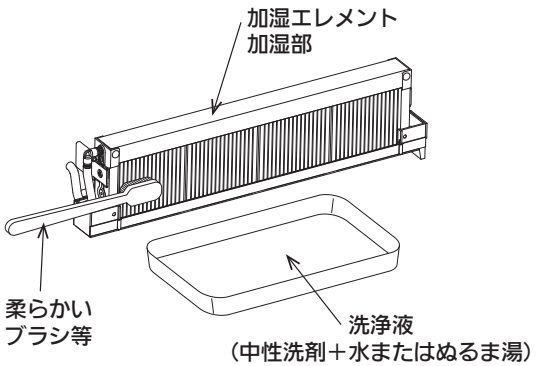


図 4

2）給水ストレーナーの清掃（加湿エレメントの洗浄時に行ってください）

①加湿器給水口に挿入されている給水ストレーナーを取りはずし、内側のゴミを洗い落としてください。
※給水ストレーナーに付いているOリングをはずさないでください。（図 1）
②元通りに取り付けてください。

4. 保守点検（つづき）

3）コントロール基板等の電気部品の点検（1 回/年）
必ず漏電しゃ断器を切ってから作業をしてください。

①加湿器電装ボックスのふたをはずして内部を確認し、以下の項目をチェックしてください。
- □電子部品に劣化（変色、変形）などが無いか。
- □電気配線類に損傷が無いか。
- □コントロール基板のプラグと電気配線のソケットの接続に緩み、はずれが無いか。
- □その他各部に異常が無いか。

※不具合がありましたら、必ず修理もしくは部品交換を行ってください。

②元通りに取り付けた後、漏電しゃ断器を入れて動作確認を行ってください。

5. 故障かな？

サービスを依頼される前に次のことをお調べください。

症　状	原　因	処　置
加湿しない または 加湿量不足	給水用サービスバルブが閉まっていませんか？	サービスバルブを開けてください。
	シーズンイン時に給水ストレーナーの清掃はしましたか？	保守点検をしていなければ、お買い上げの販売店にご連絡ください。
	シーズンイン時に加湿エレメントの洗浄をしましたか？	
	加湿エレメントの交換時期が過ぎてませんか？	
においがする	シーズンイン時に加湿エレメントの洗浄をしましたか？	保守点検をしていなければ、お買い上げの販売店にご連絡ください。
	加湿エレメントの交換時期が過ぎてませんか？	
	シーズンイン時に給水管内の残水を排水しましたか？	
音がする	給水圧力は仕様値の範囲内ですか？	仕様値の範囲外なら、お買い上げの販売店にご連絡ください。
	給水系へのエアーのかみ込みはありませんか？	異音発生状態で給水用サービスバルブを閉めると音が消える場合は、エアー抜きが必要です。販売店にご連絡ください。

以上のことをお調べいただき、それでもなお異常のあるときは運転を停止してから漏電しゃ断器を切り、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。なおご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

6. 仕様

品番	CZ-07ASU7	CZ-16ASHU7	CZ-14ASU7	CZ-20ASHU7
適合室内ユニット	28～90形		112～160形	
加湿能力（kg/h）	0.710±20%	1.41±20%	1.37±20%	1.99±20%
有効加湿量（kg/h）	0.755±20%	1.60±20%	1.43±20%	2.04±20%
外形寸法H×W×L（mm）	157×163×516.5	157×163×516.5 157×121×516.5	212×163×516.5	212×163×516.5 212×121×516.5
質量（水無し）（kg）	2.5	4.1	2.8	4.7
電源仕様	単相200 V ±10%　50/60Hz			
給水圧力	0.049～0.49 MPa			
給水圧力（ポンプ使用時）	0.049～0.29 MPa			
使用水および水温	上水または上水同等、10～40℃			
周囲温湿度	5～40℃、90%RH以下			

加湿能力は、加湿器入口空気温度DB45℃・相対湿度15%・通過風速1.0m/sのときの値を示します。

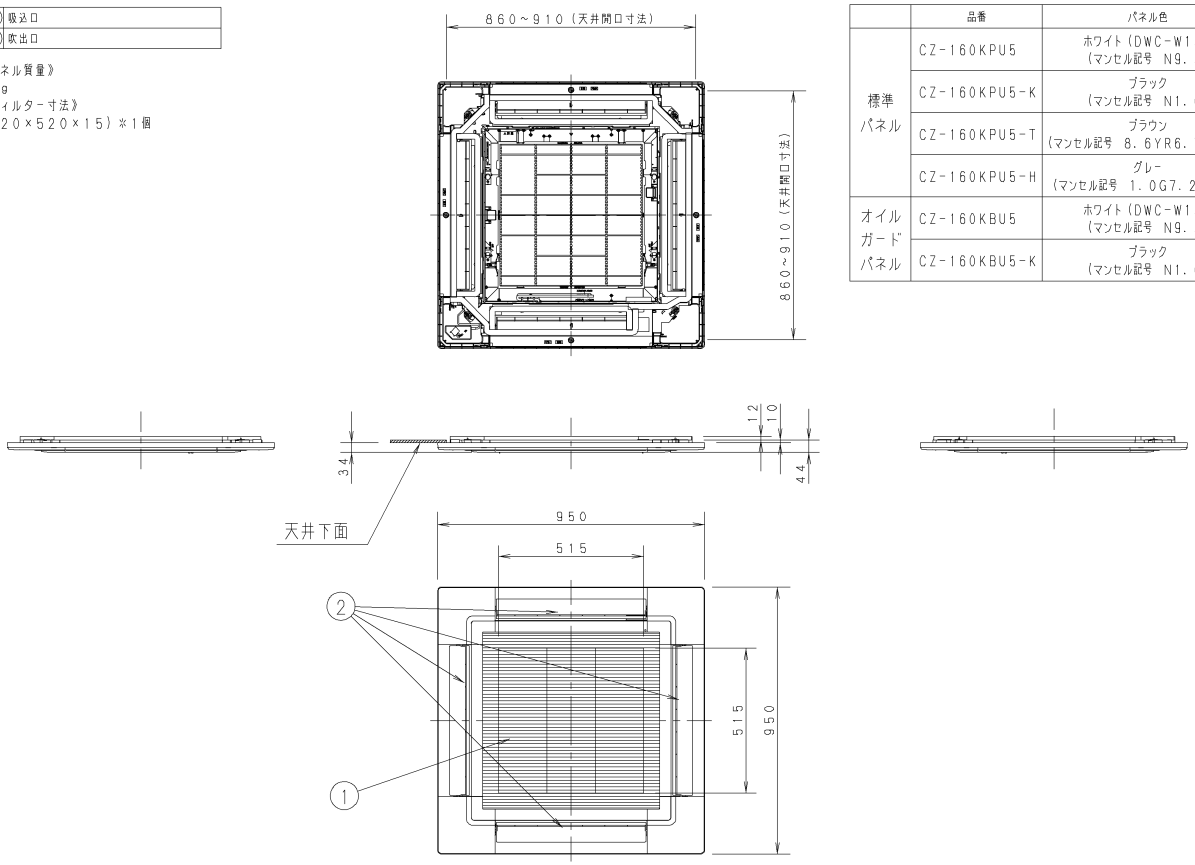
※有効加湿量はそれぞれ、Uシリーズ80H形（CZ-07ASU7、CZ-16ASHU7）、140形（CZ-14ASU7、CZ-20ASHU7）、室外ユニットXEPHY Premium接続の急風量・暖房最大能力、条件（室温20℃DB、55%RH　外気温7℃DB・6℃WB）、接続配管7.5mの値です。その他の機種接続、能力、風量が変わる時の有効加湿量は設備設計資料を参照してください。

Printed in Japan
ACXF55-31941
PA1221 - 10823

●標準パネル（CZ-160KPU5（-K、-H、-T））
●オイルガードパネル（CZ-160KBU5（-K））
■外形寸法図

①	吸込口
②	吹出口

《パネル質量》
5kg
《フィルター寸法》
（520×520×15）※1個

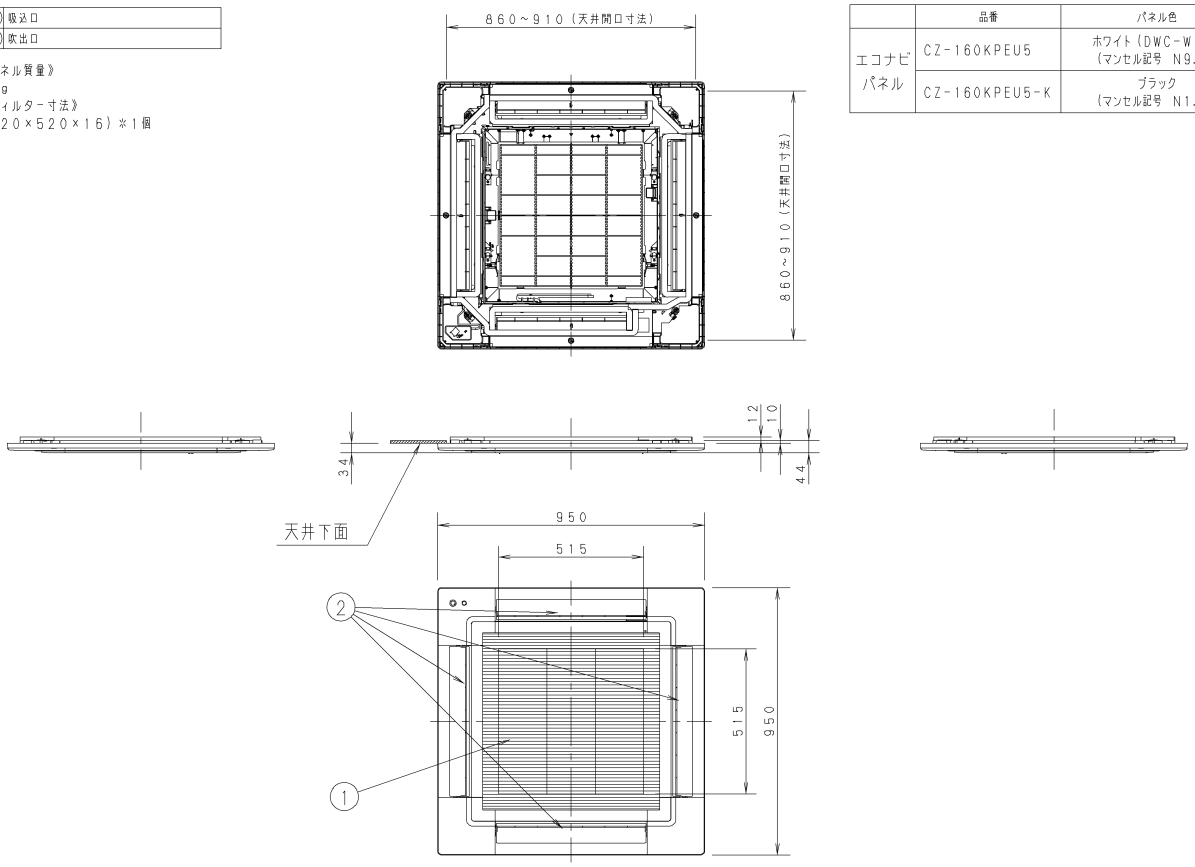


	品番	パネル色
標準パネル	CZ-160KPU5	ホワイト（DWC-W13）（マンセル記号 N9.3）
	CZ-160KPU5-K	ブラック（マンセル記号 N1.0）
	CZ-160KPU5-T	ブラウン（マンセル記号 8.6YR6.7/3.4）
	CZ-160KPU5-H	グレー（マンセル記号 1.0G7.2/0.1）
オイルガードパネル	CZ-160KBU5	ホワイト（DWC-W13）（マンセル記号 N9.3）
	CZ-160KBU5-K	ブラック（マンセル記号 N1.0）

●エコナビパネル（CZ-160KPEU5（-K））
■外形寸法図

①	吸込口
②	吹出口

《パネル質量》
5kg
《フィルター寸法》
（520×520×16）※1個



	品番	パネル色
エコナビパネル	CZ-160KPEU5	ホワイト（DWC-W13）（マンセル記号 N9.3）
	CZ-160KPEU5-K	ブラック（マンセル記号 N1.0）

■工事説明書

据付工事説明書

品番	標準パネル	CZ-160KPU5	CZ-160KPU5-K	CZ-160KPU5-H	CZ-160KPU5-T
	エコナビパネル	CZ-160KPEU5	CZ-160KPEU5-K		
	オイルガードパネル	CZ-160KBU5	CZ-160KBU5-K		

適用室内ユニット　4 方向天井カセット形

●取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

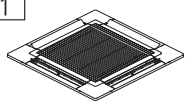
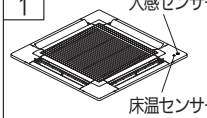
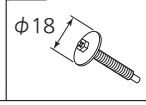
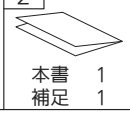
⚠ 警告

❗
- **■ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する**
  （感電・火災等の原因）
- **■ 据付工事は、室内ユニットの「据付工事説明書」に従って行う**
  （感電・火災等の原因）
- **■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
  （ユニットの落下による、けがの原因）
- **■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する**
  （冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
- **■ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - ●電気設備に関する技術基準
  - ●内線規程
  - ●据付工事説明書
  （感電・火災の原因）
- **■ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する**
  - ●端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。
  （発熱・火災等の原因）
- **■ 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う**
  （感電の原因）

⚠ 注意

⃠
- **■ 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない**
  （万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

本体			付属品			エコナビパネルのみ	
品名	標準パネル／オイルガードパネル	エコナビパネル	座付ネジ	ネ　ジ	据付工事説明書	取扱説明書	据付工事説明書
個数	1	1	4	4	2	1	1
形状			M5X26（座付ネジはパネル本体にあらかじめ取り付けられています） 	4X12			試運転編

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

85464369911000
ACXF60-21571
PA0716-10118

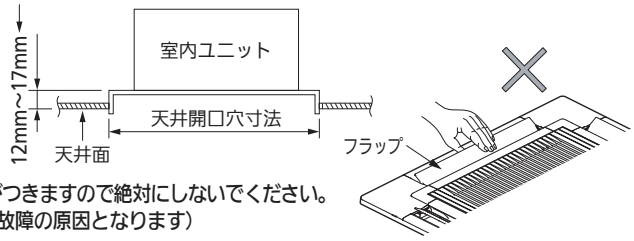
1. 取り付け前の準備

（1）室内ユニット位置の確認

①天井開口穴が下記の範囲内か確認します。
860mm×860mm～910mm×910mm

②梱包箱に印刷されている据付原寸図を使用し、天井面と室内ユニットの位置出しを行ないます。天井面と室内ユニットの位位置が合わないと風漏れや水漏れおよびフラップの作動不良等の原因となります。

必ず12mm～17mmの範囲内とすること。
この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。



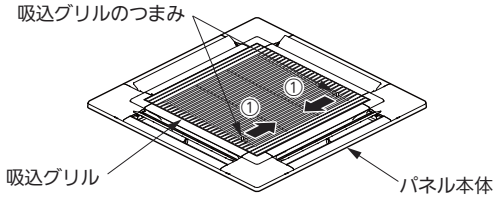
- パネルを下向きに置くことや、立掛け、突起物の上への放置は表面に傷がつきますので絶対にしないでください。
- フラップにさわったり、力を加えたりしないでください。（フラップの故障の原因となります）

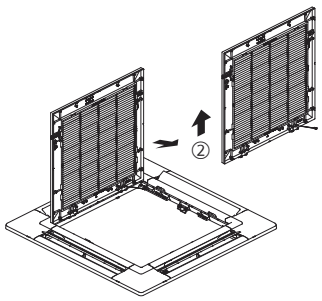
2. 取り付けかた

（1）吸込グリルの取りはずし

①吸込グリルのつまみを矢印①の方向にスライドし、吸込グリルを開けてください。

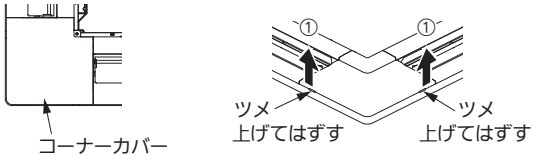
②吸込グリルが開いた状態で吸込グリルのヒンジ部をパネル本体から矢印②の方向にはずしてください。



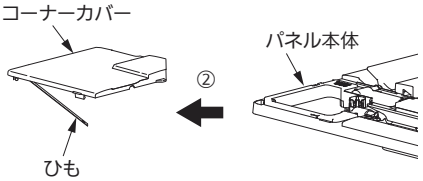


（2）コーナーカバーの取りはずし

①コーナーカバーのツメを矢印①の方向へ押し上げてはずし、コーナーカバーを矢印②の方向へスライドしはずしてください。（図 1）



（図1）



（3）パネル本体の取り付け

フラップの角度変更は電源を入れなければできません。（フラップを手で動かさないでください。手で動かすと壊れるおそれがあります。）

①パネル本体内面の仮掛け金具を室内ユニットの角穴に挿入し仮掛けしてください。（図 2）

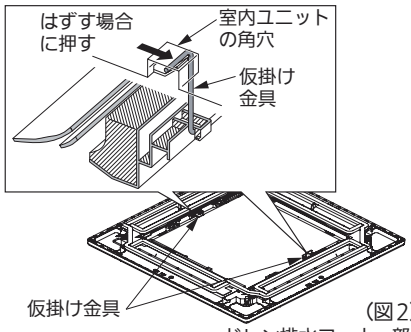
- パネル本体コーナー部の**冷媒配管・ドレン排水**の刻印を室内ユニットの冷媒配管・ドレン排水コーナー部に合わせてください。

②パネル本体の取付穴と室内ユニットのネジ穴を合せてください。

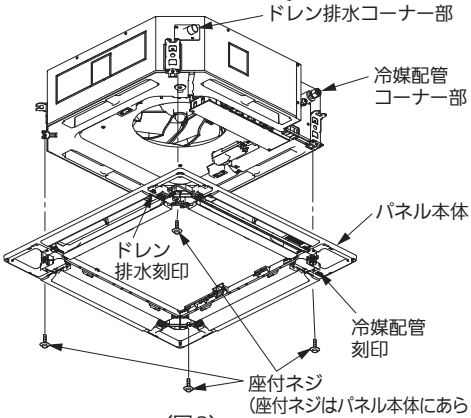
③パネル本体に取り付けられている座付ネジ（M5×26）でパネル本体取付部の4か所を室内ユニットに密着するまで締め込んでください。（図 3）

④パネル本体が天井に密着したことを確認してください。

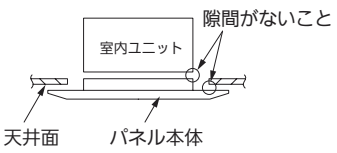
- この時、室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面との間に隙間がないようにしてください。（図 4）
- **天井との隙間が生じた場合、パネル本体を取り付けたまま、室内ユニットの据え付け高さを微調整し、天井との隙間をなくしてください。（図 5）**
- はずす場合はパネル本体を支えながら仮掛け金具を外側に押してください。



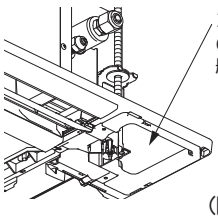
（図2）



（図3）



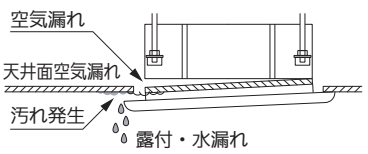
（図4）

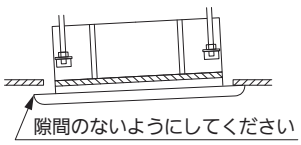


（図5）

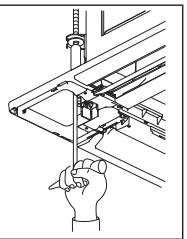
ご 注 意

- 座付ネジの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。
- 座付ネジを締め込んでも天井面とパネル本体との間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。





室内ユニットの水平度、ドレン配管等に影響がでない程度であればパネル本体のコーナー部の穴よりパネル本体を付けたまま本体の高さ調整ができます。



(4) パネル本体の配線方法

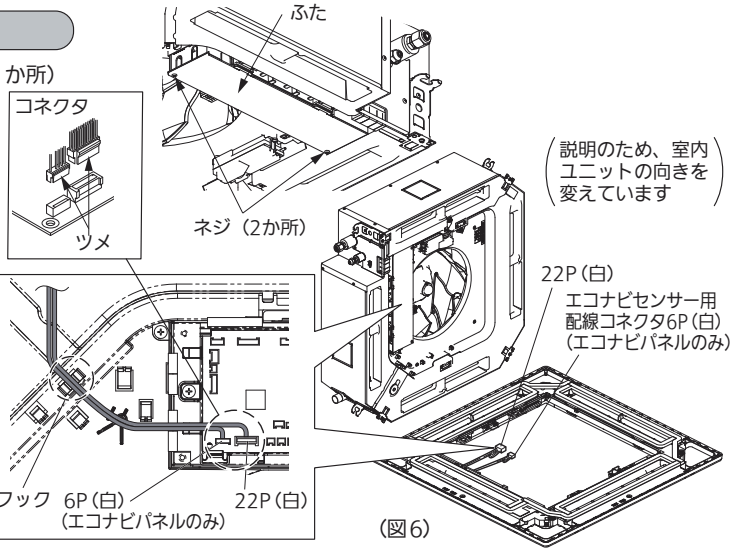
①電装ボックスのふたを取りはずしてください。（ネジ 2 か所）

②パネル本体から出ている配線コネクタ（標準パネルとオイルガードパネルは22P（白）のみ、エコナビパネルは22P（白）と6P（白）の両方）を室内ユニットの基板のコネクタに接続してください。
その際、配線は室内ユニットのフックに通して右図のように配線をしてください。

- **コネクタにはツメがありますので、ツメが基板の外側を向くようにロックがかかるまで確実に挿入してください。（確実に接続されていないとオートフラップが動作せず、リモコンに“P09”が表示されます。また、逆差しした場合は基板部品の破損のおそれがあります。）**

③電装ボックスのふたを元通りに取り付けてください。

- **配線が電装ボックスとふたの間にはさまれていないことを確認してください。**
- **配線が室内ユニットとパネル本体の間にはさまれていないことを確認してください。**



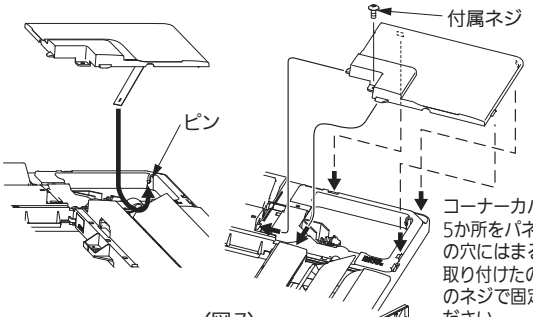
（図6）

(5) コーナーカバー・吸込グリルの取り付け

A.コーナーカバーの取り付け

①コーナーカバーのひもを図7のようにパネル本体のピンに引っかけてください。（エコナビセンサーが付いているコーナーカバーには、ひもは付いていません。）

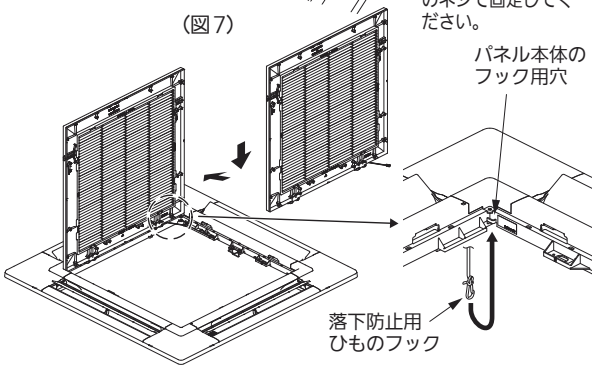
②コーナーカバーをパネル本体に、付属のネジで取り付けてください。



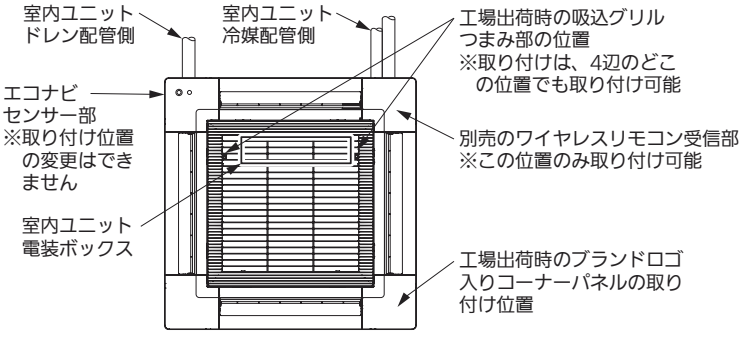
（図7）

B.吸込グリルの取り付け

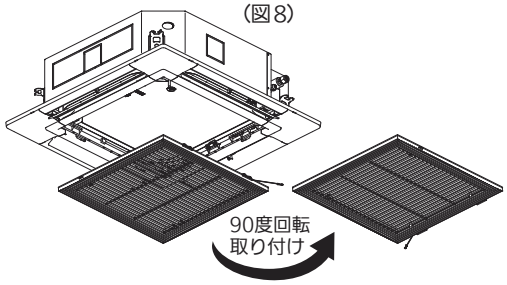
- 取付方法は吸込グリルの取りはずしと逆の手順で取り付けてください。
- **吸込グリルを取り付ける際、配線をはさまないよう注意してください。**
- **必ず吸込グリル落下防止用ひもをパネル本体に図8の様に取り付けてください。落下防止用ひもを取り付けない場合、吸込グリルが落下するおそれがあります。**
- このパネル本体は、複数台設置時の吸込グリルの格子の方向合わせやコーナカバーのブランドロゴの位置（図10）を、お客様の要望により変更することができます。（図9）ただし、別売のワイヤレスリモコン受信部の位置は室内ユニットの冷媒配管部コーナーのみとなっています。（図10）



（図8）



（図10）



（図9）

3. その他

A.据え付け後の確認

- 室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間のないことを再確認してください。
  ※隙間があると水漏れや露付の原因となります。
- 配線接続が確実にされていることを確認してください。
  ※接続されてないとオートフラップが動かない（リモコンにP09の表示が出ます）、また水漏れや露付等の原因となります。

B.ワイヤレスリモコン対応の場合

- 取り付け方法の詳細は、別売のワイヤレスリモコン受信部に付属の据付説明書を参照してください。

C.DCファンモータータップの選択（4方向天井カセット形）

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表1）
ファン回転数を設定する方法は、（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する方法（2）ワイヤードリモコンで設定する方法があります。どちらかの方法で設定してください。※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1　DCファンモータータップ設定表

設定No.	項目コード5Dの設定データ	使用用途／別売品名称　※1
＼	0000	標準（出荷設定）
(1)	0001	高天井設定1（標準、エコナビパネル時）
		オイルガードパネル　※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター　※2
		高性能フィルター（JIS比色法65%）
		昇降グリル付きオイルガードパネル　※2
		しゃ風材（3方向吹出時）　※3
		しゃ風材（吹出ダクト接続時）　※3
(3)	0003	高天井設定2（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（JIS比色法90%）
		デオドラントフィルター
(6)	0006	しゃ風材（2方向吹出時）

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組合せ可能な別売品を確認し選定してください。

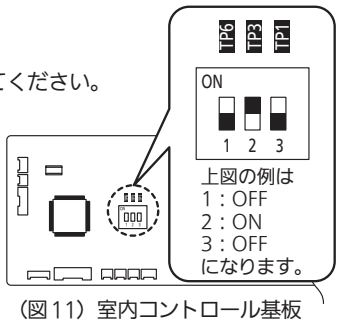
※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルターを組み合わせる場合は、設定No.（3）または設定データ0003を設定してください。

※3. しゃ風材とそれ以外の別売品を併用の場合、
3方向吹出時　設定No.（3）または設定データ0003
吹出ダクト接続時　設定No.（3）または設定データ0003
2方向吹出時　設定No.（6）または設定データ0006
を設定してください。
なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

(1) 基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

<手順>必ず電源（漏電しゃ断器）を切ってください。
①ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。
②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。(図11)
③表1で確認した設定Noに合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

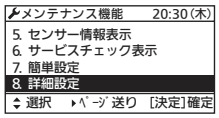
設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ
(1)	SW6 SW3 SW1 ディップスイッチ ON 側 OFF 側 1 2 3	(3)	SW6 SW3 SW1 ディップスイッチ ON 側 OFF 側 1 2 3	(6)	SW6 SW3 SW1 ディップスイッチ ON 側 OFF 側 1 2 3

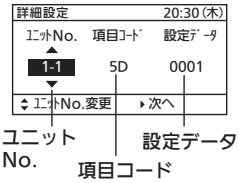


（図11）室内コントロール基板

(2) ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT4/CZ-10RT4A/CZ-10RT4B）

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
① 戻る + 決定 + ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、決定 ボタンを押してください。
⑤ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面］が表示されます。
「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。





据付工事説明書　試運転編

エコナビパネル／昇降グリル付エコナビパネル

品番　CZ-160KPEU5, CZ-160KPEU5-K / CZ-160KSEU5, CZ-160KSEU5-K

適用室内ユニット　4 方向天井カセット形

●据付工事完了後、この「据付工事説明書 試運転編」をよくお読みのうえ、試運転を行い異常がないことを確認してください。
特に「安全上のご注意」は、試運転前に必ずお読みください。

●室内ユニットなどに付属の「据付工事説明書」も合わせてご覧ください。

●この「据付工事説明書 試運転編」は「取扱説明書」、「据付工事説明書」とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
移設、修理の場合は「据付工事説明書 試運転編」を工事担当の方へお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ **据付工事は、「据付工事説明書」に従って行う**
（感電・火災等の原因）

■ **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
- 電気設備に関する技術基準
- 内線規程
- 据付工事説明書

（感電・火災の原因）

■ **据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する**
（感電・火災等の原因）

■ **配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する**
- 端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。

（発熱・火災等の原因）

■ **工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う**
（感電の原因）

■ **据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。**

使用上のお願い

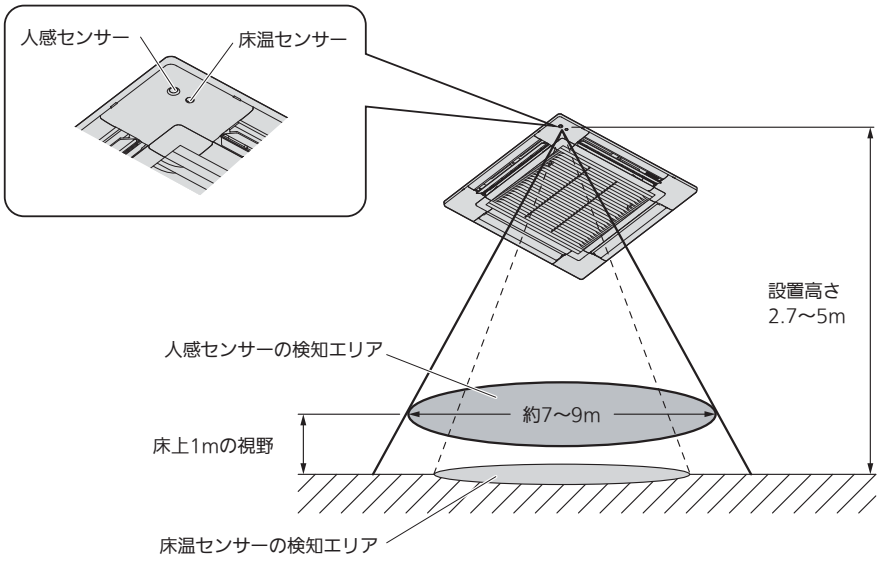
- 次のような場所に設置しない
  ・湿気・油分・振動が多い/ 直射日光があたる/ 熱源の近く/ 結露する（故障の原因）
  ・ノイズが発生する（誤動作の原因）
- エコナビパネルは、屋内専用です。
- センサーの表面に傷を付けない
  （センサーが正しく検知しなくなる原因）
- センサーを強く押さない（破損の原因）
- 熱源や冷却するものが検知エリア内にあると、センサーが正しく検知できない場合があります。
- ベンジンやシンナー、化学雑巾などでふかない（変色や変形の原因）
  ・汚れがひどい場合は、布に水でうすめた中性洗剤を含ませ、よく絞ってからふいてください。その後、乾いた布でふいてください。
- エコナビパネルと併用不可の別売品を同時設置しない
  （動作不良の原因）
  併用可/ 不可の判断はカタログ等でご確認ください。
- ガラス越しの人の動きは、検知できません。
- 起動後、不在判定するまで 2 ～ 5 分かかります。

85464369924000
PA0716-0

設置上のご注意

検知エリアの目安

●人感センサーの死角になる場所では、人を検知することはできません。
　人を検知できる位置にエコナビパネルを取り付けるようにしてください。
●熱源や冷却するものが検知エリア内にあると、センサーが正しく検知できない場合があります。
●床温センサーは、人感センサーエリアの内側を検知しています。



＜人感センサー検知エリア目安＞
・室内ユニット設置高さ 2.7mの場合　：直径 約 7m
・室内ユニット設置高さ 4mの場合　：直径 約 8m
・室内ユニット設置高さ 5mの場合　：直径 約 9m

●取り付け時に、センサー部を強く押さないでください。また、センサー部の表面に傷を付けないでください。
　センサーが破損し、正しく検知できなくなる場合があります。
●次のような場所には設置しないでください。故障や誤作動の原因となる場合があります。
　・湿気、油分、振動が多い場所
　・直射日光があたる場所や熱源の近く
　・結露する場所

設定する （CZ-10RT4Bの場合）

エコナビシステム設定

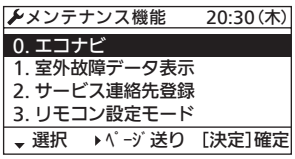
エコナビ機能向けに、室内ユニットの親機 / 子機設定を変更します。
※エコナビ機能を使用するには、室内ユニットの親機がエコナビ機能に対応している必要があります。

1 . 3つのボタンを押す

戻る ＋ 決定 ＋ ▶ ボタンを同時に 4 秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。

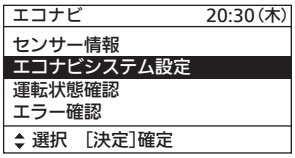
2 .「0. エコナビ」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「0. エコナビ」を選択し、決定 ボタンを押してください。



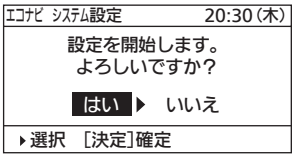
3 .「エコナビシステム設定」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「エコナビシステム設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。



4 . 設定を開始する

◀ / ▶ ボタンで「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。



5 . 設定完了後、システムが自動的に再起動します

6 . エコナビが設定されたか確認する

右図のように ECONAVI が表示されます。
※ 運転中の画面になっていない場合は、運転/停止 ボタンを押して、運転状態にしてください。
※ 運転モードが送風の場合は ECONAVI は表示されません。
送風以外の運転モードにしてください。

お知らせ

●手順 2 の操作後、以下のようなメッセージがリモコン画面に表示されることがあります。

表示メッセージ	説　明
室内ユニットの構成情報を取得中です。	しばらくしてから再度「0. エコナビ」を選択してください。 約 10 分程度待っても状況が変わらない場合は、自動アドレスを行った後「0. エコナビ」を選択してください。

●手順 3 の操作後、以下のようなメッセージがリモコン画面に表示されることがあります。

表示メッセージ	説　明
設定の必要はありません。	室内ユニットの親機が既にエコナビ機能に対応しています。 そのままの設定でエコナビ機能をお使いいただけます。
室内ユニットの親機が見つかりません。	室内ユニットの電源が落ちている可能性があります。 室内ユニットの電源を確認してください。
エコナビ機能対応の室内ユニットが見つかりません。	グループ制御対象の室内ユニットがすべてエコナビ機能に対応していないため、エコナビ機能をお使いいただけません。

試運転する （CZ-10RT4Bの場合）

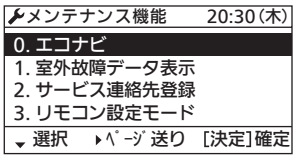
準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を入れてください。
　　電源投入後の約 90 秒間は、人感センサーは初期設定中のため、人の検知を行いません。

1. 3つのボタンを押す

戻る ＋ 決定 ＋ ▶ ボタンを同時に 4 秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。

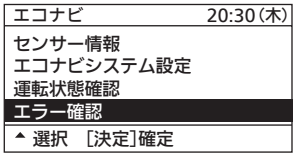
2.「0. エコナビ」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「0. エコナビ」を選択し、決定 ボタンを押してください。



3.「エラー確認」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「エラー確認」を選択し、決定 ボタンを押してください。



4. センサーの状態が「正常」であることを確認する

（ ▲ / ▼ ボタンで画面表示の室内ユニットをスクロールできます。）
すべての室内ユニットのセンサーの状態が表示されます。

- 「**正常**」：エコナビパネルのセンサーは正常に動作しています。
- 「**準備中**」：エコナビパネルのセンサーは初期設定中です。
  90 秒以内に「正常」と表示されることを確認してください。
- 「**未対応**」：エコナビ機能に対応していない室内ユニット　です。

試運転は以上です。エコナビパネルを接続しているが「正常」「準備中」以外の表示の場合は、手順 5 を確認してください。

※「1-1」、「1-2」は室内ユニット No. を示します。エコナビパネルが接続されていない室内ユニットは、「接続なし」が表示されます。

※「センサー 1」とは、別売品のエコナビセンサー（CZ-CSEN1 等）を指します。接続されていない場合は、センサー 1 に「接続なし」が表示されます。

5. センサーの状態が「正常」「準備中」以外の場合

エコナビパネルを接続しているにもかかわらずセンサーの状態が「異常」「接続なし」になる場合は、以下の症状が発生している可能性があります。対象の室内ユニットを特定し、センサーを確認しください。

- 「異常」：センサーが故障している可能性があります。
- 「接続なし」：室内ユニットとセンサー間の配線が接続されていない可能性があります。

※ 室内ユニットの特定は、風向操作で確認できます。
　確認方法：
　① メンテナンス機能を終了する。
　　メニュー ボタンを押して、メンテナンス機能画面を表示し、戻る ボタンを押す。
　② 風向操作をする。
　　メニュー の「2. 風向設定」で対象の「室内ユニット No」を選んで、風向設定を行ってください。設定したフラップ動作に変化したユニットが対象機器になります。

室内ユニットが特定できましたら、漏電しゃ断器（電源）を切り、センサー配線のコネクターを基板からはずして再接続してください。漏電しゃ断器（電源）を入れ、再度 1 ～ 4 を操作し「エラー確認」にて状態を確認してください。再度、「異常」「接続なし」が表示された場合、エコナビパネルの交換が必要です。

裏面につづく

外部機器連動機能 (CZ-10RT4Bの場合)

外部機器連動機能をご利用になると、室内コントロール基板から人感センサー出力やサーモ ON 出力、運転信号出力のいずれか 1 つを取り出せ、外部機器との連動が可能です。

■制御内容

●人感センサー出力に連動（警報とは連動しません）
人の在→不在の変化を検知時：外部機器の運転をオフします。
「**不在検知時間設定**」(P.②) により運転オフのタイミングを遅延させることが可能です。
人の不在→在の変化を検知時：外部機器の運転をオンします。

●運転信号出力に連動（エアコン連動）
室内ユニットが運転時：外部機器の運転をオンします。
室内ユニットが停止時：外部機器の運転をオフします。

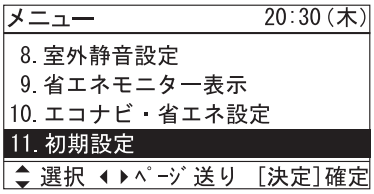
●サーモ出力に連動
サーモ ON 時 ：外部機器の運転をオンします。
サーモ OFF 時：外部機器の運転をオフします。

1 . メニュー画面を表示する

メニュー ボタンを押します。
メニュー画面が表示されます。

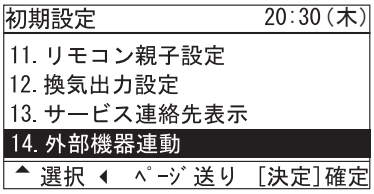
2 .「11. 初期設定」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「11. 初期設定」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



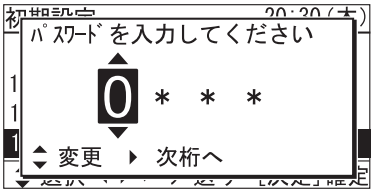
3 .「外部機器連動」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「外部機器連動」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



4 . パスワードを入力する（パスワード設定時）

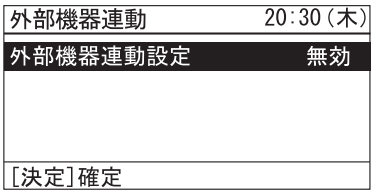
▲ / ▼ ボタンで数字を選択し、▶ ボタンで次の桁に移行します。(繰り返す)
入力が完了したら 決定 ボタンを押してください。
※ パスワードが未設定のときは、パスワード入力画面が表示されたら 決定 ボタンを押してください。



外部機器連動機能（つづき）

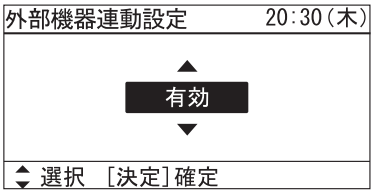
5.「外部機器連動設定」が「無効」の場合

決定 ボタンを押してください。
▲ / ▼ ボタンで「有効」を選択し、
決定 ボタンを押してください



「外部機器連動設定」が「有効」の場合

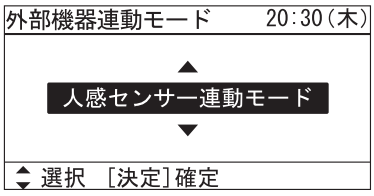
外部機器連動機能が有効のとき、「モード」「不在検知時間設定」を表示します。

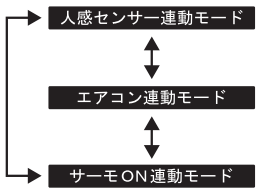


6. 設定する

「モード」を設定する場合

▲ / ▼ ボタンで「モード」を選択し、決定 ボタンを押してください。
外部機器連動モードを変更することができます。
▲ / ▼ ボタンで選択し、 決定 ボタンを押してください。





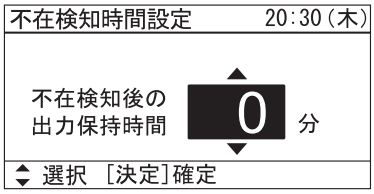
エコナビセンサーの在・不在出力に連動します。

エアコンの運転 / 停止出力に連動します。

エアコンのサーモ ON/OFF 出力に連動します。

「不在検知時間設定」を設定する場合

▲ / ▼ ボタンで「不在検知時間設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。

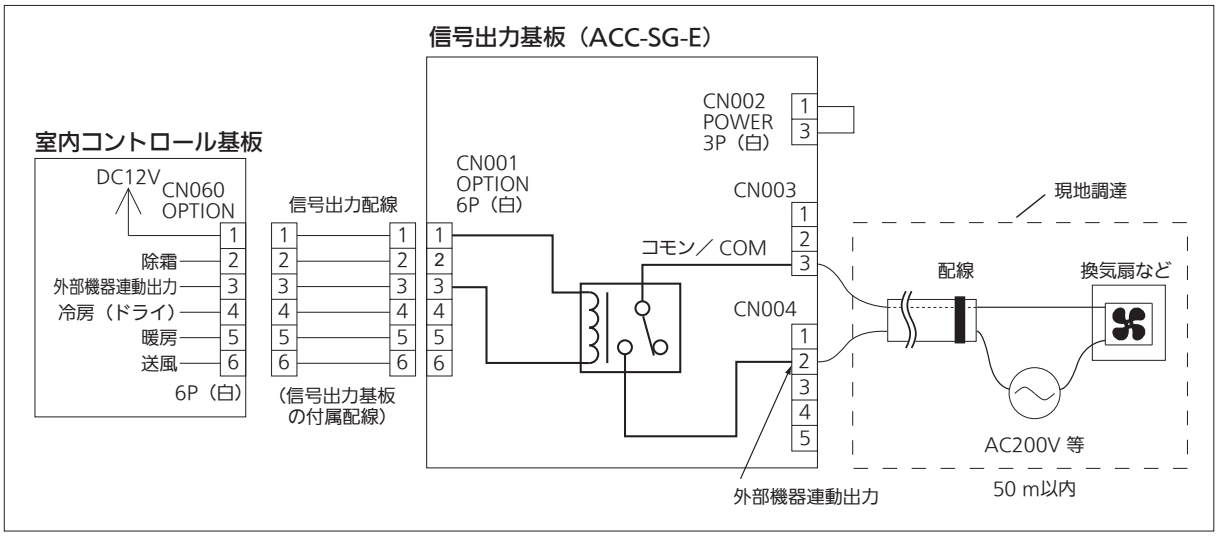


運転オフのタイミングを変更することができます。
▲ / ▼ ボタンで0～60分の間で1分刻みに設定可能です。
設定後、 決定 ボタンを押してください。
メニュー ボタンを2回押して終了してください。

外部機器連動機能（つづき）

■配線例

信号出力基板（（ACC-SG-E）、別売品）を使用した連動システム例



お知らせ

●空調機からの外部出力信号は外部機器の管理用に設けられていますが、 空調機が動作しなくなった場合でも、外部接続機器が安全側へ動作を移行するよう事前に措置を講じてください。

●空調機からの外部出力信号は停電時にはオフとなります。
停電時の特別な配慮が必要な場合は、外部回路で対応してください。

仕様

品番	CZ-160KPEU5, CZ-160KPEU5-K	CZ-160KSEU5, CZ-160KSEU5-K
外形寸法	（幅）950mm×（奥行き）950mm×（高さ）33.5mm	
質量	5kg	6kg
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 %～ 80 %（屋内設置専用）	
電源	DC5V（室内ユニットより供給）	

●昇降グリル付標準パネル（CZ-160KSU5（-K））
●昇降グリル付エコナビパネル（CZ-160KSEU5（-K））
●昇降グリル付オイルガードパネル（CZ-160KSBU5）
■工事説明書

据付工事説明書

品番	昇降グリル付標準パネル	CZ-160KSU5	CZ-160KSU5-K
	昇降グリル付エコナビパネル	CZ-160KSEU5	CZ-160KSEU5-K
	昇降グリル付オイルガードパネル	CZ-160KSBU5	

適用室内ユニット　４方向天井カセット形

●取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗
- **■ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する**
  （感電・火災等の原因）
- **■ 据付工事は、室内ユニットの「据付工事説明書」に従って行う**
  （感電・火災等の原因）
- **■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
  （ユニットの落下による、けがの原因）
- **■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する**
  （冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
- **■ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - ●電気設備に関する技術基準
  - ●内線規程
  - ●据付工事説明書
  （感電・火災の原因）
- **■ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する**
  - ●端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。
  （発熱・火災等の原因）
- **■ 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う**
  （感電の原因）

⚠ 注意

⃠
- **■可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない**
  （万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

85464369925000
ACXF60-21651
PA0716-10118

本体（昇降グリル付）		
品名	標準パネル／オイルガードパネル	エコナビパネル
個数	1	1
形状	昇降用受信部	昇降用受信部 人感センサー 床温センサー

付属品					エコナビパネルのみ	
品名	座付ネジ	ネ　ジ	取扱説明書	据付工事説明書	取扱説明書	据付工事説明書
個数	4	4	1	2	1	1
形状	M5X26　（座付ネジはパネル本体にあらかじめ取り付けられています） φ18	4X12		本書　1 補足　1		試運転編

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

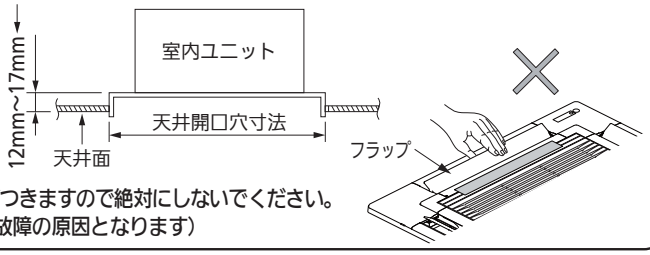
1. 取り付け前の準備

（1）室内ユニット位置の確認

①天井開口穴が下記の範囲内か確認します。
860mm×860mm～910mm×910mm

②梱包箱に印刷されている据付原寸図を使用し、天井面と室内ユニットの位置出しを行ないます。天井面と室内ユニットの位位置が合わないと風漏れや水漏れおよびフラップの作動不良等の原因となります。

必ず12mm～17mmの範囲内とすること。
この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。

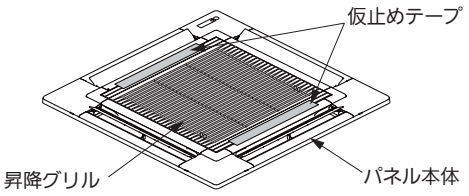


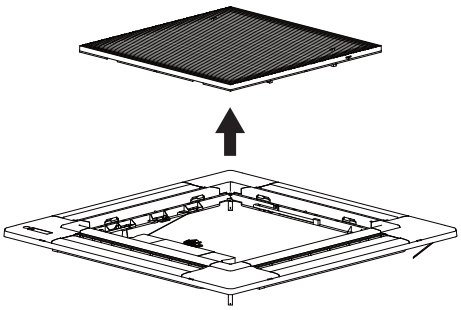
- パネルを下向きに置くことや、立掛け、突起物の上への放置は表面に傷がつきますので絶対にしないでください。
- フラップにさわったり、力を加えたりしないでください。（フラップの故障の原因となります）

2. 取り付けかた

（1）昇降グリルの取りはずし

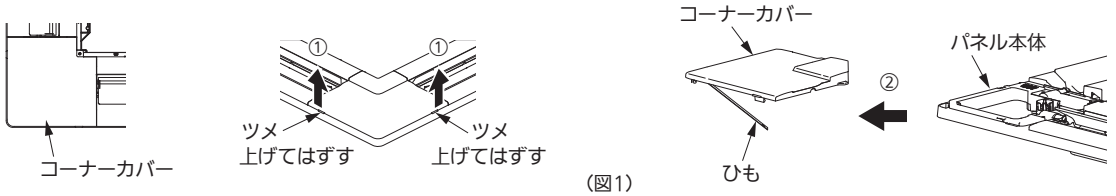
①仮止めテープをはがし、昇降グリルを上方向に持ち上げ、パネル本体からはずしてください。





（2）コーナーカバーの取りはずし

①コーナーカバーのツメを矢印①の方向へ押し上げてはずし、コーナーカバーを矢印②の方向へスライドしはずしてください。（図 1）



（図1）

(3) パネル本体の取り付け

フラップの角度変更は電源を入れなければできません。(フラップを手で動かさないでください。手で動かすと壊れるおそれがあります。)

①パネル本体内面の仮掛け金具を室内ユニットの角穴に挿入し仮掛けしてください。(図2)

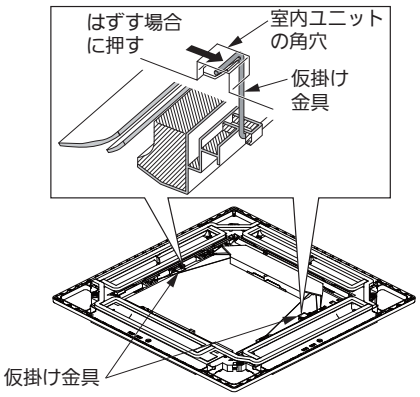
- パネル本体コーナー部の**冷媒配管・ドレン排水**の刻印を室内ユニットの冷媒配管・ドレン排水コーナー部に合わせてください。

②パネル本体の取付穴と室内ユニットのネジ穴を合せてください。

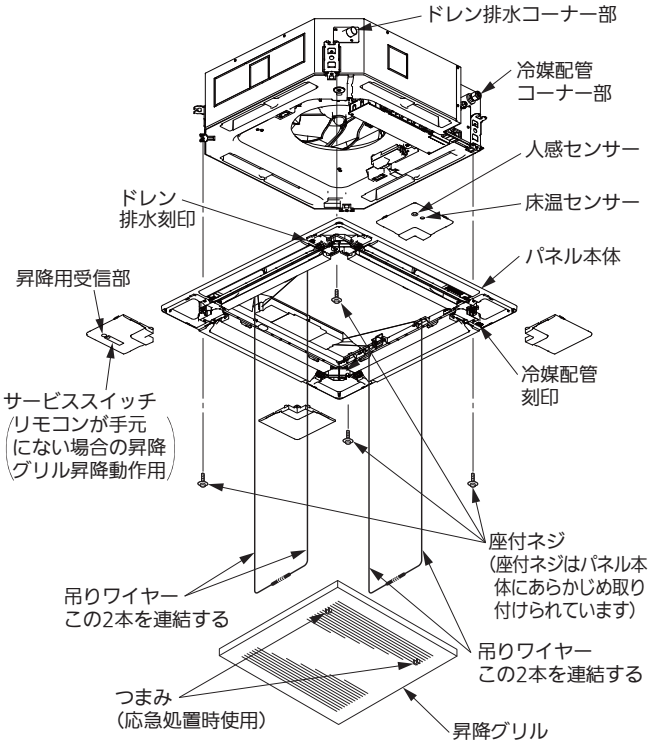
③パネル本体に取り付けられている座付ネジ（M5×26）でパネル本体取付部の4か所を室内ユニットに密着するまで締め込んでください。(図3)

④パネル本体が天井に密着したことを確認してください。

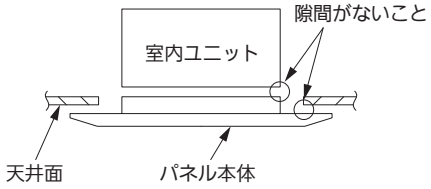
- この時、室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面との間に隙間がないようにしてください。(図4)
- **天井との隙間が生じた場合、パネル本体を取り付けたまま、室内ユニットの据え付け高さを微調整し、天井との隙間をなくしてください。(図5)**
- はずす場合はパネル本体を支えながら仮掛け金具を外側に押してください。



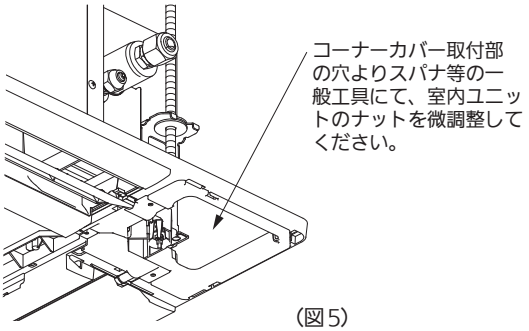
(図2)



(図3)



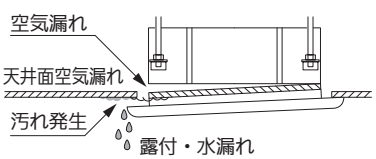
(図4)



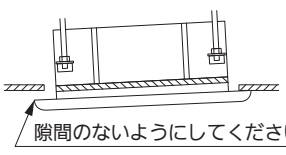
(図5)

ご 注 意

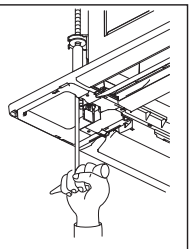
- 座付ネジの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。



- 座付ネジを締め込んでも天井面とパネル本体との間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。



室内ユニットの水平度、ドレン配管等に影響がでない程度であればパネル本体のコーナー部の穴よりパネル本体を付けたまま本体の高さ調整ができます。



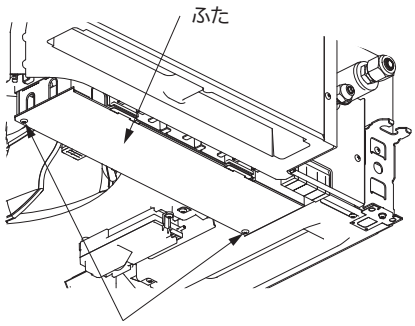
（4）パネル本体の配線方法

A.フラップモーター、エコナビパネルの配線

①電装ボックスのふたを取りはずしてください。（ネジ 2 か所）（図6）

②パネル本体から出ている配線コネクタ（標準パネルとオイルガードパネルは22P（白）のみ、エコナビパネルは22P（白）と6P（白）の両方）を室内ユニットの基板のコネクタに接続してください。
その際、配線は室内ユニットのフックに通して下図のように配線をしてください。（図7）

- **コネクタにはツメがありますので、ツメが基板の外側を向くようにロックがかかるまで確実に挿入してください。**
  （確実に接続されていないとオートフラップが動作せず、リモコンに“P09”が表示されます。
  また、逆差しした場合は基板部品の破損のおそれがあります。）



（図6）

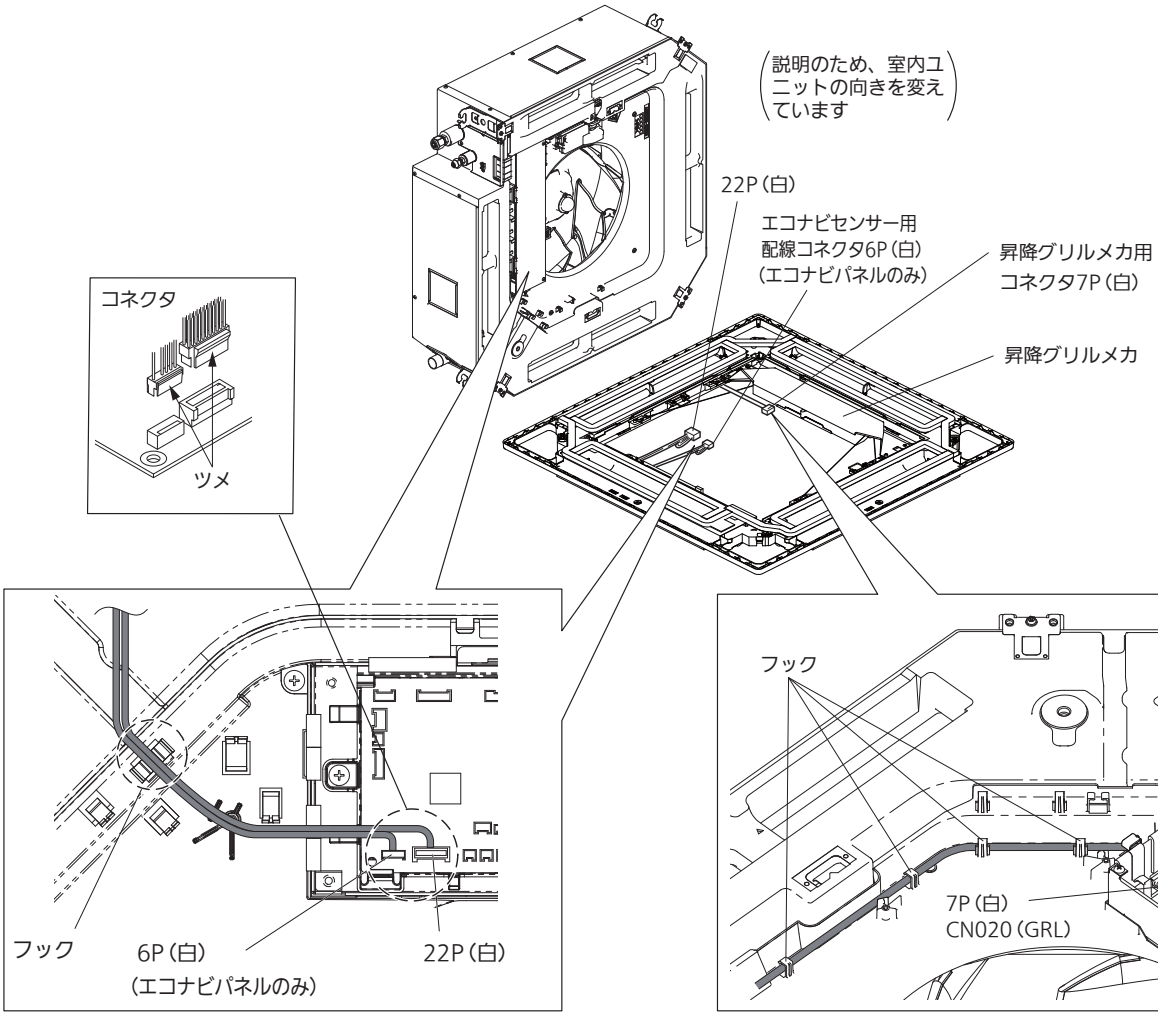
B.昇降グリルメカの配線

①昇降グリルメカから出ている配線コネクタ7P（白）を室内ユニットのコネクタに接続してください。
その際、配線は室内ユニットのフックに通して下図のように配線をしてください。（図8）

- **コネクタを基板に接続したのち、軽く引っ張り抜けたりぐらぐらしないことを確認してください。**
  （確実に接続されてないと、昇降グリルが動作しません。）

②電装ボックスのふたを元通りに取り付けてください。（図6）

- **配線が電装ボックスとふたの間にはさまれていないことを確認してください。**
- **配線が室内ユニットとパネル本体の間にはさまれていないことを確認してください。**



（図7）　（図8）

裏面につづく

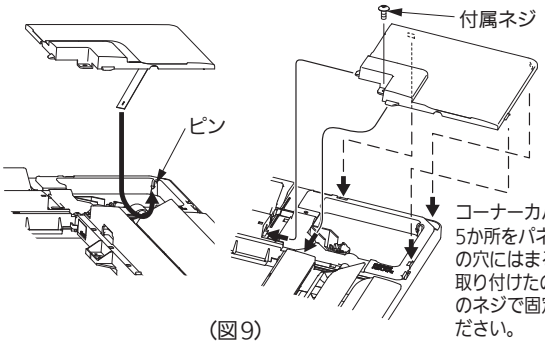
(5) コーナーカバー・昇降グリルの取り付け

A.コーナーカバーの取り付け

①コーナーカバーのひもを図9のようにパネル本体のピンに引っかけてください。（エコナビセンサー、昇降用受信部が付いているコーナーカバーには、ひもは付いていません。）

②コーナーカバーをパネル本体に、付属のネジで取り付けてください。

● **昇降用受信部が付いているコーナーカバーを取り付ける時は、配線がパネル本体との間にはさまれていないことを確認してください。**



（図9）

B.昇降グリルの取り付け

①図のようにグリルプーリーへワイヤーを確実に通してください。（図10、11）

②通電の有無で次の対応を行ってください。

● **取り付けが終わったらもう一度次の確認をしてください。**
- **昇降グリルの吊りワイヤーが配線などと接触していませんか**
- **吊りワイヤーがプーリーからはずれたりはさまったりしていませんか**

※このパネル本体は、複数台設置時の昇降グリルの格子の方向合わせやコーナカバーのブランドロゴの位置（図15）を、お客様の要望により変更することができます。（図14）ただし、別売のワイヤレスリモコン受信部の位置は室内ユニットの冷媒配管部コーナーみとなっています。（図15）
無理やり、指定以外位置に取り付けした場合は、別売のワイヤレスリモコン受信部の故障の原因となります。

エアコンに電源が通電されている場合

①昇降グリルのつまみ（2か所）（図12）が昇降グリルよりはみだしていないことを確認してください。

②リモコンで昇降グリルを上昇させてください。

エアコンに電源が通電されていない場合

応急処置のしかた

電源が通電されていなくてリモコンで昇降グリルを上昇できない場合は付属の応急用部品を使用してください。

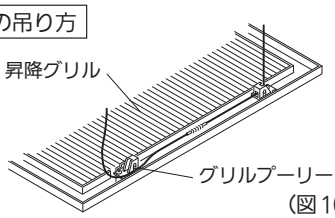
①昇降グリルに取り付けてある応急用部品（ヒンジ）は、ネジをはずして収納部から図の位置に付け替えます。（図13）

②昇降グリルに取り付けてある応急用部品（ストッパー）は、ネジをはずして図のように向きを変えて付け直します。（図12）

③昇降グリルの応急用部品（ヒンジ）をパネル本体に引っ掛けて、つまみをスライドさせて取り付けます。

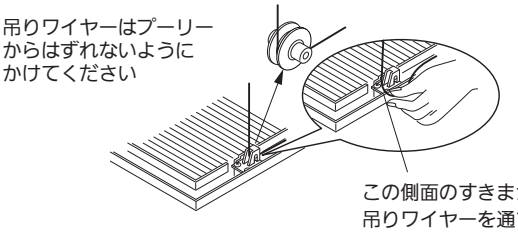
④昇降動作をするときは必ずつまみを収納し、応急用部品（ヒンジ）を収納部に取り付けてください。

昇降グリルの吊り方



（図10）

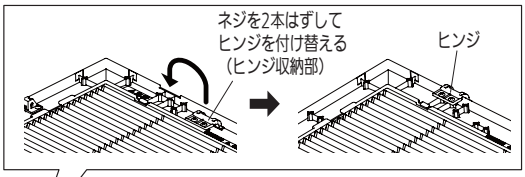
グリルプーリーへのワイヤーの通し方

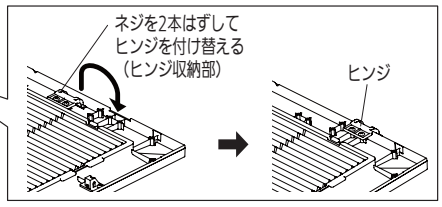


（図11）

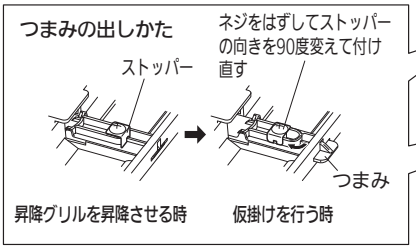
応急用部品の取り付け方

停止時昇降グリルの昇降動作が出来ないときに、降ろした昇降グリルをパネル本体に取り付ける場合

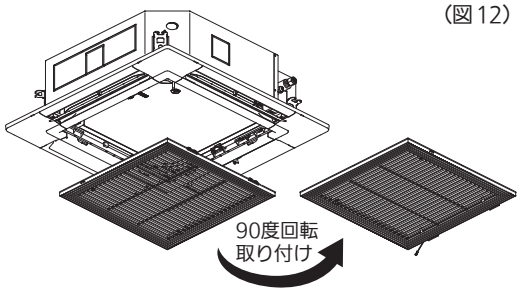




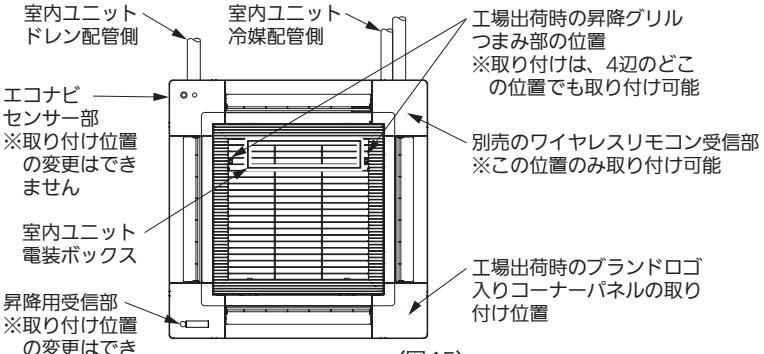
（図13）



（図12）



（図14）



（図15）

3. その他

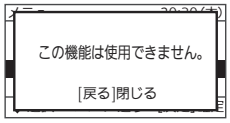
A.据え付け後の確認

- 室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間のないことを再確認してください。
  ※隙間があると水漏れや露付の原因となります。
- 配線接続が確実にされていることを確認してください。
  ※接続されてないとオートフラップが動かない（リモコンにP09の表示が出ます）、また水漏れや露付等の原因となります。

B.昇降グリルを操作するための設定方法 （別売品：CZ-10RT4/CZ-10RT4A/CZ-10RT4B）

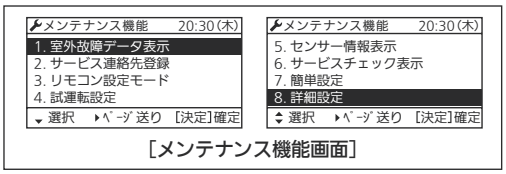
■ 多機能ワイヤードリモコンで昇降グリルを操作するためには必ず（ワイヤードリモコンから）下記設定を行ってください。

この設定をしないと、昇降グリル操作時に
“この機能は使用できません。”が表示されます。



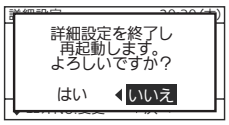
多機能ワイヤードリモコン

① 戻る + 決定 + ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「30」に変更してください。
④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを「0000」から「0001」に変更し、 決定 ボタンを押してください。
⑤ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、 戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面］が表示されます。
「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。



［メンテナンス機能画面］

［詳細設定画面］

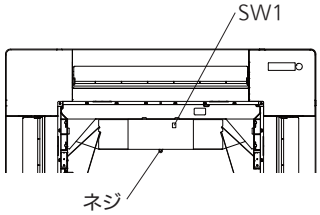


［詳細設定終了画面］

C.昇降グリル下降距離の設定

- 下記方法で昇降グリルの下降距離の設定が可能です。
- 図のネジをはずし、昇降グリルメカのふた（板金つき）を開け、基板上のSW1で設定してください。
- 出荷時は2.0mの設定になっています。

昇降高さの設定



昇降グリル下降距離設定（SW1）
（出荷設定＝2.0m）

[m]	1	2	3	4
1.2	0	0	0	未使用（常時0）
1.6	1	0	0	
2.0	0	1	0	
2.4	1	1	0	
2.8	0	0	1	
3.1	1	0	1	
3.5	0	1	1	
3.9	1	1	1	

D.ワイヤレスリモコン対応の場合

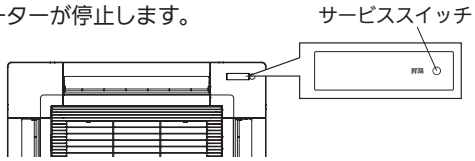
●取り付け方法の詳細は、別売のワイヤレスリモコン受信部に付属の据付説明書を参照してください。

据え付け後の動作確認

●設定終了後に、動作確認を行ってください。
●電源投入時、はじめて操作した場合は、下げるを押しても上昇動作をします。
●昇降グリルがパネル本体にきちんと収まると、収納動作を2回くり返した後、モーターが停止します。

サービス時

●リモコン（ワイヤード・昇降リモコン・ワイヤレス）を使用しなくても、右図のサービススイッチにて、昇降が可能です。サービススイッチは押すごとに、上昇、停止、下降をくり返します。



E.DCファンモータータップの選択（4方向天井カセット形）

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表1）
ファン回転数を設定する方法は、（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する方法（2）ワイヤードリモコンで設定する方法があります。どちらかの方法で設定してください。※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1　DCファンモータータップ設定表

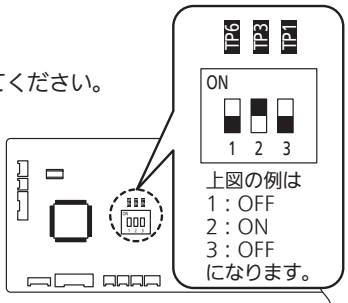
設定No.	項目コード5Dの設定データ	使用用途／別売品名称　※1
	0000	標準（出荷設定）
(1)	0001	高天井設定1（標準、エコナビパネル時）
		オイルガードパネル　※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター　※2
		高性能フィルター（JIS比色法65%）
		昇降グリル付きオイルガードパネル　※2
		しゃ風材（3方向吹出時）　※3
		しゃ風材（吹出ダクト接続時）　※3
(3)	0003	高天井設定2（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（JIS比色法90%）
		デオドラントフィルター
(6)	0006	しゃ風材（2方向吹出時）

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組合せ可能な別売品を確認し選定してください。
※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルターを組み合わせる場合は、設定No.（3）または設定データ0003を設定してください。
※3. しゃ風材とそれ以外の別売品を併用の場合、
3方向吹出時　設定No.（3）または設定データ0003
吹出ダクト接続時　設定No.（3）または設定データ0003
2方向吹出時　設定No.（6）または設定データ0006
を設定してください。
なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

(1) 基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

<手順>必ず電源（漏電しゃ断器）を切ってください。
①ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。
②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。(図16)
③表1で確認した設定Noに合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

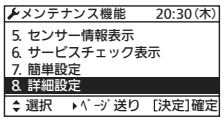
設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ
(1)	TP3 TP2 TP1 ディップスイッチ ON 側 ON 1 2 3 OFF 側	(3)	TP3 TP2 TP1 ディップスイッチ ON 側 ON 1 2 3 OFF 側	(6)	TP3 TP2 TP1 ディップスイッチ ON 側 ON 1 2 3 OFF 側

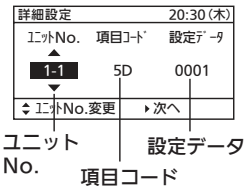


（図16）室内コントロール基板

(2) ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT4/CZ-10RT4A/CZ-10RT4B）

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
① 戻る + 決定 + ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、 決定 ボタンを押してください。
⑤ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、 戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面］が表示されます。
「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。





据付工事説明書　試運転編

エコナビパネル／昇降グリル付エコナビパネル

品番　CZ-160KPEU5, CZ-160KPEU5-K / CZ-160KSEU5, CZ-160KSEU5-K

適用室内ユニット　4方向天井カセット形

●据付工事完了後、この「据付工事説明書 試運転編」をよくお読みのうえ、試運転を行い異常がないことを確認してください。
特に「安全上のご注意」は、試運転前に必ずお読みください。
●室内ユニットなどに付属の「据付工事説明書」も合わせてご覧ください。
●この「据付工事説明書 試運転編」は「取扱説明書」、「据付工事説明書」とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
移設、修理の場合は「据付工事説明書 試運転編」を工事担当の方へお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗
- **■ 据付工事は、「据付工事説明書」に従って行う**
  （感電・火災等の原因）
- **■ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - ●電気設備に関する技術基準
  - ●内線規程
  - ●据付工事説明書
  （感電・火災の原因）
- **■ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する**
  （感電・火災等の原因）
- **■ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する**
  - ●端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。
  （発熱・火災等の原因）
- **■ 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う**
  （感電の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

使用上のお願い

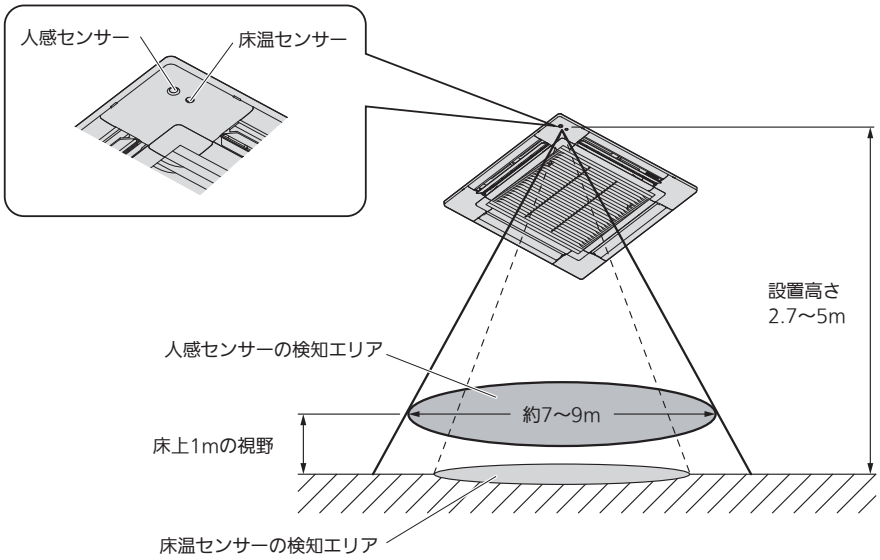
- ●次のような場所に設置しない
  ・湿気・油分・振動が多い/ 直射日光があたる/ 熱源の近く/ 結露する（故障の原因）
  ・ノイズが発生する（誤動作の原因）
- ●エコナビパネルは、屋内専用です。
- ●センサーの表面に傷を付けない
  （センサーが正しく検知しなくなる原因）
- ●センサーを強く押さない（破損の原因）
- ●熱源や冷却するものが検知エリア内にあると、センサーが正しく検知できない場合があります。
- ●ベンジンやシンナー、化学雑巾などでふかない（変色や変形の原因）
  ・汚れがひどい場合は、布に水でうすめた中性洗剤を含ませ、よく絞ってからふいてください。その後、乾いた布でふいてください。
- ●エコナビパネルと併用不可の別売品を同時設置しない
  （動作不良の原因）
  併用可/ 不可の判断はカタログ等でご確認ください。
- ●ガラス越しの人の動きは、検知できません。
- ●起動後、不在判定するまで2～5分かかります。

85464369924000
PA0716-0

設置上のご注意

検知エリアの目安

●人感センサーの死角になる場所では、人を検知することはできません。
　人を検知できる位置にエコナビパネルを取り付けるようにしてください。
●熱源や冷却するものが検知エリア内にあると、センサーが正しく検知できない場合があります。
●床温センサーは、人感センサーエリアの内側を検知しています。



＜人感センサー検知エリア目安＞
・室内ユニット設置高さ 2.7mの場合　：直径 約 7m
・室内ユニット設置高さ 4mの場合　：直径 約 8m
・室内ユニット設置高さ 5mの場合　：直径 約 9m

●取り付け時に、センサー部を強く押さないでください。また、センサー部の表面に傷を付けないでください。
　センサーが破損し、正しく検知できなくなる場合があります。
●次のような場所には設置しないでください。故障や誤作動の原因となる場合があります。
　・湿気、油分、振動が多い場所
　・直射日光があたる場所や熱源の近く
　・結露する場所

設定する（CZ-10RT4Bの場合）

エコナビシステム設定

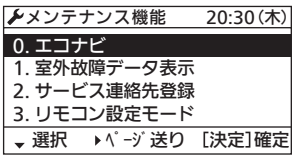
エコナビ機能向けに、室内ユニットの親機 / 子機設定を変更します。
※エコナビ機能を使用するには、室内ユニットの親機がエコナビ機能に対応している必要があります。

1 . 3つのボタンを押す

戻る ＋ 決定 ＋ ▶ ボタンを同時に 4 秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。

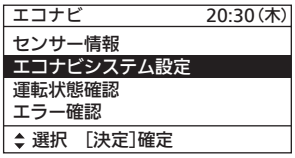
2 .「0. エコナビ」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「0. エコナビ」を選択し、決定 ボタンを押してください。



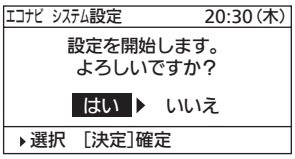
3 .「エコナビシステム設定」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「エコナビシステム設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。



4 . 設定を開始する

◀ / ▶ ボタンで「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。



5 . 設定完了後、システムが自動的に再起動します

6 . エコナビが設定されたか確認する

右図のように ECONAVI が表示されます。
※ 運転中の画面になっていない場合は、運転/停止 ボタンを押して、運転状態にしてください。
※ 運転モードが送風の場合は ECONAVI は表示されません。
送風以外の運転モードにしてください。

お知らせ

●手順 2 の操作後、以下のようなメッセージがリモコン画面に表示されることがあります。

表示メッセージ	説　明
室内ユニットの構成情報を取得中です。	しばらくしてから再度「0. エコナビ」を選択してください。 約 10 分程度待っても状況が変わらない場合は、自動アドレスを行った後「0. エコナビ」を選択してください。

●手順 3 の操作後、以下のようなメッセージがリモコン画面に表示されることがあります。

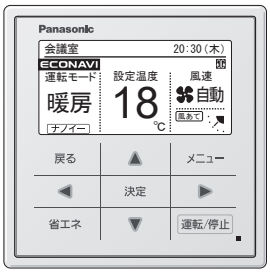
表示メッセージ	説　明
設定の必要はありません。	室内ユニットの親機が既にエコナビ機能に対応しています。 そのままの設定でエコナビ機能をお使いいただけます。
室内ユニットの親機が見つかりません。	室内ユニットの電源が落ちている可能性があります。 室内ユニットの電源を確認してください。
エコナビ機能対応の室内ユニットが見つかりません。	グループ制御対象の室内ユニットがすべてエコナビ機能に対応していないため、エコナビ機能をお使いいただけません。

試運転する （CZ-10RT4Bの場合）

準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器（電源）を入れてください。
　　電源投入後の約 90 秒間は、人感センサーは初期設定中のため、人の検知を行いません。

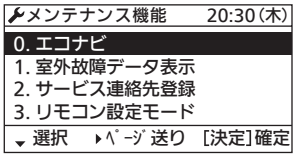
1. 3つのボタンを押す

戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に 4 秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。



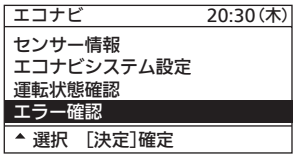
2.「0. エコナビ」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「0. エコナビ」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



3.「エラー確認」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「エラー確認」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



4. センサーの状態が「正常」であることを確認する

（ ▲ / ▼ ボタンで画面表示の室内ユニットをスクロールできます。）
すべての室内ユニットのセンサーの状態が表示されます。

- 「**正常**」：エコナビパネルのセンサーは正常に動作しています。
- 「**準備中**」：エコナビパネルのセンサーは初期設定中です。
  90 秒以内に「正常」と表示されることを確認してください。
- 「**未対応**」：エコナビ機能に対応していない室内ユニット　です。

試運転は以上です。エコナビパネルを接続しているが「正常」「準備中」以外の表示の場合は、手順 5 を確認してください。

※「1-1」、「1-2」は室内ユニット No. を示します。エコナビパネルが接続されていない室内ユニットは、「接続なし」が表示されます。

※「センサー 1」とは、別売品のエコナビセンサー（CZ-CSEN1 等）を指します。接続されていない場合は、センサー 1 に「接続なし」が表示されます。

5. センサーの状態が「正常」「準備中」以外の場合

エコナビパネルを接続しているにもかかわらずセンサーの状態が「異常」「接続なし」になる場合は、以下の症状が発生している可能性があります。対象の室内ユニットを特定し、センサーを確認しください。

- 「異常」：センサーが故障している可能性があります。
- 「接続なし」：室内ユニットとセンサー間の配線が接続されていない可能性があります。

※ 室内ユニットの特定は、風向操作で確認できます。

確認方法：

① メンテナンス機能を終了する。
　メニュー ボタンを押して、メンテナンス機能画面を表示し、戻る ボタンを押す。

② 風向操作をする。
　メニュー の「2. 風向設定」で対象の「室内ユニット No」を選んで、風向設定を行ってください。設定したフラップ動作に変化したユニットが対象機器になります。

室内ユニットが特定できましたら、漏電しゃ断器（電源）を切り、センサー配線のコネクターを基板からはずして再接続してください。漏電しゃ断器（電源）を入れ、再度 1 ～ 4 を操作し「エラー確認」にて状態を確認してください。再度、「異常」「接続なし」が表示された場合、エコナビパネルの交換が必要です。

裏面につづく

外部機器連動機能 (CZ-10RT4Bの場合)

外部機器連動機能をご利用になると、室内コントロール基板から人感センサー出力やサーモ ON 出力、運転信号出力のいずれか 1 つを取り出せ、外部機器との連動が可能です。

■制御内容

●人感センサー出力に連動（警報とは連動しません）
人の在→不在の変化を検知時：外部機器の運転をオフします。
「**不在検知時間設定**」(P.②) により運転オフのタイミングを遅延させることが可能です。
人の不在→在の変化を検知時：外部機器の運転をオンします。

●運転信号出力に連動（エアコン連動）
室内ユニットが運転時：外部機器の運転をオンします。
室内ユニットが停止時：外部機器の運転をオフします。

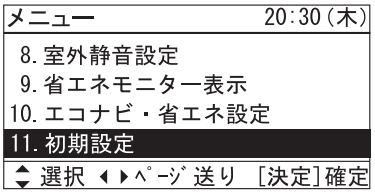
●サーモ出力に連動
サーモ ON 時 ：外部機器の運転をオンします。
サーモ OFF 時：外部機器の運転をオフします。

1 . メニュー画面を表示する

メニュー ボタンを押します。
メニュー画面が表示されます。

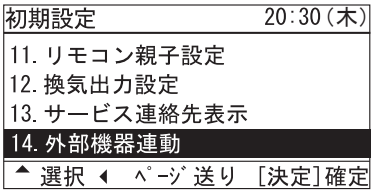
2 .「11. 初期設定」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「11. 初期設定」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



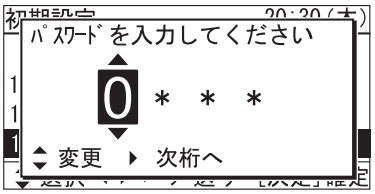
3 .「外部機器連動」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「外部機器連動」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



4 . パスワードを入力する（パスワード設定時）

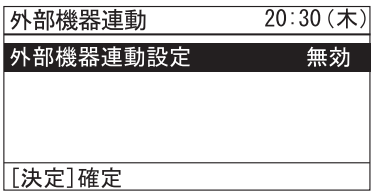
▲ / ▼ ボタンで数字を選択し、► ボタンで次の桁に移行します。(繰り返す)
入力が完了したら 決定 ボタンを押してください。
※ パスワードが未設定のときは、パスワード入力画面が表示されたら 決定 ボタンを押してください。



外部機器連動機能（つづき）

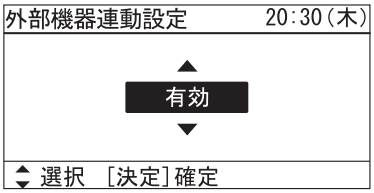
5.「外部機器連動設定」が「無効」の場合

決定 ボタンを押してください。
▲ / ▼ ボタンで「有効」を選択し、
決定 ボタンを押してください



「外部機器連動設定」が「有効」の場合

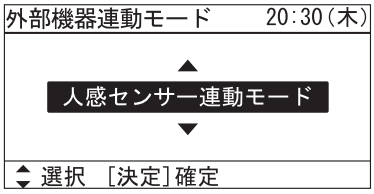
外部機器連動機能が有効のとき、「モード」「不在検知時間設定」を表示します。

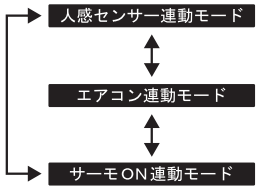


6. 設定する

「モード」を設定する場合

▲ / ▼ ボタンで「モード」を選択し、決定 ボタンを押してください。
外部機器連動モードを変更することができます。
▲ / ▼ ボタンで選択し、 決定 ボタンを押してください。





エコナビセンサーの在・不在出力に連動します。

エアコンの運転 / 停止出力に連動します。

エアコンのサーモ ON/OFF 出力に連動します。

「不在検知時間設定」を設定する場合

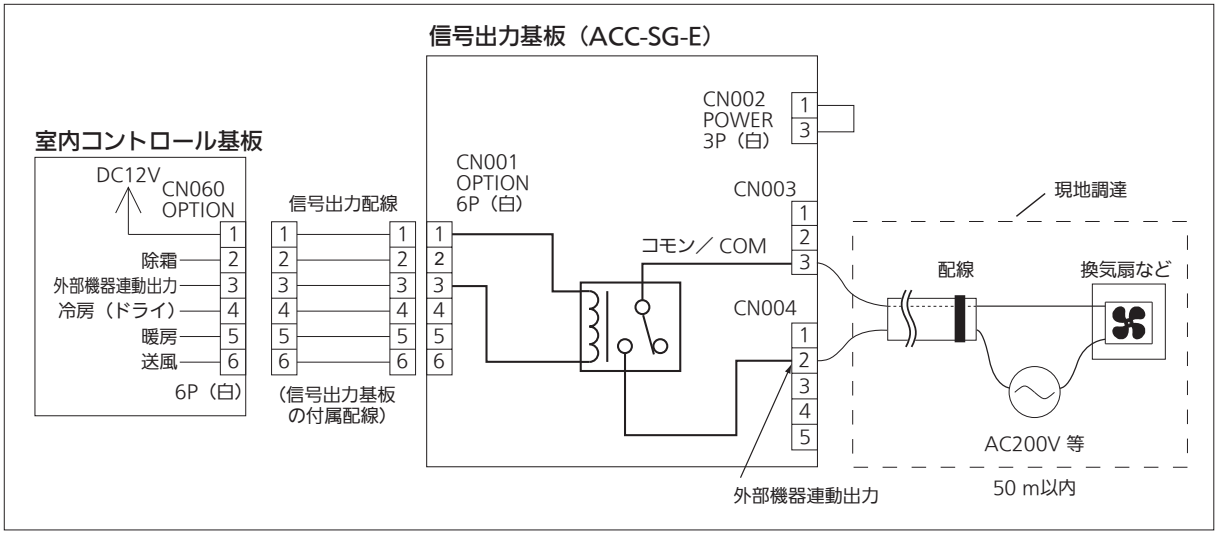
▲ / ▼ ボタンで「不在検知時間設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。

運転オフのタイミングを変更することができます。
▲ / ▼ ボタンで0～60分の間で1分刻みに設定可能です。
設定後、 決定 ボタンを押してください。
メニュー ボタンを2回押して終了してください。

外部機器連動機能（つづき）

■配線例

信号出力基板（（ACC-SG-E）、別売品）を使用した連動システム例



お知らせ

●空調機からの外部出力信号は外部機器の管理用に設けられていますが、 空調機が動作しなくなった場合でも、外部接続機器が安全側へ動作を移行するよう事前に措置を講じてください。

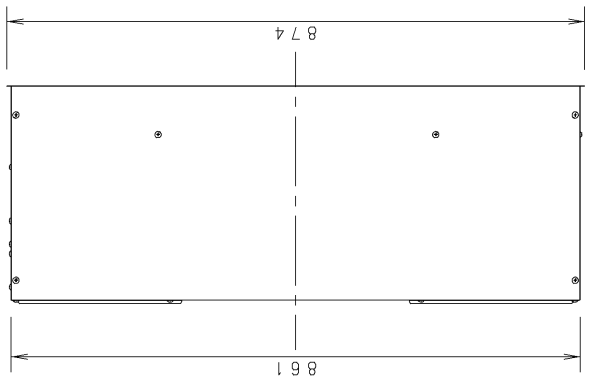
●空調機からの外部出力信号は停電時にはオフとなります。
停電時の特別な配慮が必要な場合は、外部回路で対応してください。

仕様

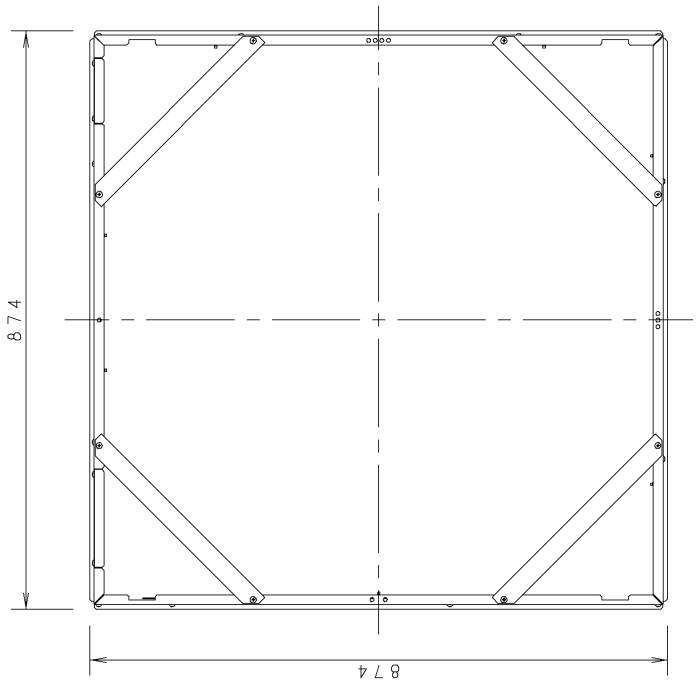
品番	CZ-160KPEU5, CZ-160KPEU5-K	CZ-160KSEU5, CZ-160KSEU5-K
外形寸法	（幅）950mm×（奥行き）950mm×（高さ）33.5mm	
質量	5kg	6kg
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 %～ 80 %（屋内設置専用）	
電源	DC5V（室内ユニットより供給）	

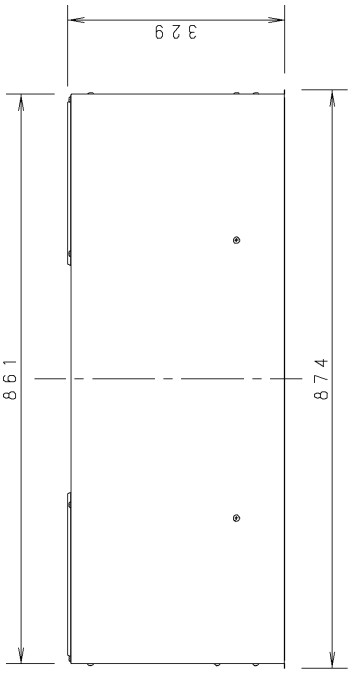
●スケルトン天井用側面カバー（CZ-160SKU5）

■外形寸法図



<外装色>（マンセル記号）
ホワイト（N9.5）





■工事説明書

Panasonic

据付工事説明書

スケルトン天井用側面カバー

品番　CZ-160SKU5

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意

・スケルトン天井用側面カバーは２８～１６０形まで共通で使用できます。
・スケルトン天井用側面カバーは、室内ユニットの冷媒配管・ドレン配管終了後に、室内ユニットに取り付けてください。
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-21623
85464369922000
PA0716 - 30823

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

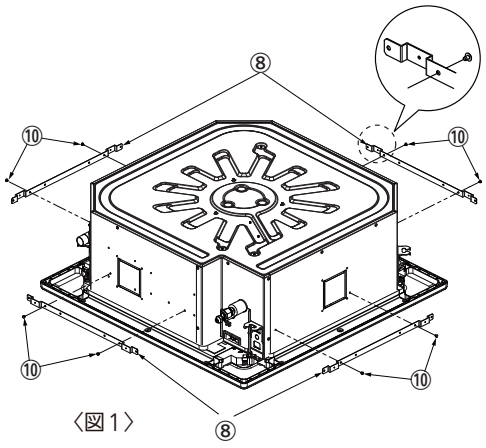
部品番号	名　称	個数	部品番号	名　称	個数
①	化粧パネル１(配管側)	1	⑦	補強金具	4
②	化粧パネル２(右側面)	1	⑧	固定金具	4
③	化粧パネル３(配管側反対面)	1	⑨	化粧ネジ(２本予備)	３０
④	化粧パネル４(左側面)	1	⑩	取付ネジ(２本予備)	１０
⑤	配管部カバー	1	⑪	据付工事説明書	1
⑥	ドレン部カバー	1			

2. 取り付けかた

1. ⑧固定金具４個を、それぞれ⑩取付ネジ２本で、側面４か所に取り付けます。〈図１〉〈図２〉
2. ①化粧パネル１を、⑨化粧ネジ２本で、⑧固定金具の２か所の穴に取り付けます。〈図３〉
3. ①化粧パネル１の反対面に、③化粧パネル３を、⑨化粧ネジ２本で⑧固定金具の２か所の穴に取り付けます。〈図３〉
4. ①化粧パネル１の右側面に、②化粧パネル２を、⑨化粧ネジ２本で⑧固定金具の２か所の穴に取り付けます。〈図３〉
5. ①化粧パネル１の左側面に、④化粧パネル４を、⑨化粧ネジ２本で⑧固定金具の２か所の穴に取り付けます。〈図３〉
6. ②化粧パネル２と④化粧パネル４の両端をそれぞれ、⑨化粧ネジ２本ずつで、①化粧パネル１と③化粧パネルの２か所の穴に取り付けます。〈図３〉
7. ⑦補強金具を、それぞれ⑨化粧ネジ２本で４か所に取り付けます。〈図３〉
8. ⑤配管部カバーの爪を①化粧パネル１の角穴にはめ込み、⑨化粧ネジ２本で取り付けます。〈図３〉
9. ⑥ドレン部カバーの爪を①化粧パネル１の角穴にはめ込み、⑨化粧ネジ２本で取り付けます。〈図３〉

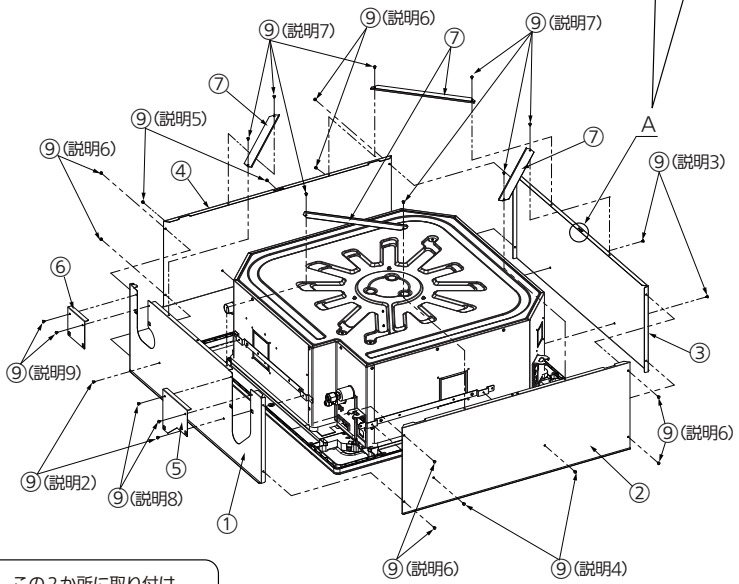
＊取り付け時のご注意＊

- ⑧固定金具は、曲げ形状の内側の穴を使用して取り付けてください。〈図１－拡大図参照〉
- 化粧パネル天面（A部）にパネル番号と等しい数の穴が開いているので、穴の数で部品を見分けてください。〈図２－A部拡大図参照〉
- 化粧パネルは、①→③→②→④の順番で取り付けてください。
- 取り付け面と取り付け順序を間違えると、化粧パネルが組み立たないので注意してください。



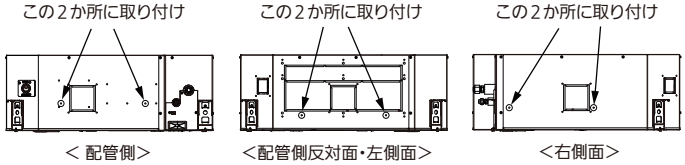
〈図１〉

A部拡大図



〈図３〉

固定金具の取り付け穴　〈図２〉

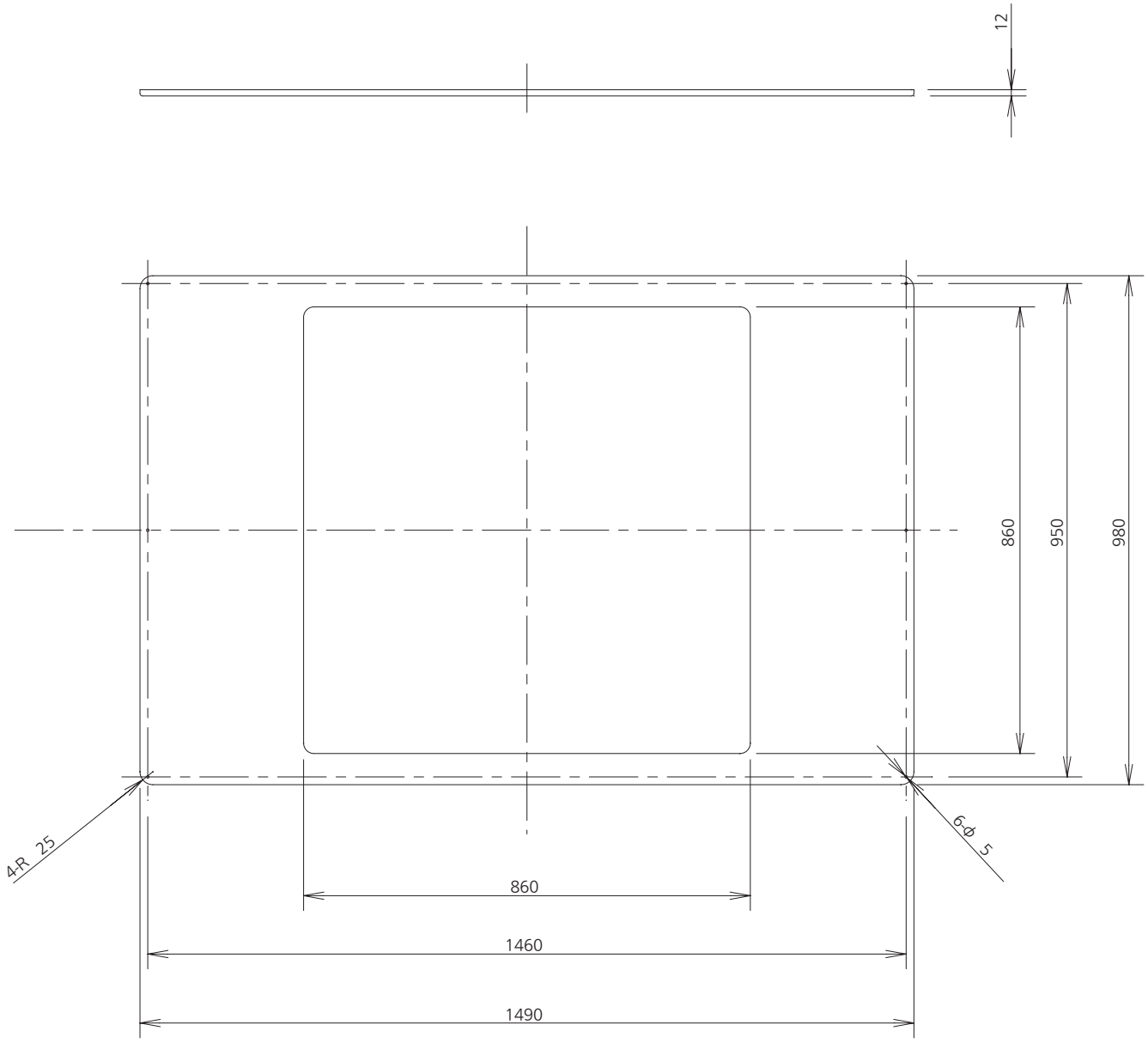


●ワイドパネル（CZ-160KWU5）

■仕様

品番			CZ-160KWU5
外形寸法		mm	W：1490＊D：980＊H：12
開口寸法		mm	W：860＊D：860
天井開口寸法	短手	mm	860 ～ 920
	長手		860 ～ 1430
製品質量		kg	4.0
色（マンセル記号）			ホワイト（N9.3）
適応機種			28 ～ 160形

■外形寸法図



■工事説明書

Panasonic

据付工事説明書

ワイドパネル

品番　CZ-160KWU5

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」とこの「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

❗ ■ **据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う**
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ **付属品は当社指定の部品を使用する**
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠注意

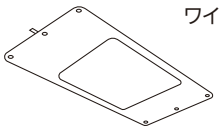
⃠ ■ **周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない**
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意
- ワイドパネルは、室内ユニットの冷媒配管・ドレン配管終了後、天井パネルを取り付ける際に、同時に取り付けてください。※先に天井パネルを取り付けてしまうと、ワイドパネルを取り付けできなくなります。
- 別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

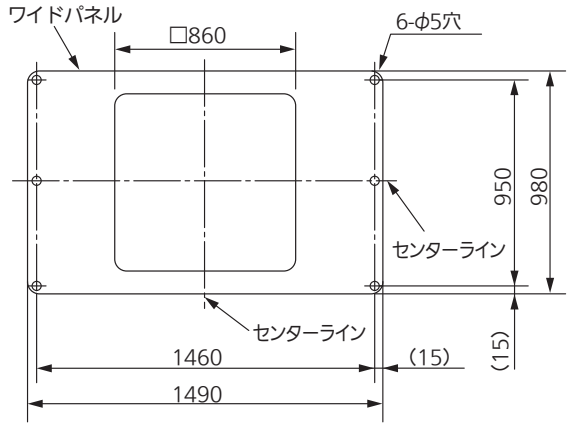
名　称	個数	名　称	個数	名　称	個数
ワイドパネル 	1	取付ネジ 4×45 白色塗装付き 近似色 19年版 日本塗料工業会 KN-93	6	据付工事説明書	1

ACXF60-21744
85464369935000
BE0716 - 40723

2. 取り付け前の準備

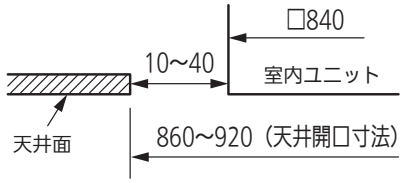
● 天井開口寸法が下記の範囲内か確認してください。
短手×長手：860～920×860～1,430

● ワイドパネルは、下図の位置でネジ止めします。
取付ネジが締められない天井材（石膏ボード等）の場合は、木材または天井材固定用Mバー等（現地調達、ダブルバー推奨）を天井材裏面に取り付けてください。



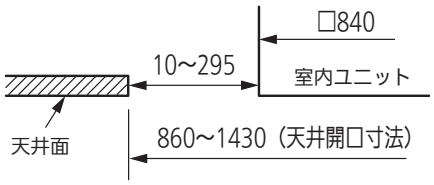
天井開口寸法　短手

短手方向で天井と室内ユニットの隙間が10～40で左右同一寸法になるように調整してください。

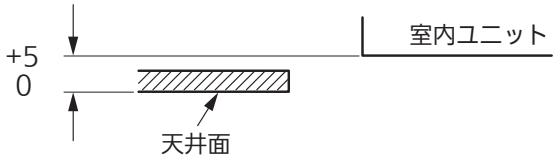


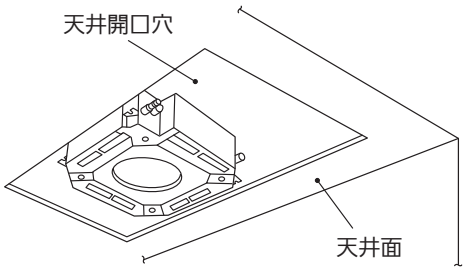
天井開口寸法　長手

長手方向で天井と室内ユニットの隙間が10～295で左右同一寸法になるように調整してください。



● 天井面の水平を確認してください。
※天井面が水平でない場合、ワイドパネルと天井面に多少の隙間が開く場合があります。
室内ユニットと天井面は、0～5mmの範囲に高さ設定してください。この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。（図は、寸法を見やすくするために、室内ユニットの位置を高く表示しています。）

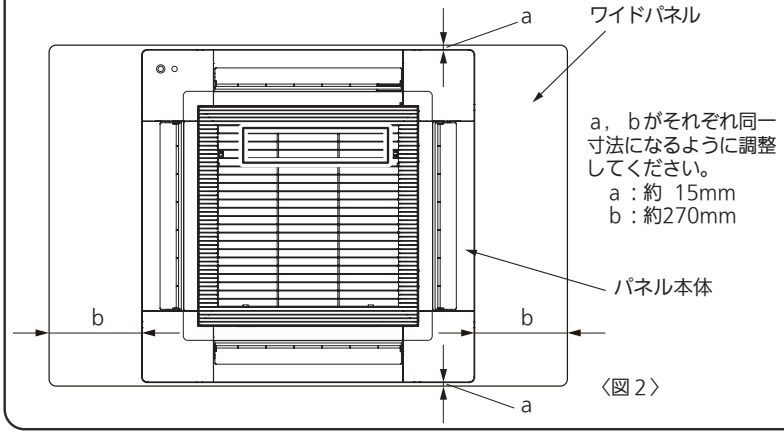




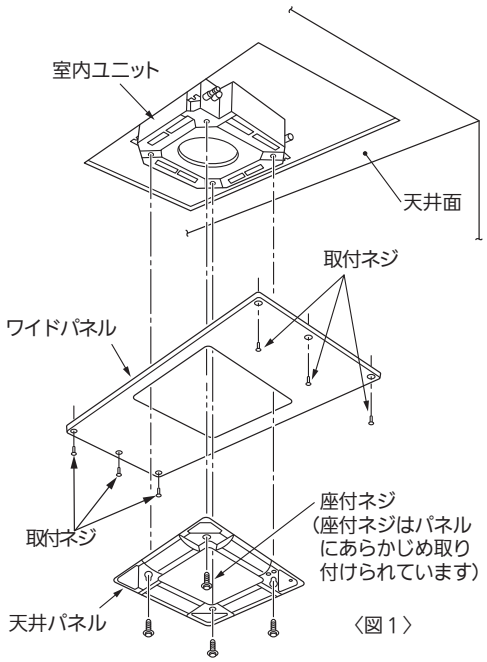
3. 取り付けかた

● 天井パネルの上にワイドパネルを載せて、天井パネルを室内ユニットに取り付けます。〈図 1〉
※天井パネルの取り付けかたは、天井パネルに同梱されている据付工事説明書を参照してください。
※天井パネルとワイドパネルの位置合わせは〈図 2〉を参照してください。

● ワイドパネルを取付ネジ 6 本で天井面へ固定します。
※取付ネジはワイドパネルが変形しない程度に締め込んでください。
変形した場合は、取付ネジを少し緩めてください。



〈図 2〉

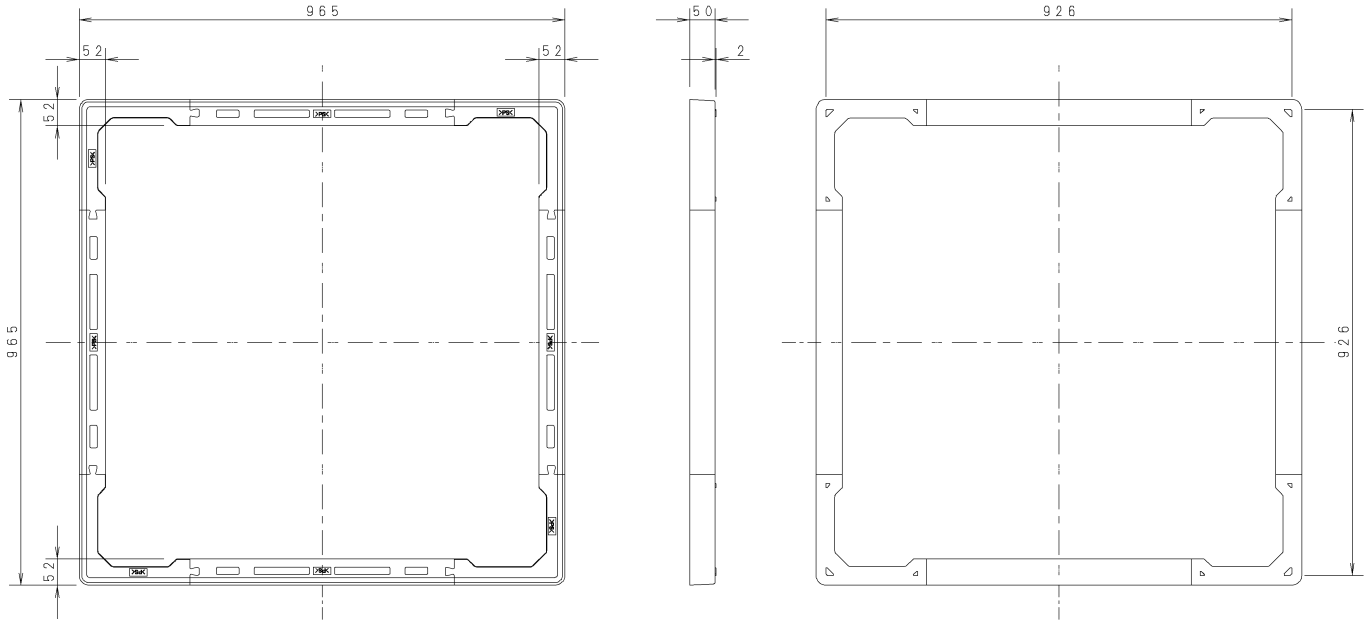


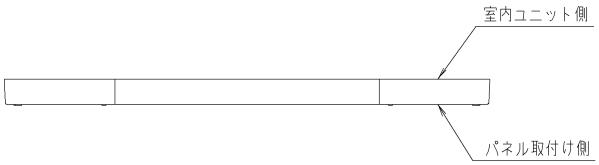
〈図 1〉

●パネルスペーサー（CZ-160SPU5）

■外形寸法図

△





＜外装色＞　（マンセル記号）
ホワイト　（5．2Y　9．7／0．2）

■工事説明書

Panasonic

据付工事説明書

パネルスペーサー

品番　CZ-160SPU5

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

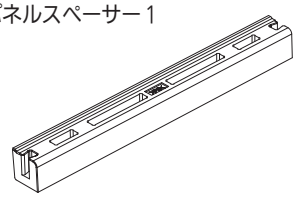
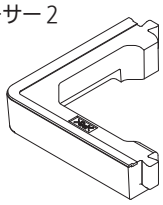
■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意
・天井パネルを室内ユニットに取り付ける前に、パネルスペーサーを取り付けてください。
※先に天井パネルを室内ユニットに取り付けてしまうと、パネルスペーサーを取り付けできなくなります。
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-21754
85464369936000
BE0716 - 40723

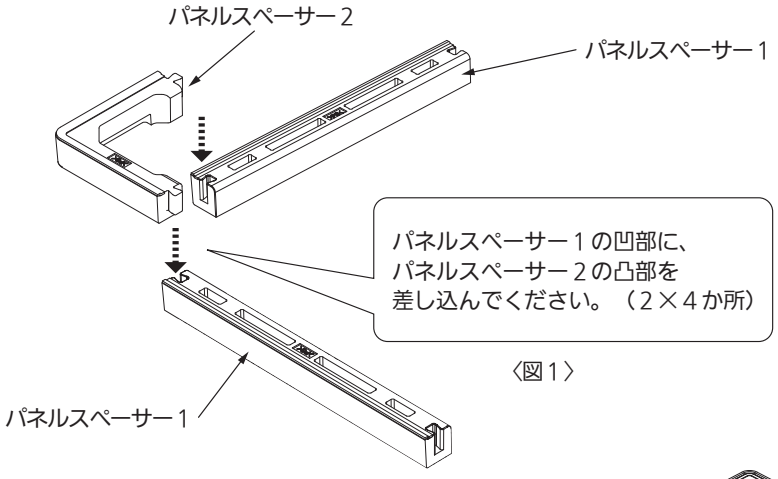
1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

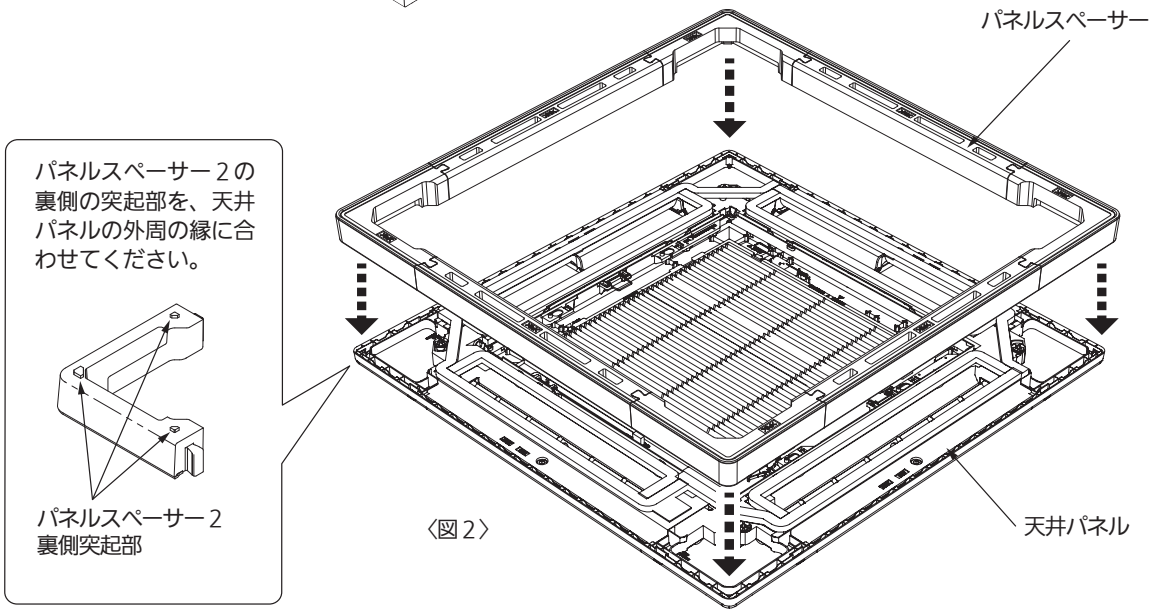
名　称	個数	名　称	個数	名　称	個数
パネルスペーサー 1 	4	パネルスペーサー 2 	4	据付工事説明書	1

2. 取り付けかた

1. パネルスペーサー 1 と 2 を、〈図 1〉のように組み立てます。
2. 組み立てたパネルスペーサーを、天井パネルの外周に取り付けます。〈図 2〉
   ※取り付ける際は、パネルスペーサー 2 の裏側の突起部を天井パネル外周の縁に合わせてください。
   ※取り付け時、天井パネル全周でパネルスペーサーが天井パネルより約 5 mm外側に出ていることを確認してください。
3. パネルスペーサー取り付け後、天井パネルを室内ユニットに取り付けてください。



〈図 1〉



〈図 2〉

●高性能フィルター　比色法 65%（CZ-160MFU5）
●高性能フィルター　比色法 90%（CZ-160HFU5）
●超ロングライフフィルター　重量法 40%（CZ-160LFU5）

■高性能フィルター（比色法90%）仕様

名　称			高性能フィルター(比色法90%)						
品　番			CZ-160HFU5						
適用室内ユニット			28,36形	45形	56形	71,80形	90,112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	14.2	16.0	16.9	19.2	30.1	30.1	30.1
最終風量		m^3/min	9.5	9.8	10.0	10.0	21.4	21.4	21.4
初期圧損		Pa	15.0	17.7	19.8	22.3	44.5	44.5	44.5
最終圧損		Pa	26.2	33.0	37.4	39.7	70.5	70.5	70.5
フィルター寿命		時間	1,800	1,750	1,750	1,600	1,500	1,500	1,500
平均効率			比色法　90%(JIS 11種)						
使用濾材			ポリオレフィン系帯電繊維						
フィルター分割数			1枚組						
質量		kg	1.8						
フィルター外形寸法	幅	mm	594						
	奥行	mm	560						
	厚み	mm	35						
適用フィルターチャンバー	品　番		CZ-160FDU5						
	質量	kg	2.0						
	厚み	mm	100						

■高性能フィルター（比色法65%）仕様

名　称			高性能フィルター(比色法65%)						
品　番			CZ-160MFU5						
適用室内ユニット			28,36形	45形	56形	71,80形	90,112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	15.4	17.7	18.1	19.6	31.8	32.3	33.0
最終風量		m^3/min	9.4	9.6	9.8	10.0	20.4	21.0	21.4
初期圧損		Pa	10.0	12.9	13.5	16.2	30.7	32.4	33.0
最終圧損		Pa	24.2	33.7	35.8	37.5	67.0	68.3	70.0
フィルター寿命		時間	2,600	2,500	2,500	2,400	2,200	2,200	2,200
平均効率			比色法　65%(JIS 11種)						
使用濾材			ポリオレフィン系帯電繊維						
フィルター分割数			1枚組						
質量		kg	1.8						
フィルター外形寸法	幅	mm	594						
	奥行	mm	560						
	厚み	mm	35						
適用フィルターチャンバー	品　番		CZ-160FDU5						
	質量	kg	2.0						
	厚み	mm	100						

注記
(1) 高性能フィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
　これを防止するため、チャンバー付属の据付工事説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
　（据付工事説明書参照）
(2) 高性能フィルター組み込みの場合は、ダクト接続や 2 方向・3 方向吹き出しはできません。
(3) フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m3（建築物衛生法規制値）で算出した値を示します。（JIS 11種）
　フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。
(4) 高性能フィルターを組み込む場合は、別売品のフィルターチャンバーが必要ですのでご用意ください。
(5) 天井パネルのエアーフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。
(6) 風量・圧損・寿命は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。

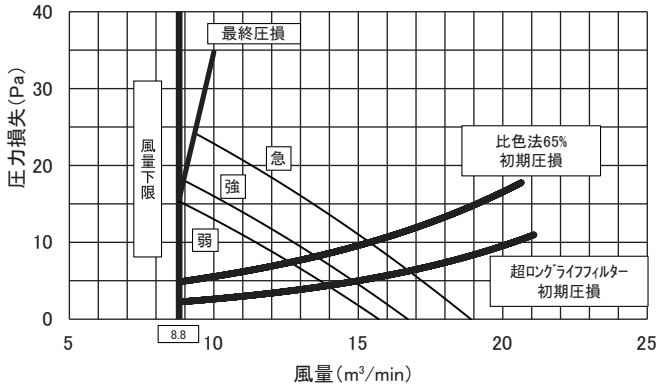
■超ロングライフフィルター（重量法40%）仕様

名　称			超ロングライフフィルター(重量法40%)						
品　番			CZ-160LFU5						
適用室内ユニット			28,36形	45形	56形	71,80形	90,112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	16.8	19.1	19.6	21.2	35.0	35.4	36.2
最終風量		m^3/min	9.4	9.6	9.8	10.0	20.4	21.0	21.4
初期圧損		Pa	6.8	8.5	9.1	10.5	17.8	18.7	19.3
最終圧損		Pa	24.2	33.7	35.8	37.5	67.0	68.3	70.0
フィルター寿命		時間	6,200	6,400	6,700	6,400	5,100	5,100	5,100
平均効率			重量法　40%(JIS 11種)						
使用濾材			PPハニカム（防カビ仕様）						
フィルター分割数			1枚組						
質量		kg	1.9						
フィルター外形寸法	幅	mm	594						
	奥行	mm	560						
	厚み	mm	35						
適用フィルターチャンバー	品　番		CZ-160FDU5						
	質量	kg	2.0						
	厚み	mm	100						

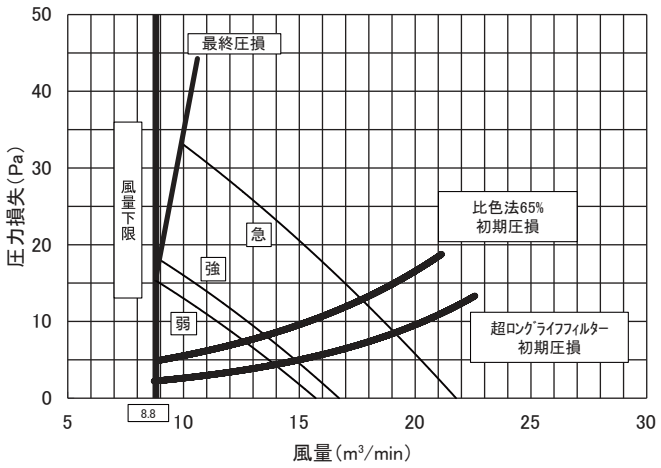
注記
(1) 超ロングライフフィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
　これを防止するため、チャンバー付属の据付工事説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
　（据付工事説明書参照）
(2) フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m3（建築物衛生法規制値）で算出した値を示します。（JIS 11種）
　フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。
(3) 超ロングライフフィルターを組み込む場合は、別売品のフィルターチャンバーが必要ですのでご用意ください。
(4) 天井パネルのエアーフィルターは、取り外してご使用ください。
(5) 風量・圧損・寿命は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。

■風量・圧力損失特性（CZ160MFU5・CZ160LFU5）

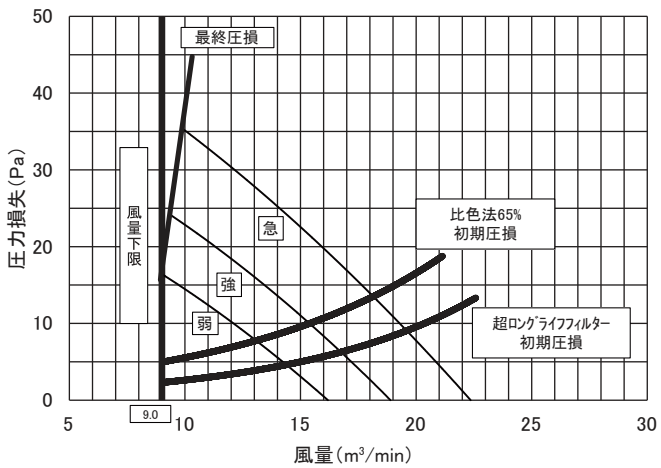
28・36形



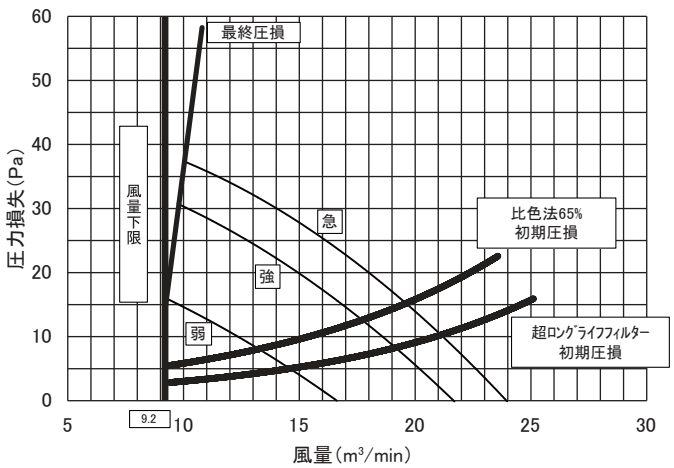
45形



56形

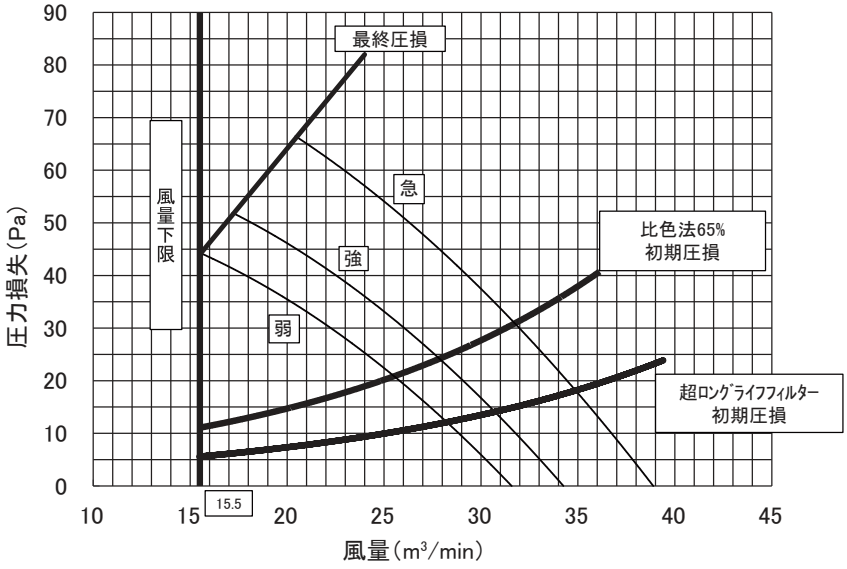


71・80形

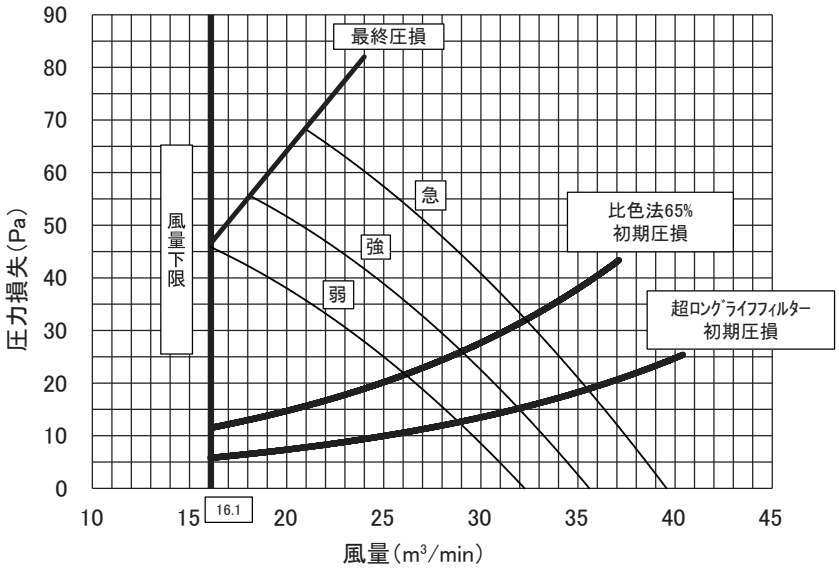


■風量・圧力損失特性（CZ160MFU5・CZ160LFU5）

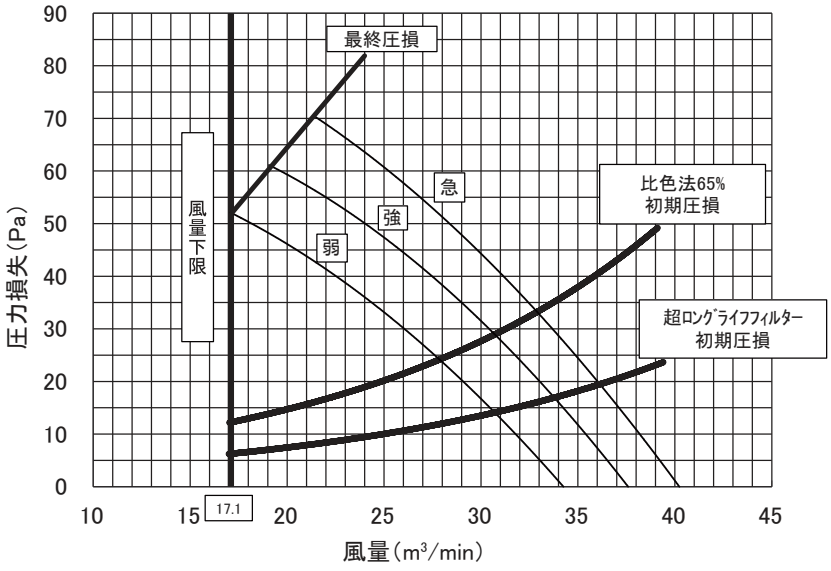
90･112形



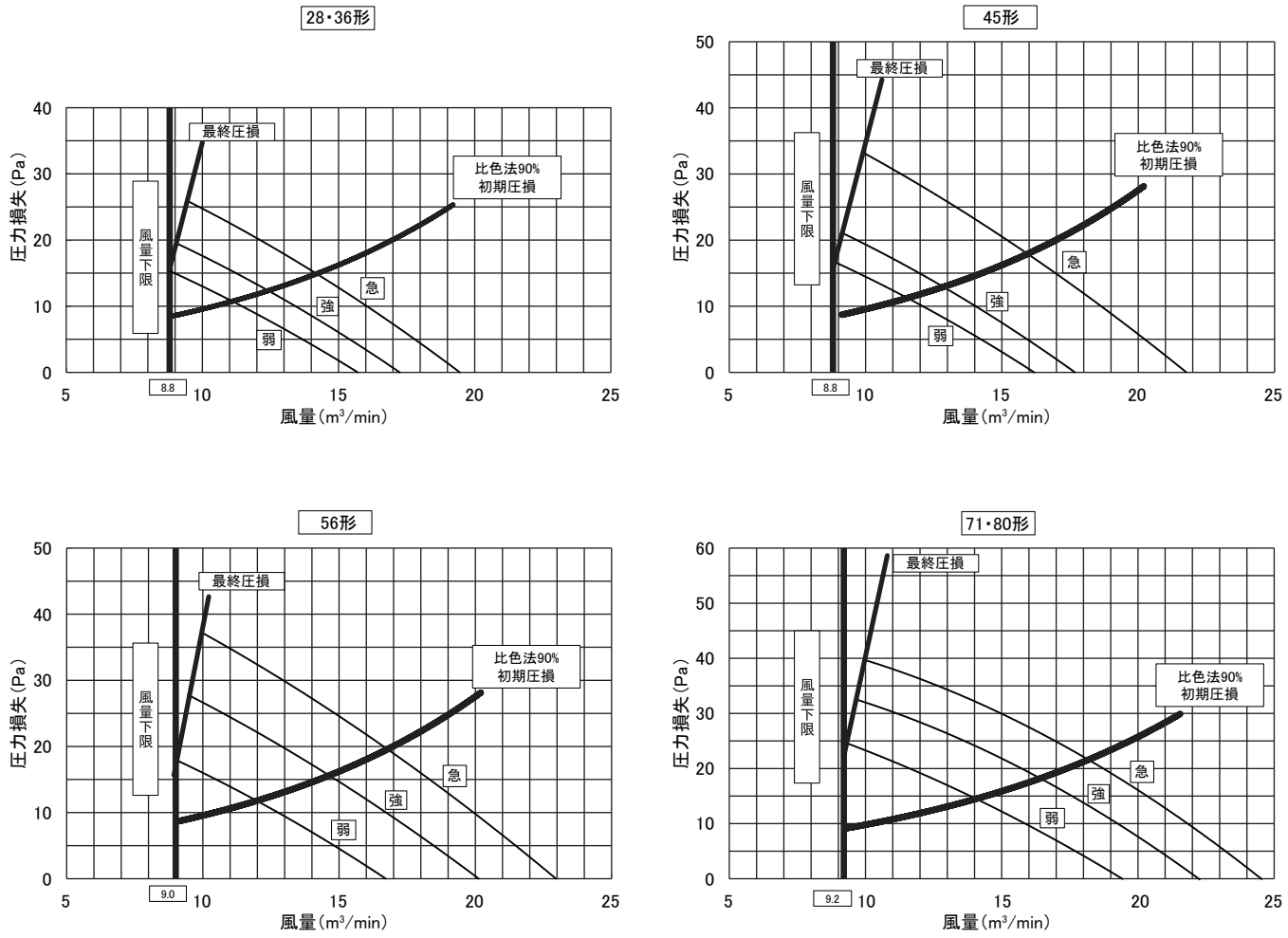
140形



160形

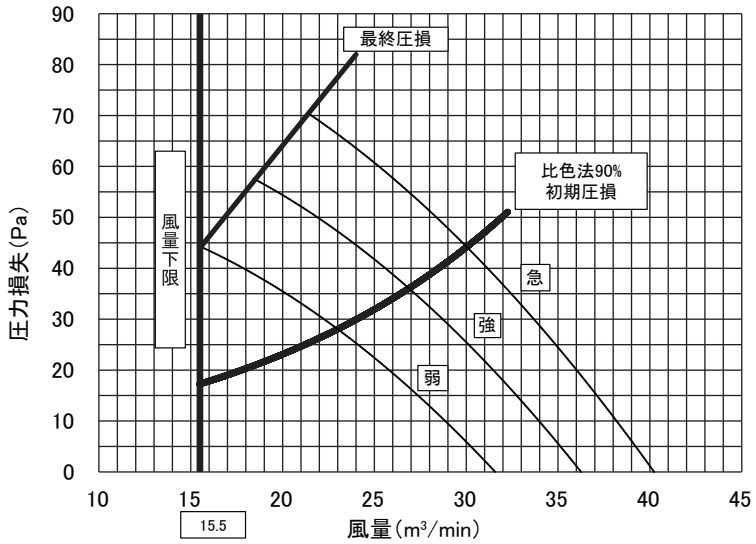


■風量・圧力損失特性（CZ-160HFU5）

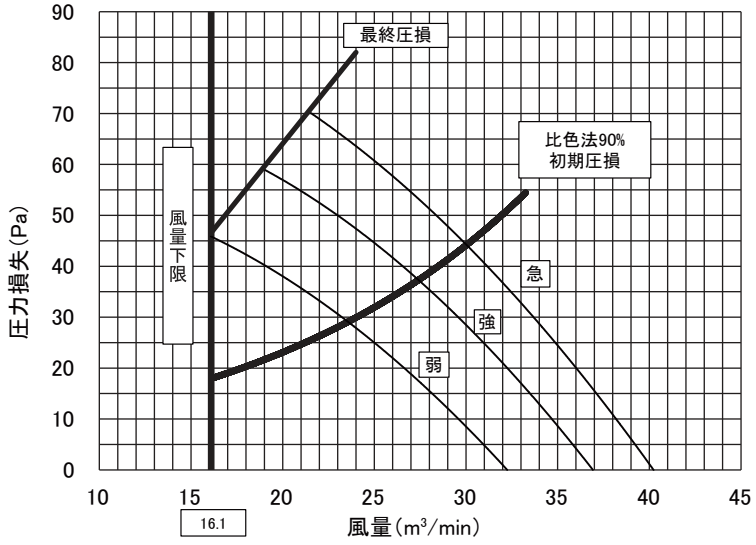


■風量・圧力損失特性（CZ-160HFU5）

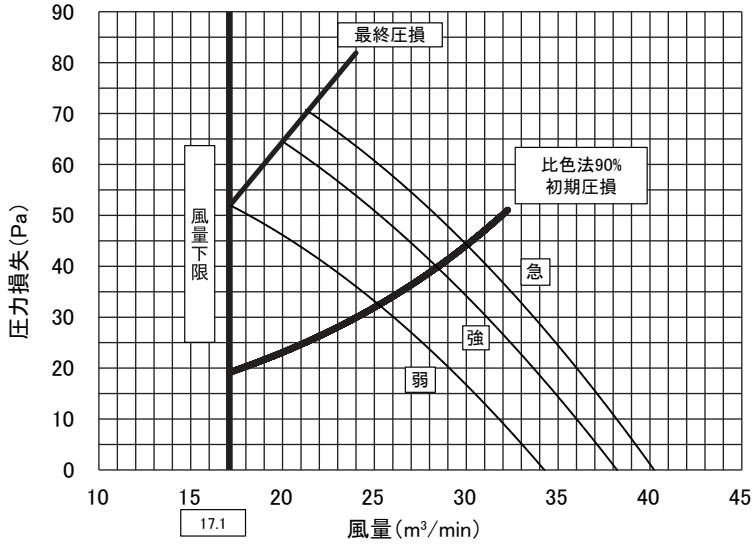
90･112形



140形

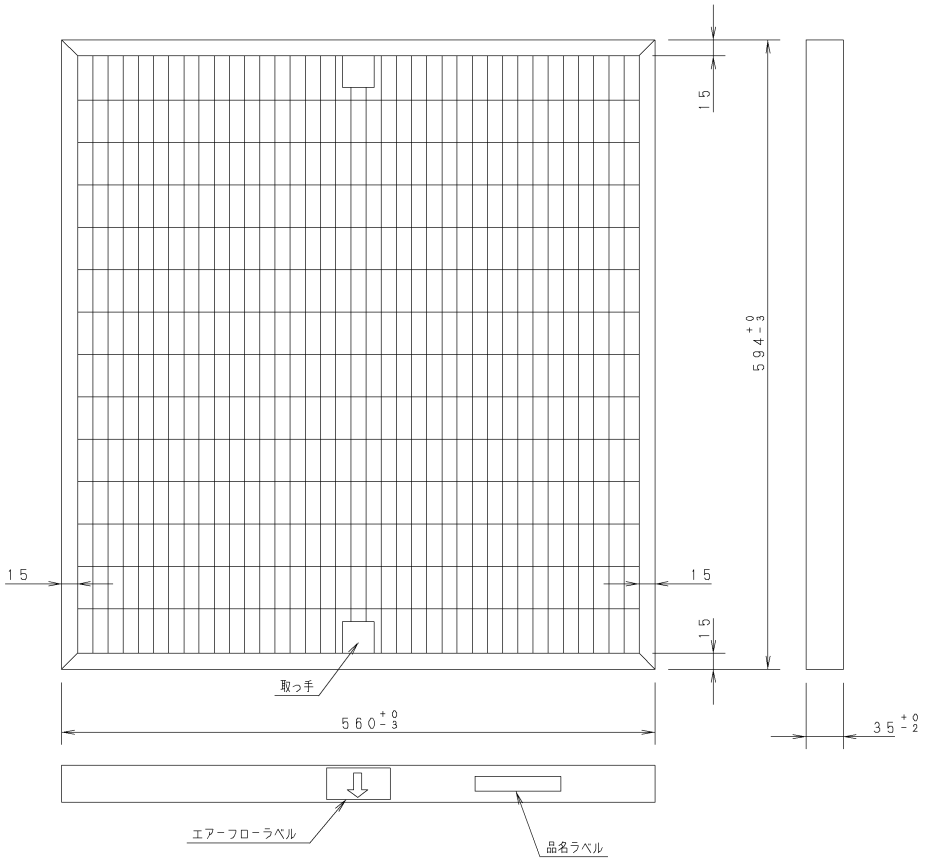


160形



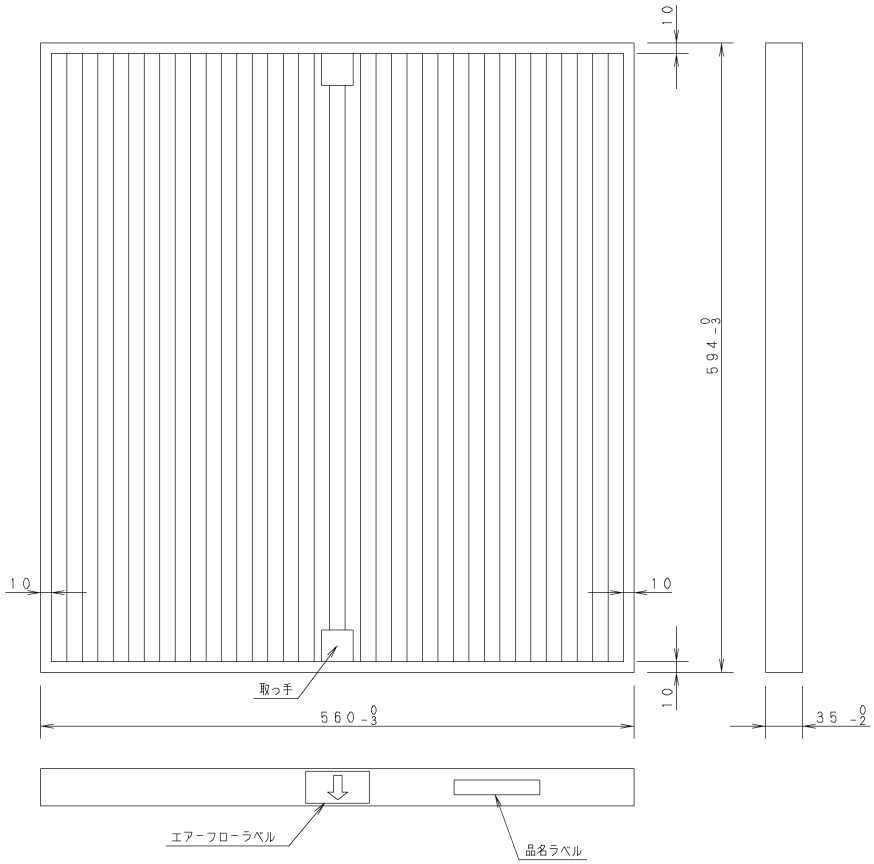
● 高性能フィルター（CZ-160HFU5, 160MFU5）

■外形寸法図



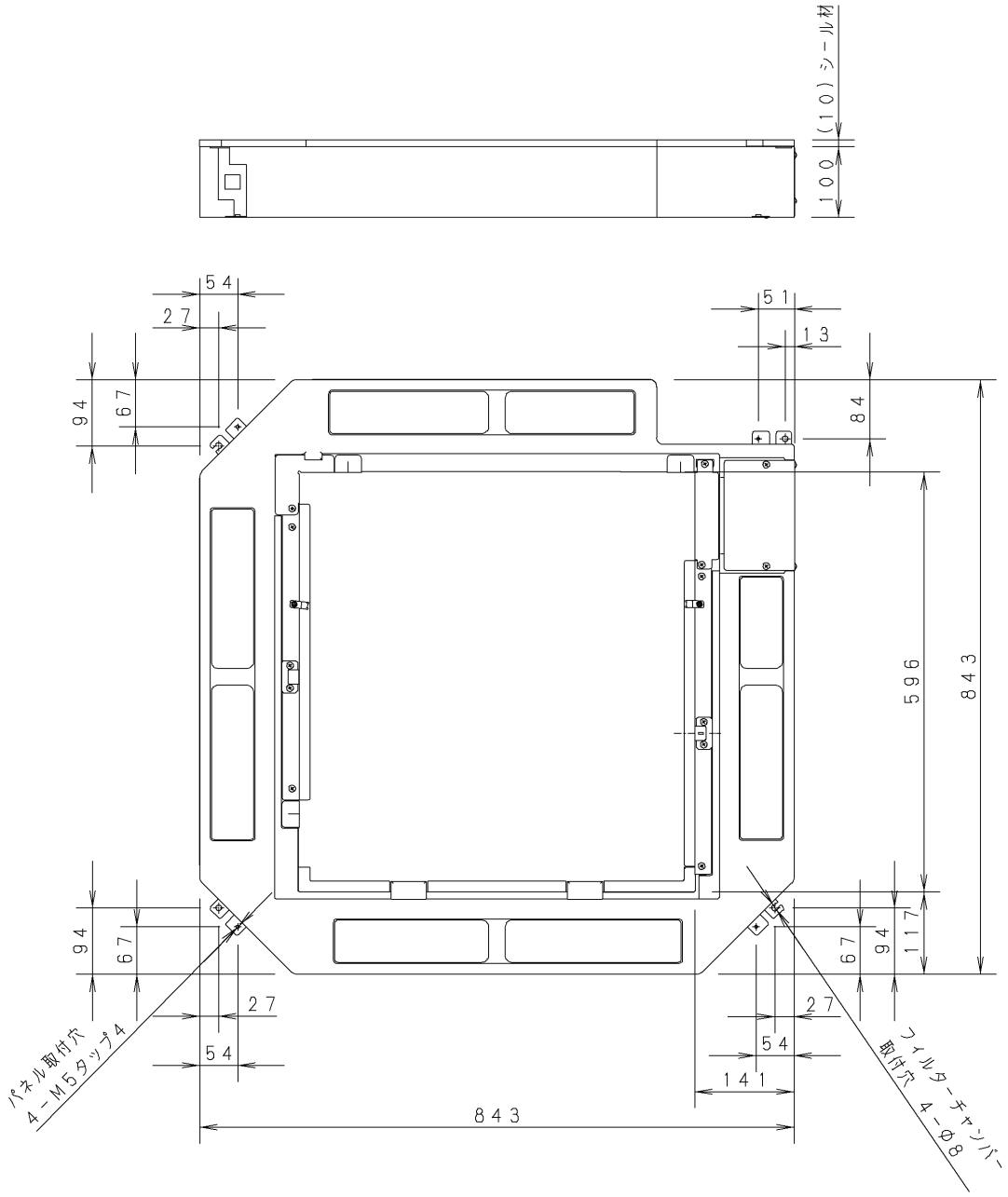
● 超ロングライフフィルター（CZ-160LFU5）

■外形寸法図



●フィルターチャンバー（CZ-160FDU5）

■外形寸法図



■工事説明書

据付工事説明書

フィルターチャンバー

品番　CZ-160FDU5

適用室内ユニット　4方向天井カセット形

●据付工事の前に室内ユニットおよび天井パネルに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 電源配線をバンドなどで束ねて収納しない
（発熱、火災の原因）

■ 配線は途中接続しない
（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、ケガの原因）

■ 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
（故障や発熱、火災の原因）

■ 電気工事（アース工事を含む）は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの「据付工事説明書」に従って施工する
（感電、火災のおそれ）

■ 配線をはさまないように、カバーは元どおり確実に取り付ける
（感電、火災の原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意

・フィルターチャンバーは28～160形まで共通で使用できます。
・フィルターチャンバーは、室内ユニットを据え付ける前に室内ユニットに取り付けてください。
・据え付け時、フィルターチャンバーの側面に衝撃を与えると破損することがありますので、取扱いには十分注意してください。
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ
・設備設計資料等をご確認ください。・この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

85464369930000
PA0716 - 0

1 . 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

●下記部品が梱包内部に付属されていますので、確認してください。

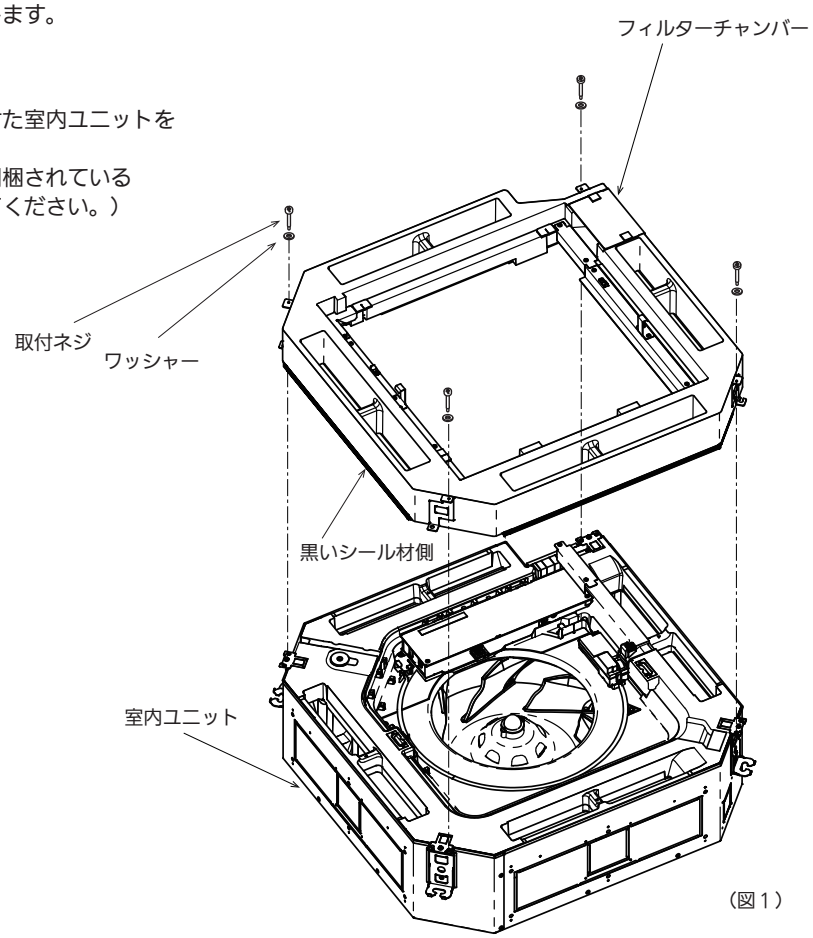
名　　称	個数	名　　称	個数	名　　称	個数
取付ネジ （５ｘ４０） （フィルターチャンバー固定用）	4	ワッシャー （フィルターチャンバー固定用）	4	据付工事説明書 	1

2 . 取り付けかた

取り付け前に吹出口（４か所）に挿入してある緩衝材（ダンボール）を取り出してください。

①フィルターチャンバーの取り付け　（図１）
- フィルターチャンバーの黒いシール材側と室内ユニットを合わせてください。
  （取り付けの方向性がありますので、室内ユニットとフィルターチャンバー
  の形状を合わせてください。）
- 付属の取付ネジ（４本）で固定します。

②室内ユニットの据え付け
- フィルターチャンバーを取り付けた室内ユニットを
  天井に据え付けます。
  （据え付けは、室内ユニットに同梱されている
  据付工事説明書に従って行ってください。）

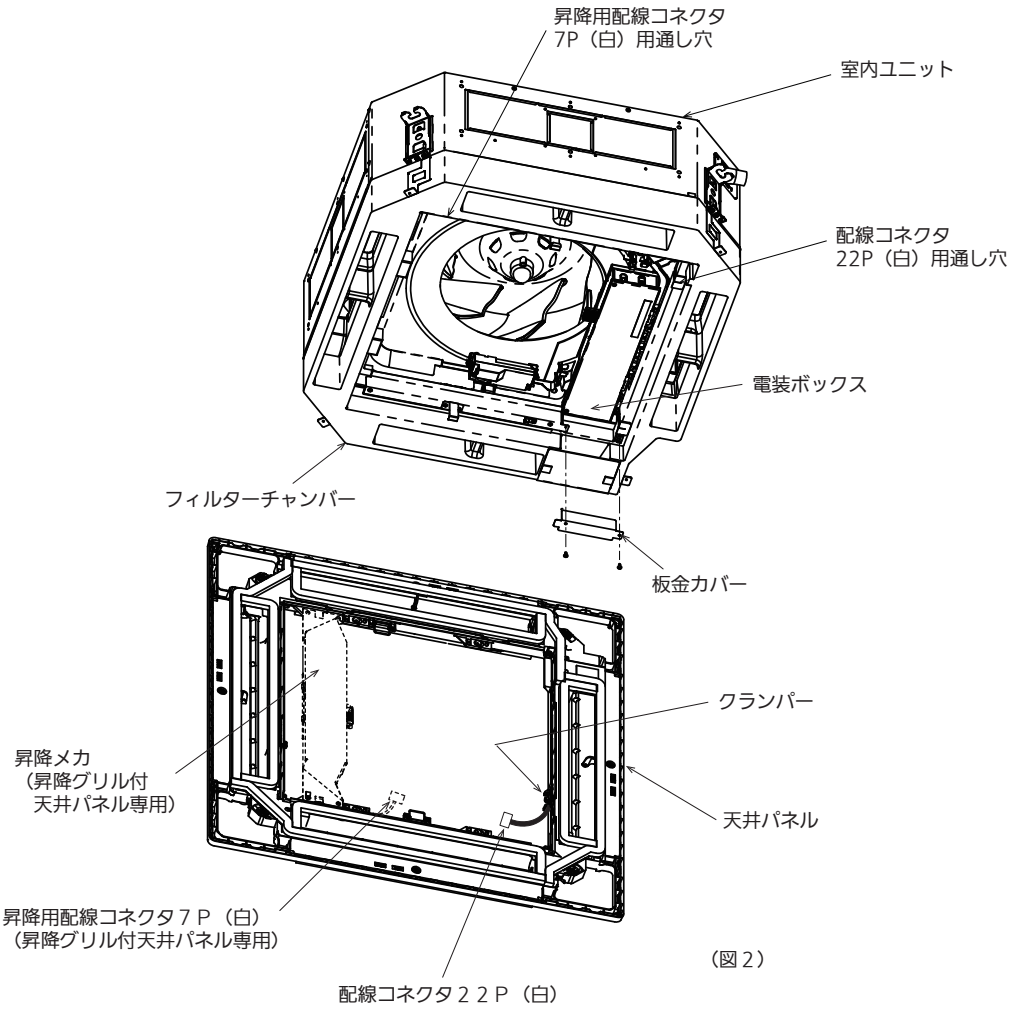


（図１）

③天井パネルの取り付け（図２）
- 室内ユニット（フィルターチャンバー付き）に天井パネルを取り付けます。
（取り付けかたは、天井パネルまたは、昇降グリル付天井パネルに同梱されている据付工事説明書を参照してください。）

④パネル配線の接続（図２）
- フィルターチャンバーの板金カバーをはずし、電装ボックスのふたを取りはずします。
- 天井パネルの配線コネクタ２２Ｐ（白）は、束ねてあるクランパーをカットしてからフィルターチャンバーの通し穴に差し込んで、電装ボックス内の２２Ｐコネクタと接続してください。
- 昇降グリル付天井パネルの場合は、配線コネクタ２２Ｐ（白）の他に昇降用配線コネクタ７Ｐ（白）がありますので、同様にフィルターチャンバーの通し穴に差し込んで、電装ボックス内の基板に接続してください。
- 電装ボックスのふたとフィルターチャンバーの板金カバーを元に戻してください。

2. 取り付けかた（つづき）

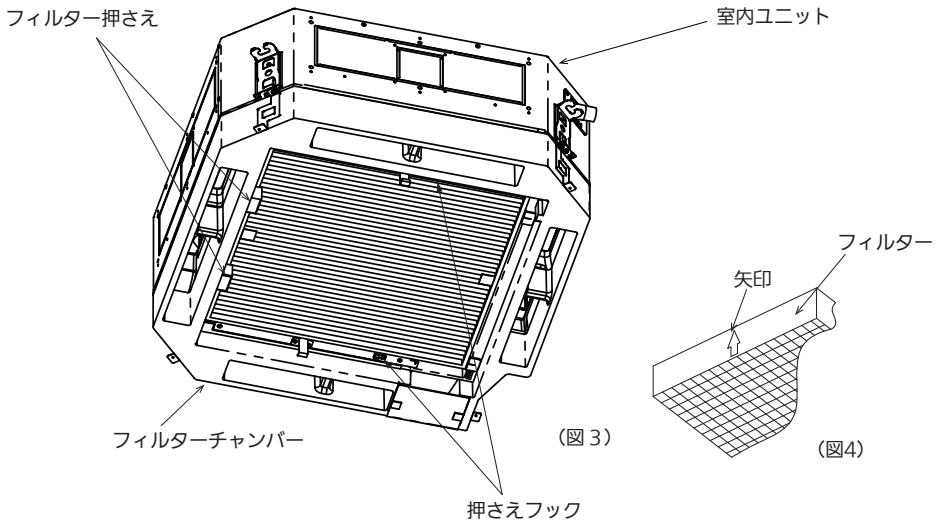


（図２）

⑤高性能フィルター・超ロングライフフィルターの取り付け（図３）

・フィルターをフィルター押さえ（フィルターチャンバー）に差し込みます。
（取り付けの方向性があります。フィルター側面の矢印を下図（図４）の方向にして差し込んでください。）

・フィルターチャンバーの押さえフック（２か所）を回転させて固定します。
（取り付けかたは、高性能フィルターまたは、超ロングライフフィルターに同梱されている据付工事説明書を参照してください。）



（図３）

（図4）

3. DCファンモータータップの選択

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表1）
変更を行わない場合、風量減少により冷房時吹出温度が低下、露付きの原因となります。
ファン回転数を設定する方法は、（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する方法（2）ワイヤードリモコンで設定する方法があります。どちらかの方法で設定してください。※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1　DCファンモータータップ設定表

設定No.	項目コード5D/5dの設定データ	使用用途／別売品名称　※1
	0000	標準（出荷設定）
(1)	0001	高天井設定1（標準、エコナビパネル時）
		オイルガードパネル　※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター　※2
		高性能フィルター（比色法65%）
		昇降グリル付きオイルガードパネル　※2
		しゃ風材（3方向吹出時）　※3
		しゃ風材（吹出ダクト接続時）　※3
(3)	0003	高天井設定2（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（比色法90%）
		デオドラントフィルター
(6)	0006	しゃ風材（2方向吹出時）

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組合せ可能な別売品を確認し選定してください。

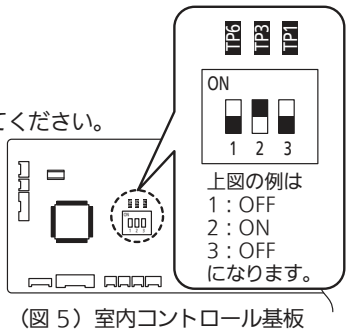
※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルターを組み合わせる場合は、設定No.（3）または設定データ0003を設定してください。

※3. しゃ風材とそれ以外の別売品を併用の場合、
3方向吹出時　　設定No.（3）または設定データ0003
吹出ダクト接続時　　設定No.（3）または設定データ0003
2方向吹出時　　設定No.（6）または設定データ0006
を設定してください。
なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

(1) 基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

<手順>必ず電源（漏電しゃ断器）を切ってください。
①ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。
②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。(図 5)
③表1で確認した設定Noに合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

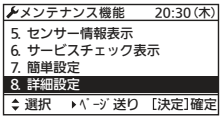
設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ
(1)	SW6 SW3 SW1 ディップスイッチ ON 側 OFF 側	(3)	SW6 SW3 SW1 ディップスイッチ ON 側 OFF 側	(6)	SW6 SW3 SW1 ディップスイッチ ON 側 OFF 側

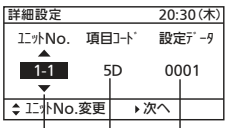


（図 5）室内コントロール基板

(2) ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT4シリーズ）

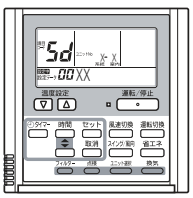
ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
① 戻る + 決定 + ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、 決定 ボタンを押してください。
⑤ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、 戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面」が表示されます。
「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。

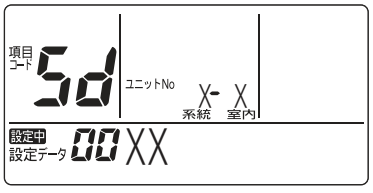




(3) ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT3/CZ-10RT3A）

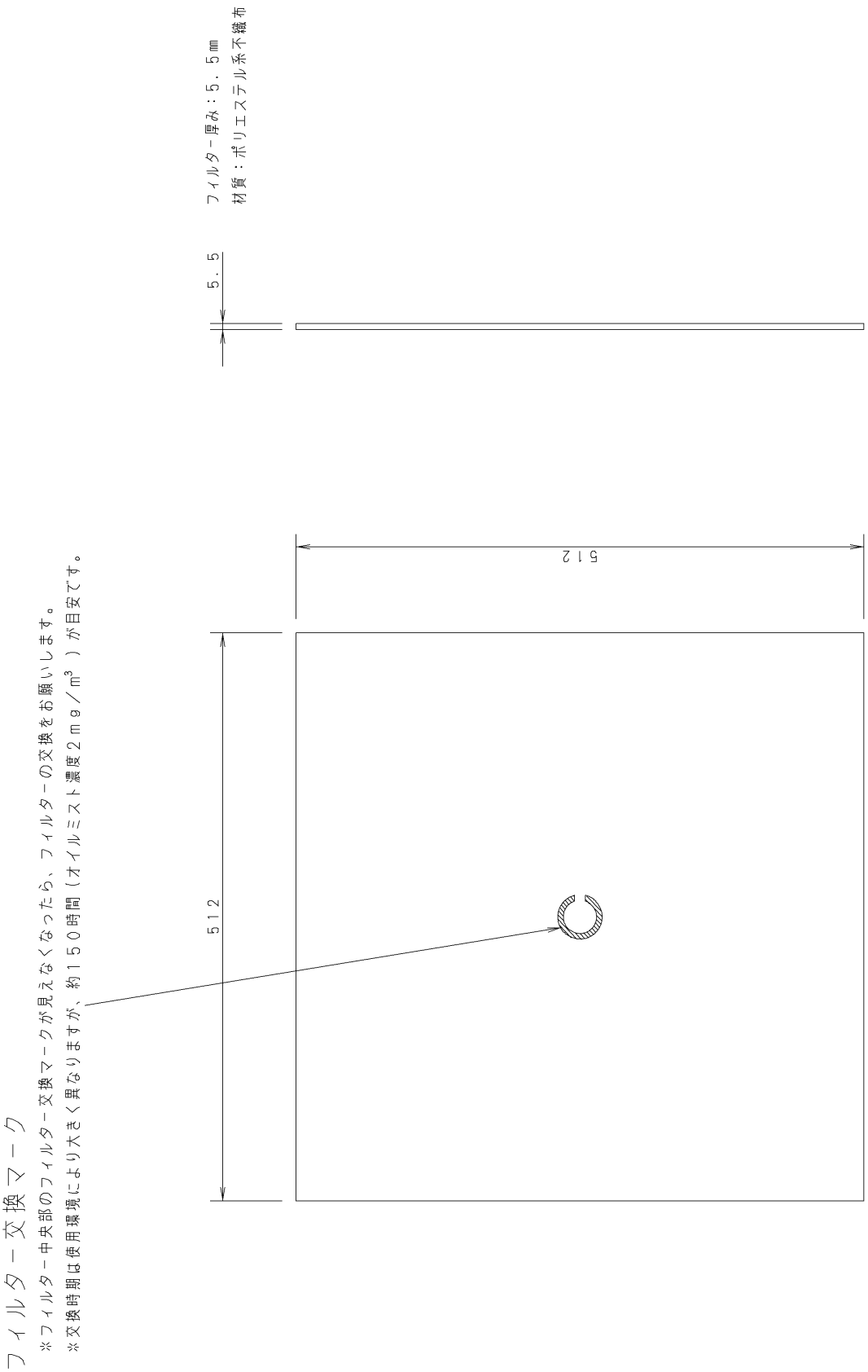
ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5dの設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
①点検＋セット ＋取消ボタンを同時に４秒間以上押します。
②ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③ 温度設定▼／▲ボタンで項目コード「５ｄ」を指定します。
④ 時間▼／▲ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表１のようになっています。
⑤セット ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればＯＫ)
⑥点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ
⑦点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。





●オイルミストフィルター（CZ-160FBU5）

■外形寸法図



■工事説明書

Panasonic

据付工事説明書

オイルミストフィルター

品番　CZ-160FBU5

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ フィルターが入っているポリ袋を幼児の手が届くところに置かない
（頭からかぶるなどしたとき口や鼻をふさぎ、窒息の原因）

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 吸込グリルはパネル本体に確実に取り付ける
（取り付けが不完全な場合、吸込グリルの落下によるケガの原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
- ご使用になるまで開封しないでください。
  開封後は、袋の口を閉じて、ほこりが入らないように保管してください。
- 別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-21823
85464369944000
PA0716 - 30823

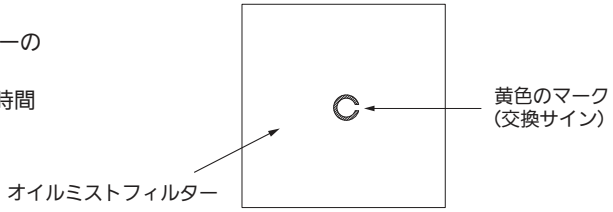
1 . 仕様

入　　数	10枚入り
フィルター交換の目安	150時間（オイルミスト濃度：2.0mg／m³）

※ オイルミストフィルターは室内ユニットの保護を目的とするもので、店内に発生する油煙を捕集するものではありません。

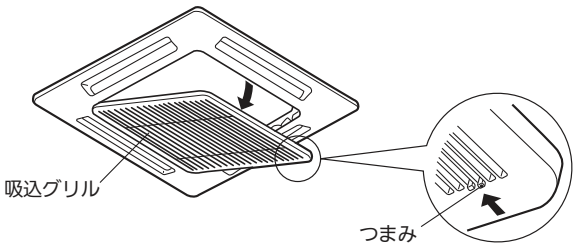
2 . 交換サインについて

オイルミストフィルターの中央部に黄色のマークがあります。
（汚れではありません）
このマークが目立たなくなりましたら、オイルミストフィルターの交換をお願いします。
交換時期は使用環境により大きく異なりますが、およそ150時間（オイルミスト濃度：2.0mg／m³）が目安です。

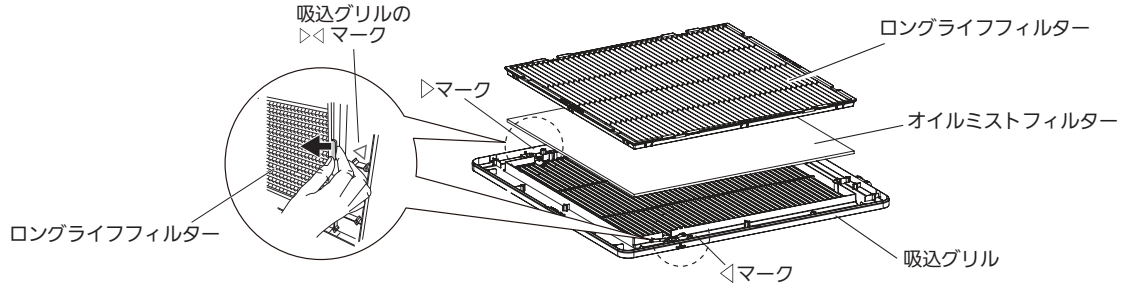


3. 交換のしかた

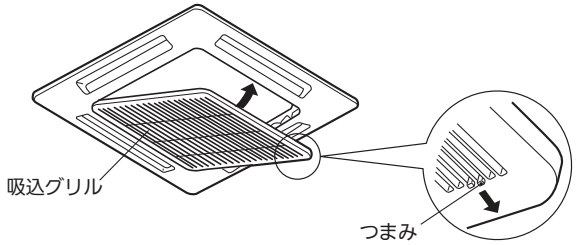
① 吸込グリルのつまみを内側にスライドさせ、吸込グリルを持って静かに開きます。



② 吸込グリルに印字されている◁ マーク部のロングライフフィルター側面を押して手前に引くと、フィルターがはずれます。吸込グリルの上にオイルミストフィルターを置き、ロングライフフィルターを取り付けます。



③ 吸込グリルを閉じ、つまみを外側にスライドさせて、確実に固定してください。



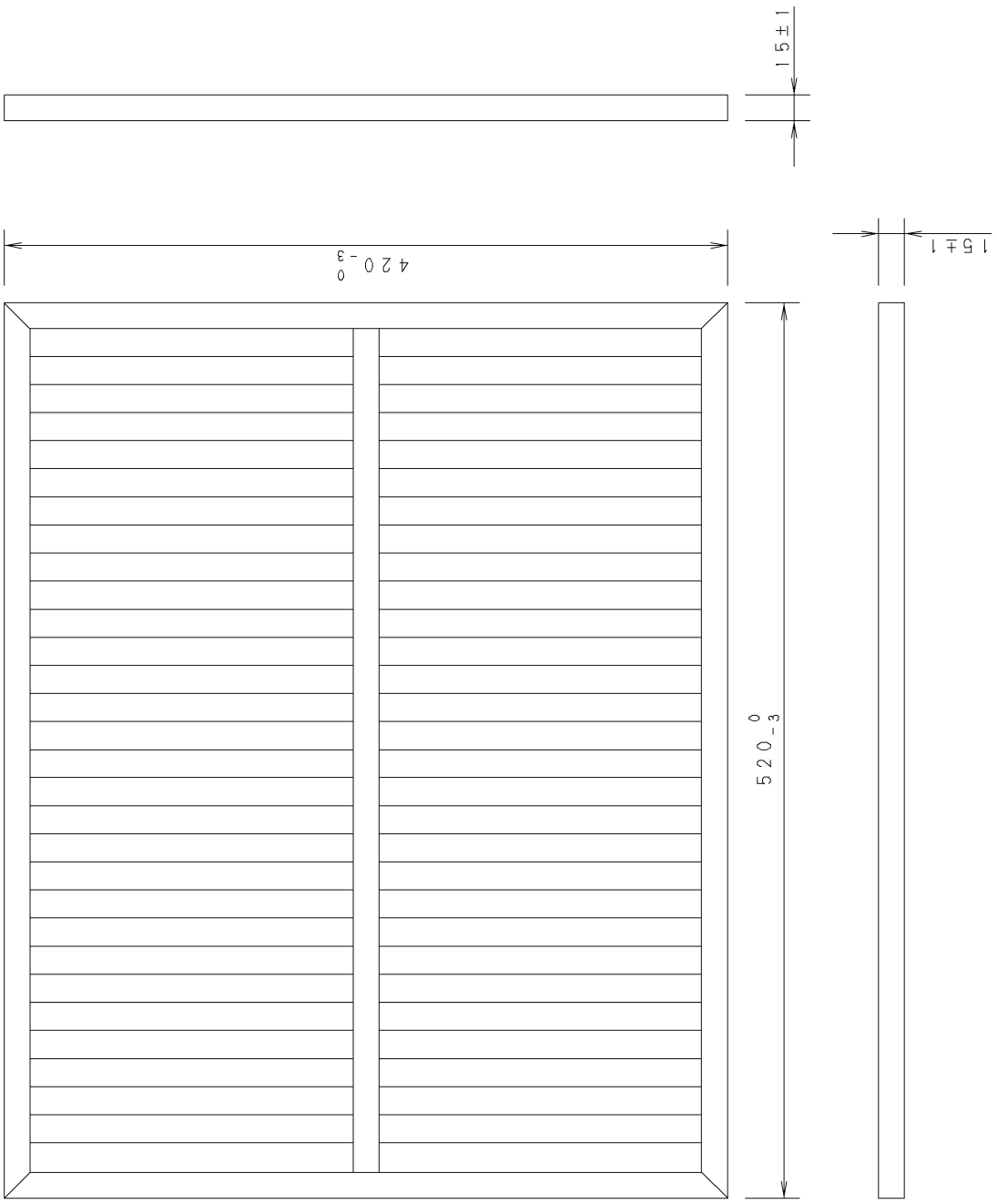
別売の昇降グリル付天井パネルが取り付けてある場合の吸込グリルの昇降操作（下降・停止・上昇）については、昇降グリル付天井パネルに同梱されている取扱説明書を参照してください。

●デオドランドフィルター（CZ-160FEU5）
■デオドラントフィルター仕様

名　称			デオドラントフィルター						
品　番			CZ-160FEU5						
適用室内ユニット			28,36形	45形	56形	71,80形	90,112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	14.7	16.6	17.5	19.5	30.1	30.1	30.1
最終風量		m^3/min	9.9	10.2	10.4	10.5	23.4	23.4	23.4
初期圧損		Pa	13.6	16.1	17.5	17.7	43.9	43.9	43.9
最終圧損		Pa	25.0	32.6	36.2	38.9	65.2	65.2	65.2
初期脱臭性能		%	85%（JEM1467準拠）						
フィルター寿命		時間	9ヶ月						
使用濾材		—	抗菌難燃性ポリエステル/レーヨン不織布＋活性炭＋ゼオライト吸着剤						
フィルター外形寸法	幅	mm	520						
	奥行	mm	420						
	厚み	mm	15						
質量		kg	0.36						
フィルター取付金具（別売品）			CZ-160DFSU5						

注記
(1) 本製品は４方向用の標準パネル、昇降グリル付天井パネルに組み込んでご使用ください。
　天井パネルのエアーフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。
(2) 本フィルターを組み込む場合は、別売のグリル取付フィルター用金具が必要ですのでご用意ください。
(3) 本フィルターを込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
　これを防止するため、グリル取付フィルター用金具に付属の据付工事説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
(4) 風量・圧損は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。
(5) フィルター寿命は、JEM1467に準拠して算出した値を示します。
　また寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。
(6) フィルターは2ヶ月に一度掃除を行なってください。（据付工事説明書参照）

■外形寸法図



注記：本部品の取付けには別売品のグリル取付用フィルター金具
（CZ-160DFSU5）が別途必要です。

■工事説明書

Panasonic

据付工事説明書

デオドラントフィルター

品番　CZ-160FEU5

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」、グリル取付フィルター用金具に同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ フィルターが入っているポリ袋を幼児の手が届くところに置かない
（頭からかぶるなどしたとき口や鼻をふさぎ、窒息の原因）

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 吸込グリルはパネル本体に確実に取り付ける
（取り付けが不完全な場合、吸込グリルの落下によるケガの原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意

・ご使用になるまで開封しないでください。
（デオドラントフィルターの寿命が短くなります。）
・デオドラントフィルターの取り付けには、別売品のグリル取付フィルター用金具（CZ-160DFSU5）が必要です。
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

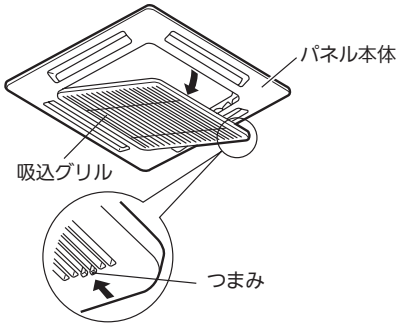
ACXF60-21833
85464369945000
PA0716 - 30823

1 . 仕様

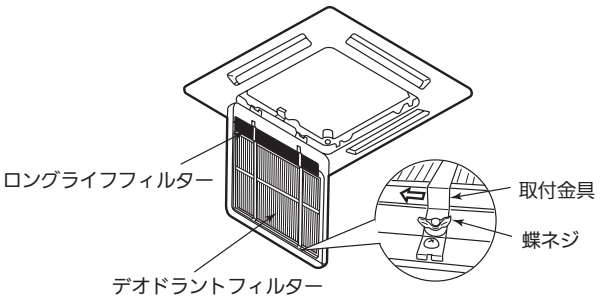
初期脱臭性能	85%（JEM1467準拠）
脱臭耐久性	9か月

2 . 交換のしかた

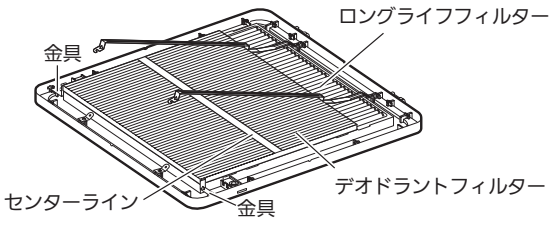
① 吸込グリルのつまみを内側にスライドさせて吸込グリルを持って静かに開きます。



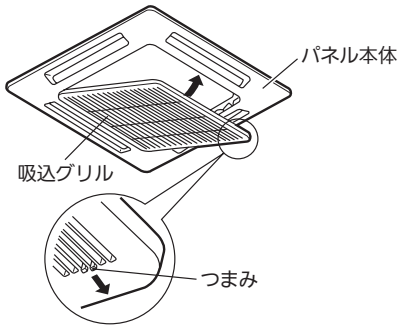
② 蝶ネジを緩め、取付金具をスライドさせ、使用済みフィルターを取り出します。このとき合わせて、パネル本体に付属のロングライフフィルターの掃除をおすすめします。ロングライフフィルターの掃除については、お使いの室内ユニットに同梱されている取扱説明書を参照してください。



③ 交換用のフィルターを袋から取り出し、吸込グリルに取り付けます。フィルターは図のようにセンターラインを表側にして左右の金具の間に取り付けます。



④ 吸込グリルを閉じ、つまみを外側にスライドさせて、確実に固定してください。

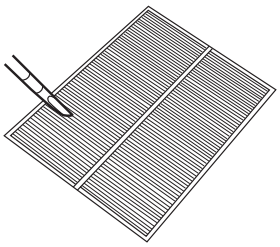


※別売の昇降グリル付天井パネルが取り付けてある場合の吸込口（昇降グリル）の操作（下降・停止・上昇）については、昇降グリル付天井パネルまたは室内ユニットに同梱されている取扱説明書を参照してください。

デオドラントフィルターの交換時期と掃除

●交換時期は使いかたや使用場所により異なりますが、9か月～1年3か月に1回が目安です。

●2か月に一度、ほこりを掃除機で吸い取ってください。

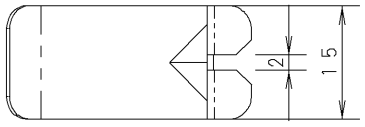


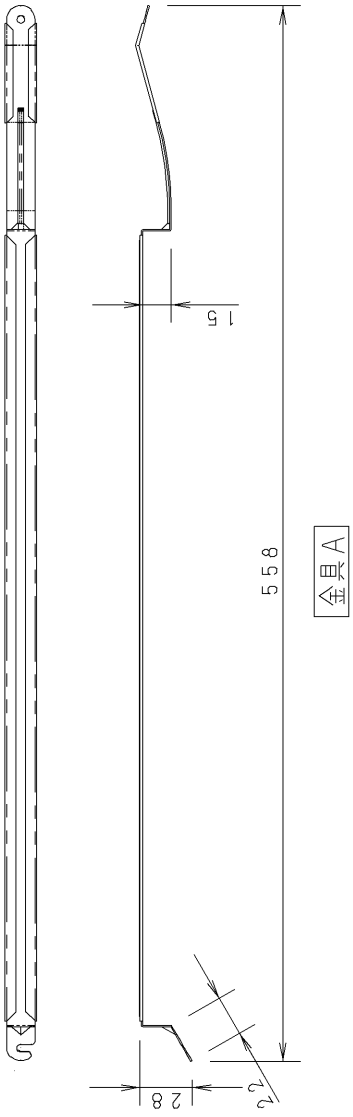
お願い

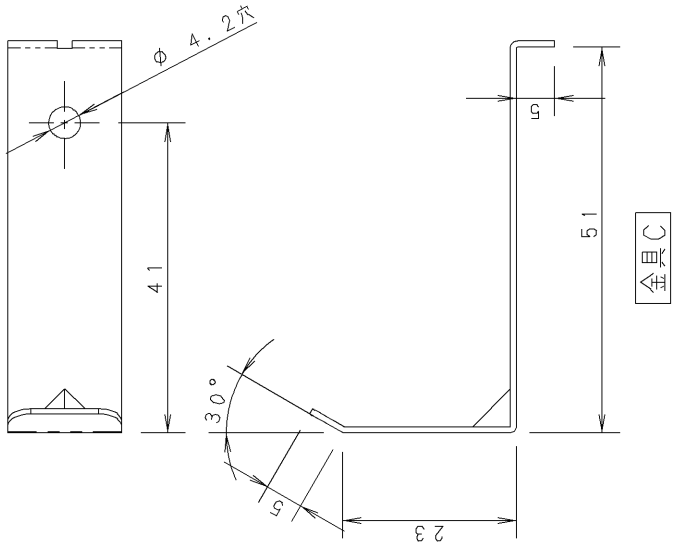
●このフィルターは洗って再使用できません。
●ご使用済みのフィルターは交換用フィルターの袋などに入れ、可燃物として処理してください。
●取付金具を吸込グリルから取りはずさないでください。

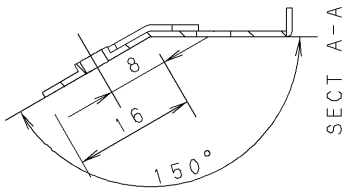
●グリル取付用フィルター金具（CZ-160DFSU5）

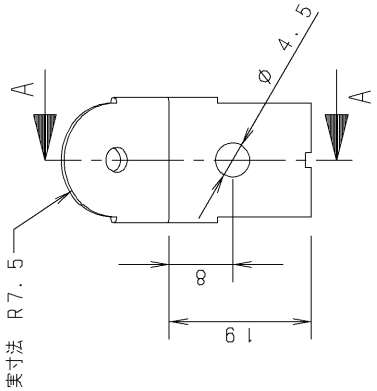
■外形寸法図

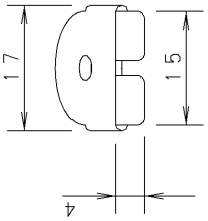


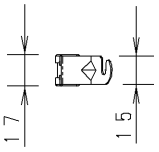












■工事説明書

据付工事説明書

グリル取付フィルター用金具

品番　CZ-160DFSU5

適用室内ユニット　4方向天井カセット形

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」、デオドラントフィルターに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 吸込グリルはパネル本体に確実に取り付ける
（取り付けが不完全な場合、吸込グリルの落下によるケガの原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意

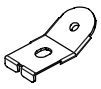
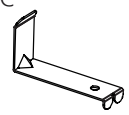
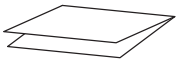
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。

・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

85464369934000
PA0716 - 0

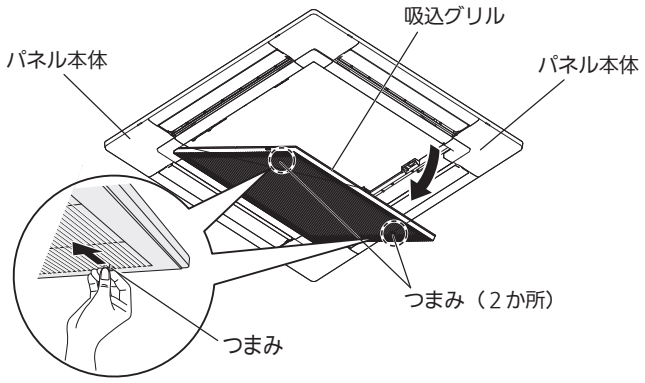
1. 同梱品

●下記部品が同梱されていますので、確認してください。

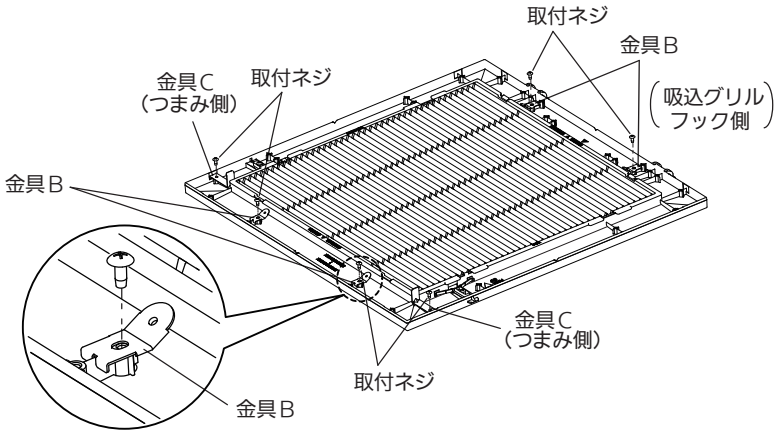
名称	金具A	金具B	金具C	蝶ネジ	ネジ	据付工事説明書
						
数量	2	4	2	4	6	1

2. 取り付けかた

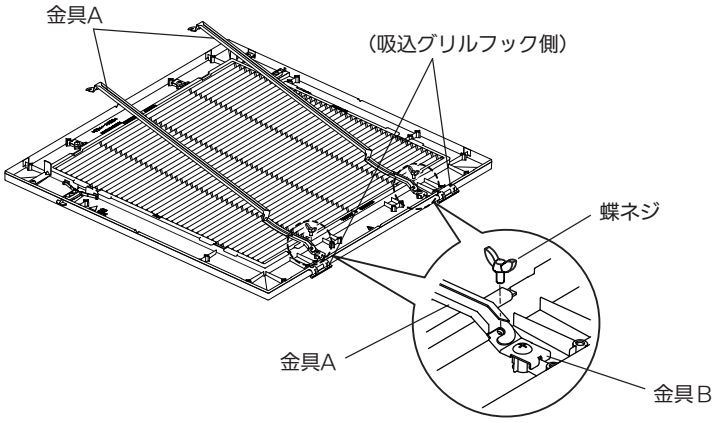
①吸込グリルのつまみを内側にスライドさせて、吸込グリルを持って静かに開き、パネル本体からはずします。



②金具Bと金具Cを図の位置に付属の取付ネジ6本で取り付けます。

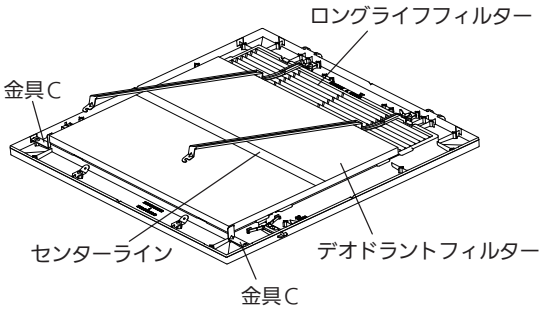


③金具A（2個）を付属の蝶ネジで金具Bに取り付けます。

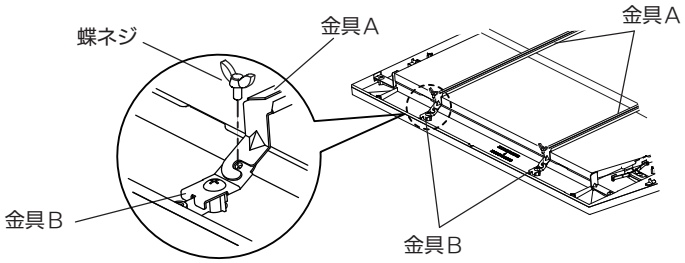


2. 取り付けかた（つづき）

④フィルターは図のように、センターラインを表側にして、左右の金具Ｃの間に取り付けます。

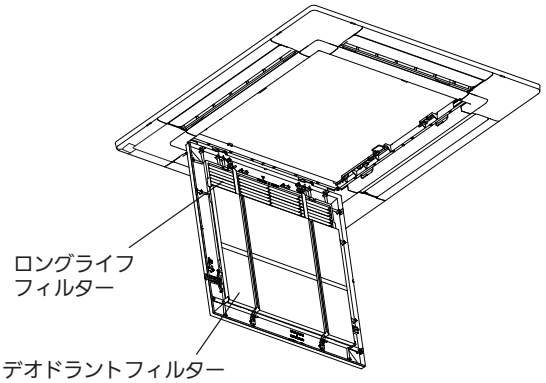


⑤金具Ａ（２個）を付属の蝶ネジで金具Ｂに取り付けます。



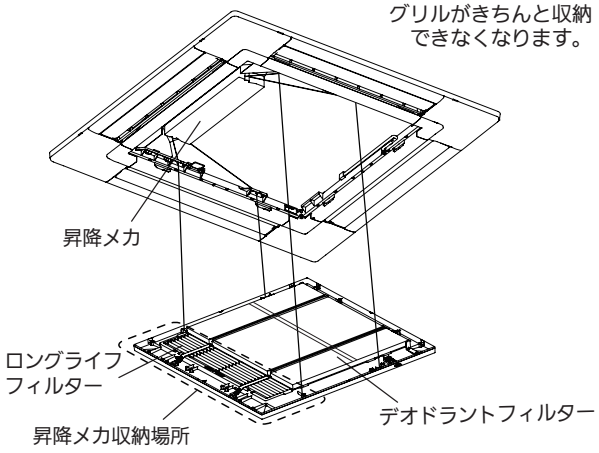
⑥吸込グリルをパネル本体に取り付けます。

標準パネル

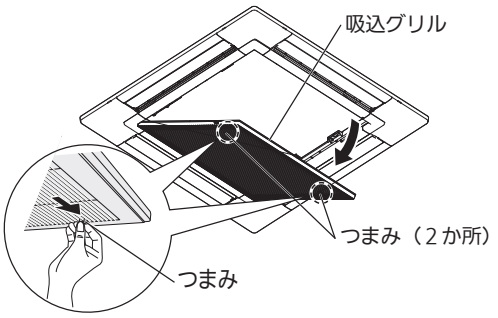


昇降パネル

昇降パネルが取り付いている場合は
昇降メカ部がフィルターのない側に
なるように取り付けてください。
グリルがきちんと収納
できなくなります。



⑦吸込グリルを閉じ、つまみを外側にスライドさせて確実に固定してください。（標準パネルの場合）



⑧ワイヤードリモコン、または室内基板（ディップスイッチ使用）にてＤＣファンタップの設定変更を行ってください。
（設定方法は、「３．ＤＣファンモータータップの選択」を参照してください。）

3. DCファンモータータップの選択

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表1）
変更を行わない場合、風量減少により冷房時吹出温度が低下、露付きの原因となります。
ファン回転数を設定する方法は、（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する方法（2）ワイヤードリモコンで設定する方法があります。どちらかの方法で設定してください。※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1　DCファンモータータップ設定表

設定No.	項目コード5D/5dの設定データ	使用用途／別売品名称　※1
	0000	標準（出荷設定）
(1)	0001	高天井設定1（標準、エコナビパネル時）
		オイルガードパネル　※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター　※2
		高性能フィルター（JIS比色法65%）
		昇降グリル付きオイルガードパネル　※2
		しゃ風材（3方向吹出時）　※3
		しゃ風材（吹出ダクト接続時）　※3
(3)	0003	高天井設定2（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（JIS比色法90%）
		デオドラントフィルター
(6)	0006	しゃ風材（2方向吹出時）

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組合せ可能な別売品を確認し選定してください。

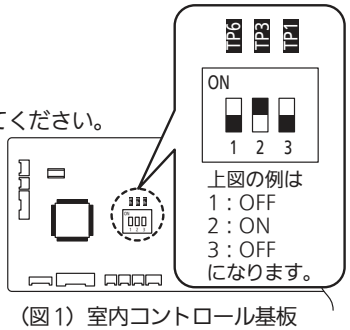
※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルターを組み合わせる場合は、設定No.（3）または設定データ0003を設定してください。

※3. しゃ風材とそれ以外の別売品を併用の場合、
3方向吹出時　設定No.（3）または設定データ0003
吹出ダクト接続時　設定No.（3）または設定データ0003
2方向吹出時　設定No.（6）または設定データ0006
を設定してください。
なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

(1) 基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

<手順>必ず電源（漏電しゃ断器）を切ってください。
①ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。
②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。(図1)
③表1で確認した設定Noに合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

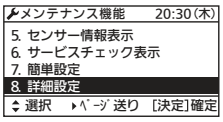
設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ
(1)	TP6 TP3 TP1 ディップスイッチ ON 側 OFF 側 ON 1 2 3	(3)	TP6 TP3 TP1 ディップスイッチ ON 側 OFF 側 ON 1 2 3	(6)	TP6 TP3 TP1 ディップスイッチ ON 側 OFF 側 ON 1 2 3

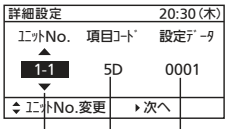


（図1）室内コントロール基板

(2) ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT4シリーズ）

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
[詳細設定画面] が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、 決定 ボタンを押してください。
⑤ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、 戻る ボタンを押してください。
[詳細設定終了画面」が表示されます。
「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。

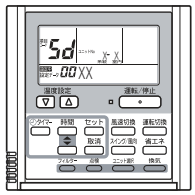


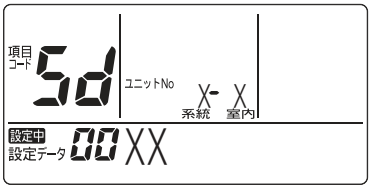


ユニットNo.　項目コード　設定データ

(3) ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT3/CZ-10RT3A）

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5ｄの設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
①点検＋セット＋取消ボタンを同時に４秒間以上押します。
②ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③ 温度設定▼／▲ボタンで項目コード「５ｄ」を指定します。
④ 時間▼／▲ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表１のようになっています。
⑤セット ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればＯＫ)
⑥点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ
⑦点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。





●自然気化式加湿器（CZ-07ASU5・CZ-14ASU5）

■仕様

品番			CZ-07ASU5	CZ-14ASU5
対応ユニット			28,36,45,56,71,80,90形	112,140,160形
加湿性能		kg/h	0.7	1.4
加湿方式			自然蒸発式	
給水量		L/h	3.3	
加湿材			ポリエステル繊維（抗菌・防カビ仕様）	
給水制御方式			タイマー制御による断続給水（ON22秒、OFF38秒）	
電源電圧			AC200V（50/60Hz）	
定格消費電力		W	3.5	
質量	水(有)	kg	2.9	3.6
	水(無)	kg	2.5	3.0
使用範囲	給水圧力	Mpa	0.049（0.5kgf/cm²）～0.49（5kgf/cm²）	
	給水圧力(ポンプ使用時)	Mpa	0.049（0.5kgf/cm²）～0.29（3kgf/cm²）	
	減圧弁		加湿器本体に内蔵	
	仕様周囲温湿度		5～40℃、90%RH以下	
	使用水		上水道水またはこれと同等以上のもの	
	取付角度		全方向共±2°以内のこと	
保護装置			タイマー基板内に保護ヒューズ内臓	
外形寸法	H	mm	160	223
	W	mm	163	163
	L	mm	516.5	516.5

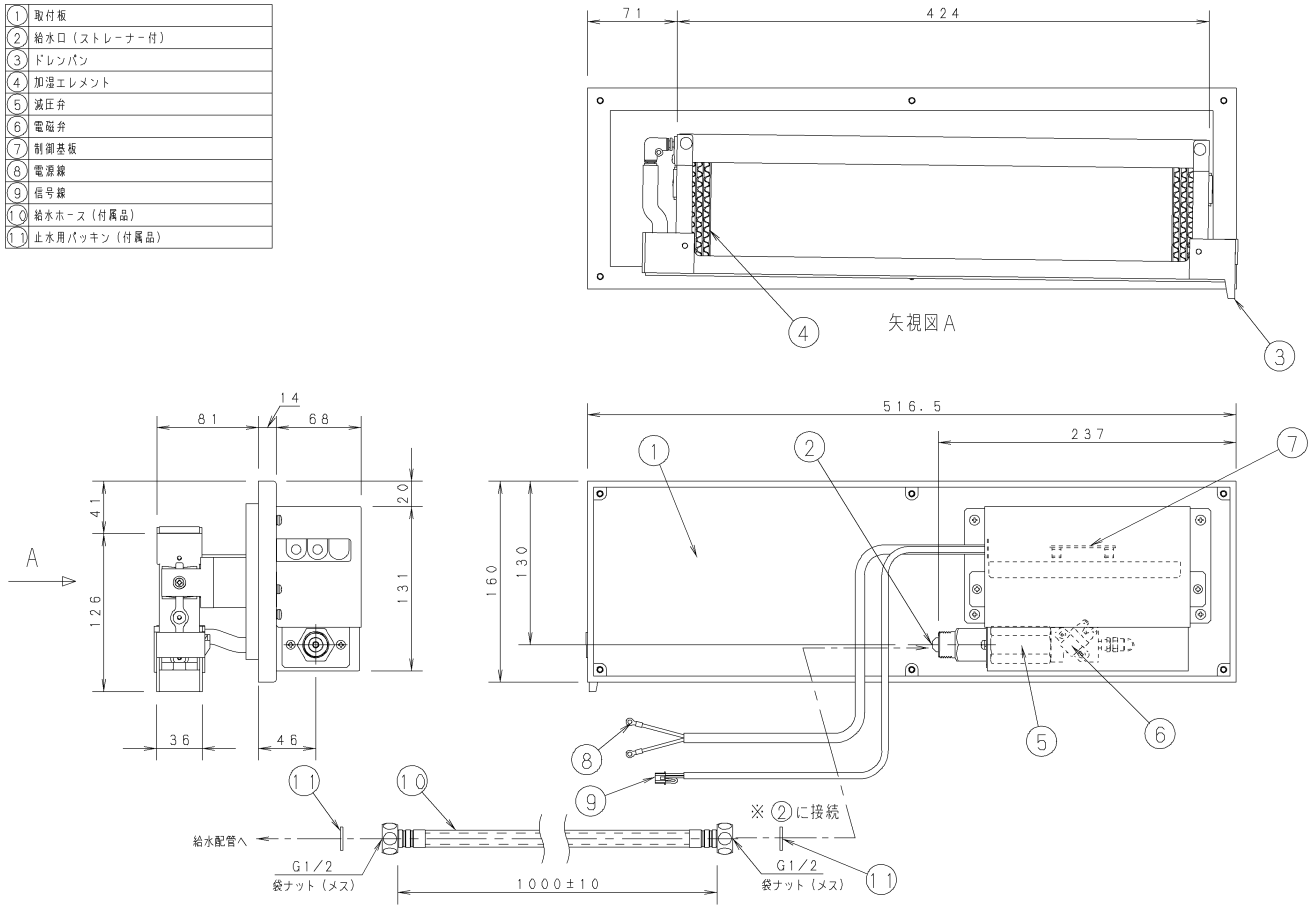
注意）

・加湿性能は、加湿器入口空気温度４５℃、１５％ＲＨ、通過風速１ｍ／ｓで、それぞれＣＺ－０７ＡＳＵ５を８０形室内ユニットに、ＣＺ－１４ＡＳＵ５を１４０形室内ユニットに組み込んだときの値を示します。

・加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。
公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン(型式認可品：現地調達) をご使用ください。

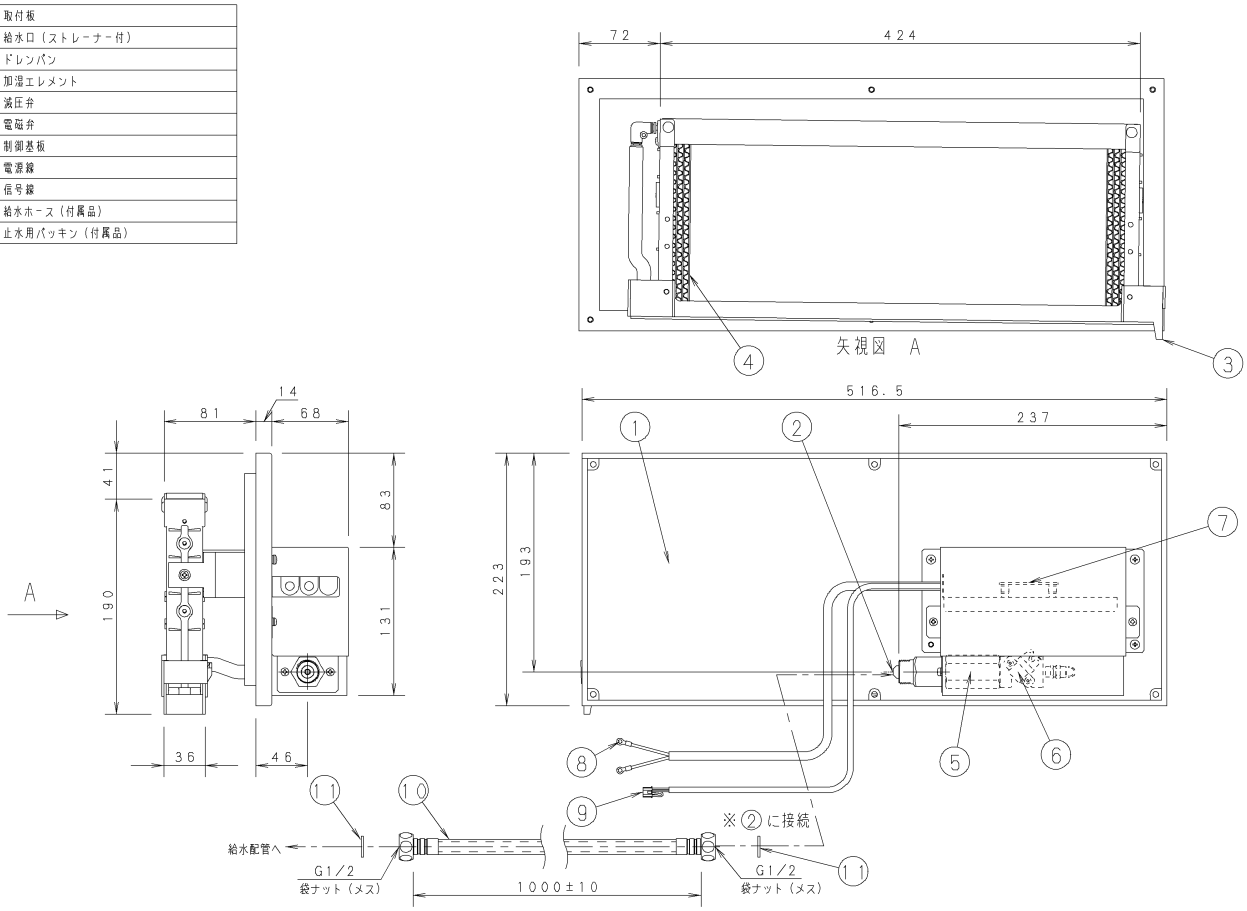
■外形寸法図（CZ-07ASU5）

①	取付板
②	給水口（ストレーナー付）
③	ドレンパン
④	加湿エレメント
⑤	減圧弁
⑥	電磁弁
⑦	制御基板
⑧	電源線
⑨	信号線
⑩	給水ホース（付属品）
⑪	止水用パッキン（付属品）



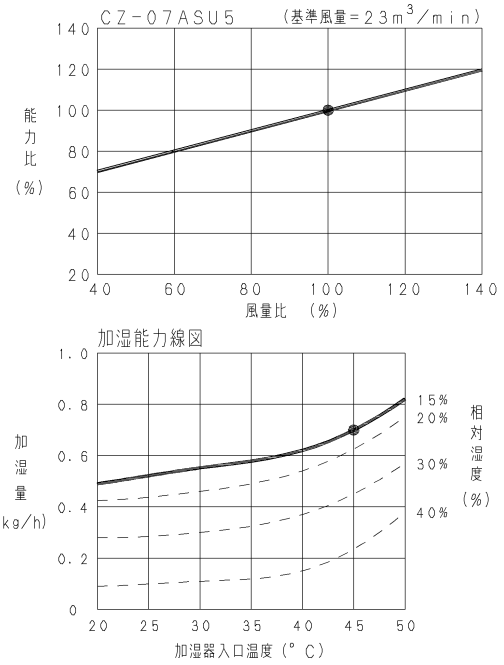
■外形寸法図（CZ-14ASU5）

①	取付板
②	給水口（ストレーナー付）
③	ドレンパン
④	加湿エレメント
⑤	減圧弁
⑥	電磁弁
⑦	制御基板
⑧	電源線
⑨	信号線
⑩	給水ホース（付属品）
⑪	止水用パッキン（付属品）

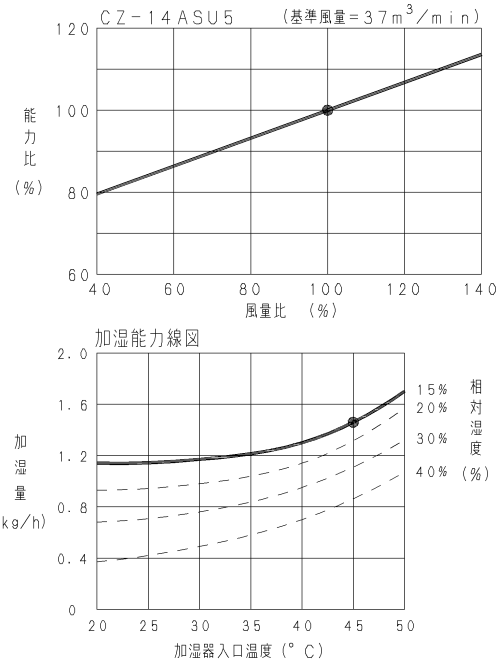


■能力線図

＜風量－能力線図＞ 風量比（%）＝任意風量／基準風量X100



＜風量－能力線図＞ 風量比（%）＝任意風量／基準風量X100



注記

1）加湿能力条件は、加湿器通過　温湿度が
　DB45°C，RH15%の場合の値を示します。

2）使用する室内ユニットの定格風量が基準風量と
　異なる場合は下記の式にて算出します。

＜CZ－14ASU5＞

定格加湿能力：1．4kg／h

基準風量　　：37m³／min

例：160形の場合（CZ－14ASU5を使用）

定格風量：38m³／min

風量比　＝任意風量／基準風量×100　より
　　＝38／37×100＝102（%）　となり

能力比は風量－能力線図より約101%となる。

従って加湿量は

加湿量＝定格加湿能力X能力比　より
　　＝1．4×1．01＝1．41　kg／h
　　となります。

●自然気化式加湿器　高加湿タイプ（CZ-16ASHU5・CZ-20ASHU5）

■仕様

品　番				CZ-16ASHU5	CZ-20ASHU5
対応ユニット				28,36,45,56,71,80,90形	112,140,160形
加湿性能			kg/h	1.6	2.0
加湿方式				自然蒸発式	
給水量			L/h	3.3	6.0
加湿材				ポリエステル繊維（抗菌・防カビ仕様）	
給水制御方式				タイマー制御による断続給水（ON22秒、OFF38秒）	
電源電圧				AC200V（50/60Hz）	
定格消費電力			W	3.5	
質量	水(有)		kg	4.9	6.0
	水(無)		kg	4.1	4.8
使用範囲	給水圧力		MPa	0.049（0.5kgf/cm²）～0.49（5kgf/cm²）	
	給水圧力(ポンプ使用時)		MPa	0.049（0.5kgf/cm²）～0.29（3kgf/cm²）	
	減圧弁			加湿器本体に内蔵	
	仕様周囲温湿度			5～40℃、90%RH以下	
	使用水			上水道水またはこれと同等以上のもの	
	取付角度			全方向共±2°以内のこと	
保護装置				タイマー基板内に保護ヒューズ内臓	
外形寸法1（電装BOX付）		H	mm	160	223
		W	mm	163	163
		L	mm	516.5	516.5
外形寸法2（電装BOX無し）		H	mm	160	223
		W	mm	121	121
		L	mm	516.5	516.5

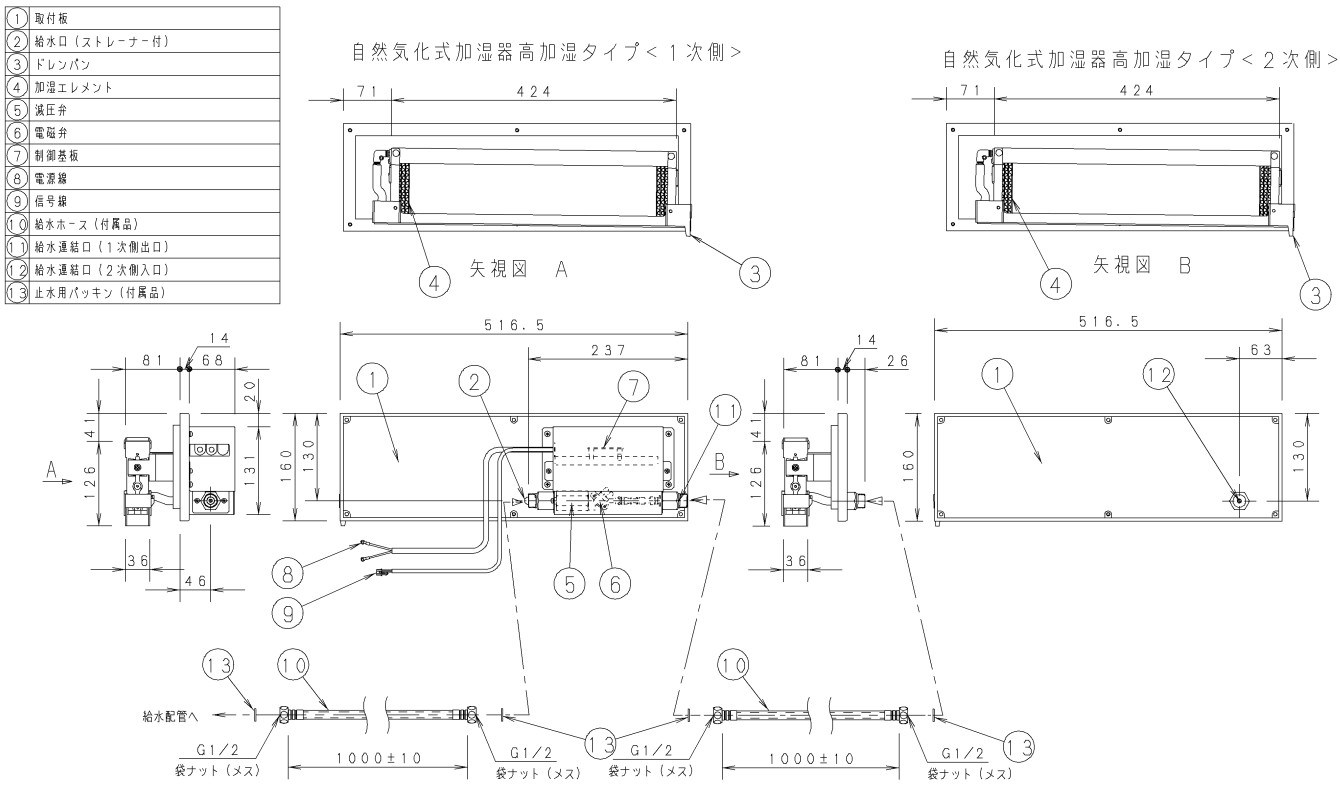
注意）

・加湿性能は、加湿器入口空気温度４５℃、１５%ＲＨ、通過風速１m／ｓで、それぞれＣＺ－１６ＡＳＨＵ５を８０形室内ユニットに、ＣＺ－２０ＡＳＨＵ５を１４０形室内ユニットに組み込んだときの値を示します。

・加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。
公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン(型式認可品：現地調達) をご使用ください。

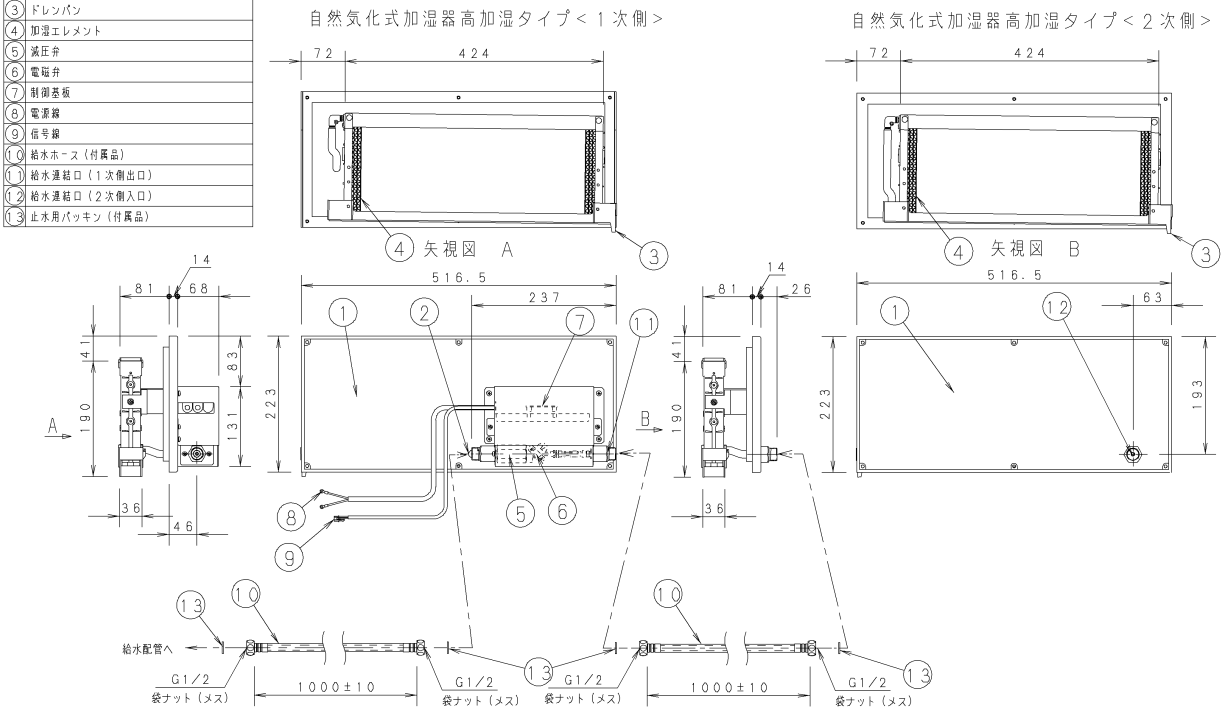
■外形寸法図（CZ-16ASHU5）

①	取付板
②	給水口（ストレーナー付）
③	ドレンパン
④	加湿エレメント
⑤	減圧弁
⑥	電磁弁
⑦	制御基板
⑧	電源線
⑨	信号線
⑩	給水ホース（付属品）
⑪	給水連結口（１次側出口）
⑫	給水連結口（２次側入口）
⑬	止水用パッキン（付属品）



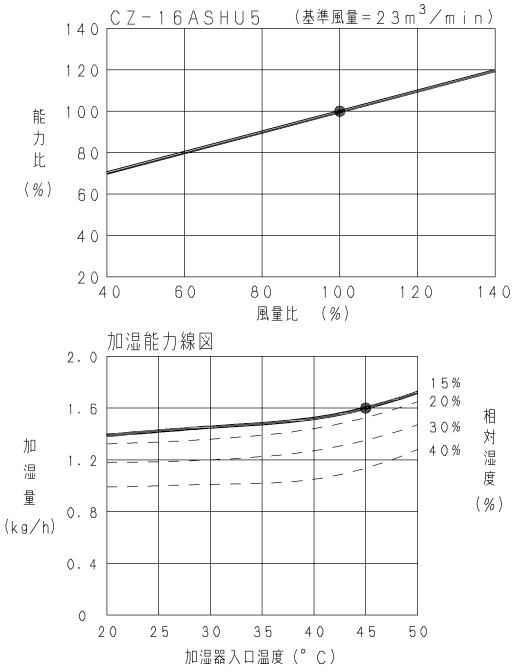
■外形寸法図（CZ-20ASHU5）

①	取付板
②	給水口（ストレーナー付）
③	ドレンパン
④	加湿エレメント
⑤	減圧弁
⑥	電磁弁
⑦	制御基板
⑧	電源線
⑨	信号線
⑩	給水ホース（付属品）
⑪	給水連結口（1 次側出口）
⑫	給水連結口（2 次側入口）
⑬	止水用パッキン（付属品）

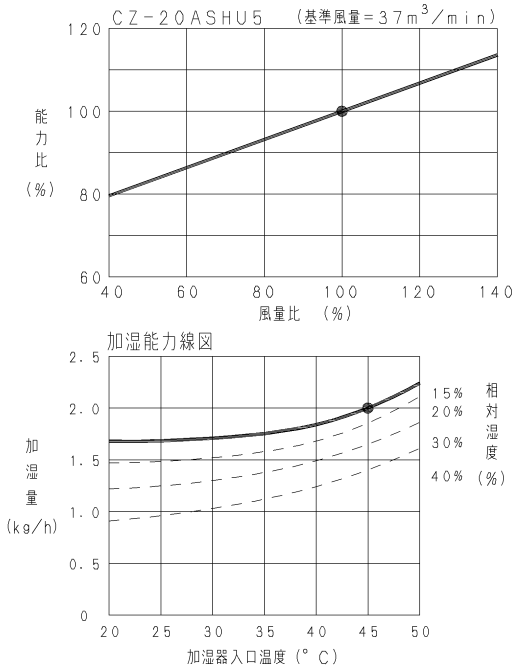


■能力線図

＜風量－能力線図＞ 風量比（%）＝任意風量／基準風量Ｘ１００



＜風量－能力線図＞ 風量比（%）＝任意風量／基準風量Ｘ１００



注記

1）加湿能力条件は、加湿器通過　温湿度が
　DB45°C，RH15%の場合の値を示します。

2）使用する室内ユニットの定格風量が基準風量と
　異なる場合は下記の式にて算出します。

＜CZ-20ASHU5＞

定格加湿能力：2.0kg/h

基準風量　　：37m³/min

例：160形の場合（CZ-20ASHU5を使用）

定格風量：38m³/min

風量比　＝任意風量／基準風量×100　より

　　＝38／37×100＝102（%）　となり

能力比は風量－能力線図より約101%となる。

従って加湿量は

加湿量＝定格加湿能力X能力比　より

　　＝2.0×1.01＝2.02　kg/h

となります。

■工事説明書

Panasonic

据付工事説明書

自然気化式加湿器

品番　CZ-07ASU5　CZ-14ASU5　CZ-16ASHU5　CZ-20ASHU5

適用室内ユニット　4方向天井カセット形

●据付工事の前に、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

●据付工事終了後、必ず付属の「据付工事説明書　試運転編」に従って試運転を行い異常がないことを確認してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗ ⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

⃠
- ■電源配線をバンドなどで束ねて収納しない
  （発熱、火災の原因）
- ■配線は途中接続しない
  （接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）

❗
- ■据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
  （ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）
- ■配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
  （故障や発熱、火災の原因）
- ■配線をはさまないように、カバーは元どおり確実に取り付ける（感電、火災の原因）
- ■据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
  （ユニットの落下による、けがの原因）
- ■電気工事（アース工事を含む）は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの「据付工事説明書」に従って施工する（感電、火災のおそれ）
- ■付属品は当社指定の部品を使用する
  （指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）

⚠ 注意

⃠
- ■0℃以下の雰囲気となり、凍結のおそれがある場所には取り付けないでください。
  （破損・水漏れの原因になります）

❗
- ■給水配管（現地調達）の断熱処理を行ってください（断熱材は現地調達）。不備があると、給水配管への結露による水漏れや、給水配管内の水が凍結することにより配管や接続部が破壊され水漏れの原因となります。

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

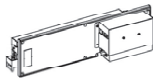
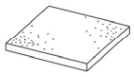
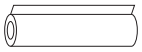
85464369947001
PA0916-10916

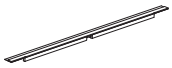
■ 据付前のご注意

・加湿器の取付工事は、必ず室内ユニットを据え付ける前に行ってください。加湿器組込み後の輸送はしないでください。
・定期清掃や点検のため、加湿器取り付け側の天井面に□４５０以上の点検口を必ず設置してください。
・ヒューミディスタット（現地調達）は、湿度低下で接点がＯＮとなる方式のもので、接点容量２００ＶＡ以上のものを準備してください。
・供給水質は上水または同等以上の水を使用し、保守管理のため加湿器毎に給水配管にサービスバルブ（現地調達）を設けてください。
・現地調達の給水配管には死水排水バルブおよびＹ形ストレーナー（現地調達）を必ず取り付けてください。
・給水配管は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン（型式認可品：現地調達）をご使用ください。
・給水圧力は0.049～0.49MPaの範囲内でご使用ください。ただしポンプを使用して給水する場合は0.049～0.29MPaの範囲内でご使用ください。この範囲を超える場合は、給水系統毎に減圧弁（現地調達）を設けてください。また給水配管にトラップがあるとエアーだまりができ異音が発生することがありますので、トラップが無いように設置してください。

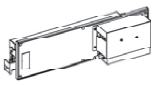
1. 付属品

標準加湿タイプ　CZ-07ASU5, CZ-14ASU5

品名	説明書	加湿ユニット	取付プレート	給水ホース	パッキン	給水ホース断熱材	断熱パイプ
形状	・据付工事説明書 ・取扱説明書 ・据付工事説明書 試運転編			 L=1000	 水道用19㎜パッキン （ノンアスベスト）	 100×100ｔ10	 L=920
数量	各1	1	2	1	2	2	1

品名	ビニタイ	断熱材Ａ	断熱材Ｂ	取付ネジ	取付ナット	閉端接続子	風向板
形状	 コード締結用: 3本 断熱材固定用: 2本	 ｔ３	 ｔ３	 トラス頭　２種 4×10タッピンネジ	 M4Ｌ15	 ヒューミディ スタット用	
数量	5	2	2	6	6	2	1

高加湿タイプ　CZ-16ASHU5, CZ-20ASHU5

品名	加湿ユニット(電装付)	加湿ユニット(電装無)
形状		
数量	1	1

据付工事説明書 ……	1部	取付プレート ……	4個
据付工事説明書　試運転編 ……	1部	給水ホース断熱材 ……	4枚
給水ホース ……	2本	断熱パイプ ……	2本
パッキン ……	4個	ビニタイ ……	7本
閉端接続子 ……	2個	取付ナット ……	12個
断熱材Ａ，Ｂ ……	各4枚	取付ネジ ……	12本
取扱説明書 ……	1部	風向板 ……	2枚

2. 取り付けかた

※加湿器の組み込みは、必ず室内ユニットを据え付ける前に行ってください。

1．室内ユニット側面の加湿器取付面ハーフカット部を金鋸・ニッパー等で板金をていねいに切断し、板金を取り除いてください。（側面を切断する前に、加湿ユニットを合わせて切断位置を確認してください。組み合わせる加湿器によりハーフカット部が異なります。）
さらに板金のカット面に沿って、室内ユニット内部の発泡スチロールをよく切れるカッターでカットし、角穴を開けてください。内部に熱交換器がありますので注意して作業してください。（図１）
※発泡スチロールの切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。
※製品が破損するおそれがありますので、発泡スチロールは割り取らず、必ず切り取ってください。

2．室内ユニット側面の角穴部に付属の取付プレートを取り付けます。取り付けには付属の取付ネジを使用します。（図２）

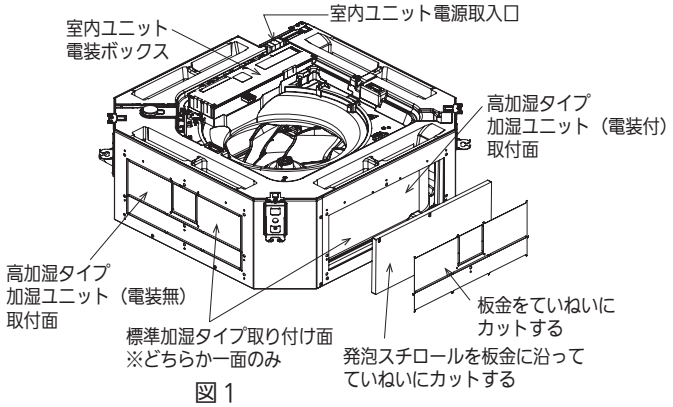


図１

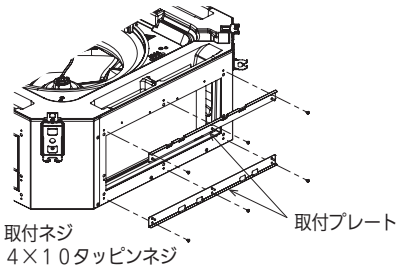
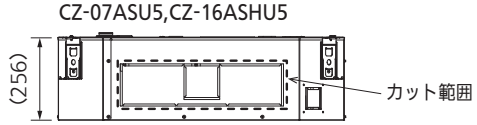
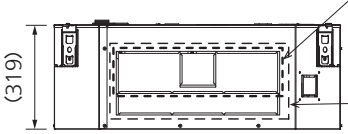


図２

CZ-07ASU5,CZ-16ASHU5





上記室内ユニット（高さ319mm）は２種類の加湿器が取り付けられます。
側面を切断する前に、加湿ユニットを合わせて切断位置を確認してください。

2. 取り付けかた（つづき）

3．角穴の開口部周囲に付属品の断熱材Ａ・Ｂを貼り付けてください。（図３、４）
4．加湿ユニットの緩衝材（各２個）を取り除いてください。（図５）
5．室内ユニット側面の角穴に、向きに注意しながら加湿ユニットを挿入します。このとき加湿器排水口が室内ユニット本体のドレンパンに入っていることを必ず確認してください。（図６、７）
6．付属品の取付ナットで加湿ユニットをしっかり固定してください。（図６）

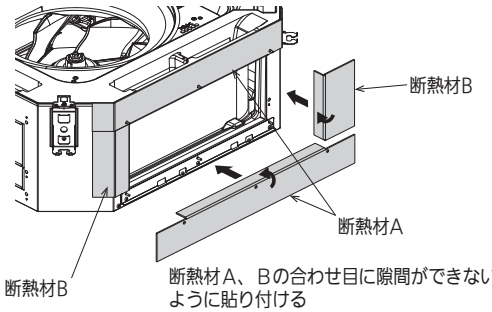


図３

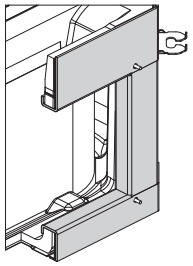


図４

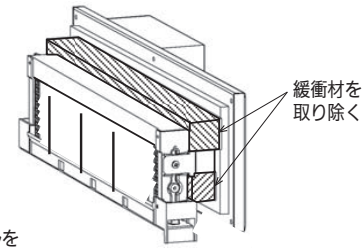


図５

7．高加湿タイプは、加湿ユニットの給水連結口に付属の給水ホースを接続し、断熱パイプを取り付けてください。（図８）
※必ず付属のパッキンを入れて袋ナットをダブルスパナで締め付けてください。(締付トルクの目安15.0N･m)
8．「4. 給水配管」にそって給水配管を接続して、接続部の水漏れがないことを確認し、給水ホースの接続部に付属品の給水ホース断熱材を巻きつけてビニタイで固定してください。
（図８）

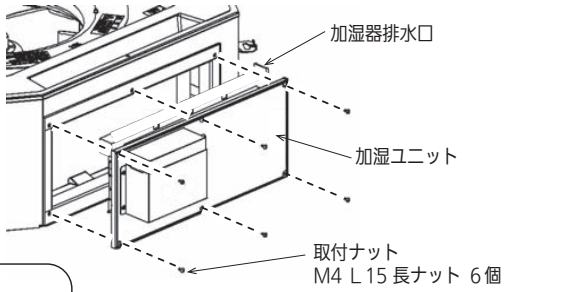


図６

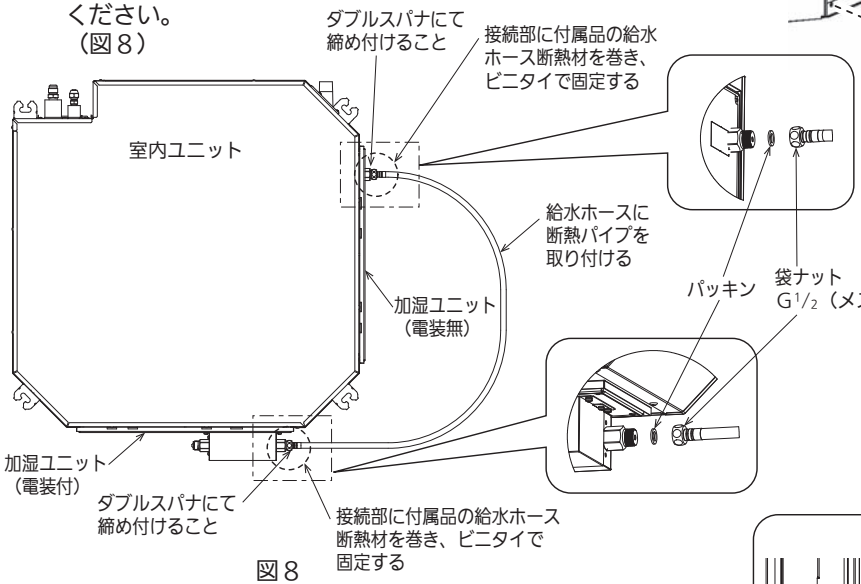


図８

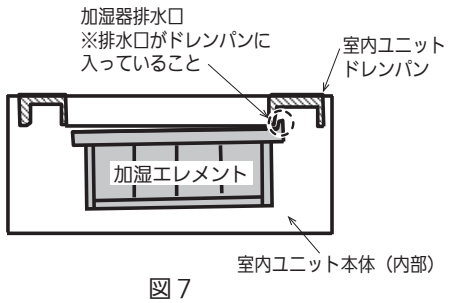


図７

9．加湿ユニットを取り付けた側面の吹出口に付属品の風向板を取り付けてください。高加湿タイプは2か所になります。
（図9,10,11）

⚠注意	●風向板を必ず取り付けてください。 （結露、水漏れの原因になります。）

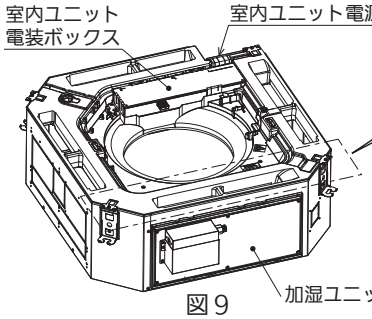


図９

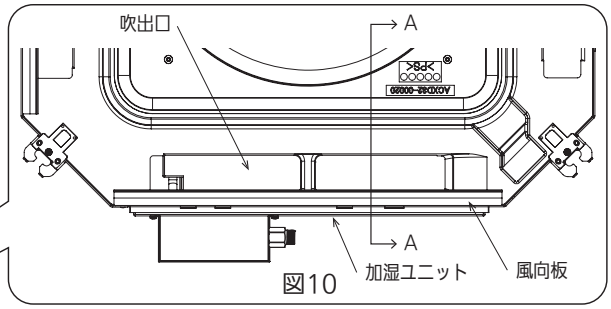


図10

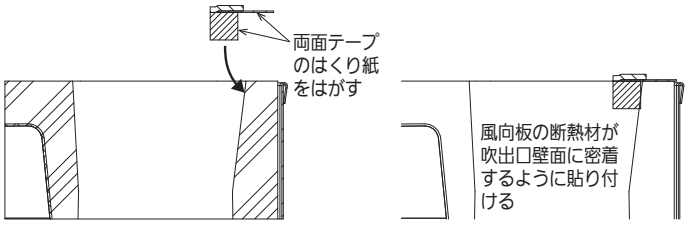


図11（図10のA－A断面）

3. 電気配線

1．室内ユニット電源取入口から、室内ユニット内へ配線を引き込みます。
2．室内ユニット電装ボックスの蓋を開き、加湿器の電源線を３Ｐ端子板に接続します。（図12）
　※電源線は黒を３Ｐ端子板の【R】に、白を【S】に接続してください。
3．加湿器信号線のソケットを室内コントロール基板の【ＨＵ（ＣＮ０６６:４Ｐ白）】コネクタに接続します。（図12）
4．ヒューミディスタットをご使用になる場合は、加湿器電気回路図（図13）を参考に加湿器電装ボックス内にある
　ジャンパー線（青色）を切断し、付属品の閉端接続子でヒューミディスタットの配線と接続します。
　接続部（閉端接続子）は、加湿器電装ボックス内に収納してください。

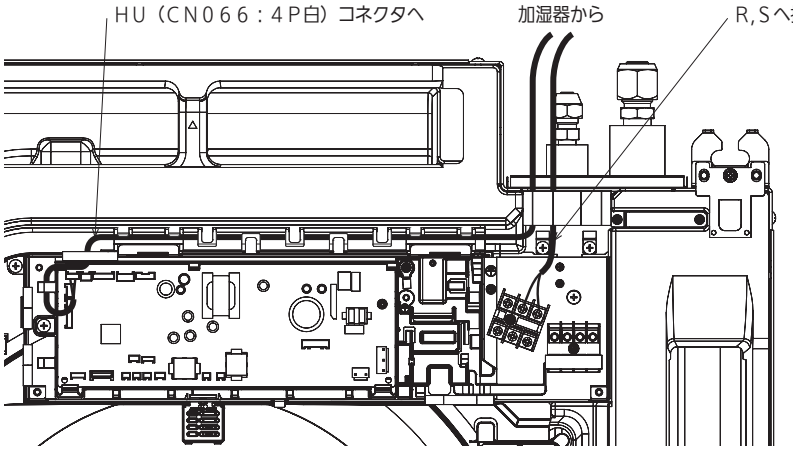


図12

加湿器電気回路図

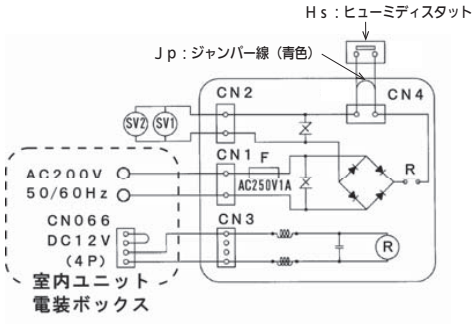
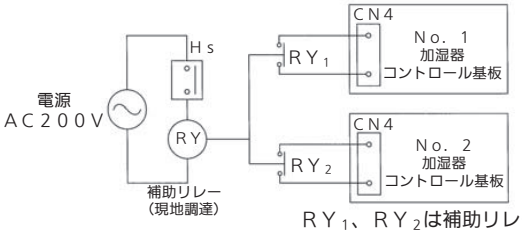


図13

お願い

ヒューミディスタット（現地調達）を取り付ける場合は、加湿器電装ボックス１台毎にヒューミディスタットを１個接続を基本としてください。
複数台の加湿器を１個のヒューミディスタットで制御する場合は、リレーにて個別に接点を分けて各加湿器に接続してください。（図14）
接点を分けないと正常な加湿動作が行えず、水漏れの原因になります。

例.　２台の加湿器を補助リレー接点にて制御する場合



RY_1、RY_2は補助リレーの接点
接点容量ＡＣ２００Ｖ３Ａ

図14

4. 給水配管

⚠警告　●0℃以下の雰囲気となり、凍結のおそれがある場所には取り付けないでください。
（破損、水漏れの原因になります。）

1．室内ユニットの「据付工事説明書」に従って、加湿器を組み込んだ室内ユニットを据え付けてください。
2．現地調達の給水配管内に通水し、配管内の汚れを取り除いてください。
3．給水ホースに断熱パイプを取り付けてから加湿ユニットの給水口に接続してください。（図15）
　※必ず付属のパッキンを入れて袋ナットをダブルスパナで締め付けてください。（締付トルクの目安15.0N・m）
　※加湿ユニットの給水口にストレーナーを取り付けた状態で配管を接続してください。
4．図15を参考に現地調達の給水配管等を接続してください。
●以下の項目は試運転の後、問題が無いことを確認した上で行ってください。
5．給水接続部の水漏れ確認を行ってください。
6．水漏れが無ければ、給水ホースの接続部に付属品の給水ホース断熱材を巻きつけてビニタイで固定してください。（図15）
7．現地調達の給水配管にも、断熱処理を行ってください。配管の凍結は漏水事故の原因となります。
　十分に保温工事をしてください。この断熱材は現地調達になります。

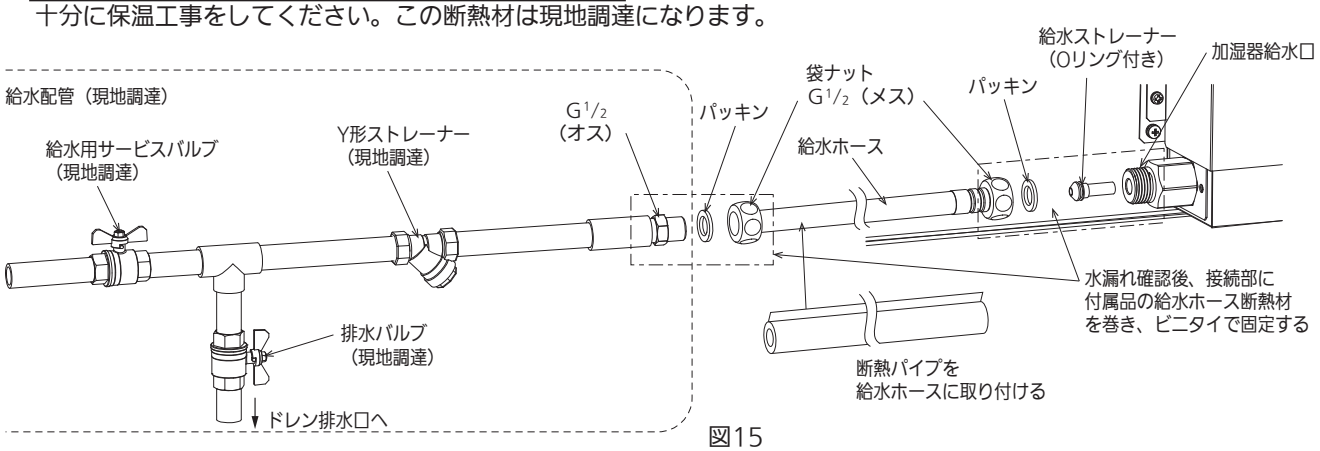


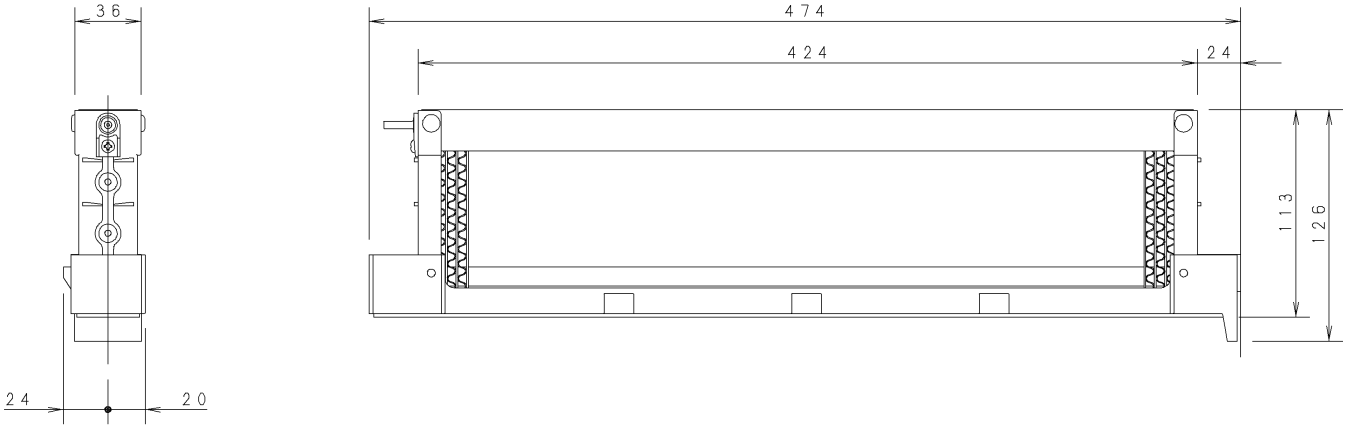
図15

●交換用加湿エレメント（CZ-07AU5・CZ-14AU5）

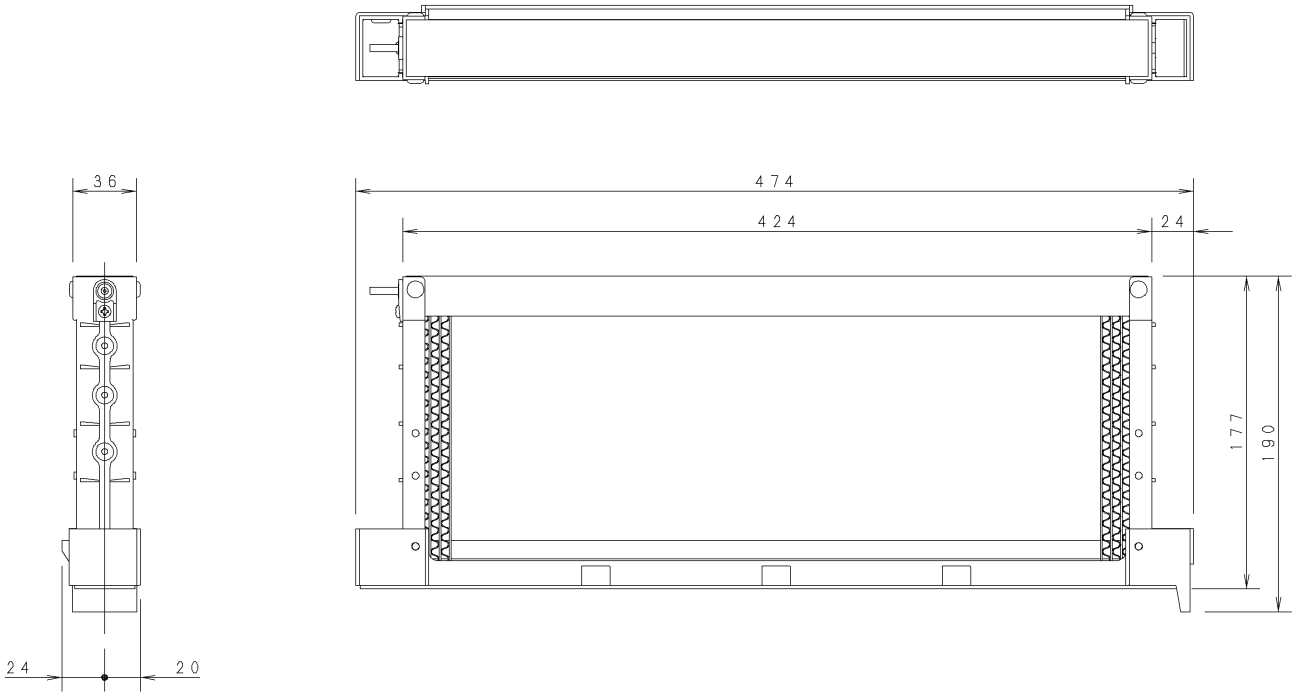
■仕様

品番			CZ-07AU5	CZ-14AU5
対応ユニット			28,36,45,56,71,80,90形	112,140,160形
加湿性能		kg/h	ー	ー
加湿方式			自然蒸発式	
給水量		L/h	ー	ー
加湿材			ポリエステル繊維（抗菌・防カビ仕様）	
給水制御方式			ー	
電源電圧			ー	
定格消費電力		W	ー	
質量	水(有)	kg	ー	ー
	水(無)	kg	0.4	0.5
使用範囲	給水圧力	MPa	ー	
	給水圧力(ポンプ使用時)	MPa	ー	
	減圧弁		ー	
	仕様周囲温湿度		5～40℃、90%RH以下	
	使用水		上水道水またはこれと同等以上のもの	
	取付角度		ー	
保護装置			ー	
外形寸法	H	mm	113	177
	W	mm	44	44
	L	mm	474	474

■外形寸法図（CZ-07AU5）



■外形寸法図 (CZ-14AU5)



加湿エレメント　交換のしかた

品番　CZ-07AU5
（自然気化式加湿器　CZ-07ASU5, CZ-16ASHU5, RH-SN07EQ, RH-SN07EQH 用）
CZ-14AU5
（自然気化式加湿器　CZ-14ASU5, CZ-20ASHU5, RH-SN14EQ, RH-SN14EQH 用）

交換作業の前に、この「交換のしかた」をよくお読みください。
特に『安全上のご注意』は必ずお読みください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗ ■ 修理・改修は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する
（水漏れや感電、火災の原因）

■ 移動再設置は、販売店に相談する
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）

⚠ 注意

❗ ■ 交換部品は、当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、水漏れの原因）

作業前の準備

●作業は安全に留意して行ってください。特に板金のエッジ部分や熱交換器の温度等には十分に注意してください。
加湿器の据付説明書もあわせてご覧ください。

●作業にかかる前に必ず漏電しゃ断器を切り、給水用のサービスバルブを閉めてください。

（CZ-∗∗ASU5, CZ-∗∗ASHU5 をご使用の場合）

●給水ホースの脱着の際に、パッキンを必ず新しいものに交換してください。
パッキンを交換しないと漏水の原因になります。パッキンは市販の水道用19mm、厚さ2mmのノンアスベストパッキンまたは、サービスパーツ（CV6233336015）をご使用ください。

85464369928001
PA0916-11216

1. 交換のしかた

①給水ホースを取りはずしてください。（図１）
※加湿器給水口に巻いてある断熱材をはずしてください。
※給水ホース、加湿器内の残水が出てくることがありますので、バケツやウエスなどを準備してください。

②加湿器本体を固定している長ナット（M4 x L15）もしくは、取付ネジ（M4 x 10）６個をはずし、電気配線を引っ張らないように加湿器を室内ユニットから取り出してください。（図２）
※給水ストレーナーを紛失しないようご注意ください。（図１）

③固定用のネジ（２本）とジョイントをはずして加湿エレメントを取りはずしてください。（図３）

④加湿器給水口に挿入されている給水ストレーナーを取りはずし、内側のゴミを洗い落としてください。
※給水ストレーナーに付いているOリング（もしくは、ワッシャー）をはずさないでください。（図１）

⑤元通りに取り付けてください。

⑥取りはずしと逆の手順で新しい加湿エレメントを組み付け、加湿器を室内ユニットに取り付けてください。

⑦給水ホースを加湿器給水口に接続してください。
※給水ストレーナを元に戻し、パッキンを新しいものに変えてください。（CZ-＊＊タイプ加湿器の場合）
※袋ナットをダブルスパナで締め付けてください。（締付トルクの目安15.0N・m）
※給水用サービスバルブを開き、水漏れがないことを必ず確認した後、はずした断熱材を加湿器給水口と袋ナットをおおうように巻き付けてビニタイで固定してください。

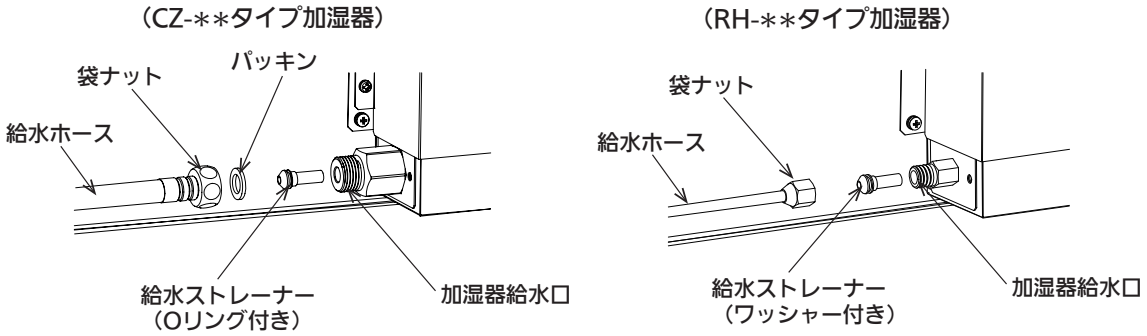


図１

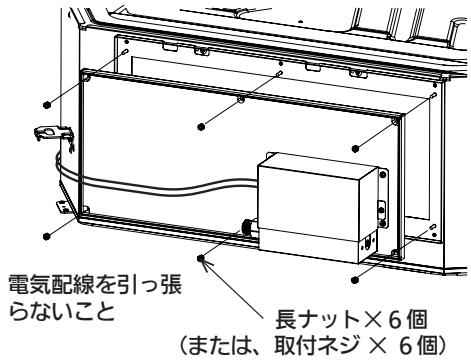


図２

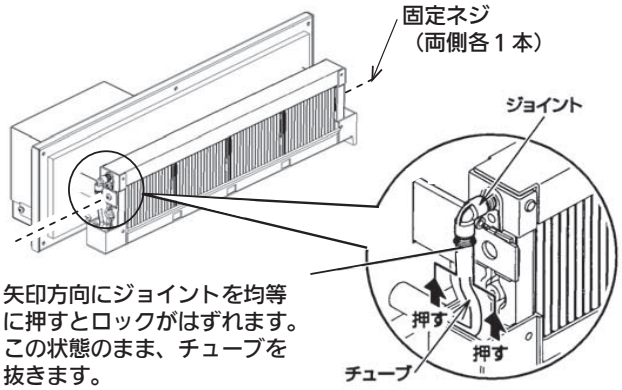
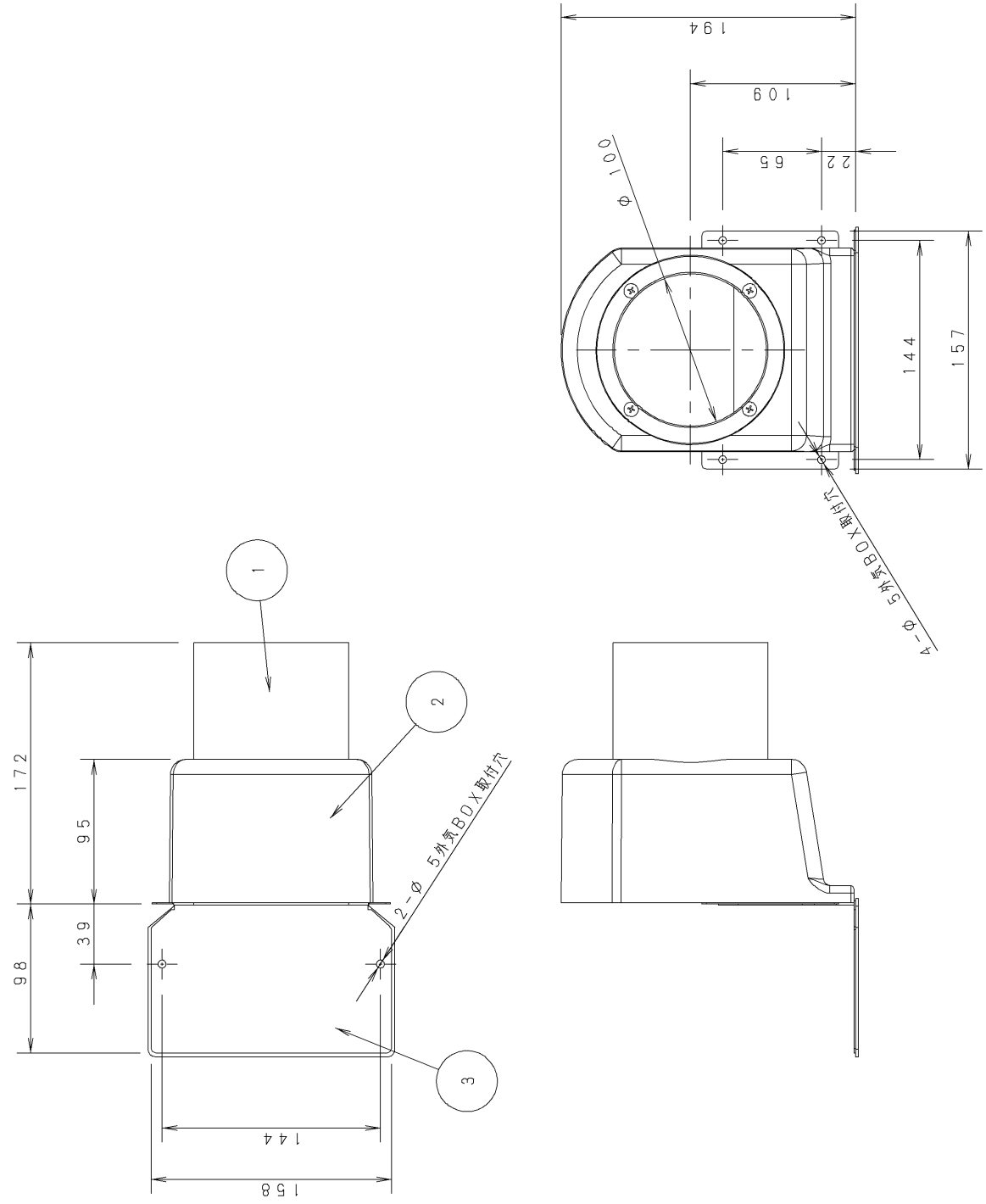


図３

●外気取入れキット　チャンバー用 (CZ-160GSCU5)

■外形寸法図



①	外気取入フランジ" (φ100)
②	外気取入BOX
③	取付板

■工事説明書

Panasonic

据付工事説明書

外気取入れキット（チャンバー用）

品番　CZ-160GSCU5

適用室内ユニット　4方向天井カセット形　Uシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」、フィルターチャンバーに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗ ⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗ ■ **据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う**
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ **付属品は当社指定の部品を使用する**
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

⃠ ■ **周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない**
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意

・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

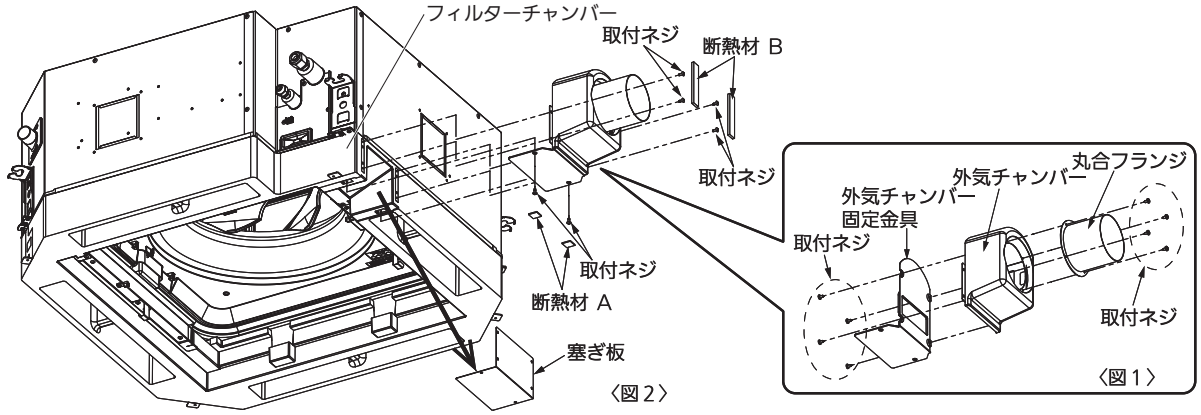
名称	外気チャンバー	外気チャンバー固定金具	丸合フランジ（φ100）（ダクト用フランジ）	取付ネジ（4×10）	断熱材　A 20×20（発泡ポリエチレン T2）	断熱材　B 100×20（発泡ポリエチレン T5）	据付工事説明書
個数	1	1	1	14	2	2	1

ACXF60-21694
85464369929000
BE0716 - 40723

2. 取り付けかた

① 外気チャンバーに丸合フランジと外気チャンバー固定金具をはめ込み、付属の取付ネジ8本で固定します。〈図 1 〉
② フィルターチャンバーの塞ぎ板をはずします。〈図 2 〉
③ フィルターチャンバーに①で組み立てた外気チャンバーを、付属の取付ネジ6本で固定します。〈図 2 〉
④ 断熱材Ａ、Ｂを、③で固定した取り付けネジ部に貼り付けます。〈図 2 〉

＊ 取り付け時のご注意 ＊
・外気取入キット（チャンバー用）の取り付けは、室内ユニットおよびフィルターチャンバーの据え付け後に行ってください。
・フィルターチャンバーの室内ユニットへの取り付けかたは、フィルターチャンバーに同梱の「据付工事説明書」を参照してください。
・フィルターチャンバーの側面に衝撃を与えると破損することがありますので、取り付け時は十分注意してください。



〈図 2〉　〈図 1〉

3. センサーの選択

※Ｕ７シリーズのみ：外気取り入れキット（CZ-160GSCU5）をご使用する場合は、下記の設定を行うことを推奨します

ワイヤードリモコン（CZ-10RT4C,CZ-10RT3）、簡単リモコン（CZ-02RE4）の詳細設定で、ボディセンサーからリモコンセンサーに変更するか、もしくは　リモートセンサー（CZ-RSB4）をご使用することを推奨します。
ボディセンサーを用いると室内の温度を正しく検知できない可能性があります。
※ワイヤレスリモコンを使用される場合はリモートセンサー（CZ-RSB4）と併用でご使用することを推奨します。
※各種リモコン、リモートセンサーの据え付けかたは、各種リモコン、リモートセンサーに同梱の「据付工事説明書」を参照してください。

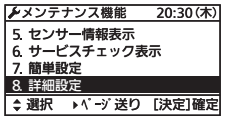
表1　センサー設定表

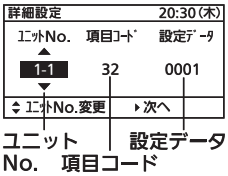
項目コード	項目	項目コード32の設定データ	
32	ワイヤードリモコンセンサー	0000	ボディセンサー
		0001	リモコンセンサー

(1) ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT4C）

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード32の設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に4秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「32」に変更してください。
◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、
決定 ボタンを押してください。
④ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、 戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面］が表示されます。
「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。



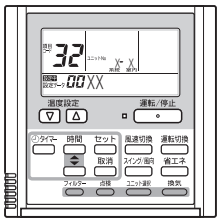


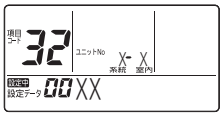
ユニット No.　項目コード　設定データ

(2) ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT3）

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード32の設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

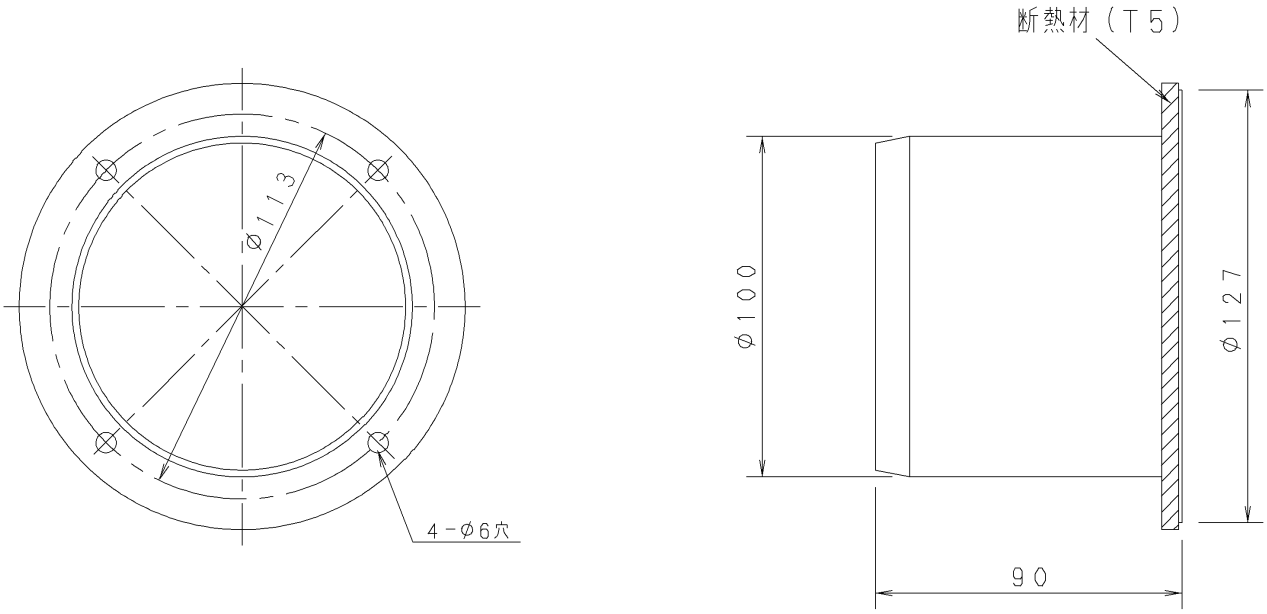
①点検＋セット ＋取消ボタンを同時に４秒間以上押します。
②ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③ 温度設定▼／▲ボタンで項目コード「32」を指定します。
④ 時間▼／▲ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表１のようになっています。
⑤セット ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればＯＫ)
⑥点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ
⑦点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。





●外気取入丸合フランジφ 100（CZ-DA100）

■外形寸法図



■工事説明書

Panasonic

据付工事説明書

丸合フランジ（φ100）

品番　CZ-DA100

適用室内ユニット　４方向天井カセット形（Uシリーズ）＊

（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意

・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-31574
PA0518 - 40823

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

名　　称	個数	名　　称	個数	据付工事説明書	個数
丸合フランジ（φ100）	1	取付ネジ（M4×12）	4		1

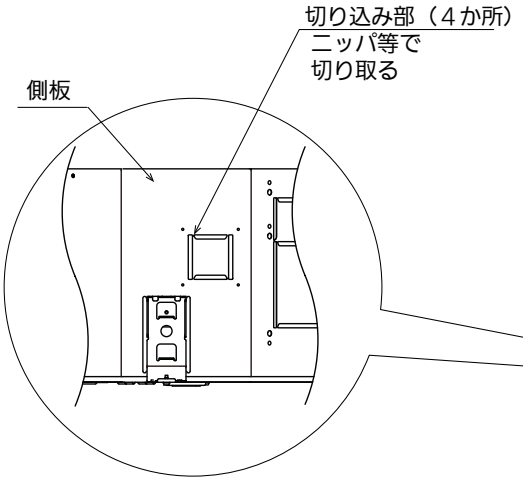
2. 取り付けかた

●４方向天井カセット形の場合

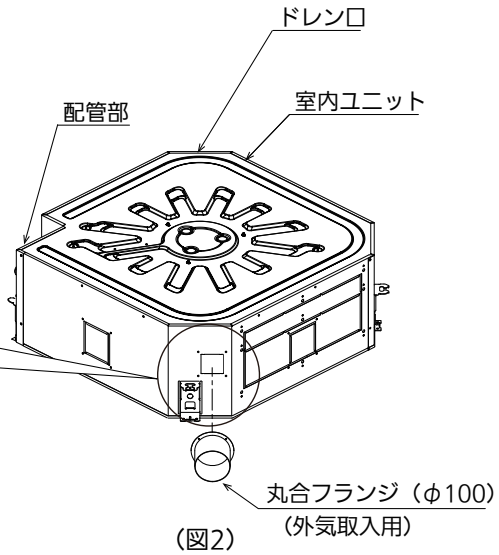
（1）室内ユニット側板の切り込み部を、ニッパ等で切断してください。（図１）

（2）丸合フランジを付属の取付ネジ４本で取り付けてください。（図２）

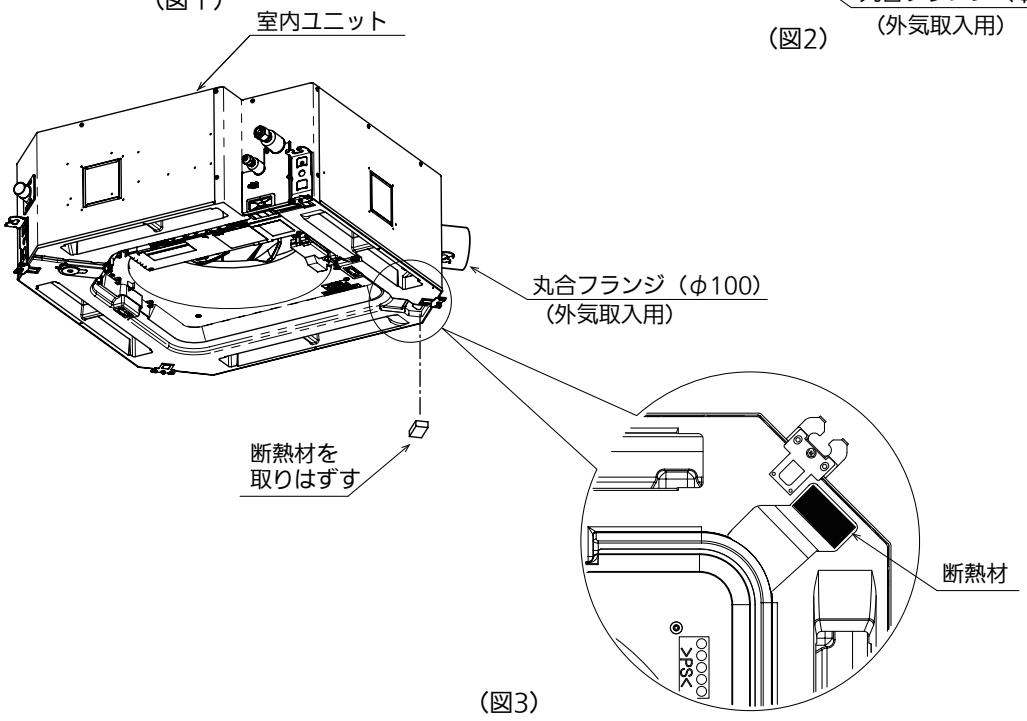
（3）断熱材を取りはずしてください。（図3）



（図１）



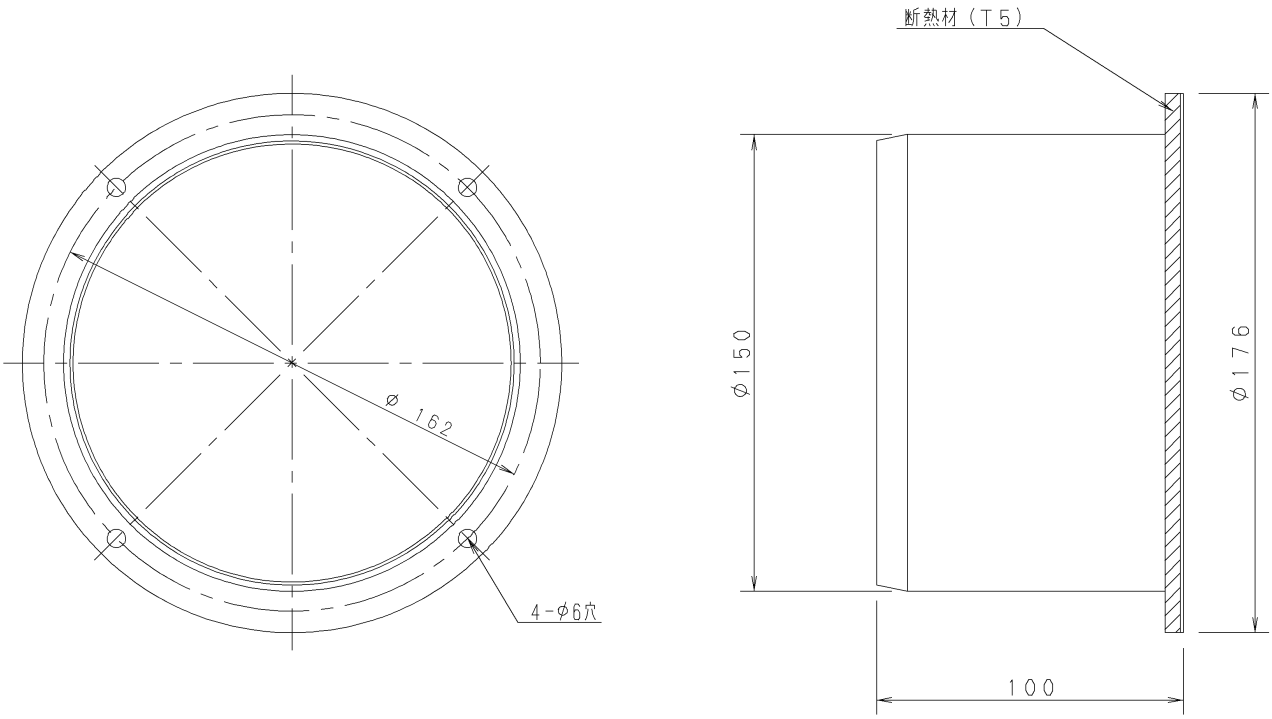
（図2）



（図3）

●吹出口丸合フランジφ 150（CZ-DA150A）

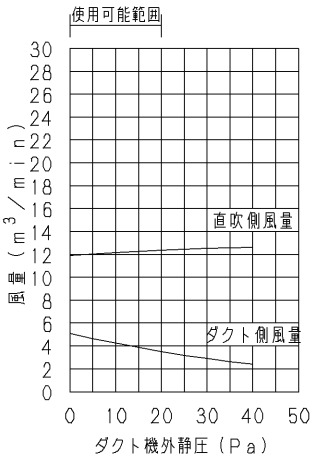
■外形寸法図



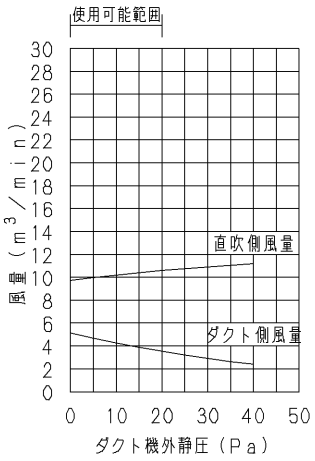
■送風機特性図

２８，３６、４５形

３方向吹出し

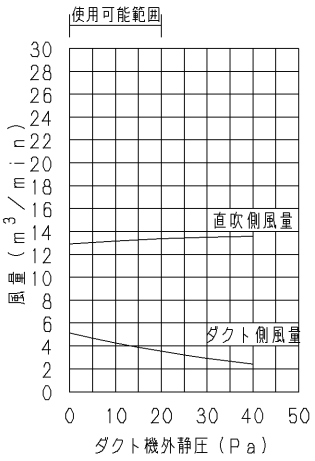


２方向吹出し

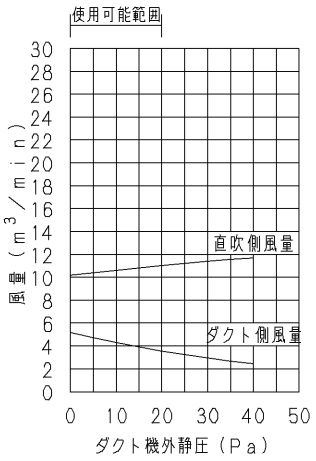


５６形

３方向吹出し

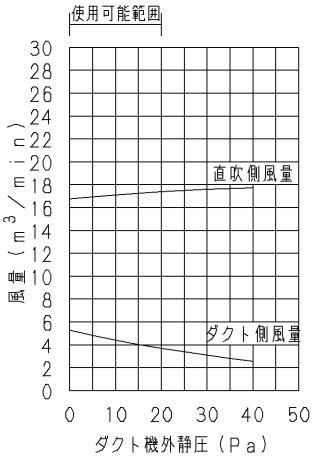


２方向吹出し

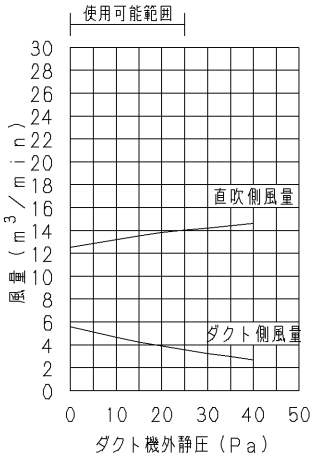


７１，８０形

３方向吹出し

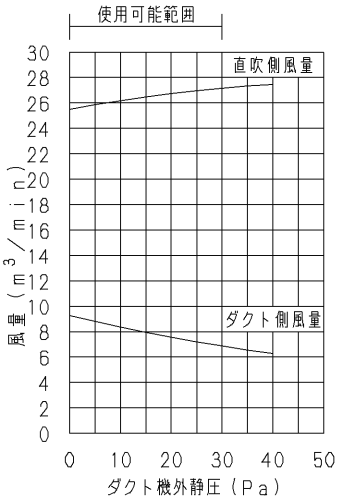


２方向吹出し

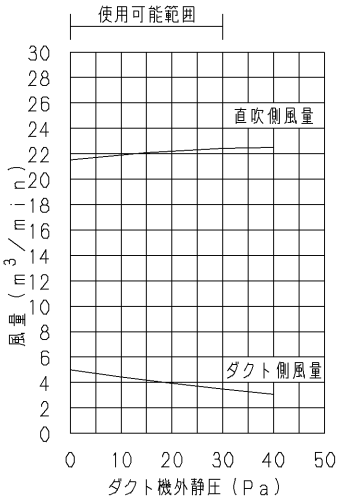


９０，１１２形

３方向吹出し

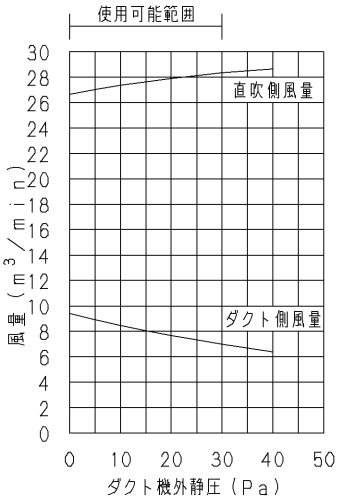


２方向吹出し

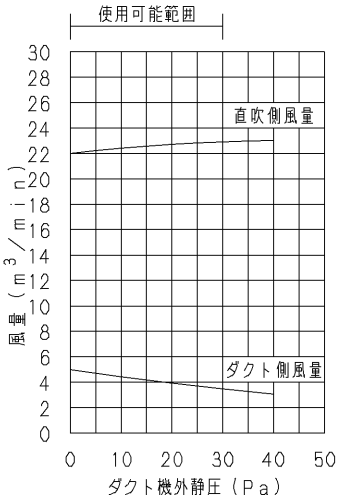


１４０，１６０形

３方向吹出し



２方向吹出し



■工事説明書

据付工事説明書

丸合フランジ（φ150）

品番　CZ-DA150A

適用室内ユニット　4 方向天井カセット形（U シリーズ）
＊　（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

❗ ■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠注意

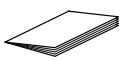
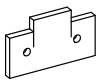
⃠ ■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

品名	丸合フランジ	取付ネジ	据付工事説明書	シール用断熱材 A	シール用断熱材 B
個数	1	4	1	2	2
形状	φ150	M4×12	 本説明書 お客さまに必ず渡してください		

ACXF60-31564
BE0518 - 40823

2. 取り付けかた

●取り付け前の準備

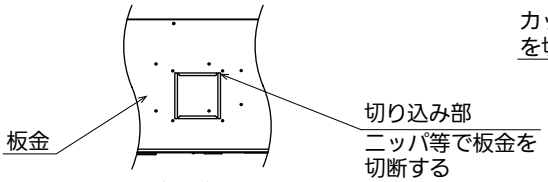
丸合フランジの使用には、別売品のフレキシブルダクト（丸）が必要ですので用意してください。
取り付け可能なフレキシブルダクト長については、別途、設備設計資料をご確認ください。
フレキシブルダクトの取り付けかたについては、フレキシブルダクトに同梱されている取付説明書を参照してください。

丸合フランジ	フレキシブルダクト（丸）
CZ-DA150A	CZ-F1510　φ150　1m CZ-F1520　φ150　2m

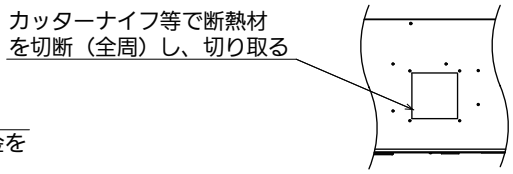
使いかたにより、別売品のしゃ風材が必要になりますので組み合わせをご確認の上、用意してください。
※使いかたは、各しゃ風材に同梱されている据付工事説明書を参照してください。

●取り付けかた（共通）

（1）室内ユニット側板の切り込み部を、ニッパ等で切り取ってください。(図1)
（2）室内ユニット断熱材（スチロールまたはポリエチレン）をカッターナイフ等で切断し、切り取ってください。（図2）
注意　断熱材の切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。
断熱材を切断するとき、カッターナイフ等の刃は30㎜以上差し込まないよう注意してください。
(内部のドレンパンおよび熱交換器を傷つけると、水漏れの原因になります。)



（図1）

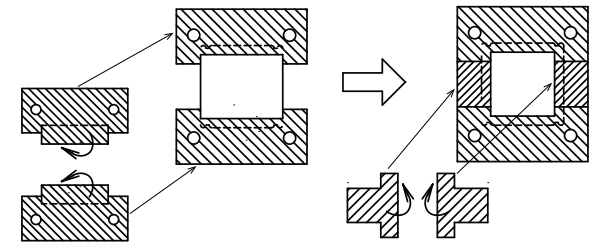


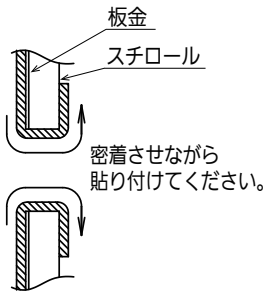
（図2）

（3）断熱材がスチロールの機種については必ず下記の 断熱材貼り付け手順 に従い、シール用断熱材A・Bを貼り付けてください。ただし、クリーンエアコンの場合は本手順は不要です。
スチロールと板金の間に隙間があると結露等の問題が発生します。（図 3）

断熱材貼り付け手順

付属のシール用断熱材Ａをネジ穴に合わせて貼り付けた後、
シール用断熱材Ｂを貼り付けてください。

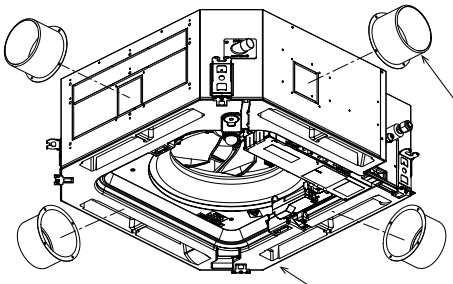




（図3）

●取り付けかた（４方向天井カセット形の場合）

丸合フランジの使用には、別売品のしゃ風材が必要になります。
室内ユニット断熱材はスチロールです。上記の 断熱材貼り付け手順 に従い、シール用断熱材A・Bを貼り付けてください。
丸合フランジを付属の取付ネジ４本で取り付けてください。（図４）



（図4）

●しゃ風材（CZ-160CFU5）
■工事説明書

据付工事説明書

しゃ風材

品番　CZ-160CFU5

適用室内ユニット　4方向天井カセット形

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗ ■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

⃠ ■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
- しゃ風材は室内ユニット据え付け前に取り付けてください。
- しゃ風材をご使用になる場合、しゃ風パターンによっては、ナノイー機能が使用できませんのでご注意ください。
- 別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

85464369920003
PA0716 - 30117

1. 付属品

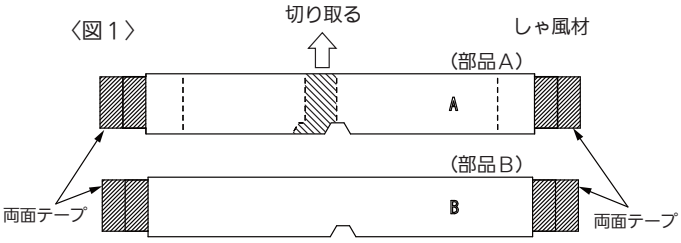
付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

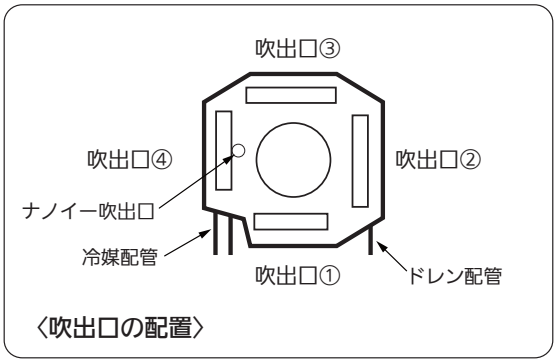
名　　称	個数	名　　称	個数	名　　称	個数
しゃ風材（470×65×T10） A：2個 B：1個	3	パッキン（570×90×T2）	2	据付工事説明書	1

2. 取り付けかた

（1）取り付け位置の確認〈図 1〉
吹出口①に取り付けるしゃ風材は、部品Aのミシン目にそって折り曲げて、斜線部を切り取ってください。
吹出口③、④に取り付ける場合は部品Aを、吹出口②に取り付ける場合は部品Bを、そのまま使用してください。

〈図 1〉

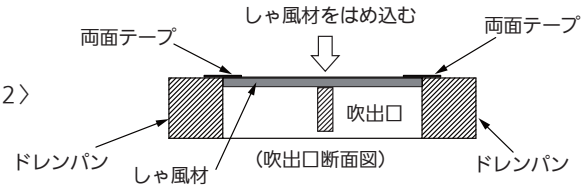




〈吹出口の配置〉

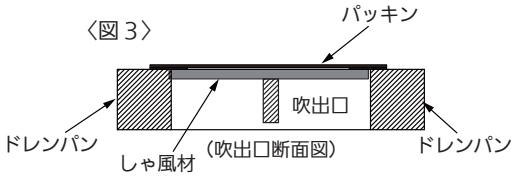
（2）吹出口としゃ風材の形状が合っていることを確認し、〈図 2〉のように、しゃ風材の両端に付いている粘着テープを貼り付けてから、隙間がないようにしゃ風材を吹出口にはめ込んでください。

〈図 2〉

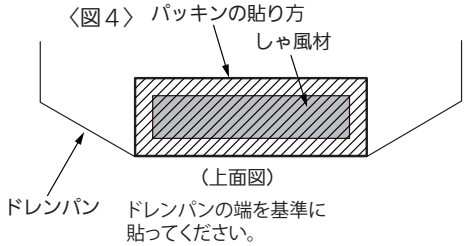


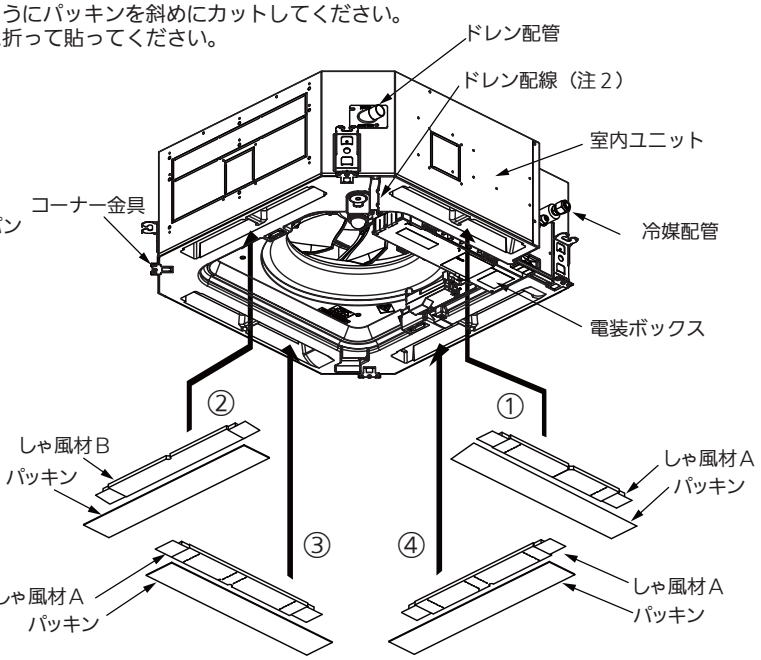
（3）最後に、しゃ風材の両面テープをはがし、〈図 3〉〈図 4〉のようにパッキンを貼り付けて閉塞してください。
パッキンは、しゃ風材の端から１０mm以上かかるように貼り付けてください。
（かからないと、露付きの原因となります。）
注 1）パッキンはコーナー金具に当たらないようにしてください。
注 2）吹出口①は、ドレン配線に当たらないようにパッキンを斜めにカットしてください。
パッキンがはみ出した部分は、側板側に折って貼ってください。

〈図 3〉



〈図 4〉 パッキンの貼り方



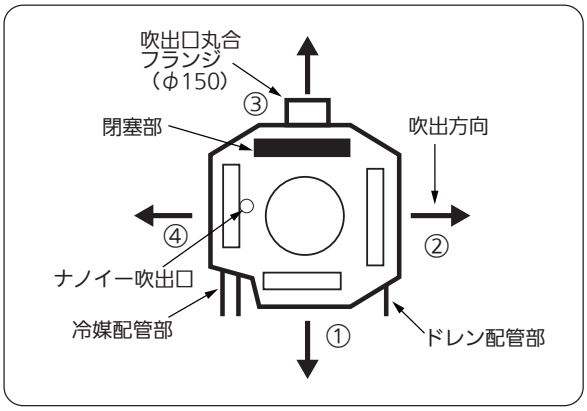


3. 吹出口閉塞パターン

室内ユニット下部より見た状態

● 3方向吹出し，2方向吹出し時、および吹出口丸合フランジ（φ150）接続時は、下記の吹出口閉塞パターンに従って吹出口閉塞を行ってください。
また、下表を参照の上、配管部の位置をご検討ください。
（イラストの見かたは右図参照）
吹出口丸合フランジ（φ150）の取り付けは結露防止のため、冷風漏れ、断熱不足のないようにしてください。

〈ご注意〉
④の吹出口を閉塞すると、ナノイーが発生しなくなりますので、下表の網かけの吹出口閉塞パターンで使用される場合は、ご注意ください。



● 下表の吹出口閉塞パターン以外は絶対に行わないでください。

3方向吹出し 1か所を閉塞可能です。				
2方向吹出し 2か所を閉塞可能です。				
吹出口丸合フランジ （φ150）接続 3方向吹出し 1か所を閉塞しダクトに 接続可能です。				
吹出口丸合フランジ （φ150）接続 2方向吹出し 2か所を閉塞しダクトに 接続可能です。 注）ダクト接続はどちらか1か所のみ可能です。				

■DCファンタップ設定変更

「4.DCファンモータータップの選択」に従って、ワイヤードリモコンまたは室内コントロール基板（ディップスイッチ）の設定を行ってください。

4．DCファンモータータップの選択

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表1）
変更を行わない場合、風量減少により冷房時吹出温度が低下、露付きの原因となります。
ファン回転数を設定する方法は、（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する方法（2）ワイヤードリモコンで設定する方法があります。どちらかの方法で設定してください。※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1　DCファンモータータップ設定表

設定No.	項目コード5D/5dの設定データ	使用用途／別売品名称　※1
	0000	標準（出荷設定）
(1)	0001	高天井設定1（標準、エコナビパネル時）
		オイルガードパネル　※2
		超ロングライフフィルター
		オイルミストフィルター　※2
		高性能フィルター（比色法65%）
		昇降グリル付きオイルガードパネル　※2
		しゃ風材（3方向吹出時）　※3
		しゃ風材（吹出ダクト接続時）　※3
(3)	0003	高天井設定2（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（比色法90%）
		デオドラントフィルター
(6)	0006	しゃ風材（2方向吹出時）

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組合せ可能な別売品を確認し選定してください。

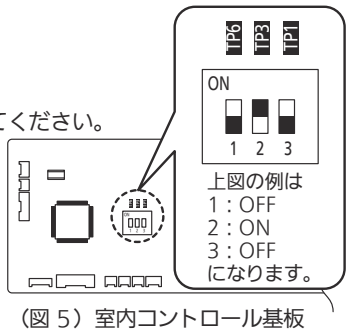
※2. オイルガードパネルとオイルミストフィルターまたは、昇降グリル付きオイルガードパネルとオイルミストフィルターを組み合わせる場合は、設定No.（3）または設定データ0003を設定してください。

※3. しゃ風材とそれ以外の別売品を併用の場合、
3方向吹出時　設定No.（3）または設定データ0003
吹出ダクト接続時　設定No.（3）または設定データ0003
2方向吹出時　設定No.（6）または設定データ0006
を設定してください。
なお、併用可能な別売品は一つまでとなります。

(1) 基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

<手順>必ず電源（漏電しゃ断器）を切ってください。
①ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。
②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。(図 5）
③表1で確認した設定Noに合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

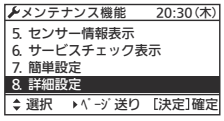
設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ	設定No.	ディップスイッチ
(1)	SW6 SW3 SW1 ディップスイッチ ON 側 ON 1 2 3 OFF 側	(3)	SW6 SW3 SW1 ディップスイッチ ON 側 ON 1 2 3 OFF 側	(6)	SW6 SW3 SW1 ディップスイッチ ON 側 ON 1 2 3 OFF 側

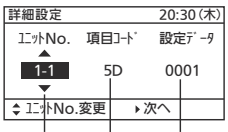


（図 5）室内コントロール基板

(2) ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT4シリーズ）

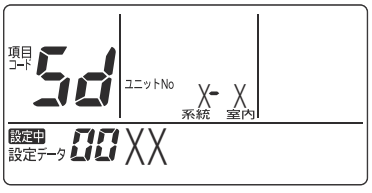
ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
[詳細設定画面] が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、 決定 ボタンを押してください。
⑤ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、 戻る ボタンを押してください。
[詳細設定終了画面」が表示されます。
「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。





(3) ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT3/CZ-10RT3A）

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5ｄの設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
①点検＋セット＋取消ボタンを同時に４秒間以上押します。
②ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③ 温度設定▼／▲ボタンで項目コード「５ｄ」を指定します。
④ 時間▼／▲ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表１のようになっています。
⑤セット ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればＯＫ)
⑥点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ
⑦点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。



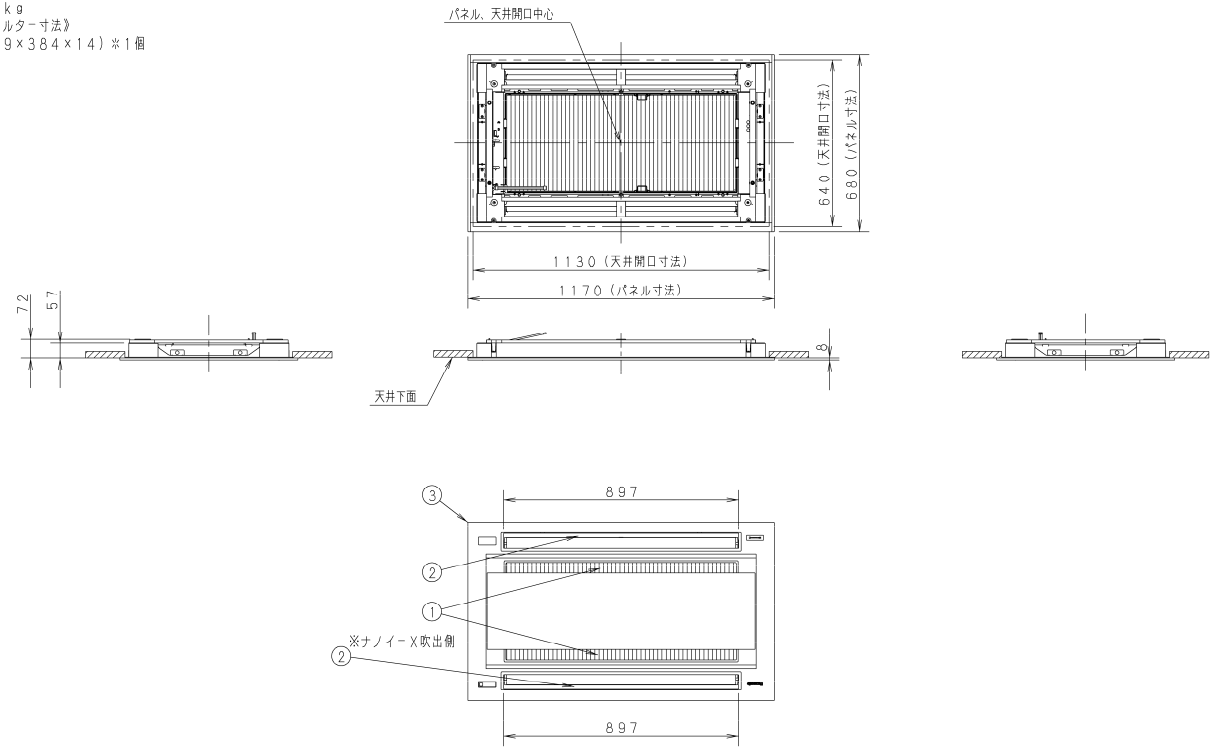
●標準パネル（CZ-80KPL7）

■外形寸法図

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井パネル　CZ-80KPL7

《パネル質量》
5．5ｋｇ
《フィルター寸法》
（889×384×14）※1個

品番	パネル色
CZ-80KPL7	ホワイト （マンセル記号　N9．3）



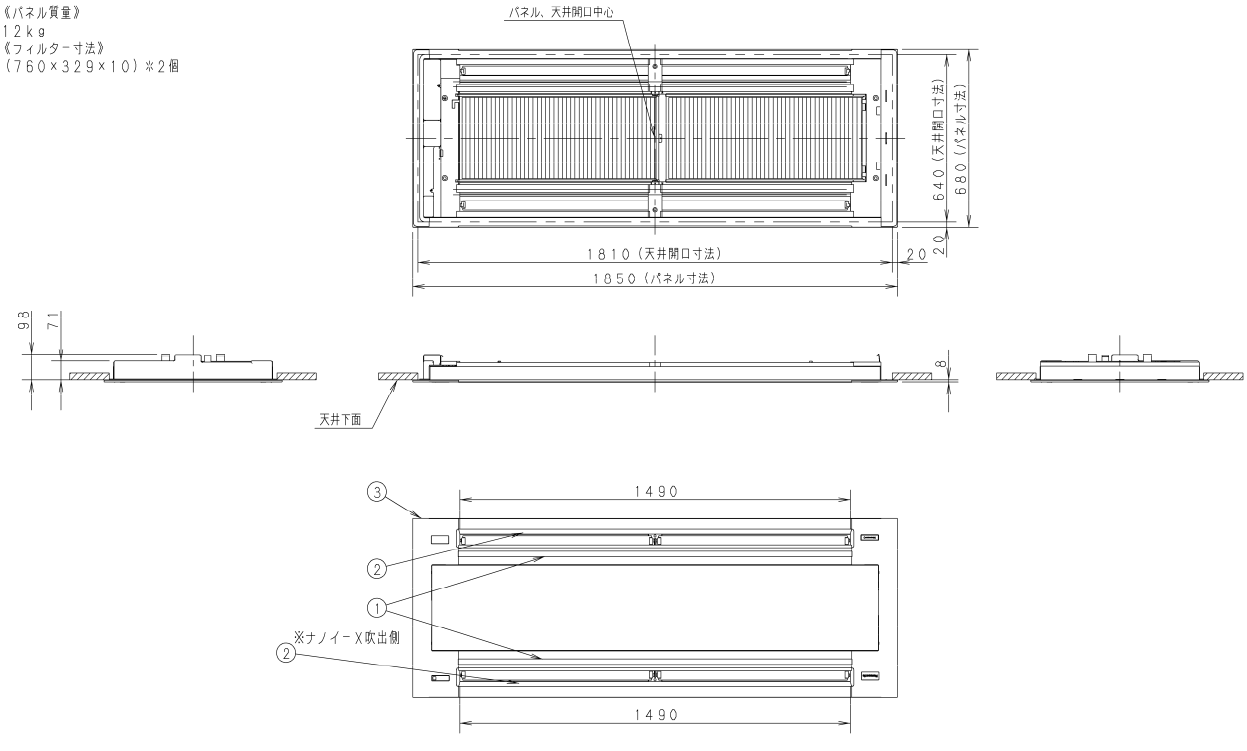
●標準パネル（CZ-160KPL7）

■外形寸法図

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井パネル　CZ-160KPL7

《パネル質量》
12ｋｇ
《フィルター寸法》
（760×329×10）※2個

品番	パネル色
CZ-160KPL7	ホワイト （マンセル記号　N9．3）



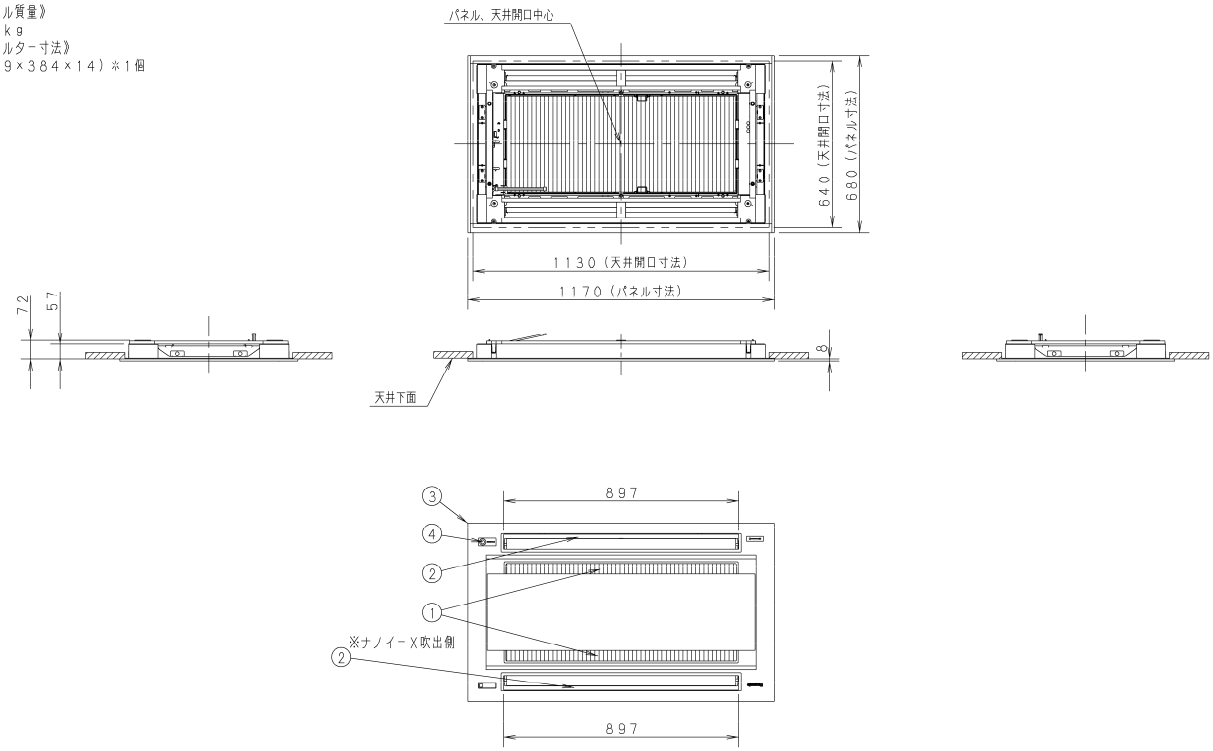
●エコナビパネル（CZ-80KPEL7）

■外形寸法図

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井パネル　CZ-80KPEL7
④	エコナビセンサー

《パネル質量》
5．5ｋｇ
《フィルター寸法》
（889×384×14）※1個

品番	パネル色
CZ-80KPEL7	ホワイト （マンセル記号　N9．3）



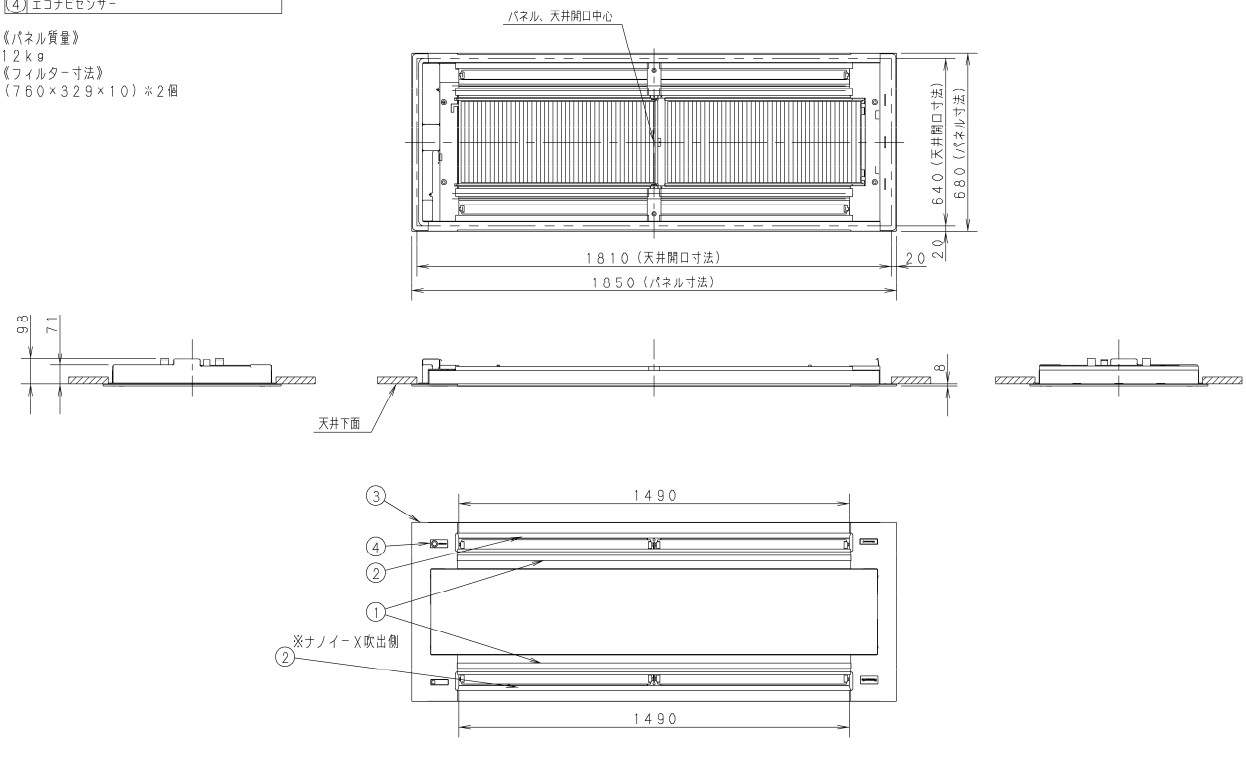
●エコナビパネル（CZ-160KPEL7）

■外形寸法図

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井パネル　CZ-160KPEL7
④	エコナビセンサー

《パネル質量》
12ｋｇ
《フィルター寸法》
（760×329×10）※2個

品番	パネル色
CZ-160KPEL7	ホワイト （マンセル記号　N9．3）



●標準パネル（CZ-80KPL7･CZ-160KPL7）
■工事説明書

Panasonic®

据付工事説明書

品番	標準パネル	CZ-80KPL7	CZ-160KPL7
	エコナビパネル	CZ-80KPEL7	CZ-160KPEL7

適用室内ユニット　2方向天井カセット形　Lシリーズ*
（*対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）
●取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠　してはいけない内容（禁止事項）です。

❗　実行しなければならない内容（強制事項）です。

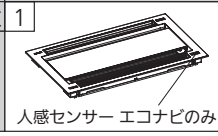
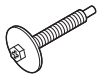
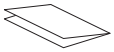
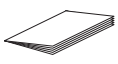
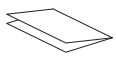
⚠警告

❗
- **■ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する**
（感電・火災等の原因）
- **■ 据付工事は、室内ユニットの「据付工事説明書」に従って行う**（感電・火災等の原因）
- **■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（ユニットの落下による、けがの原因）
- **■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する**
据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
（冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
- **■ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - ●電気設備に関する技術基準
  - ●内線規程
  - ●据付工事説明書（感電・火災の原因）
- **■ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する**
  - ●端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。
（発熱・火災等の原因）
- **■ 工事は、ユニットの配線用しゃ断器（ブレーカー）を切ってから行う**
（感電の原因）

⚠注意

⃠
- **■ 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない**
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

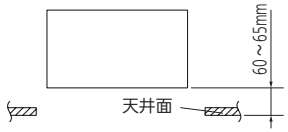
■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

本体		付属品			エコナビパネルのみ	
品名	標準パネル／エコナビパネル	座付ネジ	取付ネジ	据付工事説明書	取扱説明書	据付工事説明書
個数	1	4	2	1	1	1
形状	 人感センサー エコナビのみ	80形（M5×26） 160形（M5×40 ワッシャー付き） （80形の座付ネジはパネル本体にあらかじめ取り付けられています） 	M4×25 （160形のみ）	 本説明書 お客さまに必ず渡してください		試運転編 

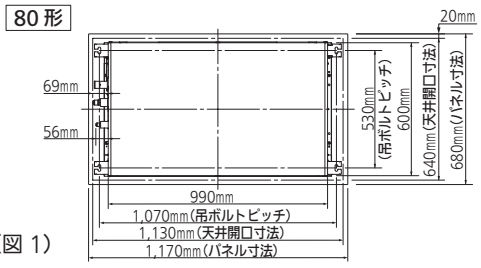
付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。
取扱説明書、据付工事説明書はお客様で保管していただくように依頼してください。

1. パネル本体取り付け前の準備

(1) 天井開口寸法は（図 1）に従い、確実に行ってください。
(2) 室内ユニットまたは別売フィルターチャンバー下面と天井面との寸法は、60 ～ 65mm になるように室内ユニットの吊ボルトで高さ調節してください。（図 2）
(3) 天井面の穴開けと吊ボルト位置の寸法は（図 1）に従ってください。

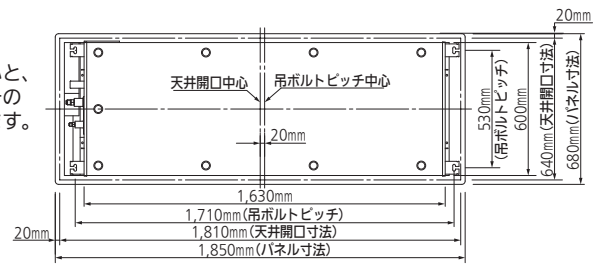


（図 2）室内ユニットの高さ調整



（図 1）

160 形
注意
天井開口の中心と、吊ボルトピッチの中心が異なります。

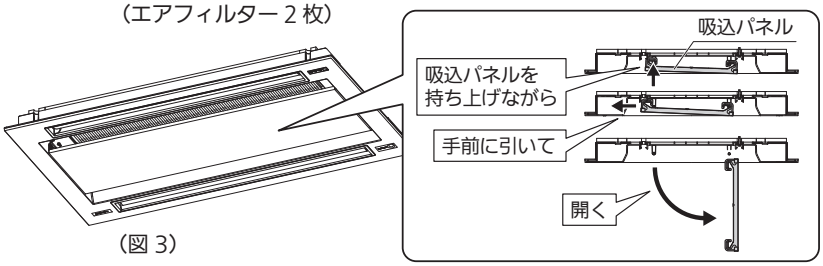


2. パネル本体の取り付けかた

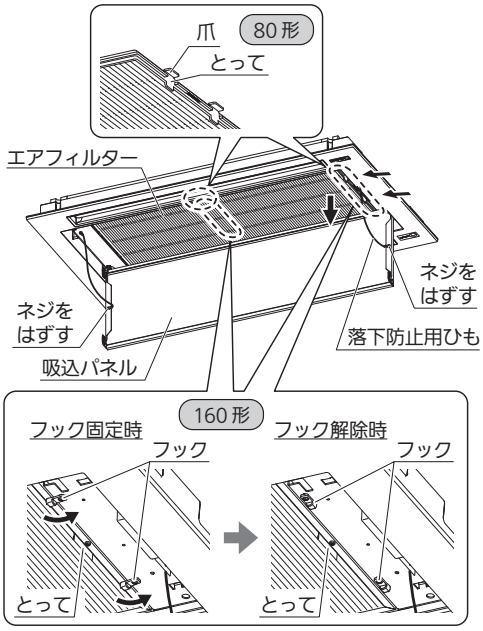
(1) 吸込パネルとエアフィルターの取りはずし

①吸込パネルのはずしかた（80 形、160 形共通）
吸込パネル長辺の片側（どちら側からも可）の端を持ち上げながら手前に引いて開きます。（図 3）
吸込パネル側の落下防止用ひもの固定ネジをはずしてから吸込パネルをはずします。（図 4）

②エアフィルターのはずしかた（図 4）
80 形 ： エアフィルターの短辺のとって（2 つ）と長辺のとってを押してフィルター枠をたわめて爪を外し下方にひきます。
（エアフィルター 1 枚）
160 形： エアフィルターの短辺のとって（1 つ）を持ちながらフック 2 か所を回して固定を解除し下方にひきます。
（エアフィルター 2 枚）



（図 3）



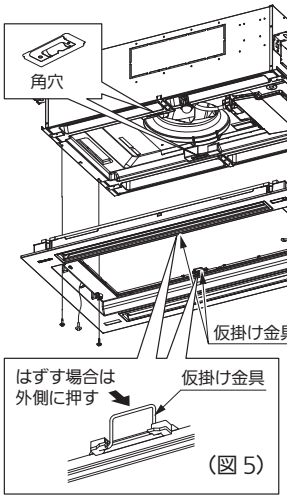
（図 4）

(2) パネル本体の取り付け

- 160 形はフラップの角度変更は電源を入れなければできません。
（フラップを手で動かさないでください。手で動かすと壊れるおそれがあります。）
- パネル本体は室内ユニットへの取り付けを容易にするため、仮掛け金具が付いています。

80 形の場合（図 6）

①パネル本体内面の仮掛け金具を室内ユニットの角穴に挿入し仮掛けしてください。（図 5）
- 室内ユニットの電装ボックス側とパネル本体の配線位置を合わせてください。
②パネル本体の取付穴と室内ユニットのネジ穴を合せてください。
③パネル本体に取り付けられている座付ネジ（M5×26）でパネル本体取付部の 4 か所を室内ユニットに密着するまで締め込んでください。（図 6）
④室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間がないことを確認します。（図 6）
（隙間があると水漏れや露付きの原因となります。）
- パネル本体をはずす場合はパネル本体を支えながら仮掛け金具を外側に押してください。（図 5）



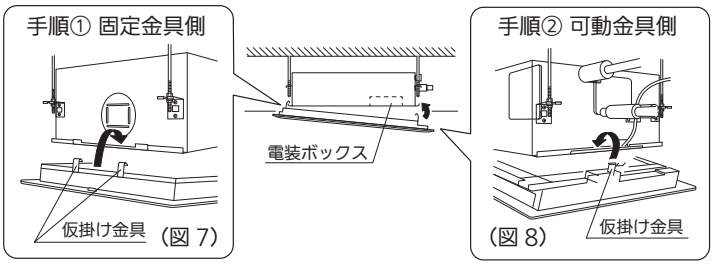
（図 5）

（図 6）パネル本体の取り付けかた

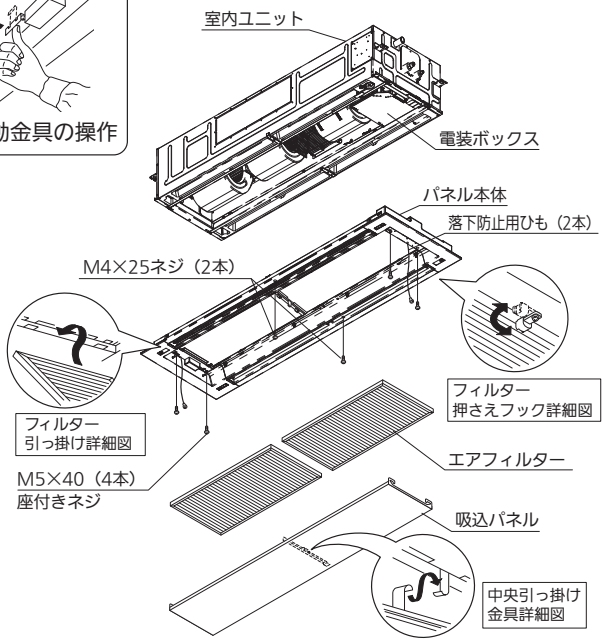
160 形の場合（図 10）

①電装ボックスと反対側の仮掛け金具（固定金具側）を室内ユニットに引っ掛けます。（図 7）
②次に電装ボックス側を持ち上げ仮掛け金具（可動金具側）を室内ユニットに引っ掛けます。（図 8）
このとき可動金具が、カチッと室内ユニットにロックすることを確認してください。
③パネル本体が室内ユニットへ仮掛けされていることを確認してください。
④次に座付ネジ（M5×40 ワッシャー付き）4 本で、パネル本体を固定します。さらに吹出口中央部をネジ（M4×25）2 本で固定します（図 10）

● パネル本体をはずすときは、可動金具を矢印方向に押してロックを解除します。（図 9）



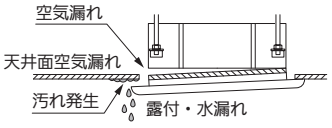
（図 9）可動金具の操作



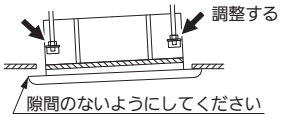
（図 10）パネル本体の取り付けかた

80 形、160 形共通　　**ご 注 意**

● 座付ネジの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。



● 座付ネジを締め込んでも天井面とパネル本体との間に隙間ができる場合は室内ユニットの据え付け高さを再調整してください。



(3)パネル本体の配線方法

①電装ボックスのふたを取りはずしてください。(ネジ 2 か所)
②パネル本体から出ている配線コネクタ (80 形標準パネルは 22P(白)、80 形エコナビパネルは 22P(白)と 6P(白)、160 形標準パネルとエコナビパネルは 8P(白)を 2 個)を室内ユニットの基板のコネクタまたは中継コネクタに接続してください。その際、配線は室内ユニットのフックに通して下図のように配線をしてください。

● **コネクタにはツメがありますので、ツメが基板の外側を向くようにロックがかかるまで確実に挿入してください。(確実に接続されていないとオートフラップが動作せず、リモコンに“P09”が表示されます。また、逆差しした場合は基板部品の破損のおそれがあります。)**

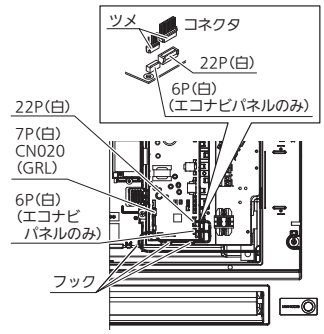
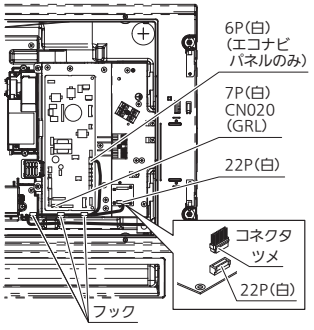
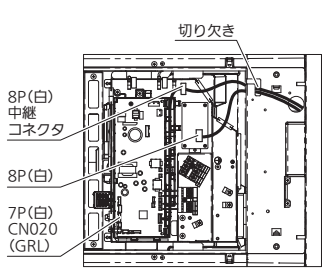
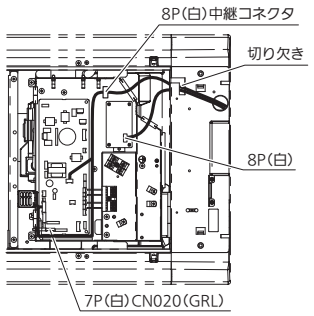
③電装ボックスのふたを元通りに取り付けてください。

● **配線が電装ボックスとふたの間にはさまれていないことを確認してください。**
● **配線が室内ユニットとパネル本体の間にはさまれていないことを確認してください。**
● **通常ご使用になる場合、束ねてある配線はそのままご使用ください。フィルターチャンバーをご使用の場合、束ねてある配線をほどいてご使用ください。**

(4)吸込パネルとエアフィルターの取り付け

取り付け方法は、吸込パネルとエアフィルターの取りはずしと逆の手順で取り付けてください。

● 吸込パネルとエアフィルターを取り付ける際、配線をはさまないよう注意してください。
● 必ず落下防止用ひもをパネル本体に取り付けてください。落下防止用ひもを取り付けない場合、吸込パネルとエアフィルターが落下するおそれがあります。

	オフィス・店舗用エアコン（PAC）に接続する場合	ビル用マルチエアコン（VRF）、ガスヒートポンプエアコン（GHP）に接続する場合
80 形		
160 形		

3. その他

A.据え付け後の確認

- 室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間のないことを再確認してください。
  ※隙間があると水漏れや露付の原因となります。
- パネルの配線接続が確実にされていることを確認してください。
  ※接続されてないとオートフラップが動かない（リモコンにP09の表示が出ます）、また水漏れや露付等の原因となります。

B.ワイヤレスリモコン対応の場合

- 取り付け方法の詳細は、別売のワイヤレスリモコン受信部に付属の据付説明書を参照してください。

C.DCファンモータータップの選択

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表 1、表 2）
ファン回転数を設定する方法は、
（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合
（2）/（3）ワイヤードリモコンで設定
があります。どちらかの方法で設定してください。
※ディップスイッチによる設定が優先されます。

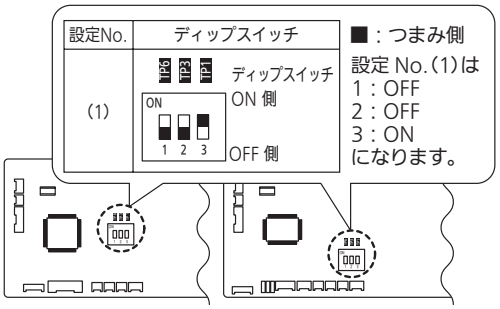
表1　DCファンモータータップ設定表

設定 No.	項目コード 5D/5d の設定データ	使用用途／別売品名称 ※1
（出荷設定）	0000	標準
		超ロングライフフィルター
		ロングライフフィルター
（1）	0001	高天井設定 1（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（比色法 65%）
		高性能フィルター（比色法 90%）
		しゃ風材・吹出ダクト ※2

表2　天井高さの目安

室内機	標準（出荷時）	高天井設定
22 ～ 71 形	1.8 ～ 2.7m	～ 3.2m
80 ～ 160 形	1.8 ～ 3.0m	～ 3.5m

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組み合わせ可能な別売品を確認し選定してください。
※2. しゃ風材と吹出ダクトは、必ず併用してください。



（図 11）室内コントロール基板

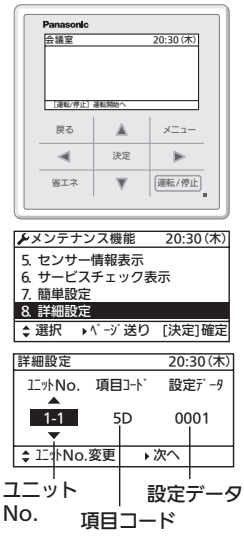
（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

＜手順＞必ず配線用しゃ断器（ブレーカー）を切ってください。
①ご使用の用途、別売品に応じた「設定 No.」を表 1 で確認してください。
②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。（図 11）
③表 1 で確認した設定 No に合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

（2）ワイヤードリモコンで設定＜CZ-10RT4シリーズの場合＞

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

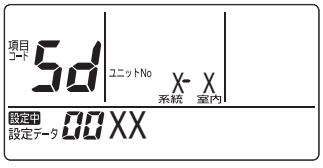
① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、 決定 ボタンを押してください。
⑤ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、 戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面」が表示されます。
◄ / ► ボタンで「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。

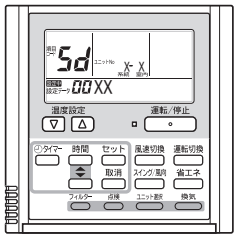


（3）ワイヤードリモコンで設定＜CZ-10RT3の場合＞

〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを同時に４秒間以上押します。
② ユニット選択 ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③ 温度設定 ▽ ／ △ ボタンで項目コード「５ｄ」を指定します。
④ 時間 ▼ ／ ▲ ボタンで設定データを変更します。
設定データは同梱の据付工事説明書をご確認ください。
⑤ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればＯＫ）
⑥ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。





●エコナビパネル（CZ-80KPEL7･CZ-160KPEL7）
■工事説明書

Panasonic®

据付工事説明書　試運転編

品番　エコナビパネル	CZ-80KPEL7, CZ-160KPEL7

適用室内ユニット 2方向天井カセット形　Lシリーズ*
（*対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●据付工事完了後、この「据付工事説明書 試運転編」をよくお読みのうえ、試運転を行い異常がないことを確認してください。
特に「安全上のご注意」は、試運転前に必ずお読みください。
●室内ユニットなどに付属の「据付工事説明書」も合わせてご覧ください。
●この「据付工事説明書 試運転編」は「取扱説明書」、「据付工事説明書」とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
移設、修理の場合は「据付工事説明書 試運転編」を工事担当の方へお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

❗
■ 据付工事は、室内ユニットの「据付工事説明書」に従って行う
（感電・火災等の原因）
■ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う
●電気設備に関する技術基準
●内線規程
●据付工事説明書
（感電・火災の原因）

■ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する
（感電・火災等の原因）
■ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する
●端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。
（発熱・火災等の原因）
■ 工事は、ユニットの配線用しゃ断器（ブレーカー）を切ってから行う
（感電の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

使用上のお願い

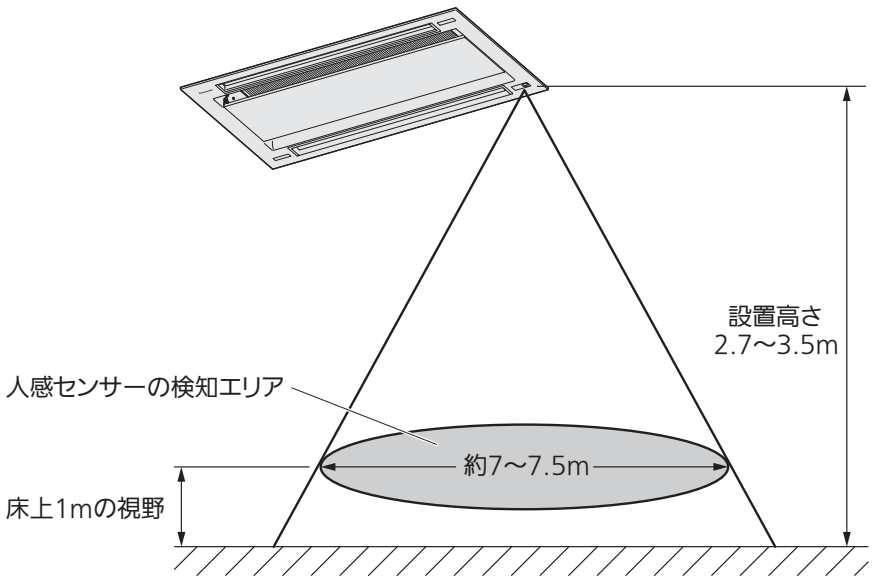
●次のような場所に設置しない
・湿気・油分・振動が多い/ 直射日光があたる/ 熱源の近く/ 結露する（故障の原因）
・ノイズが発生する（誤動作の原因）
●エコナビパネルは、屋内専用です。
●センサーの表面に傷を付けない
（センサーが正しく検知しなくなる原因）
●センサーを強く押さない（破損の原因）
●熱源や冷却するものが検知エリア内にあると、センサーが正しく検知できない場合があります。
●ベンジンやシンナー、化学雑巾などでふかない（変色や変形の原因）
・汚れがひどい場合は、布に水でうすめた中性洗剤を含ませ、よく絞ってからふいてください。その後、乾いた布でふいてください。
●エコナビパネルと併用不可の別売品を同時設置しない
（動作不良の原因）
併用可/ 不可の判断はカタログ等でご確認ください。
●ガラス越しの人の動きは、検知できません。
●起動後、不在判定するまで2～5分かかります。

ACXF60-51461
BE1082-10823

設置上のご注意

検知エリアの目安

●人感センサーの死角になる場所では、人を検知することはできません。
人を検知できる位置にエコナビパネルを取り付けるようにしてください。
●熱源や冷却するものが検知エリア内にあると、センサーが正しく検知できない場合があります。



＜人感センサー検知エリア目安＞
・室内ユニット設置高さ 2.7mの場合　：直径 約 7m
・室内ユニット設置高さ 3.5mの場合　：直径 約 7.5m

●取り付け時に、センサー部を強く押さないでください。また、センサー部の表面に傷を付けないでください。
センサーが破損し、正しく検知できなくなる場合があります。
●次のような場所には設置しないでください。故障や誤作動の原因となる場合があります。
・湿気、油分、振動が多い場所
・直射日光があたる場所や熱源の近く
・結露する場所

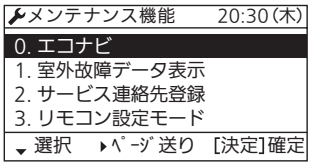
設定する（CZ-10RT4シリーズの場合）

エコナビシステム設定

エコナビ機能向けに、室内ユニットの親機 / 子機設定を変更します。
※エコナビ機能を使用するには、室内ユニットの親機がエコナビ機能に対応している必要があります。
※ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

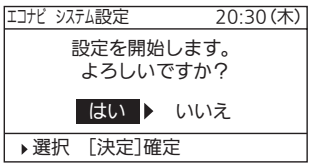
1. 3つのボタンを押す
   戻る ＋ 決定 ＋ ▶ ボタンを同時に 4 秒以上押します。
   メンテナンス機能画面が表示されます。
   ■ 1 つ前の画面に戻るとき
   戻る を押す

2.「0. エコナビ」を選ぶ
   ▲ / ▼ ボタンで「0. エコナビ」を選択し、決定 ボタンを押してください。



3.「エコナビシステム設定」を選ぶ
   ▲ / ▼ ボタンで「エコナビシステム設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。

4. 設定を開始する
   ◀ / ▶ ボタンで「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。



5. 設定完了後、システムが自動的に再起動します

6. エコナビが設定されたか確認する
   右図のように ECONAVI が表示されます。
   ※ 運転中の画面になっていない場合は、
   運転/停止 ボタンを押して、運転状態にしてください。
   ※ 運転モードが送風の場合は ECONAVI は表示されません。
   送風以外の運転モードにしてください。

お知らせ

●手順 2 の操作後、以下のようなメッセージがリモコン画面に表示されることがあります。

表示メッセージ	処　置　方　法
室内ユニットの構成情報を取得中です。	しばらくしてから再度「0. エコナビ」を選択してください。 約 10 分程度待っても状況が変わらない場合は、自動アドレスを行った後「0. エコナビ」を選択してください。

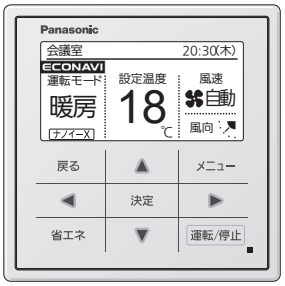
●手順 3 の操作後、以下のようなメッセージがリモコン画面に表示されることがあります。

表示メッセージ	処　置　方　法
設定の必要はありません。	室内ユニットの親機が既にエコナビ機能に対応しています。 そのままの設定でエコナビ機能をお使いいただけます。
室内ユニットの親機が見つかりません。	室内ユニットの電源が落ちている可能性があります。 室内ユニットの電源を確認してください。
エコナビ機能対応の室内ユニットが見つかりません。	グループ制御対象の室内ユニットがすべてエコナビ機能に対応していないため、エコナビ機能をお使いいただけません。

試運転する （CZ-10RT4シリーズの場合）

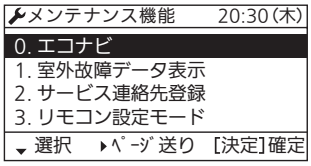
準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に配線用しゃ断器（ブレーカー）を入れてください。
電源投入後の約 90 秒間は、人感センサーは初期設定中のため、人の検知を行いません。

※ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

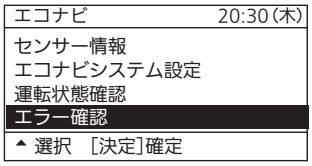


1. 3つのボタンを押す
戻る ＋ 決定 ＋ ▶ ボタンを同時に 4 秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。
■1 つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

2.「0. エコナビ」を選ぶ
▲ / ▼ ボタンで「0. エコナビ」を選択し、決定 ボタンを押してください。



3.「エラー確認」を選ぶ
▲ / ▼ ボタンで「エラー確認」を選択し、決定 ボタンを押してください。



4. センサーの状態が「正常」であることを確認する
（ ▲ / ▼ ボタンで画面表示の室内ユニットをスクロールできます。）
すべての室内ユニットのセンサーの状態が表示されます。

- 「正常」：エコナビパネルのセンサーは正常に動作しています。
- 「準備中」：エコナビパネルのセンサーは初期設定中です。
  90 秒以内に「正常」と表示されることを確認してください。
- 「未対応」：エコナビ機能に対応していない室内ユニット　です。

試運転は以上です。エコナビパネルを接続しているが「正常」「準備中」以外の表示の場合は、手順 5 を確認してください。
※「1-1」、「1-2」は室内ユニット No. を示します。エコナビパネルが接続されていない室内ユニットは、「接続なし」が表示されます。
※「センサー 1」とは、別売品のエコナビセンサー（CZ-CSEN1 等）を指します。接続されていない場合は、センサー 1 に「接続なし」が表示されます。

5. センサーの状態が「正常」「準備中」以外の場合
エコナビパネルを接続しているにもかかわらずセンサーの状態が「異常」「接続なし」になる場合は、以下の症状が発生している可能性があります。対象の室内ユニットを特定し、センサーを確認しください。
- 「異常」：センサーが故障している可能性があります。
- 「接続なし」：室内ユニットとセンサー間の配線が接続されていない可能性があります。

※ 室内ユニットの特定は、風向操作で確認できます。
確認方法：
① メンテナンス機能を終了する。
メニュー ボタンを押して、メンテナンス機能画面を表示し、戻る ボタンを押す。
② 風向操作をする。
メニュー の「2. 風向設定」で対象の「室内ユニット No」を選んで、風向設定を行ってください。設定したフラップ動作に変化したユニットが対象機器になります。

室内ユニットが特定できましたら、配線用しゃ断器（ブレーカー）を切り、センサー配線のコネクターを基板からはずして再接続してください。配線用しゃ断器（ブレーカー）を入れ、再度 1 ～ 4 を操作し「エラー確認」にて状態を確認してください。
再度、「異常」「接続なし」が表示された場合、エコナビパネルの交換が必要です。

外部機器連動機能 （CZ-10RT4シリーズの場合）

外部機器連動機能をご利用になると、室内コントロール基板から人感センサー出力やサーモ ON 出力、運転信号出力のいずれか 1 つを取り出せ、外部機器との連動が可能です。

■制御内容

●人感センサー出力に連動（警報とは連動しません）
人の在→不在の変化を検知時：外部機器の運転をオフします。
「不在検知時間設定」(P.6) により運転オフのタイミングを遅延させることが可能です。
人の不在→在の変化を検知時：外部機器の運転をオンします。

●運転信号出力に連動（エアコン連動）
室内ユニットが運転時：外部機器の運転をオンします。
室内ユニットが停止時：外部機器の運転をオフします。

●サーモ出力に連動
サーモ ON 時 ：外部機器の運転をオンします。
サーモ OFF 時：外部機器の運転をオフします。

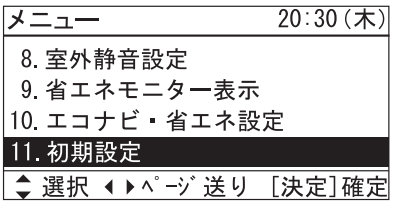
■設定方法

1. メニュー画面を表示する

メニュー ボタンを押します。
メニュー画面が表示されます。
■1 つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

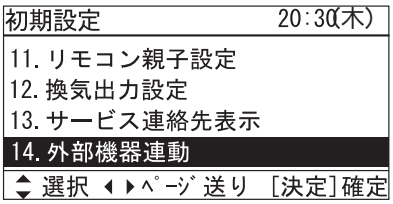
2.「11. 初期設定」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「11. 初期設定」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



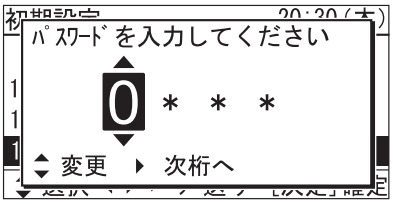
3.「外部機器連動」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「外部機器連動」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



4. パスワードを入力する（パスワード設定時）

▲ / ▼ ボタンで数字を選択し、▶ ボタンで次の桁に移行します。(繰り返す)
入力が完了したら 決定 ボタンを押してください。
※ パスワードが未設定のときは、パスワード入力画面が表示されたら 決定 ボタンを押してください。

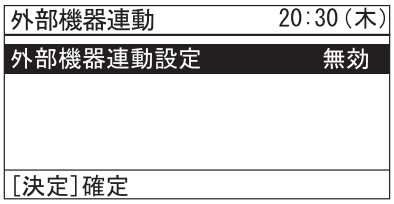


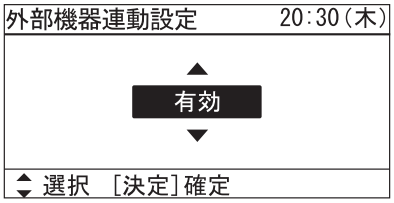
外部機器連動機能（つづき）

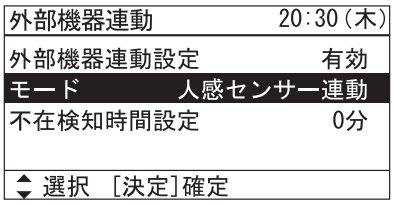
5.「外部機器連動設定」が「無効」の場合

決定 ボタンを押してください。
▲ / ▼ ボタンで「有効」を選択し、
決定 ボタンを押してください

「外部機器連動設定」が「有効」の場合
外部機器連動機能が有効のとき、「モード」「不在検知時間設定」を表示します。



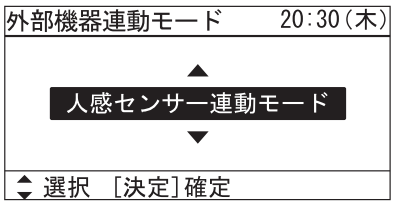


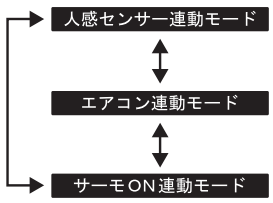


6. 設定する

「モード」を設定する場合

▲ / ▼ ボタンで「モード」を選択し、決定 ボタンを押してください。
外部機器連動モードを変更することができます。
▲ / ▼ ボタンで選択し、 決定 ボタンを押してください。





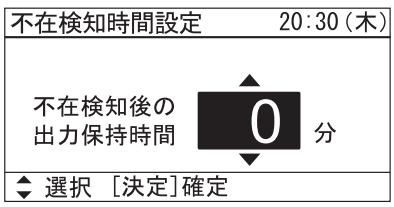
エコナビセンサーの在・不在出力に連動します。

エアコンの運転 / 停止出力に連動します。

エアコンのサーモ ON/OFF 出力に連動します。

「不在検知時間設定」を設定する場合

▲ / ▼ ボタンで「不在検知時間設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。



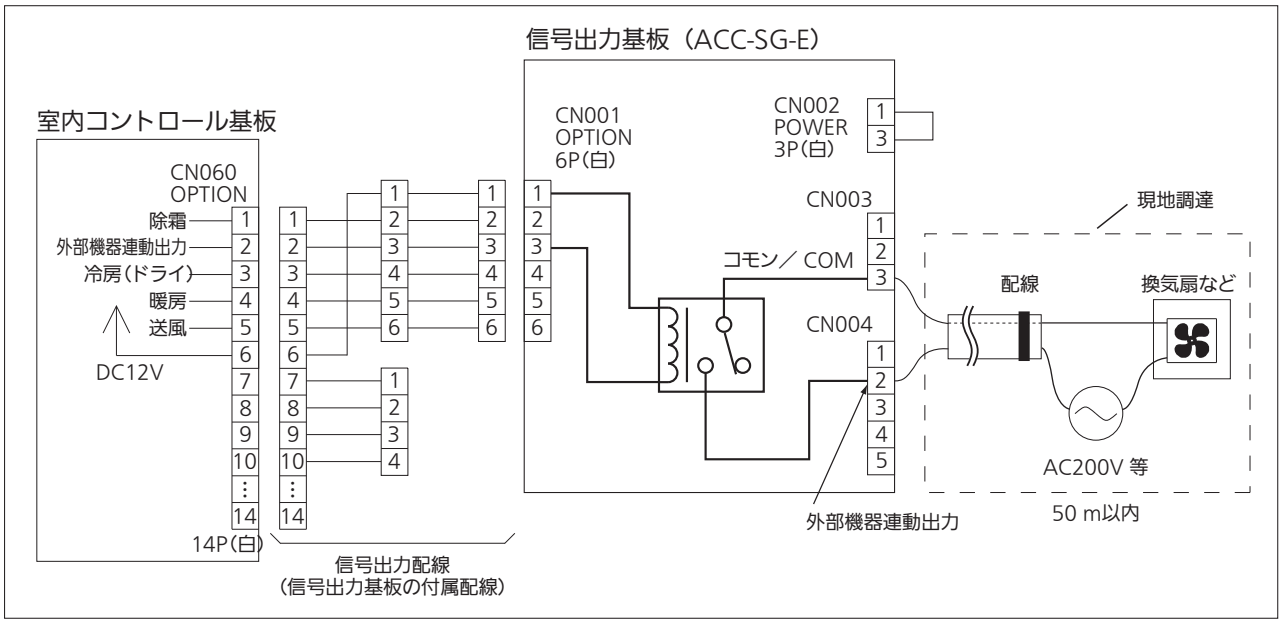
運転オフのタイミングを変更することができます。
▲ / ▼ ボタンで0～60分の間で1分刻みに設定可能です。
設定後、 決定 ボタンを押してください。
メニュー ボタンを2回押して終了してください。

外部機器連動機能（つづき）

■配線例

別売品の信号出力基盤 (ACC-SG-E) を使用した連動システム例

＜ビル用マルチエアコン（VRF）、ガスヒートポンプエアコン（GHP）に接続する場合＞



お知らせ

●空調機からの外部出力信号は外部機器の管理用に設けられていますが、 空調機が動作しなくなった場合でも、外部接続機器が安全側へ動作を移行するよう事前に措置を講じてください。

●空調機からの外部出力信号は停電時にはオフとなります。
停電時の特別な配慮が必要な場合は、外部回路で対応してください。

仕様

品番	CZ-80KPEL7
外形寸法	（幅）1170mm×（奥行き）680mm×(高さ）8mm
質量	5.5kg
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 %～ 80 %（屋内設置専用）
電源	DC5V（室内ユニットより供給）

品番	CZ-160KPEL7
外形寸法	（幅）1850mm×（奥行き）680mm×(高さ）8mm
質量	12kg
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 %～ 80 %（屋内設置専用）
電源	DC5V（室内ユニットより供給）

●昇降グリル付標準パネル（CZ-80KSL6）

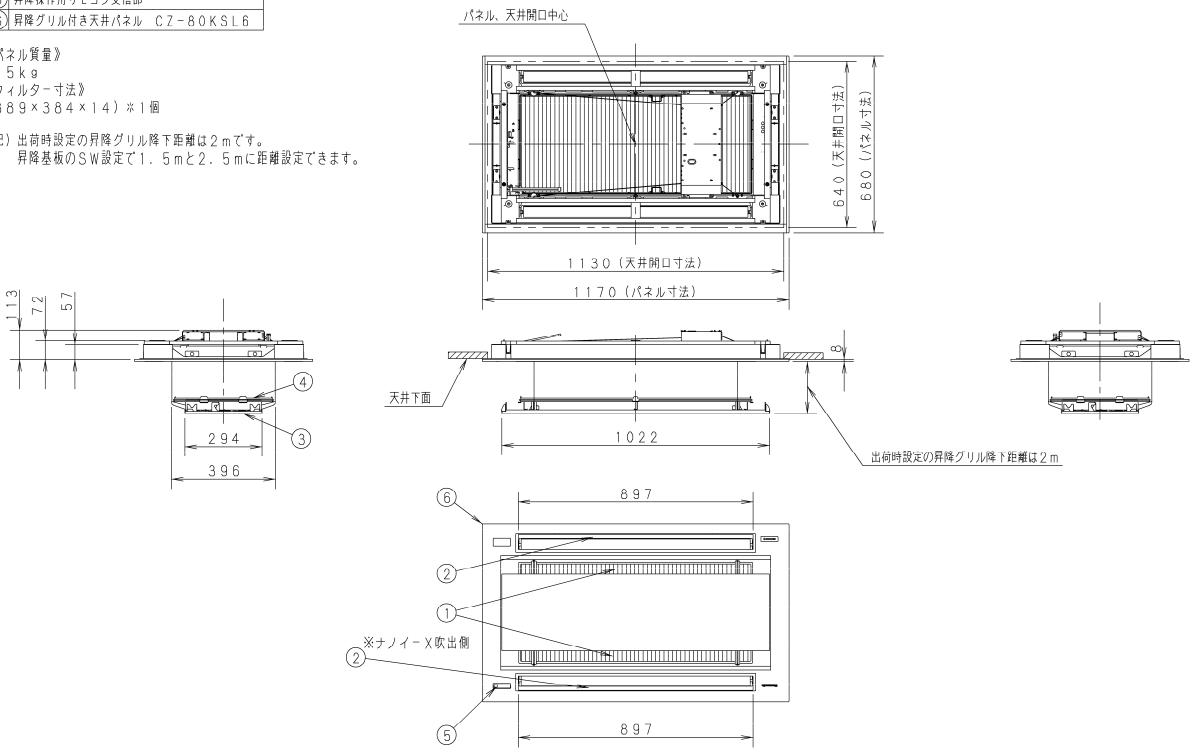
■外形寸法図

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	昇降グリル
④	昇降用フィルター
⑤	昇降操作用リモコン受信部
⑥	昇降グリル付き天井パネル　CZ-80KSL6

《パネル質量》
8．5ｋｇ
《フィルター寸法》
（889×384×14）※1個

注記）出荷時設定の昇降グリル降下距離は2ｍです。
昇降基板のSW設定で1．5ｍと2．5ｍに距離設定できます。

品番	パネル色
CZ-80KSL6	ホワイト （マンセル記号　N9．3）



●標準パネル（CZ-160KSL6）

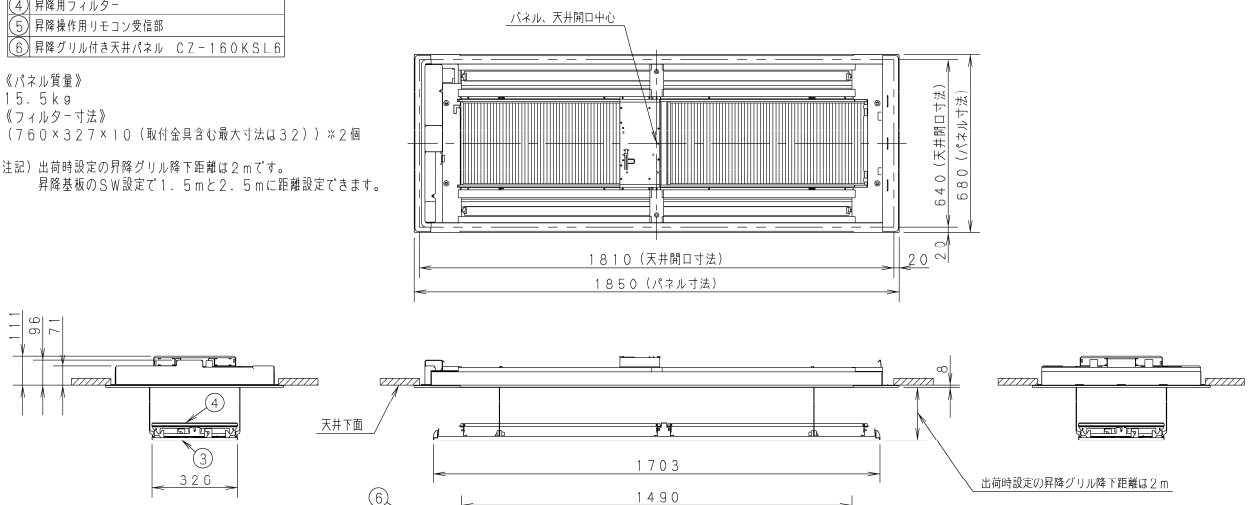
■外形寸法図

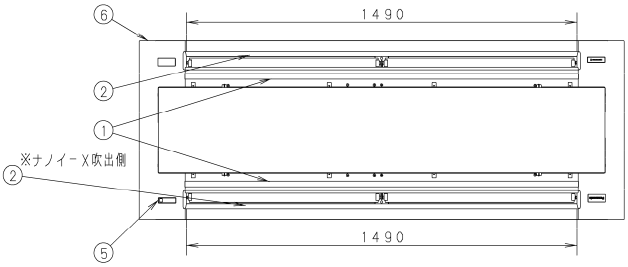
①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	昇降グリル
④	昇降用フィルター
⑤	昇降操作用リモコン受信部
⑥	昇降グリル付き天井パネル　CZ-160KSL6

《パネル質量》
15．5ｋｇ
《フィルター寸法》
（760×327×10（取付金具含む最大寸法は32））※2個

注記）出荷時設定の昇降グリル降下距離は2ｍです。
昇降基板のSW設定で1．5ｍと2．5ｍに距離設定できます。

品番	パネル色
CZ-160KSL6	ホワイト （マンセル記号　N9．3）





●昇降グリル付エコナビパネル（CZ-80KSEL6）

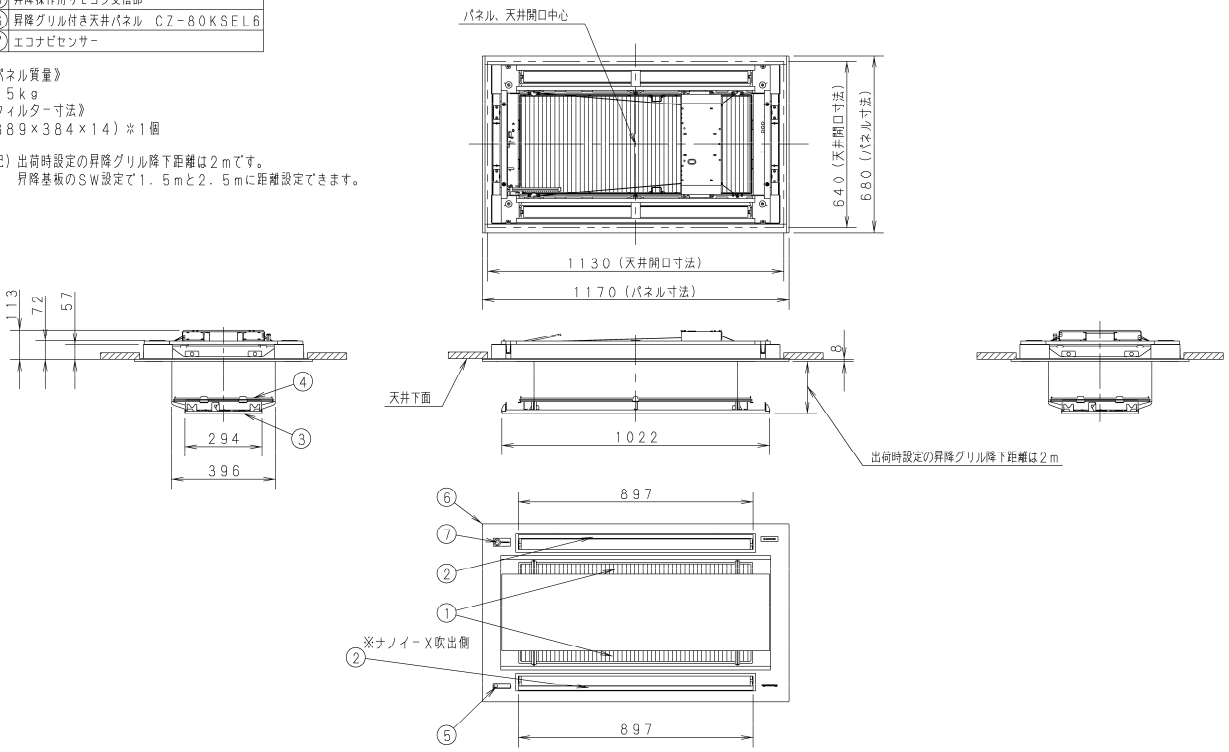
■外形寸法図

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	昇降グリル
④	昇降用フィルター
⑤	昇降操作用リモコン受信部
⑥	昇降グリル付き天井パネル　CZ-80KSEL6
⑦	エコナビセンサー

《パネル質量》
8．5ｋｇ
《フィルター寸法》
（889×384×14）※1個

注記）出荷時設定の昇降グリル降下距離は２ｍです。
　　昇降基板のＳＷ設定で１．５ｍと２．５ｍに距離設定できます。

品番	パネル色
CZ-80KSEL6	ホワイト （マンセル記号　N9．3）



●昇降グリル付エコナビパネル（CZ-160KSEL6）

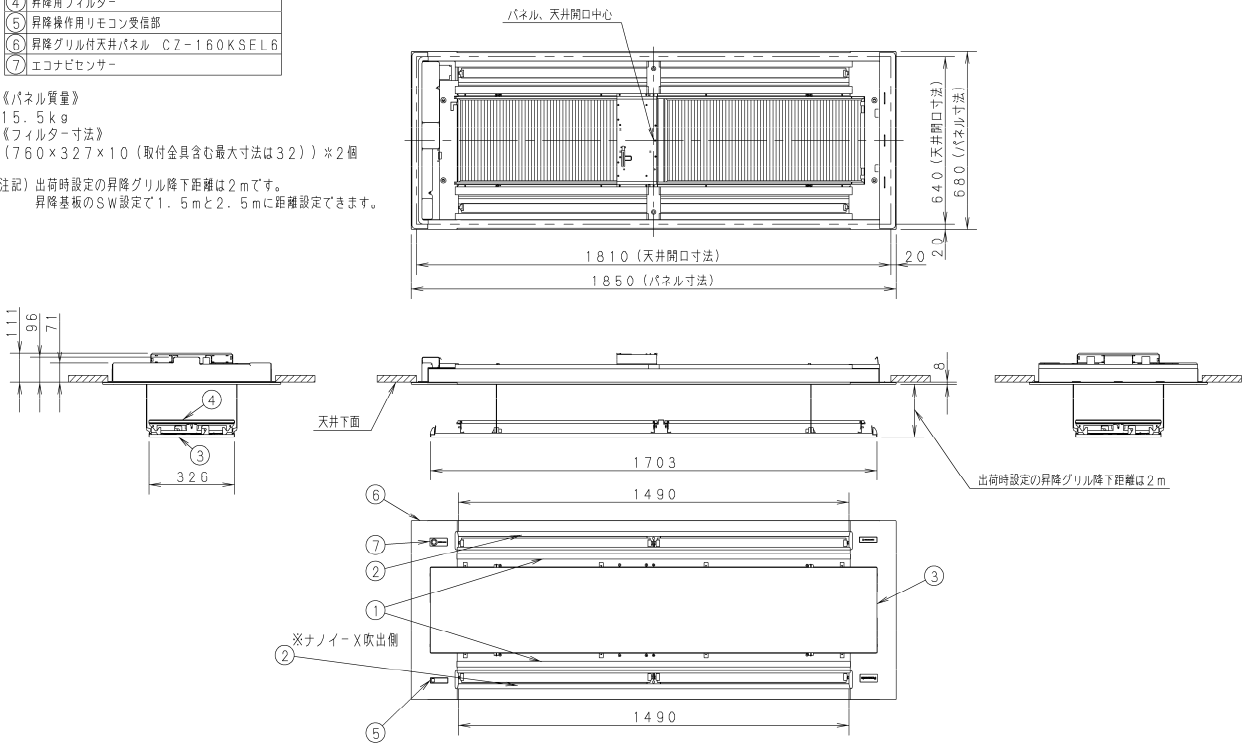
■外形寸法図

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	昇降グリル
④	昇降用フィルター
⑤	昇降操作用リモコン受信部
⑥	昇降グリル付天井パネル　CZ-160KSEL6
⑦	エコナビセンサー

《パネル質量》
15．5ｋｇ
《フィルター寸法》
（760×327×10（取付金具含む最大寸法は32））※2個

注記）出荷時設定の昇降グリル降下距離は２ｍです。
　　昇降基板のＳＷ設定で１．５ｍと２．５ｍに距離設定できます。

品番	パネル色
CZ-160KSEL6	ホワイト （マンセル記号　N9．3）



●昇降グリル付標準パネル（CZ-80KSEL6･CZ-160KSEL6）
■工事説明書

Panasonic®

据付工事説明書

品番	昇降グリル付標準パネル	CZ-80KSL6　CZ-160KSL6
	昇降グリル付エコナビパネル	CZ-80KSEL6　CZ-160KSEL6

適用室内ユニット　2方向天井カセット形　Lシリーズ*
（*対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

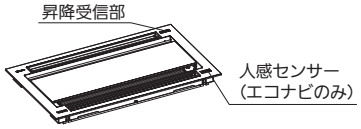
⚠ 警告

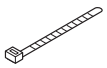
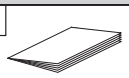
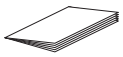
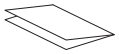
❗
■ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する
（感電・火災等の原因）
■ 据付工事は、室内ユニットの「据付工事説明書」に従って行う
（感電・火災等の原因）
■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）
■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する
据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
（冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
■ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う
●電気設備に関する技術基準
●内線規程
●据付工事説明書
（感電・火災の原因）
■ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する
●端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする
（発熱・火災等の原因）
■ 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う
（感電の原因）

⚠ 注意

⃠
■ 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

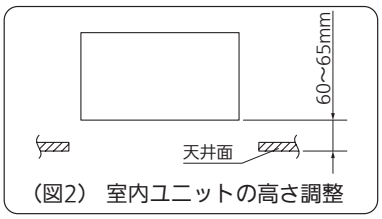
本体	
品名	昇降グリル付　標準パネル／エコナビパネル
個数	1
形状	

付属品					エコナビパネルのみ	
品名	座付ネジ	ネジ	結束バンド	取扱説明書	取扱説明書	据付工事説明書
個数	4	2	5	1	1	1
形状	80形（M5×26） 160形（M5×40 ワッシャー付き） （80形の座付ネジは パネル本体にあらかじめ 取り付けられています）	M4×25 （160形のみ）	 （160形のみ）	 本説明書 お客さまに必ず渡してください		 試運転編

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。
取扱説明書、据付工事説明書はお客様で保管していただくように依頼してください。

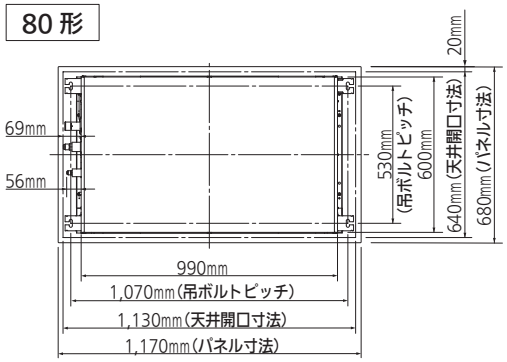
1. パネル本体取り付け前の準備

（1）天井開口寸法は（図1）に従い、確実に行ってください。
（2）室内ユニット下面と天井面との寸法は、60～65㎜になるように
　　室内ユニットの吊ボルトで高さ調節してください。（図2）
（3）天井面の穴開けと吊ボルト位置の寸法は（図１）に従ってください。

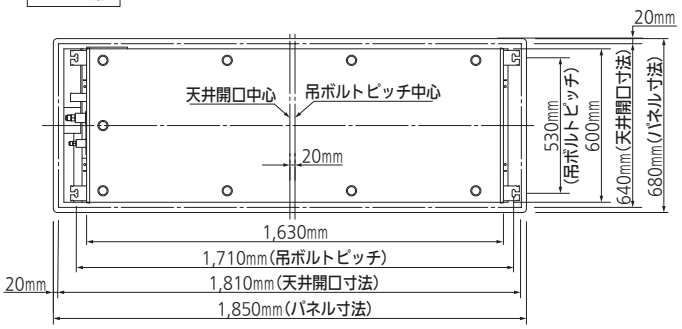


（図2） 室内ユニットの高さ調整

80 形



160 形



（図1）

注意：天井開口の中心と、吊ボルトピッチの中心が異なります。

2. パネル本体の取り付けかた

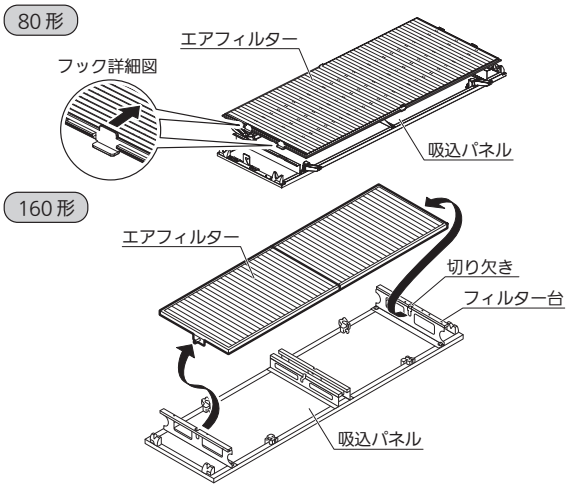
ご注意

- パネル本体を取り付けるとき、吊ワイヤーは梱包状態（ポリ袋に収納、テープ止め）で行ってください。
  エアフィルターと吸込パネルははずした状態で、パネル本体を室内ユニットに取り付けます。
- ワイヤレスリモコンで操作する場合は、ワイヤレス受信部に付け替えてからパネル本体を取り付けます。（詳細は別売品、ワイヤレスリモコン受信部（2方向天井カセット形）を参照してください。）

（1）吸込パネルとエアフィルターの取りはずし

①エアフィルター付吸込パネルは、パネル本体に両端テープ止めしています。テープを取ると取り出せます。

②エアフィルターのはずしかた（図3）
　80形　：エアフィルターはフックを手で押してはずします。
　160形：エアフィルターはフィルター台の切り欠きにそって手前へ引くと取り出せます。



（図3）エアフィルターのはずしかた

(2) パネル本体の取り付け

- 160 形はフラップの角度変更は電源を入れなければできません。(フラップを手で動かさないでください。手で動かすと壊れるおそれがあります。)
- パネル本体は室内ユニットへの取り付けを容易にするため、仮掛け金具が付いています。

80 形の場合

①パネル本体内面の仮掛け金具を室内ユニットの角穴に挿入し仮掛けしてください。(図 4)

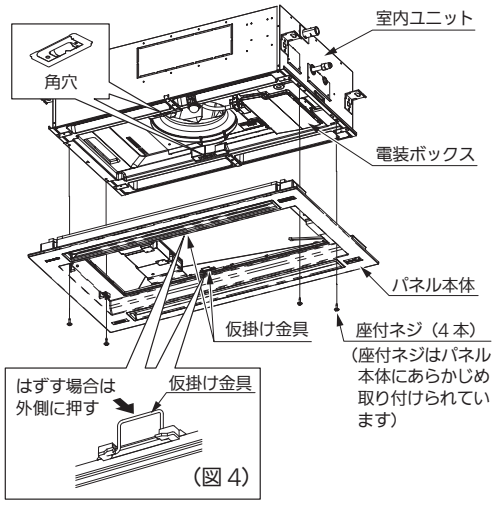
- 室内ユニットの電装ボックス側とパネル本体の配線位置を合わせてください。

②パネル本体の取付穴と室内ユニットのネジ穴を合せてください。

③パネル本体に取り付けられている座付ネジ (M5×26) でパネル本体取付部の 4 か所を室内ユニットに密着するまで締め込んでください。(図 5)

④室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間のないことを確認します。(図 5)
(隙間があると水漏れや露付きの原因となります。)

- パネル本体をはずす場合はパネル本体を支えながら仮掛け金具を外側に押してください。(図 4)



(図 5)パネル本体の取り付けかた

160 形の場合

①電装ボックスと反対側の仮掛け金具 (固定金具側) を室内ユニットに引っ掛けます。(図 6)

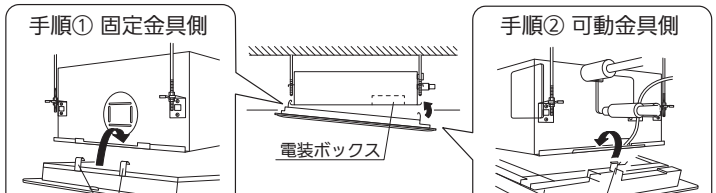
②次に電装ボックス側を持ち上げ仮掛け金具 (可動金具側) を室内ユニットに引っ掛けます。(図 7)
このとき可動金具が、カチッと室内ユニットにロックすることを確認してください。

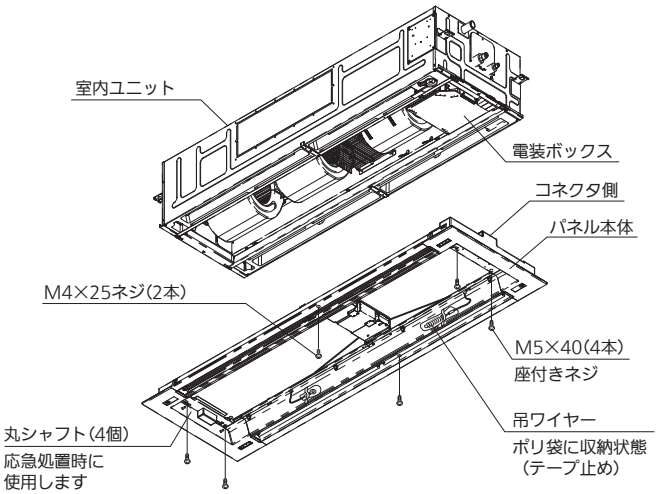
③パネル本体が室内ユニットへ仮掛けされていることを確認してください。

④次に座付ネジ (M5×40 ワッシャー付き) 4 本で、パネル本体を固定します。
さらに吹出口中央部をネジ (M4×25) 2 本で固定します。(図 8)

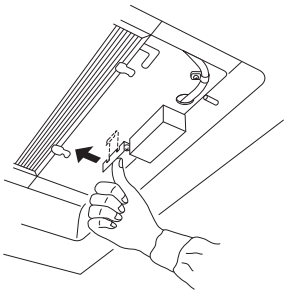
⑤室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間がないことを確認します。(隙間があると水漏れや露付きの原因となります。) (図 8)

- パネル本体をはずすときは、可動金具を矢印方向に押してロックを解除します。(図 9)





(図8) パネル本体の取り付けかた

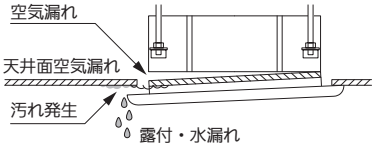


(図9) 可動金具の操作

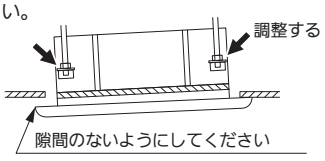
80 形、160 形共通

ご 注 意

- 座付ネジの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。



- 座付ネジを締め込んでも天井面とパネル本体との間に隙間ができる場合は室内ユニットの据え付け高さを再調整してください。



(3) パネル本体の配線方法

A.フラップモーター、エコナビパネルの配線

①電装ボックスのふたを取りはずしてください。(ネジ 2 か所)

②パネル本体から出ている配線コネクタ (80 形標準パネルは 22P (白)、80 形エコナビパネルは 22P (白) と 6P (白)、160 形標準パネルとエコナビパネルは 8P (白) を 2 個) を室内ユニットの基板のコネクタまたは中継コネクタに接続してください。
その際、80 形はフック、160 形は電装ボックスの切り欠きを通して配線してください。(図 10、11)

- **コネクタにはツメがありますので、ツメが基板の外側を向くようにロックがかかるまで確実に挿入してください。(確実に接続されていないとオートフラップが動作せず、リモコンに“P09”が表示されます。また、逆差しした場合は基板部品の破損のおそれがあります。)**
- 通常ご使用になる場合、束ねてある配線はそのままご使用ください。

B.昇降グリルメカの配線

①昇降グリルメカから出ている昇降メカ配線コネクタ 7P (白) を室内ユニットのコネクタに接続してください。(図 10、11)

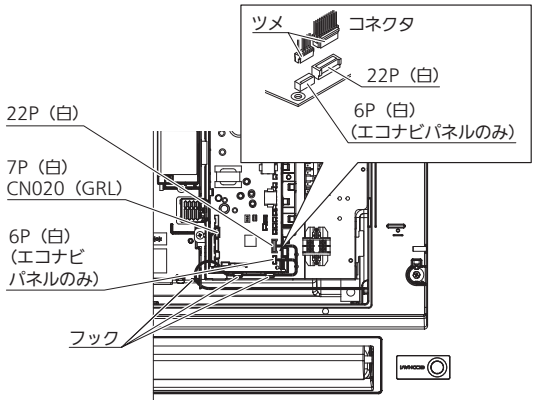
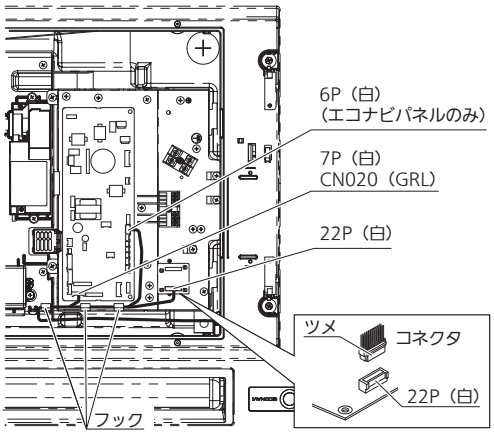
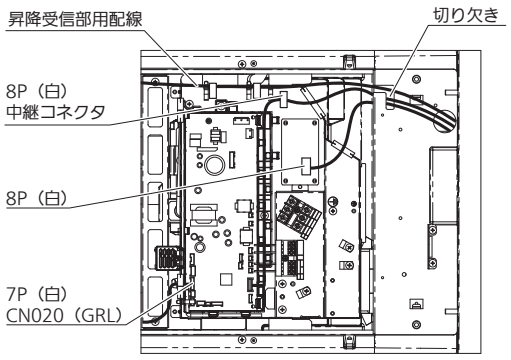
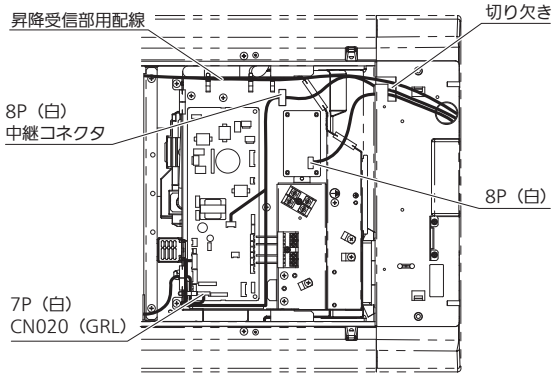
- コネクタを基板に接続したのち、軽く引っ張り抜けたりぐらぐらしないことを確認してください。(確実に接続されていないと、昇降グリルが動作しません。)

②昇降受信部用配線は電装ボックス内に通してください。(160 形のみ)

③昇降受信部用配線と昇降メカ配線は結束バンドで固定してください。余った配線は束ねて結束バンドで固定してください。
(160 形のみ)

④電装ボックスのふたを元通りに取り付けてください。

- 配線が電装ボックスとふたの間にはさまれていないことを確認してください。
- 配線が室内ユニットとパネル本体の間にはさまれていないことを確認してください。
- 通常ご使用になる場合、束ねてある配線はそのままご使用ください。

	オフィス・店舗用エアコン (PAC) に接続する場合	ビル用マルチエアコン (VRF)、ガスヒートポンプエアコン (GHP) に接続する場合
80 形 (図 10)		
160 形 (図 11)		

（4）別売ワイヤレスリモコンで操作する場合

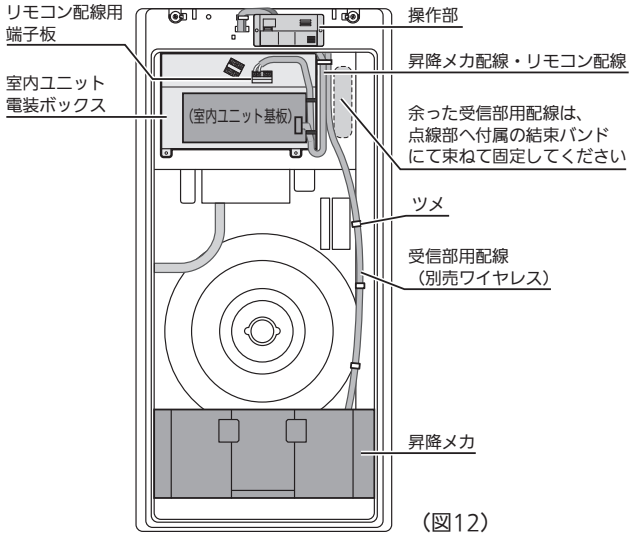
補足 昇降操作専用リモコンでも操作できます。

受信部用配線固定　※別売ワイヤレスリモコン受信部の説明書もあわせてご覧ください。

別売ワイヤレスリモコン受信部の操作部と昇降メカとを接続する受信部用配線は下記の通り固定してください。（図12）

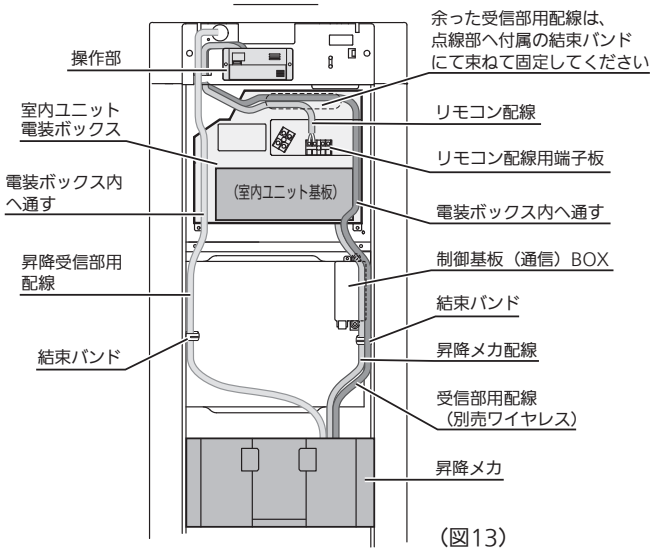
- 受信部用配線は既にある昇降メカ配線とともに固定してください。（図13）
- 余った配線は、束ねて結束バンドで固定してください。

80 形



（図12）

160 形



（図13）

（5）吸込パネルの取り付けかた

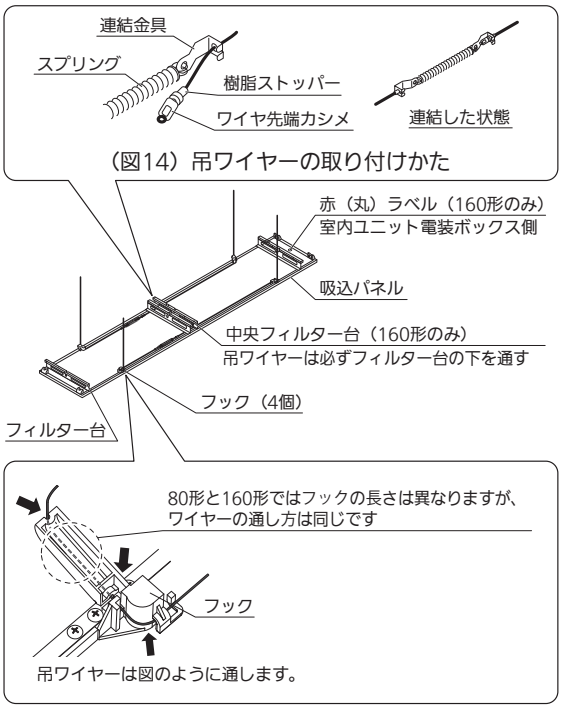
ご注意

- 吸込パネルに吊ワイヤーを取り付ける時は、吊ワイヤーや吸込パネルに傷が付かないように安定した架台の上で作業してください。
- 吊ワイヤーは吸込パネルのフックへ確実に取り付けてください。不完全に取り付けると落下の恐れがあります。
- 160 形は吸込パネルの取り付けには方向性があり、赤（丸）ラベルを室内ユニット電装ボックス側にします。逆にすると吸込パネルが収納できません。80 形は方向性はありません。

①ポリ袋から吊ワイヤーを取り出します。

②吊ワイヤーを取り付けます。（図 14）
160 形のみはじめに、吊ワイヤーの片側を中央のフィルター台（2 個）の下を通してから、樹脂ストッパーを連結金具の切り欠きに通して引っ掛けます。次に吊ワイヤーをフックに通して、吸込パネルを吊下げます。

③エアフィルターを吸込パネルのフィルター台に取り付けます。
吸込パネルが傾いているときは、吸込パネルを水平にしてください。
（2 ページ 図 3 参照）



（図14）吊ワイヤーの取り付けかた

（6）その他

ご注意

- 昇降中に障害物に当ると、ワイヤーゆるみ検知が動作して昇降できなくなります。この時は吊ワイヤーを手で引き、ゆるみの無い状態でリモコン操作すると昇降できます。
- 昇降グリルを操作する時は、室内ユニットの運転は停止してから行ってください。運転したまま行うと故障の原因になります。

サービス時の応急処置のしかた（吸込パネルが動作しない時）

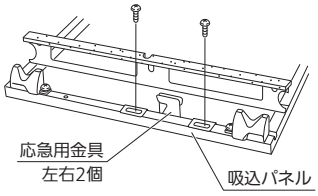
①フックに取り付けている吊ワイヤーをはずしてエアフィルター付吸込パネルを取りはずします。

②吸込パネル両端にネジ止めしている応急用金具を取り出します。

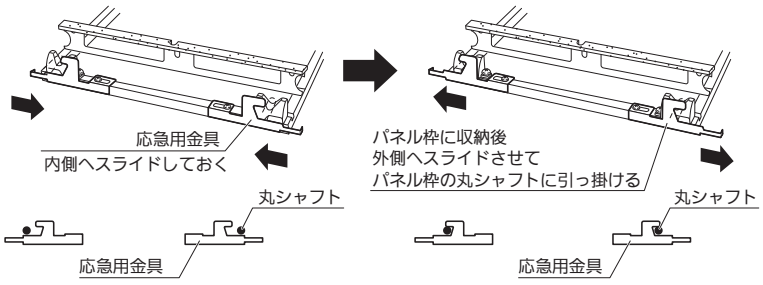
③応急用金具のとって部を外側にして、はずしたネジで4コーナーに取り付けます。このとき応急用金具は、内側にスライドしておきます。

④エアフィルター付吸込パネルをパネル枠の吸込口に収納させ、応急用金具を外側へスライドさせてパネル両端の丸シャフト（4個）に引っ掛けます。

⑤吸込パネルがパネル枠の丸シャフトへ確実にロックしたことを確認してください。



応急用金具のはずしかた



応急用金具の取り付けかた

3. その他

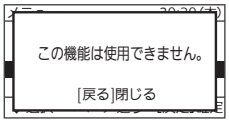
A.据え付け後の確認

- 室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間のないことを再確認してください。（3ページ 図5・8参照）
  ※隙間があると水漏れや露付の原因となります。
- 配線接続が確実にされていることを確認してください。（4ページ （3）パネル本体の配線方法参照）
  ※接続されてないとオートフラップが動かない（リモコンにP09の表示が出ます）、また水漏れや露付等の原因となります。

B.昇降グリルを操作するためのリモコン設定方法

（1）ワイヤードリモコンで設定＜CZ-10RT4 シリーズの場合＞

■ 多機能ワイヤードリモコンで昇降グリルを操作するためには必ず（ワイヤードリモコンから）下記設定を行ってください。
この設定をしないと、昇降グリル操作時に“この機能は使用できません。”が表示されます。



多機能ワイヤードリモコン

〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

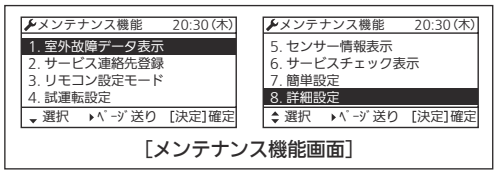
① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。

③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「30」に変更してください。

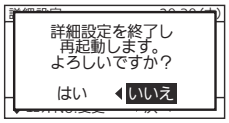
④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを「0000」から「0001」に変更し、
決定 ボタンを押してください。

⑤ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、 戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面］が表示されます。
◄ / ► ボタンで「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。



［メンテナンス機能画面］

［詳細設定画面］



［詳細設定終了画面］

（2）ワイヤードリモコンで設定＜CZ-10RT3 の場合＞

ワイヤードリモコンの フィルター ボタンでグリルを操作するためには必ずワイヤードリモコンから下記設定を行なってください。
この設定をしないと フィルター ボタンを押しても“この操作は出来ません”または“ ⃠ ” が表示されます。
※ ワイヤレスリモコンでの設定はできません。

〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを同時に４秒間以上押します。

※ 昇降グリルを設置している室内ユニットを含むグループ制御を行なう場合は親機に対して設定する必要があります。
最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内ユニットアドレスですので ユニット選択 ボタンを押さないでください。

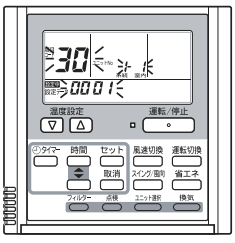
② 温度設定 ▽ ／ △ ボタンで項目コード「３０」を指定します。

③ タイマー時間 ▼ ／ ▲ ボタンで設定データを「００００」から「０００１」に変更します。

④ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればＯＫ）

⑤ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。

⑥ フィルター ボタンを４秒間以上押して液晶表示部に“フィルター 昇降”
または“ ⌂ ”と表示されることを確認してください。
再度 フィルター ボタンを４秒間以上押すと通常の停止状態に戻ります。



C.昇降グリル下降距離の設定

昇降グリル下降距離設定のしかた

①下記の方法で昇降グリルの下降距離が3段階に設定できます。
②昇降メカふた（ネジ3本）をはずし、昇降基板のSW1（下降距離設定）で設定します。（図15）
③出荷時は2.0mの設定にしています。

グリル下降距離設定（SW1）
（出荷時設定＝2.0m）

[m]	1	2	3	4
1.5	0	0	※ご使用	※常時0
2.0	1	0		
2.5	0	1		

※80形は常時「0」
160形は常時「1」

（図15）グリル下降距離設定

D.ワイヤレスリモコン対応の場合

● 取り付け方法の詳細は、別売のワイヤレスリモコン受信部に付属の据付説明書を参照してください。

E.DCファンモータータップの選択

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。(表 1、表 2)
ファン回転数を設定する方法は、
(1) 基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合
(2) / (3) ワイヤードリモコンで設定
があります。どちらかの方法で設定してください。
※ディップスイッチによる設定が優先されます。

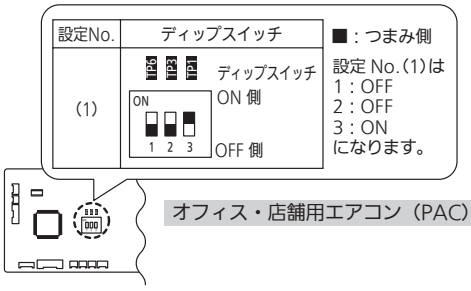
表2　天井高さの目安

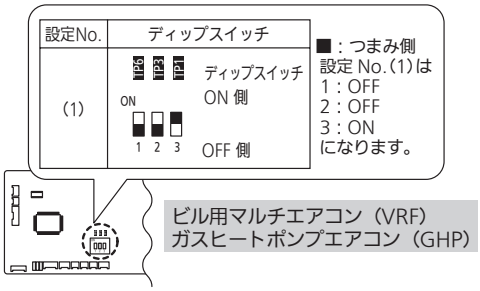
室内機	標準（出荷時）	高天井設定
22 ～ 71 形	1.8 ～ 2.7m	～ 3.2m
80 ～ 160 形	1.8 ～ 3.0m	～ 3.5m

表1　DCファンモータータップ設定表

設定No.	項目コード 5D/5d の設定データ	使用用途／別売品名称 ※1
(出荷設定)	0000	標準（出荷設定）
		超ロングライフフィルター
		ロングライフフィルター
(1)	0001	高天井設定 1（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（比色法 65%）
		高性能フィルター（比色法 90%）
		しゃ風材・吹出ダクト ※2

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、
組み合わせ可能な別売品を確認し選定してください。
※2. しゃ風材と吹出ダクトは、必ず併用してください。





（図 16）室内コントロール基板

(1) 基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

＜手順＞必ず漏電しゃ断器を切ってください。

①ご使用の用途、別売品に応じた「設定 No.」を表 1 で確認してください。

②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。
(図 16)

③表 1 で確認した設定 No に合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

(2) ワイヤードリモコンで設定＜CZ-10RT4 シリーズの場合＞

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。

〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

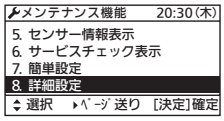
① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

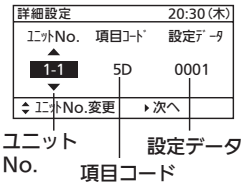
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
[詳細設定画面] が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。

③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。

④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、 決定 ボタンを押してください。

⑤ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、 戻る ボタンを押してください。
[詳細設定終了画面」が表示されます。
◄ / ► ボタンで「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。





(3) ワイヤードリモコンで設定＜CZ-10RT3 の場合＞

〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを同時に 4 秒間以上押します。

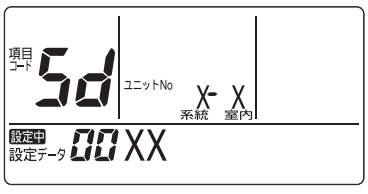
② ユニット選択 ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。

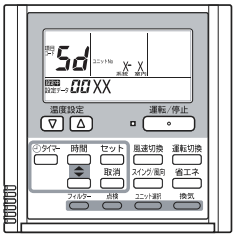
③ 温度設定 ▽ / △ ボタンで項目コード「5 d」を指定します。

④ 時間 ▼ / ▲ ボタンで設定データを変更します。
設定データは同梱の据付工事説明書をご確認ください。

⑤ セット ボタンを押します。
(表示が点滅から点灯に変わればＯＫ)

⑥ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。





上記項目を確認した後、この説明書とユニット本体および別売部品の説明書等の一式全てをお客様へ渡してください。その際、取扱説明書に記載されたフィルターの清掃の説明を必ずお客様にしてください。

●昇降グリル付エコナビパネル（CZ-80KSEL6･CZ-160KSEL6）
■工事説明書

Panasonic®

据付工事説明書　試運転編

品番	エコナビパネル	CZ-80KPEL6, CZ-160KPEL6
	昇降グリル付エコナビパネル	CZ-80KSEL6, CZ-160KSEL6

適用室内ユニット 2方向天井カセット形　Lシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●据付工事完了後、この「据付工事説明書 試運転編」をよくお読みのうえ、試運転を行い異常がないことを確認してください。
特に「安全上のご注意」は、試運転前に必ずお読みください。
●室内ユニットなどに付属の「据付工事説明書」も合わせてご覧ください。
●この「据付工事説明書 試運転編」は「取扱説明書」、「据付工事説明書」とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
移設、修理の場合は「据付工事説明書 試運転編」を工事担当の方へお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

❗
■ **据付工事は、室内ユニットの「据付工事説明書」に従って行う**
（感電・火災等の原因）
■ **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
●電気設備に関する技術基準
●内線規程
●据付工事説明書
（感電・火災の原因）

■ **据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する**
（感電・火災等の原因）
■ **配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する**
●端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。
（発熱・火災等の原因）
■ **工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う**
（感電の原因）

■ **据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。**

使用上のお願い

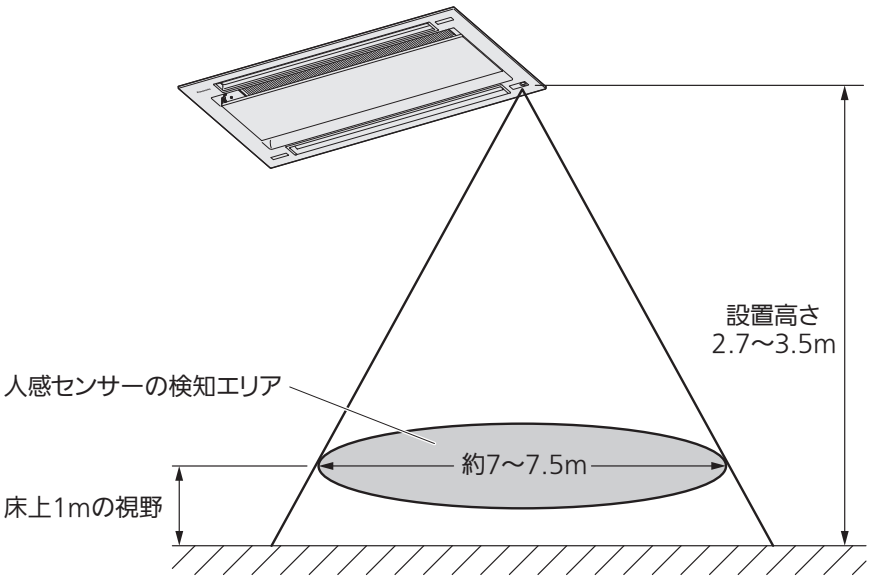
●次のような場所に設置しない
・湿気・油分・振動が多い/ 直射日光があたる/ 熱源の近く/ 結露する（故障の原因）
・ノイズが発生する（誤動作の原因）
●エコナビパネルは、屋内専用です。
●センサーの表面に傷を付けない
（センサーが正しく検知しなくなる原因）
●センサーを強く押さない（破損の原因）
●熱源や冷却するものが検知エリア内にあると、センサーが正しく検知できない場合があります。
●ベンジンやシンナー、化学雑巾などでふかない（変色や変形の原因）
・汚れがひどい場合は、布に水でうすめた中性洗剤を含ませ、よく絞ってからふいてください。その後、乾いた布でふいてください。
●エコナビパネルと併用不可の別売品を同時設置しない
（動作不良の原因）
併用可/ 不可の判断はカタログ等でご確認ください。
●ガラス越しの人の動きは、検知できません。
●起動後、不在判定するまで2～5分かかります。

ACXF60-31464
BE0418-40823

設置上のご注意

検知エリアの目安

●人感センサーの死角になる場所では、人を検知することはできません。
人を検知できる位置にエコナビパネルを取り付けるようにしてください。
●熱源や冷却するものが検知エリア内にあると、センサーが正しく検知できない場合があります。



＜人感センサー検知エリア目安＞
・室内ユニット設置高さ 2.7mの場合　：直径 約 7m
・室内ユニット設置高さ 3.5mの場合　：直径 約 7.5m

●取り付け時に、センサー部を強く押さないでください。また、センサー部の表面に傷を付けないでください。
センサーが破損し、正しく検知できなくなる場合があります。
●次のような場所には設置しないでください。故障や誤作動の原因となる場合があります。
・湿気、油分、振動が多い場所
・直射日光があたる場所や熱源の近く
・結露する場所

設定する（CZ-10RT4シリーズの場合）

エコナビシステム設定

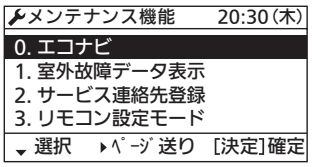
エコナビ機能向けに、室内ユニットの親機 / 子機設定を変更します。
※エコナビ機能を使用するには、室内ユニットの親機がエコナビ機能に対応している必要があります。
※ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

1. 3つのボタンを押す

戻る ＋ 決定 ＋ ▶ ボタンを同時に 4 秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。
■ 1 つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

2.「0. エコナビ」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「0. エコナビ」を選択し、決定 ボタンを押してください。

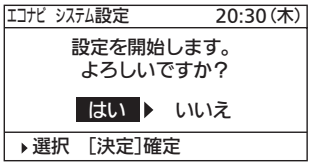


3.「エコナビシステム設定」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「エコナビシステム設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。

4. 設定を開始する

◀ / ▶ ボタンで「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。



5. 設定完了後、システムが自動的に再起動します

6. エコナビが設定されたか確認する

右図のように ECONAVI が表示されます。
※ 運転中の画面になっていない場合は、運転/停止 ボタンを押して、運転状態にしてください。
※ 運転モードが送風の場合は ECONAVI は表示されません。
送風以外の運転モードにしてください。

お知らせ

●手順 2 の操作後、以下のようなメッセージがリモコン画面に表示されることがあります。

表示メッセージ	処　置　方　法
室内ユニットの構成情報を取得中です。	しばらくしてから再度「0. エコナビ」を選択してください。 約 10 分程度待っても状況が変わらない場合は、自動アドレスを行った後「0. エコナビ」を選択してください。

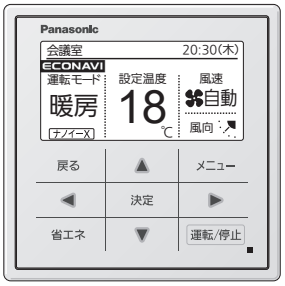
●手順 3 の操作後、以下のようなメッセージがリモコン画面に表示されることがあります。

表示メッセージ	処　置　方　法
設定の必要はありません。	室内ユニットの親機が既にエコナビ機能に対応しています。 そのままの設定でエコナビ機能をお使いいただけます。
室内ユニットの親機が見つかりません。	室内ユニットの電源が落ちている可能性があります。 室内ユニットの電源を確認してください。
エコナビ機能対応の室内ユニットが見つかりません。	グループ制御対象の室内ユニットがすべてエコナビ機能に対応していないため、エコナビ機能をお使いいただけません。

試運転する （CZ-10RT4シリーズの場合）

準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に漏電しゃ断器を入れてください。
　　電源投入後の約 90 秒間は、人感センサーは初期設定中のため、人の検知を行いません。

※ユニットが運転を停止した状態で行ってください。



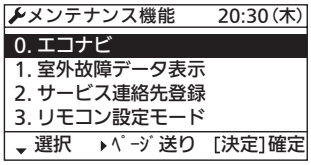
1. 3つのボタンを押す

戻る ＋ 決定 ＋ ▶ ボタンを同時に 4 秒以上押します。
メンテナンス機能画面が表示されます。

■1 つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

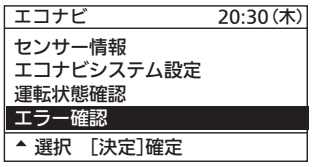
2.「0. エコナビ」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「0. エコナビ」を選択し、決定 ボタンを押してください。



3.「エラー確認」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「エラー確認」を選択し、決定 ボタンを押してください。



4. センサーの状態が「正常」であることを確認する

（ ▲ / ▼ ボタンで画面表示の室内ユニットをスクロールできます。）
すべての室内ユニットのセンサーの状態が表示されます。

- 「**正常**」：エコナビパネルのセンサーは正常に動作しています。
- 「**準備中**」：エコナビパネルのセンサーは初期設定中です。
  90 秒以内に「正常」と表示されることを確認してください。
- 「**未対応**」：エコナビ機能に対応していない室内ユニット　です。

試運転は以上です。エコナビパネルを接続しているが「正常」「準備中」以外の表示の場合は、手順 5 を確認してください。

※「1-1」、「1-2」は室内ユニット No. を示します。エコナビパネルが接続されていない室内ユニットは、「接続なし」が表示されます。

※「センサー 1 」とは、別売品のエコナビセンサー（CZ-CSEN1 等）を指します。接続されていない場合は、センサー 1 に「接続なし」が表示されます。

5. センサーの状態が「正常」「準備中」以外の場合

エコナビパネルを接続しているにもかかわらずセンサーの状態が「異常」「接続なし」になる場合は、以下の症状が発生している可能性があります。対象の室内ユニットを特定し、センサーを確認しください。

- 「異常」：センサーが故障している可能性があります。
- 「接続なし」：室内ユニットとセンサー間の配線が接続されていない可能性があります。

※ 室内ユニットの特定は、風向操作で確認できます。
　確認方法：
　① メンテナンス機能を終了する。
　　メニュー ボタンを押して、メンテナンス機能画面を表示し、戻る ボタンを押す。
　② 風向操作をする。
　　メニュー の「2. 風向設定」で対象の「室内ユニット No」を選んで、風向設定を行ってください。設定したフラップ動作に変化したユニットが対象機器になります。

室内ユニットが特定できましたら、漏電しゃ断器を切り、センサー配線のコネクターを基板からはずして再接続してください。漏電しゃ断器を入れ、再度 1 ～ 4 を操作し「エラー確認」にて状態を確認してください。
再度、「異常」「接続なし」が表示された場合、エコナビパネルの交換が必要です。

裏面につづく

外部機器連動機能 （CZ-10RT4シリーズの場合）

外部機器連動機能をご利用になると、室内コントロール基板から人感センサー出力やサーモ ON 出力、運転信号出力のいずれか 1 つを取り出せ、外部機器との連動が可能です。

■制御内容

●人感センサー出力に連動（警報とは連動しません）
人の在→不在の変化を検知時：外部機器の運転をオフします。
「**不在検知時間設定**」(P.6) により運転オフのタイミングを遅延させることが可能です。
人の不在→在の変化を検知時：外部機器の運転をオンします。

●運転信号出力に連動（エアコン連動）
室内ユニットが運転時：外部機器の運転をオンします。
室内ユニットが停止時：外部機器の運転をオフします。

●サーモ出力に連動
サーモ ON 時 ：外部機器の運転をオンします。
サーモ OFF 時：外部機器の運転をオフします。

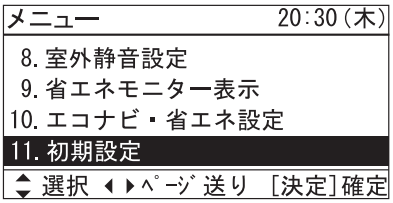
■設定方法

1. メニュー画面を表示する

メニュー ボタンを押します。
メニュー画面が表示されます。
■1 つ前の画面に戻るとき
戻る を押す

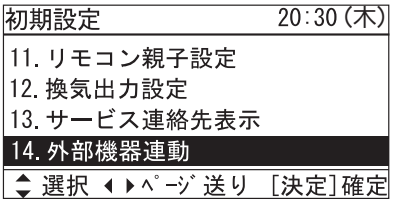
2.「11. 初期設定」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「11. 初期設定」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



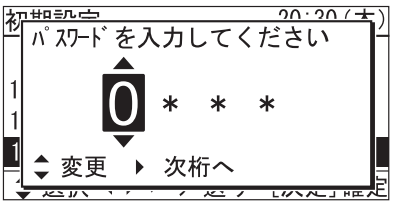
3.「外部機器連動」を選ぶ

▲ / ▼ ボタンで「外部機器連動」を選択し、
決定 ボタンを押してください。



4. パスワードを入力する（パスワード設定時）

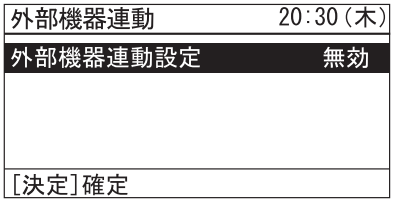
▲ / ▼ ボタンで数字を選択し、► ボタンで次の桁に移行します。(繰り返す)
入力が完了したら 決定 ボタンを押してください。
※ パスワードが未設定のときは、パスワード入力画面が表示されたら 決定 ボタンを押してください。



外部機器連動機能（つづき）

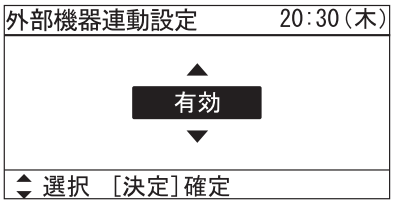
5.「外部機器連動設定」が「無効」の場合

決定 ボタンを押してください。
▲ / ▼ ボタンで「有効」を選択し、
決定 ボタンを押してください



「外部機器連動設定」が「有効」の場合

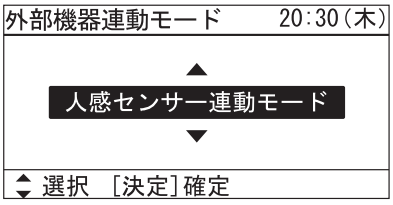
外部機器連動機能が有効のとき、「モード」「不在検知時間設定」を表示します。

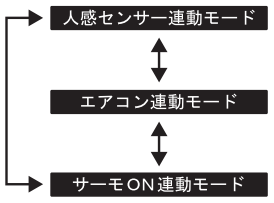


6. 設定する

「モード」を設定する場合

▲ / ▼ ボタンで「モード」を選択し、決定 ボタンを押してください。
外部機器連動モードを変更することができます。
▲ / ▼ ボタンで選択し、 決定 ボタンを押してください。

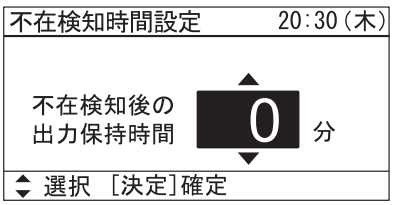




人感センサー連動モード　エコナビセンサーの在・不在出力に連動します。
エアコン連動モード　エアコンの運転 / 停止出力に連動します。
サーモON連動モード　エアコンのサーモ ON/OFF 出力に連動します。

「不在検知時間設定」を設定する場合

▲ / ▼ ボタンで「不在検知時間設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。



運転オフのタイミングを変更することができます。
▲ / ▼ ボタンで0～60分の間で1分刻みに設定可能です。
設定後、 決定 ボタンを押してください。
メニュー ボタンを2回押して終了してください。

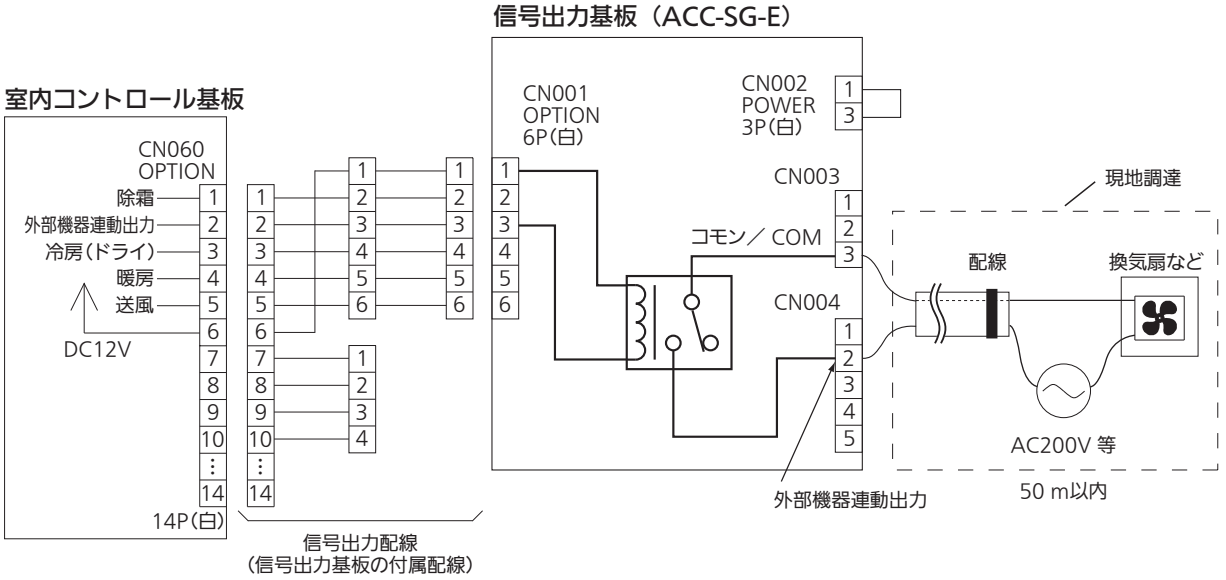
外部機器連動機能（つづき）

■配線例

別売品の信号出力基盤 (ACC-SG-E) を使用した連動システム例

＜ビル用マルチエアコン（VRF）、ガスヒートポンプエアコン（GHP）に接続する場合＞

※CZ-80・160KSEL6のみ



お知らせ

●空調機からの外部出力信号は外部機器の管理用に設けられていますが、 空調機が動作しなくなった場合でも、外部接続機器が安全側へ動作を移行するよう事前に措置を講じてください。

●空調機からの外部出力信号は停電時にはオフとなります。
停電時の特別な配慮が必要な場合は、外部回路で対応してください。

仕様

品番	CZ-80KPEL6	CZ-80KSEL6
外形寸法	（幅）1170mm×（奥行き）680mm×(高さ）8mm	
質量	5.5kg	8.5kg
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 %～ 80 %（屋内設置専用）	
電源	DC5V（室内ユニットより供給）	

品番	CZ-160KPEL6	CZ-160KSEL6
外形寸法	（幅）1850mm×（奥行き）680mm×(高さ）8mm	
質量	12kg	15.5kg
使用温度・湿度範囲	0 ℃～ 40 ℃・20 %～ 80 %（屋内設置専用）	
電源	DC5V（室内ユニットより供給）	

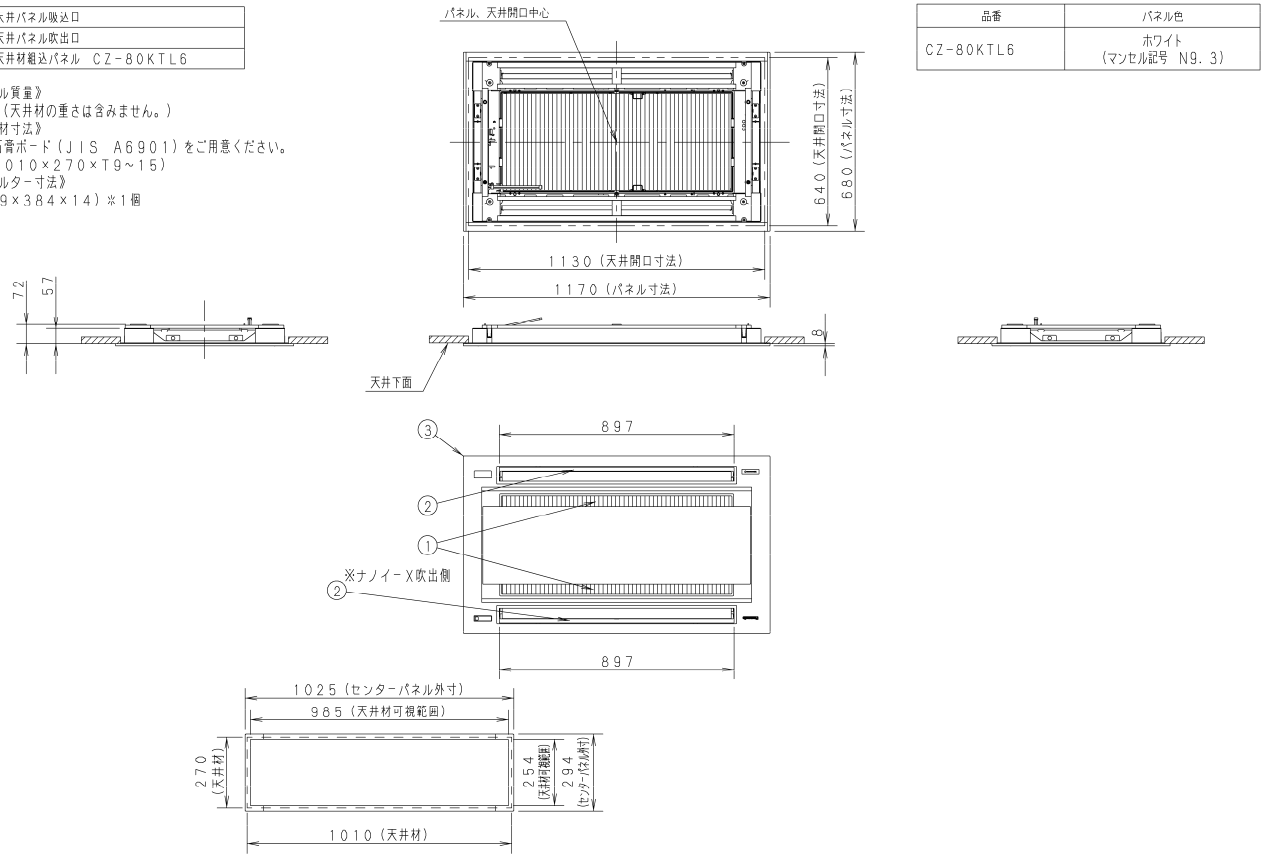
●天井材組込パネル（CZ-80KTL6）

■外形寸法図

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井材組込パネル　CZ-80KTL6

《パネル質量》
5kg（天井材の重さは含みません。）
《天井材寸法》
化粧石膏ボード（JIS　A6901）をご用意ください。
（1，010×270×T9～15）
《フィルター寸法》
（889×384×14）※1個

品番	パネル色
CZ-80KTL6	ホワイト （マンセル記号　N9．3）



センターパネル外形寸法

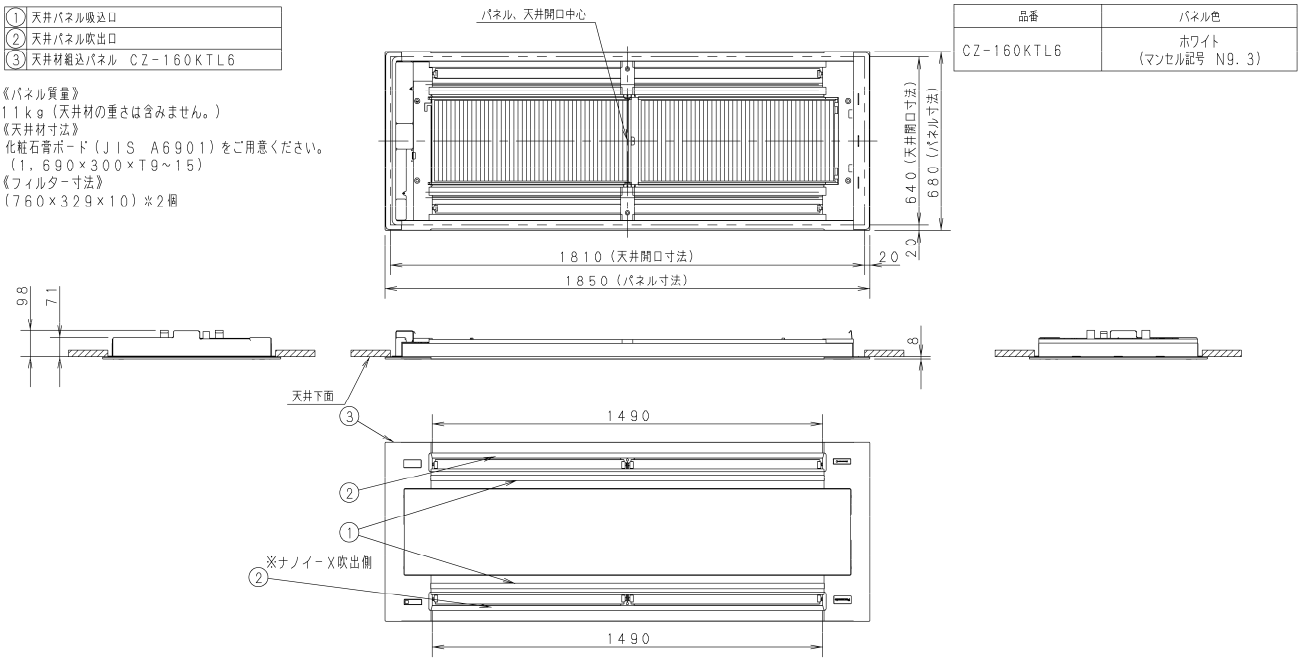
●天井材組込パネル（CZ-160KTL6）

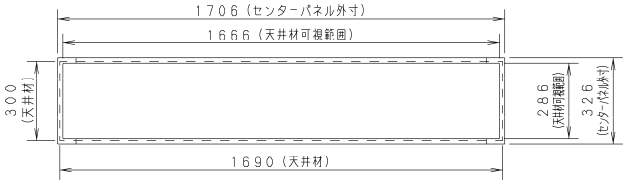
■外形寸法図

①	天井パネル吸込口
②	天井パネル吹出口
③	天井材組込パネル　CZ-160KTL6

《パネル質量》
11kg（天井材の重さは含みません。）
《天井材寸法》
化粧石膏ボード（JIS　A6901）をご用意ください。
（1，690×300×T9～15）
《フィルター寸法》
（760×329×10）※2個

品番	パネル色
CZ-160KTL6	ホワイト （マンセル記号　N9．3）





センターパネル外形寸法

■工事説明書

Panasonic®

据付工事説明書

品番　天井材組込パネル　CZ-80KTL6　　CZ-160KTL6

適用室内ユニット　2方向天井カセット形　Lシリーズ*
（*対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠　してはいけない内容（禁止事項）です。

❗　実行しなければならない内容（強制事項）です。

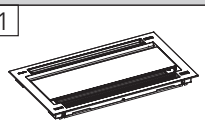
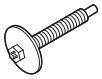
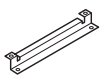
⚠警告

❗
- **■ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する**
（感電・火災等の原因）
- **■ 据付工事は、室内ユニットの「据付工事説明書」に従って行う**（感電・火災等の原因）
- **■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（ユニットの落下による、けがの原因）
- **■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する**
据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
（冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
- **■ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - ●電気設備に関する技術基準
  - ●内線規程
  - ●据付工事説明書（感電・火災の原因）
- **■ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する**
  - ●端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする
（発熱・火災等の原因）
- **■ 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う**
（感電の原因）

⚠注意

⃠
- **■ 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない**
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

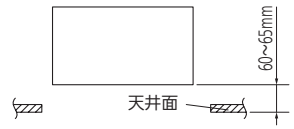
■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

本体		付属品		天井材固定用			
品名	天井材組込パネル	座付ネジ	ネジ	押え金具	押えパッキン	取付ビス	据付工事説明書
個数	1	4	2				1
形状		80形（M5×26） 160形（M5×40ワッシャー付き） （80形の座付ネジは パネル本体にあらかじめ 取り付けられています） 	M4×25 （160形のみ） 	 80形：4個 160形：6個	 80形：4個 160形：6個	 （M4×10） 80形：8本 160形：12本	 本説明書 お客さまに必ず 渡してください

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。
取扱説明書、据付工事説明書はお客様で保管していただくように依頼してください。

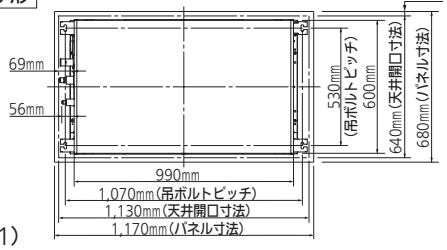
1. パネル本体取り付け前の準備

（1）天井開口寸法は図 1 に従ってください。
（2）室内ユニットまたは別売フィルターチャンバー下面と天井面との寸法は、60～65mmになるように室内ユニットの吊ボルトで高さ調節してください。（図2）
（3）天井面の穴開けと吊ボルト位置の寸法は下図に従ってください。



（図2） 室内ユニットの高さ調整

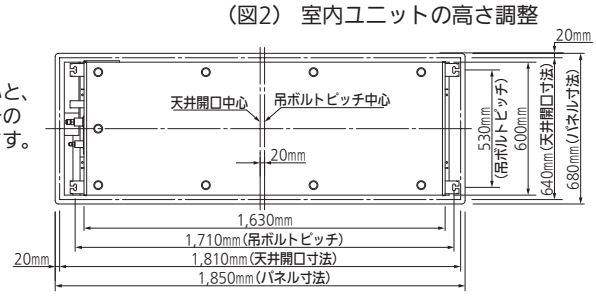
80 形



（図 1）

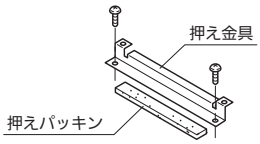
160 形

注意
天井開口の中心と、吊ボルトピッチの中心が異なります。

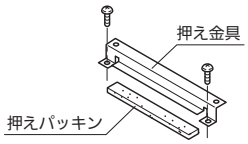


2. パネル本体の取り付けかた

● 天井材の厚みが9mm～12mmの場合は、押えパッキンを貼って固定します。

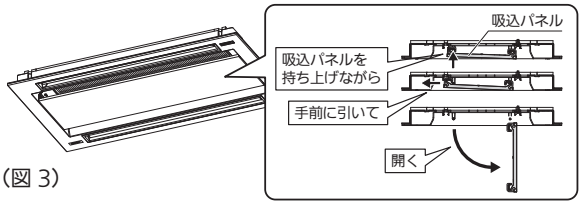


● 天井材の厚みが15mmの場合は、**押え金具を反転させ**、押えパッキンを貼って固定します。



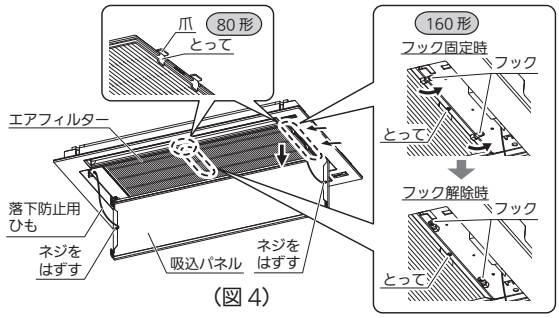
（1）吸込パネルとエアフィルターの取りはずし

①吸込パネルのはずしかた（80 形、160 形共通）
吸込パネル長辺の片側（どちら側からも可）の端を持ち上げながら手前に引いて開きます。（図 3）
吸込パネル側の落下防止用ひもの固定ネジをはずしてから吸込パネルをはずします。（図 4）



（図 3）

②エアフィルターのはずしかた（図 4）
80 形 ： エアフィルターの短辺のとって（2 つ）と長辺のとってを押してフィルター枠をたわめて爪を外し下方にひきます。
（エアフィルター 1 枚）
160 形 ： エアフィルターの短辺のとって（1 つ）を持ちながらフック 2 か所を回して固定を解除し下方にひきます。
（エアフィルター 2 枚）



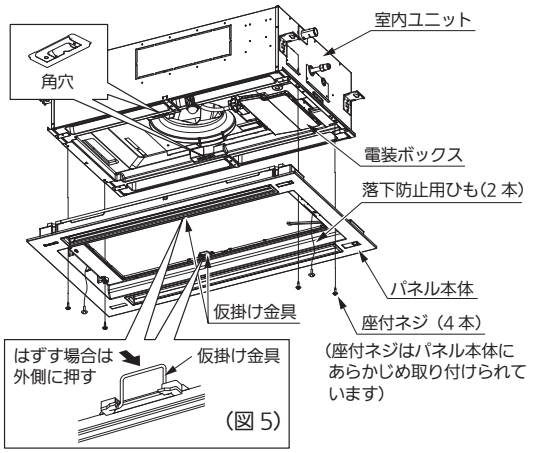
（図 4）

（2）パネル本体の取り付け

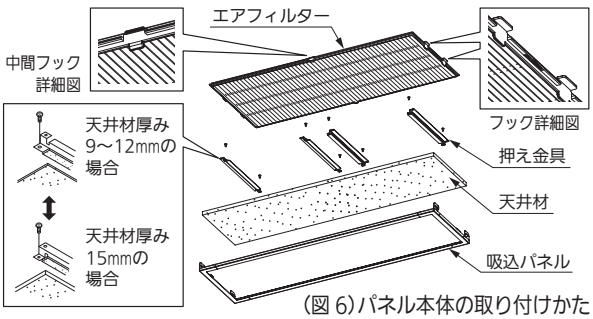
● **160 形はフラップの角度変更は電源を入れなければできません。（フラップを手で動かさないでください。手で動かすと壊れるおそれがあります。）**
● **パネル本体は室内ユニットへの取り付けを容易にするため、仮掛け金具が付いています。**

80 形の場合

①パネル本体内面の仮掛け金具を室内ユニットの角穴に挿入し仮掛けしてください。（図 5）
● 室内ユニットの電装ボックス側とパネル本体の配線位置を合わせてください。
②パネル本体の取付穴と室内ユニットのネジ穴を合せてください。
③パネル本体に取り付けられている座付ネジ（M5×26）でパネル本体取付部の 4 か所を室内ユニットに密着するまで締め込んでください。（図 6）
④室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間がないことを確認します。（図 6）
（隙間があると水漏れや露付きの原因となります。）
● パネル本体をはずす場合はパネル本体を支えながら仮掛け金具を外側に押してください。（図 5）



（図 5）
（座付ネジはパネル本体にあらかじめ取り付けられています）



（図 6）パネル本体の取り付けかた

160 形の場合（図 10）

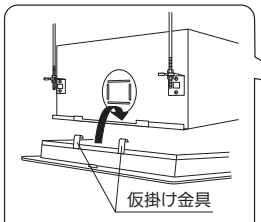
①電装ボックスと反対側の仮掛け金具（固定金具側）を室内ユニットに引っ掛けます。（図 7）

②次に電装ボックス側を持ち上げ仮掛け金具（可動金具側）を室内ユニットに引っ掛けます。（図 8）**このとき可動金具が、カチッと室内ユニットにロックすることを確認してください。**

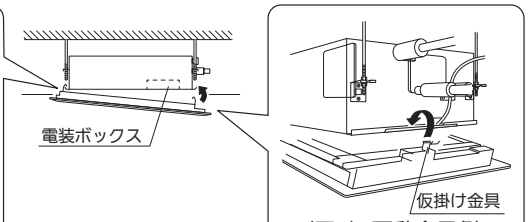
③パネル本体が室内ユニットへ仮掛けされていることを確認してください。

④次に座付ネジ（M5×40 ワッシャー付き）4 本で、パネル本体を固定します。さらに吹出口中央部をネジ（M4×25）2 本で固定します。（図 10）

● パネル本体をはずすときは、可動金具を矢印方向に押してロックを解除します。（図 9）

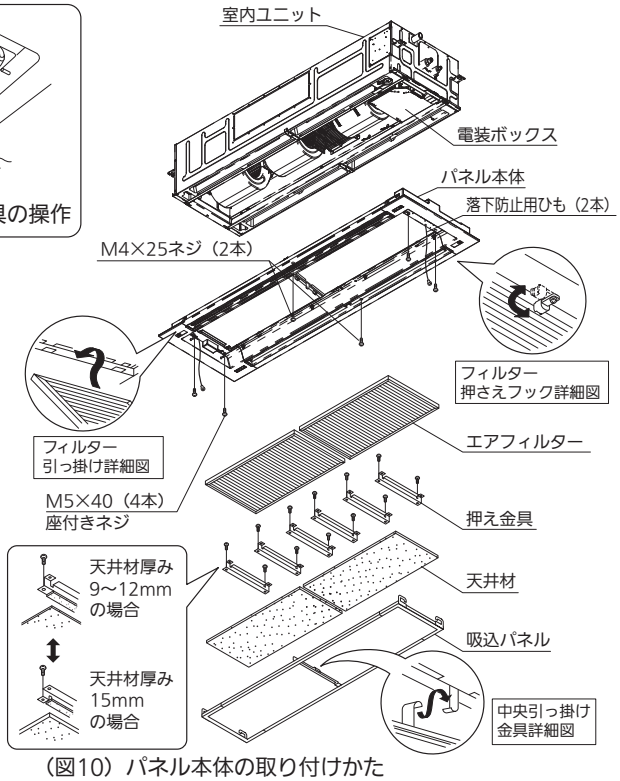


（図7）固定金具側



（図8）可動金具側

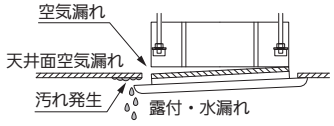
（図9）可動金具の操作



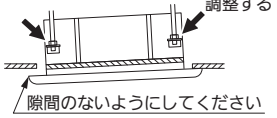
（図10）パネル本体の取り付けかた

80 形、160 形共通　**ご　注　意**

● 座付ネジの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。



● 座付ネジを締め込んでも天井面とパネル本体との間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。



（3）パネル本体の配線方法

①電装ボックスのふたを取りはずしてください。（ネジ 2 か所）

②パネル本体から出ている配線コネクタ（80 形は 22P（白）、160 形は 8P（白）を 2 個）を室内ユニットの基板のコネクタまたは中継コネクタに接続してください。その際、配線は室内ユニットのフックに通して右図のように配線をしてください。

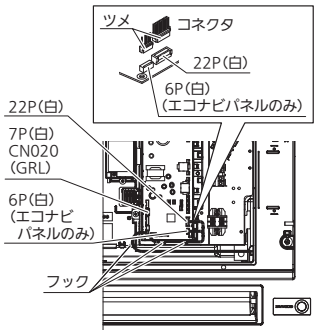
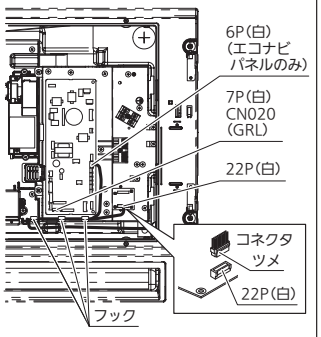
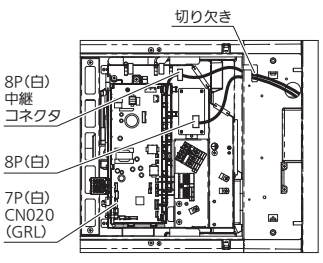
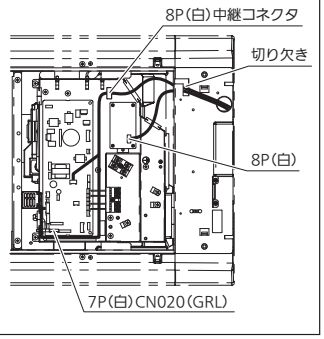
● **コネクタにはツメがありますので、ツメが基板の外側を向くようにロックがかかるまで確実に挿入してください。（確実に接続されていないとオートフラップが動作せず、リモコンに “P09” が表示されます。また、逆差しした場合は基板部品の破損のおそれがあります。）**

③電装ボックスのふたを元通りに取り付けてください。

● **配線が電装ボックスとふたの間にはさまれていないことを確認してください。**

● **配線が室内ユニットとパネル本体の間にはさまれていないことを確認してください。**

● **通常ご使用になる場合、束ねてある配線はそのままご使用ください。フィルターチャンバーをご使用の場合、束ねてある配線をほどいてご使用ください。**

	オフィス・店舗用エアコン（PAC）に接続する場合	ビル用マルチエアコン（VRF）、ガスヒートポンプエアコン（GHP）に接続する場合
80 形		
160 形		

（4）天井材の取り付けかた

①天井材の加工寸法は右表に従い、確実に行ってください。
②吸込パネルへの取り付けかた
（1）加工した天井材を吸込パネルに組込みます。
（2）次に付属の押え金具で、天井材を固定します。
（3）天井材の厚みは、9mm ～ 15mm まで組込みできます。

	天井材寸法（たて × よこ）
80形	270 mm×1,010 mm
160形	300 mm×1,690 mm

（5）吸込パネルとエアフィルターの取り付け

取り付け方法は、吸込パネルとエアフィルターの取りはずしと逆の手順で取り付けてください。
- 吸込パネルとエアフィルターを取り付ける際、配線をはさまないよう注意してください。
- 必ず落下防止用ひもをパネル本体に取り付けてください。落下防止用ひもを取り付けない場合、吸込パネルとエアフィルターが落下するおそれがあります。

3. その他

A.据え付け後の確認

- 室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間のないことを再確認してください。
  ※隙間があると水漏れや露付の原因となります。
- 配線接続が確実にされていることを確認してください。
  ※接続されてないとオートフラップが動かない（リモコンに P09 の表示が出ます）、また水漏れや露付等の原因となります。

B.ワイヤレスリモコン対応の場合

- 取り付け方法の詳細は、別売のワイヤレスリモコン受信部に付属の据付説明書を参照してください。

C.DCファンモータータップの選択

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表 1、表 2）
ファン回転数を設定する方法は、
（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合
（2）ワイヤードリモコンで設定
があります。どちらかの方法で設定してください。
※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1　DCファンモータータップ設定表

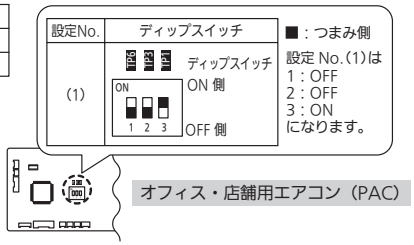
設定No.	項目コード 5D/5d の設定データ	使用用途／別売品名称 ※1
（出荷設定）	0000	標準（出荷設定）
		超ロングライフフィルター
		ロングライフフィルター
（1）	0001	高天井設定 1（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（比色法 65%）
		高性能フィルター（比色法 90%）
		しゃ風材・吹出ダクト ※2

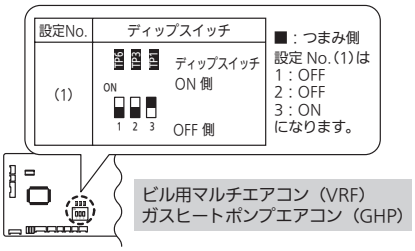
※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組み合わせ可能な別売品を確認し選定してください。
※2. しゃ風材と吹出ダクトは、必ず併用してください。

表2　天井高さの目安

室内機	標準（出荷時）	高天井設定
22 ～ 71 形	1.8 ～ 2.7m	～ 3.2m
80 ～ 160 形	1.8 ～ 3.0m	～ 3.5m

（図 11）室内コントロール基板





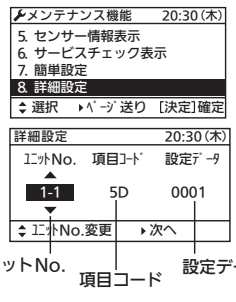
（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

<手順>必ず漏電しゃ断器を切ってください。
①ご使用の用途、別売品に応じた「設定 No.」を表 1 で確認してください。
②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。（図 11）
③表 1 で確認した設定 No に合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。（図 11）

（2）ワイヤードリモコンで設定　<CZ-10RT4シリーズの場合>

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

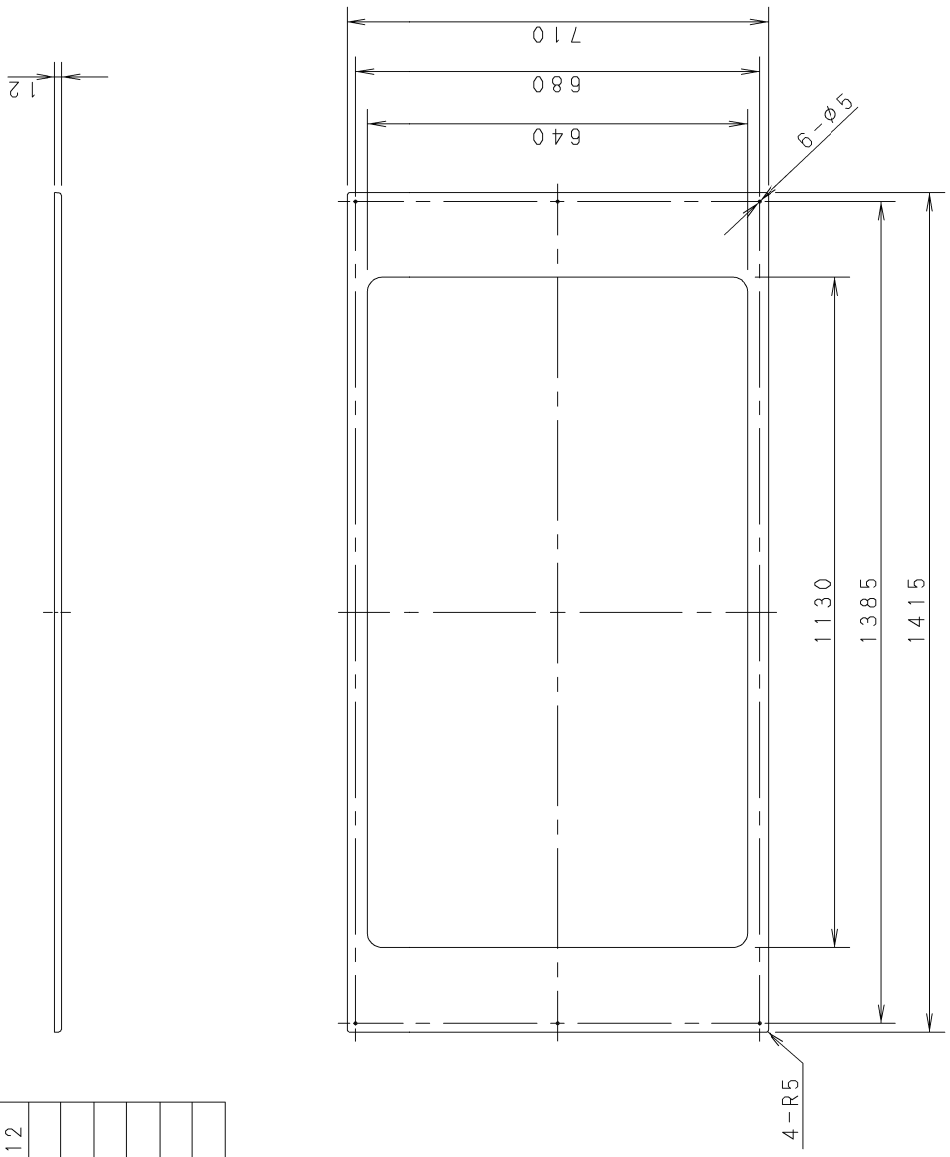
① 戻る + 決定 + ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、 決定 ボタンを押してください。
⑤ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、 戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面］が表示されます。
◄ / ► ボタンで「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。



上記項目を確認した後、この説明書とユニット本体および別売部品の説明書等の一式全てをお客様へ渡してください。その際、取扱説明書に記載されたフィルターの清掃の説明を必ずお客様にしてください。

●ワイドパネル（CZ-80KWL6）

■外形寸法図



■仕様

品番			CZ-80KWL6
外形寸法		mm	W:1415, D:710, H:12
開口寸法		mm	W:1130, D:640
天井開口寸法	短手	mm	640~670
	長手	mm	1130~1350
製品質量		kg	1.5
色（マンセル記号）			ホワイト（N9.3）
適応機種			22~90形

■工事説明書

Panasonic

据付工事説明書

品番　ワイドパネル　CZ-80KWL6

適用室内ユニット　２方向天井カセット形　Ｌシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」とこの「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗ ⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗ ■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

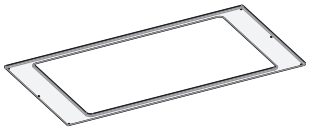
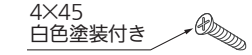
⃠ ■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意
- ワイドパネルは２２～９０形まで共通で使用できます。
- ワイドパネルは室内ユニットの冷媒配管・ドレン配管終了後、パネル本体を取り付ける際に、同時に取り付けてください。※先にパネル本体を取り付けてしまうと、ワイドパネルを取り付けできなくなります。
- 別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒にお客様で保管していただくよう依頼してください。

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

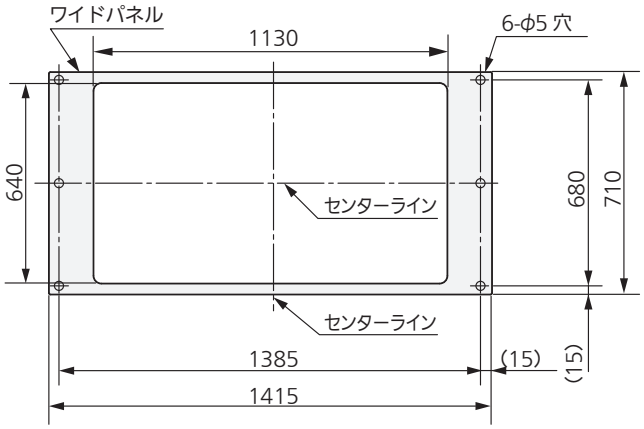
品名	ワイドパネル	取付ネジ	据付工事説明書
個数	1	6	1
形状		 （近似色 19 年版 日本塗料工業会 KN-93）	 本説明書 お客さまに必ず渡してください

ACXF60-31365
BE0418 - 50823

2. 取り付け前の準備

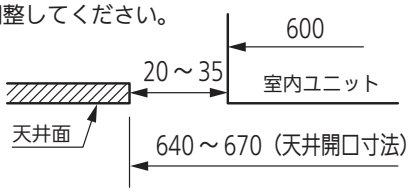
1．天井開口寸法が下記の範囲内か確認してください。
短手 × 長手：640 ～ 670×1,130 ～ 1,350 ㎜

2．ワイドパネルは、下図の位置でネジ止めしますので、取付ネジが締められない天井材（石膏ボード等）の場合は、木材または天井材固定用 M バー等（現地調達、ダブルバー推奨）を天井材裏面に取り付けてください。



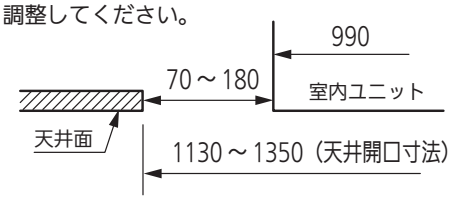
天井開口寸法　短手

短手方向で天井と室内ユニットの隙間が
20 ～ 35㎜ の範囲で左右同一寸法になるように
調整してください。

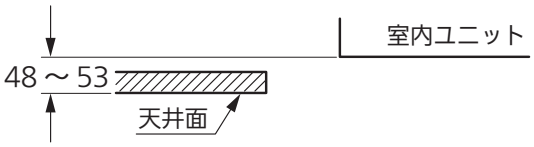


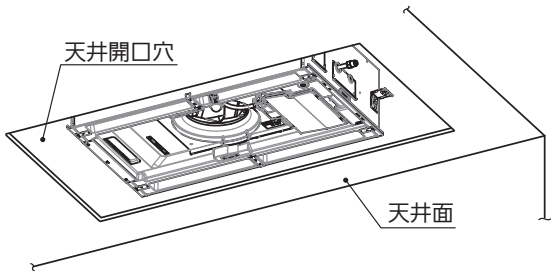
天井開口寸法　長手

長手方向で天井と室内ユニットの隙間が
70 ～ 180㎜ の範囲で左右同一寸法になるように
調整してください。



3．天井面の水平を確認してください。
※天井面が水平でない場合、ワイドパネルと天井面に多少の隙間が開く場合があります。
室内ユニットと天井面は、48 ～ 53㎜ の範囲に高さ設定してください。この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。（図は、寸法を見やすくするために、室内ユニットの位置を高く表示しています。）

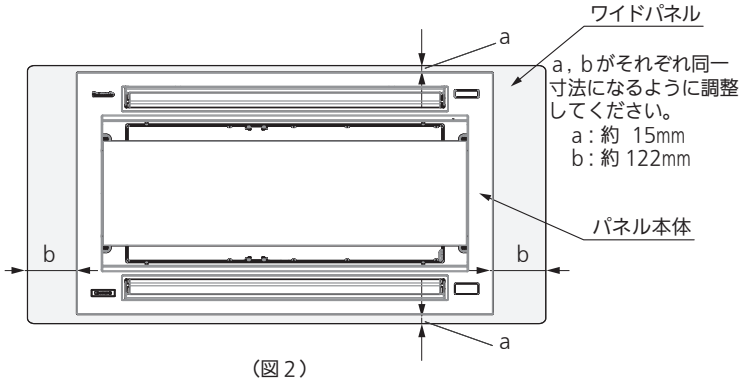




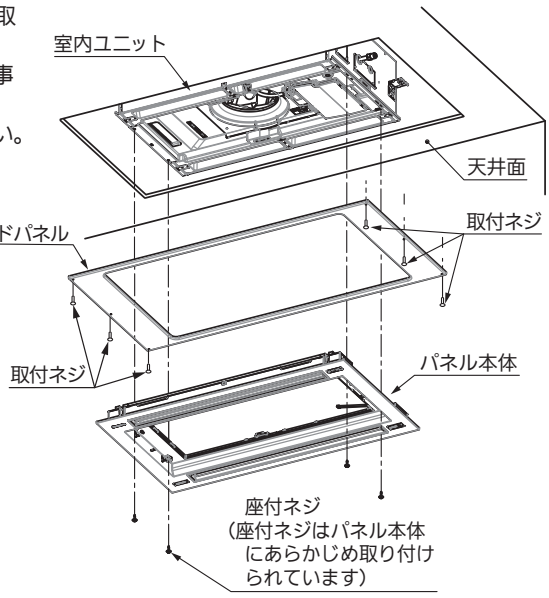
3. 取り付けかた

● パネル本体の上にワイドパネルを載せて、パネル本体を室内ユニットに取り付けます。（図 1）
※パネル本体の取り付けかたは、パネル本体に同梱されている据付工事説明書を参照してください。
※パネル本体とワイドパネルの位置合わせは（図 2）を参照してください。

● ワイドパネルを取付ネジ 6 本で天井面へ固定します。
※取付ネジはワイドパネルが変形しない程度に締め込んでください。
変形した場合は、取付ネジを少し緩めてください。



（図 2）



（図 1）

●高性能フィルター（CZ-80MFL6,CZ-160MFL6）

■仕様（比色法65%）

名　称											
品　番			CZ-80MFL6							CZ-160MFL6		
適用室内ユニット			22形 28形	36形	45形	56形	71形	80形	90形	112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	10.5	10.9	11.4	12.0	14.7	17.4	18.3	27.0	30.7	33.6
最終風量		m^3/min	8.1	8.4	8.7	9.2	11.1	13.0	13.9	19.9	22.4	24.4
初期圧損		Pa	8.4	8.9	9.5	10.2	13.7	17.6	18.9	18.2	21.9	25.0
最終圧損		Pa	17.2	18.1	19.6	21.5	31.0	42.6	45.4	51.6	66.3	78.4
フィルター寿命		時間	4000	3800	3700	3500	3400	3400	3200	3700	3500	3500
平均効率			比色法 65%（ダスト 11種）									
使用濾材			ポリオレフィン系帯電繊維（SEK抗菌、防カビ仕様）									
フィルター分割数			1枚組							2枚組		
質量		kg	1.6 (1.6 × 1)							2.2 (1.1 × 2)		
フィルター外形寸法	幅	mm	874							745×2		
	奥行	mm	356							316		
	厚み	mm	50							50		
適用フィルターチャンバー	品　番		CZ-80FDL6							CZ-160FDL6		
	質量	kg	2.7							5.6		
	厚み	mm	85							85		

●高性能フィルター（CZ-80HFL6,CZ-160HFL6）

■仕様（比色法90%）

名　称											
品　番			CZ-80HFL6							CZ-160HFL6		
適用室内ユニット			22形 28形	36形	45形	56形	71形	80形	90形	112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	9.9	10.3	10.7	11.4	14.1	17.0	17.9	26.1	29.9	32.8
最終風量		m^3/min	8.1	8.4	8.7	9.2	11.1	13.0	13.9	19.9	22.4	24.4
初期圧損		Pa	10.9	11.5	12.0	12.9	16.5	20.5	21.8	22.9	27.1	30.4
最終圧損		Pa	17.2	18.1	19.6	21.5	31.0	42.6	45.4	51.6	66.3	78.4
フィルター寿命		時間	2500	2400	2300	2200	2400	2000	2300	2600	2500	2500
平均効率			比色法90%（ダスト 11種）									
使用濾材			ポリオレフィン系帯電繊維（SEK抗菌、防カビ仕様）									
フィルター分割数			1枚組							2枚組		
質量		kg	1.1 (1.1 × 1)							2.2 (1.1 × 2)		
フィルター外形寸法	幅	mm	874							745×2		
	奥行	mm	356							316		
	厚み	mm	50							50		
適用フィルターチャンバー	品　番		CZ-80FDL6							CZ-160FDL6		
	質量	kg	2.7							5.6		
	厚み	mm	85							85		

注記

（1）高性能フィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は、保護装置が作動する恐れがあります。
　これを防止するため、フィルターチャンバー付属の据付工事説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行ってください。
　（据付工事説明書参照）

（2）高性能フィルター組み込みの場合は、ダクト接続できません。

（3）フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/㎥（ビル管理法規制値）で算出した値を示します。
　フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。

（4）高性能フィルターを組み込む場合は、別売品のフィルターチャンバーが必要ですのでご用意ください。

（5）天井パネルのエアフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。

（6）風量・圧損・寿命は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。

（7）この仕様はLU1形の値です。

●超ロングライフフィルター（CZ-80LFL6,CZ-160LFL6）

■仕様（重量法 40%）

名　称											
品　番			CZ-80LFL6							CZ-160LFL6		
適用室内ユニット			22形 28形	36形	45形	56形	71形	80形	90形	112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	10.7	11.2	11.7	12.1	14.5	17.3	19.1	27.1	32.0	34.9
最終風量		m^3/min	8.7	9.1	9.5	9.9	12.0	14.3	15.9	21.0	24.8	27.0
初期圧損		Pa	1.2	1.3	1.5	1.6	2.7	4.6	6.0	5.2	7.0	8.3
最終圧損		Pa	8.7	9.4	10.2	11.0	15.1	22.1	26.9	34.8	48.2	57.8
フィルター寿命		時間	8400	8000	7800	7600	8100	10400	12500	12500	12300	11500
平均効率			重量法 40% （ダスト JIS 15種）									
使用濾材			PPハニカム（防カビ仕様）									
フィルター分割数			1枚組							2枚組		
質量		kg	2.0 (2.0 × 1)							2.8 (1.4 × 2)		
フィルター外形寸法	幅	mm	874							745×2		
	奥行	mm	356							316		
	厚み	mm	50							50		
適用フィルターチャンバー	品　番		CZ-80FDL6							CZ-160FDL6		
	質量	kg	2.7							5.6		
	厚み	mm	85							85		

注記

（1）フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/㎥（ビル管理法規制値）で算出した値を示します。
　フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。

（2）超ロングライフフィルター組み込みの場合は、別売品のフィルターチャンバーが必要ですのでご用意ください。

（3）天井パネルのエアフィルターは、取り外してご使用ください。

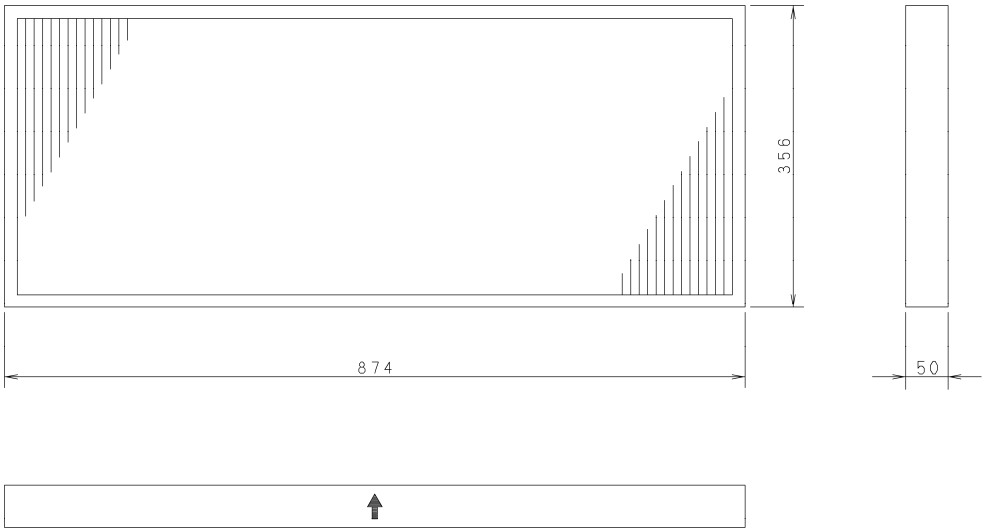
（4）風量・圧損・寿命は、急風時（出荷時HHタップ）の値を示します。

（5）ファンタップ変更は不要です。

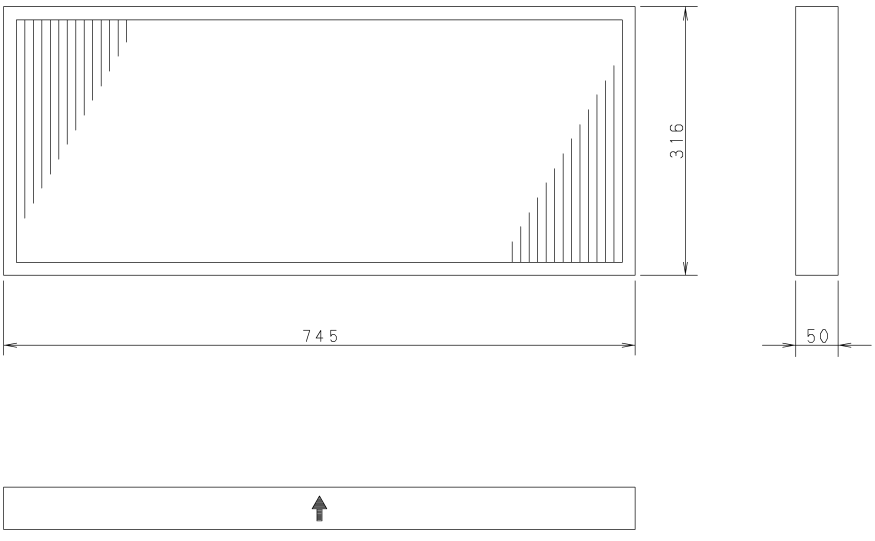
（6）この仕様はLU1形の値です。

●高性能フィルター、超ロングライフフィルター外形寸法図

高性能フィルター（比色法65%）	高性能フィルター（比色法90%）	超ロングライフフィルター（重量法40%）	個数
CZ-80MFL6	CZ-80HFL6	CZ-80LFL6	1

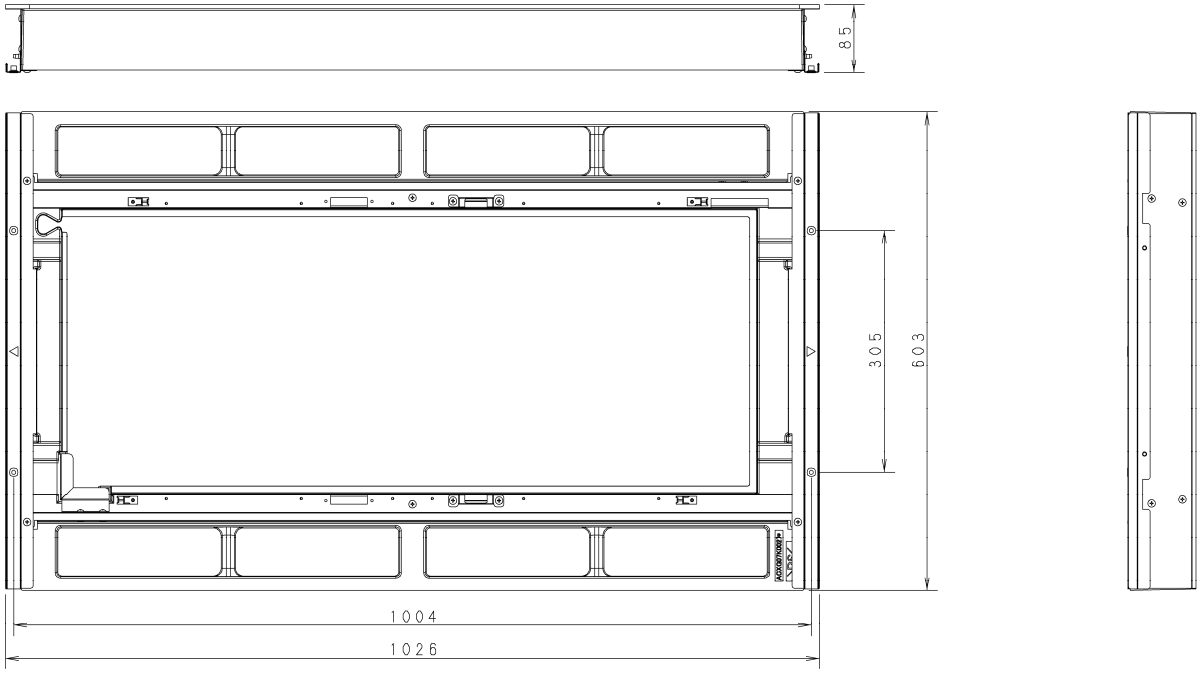


高性能フィルター（比色法65%）	高性能フィルター（比色法90%）	超ロングライフフィルター（重量法40%）	個数
CZ-160MFL6	CZ-160HFL6	CZ-160LFL6	1

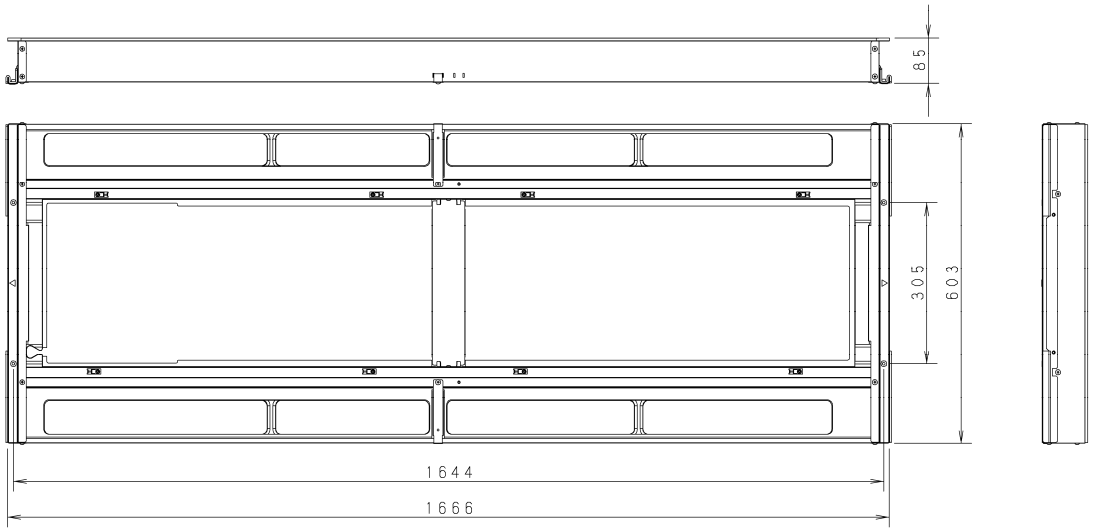


●フィルターチャンバー外形寸法図

フィルターチャンバー	フィルター使用個数
CZ-80FDL6	1

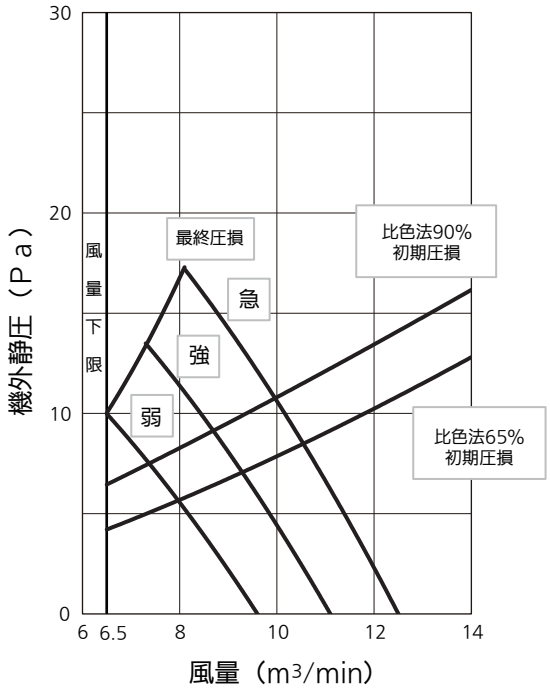


フィルターチャンバー	フィルター使用個数
CZ-160FDL6	1

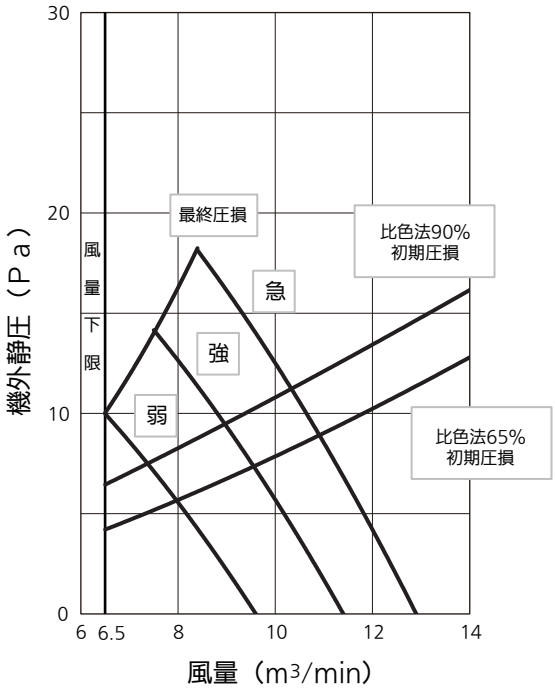


■風量－圧力損失特性線図〔高性能フィルター〕

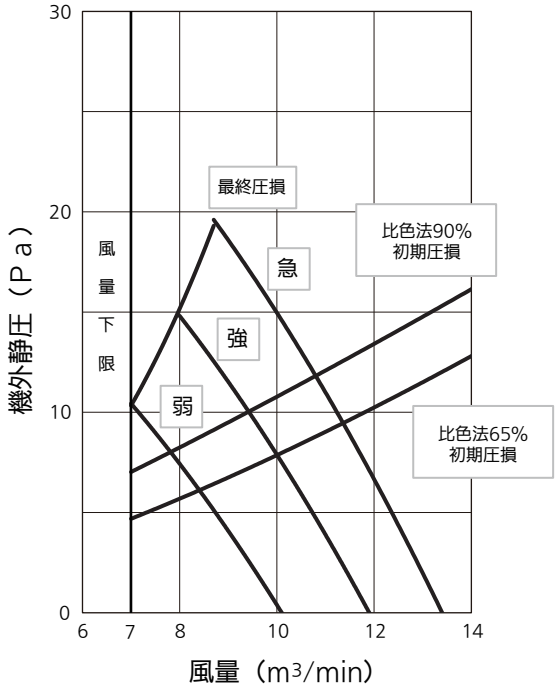
●22・28形



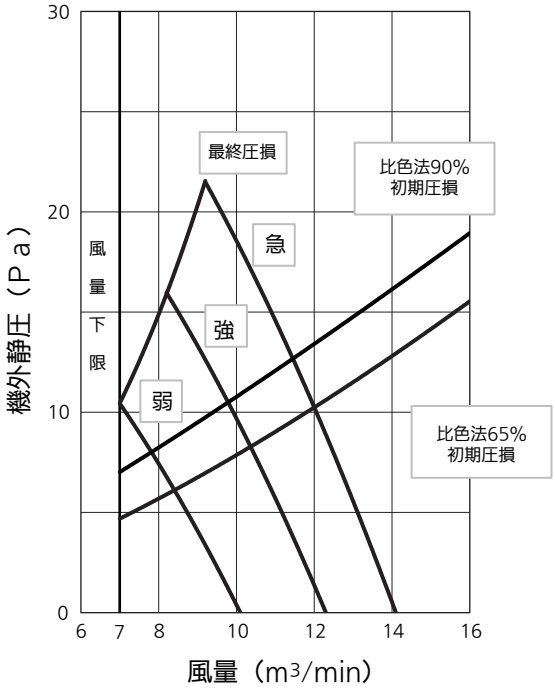
●36形



●45形

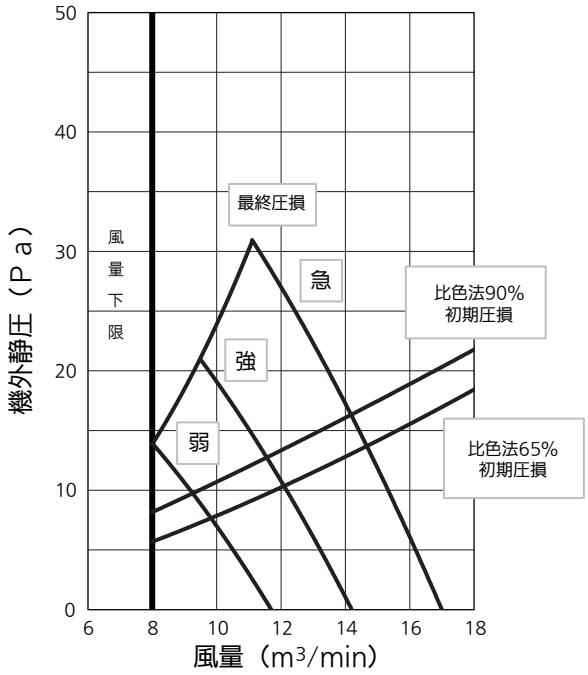


●56形

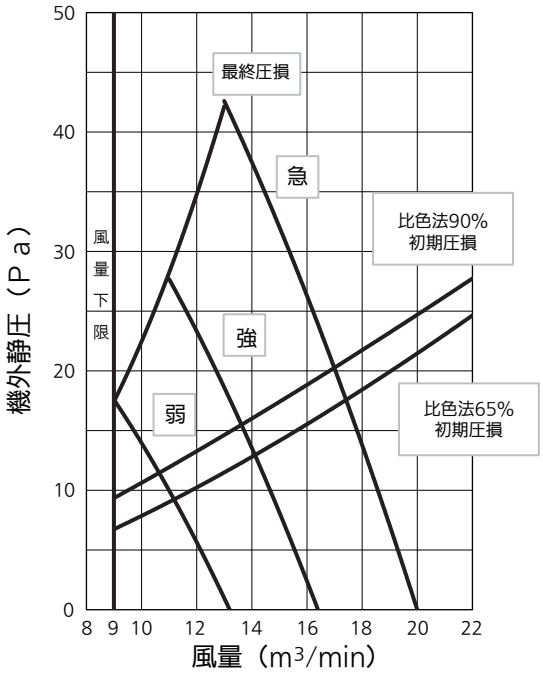


■風量－圧力損失特性線図〔高性能フィルター〕

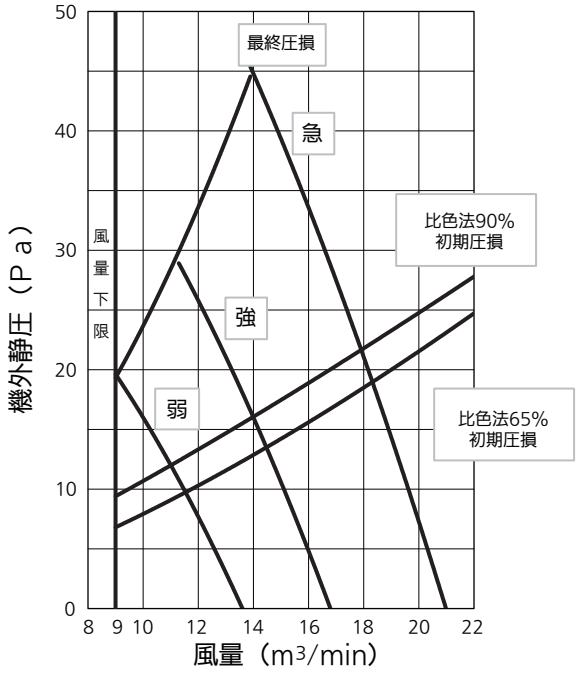
●71形



●80形

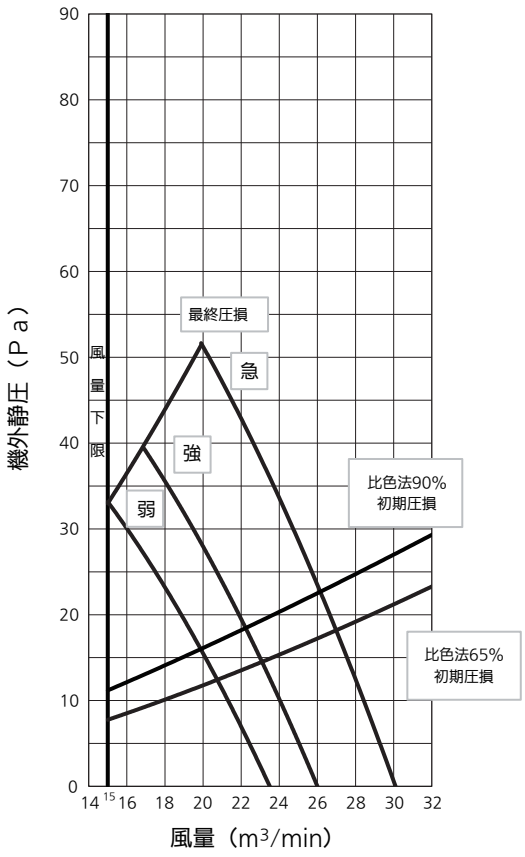


●90形

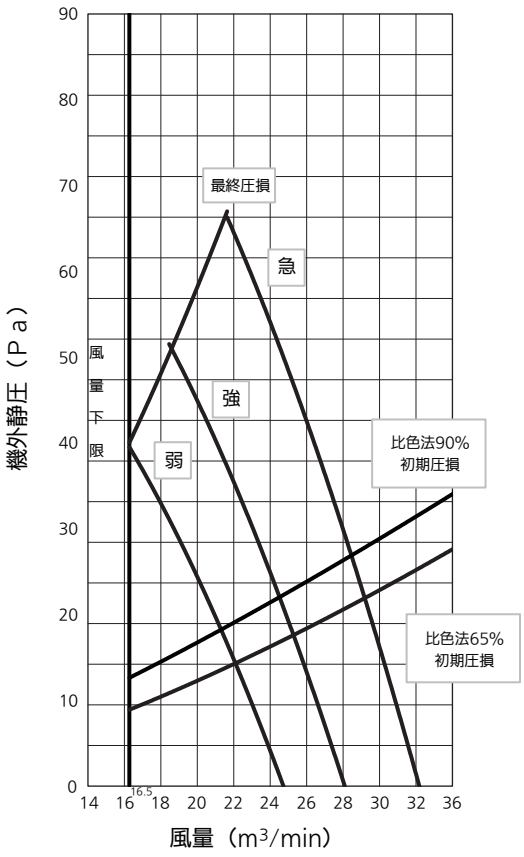


■風量－圧力損失特性線図〔高性能フィルター〕

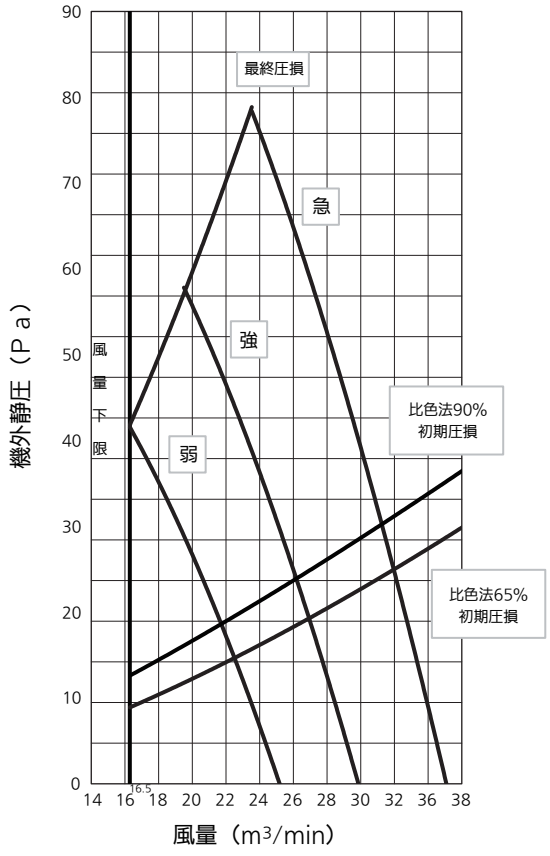
●112形



●140形

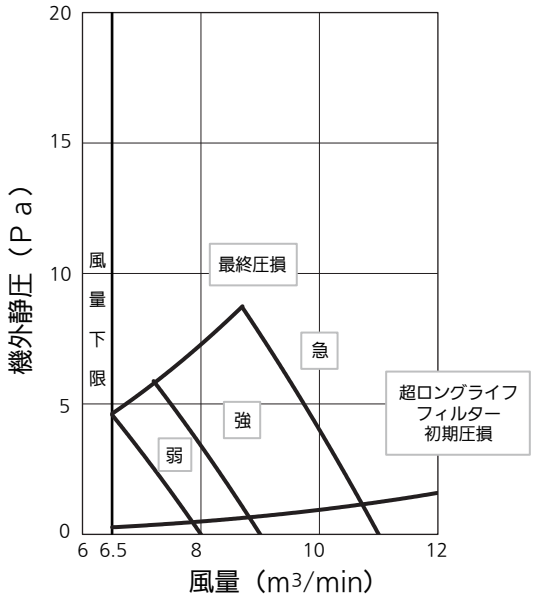


●160形

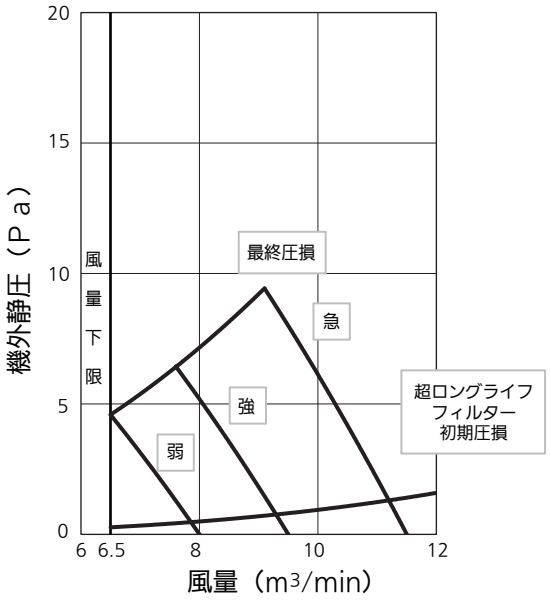


■風量－圧力損失特性線図〔超ロングライフフィルター〕

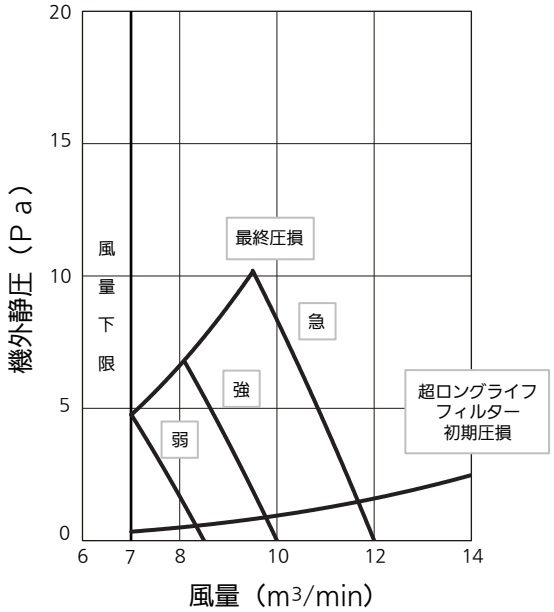
●22・28形



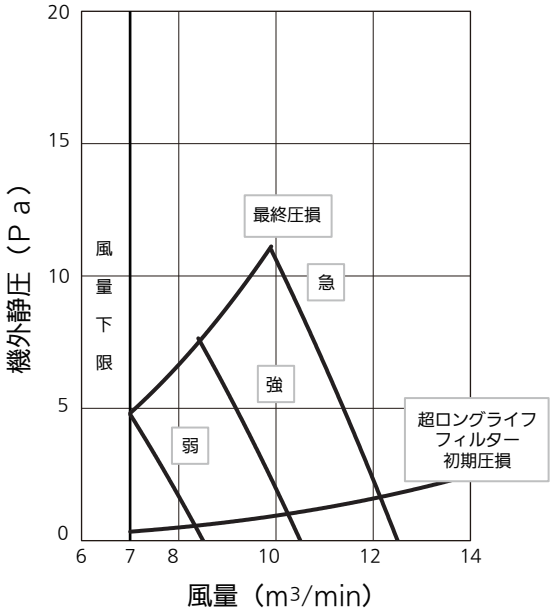
●36形



●45形

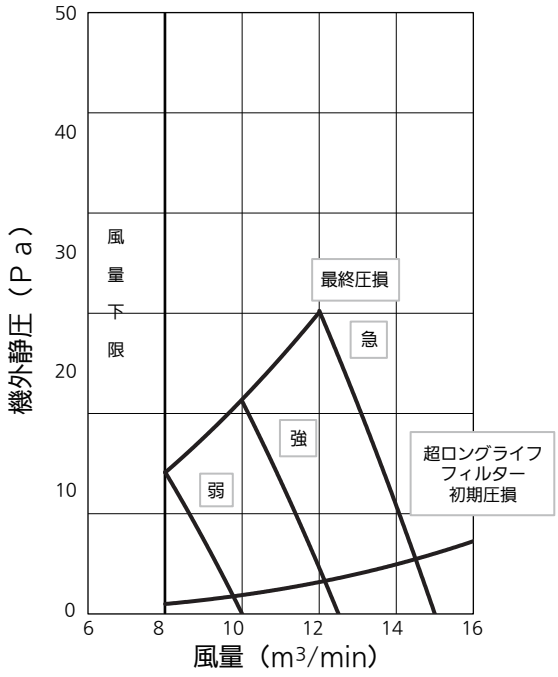


●56形

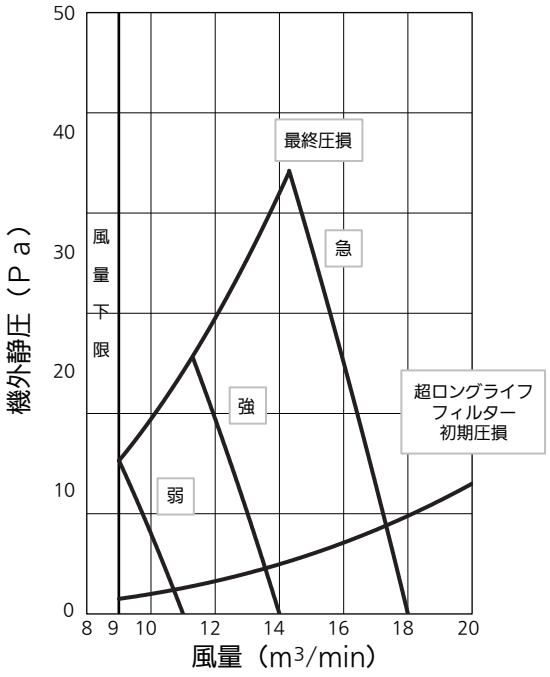


■風量－圧力損失特性線図〔超ロングライフフィルター〕

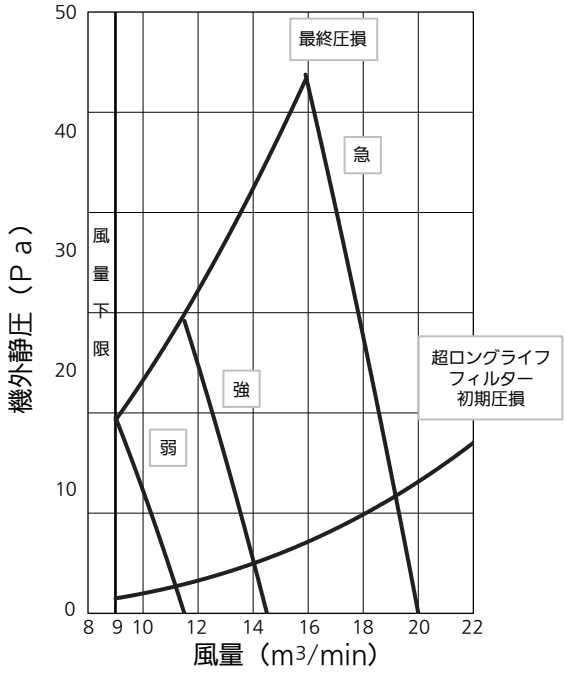
●71形



●80形

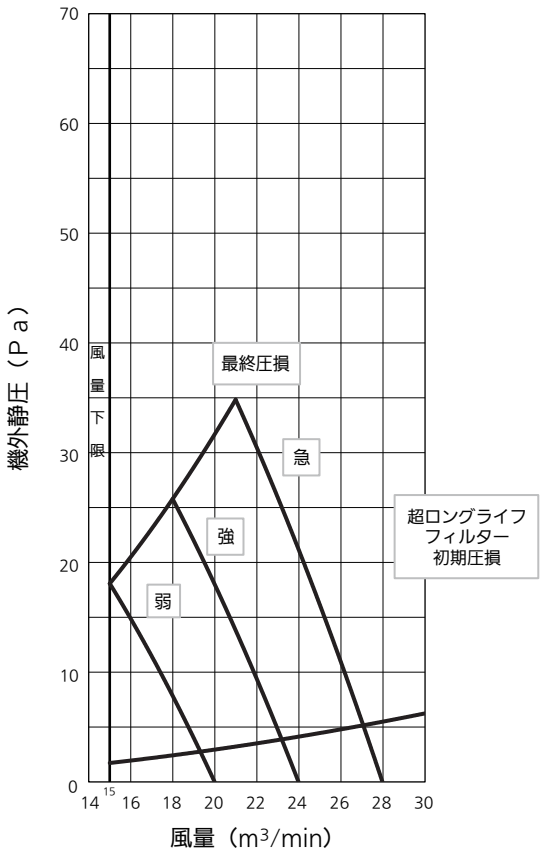


●90形

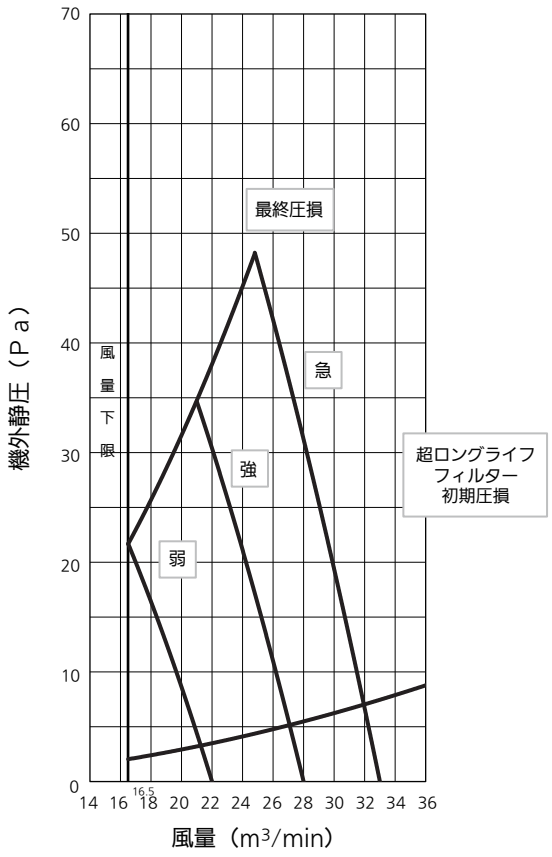


■風量－圧力損失特性線図〔超ロングライフフィルター〕

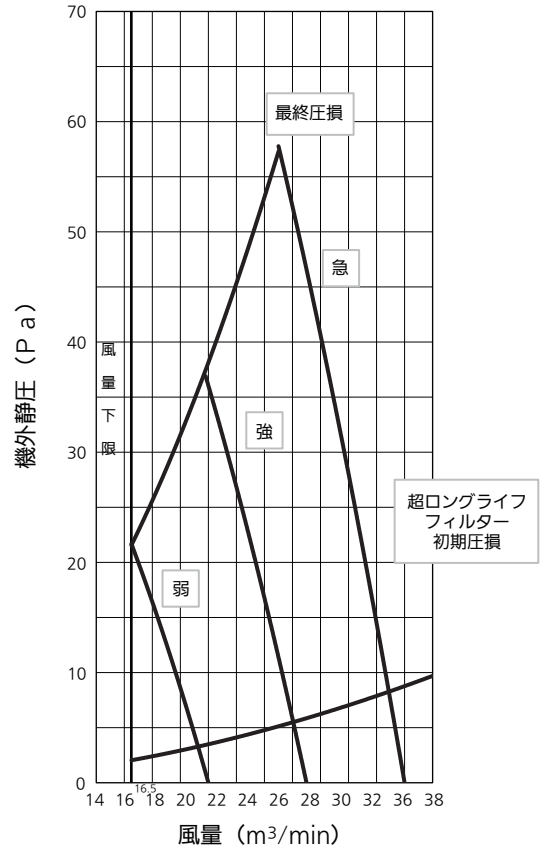
●112形



●140形



●160形



●高性能フィルター
■工事説明書

Panasonic

据付工事説明書

高性能フィルター

品番　CZ-80MFL6　CZ-160MFL6
　　CZ-80HFL6　CZ-160HFL6

適用室内ユニット　2方向天井カセット形　Lシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」、フィルターチャンバーに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意
・高性能フィルターをご使用になる場合は、別売品のフィルターチャンバーが必要です。
・高性能フィルターをご使用になる場合は、室内ユニットの設定変更が必要です。
・高性能フィルターは丸合フランジ（吹き出し用）との併用はできません。
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-31553
PA0518 - 30823

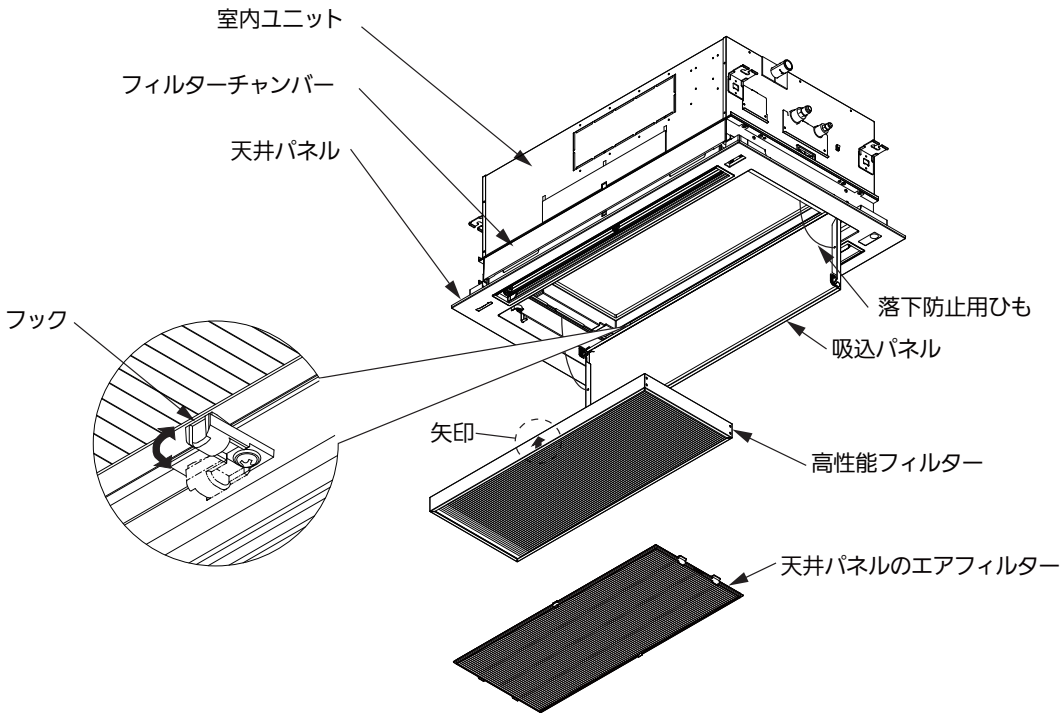
1 . 仕様

品　名 (型　番)	ろ　材	平均捕集効率 (比 色 法)	寿　命 ※1
高性能フィルター (　CZ-80MFL6　) (　CZ-160MFL6　)	ポリオレフィン繊維 SEKマーク認証	6 5%以上	約 1 年
高性能フィルター (　CZ-80HFL6　) (　CZ-160HFL6　)	ポリオレフィン繊維 SEKマーク認証	9 0%以上	約 9 か月

※1　ご使用の環境条件によって異なります。

2 . 取り付けかた

1．天井パネルの吸込パネルを持ち上げながら手前に引いて開きます。
2．天井パネルのエアフィルターを取りはずします。
　※取りはずしかたは室内ユニットの取扱説明書を参照してください。
3．高性能フィルターを、矢印方向（風の流れを示す）を室内ユニットに向けて差し込みます。
4．フィルターチャンバーのフックを回転させ、確実に固定します。
　※160形のフィルターは中央に金具があり、高性能フィルターは 2 個 1 組で使用します。
5．天井パネルのエアフィルターと吸込パネルを元に戻してください。



6．DCファンモータータップの設定変更を行ってください。
　変更の手順はフィルターチャンバーの据付工事説明書を参照してください。

●超ロングライフフィルター
■工事説明書

Panasonic

据付工事説明書

超ロングライフフィルター

品番　CZ-80LFL6　CZ-160LFL6

適用室内ユニット　2方向天井カセット形　Lシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」、フィルターチャンバーに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ **据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う**
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ **付属品は当社指定の部品を使用する**
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ **周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない**
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意
・超ロングライフフィルターをご使用になる場合は、別売品のフィルターチャンバーが必要です。
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

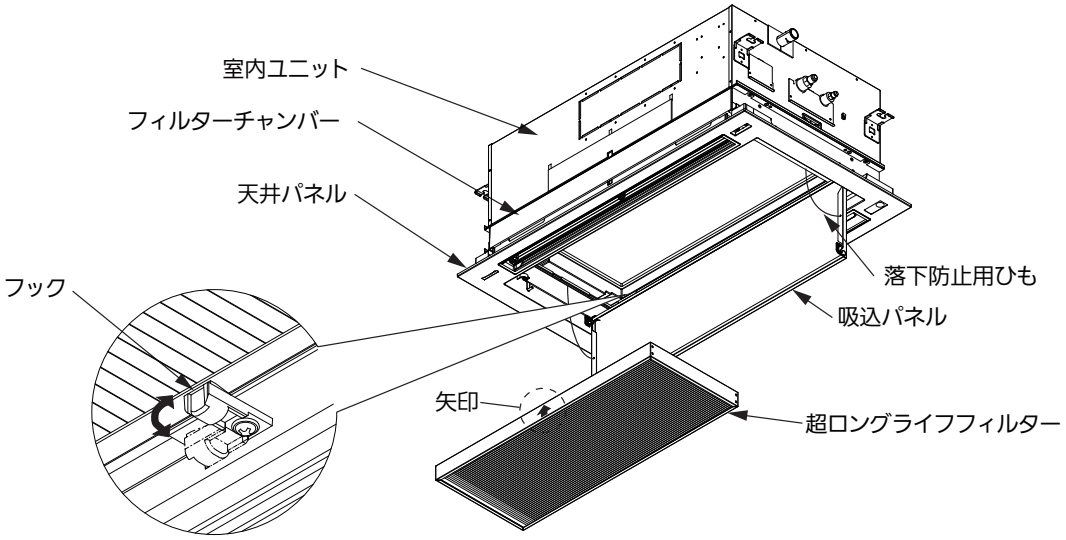
ACXF60-31543
PA0518 - 30823

1. 仕様

品　名 (型　番)	ろ　　材	平均捕集効率 (質 量 法)
超ロングライフフィルター (　**CZ-80LFL6**　) (　**CZ-160LFL6**　)	ポリプロピレン繊維	４０%

2. 取り付けかた

1．天井パネルの吸込パネルを持ち上げながら手前に引いて開きます。
2．天井パネルのエアフィルターを取りはずします。
　※取りはずしかたは、室内ユニットの取扱説明書を参照してください。
3．超ロングライフフィルターを、矢印方向（風の流れを示す）を室内ユニットに向けて差し込みます。
4．フィルターチャンバーのフックを回転させ、確実に固定します。
　※160形のフィルターは中央に金具があり、超ロングライフフィルターは２個1組で使用します。
5．天井パネルの吸込パネルを元に戻してください。
　※天井パネルのエアフィルターは取りはずしたままご使用ください。



6．フィルターサイン点灯時間の設定変更を行ってください。
　変更の手順はフィルターチャンバーの据付工事説明書を参照してください。

3. お手入れのしかた

・リモコンにフィルターサインが表示されたときは、超ロングライフフィルターのお手入れ時期です。
　超ロングライフフィルターのお手入れ後、フィルターサインをリセットしてください。
　※ほこりや油汚れの多い環境では、表示に関係なく、こまめにお手入れをしてください。
　※フィルターサインのリセット方法は室内ユニットの取扱説明書を参照してください。

・お手入れは、ほこりを掃除機で吸い取るか、水洗いしてください。
　水洗い後は、直射日光を避けて、よく乾燥させてください。

・破損やろ材の破れが生じたときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

●フィルターチャンバー
■工事説明書

Panasonic

据付工事説明書

フィルターチャンバー

品番　CZ-80FDL6　CZ-160FDL6

適用室内ユニット　2方向天井カセット形　Lシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

品番	CZ-80FDL6	CZ-160FDL6
適合機種	22～90形	112～160形

●据付工事の前に室内ユニットおよびパネル本体に同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠　してはいけない内容（禁止事項）です。

❗⏚　実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗ ■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、ケガの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）

⚠ 注意

⃠ ■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

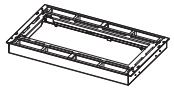
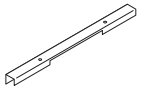
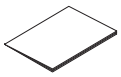
■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意
・フィルターチャンバーは、室内ユニットを据え付ける前に室内ユニットに取り付けてください。
・据え付け時、フィルターチャンバーの側面に衝撃を与えると破損することがありますので、取扱いには十分注意してください。
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-31594
BE0518 - 40823

1 . 付属品

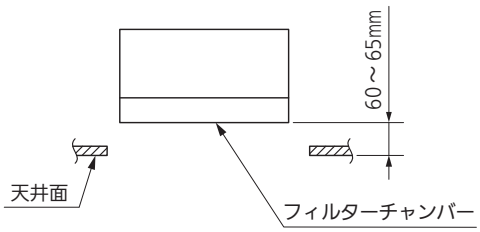
付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

品名	フィルターチャンバー本体	パネル取付金具	取付ネジ A	取付ネジ B	据付工事説明書
個数	1	2	4	4	1
形状			M5×16	M5×10	 本説明書 お客さまに必ず渡してください

2 . 取り付けかた

●ご注意

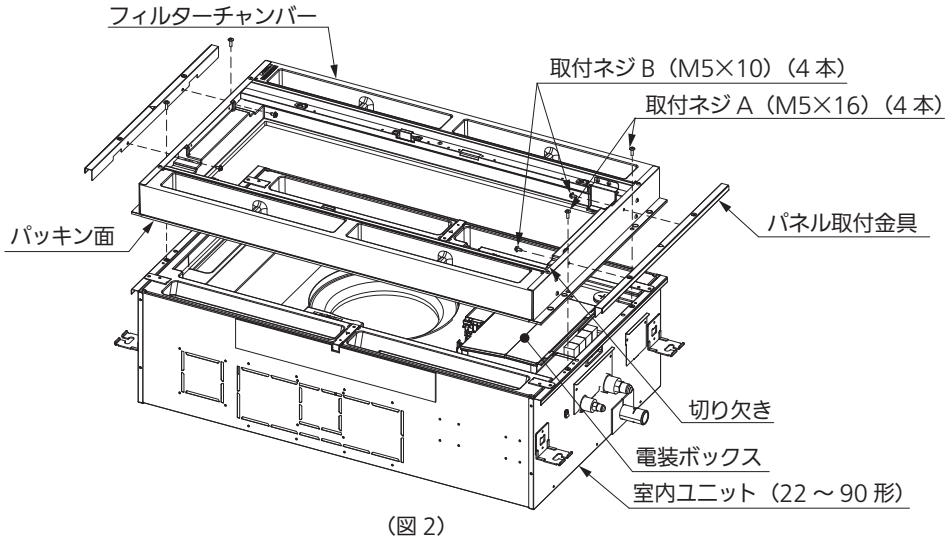
・フィルターチャンバー下面と天井面との寸法は、60 ～ 65㎜になるように室内ユニットの吊ボルトで高さ調整してください。（図 1）



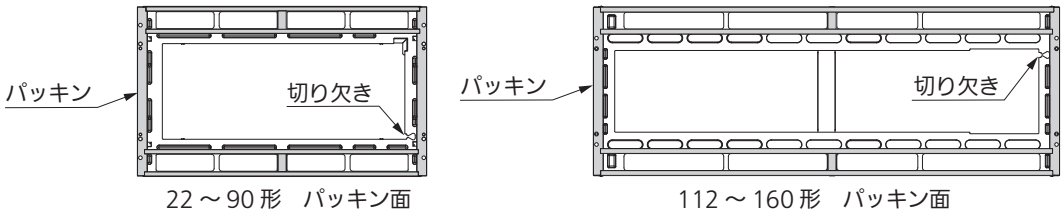
（図 1）

①フィルターチャンバーの取り付けかた（図 2）

・フィルターチャンバーのパッキン面を室内ユニットに合わせます。
　このとき、パネル本体のリード線を通す切り欠きは電装ボックス側にします。（図 2 ・ 3）
・取付ネジ A（M5×16）（4 本）で室内ユニットに固定します。
・次に付属のパネル取付金具を取付ネジ B（M5×10）（4 本）でチャンバーの内側面から固定します。



（図 2）

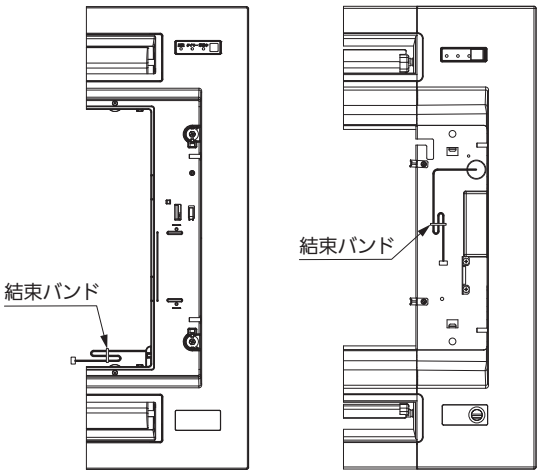


（図 3）

2. 取り付けかた（つづき）

②パネル本体の取り付けかた

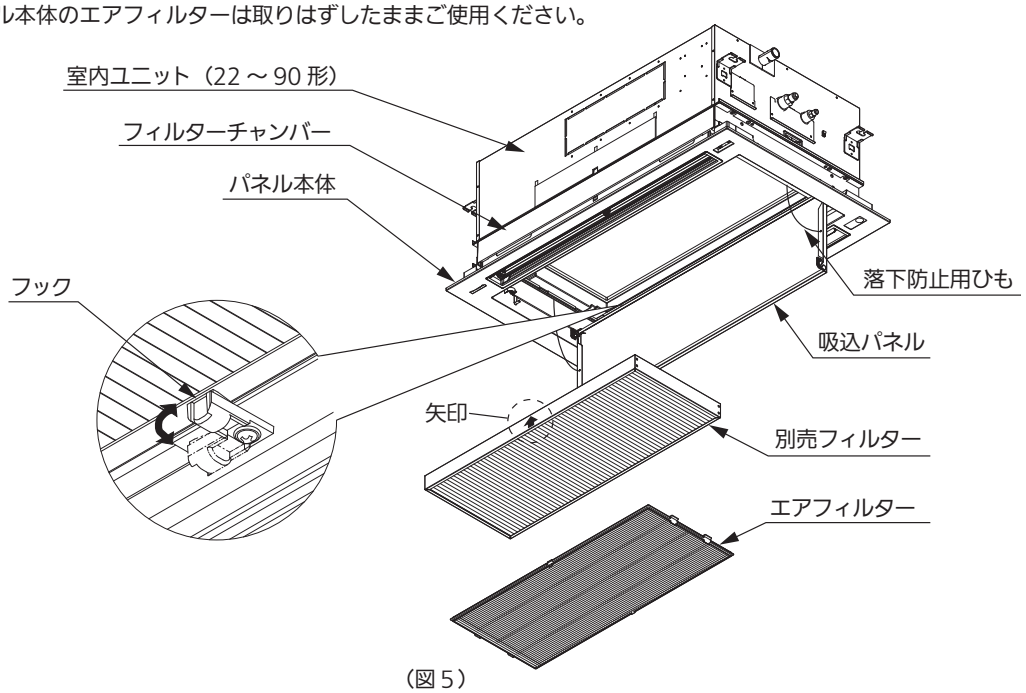
・パネル本体の配線コネクタは、束ねてある結束バンドをカットしてから取り付けを行ってください。（図 4）
・室内ユニット（フィルターチャンバー付き）にパネル本体を取り付けます。
　※取り付けかたは、各パネルに同梱されている据付工事説明書を参照してください。
・フィルターチャンバーの切り欠き（図 3）から配線を室内ユニットへと、たるみ、かみこみのないように引き回し、コネクタを接続してください。
　※切り欠きを通した後の引き回しかたは、各パネルに同梱されている据付工事説明書を参照してください。
　※各パネルに別売品のワイヤレスリモコン受信部を使用する場合、受信部と操作部の配線の接続についてはワイヤレスリモコンの説明書をご確認ください。
　操作部から室内ユニットへの配線については、フィルターチャンバーの切り欠き（図 3）から配線を室内ユニットへと、たるみ、かみこみのないように引き回しリモコン端子板に接続してください。



（図 4）

③別売フィルター（高性能フィルター・超ロングライフフィルター・ロングライフフィルター）の取り付けかた（図 5）

・パネル本体の吸込パネルを持ち上げながら手前に引いて開きます。
・パネル本体のエアフィルターを取りはずします。
　※取りはずしかたは室内ユニットの取扱説明書を参照してください。
・別売フィルターを、矢印方向（風の流れを示す）を室内ユニットに向けて差し込みます。
・フィルターチャンバーのフックを回転させ、確実に固定します。
　※112 ～ 160 形のフィルターチャンバーには中央に金具があり、別売フィルターは 2 個 1 組で使用します。
・高性能フィルターを使用する場合は、パネル本体のエアフィルターと吸込パネルを元に戻してください。
・超ロングライフフィルター / ロングライフフィルターを使用する場合は、パネル本体の吸込パネルを元に戻してください。
　※パネル本体のエアフィルターは取りはずしたままご使用ください。



（図 5）

④各種設定の変更

・4 ページ「3. 各種設定の変更」に従って、室内コントロール基板（ディップスイッチ）またはワイヤードリモコンの設定を行ってください。
　※高性能フィルターを使用する場合は、「ＤＣファンモータータップの設定変更」を行ってください。
　※超ロングライフフィルター / ロングライフフィルターを使用する場合は、「フィルターサイン点灯時間の設定変更」を行ってください。

3. 各種設定の変更

1．DCファンモータータップの設定変更

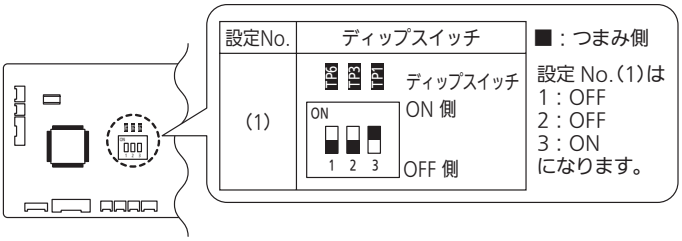
ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。(表 1)
変更を行わない場合、風量減少により冷房時吹出温度が低下、露付きの原因となります。
ファン回転数を設定する方法は、(1) 基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合 (2) / (3) ワイヤードリモコンで設定があります。どちらかの方法で設定してください。※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1　DCファンモータータップ設定表

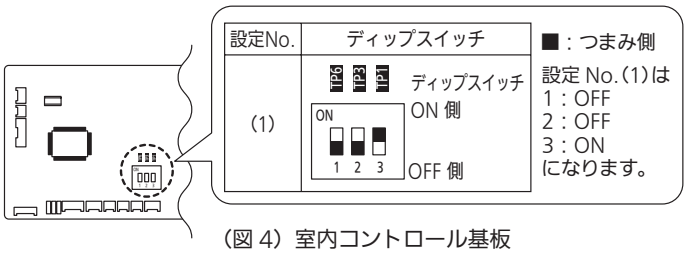
設定 No.	項目コード **5D/5d** の設定データ	使用用途／別売品名称 ※1
(出荷設定)	0000	標準
		超ロングライフフィルター
		ロングライフフィルター
(1)	0001	高天井設定 1 (標準、エコナビパネル時)
		高性能フィルター (比色法 65%)
		高性能フィルター (比色法 90%)
		しゃ風材・吹出ダクト ※2

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組み合わせ可能な別売品を確認し選定してください。
※2. しゃ風材と吹出ダクトは、必ず併用してください。

オフィス・店舗用エアコン (PAC)



ビル用マルチエアコン (VRF) ／ガスヒートポンプエアコン (GHP)



(図 4) 室内コントロール基板

(1) 基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

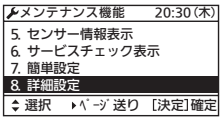
<手順>必ず配線用しゃ断器 (ブレーカー) を切ってください。

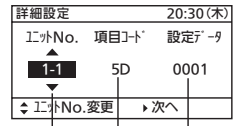
① ご使用の用途、別売品に応じた「設定 No.」を表 1 で確認してください。
② 電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。(図 4)
③ 表 1 で確認した設定 No に合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。

(2) ワイヤードリモコンで設定<CZ-10RT4 シリーズの場合>

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード 5D の設定データ」を表 1 で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① 戻る + 決定 + ▶ ボタンを同時に 4 秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、◀ / ▶ ボタンでページが切り替わります。
「8. 詳細設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNo を選択してください。
③ ◀ / ▶ ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
④ ◀ / ▶ ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表 1 で確認した値に変更し、決定 ボタンを押してください。
⑤ ◀ / ▶ ボタンでユニットNo を選択後、戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面」が表示されます。
「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。



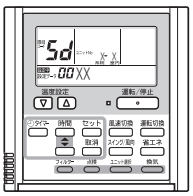


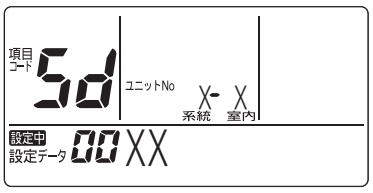
ユニット No.　項目コード　設定データ

(3) ワイヤードリモコンで設定<CZ-10RT3 の場合>

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード 5 d の設定データ」を表 1 で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

①点検＋セット＋取消ボタンを同時に 4 秒間以上押します。
②ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニット No を順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③ 温度設定▽／△ボタンで項目コード「5 d」を指定します。
④ 時間▼／▲ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表 1 のようになっています。
⑤セット ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればＯＫ)
⑥点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ
⑦点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。





2．フィルターサイン点灯時間の設定変更

ワイヤードリモコンを使用する場合は、エアフィルターのお手入れ時期になるとリモコン表示部にフィルターサインが表示されます。
フィルターサインを適切に表示するために、超ロングライフフィルター / ロングライフフィルターを使用する場合は、
「項目コード **01** の設定データ」を「0002 (出荷設定値)」から「0004」に変更してください。
手順については「1.DCファンモータータップの設定変更 (2) / (3) ワイヤードリモコンで設定」を参照してください。

●自然気化式加湿器

■仕様

名　称											
品　番	CZ-07ASL6								CZ-14ASL6		
適用室内ユニット	22形	28形	36形	45形	56形	71形	80形	90形	112形	140形	160形
加湿性能 (kg/h)　※1	0.56	0.56	0.57	0.58	0.59	0.64	0.70	0.74	1.29	1.40	1.44
有効加湿量 (kg/h)　※1	0.44	0.47	0.51	0.54	0.61	0.73	0.75	0.78	1.26	1.43	1.57
外形寸法 H×W×L(mm)	207×161×450								210×161×608		
質量 水(有)(kg)	3.0								3.6		
質量 水(無)(kg)	2.5								3.0		
電源仕様	単相200V±10%　50/60Hz										
給水圧力	0.049～0.49MPa										
給水圧力(ポンプ使用時)	0.049～0.29MPa										
使用水および水温	上水または上水同等、10～40℃										
周囲温湿度	5～40℃、90%RH以下										

・この仕様はLU1形室内ユニットに組み込んだ場合の値です。

・加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。
　公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン(型式認可品：現地調達)をご使用ください。

・加湿性能は加湿器を室内ユニットに組み込んだ状態で、加湿器入口空気温度DB45℃、
　相対湿度15%のときの値を示します。

・有効加湿量は加湿器を室内ユニットに組み込んだ状態で、下記の条件で運転した場合の加湿量です。
　　温度条件 室温20℃DB、　外気温7℃DB・6℃WB
　　運転条件 定格風量、フラップ位置F5、定格能力運転時

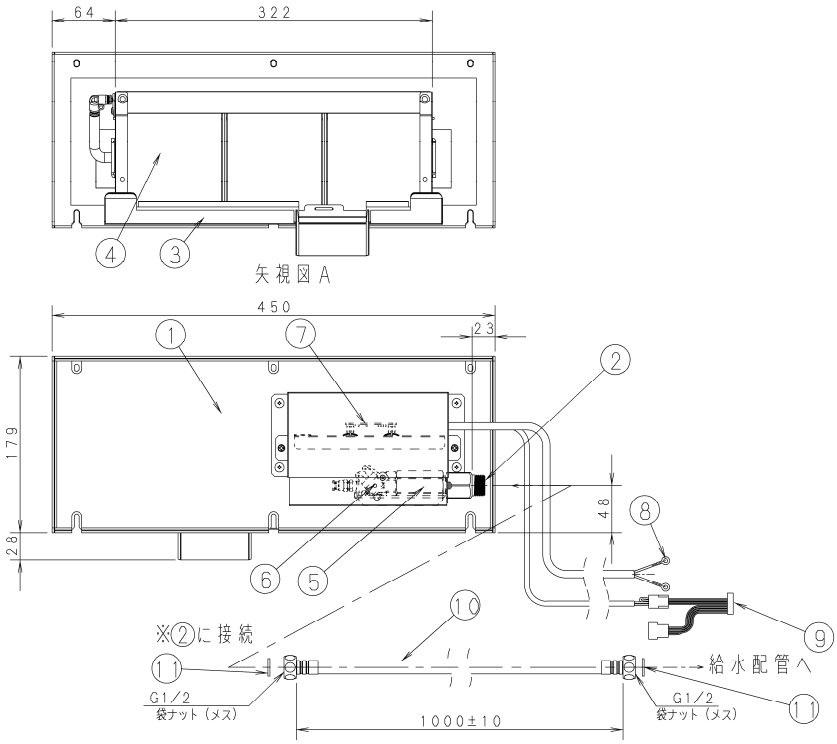
風量設定やフラップ角度、ユニット運転状態により加湿量が低くなる場合もあります。

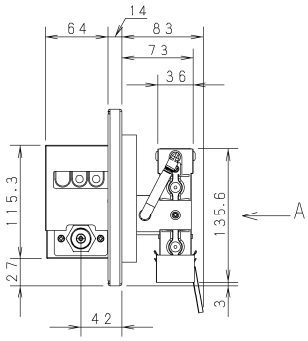
※1 加湿能力±20%

●自然気化式加湿器外形寸法図

■CZ-07ASL6〔適用機種：22 ～ 90形〕

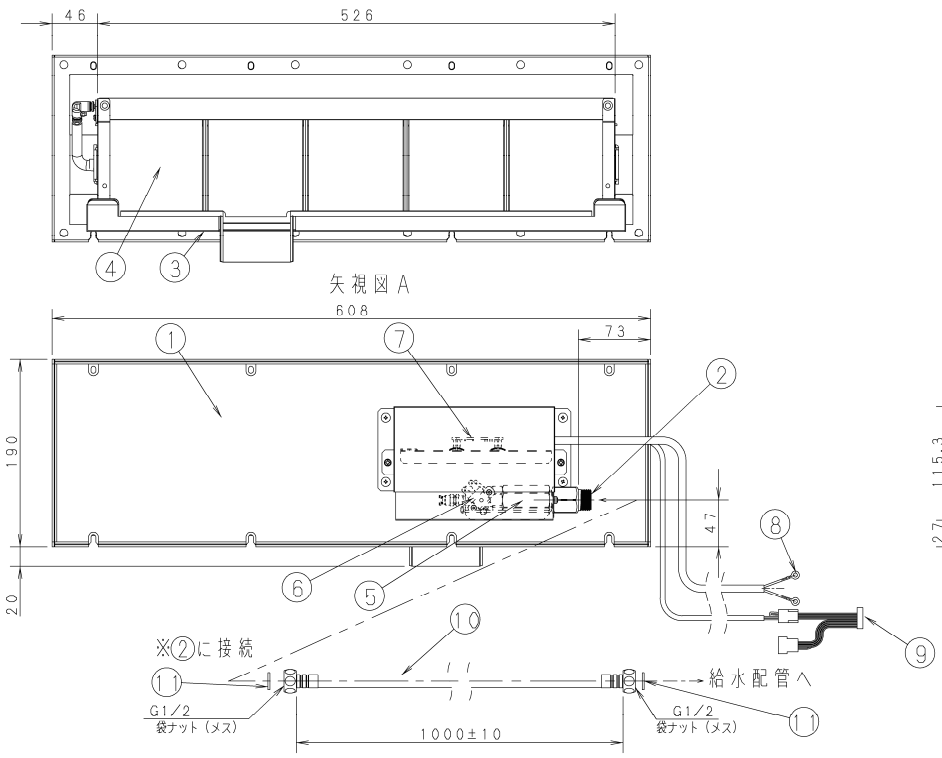
①	取付板
②	給水口（ストレーナー付）
③	ドレンパン
④	加湿エレメント
⑤	減圧弁
⑥	電磁弁
⑦	制御基板
⑧	電源線
⑨	信号線
⑩	給水ホース（付属品）
⑪	止水用パッキン（付属品）

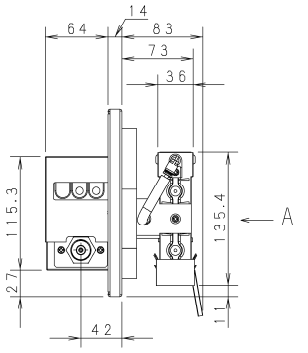




■CZ-14ASL6〔適用機種：112 ～ 160形〕

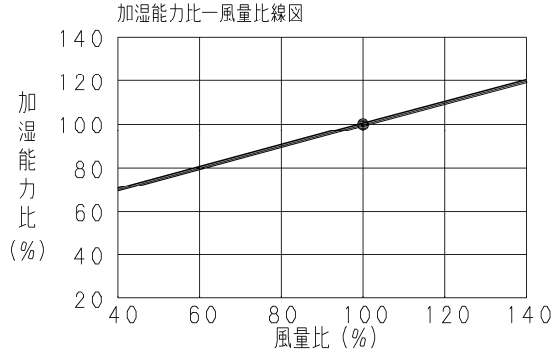
①	取付板
②	給水口（ストレーナー付）
③	ドレンパン
④	加湿エレメント
⑤	減圧弁
⑥	電磁弁
⑦	制御基板
⑧	電源線
⑨	信号線
⑩	給水ホース（付属品）
⑪	止水用パッキン（付属品）

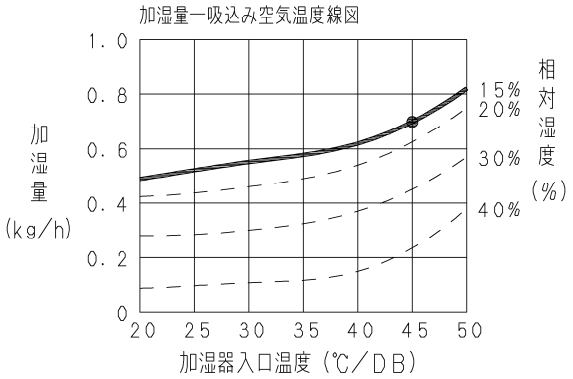




線図：《 ① 》

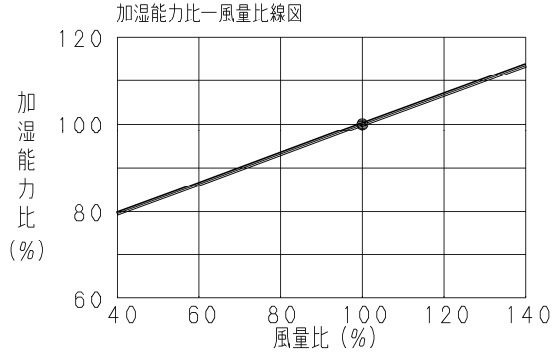
CZ-07ASL6
(基準風量：18m³/min)

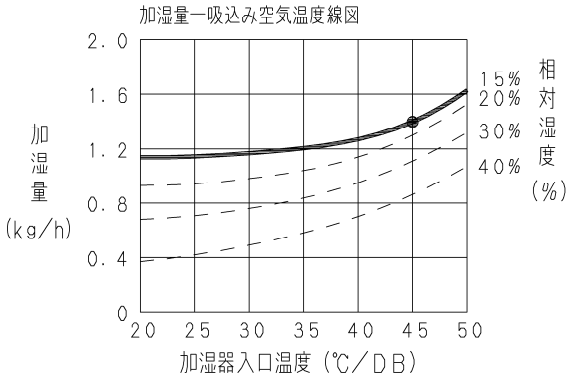




線図：《 ② 》

CZ-14ASL6
(基準風量：33m³/min)





注記
1）加湿能力条件は、加湿器通過　温湿度がDB45°C，RH15%の場合の値を示します。
2）風量比（%）=（任意風量／基準風量）X100

加湿器品番		CZ-07ASL6							CZ-14ASL6		
適用室内ユニット		22,28形	36形	45形	56形	71形	80形	90形	112形	140形	160形
室内ユニット風量（急風）	m³/min	11.0	11.5	12.0	12.5	15.0	18.0	20.0	28.0	33.0	36.0
加湿性能	kg/h	0.56	0.57	0.58	0.59	0.64	0.70	0.74	1.29	1.40	1.44
適用線図No.		①							②		

■取扱説明書

Panasonic

取扱説明書

自然気化式加湿器

品番　CZ-07ASL6　CZ-14ASL6

適用室内ユニット　2方向天井カセット形　Lシリーズ ※
（※ 対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください）

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
● 室内ユニットに付属の取扱説明書もあわせてお読みください。
● ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
● この取扱説明書は室内ユニットに付属の取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

据え付けや移動・修理は
必ず守る
● 必ず販売店またはサービス会社や専門業者に依頼する。
（水漏れや感電・火災の原因）

改造・改修は絶対にしない
禁止
（修理に不備があると、水漏れや感電・火災の原因）
修理は必ず販売店またはサービス会社にご相談ください。

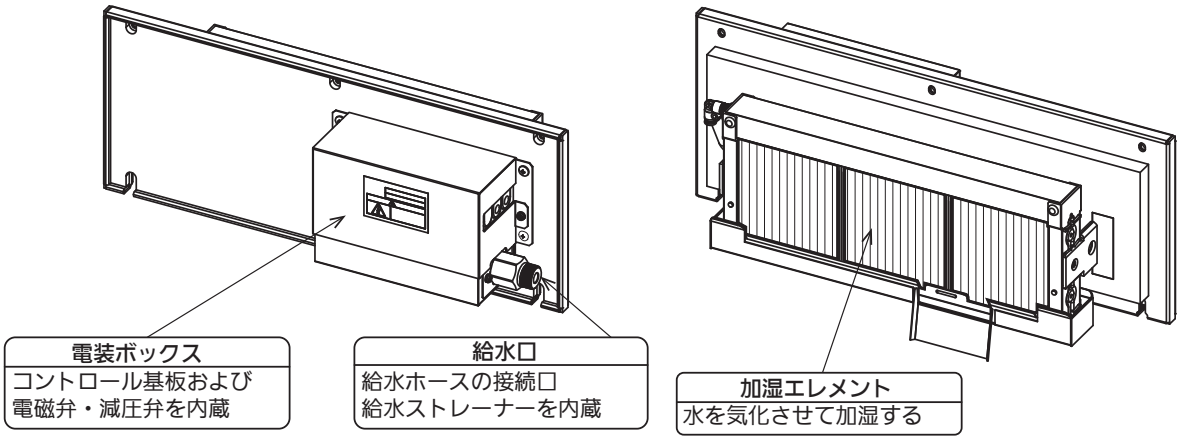
⚠ 注意

お手入れ時は
必ず守る
● 必ず運転（内部クリーン運転または内部乾燥運転を含む）を停止し、漏電しゃ断器を切る。
（感電や、ファンが高速回転しているためけがの原因）

1. 使用上のお願い

・シーズンオフなど長期間加湿（暖房）運転をしない場合は、給水用のサービスバルブを閉めてください。
・加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、給水ホース内を新しい水に置き換えて給水確認を行ってから使用してください。
そのまま給水すると、汚れや異物による能力不足、加湿エレメントから異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。
・シーズンオフ中に加湿エレメントに付着した汚れを取るため、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に必ず保守点検を行ってください。
・室内ユニットのフィルターが汚れていると、加湿能力や加湿器の寿命に悪影響を与える原因になります。
フィルターは定期的に点検を行い、汚れている場合は清掃してください。

2. 各部の名前



3. 運転のしかた

加湿器は室内ユニットに接続されており、エアコンを暖房運転したときに自動で加湿運転をします。
エアコンの運転操作方法については室内ユニットに付属の取扱説明書に従ってください。

4. 保守点検

保守点検は、お客様自身で行わず、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

長く安心してご使用していただくために、サービス技術者による定期的な保守点検を行ってください。
その際、この取扱説明書、据付工事説明書をサービス技術者に渡してください。

1．点検周期および保全周期一覧

●本表は主要部品を示します。
また、この保全周期（交換周期）は、製品を長く安心してご使用していただくために、保全行為（交換行為）が生じるまでのめやす期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。

●保全周期（交換周期）は保証期間を示しているものではありません。保守点検実施の場合でも、予期せぬ故障が発生することがあります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

主要部品名	点検周期	保全周期（交換周期）	主要部品名	点検周期	保全周期（交換周期）
加湿エレメント	1年	3年 ※1 ※2	電磁弁	1年	20,000時間
給水ストレーナー		―	ヒューズ		―
電子基板類		25,000時間			

※1．建築物における衛生的環境の確保に関する法律（建築物衛生法）の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。

※2．加湿エレメント交換の際は、下表を参照して、交換用加湿エレメントをご注文ください。

自然気化式加湿器　品番	CZ-07ASL6	CZ-14ASL6
交換用加湿エレメント　品番	CZ-07AL6	CZ-14AL6
使用数	1個	1個

＊室内ユニットに付属の取扱説明書に記載されている「保証とアフターサービス」もあわせてご覧ください。

2．作業前の準備

●作業は安全に留意して行ってください。特に板金のエッジ部分や熱交換器の温度等には十分に注意してください。
加湿器の据付説明書もあわせてご覧ください。

●作業にかかる前に必ず運転を停止し、漏電しゃ断器を切り、給水用のサービスバルブを閉めてください。

●給水ホース・加湿器内の残水が出ることがありますので、バケツやウエスなどを準備してください。

●給水ホースの脱着の際に、パッキンを必ず新しいものに交換してください。
パッキンを交換しないと漏水の原因になります。パッキンは市販の水道用19㎜、厚さ2㎜のノンアスベストパッキンまたは、サービスパーツ（CV6233336015）をご使用ください。

3．作業手順

1）加湿エレメントの洗浄（1回/年：シーズンイン時）

①加湿器給水口に巻いてある断熱材をはずしてください。

②袋ナットをダブルスパナでゆるめ、給水ホースを取りはずしてください。（図1）
※給水ホース・加湿器内の残水が出てくることがありますので、バケツやウエスなどで受けてください。

③加湿器給水口に挿入されている給水ストレーナーを取りはずしてください。
※給水ストレーナーを紛失しないようご注意ください。（図1）

④加湿器本体を固定している長ナット（M4×15）とキャップ(CZ-07ASL6:各6個、CZ-14ASL6:各8個）をはずし、電気配線を引っ張らないように加湿器を室内ユニットから取り出してください。（図2）

⑤固定ネジ（2本）とジョイントをはずして加湿エレメントを取りはずしてください。（図3）

⑥加湿エレメントが十分に入る大きさの容器を用意し、容器に水またはぬるま湯を入れたうえで市販の中性洗剤を溶かしてください。（図4）

⑦洗浄液に加湿エレメントを浸し、柔らかいブラシ等で加湿部の表面の汚れを取ってください。（図4）

⑧十分に水洗いをした後、水気を拭き取ったうえで、取りはずしと逆の手順で加湿エレメントを組み付け、加湿器を室内ユニットに取り付けてください。
※下記の2）給水ストレーナーの清掃もあわせて行ってください。

⑨給水ホースを加湿器給水口に接続してください。
※給水ストレーナーを元に戻し、パッキンを新しいものに変えてください。
※袋ナットをダブルスパナで締め付けてください。（締付トルクの目安15.0N･m）
※給水用サービスバルブを開き、水漏れがないことを必ず確認した後、はずした断熱材を加湿器給水口と袋ナットをおおうように巻き付けてビニタイで固定してください。

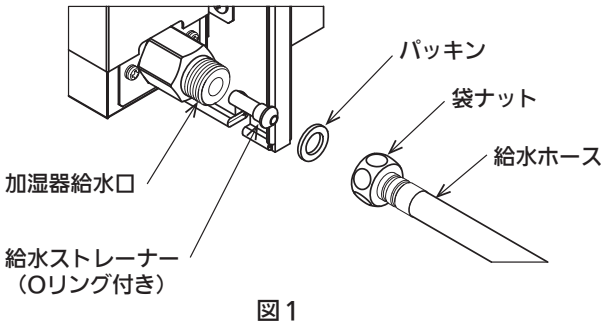


図1

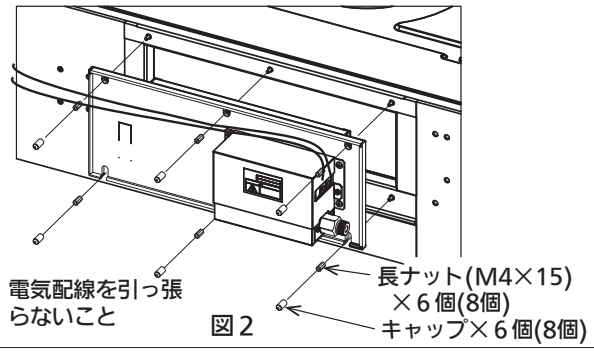


図2

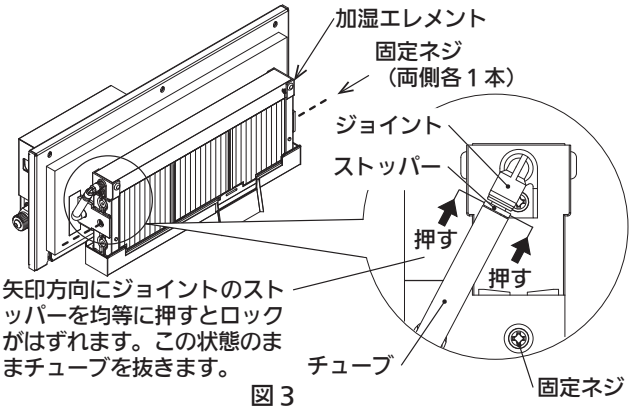


図3

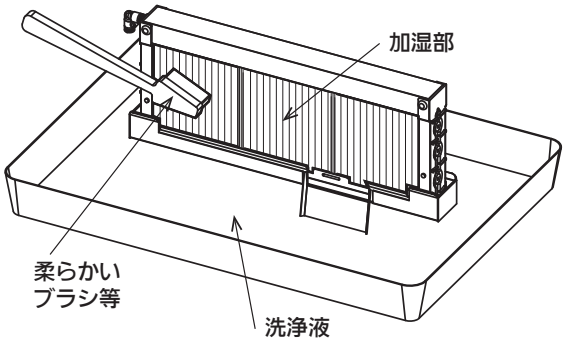


図4

2）給水ストレーナーの清掃（加湿エレメントの洗浄時に行ってください）

①加湿器給水口に挿入されている給水ストレーナーを取りはずし、内側のゴミを洗い落としてください。
※給水ストレーナーに付いているOリングをはずさないでください。（図1）

②元通りに取り付けてください。

3）コントロール基板等の電気部品の点検（1回/年）

必ず運転を停止し、漏電しゃ断器を切ってから作業をしてください。

①加湿器電装ボックスのふたをはずして内部を確認し、以下の項目をチェックしてください。
□電子部品に劣化（変色、変形）などが無いか。
□電気配線類に損傷が無いか。
□コントロール基板のコネクタと電気配線の端子の接続にゆるみ、はずれが無いか。
□その他各部に異常が無いか。
※不具合がありましたら、必ず修理もしくは部品交換を行ってください。

②ふたを元通りに取り付けた後、漏電しゃ断器を入れて動作確認を行ってください。

5. 故障かな？

下記症状の場合は、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
ご自身での修理は絶対にしないでください。

症　状	原　因	処　置
加湿しない または 加湿量不足	給水用サービスバルブが閉まっていませんか？	サービスバルブが開いているか、確認が必要です。お買い上げの販売店にご連絡ください。
	給水ストレーナーの汚れの可能性があります。	3 ページの加湿エレメント、給水ストレーナーの洗浄が必要です。お買い上げの販売店にご連絡ください。
	加湿エレメントの汚れの可能性があります。	
	加湿エレメントの交換時期が過ぎていませんか？（2 ページ「点検周期および保全周期一覧」参照）	お買い上げの販売店にご連絡ください。
においがする	加湿エレメントの汚れの可能性があります。	3 ページの加湿エレメント洗浄が必要です。お買い上げの販売店にご連絡ください。
	加湿エレメントの交換時期が過ぎていませんか？（2 ページ「点検周期および保全周期一覧」参照）	お買い上げの販売店にご連絡ください。
	シーズンイン時に給水管内の残水が排水されていない可能性があります。	
音がする	給水時の音です。給水圧力が仕様値の範囲外の可能性があります。	給水圧力の仕様値の範囲の確認が必要です。お買い上げの販売店にご連絡ください。
	給水系へのエアー混入の可能性があります。	エアー抜きが必要です。お買い上げの販売店にご連絡ください。

6. 仕様

品番	CZ-07ASL6	CZ-14ASL6
適合室内ユニット	22～90形	112～160形
加湿能力（kg/h）※1	0.7±20%	1.4±20%
外形寸法H×W×L（mm）	207×161×450	210×161×608
質量　水（有）（kg）	3.0	3.6
水（無）（kg）	2.5	3.0
電源仕様	単相200Ｖ±10%　50/60Hz	
給水圧力	0.049～0.49 MPa	
給水圧力（ポンプ使用時）	0.049～0.29 MPa	
使用水および水温	上水または上水同等、10～40℃	
周囲温湿度	5～40℃、90%RH以下	

※1：加湿能力は加湿器入口空気温度 DB45℃・相対湿度 15%・通過風速 1.0m/s のときの値を示します。
CZ-07ASL6 を 80 形室内ユニットに、CZ-14ASL6 を 140 形室内ユニットに組み込んだときの値を示します。

Printed in Japan
ACXF55-20704
BE0418 - 40823

■工事説明書

Panasonic

据付工事説明書

自然気化式加湿器

品番　CZ-07ASL6　CZ-14ASL6

適用室内ユニット　2方向天井カセット形　Lシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

●給水配管の施工後、必ず試運転確認を実施し動作確認してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

⃠
- ■ 電源配線をバンドなどで束ねて収納しない
  （発熱、火災の原因）
- ■ 配線は途中接続しない
  （接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）

❗
- ■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
  （ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）
- ■ 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
  （故障や発熱、火災の原因）
- ■ 配線をはさまないように、カバーは元どおり確実に取り付ける （感電、火災の原因）
- ■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
  （ユニットの落下による、けがの原因）
- ■ 電気工事（アース工事を含む）は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの「据付工事説明書」に従って施工する（感電、火災のおそれ）
- ■ 付属品は当社指定の部品を使用する
  （指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）

⚠ 注意

⃠
- ■ 0℃以下の室温となり、凍結のおそれがある場所には取り付けない
  （破損・水漏れの原因）

❗
- ■ 現地調達の給水配管にも必ず断熱処理（現地調達）を行う
  （結露による水漏れ、凍結による配管や接続部の破損、水漏れの原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

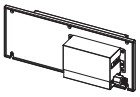
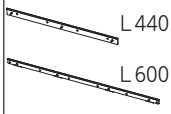
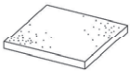
ACXF60-31494
BE0418-40823

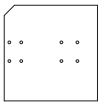
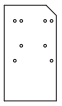
■ 据付前のご注意

・加湿器の取付工事は、必ず室内ユニットを据え付ける前に行ってください。また、加湿器組込み後の輸送はしないでください。
・定期清掃や点検のため、加湿器取り付け側の天井面に□４５０以上の点検口を必ず設置してください。
・ヒューミディスタット（現地調達）は、湿度低下で接点がＯＮとなる方式のもので、接点容量200VA以上のものを準備してください。
・供給水質は上水または同等以上の水を使用し、保守管理のため加湿器毎に給水配管にサービスバルブ（現地調達）を設けてください。
・現地調達の給水配管には死水排水バルブおよびＹ形ストレーナー（現地調達）を必ず取り付けてください。
・給水配管は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン（型式認可品：現地調達）をご使用ください。
・給水圧力は0.049～0.49MPaの範囲内でご使用ください。ただし、ポンプを使用して給水する場合は、0.049～0.29MPaの範囲内でご使用ください。この範囲を超える場合は、給水系統毎に減圧弁（現地調達）を設けてください。また、給水配管にトラップがあるとエアーだまりができ異音が発生することがありますので、トラップが無いように設置してください。

1. 付属品

CZ-07ASL6, CZ-14ASL6

品名	説明書	加湿ユニット	取付プレートA	取付プレートB	給水ホース	パッキン	給水ホース断熱材
形状	・据付工事説明書 ・取扱説明書		 L440 L600	 L440	 L1000	 水道用19㎜パッキン （ノンアスベスト）	 100×100、t10
数量（07形） 数量（14形）	各1	1 1	1（L440、H26） 2（L600、H21）	1（L440、H45） －	1 1	2 2	2 2

品名	断熱パイプ	ビニタイ	断熱材A	断熱材B	断熱材C	断熱材D	断熱材E
形状	 L920	 配線締結用:1本 断熱材固定用:4本	 480×68 630×56	 133×74 156×31	 480×168	 274×281	 153×281
数量（07形） 数量（14形）	1 1	5 5	1（480×68、t3） 2（630×56、t3）	2（133×74、t3） 2（156×31、t3）	1（480×168、t3） －	1（274×281、t3） －	1（153×281、t3） －

品名	取付ネジ	取付ナット	キャップ	結束クランパー	閉端接続子		
形状	 トラス頭　2種 4×10タッピンネジ	 M4×15			 ヒューミディスタット用		
数量（07形） 数量（14形）	8 12	6 8	6 8	1 1	2 2		

※本製品には給水配管に使用する給水用サービスバルブ、排水バルブ、Y形ストレーナー、断熱材は付属しておりません。
※ヒューミディスタット（現地調達）をご使用の場合は、<3.電気配線>をお読みください。

2. 取り付けかた

※加湿器の組み込みは、必ず室内ユニットを据え付ける前に行ってください。
※側面を切断する前に、加湿ユニットを合わせて切断位置を確認してください。

1. 室内ユニット側面の加湿ユニット取付面ハーフカット部を金鋸・ニッパー等で板金をていねいに切断し、板金を取り除いてください。
さらに板金のカット面に沿って、室内ユニット内部の断熱材をよく切れるカッターでカットし、角穴を開けてください。
内部に熱交換器がありますので注意して作業してください。（図１）
※加湿ユニットは室内ユニット本体の側面（どちらか一方）に取り付けできます。
※ハーフカット部の切断後は、板金の切り欠き部分は鋭利ですので注意してください。
※断熱材の切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。
※製品が破損するおそれがありますので、断熱材は割り取らず、必ず切り取ってください。
※カッターの刃の出代は 50㎜ 以下にしてください。

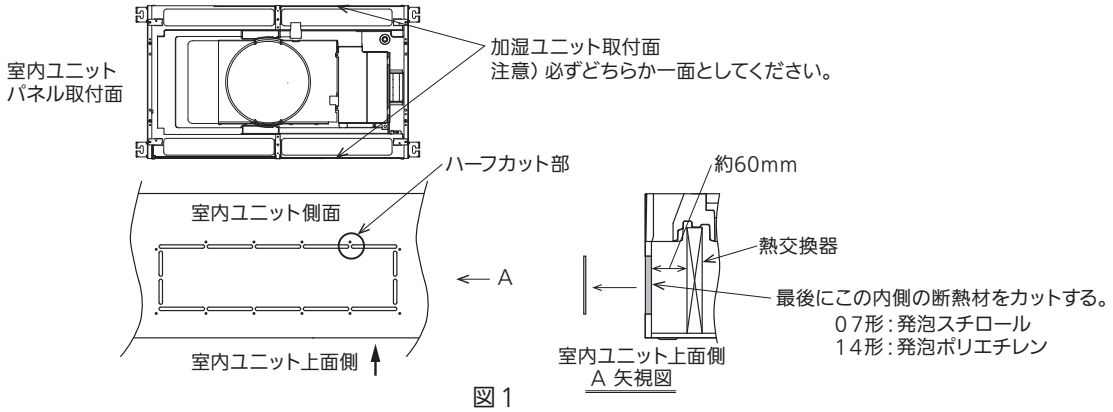


図１

2. 取り付けかた（つづき）

2. 1. で開けた室内ユニット側面の角穴部に付属の取付プレートを取り付けます。取り付けには付属の取付ネジを使用します。（図２、３）

０７形

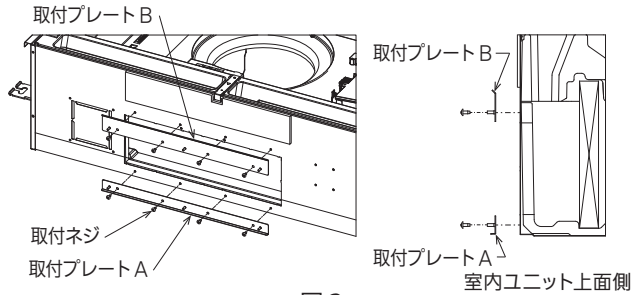


図２

１４形

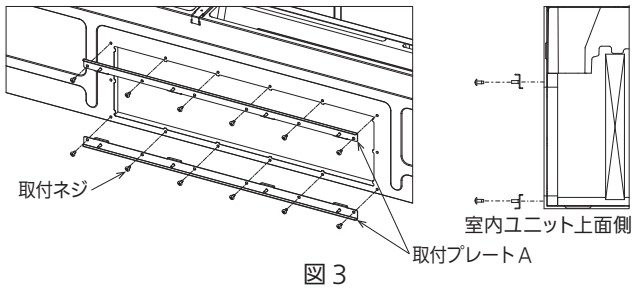


図３

3. 角穴の開口部周囲に付属の断熱材Ａ～Ｃを貼り付けてください。
断熱材Ａ～Ｃの合わせ目に隙間ができないように貼り付けてください。（図4、5）
※隙間があると水漏れの原因になります。

０７形

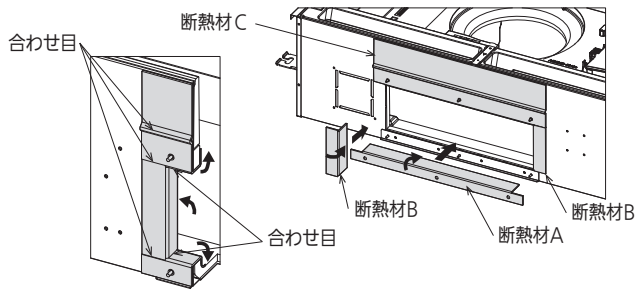
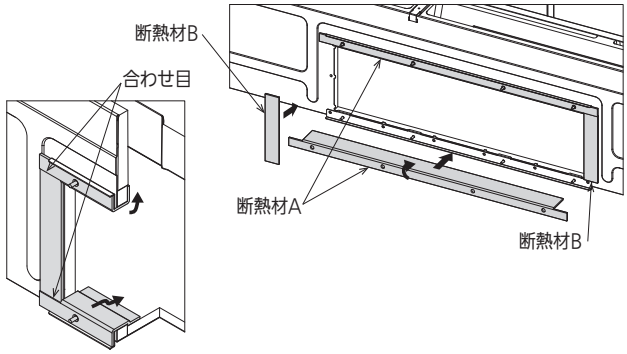


図４

１４形



07形：断熱材A・Bは板金と発泡スチロール、
14形：断熱材A・Bは板金と発泡ポリエチレンを
覆うように全周密着させながら貼り付けてください。
※隙間があると水漏れの原因となります。

図５

4. ０７形は付属の断熱材Ｄ・Ｅを貼り付けてください。切り欠きが外側になるように注意してください。（図６）
5. 加湿ユニットの緩衝材（各２個）を取り除いてください。（図７）

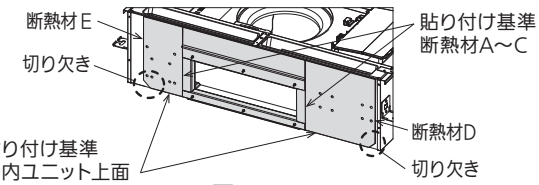


図6

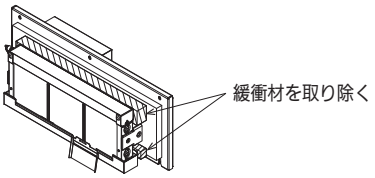


図７

6. スタッドボルトに引っ掛けるように加湿器ユニットを挿入します。このとき、加湿器排水口が室内ユニット本体のドレンパンに入っていることを必ず確認してください。（図８）
7. 付属の取付ナットで加湿ユニットをしっかり固定し、取付ナットに付属のキャップをかぶせてください。（図9）

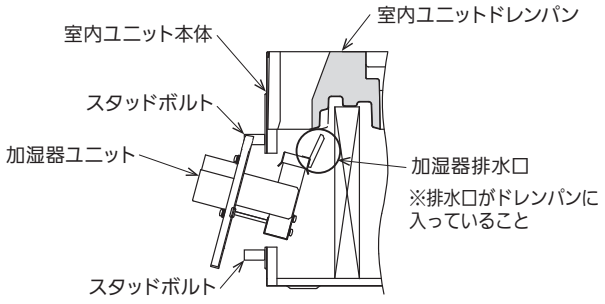


図8

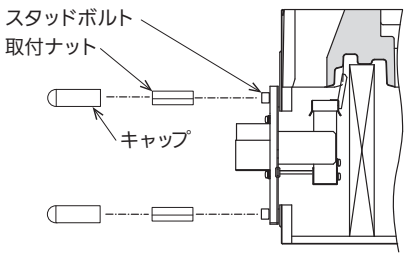


図９

3. 電気配線

＜オフィス・店舗用エアコン（PAC）に接続する場合＞

1. 室内ユニット電源取入口から、室内ユニット内へ配線を引き込みます。
2. 室内ユニット電装ボックスの蓋を開き、加湿器の電源線を３Ｐ端子板に接続します。（図 10）
   ※電源線は黒を３Ｐ端子板の【R】に、白を【S】に接続してください。
   ※電源線は３本以上の共締めにならないよう、必要に応じてプルボックスを使用して接続を行ってください。
3. 加湿器信号線の中継部をはずして、コネクタを室内コントロール基板の【HU（CN066:4P 白)】コネクタに接続します。（図 10、11）

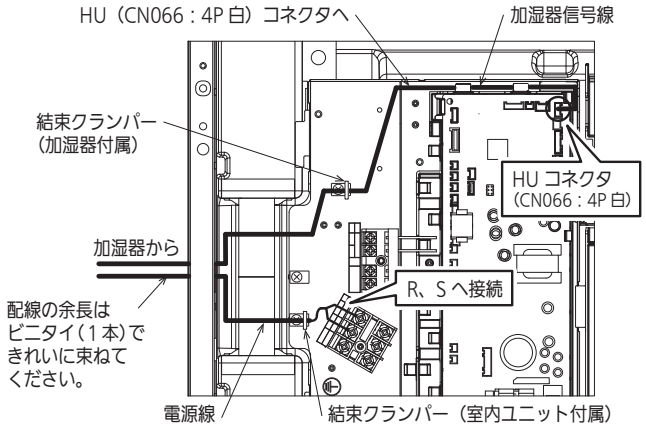


図 10

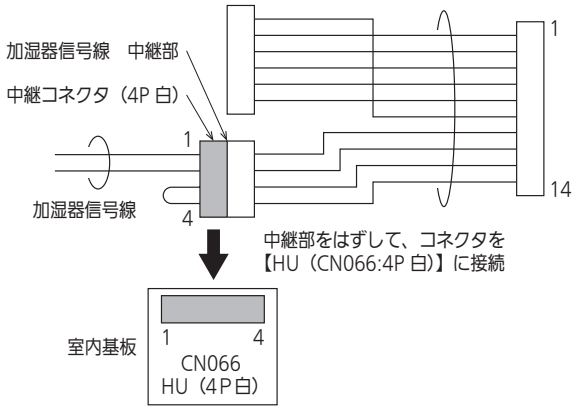


図 11

＜ビル用マルチエアコン（VRF)、ガスヒートポンプエアコン（GHP）に接続する場合＞

1. 室内ユニット電源取入口から、室内ユニット内へ配線を引き込みます。
2. 室内ユニット電装ボックスの蓋を開き、加湿器の電源線を電源端子板に接続します。（図 12）
   ※電源線は黒を電源端子板の【R】に、白を【S】に接続してください。
   ※電源線は３本以上の共締めにならないよう、必要に応じてプルボックスを使用して接続を行ってください。
3. 加湿器信号線のソケットを室内コントロール基板の【OPTION（CN060:14P 白)】コネクタに接続します。（図 12、13）
   ※加湿器と信号出力基板 (ACC-SG-E) を併用する場合、OPTION コネクタ (CN060) に接続する中継配線が重複します。この場合、信号出力基板の信号線の中継配線を取りはずして、加湿器の中継配線の中継コネクタ（6P 白）に取付けてください。（図 13）

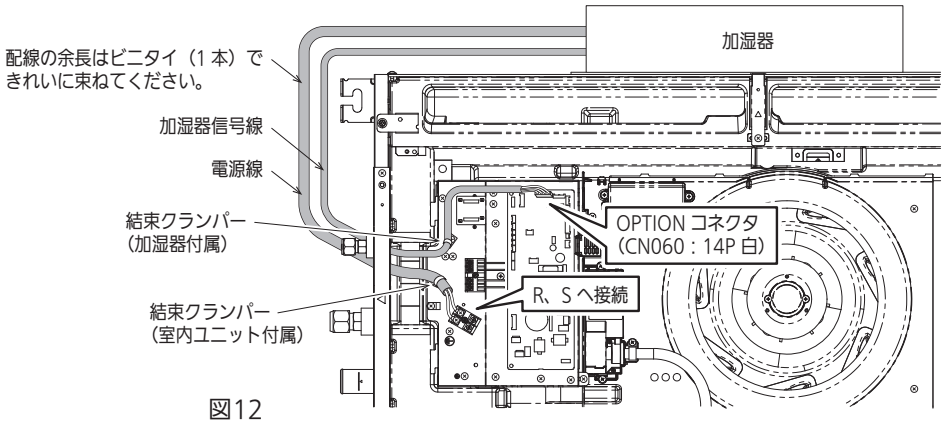


図12

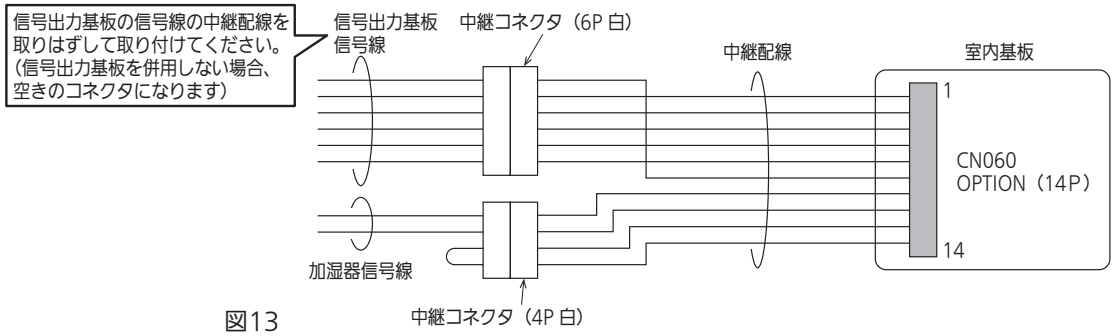
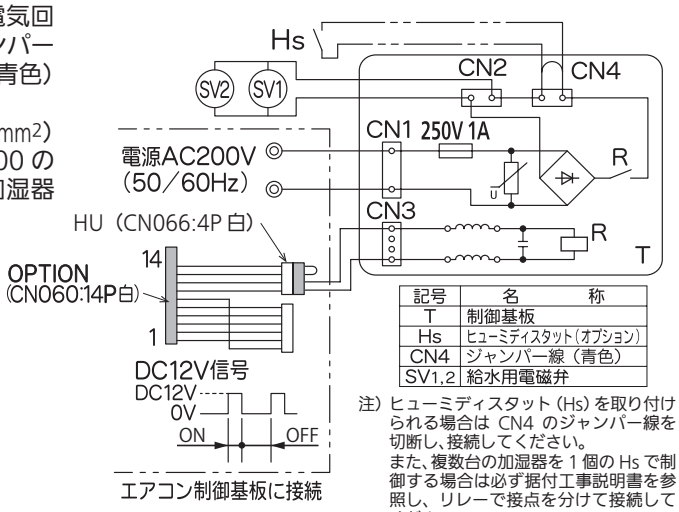


図13

3. 電気配線（つづき）

4. ヒューミディスタットをご使用になる場合は、加湿器電気回路図(図 14)を参考に加湿器電装ボックス内にあるジャンパー線 CN4（UL1007、AWG22/0.3mm²、線長 210mm、青色）を切断し、付属品の閉端接続子（CE1（CE-100)、日本圧着端子製造（株)、適用電線範囲：0.5 ～ 1.75mm²）でヒューミディスタットの配線 0.3 ～ 1.25mm²（CE-100 の圧着範囲）と接続します。接続部（閉端接続子）は、加湿器電装ボックス内に収納してください。

加湿器電気回路図



記号	名　　称
T	制御基板
Hs	ヒューミディスタット（オプション）
CN4	ジャンパー線（青色）
SV1,2	給水用電磁弁

注）ヒューミディスタット（Hs）を取り付けられる場合は CN4 のジャンパー線を切断し、接続してください。
また、複数台の加湿器を 1 個の Hs で制御する場合は必ず据付工事説明書を参照し、リレーで接点を分けて接続してください。

図14

お願い

ヒューミディスタット（現地調達）を取り付ける場合は、加湿器電装ボックス 1 台毎にヒューミディスタットを 1 個接続を基本としてください。
複数台の加湿器を 1 個のヒューミディスタットで制御する場合は、リレーにて個別に接点を分けて各加湿器に接続してください。(図 15)
接点を分けないと正常な加湿動作が行えず、水漏れの原因になります。

例. 2 台の加湿器を補助リレー接点にて制御する場合

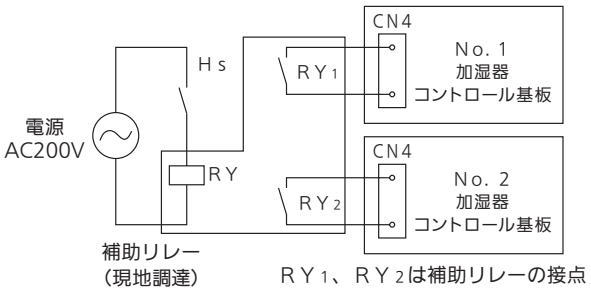


図15

4. 給水配管

⚠ 警告　0℃以下の室温となり、凍結のおそれがある場所には取り付けないでください。（破損、水漏れの原因になります。）

1. 室内ユニットの「据付工事説明書」に従って、加湿器を組み込んだ室内ユニットを据え付けてください。
2. 現地調達の給水配管内に通水し、配管内の汚れを取り除いてください。
3. 給水ホースに断熱パイプを取り付けてから加湿ユニットの給水口に接続してください。（図16）
   ※必ず付属のパッキンを入れて袋ナットをダブルスパナで締め付けてください。（締付トルクの目安15.0N・m）
   ※加湿器給水口に給水ストレーナーを取り付けた状態で配管を接続してください。
4. 図16を参考に現地調達の給水配管等を接続してください。

●以下の項目は試運転の後、問題が無いことを確認した上で行ってください。

5. 取り付けを行った全ての給水接続部の水漏れ確認を行ってください。
6. 水漏れが無ければ、給水ホースの接続部に付属品の給水ホース断熱材を巻きつけてビニタイで固定してください。(図16)
7. 現地調達の給水配管にも、断熱処理を行ってください。配管の凍結は漏水事故の原因となります。
   十分に保温工事をしてください。この断熱材は現地調達になります。

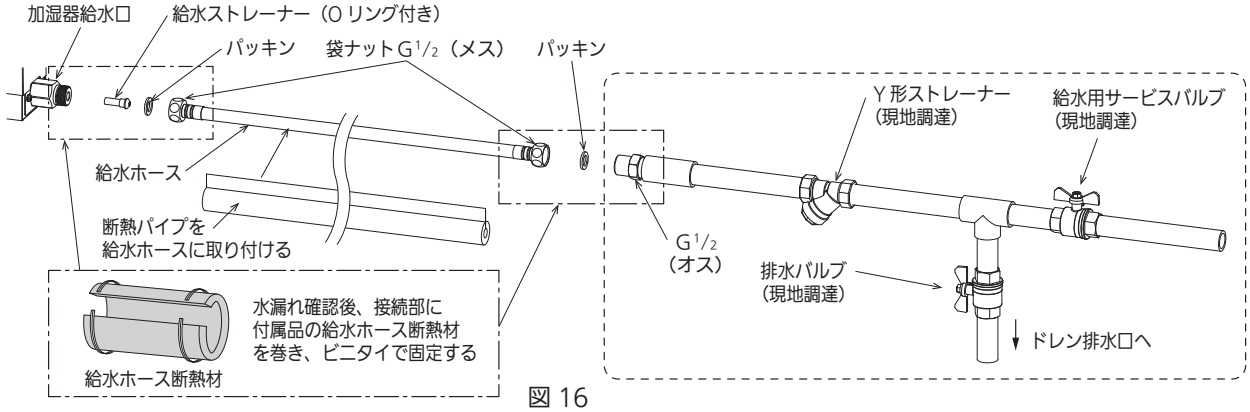


図 16

据付工事説明書　試運転編

●給水配管の施工後、試運転確認を実施し、動作確認してください。
●室内ユニットに付属の「取扱説明書」とワイヤードリモコンに付属の「取扱説明書」もあわせてご覧ください。

1.動作確認方法

1. 漏電しゃ断器を入れ、加湿器の給水用サービスバルブを開いて通水してください。
2. リモコンの運転 / 停止ボタンを押し空調機を運転させた後、運転切換ボタンで暖房運転にします。
   ※通常、加湿器への給水は暖房運転時に行われますが、冷房シーズン（暖房運転できないとき）や、暖房運転時にサーモオンになりにくいときは、ワイヤードリモコンから下記（2. 室内ユニットの送風運転時に加湿動作する設定）にて加湿動作を変更し、送風運転にて動作確認してください。
3. 加湿器に内蔵されている給水用電磁弁が作動し、加湿エレメントに給水して加湿します。加湿エレメントから流出した水は、室内ユニットのドレンパンに入り、室内ユニットのドレン配管から排出されます。
   ※給水ホース、加湿器の給水口（継手）、加湿器本体の電装ボックス周り、室内ユニットの吹出口、ドレンパン等から水漏れがないか確認してください。
   ※30 分程度運転を続け、室内ユニットのドレン排水管から排水されているか確認してください。
4. 正常な運転を確認したら、運転 / 停止ボタンを押し運転を停止してください。

※ ヒューミディスタット（現地調達）をご使用の場合は、ご希望の湿度目盛りに合わせます。設定を変化させて、給水用電磁弁が正常に加湿制御していることを確認してください。
※ 試運転時、加湿器から「ビーン」という異音が発生した場合に、給水用サービスバルブを閉めると音が消えるようであれば、給水系（減圧弁等）へのエアーのかみ込みが考えられます。この場合、いったん給水配管の接続をはずしてエアー抜きおよび加湿器給水口のストレーナーの清掃を実施してください。ポンプを使用して給水する場合は、ポンプによるエアーのかみ込みが考えられます。給水圧力を調整できる場合は、給水圧を下げて使用してください。

2.室内ユニットの送風運転時に加湿動作する設定

項目コード09の設定データ変更により、加湿動作を変更してください。
（リモコン操作方法は次ページ以降を参照）

設定表

項目コード	設定データ	加湿動作
09	0000	暖房サーモオン時に加湿する（出荷設定）
	0001	送風時に加湿する

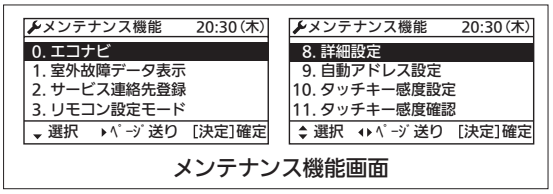
⚠注意	ユニットが運転を停止した状態で設定データの変更を行ってください。 設定中はリモコンで選択されている室内ユニットのファンが回転します。

＜CZ-10RT4 シリーズの場合＞

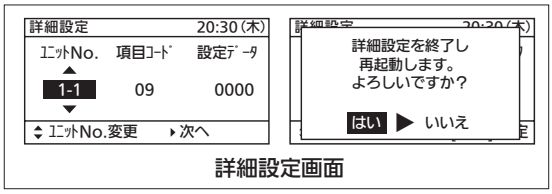
メンテナンス機能画面の表示

① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に 4 秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

② ▲ ／ ▼ ボタンで選択、◄ ／ ► ボタンでページが切り替わります。
必要な機能のページを表示し、選択してください。



メンテナンス機能画面



詳細設定画面

詳細設定方法（ユニットが停止中に行ってください。）

③ ▲ ／ ▼ ボタンで『8. 詳細設定』を選択し、決定 ボタンを押してください。詳細設定画面が表示されます。

④ ◄ ／ ► ボタンでユニット No. ／項目コード／設定データの選択を切り替えてください。

【加湿動作の設定】

⑤ ▲ ／ ▼ ボタンでユニット No.，項目コード，設定データを変更します。

⑥ ユニット No. を変更して、送風時加湿動作を設定するユニットを選択してください。

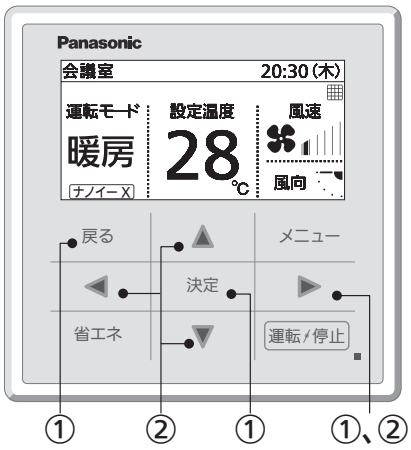
⑦ 項目コードを「09」に、設定データを「0001」に変更し、決定 ボタンを押してください。

⑧ 続けて別のユニットを設定する場合は、ユニット No. を変更し、⑦を実施してください。

⑨ 戻る ボタンを押し、再起動：“はい”を選択し、決定 ボタンを押してください。

⑩ 加湿器動作の確認後、①～⑨と同一の手順で項目コード「09」の設定データを「0001」から「0000」に戻してください。

ワイヤードリモコン



⚠注意	試運転後は、必ず項目コード09の設定データを、出荷設定（0000）に戻してください。 設定を戻さないと、使用環境によっては露飛びや水漏れの原因になります。

＜CZ-10RT3 の場合＞

① 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを、同時に 4 秒間以上押します。

② ユニット選択 ボタンを押すごとに、「ユニット No」を順次表示します。
この時、選択された室内ユニットのファンが回転します。
(リモコンの液品部に、設定中 と「ユニット No」「項目コード」詳細データが点滅表示されます。)

③ 温度設定 ▽ △ ボタンで項目コードを「09」に指定します。

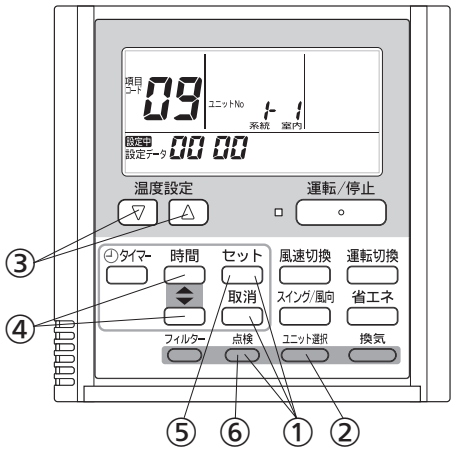
④ 時間の ▲ ▼ ボタンで設定データを「0000（出荷設定)」→「0001」へ変更します。

⑤ セット ボタンを押します。
(表示が点滅から点灯に変われば OK)
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ

⑥ 点検 ボタンを押します。(通常の停止状態になります)

⑦ 加湿器動作の確認後①～⑥と同一の手順で「項目コード」を「09」に指定して、設定データを「0000」に戻してください。

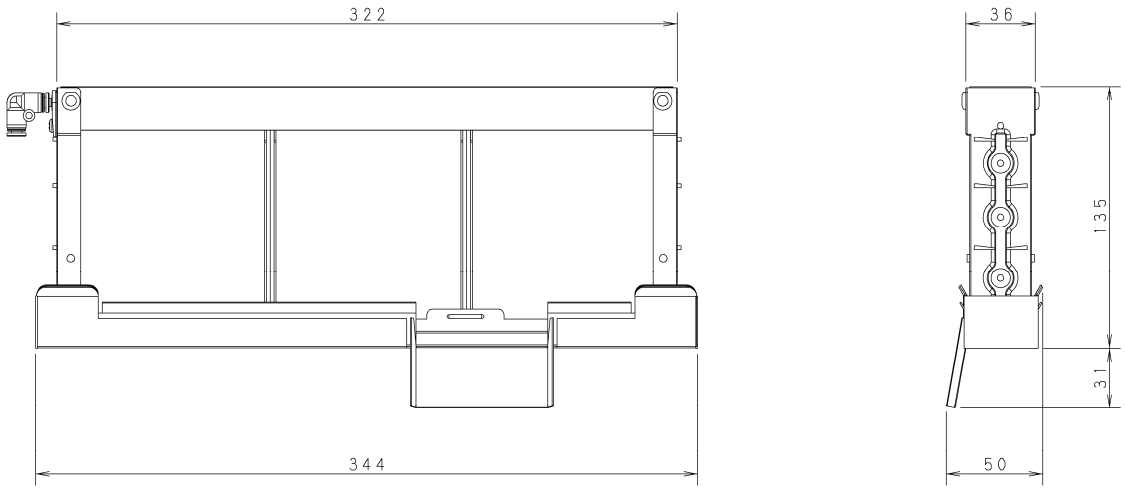
ワイヤードリモコン



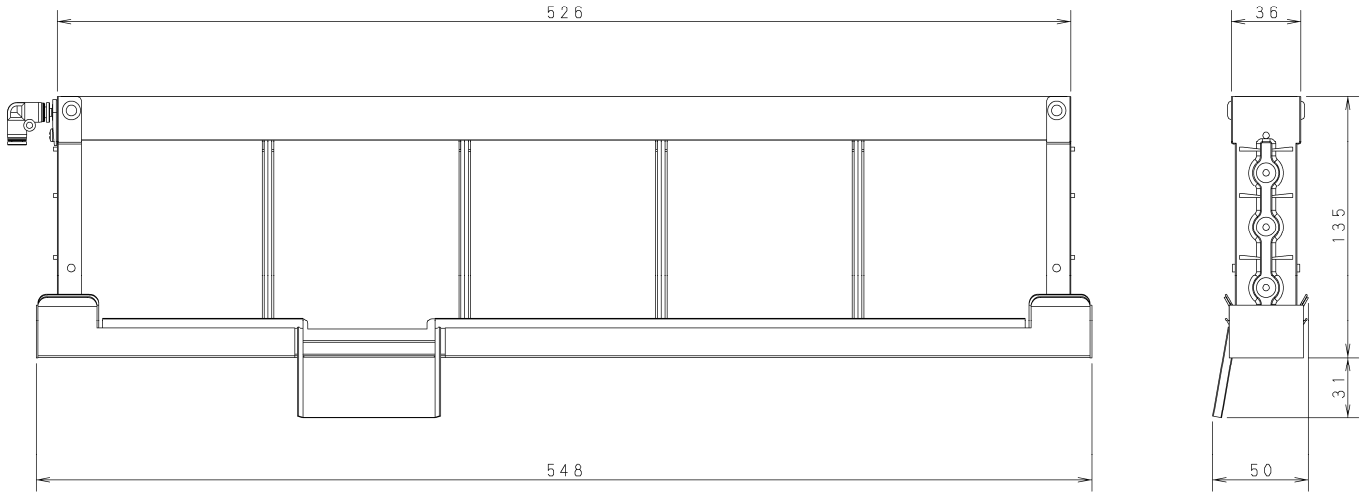
⚠注意	試運転後は、必ず項目コード09の設定データを、出荷設定（0000）に戻してください。 設定を戻さないと、使用環境によっては露飛びや水漏れの原因になります。

■交換用加湿エレメント外形寸法図

●CZ-07AL6〔適用機種：22 ～ 90形〕



●CZ-14AL6〔適用機種：112 ～ 160形〕



■交換用加湿エレメント
●交換のしかた

加湿エレメント　交換のしかた

品番　CZ-07AL6
（自然気化式加湿器　CZ-07ASL6 用）
CZ-14AL6
（自然気化式加湿器　CZ-14ASL6，RH-SN14U 用）

交換作業の前に、この「交換のしかた」をよくお読みください。
特に『安全上のご注意』は必ずお読みください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 修理・改修は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する
（水漏れや感電、火災の原因）

■ 移動再設置は、販売店に相談する
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）

⚠ 注意

■ 交換部品は、当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、水漏れの原因）

■ 作業前の準備

・作業は安全に留意して行ってください。特に板金のエッジ部分や熱交換器の温度等には十分に注意してください。
加湿器の据付説明書もあわせてご覧ください。
・作業にかかる前に必ず漏電しゃ断器を切り、給水用のサービスバルブを閉めてください。
・給水ホース（もしくは、給水管）・加湿器内の残水が出ることがありますので、バケツやウエスなどを準備してください。

（CZ-∗∗ASL6 をご使用の場合）

・給水ホースの脱着の際に、パッキンを必ず新しいものに交換してください。
パッキンを交換しないと漏水の原因になります。パッキンは市販の水道用19mm、厚さ2mmのノンアスベストパッキンまたは、サービスパーツ（CV6233336015）をご使用ください。

交換のしかた

①加湿器給水口に巻いてある断熱材をはずしてください。
②袋ナット（もしくは、フレアナット）をダブルスパナでゆるめ、給水ホース（もしくは、給水管）を取りはずしてください。（図１）
※給水ホース（もしくは、給水管）・加湿器内の残水が出てくることがありますので、バケツやウエスなどで受けてください。
③加湿器給水口に挿入されている給水ストレーナーを取りはずしてください。
※給水ストレーナーを紛失しないようご注意ください。（図１）
④加湿器本体を固定している長ナット（M4 x 15）とキャップ（もしくは、ネジ）をはずし、電気配線を引っ張らないように加湿器を室内ユニットから取り出してください。（図２）
⑤固定ネジ（２本）とジョイントをはずして加湿エレメントを取りはずしてください。（図３）
⑥②ではずした給水ストレーナーの内側のゴミを洗い落としてください。
※給水ストレーナーに付いているOリング（もしくは、ワッシャー）をはずさないでください。（図１）
⑥取りはずしと逆の手順で新しい加湿エレメントを組み付け、加湿器を室内ユニットに取り付けてください。
⑦給水ホース（もしくは、給水管）を加湿器給水口に接続してください。
※給水ストレーナーを元に戻し、パッキンを新しいものに変えてください。（CZ-＊＊タイプ加湿器の場合）
※袋ナット（もしくは、フレアナット）をダブルスパナで締め付けてください。（締付トルクの目安15.0N・m）
※給水用サービスバルブを開き、水漏れがないことを必ず確認した後、はずした断熱材を加湿器給水口と袋ナット（もしくは、フレアナット）をおおうように巻き付けてビニタイで固定してください。

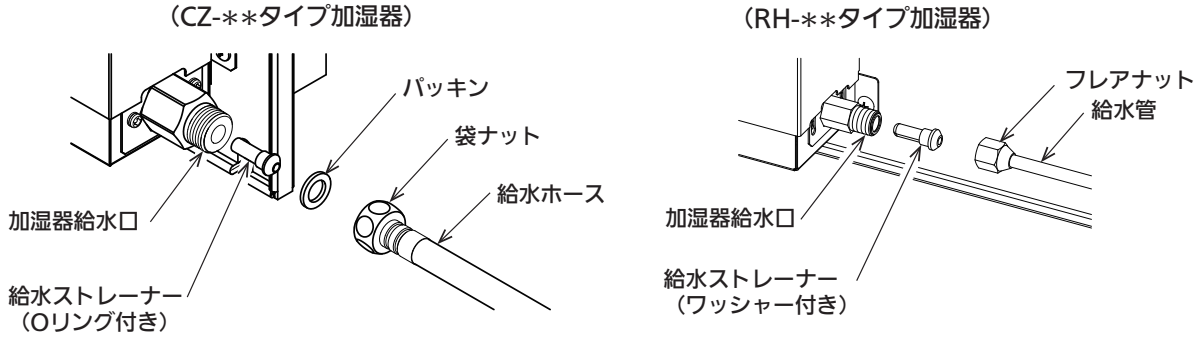


図１

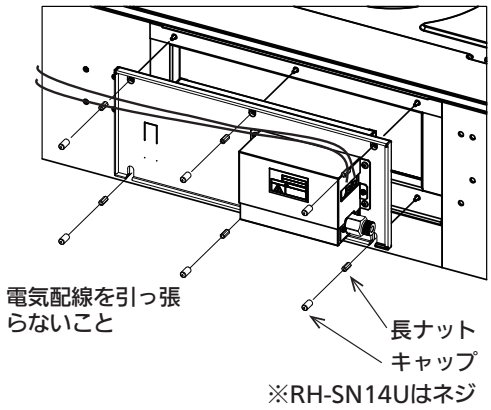


図２

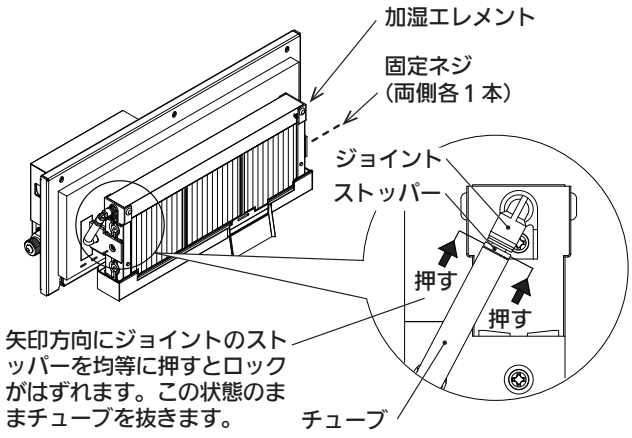
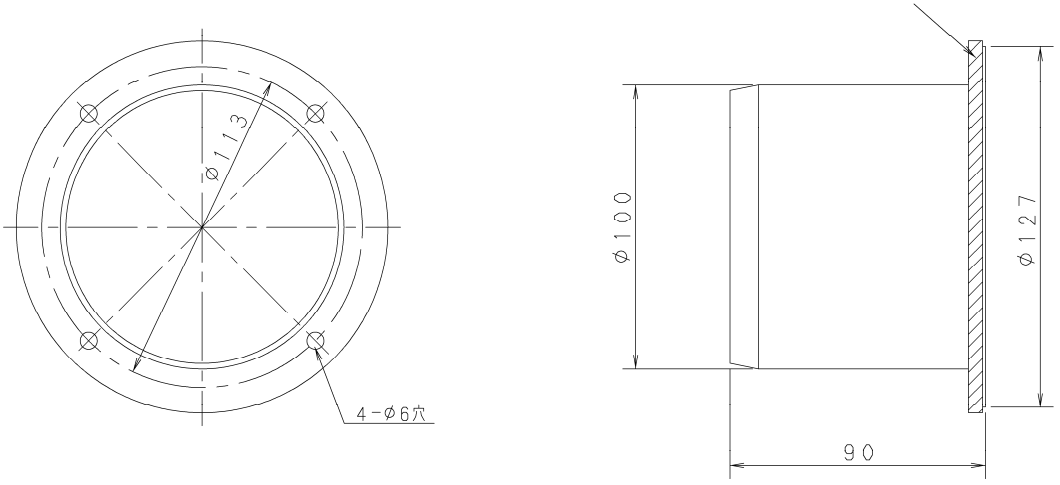


図３

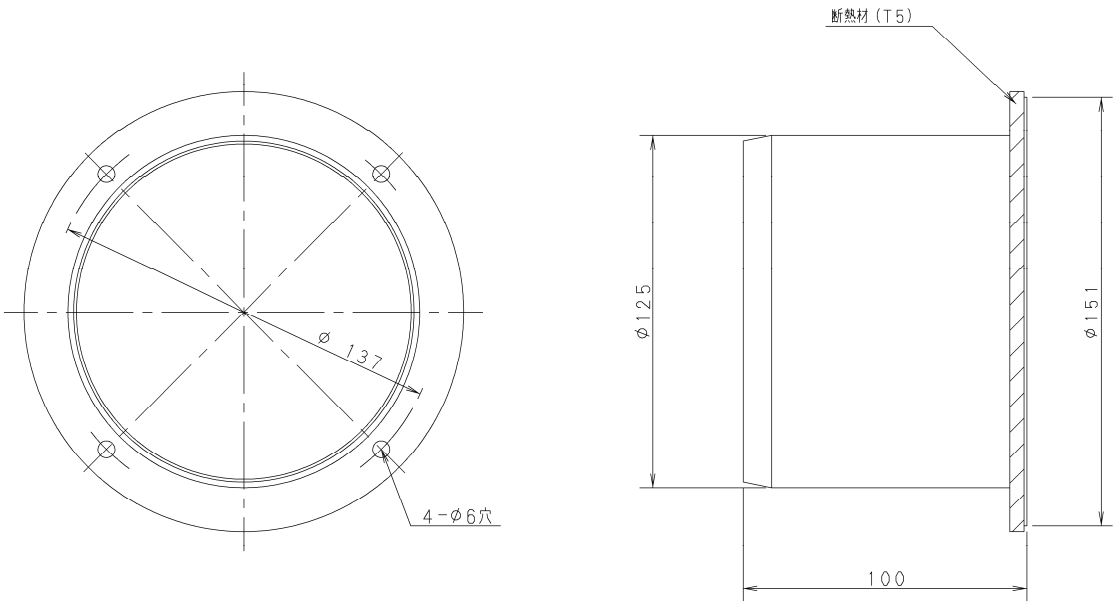
■丸合フランジ外形寸法図（φ100）

●CZ-DA100〔適用機種：22 ～ 90形〕



■丸合フランジ外形寸法図（φ125）

●CZ-DA125〔適用機種：112 ～ 160形〕



■丸合フランジ（φ100）
●工事説明書

Panasonic

据付工事説明書

丸合フランジ（φ100）

品番　CZ-DA100

適用室内ユニット　2 方向天井カセット形（Lシリーズ）＊

（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-31574
PA0518 - 40823

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

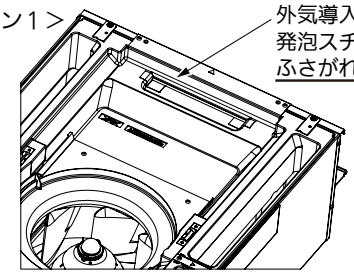
名　　称	個数	名　　称	個数	据付工事説明書	個数
丸合フランジ（φ100）	1	取付ネジ（M4×12）	4		1

2. 取り付けかた

●2方向天井カセット形の場合

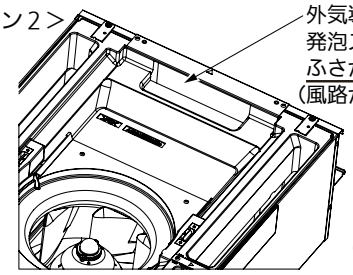
2方向天井カセット形は、ドレンパン仕様が2種類あります。仕様によって丸合フランジの取り付け方が異なりますので（図4）及び（図5）で確認の上、それぞれのパターン取付け指示に従って丸合フランジを取付けてください。

＜パターン1＞



（図4）

＜パターン2＞



（図5）

＜パターン1＞

（1）ネジを2か所はずし、金具を取りはずしてください。（図6）

（2）発泡スチロールを切断する基準位置と傷付け厳禁の本体面を確認してください。（図7）

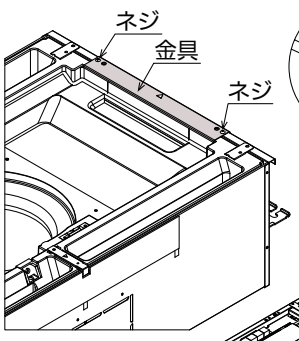
（3）カッターナイフ等で基準位置の内側を垂直方向に切断してください。
　　カッターナイフは前後に細かく動かし、本体面に傷をつけないようにゆっくりと切り取ってください。（図8）

（4）切断した部分を取り除いてください。（図9）
　　発泡スチロールの切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。

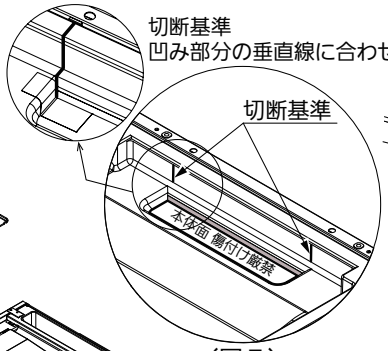
（5）（図6）で取りはずした金具を元に戻してください。

（6）室内ユニット側板の切り込み部を、ニッパ等で切り取ってください。（図10）

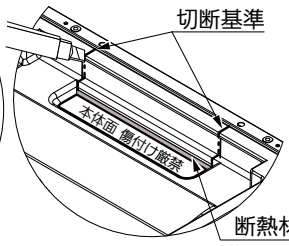
（7）丸合フランジを付属の取付ネジ4本で取り付けてください。（図11）



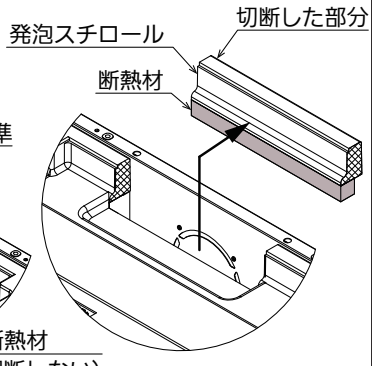
（図6）



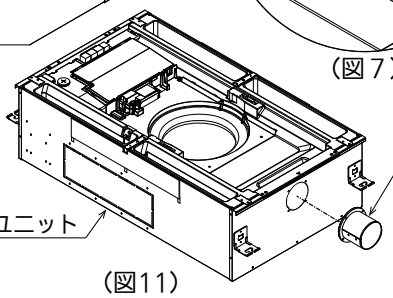
（図7）



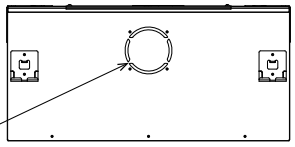
（図8）



（図9）



（図11）



（図10）

2. 取り付けかた（つづき）

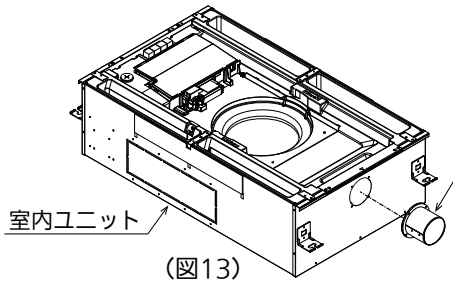
＜パターン 2 ＞

（1）室内ユニット側板の切り込み部を、ニッパ等で切断してください。（図12）

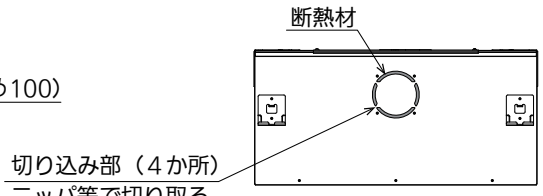
（2）室内ユニット断熱材をカッターナイフ等で切り込みに沿って切断し、切り取ってください。
断熱材の切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。

（3）丸合フランジを付属の取付ネジ4本で取り付けてください。（図13）

注意：カッターナイフを差し込みすぎて
奥の発泡部品を傷つけないように、
カッターナイフは前後に細かく動かし
断熱材のみを切り取ってください



（図13）



（図12）

■丸合フランジ（φ 125）
●工事説明書

Panasonic

据付工事説明書

丸合フランジ（φ125）

品番　CZ-DA125

適用室内ユニット　2方向天井カセット形　Lシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

❗
■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠注意

⃠
■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-31583
PA0518 - 30823

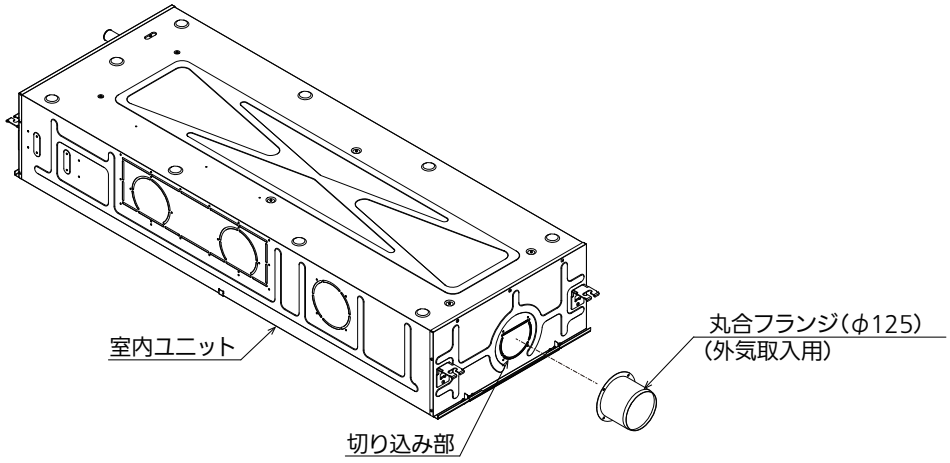
1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

名　称	個数	名　称	個数	据付工事説明書	個数
丸合フランジ（φ125）	1	取付ネジ（M4×12）	4		1

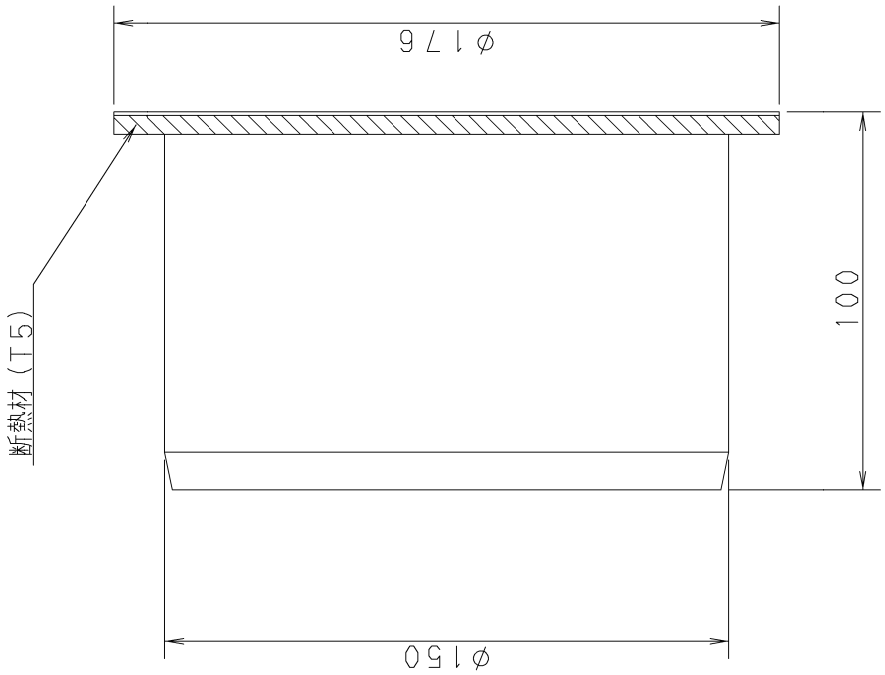
2. 取り付けかた

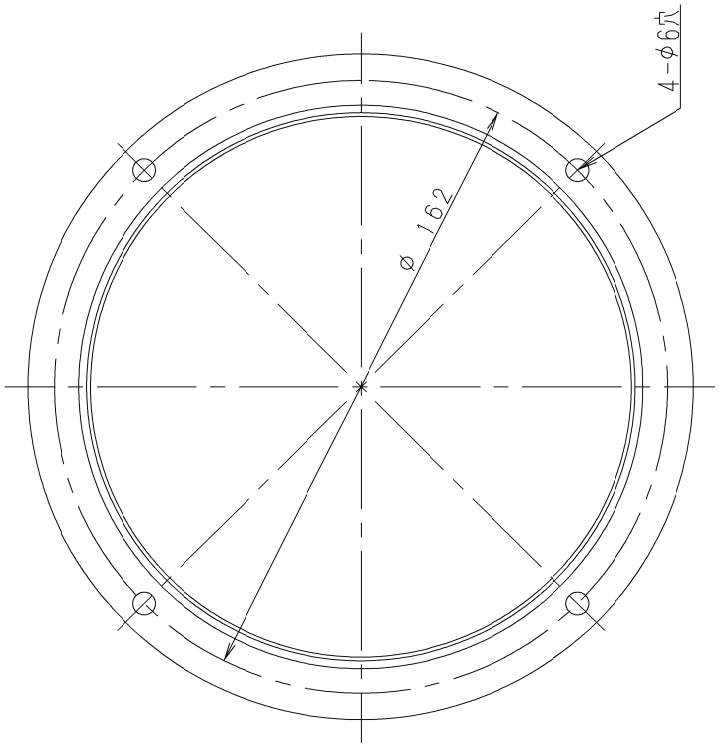
（1）室内ユニット側板の切り込み部を、断熱材ごとニッパ・金ノコ等で切断し、切り取ってください。（下図）
　　断熱材の切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。
（2）丸合フランジを付属の取付ネジ４本で取り付けてください。（下図）



■丸合フランジ外形寸法図（φ150）

●CZ-DA150A





■丸合フランジ（φ 150）
●工事説明書

据付工事説明書

丸合フランジ（φ150）

品番　CZ-DA150A

適用室内ユニット　2方向天井カセット形（L シリーズ）
＊　（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗ ⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

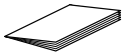
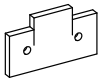
■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使用上のご注意
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

品名	丸合フランジ	取付ネジ	据付工事説明書	シール用断熱材 A	シール用断熱材 B
個数	1	4	1	2	2
形状	φ150	M4×12	 本説明書 お客さまに必ず渡してください		

ACXF60-31564
BE0518 - 40823

2. 取り付けかた

●取り付け前の準備

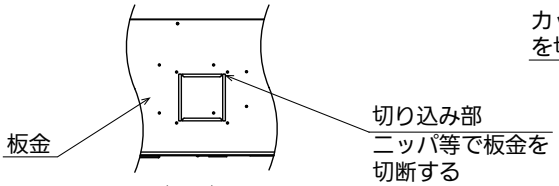
丸合フランジの使用には、別売品のフレキシブルダクト（丸）が必要ですので用意してください。
取り付け可能なフレキシブルダクト長については、別途、設備設計資料をご確認ください。
フレキシブルダクトの取り付けかたについては、フレキシブルダクトに同梱されている取付説明書を参照してください。

丸合フランジ	フレキシブルダクト（丸）
CZ-DA150A	CZ-F1510　φ150　1m CZ-F1520　φ150　2m

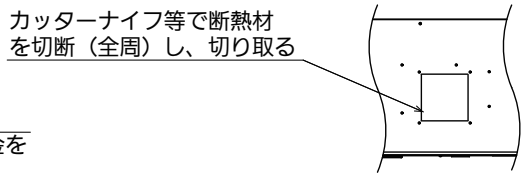
使いかたにより、別売品のしゃ風材が必要になりますので組み合わせをご確認の上、用意してください。
※使いかたは、各しゃ風材に同梱されている据付工事説明書を参照してください。

●取り付けかた（共通）

（1）室内ユニット側板の切り込み部を、ニッパ等で切り取ってください。(図1)
（2）室内ユニット断熱材（スチロールまたはポリエチレン）をカッターナイフ等で切断し、切り取ってください。（図2）
注意　断熱材の切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。
断熱材を切断するとき、カッターナイフ等の刃は30㎜以上差し込まないよう注意してください。
（内部のドレンパンおよび熱交換器を傷つけると、水漏れの原因になります。）



（図1）

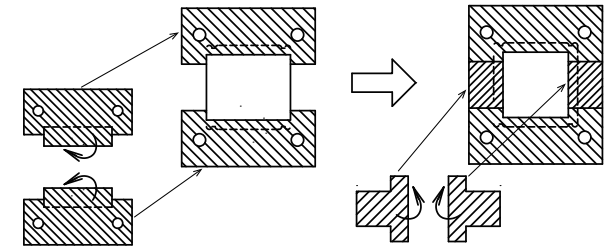


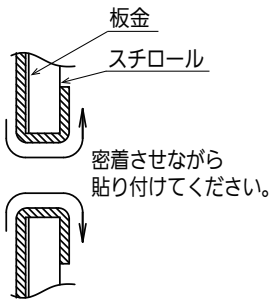
（図2）

（3）断熱材がスチロールの機種については必ず下記の 断熱材貼り付け手順 に従い、シール用断熱材A・Bを貼り付けてください。ただし、クリーンエアコンの場合は本手順は不要です。
スチロールと板金の間に隙間があると結露等の問題が発生します。（図3）

断熱材貼り付け手順

付属のシール用断熱材Aをネジ穴に合わせて貼り付けた後、
シール用断熱材Bを貼り付けてください。



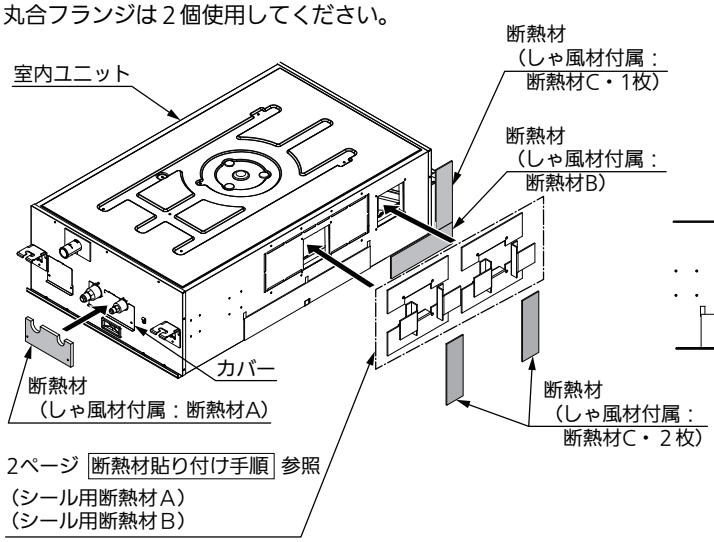


（図3）

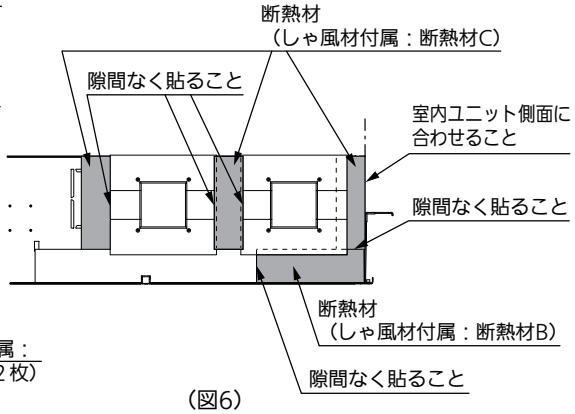
2. 取り付けかた（つづき）

●取り付けかた（２方向天井カセット形　22～90形の場合）

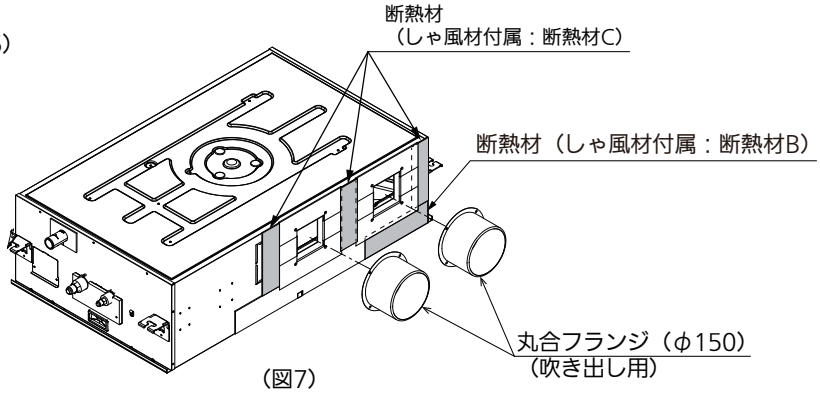
丸合フランジの使用には、別売品のしゃ風材が必要になります。
断熱材（しゃ風材付属：断熱材A）（1枚）を図5を参照して室内ユニット側面のカバー形状に合わせて貼り付けてください。
断熱材（しゃ風材付属：断熱材B）（1枚）、断熱材（しゃ風材付属：断熱材C）（1枚）を図5・図6を参照して貼り付けてください。
室内ユニット断熱材はスチロールです。2ページ 断熱材貼り付け手順 に従い、シール用：断熱材A・Bを貼り付けてください。
断熱材（しゃ風材付属：断熱材C）（2枚）を図5・図6を参照して貼り付けてください。
丸合フランジを付属の取付ネジ各４本で取り付けてください。（図7）
丸合フランジは２個使用してください。



（図5）



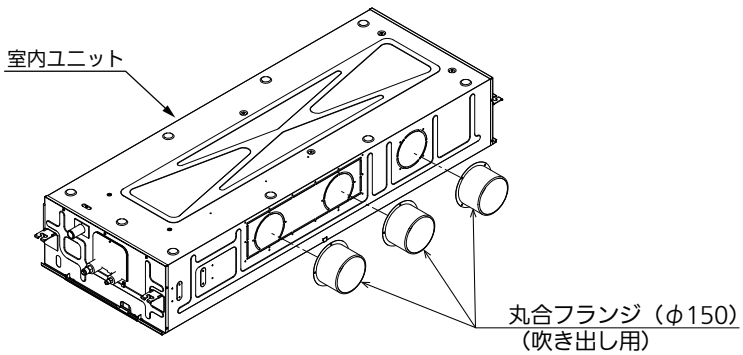
（図6）



（図7）

●取り付けかた（２方向天井カセット形　112～160形の場合）

丸合フランジの使用には、別売品のしゃ風材が必要になります。
室内ユニット断熱材はポリエチレンです。シール用：断熱材A・Bは不要です。
丸合フランジを付属の取付ネジ各４本で取り付けてください。（図8）
丸合フランジは３個使用してください。



（図8）

■しゃ風材
●工事説明書

Panasonic

据付工事説明書

しゃ風材

品番　CZ-80CFL6 CZ-160CFL6

適用室内ユニット　2方向天井カセット形　Lシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

品番	CZ-80CFL6	CZ-160CFL6
適合機種	22～90形	112～160形

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗ ⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
・しゃ風材は室内ユニット据え付け前に取り付けてください。
・しゃ風材は配管側から見て、右側のみ取り付けできます。
・しゃ風材は別売品の丸合フランジ（吹き出し用）・フレキシブルダクト等と併せて使用してください。
・丸合フランジの取付数は右表の通りです。
・丸合フランジに接続するダクトは、必ず断熱してください。
また、ダクトと丸合フランジの接合部から冷気が漏れないように必ずシールしてください。
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

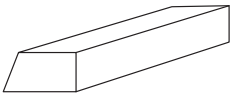
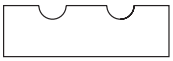
	丸合フランジ取付数
22～90形	2個
112～160形	3個

ACXF60-31524
BE0518 - 40823

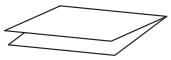
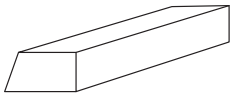
1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

CZ-80CFL6

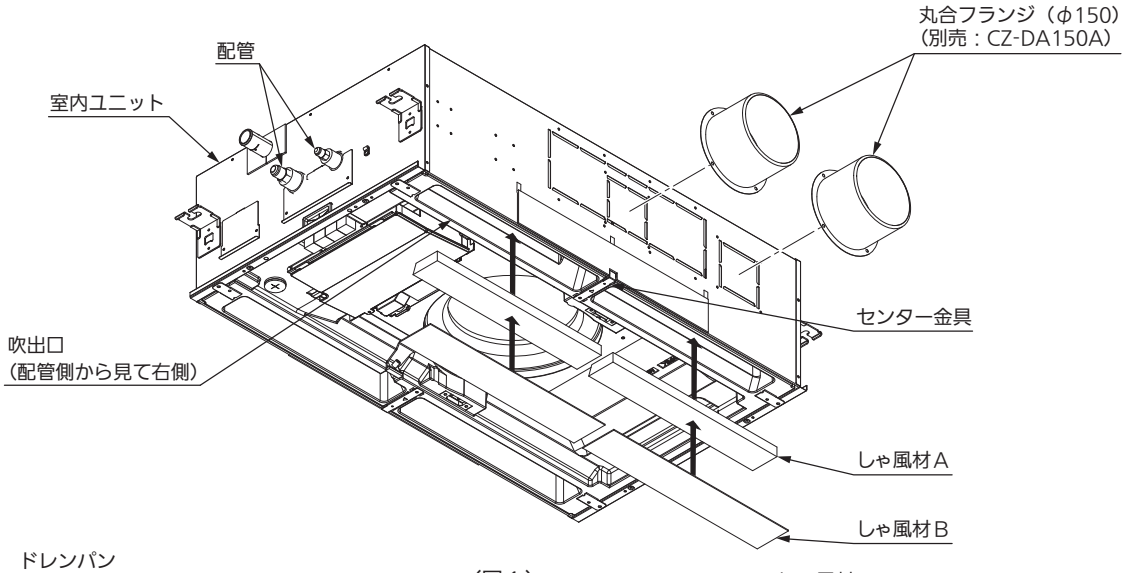
品名	据付工事説明書	しゃ風材A	しゃ風材B
個数	1	2	2
形状	 本説明書 お客さまに必ず渡してください	 432×64、T22	 460×82、T2
品名	断熱材A	断熱材B	断熱材C
個数	1	1	3
形状	 180×80、T10	 243×75、T3	 210×65、T3

CZ-160CFL6

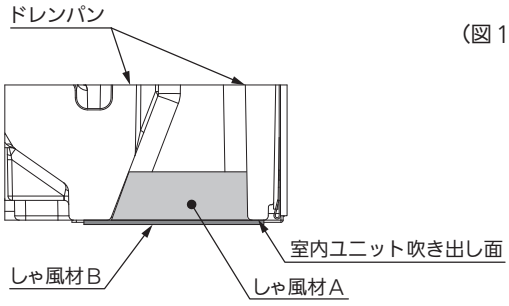
品名	据付工事説明書	しゃ風材A	しゃ風材B
個数	1	2	2
形状	 本説明書 お客さまに必ず渡してください	 729×64、T22	 755×87、T2

2. 取り付けかた

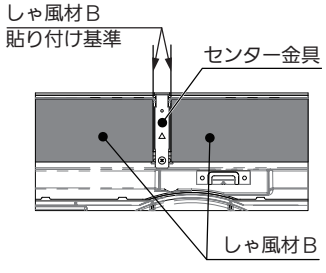
（1）しゃ風材A（2個）を吹出口の傾斜に合わせて、室内ユニット吹き出し面と同一まで挿入します。
（2）センター金具を避けて、しゃ風材Bをしゃ風材Aの上に貼ってシールします。



（図1）



（吹出口断面図）

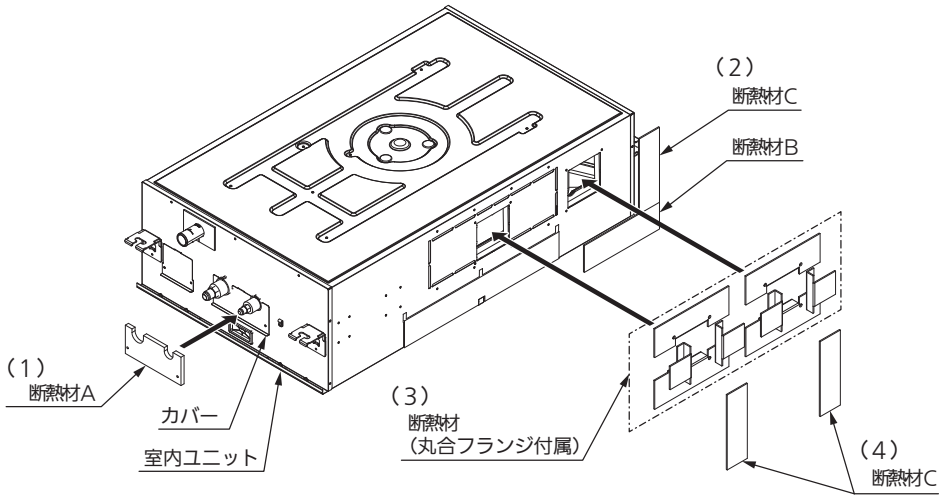


（しゃ風材B貼り付け図）

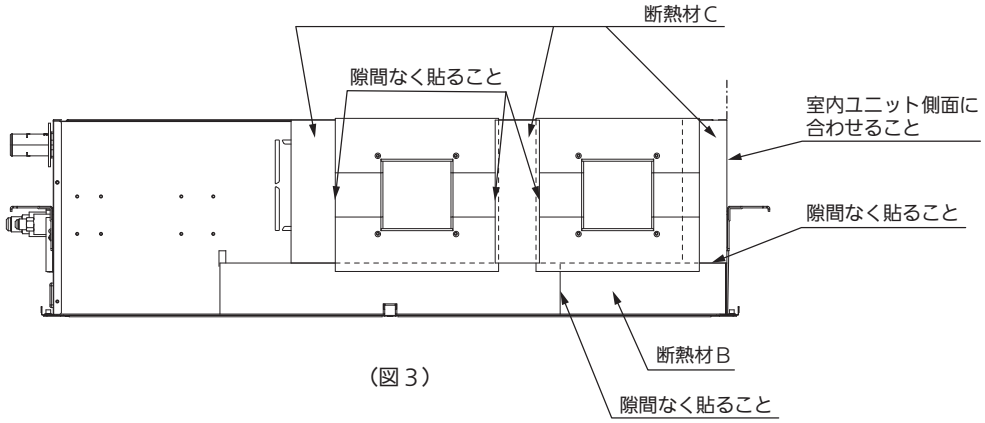
2 . 取り付けかた（22～90形のみ）

●CZ-80CFL6 には室内ユニット側面に追加する断熱材が含まれています。（結露防止のため）
下図を参照し、断熱材Ａ～Ｃを貼り付けてください。

（1）断熱材A（1 枚）を図 2 を参照して室内ユニット側面のカバー形状に合わせて貼り付けてください。
（2）断熱材Ｂ（1 枚）、断熱材Ｃ（1 枚）を図 2 ・図 3 を参照して貼り付けてください。
（3）丸合フランジに付属している断熱材を貼り付けてください。
　　貼り付けかたの詳細は、丸合フランジに付属している据付説明書を参照してください。
（4）断熱材Ｃ（2 枚）を図 2 ・図 3 を参照して貼り付けてください。



（図 2）



（図 3）

●DCファンモータータップの設定変更が必要です。
4ページ「3.ＤＣファンモータータップの設定変更」に従って、室内コントロール基板（ディップスイッチ）または
ワイヤードリモコンの設定を行ってください。

3. DCファンモータータップの設定変更

ご使用の用途、別売品に応じ、ファン回転数を設定する必要があります。（表1）
変更を行わない場合、風量減少により冷房時吹出温度が低下、露付きの原因となります。
ファン回転数を設定する方法は、（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合（2）/（3）ワイヤードリモコンで設定があります。どちらかの方法で設定してください。※ディップスイッチによる設定が優先されます。

表1　DCファンモータータップ設定表

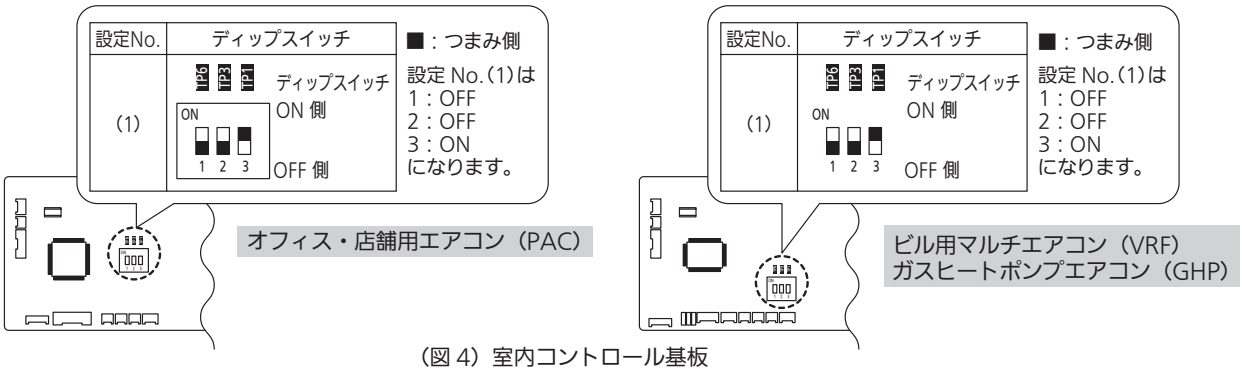
設定No.	項目コード 5D/5d の設定データ	使用用途／別売品名称 ※1
（出荷設定）	0000	標準（出荷設定）
		超ロングライフフィルター
		ロングライフフィルター
（1）	0001	高天井設定 1（標準、エコナビパネル時）
		高性能フィルター（比色法 65%）
		高性能フィルター（比色法 90%）
		しゃ風材・吹出ダクト ※2

※1. 必ず、カタログ・設備設計資料等の別売品組合表にて、組み合わせ可能な別売品を確認し選定してください。

※2 .しゃ風材と吹出ダクトは、必ず併用してください。

（1）基板上のディップスイッチを切り替えて設定する場合

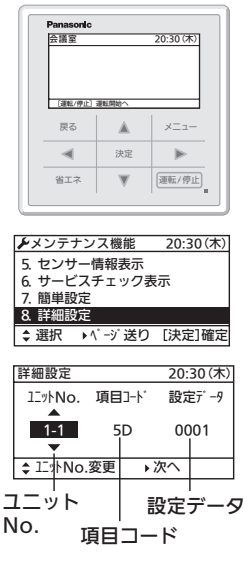
＜手順＞必ず配線用しゃ断器（ブレーカー）を切ってください。
①ご使用の用途、別売品に応じた「設定No.」を表1で確認してください。
②電装ボックスのふたを開き、室内コントロール基板を確認してください。
③表1で確認した設定Noに合わせ、室内コントロール基板上にあるディップスイッチを設定変更してください。



（図 4）室内コントロール基板

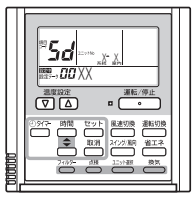
（2）ワイヤードリモコンで設定　＜CZ-10RT4シリーズの場合＞

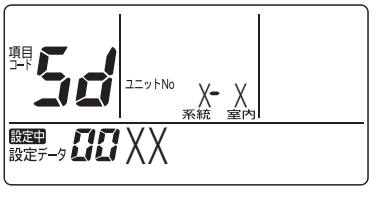
ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5Dの設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。
④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、 決定 ボタンを押してください。
⑤ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、 戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面］が表示されます。
「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。



（3）ワイヤードリモコンで設定　＜CZ-10RT3の場合＞

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード5ｄの設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。
①点検＋セット＋取消ボタンを同時に４秒間以上押します。
②ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③ 温度設定▽／△ボタンで項目コード「５ｄ」を指定します。
④ 時間▼／▲ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表１のようになっています。
⑤セット ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればＯＫ)
⑥点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ
⑦点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。





■断熱材キット
●工事説明書

Panasonic

据付工事説明書

断熱材キット

品番　CZ-80INSL6

適用室内ユニット　2方向天井カセット形　Lシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料等でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。　特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

❗
■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠注意

⃠
■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

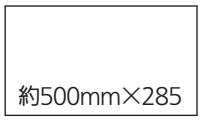
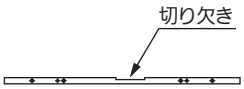
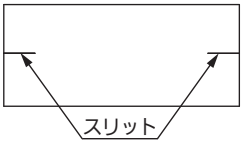
■ 使用上のご注意
- 断熱材キットは 22 ～ 160 形まで共通で使用できます。
- 断熱材キットは室内ユニット据え付け前に取り付けてください。
- 断熱材キットを使用する場合、別売品の組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
- この据付工事説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

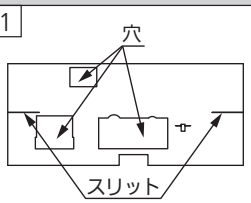
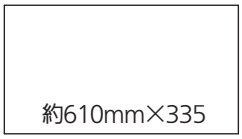
ACXF60-31375
BE0418 - 50823

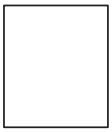
付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

●部品内容

品名	側板断熱材①	側板断熱材②	側板断熱材③	側板断熱材④
個数	4	2	2	1
形状	 ※⑧より小さい			

品名	側板断熱材⑤	側板断熱材⑥	側板断熱材⑦	天井断熱材⑧
個数	1	1	1	3
形状				 ※①より大きい

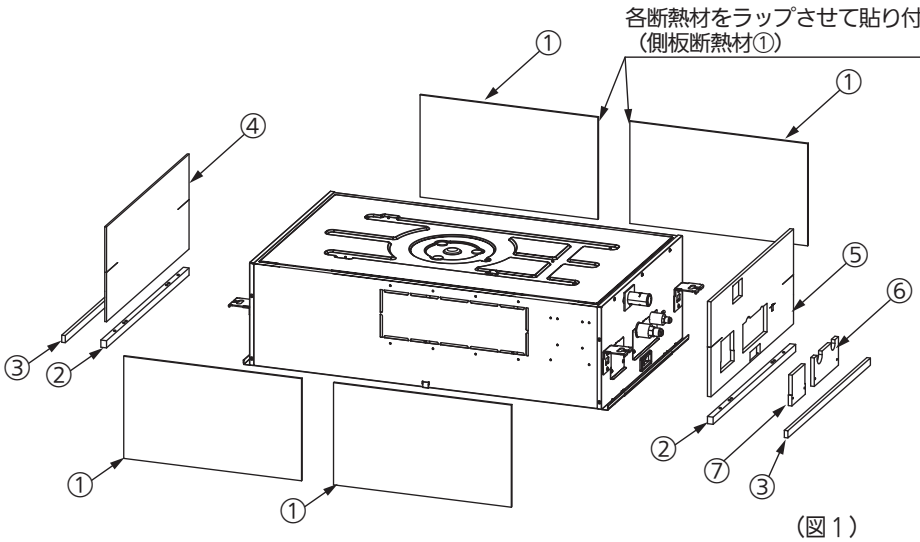
品名	吊金具断熱材⑨	据付工事説明書
個数	4	1
形状		 本説明書 お客さまに必ず渡してください

取り付けかた（22～90形）

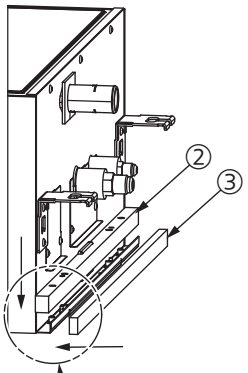
●貼付要領

＜室内ユニットを据え付ける前の作業＞
1．側板断熱材①を室内ユニットの長手面の角に合わせて貼り付けてください。（図１）
2．側板断熱材②を切り欠きを内側にして、室内ユニットの短手面のL字部分に差し込むように貼り付けてください。（図2）
3．側板断熱材③を側板断熱材②の形状に合わせて側面の金具部分を覆うように貼り付けてください。（図2）
4．側板断熱材④⑤のスリットを吊金具に合わせて貼り付けてください。（図１）
5．側板断熱材⑥⑦を金具形状に合わせて貼り付けてください。（図１）
6．天井断熱材⑧を隙間がないよう貼り付けてください。（図３）

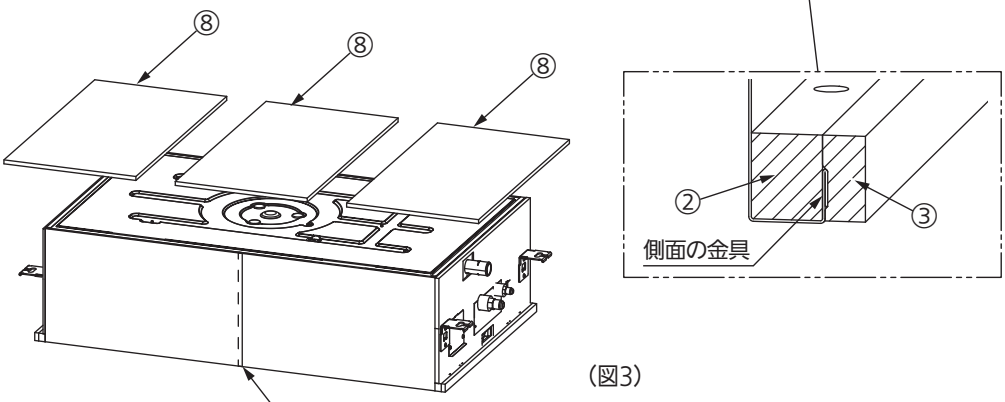
＜室内ユニットを据え付けた後の作業＞
7．吊金具断熱材⑨を図の方向で吊金具に貼り付けてください。（図４）
　※吊金具断熱材⑨は、室内ユニットを据え付けるまで保管してください。



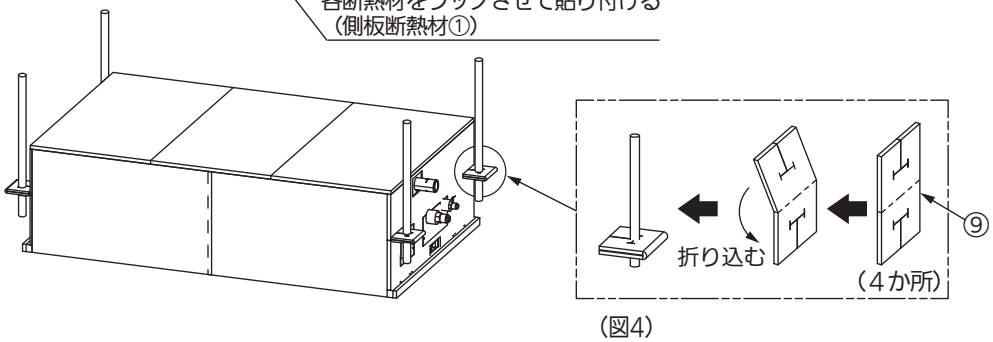
（図１）



（図２）



（図3）



（図4）

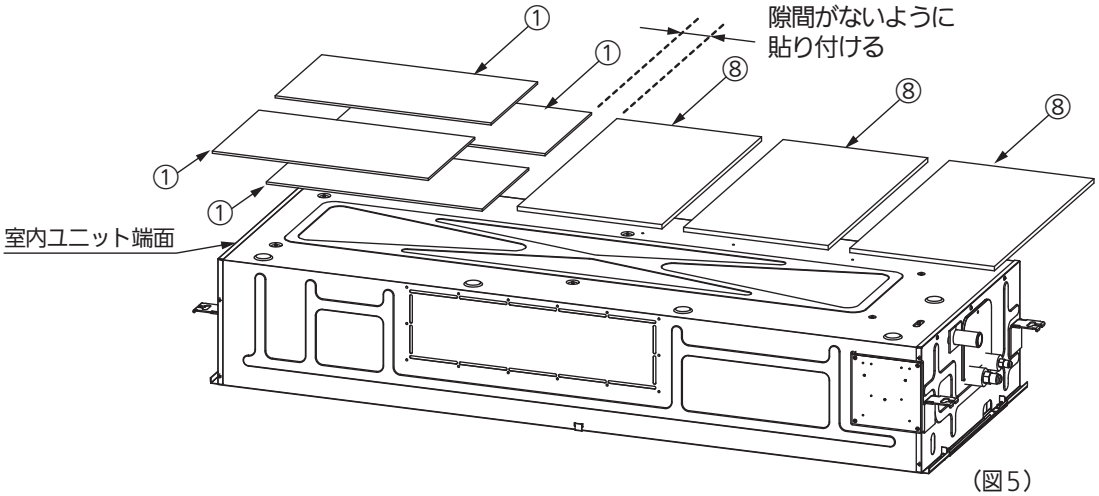
取り付けかた（112～160形）

●貼付要領

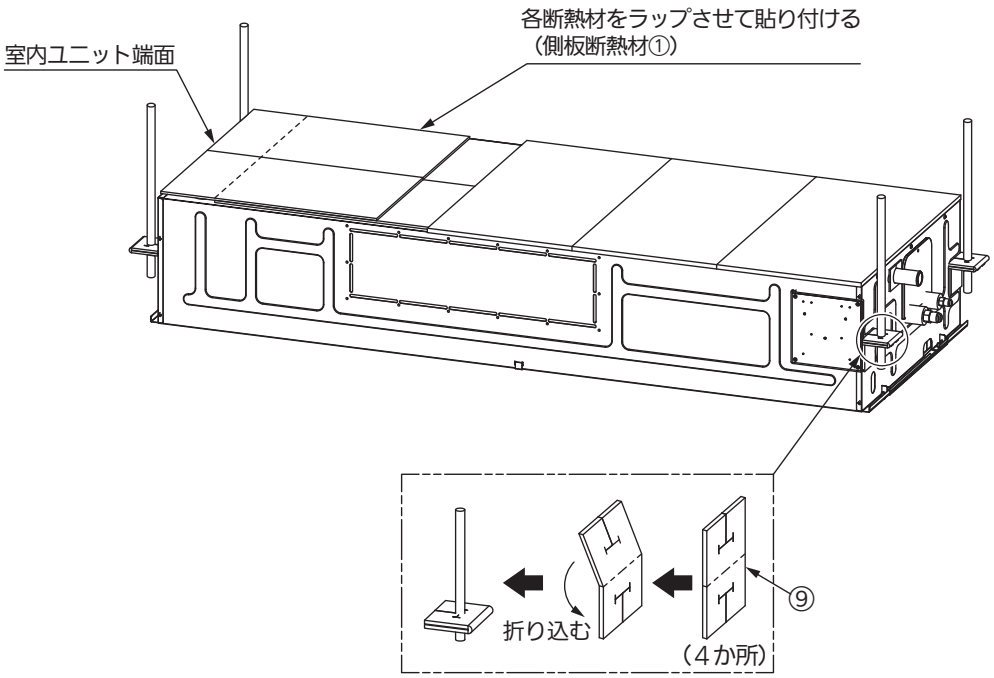
※112 ～ 160 形に取り付ける場合は、側板断熱材①と天井断熱材⑧を天面に、吊金具断熱材⑨を吊金具に貼り付けてください。それ以外の断熱材は使用しません。

＜室内ユニットを据え付ける前の作業＞
1．天井断熱材⑧を配管側から隙間がないよう貼り付けてください。（図 5）
2．側板断熱材①を天井断熱材⑧と室内ユニット端面との間に隙間がないように貼り付けてください。（図 5）

＜室内ユニットを据え付けた後の作業＞
3．吊金具断熱材⑨を図の方向で吊金具に貼り付けてください。（図 6）
※吊金具断熱材⑨は、室内ユニットを据え付けるまで保管してください。



（図5）



（図6）

●天井パネル (CZ-01KPD3A、CZ-01KPD3A-T)
■取付説明書

品番
CZ-01KPD3A
CZ-01KPD3A-T

85464369374000

取 付 説 明 書

● 電気配線工事は、別紙「電気工事担当のかたへ」の説明にしたがってください。

安全上のご注意

■ 据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告　取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠ 注意　取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

● 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認すると共に“取扱説明書”にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また“据付工事担当のかたへ”、“電気工事担当のかたへ”は、“取扱説明書”と共に、お客様で保管頂くように依頼してください。

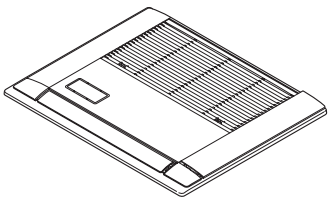
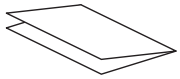
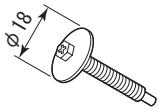
⚠ 警　告

- 据付、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 据付工事は、“据付工事担当のかたへ”“電気工事担当のかたへ”に従って確実に行ってください。据え付けに不備があると、冷媒漏れ、水漏れ、感電、火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および“据付工事担当のかたへ”“電気工事担当のかたへ”に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電気回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 据え付けは、重量にじゅうぶん耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注　意

- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

構成部品

品名	天井パネル	取付説明書	座付ねじ	ビ　ス
個数	1	1	4　M5X40	2　4X12
形状		 取付説明書	 天井パネル固定用	サイドパネル固定用

1. 天井パネル取付前の準備

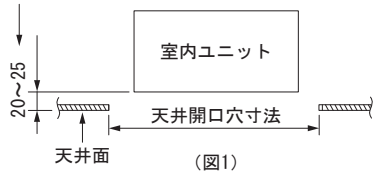
(1) 室内ユニット位置の確認

①天井開口穴が下記寸法であるか確認します。
730㎜×590㎜
※詳細は室内ユニットに付属の据付説明書を参照してください。

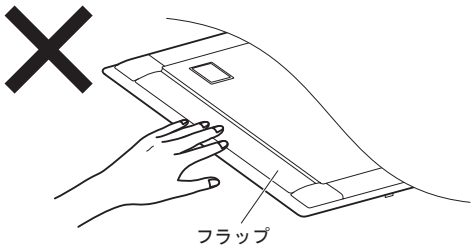
②天井面と室内ユニットの位置が図1のようになっているか確認します。天井面と室内ユニットの位置が合わないと風漏れや水漏れおよびフラップの作動不良等の原因となります。

- パネルを下向きに置くことや、立掛け、突起物の上への放置は表面に傷がつきますので絶対にしないでください。
- フラップに無理な力を加えないでください。
（フラップの故障の原因となります）。

必ず20～25の範囲内とすること。
この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。



（図1）

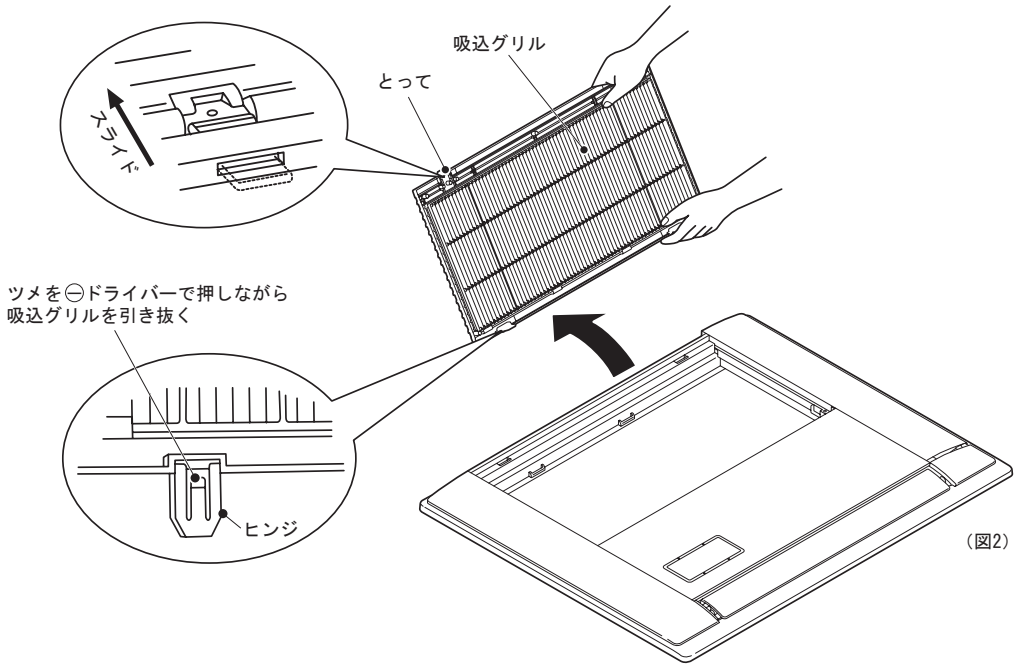


2. 室内ユニットへの取り付けかた

(1) 吸込グリルの取りはずし

吸込グリル取りはずし

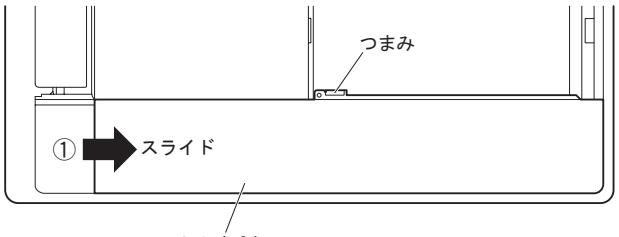
吸込グリルのとって（2ヵ所）を矢印方向にスライドし、吸込グリルを開いてください。（図2）
吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジ（2ヵ所）のツメ部を㊀ドライバーで押して吸込グリルを引き抜いてください。（図2）



（図2）

(2) サイドパネルの取りはずし

サイドパネルのつまみをもって矢印①の方向へスライドし、取りはずします。（左右2ヵ所）（図3）



（図3）

(3) 天井パネルの取り付け

● 天井パネル両サイドに付いている仮掛け金具を室内ユニットに引っ掛けます。仮掛け金具は片側が固定式、もう一方が可動式となっています。（図4）

①パネルをやや斜めにしてパネルの固定金具を室内ユニット側面の仮掛け受け部に引っ掛けます。

②固定金具が掛かっていることを確認したらパネルのもう一方を天井パネルが水平になるように押し上げ、可動金具が室内ユニットの仮掛け受け部に掛かるまで押し上げてください。

③天井パネル両側の仮掛け金具が室内ユニットに確実に掛かっていることを確認してください。
確実に掛かっていないと、パネルが落下する場合があります。
これでパネルが室内ユニットに仮掛けされています。

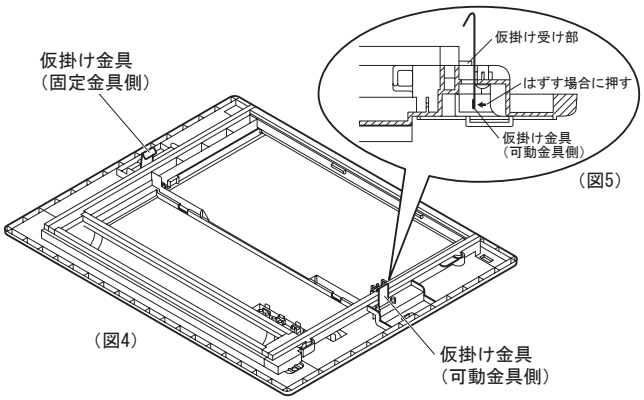
● はずす場合は天井パネルを支えながら可動金具を内側に押してください。（図5）

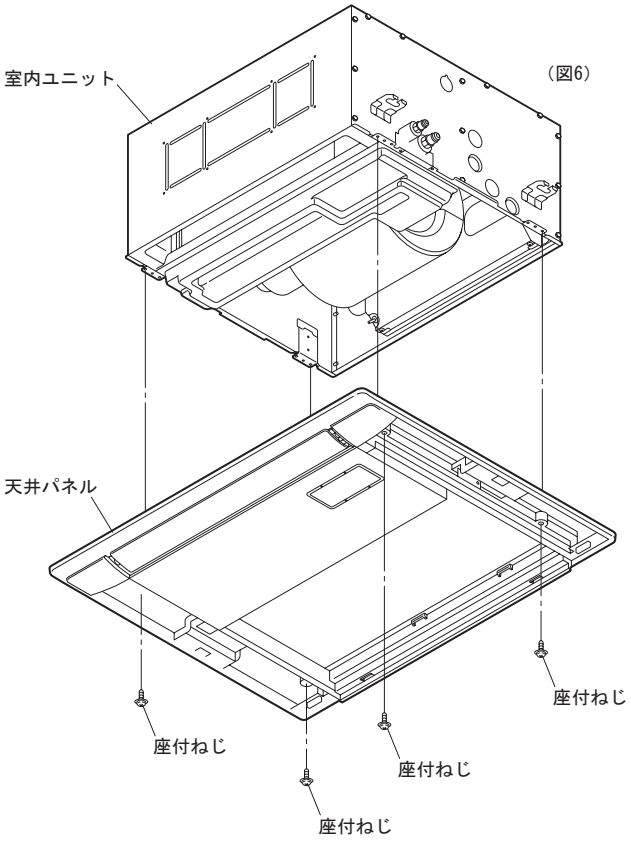
④パネルの取付穴と室内ユニット側のねじ穴を合わせます。

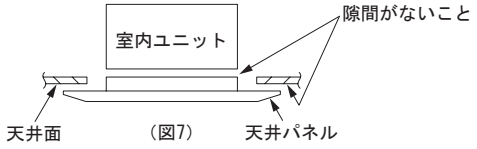
⑤付属の座付ねじでパネル取付部の4ヵ所を室内ユニットに密着するまで締め込みます。（図6）

⑥パネルが天井に密着したことを確認します。

● この時、室内ユニットと天井パネル、および天井パネルと天井面との間に隙間がないようにしてください。（図7）

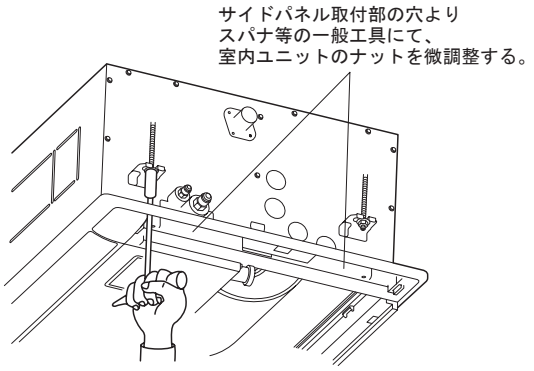






● 天井との隙間が生じた場合、天井パネルを取り付けたまま、室内ユニットの据え付け高さを微調整し、天井との隙間を無くしてください。（図8）

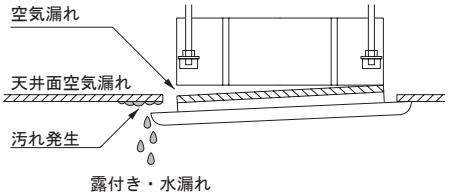
● 室内ユニットの水平度、ドレン配管等に影響がでない程度であれば天井パネルのサイドパネル取付部の穴より天井パネルを付けたまま室内ユニットの高さ調整ができます。（図8）



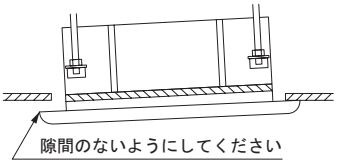
（図8）

ご 注 意

● ねじの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。



● ねじを締め込んでも天井面と天井パネルとの間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。

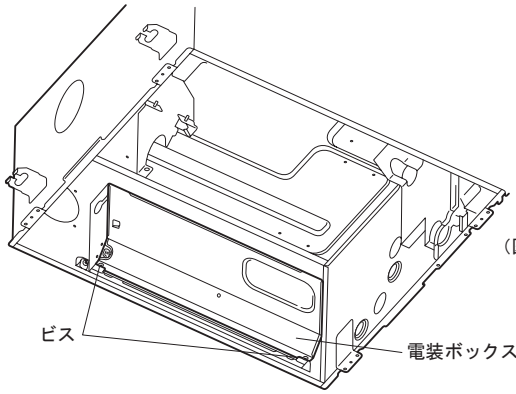


(4) 天井パネルの配線方法

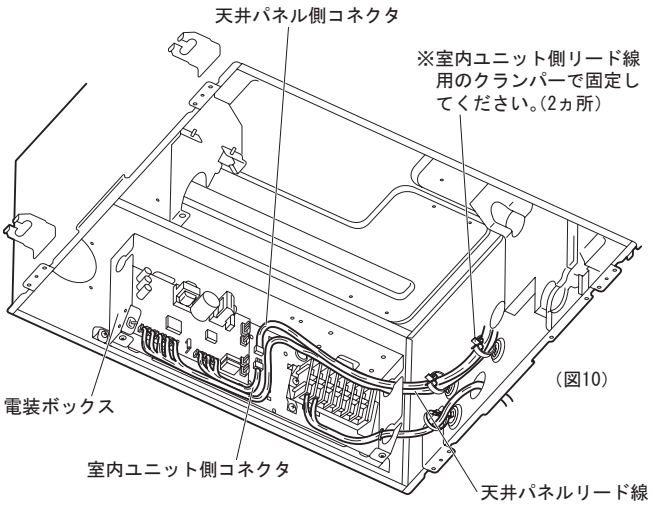
①電装ボックスのふたのビス2本をゆるめて取りはずしてください。（図9）

②天井パネルから出ている配線コネクタ7P（赤）を室内ユニット側リード線クランパー（2ヵ所）で固定してから室内ユニットの電装ボックス内のコネクタ7P（赤）に接続してください。（図10）

- コネクタを接続しないと、リモコンに“P09”が表示され、オートフラップが動作しないので、確実に接続してください。
- 配線コネクタが電装ボックスとふたの間にはさみ込んでいないことを確認してください。
- 配線コネクタが室内ユニットと天井パネルの間にはさみ込んでいないことを確認してください。



（図9）



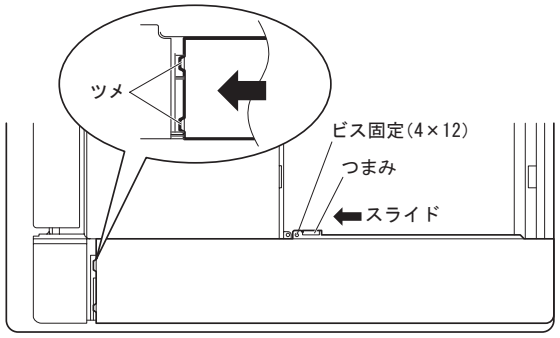
（図10）

(5) サイドパネル・吸込グリルの取り付け

A. サイドパネルの取り付け

①サイドパネルのつまみを持って矢印の方向へスライドし、サイドパネルを取り付けます。（図11）

②サイドパネルを天井パネルに、付属のビス（4×12）で取り付けてください。

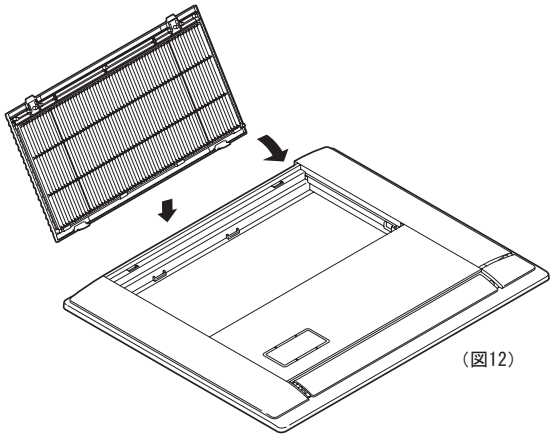


サイドパネルのツメを天井パネルに引っ掛けるように
スライドして取り付けたのち、付属のビス(4×12)で固定して下さい。

（図11）

B. 吸込グリルの取り付け

- 取付方法は吸込グリルの取りはずしの項を逆に作業を行ってください。（図12）
- 吸込グリルを取り付ける際、フラップのリード線をはさみ込まないよう注意してください。（図12）


（図12）

3. その他

A. 据え付け後の確認

- 室内ユニットと天井パネル、および天井パネルと天井面に隙間のないことを再確認します。
  ※隙間があると水漏れや露付きの原因となります。
- 配線接続が確実にされていることを確認します。
  ※接続されてないとオートフラップが動かない（リモコンに“P09”の表示が出ます）、また水漏れや露付き等の原因となります。

B. ワイヤレスリモコン対応の場合

- 取付方法の詳細は、別売品ワイヤレスリモコン本体組込受信部タイプに付属の据付説明書を参照してください。

上記項目を確認した後、この説明書と室内ユニットおよび別売部品の説明書等の一式全てをお客様へ渡してください。
その際、室内ユニットの取扱説明書に記載されたフィルターの清掃について必ずお客様へ説明してください。

●アンモニア脱臭フィルター（AFT-DSA40B-AM）

■仕様

名　称			アンモニア脱臭フィルター	
品　番			AFT-DSA40B-AM	
適用室内ユニット			22・28形	36形
初期風量		m^3/min	8.6	9.4
最終風量		m^3/min	5.9	6.8
初期圧損		Pa	18.4	23.4
最終圧損		Pa	59.6	71.7
脱臭性能	初期脱臭性能		90%(JEM1467準拠)(アンモニアのみ)	
	交換目安		約６ヶ月	
集塵性能	初期集塵性能		比色法　65%	
	交換目安		1800時間(600時間毎にフィルター掃除を行なった場合)	
使用濾材			除塵シート(帯電ポリプロピレン) アンモニア脱臭抗菌シート(難燃性塩ビ系繊維+アンモニア吸着材+抗菌剤)	
フィルター外形寸法	幅	mm	445	
	奥行	mm	225	
	厚み	mm	15	
	質量	kg	0.58	
グリル取付フィルター用金具		品番	STK-DFSA40B	

注記

(1) アンモニア脱臭フィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。これを防止するため、グイル取付フィルター用金具の取付説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。(取付説明書参照)

(2) 初期脱臭性能、交換目安は、JEM1467に準拠して算出した値を示します。フィルター交換時期は、現場条件により異なりますのでご注意ください。

(3) アンモニア脱臭フィルターを組み込む場合は、グリル取付フィルター用金具が必要ですのでご用意ください。

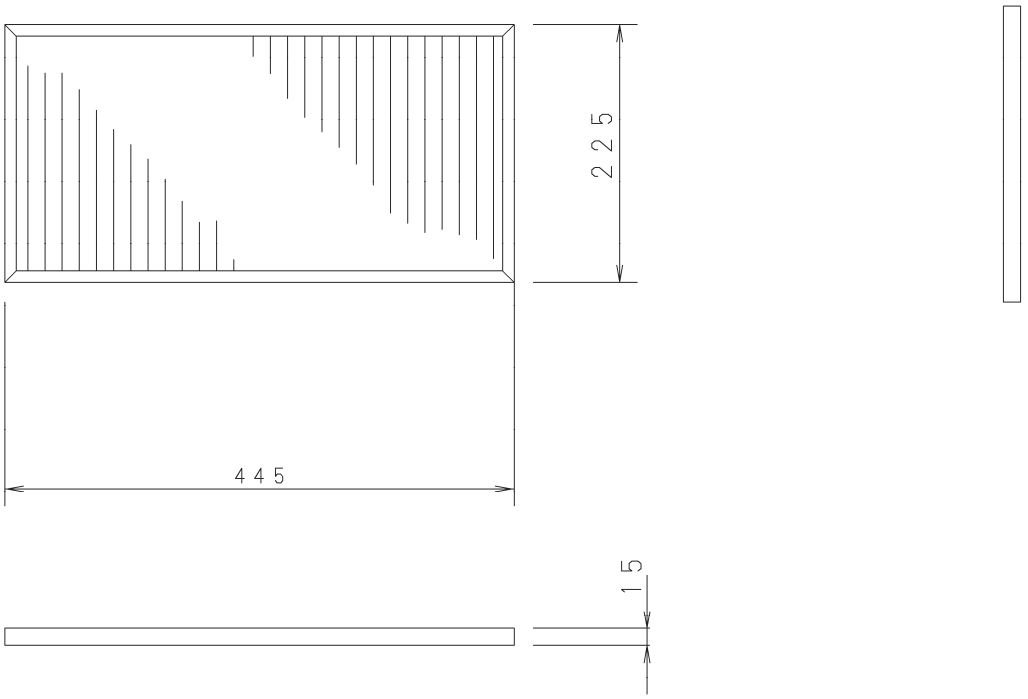
(4) 吸込グリル付属のエアーフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。

(5) 風量・圧損・保塵量・寿命は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。

(6) フィルターは２ヶ月に一度掃除を行なってください。(取付説明書参照)

■外形寸法図

フィルター品番	個数
AFT-DSA40B-AM	1



■取付説明書

85465759518000

●1方向天井カセット形

デオドラントフィルター（形名：AFT-DSA40B）
アンモニア脱臭フィルター（形名：AFT-DSA40B-AM）

ご注意

●ご使用になるまでフィルターを開封しないでください。
（デオドラントフィルター、アンモニア脱臭フィルターの寿命が短くなります。）
●フィルターの交換方法はこの用紙の裏面を参照してください。
●デオドラントフィルター、アンモニア脱臭フィルターの取り付けには、専用の取付金具（STK-DFSA40B）が必要です。
●この説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管しておいてください。

仕　様

フィルター形名	デオドラントフィルター　AFT-DSA40B	アンモニア脱臭フィルター　AFT-DSA40B-AM
初期脱臭性能	75%（JEM1467準拠）	90%（JEM1467準拠）〈アンモニアのみ〉
集塵効率	比色法65%	
取付金具	STK-DFSA40B	
適合天井パネル	標準パネル　PNR-SA40B, PNR-SA40B（T）	
交換目安	1800時間	

フィルターの交換時期

●交換時期は、使い方や使用場所により異なりますが、6ヵ月～１年に１回が目安です。
（2ヵ月に一度、フィルター表面の掃除を行なってください。掃除方法は裏面を参照してください。）

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること」を示します。
⚠ 注意	「誤った取り扱いをすると人が傷害[※1]を負う可能性、または、物的損害[※2]のみが発生する可能性があること」を示します。

※1：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※2：物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害をさします。

図記号	図記号の意味
	禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

⚠ 警告

●フィルターが入っているポリ袋は幼児の手が届くところに置かないこと
頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ、窒息し、死亡する恐れがあります。

禁止

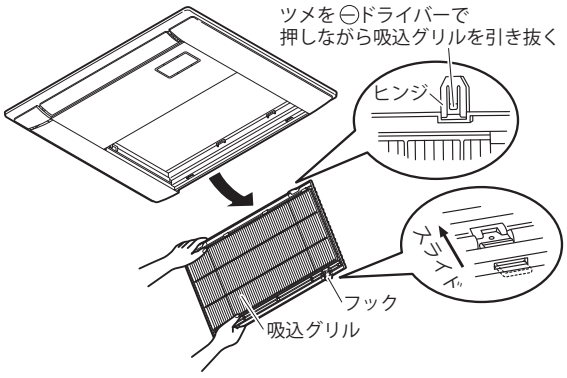
⚠ 注意

●吸込グリルはパネル本体に確実に取り付けること
取り付けが不完全な場合は、吸込グリルの落下により、けがの原因になります。

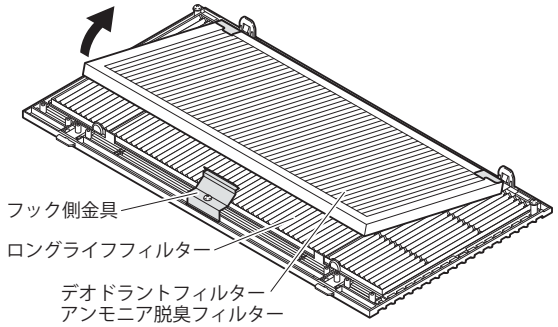
強制

フィルター交換のしかた

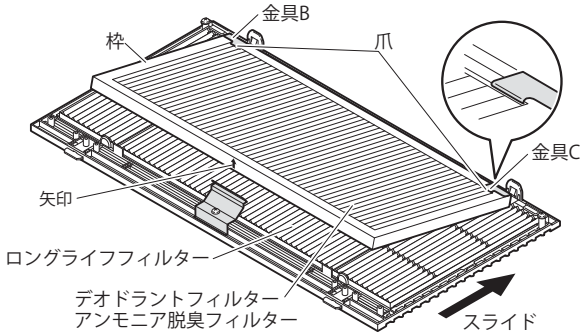
1. 吸込グリルのフック（2ヵ所）を矢印方向にスライドし、吸込グリルを開いてください。
吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジ（2ヵ所）のツメ部を⊖ドライバーで押して吸込グリルを引き抜いてください。



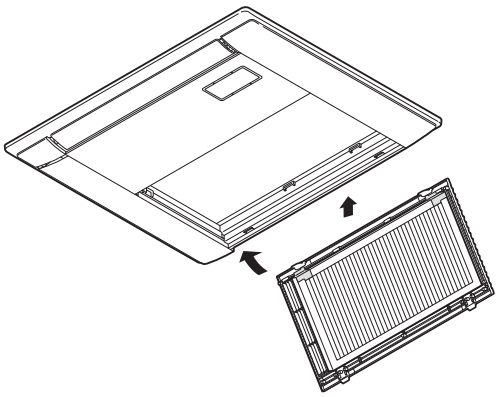
2. 使用済のフィルターをフック側の金具の爪からはずし、そのまま回転させながらヒンジ側に倒すと、ヒンジ側の金具の爪からはずれます。このとき、あわせてロングライフフィルターの掃除をおすすめします。ロングライフフィルターの掃除については、お使いの室内ユニットに付属されている取扱説明書をごらんください。



3. 交換用のフィルターを袋から出し吸込グリルに取り付けます。
取り付けるフィルターを図のようにスライドさせながらフィルターの枠を金具B､Cの爪に引っかけます。フィルターの枠に貼り付けてあるラベルに風の流れる方向を示す矢印が書かれています。矢印が上を示すように取り付けてください。



4. 吸込グリルをパネルに取り付けます。
取付方法は吸込グリルの取り外しの項を逆に作業を行ってください。
吸込グリルを取り付ける際、フラップのリード線をはさみ込まないよう注意してください。

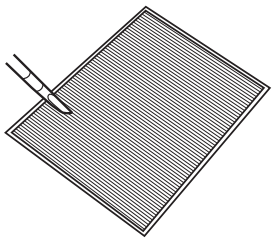


フィルターの掃除

●2ヵ月に一度は掃除をしてください。

1.「フィルター交換のしかた」を参照してフィルターを取り出してください。

2. ホコリを掃除機で吸い取ってください。



3. フィルターを取り付けてください。

お願い

●このフィルターは洗って再使用することができません。
●取付金具を吸込グリルから取りはずさないでください。

●光再生脱臭フィルター（CZ-02FDDM3）

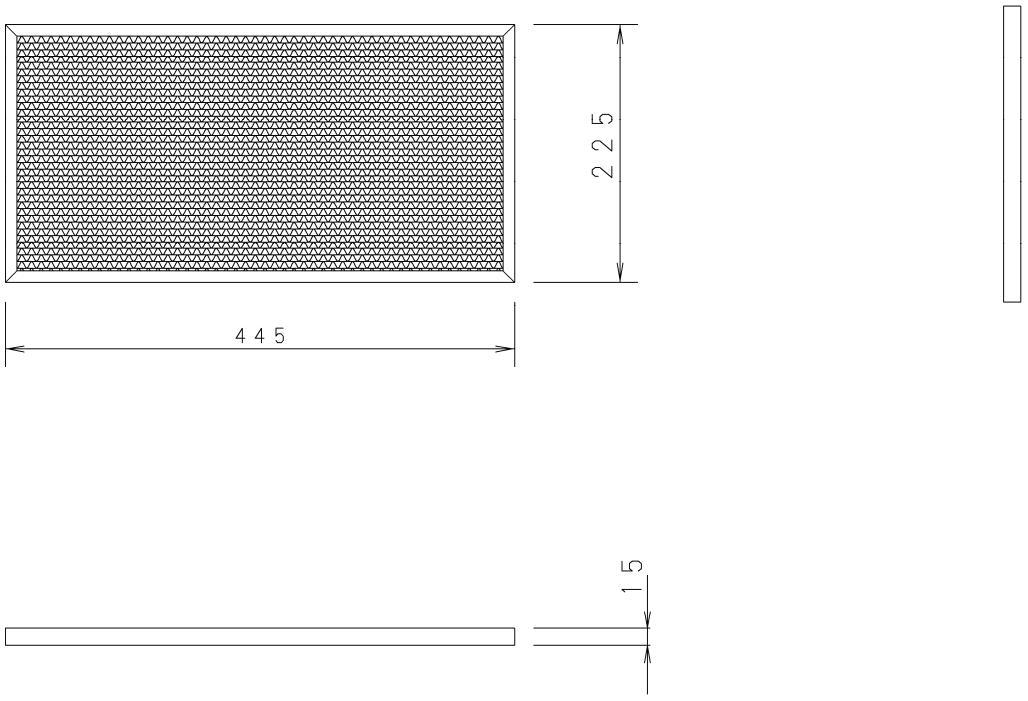
■仕様

名　称			光再生脱臭フィルター	
品　番			CZ-02FDDM3	
適用室内ユニット			22・28形	36形
初期風量		m^3/min	8.1	9.2
最終風量		m^3/min	5.9	6.9
初期圧損		Pa	5.9	7.8
最終圧損		Pa	35.3	45.5
脱臭性能	初期脱臭性能		70%(JEM1467準拠)	
	再生目安		約６ヶ月(天日干しによる再生で約６年使用可能)	
使用濾材			難燃性塩ビ系不織物(光触媒性酸化チタン、特殊ゼオライト含有)	
フィルター外形寸法	幅	mm	445	
	奥行	mm	225	
	厚み	mm	15	
	質量	kg	0.58	
グリル取付フィルター用金具		品番	STK-DFSA40B	

注記
(1) 光再生脱臭フィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
これを防止するため、グリル取付フィルター用金具の取付説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
(取付説明書参照)
(2) 初期脱臭性能、再生目安は、JEM1467に準拠して算出した値を示します。
(3) 光再生脱臭フィルターを組み込む場合は、グリル取付フィルター用金具が必要ですのでご用意ください。
(4) 吸込グリル付属のエアーフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。
(5) 風量・圧損・保塵量・寿命は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。
(6) フィルターは２ヶ月に一度掃除を行なってください。(取付説明書参照)天日干しにより脱臭性能の再生が可能です。
再生を行なうことにより約６年使用が可能となります。(６ヶ月毎に再生の場合)

■外形寸法図

フィルター品番	個数
CZ-02FDDM3	1



■取付説明書

8546575951700 0

●1方向天井カセット形

光再生脱臭フィルター（形名：CZ-02FDDM3）

ご注意

●ご使用になるまでフィルターを開封しないでください。
（光再生脱臭フィルターの寿命が短くなります。）
●フィルターの交換方法はこの用紙の裏面を参照してください。
●光再生脱臭フィルターの取り付けには、専用の取付金具（STK-DFSA40B）が必要です。
●この説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管しておいてください。

仕　様

フィルター品番	光再生脱臭フィルター　CZ-02FDDM3
初期脱臭性能	70%（JEM1467準拠）
取付金具	STK-DFSA40B
適合天井パネル	標準パネル CZ-01KPD3A/3A-T
再生目安	約6ヶ月

フィルターの再生時期

●再生時期は、使い方や使用場所により異なりますが、約6ヶ月に１回が目安です。

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること」を示します。
⚠ 注意	「誤った取り扱いをすると人が※1軽傷を負う可能性、または、物的損害のみが発生する可能性があること※2」を示します。

※1：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※2：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号	図記号の意味
⃠	禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
❗	強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

⚠ 警告

●フィルターが入っているポリ袋は幼児の手が届くところに置かないこと
頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ、窒息し、死亡する恐れがあります。

禁止

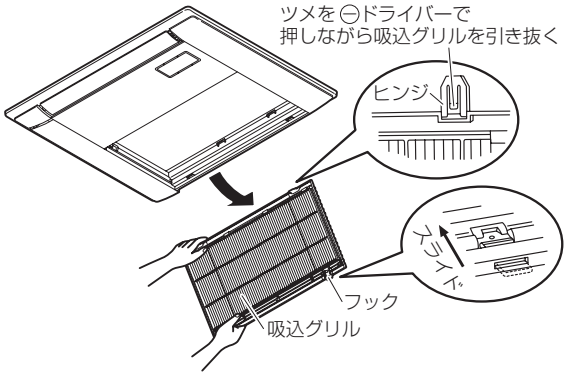
⚠ 注意

●吸込グリルはパネル本体に確実に取り付けること
取り付けが不完全な場合は、吸込グリルの落下により、けがの原因になります。

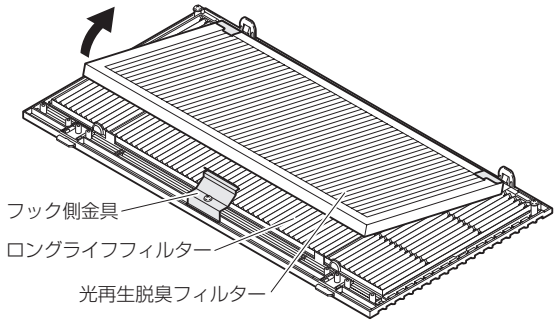
強制

フィルター交換のしかた

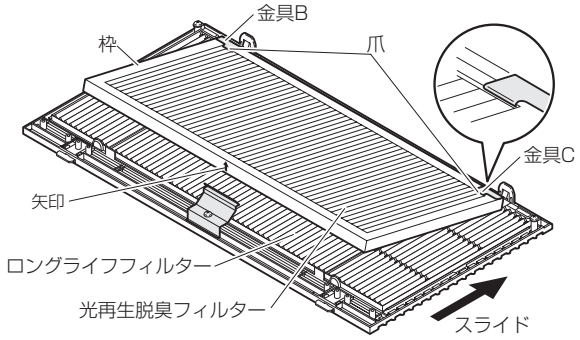
1. 吸込グリルのフック（2ヵ所）を矢印方向にスライドし、吸込グリルを開いてください。
   吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジ（2ヵ所）のツメ部を⊖ドライバーで押して吸込グリルを引き抜いてください。



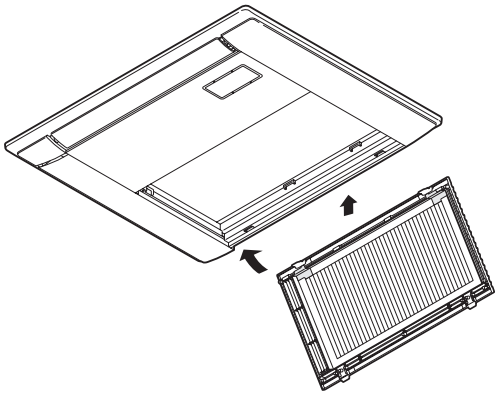
2. 使用済のフィルターをフック側の金具の爪からはずし、そのまま回転させながらヒンジ側に倒すと、ヒンジ側の金具の爪からはずれます。このとき、あわせてロングライフフィルターの掃除をおすすめします。ロングライフフィルターの掃除については、お使いの室内ユニットに付属されている取扱説明書をごらんください。



3. 交換用のフィルターを袋から出し吸込グリルに取り付けます。
   取り付けるフィルターを図のようにスライドさせながらフィルターの枠を金具B､Cの爪に引っかけます。フィルターの枠に貼り付けてあるラベルに風の流れる方向を示す矢印が書かれています。矢印が上を示すように取り付けてください。



4. 吸込グリルをパネルに取り付けます。
   取付方法は吸込グリルの取り外しの項を逆に作業を行ってください。
   吸込グリルを取り付ける際、フラップのリード線をはさみ込まないよう注意してください。

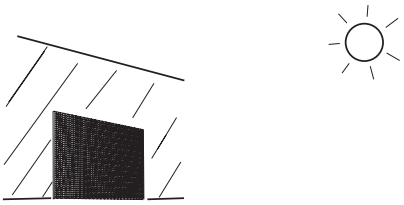


フィルターの掃除

●6ヵ月に一度は掃除をしてください。

1.「フィルター交換のしかた」を参照してフィルターを取り出してください。

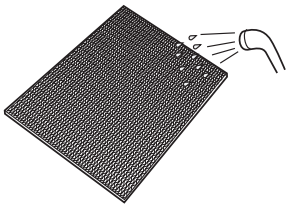
2. フィルターを軽くたたくなどしてホコリを落とし、6時間以上天日干ししてください。



3. フィルターを取り付けてください。

フィルターを水洗いする場合

フィルターを天日干しできるところに水平に置き、シャワーなどの流水で水洗いをしてください。
水洗いをしたあとは、そのまま乾くまで放置してください。このときも 6時間以上天日干ししてください。

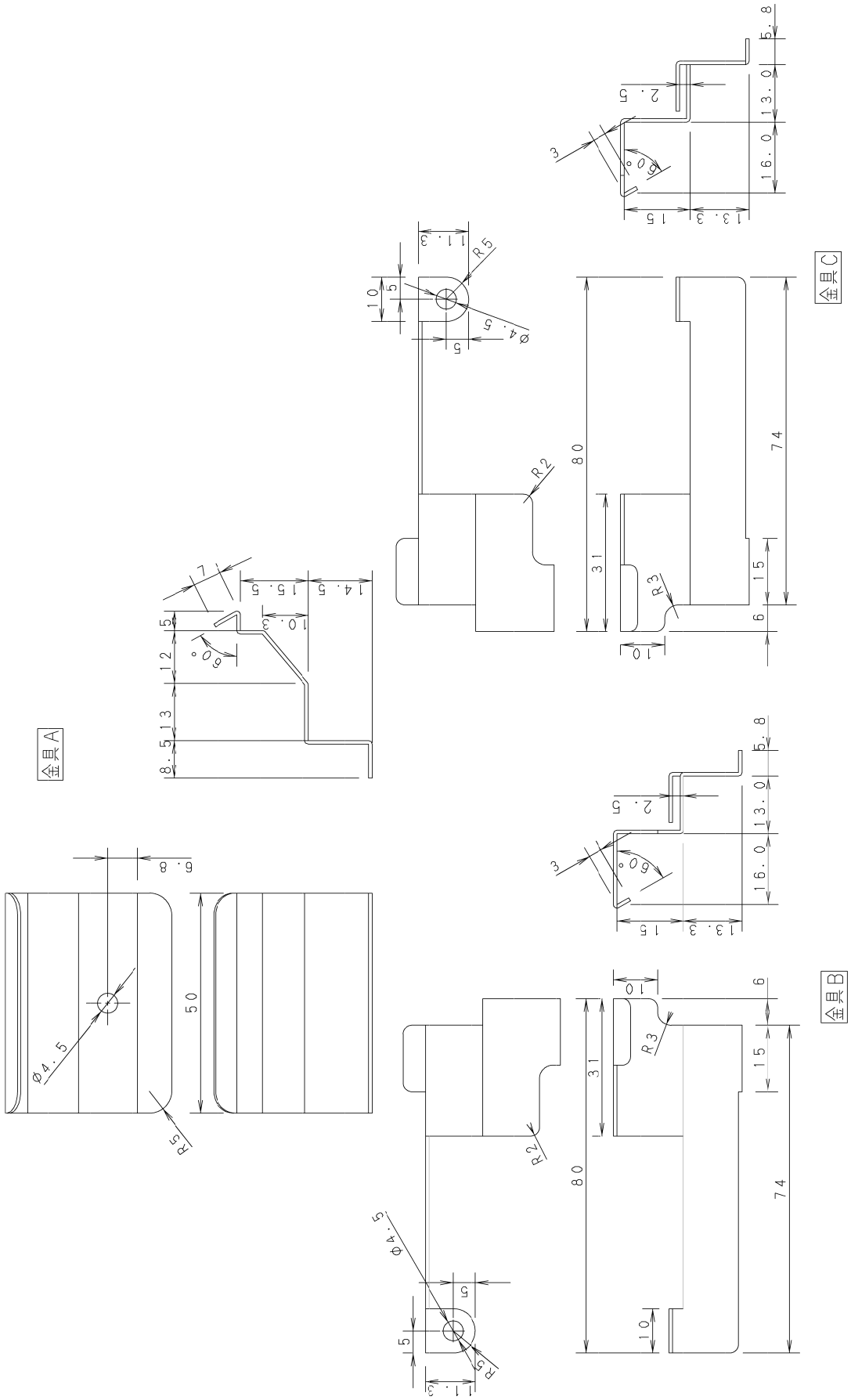


ご注意
フィルターを水に濡れたまま取り扱うとフィルターが破損するおそれがあります。

お願い
●取付金具を吸込グリルから取りはずさないでください。

●グリル取付フィルター用金具 (STK-DFSA40B)

■外形寸法図

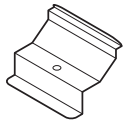
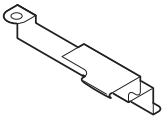
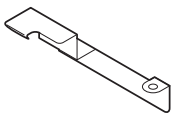
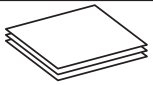
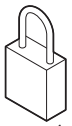


■取付説明書

8546435986 1001

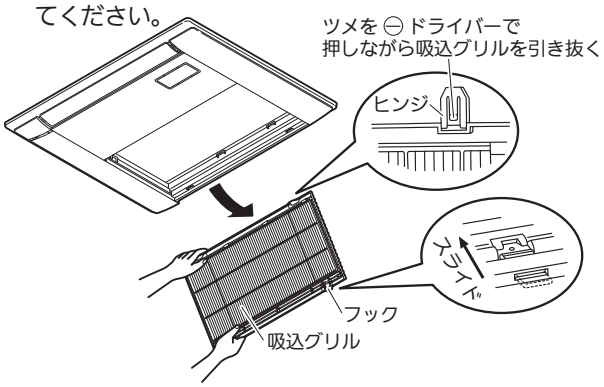
フィルター金具　取付説明書　品番：STK-DFSA40B

1.付属品　付属品は取付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

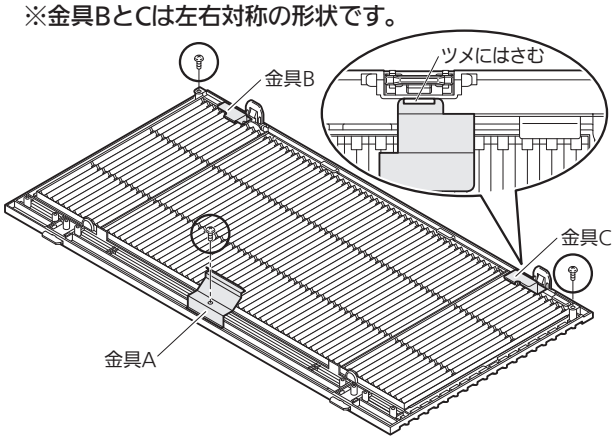
金具A　1個	金具B　1個	金具C　1個	ネジ　3個	取付説明書　各1枚	短絡用コネクタ
				 本説明書 DCファンタップ変更手順 試運転 補足	 （2P黄色）

2.取り付けかた

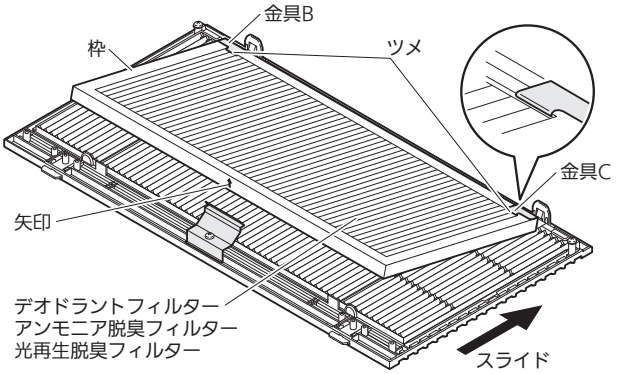
① パネルから吸込グリルを取りはずします。
吸込グリルのフック（2か所）を矢印方向にスライドし、吸込グリルを開いてください。
吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジ（2か所）のツメ部を⊖ドライバーで押して吸込グリルを引き抜いてください。



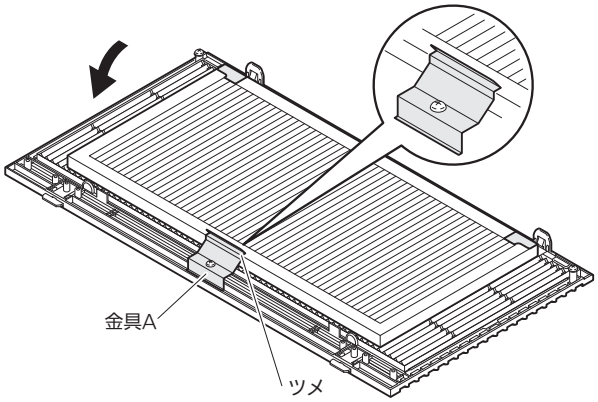
② 金具A、B、Cを図の位置に付属のネジで取り付けます。
※金具BとCは左右対称の形状です。



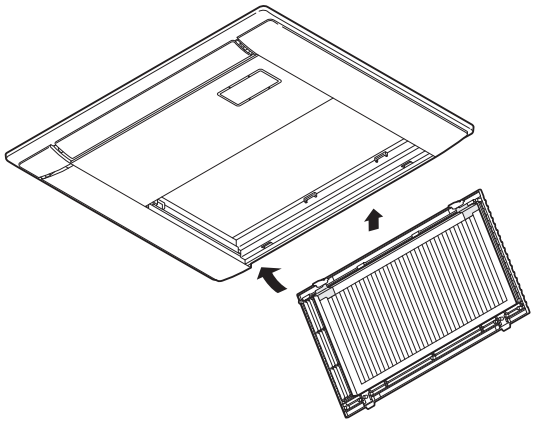
③ 取り付けるフィルターを図のようにスライドさせながらフィルターの枠を金具B、Cのツメに引っかけます。
フィルターの枠に貼り付けてあるラベルに風の流れる方向を示す矢印が書かれています。矢印が上を示すように取り付けてください。



④ 取り付けたフィルターをロングライフフィルターと水平になるように倒して、金具Aのツメに引っかけます。



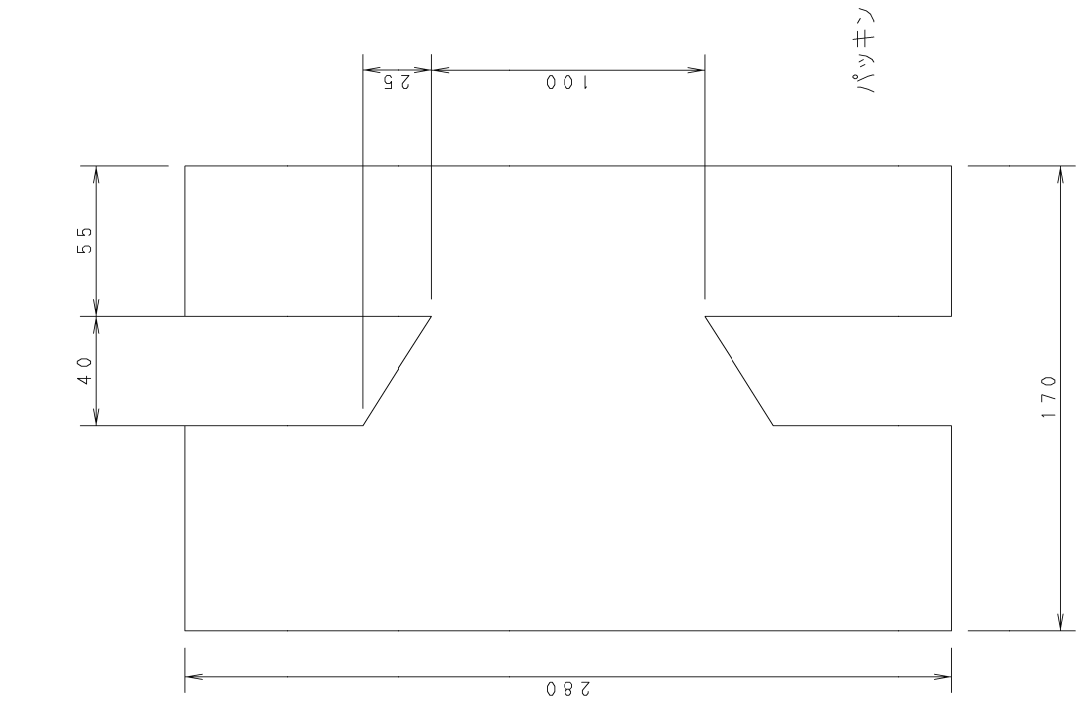
⑤ 吸込グリルをパネルに取り付けます。
取付方法は①吸込グリルの取りはずしの項を逆に作業を行ってください。
吸込グリルを取り付ける際、フラップのリード線をはさみ込まないよう注意してください。

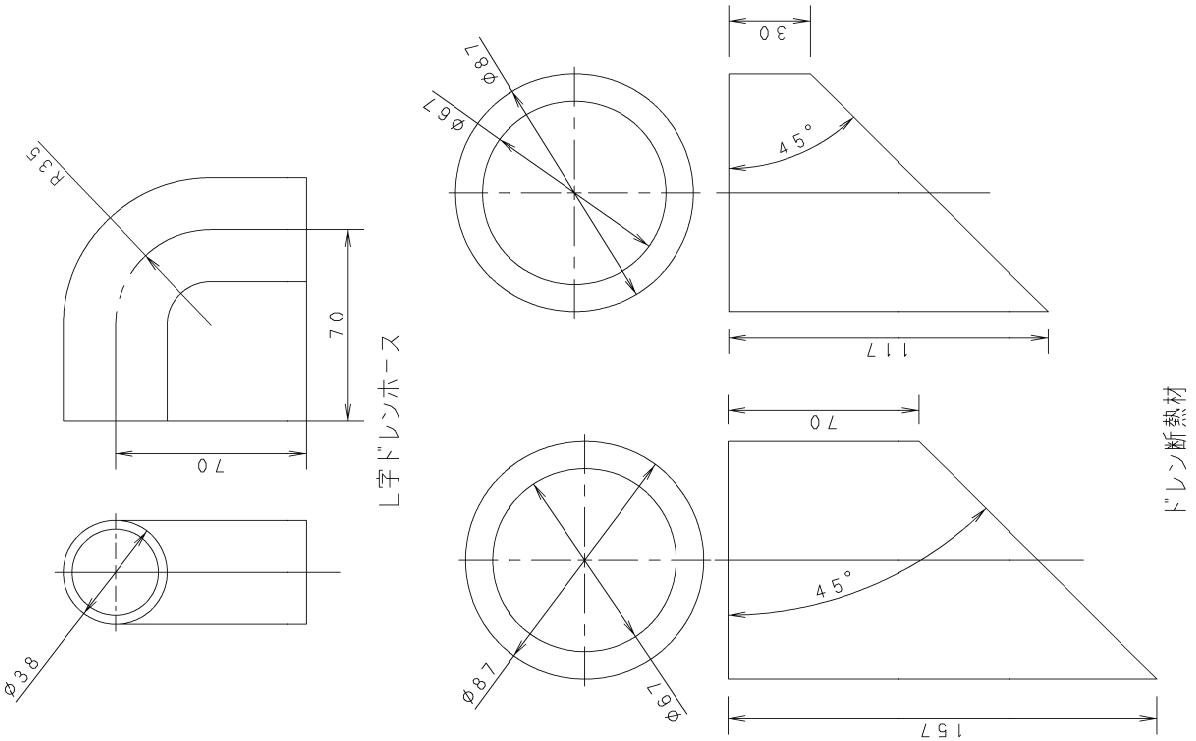


⑥ ワイヤードリモコン、または室内基板（付属短絡コネクター使用）にてDCファンタップの設定変更を行なってください。
（設定方法は別紙説明書に従って行ない、光再生脱臭フィルターの場合は設定Noを“1”に、デオドラントフィルター、アンモニア脱臭フィルターの場合は設定Noを“3”に合わせてください。）
※設定を行なわない場合、風量減少、露付きの原因となります。

●L字ドレン配管キット（DP-LDSA40B）

■外形寸法図



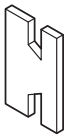
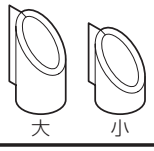
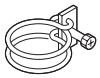
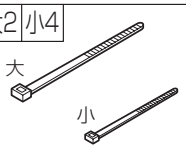
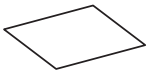


■取付説明書

8546435986 2000

L字ドレン配管キットの取り付けかた

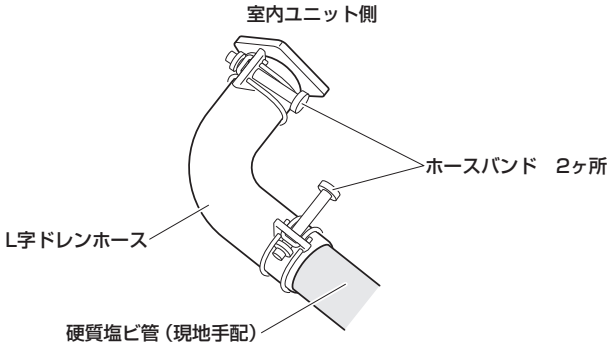
1.構成部品

L字ドレンホース	パッキン	ドレン断熱材	ホースバンド	クランパー	取付説明書
1	1 	各1 	2 	大2 小4 	1 

2.取り付けかた

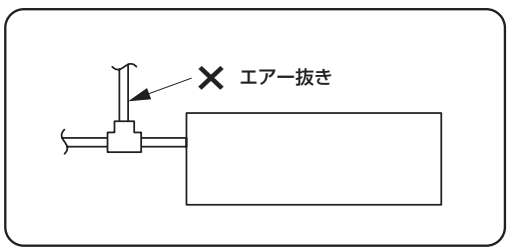
L字ドレン配管は、本説明書に従って確実に排水するよう配管し、結露が生じないよう保温してください。配管工事に不備があると水漏れし、家財等を濡らす原因になることがあります。

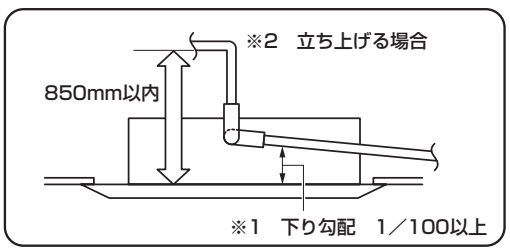
① **室内ユニット排水口にL字ドレンホースを接続し、ホースバンドで固定してください。**
塩ビ配管側は、VP25用ソケットおよび硬質塩ビパイプ一般管、呼び径25mm、外形32mmのパイプをホースバンドで固定してください。

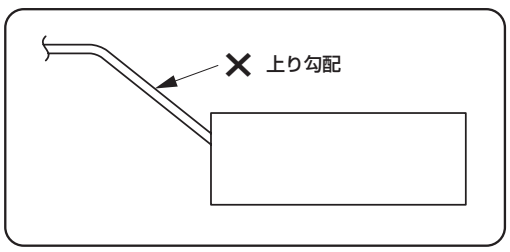


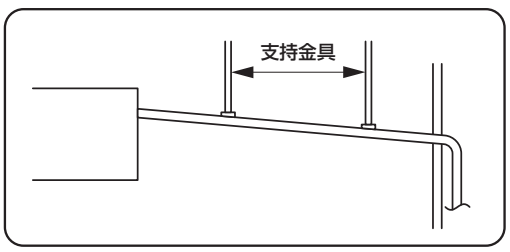
⚠ 注意

- ドレン接続口には、接着剤は使用しないでください。
- L字ドレンホースは、室内ユニット排水口の根元まで挿入してから、ホースバンドでしっかり締めてください。
- ホースバンドの締付位置は必ず上側にしてください。
- ドレン配管は必ず下り勾配（1／100以上）とし、トラップの出来ないようにしてください。※1
- L字ドレンホースを立ち上げる場合は、垂直にして使用してください。※2
- ドレン配管高さを高くしたい場合は、天井下面より850mmを限度としてあげることができます。
  絶対に850mm以上にしないでください。水漏れの原因になります。
- 室内ユニット排水口（透明）部にて、ドレン排水の確認をしてください。
- ドレン配管は必ず断熱してください。
- エアー抜き管は絶対に付けないでください。ドレン水が吹き出ることがあります。
- 自然排水はしないでください。
- 接続口より上り勾配で絶対に配管しないでください。室内ユニット停止時ドレン水が逆流して水漏れの原因になります。
- ドレン配管を接続する場合、室内ユニット側の配管に力を加えないように行い、できる限り室内ユニット近傍で配管を固定してください。









② ドレン排水確認のしかた

配線、配管工事終了後、排水がうまく行なわれるか次の要領で確認してください。
（作業前にバケツやウエスを用意してください。）

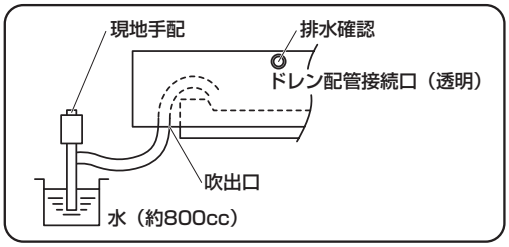
200V電源がきている場合

電装ボックス内の電源端子板（R・S端子）に電源を接続してください。

100V電源がきている場合

昇圧トランスを使用し、電装ボックス内の電源端子板（R・S端子）に電源を接続してください。

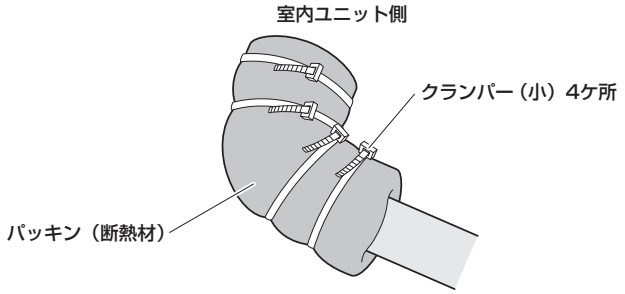
- ドレンパン部吹出口よりドレンパン内に排水確認用の水約800ccを少しずつ入れてください。
- 室内コントロール基板のCHK（2Pプラグ）ピンをワニグチクリップ等で短絡してドレンポンプを運転し、水の流れと水漏れの有無を確認してください。

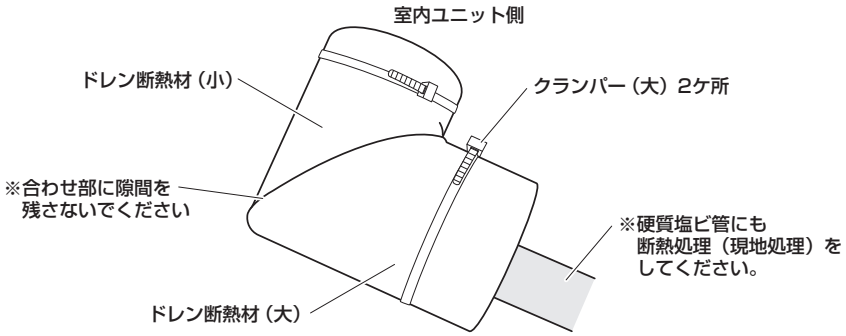


⚠ 注意

- 室内コントロール基板のCHK（2Pプラグ）ピンを短絡すると、ファンも回転しますので注意してください。ケガをする恐れがあります。
- 排水確認が完了したらCHK（2Pプラグ）ピンのワニグチクリップ等をはずしてください。
- 昇圧トランスおよびドレンポンプ排水確認のための仮電源は、はずしてください。
- ドレンキャップをはずした場合、再度取り付ける際には、ドレンキャップが奥まで差し込まれていることを確認してください。きちんと取り付けないと水漏れ等の原因となります。

③ ドレン排水確認後、パッキンとドレン断熱材を巻いてください



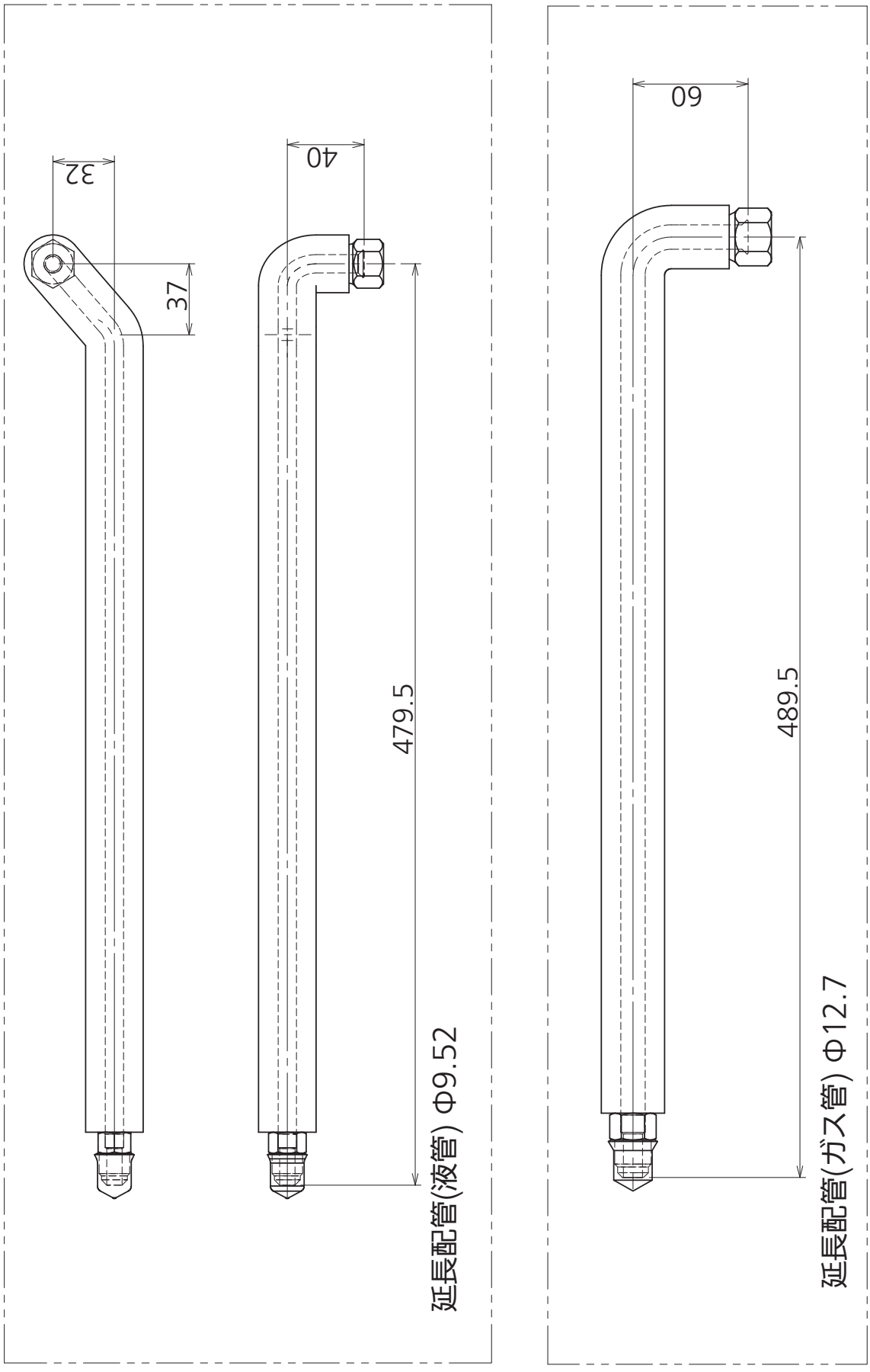


⚠ 注意

- 室内部分にあるドレン配管は必ず断熱してください。

●延長配管セット（SGP-TE28JSA）

■外形寸法図

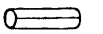
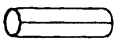


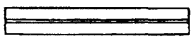
■取付手順

延長配管セットの取り扱い方

ご確認事項

配管セットの内容をご確認ください。下記の部品が同梱されています。

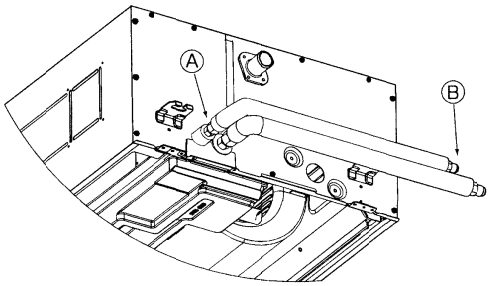
部品番号	名称	形状	個数	備考
1	冷媒配管	(3/8″)	1	液管
2	冷媒配管	(1/2″)	1	ガス管
3	フレア断熱材		1	液管
4	フレア断熱材		1	ガス管

部品番号	名称	形状	個数	備考
5	断熱テープ		2	ガス管・液管ユニット面
6	断熱テープ	(耐熱用白色)	2	ガス管・液管フレアナット部
7	ビニルクランパ		4	

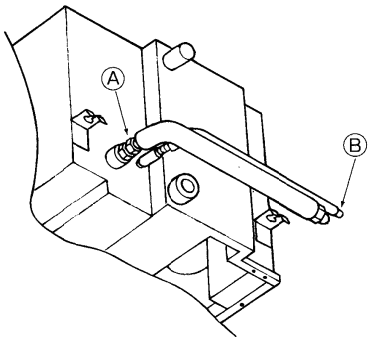
取付手順

室内ユニットを吊る前に取付けることを推奨します。据付後では、接続部周辺に充分なスペースが得られず、フレアの締め付けが充分にできない場合があります。

①本体の冷媒配管接続部に、延長配管を取り付けてください。



DCモータ機種

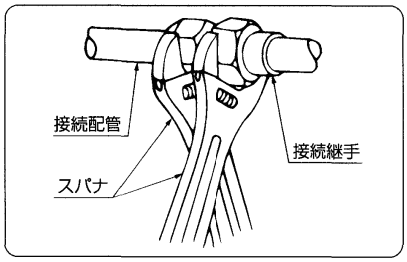


ACモータ機種

⚠ 警　告

●配管継続部のフレアナットをはずすとき、および配管接続後にフレアナットを締め付けるときは、必ずスパナ2丁掛けで行ってください。締めすぎによるフレア部の破損に注意してください。フレア部等のゆるみ破損が発生した場合に、冷媒ガスが漏洩して酸欠事故の原因になります。
●フレアナットの締めすぎによるフレア部の破壊を防ぐため下表を目安に締め付けてください。
●液側配管のフレアナットの締め付けは、呼び寸法200のモンキレンチ等で行ってください。

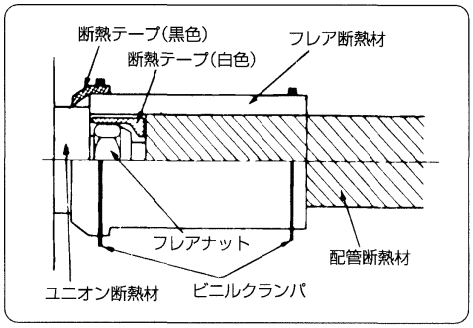
パイプ径	締め付けトルク（N・m）
φ9.52（3/8″）	34～42
φ12.7（1/2″）	49～61



●R410A冷媒使用機種にご使用になる配管接続用フレアナットは必ず、ユニット付属のフレアナット、またはR410A用(2種)を使用してください。従来の冷媒に比べて圧力が約1.6倍高くなるため、破裂、ケガ、または冷媒漏れによる酸欠事故の原因となります。詳細は、室内ユニットに同梱されている“据付工事担当のかたへ”に従ってください。

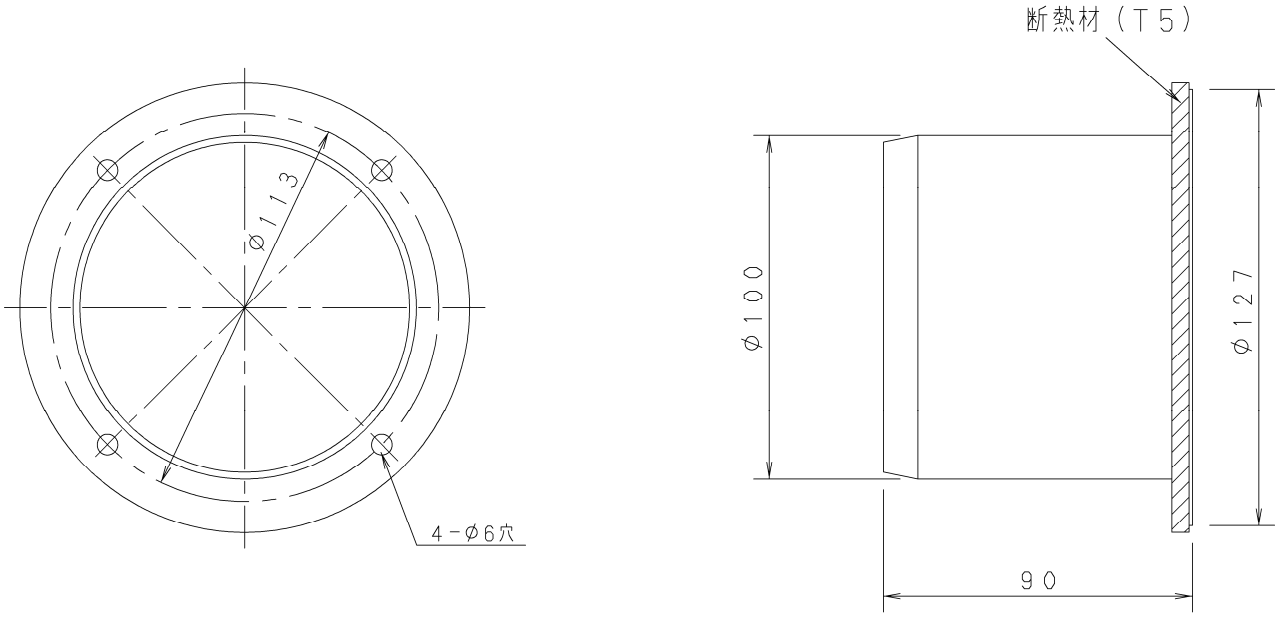
②本体吊上げ後に配管接続部の断熱を行ってください。

●配管接続部の断熱は必ずリークチェック確認後に行ってください。
●断熱はガス管・液管とも行ってください。
　a）フレアナット部に断熱テープ（白色）を巻き付けてください。
　b）配管接続部にフレア断熱材を巻き付けてください。
　c）結合部のすきまに断熱テープ（黒色）を巻き付けてください。
　d）フレア断熱材の両端をビニルクランパで固定してください。
※Ⓐ部の断熱は、室内ユニット本体付属の断熱材を使用し、Ⓑ部の断熱は、当配管セット同梱の断熱材を使用してください。



●外気取入用丸合フランジ（φ100）（DKT-MF10AN）

■外形寸法図



■DCファンタップ変更手順

DC ファンモータータップの選択（1 方向天井カセット形）

ご使用になられる用途、別売品を下表1でご確認ください。

＊設定を行わない場合、風量減少、露付の原因となります。

表1　DC ファンモータータップ設定表

設定 No	リモコンの設定データ 項目コード 5d	仕様用途
	0000	標準（出荷設定）
（1）	0001	光再生脱臭フィルター
（3）	0003	デオドラントフィルター
		アンモニア脱臭フィルター

基板から設定する場合

＜手順＞停止中に行なってください。

①電装ボックスの蓋を開き、室内コントロール基板を確認してください。（図1）

②表1のDCファンモータータップ設定表で確認していただいた設定Noに応じて、別売品グリル取付フィルター用金具に付属の**短絡コネクタ（2P：黄色）**を室内コントロール基板の短絡ピンに接続してください。

設定No（1）の場合　短絡コネクタを室内コントロール基板の**短絡ピンTP1（2P：赤色）**に接続してください。

設定No（3）の場合　短絡コネクタを室内コントロール基板の**短絡ピンTP3（2P：黄色）**に接続してください。

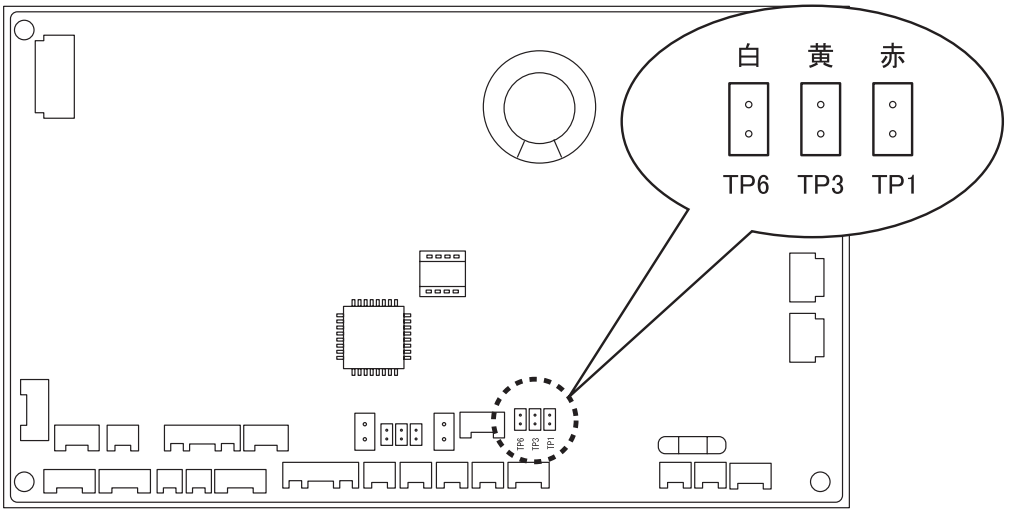


図1　室内コントロール基板

ワイヤードリモコンで設定する場合

＜手順＞停止中に行なってください。

（1）リモコンの扉裏側に貼ってあるラベル（図2）をご確認ください。

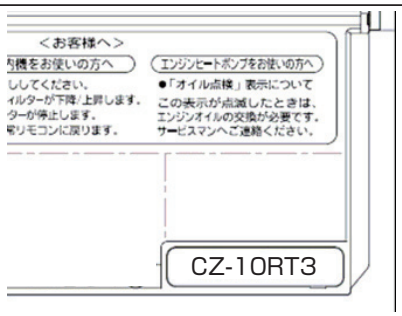


図 2

手順（2）で作業ください。

（2）

①点検＋取消＋セットボタンを同時に4秒以上押します。

②ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニット No を順次表示します。このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。

③温度設定　▼ ／ ▲ボタンで**項目コード「5d」**を指定します。

④時間 ▼ ／ ▲ ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表1のようになっています。

⑤セットボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変われば OK）

選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ

⑥点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。

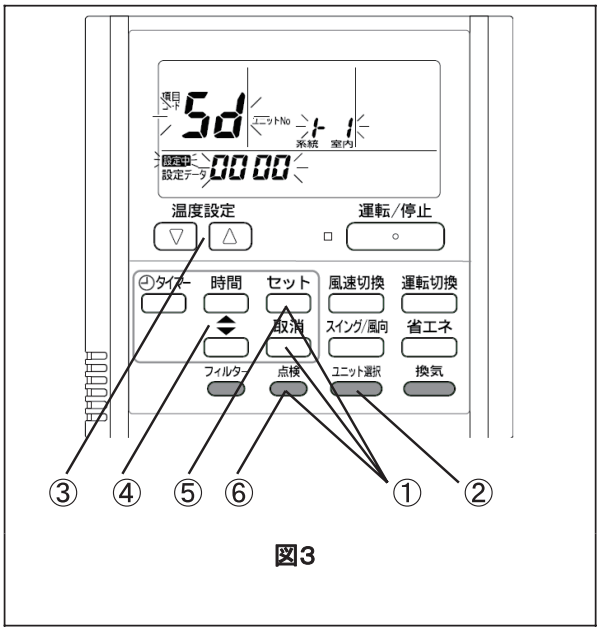
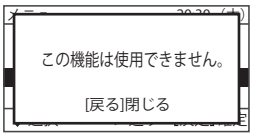


図3

■ 多機能ワイヤードリモコン CZ-10RT4 シリーズで設定する場合

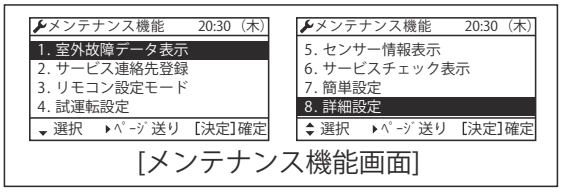
● 昇降グリルを操作するための設定方法

多機能ワイヤードリモコンで昇降グリルを操作するためには必ず（ワイヤードリモコンから）下記設定を行ってください。
この設定をしないと、昇降グリル操作時に
“この機能は使用できません。” が表示されます。

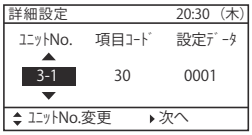


多機能ワイヤードリモコン

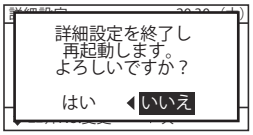
① 戻る + 決定 + ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▼ / ▲ ボタンで選択、◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、決定ボタンを押してください。
[詳細設定画面]が表示されます。
▼ / ▲ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▼ / ▲ ボタンで項目コードを「30」に変更してください。
④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▼ / ▲ ボタンで設定データを「0000」から「0001」に変更し、 決定 ボタンを押してください。
⑤ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、戻る ボタンを押してください。
[詳細設定終了画面]が表示されます。
「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。



[メンテナンス機能画面]



[詳細設定画面]



[詳細設定終了画面]

● 風量アップの設定方法

使用する用途、別売品を下記DCファンモータータップ設定表より確認のうえ設定してください。

〈手順〉停止中に行ってください。

① 戻る + 決定 + ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

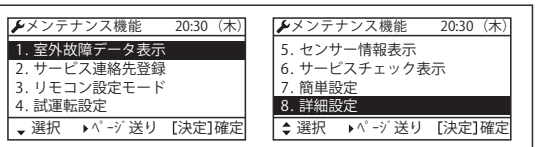
② ▼ / ▲ ボタンで選択、◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、決定ボタンを押してください。
[詳細設定画面]が表示されます。
▼ / ▲ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。

③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▼ / ▲ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。

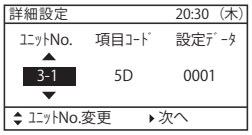
④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▼ / ▲ ボタンで設定データを変更し、決定 ボタンを押してください。
※4方向カセット形でしゃ風材をご使用の場合は、③〜④と同様の手順で
項目コード「62」の設定データを「0000」に変更してください。

⑤ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、戻る ボタンを押してください。
[詳細設定終了画面]が表示されます。
「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。

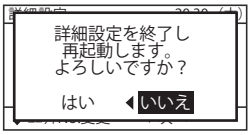
多機能ワイヤードリモコン



[メンテナンス機能画面]



[詳細設定画面]



[詳細設定終了画面]

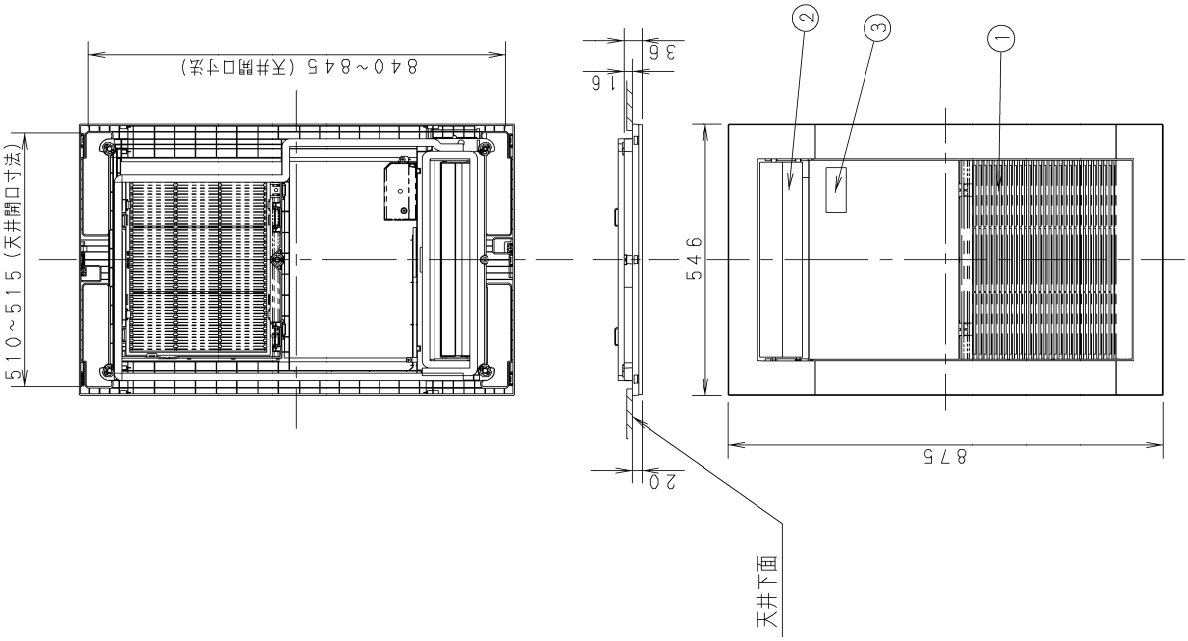
DCファンモータータップ設定表〈1方向天井カセット形〉

設定 No	リモコンの設定データ 項目コード 5D	使用用途／別売品名称
	0000	標準（出荷設定）
（1）	0001	・高天井設定　・光再生脱臭フィルター
（3）	0003	・デオドラントフィルター　・アンモニア脱臭フィルター

●天井パネル（CZ-28KPDS4）

■外形寸法図

品番	パネル色
CZ-28KPDS4	ホワイト（マンセル記号 N9.3）



①	吸込口
②	吹出口
③	照度センサー受光部

《パネル質量》
3kg
《フィルター寸法》
（367×266×13）※1個

■工事説明書

Panasonic®

据付工事説明書

品番　天井パネル　CZ-28KPDS4

適用室内ユニット　1 方向天井カセットスリム形

●取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

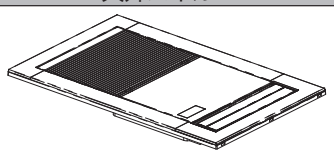
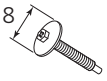
⚠ 警告

❗
- **■ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する**
  （感電・火災等の原因）
- **■ 据付工事は、室内ユニットの「据付工事説明書」に従って行う**
  （感電・火災等の原因）
- **■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
  （ユニットの落下による、けがの原因）
- **■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する**
  （冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
- **■ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  - ●電気設備に関する技術基準
  - ●内線規程
  - ●据付工事説明書
  （感電・火災の原因）
- **■ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する**
  - ●端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。
  （発熱・火災等の原因）
- **■ 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う**
  （感電の原因）

⚠ 注意

⃠
- **■ 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ設置しない**
  （万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

	本体	付属品
品名	天井パネル	座付ネジ
個数	1	5
形状		M5X26 φ18  座付ネジはパネル本体にあらかじめ取り付けられています。

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

ACXF60-31074
PA0618-40423

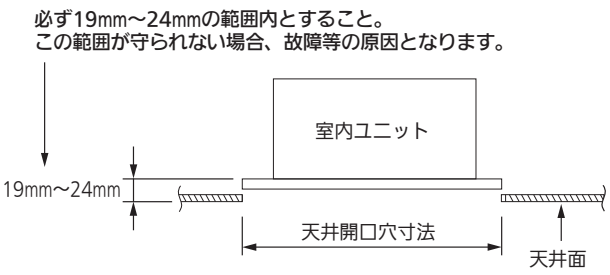
1. 取り付け前の準備

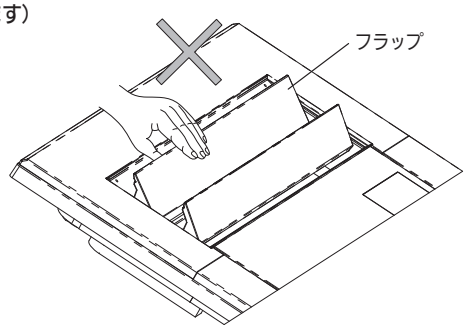
1. 室内ユニット位置の確認

①天井開口穴が下記の範囲内か確認します。
510～515 mm × 840～845 mm

②梱包箱に印刷されている据付原寸図を使用し､天井面と室内ユニットの位置出しを行ないます。天井面と室内ユニットの位置が合わないと風漏れや水漏れおよびフラップの作動不良等の原因となります。

- パネルを下向きに置くことや、立掛け、突起物の上への放置は表面に傷がつきますので絶対にしないでください。
- フラップにさわったり、力を加えたりしないでください。（フラップの故障の原因となります）

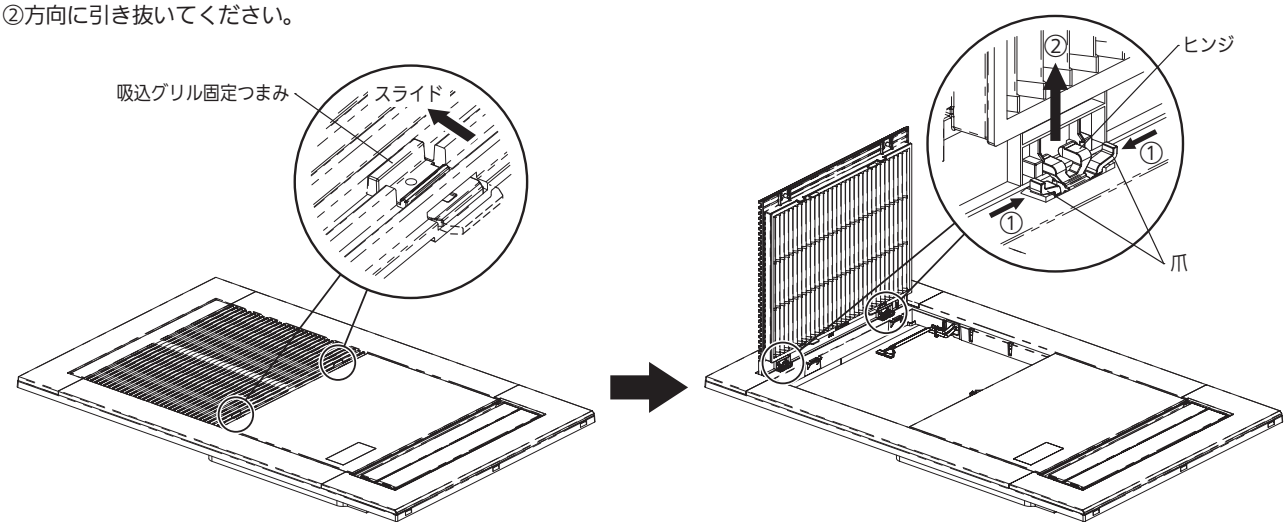




2. 取り付けかた

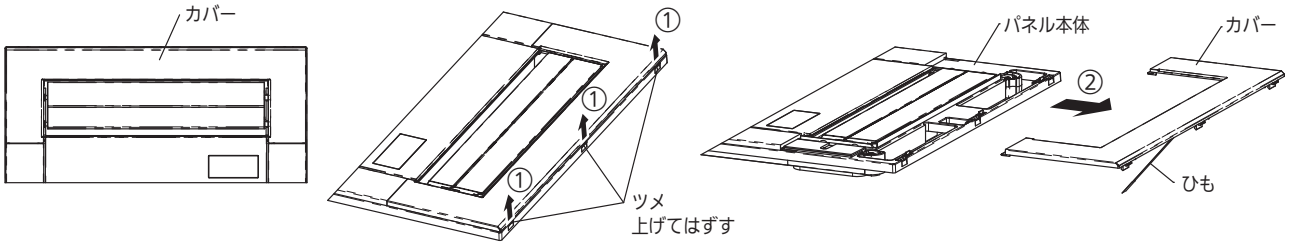
1. 吸込グリルの取りはずし

吸込グリル固定つまみを矢印方向にスライドし、吸込グリルを開いてください。
吸込グリルが開いた状態で、後部ヒンジ部をの爪部①をつまんで吸込グリルを②方向に引き抜いてください。



2. カバーの取りはずし

カバーのツメを矢印①の方向へ押し上げてはずし、カバーを矢印②の方向へスライドしはずしてください。（図 1）



（図 1）

3. パネル本体の取り付け

フラップの角度変更は電源を入れなければできません。（フラップを手で動かさないでください。手で動かすと壊れるおそれがあります。）

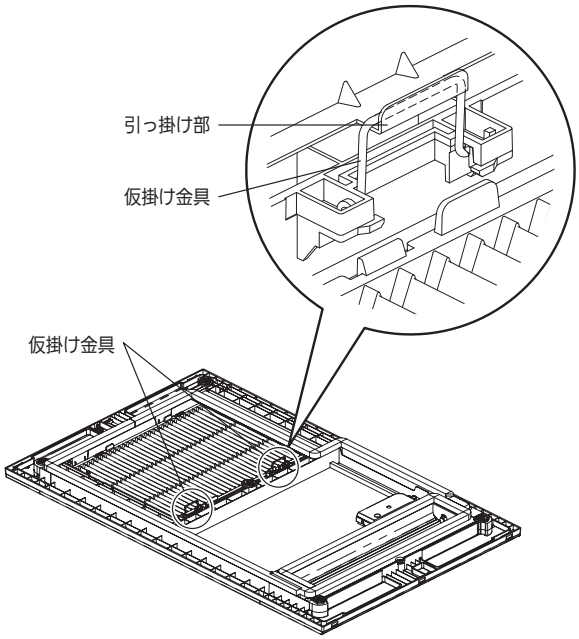
①パネル本体内面の仮掛け金具を室内ユニットの引掛け部に挿入し仮掛けしてください。（図2）

②パネル本体の取付穴と室内ユニットのネジ穴を合せてください。

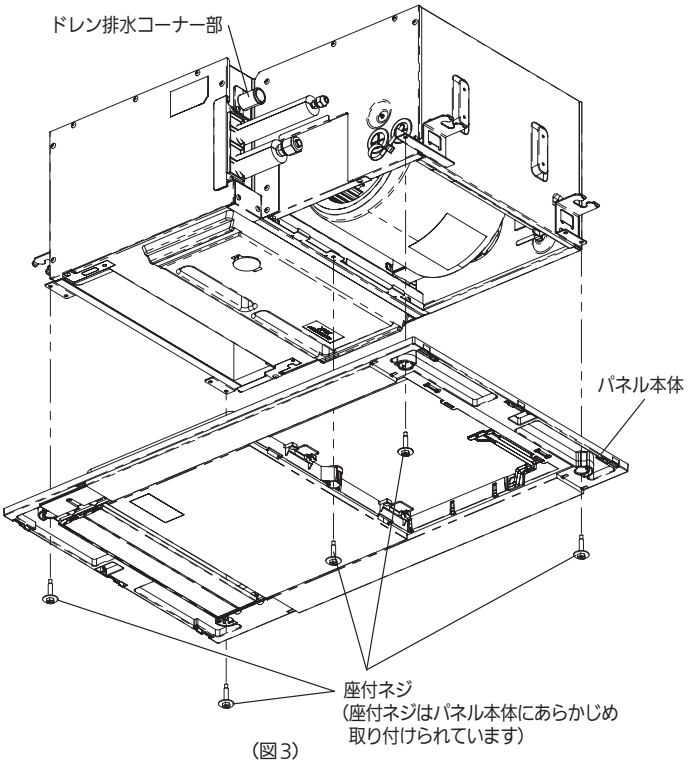
③パネル本体に取り付けられている座付ネジ（M5×26）でパネル本体取付部の5か所を室内ユニットに密着するまで締め込んでください。（図3）

④パネル本体が天井に密着したことを確認してください。

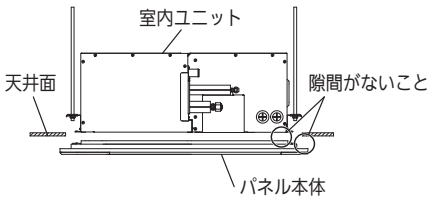
- **この時、室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面との間に隙間がないようにしてください。（図4）**
- **天井との隙間が生じた場合、パネル本体を取り付けたまま、室内ユニットの据え付け高さを微調整し、天井との隙間をなくしてください。（図5）**
- **パネルの長手方向中央部に隙間が生じた場合、座付ネジ（中央）を締め込んでください。**
- **はずす場合はパネル本体を支えながら仮掛け金具を外側に押してください。**



（図2）

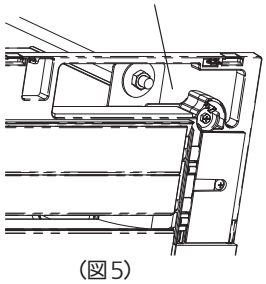


（図3）



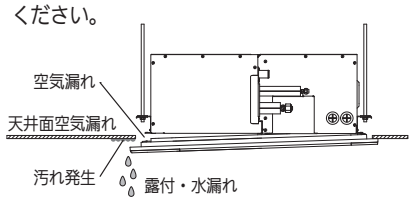
（図4）

カバー取付部の穴よりスパナ等の一般工具にて、室内ユニットのナットを微調整してください。

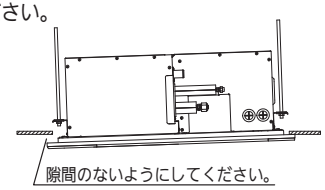


（図5）

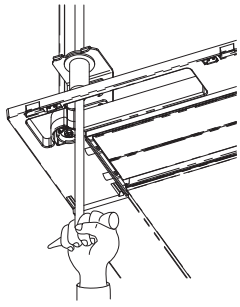
●座付ネジの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。



●座付ネジを締め込んでも天井面とパネル本体との間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。



室内ユニットの水平度、ドレン配管等に影響がでない程度であればパネル本体のコーナー部の穴よりパネル本体を付けたまま本体の高さ調整ができます。



4. パネル本体の配線方法

①電装ボックスのふたをネジをゆるめて取りはずしてください。
（ふたはネジをはずさなくても取りはずしができます。）

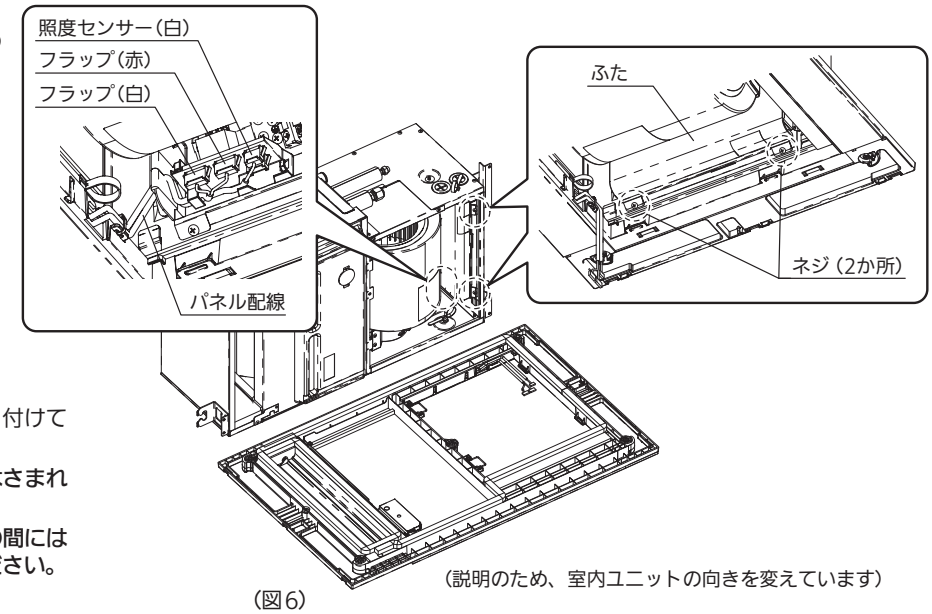
②パネル本体から出ている配線コネクタを室内ユニットの基板のコネクタに接続してください。

● コネクタを基板に接続したのち、軽く引っ張り抜けたりぐらぐらしないことを確認してください。
（確実に接続されていないとオートフラップが動作せず、リモコンに“P09”が表示されます。）

③電装ボックスのふたを元通りに取り付けてください。

● 配線が電装ボックスとふたの間にはさまれていないことを確認してください。

● 配線が室内ユニットとパネル本体の間にはさまれていないことを確認してください。



（説明のため、室内ユニットの向きを変えています）

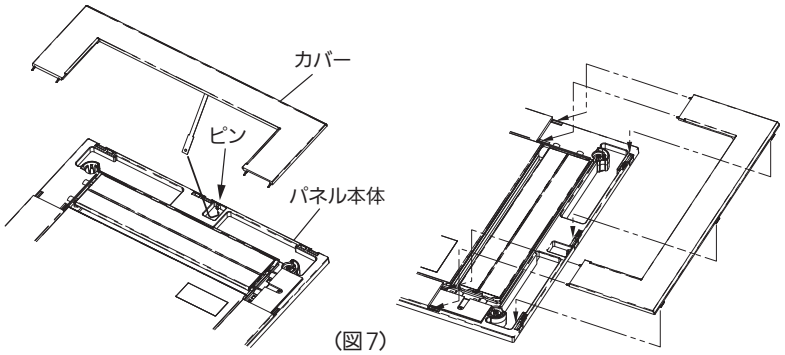
（図6）

5. カバー・吸込グリルの取り付け

A.カバーの取り付け

①カバーのひもを図7のようにパネル本体のピンに引っかけてください。

②カバーの爪をパネル本体に差し込み、取り付けてください。



（図7）

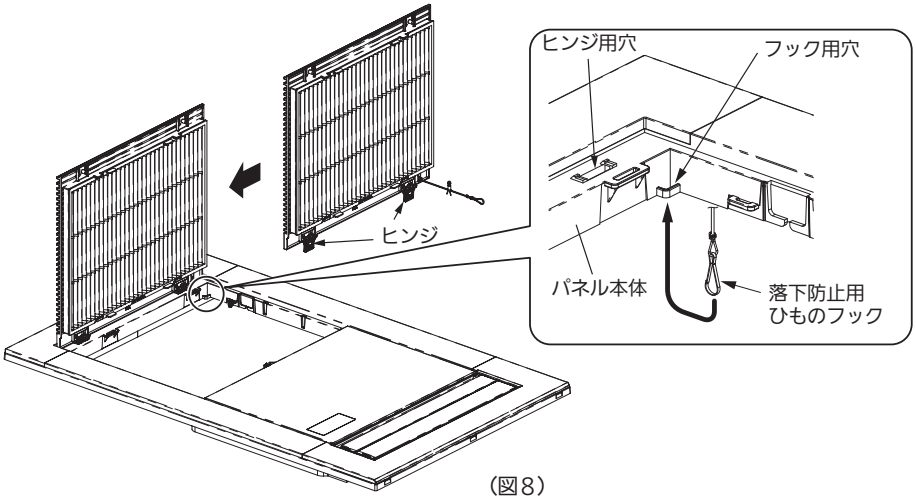
B.吸込グリルの取り付け

①吸込グリル落下防止用ひもをパネル本体に図8のように取り付けてください。

● 落下防止用ひもを取り付けない場合、吸込グリルが落下するおそれがあります。

②吸込グリルのヒンジをパネル本体のヒンジ用穴に挿入してください。

● 吸込グリルを取り付ける際、配線をはさまないよう注意してください。



（図8）

3. その他

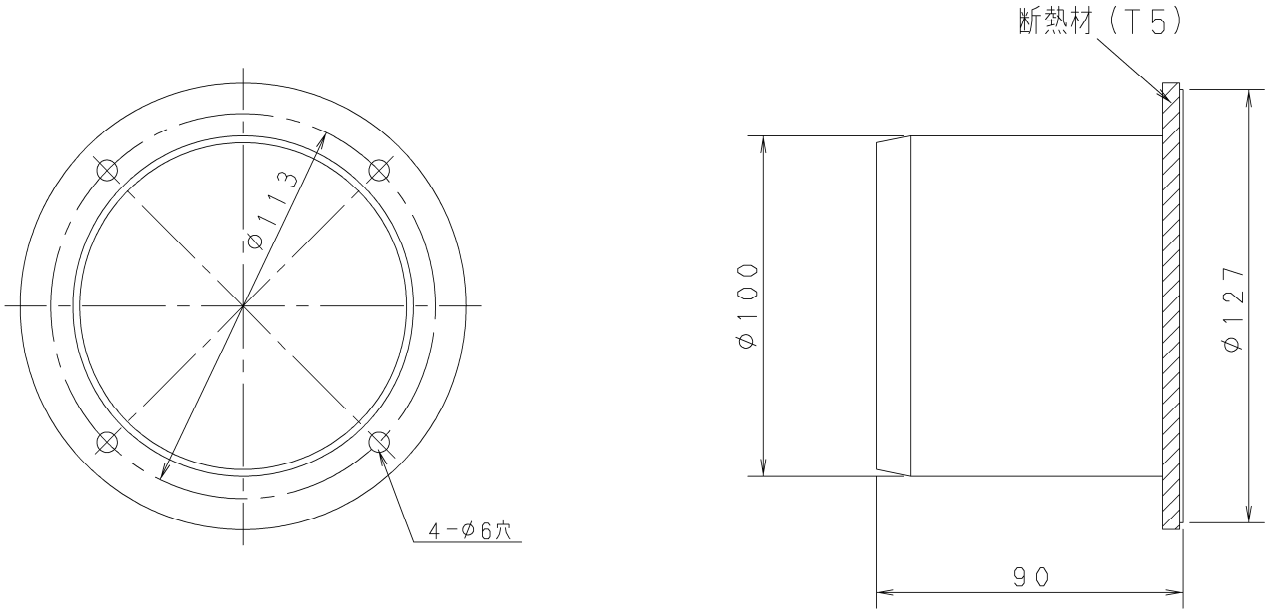
据え付け後の確認

● 室内ユニットとパネル本体、およびパネル本体と天井面に隙間のないことを再確認してください。
※隙間があると水漏れや露付の原因となります。

● 配線接続が確実にされていることを確認してください。
※接続されてないとオートフラップが動かない（リモコンにP09の表示が出ます）、また水漏れや露付等の原因となります。

●外気取入丸合フランジφ 100（CZ-AT100）

■外形寸法図



■工事説明書

Panasonic

据付工事説明書

丸合フランジ（φ100）

品番　CZ-DA100

適用室内ユニット　1 方向天井カセットスリム形（DSシリーズ）＊

（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意

・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-31574
PA0518 - 40823

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

名　称	個数	名　称	個数	据付工事説明書	個数
丸合フランジ（φ100）	1	取付ネジ（M4×12）	4		1

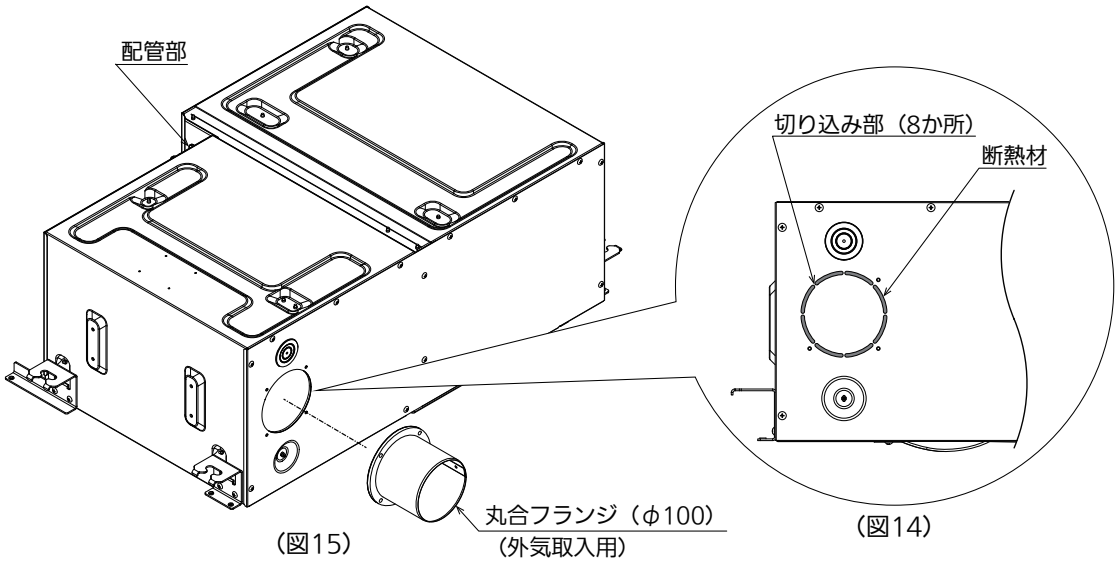
2. 取り付けかた

●1 方向天井カセットスリム形の場合

（1）室内ユニット側板の切り込み部を、ニッパ等で切断してください。（図14）

（2）室内ユニット断熱材をカッターナイフ等で切り込みに沿って切断し、切り取ってください。
断熱材の切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。

（3）丸合フランジを付属の取付ネジ４本で取り付けてください。（図15）



（図15）　（図14）

●天井パネル（CZ-03KPD3A）
■取付説明書

85464369375000

取 付 説 明 書

● 電気配線工事は、別紙「電気工事担当のかたへ」の説明にしたがってください。

安全上のご注意

■ 据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告　取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠ 注意　取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

● 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認すると共に“取扱説明書”にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また“据付工事担当のかたへ”、“電気工事担当のかたへ”は、“取扱説明書”と共に、お客様で保管頂くように依頼してください。

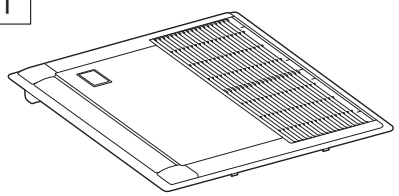
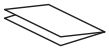
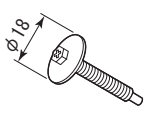
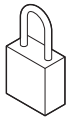
⚠ 警　告

- 据付、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 据付工事は、“据付工事担当のかたへ”“電気工事担当のかたへ”に従って確実に行ってください。据え付けに不備があると、冷媒漏れ、水漏れ、感電、火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および“据付工事担当のかたへ”“電気工事担当のかたへ”に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電気回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注　意

- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

構成部品

品名	天井パネル	取付説明書	座付ねじ	ビ　ス	ビ　ス	短絡コネクタ
個数	1		4　M5X40	2　4X12	2　4X35	1
形状		DCファンタップ変更手順  本説明書		サイドパネル固定用	パネル前後中央部固定用	（2P黄色）  高天井設定時使用

1. 天井パネル取付前の準備

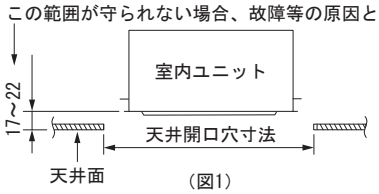
(1) 室内ユニット位置の確認

①天井開口穴が下記寸法であるか確認します。
1190㎜×760㎜

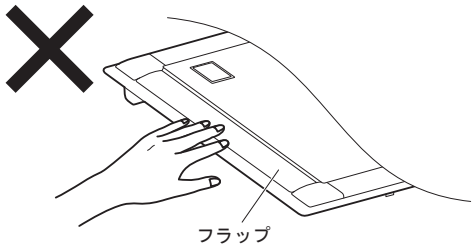
②天井面と室内ユニットの位置が図1のようになっているか確認します。天井面と室内ユニットの位置が合わないと風漏れや水漏れおよびフラップの作動不良等の原因となります。

- パネルを下向きに置くことや、立掛け、突起物の上への放置は表面に傷がつきますので絶対にしないでください。
- フラップに無理な力を加えないでください。
（フラップの故障の原因となります）。

必ず室内ユニットの吊金具下面と天井面の寸法が
17～22の範囲に調整すること。
この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。



（図1）

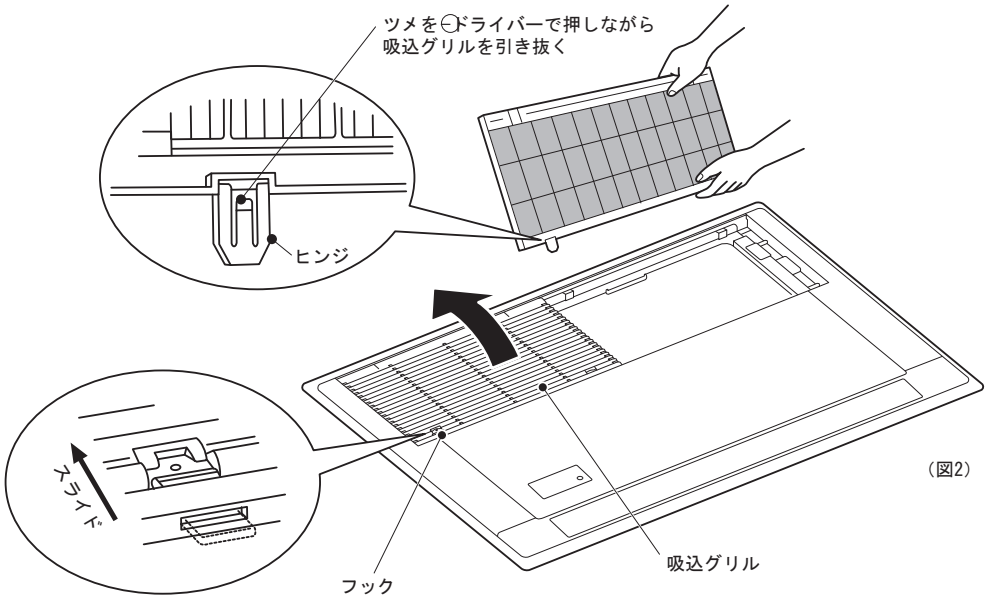


2. 室内ユニットへの取り付けかた

(1) 吸込グリルの取り外し

吸込グリル取り外し

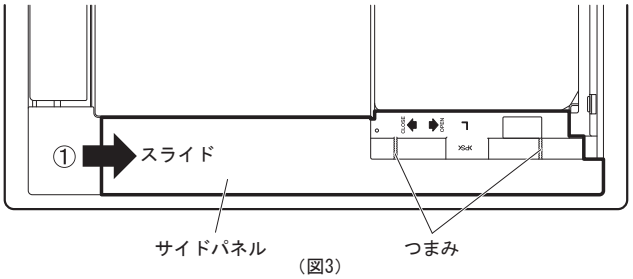
吸込グリルのフック（2ヵ所）を矢印方向にスライドし、吸込グリルを開いてください。
吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジ（2ヵ所）のツメ部を⊖ドライバーで押して吸込グリルを引き抜いてください。（図2）



（図2）

(2) サイドパネルの取り外し

サイドパネルを矢印①の方向へスライドし、取り外します。（左右2ヵ所）（図3）



（図3）

(3) 天井パネルの取り付け

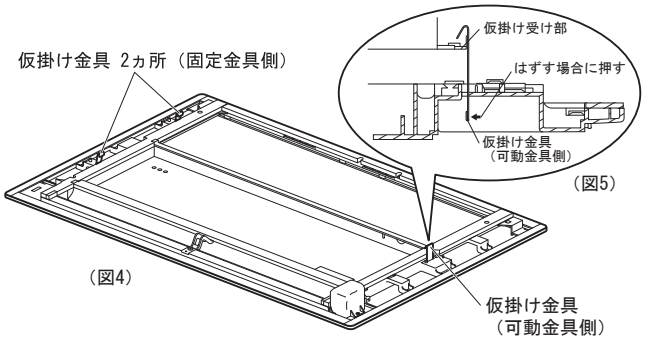
①天井パネル両サイドに付いている仮掛け金具を本体に引っ掛けます。仮掛け金具は片側（2ヵ所）が固定式、もう一方が可動式となっています。（図4）

②パネルをやや斜めにしてパネルの固定金具を本体側面の仮掛け受け部に引っ掛けます。

③フックがかかっていることを確認したらパネルのもう一方を天井パネルが水平になるように押し上げ、可動金具が本体の仮掛け受け部に掛かるまで押し上げてください。

④天井パネル両側の仮掛け金具が本体に確実に掛かっていることを確認してから手を放してください。
これでパネルが本体に仮掛けされています。

● はずす場合は天井パネルを支えながら可動金具を内側に押してください。（図5）



（図4）　（図5）

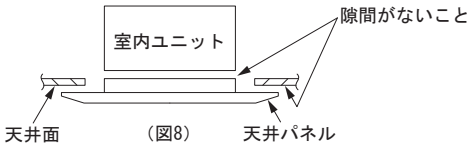
⑤パネルの取付穴と本体のねじ穴を合わせます。

⑥付属の座付ねじでパネル取付部の4ヵ所を本体に密着するまで締め込みます。（図6）

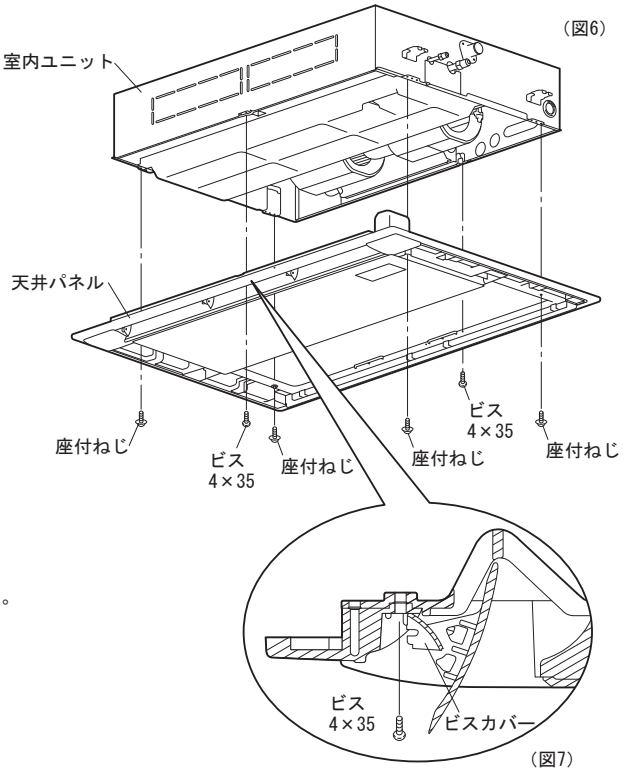
⑦パネル中央部（前後2ヵ所）を付属のビスで締め込みます。吹き出し部中央は図のようにビスカバーを開け、ビス固定後、閉めてください。（図7）

⑧パネルが天井に密着したことを確認します。

● この時、室内ユニットと天井パネル、および天井パネルと天井面との間に隙間がないようにしてください。（図8）



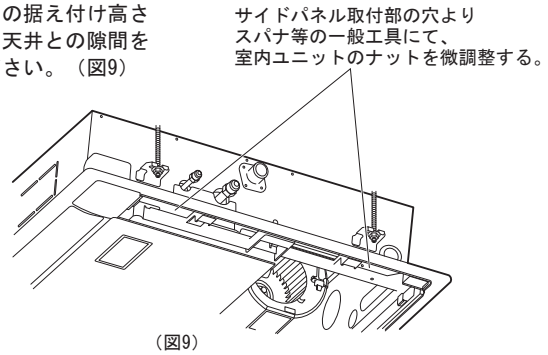
（図8）



（図6）

（図7）

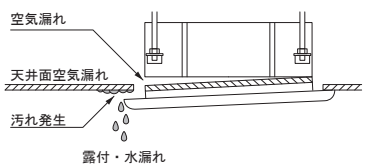
● 天井との隙間が生じた場合、天井パネルを取り付けたまま、室内ユニットの据え付け高さを微調整し、天井との隙間を無くしてください。（図9）



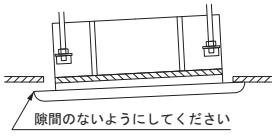
（図9）

ご 注 意

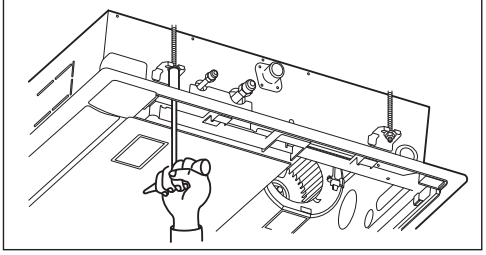
● ねじの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に絞め込んでください。



● ねじを締め込んでも天井面と天井パネルとの間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。



室内ユニットの水平度、ドレン配管等に影響がでない程度であれば天井パネルのサイドパネル取付部の穴より天井パネルを取り付けたまま本体の高さ調整ができます。

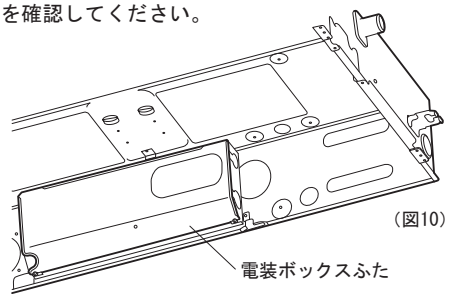


(4) 天井パネルの配線方法

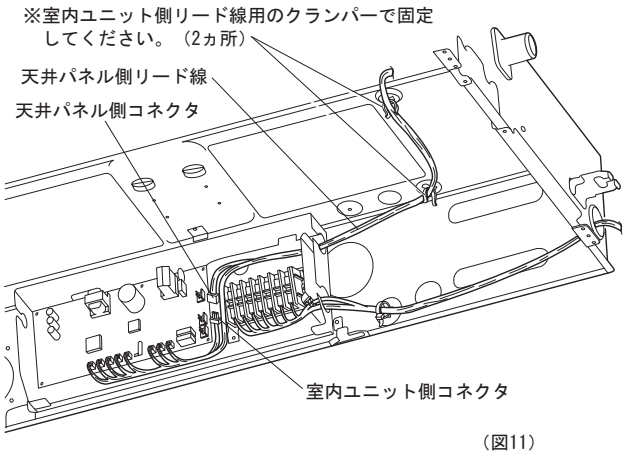
①電装ボックスのふたを取り外してください。（図10）

②天井パネルから出ている配線コネクタ7P（赤）を本体側リード線クランパー（2ヵ所）で固定してから室内ユニットの電装ボックス内のコネクタに接続してください。（図11）

- コネクタを接続しないと、オートフラップが動作しないので、確実に接続してください。
- 配線コネクタが電装ボックスとふたの間にはさみ込んでいないことを確認してください。
- 配線コネクタが室内ユニットと天井パネルの間にはさみ込んでいないことを確認してください。



（図10）



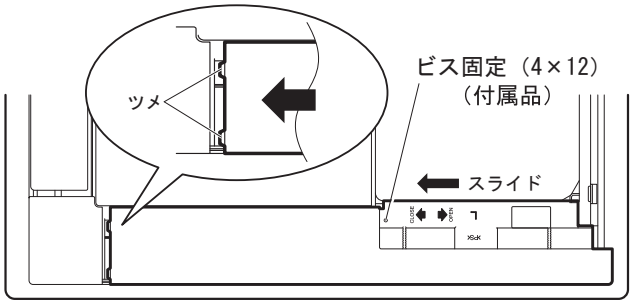
（図11）

(5) サイドパネル・吸込グリルの取り付け

A. サイドパネルの取り付け

①サイドパネルを矢印の方向へスライドし、サイドパネルを取り付けます。（図12）

②サイドパネルを天井パネルに、付属のビス（4×12）で取り付けてください。

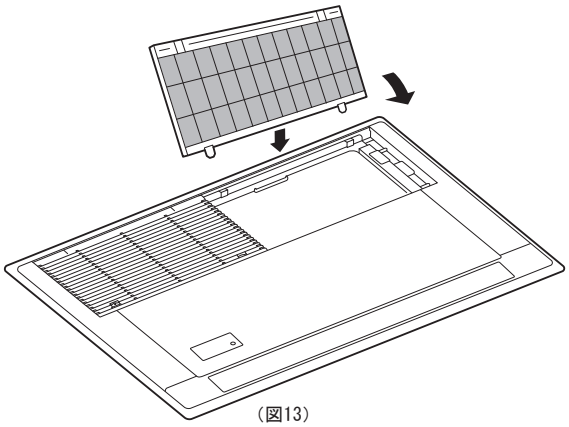


サイドパネルの爪を天井パネルに引っ掛けるようにスライドして取り付けたのち、付属のビス（4×12）で固定して下さい。

（図12）

B. 吸込グリルの取り付け

- 取付方法は吸込グリルの取り外しの項と逆に作業を行ってください。
- 吸込グリルを取り付ける際、フラップのリード線をはさみ込まないよう注意してください。（図13）



（図13）

3. その他

A. 据え付け後の確認

- 室内ユニットと天井パネル、および天井パネルと天井面に隙間のないことを再確認します。
  ※隙間があると水漏れや露付の原因となります。
- 配線接続が確実にされていることを確認します。
  ※接続されてないとオートフラップが動かない（リモコンにP09の表示が出ます）、また水漏れや露付等の原因となります。

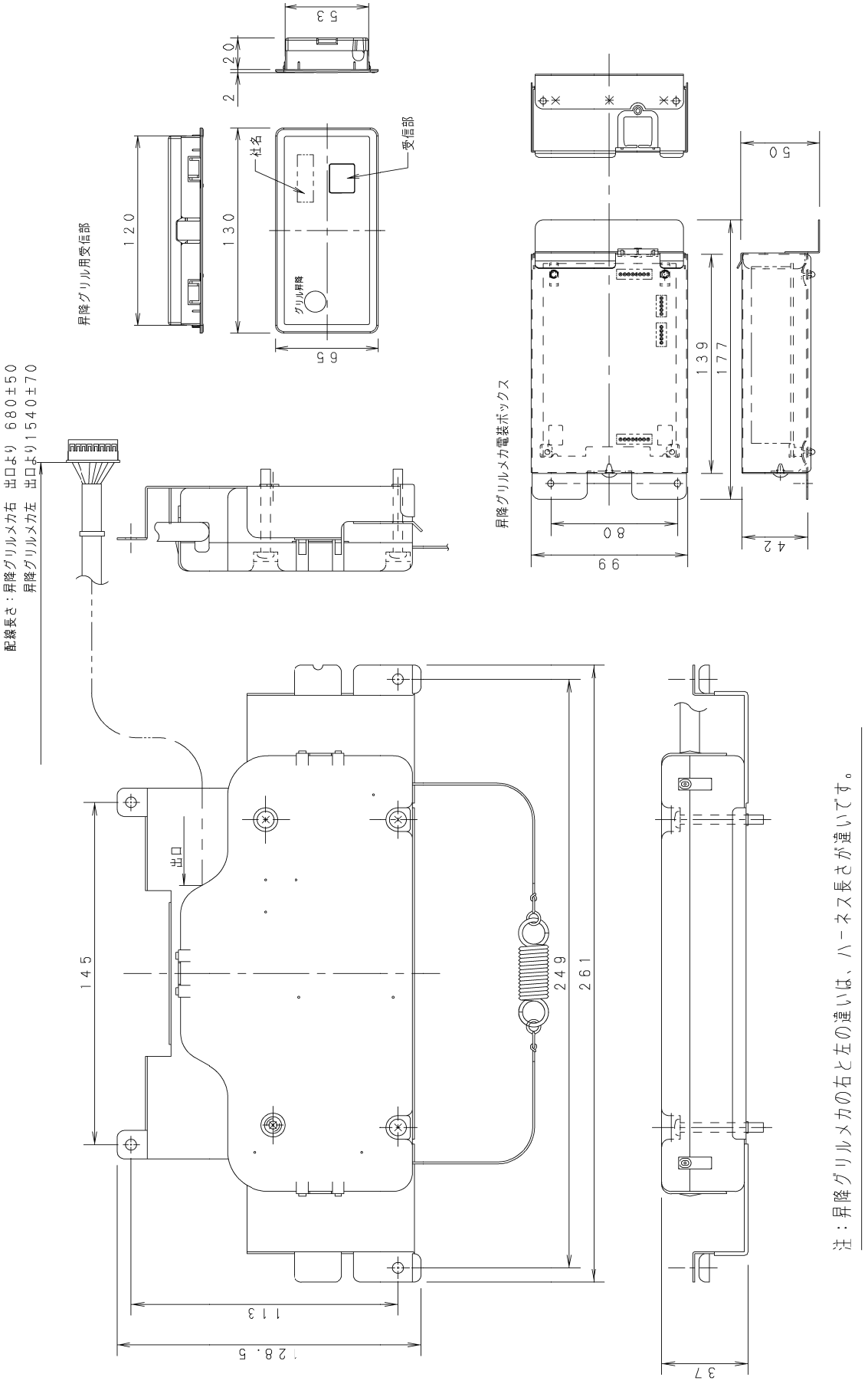
B. ワイヤレスリモコン対応の場合

- 取付方法の詳細は、別売品ワイヤレスリモコン本体組込受信部タイプに付属の据付説明書を参照してください。

上記項目を確認した後、この説明書と室内ユニットおよび別売部品の説明書等の一式全てをお客様へ渡してください。
その際、室内ユニットの取扱説明書に記載されたフィルターの清掃の説明を必ずお客様へしてください。

●昇降グリルメカキット（CZ-06KSKD3）

■外形寸法図



注：昇降グリルメカの右と左の違いは、ハーネス長さが違いです。

■取付説明書

昇降グリルメカキット取付説明書

● 電気配線工事は、ユニット本体同梱の「電気工事担当のかたへ」または「据付工事説明書」の説明に従ってください。

安全上のご注意

■ 据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

● 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに “取扱説明書” にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。また “据付工事担当のかたへ”、“電気工事担当のかたへ” または “据付工事説明書” は、“取扱説明書” とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。

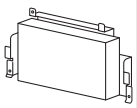
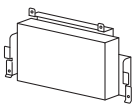
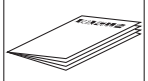
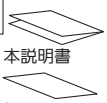
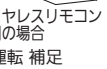
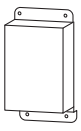
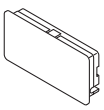
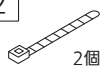
⚠ 警　告

● 据付、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
● 据付工事は、“据付工事担当のかたへ” “電気工事担当のかたへ” または “据付工事説明書” に従って確実に行ってください。据え付けに不備があると、冷媒漏れ、水漏れ、感電、火災等の原因になります。
● 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および “据付工事担当のかたへ” “電気工事担当のかたへ” に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電気回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
● 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
● 据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
● 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
● 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注　意

● 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

付属品　付属品は取付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

品名	昇降メカA	昇降メカB	取扱説明書	取付説明書	電装ボックス	受信部	ネジ	コードクランプ	ブッシング
個数	1（短配線）	1（長配線）	1	各1	1	1	11	2	1
形状				 本説明書  ワイヤレスリモコン併用の場合 試運転 補足			4×10	 2個 1個	高天井用1方向カセット形のみ使用

85464369509002
BE0611-20414

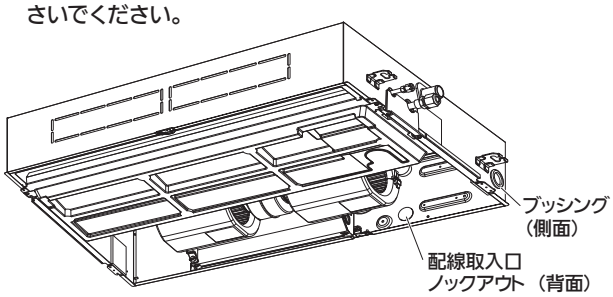
高天井用1方向カセット形に取り付ける場合

1.昇降グリルメカキット取り付け前の準備

1. 室内ユニットの配線取入口変更

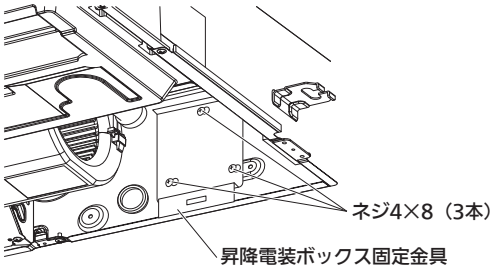
配線取入口ノックアウト穴（背面）を開け、付属のブッシングを付けてください。また、ブッシングははずれないように接着剤で接着してください。

※側面のブッシングに穴が開いているときは、パテ等ですき間をふさいでください。



2. 昇降電装ボックス固定金具の取り付け

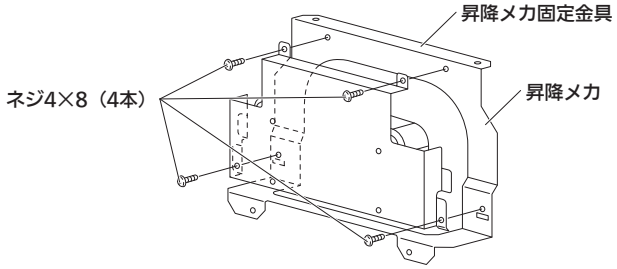
昇降グリル固定金具に付属の昇降電装ボックス固定金具を、昇降グリル固定金具に付属のネジ4×8（3本）で室内ユニットに取り付けてください。



3. 昇降メカ固定金具の取り付け

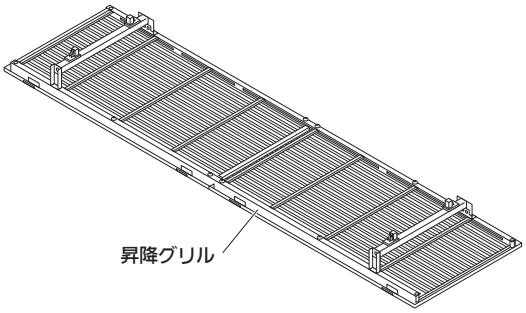
昇降グリル固定金具に付属の昇降メカ固定金具と、昇降メカを昇降グリル固定金具に付属のネジ4×8（4本）で取り付けてください。

※昇降メカAと昇降メカBの両方とも取り付けます。



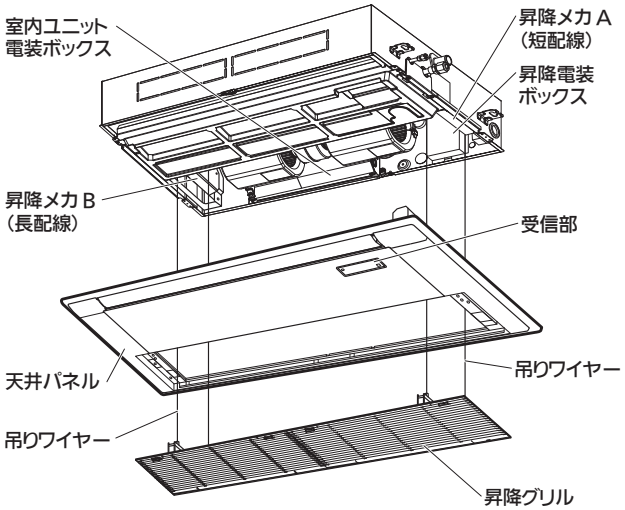
4. 別売部品の昇降グリル固定金具で昇降グリルを組み立てる

昇降グリルの組立方法は、昇降グリル固定金具に付属している取付説明書に従って組み立ててください。



〈注意〉吸込グリルに使用していたフック・ヒンジは応急時に使用しますので、お客様で保管いただくように依頼してください。室内ユニットに取り付けないでください。

昇降メカ取付図



（別売の昇降グリル固定金具を組み込み状態）

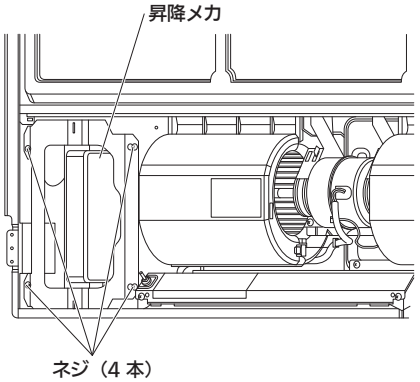
2.昇降メカの取り付け

1. 取り付け前の準備で組み立てた昇降メカを付属のネジ（4本）で取り付けます。

※昇降メカは左右違いますのでご注意ください。

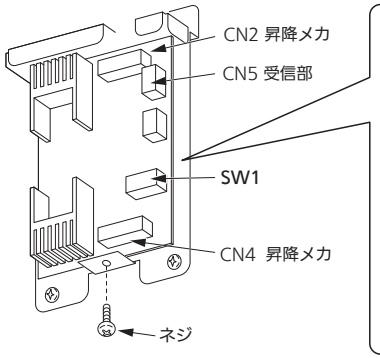
※昇降メカの吊りワイヤーとばねの入ったビニール袋は、工事が終わるまで取りはずさないでください。

※昇降メカを取り付けの際に周囲のブッシング等に、干渉しないように取り付けてください。

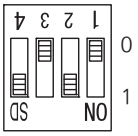


3.昇降高さおよび機種切替の設定のしかた

1. 昇降電装ボックスのネジ（1か所）をゆるめ、カバーをはずしてください。
2. ご使用になる高さにあわせて、下図のように基板上のスイッチを設定してください。
   出荷時は2.0m天井吊形の設定になっています。**高天井用1方向カセット形は必ず4をON “1” にしてください。**



グリル下降距離設定（SW1）
（出荷時設定=2.0m天井吊形）



※

[m]	1	2	3	4
1.0	0	0	0	1
1.5	1	0	0	1
2.0	0	1	0	1
2.4	0	1	1	1
2.7	1	1	0	1
3.1	1	1	1	1

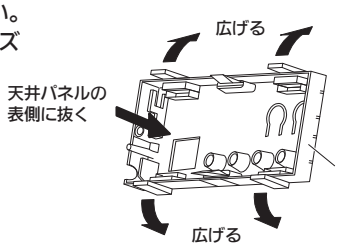
※ 4 は機種の切替です。高天井用1 方向カセット形はON “1” にしてください。

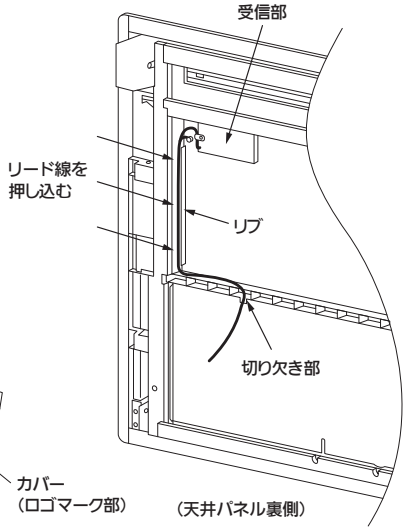
3. 昇降電装ボックスを室内ユニットに取り付けてください。
   取り付け前の準備で室内ユニットに取り付けた昇降電装ボックス固定金具の差し込み部に昇降電装ボックスを差し込み、付属のネジ（2か所）で固定してください。

4.受信部の取り付け

1. 室内ユニットの電装ボックスのカバー取付ネジ（2か所）をゆるめてカバーをはずします。
2. 受信部を天井パネルに取り付けます。
   ①天井パネルに取り付けてあるカバー（ロゴマーク部）を固定部のツメを広げながら表側に抜きます。
   ②受信部を天井パネルに取り付けます。（受信部の突起が天井パネルのツメで固定されます。）
   ③受信部のリード線を天井パネル裏側のリブに沿って押し込み、切り欠き部に通します。
   ④天井パネルを室内ユニットに取り付けます。
   ⑤天井パネルから出たリード線は室内ユニット天面のクランパーで固定します。
   ワイヤレスリモコンをご使用になる場合は、別紙の “昇降グリルメカキットとワイヤレスリモコンを併用する場合” の説明書に従って取り付けてください。

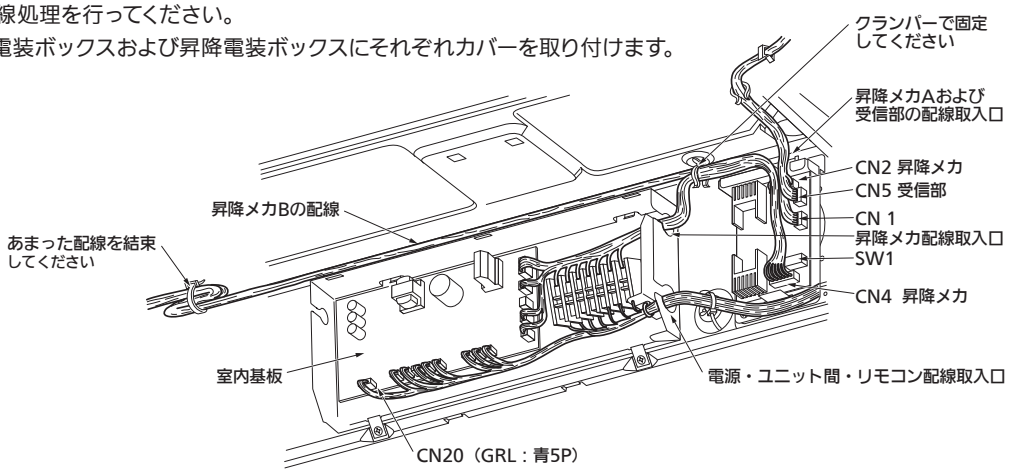
〈注意1〉受信部の配線は電源引込線などといっしょにより合わせると誤作動の原因となりますので避けてください。
〈注意2〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルターを取り付ける等の処置が必要です。





5.配線のしかた

1. 昇降メカから出ている配線コネクタを昇降電装ボックスに接続します。それぞれ昇降メカA（短配線）をCN2、昇降メカB（長配線）をCN4に接続します。
2. 受信部から出ている配線・コネクタを昇降電装ボックスのCN5に接続します。
3. 昇降電装ボックスのCN1から出ている配線コネクタを室内ユニットのCN20（GRL：青5P）コネクタに接続します。
4. 下図のように配線処理を行ってください。
5. 室内ユニットの電装ボックスおよび昇降電装ボックスにそれぞれカバーを取り付けます。

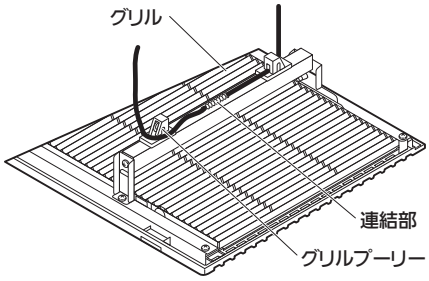


6.昇降グリルの取り付け

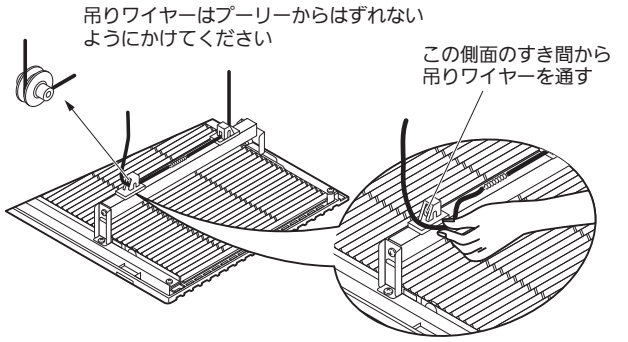
昇降メカに貼り付けてあるビニール袋から吊りワイヤーとばねを取り出してください。

1. 図のようにグリルプーリーへ吊りワイヤーを確実に通してください。
   - ● 取り付けが終わったらもう一度次の確認をしてください
     - ・吊りワイヤーの連結部がはずれかけていませんか
     - ・グリルの吊りワイヤーが配線などと接触していませんか
     - ・吊りワイヤーがプーリーからはずれたり、はさまったりしていませんか

グリルの吊り方



グリルプーリーへの吊りワイヤーの通し方



2. 通電の有無で次の対応を行ってください。

エアコンに電源が通電されている場合

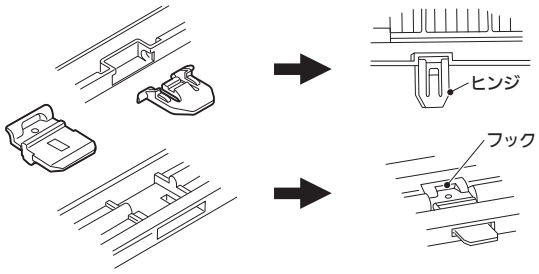
① 吸込グリルのフック（2か所）をはずして、昇降グリル固定金具に付属しているシールを貼り付けてください。
ヒンジはそのまま取りはずしてください。
ヒンジ・フックは、取付説明書といっしょに保管してください。
② ヒンジ・フックが取り付けられていないのを確認し、昇降用リモコンで吸込グリルを上昇させます。

エアコンに電源が通電されていない場合

① 電源が通電されるまで吸込グリルに取り付けてあるフックとヒンジをそのまま使用し、ワイヤーが外に出ないように吸込グリルを取り付けてください。
② 通電されたら、必ず上記の“エアコンに電源が通電されている場合”の説明に従い、作業を行ってください。

ヒンジ・フックの取り付け方（応急時）

仮掛けを行う場合には、室内ユニットのグリルに取り付けてあったフックおよびヒンジを使用してください。



7.据え付け後の設定・その他

(1) 据え付け後の確認

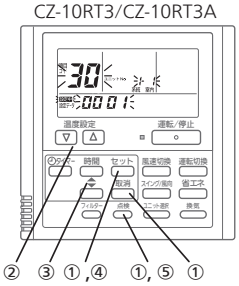
- ● 配線接続が確実にされていることを確認します。
  ※接続されていないと、グリルの昇降動作ができなくなります。

(2) 昇降グリルをワイヤードまたはタイマーリモコンから操作するための設定方法

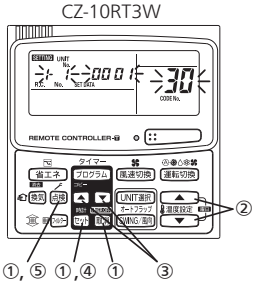
ワイヤード（タイマー）リモコンの フィルター ボタンでグリルを操作するためには必ずワイヤード（タイマー）リモコンから下記設定を行ってください。
この設定をしないと フィルター ボタンを長押ししても“この機能は使用できません”または“ ⃠ ”が表示されます。

① 点検 ＋ 取消 ＋ セット ボタンを同時に4秒間以上押します。
※昇降グリルを設置している室内ユニットを含むグループ制御を行なう場合は親機に対して設定する必要があります。最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内ユニットアドレスですので ユニット選択 ボタンを押さないでください。
②温度設定 ▲ ／ ▼ ボタンで項目コード「30」を指定します。
③時間 ▲ ／ ▼ ボタンで設定データを「0000」から「0001」に変更します。
④ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
⑤ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。 フィルター ボタンを4秒間以上押して液晶表示部に“フィルター 昇降 ”または“ 昇降 ”と表示されることを確認してください。再度 フィルター ボタンを4秒間以上（または、2回）押すと通常の停止状態に戻ります。
※ワイヤードリモコン（CZ-10RT4）をご使用の場合は、付属の「据付工事説明書 試運転編 補足」を参照してください。

ワイヤードリモコン
CZ-10RT3/CZ-10RT3A



タイマーリモコン
CZ-10RT3W



ワイヤレスリモコン対応の場合

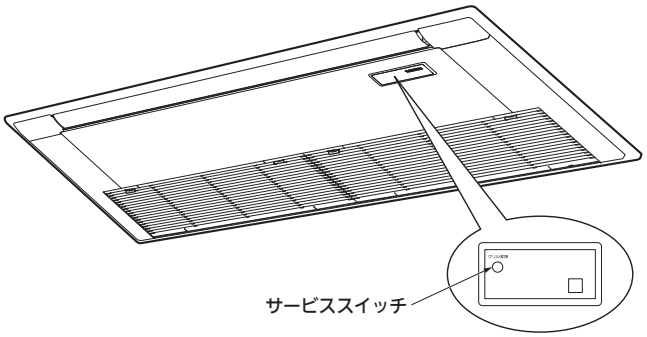
- ● 別売品の昇降操作専用リモコンでも昇降グリルの操作が可能です。
- ● 別売ワイヤレスリモコン（本体組込受信部タイプ）を併用する場合は、別紙「昇降グリルメカキットとワイヤレスリモコンを併用する場合」を参照してください。

(3) 据え付け後の動作確認

- (2) の設定終了後に、動作確認を行ってください。
- **電源投入時、初めて操作した場合は、下げるを押しても上昇動作をします。**
- 昇降グリルが室内ユニットにきちんと収まると、収納動作を2回くり返した後、モーターが停止します。
- 昇降メカA、Bの吊りワイヤーの長さが異なる条件でグリルを上昇した場合、グリルが収納できずに途中で停止することがあります。
  このような場合はグリルプーリーから吊りワイヤーがはずれていないことを確認してから、再度グリルを上昇させてください。

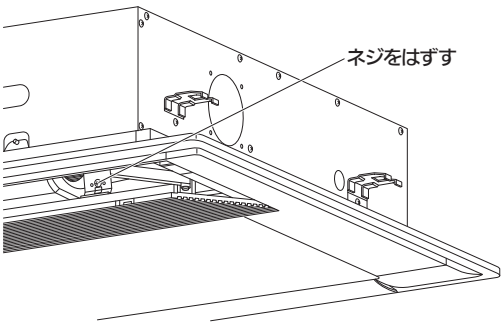
(4) サービス時

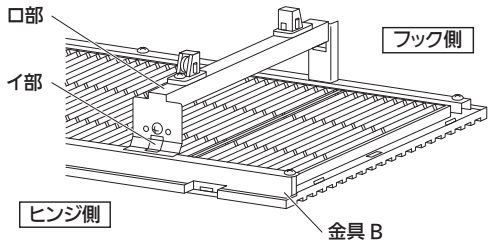
●リモコン（ワイヤード・昇降操作専用リモコン・ワイヤレス）を使用しなくても、右図のサービススイッチにて、昇降が可能です。サービススイッチは押すごとに、上昇、停止、下降をくり返します。



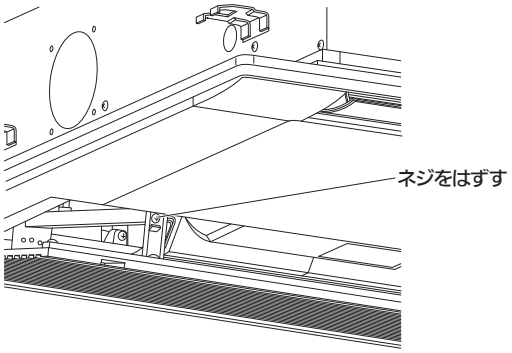
昇降グリルが動作しない場合（故障および停電時）の取りはずし方法

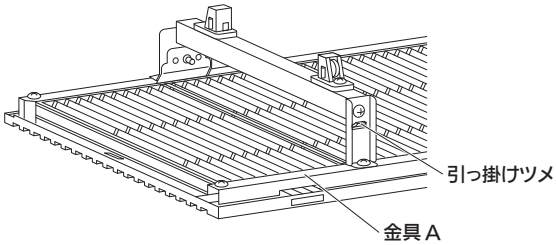
① 昇降グリルのヒンジ側を引き下げてプーリー台のイ部を押さえながらネジをはずし、プーリー台と金具Bをはずします。
（プーリー台はばねで上に戻りますが、イ部を押えている指がはさまらないように、反対の手で口部に持ち替えてから静かに戻してください。）





② 昇降グリルのフック側を引き下げて金具Aを押えながらネジをはずします。
③ 引っ掛けツメをはずして昇降グリルを取りはずします。





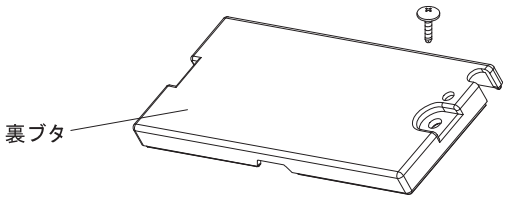
上記項目を確認した後、この説明書とユニット本体および別売部品の説明書等の一式全てとヒンジ・フックをお客様へ渡してください。
その際、ユニット本体の取扱説明書に記載されたフィルターの清掃の説明を必ずお客様へしてください。

■昇降グリルメカキットとワイヤレスリモコンを併用する場合

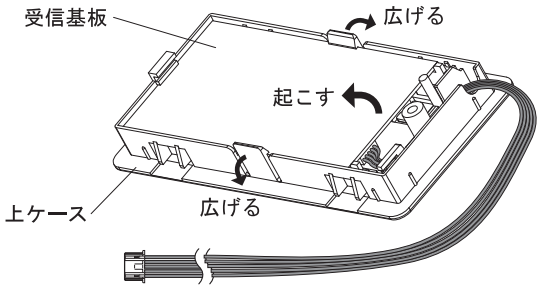
8546575911 8001

昇降グリルメカキットとワイヤレスリモコンを併用する場合

①昇降グリルメカキット付属の受信部およびワイヤレスリモコンの受信部の裏ブタをはずします。
（右の図は昇降グリルメカキット付属の受信部の例です）

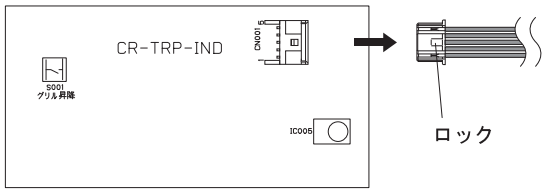


②それぞれの受信基板を上ケースからはずします。このとき、基板両サイドの爪を広げながら、配線側を起こすようにはずしてください。



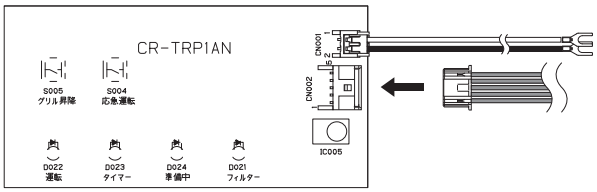
③昇降グリルメカキット付属の受信基板から配線をはずします。コネクタにはロックがありますので、押さえながら抜いてください。

昇降グリルメカ付属の受信基板

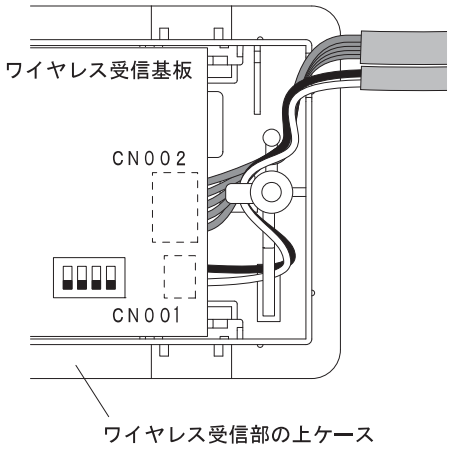


④昇降グリルメカキット付属の受信基板からはずした配線を、ワイヤレス受信基板のCN002に接続します。コネクタがロックするまでしっかりと挿入してください。

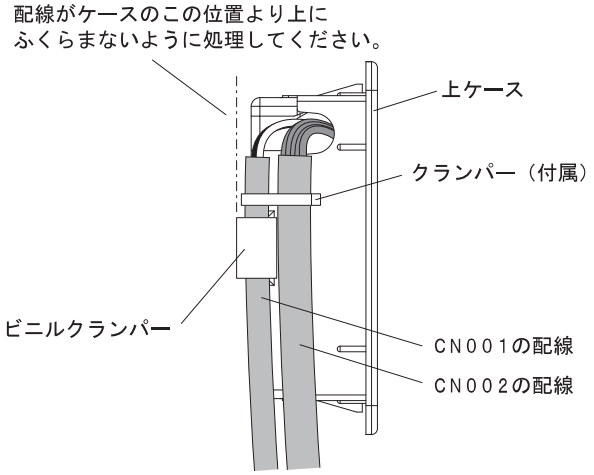
ワイヤレス受信基板



⑤ワイヤレス受信基板をワイヤレス受信部の上ケースに取り付け、それぞれの配線を下図のように処理してください。



⑥配線をはさまないように裏ブタを取り付け、CN001の配線（２本）をビニルクランパーでケースと共締めし、CN002の配線を付属のクランパーでCN001の配線と下図の位置で結束してください。



※受信部の室内ユニットへの取り付けは「昇降グリルメカキット取付説明書」および、ワイヤレスリモコンの「据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ」を参照してください。

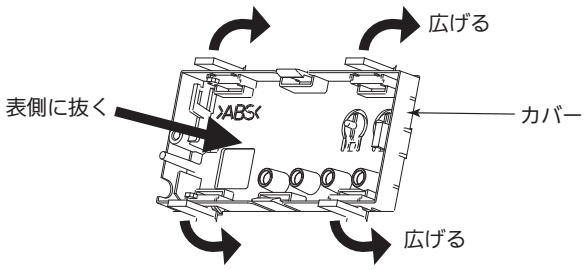
高天井用一方向形に取り付ける場合

5464359708000

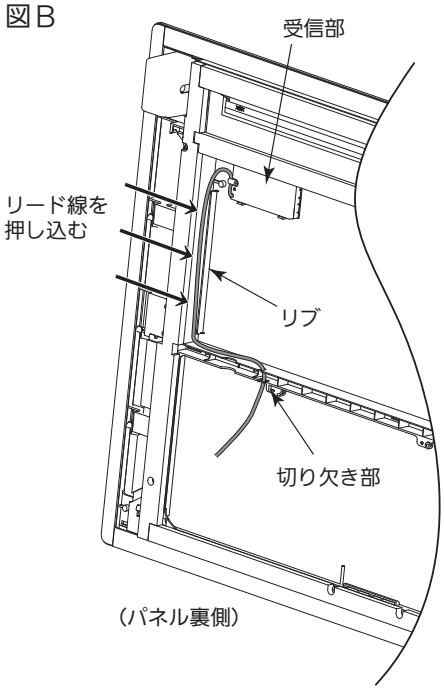
受信部の取付けかた

❶ カバーのツメを広げながら、パネルの表側に抜きます。（図A）
❷ パネルにリード線を通してから受信部をパネル穴に取付けます。
（受信部の突起部がパネル穴で固定されます。）
❸ 受信部のリード線をパネル裏のリブに沿って押し込み、切り欠き部に通します。（図B）
❹ パネルを室内機に取り付けます。
❺ パネルから出たリード線は室内機天面のクランパーで固定します。（図C）
❻ リード線をファンケーシングのラッチに付属のクランパーで固定し、電装ボックスの下側の穴から引き込んでリモコン端子板に接続します。（図D）

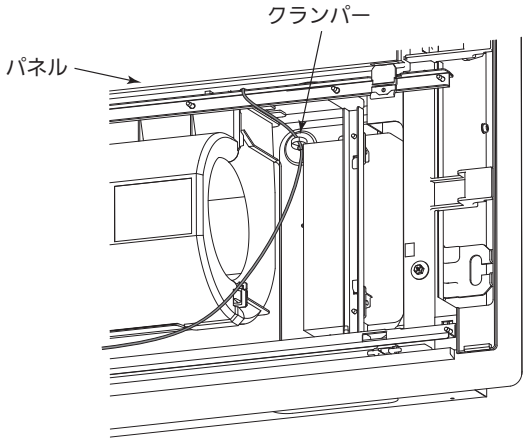
図A



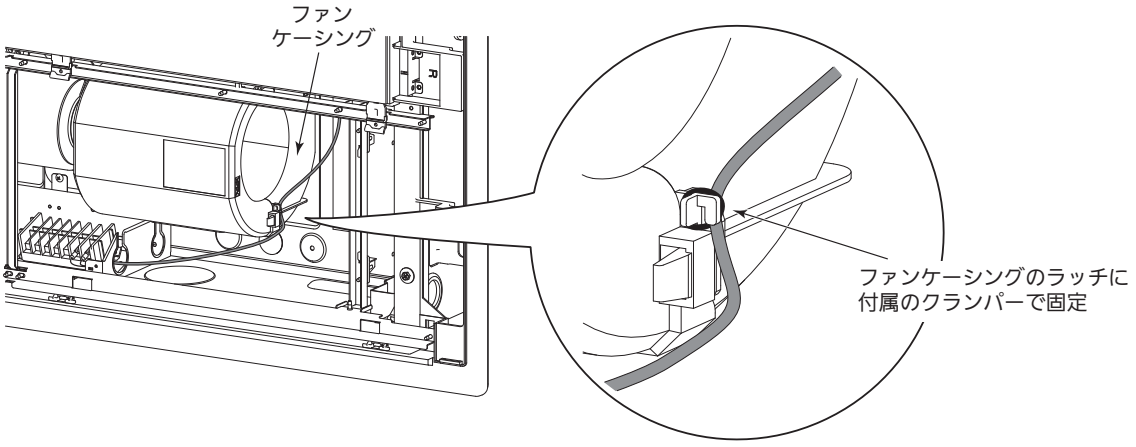
図B



図C



図D

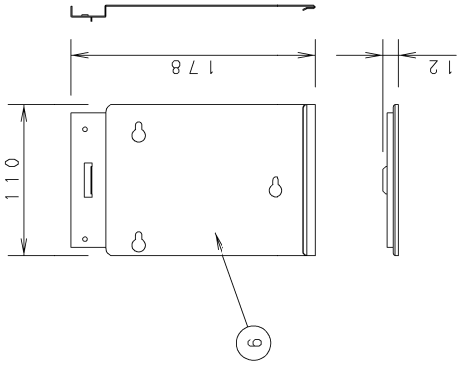


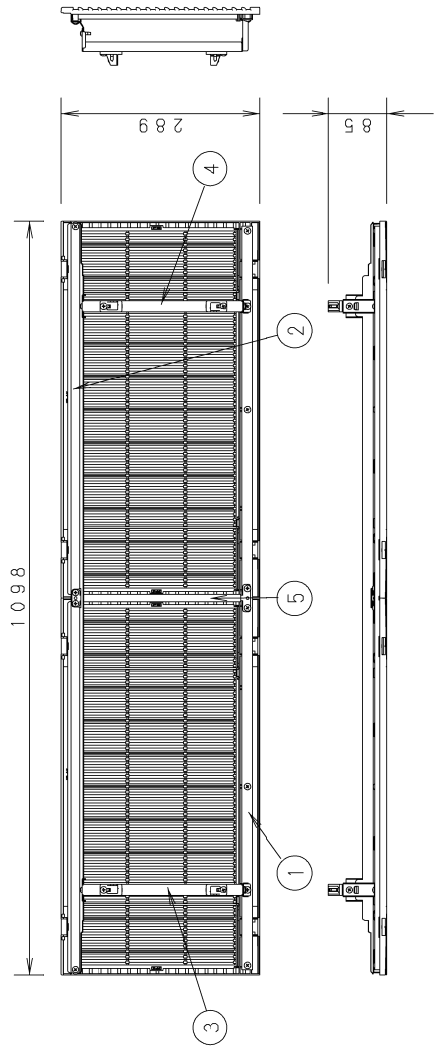
〈注 1〉受信部のリード線は電源引込線などといっしょにより合わせると誤動作の原因となりますので避けてください。
〈注 2〉リード線がファンに巻き込まれないように、確実に固定してください。
〈注 3〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処置が必要です。
※配線、試運転については「据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ」の“受信部の配線のしかた”および“試運転について”を参照ください。

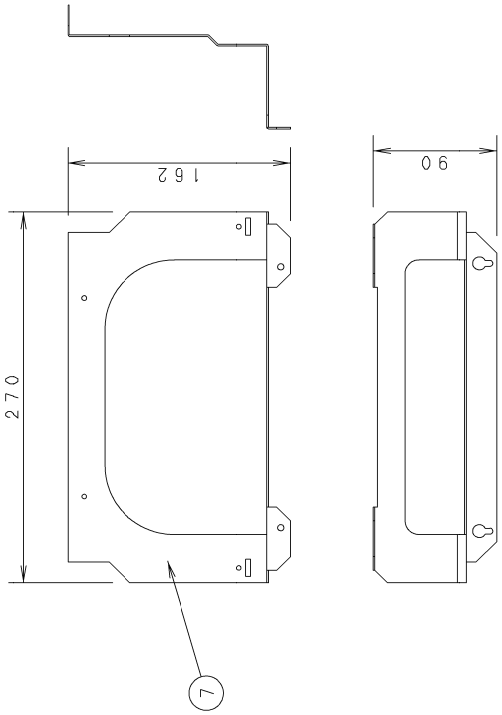
●昇降グリル固定金具（GRL-SL80BU）

■外形寸法図

①	金具A
②	金具B
③	プーリ台A
④	プーリ台B
⑤	中央固定金具
⑥	昇降電装BOX固定金具
⑦	昇降メカ固定金具







28~80形

■取付説明書

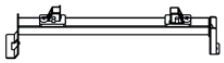
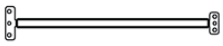
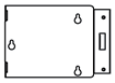
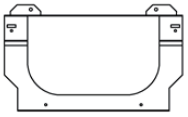
85464359724001

高天井用1方向カセット形　昇降グリル固定金具　取付説明書

ご注意　　品番：GRL-SL80BU

・取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
　この取付説明書は昇降グリルメカキット取扱説明書と一緒に保管してください。
・グリル固定金具の取り付けは、必ず付属の⑤ビス（4×12）を使用してください。
・吸込グリルに取り付けてある落下防止用ひもは、取りはずしてください。

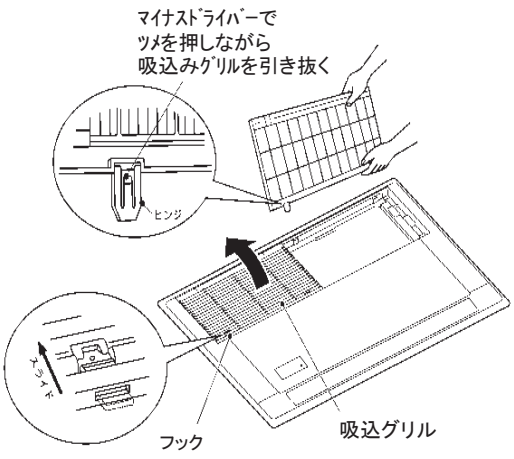
構成部品（28～80形全機種共通）

図番	品名	形状	員数
①	金具A		1
②	金具B		1
③	プーリー台		2
④	中央固定金具		1
⑤	ビス　4×12		14
⑥	シール材	T2×20×24（白色）	4
⑦	昇降電装箱固定金具	 室内ユニットへ取り付け	1
⑧	昇降メカ固定金具	 室内ユニットへ取り付け	2
⑨	ビス　4×8	⑦、⑧部品のユニットへ取り付け	11

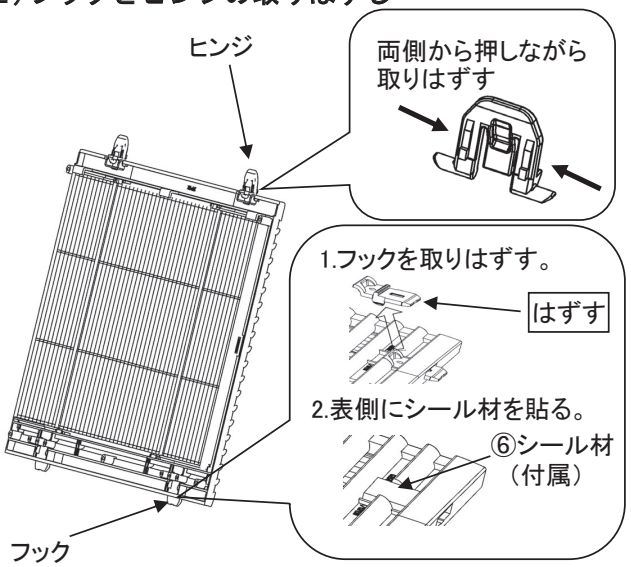
1.＜昇降グリル固定金具取り付け前の準備＞

（1）吸込グリル取りはずし

・吸込グリル固定フックを矢印方向にスライドし
　吸込グリルを開いてください。
・吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジのツメ部を
　マイナスドライバーで押しながら吸込グリルを
　引き抜いてください。



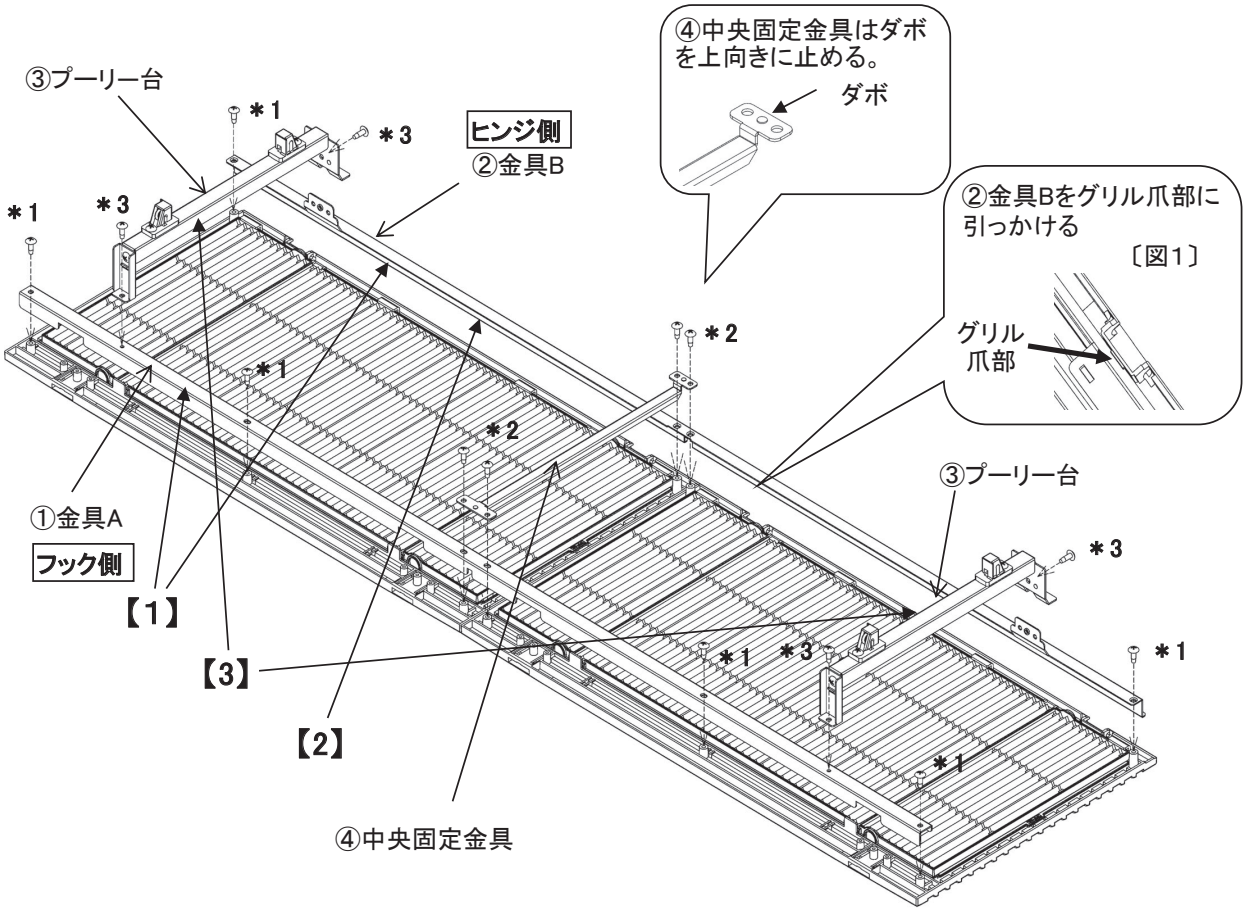
（2）フックとヒンジの取りはずし



取りはずしたヒンジとフックは、昇降グリル固定金具取付説明書と
一緒に保管してください。

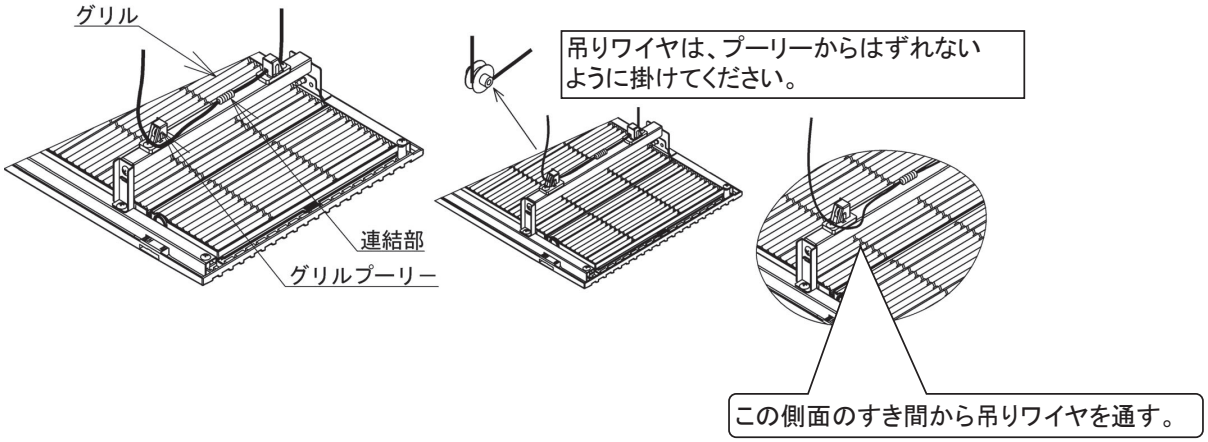
2. ＜昇降グリル固定金具の取り付け手順＞

【1】グリルの**フック側**に①金具Aを、グリルの**ヒンジ側**に②金具Bを＊1ビス6本で止めてください。
②金具Bを乗せる際にグリル爪部に引っかけるように差し込んでください。〔図1〕
【2】④中央固定金具をダボが上向きになるように乗せ＊2のビス4本で止めてください。
【3】グリル左側に③プーリー台を乗せビス＊3のビス2本で止めてください。
グリル右側に③プーリー台を乗せビス＊3のビス2本で止めてください。



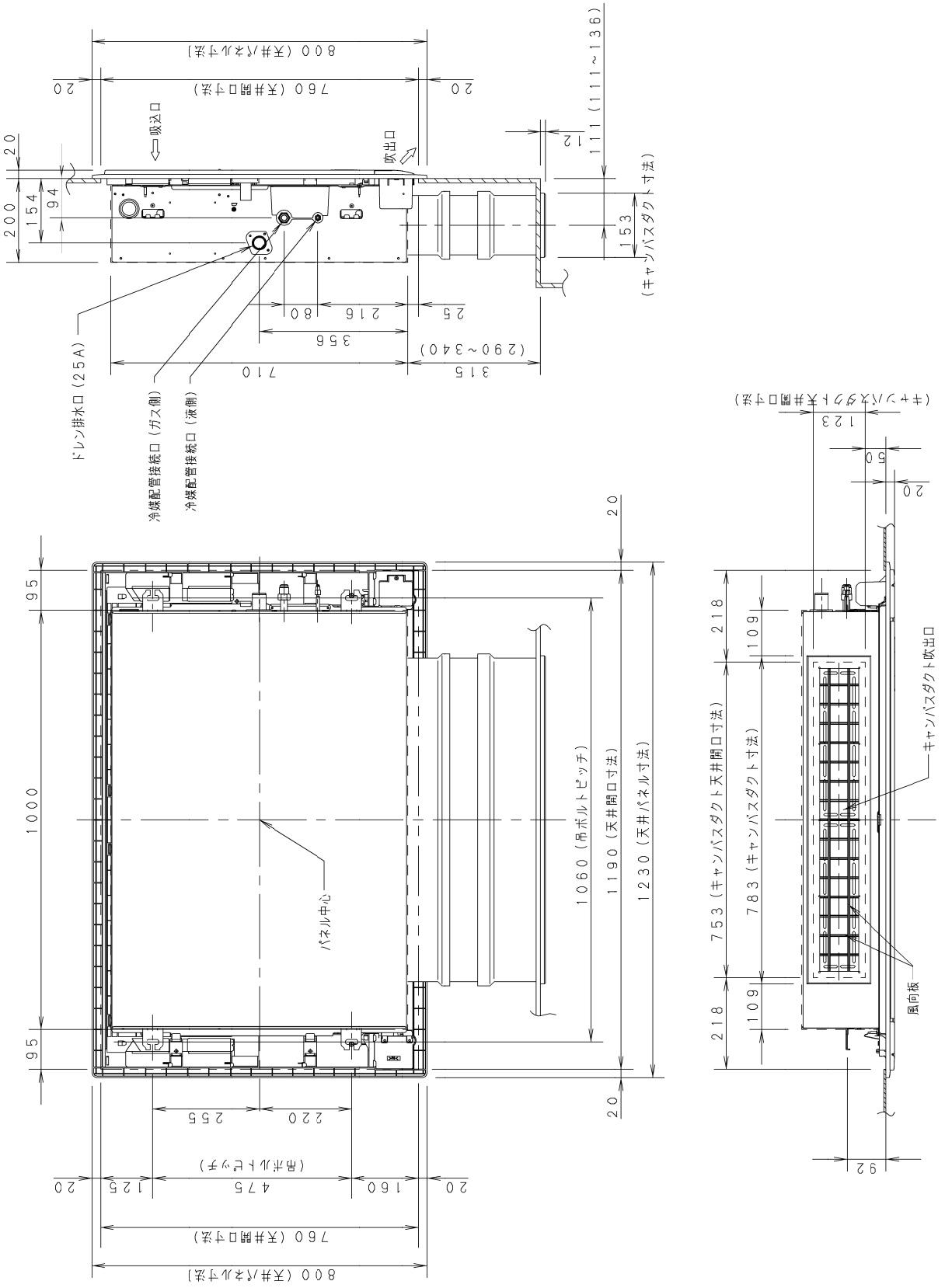
3. ＜室内ユニットへの取り付け方法＞

2で組み立てたグリルを、別売品昇降グリルメカキットの取付説明書を参照して室内ユニットに取り付けてください。



●吹出口グリル（DKT-CSL80B）

■外形寸法図



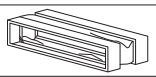
■取付説明書

キャンバスダクト・吹出口グリル取付説明書

85464359768002

1 . 付属品

付属品は取付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

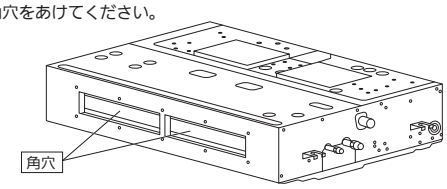
名　称	形　状	個数	備　考
キャンバスダクト		1	
吹出口グリル		1	
断熱材①		4	室内ユニット吹出口シール用
断熱材②		2	室内ユニット吹出口シール用
断熱材③		1	室内ユニット吹出口シール用
仮掛け金具		4	ダクト仮掛け用
風向調整板		2	2 方向下がり天井方式時使用
風量調整板		1	2 方向下がり天井方式時使用 （両面テープ付）
しゃ風材		1	1 方向下がり天井方式時使用
しゃ風材シール（長）		2	1 方向下がり天井方式時使用
しゃ風材シール（短）		2	1 方向下がり天井方式時使用
断熱材④（白）		2	別売天井パネル吹出口断熱用
断熱材⑤（白）		1	別売天井パネル吹出口断熱用
ネジ		8	4×8（仮掛け金具、風向調整板用）
		10	4×16（ダクト用）
ネジ（黒）		4	M4×50（グリル用）
取付工事説明書 設定方法 試運転 補足		各 1	

※このキャンバスダクト・吹出口グリルのご使用方法は、「2 方向下がり天井方式」および「1 方向下がり天井方式」の 2 種類があります。
「2 方向下がり天井方式」で使用する場合は、以下の手順に従ってください。
「1 方向下がり天井方式」で使用する場合は、2 ページをご覧ください。

2 .「2 方向下がり天井方式」で使用する場合

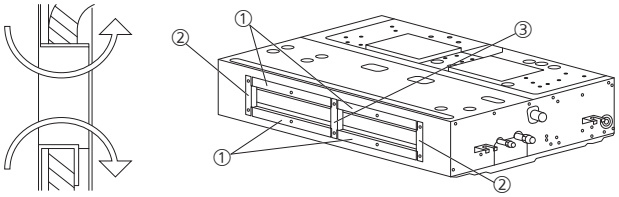
(1) 室内ユニットの前面部に角穴（2 か所）をあけてください。

●板金のスリット部のつなぎ目をニッパ等で切断し、さらにカッターで断熱材を切り取って角穴をあけてください。



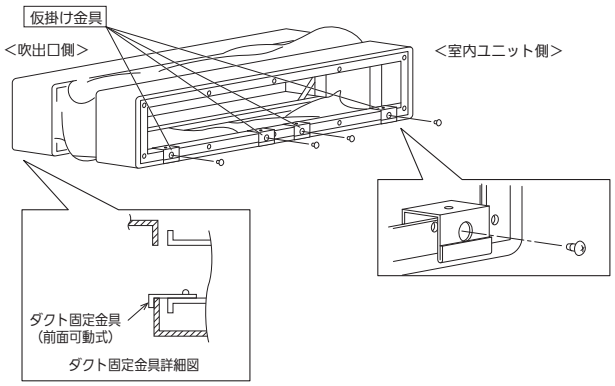
(2) 室内ユニットに断熱材を貼り付けてください。

●図のように、断熱材①、②、③をネジ穴に合わせて貼り付けてください。
断熱材は左図のように、穴の後側までしっかり貼り付けてください。



(3) キャンバスダクトに仮掛け金具を取り付けてください。

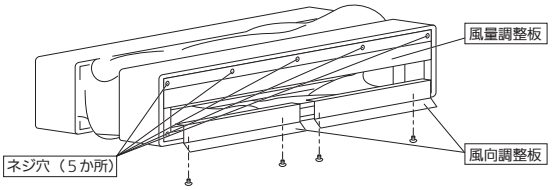
●図のようにキャンバスダクトの後面の下側に、仮掛け金具をネジ（4×8）で固定してください。
ネジ止めは図のように、金具の穴を通して行ってください。



（ご注意）
キャンバスダクトはダクト固定金具のある方を下側にしてください。

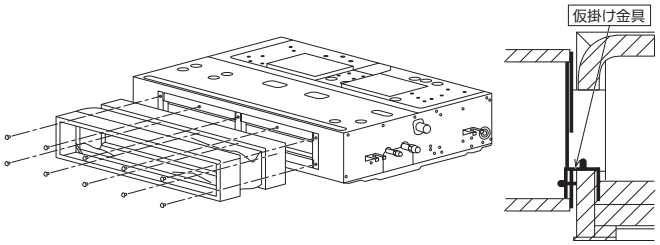
(4) 仮掛け金具に風向調整板、キャンバスダクトに風量調整板を取り付けてください。

●図のように仮掛け金具に風向調整板をネジ（4×8）で固定してください。
●図のようにキャンバスダクトに風量調整板を両面テープで貼り付けてください。
このときネジ穴を合わせるように取り付けてください。

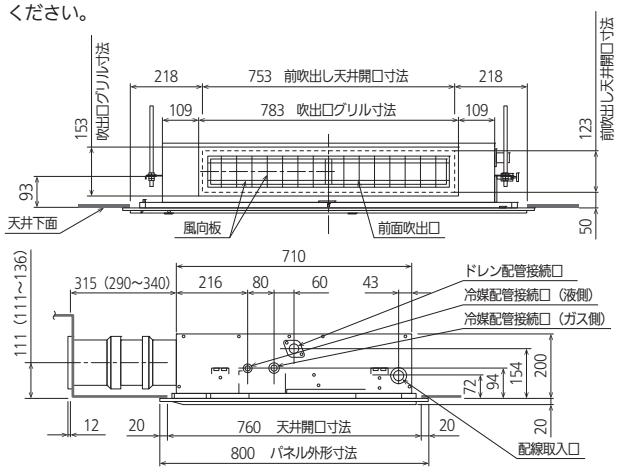


(5) キャンバスダクトを室内ユニットにネジで固定してください。

●キャンバスダクトは、室内ユニットの吹出口から手を差し込み、押し下げるようにして、仮掛け金具を角穴に固定してください。
●仮掛け金具を製品本体の角穴に引っかけ、ネジ（4×16）で固定してください。
（両面テープで貼り付けた風量調整板は共締めとなります。）

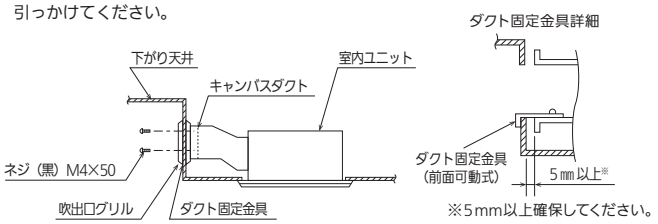


(6) 下がり天井に、吹出口グリルを取り付ける角穴（753×123）をあけてください。



(7) 吹出口グリルを下がり天井をはさんでキャンバスダクトにネジ（黒）M4×50で固定してください。

●吹出口グリルを取り付ける前にダクト固定金具を吹出口グリル取付用角穴の下面に引っかけてください。

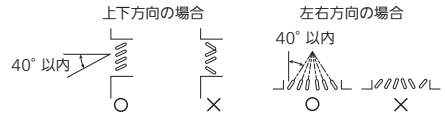


※5mm以上確保してください。

(8) 吹出口グリルの風向を調節してください。

●上下方向は吹出口グリルの水平風向調整羽根を、左右方向は吹出口グリルの垂直風向調整羽根を室内の温度分布が最適になるように調整してください。

●羽根の傾き角度は 40° 以内にしてください。
40° を超えると冷房運転時露付きを起こすおそれがあります。



（ご注意）
吹出口グリルの風向調整羽根は、風の流れを妨げるような急な曲げ方をしないでください。
吹出口から水滴落下の原因となります。

(9) 別売天井パネルを取り付けてください。

●別売天井パネルの取り付けは、別売天井パネルに付属の説明書をご参照ください。

(10) リモコンで風量アップの設定をしてください。

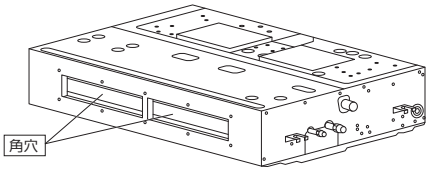
●「2 方向下がり天井方式」の場合は、風量の調節が必要となりますので天井パネルに付属の「2 方向下がり天井方式」の場合の設定方法に従い設定してください。
変更方法は、ワイヤードリモコンで設定する場合と、基板から設定する場合の 2 種類があります。

（ご注意）
風量アップの設定を行わない場合、風量減少・露付の原因となります。

3.「1 方向下がり天井方式」で使用する場合

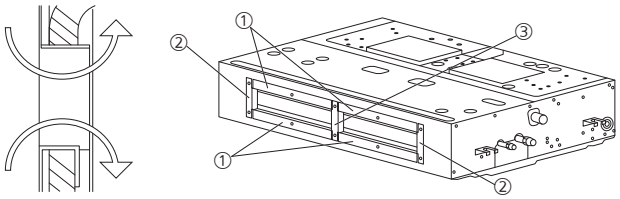
(1) 室内ユニットの前面部に角穴（2 か所）をあけてください。

●板金のスリット部のつなぎ目をニッパ等で切断し、さらにカッターで断熱材を切り取って角穴をあけてください。



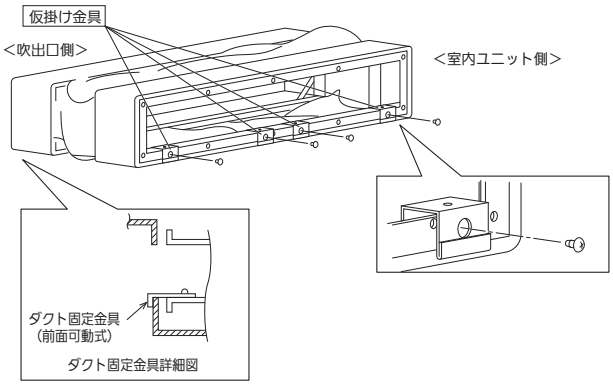
(2) 室内ユニットに断熱材を貼り付けてください。

●図のように、断熱材①、②、③をネジ穴に合わせて貼り付けてください。
断熱材は左図のように、穴の後側までしっかり貼り付けてください。



(3) キャンバスダクトに仮掛け金具を取り付けてください。

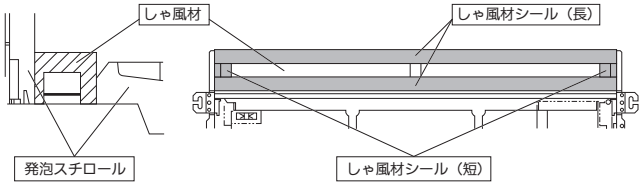
●図のようにキャンバスダクトの後面の下側に、仮掛け金具をネジ（4×8）で固定してください。
ネジ止めは図のように、金具の穴を通して行ってください。



（ご注意）
キャンバスダクトはダクト固定金具のある方を下側にしてください。

(4) 室内ユニットの吹出口にしゃ風材を取り付けてください。

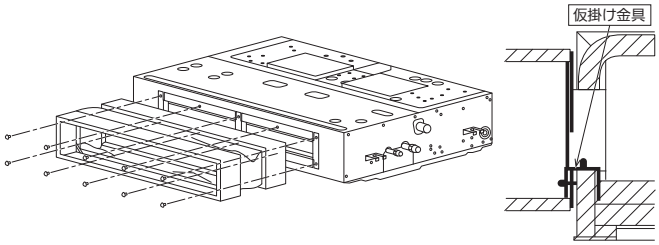
●付属のしゃ風材を吹出口につめ込み、さらにその上からしゃ風材シール（長）、（短）を図のように貼り付けて塞いでください。



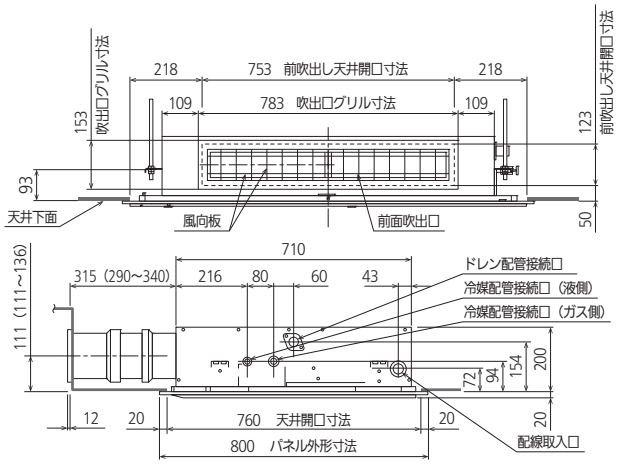
（ご注意）
しゃ風材シールは、しゃ風材と発泡スチロールとの隙間を塞ぐために使用します。
特に、しゃ風材シール（短）は、段差に合わせて隙間ができないように貼り付けてください。

(5) キャンバスダクトを室内ユニットにネジで固定してください。

●仮掛け金具を製品本体の角穴に引っかけ、ネジ（4×16）で固定してください。

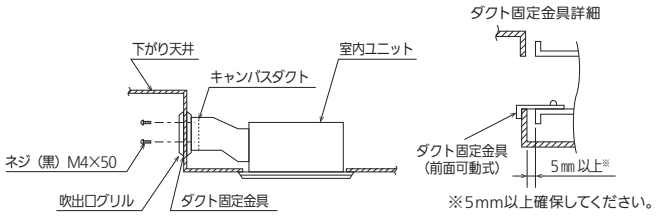


(6) 下がり天井に、吹出口グリルを取り付ける角穴（753×123）をあけてください。



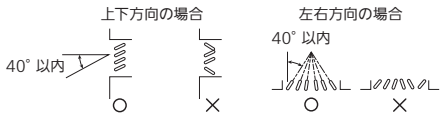
(7) 吹出口グリルを下がり天井をはさんでキャンバスダクトにネジ（黒）M4×50で固定してください。

●吹出口グリルを取り付ける前にダクト固定金具を吹出口グリル取付用角穴の下面に引っかけてください。



(8) 吹出口グリルの風向を調節してください。

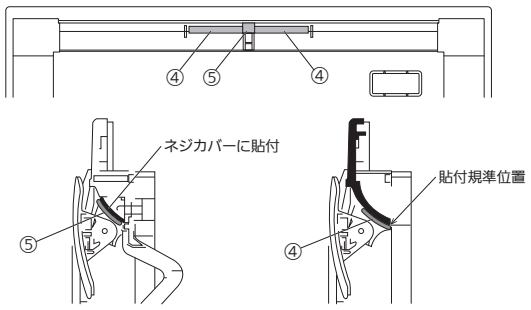
●上下方向は吹出口グリルの水平風向調整羽根を、左右方向は吹出口グリルの垂直風向調整羽根を室内の温度分布が最適になるように調整してください。
●羽根の傾き角度は 40° 以内にしてください。
40° を超えると冷房運転時露付きを起こすおそれがあります。



（ご注意）
吹出口グリルの風向調整羽根は、風の流れを妨げるような急な曲げ方をしないでください。
吹出口から水滴落下の原因となります。

(9) 別売天井パネルを取り付けてください。

●別売天井パネルの取り付けの前に、下図のように別売天井パネルの吹出口のネジカバー部、ネジカバーの両側に、断熱材④、⑤（白）を貼り付けてください。
●別売天井パネルの取り付けは、別売天井パネルに付属の説明書をご参照ください。
●「1 方向下がり天井方式」で使用する場合は、別売天井パネルに付属の説明書に記載の配線方法に従って配線を行った後、室内ユニット基板のルーバモーターのコネクタ（白 5P：CN033）をはずしてください。
●フラップは、別売天井パネルの取り付け後、両端を手で支えて閉じてください。

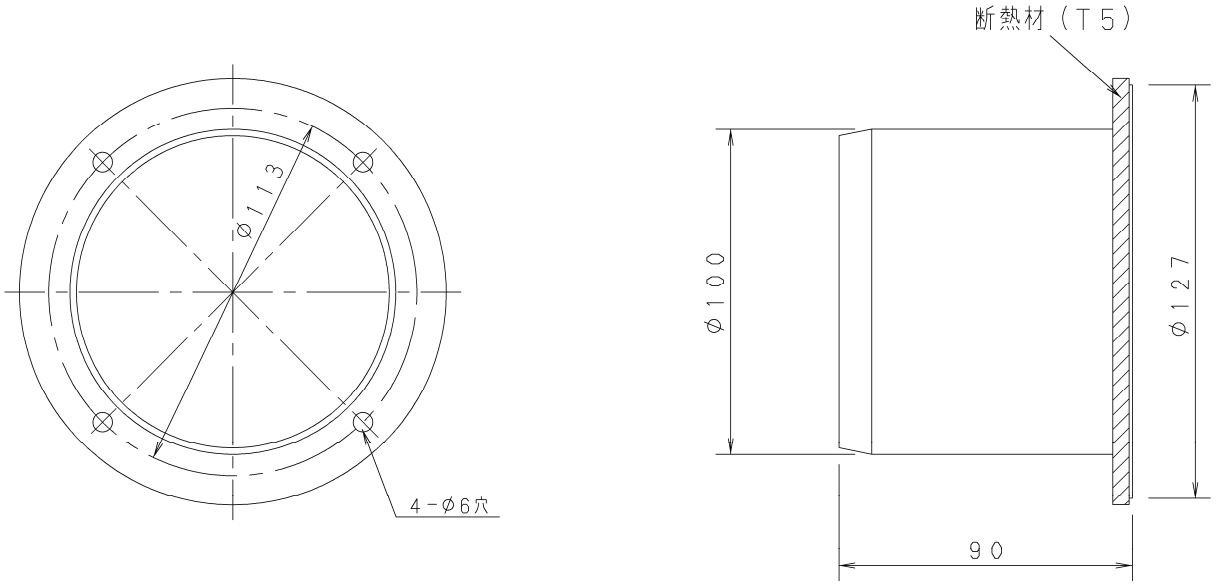


(10) リモコンでフラップ非表示の設定をしてください。

●リモコンのフラップ表示が不要となりますので、別紙の「1 方向下がり天井方式で使用する場合の設定方法」に従い設定をしてください。

●外気取入・本体用ダクトフランジ（φ 100）（DKT-MF10AN）

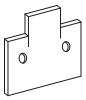
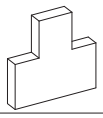
■外形寸法図



■取付方法

丸合フランジの取り付けかた

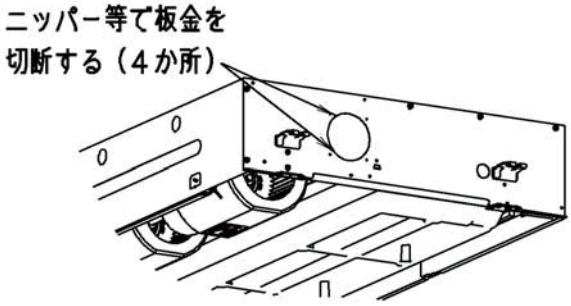
1. 付属品

名　　称	個数	名　　称	個数
丸合フランジ （φ100・外気取入用）	1	取付ネジ （4 x 12）	4
シール用断熱材　A (高天井1方向カセット形では、使用しません) 	2	シール用断熱材　B (高天井1方向カセット形では、使用しません) 	2

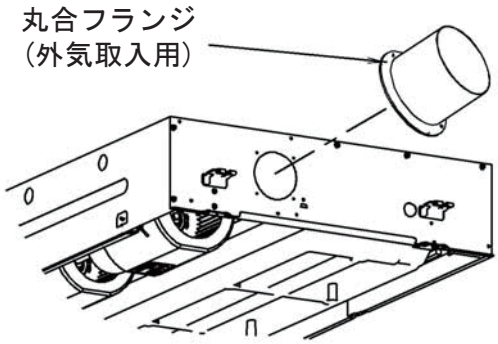
2. 取り付けかた

(1) ユニット本体の切り込みを目印に、断熱材(スチロール)ごと、ニッパ・カッターナイフ等で切断し、切り取ってください。

注意　内側のスチロールを切断するとき、カッター等の刃は30mm以上差し込まないよう注意してください。（内部のドレンパンを傷つけると、水漏れの原因になります。）



(2) ユニット本体に丸合フランジを付属の取付ネジ4本 で取付けてください。



●自然気化式加湿器（CZ-09ASD1）

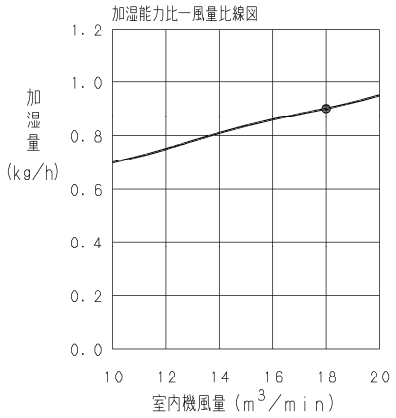
■仕様

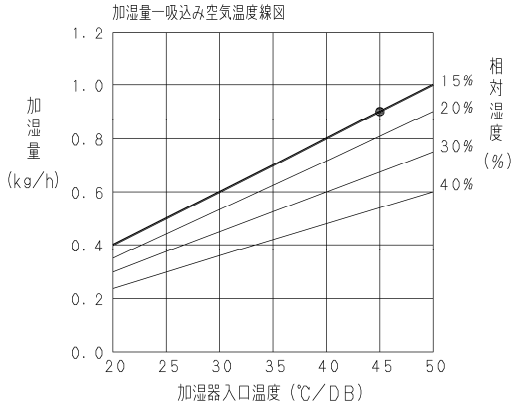
適用機種		高天井用1方向カセット形		
加湿器品番		CZ-09ASD1		
適合エアコン形式		28・36・45形	56形	71・80形
外形寸法　H×W×D(mm)		71.5×789.3×79.8		
質量	kg	1.9		
電源仕様		50／60Hz　単相200V±10%		
加湿能力	kg/h	0.75	0.78	0.90
給水量	L/h	2.8±30%		
給水圧力		0.05 MPa ～ 0.50 Mpa		
給水圧力(ポンプ使用時)		0.05 MPa ～ 0.30 Mpa		
使用上の条件	使用水	上水道または、これと同等水質のこと(水温10℃～40℃)		
	減圧弁	加湿器本体に取り付け		
	周囲音湿度条件 (タイマーボックスを除く)	温　　度　　1℃～40℃ 相対湿度　　90%以下		

・加湿能力は、エアコンに組み込んだときの値を示します。（加湿器入口空気温度DB45℃、相対湿度15%の時）
・加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。
　公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン(型式認可品：現地調達)をご使用ください。

■能力線図

CZ-09ASD1
(基準風量：18m³/min)

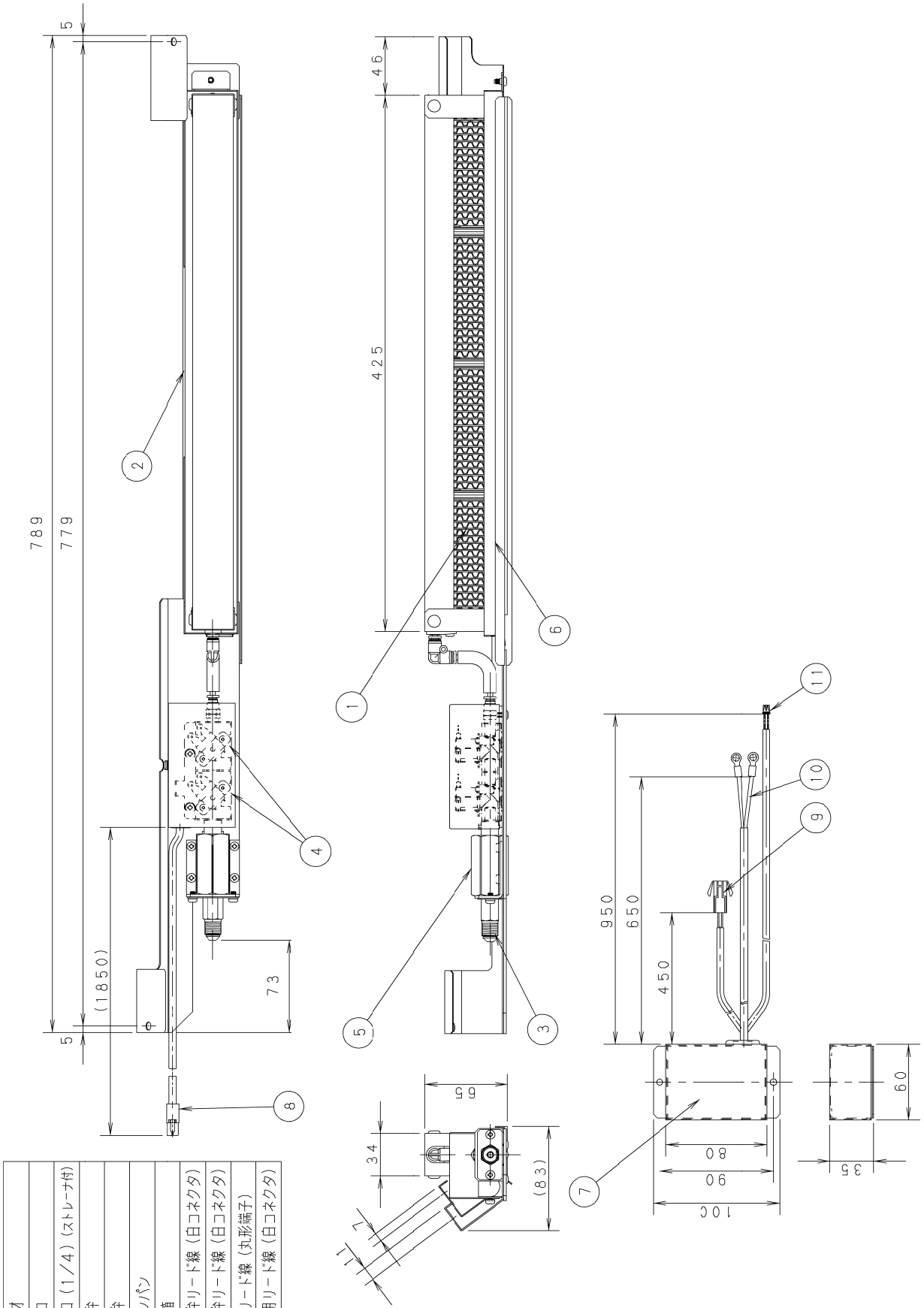




加湿器品番		CZ-09ASD1		
適用室内機		28・36・45形	56形	71・80形
室内機風量(急風)	m³/min	12	13	18
加湿性能	kg/h	0.75	0.78	0.90

注記
1）加湿能力条件は、加湿器通過　温湿度がＤＢ４５°Ｃ，ＲＨ１５%の場合の値を示します。
2）風量比（%）＝（任意風量／基準風量）Ｘ１００

■外形寸法図



①	加湿材
②	排水口
③	給水口（1／4）（ストレーナ付）
④	電磁弁
⑤	減圧弁
⑥	ドレンパン
⑦	制御箱
⑧	電磁弁リード線（白コネクタ）
⑨	電磁弁リード線（白コネクタ）
⑩	電源リード線（丸形端子）
⑪	信号用リード線（白コネクタ）

■取扱説明書

取扱説明書

自然気化式加湿器

品番　CZ-09ASD1

適用室内ユニット　高天井用1方向カセット形

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
● 室内ユニットに付属の取扱説明書もあわせてお読みください。
● ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
● この取扱説明書は室内ユニットに付属の取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ **据付工事や移動修理および保守点検については、お買い上げの販売店や専門業者に依頼するなお工事には必ず指定の部品を使って確実に行う**
（ユニットの落下や水漏れ、感電・火災の原因）

■ **改造・改修は絶対にしない**
（修理に不備があると、水漏れや感電・火災の原因）
修理はお買い上げの販売店またはサービス会社にご相談ください。

⚠ 注意

■ **給水には必ず水道水（上水）を使用する**

■ **お手入れ時は必ず運転を停止し、漏電しゃ断器を切る**
（感電や、ファンが高速回転しているため、けがの原因）

1. ご使用上の注意

● 定期清掃や保守点検は、お客様自身で行わず、必ずお買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。
● 加湿（暖房）シーズン終了後、給水用サービスバルブを必ず閉めてください。
● 冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない場合は、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、給水管内を新しい水に置き換えてから使用してください。そのまま給水されますと汚れや異物による能力不足、加湿エレメントから異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。
● 定期清掃や点検の際を除いては、室内ユニットの漏電しゃ断器は入れたままにしてください。万一、加湿器内部の給水用電磁弁にゴミ等がからみ閉じなくなった場合の漏水を防ぎます。
● シーズンオフ中に加湿エレメントに付着した汚れを取るため、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に必ず保守点検を行ってください。
● エアコン（室内ユニット）のエアフィルターが汚れていると、加湿能力や加湿器の寿命に悪影響を与える原因になります。エアフィルターは定期的に点検を行い、汚れている場合は清掃してください。
● 加湿（暖房）シーズン開始時の運転前には、給水用サービスバルブを開けて使用してください。

2. 各部のなまえ

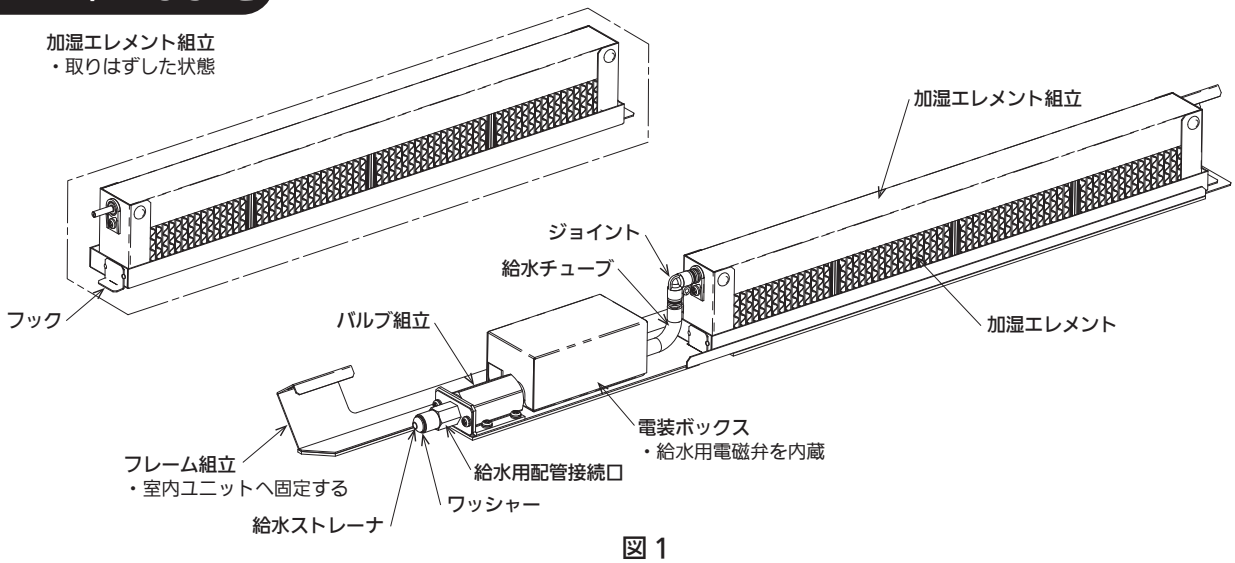


図 1

3. 運転のしかた

加湿器はエアコン（室内ユニット）に接続されており、エアコンを暖房運転したときに自動で加湿運転をします。
エアコンの運転操作方法については室内ユニットに付属の「取扱説明書」に従ってください。

4. 保守点検

長く安心してご使用していただくために、サービス技術者による定期的な保守点検を行ってください。

1. 点検周期および保全周期一覧

●本表は主要部品を示します。
また、この保全周期（交換周期）は、製品を長く安心してご使用していただくために、保全行為（交換行為）が生じるまでのめやす期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。

●保全周期（交換周期）は保証期間を示しているものではありません。
保守点検実施の場合でも、予期せぬ故障が発生することがあります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

主要部品名	点検周期	保全周期（交換周期）
加湿エレメント	1 年	3 年 ※
給水ストレーナー		必要に応じて
電子基板類		25,000時間
電磁弁		20,000時間
ヒューズ		—

※建築物における衛生的環境の確保に関する法律（建築物衛生法）の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。

室内ユニットに付属の取扱説明書に記載されている「保証とアフターサービス」もあわせてご覧ください。

2. 作業前の準備

●作業は安全に留意して行ってください。特に板金のエッジ部分や熱交換器の温度等には十分に注意してください。
加湿器の据付工事説明書もあわせてご覧ください。

●作業にかかる前に必ず漏電しゃ断器を切り、給水用のサービスバルブを閉めてください。

●給水ホース・加湿器内の残水が出ることがありますので、バケツやウエスなどを準備してください。

裏面に続く

ACXF60-37810
BE0519-0

4. 保守点検（つづき）

3．作業手順

1）加湿エレメントの洗浄（1 回 / 年：シーズン開始時）

①天井パネルをはずし、室内ユニットよりドレンパンをはずします。（図 2）
※冷房運転後は、ドレンパン内の残水をこぼさないようにご注意ください。

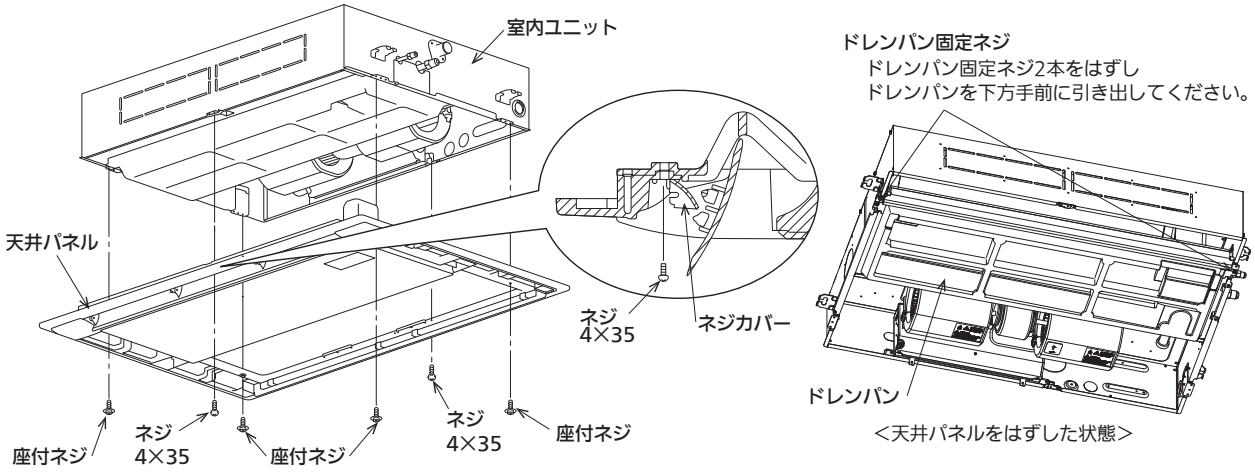


図 2　※天井パネルの取付説明書をあわせてご覧ください

②給水チューブをはずします。（図 3）
3-1) ジョイントの開放リングを上矢印（↟）方向へ押し込みます。ジョイント内の給水チューブロック爪が開きます。
3-2) 開放リングを押し込んだままチューブを下矢印（⇩）方向へ引っ張ると、ジョイントから抜けます。
※ 開放リングを押し込まずに無理にチューブを引き抜くと、ジョイントが破損し使用できなくなります。

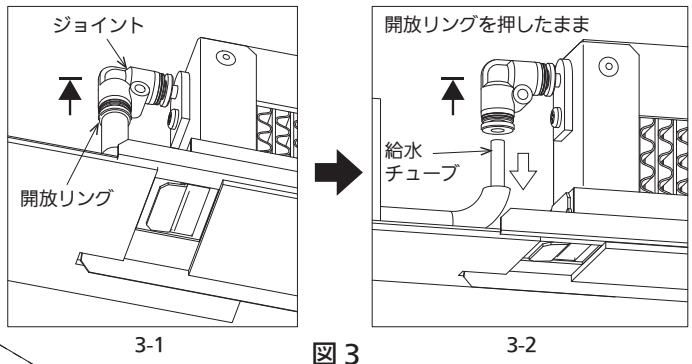


図 3

③加湿エレメント組立の固定ネジ（M4×8）1 本をはずします。（図 4）

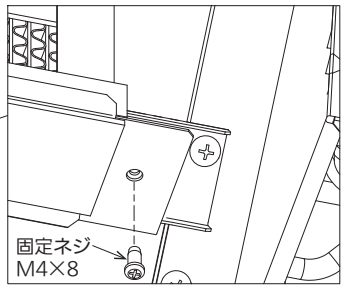


図 4

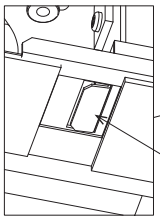
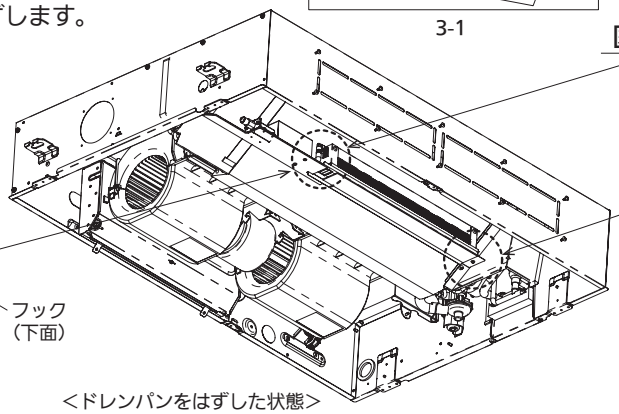


図 5



④加湿エレメント組立の固定ネジ側を少し持ち上げながら、右手に引いてフックをはずします。（図 5）（図 6）
⑤熱交換器に当たらないよう、加湿エレメント組立を手前に傾けながら取り出します。（図 6）

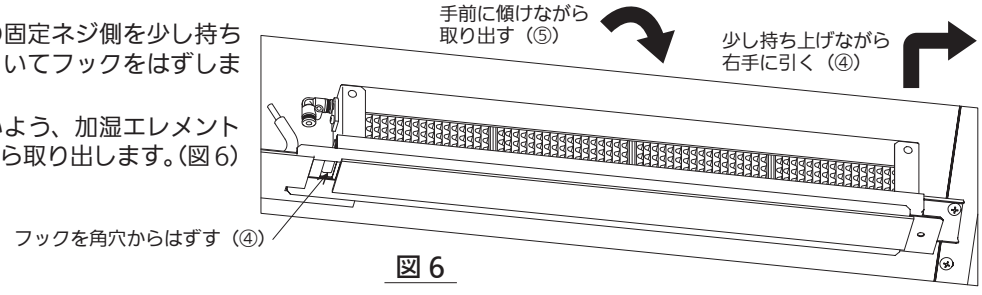


図 6

⑥加湿エレメント組立が十分に入る大きさの容器に、市販の液体中性洗剤を薄めた洗浄液を用意してください。
（薄め方は中性洗剤の使用説明に従ってください）
⑦洗浄液に加湿エレメントを浸し、柔らかいブラシ等で加湿エレメント表面の汚れを取ってください。（図 7）
⑧十分に水洗いして洗浄液を洗い流し、水気を落としてから、取りはずしの逆の手順で加湿エレメント組立を取り付けてください。

※ 給水チューブをジョイントに差し込む際は、開放リングを押し込まずに突き当たるまで差し込んでください。
給水チューブを差し込んだ後、チューブを軽く下方に引っ張り、チューブがロックされていることを確認してください。不十分な差し込みですと水漏れの原因になりますのでご注意ください。

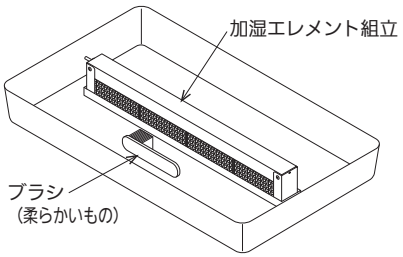


図 7

2）給水ストレーナの清掃（1回 / 年：シーズン開始時）

①作業前に給水用サービスバルブが閉じていることを確かめてください。
②給水用配管接続口に巻かれた断熱材をはずし、ダブルスパナで給水配管側のナットをゆるめて給水配管をはずしてください。
※給水配管内の残水が出てくることがありますので、バケツやウエスなどを準備してください。
③給水用配管接続口に挿入されている給水ストレーナを取りはずし、内側のゴミを洗い落としてください。
※給水ストレーナを抜き取るとき、ワッシャーを紛失しないようご注意ください。
④給水ストレーナを元どおりに取り付け給水配管を接続してください。
※ダブルスパナにて締付トルクは、20N・m 程度。
⑤給水用サービスバルブを開け、配管接続部からの水漏れが無いか確認をした後、元のように断熱材を取り付けてください。
※給水ストレーナ、ワッシャーを付けないと水漏れのおそれがあります。

3）加湿エレメントの交換（1回 /3年）

①加湿エレメントの洗浄①～⑤の手順に従って加湿エレメント組立をはずします。
②「加湿エレメント交換キット」（サービスパーツコード：623 197 4950）に付属の「交換要領書」に従って、加湿エレメントを交換してください。

5. 故障かな?と思ったとき

サービスを依頼される前に次のことをお調べください。

症　状	原　因	処　置
加湿しない または 加湿量不足	給水用サービスバルブが閉まっていませんか?	サービスバルブを開けてください。
	シーズン開始時に給水ストレーナの清掃はしましたか?	保守点検をしていなければ、お買い上げの販売店にご連絡ください。
	シーズン開始時に加湿エレメントの洗浄をしましたか?	
	加湿エレメントの交換時期が過ぎてませんか?	
においがする	シーズン開始時に加湿エレメントの洗浄をしましたか?	保守点検をしていなければ、お買い上げの販売店にご連絡ください。
	加湿エレメントの交換時期が過ぎてませんか?	
音がする	給水圧力は仕様値の範囲内ですか? 仕様値：0.050 ～ 0.50MPa 0.050 ～ 0.30MPa（ポンプ使用時）	仕様値の範囲外なら、お買い上げの販売点にご連絡ください。
	給水系へのエアーのかみ込みはありませんか?	異音発生状態で給水用サービスバルブを閉めると音が消える場合は、エアー抜きが必要です。販売店にご連絡ください。

以上のことをお調べいただき、それでもなお異常のあるときは運転を停止してから漏電しゃ断器を切り、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。なおご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

据付工事説明書

自然気化式加湿器

品番　CZ-09ASD1

適用室内ユニット　高天井用1方向カセット形

据付工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に『安全上のご注意』は、施工前に必ずお読みください。
取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、付属の取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この据付工事説明書は試運転説明書とともにお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。
❗⏚	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

⃠
- ■ 電源配線をバンドなどで束ねて収納しない
  （発熱、火災の原因）
- ■ 配線は途中接続しない
  （接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）

❗
- ■ 据付工事や移動修理および保守点検については、お買い上げの販売店や専門業者に依頼するなお工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
  （ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）
- ■ 付属品は当社指定の部品を使用する
  （指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）
- ■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
  （ユニットの落下による、けがの原因）
- ■ 修理・改修は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する（水漏れや感電、火災の原因）
- ■ 電気工事（アース工事を含む）は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの「取付説明書」に従って施工する（感電、火災のおそれ）
- ■ 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
  （感電、火災のおそれ）
- ■ 配線をはさまないように、カバーは元どおり確実に取り付ける （感電、火災の原因）

⚠注意

⃠
- ■ 0℃以下の雰囲気となり、凍結のおそれがある場所には取り付けないでください。
  （破損・水漏れの原因になります）

❗
- ■ 給水配管（現地調達）の断熱処理を行ってください（断熱材は現地調達）。不備があると、給水配管への結露による水漏れや、給水配管内の水が凍結することにより配管や接続部が破壊され水漏れの原因となります。
- ■ 給水には必ず水道水（上水）を使用する

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 据付前のご注意

- ● 加湿器の取付工事は、必ず室内ユニットを据え付ける前に行ってください。加湿器組込み後の輸送はしないでください。
- ● 定期清掃や点検のため、加湿器取り付け側の天井面に 450□以上の点検口を必ず設置してください。
- ● ヒューミディスタット（現地調達）は、湿度低下で接点が ON となる方式のもので、接点容量 200VA 以上のものを準備してください。
- ● 供給水質は上水または同等以上の水を使用し、保守管理のため加湿器毎に給水配管にサービスバルブ（現地調達）を設けてください。
- ● 加湿（暖房）シーズン後、給水用サービスバルブ（現地調達）を必ず閉めてください。
- ● 現地調達の給水配管には死水排水バルブおよびY形ストレーナー（現地調達）を必ず取り付けてください。冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない場合は、給水配管内の水が腐ってしまいます。その水が加湿（暖房）シーズン開始時に加湿器に給水されますと異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、給水配管内を新しい水に置き換えてから使用してください。
- ● 給水配管は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン（型式認可品：現地調達）をご使用ください。
- ● 給水配管は水圧がかかりますのでフレア接続としてください。
- ● 給水圧力は 0.050 ～ 0.50MPa の範囲内でご使用ください。ただしポンプを使用して給水する場合は 0.050 ～ 0.30MPa の範囲内でご使用ください。この範囲を超える場合は、給水系統毎に減圧弁（現地調達）を設けてください。また給水配管にトラップがあるとエアーだまりができ異音が発生することがありますので、トラップが無いように設置してください。
- ● 定期清掃や点検の際を除いては、室内ユニットの漏電しゃ断器は入れたままにしてください。万一、加湿器内部の給水用電磁弁にゴミ等がからみ閉じなくなった場合の漏水を防ぎます。
- ● 加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、加湿器本体の給水配管接続口に挿入してあるストレーナーの清掃を行ってください。

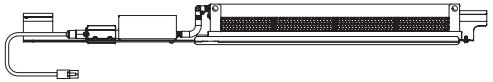
1. 仕様

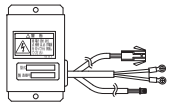
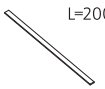
品番	CZ-09ASD1			
適合室内ユニット形番	28・36・45形	50・56形	63形	71・80形
加湿能力（kg/h）	0.75 ±20%	0.78 ±20%	0.88 ±20%	0.9 ±20%
外形寸法 H×W×L（mm）	71.5×789.3×79.8			
電源仕様	単相200V±10% 50/60Hz			
給水圧力	0.050～0.50 MPa			
給水圧力（ポンプ使用時）	0.050～0.30 MPa			
使用水および水温	上水　10～40℃			
周囲温湿度	1～40℃、90%RH以下			

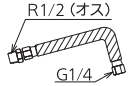
加湿能力は、加湿器入口空気温度DB45℃・相対湿度15%時の値を示します。

2. 付属品

※開梱時に付属品が入っているかを必ずご確認ください。

自然気化式加湿器	据付工事説明書	試運転説明書	取扱説明書
1台	1枚	1枚	1枚
	本紙（両面）		

タイマーボックス	給水配管断熱材	ビニタイ	シール用パテ	リード線用ハトメゴム
1台	1枚	2本	1個	1個
	100×100　t=10	L=200  断熱材固定用		

給水用配管	取付ネジ	閉端接続子	短絡コネクタ①	短絡コネクタ②
1本	4本	2個	1個	1個
φ6.35×660 R1/2（オス）  G1/4 断熱材付き	（φ4×8） 加湿器本体取付用（2本） タイマーボックス取付用（2本）	ヒューミディスタット接続用	CN70：FILTER用（2P：白色）	TP3用（2P：黄色）

裏面に続く

ACXF60-37800
BE0519-0

3. 取付工事の前に

※加湿器の取付工事の際、表面付属品の他に右記1～3の部品のご用意をおすすめいたします。

現地調達部品

No.	部　品　名
1	ヒューミディスタット
2	給水用サービスバルブ
3	死水排水バルブ

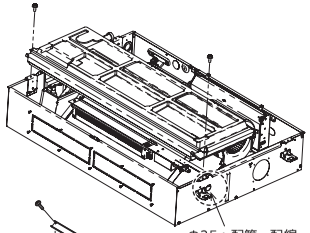
4. 取付け手順

※加湿器の組み込みは、必ず室内ユニットを吊り下げる前に行ってください。

※室内ユニット上面を床面に置いた状態で作業してください。

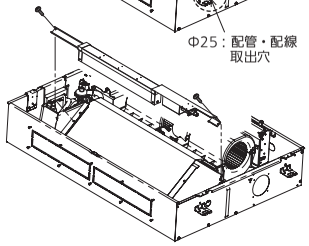
1. 室内ユニット本体の準備

① 室内ユニットのドレンパンを、ネジ（2本）をはずして取りはずします。
② 室内ユニットの側面の穴（Φ25）を外側から板金にそって、内側のスチロールをカッター等で切り取ってください。



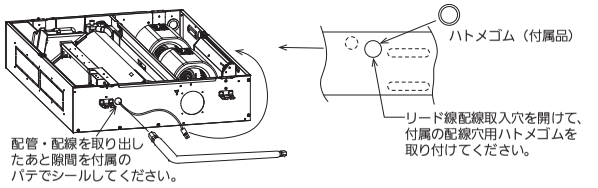
2. 加湿器本体の取付け

① 加湿器本体を室内ユニットの熱交換器の板金に付属の取付ネジ（2本）で取り付けます。



3. 給水用銅パイプの取付け

① 電磁弁リード線を室内ユニットの側面の穴（Φ25）から出してください。
② リード線取出し後、室内ユニット外側から付属の給水用配管を差込み加湿器本体の給水口に、給水用配管を接続します。
給水用配管の先端は加湿器のフレア部と合うように成形してください。
※フレアナット締め付けトルク目安：20N・m
③ 給水用配管の接続が終わりましたら付属のパテを使って、給水用配管・電磁弁リード線と穴の隙間をシールしてください。
④ 室内ユニット背面の穴（ノックアウト穴）を開け、付属のハトメゴムを取り付けた後、リード線を室内ユニット内部に取り入れてください。
※必ずこの穴を利用して取り入れてください。



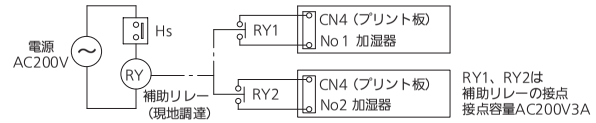
4. タイマーボックス取付け

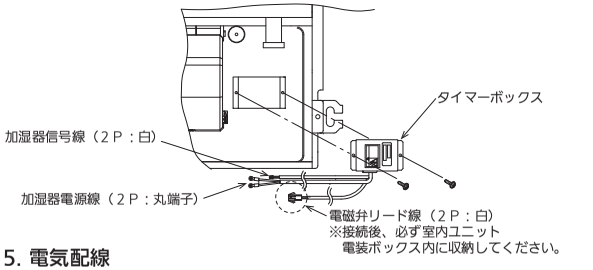
① 加湿器のタイマーボックスは、室内ユニット配管側の天板に付属の取付ネジ（2本）で取り付けます。
② 加湿器本体からの電磁弁リード線（2P：白）とタイマーボックスの電磁弁リード線（2P：白）を室内ユニット電装ボックス内にて接続してください。
※電磁弁リード線の接続部は接続後、必ず室内ユニット電装ボックス内に収納してください。

③ ヒューミディスタットをご使用になる場合は、タイマーボックスの蓋をあけて、ボックス内にあるジャンパー線（青色）を切断し、ヒューミディスタットのリード線と付属の閉端接続子で接続してください。
※ヒューミディスタットの接続部は、加湿器のタイマーボックス内に収納してください。

［ご注意］
ヒューミディスタット（現地調達）を取り付ける場合は、加湿器1台にヒューミディスタット1個を基本にしてください。複数台の加湿器を1個のヒューミディスタットで制御する場合は、リレーにて個別に接点を分けて各加湿器に接続してください。接点を分けないと正常な加湿器動作が行えず、水もれの原因になります。

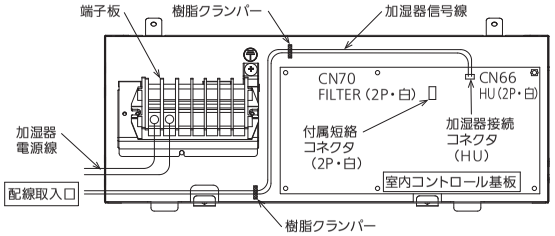
例）2台の加湿器を補助リレー接点にて制御する場合



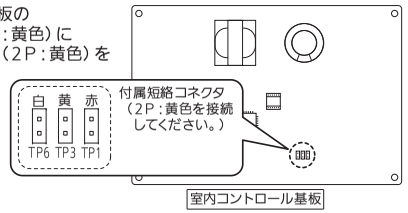


5. 電気配線

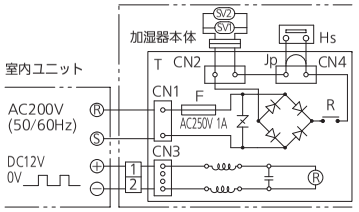
① 室内ユニットの電装ボックスのふたを開き、加湿器電源線を端子板に接続し、次に加湿器信号線を室内コントロール基板のHU（CN66：2P白）コネクタに接続します。
※電源線は必ず黒は端子板の【R】に、白は【S】にそれぞれ接続してください。
② 室内コントロール基板のCN70：FILTER（2P：白）に付属の短絡コネクタ（2P：白）を接続してください。



③ 室内コントロール基板の短絡ピンTP3（2P：黄色）に付属の短絡コネクタ（2P：黄色）を接続してください。
（接続しないと、風量減少、露付きの原因となります。）



以上の作業が終了致しましたら、室内ユニットのドレンパンを取りはずした時の逆の手順で確実に組み付けてください。組込み時にドレンパンに浮きが無いか確認してください。

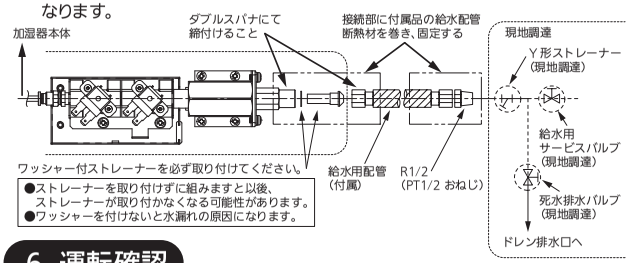


記号	名　称	備　考
Hs	ヒューミディスタット	現地調達
Jp	ジャンパー線	青色
SV1,2	給水用電磁弁	
F	ヒューズ	AC250V,1A
CN1~4	コネクタ	

加湿器コントロール基板
電気回路図

5. 給水配管

1. 室内ユニットの「据付工事説明書」に従って加湿器を組み込んだ室内ユニットを据え付けてください。
2. 現地調達の給水配管内に通水し、配管内の汚れを取り除いてください。
3. 加湿器本体の給水口に付属品の給水用配管を接続してください。
※ダブルスパナにて、締付トルクは 20N・m 程度
※加湿器本体の給水口に挿入されているワッシャーおよびストレーナーを取り付けた状態で配管を接続してください。
取り付けずに接続すると、以後ストレーナーが取り付かなくなったり、水漏れの原因になります。
4. 図を参考に現地調達の給水配管等を接続してください。
● 以下の項目は運転確認後、問題が無いことを確認した上で行なってください。
5. 給水接続部の水漏れ確認を行ってください。
6. 水漏れが無ければ、給水用配管の接続部に付属品の給水配管断熱材を巻きつけて付属のビニタイ（または現地調達のクランパー等）で固定してください。
7. 現地調達の給水配管にも、断熱処理を行ってください。配管の凍結は漏水事故の原因となります。十分に保温工事をしてください。この断熱材は現地調達になります。



6. 運転確認

1. 漏電しゃ断器を入れ、加湿器の給水用サービスバルブを開いて通水してください。
2. リモコンの運転 / 停止ボタンを押し空調機を運転させた後、運転切換ボタンで暖房運転にします。
※暖房運転できないとき、あるいは暖房サーモオンになりにくいときは、付属の試運転説明書を参照してください。
3. 加湿器に内蔵されている給水用電磁弁が作動し、正常に加湿制御していることを確認してください。
4. 正常な運転を確認したら、運転 / 停止ボタンを押し運転を停止してください。
●ヒューミディスタット（現地調達）をご使用の場合は、ご希望の湿度目盛りに合わせてご使用ください。
●動作確認は、設定を変化させて給水用電磁弁が正しく動作していることを確認してください。
●漏電しゃ断器は入れたままにしてください。
＜試運転時、加湿器から「ビーン」という異音が発生した場合＞
● 給水用サービスバルブを閉めると音が消えるようであれば、給水系（減圧弁等）へのエアーのかみ込みが考えられます。
● 一旦給水配管の接続をはずしてエアー抜きおよび加湿器給水口のストレーナーの清掃を実施してください。
● ポンプを使用して給水する場合は、ポンプによるエアーのかみ込みが考えられます。
● 給水圧力を調整できる場合は、給水圧を下げて使用してください。

加湿器設置後の試運転確認方法について

給水配管の施工後、試運転確認を実施してください。
通常、加湿器への給水は暖房運転時に行われますが、冷房シーズン（暖房運転できないとき）や、暖房運転時にサーモオンになりにくいときは、ワイヤードリモコンから送風運転時に加湿動作する設定に変更し、送風運転にて試運転確認をしてください。

注意）ユニットを停止してから設定データの変更を行なってください。
　　設定中はリモコンで選択されている室内ユニットのファンが回転します。

下記設定データ変更により、加湿動作設定を変更してください。

設 定 表

項目コード	設定データ	加湿動作
０９	００００	暖房サーモオン時加湿(出荷時設定)
	０００１	送風時加湿

＜CZ-10RT3, CZ-10RT3A, CZ-10RT3Wの場合＞

① 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを、同時に４秒間以上押します。

② ユニット選択 または UNIT選択 ボタンを押すごとに、「ユニットNo」または「UNIT No.」を順次表示します。
この時、選択された室内ユニットのファンが回転します。
（リモコンの液晶部に、設定中 または SETTING と「ユニットNo」または「UNIT No.」、「項目コード」または「CODE No.」、詳細データが点滅表示されます。）

③ 温度設定 ▲▼ ボタンで項目コードまたはCODE No.を「０９」に指定します。

④ 時間またはタイマーの ▲▼ ボタンで設定データまたはSETDATAを「０００００（出荷時設定）」→「０００１」へ変更します。

⑤ セット ボタンを押します。
（表示が点滅から点灯に変わればＯＫ）
選択している室内ユニットを変更したい場合は ② へ

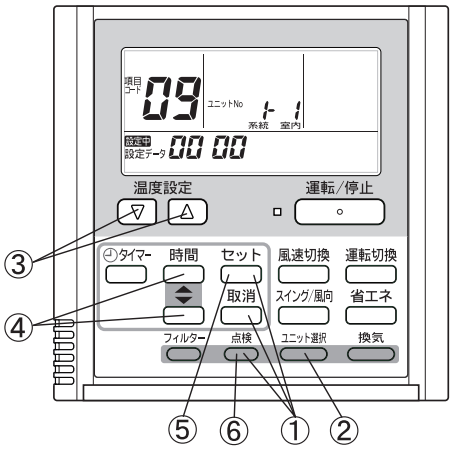
⑥ 点検 ボタンを押します。（通常の停止状態になります）

⑦ 送風運転することで加湿器に給水されます。
給水管、排水管、加湿器まわり、ドレンパン等から水漏れがないか確認してください。

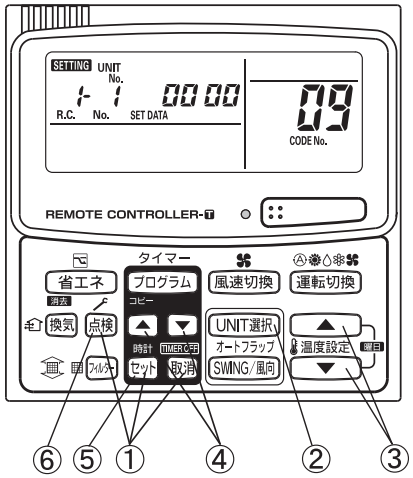
⑧ ３０分程度運転させ、ドレン配管から排水されているか確認してください。

⑨ ②～⑥と同一の手順で「項目コード」または「CODE No.」を「０９」に指定して、設定データまたはSETDATAを「０００００」に戻してください。

ワイヤードリモコン



タイマーリモコン

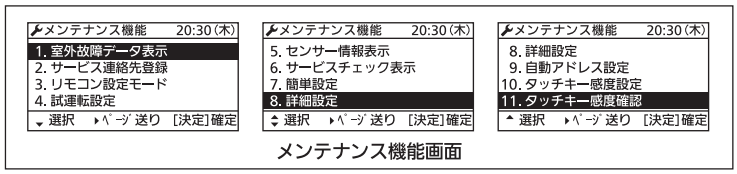


＜CZ-10RT4シリーズの場合＞

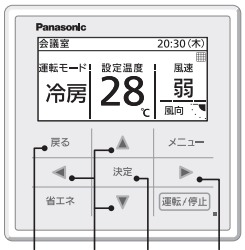
メンテナンス機能画面の表示

① 戻る + 決定 + ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

② ▼ / ▲ ボタンで選択、◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
必要な機能のページを表示し、選択してください。



メンテナンス機能画面



ワイヤードリモコン

詳細設定方法（ユニットが停止中に行ってください。）

③ ▼ / ▲ ボタンで 『８. 詳細設定』を選択し、決定 ボタンを押してください。詳細設定画面が表示されます。

④ ◄ / ► ボタンでユニットNo./項目コード/設定データの選択を切り替えてください。

詳細設定画面

【加湿動作の設定】

⑤ ▼ / ▲ ボタンでユニットNo.,項目コード,設定データを変更します。

⑥ ユニットNo.を変更して、送風時加湿動作を設定するユニットを選択してください。

⑦ 項目コードを「０９」に、設定データを「０００１」に変更し、決定 ボタンを押してください。

⑧ 続けて別のユニットを設定する場合は、ユニットNo.を変更し、⑦を実施してください。

⑨ 戻る ボタンを押し、再起動：“はい”を選択し、決定 ボタンを押してください。

⑩ 送風運転することで加湿器に給水されます。給水管、排水管、加湿器まわり、ドレンパン等から水漏れがないか確認してください。
３０分程度運転を続け、ドレン配管から排水されているか確認してください。

⑪ 加湿器動作の確認後、③～⑨と同一の手順で項目コード「０９」の設定データを「０００１」から「０００００」に戻してください。

注意）試運転後は、必ず設定を戻してください。
設定を戻さないと、使用環境によっては露飛びや、水漏れの原因になります。

85464369778001

■DCファンタップ変更手順

DC ファンタップの選択（高天井用 1 方向カセット形）

ご使用になられる用途、別売品を下表1でご確認ください。

表1. DCファンモータータップ設定表

設定 No	リモコンの設定データ 項目コード 5d	仕様用途
	0000	標準（出荷設定）
(1)	0001	高天井設定
(3)	0003	（別売品） 吹出口グリル取り付け時 2方向下がり天井方式

基板から設定する場合

＜手順＞以下の作業は必ず元電源をおとした状態で行なってください。

①電装ボックスの蓋を開き、室内コントロール基板を確認してください。（図 1）

②表1の DC ファンモータータップ設定表で確認していただいた設定 No に応じて、別売品に付属の
短絡コネクタ（2P：黄色）を室内コントロール基板の短絡ピンに接続してください。

設定No（1）の場合　短絡コネクタを室内コントロール基板の**短絡ピンTP1（2P：赤色）**に接続してください。

設定No（3）の場合　短絡コネクタを室内コントロール基板の**短絡ピンTP3（2P：黄色）**に接続してください。

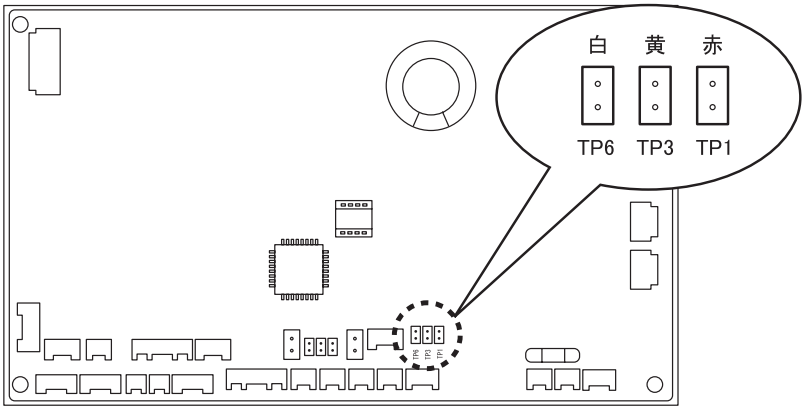


図1　室内コントロール基板

天井ビルトインカセット形

●ダクト設計における留意点

《設計風量》

ダクトタイプは据付状態によって機外静圧が異なり風量も変化します。定格機外静圧を超えて使用しますと、
送風量が減少して快適な空調が得られませんので、機外静圧は定格かそれ以下での使用を推奨します。

■システムによる許容ダクト長さ目安

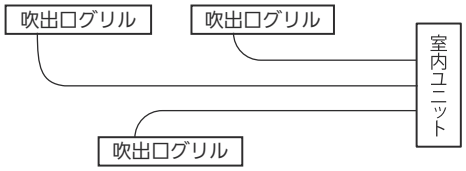
次の表は主なシステムについて、丸ダクトの接続長さの目安を表わしています。ダクト設計をされる際の目安にしてください。
システムについては次項以降の資料を参照のうえ設計してください。機外静圧のアップ、最大ダクト長の延長が可能です。

※1. 高機能フィルター、ロングライフフィルターを使用する場合は、取付説明書に従って静圧設定を行ってください。
※2. 吹出口数の変更はできるだけ避けてください。下表のように機内の圧力損失が増加するため最大ダクト長は短くなります。
※3. 下表は定格風量で算出していますが、送風機特性の風量、静圧制限内で設計風量を下げることは可能です。
機外静圧のアップ、最大ダクト長の延長が可能です。

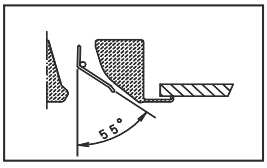
				標準吹出口数の場合							吹出口数を変更した場合				
筐体→				小		中		大			中		大		
マルチ→				22, 28, 36, 45	56	71	90	112	140	160	71	90	112	140	160
定格風量（m³/min）				13	14	21	23	32	34	36	21	23	32	34	36
ユニット吹出口数（個）				2	2	3	3	4	4	4	2	2	3	3	3
吹出口1個当たりの風量（m³/min）				6.5	7.0	7.0	7.7	8.0	8.5	9.0	10.5	11.5	10.7	11.3	12.0
丸ダクト・吹出口径				φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200
ビルトイン仕様	機外静圧（Pa）		タップ⑧	34	34	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
			タップ⑪	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
			タップ⑮	60	60	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80
	圧損（Pa）	吹出グリル		19.3	22.1	22.1	26.0	28.1	31.3	34.7	45.9	54.0	47.2	52.6	58.4
		高性能フィルター（比色法65%）		16.7	18.8	21.4	25.1	21.4	23.9	26.5	21.4	25.1	21.4	23.9	26.5
		高性能フィルター（比色法90%）		21.4	24.1	26.7	30.9	26.2	28.7	31.2	26.7	30.9	26.2	28.7	31.2
		小パネル（機外静圧に含まれる）		8.2	9.3	14.1	16.5	17.0	18.9	20.9	14.1	16.5	17.0	18.9	20.9
	フレキシブル	直線部		1.4	1.6	1.6	1.9	2.1	2.3	2.6	3.5	4.2	3.6	4.1	4.6
	ダクト圧損（Pa/m）	曲がり部（半径R0.4m, 1ヶ所）		2.6	3.0	3.0	3.6	3.9	4.4	4.9	6.7	8.0	6.9	7.8	8.7
	ダクト接続長さの目安（m）	ビルトイン小パネル/大パネル	タップ⑧	9.9	6.7	9.9	6.0	4.4	2.4	0.7	-	-	-	-	-
		高性能フィルター（JIS比色法65%）＋ビルトイン小パネル	タップ⑪	9.4	4.9	3.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		高性能フィルター（JIS比色法90%）＋ビルトイン小パネル	タップ⑮	13.3	7.9	18.9	11.3	11.6	7.7	4.5	1.2	-	0.9	-	-

上表算出条件

1）ダクト接続長さ：定格風量、定格機外静圧にて、最大何メートルまでダクト引きが可能かを算出しました。
2）フレキシブル丸ダクトの曲り：半径R 0.4m、90°曲げ1ヶ所を想定し算出（→直管相当長Le＝2.0m）
3）吹出口グリル（GRL-S20B）取付
4）吸込グリルはフィルター付き



5）吹出羽角度



(注) 1. 吹出口の数の変更は3個→2個、4個→3個の変更のみ可能、それ以外の変更はできません。

ビルトインオールダクト形

●ダクト設計における留意点

《設計風量》

ダクトタイプは据付状態によって機外静圧が異なり風量も変化します。 定格機外静圧を超えて使用しますと、
送風量が減少して快適な空調が得られませんので、 機外静圧は定格かそれ以下での使用を推奨します。
特に吸込側は必ず角ダクトをご使用ください。

■システムによる許容ダクト長さ目安

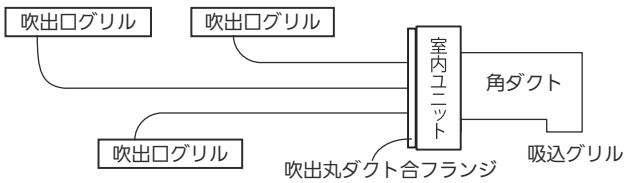
次の表は主なシステムについて、丸ダクトの接続長さの目安を表わしています。ダクト設計をされる際の目安にしてください。
下記以外のシステムについては次項以降の資料を参照のうえ設計してください。

※1. 高機能フィルター、ロングライフフィルターを使用する場合は、取付説明書に従って静圧設定を行ってください。
※2. 吹出口数の変更はできるだけ避けてください。下表のように機内の圧力損失が増加するため最大ダクト長は短くなります。
※3. 下表は定格風量で算出していますが、送風機特性の風量、静圧制限内で設計風量を下げることは可能です。
機外静圧のアップ、最大ダクト長の延長が可能です。

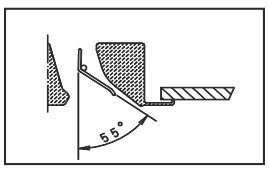
				標準吹出口数の場合						吹出口数を変更した場合				
筐体→				小	中		大			中		大		
マルチ→				28,36,45,56	71	90	112	140	160	71,80	90	112	140	160
定格風量（m³/min）				16	21	26	32	34	36	21	26	32	34	36
ユニット吹出口数（個）				2	3	3	4	4	4	2	2	3	3	3
吹出口１個当たりの風量（m³/min）				8.0	7.0	8.7	8.0	8.5	9.0	10.5	13.0	10.7	11.3	12.0
丸ダクト・吹出口径				φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200	φ200
オールダクト仕様	機外静圧（Pa）		タップ⑧	70	70	70	100	100	100	70	70	100	100	100
			タップ⑪	100	100	100	110	110	110	100	100	110	110	110
			タップ⑮	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
	圧損（Pa）	角ダクト仕様→丸ダクト仕様		21.2	14.5	22.5	23.4	26.4	29.6	14.5	22.5	23.4	26.4	29.6
		吹出グリル		28.1	22.1	32.4	28.1	31.3	34.7	45.9	67.4	47.2	52.6	58.4
		高性能フィルター（比色法65%）		23.3	21.4	31.1	21.4	23.9	26.5	21.4	31.1	21.4	23.9	26.5
		高性能フィルター（比色法90%）		29.8	26.7	37.6	26.2	28.7	31.2	26.7	37.6	26.2	28.7	31.2
		吸込グリル		7.7	8.2	15.2	12.9	15.3	18.1	8.2	15.2	12.9	15.3	18.1
		キャンバスダクト		0.6	0.2	0.6	0.2	0.2	0.3	0.2	0.6	0.2	0.2	0.3
	フレキシブルダクト圧損（Pa/m）	直線部		2.1	1.6	2.4	2.1	2.3	2.6	3.5	5.4	3.6	4.1	4.6
		曲がり部（半径R0.4m，１ヶ所）		3.9	3.0	4.6	3.9	4.4	4.9	6.7	10.2	6.9	7.8	8.7
	ダクト接続長さの目安（m）	キャンバスダクト＋吸込グリル	タップ⑧	5.1	15.0	-	16.4	10.7	5.8	-	-	3.6	0.4	-
		高性能フィルター（比色法65%）＋吸込グリル	タップ⑪	8.4	20.5	-	10.8	4.6	-	1.9	-	0.5	-	-
		高性能フィルター（比色法90%）＋吸込グリル	タップ⑮	29.5	(30)	16.4	28.0	19.9	13.0	14.6	0.3	10.2	5.6	1.8

上表算出条件

1）ダクト接続長さ：定格風量、定格機外静圧にて、最大何メートルまでダクト引きが可能かを算出しました。
2）フレキシブル丸ダクトの曲り：半径R 0.4m、90°曲げ１ヶ所を想定し算出（→直管相当長Le＝2.0m）
3）吹出口グリル（GRL-S20B）取付
4）吸込グリルはフィルター付き



5）吹出羽角度



(注) 1．吹出口の数の変更は3個→2個、4個→3個の変更のみ可能、それ以外の変更はできません。

■室内ユニット定格風量におけるオプション部品の圧力損失

前ページ以外のシステムの機外静圧を算出する場合にご利用ください。

●標準仕様

適用機種					22形,28形,36形,45形,56形			71形，90形			112形	140形	160形
定格風量 [m³/min]					13	14	16	21	23	26	32	34	36
ユニット吹出口数					2	2	2	3	3	3	4	4	4
吹出口1個当たりの風量 [m³/min]					6.5	7.0	8.0	7.0	7.7	8.7	8.0	8.5	9.0
圧力損失 [Pa]	ビルトイン仕様	小パネル			8.2	9.3	-	14.1	16.5	-	17.0	18.9	20.9
		大パネル			8.2	9.3	-	14.1	16.5	-	17.0	18.9	20.9
		高性能フィルター (比色法65%)			16.7	18.8	-	21.4	25.1	-	21.4	23.9	26.5
		高性能フィルター (比色法90%)			21.4	24.1	-	26.7	30.9	-	26.2	28.7	31.2
		ロングライフフィルター			2.2	2.5	-	1.5	1.7	-	0.9	1.0	1.1
		スライドチャンバー			（圧力損失は計算上、無視できます。）								
		キャンバスダクト											
	オールダクト仕様	吸込グリル			-	-	7.7	8.2	-	15.2	12.9	15.3	18.1
		キャンバスダクト(直線部+曲がり部)			-	-	0.6	0.2	-	0.6	0.2	0.2	0.3
		高性能フィルター (比色法65%)			-	-	23.3	21.4	-	31.1	21.4	23.9	26.5
		高性能フィルター (比色法90%)			-	-	29.8	26.7	-	37.6	26.2	28.7	31.2
		ロングライフフィルター			-	-	3.0	1.5	-	2.0	0.9	1.0	1.1
吹出側圧力損失 [Pa]	ビルトイン仕様 オールダクト仕様 共通	フレキ丸ダクト (1m当たり)	φ150	直線部	2.0	2.3	3.0	2.3	2.7	3.4	3.0	3.3	3.7
				曲り部(一ヶ所)	3.2	3.7	4.7	3.7	4.4	5.5	4.7	5.3	5.9
			φ200	直線部	1.4	1.6	2.1	1.6	1.9	2.4	2.1	2.3	2.6
				曲り部(一ヶ所)	2.6	3.0	3.9	3.0	3.6	4.6	3.9	4.4	4.9
		分岐チャンバー			4.7	5.3	6.8	5.3	6.3	7.8	6.8	7.5	8.3
		吹出口ユニット	φ150		5.5	6.3	8.0	6.3	7.4	9.3	8.0	9.0	9.9
			φ200		19.3	22.1	28.1	22.1	26.0	32.4	28.1	31.3	34.7
		丸フランジ			19.7	23.0	30.5	23.5	28.2	36.2	32.9	37.1	41.5
		角フランジ			6.1	7.1	9.2	9.0	10.7	13.6	9.5	10.7	11.9

（注）1. ビルトイン小パネル仕様の場合のユニット機外静圧は、小パネルの圧力損失を含んでいます。
2. 吹出口ユニットφ150とフレキ丸ダクトφ150については、分岐チャンバー使用時とし、1本当たりの風量は吹出口1個当たりの風量の1／2になります。
フレキ丸ダクトの曲り部は、曲げ半径R＝0.4mとし、90°曲げの場合です(φ150、φ200ともに)。
3. 定格風量以外での圧力損失については、以降の別売部品の各圧力特性線図を参照してください。
また下記、 近似式を使っても求めることができます。

$$P = \left(\frac{Q}{Q_1}\right)^2 P_1$$

Q　：任意風量
Q_1　：定格風量
P　：任意風量における圧力損失
P_1　：定格風量にあける圧力損失

●吹出口数を変更した場合

適用機種				71形，90形			112形	140形	160形
定格風量 [m³/min]				21	23	26	32	34	36
準吹出口				3→2	3→2	3→2	4→3	4→3	4→3
吹出口1個当たりの風量 [m³/min]				10.5	11.5	13.0	10.7	11.3	12.0
圧力損失 [Pa]	フレキ丸ダクト (1m当たり)	φ150	直線部	5.0	5.9	7.4	5.1	5.7	6.4
			曲り部(一ヶ所)	7.9	9.4	11.9	8.2	9.2	10.2
		φ200	直線部	3.5	4.2	5.4	3.6	4.1	4.6
			曲り部(一ヶ所)	6.7	8.0	10.2	6.9	7.8	8.7
	分岐チャンバー			10.9	12.8	15.8	11.2	12.4	13.8
	吹出口ユニット	φ150		13.1	15.5	19.3	13.5	15.1	16.7
		φ200		45.9	54.0	67.4	47.2	52.6	58.4
	丸フランジ吹出口2個仕様			54.0	65.4	84.6	-	-	-
	丸フランジ吹出口3個仕様			23.5	52.2	36.2	55.1	62.3	69.9
	丸フランジ吹出口4個仕様			-	-	-	32.9	37.1	41.5
	本体吹出口を少なくすることによる圧力損失増加			30.5	37.1	48.4	22.2	25.2	28.4

吹出口数を少なくすることにより圧力損失は、上記表④のごとく増加します。
従って、ユニット機外静圧はその分だけ減少します。

（注）1. 吹出口数の変更は、3→2、4→3のみとし、それ以外の変更はできません。
2. 吹出口ユニットφ150とフレキ丸ダクトφ150については、分岐チャンバー使用時とし、1本当たりの風量は吹出口1個当たりの風量の1／2になります。
フレキ丸ダクトの曲り部は、曲げ半径R＝0.4 mとし、90°曲げの場合です。

（例１）ビルトイン小パネル仕様

次の条件において機外静圧と風量を求めます。

（条件）

電源	単相200Ｖ
使用機種（ビルトイン小パネル仕様）	S-G71FS2
ビルトイン小パネル	CZ-03HPF3
スライドチャンバー	CMB-SLBD90B
φ200 フレキシブルダクト	CZ-F2010,F2020, F2050
φ200吹出口ユニット	GRL-S20B

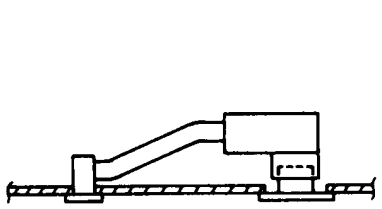
（算出方法）

イ. 送風機特性は、ビルトイン小パネル仕様のものを使用します。

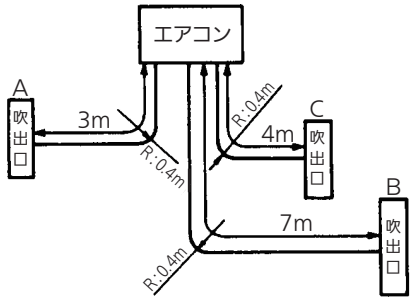
ロ. スライドチャンバーの圧力損失は、 ビルトイン小パネル仕様の機内抵抗に含まれています。（ビルトイン用スライドチャンバーの圧力損失は、0Ｐａとして計算できます。）

ハ. 吹出側の圧力損失は、各スポットの中で1番圧損の大きいダクト系統で計算します。（吹出口ユニットの開閉シャッターの調整よって、各系統の風量は均一、圧力損失は同一になると定めます。）
本例のダクト系統では、Ｂ系統となります。（Ａ、Ｃ系統の機外静圧は、吹出口ユニットの開閉シャッターの調節により静圧・風量調節を行います。）

吹出口の配列・ダクト系統は下図で、ユニットの
風量は定格風量、各吹出口の風量はそれぞれ定格風量の1/3とします。



※曲げＲ：0.4m



※ 風量調節の仕方
付属の開閉具を使用して、各吹出グリル間の風量を使用範囲内で等しくなるように調節します。

1 フレキシブルダクトと吹出口の圧力損失を求めます。

(1) 1系統当たり風量7.0㎥／min時の圧力損失を前ページの表より求めます。

経路Ｂにおける圧力損失(Pa)		フィルター等吸込抵抗	φ200ダクト圧力損失		吹出口圧力損失	合　計圧力損失	急風時における機外静圧
			直線部	曲り部			
ダクト長さ			6.4m	0.6m			
風量㎥／min	7.0(7.0×3=21)	—	1.6×64=10.2	3.0	22.1	35.3	39.0

(2) S-G71FS2の送風機特性（3×7.0=21㎥／minの時、機外静圧39Pa）
から定格以上の吹出風量が確保出来ることが分かります。
（尚、定格風量を必要とする場合、試運転時に吹出口内の風量調整板開度を調整する必要があります。）

2 室内ユニットの全風量に対する運転状態の求め方

圧力損失曲線を算出することによって、送風機の運転状態が推定されます。
風量ー圧力損失式Ｐ＝$(\frac{Q}{Q_1})^2 P_1$を利用して、S-G71FS2（小パネル仕様）
送風機特性グラフに 1 で算出した他に任意の点（例えば19、15㎥／minの点）をプロットします。

ア、21㎥／min＝35.3Pa
イ、19㎥／min時：Ｐ＝(19/21)²×35.3＝28.9Ｐａ
ウ、15㎥／min時：Ｐ＝(15/21)²×35.3＝18.0Ｐａ
よって送風機は、この曲線と⑧急、⑧-2強、③-2弱の交点で運転されます。

（㎥／min）

	急	強	弱
S-G71FS2	21.4	19.2	15.2

S-G71FS2

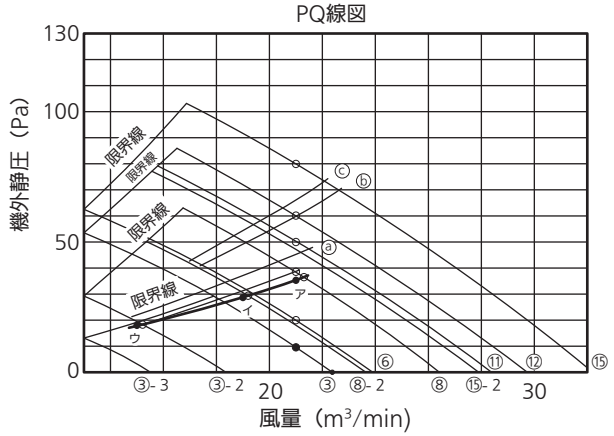
室内ファンタップ（ビルトインカセット）

	項目コード"bA"	00 15		00 12		00 11		00 08		00 06		00 03	
		冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房
タップ	⑮	H	H					出荷時の設定					
	⑫			H	H								
	⑪					H	H						
	⑮-2	M	M										
	⑧			M	M			H	H				
	⑥	L	L			M	M			H	H		
	⑧-2							M	M				
	③			L	L	L	L			M	M	H	H
	③-2							L	L	L	L	M	M
	③-3											L	L

（H：急，M：強，L：弱）

ⓐロングライフフィルター初期圧力損失
ⓑ高性能フィルター（比色法65%）初期圧力損失
ⓒ高性能フィルター（比色法90%）初期圧力損失

PQ線図



（例２）ビルトインオールダクト形

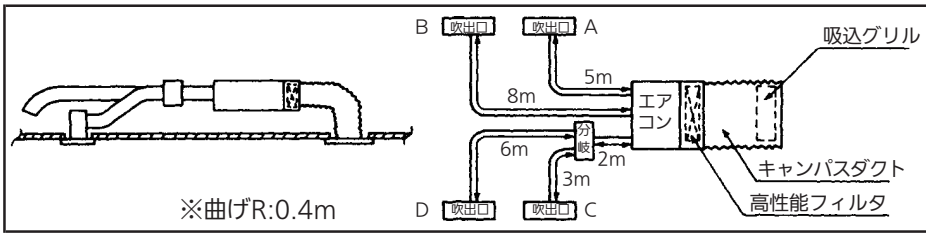
（条件）

電源	単相200Ｖ
使用機種（オールダクト仕様）	S-G71FES2
吸込グリル	GRL-RBU80TN
キャンバスダクト	DKT-CBU80T
フィルタチャンバー	CMB-FBU80T
高性能フィルター（比色法65%）	AFT-MBD80T
φ200 フレキシブルダクト	CZ-F2010,F2020, F2050
分岐チャンバー	CMB-B20B
φ150 フレキシブルダクト	CZ-F1510,F1520, F1550
吹出口ユニット	GRL-S15B,S20B

（算出方法）

イ. 送風機特性は、オールダクト形のものを使用します。
ロ. 吸込側の各部品の圧力損失は、定格風量で求めます。
ハ. 吹出側の圧力損失は、各スポットの中で1番圧損の大きいダクト系統で計算します。
ニ. φ200フレキシブルダクトと分岐チャンバーは、1スポット当たりの風量で求めます。
ホ. φ150フレキシブルダクトと分岐チャンバーは、1スポット当たりの風量の1/2で求めます。

吹出口の配列・ト系統は下図で、ユニットの風量は定格風量、
各吹出口の風量はそれぞれ定格風量の1/3とします。



※ 風量調節の仕方
付属の開閉具を使用して、各吹出グリル間の風量を使用範囲内で等しくなるように調整します。

1 各オプション部品の圧力損失を求めます。

（1）1系統当たり風量7.0㎥／min時の圧力損失を前述の表より求めます。

機種名			S-G71FES2				
タップ			0011				
機外静圧	標準時		100				
	高性能フィルター比色法65%取り付け時		97				
吸い込み側圧力損失	吸込グリル	Pa	8.2				
	キャンバスダクト	Pa	0.2				
	高性能フィルター比色法65%	Pa	21.4				
	吸い込み側圧力損失計	Pa	29.8				
吹出し側圧力損失	角ダクトフランジ→丸ダクトフランジ	Pa	14.5				
			経路A	経路B	経路C	経路D	備考
	風量	㎥/min	7	7	3.5	3.5	
	φ200直線部	m	4.4	7.4	2.0	2.0	
		Pa/m	1.6	1.6	1.6	1.6	
		Pa	7.04	11.84	3.2	3.2	
	φ200曲がり部	Pa	3.0	3.0	0	0	
	分岐チャンバー	Pa	0	0	5.3	5.3	
	φ150直線部	m	0	0	2.4	5.4	
		Pa/m	0	0	2.3	2.3	
		Pa	0	0	5.52	12.42	
	φ150曲がり部	Pa	0	0	3.7	3.7	
	吹出し口ユニット	Pa	22.1	22.1	6.3	6.3	
	吹出し側圧力損失計	Pa	46.6	51.4	38.5	45.4	
圧力損失合計		Pa	76.4	81.2	68.3	75.2	

（2）S-G71FES2の送風機特性（3×7.0=21㎥／minの時、機外静圧97Pa：高性能フィルター（比色法65%）取付時）から定格以上の吹出風量が確保出来ることが分かります。
（尚、 定格風量を必要とする場合、 試運転時に吹出口内の風量調整板開度を調整する必要があります。）

2 室内ユニットの全風量に対する運転状態の求め方

圧力損失曲線を算出することによって、送風機の運転状態が推定されます。
風量一圧力損失式$P=(\frac{Q}{Q_1})^2 P_1$を利用して、S-G71FES2(オールダクト形)
の送風機特性グラフ 1 で算出した他に任意の点(例えば19、15㎥／minの点)をプロットします。

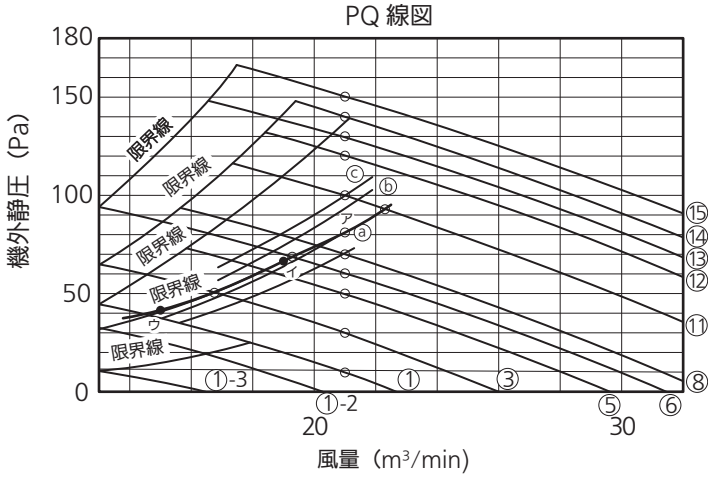
ア、21㎥／min＝81.2Ｐａ
イ、19㎥／min時：Ｐ＝(19/21)²×81.2＝66.5Ｐａ
ウ、15㎥／min時：Ｐ＝(15/21)²×81.2＝41.4Ｐａ
室内ファンタップを0011に設定した場合、送風機は アーイーウの曲線と⑪急、⑥強、③弱の交点で運転されます。

S-G71FES2

室内ファンタップ（ビルトインオールダクト）

タップ	項目コード "60" 00 15		00 14		00 13		00 12		00 11		00 08		00 06		00 05		00 03		00 01	
	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房
⑮	H	H									出荷時の設定									
⑭			H	H																
⑬	M	M			H	H														
⑫							H	H												
⑪				M					H	H										
⑧			M			M	M	M			H	H								
⑥	L	L			M				M	M			H	H						
⑤											M	M			H	H				
③				L		L	L	L	L	L			M	M	M	M	H	H		
①			L		L						L	L	L	L			M	M	H	H
①-2															L	L	L	L	M	M
①-3																			L	L

（H：急，M：強，L：弱）



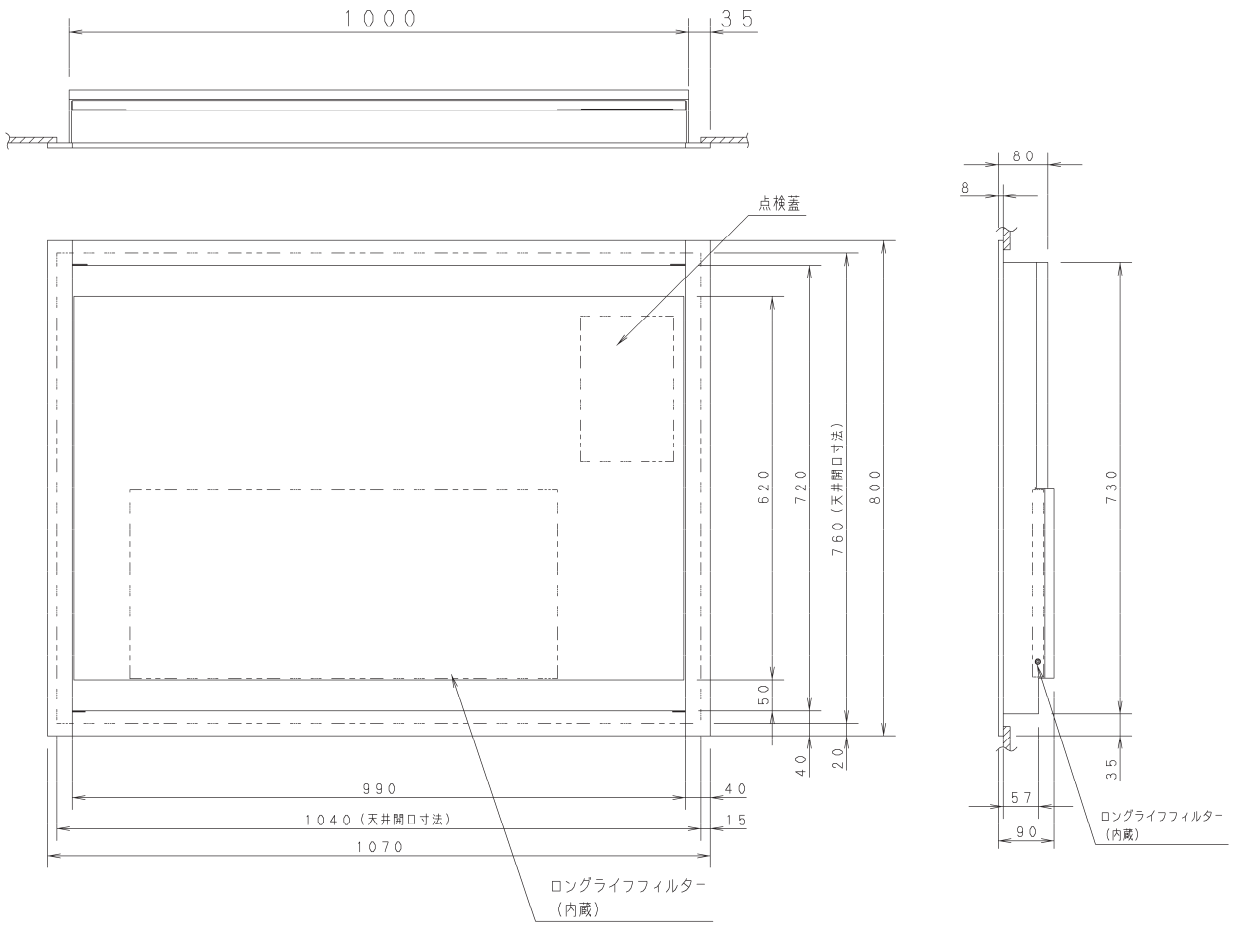
ⓐロングライフフィルター初期圧力損失
ⓑ高性能フィルター（比色法65%）初期圧力損失
ⓒ高性能フィルター（比色法90%）初期圧力損失

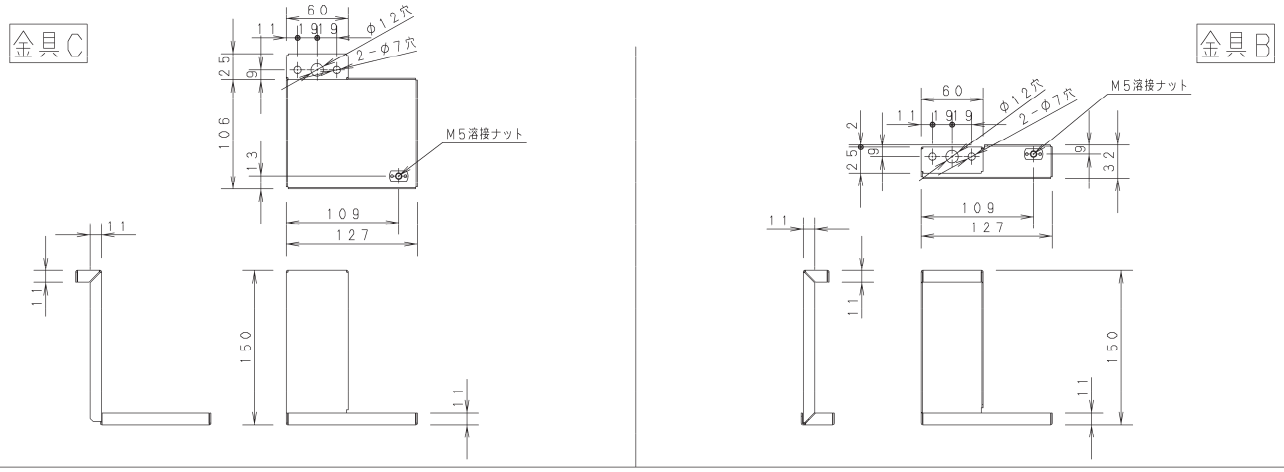
（㎥／min）

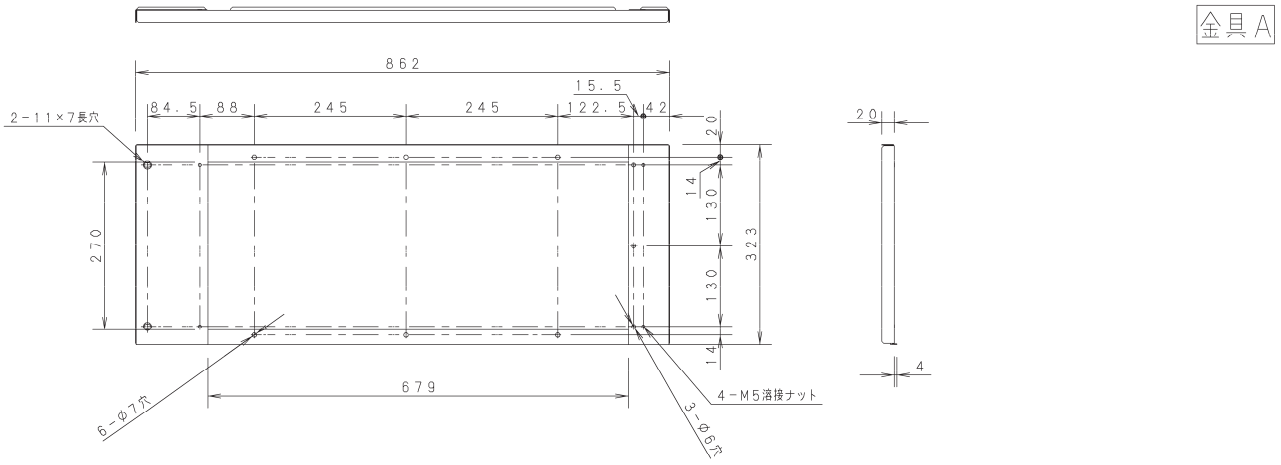
	急	強	弱
S-G71FES2	22.2	19.3	16.8

●ビルトイン　大パネル

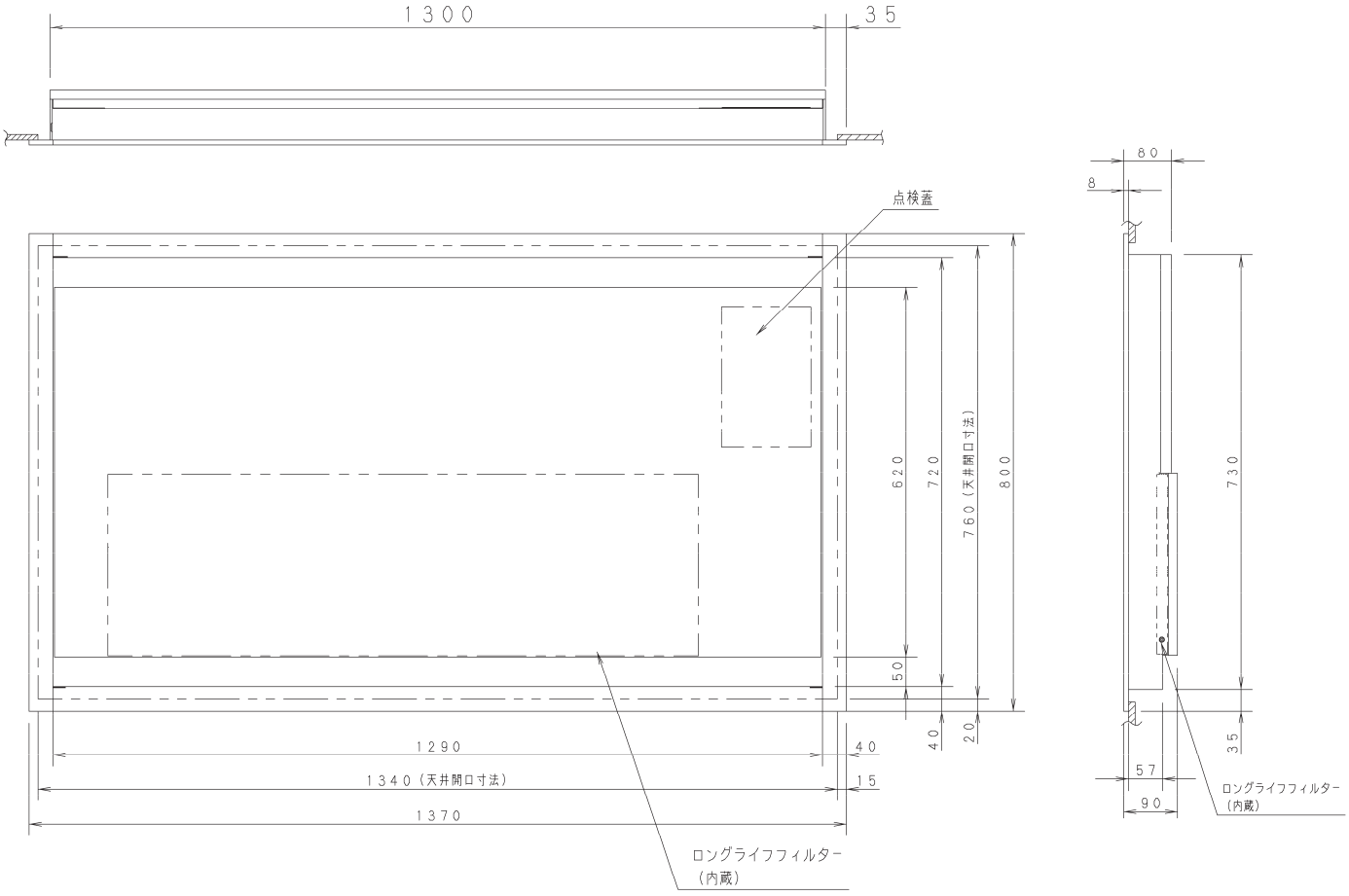
■外形寸法図（CZ-56KPF1）

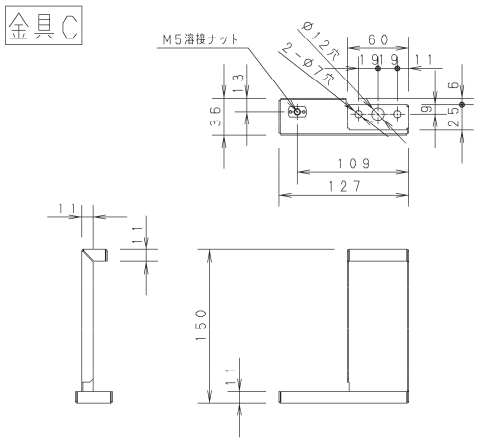


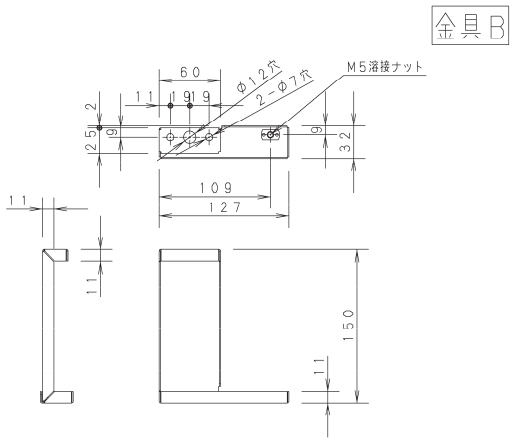


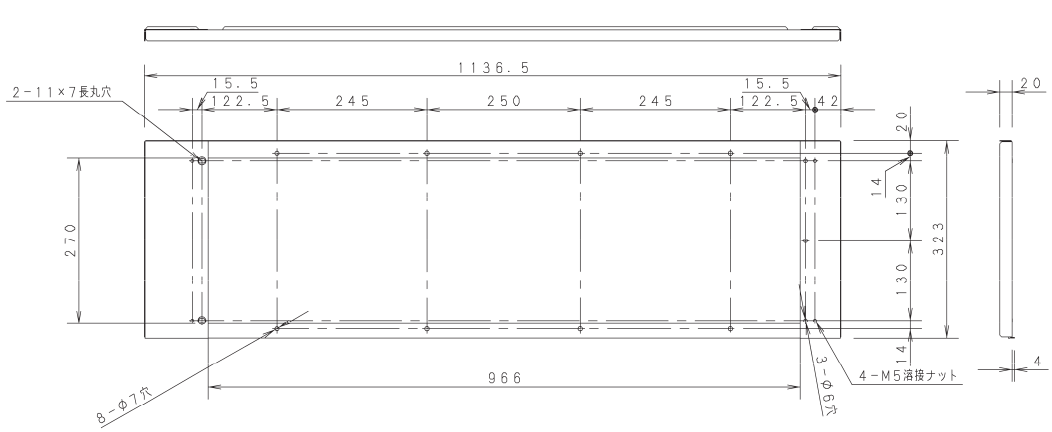


■外形寸法図（CZ-90KPF1）

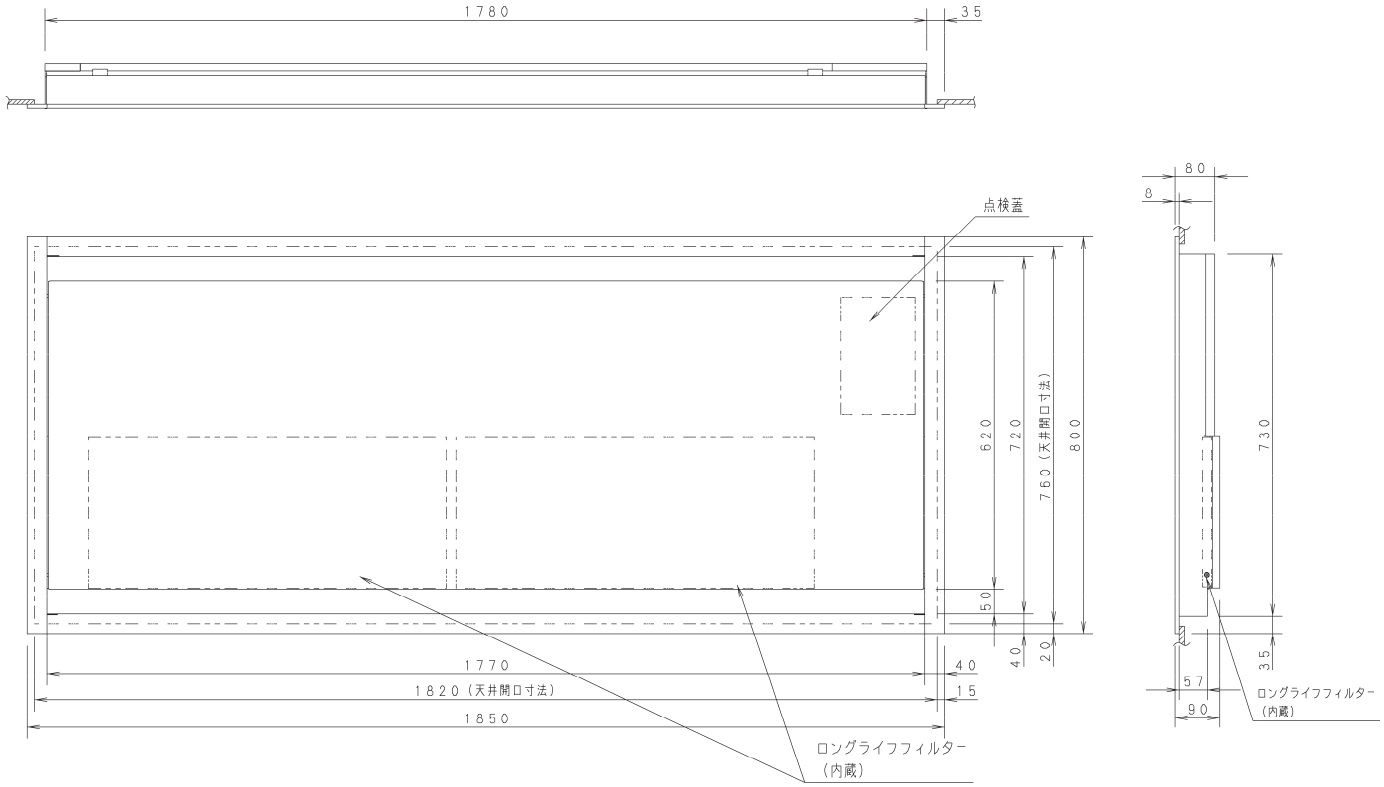


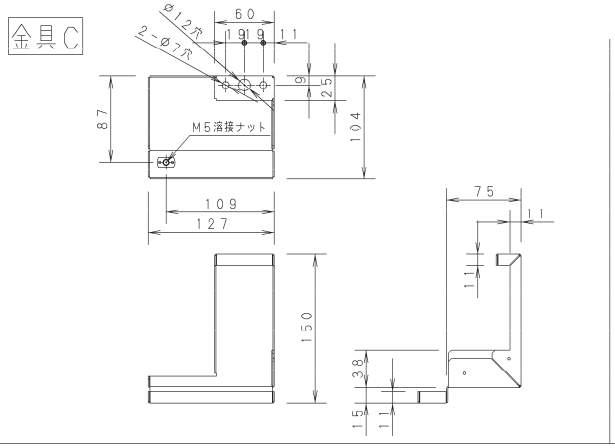


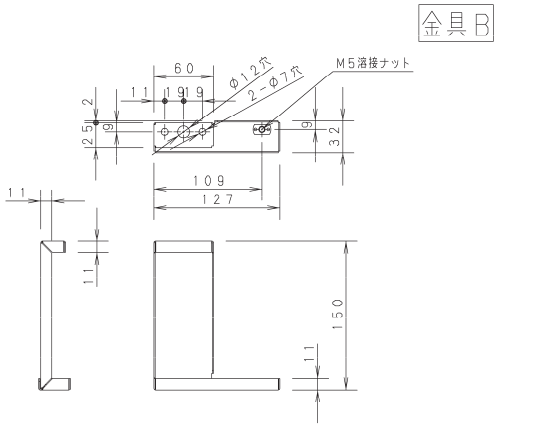


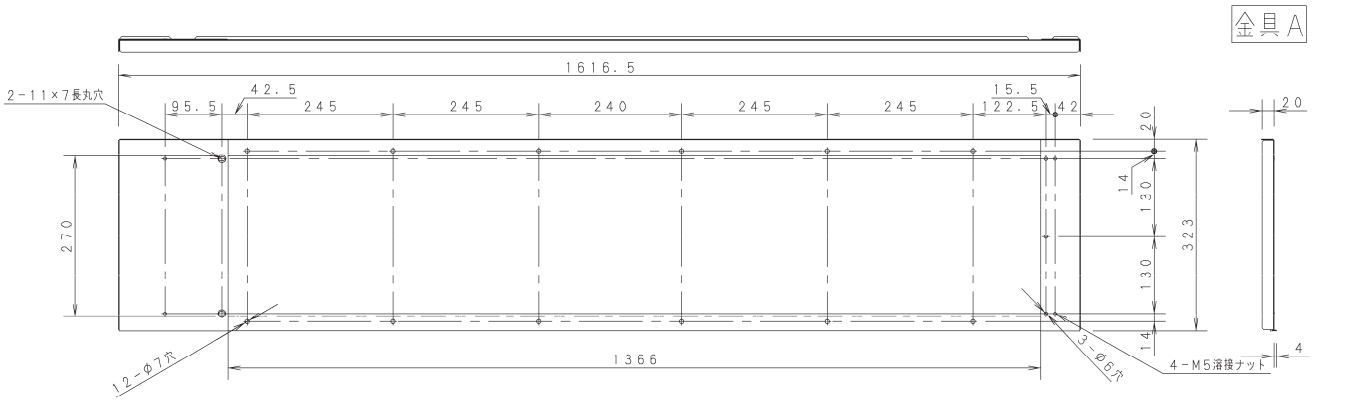


■外形寸法図（CZ-160KPF1）



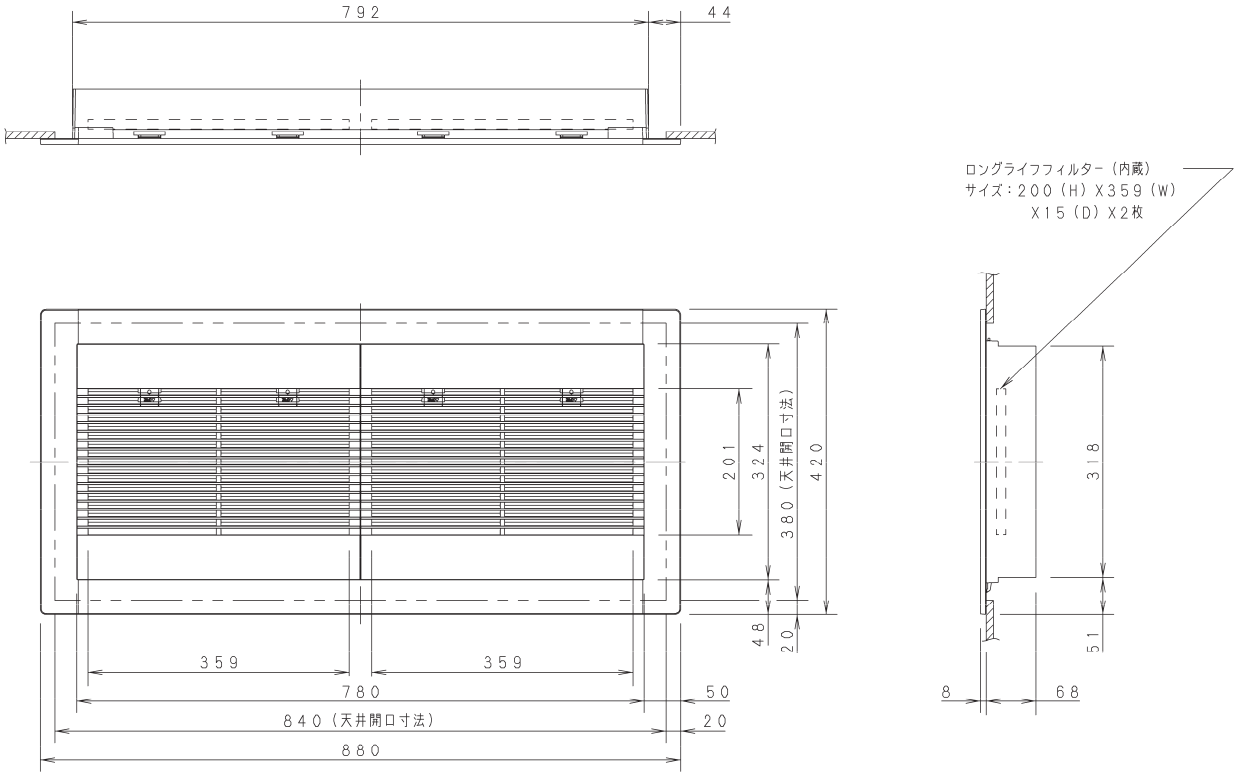




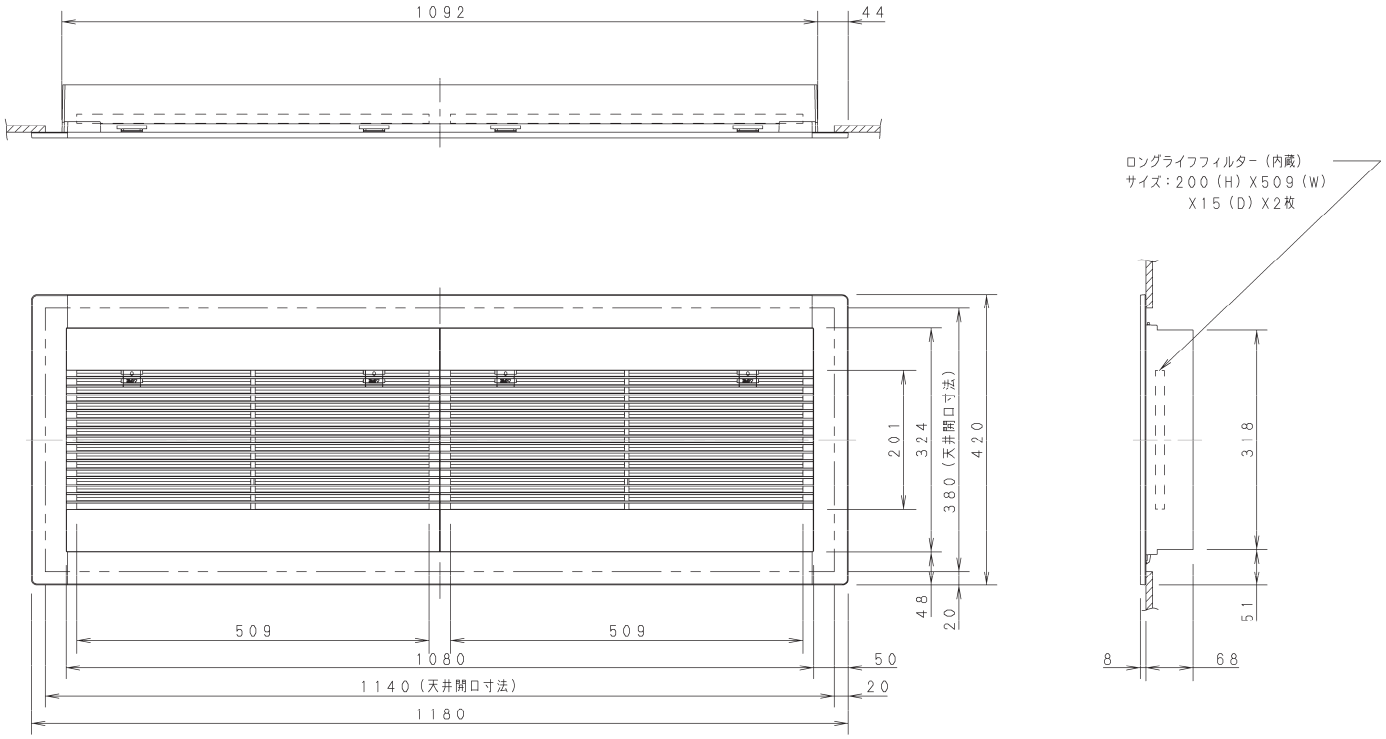


●ビルトイン　小パネル

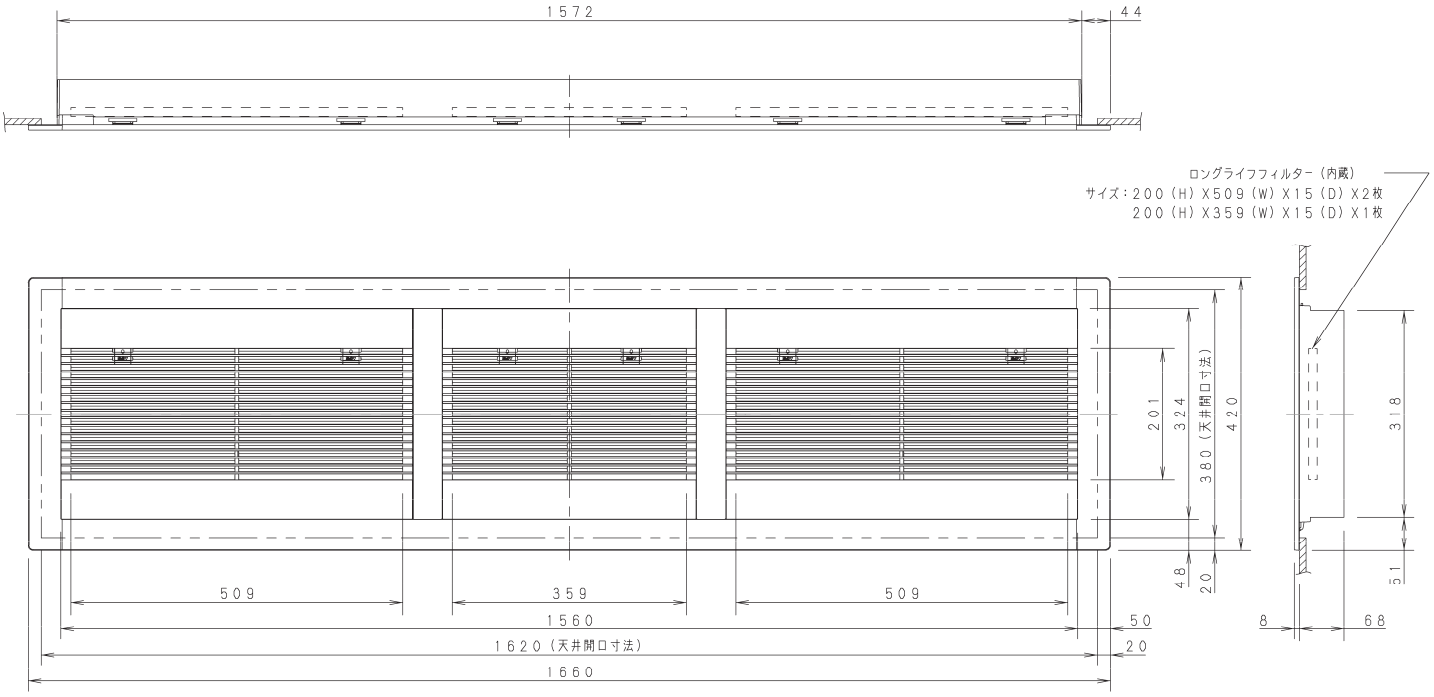
■外形寸法図（CZ-02HPF3）



■外形寸法図（CZ-03HPF3）



■外形寸法図（CZ-06HPF3）



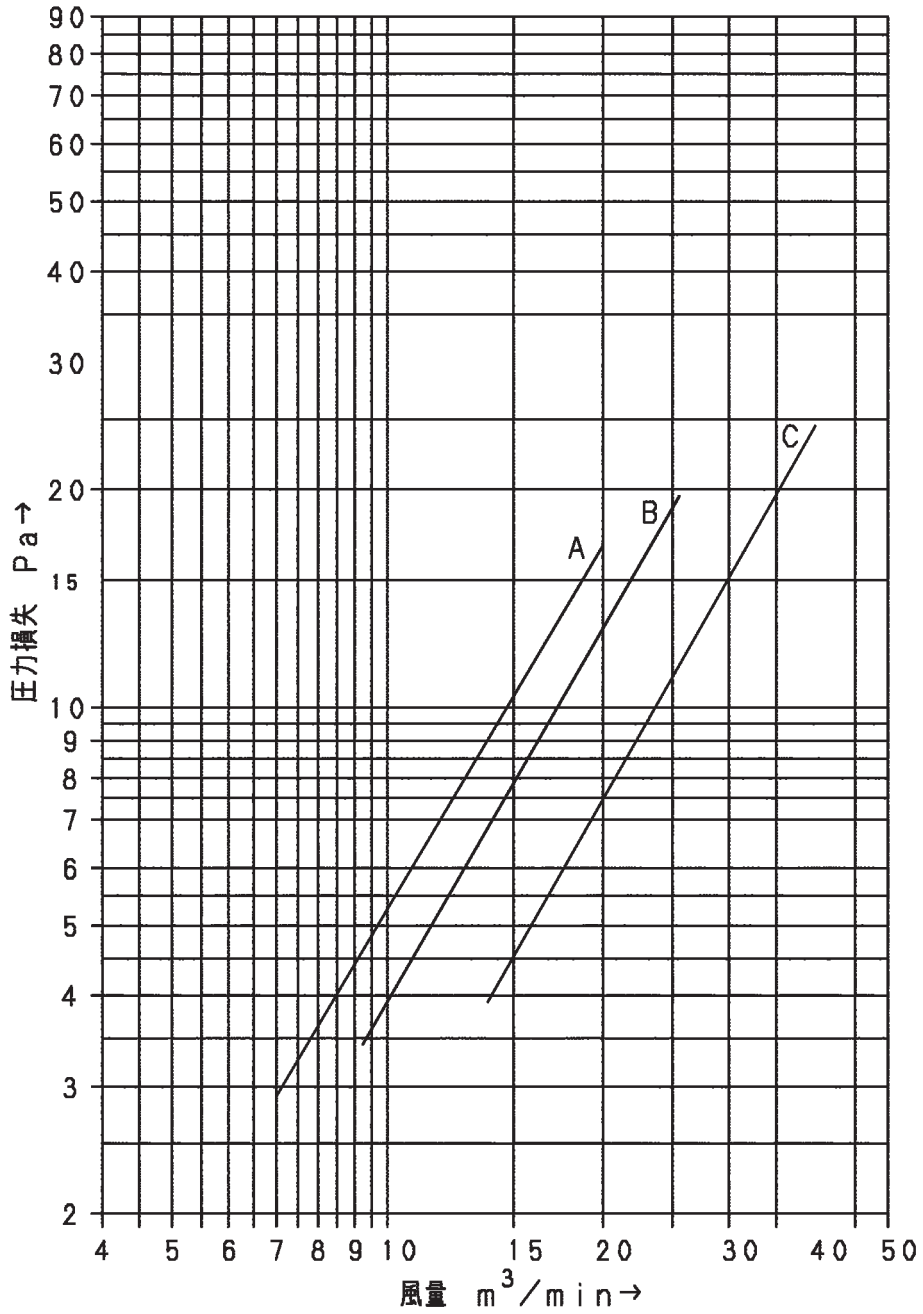
■圧力損失

ビルトイン小パネル（ロングライフフィルター付き）

記号	部品品番	適用機種
A	CZ-02HPF3	22～56形
B	CZ-03HPF3	71・90形
C	CZ-06HPF3	112～160形

ビルトイン大パネル（ロングライフフィルター付き）

記号	部品品番	適用機種
A	CZ-56KPF1	22～56形
B	CZ-90KPF1	71・90形
C	CZ-160KPF1	112～160形

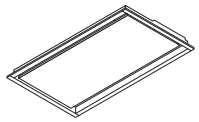
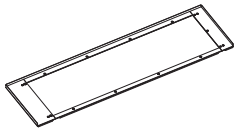
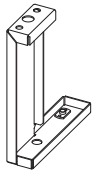
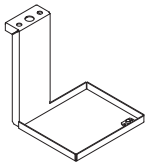
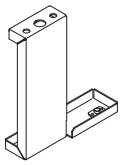
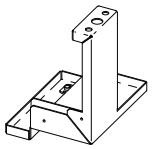


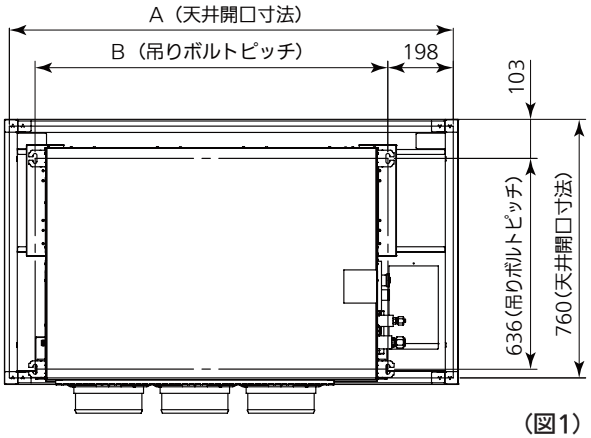
■取付説明書

ビルトイン大パネル取付説明書

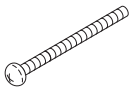
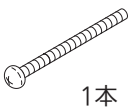
天井ビルトインカセット形用

□ 構成部品

パネル本体	金具A	金具B	金具C（56形）	金具C（90形）	金具C（160形）
					



（図1）

取付ネジ			
（M5×L150）	（M5×L35）	（M5×L10）	（M4×L10）
			
56形： 1本 90形： 2本 160形： 2本	56形： 5本 90形： 6本 160形： 6本	4本	56形： 11本 90形： 13本 160形： 17本
（M5×L115）	（M5×L16）		
			
1本 （56形のみ使用）	1本 （56形のみ使用）		

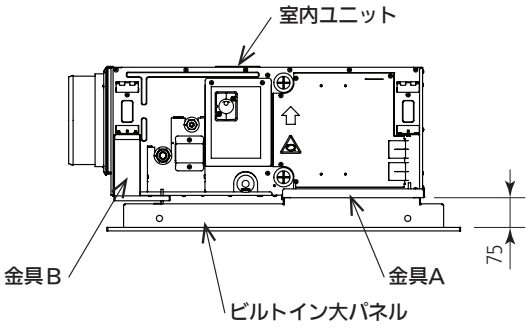
（mm）

	A	B
56形	1040	867
90形	1340	1067
160形	1820	1467

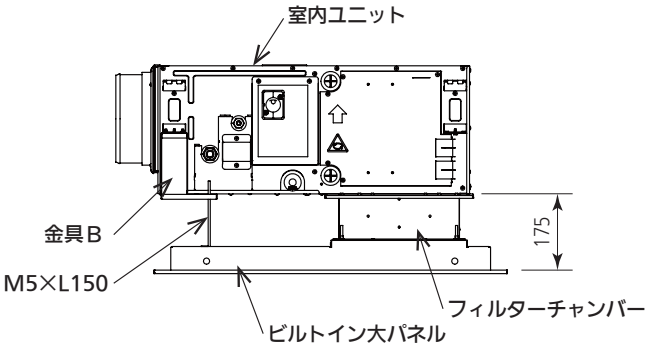
□ 取付け前に

1. 室内ユニットに、本品付属の金具A, B, Cを取り付けます。フィルターチャンバーを取り付ける場合は、取付板（室内ユニット付属品）を取り付けてください。（図6）金具Aは使用しません。
   また、フィルターチャンバーは、1台のみ併用可能です。
2. 室内ユニットまたは別売品と天井面との寸法が、図2または図3に示す値となるように室内ユニットの高さを吊ボルトで調整してください。
3. 天井開口寸法は、図1を参照してください。

室内ユニットに直付け（図2）

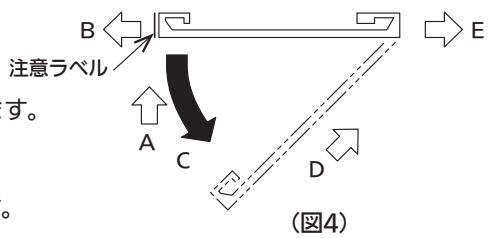


フィルターチャンバーとの併用（図3）



□ ビルトイン大パネルの取付けかた（図5, 図6）

1. 吸込パネルをはずします。
   ① 吸込パネルの注意ラベル側を持って、A, Bの手順で手前をはずします。
   ② 落下防止ひもを固定しているネジをはずします。
   ③ D, Eの手順でもう一方をはずします。
   ④ 吸込パネルは注意ラベル側（エアフィルター側）のみ開閉できます。



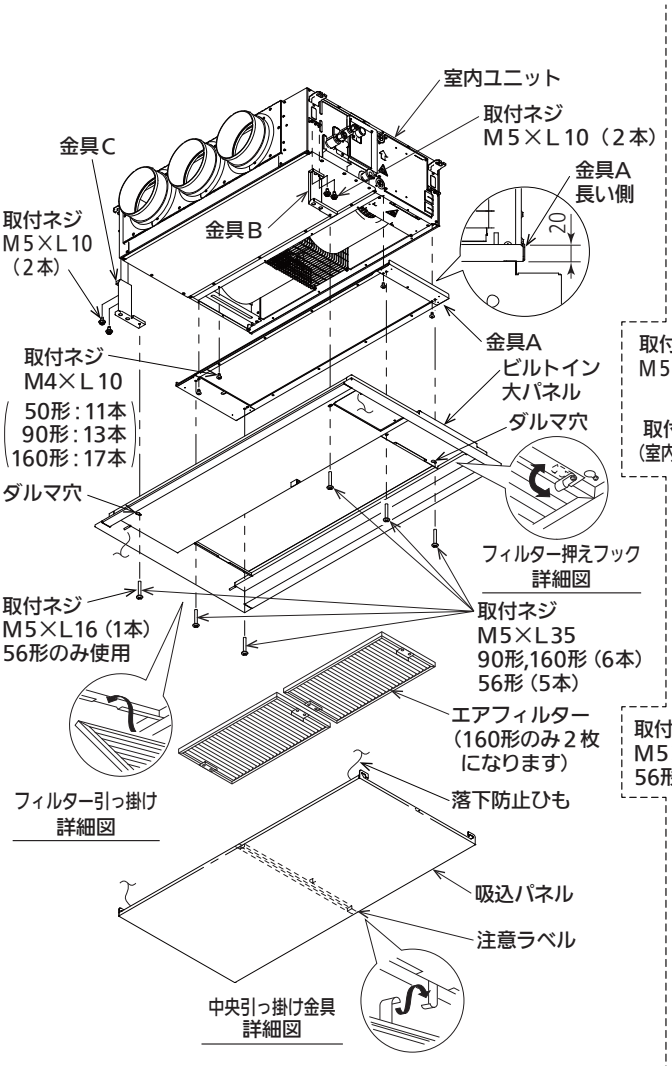
（図4）

2. ビルトイン大パネルのダルマ穴（2か所）に合わせて、室内ユニット側に本品付属の取付ネジを仮止めします。
3. 仮止めしたネジにビルトイン大パネルのダルマ穴を挿入し、横に移動させて仮止めします。
4. 残りのネジを取り付け、ビルトイン大パネルを固定します。
5. ビルトイン大パネルと天井面が密着していることを確認し、吸込パネルを取り付けます。
   落下防止ひもを必ず取り付けてください。ひもが下から見えないよう、内側に向けてください。
6. エアフィルターはフィルター押えフックを90度回転させると取りはずすことができます。

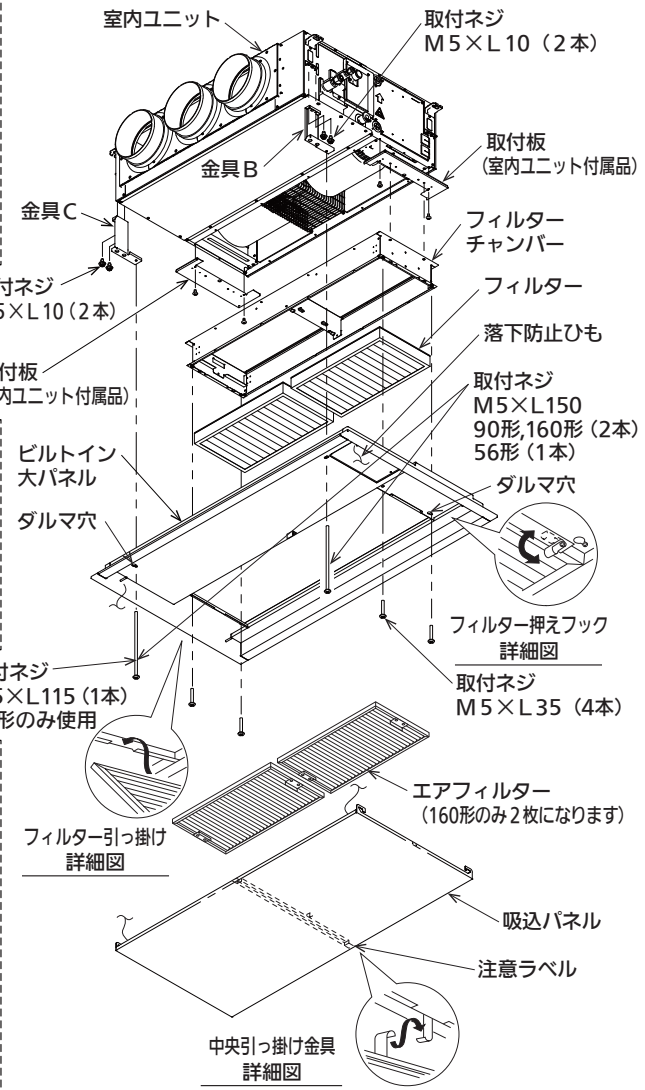
注意：
- ビルトイン大パネル本体の仮止めは２人作業で行い、落下防止に心掛けてください。
- ビルトイン大パネルと天井面に隙間がある場合は、室内ユニットの吊ボルトの高さを再調整してください。
- 大パネル本体と吸込パネルは中央に引っ掛け金具があります。吸込パネルを取り付ける際には向きに注意して金具どうしが確実に引っ掛かるようにしてください。

□ 併用別売品の取付けかた

- 別売品に付属している取付説明書を参照してください。



（図5）



（図6）

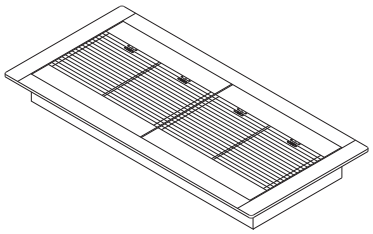
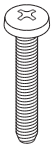
85464369631002

■取付説明書

ビルトイン小パネル取付説明書

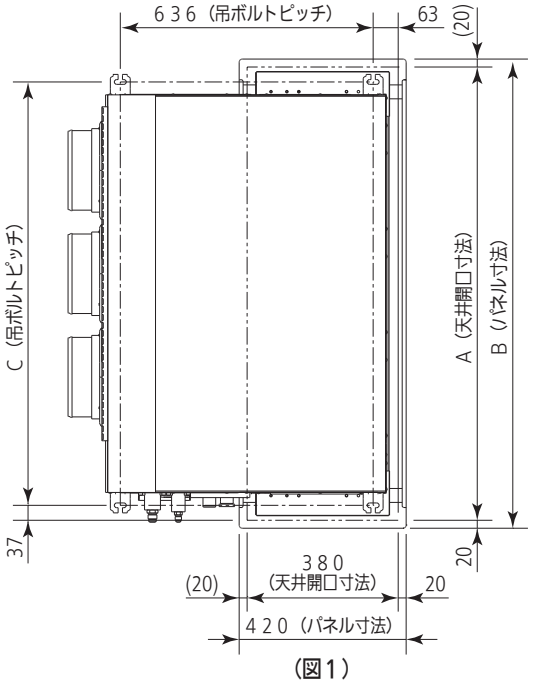
天井ビルトインカセット形（F4, FS2機種）用

□ 構成部品

ビルトイン小パネル	取付ネジ
	（M5×L35）  4本

（mm）

	A	B	C
02形	840	880	867
03形	1140	1180	1067
06形	1620	1660	1467

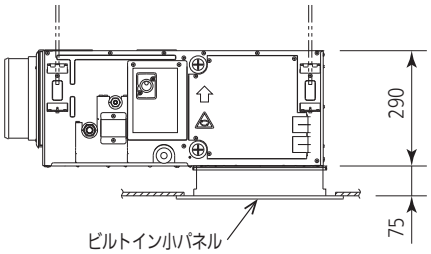


（図1）

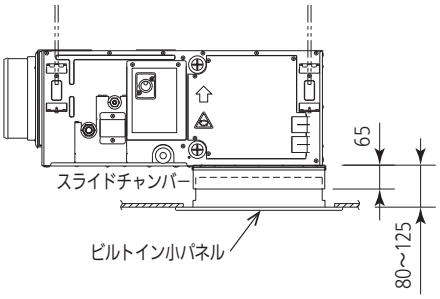
□ 取付け前に

1. 室内ユニットに取付板（室内ユニット付属品）を取り付けてください。
   取付方法は、室内ユニットに付属の据付工事説明書を参照してください。
2. 室内ユニットまたは別売品と天井面との寸法が、図2～図7に示す値となるように室内ユニットの高さを吊ボルトで調整してください。
3. 天井開口寸法は、図1を参照してください。

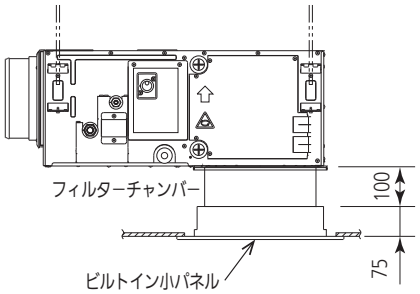
室内ユニットに直付け（図2）



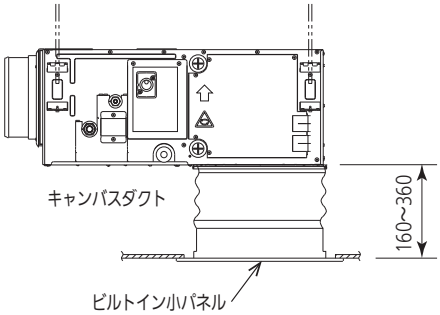
スライドチャンバーとの併用（図3）



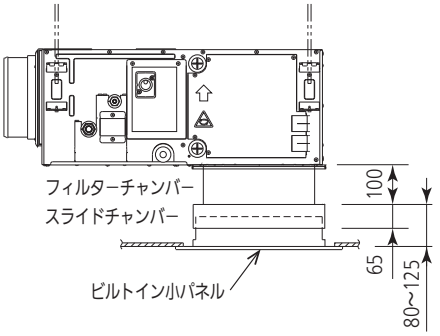
フィルターチャンバーとの併用（図4）



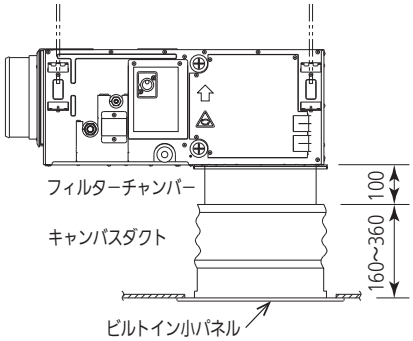
キャンバスダクトとの併用（図5）



フィルターチャンバー、スライドチャンバーとの併用（図6）



フィルターチャンバー、キャンバスダクトとの併用（図7）



□ ビルトイン小パネルの取付けかた

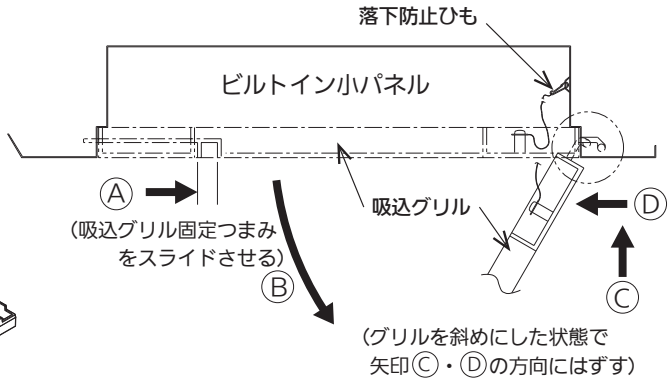
1. 吸込グリル（エアフィルター付）をはずします。（図8）

吸込グリルのはずしかた

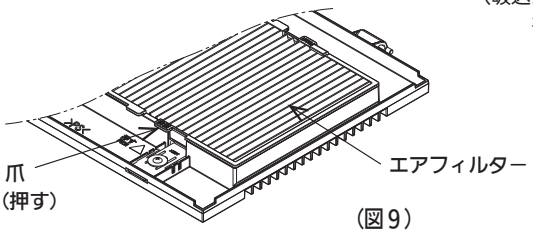
・Ⓐ、Ⓑの手順で吸込みグリルを開けます。

・内側についている落下防止ひもをはずします。

・Ⓒ、Ⓓの手順で吸込みグリルをはずします。



（図8）



（図9）

2. ビルトイン小パネルのダルマ穴（2か所）に合わせ、室内ユニットもしくは別売品に、本品付属の取付ネジ（M5×L35）を仮止めします。

3. 仮止めしたネジにビルトイン小パネルのダルマ穴を挿入し、横に移動させて仮止めします。

4. 残りのネジを取り付け、ビルトイン小パネルを固定します。

5. ビルトイン小パネルと天井面が密着していることを確認してください。

注意：ビルトイン小パネルと天井面に隙間がある場合は、「□ 取付け前に 2.」を参照し室内ユニットの高さを吊りボルトで再調整してください。

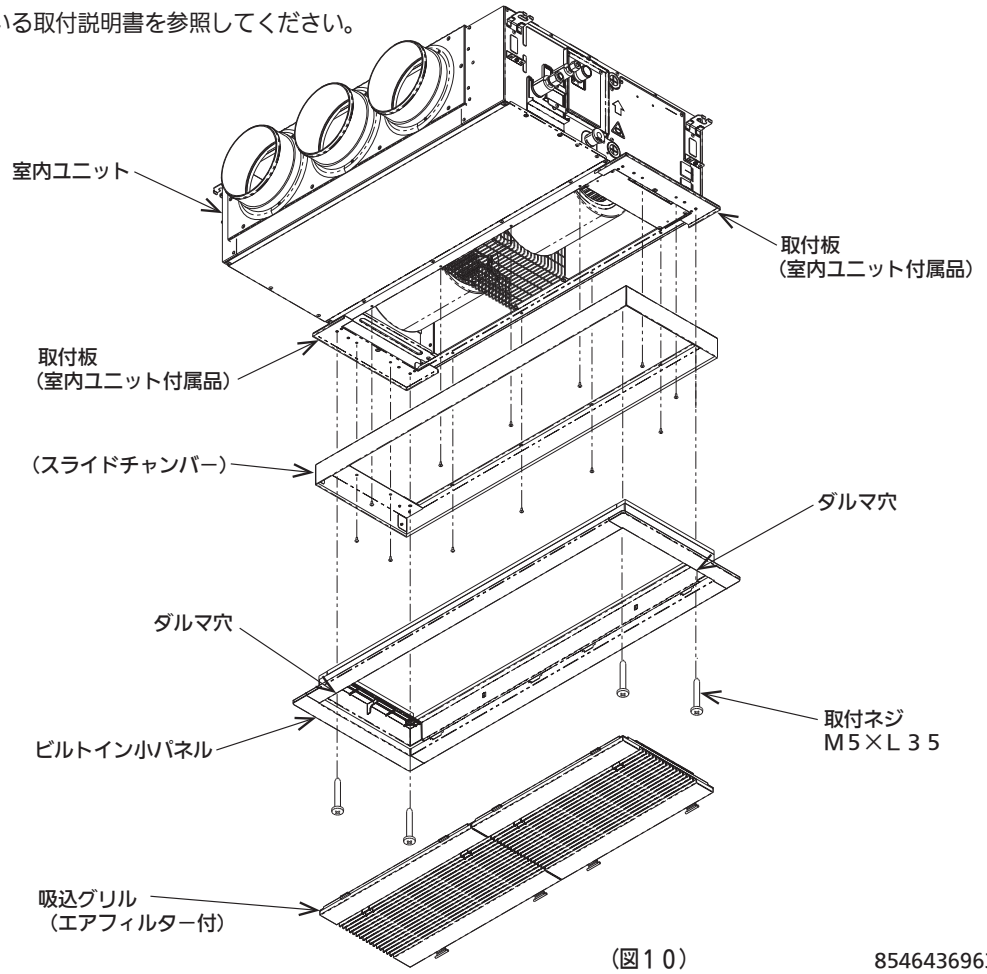
6. 吸込グリルを逆の手順で閉じます。

参考：吸込グリルの取り付け向きは、どちら側でも可能です。

7. エアフィルターは、エアフィルターの爪部分を押すとはずすことができます。（図9）

□ 併用別売品の取付けかた

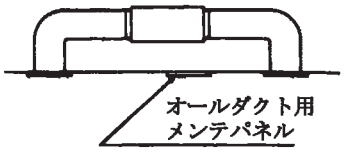
- 別売品に付属している取付説明書を参照してください。



（図10）

85464369636001

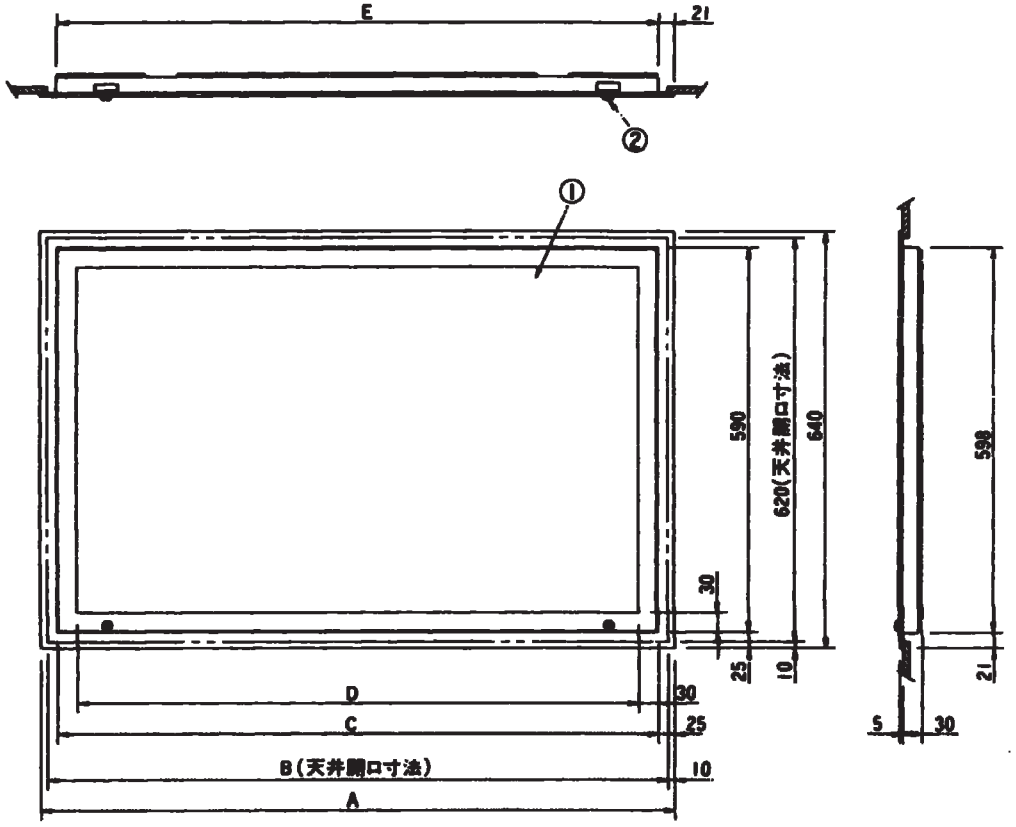
●オールダクト用メンテパネル(PNR-MBD45RF・MBD71RF・MBD125RF)



■ 材質外装色

材　質	鋼　鈑　製
外装色	ホワイト(マンセル10Y9.3/0.4)

■ 外形寸法図



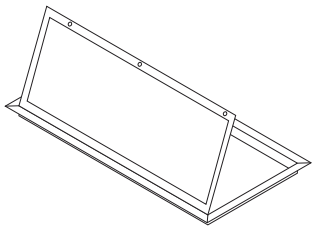
品　番	A	B	C	D	E
PNR-MBD45RF	970	950	920	860	928
PNR-MBD71RF	1270	1250	1220	1160	1228
PNR-MBD125RF	1700	1680	1650	1590	1658

①	化粧パネル（建材組込可）
②	化粧ねじ

■取付説明書

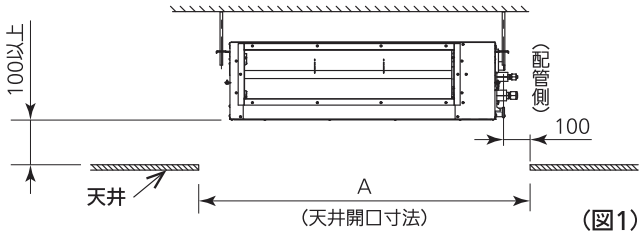
メンテパネル取付説明書

□ 構成部品

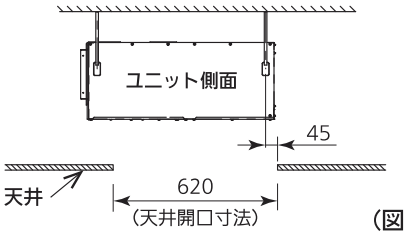
メンテパネル	天井固定金具	ボルト（M6）	蝶ナット	六角ナット
				
PNR-MBD45RF/CZ-02KCFE3	4個	4本	4個	12個
PNR-MBD71RF/CZ-03KCFE3	4個	4本	4個	12個
PNR-MBD125RF/CZ-06KCFE3	6個	6本	6個	18個

□ 取付け前に

1. 天井開口寸法は、図１～図４を参照してください。

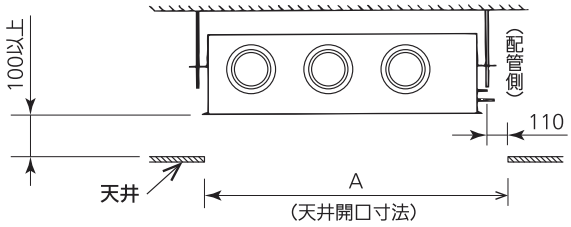


(図1)

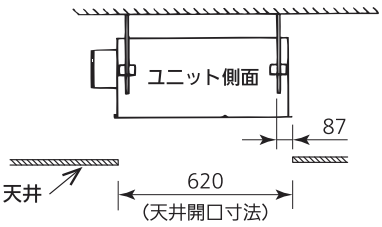


(図2)

・FE3, FES1, K1機種の場合



(図3)

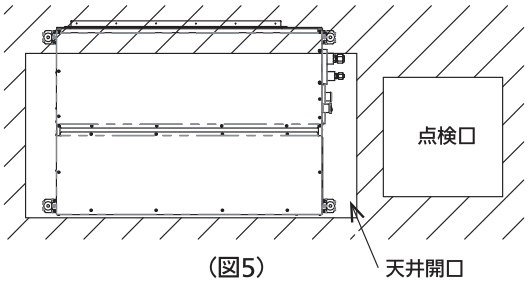


(図4)

(mm)

品　　番	A
PNR-MBD45RF/CZ-02KCFE3	950
PNR-MBD71RF/CZ-03KCFE3	1250
PNR-MBD125RF/CZ-06KCFE3	1680

注意：本品はユニットの下方をメンテナンス作業を行いやすくするためのものです。
室内ユニットの据付工事説明書をご確認の上、別途点検口を設置してください。（図5）

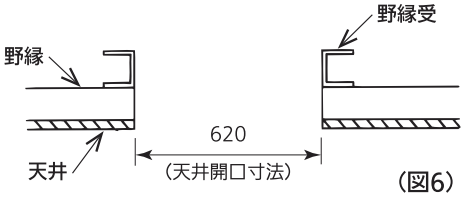


(図5)

開口穴に合わせて野縁受を取り付けてください。（図6）

- 野縁受の取り付けは、ネジ止め、溶接等でしっかりと行ってください。

注意：メンテパネルを取り付ける際、天井内部の野縁、野縁受等を切断する場合には十分な補強を行ってください。

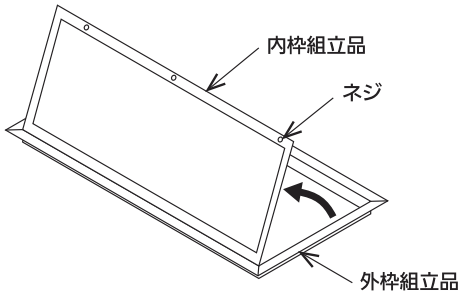


(図6)

□ 取付けかた

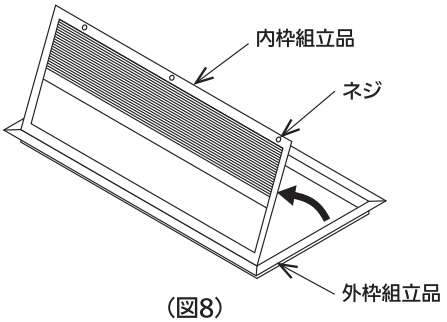
1. 内枠組立品をはずす。
内枠組立品は、ネジを回してはずしてください。（図7, 図8）

PNR-MBD45,71,125RF



（図7）

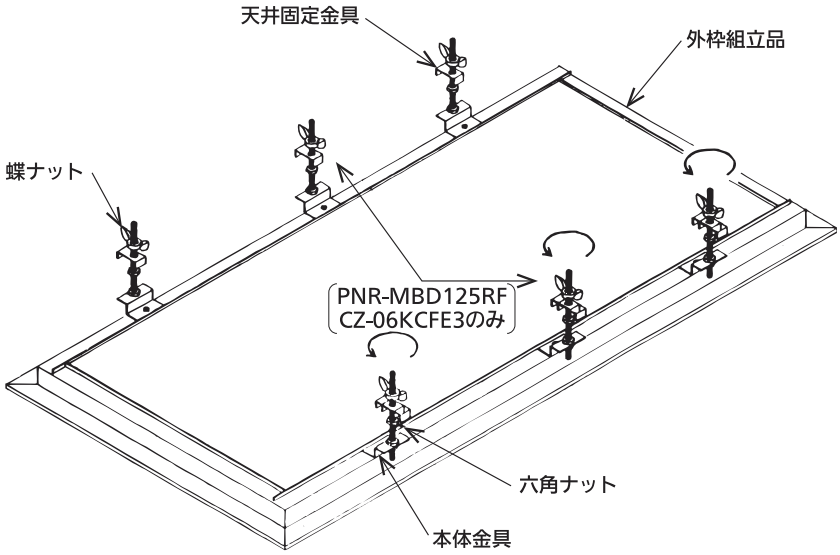
CZ-02,03,06KCFE3



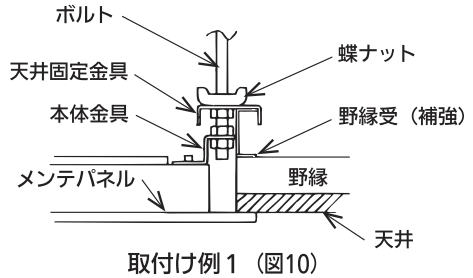
（図8）

2. 外枠組立品を天井に取付ける。（図9～図11）

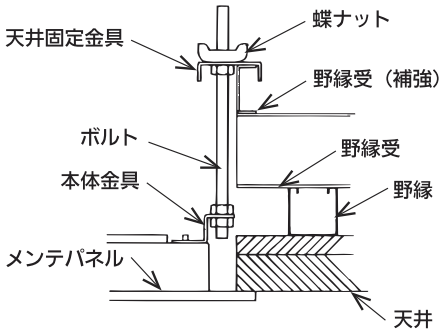
- 外枠組立品（本体金具）にボルト（付属品）を挿し込み、六角ナット（付属品）で上下を挟み込んで固定してください。
- ボルト上部より、六角ナット（付属品）をねじ込み、天井固定金具（付属品）を挿し込み、蝶ナットで仮止めします。
- 外枠組立品を天井に取り付け、天井固定金具を回転させて野縁受に引掛けます。
- 天井面とパネルのすき間を蝶ナットと六角ナットで調整し、確実に固定してください。



（図9）



取付け例１（図10）

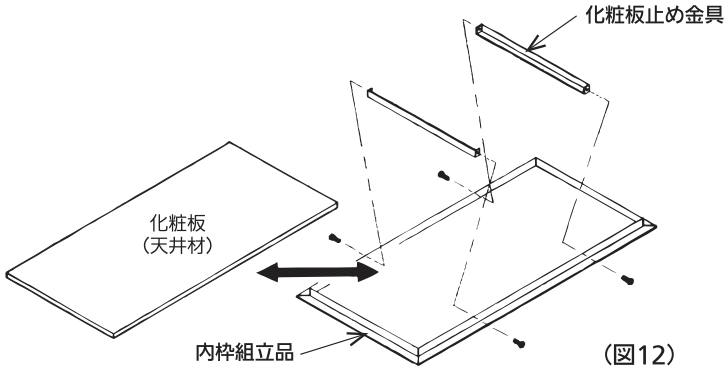


付け例２（図11）

3. 天井材を取付ける。
内枠組立品には天井材を取り付けることができます。（図12）

- 内枠組立品の化粧板止め金具を取りはずします。
- 化粧板を取りはずし、かわりに天井材を取り付けます。
- 化粧板留め金具で天井材を押えて取り付けます。

注意：天井材を取り付ける場合、化粧板は不要となります。



（図12）

天井材寸法　（mm）

品　番	たて	よこ
PNR-MBD45RF	547	880
PNR-MBD71RF	547	1180
PNR-MBD125RF	547	1610
CZ-02KCFE3	353	880
CZ-03KCFE3	353	1180
CZ-06KCFE3	353	1610

85465759486001
ACXF75-06161
PA1211-20518

●天井ビルトインカセット形

■高性能フィルター　比色法 65%

名称		高性能フィルター（比色法６５%）						
品番		AFT-MBD50T		AFT-MBD80T		AFT-MBD140T		
適用機種		22・28・36・45形	56形	71形	90形	112形	140形	160形
静圧設定	—	15	15	15	15	15	15	15
初期風量	m^3/min	13.6	14.4	22.8	23.9	34.3	36.4	37.9
最終風量	m^3/min	9.0	10.3	17.0	18.5	25.8	25.8	27.4
初期機外静圧	Pa	54	56	70	73	70	69	71
最終機外静圧	Pa	93	94	102	108	103	112	115
寿命	時間	4900	4600	3700	3700	4100	4100	4000
平均効率	—	比色法６５%（ＪＩＳ １１種）						
使用濾材	—	ポリオレフィン系帯電繊維						
ﾌｨﾙﾀｰ外形寸法 幅×奥行×厚み	mm	（663×1）×269×50		（473×2）×269×50		（713×2）×269×50		

■高性能フィルター　比色法 90%

名称		高性能フィルター（比色法９０%）						
品番		AFT-HBD50T		AFT-HBD80T		AFT-HBD140T		
適用機種		22・28・36・45形	56形	71形	90形	112形	140形	160形
静圧設定	—	15	15	15	15	15	15	15
初期風量	m^3/min	13.1	14.1	22.2	23.3	33.6	35.2	36.9
最終風量	m^3/min	9.0	10.3	17.0	18.5	25.8	25.8	27.4
初期機外静圧	Pa	59	59	73	77	73	74	75
最終機外静圧	Pa	93	94	102	108	103	112	115
寿命	時間	2500	2400	1900	1400	2000	2000	2000
平均効率	—	比色法９０%（ＪＩＳ １１種）						
使用濾材	—	ポリオレフィン系帯電繊維						
ﾌｨﾙﾀｰ外形寸法 幅×奥行×厚み	mm	（663×1）×269×50		（473×2）×269×50		（713×2）×269×50		

■ロングライフフィルター

名称		ロングライフフィルター						
品番		AFT-LBD50T		AFT-LBD80T		AFT-LBD140T		
適用機種		22・28・36・45形	56形	71形	90形	112形	140形	160形
静圧設定	—	8	8	11	11	11	11	11
初期風量	m^3/min	12.6	13.6	21.5	23.3	32.5	34.5	36.3
最終風量	m^3/min	10.0	11.7	15.9	17.4	24.5	24.3	26.1
初期機外静圧	Pa	39	39	47	48	48	49	48
最終機外静圧	Pa	62	59	79	83	80	87	91
寿命	時間	5000	5000	5000	5000	5000	5000	5000
平均効率	—	重量法２８%（ＪＩＳ １５種）						
使用濾材	—	ＰＰハニカム(防カビ仕様)						
ﾌｨﾙﾀｰ外形寸法 幅×奥行×厚み	mm	（663×1）×269×50		（473×2）×269×50		（713×2）×269×50		

注意事項
1) 最終機外静圧・寿命は上記静圧設定時の値です。
2) フィルター寿命（時間）は、塵埃濃度0.15m ｇ／ｍ３（ビル管理法規制値）として算出しています。
　寿命（時間）は現場条件により異なります。
3) ユニットに取り付ける場合は、フィルターチャンバーも必要ですので同時手配下さい。

■フィルターチャンバー

品番		CZ-56FBCF1	CZ-90FBCF1	CZ-160FBCF1
ﾁｬﾝﾊﾞｰ外形寸法 幅×奥行×厚み	mm	738×313×100	1038×313×100	1518×313×100

●ビルトインオールダクト形

■高性能フィルター　比色法65%

名称		高性能フィルター（比色法６５%）					
品番		AFT-MBD50T	AFT-MBD80T		AFT-MBD140T		
ビル用システムマルチ		28・36・45・56形	71形	90形	112形	140形	160形
静圧設定	—	11	11	11	15	15	15
初期風量	m^3/min	16.3	21.4	26.2	34.3	36.1	38.6
最終風量	m^3/min	13.1	17.3	20.9	26.2	27.0	29.3
初期機外静圧	Pa	97	97	99	142	142	141
最終機外静圧	Pa	123	116	126	169	173	171
寿命	時間	3600	3900	3200	4900	4600	4100
平均効率	—	比色法６５%（ＪＩＳ １１種）					
使用濾材	—	ポリオレフィン系帯電繊維					
ﾌｨﾙﾀ外形寸法 幅×奥行×厚み	mm	（663×1）×269×50	（473×2）×269×50		（713×2）×269×50		

■高性能フィルター　比色法90%

名称		高性能フィルター（比色法９０%）					
品番		AFT-HBD50T	AFT-HBD80T		AFT-HBD140T		
ビル用システムマルチ		28・36・45・56形	71形	90形	112形	140形	160形
静圧設定	—	11	11	11	15	15	15
初期風量	m^3/min	16.0	21.0	25.3	33.9	35.5	37.7
最終風量	m^3/min	13.1	17.3	20.9	26.2	27.0	29.3
初期機外静圧	Pa	99	99	104	144	145	144
最終機外静圧	Pa	123	116	126	169	173	171
寿命	時間	2100	2000	1600	2500	2300	2200
平均効率	—	比色法９０%（ＪＩＳ １１種）					
使用濾材	—	ポリオレフィン系帯電繊維					
ﾌｨﾙﾀ外形寸法 幅×奥行×厚み	mm	（663×1）×269×50	（473×2）×269×50		（713×2）×269×50		

■ロングライフフィルター

名称		ロングライフフィルター					
品番		AFT-LBD50T	AFT-LBD80T		AFT-LBD140T		
ビル用システムマルチ		28・36・45・56形	71形	90形	112形	140形	160形
静圧設定	—	8	8	8	11	11	11
初期風量	m^3/min	15.6	20.2	25.4	32.1	34.0	36.2
最終風量	m^3/min	12.9	17.1	21.1	27.6	27.5	29.8
初期機外静圧	Pa	73	73	74	109	110	110
最終機外静圧	Pa	99	87	98	124	131	131
寿命	時間	5000	5000	5000	5000	5000	5000
平均効率	—	重量法２８%（ＪＩＳ １５種）					
使用濾材	—	ＰＰハニカム(防カビ仕様)					
ﾌｨﾙﾀ外形寸法 幅×奥行×厚み	mm	（663×1）×269×50	（473×2）×269×50		（713×2）×269×50		

注意事項

1）最終機外静圧・寿命は上記静圧設定時の値です。

2）フィルター寿命（時間）は、塵埃濃度0.15ｍｇ／ｍ３（ビル管理法規制値）として算出しています。
　寿命（時間）は現場条件により異なります。

3）ユニットに取り付ける場合は、フィルターチャンバーも必要ですので同時手配下さい。

■フィルターチャンバー

品番		CMB-FBU50T	CMB-FBU80T	CMB-FBU140T
ﾁｬﾝﾊﾞｰ外形寸法 幅×奥行×厚み	mm	700×307×150	1000×307×150	1480×307×150

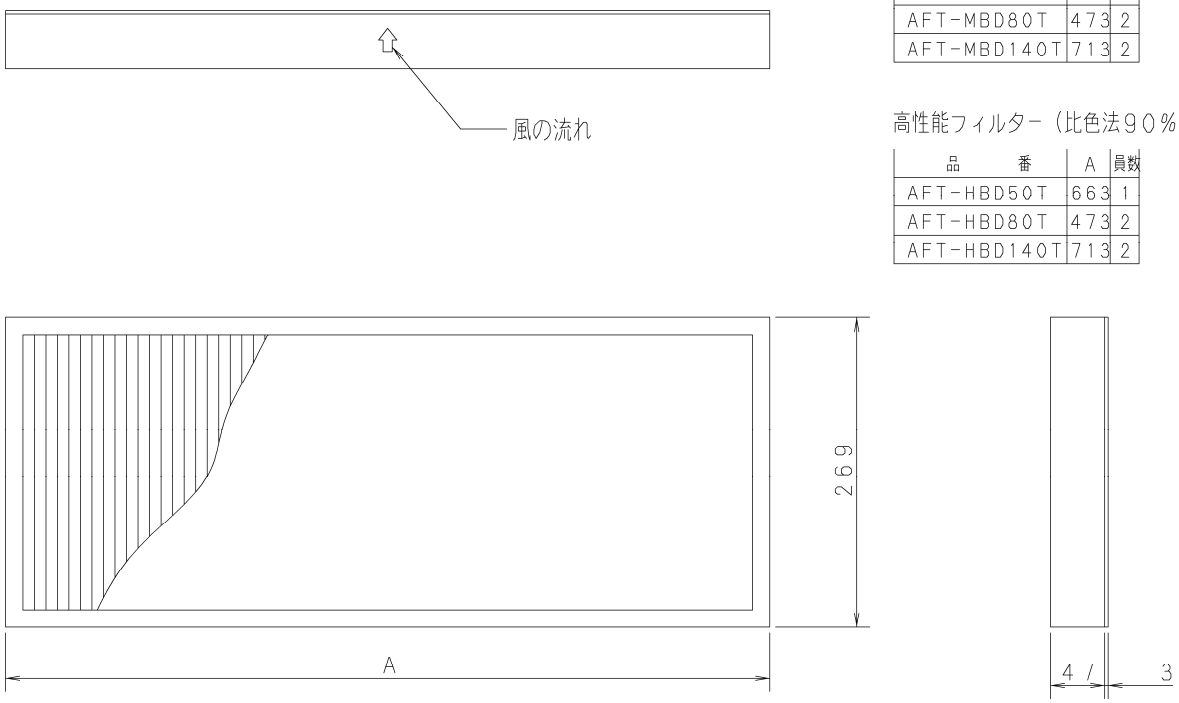
■外形寸法図（高性能フィルター）

高性能フィルター（比色法６５％）

品番	A	員数
AFT-MBD50T	663	1
AFT-MBD80T	473	2
AFT-MBD140T	713	2

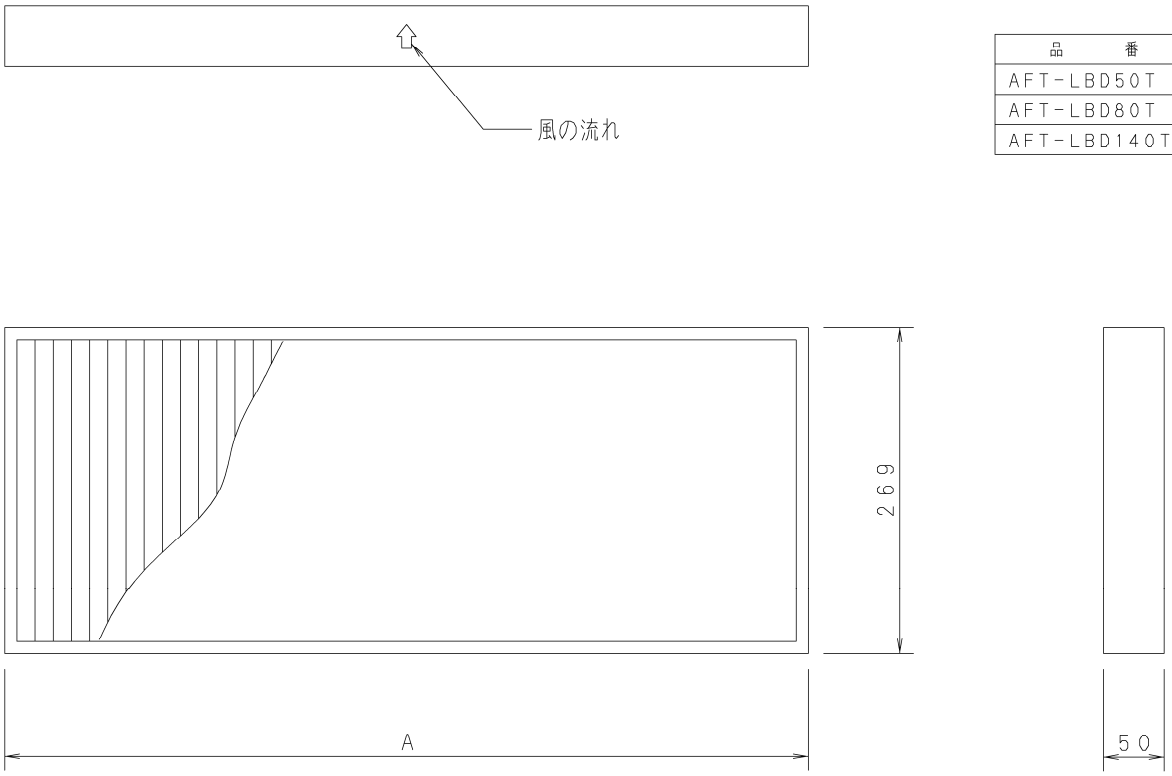
高性能フィルター（比色法９０％）

品番	A	員数
AFT-HBD50T	663	1
AFT-HBD80T	473	2
AFT-HBD140T	713	2



■外形寸法図（ロングライフフィルター）

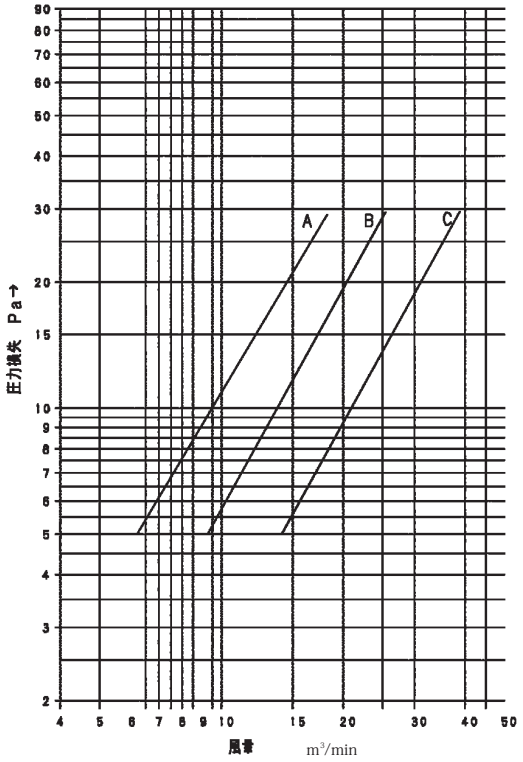
品番	A	員数
AFT-LBD50T	663	1
AFT-LBD80T	473	2
AFT-LBD140T	713	2



■圧力損失

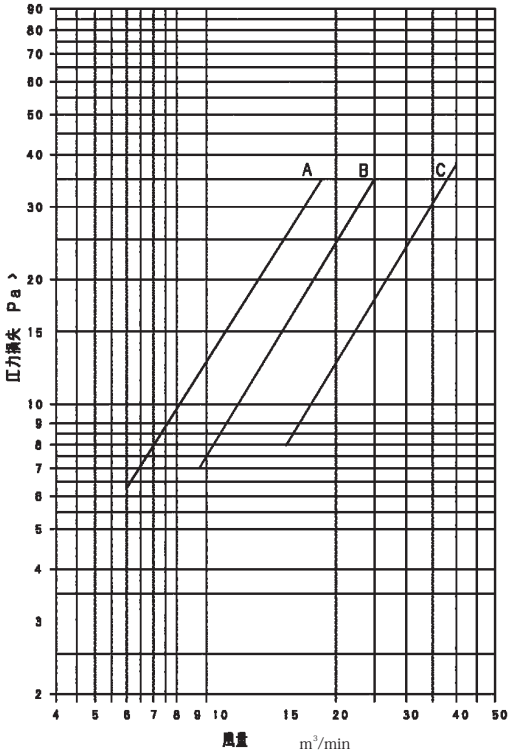
高性能フィルター（比色法 65%）

ｸﾞﾗﾌ記号	品番	適用機種
A	AFT-MBD50T	22 ～ 56 形
B	AFT-MBD80T	71 ・ 90 形
C	AFT-MBD140T	112 ～ 160 形



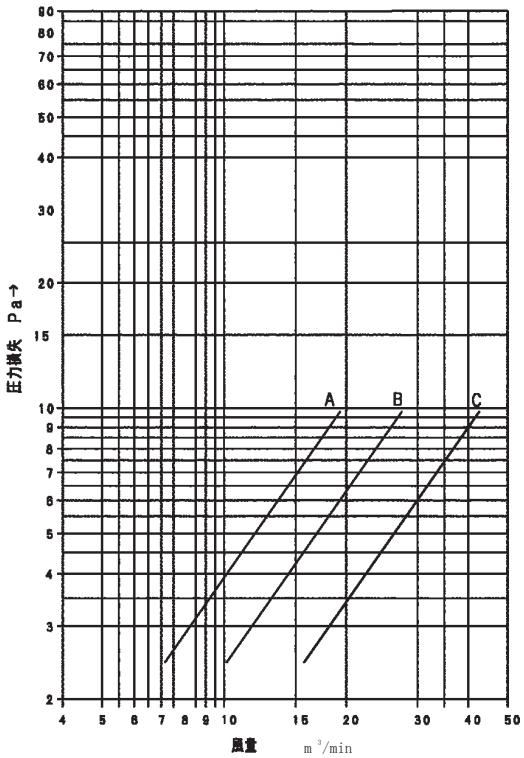
高性能フィルター（比色法 90%）

ｸﾞﾗﾌ記号	品番	適用機種
A	AFT-HBD50T	22 ～ 56 形
B	AFT-HBD80T	71 ・ 90 形
C	AFT-HBD140T	112 ～ 160 形



ロングライフフィルター

ｸﾞﾗﾌ記号	品番	適用機種
A	AFT-LBD50T	22～56形
B	AFT-LBD80T	71・90形
C	AFT-LBD140T	112～160形



●送風機特性

■天井ビルトインカセット形

室内ファンタップ（ビルトインカセット）

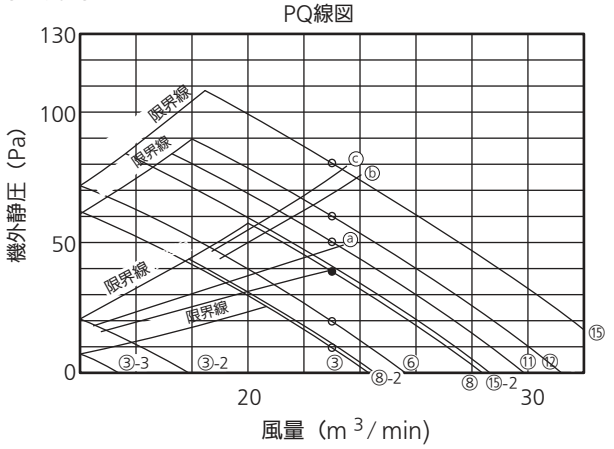
		項目コード "60"											
		00 15		00 12		00 11		00 08		00 06		00 03	
		冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房
タップ	⑮	H	H					出荷時の設定					
	⑫			H	H								
	⑪					H	H						
	⑮-2	M	M										
	⑧			M	M			H	H				
	⑥	L	L			M	M			H	H		
	⑧-2							M	M				
	③			L	L	L	L			M	M	H	H
	③-2							L	L	L	L	M	M
	③-3											L	L

（H:急、M:強、L:弱）

ⓐロングライフフィルター初期圧力損失
ⓑ高性能フィルター（比色法65%）初期圧力損失
ⓒ高性能フィルター（比色法90%）初期圧力損失

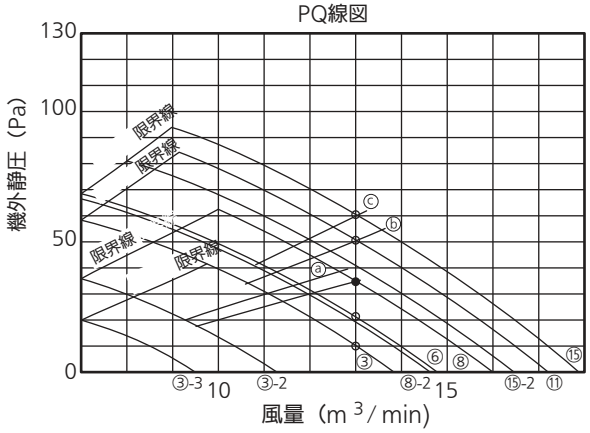
S-G90FS2

PQ線図



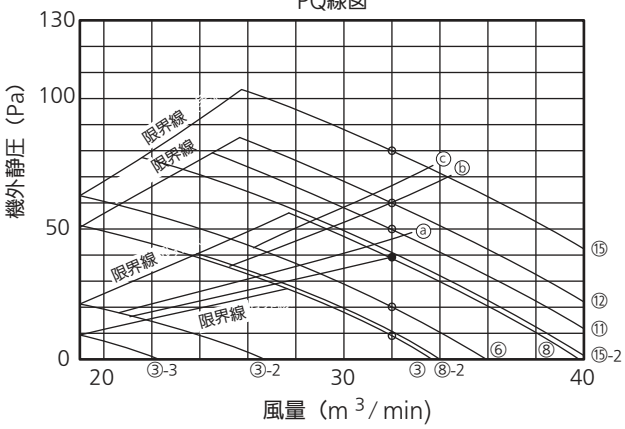
S-G22～45FS2

PQ線図



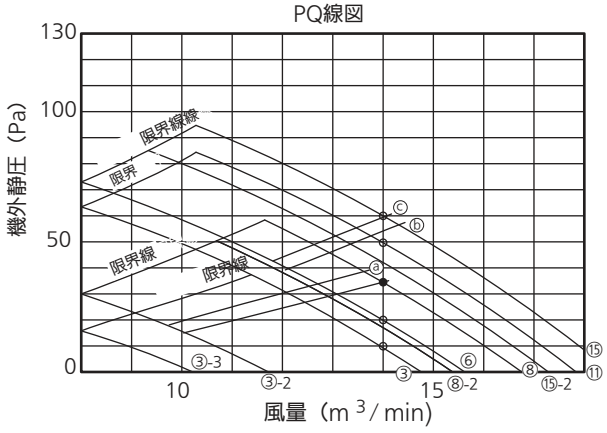
S-G112FS2

PQ線図



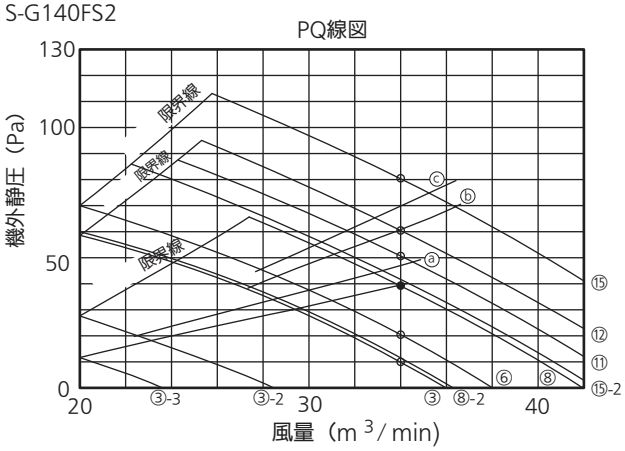
S-G56FS2

PQ線図



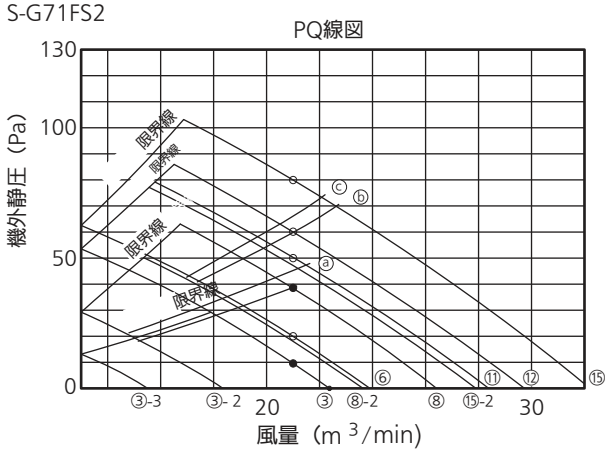
S-G140FS2

PQ線図



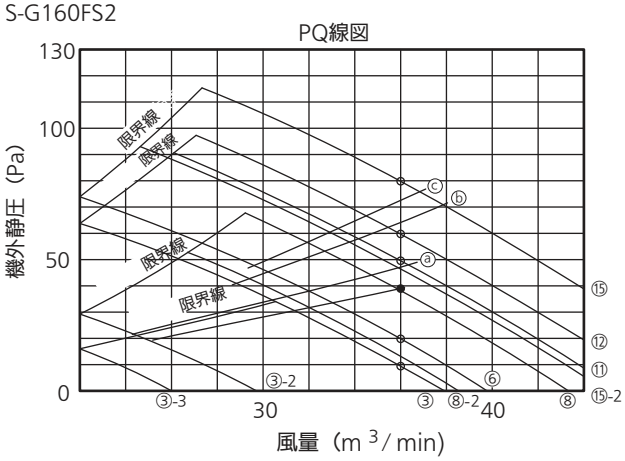
S-G71FS2

PQ線図



S-G160FS2

PQ線図



■ビルトインオールダクト形

室内ファンタップ（ビルトインオールダクト）

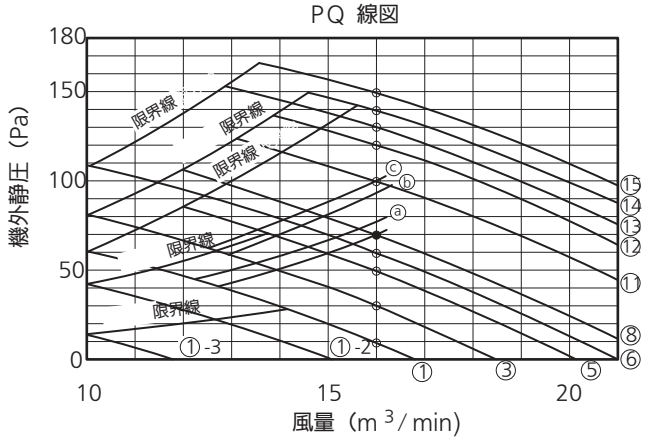
		項目コード "60"																			
		00 15		00 14		00 13		00 12		00 11		00 08		00 06		00 05		00 03		00 01	
		冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房	冷房	暖房
タップ	⑮	H	H									出荷時の設定									
	⑭			H	H																
	⑬	M	M			H	H														
	⑫							H	H												
	⑪				M					H	H										
	⑧			M			M	M	M			H	H								
	⑥	L	L			M				M	M			H	H						
	⑤											M	M			H	H				
	③				L		L	L	L	L	L			M	M	M	M	H	H		
	①			L		L						L	L	L	L			M	M	H	H
	①-2															L	L	L	L	M	M
	①-3																			L	L

（H:急、M:強、L:弱）

ⓐロングライフフィルター初期圧力損失
ⓑ高性能フィルター（比色法65%）初期圧力損失
ⓒ高性能フィルター（比色法90%）初期圧力損失

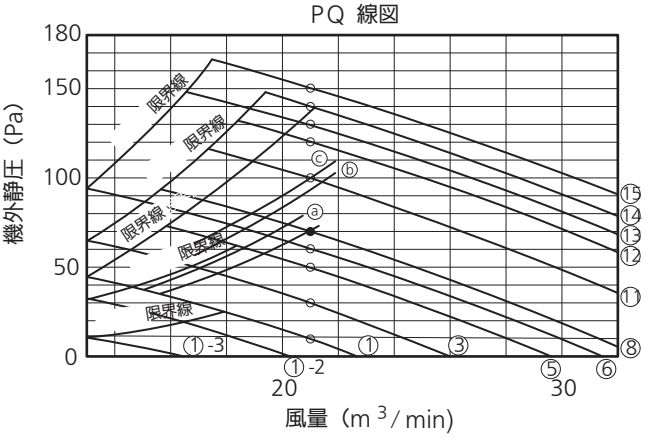
S-G22～56FES2

PQ 線図



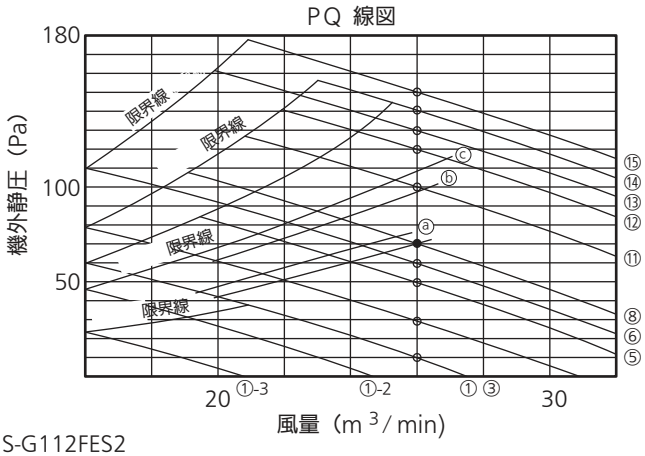
S-G71FES2

PQ 線図



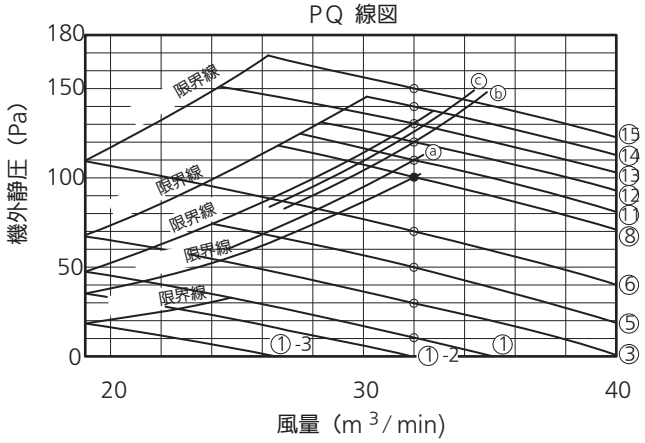
S-G90FES2

PQ 線図



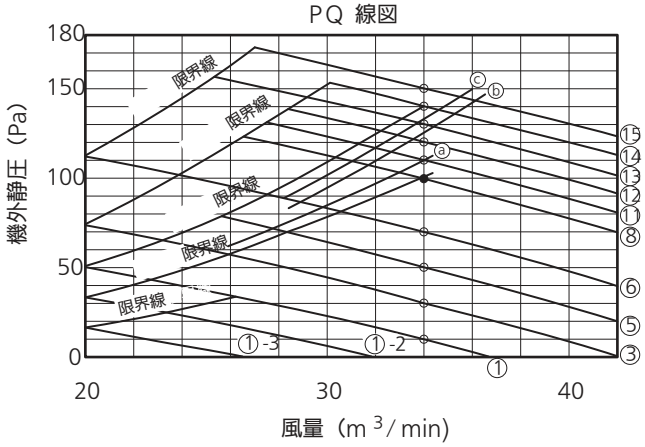
S-G112FES2

PQ 線図



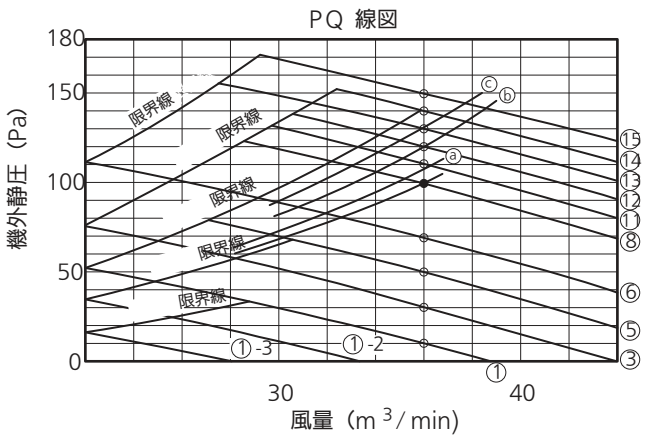
S-G140FES2

PQ 線図



S-G160FES2

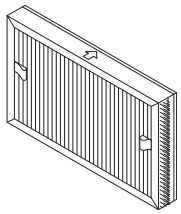
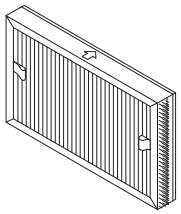
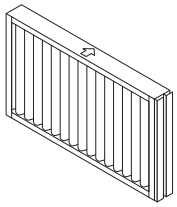
PQ 線図



■取付説明書

高性能フィルター、ロングライフフィルター取付説明書

□ 外観図

高性能フィルター（JIS比色法65%）	高性能フィルター（JIS比色法90%）	ロングライフフィルター
		

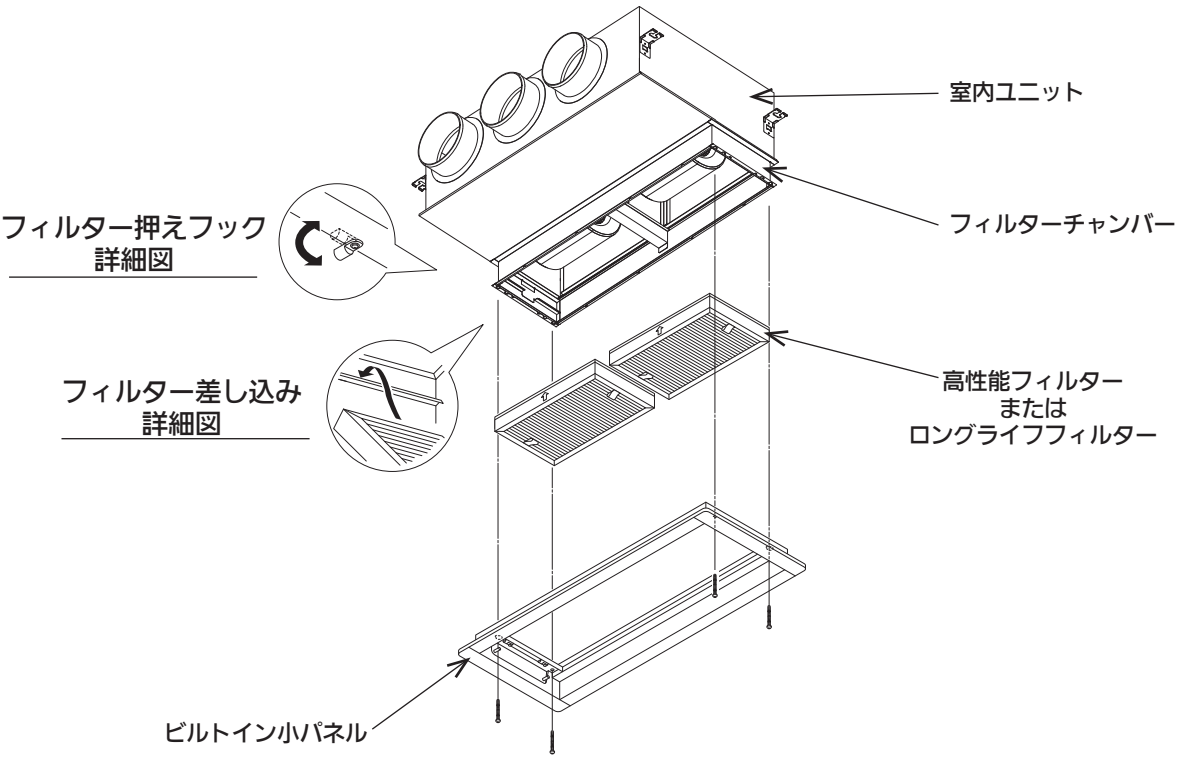
1. 天井ビルトインカセット形とビルトインオールダクト形に共通使用できます。
2. 50形はフィルター1枚、80形と140形は2枚で1組になります。
3. 高性能フィルターとロングライフフィルターの併用はできません。
4. ロングライフフィルターをお使いの場合のみ、パネルまたは吸込グリルのフィルターは取りはずしてご使用ください。

□ 取付けかた

1. 天井ビルトインカセット形の場合（図1）

（1）フィルターはフィルターチャンバーの片側に差込み、フィルター押えフックを90度回転させて確実に固定します。

（2）フィルターの矢印方向（風の流れを示す）を室内ユニットに向けて挿入します。



（図1）

2. ビルトインオールダクト形の場合（図2 ）

（1）フィルターはフィルターチャンバー側面のフック（2個）を90度回転させてメンテ蓋を開き、側面から挿入します。

（2）フィルター挿入のしかた

① 50形は矢印方向（風の流れを示す）を室内ユニットに向けて挿入します。

② 80形と140形フィルターは2枚になっていますので、下記の手順で取り付けてください。

a. 高性能フィルターの場合は、 2枚のフィルターのマジックテープを内々に合わせ矢印方向を室内ユニットに向けて挿入します。

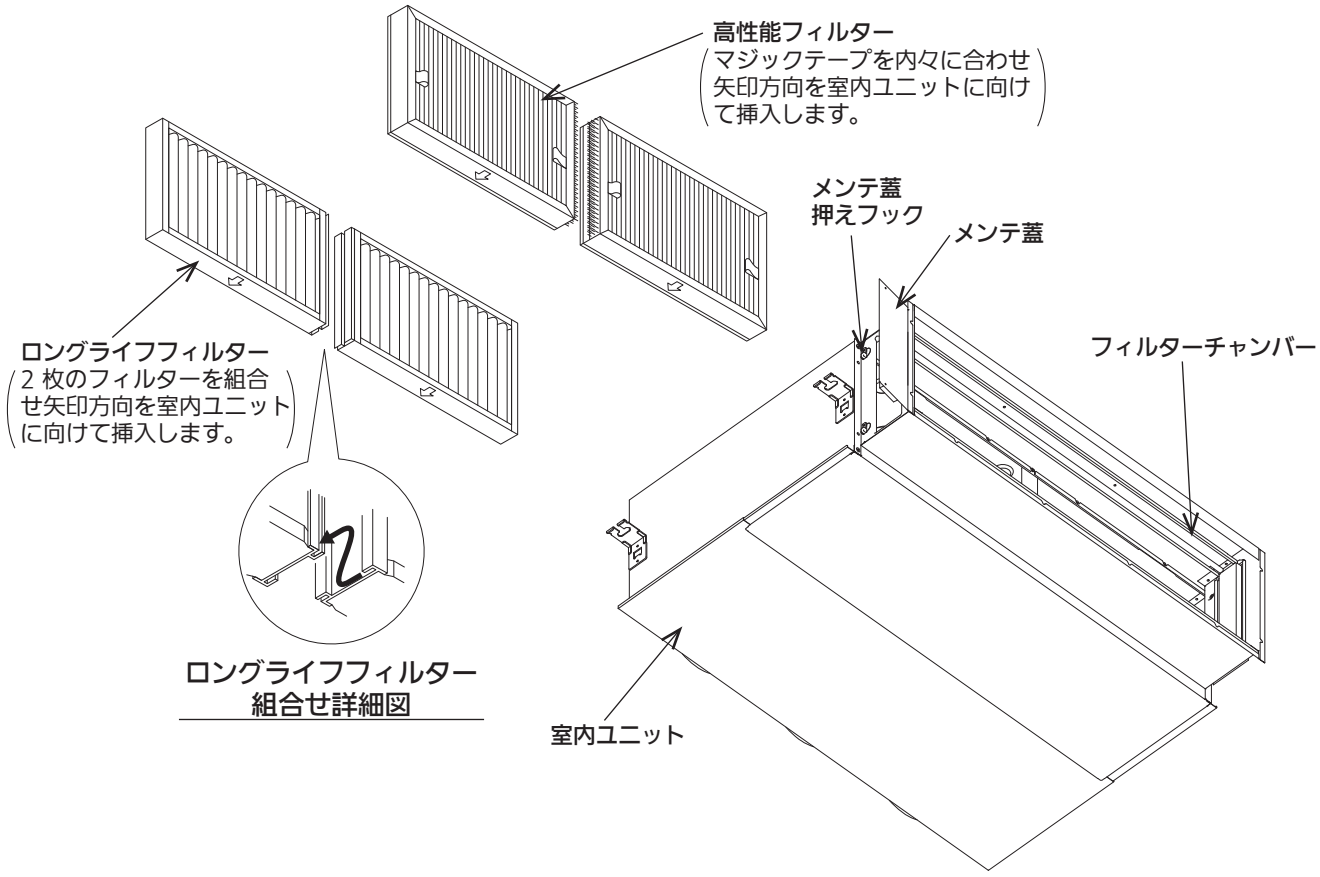
b. ロングライフフィルターの場合は、 2枚のフィルターを組合せ（組合せ詳細図 参照）矢印方向を室内ユニットに向けて挿入します。

● a, bの手順で作業を行なっていただかないと、奥側のフィルターが取り出せなくなります。

（3）フィルターの取出しかた

① フィルターを持って手前に引くと取り出せます。

② 2枚の高性能フィルター（80,140形）で奥側のフィルターが引き出せないときは、手前のフィルターを押すとマジックテープどうしが接合して取り出すことができます。



（注）図は80形と140形を示します。
50形フィルターは1枚になります。

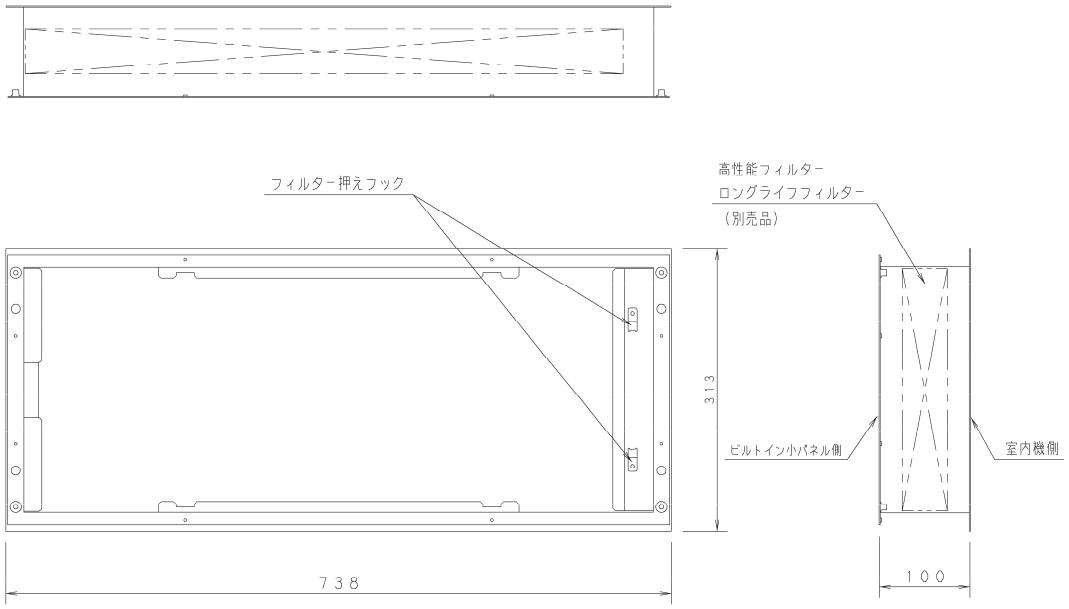
（注）フィルターは左右どちらからでも挿入できます。

（図2）

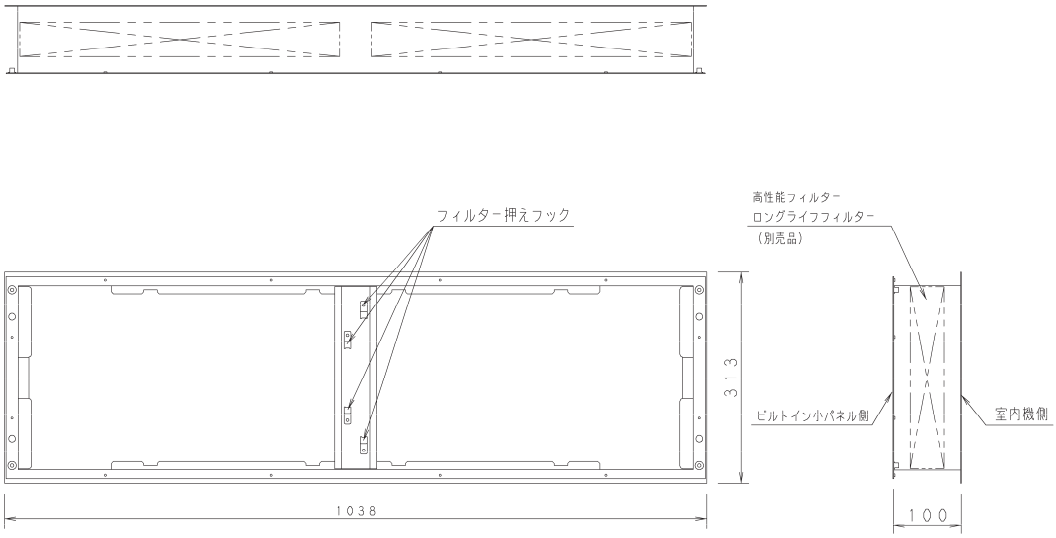
85464369639000

●フィルターチャンバー（天井ビルトインカセット形）

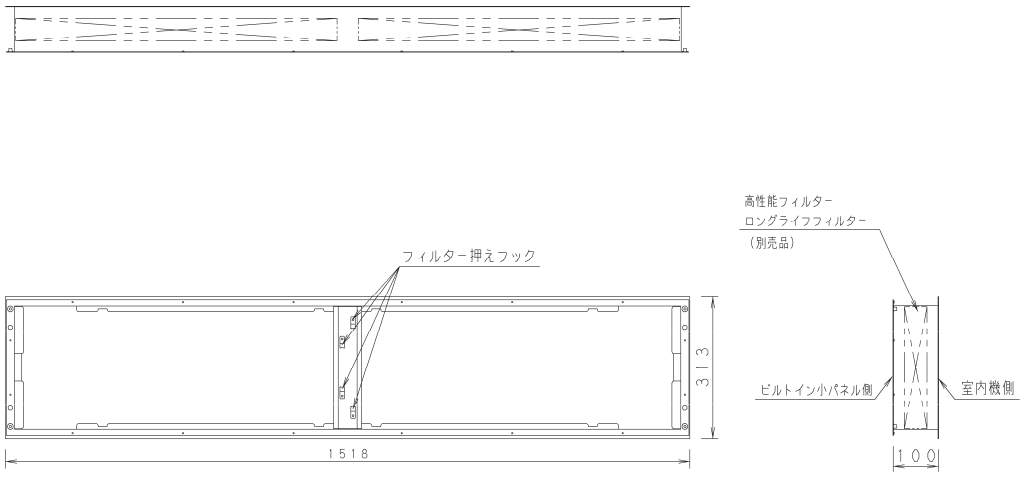
■外形寸法図（CZ-56FBCF1）



■外形寸法図（CZ-90FBCF1）

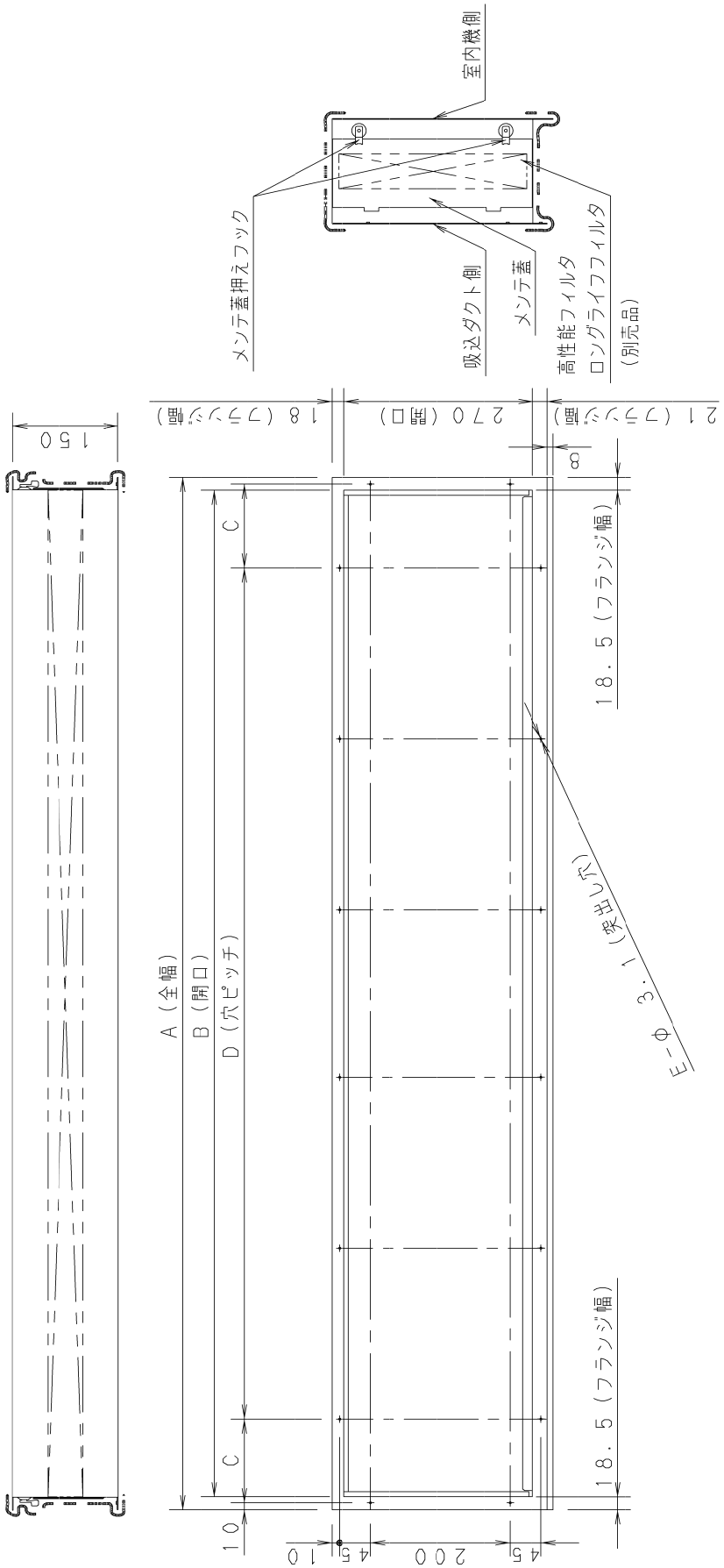


■外形寸法図（CZ-160FBCF1）



●フィルターチャンバー（ビルトインオールダクト形）

■外形寸法図（CMB-FBU50T、FBU80T、FBU1400T）



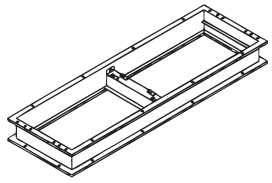
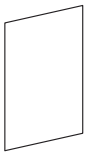
品番	A（全幅）	B（開口）	C	D（穴ピッチ／左から順番に列記）	E（穴数）	必要フィルタ数
CMB-FBU50T	700	663	170	340	8	1
CMB-FBU80T	1000	963	120	245+250+245	12	2
CMB-FBU140T	1480	1443	120	245+245+240+245+245	16	2

注記）1．外寸図は「CMB-FBU140I」の例です。
2．表中の寸法以外は共通です。
3．図中・・・・・線で指定する表面は、厚さ3mmのポリエチレンフォーム断熱材が貼り付けされています。

■ビルトインフィルターチャンバー取付説明書

フィルターチャンバー取付説明書

天井ビルトインカセット形用

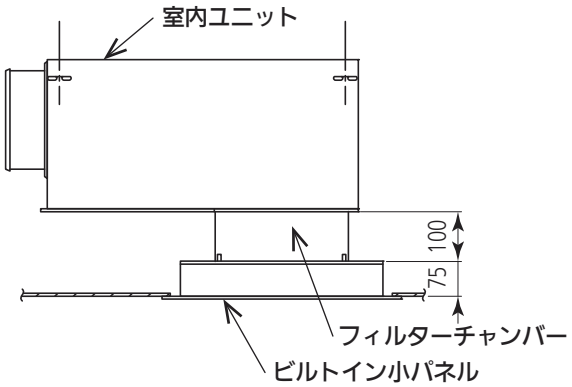
本体	付属品			
フィルターチャンバー	取付ネジ		取付説明書	据付工事説明書 試運転編 補足
	（M5×L16） 56形：　4本 90形：　4本 160形：　4本	（M4×L12） 56形：　4本 90形：　8本 160形：12本		

※フィルターは別売の高性能フィルターまたは、ロングライフフィルターを使用してください。

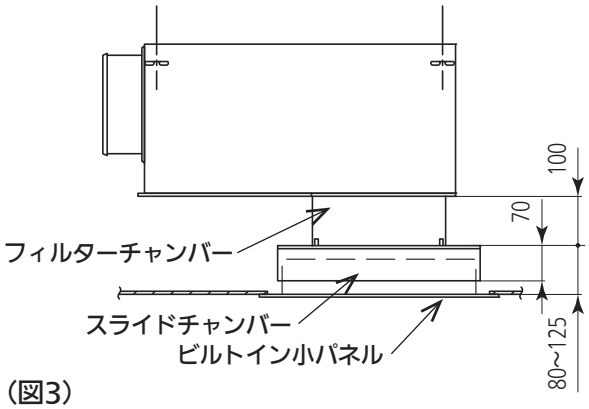
□ 取付け前に

1. 室内ユニットに取付板（室内ユニット付属品）を取り付けてください。
   取付方法は、室内ユニットに付属の据付工事説明書を参照してください。
2. 高性能フィルターまたは、ロングライフフィルターを使用する場合は、裏面の設定方法に従って静圧設定を行ってください。
3. フィルターチャンバーと天井面との寸法が、図1～図3に示す値となるように室内ユニットの高さを吊ボルトで調整してください。
4. ビルトイン小パネル（別売）の天井開口寸法は、室内ユニットに付属の据付工事説明書またはビルトイン小パネル（別売）に付属の取付説明書を参照してください。

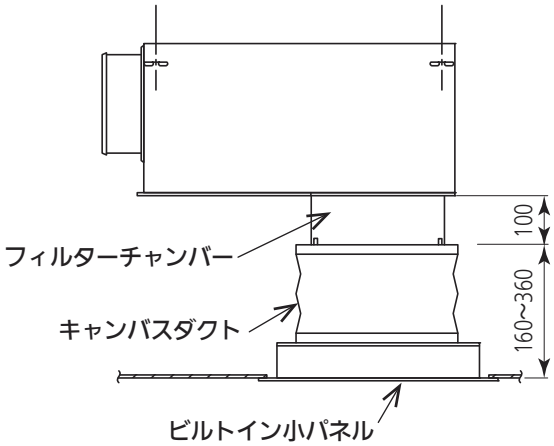
①ビルトイン小パネルとの併用（図1）



②ビルトイン小パネル、スライドチャンバーとの併用（図2）



③ビルトイン小パネル、キャンバスダクトとの併用（図3）

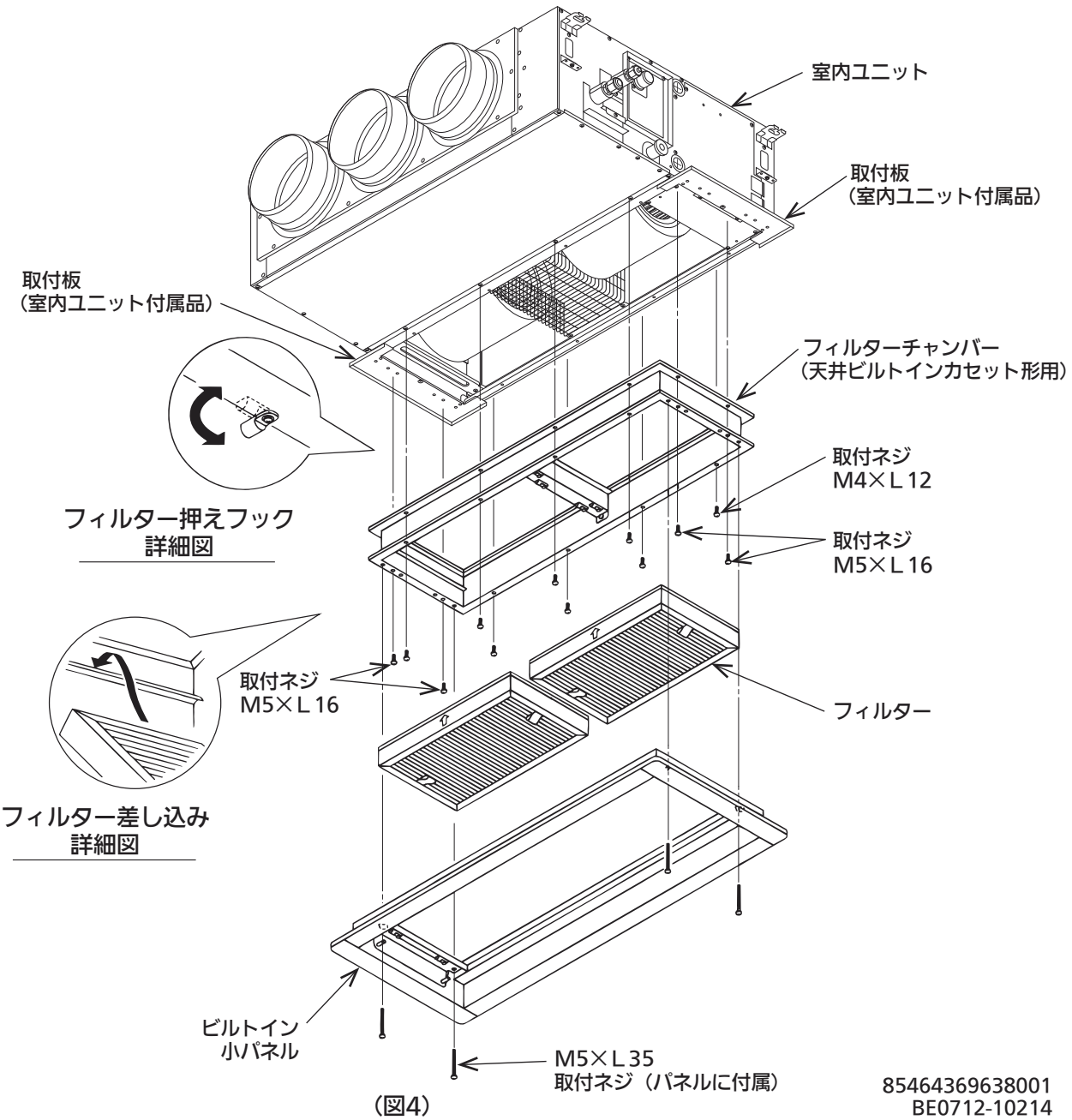


□ 取付けかた

1. フィルターチャンバーを付属の取付ネジで、室内ユニットに確実に固定します。（図4）
（56形…M5：4本・M4：4本、90形…M5：4本・M4：8本、160形…M5：4本、M4：12本）
2. 56形を取り付ける場合は、フィルター押えフックが電装箱側に来るように配置してください。
3. フィルターはフィルターチャンバーの片側に差込み、フィルター押えフックを90度回転させて固定します。取り付けについては、高性能フィルターまたは、ロングライフフィルター付属の取付説明書を参照してください。

□ 併用別売品の取付けかた

- 別売品に付属している取付説明書を参照してください。



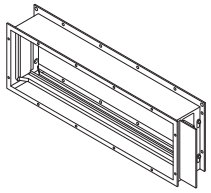
（図4）

85464369638001
BE0712-10214

■オールダクト用フィルターチャンバー取付説明書

フィルターチャンバー取付説明書

ビルトインオールダクト形用

本体	付属品		
フィルターチャンバー	取付ネジ	取付説明書	据付工事説明書 試運転編 補足
	(M4×L12) 50形：　8本 80形：12本 140形：16本		

※フィルターは別売の高性能フィルターまたは、ロングライフフィルターを使用してください。

□ 取付け前に

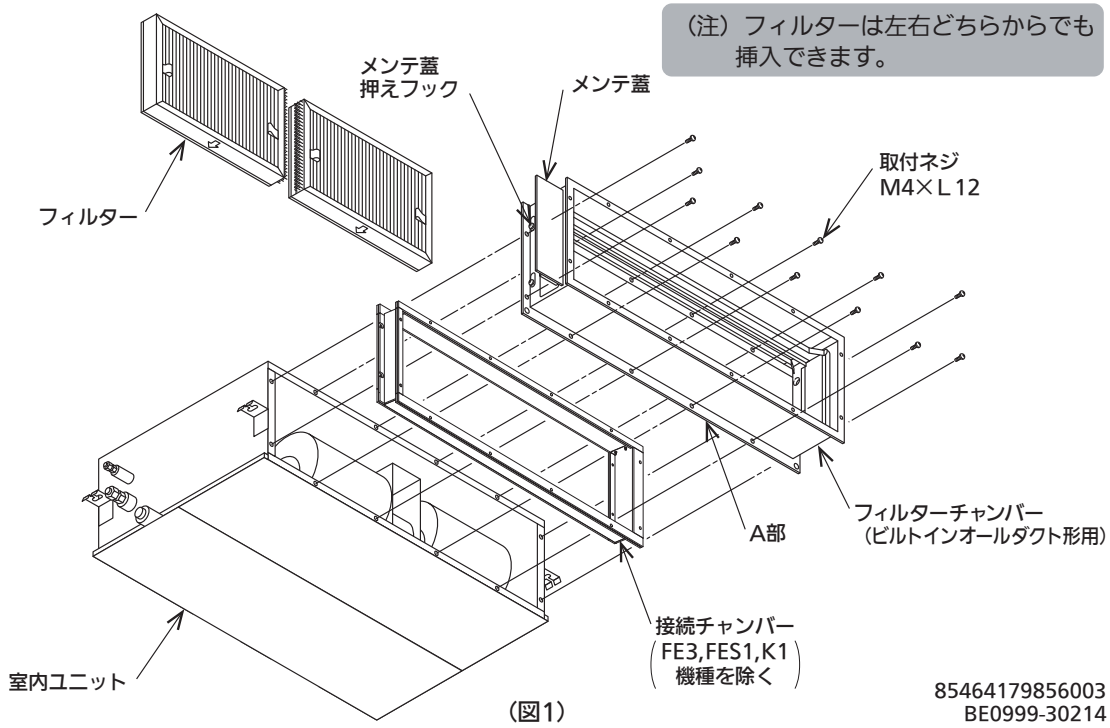
1. 室内ユニットに接続チャンバー（別売）を取り付けます。（FE3, FES1, K1機種を除く）
2. 高性能フィルターまたは、ロングライフフィルターを使用する場合は、裏面の設定方法に従って静圧設定を行ってください。また、FE3, FES1, K1機種に高性能フィルターを取り付ける場合は、室内ユニットの電装蓋をはずし、ファンモーターと基板コネクターの間に室内ユニット付属の中継コネクターを接続してください。
   ※FE3, FES1, K1機種にロングライフフィルターを取り付ける場合、中継コネクターは接続しないでください。

□ 取付けかた

1. フィルターチャンバーのフランジ（A部）は、上下によって曲げ方向が異なります。内曲げを上にして取り付けてください。（図1）
2. フィルターチャンバーは室内ユニットに付属の取付ネジで確実に固定してください。（図1）
   （50形…8本、80形…12本、140形…16本）
3. フィルターは、フィルターチャンバー側面にあるフック（2個）を90度回転させメンテ蓋を開き、側面から挿入します。（図1）
4. フィルター挿入後、メンテ蓋を閉じて、フックを回転させて確実に固定します。
5. フィルターの詳細は、高性能フィルターまたは、ロングライフフィルター付属の取付説明書を参照してください。

□ 併用別売品の取付けかた

- 別売品に付属している取付説明書を参照してください。



（図1）

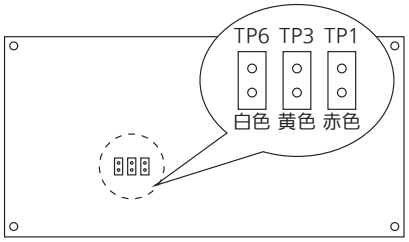
85464179856003
BE0999-30214

□ 静圧設定方法

基板から設定する場合 ～高性能フィルターを使用する場合～

※ロングライフフィルターの場合はこの作業は不要です。
※FE3, FES1, K1機種に高性能フィルターを取り付ける場合は室内ユニット付属の中継コネクターを使用してください。

① 漏電しゃ断器をOFF にして、基板への電源供給を停止してください。
② 電装ボックスの蓋を開き、室内コントロール基板を確認してください。(図2)
③ 電装ボックスの蓋の内側に貼り付けてある短絡コネクター（2P：黄色）を室内コントロール基板の短絡ピンTP3（2P：黄色）に接続してください。



(図2)　室内コントロール基板

ワイヤードリモコン・タイマーリモコンで設定する場合
～機外静圧に合わせてファンモータータップを設定する場合～

機外静圧設定は定格機外静圧時を想定していますので、それ以外の場合は、室内ユニット据付工事説明書の“機外静圧設定”を参照してください。
※FE3, FES1, K1機種に高性能フィルターを取り付ける場合は室内ユニット付属の中継コネクターを使用してください。

<手順> 停止中に行なってください。
別売品名称 を下表1でご確認ください。

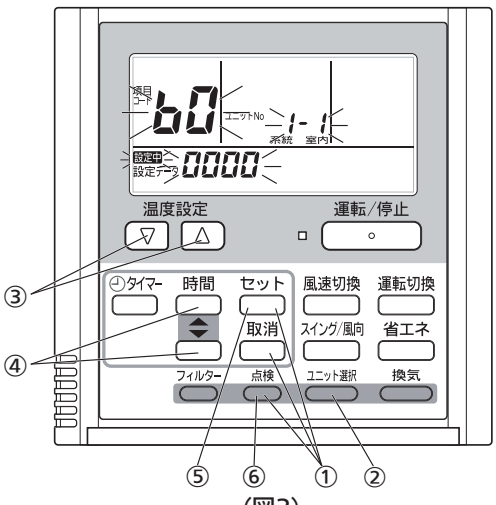
表1　静圧設定表

ビルトインオールダクト形に取り付ける場合	
リモコンの設定データ 項目コード b0	別売品名称
0011	高性能フィルター90%　AFT-HBD50T
0011	高性能フィルター90%　AFT-HBD80T
0015	高性能フィルター90%　AFT-HBD140T
0011	高性能フィルター65%　AFT-MBD50T
0011	高性能フィルター65%　AFT-MBD80T
0015	高性能フィルター65%　AFT-MBD140T
0008	ロングライフフィルター　AFT-LBD50T
0008	ロングライフフィルター　AFT-LBD80T
0011	ロングライフフィルター　AFT-LBD140T

① 点検 + 取消 + セット ボタンを同時に4秒以上押します。
② ユニット選択 ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③ 温度設定 ▼ ／ ▲ ボタンで項目コード「b0」を指定します。
④ 時間 ▼ ／ ▲ ボタンで設定データを変更します。
設定データの内容は表1のようになっています。
⑤ セット ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればOK)
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ
⑥ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。

※フィルターサイン点灯時間の設定はフィルターの仕様書およびテクニカルガイドを参照してください。

(ワイヤードリモコンの場合)

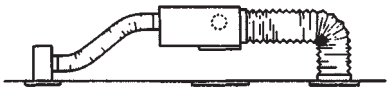


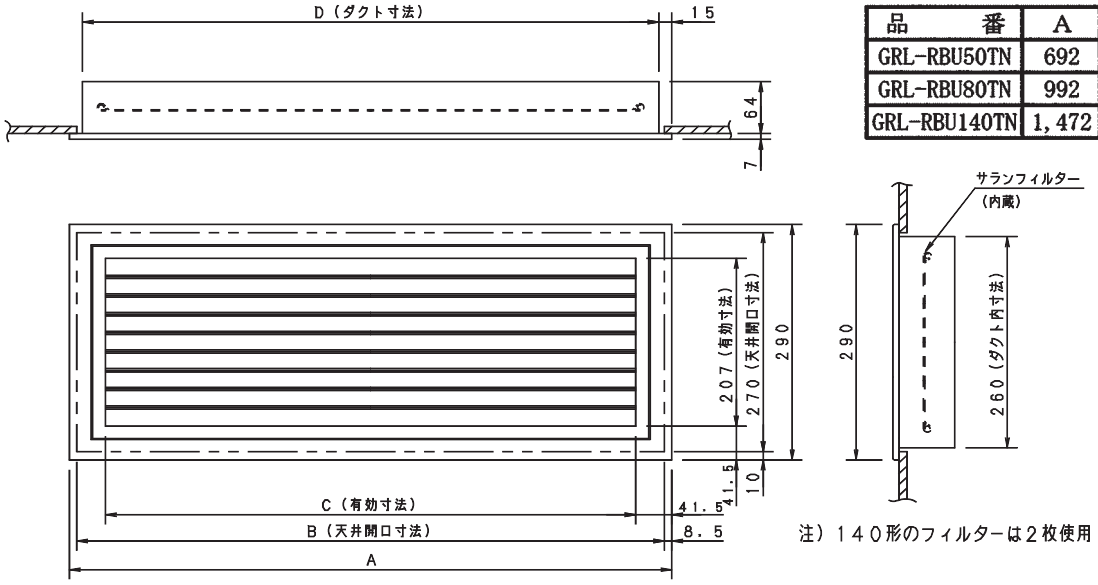
(図3)

85464179856003
BE0999-30214

●吸込グリル（GRL-RBU50TN・RBU80TN・RBU140TN）

■外形寸法図





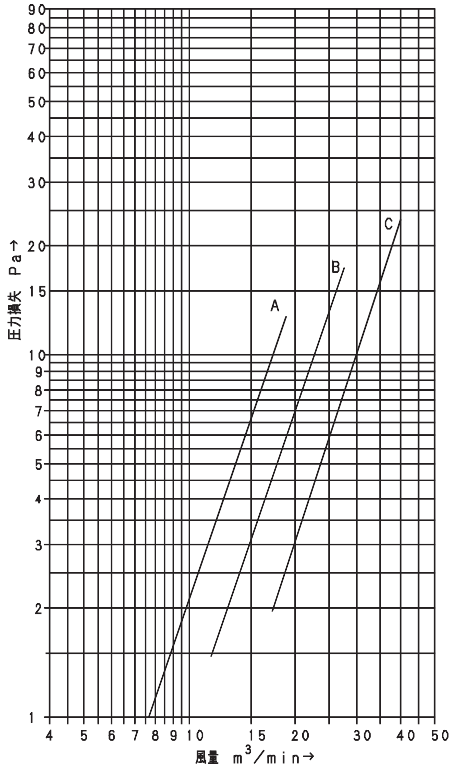
品番	A	B	C	D
GRL-RBU50TN	692	675	609	662
GRL-RBU80TN	992	975	909	962
GRL-RBU140TN	1,472	1,455	1,389	1,442

注）１４０形のフィルターは２枚使用

■圧力損失

吸込グリル（フィルター付き）

ｸﾞﾗﾌ記号	部品品番	適用機種
A	GRL-RBU50TN	50・56形
B	GRL-RBU80TN	71・90形
C	GRL-RBU140TN	112～160形



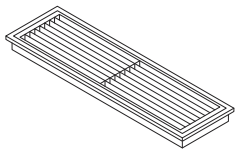
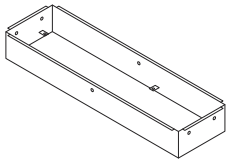
■材質・外装色

材質	鋼鈑製
外装色	ホワイト（ﾏﾝｾﾙ10Y9.3/0.4）

■取付説明書

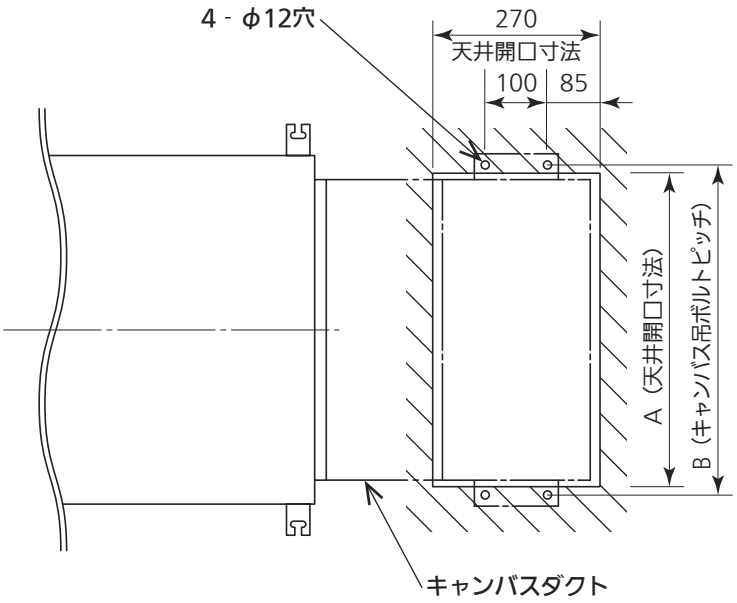
吸込グリル取付説明書

□ 構成部品

吸込グリル（エアフィルター付き）	取　付　枠	グリル取付ネジ	取付枠止めネジ
		（M5×L20） 50形：　4本 80形：　6本 140形：　6本	（M4×L10） 50形：　8本 80形：10本 140形：10本

□ 取付け前に

1. 天井開口穴寸法は図 1 に従い、確実に行ってください。

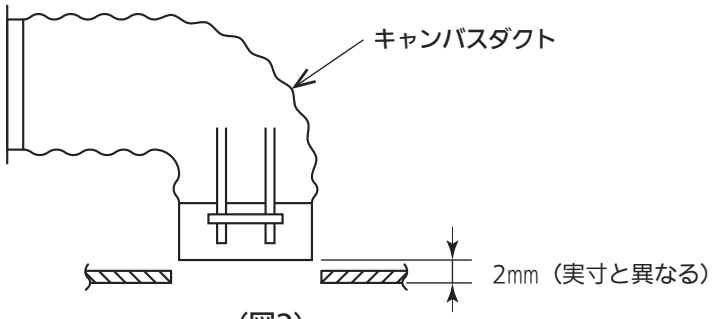


(mm)

	A	B
50形	675	715
80形	975	1015
140形	1455	1495

（図1）

2. キャンバスダクト（別売）または板金角ダクト（現地手配）下面と天井面の寸法は、2mmになるように吊ボルトで高さ調整してください。（図2）



（図2）

□ 取付けかた

1. 付属の取付枠をキャンバスダクト（別売）または板金角ダクト（現地手配）に付属の取付ネジで固定します。
（図3）板金角ダクトにはネジ下穴がありませんので、現地であけてください。
（取付枠止めネジ：50形…8本、80形…10本、140形…10本）

2. 吸込グリルを取付枠に付属の取付ネジで固定します。（図3）
この時グリルは開いた状態で取り付けます。
（グリル取付ネジ：50形…4本、80形…6本、140形…6本）

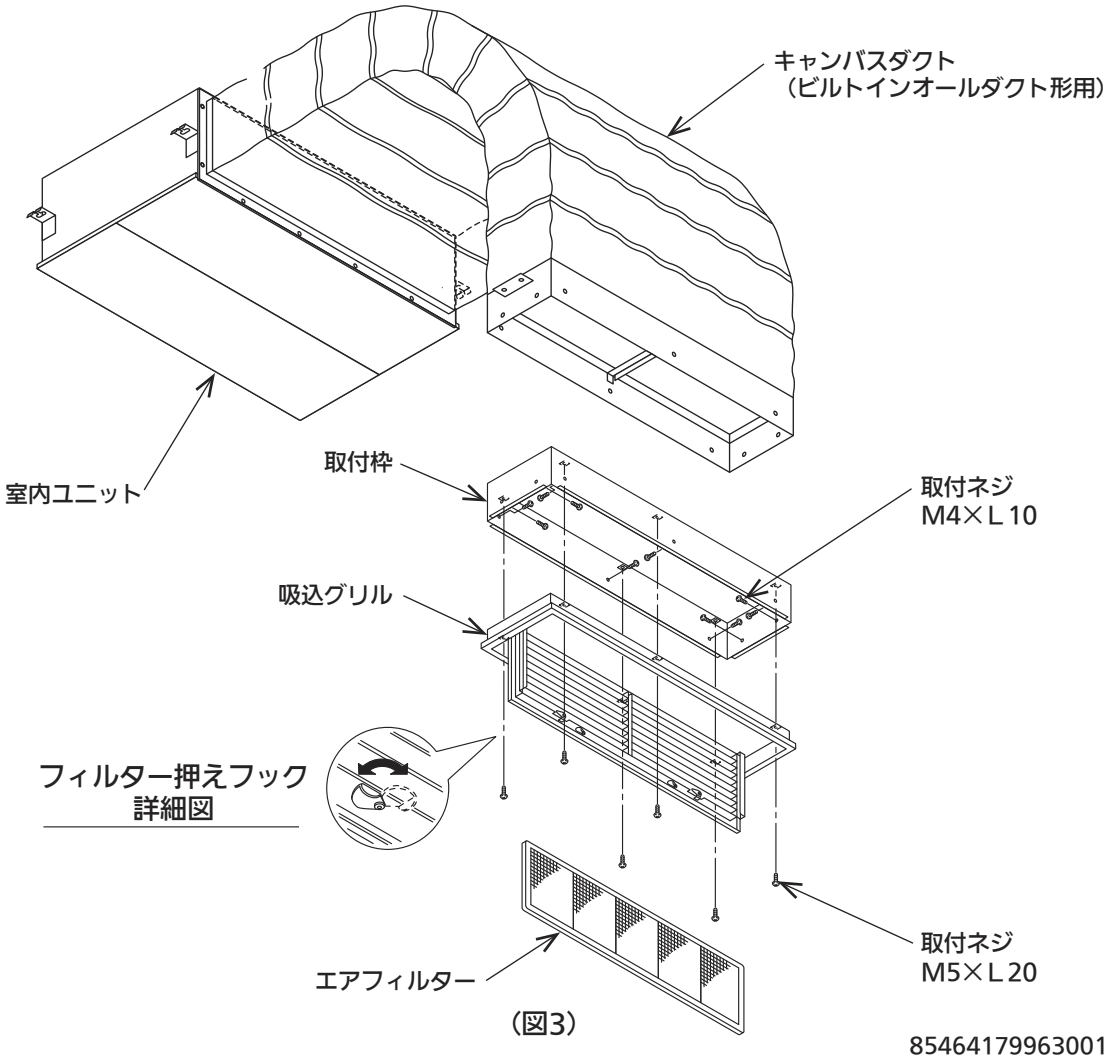
3. 吸込グリルと天井面が密着するように、取付ネジの締め具合で調整してください。調整できない場合は、吊ボルト高さを再調整してください。

□ エアフィルターのはずしかた

- エアフィルターはグリルを開いて、押えフックを90度回転すると下に引き出せます。

□ 併用別売品の取付けかた

- 別売品に付属している取付説明書を参照してください。

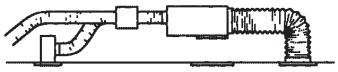


（図3）

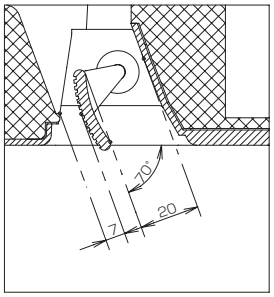
85464179963001

●吹出口グリル（GRL-S15B・GRL-S20B）

■外形寸法図

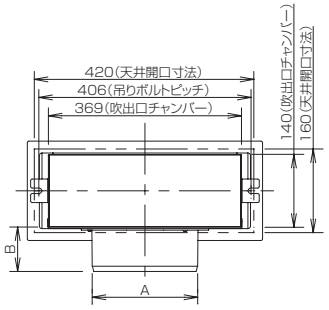


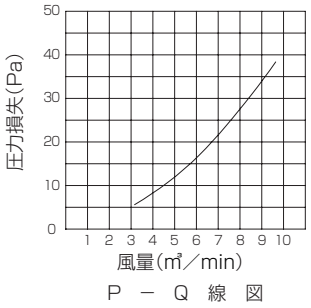
■外形寸法図



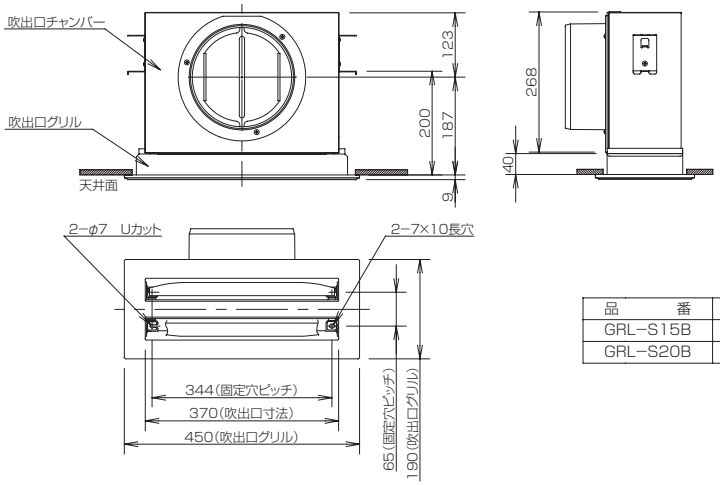
FLAP接線角度70°のときの吹出し面積S

$S_{(70°)}$ =0.020(m²)





P － Q 線 図



(mm)

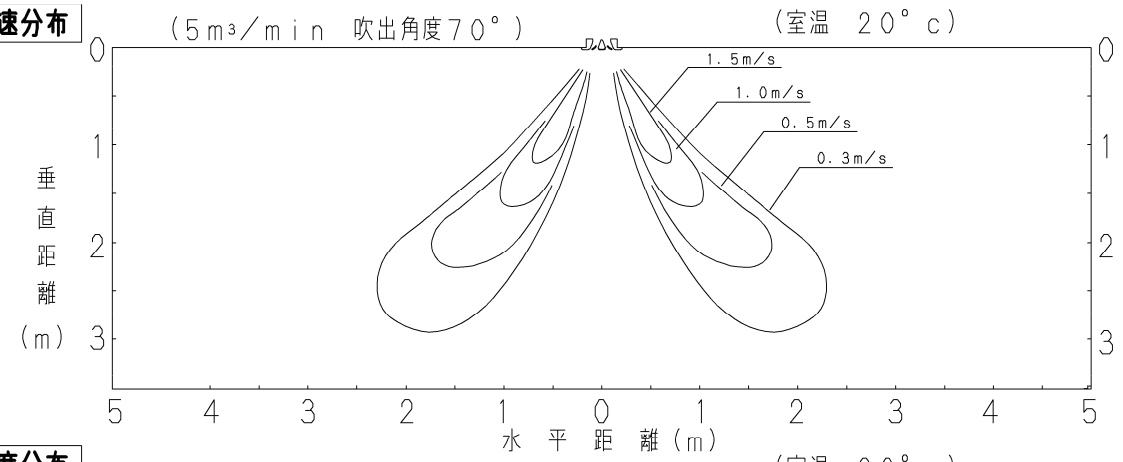
品　番	A	B
GRL−S15B	150	100
GRL−S20B	200	85

■材質・外装色（吹出口グリル）

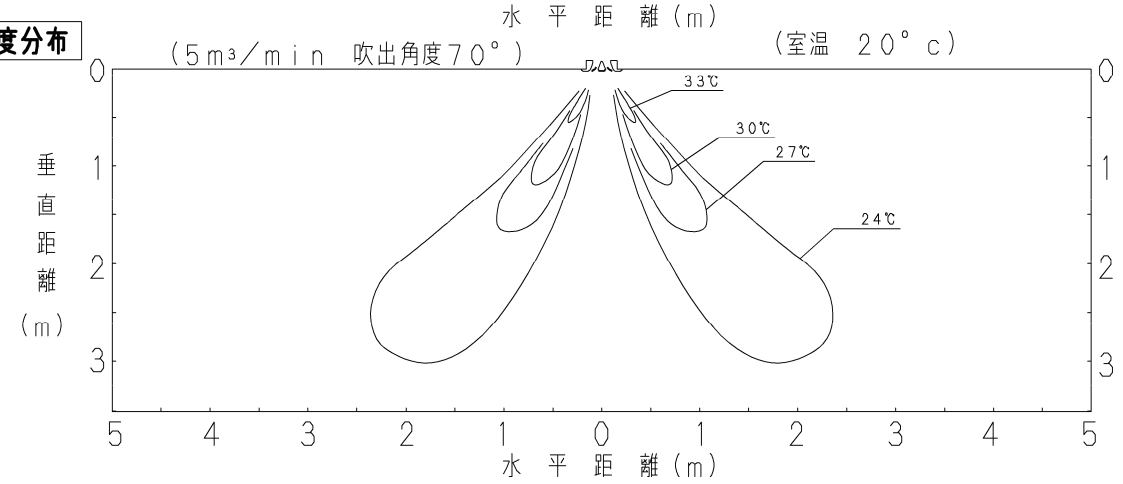
材　質	ABS樹脂、植毛レス	
外装色（マンセル記号）	GRL-S15B	ホワイト(10Y9.3/0.4)
	GRL-S20B	

■風速分布・温度分布（5m³/min）

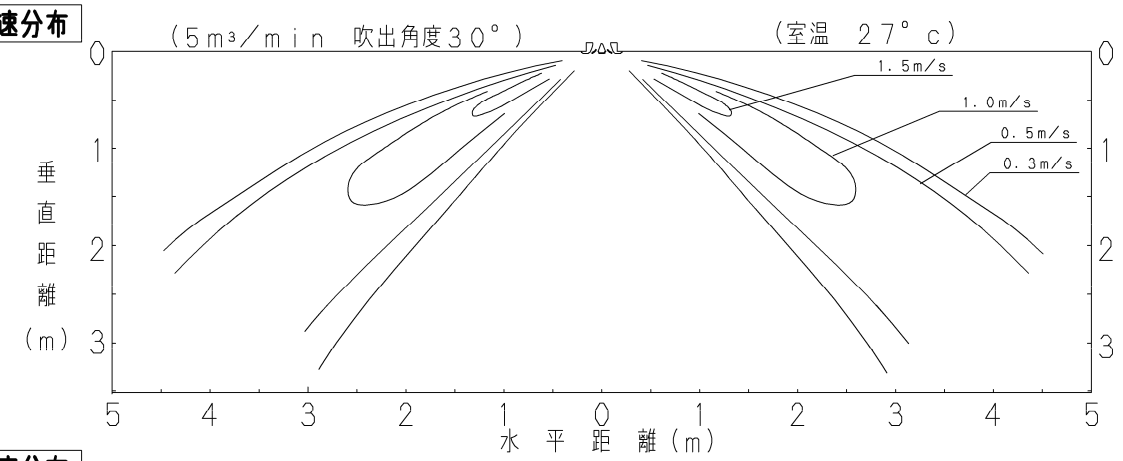
暖房　風速分布



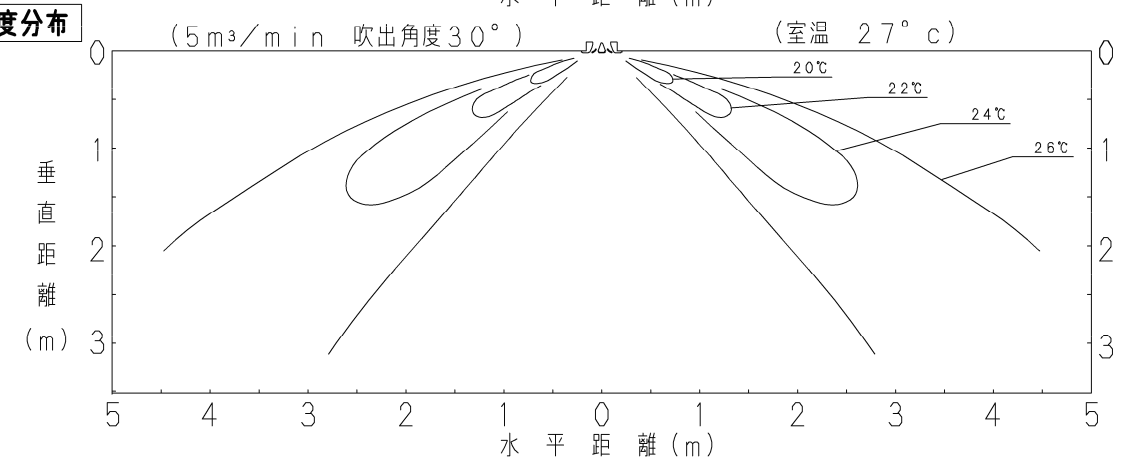
暖房　温度分布



冷房　風速分布

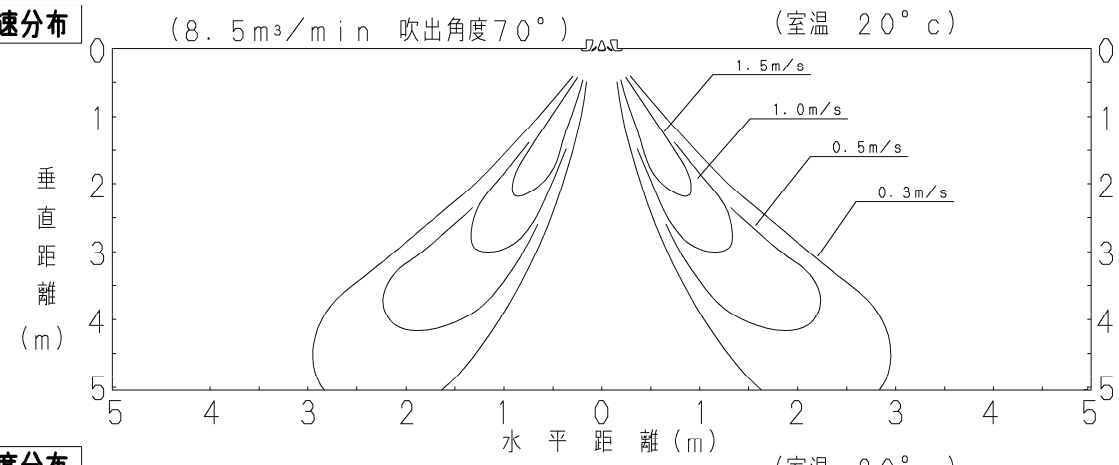


冷房　温度分布

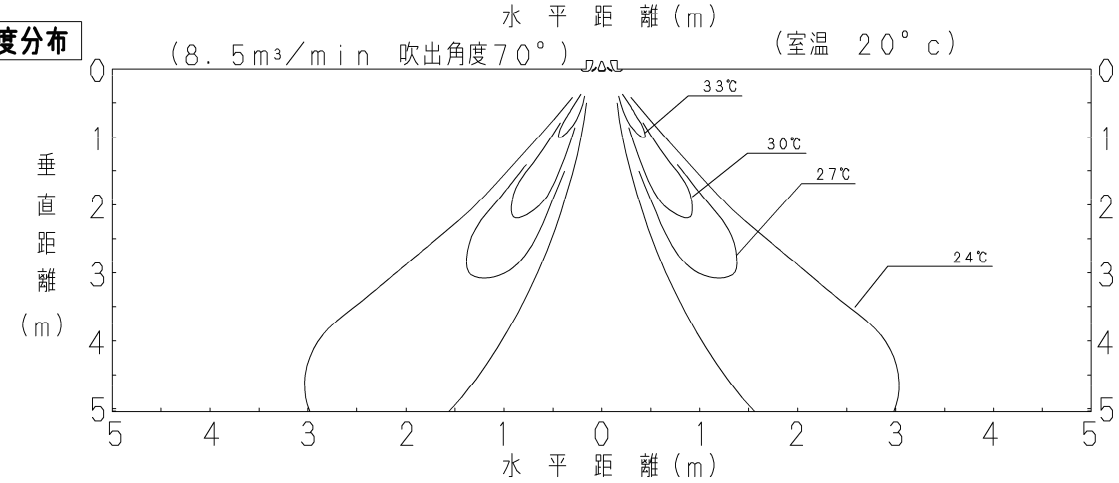


■風速分布・温度分布 (8.5m³/min)

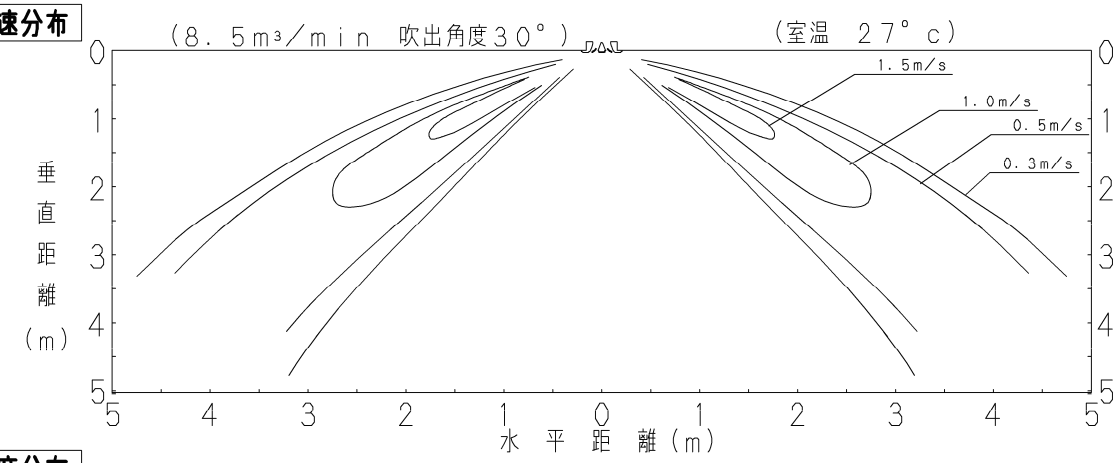
暖房　風速分布



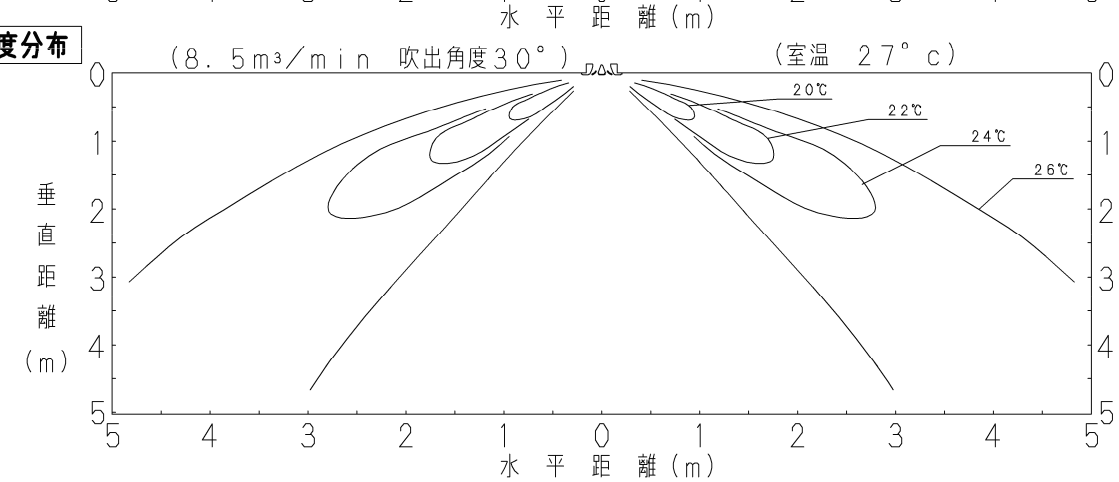
暖房　温度分布



冷房　風速分布



冷房　温度分布



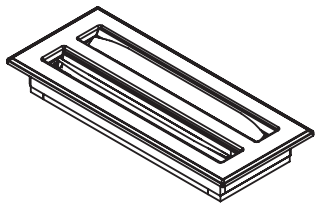
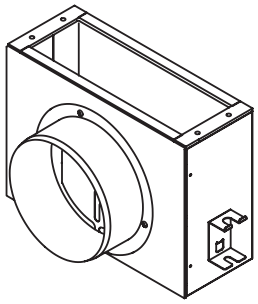
■据付説明

■吹出口グリル据付説明書(1/2)

● 据え付け前に本説明書をよくお読みください。

⚠注 意 ・据え付けは、製品重量に十分耐える所に行ってください。
強度が不足している場合、落下によりけがの原因になります。
・油・オイルミスト雰囲気中に設置することは避けてください。
グリルが破損して落下する可能性があります。
・落下させたり、無理な力を加えた場合、破損する可能性があります。

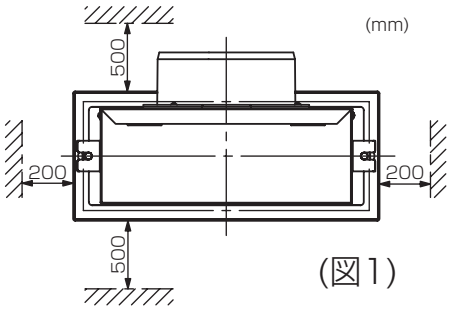
1. 梱包内容

グリル	チャンバー	グリル取付ビス	取付説明書
		M4×35 4本	本紙 1枚

機 種 名	ダクト接続径
GRL−S15B	Φ150
GRL−S20B	Φ200

2. 据付場所

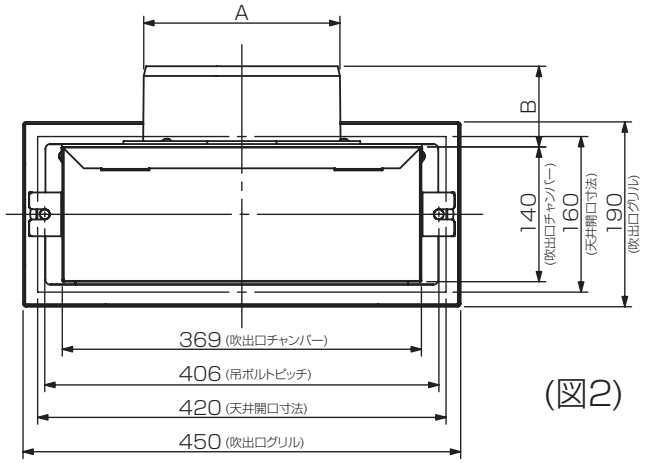
・吹出口グリルは、温度分布が均一になる様な場所に
据え付けてください。
また、吹出口グリルは壁面に対して、右図寸法以上近付けない
ようにしてください。冷房時、壁面に露が付くことがあります。
・建物の出入口付近には設置しないでください。
吹出口に露が付くことがあります。



(図1)

3. 据え付け前の準備

・天井開口穴と吹出口グリル、吹出口チャンバーの位置関係は、下図に従ってください。



(図2)

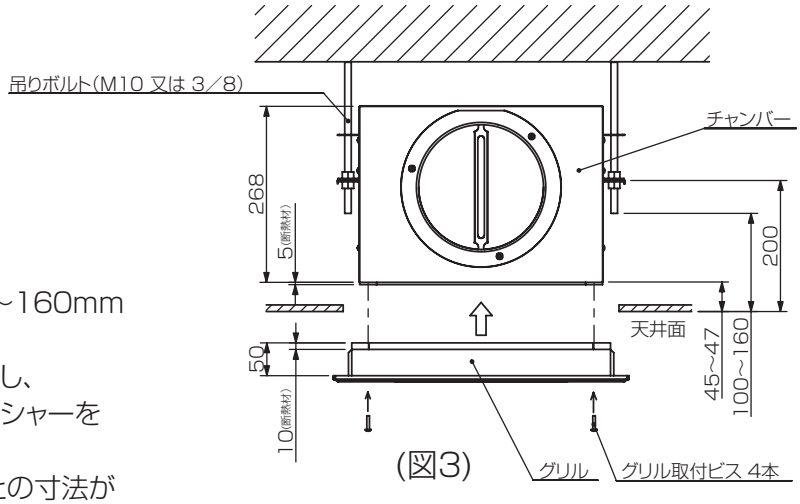
(mm)

吹出口グリル	A	B
GRL-S15B	150	100
GRL-S20B	200	85

■吹出口グリル据付説明書(2/2)

4. 据え付けかた

(1) チャンバーの据え付けかた (図3)
- 吊りボルトの長さは、天井下面より100～160mmの範囲にしてください。
- チャンバーは、吊り金具に吊りボルトを通し、必ず吊り金具の上下両面からナット、ワッシャーを用いて確実に固定してください。
- チャンバー下部(板金部より)と天井下面との寸法が45～47mmの位置になるように調整してください。吊りボルトが長いと、グリルに当り、グリルが破損、結露する可能性があります。

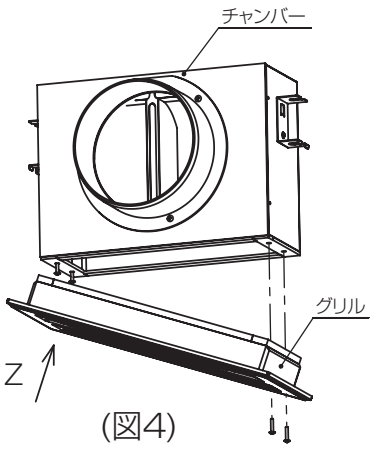


(図3)

(2) グリルの取り付けかた (図4)
- 付属のビス2本をチャンバー短手片側に5mm程度仮止めしてください。
- グリルのビス穴(Uカット側)を仮止めしたビスに通した後、逆側のビス2本をグリルを押し上げて止めてください。

〈ご注意〉

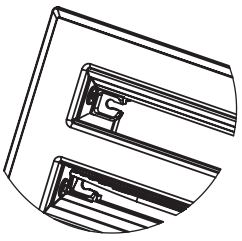
吹出口チャンバーに吹出口グリルを取り付ける時には、絶対に隙間ができないように注意してください。
隙間ができると露が付く原因となります。

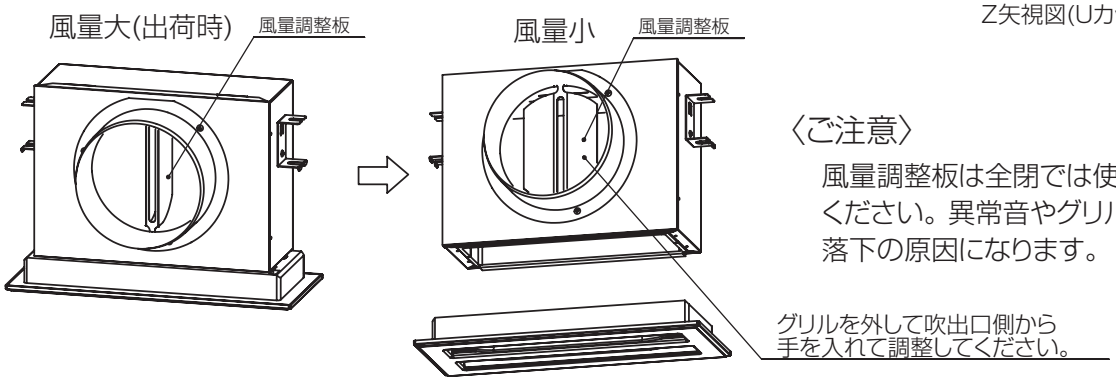


(図4)

5. 風量調節のしかた

(1) チャンバー内の風量調整板の角度を変えて風量を調整してください。
出荷時は風量最大になるようにしてあります。


Z矢視図(Uカット側)



〈ご注意〉

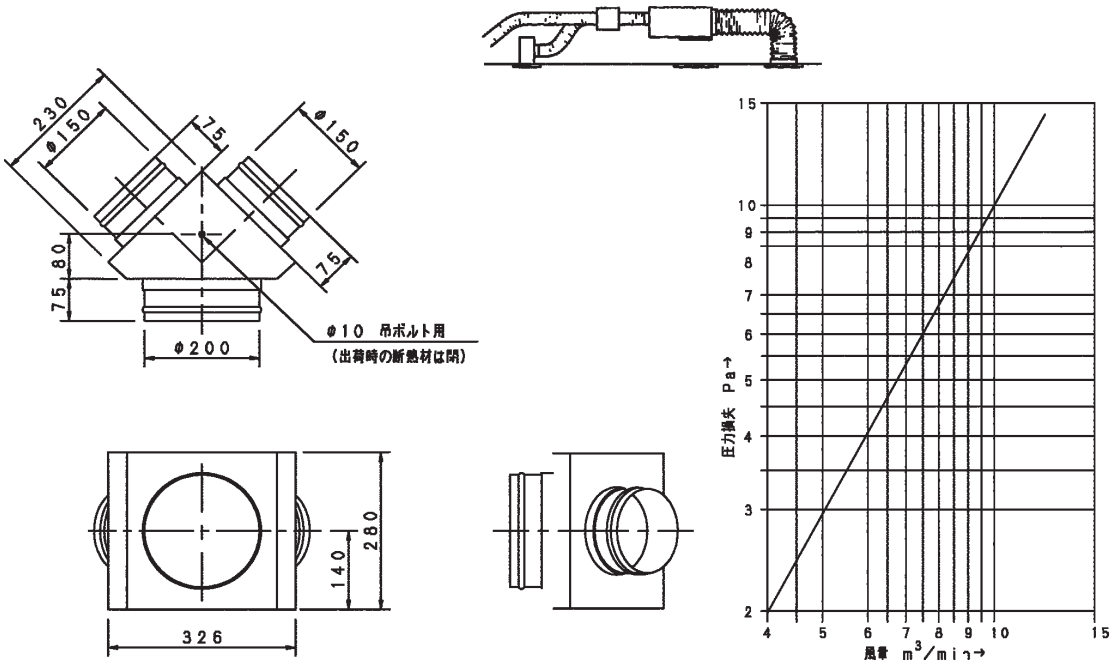
風量調整板は全閉では使用しないでください。異常音やグリルからの水滴落下の原因になります。

(2) 風向調整のしかた
手動にて吹出グリルのフラップを動かし、風向を調節してください。

85465759145000

●分岐チャンバー（CMB-B20B）

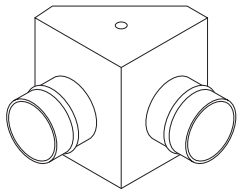
■外形寸法図



■取付説明書

分岐チャンバー取付説明書

□ 構成部品

分岐チャンバー	ワッシャー（両面断熱材付き）
	2個

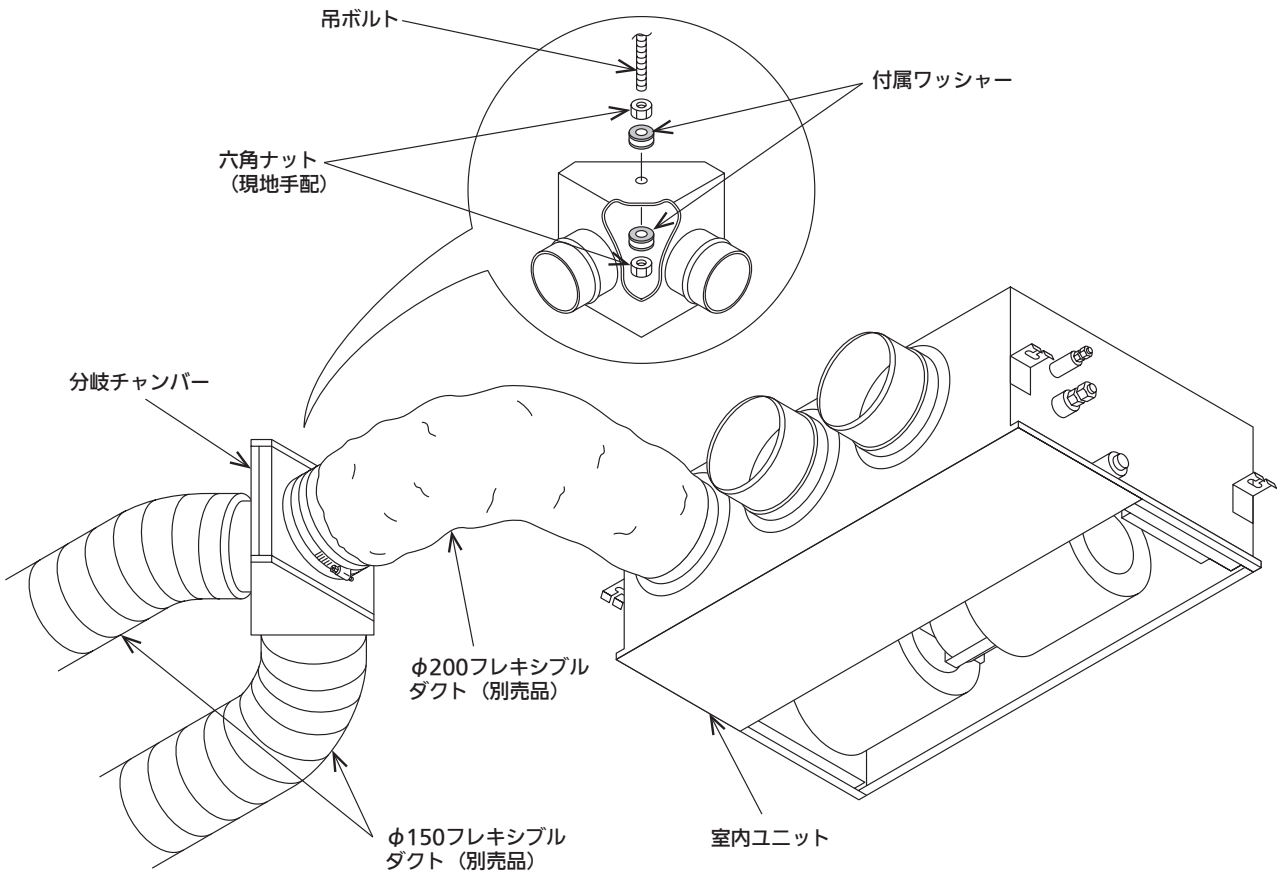
□ 取付け前に

1. 分岐チャンバーの吊ボルト穴はφ10です。
出荷時の断熱材は穴無しになっています。吊ボルトによる吊込みを行う場合は、断熱材のヘコミ（φ10程度）を押して穴あけしてください。
2. 吊ボルトに付属のワッシャーを上下に差し込み、六角ナットで固定してください。（図1）
ワッシャーの取り付けは詳細図を参照してください。

□ 併用別売品の取付けかた

- 別売品に付属している取付説明書を参照してください。

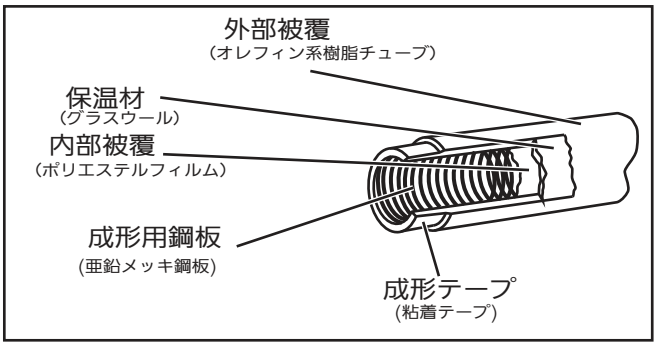
組立詳細図



（図1）

85464179885001

●フレキシブルダクト　CZ-F1510、1520、1550
CZ-F2010、2020、2050

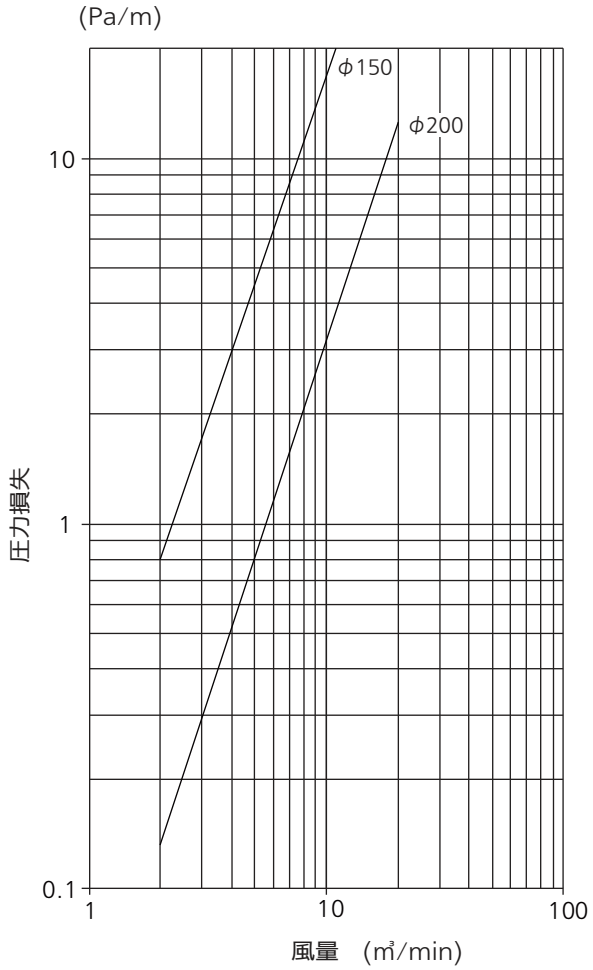


フレキシブルダクトは自由に曲げる事が出来、施工が困難な場所にもムリなく使用出来ます。
ダクト周囲温度が30℃、80%を超える場合は市販の高断熱仕様(断熱材厚さ：50mm程度)のダクトをご使用ください。

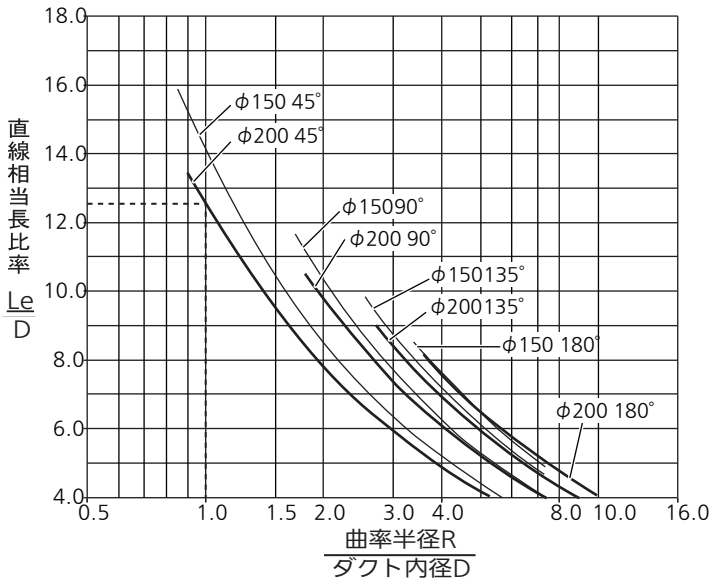
■仕様

品番	CZ-F2010	CZ-F2020	CZ-F2050	CZ-F1510	CZ-F1520	CZ-F1550
口径 mm	φ200			φ150		
長さ m	1.0	2.0	5.0	1.0	2.0	5.0
使用温度	-10℃～80℃					
最大風速	15m / sec					
使用静圧	-150Pa～500Pa					
90°最小曲率半径	360mm			255mm		
45°最小曲率半径	180mm			128mm		
付属品	バンド×2,断熱材×1,粘着テープ×1			バンド×2,断熱材×1,粘着テープ×1		

■圧力損失(直線部)　図-1

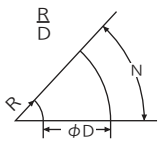


■曲り部の直線相当長比率　図-2



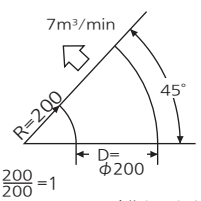
Leの目安

R/D	Le(m) φ200	Le(m) φ150	R/D	Le(m) φ200	Le(m) φ150
1.0	2.5	2.1	3.0	1.2	1.0
2.0	1.6	1.3	4.0	1.0	0.8



注）最小曲率半径
φ200 $\frac{N}{90}$ ×360(mm)
φ150 $\frac{N}{90}$ ×250(mm)

曲線部抵抗の求め方



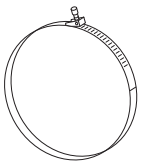
1. $\frac{R}{D}=\frac{200}{200}=1$
図-2より12.5が求まります。
2. Le=12.5D=12.5×0.2=2.5m
3. 図-1より7m³/minの圧力損失は1.6 Pa/mによって曲線部の抵抗は1.6×2.5 = 4.0 Pa

■取付説明書

フレキシブルダクト（丸）取付説明書

CZ-F1510, CZ-F1520, CZ-F1550
CZ-F2010, CZ-F2020, CZ-F2050

1. 付属品

① フレキシブルダクト　1 本	② バンド　2 個	③ 断熱材　1 枚	④ 粘着テープ　1 個
φ150: CZ-F1510 1m / CZ-F1520 2m / CZ-F1550 5m φ200: CZ-F2010 1m / CZ-F2020 2m / CZ-F2050 5m		φ150 用: t 20×170×650 φ200 用: t 20×170×800	長さ 10m / 幅 50mm

2. 取り付け要領

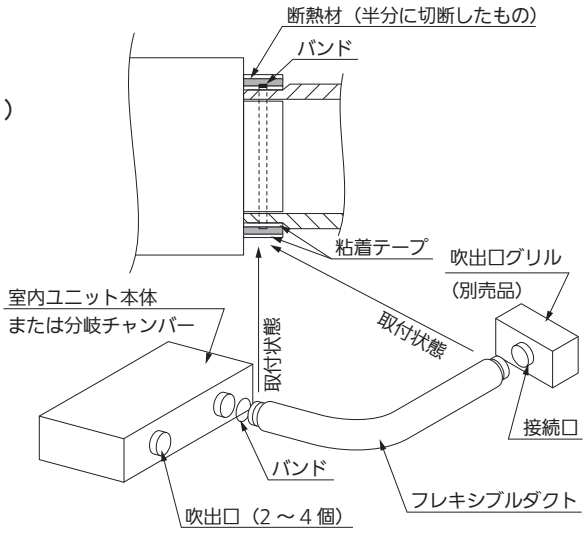
1）フレキシブルダクトを直列に 1 本だけ接続する場合（図 1）

（1）図 1 のようにフレキシブルダクト①の両端を室内ユニット本体または、分岐チャンバーおよび吹出口グリルの接続口の外側にかぶせるように接続し、フレキシブルダクトがはずれないようにそれぞれの端部をバンド②でしっかりと締め付けてください。

（2）粘着テープ④で十分にシールしてください。

（3）断熱材③を縦半分に切断し、フレキシブルダクトの両端を締め付けたバンドの上から巻き付けて断熱してください。

（4）最後に粘着テープ④を断熱材③がはがれないように、十分に巻き付けてください。この場合、断熱材③を圧縮しますと断熱効果が低下しますので、断熱材③を圧縮しないように巻き付けてください。



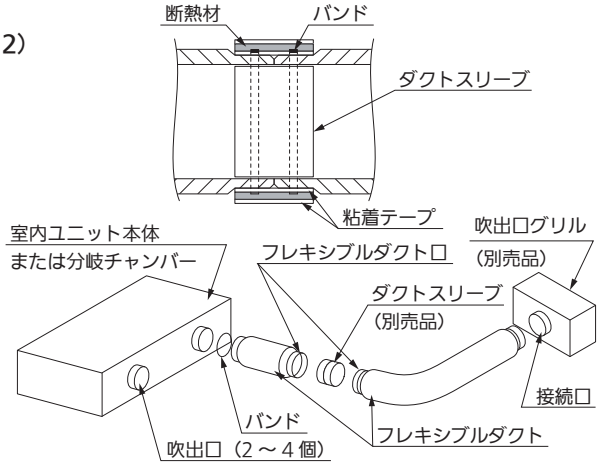
（図 1）フレキシブルダクトを直列に 1 本だけ接続する場合

2）フレキシブルダクトを直列に 2 本以上接続する場合（図 2）

フレキシブルダクトが 2 組以上と別売品のダクトスリーブ（CZ-SP15 または CZ-SP20）が 1 組以上必要

（1）室内ユニット本体または、分岐チャンバーおよび吹出口グリルへのフレキシブルダクトの接続は上記 1）と同様に実施してください。

（2）フレキシブルダクト同士の接続は図 2 のように別売品のダクトスリーブ（CZ-SP15 または CZ-SP20）をフレキシブルダクト口でかぶせるように接続し、1）の場合と同様に処理してください。この場合、断熱材③は切断せずにそのまま巻き付けて断熱してください。



（図 2）フレキシブルダクトを直列に 2 本接続する場合

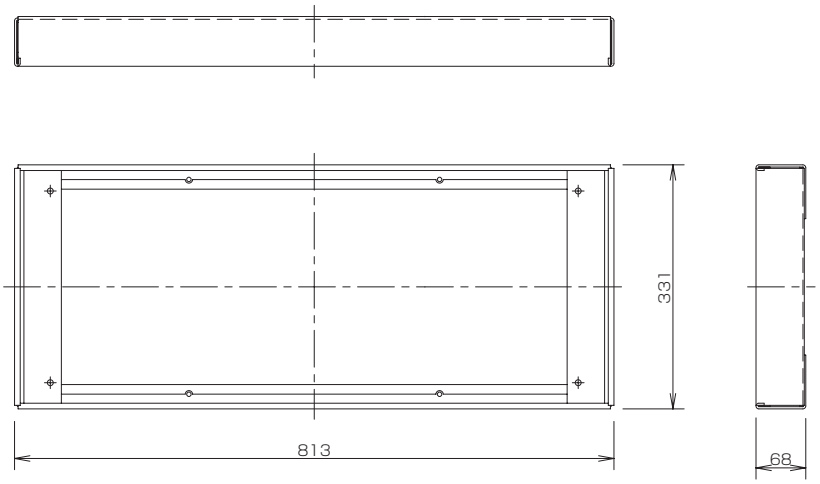
ご注意	1. フレキシブルダクトの曲げ半径は右表に示す値以上にしてください。 2. 外皮を傷つけないよう注意してください。 3. 結露防止のため、接続部は隙間のないようシールしてください。

フレキシブルダクト径	R
φ150 用	25cm 以上
φ200 用	36cm 以上

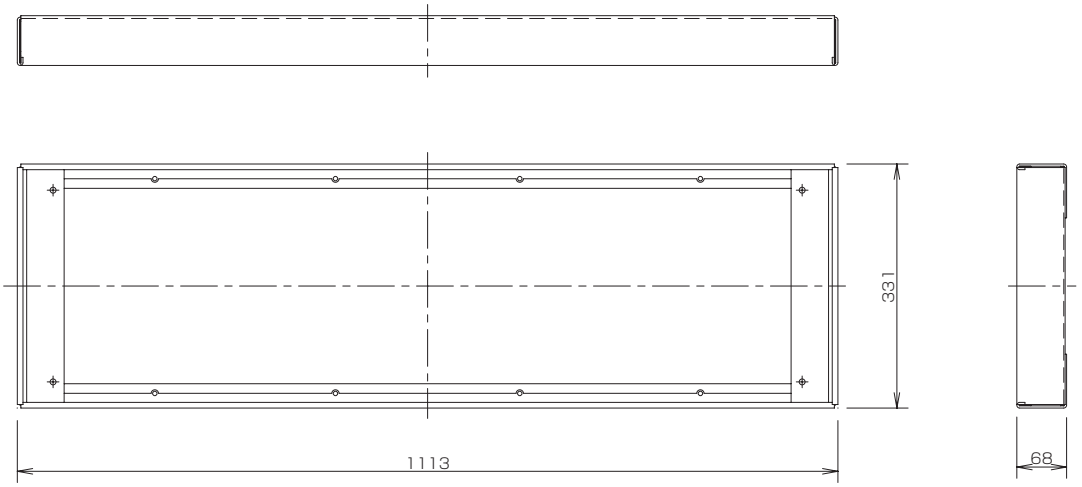
85464369891000

●スライドチャンバー

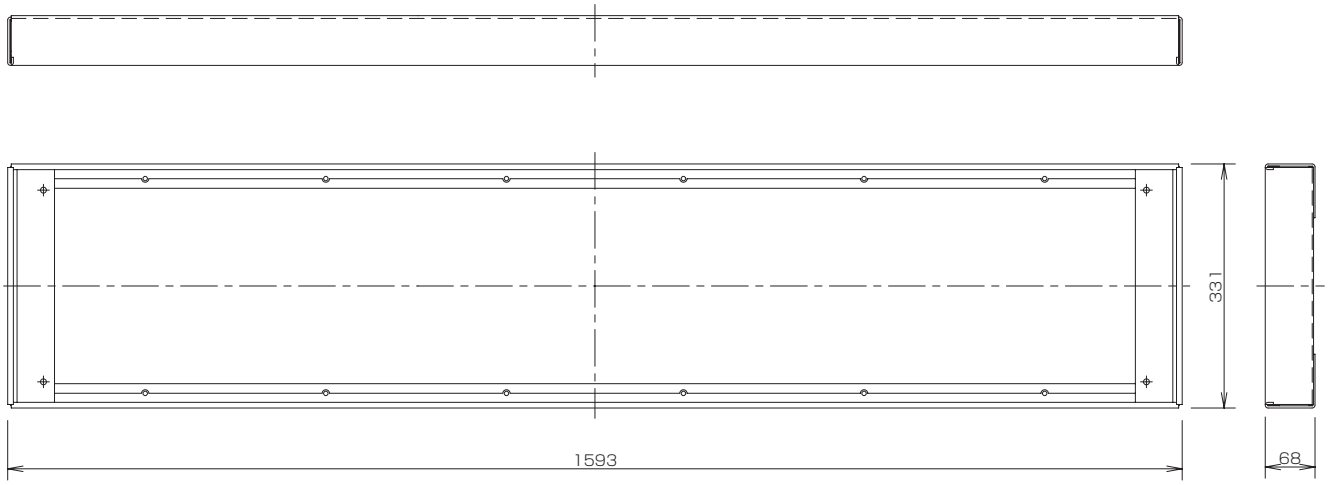
■外形寸法図（CMB-SLBD56B）



■外形寸法図（CMB-SLBD90B）



■外形寸法図（CMB-SLBD160B）

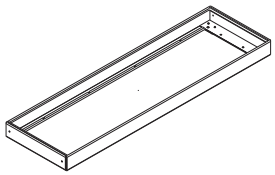


■取付説明書

スライドチャンバー取付説明書

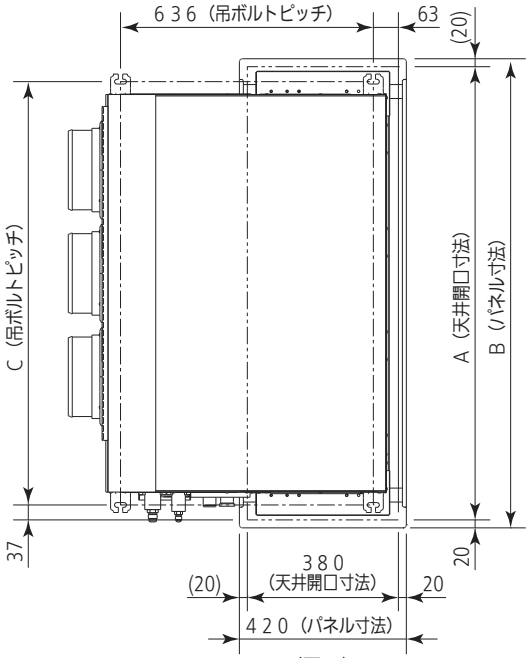
天井ビルトインカセット形 用

□ 構成部品

スライドチャンバー	取付ネジ
	(M5×L100) 4本
	(M4×L12) 56形：　8本 90形：　12本 160形：　16本

(mm)

	A	B	C
56形	840	880	867
90形	1140	1180	1067
160形	1620	1660	1467

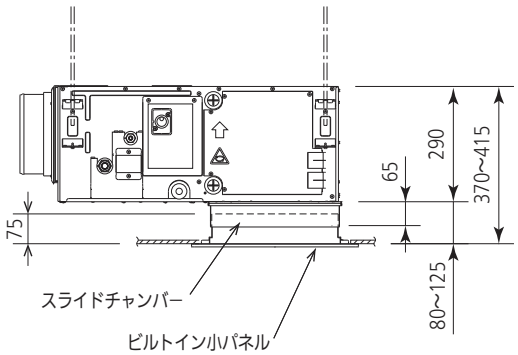


（図1）

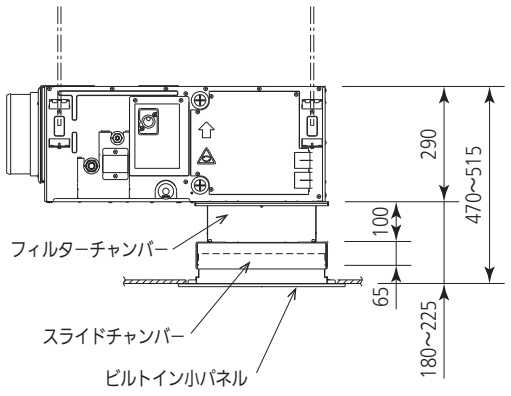
□ 取付け前に

1. 室内ユニットに取付板（室内ユニット付属品）を取り付けてください。
   取付方法は、室内ユニットに付属の据付工事説明書を参照してください。
2. 室内ユニットまたは別売品と天井面との寸法が、図2または図3に示す値となるように室内ユニットの高さを吊ボルトで調整してください。
3. 天井開口寸法は、図1を参照してください。

ビルトイン小パネルとの併用
（図2）



フィルターチャンバー、ビルトイン小パネルとの併用
（図3）



□ スライドチャンバーの取付けかた

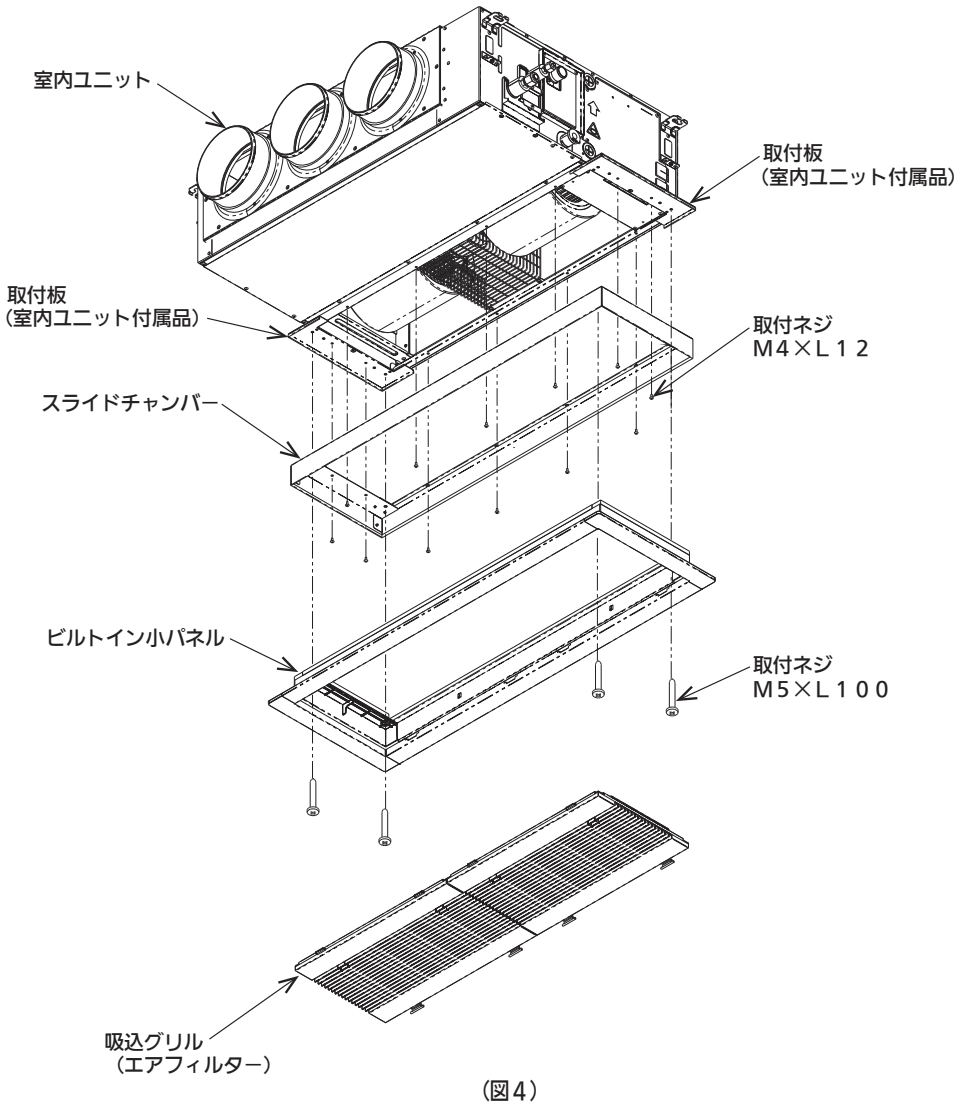
1. スライドチャンバーを付属の取付ネジ（M4×L12）で、室内ユニットまたはフィルターチャンバー（別売）に固定します。

2. ビルトイン小パネル（別売）を付属の取付ネジ（M5×L100 4本）で室内ユニットまたはフィルターチャンバー（別売）に取り付けます。このとき、ビルトイン小パネルと天井面が密着するまで取付ネジを締め込んでください。（図2, 図3）

   注意：ビルトイン小パネル（別売）の取り付けは、スライドチャンバー付属の取付ネジ（M5×L100）を必ず使用してください。付属の取付ネジを使用しないと落下のおそれがあります。

□ 併用別売品の取付けかた

- 別売品に付属している取付説明書を参照してください。

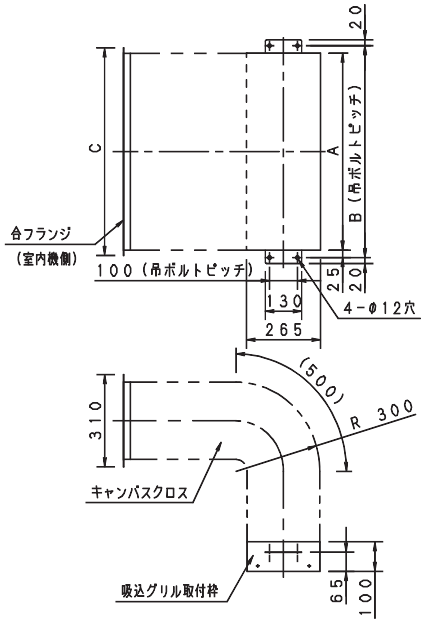


（図4）

85464369637001

●キャンバスダクト （DKT-CBD50・CBD80・CBD140T（天井ビルトインカセット形）
（DKT-CBU50・CBU80・CBU140T（ビルトインオールダクト形）

■ビルトインオールダクト用外形寸法図

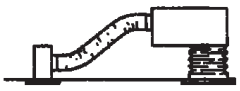


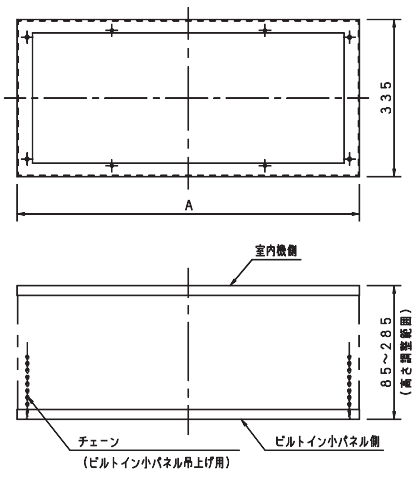
(mm)

品　番	A	B	C
DKT-CBU50T	665	715	700
DKT-CBU80T	965	1015	1000
DKT-CBU140T	1445	1495	1480

材質：キャンバスクロス(防災仕様)
補強ワイヤー入り　全長：最大1.6m

■天井ビルトインカセット用外形寸法図





(mm)

品　番	A
DKT-CBD50T	760
DKT-CBD80T	1060
DKT-CBD140T	1540

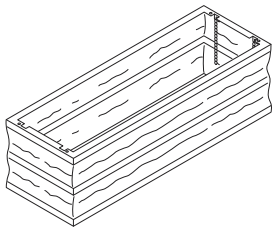
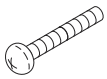
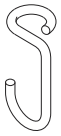
材質：キャンバスクロス(防災仕様)
補強ワイヤー入り　全長：最大295mm

■天井ビルトインカセット形　取付説明書

キャンバスダクト取付説明書

天井ビルトインカセット形用

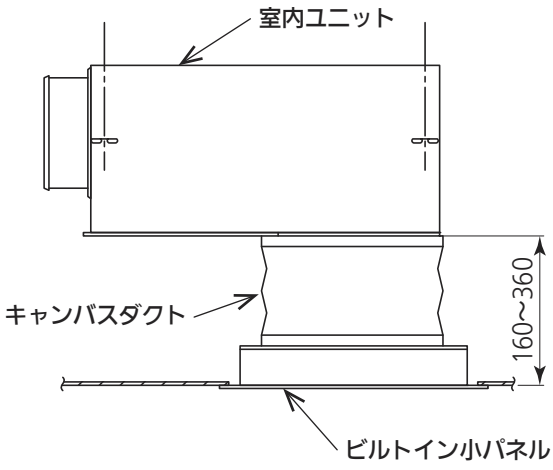
□ 構成部品

キャンバスダクト	取付ネジ	フック取付ネジ	フック （チェーン吊上げ用）
 （高さ：最大300mm）	（M4×L12） 50形：　4本 80形：　8本 140形：12本	（M5×L35）  50形：　4本 80形：　4本 140形：　4本	 50形：　4個 80形：　4個 140形：　4個

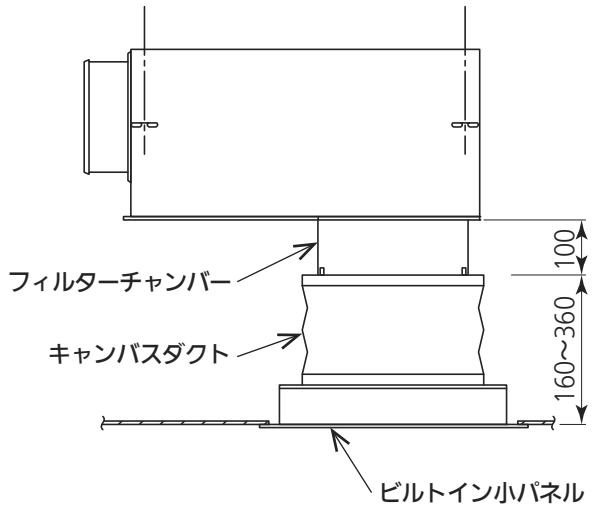
□ 取付け前に

1. 室内ユニットに取付板（室内ユニット付属品）を取り付けてください。（FE3,FES1,K1機種を除く）取付方法は、室内ユニットに付属の据付工事説明書を参照してください。
2. 室内ユニットまたはフィルターチャンバー（別売品）と天井面との寸法が、図1または図2に示す値となるように室内ユニットの高さを吊ボルトで調整してください。
3. ビルトイン小パネルの天井開口寸法は、室内ユニットに付属の据付工事説明書またはビルトイン小パネルに付属の取付説明書を参照してください。

①ビルトイン小パネルとの併用（**図1**）



②ビルトイン小パネル、
フィルターチャンバーとの併用（**図2**）



□ 取付けかた

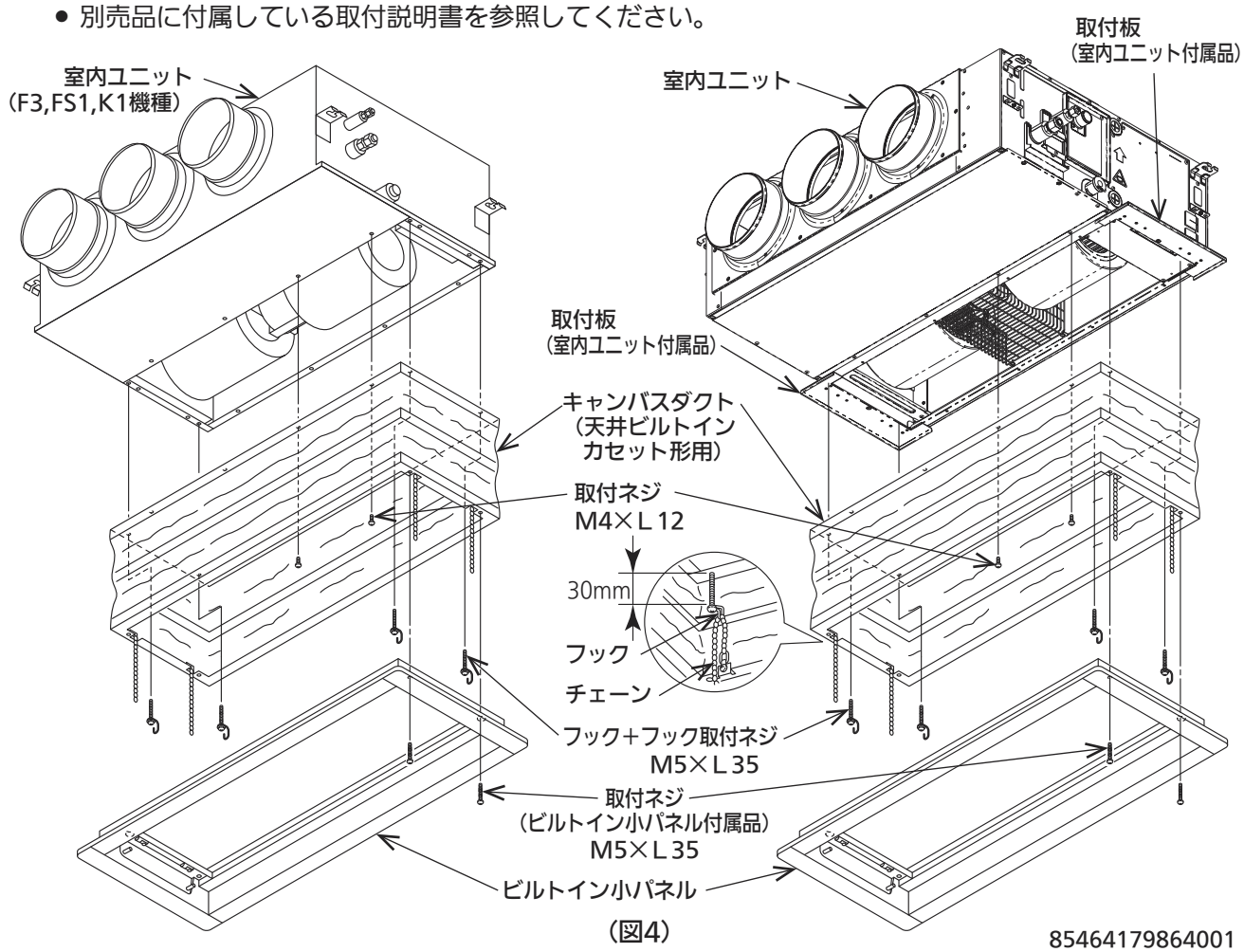
1. キャンバスダクトを付属の取付ネジ（M4×L12）で、室内ユニットまたはフィルターチャンバー（別売）に確実に固定します。(図4)（50形…4本、80形…8本、140形…12本）
2. 付属のフックに付属のフック取付ネジ（M5×L35）を差込み、室内ユニットまたはフィルターチャンバー（別売）に5mm程ねじ込みます。(図3)
3. ビルトイン小パネル（別売）をキャンバスダクトに取り付けます。(図4) 取付方法はビルトイン小パネルに付属の取付説明書を参照してください。
4. チェーンを吊上げ仮止めしたフックに引っ掛けます。チェーンはパネルと天井面がほぼ密着するまで吊上げてから、仮止めフックに引っ掛けてください。(図3)
5. 付属のフック取付ネジ（M5×L35）をパネルと天井面が密着するまで締め込みます。

(図3)

- キャンバスダクトは高温高湿で使用すると結露のおそれがあります。
  ダクトの外周に保温材を巻いてください。

□ 併用別売品の取付けかた

- 別売品に付属している取付説明書を参照してください。



(図4)

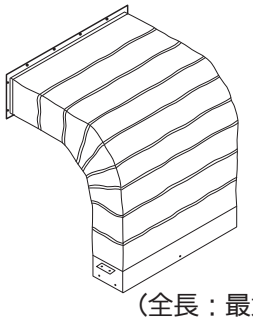
85464179864001

■ビルトインオールダクト形　取付説明書

キャンバスダクト取付説明書

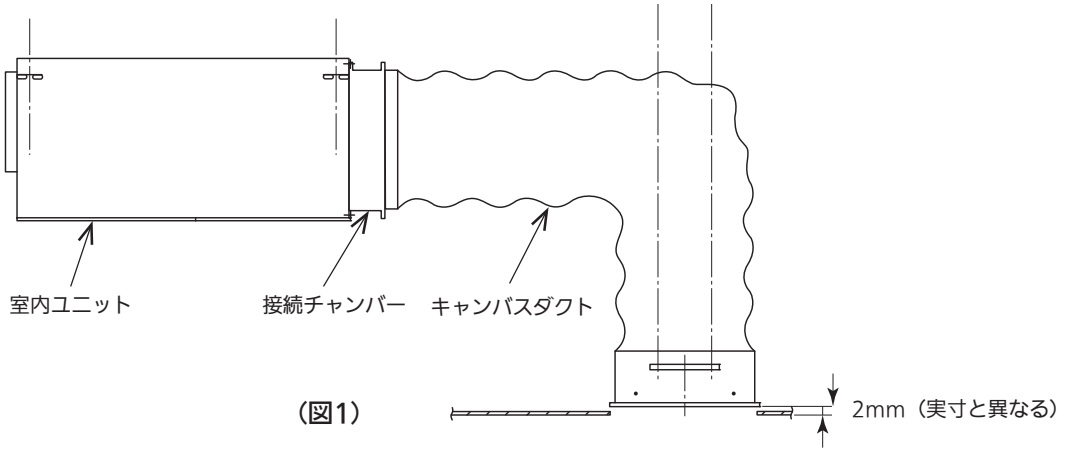
ビルトインオールダクト形用

□ 構成部品

キャンバスダクト	取付ネジ
 （全長：最大1.6m）	（M4×L 12） 50形：　8本 80形：12本 140形：16本

□ 取付け前に

1. 室内ユニットに接続チャンバー（別売）を取り付けます。（FE3,FES1,K1機種を除く）
2. キャンバスダクト下面と天井面との寸法は、2mmになるように吊ボルトで高さ調整してください。（図1）
3. 吸込グリルの天井開口寸法は、室内ユニットまたは吸込グリル（別売）の説明書を参照してください。



（図1）

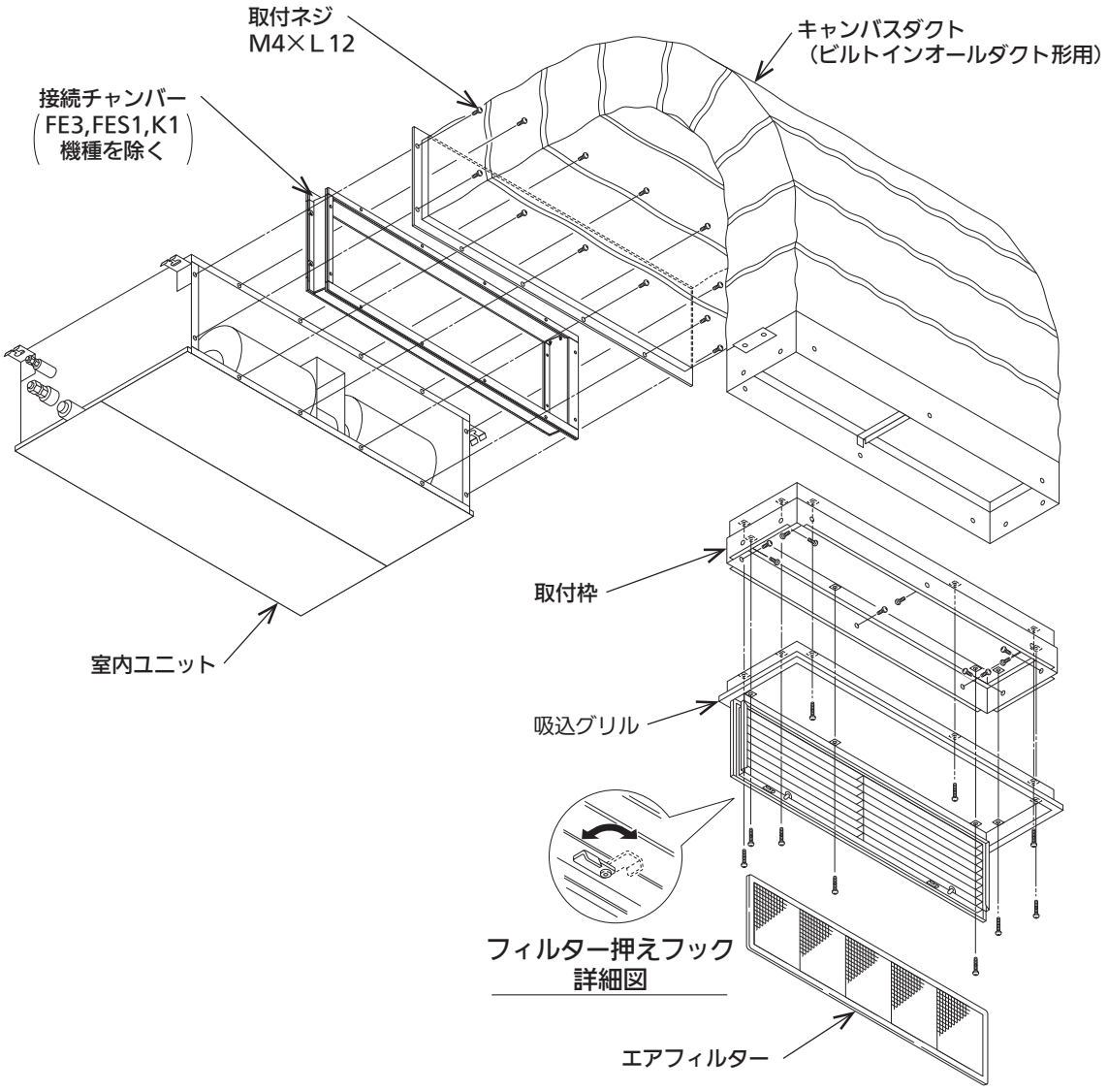
□ 取付けかた（図2）

1. 本品を付属の取付ネジで取り付けます。（50形…8本,80形…12本,140形…16本）
2. 吸込グリル（別売）を取り付けます。
   取り付けについては、吸込グリル付属の取付説明書を参照してください。

- キャンバスダクトは高温高湿で使用すると結露のおそれがあります。
  ダクトの外周に保温材を巻いてください。
- フィルターチャンバー（別売）を接続する場合は、接続チャンバー（別売）と本品の間に設置してください。

□ 併用別売品の取付けかた

- 別売品に付属している取付説明書を参照してください。

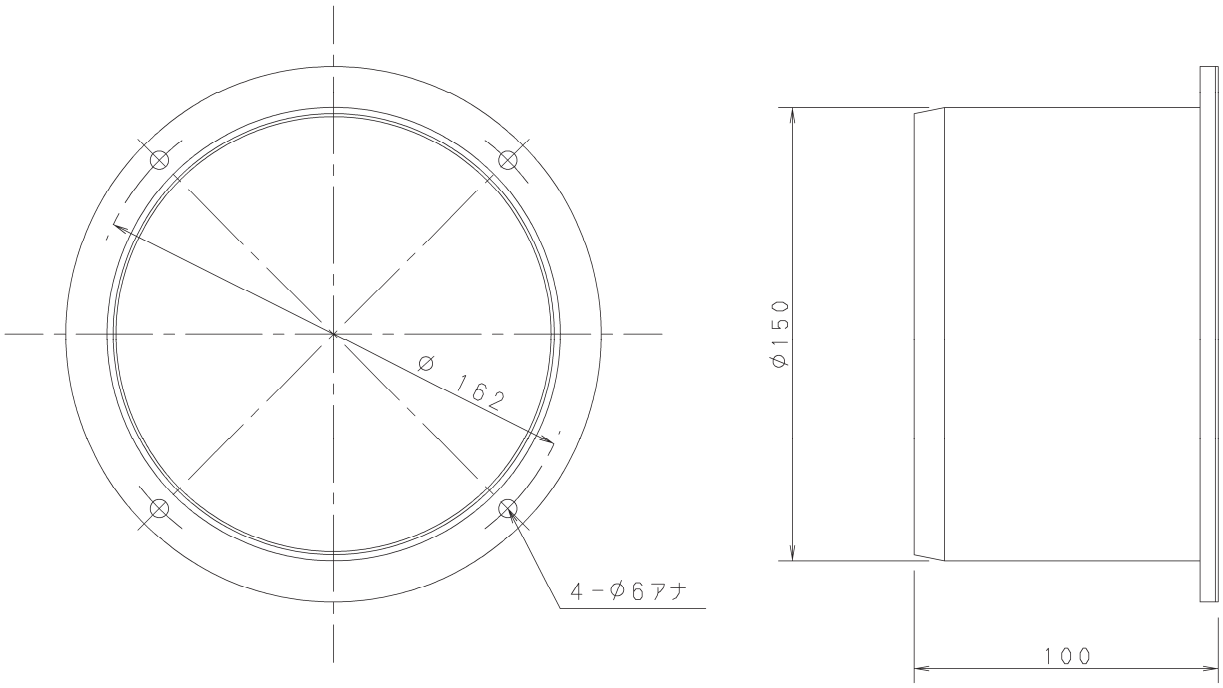


（図2）

85464179863001

●外気取入用丸合フランジ（DKT-MF15A1）

■外形寸法図



■取付方法

1．付属品

取り付け用ネジ゛（タッピ゜ン4X12）	4（個）

2．取り付け前の準備

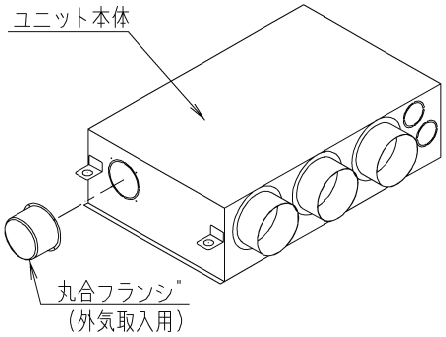
丸合フランジ゛を取り付ける場合、フレキダ゛クト（別売品）が必要で゛すので゛用意してください。

丸合フランジ゛	フレキシブ゛ルダ゛クト（丸）	
DKT-MF15A1	DKT-F1510A　φ150	1m
	DKT-F1520A　φ150	2m

3．取り付けかた

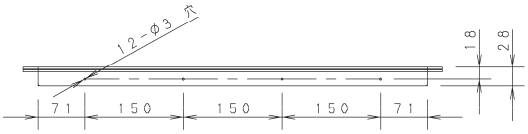
（1）ユニット本体の切り込みを目印に、断熱材ごと、ニッハ゜、金ノコ等で゛切断し、切り取ってください。（下図）
（2）ユニット本体に丸合フランジ゛をネジ゛4本（付属）で゛取り付けてください。
（3）フレキダ゛クトの取り付けかたについては付属の取り付け説明書を参照してください。

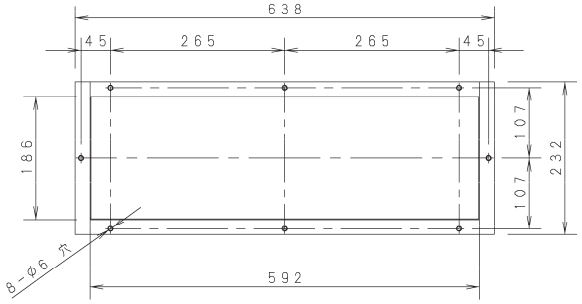
● ビ゛ルトインカセットの場合

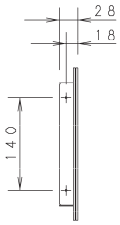


●吹出角ダクト合フランジ（CZ-56SDGF1・90SDGF1・160SDGF1）

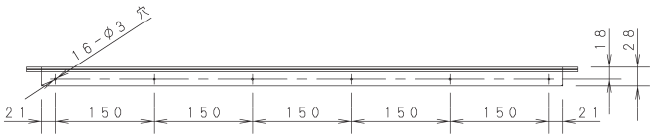
■外形寸法図（CZ-56SDGF1）

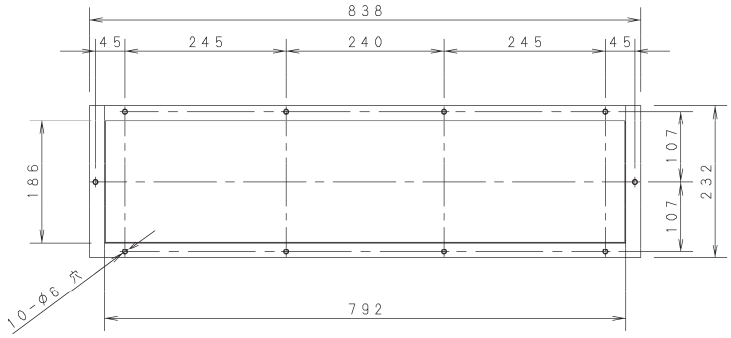


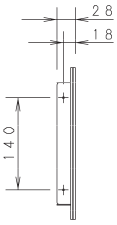




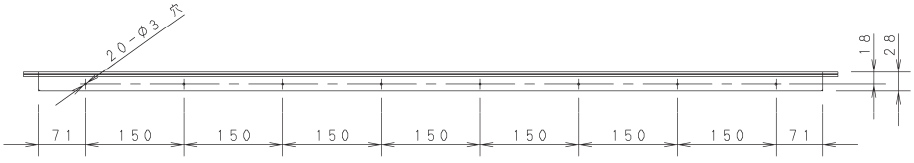
■外形寸法図（CZ-90SDGF1）

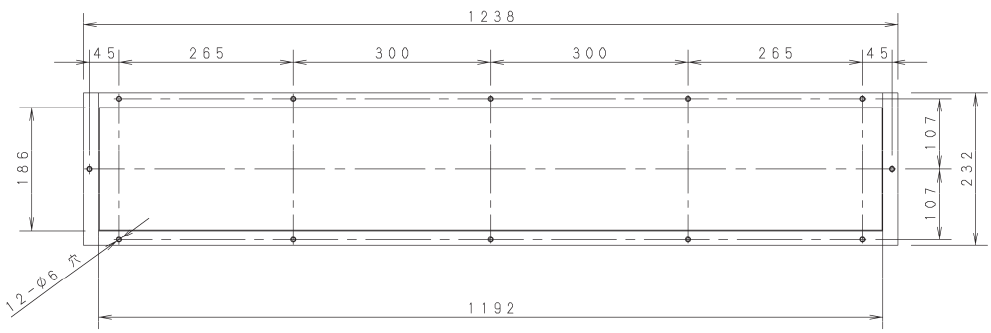


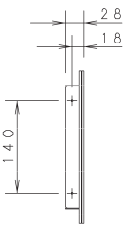




■外形寸法図（CZ-160SDGF1）





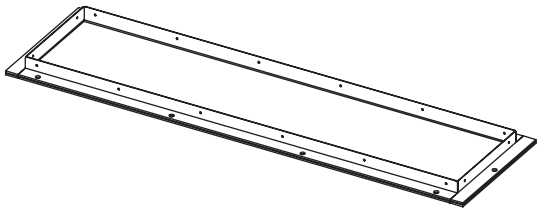


■取付説明書

吹出角ダクト合フランジ取付説明書

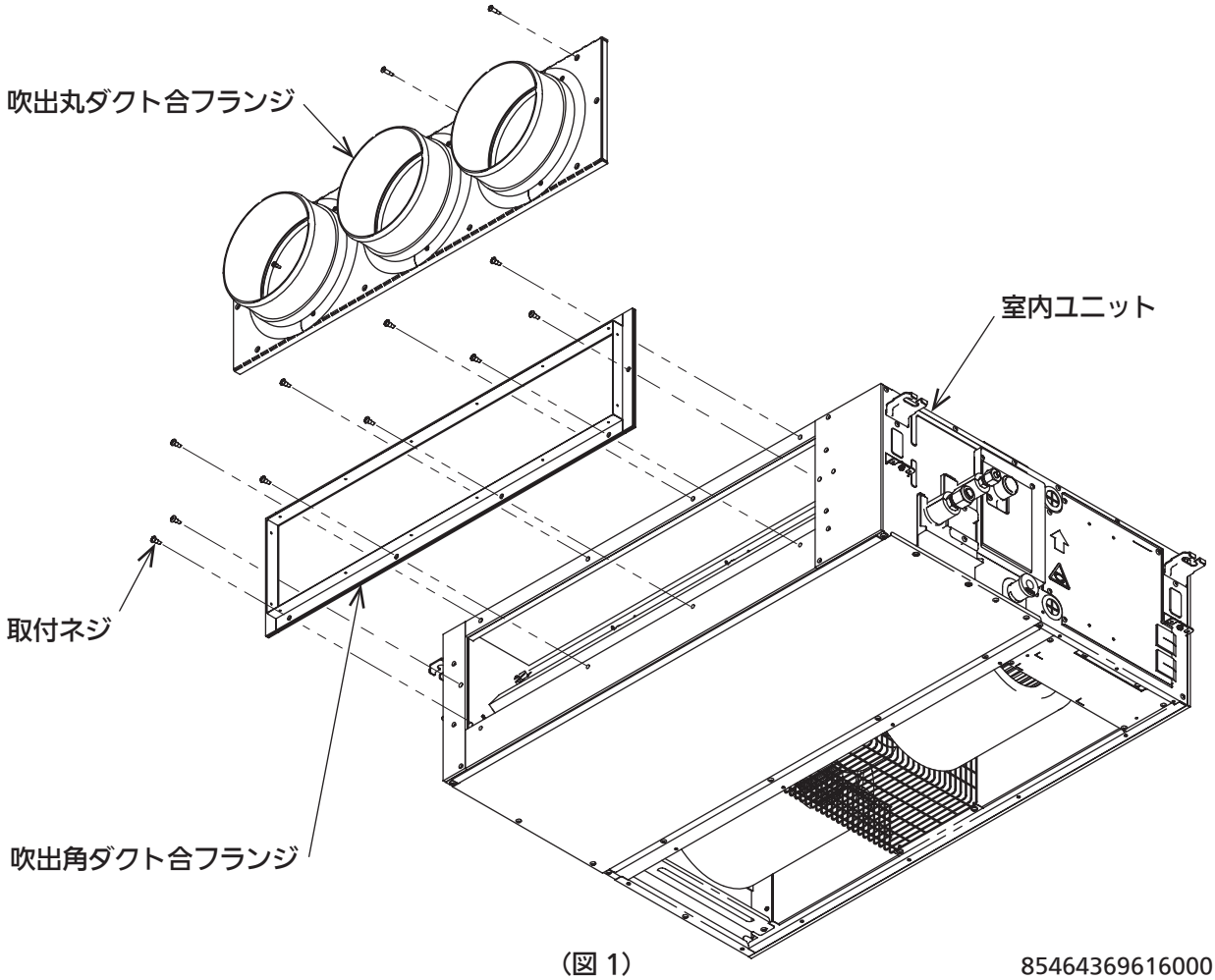
天井ビルトインカセット形用

□ 構成部品

吹出角ダクト合フランジ	取付ネジ
	 ５６形：　８本 ９０形：１０本 １６０形：１２本

□ 取付けかた

1. 室内ユニット本体の吹出丸ダクト合フランジを取りはずします。
2. 本品を付属の取付ネジで固定します。（図 1）

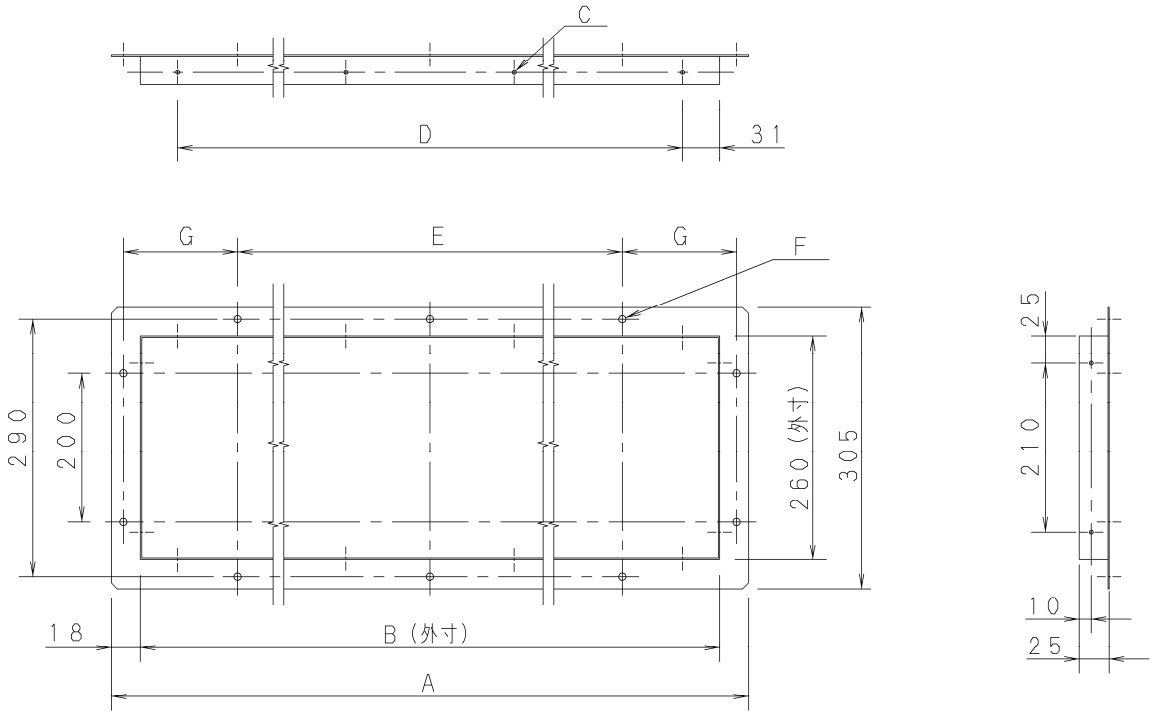


（図 1）

85464369616000

●吸込角ダクト合フランジ（DKT-RFBD50・RFBD80・RFBD140T）

■外形寸法図



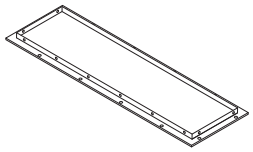
品　番	A	B	C	D	E	F	G
DKT-RFBD50T	698	662	12-φ3.3穴	3X200P=600	1X340P=340	8-φ6穴	170
DKT-RFBD80T	998	962	16-φ3.3穴	5X180P=900	左から (245)+(250)+ (245)=740	12-φ6穴	120
DKT-RFBD140T	1478	1442	18-φ3.3穴	6X230P=1380	左から (245)+(245)+(240) (245)+(245)=1220	16-φ6穴	120

■取付説明書

吸込角ダクト合フランジ取付説明書

ビルトインオールダクト形用

□ 構成部品

吸込角ダクト合フランジ	取付ネジ
	（タッピンネジ 4×12） 50形：　8本 80形：12本 140形：16本

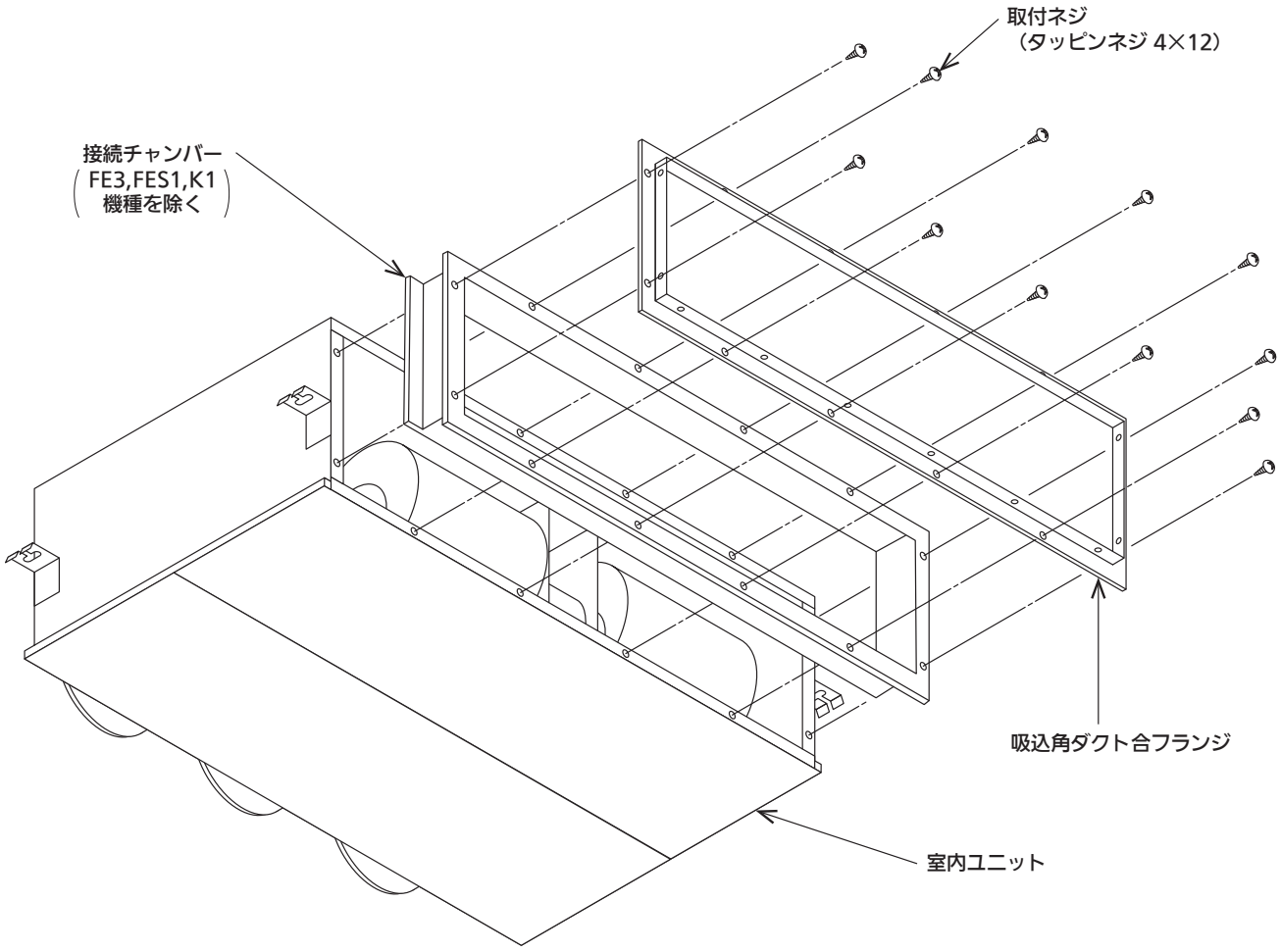
□ 取付け前に

1. 室内ユニットに接続チャンバー（別売）を取り付けます。（FE3,FES1,K1機種を除く）

□ 取付けかた（図1）

1. 本品を付属の取付ネジで取り付けます。（50形…8本、80形…12本、140形…16本）

- フィルターチャンバー（別売）を接続する場合は、接続チャンバー（別売）と本品の間に設置してください。

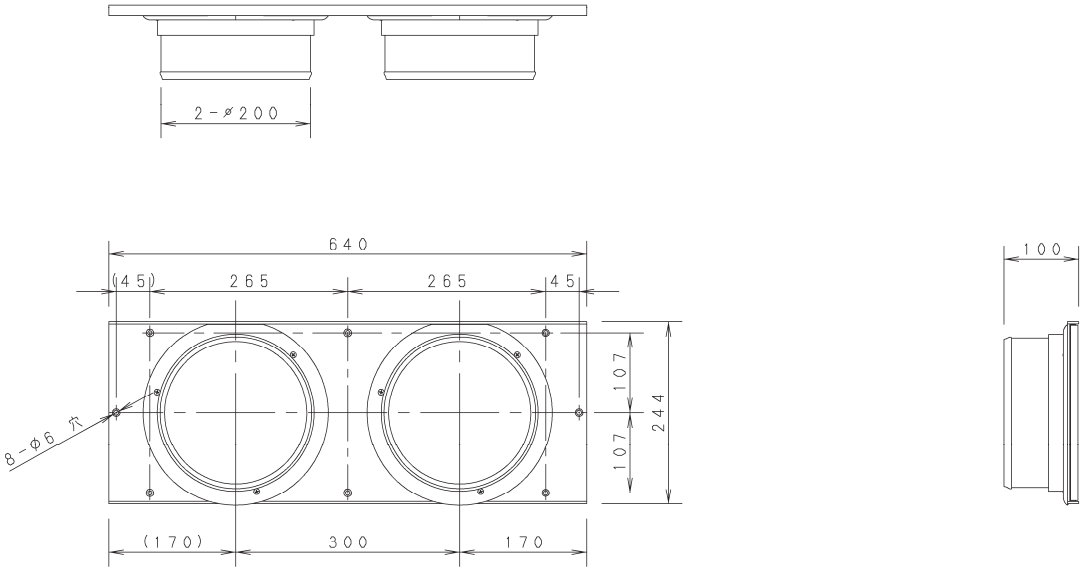


（図1）

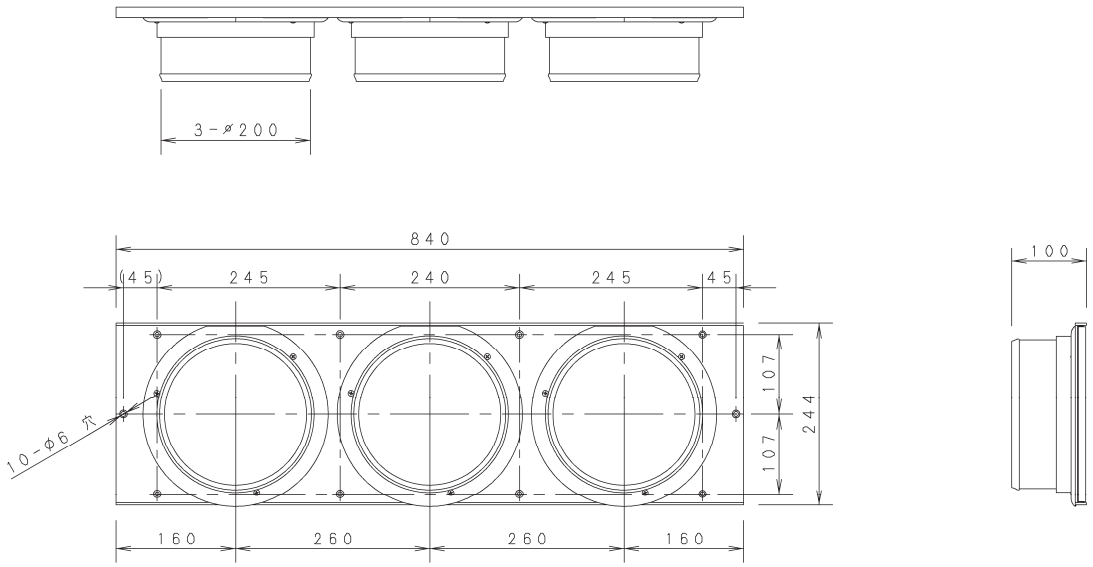
85464179858002

●吹出丸ダクト合フランジ（CZ-56・90・160DAF2A）

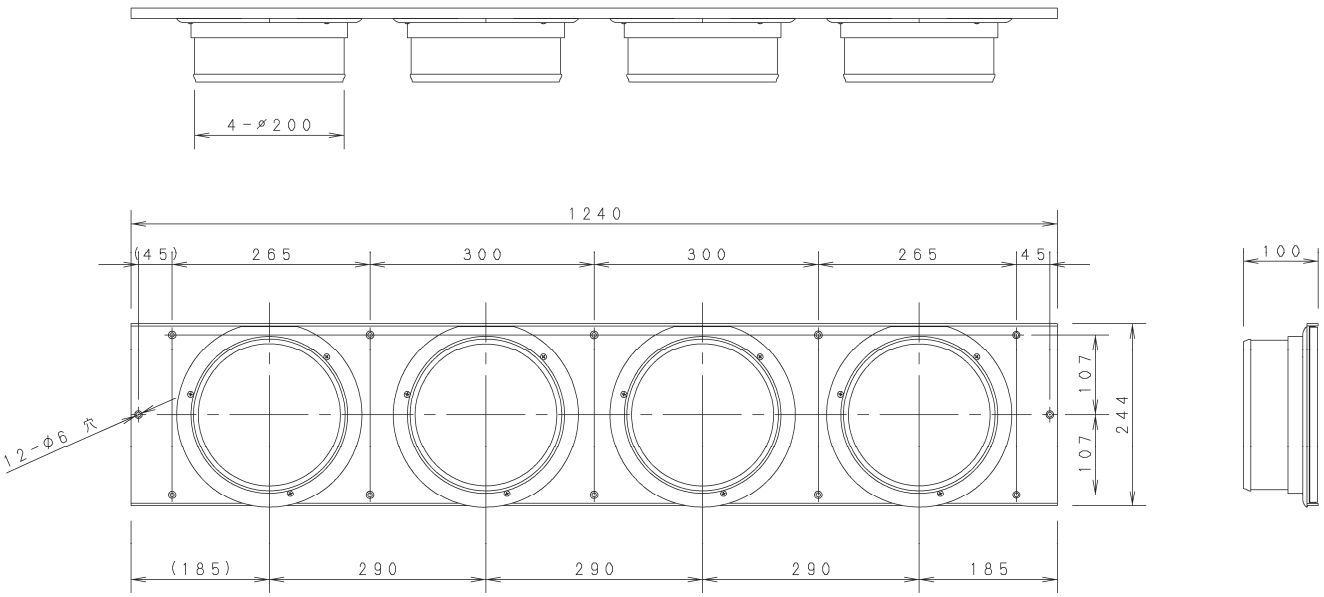
■外形寸法図（CZ-56DAF2A）



■外形寸法図（CZ-90DAF2A）

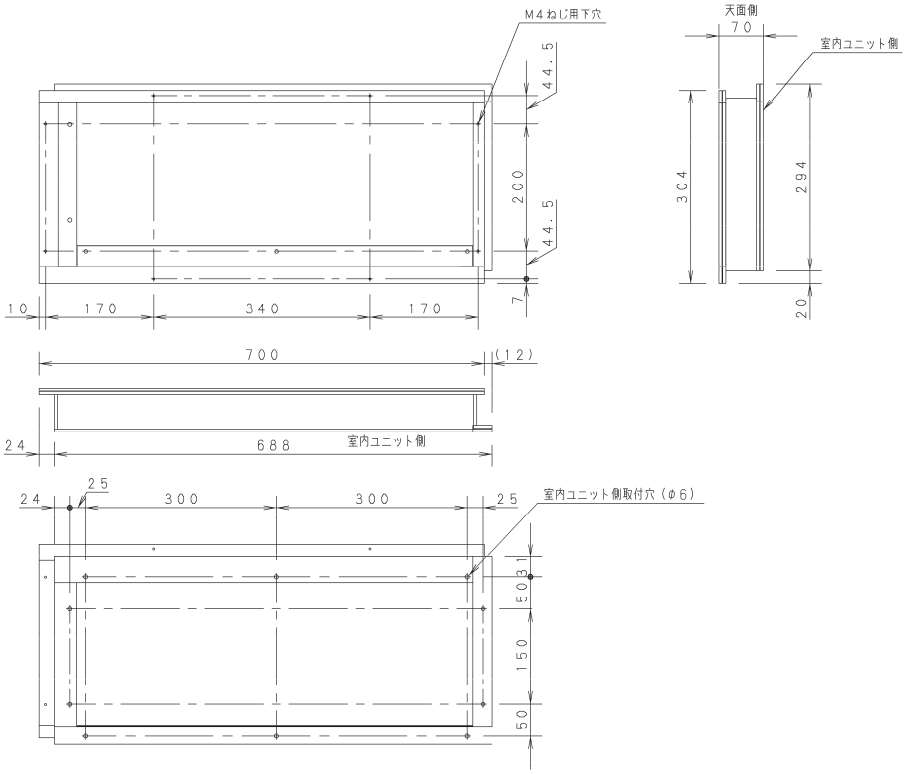


■外形寸法図（CZ-160DAF2A）

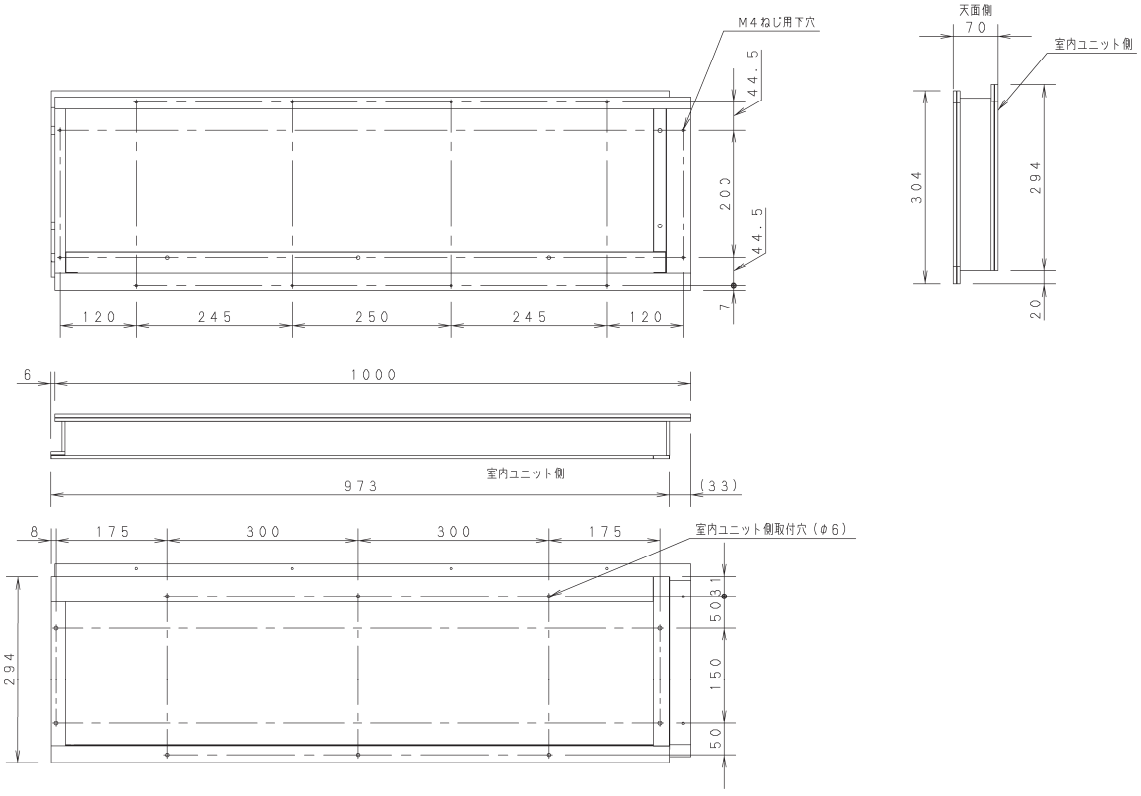


●接続チャンバー（CZ-56・90・160SPF1）

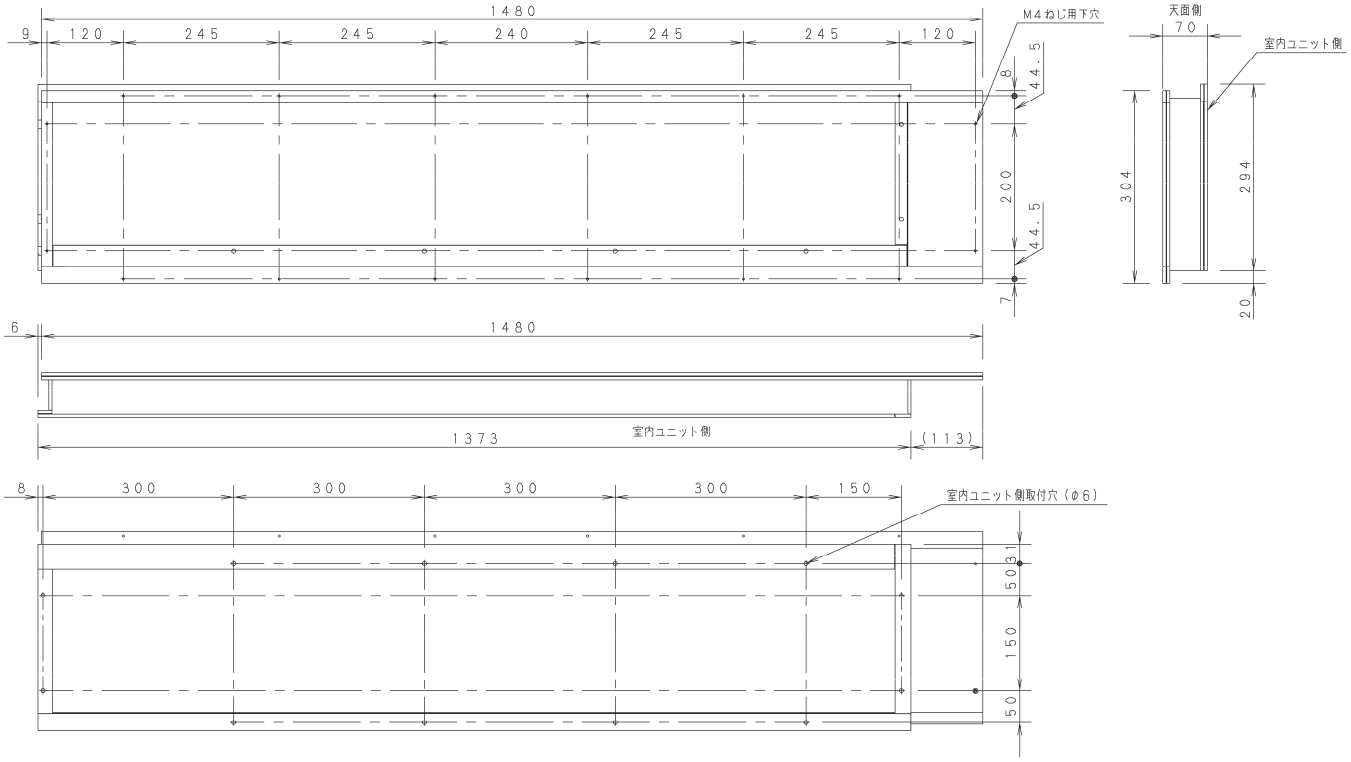
■外形寸法図（CZ-56SPF1）



■外形寸法図（CZ-90SPF1）



■外形寸法図（CZ-160SPF1）



■取付説明書

接続チャンバー 取付説明書

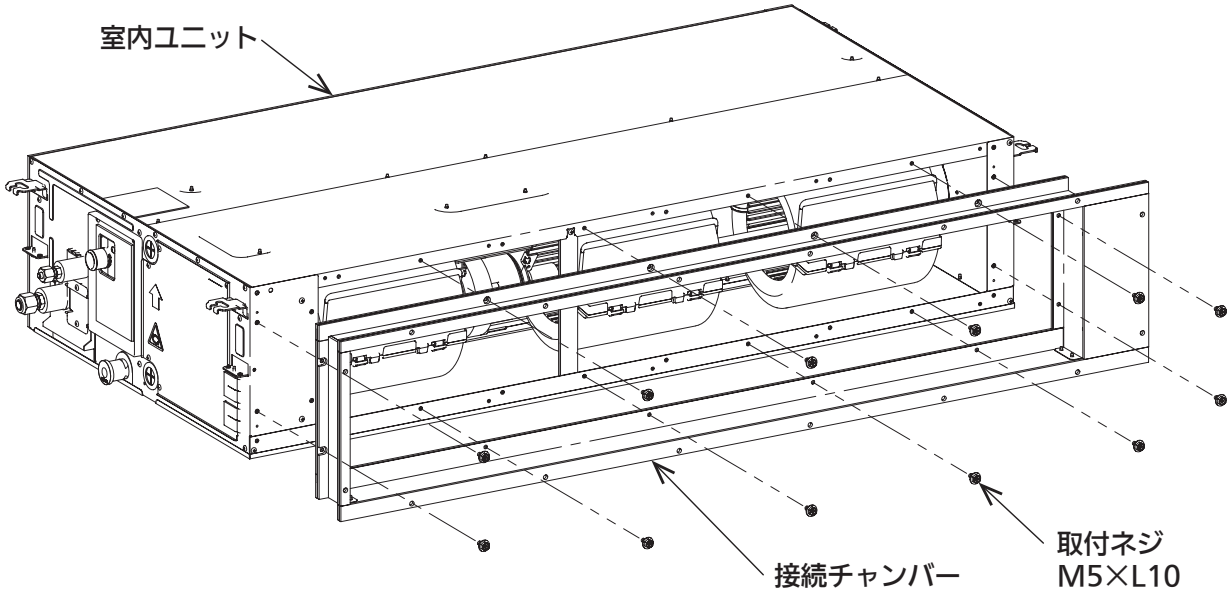
ビルトインオールダクト形用

□ 構成部品

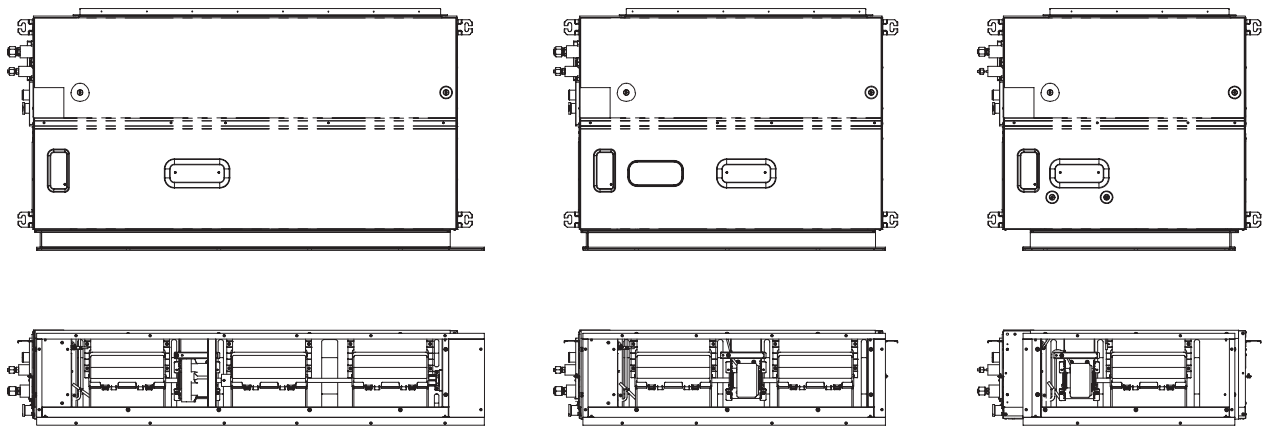
接続チャンバー	取付ネジ
	(M5×L10) 56形：10本 90形：10本 160形：12本

□ 取付けかた

● 室内ユニット本体の吸込側に付属の取付ネジで固定します。



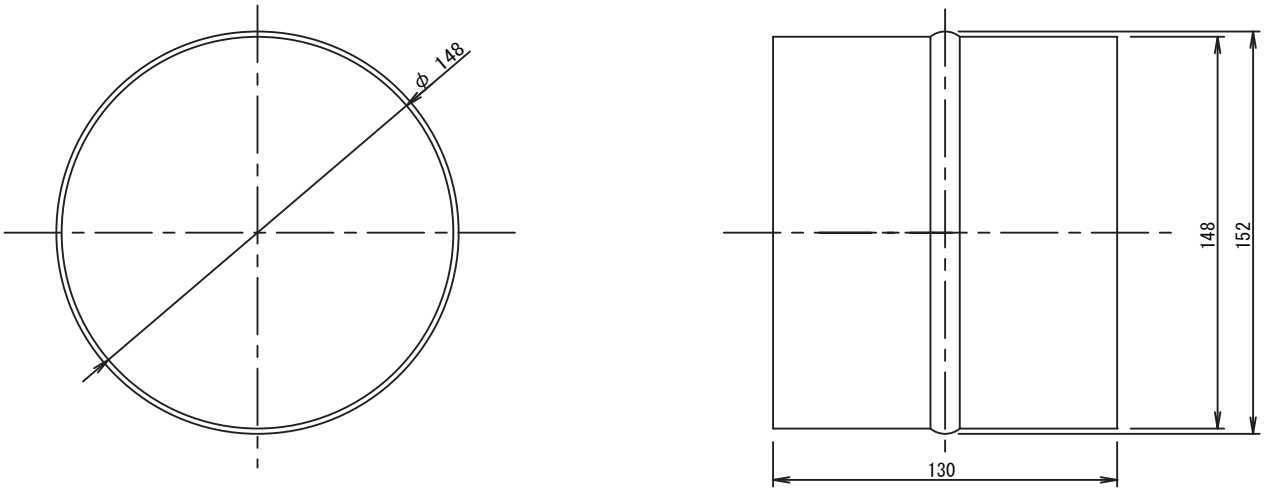
～完成状態～



85464369640000

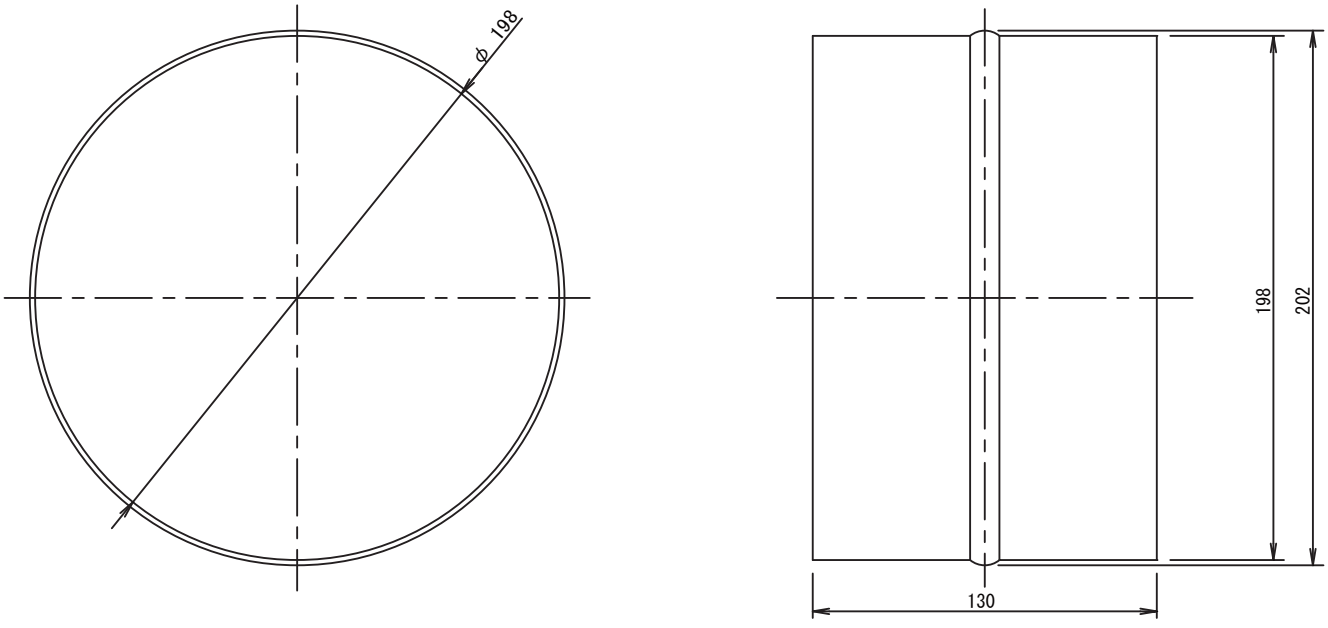
●ダクトスリーブ（CZ-SP15,CZ-SP20）

■CZ-SP15　外形寸法図



単位：mm

■CZ-SP20　外形寸法図



単位：mm

●気化式加湿器（CZ-07ASF2・10ASF2・20ASF2）

■仕様

加湿器品番			CZ-07ASF2			CZ-10ASF2			CZ-20ASF2		
天井ビルトインカセット形			22・28・36・45形	56形	－	71形	90形	－	112形	140形	160形
ビルトインオールダクト形			－	－	28・36・45・56形	71形	－	90形	112形	140形	160形
加湿器方式			自然蒸発式								
室内ユニット風量		m^3/min	13	14	16	21	23	26	32	34	36
加湿性能		kg/h	0.70	0.75	0.85	1.00	1.02	1.05	2.00	2.02	2.04
給水制御方式			タイマー制御よる断続給水に								
給水量		L/h	9.4								
電源電圧			単相200V 50/60Hz								
本体質量		kg	3.7			4.3			5.7		
定格消費電力		W	5.5±10%								
使用条件	給水圧力	Mpa	0.049（0.5kgf/㎠）～0.49（5kgf/㎠）								
	給水圧力(ﾎﾟﾝﾌﾟ使用時)	Mpa	0.049（0.5kgf/㎠）～0.29（3kgf/㎠）								
	使用周囲温度		1℃～40℃、90%RH以下								
	使用水		上水道又はこれと同等水質のこと（水温5～40℃）								
	取付角度		全方向共±2°以内のこと								
保護装置			排水管詰まり発生時、フロートスイッチによる電磁弁停止								

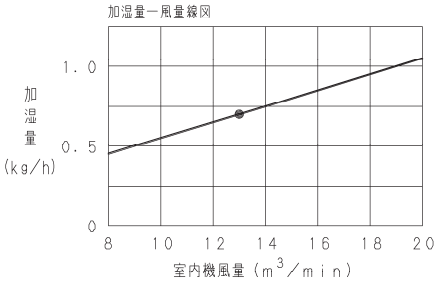
注)加湿能力は加湿器入口空気温度45℃、15%RHの値を示します。

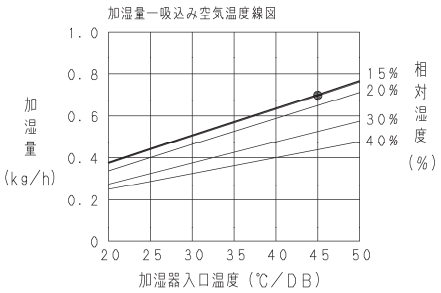
1.加湿（暖房）シーズン中は元電源を入れたままにしておいてください。
　万一、給水用電磁弁にゴミなどがからみ閉じなくなった場合の漏水を防止します。
2.加湿（暖房）シーズン後、給水用サービスバルブ（現地手配）を必ず閉めてください。
3.排水用止水バルブ（現地手配）の取付をおすすめします。加湿（暖房）シーズン使用開
　始時に、給水用サービスバルブと排水用止水バルブを開き、給水配管内の水を新しい水
　に置換してから加湿器をご使用ください。
4.ポンプによる給水を行う場合は、必ず給水圧力の上限は0.29Mpa以下としてください。
　給水圧力範囲を超える場合は、別の減圧弁（現地手配）を設けてください。
5.ヒューミディスタットをご使用の場合は、希望の湿度目盛に合わせます。
　設定を変化させて給水用電磁弁が正しく加湿制御していることを確認してください。
6.加湿能力の低下防止のため、1年に1回シーズン前に加湿部を洗浄してください。
　水かぬるま湯に中性洗剤を溶かし、柔らかなブラシで表面の汚れを取ってください。
7.加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。
　公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン(型式認可品：現地調達)をご使用ください。

■能力線図

線図：《 ① 》

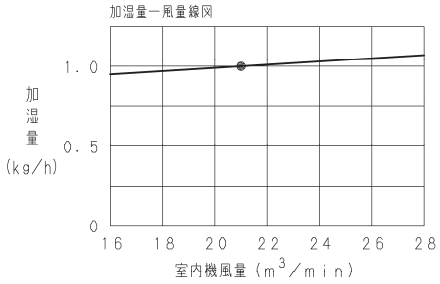
CZ-07ASF2
（基準風量：13m³/min）

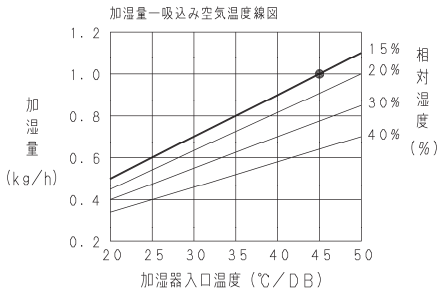




線図：《 ② 》

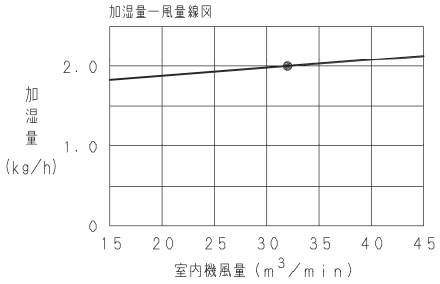
CZ-10ASF2
（基準風量：21m³/min）

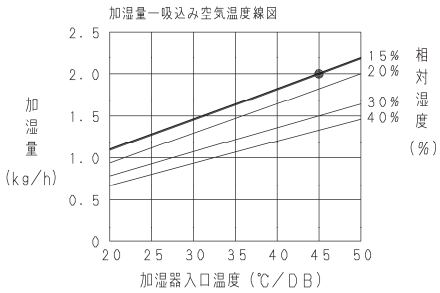




線図：《 ③ 》

CZ-20ASF2
（基準風量：32m³/min）

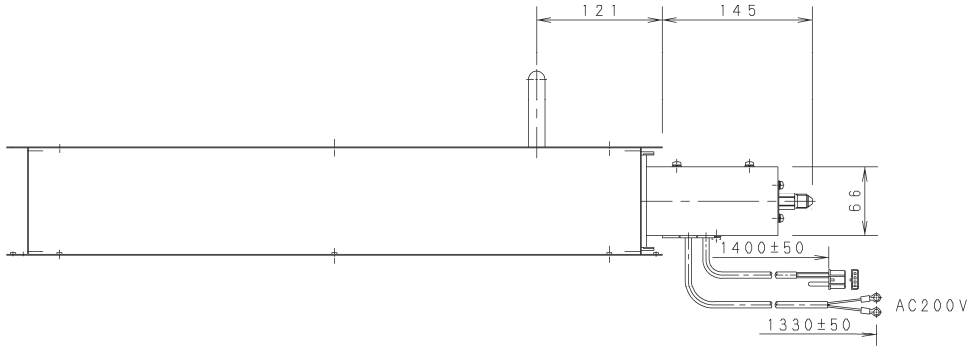


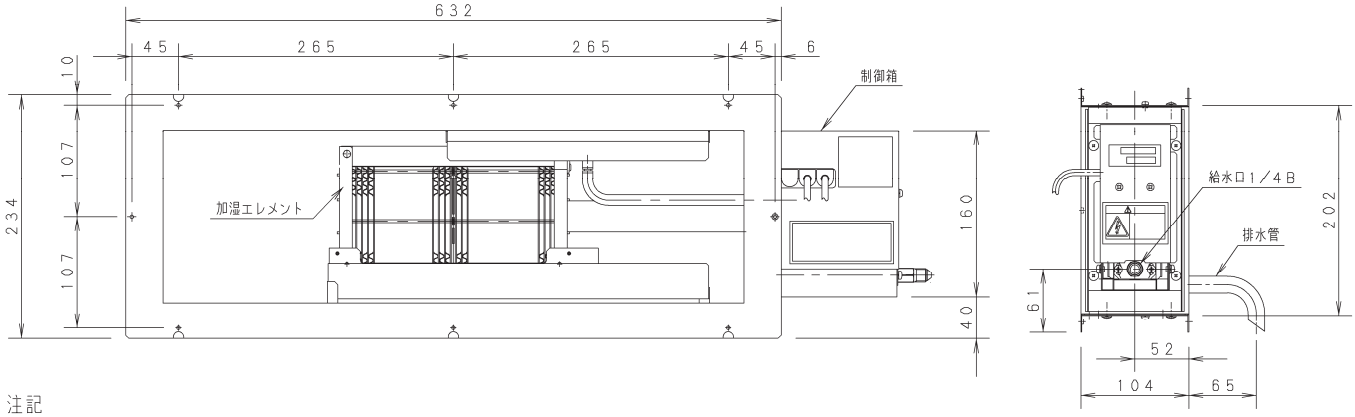


加湿器品番			CZ-07ASF2			CZ-10ASF2			CZ-20ASF2		
適用室内機	ビルトインカセット	マルチ	22, 28, 36, 45形	56形	－	71, 80形	90形	－	112形	140形	160形
	ビルトインオールダクト	マルチ	－	－	28, 36, 45, 56形	－	－	90形	112形	140形	160形
室内機風量（急風）		m³/min	13	13	13	21	23	26	32	34	36
加湿性能		kg/h	0.70	0.70	0.70	1.00	1.02	1.05	2.00	2.02	2.04
適用線図No.			①			②			③		

（注記）
・加湿能力条件は、加湿器通過　温湿度がDB45°C，RH15%の場合の値を示します。
・室内ユニットがサーモオフした場合は、加湿器は停止します。

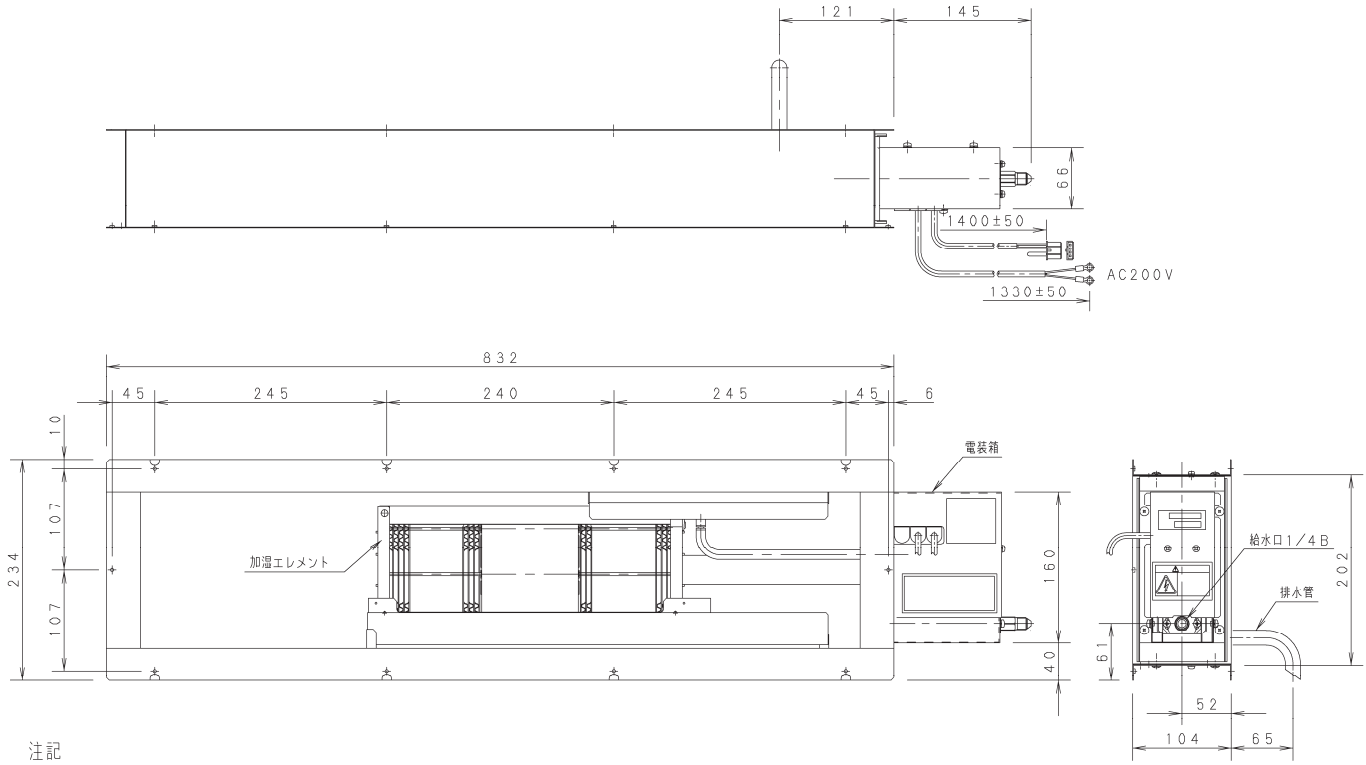
■外形寸法図（CZ-07ASF2）





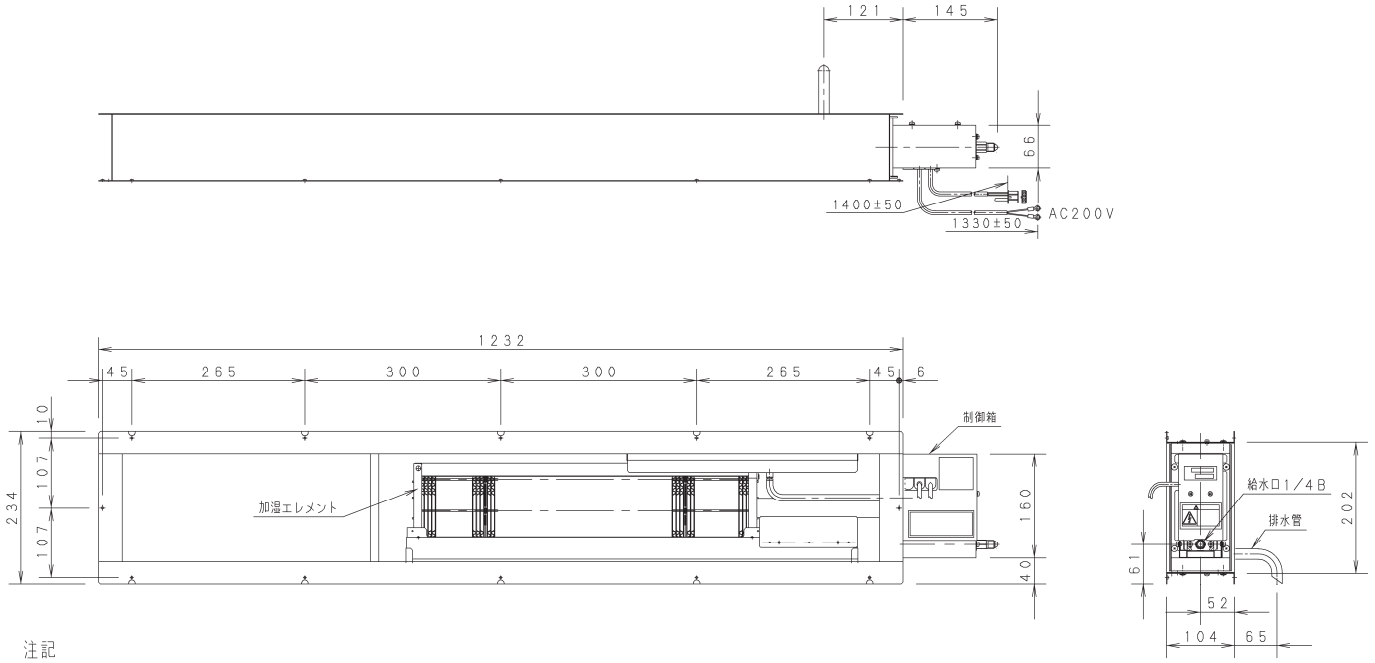
注記
1）ドレン排水をエアコン本体へ流し込むタイプです。
2）加湿器の取付は必ずエアコン本体吊下げ前に行ってください。

■外形寸法図（CZ-10ASF2）



注記
1）ドレン排水をエアコン本体へ流し込むタイプです。
2）加湿器の取付は必ずエアコン本体吊下げ前に行ってください。

■外形寸法図（CZ-20ASF2）



注記
1）ドレン排水をエアコン本体へ流し込むタイプです。
2）加湿器の取付は必ずエアコン本体吊下げ前に行ってください。

■取付説明書

自然気化式加湿器 取付説明書

品番　CZ-07ASF2　CZ-10ASF2　CZ-20ASF2

取付説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に『安全上のご注意』は、施工前に必ずお読みください。
取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、付属の保守点検説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は保守点検説明書とともにお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

- ■ 取付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）
- ■ 付属品は当社指定の部品を使用する（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）
- ■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う（ユニットの落下による、けがの原因）
- ■ 修理・改修は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する（水漏れや感電、火災の原因）
- ■ 電気工事（アース工事を含む）は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの「取付説明書」に従って施工する（感電、火災のおそれ）
- ■ 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する（感電、火災のおそれ）
- ■ 配線をはさまないように、カバーは元どおり確実に取り付ける（感電、火災の原因）

⚠ 注意

- ■ 給水配管の断熱は、この「取付説明書」に従って確実に断熱する（正しく断熱されていないと、水漏れや凍結の原因）
- ■ 給水には必ず水道水（上水）を使用する
- ■ 凍結のおそれがある場所には取り付けない（破損、水漏れの原因）

お願い

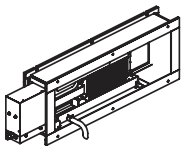
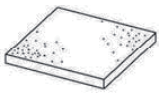
- ● 加湿器の取付工事は、必ず室内ユニットを据え付ける前に行ってください。加湿器組込み後の輸送はしないでください。
- ● 定期清掃や点検のため、加湿器取り付け側の天井面に 450□以上の点検口を必ず設置してください。
- ● ヒューミディスタット（現地調達）は、湿度低下で接点が ON となる方式のもので、接点容量 200VA 以上のものを準備してください。
- ● 保守管理のため加湿器毎に給水配管にサービスバルブ（現地調達）を設けてください。
- ● 加湿（暖房）シーズン後、給水用サービスバルブ（現地調達）を必ず閉めてください。
- ● 現地調達の給水配管には死水排水バルブおよびY形ストレーナー（現地調達）の取り付けをおすすめします。冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない場合は、給水配管内の水が腐ってしまいます。その水が加湿（暖房）シーズン開始時に加湿器に給水されますと異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、給水配管内を新しい水に置き換えてから使用してください。
- ● 給水配管は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン（型式認可品：現地調達）をご使用ください。
- ● 給水配管は水圧がかかりますのでフレア接続としてください。
- ● 給水圧力は 0.049 ～ 0.49MPa の範囲内でご使用ください。ただしポンプを使用して給水する場合は 0.049 ～ 0.29MPa の範囲内でご使用ください。この範囲を超える場合は、給水系統毎に減圧弁（現地調達）を設けてください。また給水配管にトラップがあるとエアーだまりができ異音が発生することがありますので、トラップが無いように設置してください。
- ● 定期清掃や点検を除いては、室内ユニットの漏電しゃ断器の電源は入れたままにしてください。万一、加湿器内部の給水用電磁弁にゴミ等がからみ閉じなくなった場合の漏水を防ぎます。
- ● 加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、加湿器本体の給水配管接続口に挿入してあるストレーナーの清掃を行ってください。

1. 仕様

品番	CZ-07ASF2	CZ-10ASF2	CZ-20ASF2
適合室内ユニット形番	22 ～ 56 形	63 ～ 90 形	112 ～ 160 形
電源仕様	単相 200V±10% 50/60Hz		
給水圧力	0.049 ～ 0.49 Mpa		
給水圧力（ポンプ使用時）	0.049 ～ 0.29 Mpa		
使用水および水温	上水　0 ～ 40℃		
周囲温湿度	5 ～ 40℃、90%RH 以下		

2. 付属品

※開梱時に付属品が入っているかを必ずご確認ください。

品名	説明書	自然気化式加湿器	給水用配管	給水配管断熱材	閉端接続子	取付ネジ
形状	・取付説明書 ・保守点検説明書 ・試運転説明書		断熱パイプ 継手付き φ6.35 L=500	 100×100 t10	 ヒューミディスタット用	(M4×L12) 07：6 本 10：8 本 20：10 本
数量	各 1	1	1	2	2	-

3. 取付けかた

※加湿器の組み込みは、必ず室内ユニットを吊り下げる前に行ってください。

1. 室内ユニットの吹出枠をはずす。（図 1）
2. 加湿器を付属の取付ネジ（M4×L12）で取り付ける。（図 2）
   排水ホースの先が排水溝に入ること。（図 3）
3. 室内ユニットの吹出枠を加湿器に取り付ける。（図 4）

※室内ユニットを据え付ける際は、室内ユニット付属の据付工事説明書を確認のうえ、
加湿器エレメント引き出しスペースを必ず設けてください。（図5）

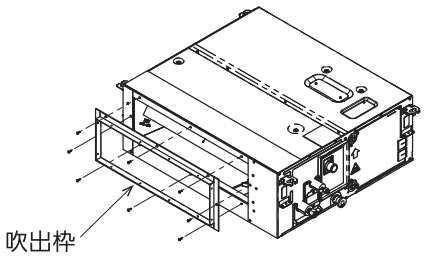


図 1

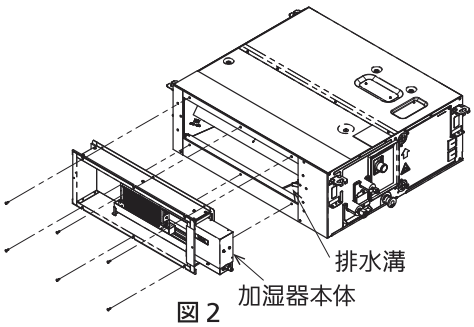


図 2

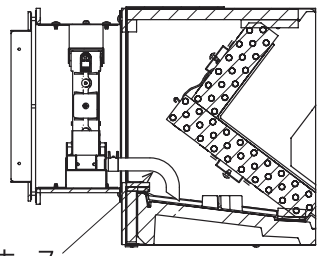


図 3

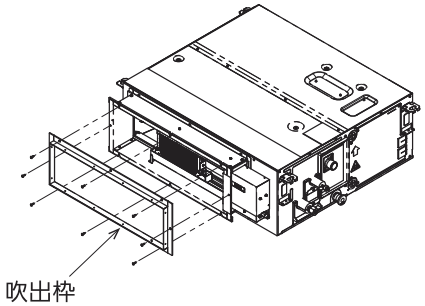


図 4

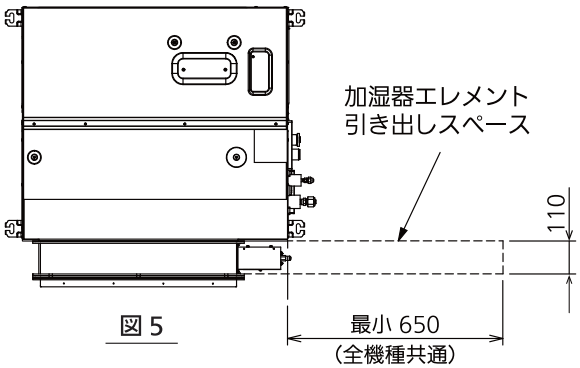


図 5

85464369633003

4. 電気配線

1. 室内ユニット電装ボックスのフタをはずして、加湿器の電源線・信号線を引き込んでください。
   配線の引き回しは、図 6 ～図 8 を参考にしてください。
2. 加湿器の電源線を端子板に接続します。
   電源線は黒を端子板の【R】に、白を【S】に接続してください。
3. 信号線を室内コントロール基板のコネクタ【HU（CN066：4P】に接続してください。
4. ヒューミディスタットを使用する場合は、加湿器の電気回路図を参考に加湿器電装ボックス内にあるジャンパー線（青色）を切断し、付属品の閉端接続子で接続してください。（図 9）

ビルトインオールダクト形

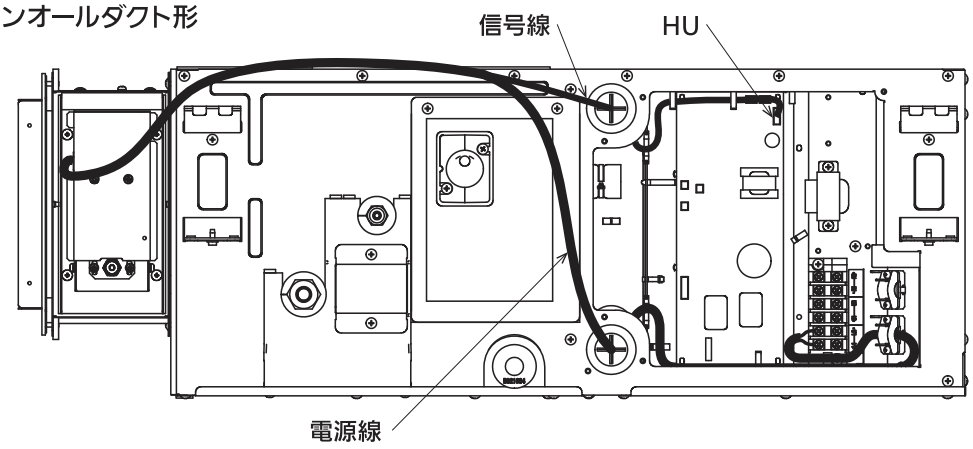


図 6

天井ビルトインカセット形

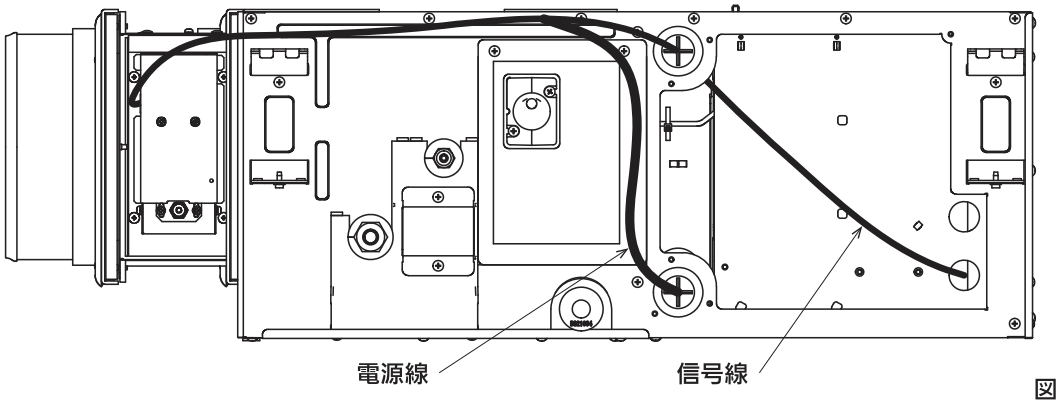


図 7

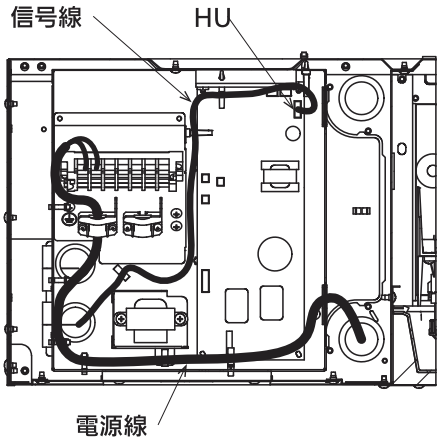


図 8

加湿器コントロール基板電気回路図

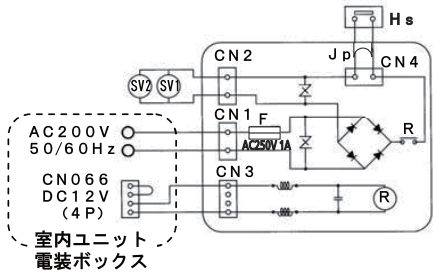


図 9

※ヒューミディスタット（現地調達）の接続部は、
加湿器電装ボックス内に収納してください。

記号	名称	備考
Hs	ヒューミディスタット	現地調達
Jp	ジャンパー線	青色
SV1、2	給水用電磁弁	
F	ヒューズ	AC250V 1A
CN1 ～ 4	コネクタ	

5. 給水配管

1. 室内ユニットの「据付工事説明書」に従って加湿器を組み込んだ室内ユニットを据え付けてください。
2. 現地調達の給水配管内に通水し、配管内の汚れを取り除いてください。
3. 加湿器本体の給水口に付属品の給水用配管を接続してください。（図 10）
   ※ダブルスパナにて、締付トルクは 20N・m 程度
   ※加湿器本体の給水口に挿入されているワッシャーおよびストレーナーを取り付けた状態で配管を接続してください。
   取り付けずに接続すると、以後ストレーナーが取り付かなくなったり、水漏れの原因になります。
4. 図 10 を参考に現地調達の給水配管等を接続してください。

● 以下の項目は運転確認後、問題が無いことを確認した上で行なってください。

5. 給水接続部の水漏れ確認を行ってください。
6. 水漏れが無ければ、給水用配管の接続部に付属品の給水配管断熱材を巻きつけてクランパー等（現地調達）で固定してください。（図 10）
7. 現地調達の給水配管にも、断熱処理を行ってください。配管の凍結は漏水事故の原因となります。十分に保温工事をしてください。この断熱材は現地調達になります。

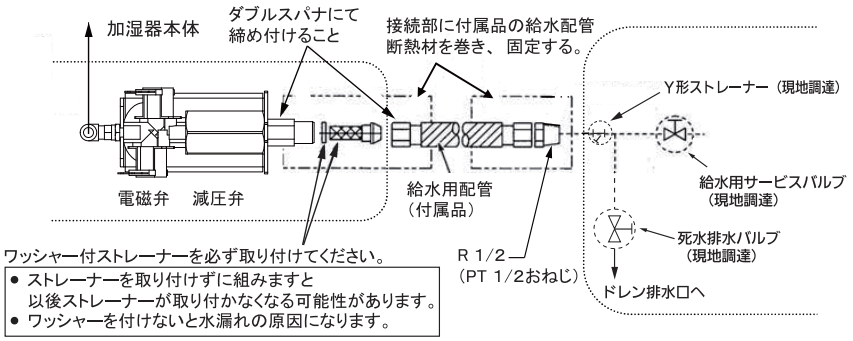


図 10

6. 運転確認

1. 漏電しゃ断器の電源を入れ、加湿器の給水用サービスバルブを開いて通水してください。
2. リモコンの運転 / 停止ボタンを押し空調機を運転させた後、運転切換ボタンで暖房運転にします。
   ※暖房運転できないとき、あるいは暖房サーモオンになりにくいときは、付属の試運転説明書を参照してください。
3. 加湿器に内蔵されている給水用電磁弁が作動し、正常に加湿制御していることを確認してください。
4. 正常な運転を確認したら、運転 / 停止ボタンを押し運転を停止してください。
   ※ヒューミディスタット（現地調達）をご使用の場合は、ご希望の湿度目盛りに合わせてご使用ください。このときの動作確認は、設定を変化させて給水用電磁弁が正しく動作していることを確認してください。
   ※漏電しゃ断器の電源は入れたままにしてください。
   ※試運転時、加湿器から「ビーン」という異音が発生した場合に、給水用サービスバルブを閉めると音が消えるようであれば、給水系（減圧弁等）へのエアーのかみ込みが考えられます。この場合、一旦給水配管の接続をはずしてエアー抜きおよび加湿器給水口のストレーナーの清掃を実施してください。ポンプを使用して給水する場合は、ポンプによるエアーのかみ込みが考えられます。給水圧力を調整できる場合は、給水圧を下げて使用してください。

自然気化式加湿器 保守点検説明書

品番　CZ-07ASF2 CZ-10ASF2 CZ-20ASF2

ご使用前に、この保守点検説明書と室内ユニットに付属の「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。特に『安全上のご注意』は必ずお読みください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

❗ ■ 修理・改修は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する
（水漏れや感電、火災の原因）

■ 移動再設置は、販売店に相談する
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）

⚠ 注意

❗ ■ 給水には必ず水道水（上水）を使用する

お願い

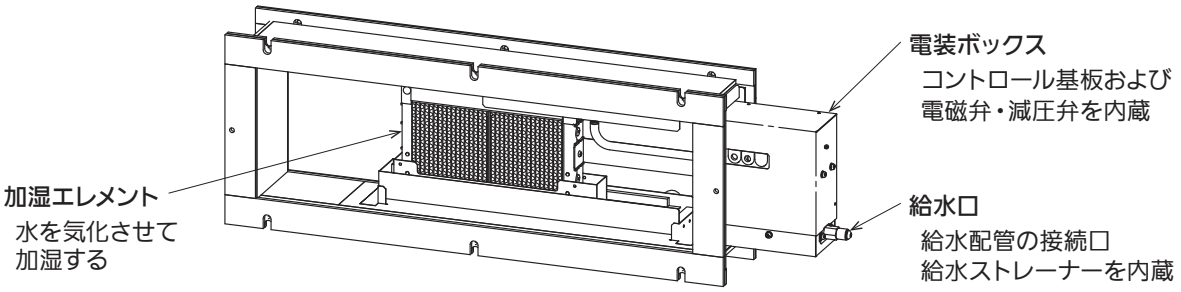
- 定期清掃や保守点検は、お客様自身で行わず、必ずお買いあげの販売店または専門業者に依頼してください。
- 加湿（暖房）シーズン終了後、給水用サービスバルブを必ず閉めてください。
- 冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない場合は、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、給水管内を新しい水に置き換えてから使用してください。そのまま給水されますと汚れや異物による能力不足、加湿エレメントから異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。
- 定期清掃や点検の際を除いては、室内ユニットの漏電しゃ断器は入れたままにしてください。万一、加湿器内部の給水用電磁弁にゴミ等がからみ閉じなくなった場合の漏水を防ぎます。

1. 仕様

品番	CZ-07ASF2	CZ-10ASF2	CZ-20ASF2
適合室内ユニット形番	22 ～ 56 形	63 ～ 90 形	112 ～ 160 形
加湿能力（kg/h）	0.7 ±20%	1.0 ±20%	2.0 ±20%
外形寸法図 H×W×L（mm）	234×183×775	234×183×975	234×183×1375
質量 水（有）（kg）	3.9	4.6	6.1
質量 水（無）（kg）	3.7	4.3	5.7
電源仕様	単相 200V±10% 50/60Hz		
給水圧力	0.049 ～ 0.49 Mpa		
給水圧力（ポンプ使用時）	0.049 ～ 0.29 Mpa		
使用水および水温	上水　10 ～ 40℃		
周囲温湿度	5 ～ 40℃、90%RH 以下		

加湿能力は、室内ユニットに組み込んだ状態で加湿器入口空気温度 DB45℃・相対湿度 15% で CZ-07ASF2 を 13m^3/min, CZ-10ASF2 を 21m^3/min, CZ-20ASF2 を 32m^3/min の風量で動作させたときの値を示します。

2. 各部のなまえ



3. ご使用上の注意

- シーズンオフなど長期間加湿（暖房）運転をしない場合は、給水用のサービスバルブを閉めてください。
- 冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない場合は、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、給水配管内を新しい水に置き換えて給水確認を行ってから使用してください。そのまま給水されますと汚れや異物による能力不足、加湿エレメントから異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。
- シーズンオフ中に加湿エレメントに付着した汚れを取るため、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に必ず保守点検を行ってください。
- エアコン（室内ユニット）のエアフィルターが汚れていると、加湿能力や加湿器の寿命に悪影響を与える原因になります。エアフィルターは定期的に点検を行い、汚れている場合は清掃してください。
- 加湿（暖房）シーズン開始時の運転前には、給水用のサービスバルブを開けて使用してください。

4. 運転のしかた

加湿器はエアコン（室内ユニット）に接続されており、エアコンを暖房運転したときに自動で加湿運転をします。
エアコンの運転操作方法については室内ユニットに付属の「取扱説明書」に従ってください。

5. 保守点検

長く安心してご使用していただくために、サービス技術者による定期的な保守点検を行ってください。

1. 点検周期

- 保全周期（交換周期）は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。
- 点検周期は1年が目安です。
- 加湿エレメントの交換周期は3年です。
- 保守点検実施の場合でも、予期せぬ故障が発生することがあります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。
- 冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しない場合は、加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、給水配管内を新しい水に置き換えて給水確認を行ってから使用してください。そのまま給水されますと汚れや異物による能力不足、加湿エレメントから異臭の発生や菌の繁殖の原因になります。

  ※室内ユニットに付属の「取扱説明書」に記載されている『保証とアフターサービスについて』もあわせてご覧ください。

2. 作業前の準備

- 作業は安全に留意して行ってください。特に板金のエッジ部分や熱交換器の温度等には十分に注意してください。付属の取付説明書もあわせてご覧ください。
- 作業にかかる前に必ず漏電しゃ断器を切り、給水用のサービスバルブを閉めてください。

85464369634000

5. 保守点検（つづき）

3．作業手順

1）加湿エレメントの洗浄（1 回 / 年：シーズン開始時）

①給水配管を取りはずしてください。（図 1）
※給水配管内の残水が出てくることがありますので、バケツやウエスなどを準備してください。
②加湿器本体を固定しているネジ (M4×6) 4 本をはずし、電気配線を引っ張らないように加湿器の電装部と加湿エレメントを枠から引き出してください。（図 2）
※給水配管内の残水が出てくることがありますので、バケツやウエスなどを準備してください。
※給水ストレーナー、ワッシャーを紛失しないようご注意ください。（図 1）
③ジョイントをはずして加湿エレメントを取りはずしてください。（図 3）
④加湿エレメントが十分に入る大きさの容器を用意し、容器に水またはぬるま湯を入れたうえで市販の中性洗剤を溶かしてください。
⑤洗浄液に加湿エレメントを浸し、柔らかいブラシ等で加湿部表面の汚れを取ってください。(図 4)
⑥十分に水洗いをした後、水気を落とした上で、取りはずしと逆の手順で加湿エレメントを組み付け、加湿器を室内ユニットに取り付けてください。
※下記の 2）の給水ストレーナーの清掃もあわせて行ってください。
※水漏れが無いことを必ず確認した上で、断熱材を取り付けてください。

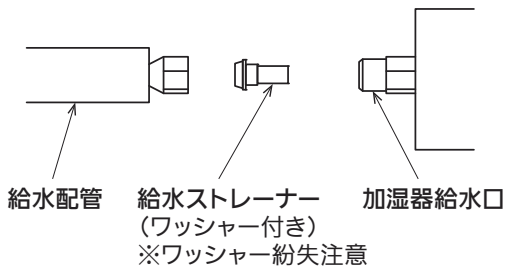


図 1

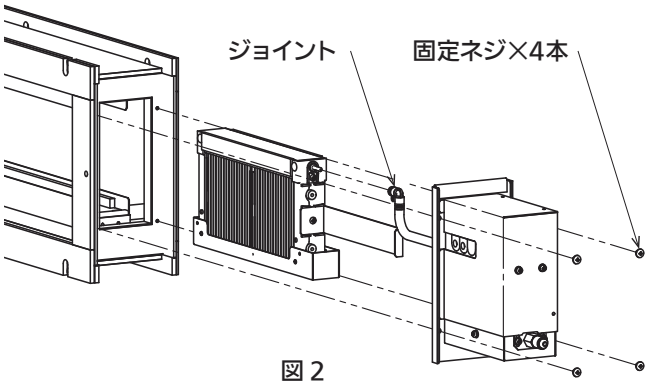


図 2

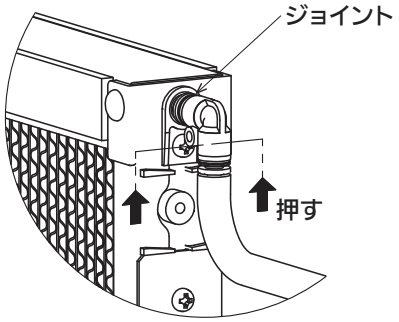


図 3

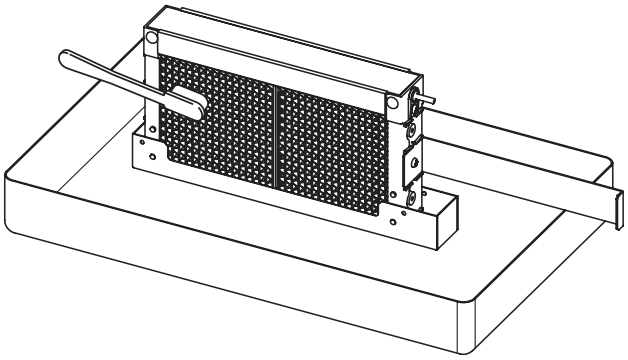


図 4

2）給水ストレーナーの清掃（1回 / 年：シーズン開始時）

①給水配管を取りはずしてください。（図1）
②給水口に挿入されている給水ストレーナーを取りはずし、内側のゴミを洗い落としてください。
※給水配管内の残水が出てくることがありますので、バケツやウエスなどを準備してください。
※給水ストレーナーを抜き取るとき、ワッシャーを紛失しないようご注意ください。（図1）
③元どおりに取り付けてください。
※上記の 1）加湿エレメントの洗浄もあわせて行ってください。
※水漏れが無いか確認をした後、断熱材を取り付けてください。

3）コントロール基板等の電気部品の点検（1回 / 年）

必ず漏電しゃ断器を切ってから作業をしてください。

①加湿器電装ボックスのふたをはずして内部を確認し、以下の項目をチェックしてください。
- □電子部品に劣化（変色、変形）などが無いか。
- □電気配線類に損傷が無いか。
- □コントロール基板のプラグと電気配線のソケットの接続に緩み、はずれが無いか。
- □その他各部に異常が無いか。

※不具合がありましたら、必ず修理もしくは部品交換を行ってください。

②元どおりに取り付けた後、漏電しゃ断器を入れて動作確認を行ってください。

6. 故障かな?と思ったとき

サービスを依頼される前に次のことをお調べください。

症　状	原　因	処　置
加湿しない または 加湿量不足	給水用サービスバルブが閉まっていませんか?	サービスバルブを開けてください。
	シーズン開始時に給水ストレーナーの清掃はしましたか?	保守点検をしていなければ、お買い上げの販売店にご連絡ください。
	シーズン開始時に加湿エレメントの洗浄をしましたか?	
	加湿エレメントの交換時期が過ぎてませんか?	
においがする	シーズンイン時に加湿エレメントの洗浄をしましたか?	保守点検をしていなければ、お買い上げの販売店にご連絡ください。
	加湿エレメントの交換時期が過ぎてませんか?	
音がする	給水圧力は仕様値の範囲内ですか?	仕様値の範囲外なら、お買い上げの販売点にご連絡ください。
	給水系へのエアーのかみ込みはありませんか?	異音発生状態で給水用サービスバルブを閉めると音が消える場合は、エアー抜きが必要です。販売店にご連絡ください。

以上のことをお調べいただき、それでもなお異常のあるときは運転を停止してから漏電しゃ断器を切り、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。なおご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

●高性能フィルター（SPW-MFU125R,HFU125R / AFT-MU280U,HU280U）

■仕様（比色法 65%）

適用空調機			天井埋込形				
フィルター種類			高性能フィルター				
フィルター品番			SPW-MFU125R			AFT-MU280U	
適用機種			71形	90･112形	140形	224形	280形
初期風量		m³/min	23	30	36	56	70/74
最終風量		m³/min	(18)	(23)	(29)	52	68
初期圧損		Pa	18.6	26.5	34.3	27	51/59
最終圧損		Pa	58.8	58.8	88.2	54	106/118
保塵量		g/ﾕﾆｯﾄ	280	270	324	585	711/684
フィルター寿命		時間	3,500	2,500	2,500	2,500	2,500
平均効率			比色法 65%				
使用濾材			東洋紡―EFV-60			ホリオレフィン系帯鴫繊維	
質量		kg	1.5X2			3.2X2	
フィルター寸法	幅	mm	495X2			600X2	
	高さ	mm	375			420	
	奥行	mm	85			150	
適用フィルターチャンバー	品番		SPW-MFU125RR			CMB-FU280U	
	質量	kg	12			23	
	幅	mm	1,010			1,247	
	厚み	mm	404			476	
	奥行	mm	300			521	

■仕様（比色法 90%）

適用空調機			天井埋込形				
フィルター種類			高性能フィルター				
フィルター品番			SPW-HFU125			AFT-HU280	
適用機種			71形	90･112形	140形	224形	280形
初期風量		m³/min	23	30	36	56.0	70/74
最終風量		m³/min	8	23	29	42	60
初期圧損		Pa	24.5	34.3	44.1	36	61/65
最終圧損		Pa	78.4	78.4	98.0	98	182/194
保塵量		g/ﾕﾆｯﾄ	280	270	324	585	629/656
フィルター寿命		時間	3,500	2,500	2,500	2,500	2,500
平均効率			比色法 65%				
使用濾材			東洋紡―EFV-60			ホリオレフィン系帯鴫繊維	
質量		kg	3.1X2			3.2X2	
フィルター寸法	幅	mm	495X2			600X2	
	高さ	mm	375			420	
	奥行	mm	150			150	
適用フィルターチャンバー	品番		SPW-MFU125RR			CMB-FU280U	
	質量	kg	12			23	
	幅	mm	1,010			1,247	
	厚み	mm	404			476	
	奥行	mm	300			521	

●ロングライフフィルター（SPW-LFU125R1 / AFT-LU280U）

適用空調機			天井埋込形				
フィルター種類			ロングライフフィルター				
フィルター品番			SPW-LFU125R1			AFT-LU280	
適用機種			71形	90･112形	140形	224形	280形
初期風量		m³/min	23	30	36	56	70/74
初期圧損		Pa	4.9	7.8	9.8	13	21/24
最終圧損		Pa	29.4	39.2	49.0	79	79
保塵量		g/ﾕﾆｯﾄ	210	188	177	690	477/510
フィルター寿命		時間	2,500				
平均効率			重量法 60%				
使用濾材			比色法 65%			ポリエステル　SPG	
質量		kg	1.2×2			1.6×2	
フィルター寸法	幅	mm	495×2			600×2	
	高さ	mm	375			420	
	奥行	mm	50			50	
適用フィルターチャンバー	品番		SPW-MFU125RR			CMB-FU280U	
	質量	kg	12			23	
	幅	mm	1,010			1,247	
	厚み	mm	404			476	
	奥行	mm	300			521	

注意：フィルターの寿命は、塵埃濃度0.15mg/m3（ビル管理法規制値）で算出した値を示します。
　　またフィルターの寿命は使用条件によって異なりますので、ご注意ください。

●高性能フィルター（SPW-MFU125R,HFU125R / AFT-MU280U,HU280U）

■仕様（比色法 60%）

適用空調機			天井埋込形ハイフレッシュ		
フィルター種類			高性能フィルター		
フィルター品番			SPW-MFU125R	AFT-MU280U	
適用機種			110形	170形	280形
初期風量		m^3/min	18.3	27.8/28.0	34.3/34.4
最終風量		m^3/min	14.7/15.7	21.8/21.3	26.7/26.0
初期圧損		Pa	11.8	10	15
最終圧損		Pa	54.9	70	70/80
保塵量		g/ﾕﾆｯﾄ	329	500	620
フィルター寿命		時間	5,000	5,000	5,000
平均効率			比色法 65%		
使用濾材			東洋紡—EFV-60	ホリオレフィン系帯鳴繊維	
質量		kg	1.5×2	3.2×2	
フィルター寸法	幅	mm	495×2	600×2	
	高さ	mm	375	420	
	奥行	mm	85	150	
適用フィルターチャンバー	品番		SPW-MFU125RR	CMB-FU280U	
	質量	kg	12	23	
	幅	mm	1,010	1,247	
	厚み	mm	404	476	
	奥行	mm	300	521	

■仕様（比色法 90%）

適用空調機			天井埋込形ハイフレッシュ		
フィルター種類			高性能フィルター		
フィルター品番			SPW-HFU125	AFT-HU280	
適用機種			110形	170形	280形
初期風量		m^3/min	18.3	27.5/27.7	33.8/34.0
最終風量		m^3/min	12.3/14.2	21.8/21.3	26.7/26.0
初期圧損		Pa	15.7	15	20
最終圧損		Pa	90.2	70	70/80
保塵量		g/ﾕﾆｯﾄ	329	500	620
フィルター寿命		時間	5,000	5,000	5,000
平均効率			比色法 65%		
使用濾材			東洋紡—EFV-60	ホリオレフィン系帯鳴繊維	
質量		kg	1.5×2	3.2×2	
フィルター寸法	幅	mm	495×2	600×2	
	高さ	mm	375	420	
	奥行	mm	85	150	
適用フィルターチャンバー	品番		SPW-MFU125RR	CMB-FU280U	
	質量	kg	12	23	
	幅	mm	1,010	1,247	
	厚み	mm	404	476	
	奥行	mm	300	521	

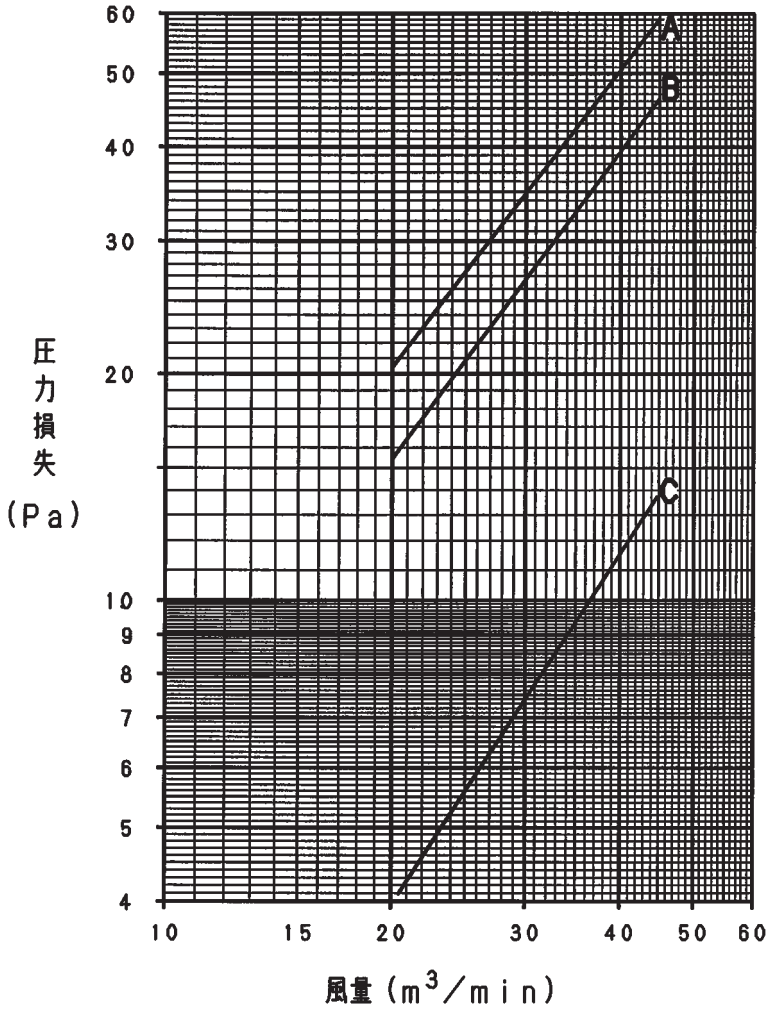
●ロングライフフィルター（SPW-LFU125R1 / AFT-LU280U）

適用空調機			天井埋込形ハイフレッシュ		
フィルター種類			ロングライフフィルター		
フィルター品番			SPW-LFU125R1	AFT-LU280	
適用機種			110形	170形	280形
初期風量		m^3/min	18.3	28.1	34.6
初期圧損		Pa	2.9	5	7
最終圧損		Pa	—	—	—
保塵量		g/ﾕﾆｯﾄ	329	500	620
フィルター寿命		時間	5,000		
平均効率			重量法 60%		
使用濾材			比色法 65%	ポリエステル　SPG	
質量		kg	1.2×2	1.6×2	
フィルター寸法	幅	mm	495×2	600×2	
	高さ	mm	375	420	
	奥行	mm	50	50	
適用フィルターチャンバー	品番		SPW-MFU125RR	CMB-FU280U	
	質量	kg	12	23	
	幅	mm	1,010	1,247	
	厚み	mm	404	476	
	奥行	mm	300	521	

注意：フィルターの寿命は、塵埃濃度0.15mg/m3（ビル管理法規制値）で算出した値を示します。
またフィルターの寿命は使用条件によって異なりますので、ご注意ください。

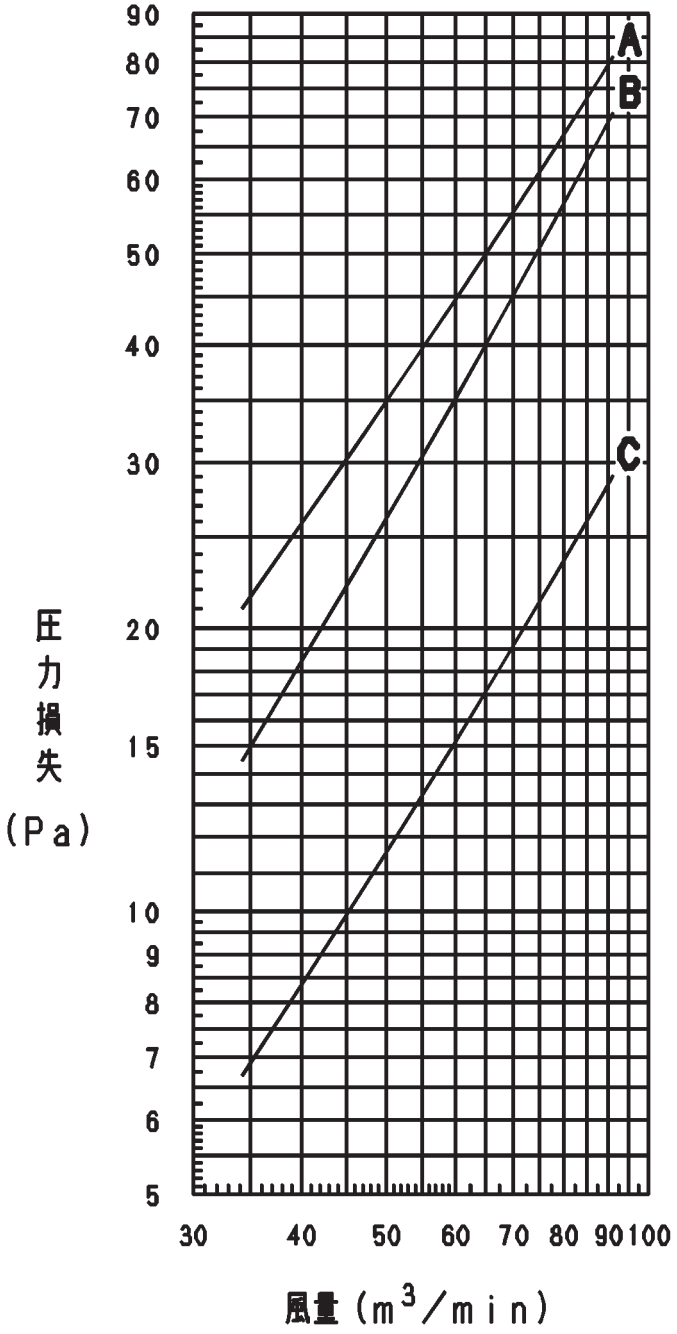
■高性能・ロングライフフィルターの圧力損失特性
〔適用機種:71・140 形〕

A : SPW-HFU125R
(高性能フィルター・比色法 90%)
B : SPW-MFU125R
(高性能フィルター・比色法 65%)
C : SPW-LFU125R1
(ロングライフフィルター)



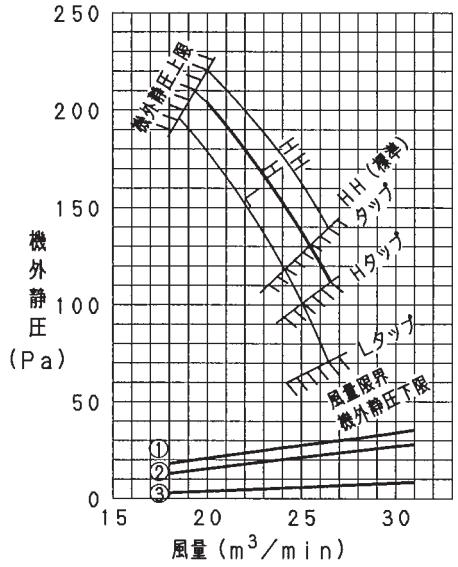
■高性能・ロングライフフィルターの圧力損失特性
〔適用機種:224・280 形〕

A : AFT-HU280U
(高性能フィルター・比色法90%)
B : AFT-MU280U
(高性能フィルター・比色法65%)
C : AFT-LU280U
(ロングライフフィルター)



■風量～圧力損失特性線図〔高性能・ロングライフフィルター〕

・71形

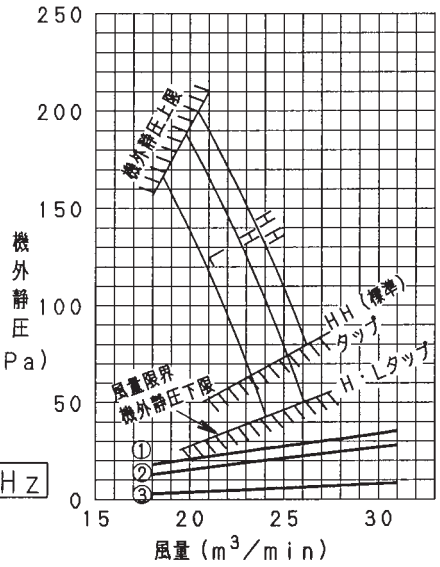


風速切換リモコン表示	急	強	弱	備　考
HHタップ（標準）	HH	H	L	—
Hタップ	H	H	L	別売コネクタ必要
Lタップ	L	L	L	別売コネクタ必要

フィルターの初期圧力損失

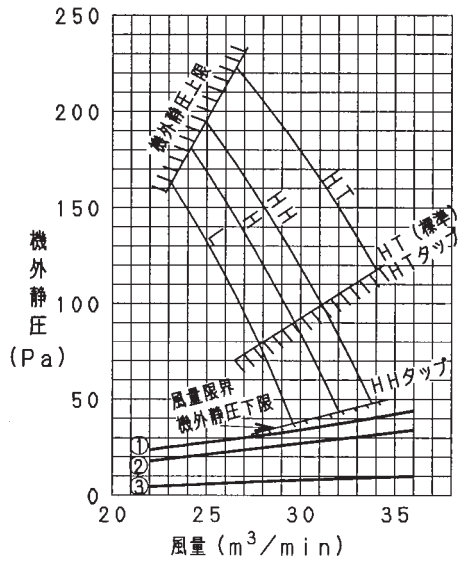
① SPW-HFU125R
（高性能フィルター／比色法 90%）
② SPW-MFU125R
（高性能フィルター／比色法 65%）
③ SPW-LFU125R1
（ロングライフフィルター）

50Hz



60Hz

・90・112形

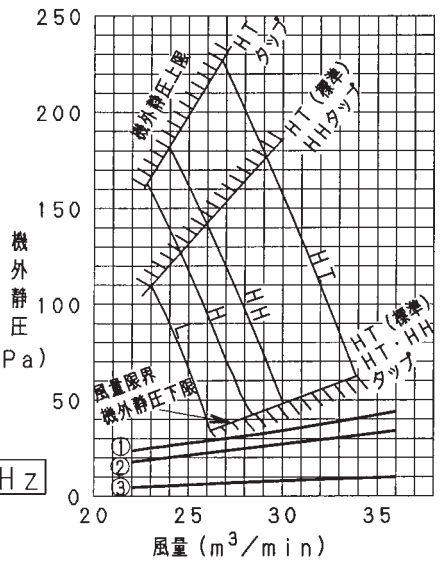


風速切換リモコン表示	急	強	弱	備　考
HTタップ（標準）	HT	H	L	—
HTタップ	HT	HH	H	別売コネクタ必要
HHタップ	HH	H	L	別売コネクタ必要

フィルターの初期圧力損失

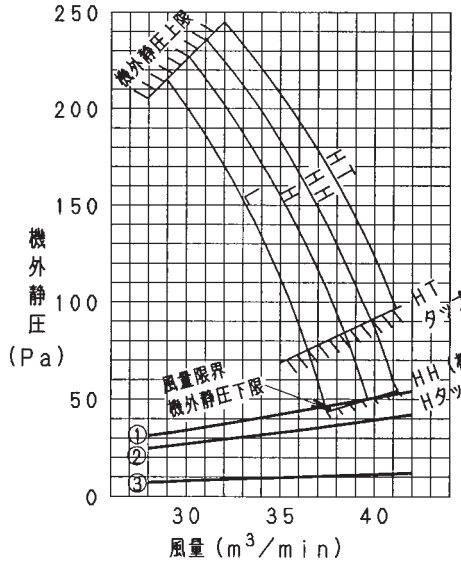
① SPW-HFU125R
（高性能フィルター／比色法 90%）
② SPW-MFU125R
（高性能フィルター／比色法 65%）
③ SPW-LFU125R1
（ロングライフフィルター）

50Hz



60Hz

・140形

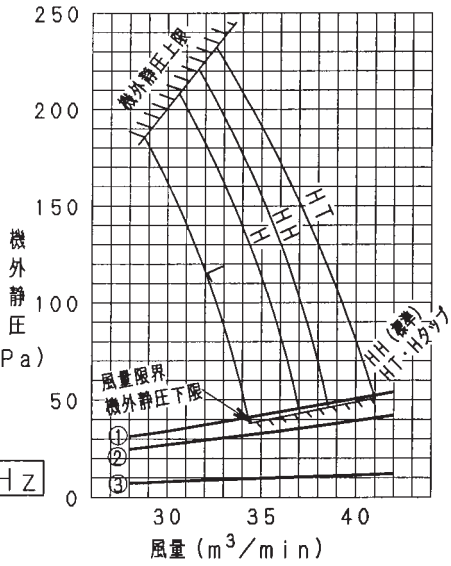


風速切換リモコン表示	急	強	弱	備　考
HHタップ（標準）	HT	H	L	別売コネクタ必要
Hタップ	HH	H	L	—
Lタップ	H	H	L	別売コネクタ必要

フィルターの初期圧力損失

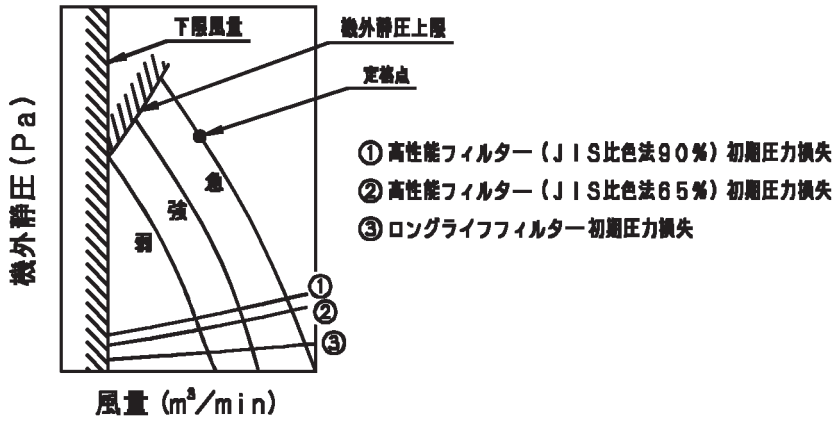
① SPW-HFU125R
（高性能フィルター／比色法 90%）
② SPW-MFU125R
（高性能フィルター／比色法 65%）
③ SPW-LFU125R1
（ロングライフフィルター）

50Hz

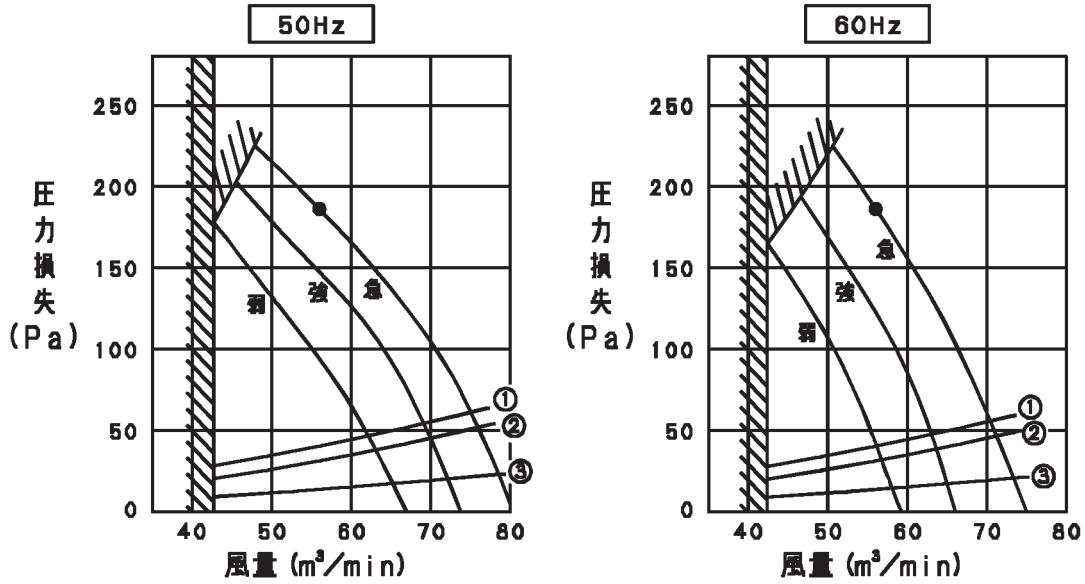


60Hz

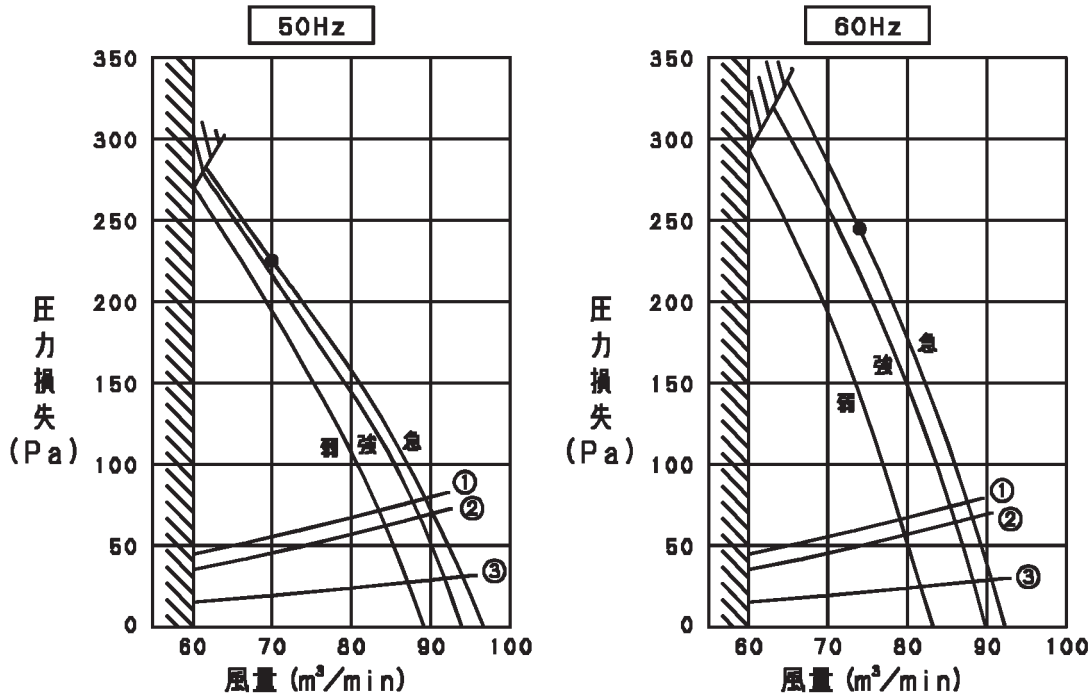
■風量～圧力損失特性線図〔高性能・ロングライフフィルター〕



・224形

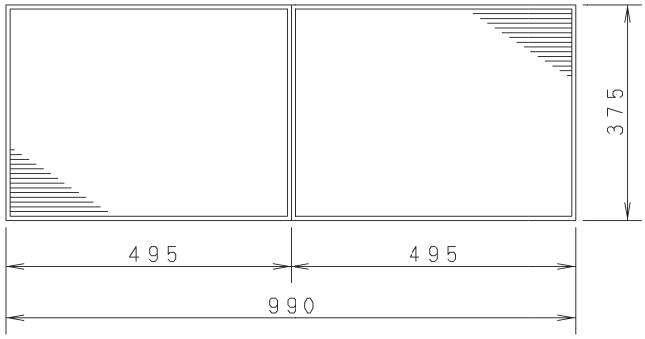


・280形



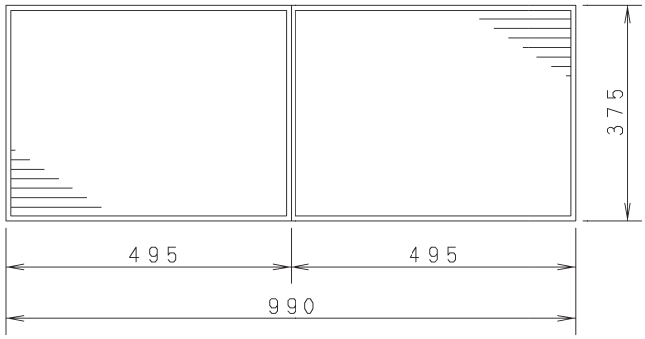
■外形寸法図

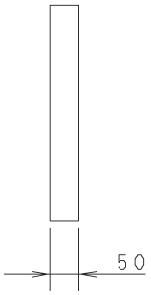
■ SPW-HFU125R
　　-MFU125R

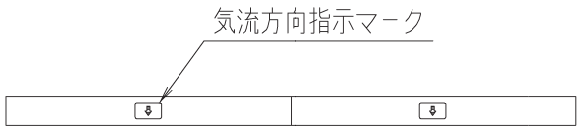


適　用	A寸法（mm）
SPW-HFU125R	150
SPW-MFU125R	85

■ SPW-LFU125R1



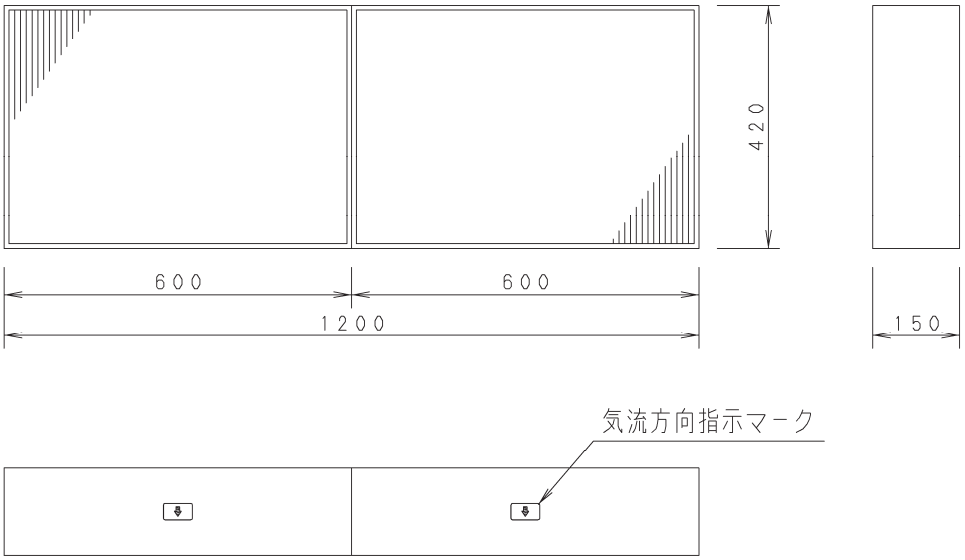




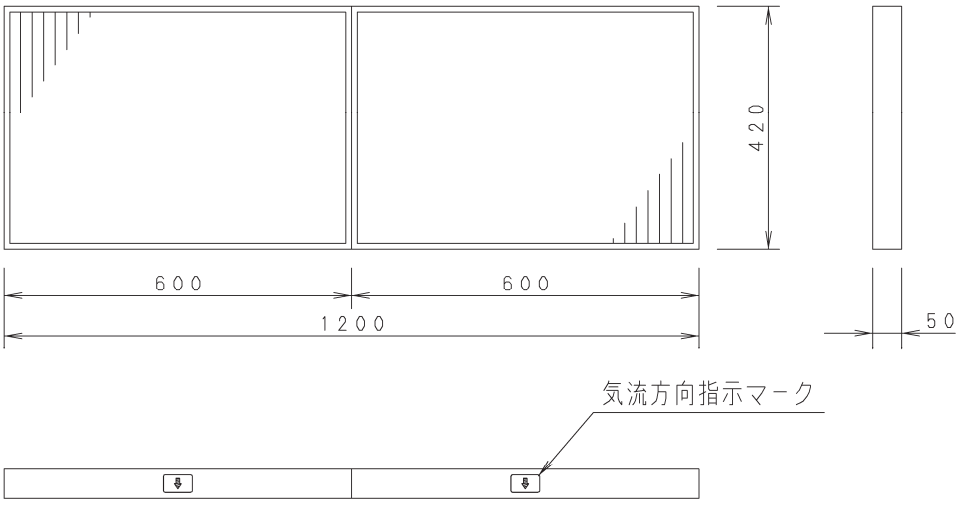
注　記

1）本部品取付けにはフィルターチャンバーとスペーサーチャンバーが必要です。
2）適用フィルターチャンバー：SPW-MFU125RR
　適用スペーサーチャンバー：CZ-03SPE3
　（高性能・ロングライフフィルター共同ーチャンバーを使用します）
3）フィルターはいずれも2枚1組で使用します。

■ AFT－HU280U
　　－MU280U



■ AFT－LU280U

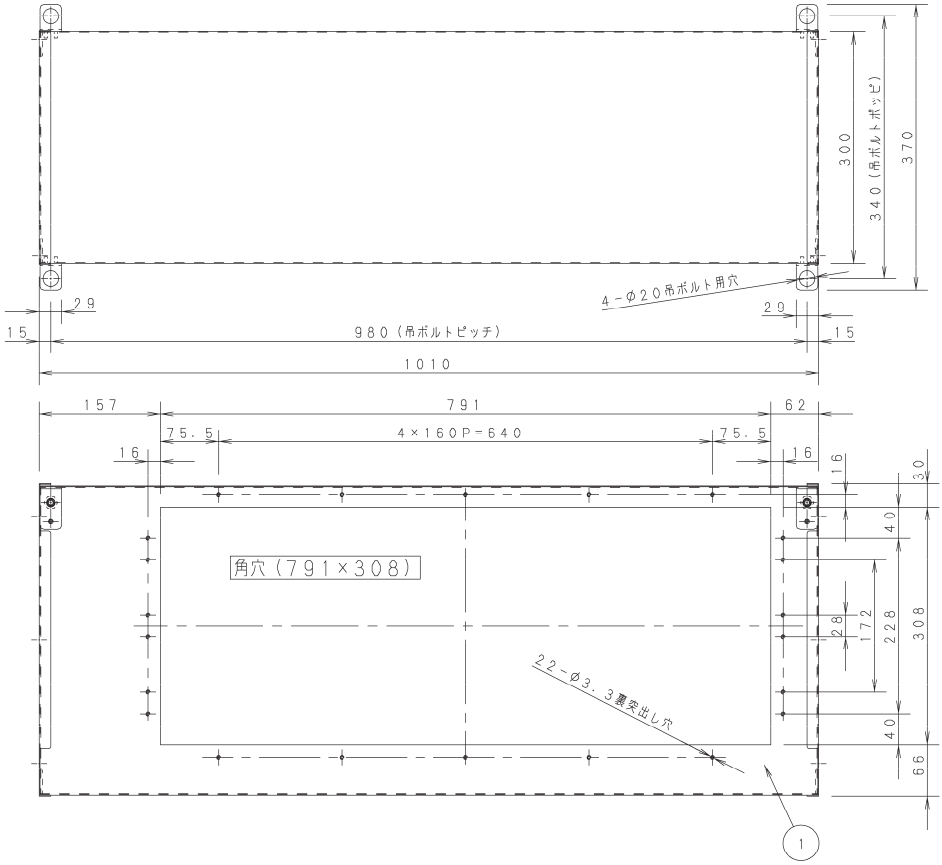


注　記

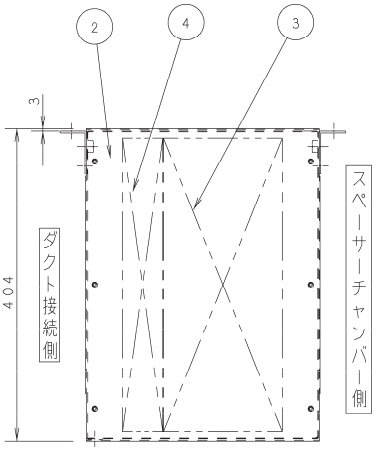
1）適用フィルタチャンバー：CMB－FU280U
　（高性能・ロングライフフィルター共同一チャンバーを使用します）
2）フィルターはいずれも2枚1組で使用します。

●フィルターチャンバー

■外形寸法図（SPW-MFU125RR）

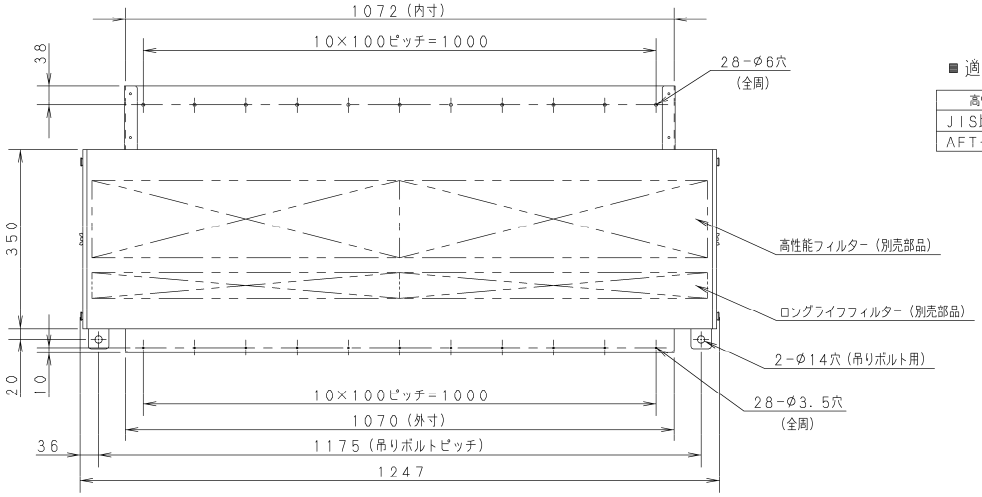


1	チャンバー本体
2	フィルタ挿入口カバー（左右2箇所に有り）
3	高性能フィルタ（別売部品） SPW-MFU125Rまたは SPW-HFU125R
4	ロングライフフィルタ（別売部品） SPW-LFU125R1



注記）ダクト接続用のフランジは、空調機本体の吸込側フランジをはずし、
フィルタチャンバーに取付けます。

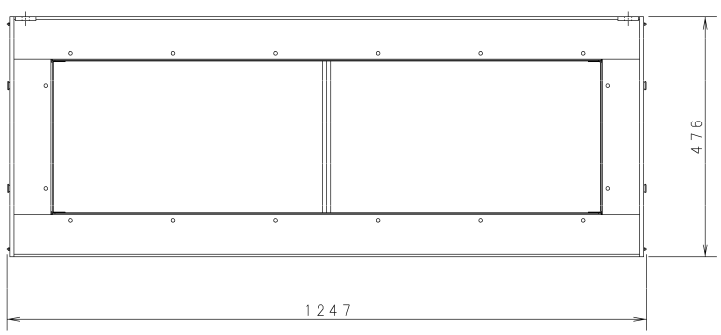
■外形寸法図（CMB-FU280U）

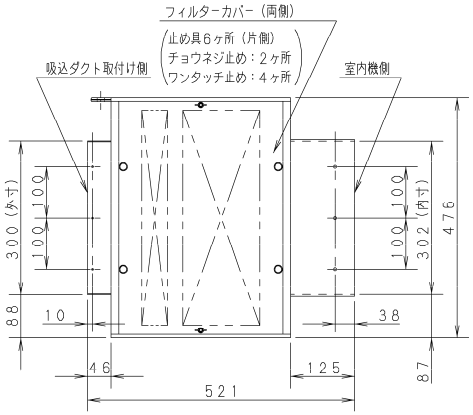


■ 適合フィルター（別売部品）

高性能フィルター（どちらかを使用）		ロングライフフィルター
JIS比色法・65%	JIS比色法・90%	
AFT-MU280U	AFT-HU280U	AFT-LU280U

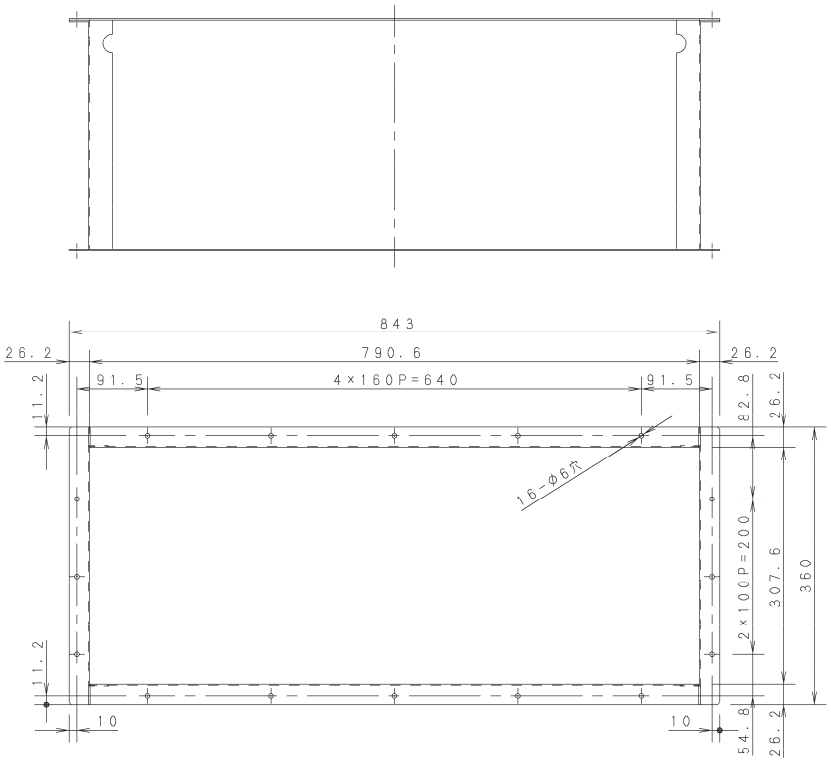
※各フィルターは2枚1組で使用します。

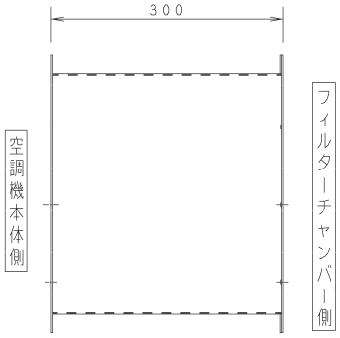




●スペーサーチャンバー（CZ-03SPE3）

■外形寸法図





注　記

1）スペーサーチャンバーはフィルターチャンバー（別売品）取付時に配管スペースを確保するために必要となります。

2）加湿器チャンバーを使用する場合はこのスペーサーチャンバーは不要です。

■取付説明書

85464759132005

取付説明書（天井埋込形フィルターチャンバー）

●本部品は断熱処理していません。結露の恐れがある場合は必ず断熱工事を行ってください。

1 取付け前の準備

●フィルターチャンバーとエアコン、中・高性能フィルター、ロングライフフィルター（別売品）の組合せは下記の通りですので、確認してください。

適合エアコン	フィルターチャンバー	スペーサーチャンバー	フィルター（2個で1セット）	
天井埋込形 高静圧タイプ	SPW−MFU125RR	SPW−MFU125RR2 CZ−03SPE3	中性能フィルター	SPW−MFU125R
			高性能フィルター	SPW−HFU125R
			ロングライフフィルター	SPW−LFU125R1

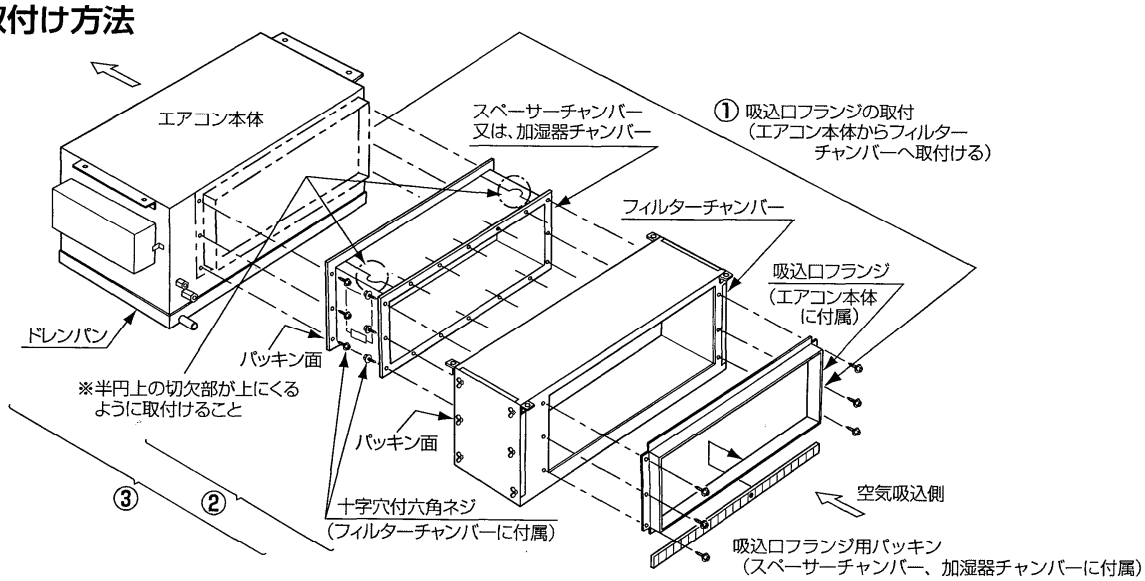
注：本部品の単独取付けはできません。必ず別売のスペーサーチャンバー又は、加湿器チャンバー（RH−UU125SR）と併用してください。（3 取付け方法参照）

2 付属品

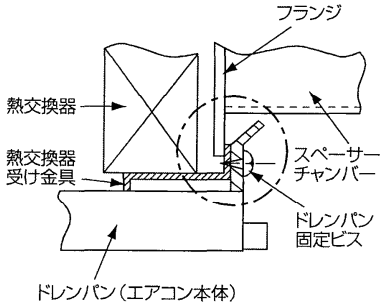
●下記部品が梱包内部に付属されていますので、確認してください。

名　称	十字穴付六角ネジ	ワッシャー	パッキン
形　状	 M4×10		
個　数	16	8	2
備　考	チャンバー取付用	吊りボルト用	中性能フィルターガイド用

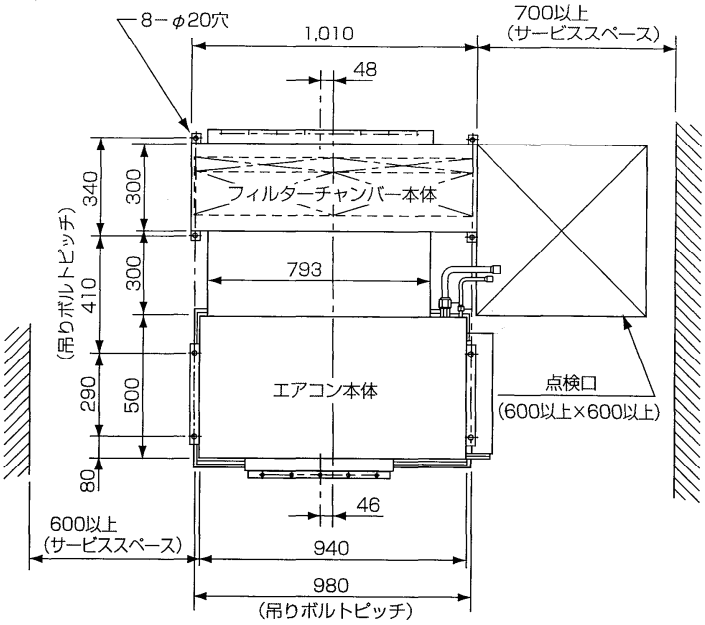
3 取付け方法



1. エアコン本体の吸込口フランジを外し、フィルターチャンバーの吸込口（パッキンの貼っていない面）に取付けてください。
この時、吸込口フランジの下側にパッキン（スペーサーチャンバー又は、加湿器チャンバーに付属）を貼付けてください。（上図①）
2. 付属の十字穴付六角ネジでフィルターチャンバーを組み立ててください。
チャンバーには方向性があるので注意してください。（上図②）
特にスペーサーチャンバーの上下方向には注意してください。
半円状の切欠のある方が上側にくるように取付けてください。（上図※印）
3. エアコン本体付属の据付工事説明書をよく読んで、エアコン本体、フィルターチャンバーの据付位置、サービススペース、点検口などを決定してください。
4. 据付位置決定後、吊りボルトの設置、エアコン本体・フィルターチャンバーの据付を行ってください。（上図③）
フィルターチャンバーをエアコン本体に取付ける時に、エアコン本体の熱交換器受け金具の内側にチャンバーのフランジ部がはまり込むように取付けてください。（右図◌内）

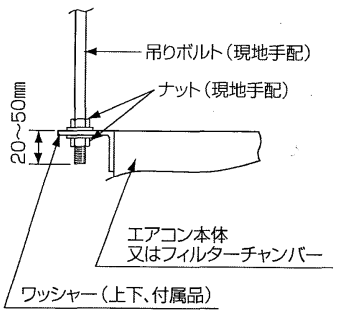


●吊りボルト位置とサービススペース



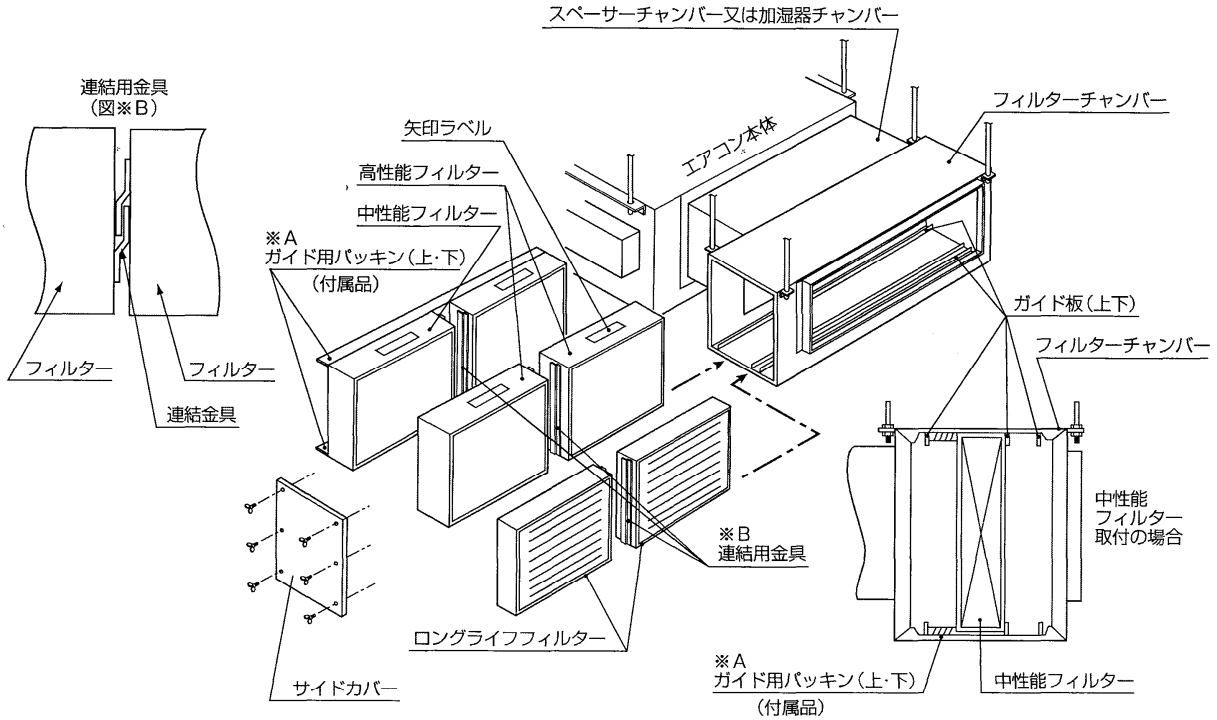
ご注意

- ●吊りボルトは確実に固定してください。
- ●エアコン本体に付属されている据付工事説明書をよく読んでください。
- ●吊りボルト(M10又は3/8″)、ナットは現地手配願います。



4 フィルターの取付け方法

1. フィルターチャンバーのサイドカバーを取外します。
2. 中性能フィルターを組込む場合は、下図のようにガイド用パッキン（フィルターチャンバーに付属）をフィルターチャンバー内側上下に、ガイド板に沿って貼付けてください。（下図※A）
   高性能フィルター、ロングライフフィルター取付には不要です。
3. 次にフィルターをガイド板に沿って組込みます。この時フィルターの方向（矢印ラベルの方向）が空気の流れ方向と一致するように取付けてください。
   又、フィルターは連結用金具どうしが確実にはめ込まれるように取付けてください。（下図※B）
4. 最後にサイドカバーを取付けてください。

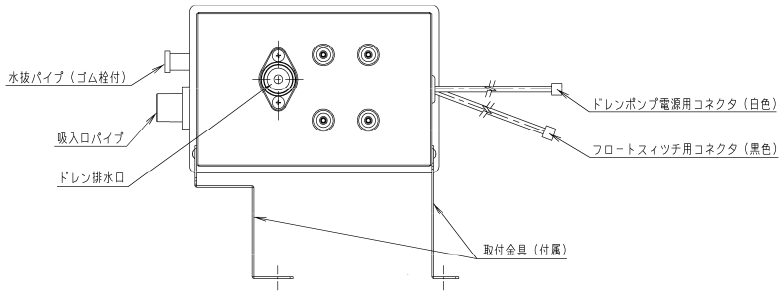


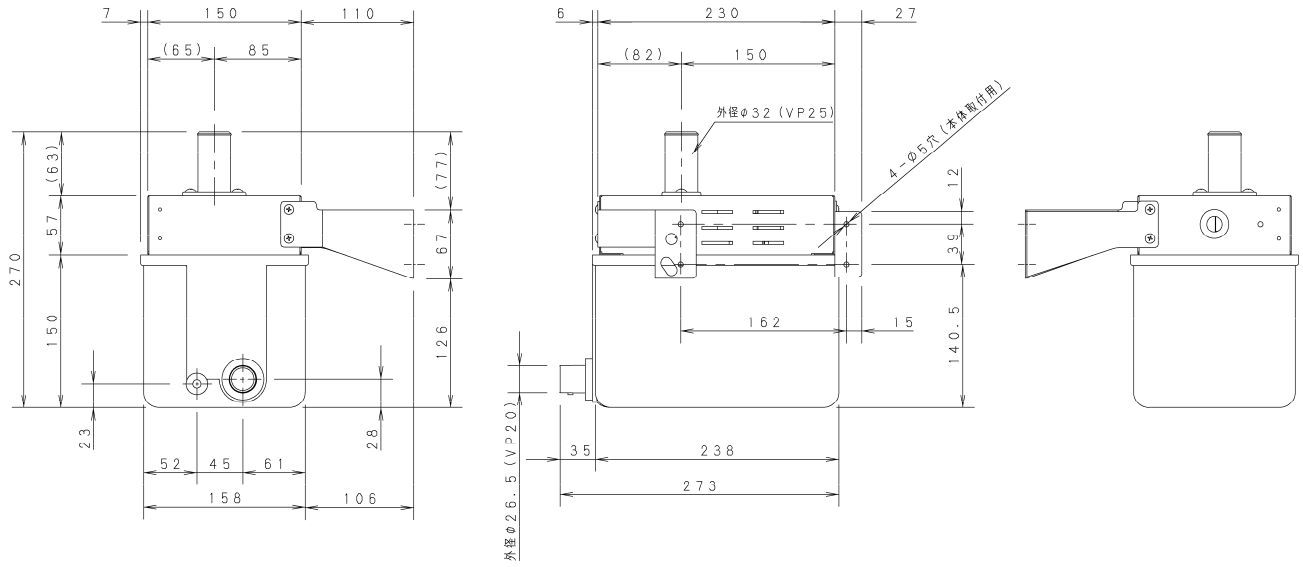
●ドレンアップキット（DP-U140B、DP-U280B）

■仕様

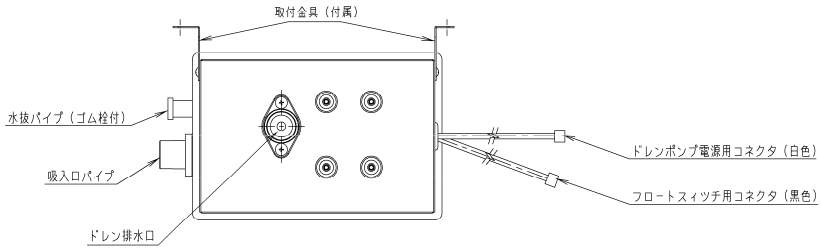
品　番		DP-U140B	DP-U280B
適用機種	天井埋込形	71～140形	224・280形
	天井埋込形ハイフレッシュ	110形	170・210形
ドレンアップキット	電圧(V)	単相　200Ｖ　50／60Ｈｚ	
	電流(A)	0．13／0．10	
	消費電力(W)	12／11	
	使用流体	ドレン水	
	温度範囲	流体温度 ： 0～40℃（但し、ドレン水凍結なきこと）	
		周囲温度 ： 0～45℃（温度ＲＨ95%以下）	
	吐出量	水位10mmで400ｃｃ／ｍｉｎ以上	
	(cc/min)	（水位とは、ポンプ本体の先端が水没している深さ）	
フロートスイッチ		液面が下降して接点ＯＮ	

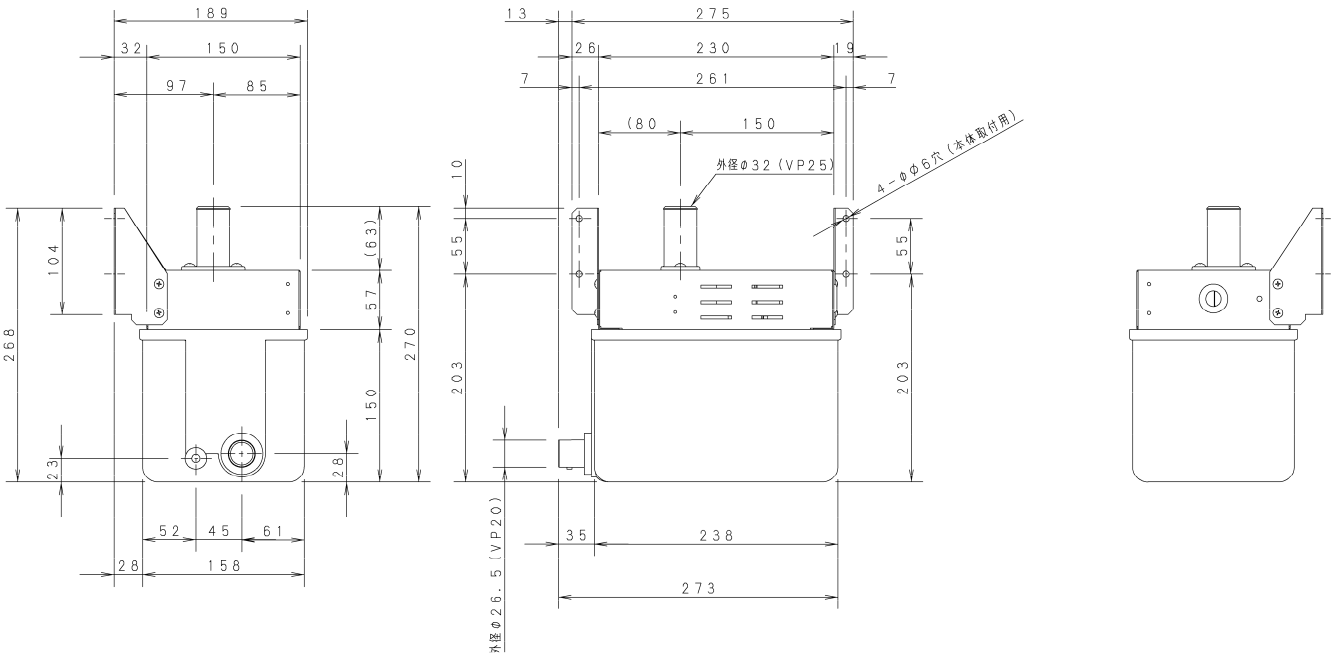
■外形寸法図（DP-U140B）





■外形寸法図（DP-U280B）





■取付説明書

Panasonic®

ドレンアップキット取付説明書

品番　DP-U140B　DP-U280B

1. 適合エアコン形式

ドレンアップキット形名	１４０形	２８０形
適　合　機　種	天井埋込タイプ ７１，９０，１１２，１４０形 天井埋込ハイフレッシュタイプ １１０形	天井埋込タイプ ２２４，２８０形 天井埋込ハイフレッシュタイプ １７０，２１０形

取付説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」（1～2ページ）は、施工前に必ずお読みください。
室内ユニットの添付資料「据付工事担当のかたへ」「電気工事担当のかたへ」も必ず参照してください。

取付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また「取付説明書」は、「据付工事担当のかたへ」「電気工事担当のかたへ」「取扱説明書」とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容（禁止事項）です。	❗ ⏚ 実行しなければならない内容（強制事項）です。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

■ 電源配線をバンドなどで束ねて収納しない
（発熱、火災の原因）

■ 配線は途中接続しない
（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）

■ 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
（故障や発熱、火災の原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れ、感電、火災等の原因）

■ 電気工事（アース工事を含む）は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および「据付工事担当のかたへ」、「電気工事担当のかたへ」に従って施工する
（感電、火災のおそれ）

■ 配線をはさまないように、カバーは元どおり確実に取り付ける
（感電、火災の原因）

■ アース工事（D種接地工事）を行う
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話などのアース線に接続しない
アース線は、ベランダの手すりにとらない
（感電の原因）

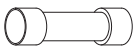
⚠ 注意

■ ドレン配管は、「据付工事担当のかたへ」に従って確実に排水するよう配管し、結露が生じないよう保温する
（配管工事に不備があると水漏れし、家財等を濡らす原因）

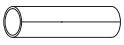
■ 取付説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で取り付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その取り付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

ACXF60-20133
85464359987002
PA0906 - 30823

2. 付属品

名 称	ドレンアップキット本体	取り付け金具		ドレンホース断熱材付（本体接続用）
形 状		(140 形)	(280 形)	 L480mm（140 形） L260mm（280 形）
個 数	1	各 1	各 1	1

名 称	ホースバンド金具	本体接続側断熱材	ドレンホース（排水側）	排水側断熱材
形 状	φ26 用　φ32 用	T5　T3	L230mm	T5
個 数	各 1	各 2	1	1

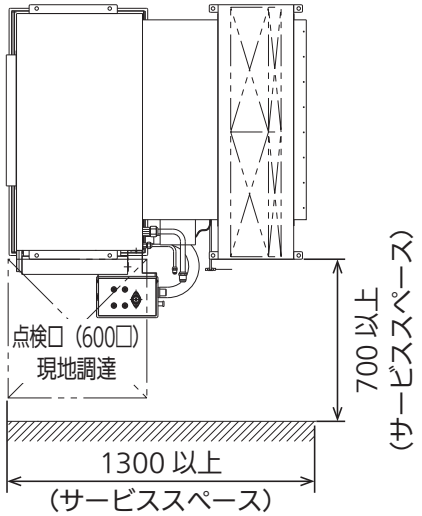
名 称	排水側断熱チューブ	取り付けネジ	クランパー	ビニールクランパー
形 状	 L300mm	4×12（2種）		L300mm
個 数	1	8	4	4

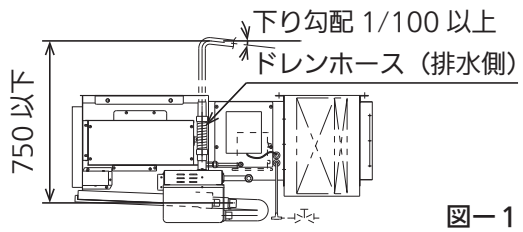
3. 各室内ユニットのドレンアップキット取り付け位置

● 室内ユニットの据付状態が水平になっていることを確認してください。

a）点検口の設置　● 点検サービス作業等が容易に行えるように、点検口を設けてください。

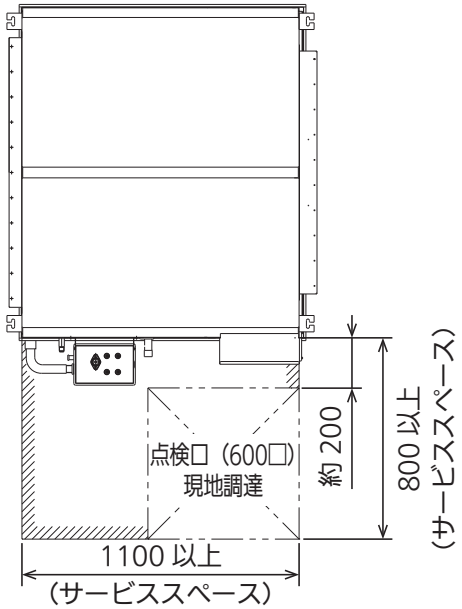
ドレンアップキット１４０形

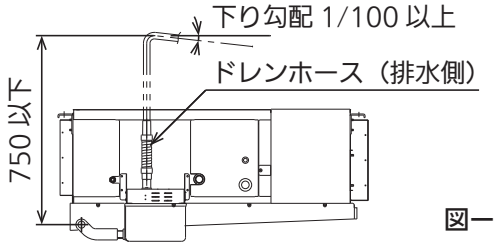




図－1

ドレンアップキット２８０形





図－2

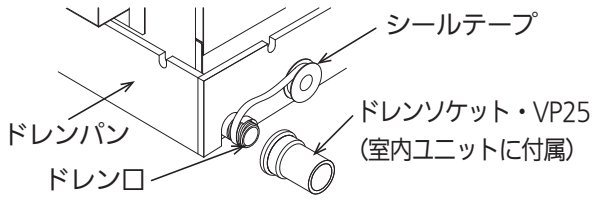
4. 取付方法　P3, P5, P6, P7 参照

a）ドレンアップキットの取り付け準備

● ドレンソケット（ＶＰ２５・室内ユニット付属品）を室内ユニットのドレン口に、図のように取り付けてください。（ドレン口にはシールテープを巻いてください。）

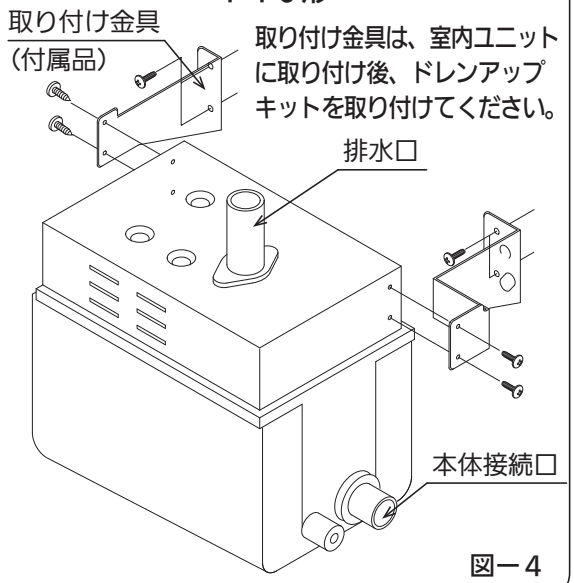
（注意）
室内ユニット取り付け用パネルの取り付け穴を変更して取り付けないでください。ドレンアップキットのドレン皿容量が小さいため、フロートスイッチが作動し、運転ができなくなったり、水漏れの原因となります。

ドレンソケットの取り付け



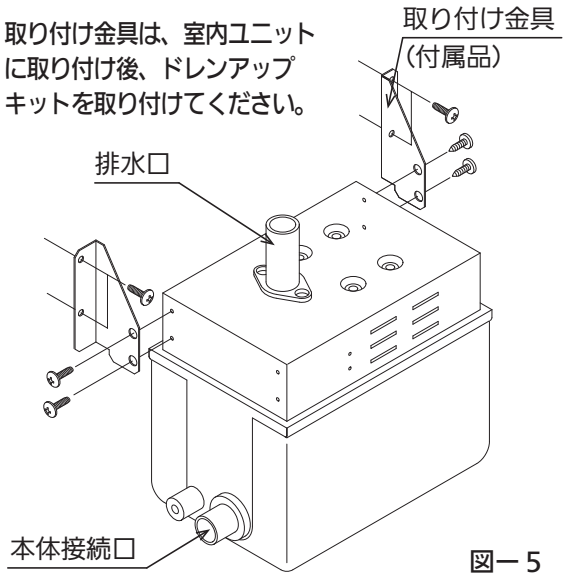
図－3

１４０形



図－4

２８０形



図－5

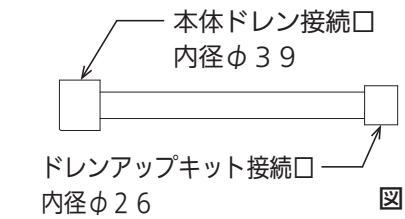
※ドレンアップキット本体接続口と排水口のテープは取りはずしてください。

b）室内ユニット、ドレンアップキットとドレンホース（本体接続用）の取り付け

● 室内ユニットとドレンホースの取り付けは、図のように取り付けてください。（図－7）
ドレンホース両端の口径は違いますので、接続時は十分に注意してください。

（注意）
本体接続用ドレンホースは、ねじりや曲げにより、つぶれないように取り付けてください。
また、ドレンホースは本体ドレン接続口からドレンアップキット接続口までは下り勾配になるように取り付けてください。
水漏れの原因となります。

ドレンホース断熱材付（本体接続用）

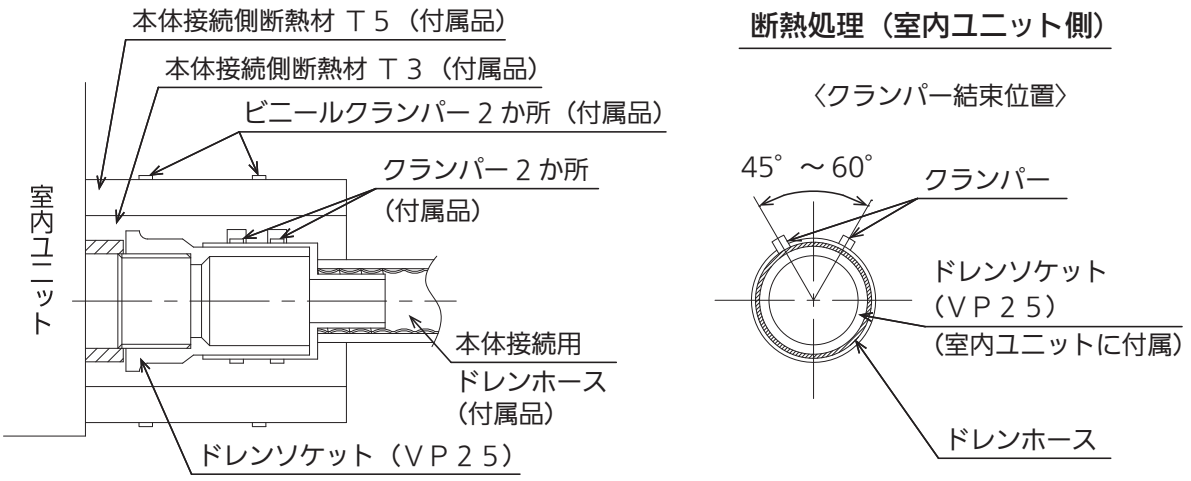


図－6

- 室内ユニットとドレンアップキットの間にトラップは設けないでください。
- ドレンホース取り付け後、室内ユニット側はクランパー（付属品）、ドレンアップキット側はホースバンド金具φ２６用（付属品）で固定してください。（図ー７，８，９）
- ドレンアップキット本体接続口は、ドレンホースを根元まで差し込み、ホースバンド金具φ２６（付属品）をプライヤー等でつまみながら水漏れのないよう取り付けてください。（図ー８，９）

（注意）

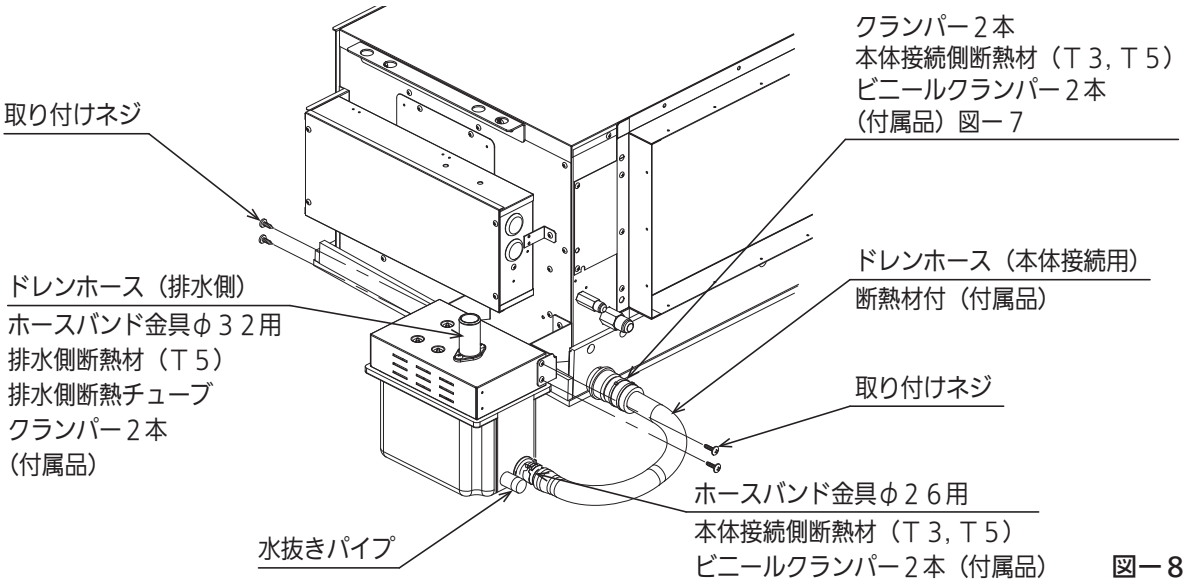
クランパーの結束位置は、図ー7 のように上方 45°～ 60°の位置に結束しないと水漏れの原因になります。



図ー7

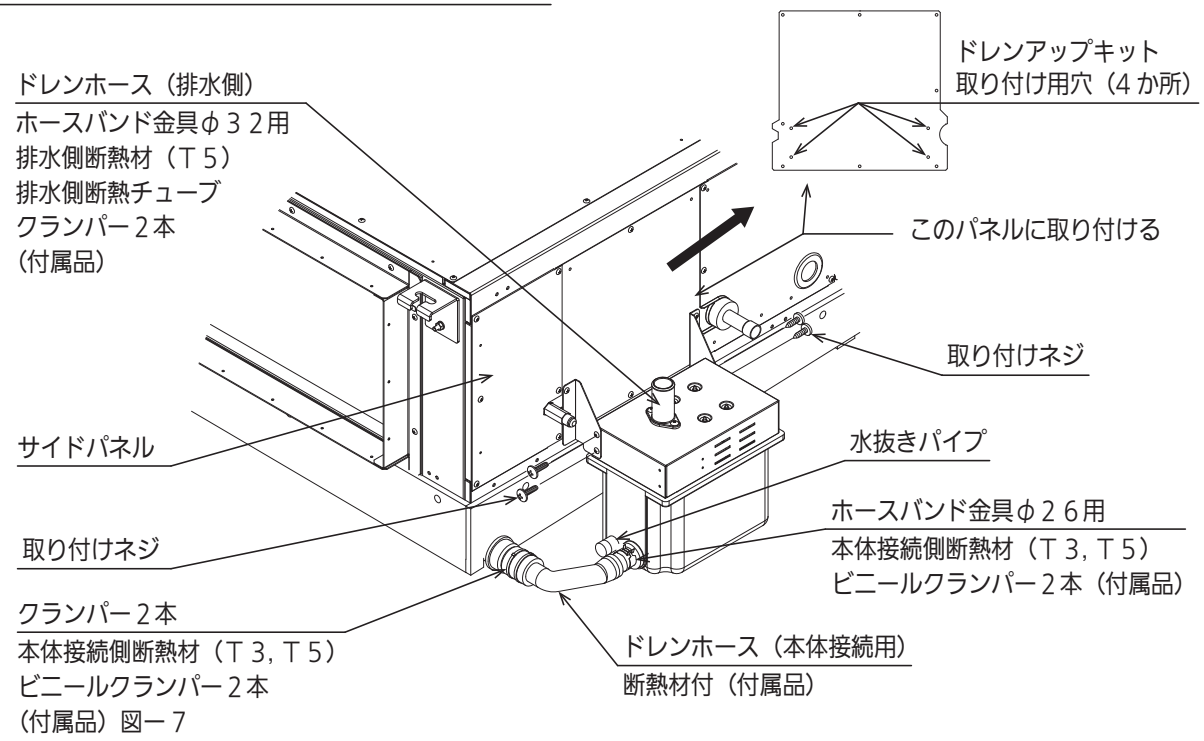
- 本体接続側断熱材（Ｔ３,Ｔ５ 付属品）は、本体接続用ドレンホースの両端に巻き付けてください。
- 本体接続用ドレンホースの両端は、ビニールクランパー（付属品）で固定してください。

ドレンアップキットの取り付け（１４０形）



図ー8

ドレンアップキットの取り付け（２８０形）



図－９

（注意）

- ドレン配管は「据付工事担当のかたへ」に従って確実に排水するよう配管し、結露しないよう断熱してください。水漏れの原因となります。
- ドレンアップキットを取り付けた場合、室内ユニット吸込み側機外静圧は、定格機外静圧の８０%以下で使用してください。水漏れの原因になります。

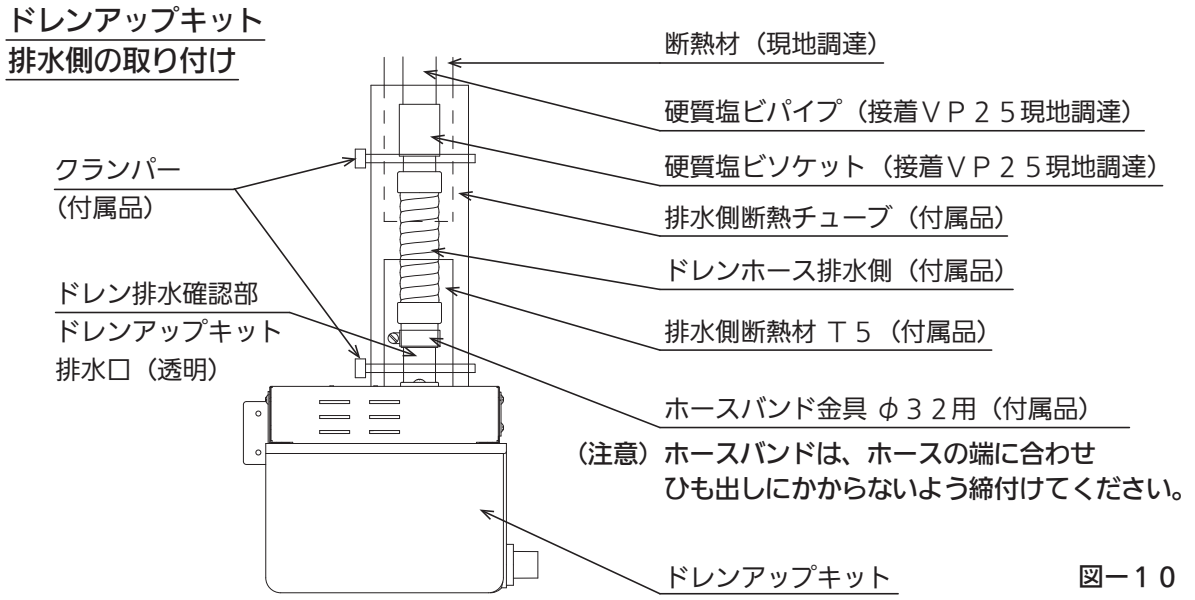
c ）現地ドレン配管のしかた

ドレンホースの取り付け（図－１０）

- ドレンアップキット排水側に、付属のドレンホース（排水側）を取り付けてください。
- ドレンホース（ドレンアップキット側）を、ホースバンド金具φ３２用（付属品）で固定してください。
- ドレンホース（ドレンアップキット側）に排水側断熱材（Ｔ５ 付属品）を巻き付けてください。
- ドレンホースに、排水側断熱チューブ（付属品）を巻き付けてください。
- 排水側断熱チューブを、クランパー２本（付属品）で固定してください。
- 室内部分にあるドレン配管は、必ず断熱してください。

（注意）

- ドレン配管は硬質塩ビソケットＶＰ２５および硬質塩ビパイプ一般管ＶＰ２５を使用し、漏れのないよう接着剤で結合してください。
- ドレン配管は必ず下り勾配（１／１００以上）とし、トラップや山越えを作らないようにしてください。
- ドレン配管が長い場合には、途中に支持金具を設けてドレン配管の波打ちをなくしてください。
- エアー抜き管は絶対に付けないでください。ドレン水が吹き出ることがあります。
- ドレンアップ高さは、室内ユニット本体ドレン口センターより７５０mm 以下としてください。



図ー１０

５. 電気配線

a ）室内ユニットの電装ボックスカバーをはずします。

b ）電気配線をしてください。
ドレンアップキットのリード線（ドレンポンプ電源用コネクター白色、フロートスイッチ用コネクター黒色）を室内ユニット電装ボックス内の中継コネクターに色を合わせて接続してください。

（注意）

配線は誤配線のないように接続してください。

- 電装ボックス内の２Ｐコネクター（白、黒）に、ドレンアップキット２Ｐコネクター（白、黒）を接続してください。（電装ボックス内２Ｐコネクター（黒）には短絡ソケット（黒）が付いていますので取りはずしてください。不要になります）

c ）配線作業の終了後は、電装ボックスカバーを元どおりに取り付けてください。

6. 試運転について

ドレン排水の確認

- 配管工事、電気工事完了後、排水がうまく行われるか次の要領で確認してください。（図ー１１，１２）（作業前にバケツやウエスを用意してください）

２００Ｖ電源がきている場合

電装ボックス内の電源端子板（R，S端子）に電源を接続してください。

１００Ｖ電源がきている場合

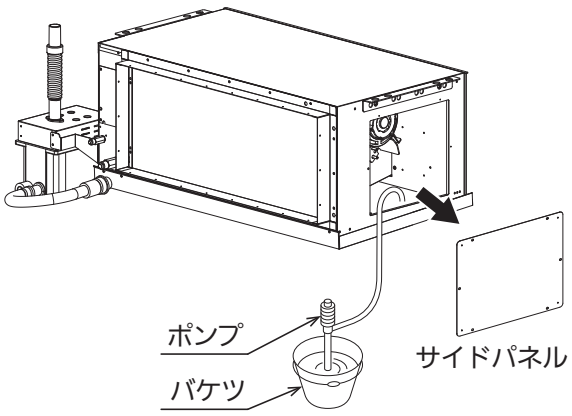
昇圧トランスを使用し、電装ボックス内の電源端子板（R，S端子）に電源を接続してください。

- 電源投入後、下図のとおり、室内ユニットのサイドパネルをはずし、ポンプなどを使用して、ドレンパン内に排水確認用の水（１４０形：約9ℓ、２８０形：約３３ℓ）を少しずつ入れてください。
ドレンパンに水が溜まりフロートスイッチが作動するとドレンポンプが動作し、排水が始まります。排水されない場合は、ドレンポンプおよびフロートスイッチ用コネクタの接続を確認してください。

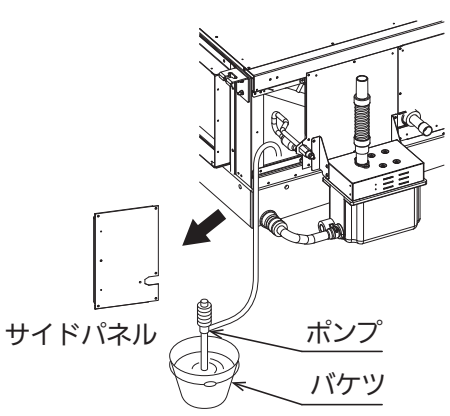
（注意）

フロートスイッチまたはドレンポンプに異常がある場合、注水を続けるとドレンパンから水があふれ出ます。また、水を一度に入れすぎた場合も、水があふれ出ます。

- ドレン水が排水されていることおよび配管接続部から水漏れがないことを確認してください。



図ー１１



図ー１２

7. 長期間エアコンをご使用しない場合

（注意）

ドレンアップキットの水抜きパイプより、水抜きしてください。
ドレンアップキットの中に水が溜まっていますと、臭い、つまりの原因となります。
また、水抜きした場合には、必ずゴム栓で水漏れしないよう、しっかりと締めてください。

●気化式加湿器（RH-UN45U）

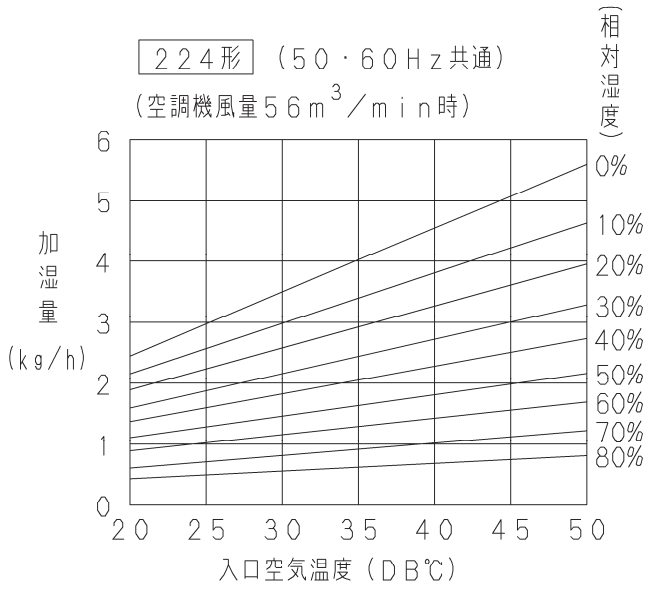
■仕様

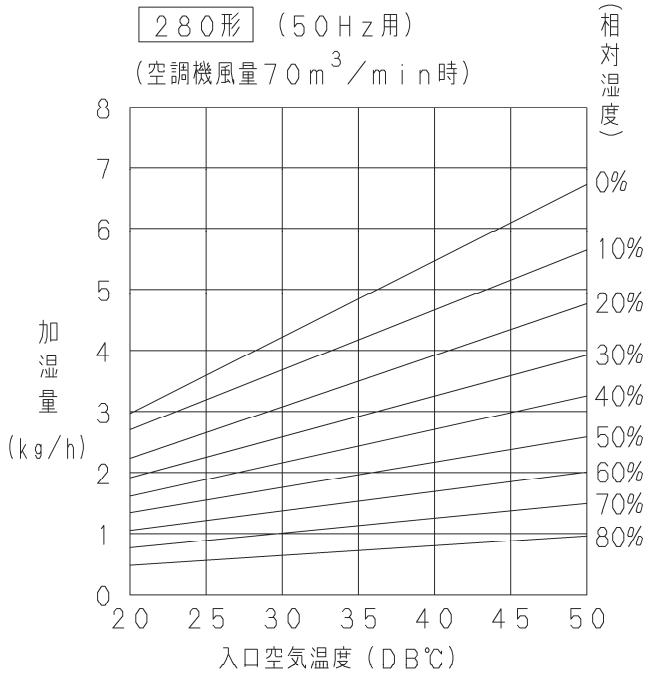
適用空調機タイプ			天井埋込形高制圧タイプ	
加湿器品番			RH-UN45U	
適用機種			224形	280形
加湿方式			自然蒸発式	
加湿性能		kg/h	3.5	4.5
給水量		kg/h	18	
給水制御方式			空調機が暖房運転中給水	
電源電圧			単相200V　50/60Hz	
定格消費電力		W	7	
本体質量		kg	2.5	
使用条件	給水圧力	MPa	0.05～0.5	
	使用周囲温度		5℃～50℃,90%RH以下	
	使用水		上水道又はこれと同等以上のこと	
	取付角度		全方向共±2° 以内のこと	
保護装置			—	

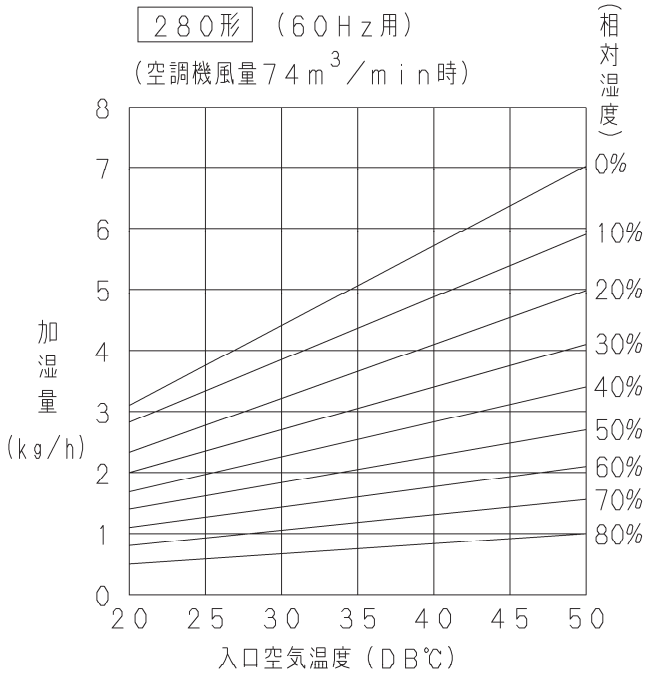
注）加湿性能は加湿器入口空気温度40℃、15%RHの値を示します。

1．加湿（暖房）シーズン中は元電源を入れたままにしておいてください。
　万一、給水用電磁弁にゴミなどがからみ閉じなくなった場合の漏水を防止します。
2．加湿（暖房）シーズン後、給水用サービスバルブ（現地調達）を必ず閉めてください。
3．排水用止水バルブ（現地調達）の取付けをおすすめします。加湿（暖房）シーズン
　使用開始時に給水用サービスバルブと排水用止水排水バルブを開き、給水配管内
　の水を新しい水に置換してから使用することをおすすめします。
4．ヒューミディスタットをご使用の場合は、希望の湿度目盛に合わせます。
　設定を変化させて給水用電磁弁が正しく加湿制御していることを確認してください。
5．加湿能力の低下防止のため、1年に1回シーズン前に加湿部を洗浄して下さい。
　水かぬるま湯に中性洗剤を溶かし、柔らかなブラシで表面の汚れを取ってください。
6．加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。
　公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン（型式認可品：現地調達）をご使用ください。

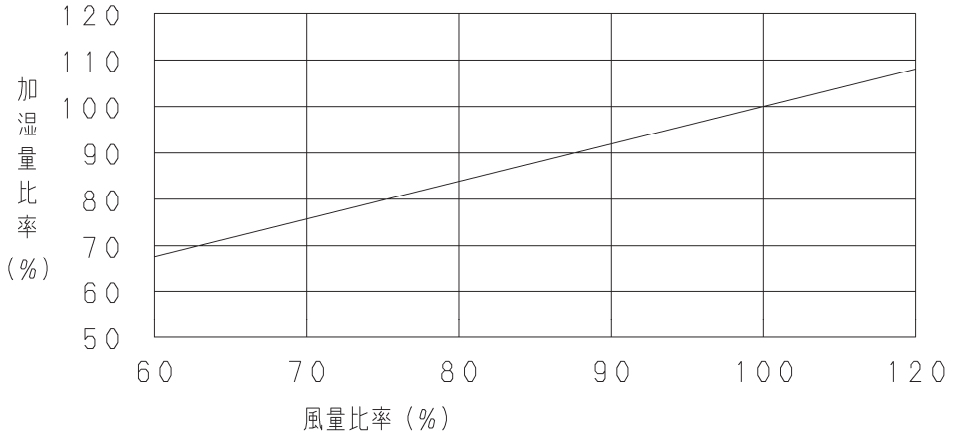
■加湿能力線図



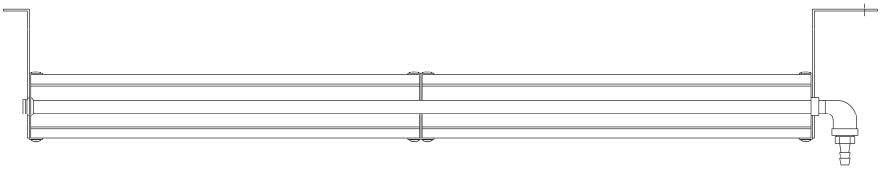




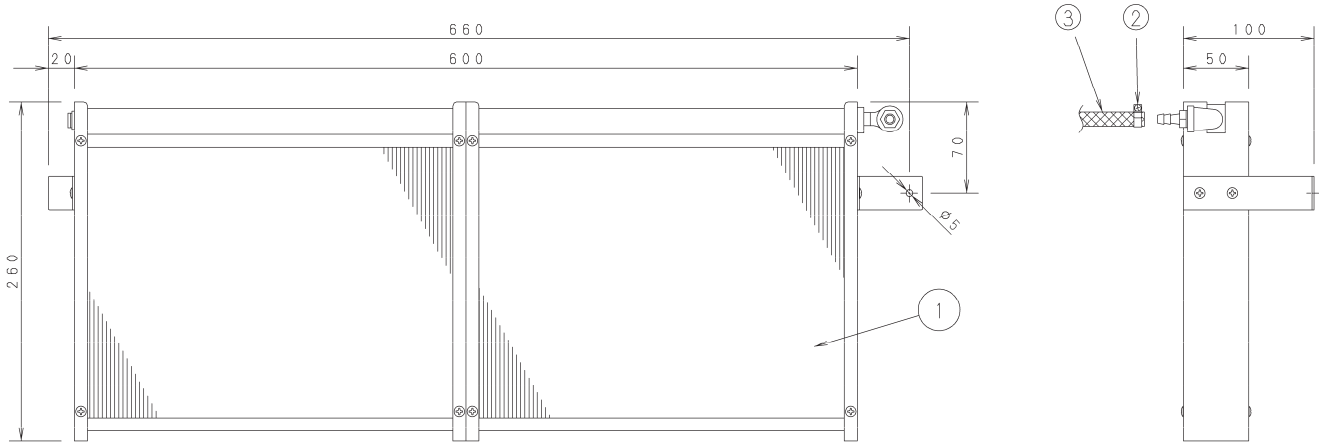
■ 加湿能力比率線図



■加湿器本体外形寸法図



①	加湿モジュール
②	ホースバンド
③	給水ホース（ID φ6×OD φ11／200L）

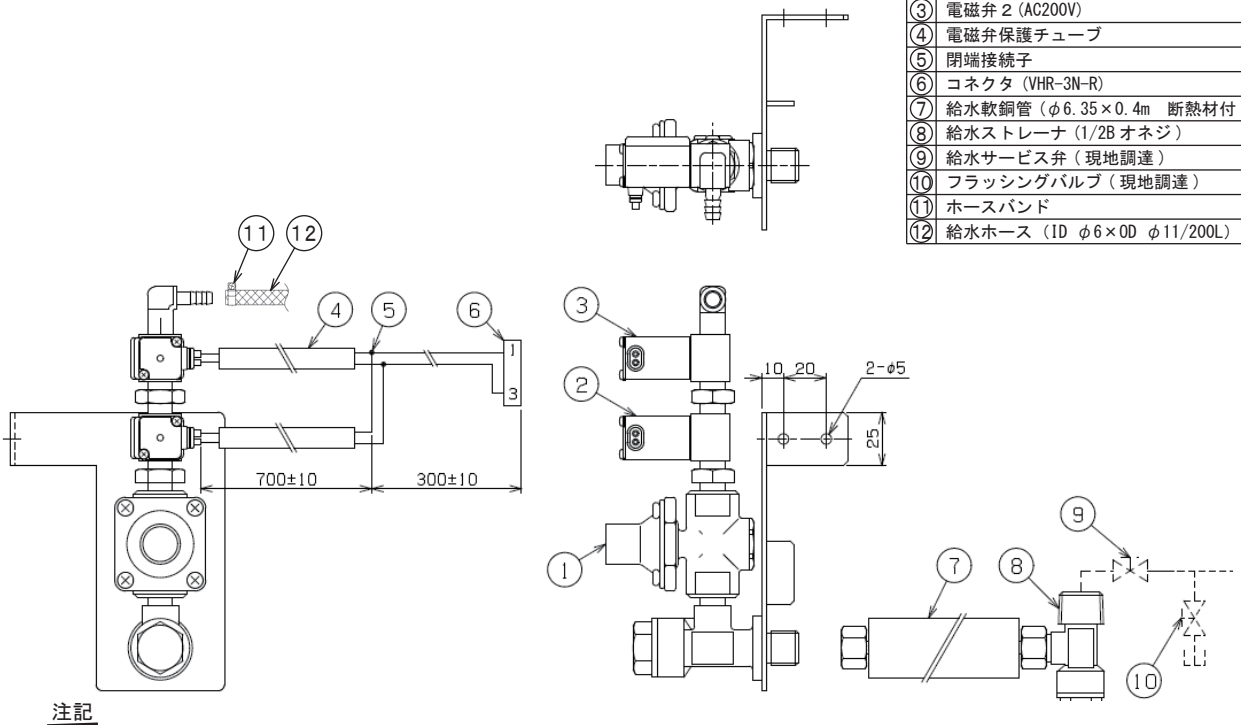


注　記

1）この加湿器は空調機本体内部に取付けます。
2）ドレンは空調機本体のドレンパンから排水します。

■給水ユニット外形寸法図

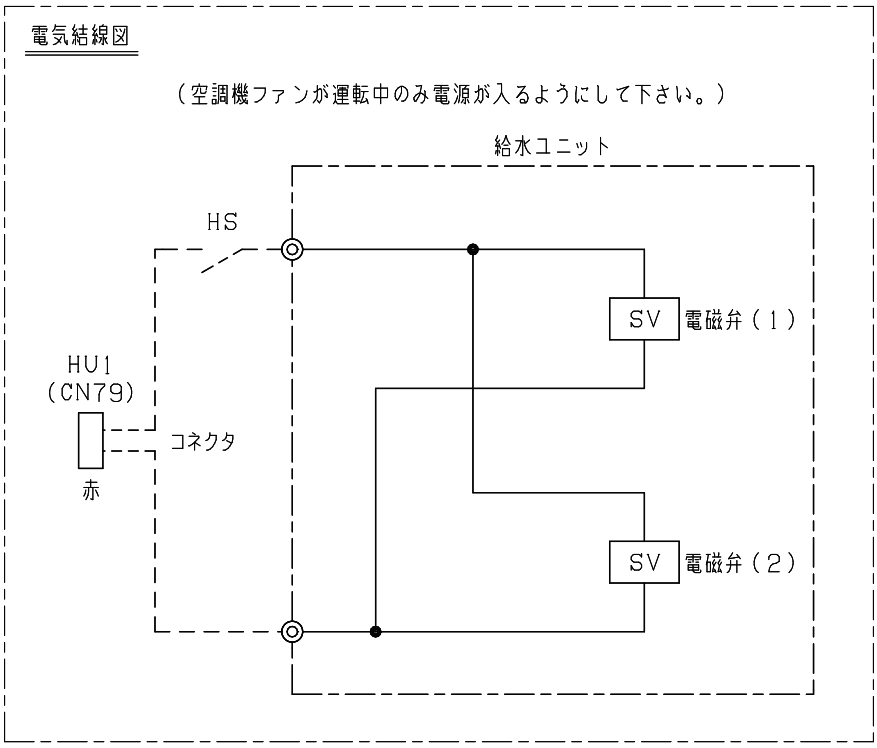
①	減圧弁
②	電磁弁１(AC200V)
③	電磁弁２(AC200V)
④	電磁弁保護チューブ
⑤	閉端接続子
⑥	コネクタ (VHR-3N-R)
⑦	給水軟銅管（φ6.35×0.4m　断熱材付）
⑧	給水ストレーナ（1/2B オネジ）
⑨	給水サービス弁（現地調達）
⑩	フラッシングバルブ（現地調達）
⑪	ホースバンド
⑫	給水ホース（ID φ6×OD φ11/200L）



注記

1）この加湿器は空調機本体内部に取り付けます。
2）ドレンは空調機本体のドレンパンから排水します。
3）使用水圧は 0.05 ～ 0.5 MPa です。使用水圧が 0.5 MPa を超える
　　場合は、給水系統ごとに減圧弁（現地調達）を別途設けてください。

■電気結線図

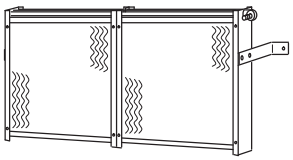

電気結線図
（空調機ファンが運転中のみ電源が入るようにして下さい。）
給水ユニット
HS
SV
電磁弁（1）
HU1
（CN79）
コネクタ
赤
SV
電磁弁（2）

■取付方法

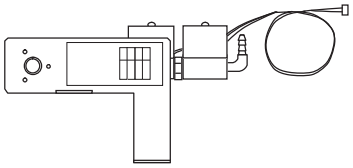
1. 付属品一覧

※梱包開封後は、直ちに付属品の内容を確認してください。

①加湿器本体 1台



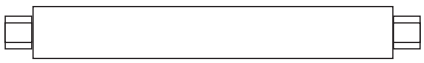
②給水ユニット 1台
（減圧弁、電磁弁、固定金具、電磁弁コード）



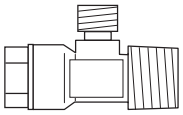
③給水ホース 1本
（半透明 0.2m）

④ホースバンド 2本

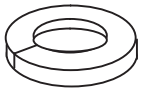
⑤給水軟銅管 1本
（φ6.35 0.4m断熱材付）



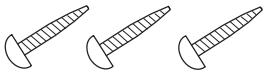
⑥給水ストレーナ 1ケ
（R1/2）



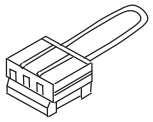
⑦断熱材 1枚
（φ25×φ60×ｔ3）



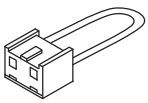
⑧取付ビス 3本
（4×12 タッピンビス）



⑨運転用短絡コネクタ 1本
(CN36：TN･U形／H2･J1形用)

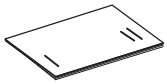


⑩運転用短絡コネクタ 1 本
〔CN70:A･B･E形/K1形
/CS-P形/S-G形〕

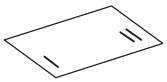


⑪閉端接続子 2ケ
（ヒューミディスタット）

⑫取付説明書 1冊



⑬電気配線・メモリー設定説明書 1枚
〔CN70:A･B･E形/K1形
/CS-P形/S-G形〕



2. 取付

2 - 1. 加湿器本体の取付

（1）室内ユニットはドレンパンが上側の状態で梱包されていますので、梱包より取り出し、半回転させてドレンパンが下になるように置いてください。このとき、ドレンパン下面の断熱材を傷つけないようにしてください。

（2）ユニット側面のパネルを外し、パネルに付いているハトメゴム２ケ所の中央膜部分に切れ目を入れてください。(小：電磁弁コード用、大：給水軟銅管用)

（3）加湿器本体の支え金具部分をユニット内のレールに沿うようにスライドしてください。
レール中央部に加湿器固定用の止め金具がありますので、止め金具に加湿器本体の支え金具が差し込まれたことを確認した後、手前側の支え金具を付属のビス1本で固定してください。また、取付後は、加湿器本体がレールから外れていないことを確認してください。(図-2参照)

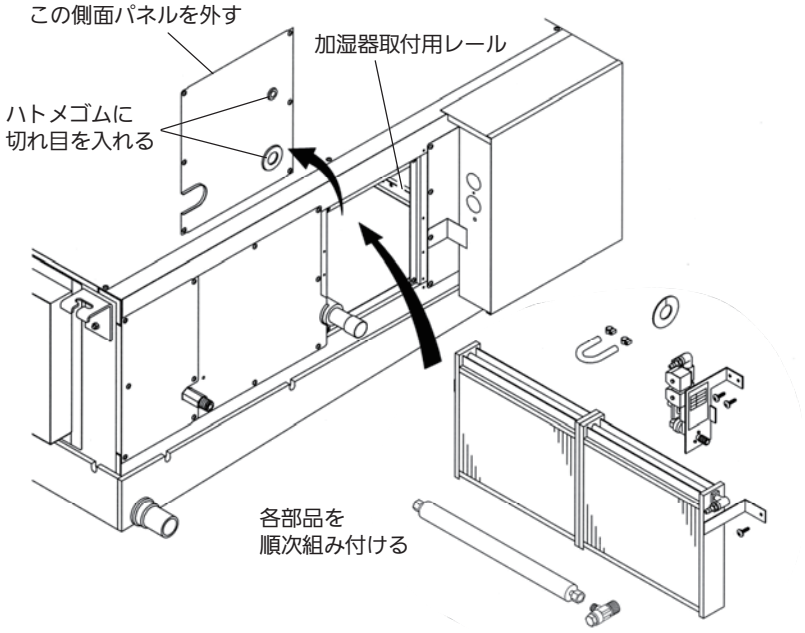


図-1　加湿器の組込

2 - 2. 給水ユニットの取付

（1）給水ユニットの上下取付方向を確認し、付属のビス2本で固定してください。(図-2参照)

（2）電磁弁コードは側面パネル取付の際に側面パネルに付いているハトメゴムを貫通させます。

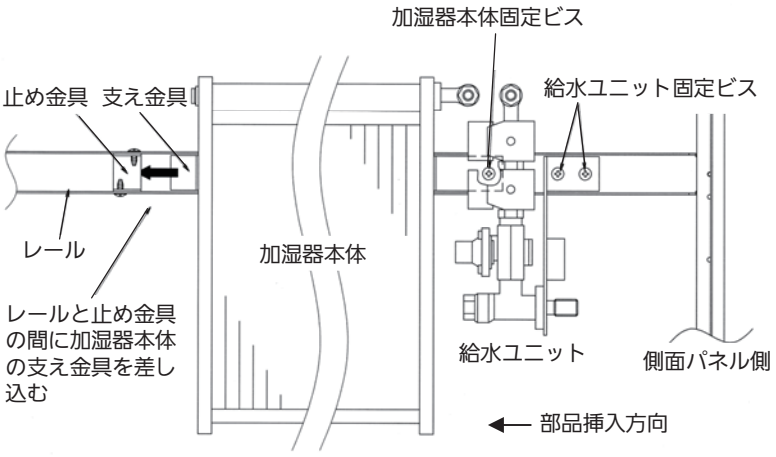


図-2　加湿器本体／給水ユニットの固定

2 - 3. 給水ホース／給水軟銅管の接続

（1）加湿器本体ホース口～給水ユニット間に給水ホースを差し込み、ホースバンドで確実に締め付けてください。（図-3参照）

（2）給水ユニットに給水軟銅管を接続します。給水軟銅管の接続部はリングジョイント式となっています。給水軟銅管を給水ユニットの給水口に差し込んで、給水ユニット取付板金を利用しダブルスパナで確実に締め付けてください。（図-4参照）
リングナットの締付トルクは 10N･m程度としてください。

（3）側面パネルを元通り取り付けます。この際、給水軟銅管および電磁弁コードを側面パネルのハトメゴムに貫通させてください。
(小：電磁弁コード用、大：給水軟銅管用)
側面パネル取付後、すきまができないように軟銅管貫通部に付属の断熱材を貼り付けてください。

（4）ユニット外部での給水軟銅管と現地給水管との接続には付属の給水ストレーナを使用してください。
なお、給水管を接続する前には、通水して配管内のフラッシングを実施してください。

（注）軟銅管は継手部付近からの急な曲げ加工は行わないでください。漏水の原因となることがあります。

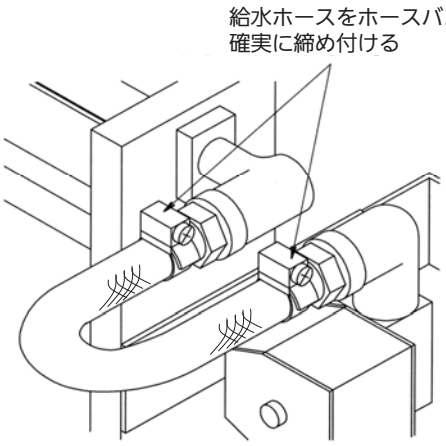


図-3　給水ホースの接続

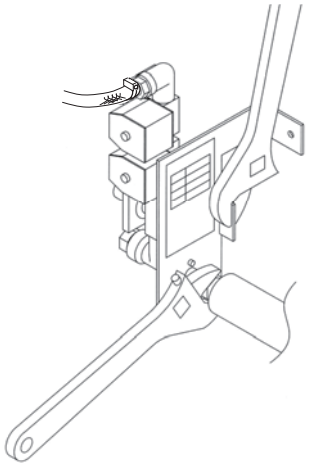


図-4　給水軟銅管の接続

2 - 4. 給水配管

●供給水は水道法水質基準に準ずる飲料水を使用し、給水管（現地手配）には付属の給水ストレーナを取り付け、保守管理上、各加湿器ごとに給水用サービス弁（現地手配）を設けてください。
●給水は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン（現地手配、型式認可品）をご使用ください。
●死水排水弁（現地手配）の取付をお勧めします。給水配管内の水は加湿時のみ新しくなります。
冷房時などで加湿器を使用しない時の給水配管内の水は長時間動かないので腐ってしまいます。
加湿（暖房）始めに、その水を加湿器に給水されますと、臭いの発生・菌の繁殖の原因になります。
加湿（暖房）シーズン開始時に、死水排水弁と給水用サービス弁を開き、新しい水に置き換えてから使用してください。
●給水圧力は0.05～0.5MPa、給水温度は5～40℃の範囲でご使用ください。
●加湿シーズン後は、給水用サービス弁を必ず閉めてください。
●通気に腐食性ガス・塩分・オイルミストを含まないようにしてください。

●現地手配の給水配管にも断熱処理を行ってください（断熱材現地手配）。給水配管内の水が凍結した場合、水の体積膨張により配管や接続部を破壊し、漏水の原因になります。
●配管後は、漏水のないことを確認してください。

2 - 5. 電気配線

（1）室内ユニットの電装箱カバーを外してください。電気回路は、電装箱カバーに貼り付けてある電気回路図を参照してください。

（2）電装箱内のコントロール基板にある2Pコネクタ（HU1(CN79)赤）に電磁弁コードの2Pソケット（赤）を接続してください。

（3）ヒューミディスタット(現地手配､二位置制御用）を使用する場合には、電磁弁コードの片線のみをカットし、付属の閉端接続子2ケを使用して結線してください。(図-5参照)
この際の結線処理は、必ず電装箱内で行ってください。

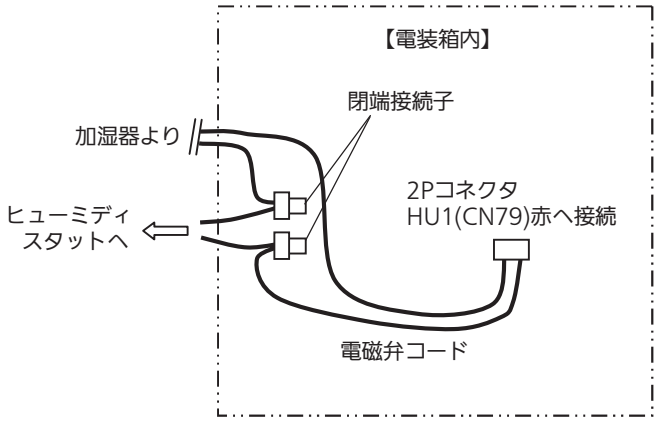


図-5　ヒューミディスタット使用時の結線

（注）電気配線は誤配線のないように接続してください。

⚠付属の運転用短絡コネクタについて
加湿器の運転に合わせて、ドレンアップキット（別売品）を使用する場合には、付属の運転用短絡コネクタを必ず接続してください。
室内ユニットがTN･U型/H1･J1形の場合はCN36(3P･黒)を、A･B･E形/K1形/CS-P形/S-G形の場合はCN70(2P･白)を使用します。
（このコネクタを短絡しないと、ドレンアップキットを取り付けても排水運転を行わないため水漏れを起こします）

（4）配線作業終了後は、電装箱カバーを元通り取り付けてください。

自然気化式加湿器 取付説明書 補足

SGP-K1 形 ,S-G 形 室内機をご使用の方へ

本加湿器を上記室内機と組み合わせてご使用の場合、次の手順にて電気配線と排水設定を行ってください。

1．電気配線（室内機との接続方法）
　加湿器本体からの配線を室内機本体の電源取り入れ口から室内機本体内へ引き込みます。
　電装ボックスの蓋を開き、室内コントロール基板上のＨＵ１（ＣＮ７９:赤３Ｐ）に接続します。

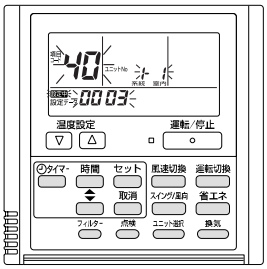
2．排水の設定
　※排水の設定を行わないと、エラー発生や水漏れの原因となりますので、必ず実施してください。

（1）付属の短絡コネクタを使用する場合
　付属の短絡コネクタ（2P：白）を室内コントロール基板上のＦＩＬＴＥＲ（ＣＮ７０:白２Ｐ）に接続します。

注意）ＦＩＬＴＥＲ（ＣＮ７０:白２Ｐ）を差圧スイッチ入力として使用している室内機（外気処理ユニットハイフレッシュ、床吹出しパッケージ等）に加湿器を組み込んで使用する場合は、付属の短絡コネクタ（２Ｐ：白）は使用しないで「（2）ワイヤードリモコンを使用する場合」を参照して設定してください。

（2）ワイヤードリモコンを使用する場合
＜CZ-10RT3・CZ-10RT3Aの場合＞

① 点検 ＋ 取消 ＋ セット ボタンを３つ同時に４秒以上押します。
　リモコン液晶表示部に『設定中』が点滅します。
② リモコン液晶表示部に、『項目コード１０』『設定データ０００１』が点滅します。
　（この時、 室内機のファンが回ります。）
③ 温度設定 ▽ ／ △ ボタンを押して、項目コードを『４０』に変更します。
④ 時間 ボタンを押して、設定データを『０００３』から『０００１』に変更します。
⑤ セット ボタンを押します。（点滅から点灯に表示が変更されて設定完了となります）
⑥ 点検 ボタンを押してください。（通常の停止状態になります）



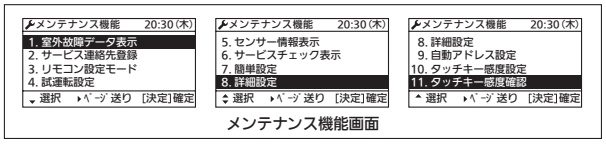
ワイヤードリモコン

＜CZ-10RT4シリーズの場合＞

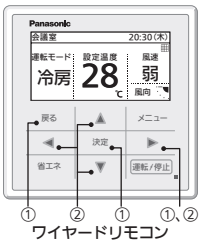
メンテナンス機能画面の表示（ユニットが停止中に行ってください。）

① 戻る + 決定 + ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

② ▼ / ▲ ボタンで選択、◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
　必要な機能のページを表示し、選択してください。



メンテナンス機能画面



ワイヤードリモコン

詳細設定方法（ユニットが停止中に行ってください。）

③ ▼ / ▲ ボタンで 『8.詳細設定』を選択し、決定 ボタンを押してください。
　詳細設定画面が表示されます。

詳細設定画面

④ ◄ / ► ボタンでユニットNo./項目コード/設定データの選択を切り替えてください。

⑤ ▼ / ▲ ボタンでユニットNo.：設定するユニット / 項目コード：40 /設定データ：０００１に設定し、決定 ボタンを押してください。続けて別の系統を設定する場合はユニットNo.を変更し、決定 ボタンを押してください。

⑥ 戻る ボタンを押し、再起動：“はい”を選択し、決定 ボタンを押してください。

85425261373006

加湿器設置後の試運転確認方法について

給水配管の施工後、試運転確認を実施してください。
通常、加湿器への給水は暖房運転時に行われますが、冷房シーズン（暖房運転できないとき）や、暖房運転時にサーモオンになりにくいときは、ワイヤードリモコンから送風運転時に加湿動作する設定に変更し、送風運転にて試運転確認をしてください。

注意）ユニットを停止してから設定データの変更を行なってください。
　　設定中はリモコンで選択されている室内ユニットのファンが回転します。

下記設定データ変更により、加湿動作設定を変更してください。

設 定 表

項目コード	設定データ	加湿動作
０９	００００	暖房サーモオン時加湿(出荷時設定)
	０００１	送風時加湿

＜CZ-10RT3, CZ-10RT3A, CZ-10RT3Wの場合＞

① 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを、同時に４秒間以上押します。

② ユニット選択 または UNIT選択 ボタンを押すごとに、「ユニットNo」または「UNIT No.」を順次表示します。
この時、選択された室内ユニットのファンが回転します。
（リモコンの液晶部に、設定中 または SETTING と「ユニットNo」または「UNIT No.」、「項目コード」または「CODE No.」、詳細データが点滅表示されます。）

③ 温度設定 ▲▼ ボタンで項目コードまたはCODE No.を「０９」に指定します。

④ 時間またはタイマーの ▲▼ ボタンで設定データまたはSETDATAを「０００００（出荷時設定）」→「０００１」へ変更します。

⑤ セット ボタンを押します。
（表示が点滅から点灯に変わればＯＫ）
選択している室内ユニットを変更したい場合は ② へ

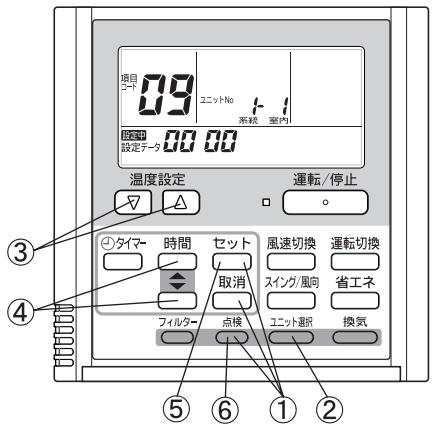
⑥ 点検 ボタンを押します。（通常の停止状態になります）

⑦ 送風運転することで加湿器に給水されます。
給水管、排水管、加湿器まわり、ドレンパン等から水漏れがないか確認してください。

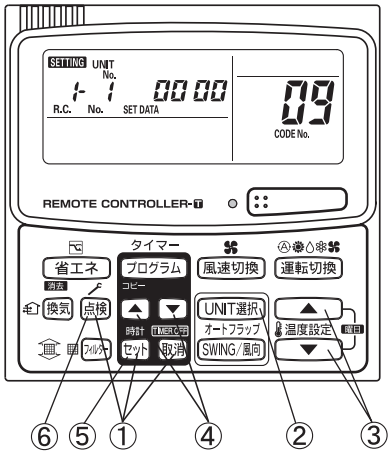
⑧ ３０分程度運転させ、ドレン配管から排水されているか確認してください。

⑨ ②～⑥と同一の手順で「項目コード」または「CODE No.」を「０９」に指定して、設定データまたはSETDATAを「０００００」に戻してください。

ワイヤードリモコン



タイマーリモコン

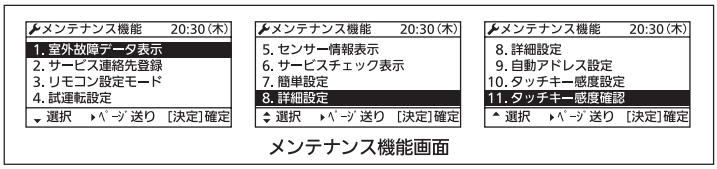


＜CZ-10RT4シリーズの場合＞

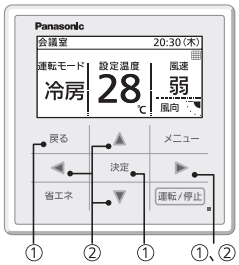
メンテナンス機能画面の表示

① 戻る + 決定 + ▶ ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

② ▼ / ▲ ボタンで選択、◀ / ▶ ボタンでページが切り替わります。
必要な機能のページを表示し、選択してください。



メンテナンス機能画面



ワイヤードリモコン

詳細設定方法（ユニットが停止中に行ってください。）

③ ▼ / ▲ ボタンで 『８.詳細設定』を選択し、決定 ボタンを押してください。詳細設定画面が表示されます。

④ ◀ / ▶ ボタンでユニットNo./項目コード/設定データの選択を切り替えてください。

詳細設定画面

【加湿動作の設定】

⑤ ▼ / ▲ ボタンでユニットNo.,項目コード,設定データを変更します。

⑥ ユニットNo.を変更して、送風時加湿動作を設定するユニットを選択してください。

⑦ 項目コードを「０９」に、設定データを「０００１」に変更し、決定 ボタンを押してください。

⑧ 続けて別のユニットを設定する場合は、ユニットNo.を変更し、⑦を実施してください。

⑨ 戻る ボタンを押し、再起動：“はい”を選択し、決定 ボタンを押してください。

⑩ 送風運転することで加湿器に給水されます。給水管、排水管、加湿器まわり、ドレンパン等から水漏れがないか確認してください。
３０分程度運転を続け、ドレン配管から排水されているか確認してください。

⑪ 加湿器動作の確認後、③～⑨と同一の手順で項目コード「０９」の設定データを「０００１」から「００００」に戻してください。

注意）試運転後は、必ず設定を戻してください。
設定を戻さないと、使用環境によっては露飛びや、水漏れの原因になります。

85464369778001

●バリアゾーンシステム（140形専用）

82664139421000

据付･電気工事担当のかたへ

- 本説明書は、ﾊﾞﾘｱｿﾞｰﾝｼｽﾃﾑに使用するｵﾌﾟｼｮﾝ品の組立、及び据付・電気工事用のものです。
- 工事に際しては、室内・外ユニットに付属する『据付工事担当のかたへ』、『電気工事担当のかたへ』と、室外ユニットに付属する『試運転担当のかたへ』の説明書を必ず参照してください。

安全上のご注意

■ **据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行なってください。**
■ **ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。**

⚠ **警告**　取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠ **注意**　取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合。

⚠ 警告

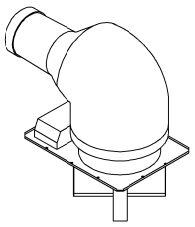
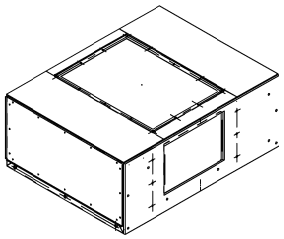
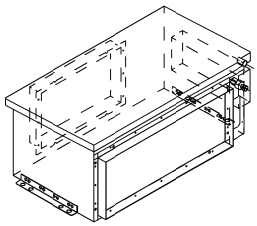
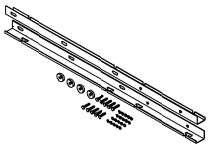
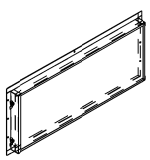
- 据付は、お買い上げの販売店又は専門業者に依頼してください。
  ご自分で据え付け工事をされ不備があると、冷媒漏れの原因になります。
- 小部屋等へ据え付ける場合は、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。
  限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据え付けてください。
  万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。
- 据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行なってください。
  強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- 地震に備え所定の据付工事を行なってください。
  据付工事に不備があると、落下などによる事故の原因になります。
- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。
- 冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。
  冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注意

- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないでください。
  万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。
- 冷媒配管の断熱は、”据付工事担当のかたへ”に従って確実に断熱してください。
  断熱しないと、水漏れや、やけどの原因になることがあります。
- 板金には絶対穴あけや溶接はしないでください。
- カバーの天面に物を置いたり、乗ったりしないでください。

1．必要オプション品と現地手配品

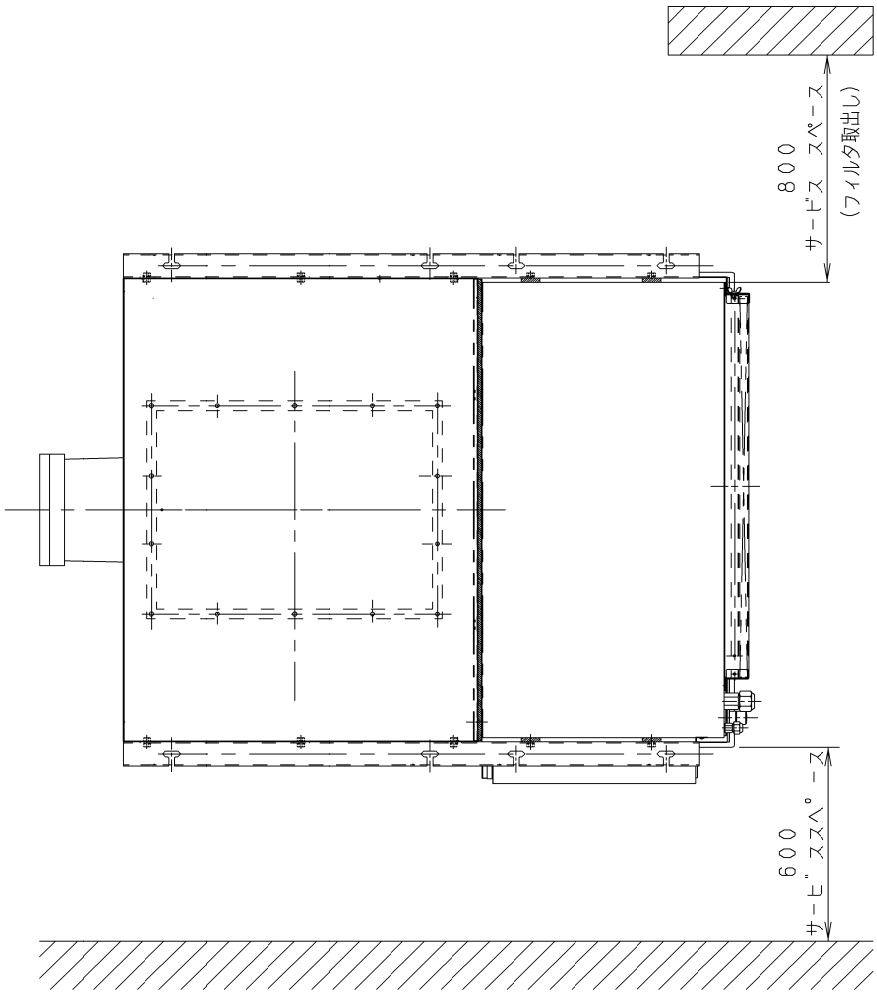
ご注意　● 各オプション品の付属品をご確認ください。

オプション名 品　　番	形　　状	備　　考
吹出口ユニット FY-20XGR		**現地手配品** **松下精工製** 付属品 裏板金具 M6ボルト　（14本） ワイヤレスリモコン
吹出口チャンバ SGP-CMB140J		**オプション品** 付属品 側面用断熱材　（2枚） M4×25ビス（6本） SPワッシャ　（6コ） 平ワッシャ　（6コ） M4タッピン　（20本） 風速変換用中継コネクター
天井埋込形室内ユニット S-G140ES1		**現地手配品**
吊り金具セット SGP-ATK140J		**オプション品** 付属品 スペーサー　（4コ） M8ボルト　（10本） SPワッシャ　（10本） 平ワッシャ　（10本）
吸込口グリル SGP-GRL140J		**オプション品** 付属品 フィルタセット済み

2．据付場所の選定

① 本システムは〝高圧ガス保安法〟〝冷凍保安規則〟及び高圧ガス保安協会制定の〝冷凍空調装置の施設基準〟を満たすように設置してください。

② 本システムは必ず水平な場所へ、水平に設置してください。

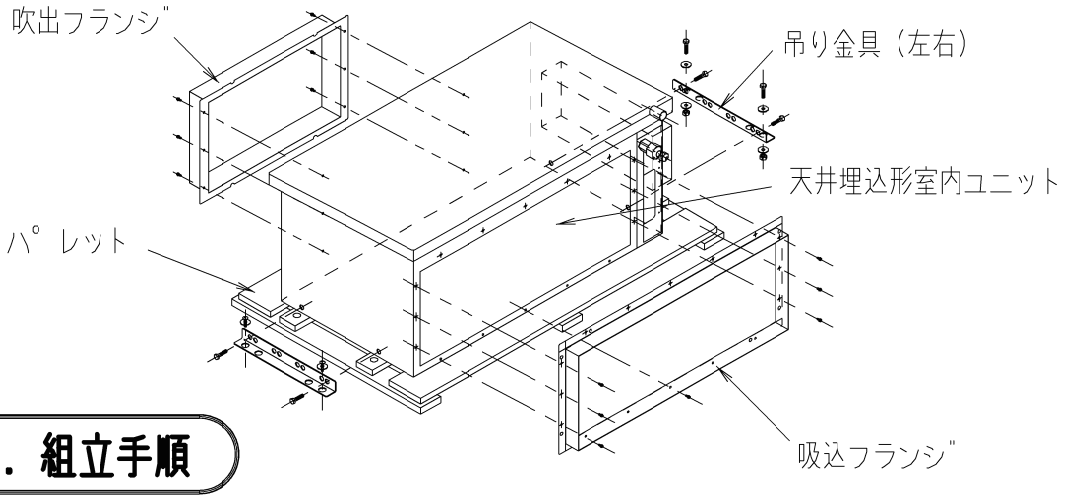


3．組立前の準備

① 天井埋込形室内ユニット（現地手配）の吸込フランシ゛と吹出フランシ゛をはずしてください。（M4ヒ゛ス）

② パレット（木台）に本体を固定している、ヒ゛ス・ホ゛ルト・ナットをはずしてください。

③ 本体に固定する吊り金具用ホ゛ルト（M8）をはずし、吊り金具をはずしてください。



4．組立手順

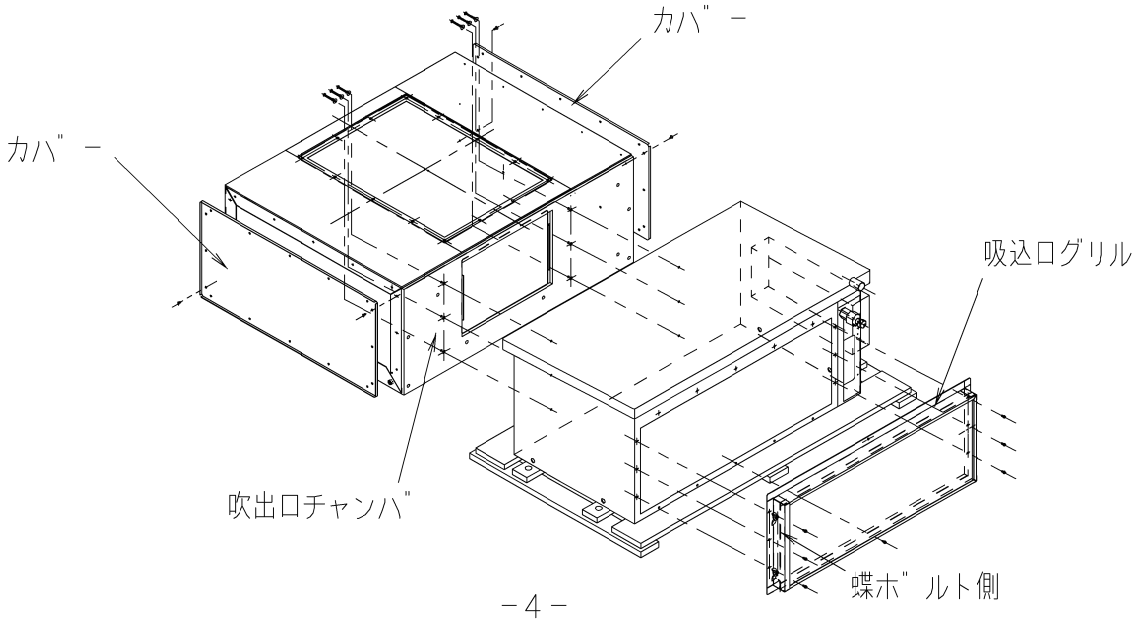
① 吸込ロク゛リル（オプ゜ション品）と、吹出口チャンハ゛（オプ゜ション品）を用意してください。

① 吸込フランシ゛固定に使用していたヒ゛スを使用し、吸込グリルを固定してください。（M4ヒ゛ス）

③ 吹出口チャンハ゛左右のカハ゛ー（ヒ゛ス各2）をはずしてください。

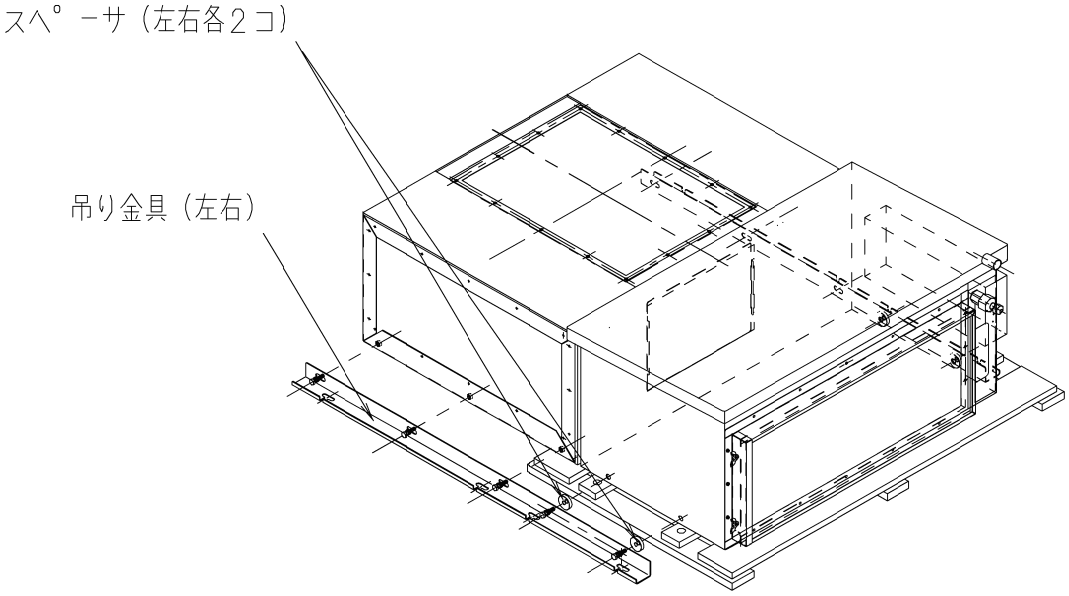
④ 吹出口チャンハ゛に付属している（M4ヒ゛ス　L=25）に、スプ゜リンク゛ワッシャと平ワッシャ大をセットしてください。

⑤ 吹出フランシ゛固定に使用していた取付穴に、吹出口チャンハ゛の取付穴を合わせ、上記のセットヒ゛ス（6本）でチャンハ゛内部から固定をしてください。



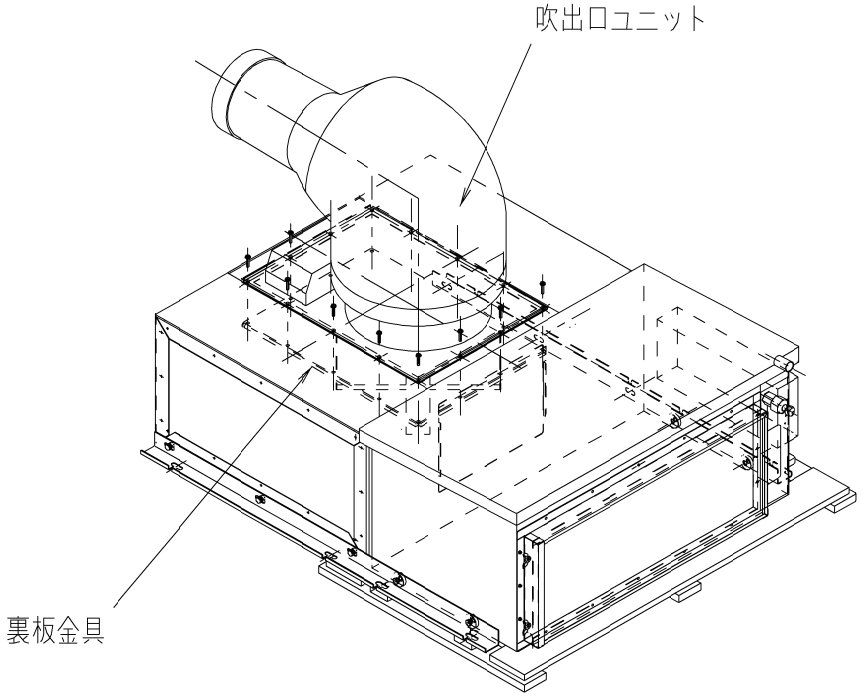
⑥ 吊り金具セットを用意してください。（オプション品）

⑦ 室内機吊り金具取付穴に付属のスペーサ（左右各２コ）をセットし、付属のワッシャ（２種類）をセットして M８ボルト（左右各５本）で、オプションの吊り金具を固定してください。



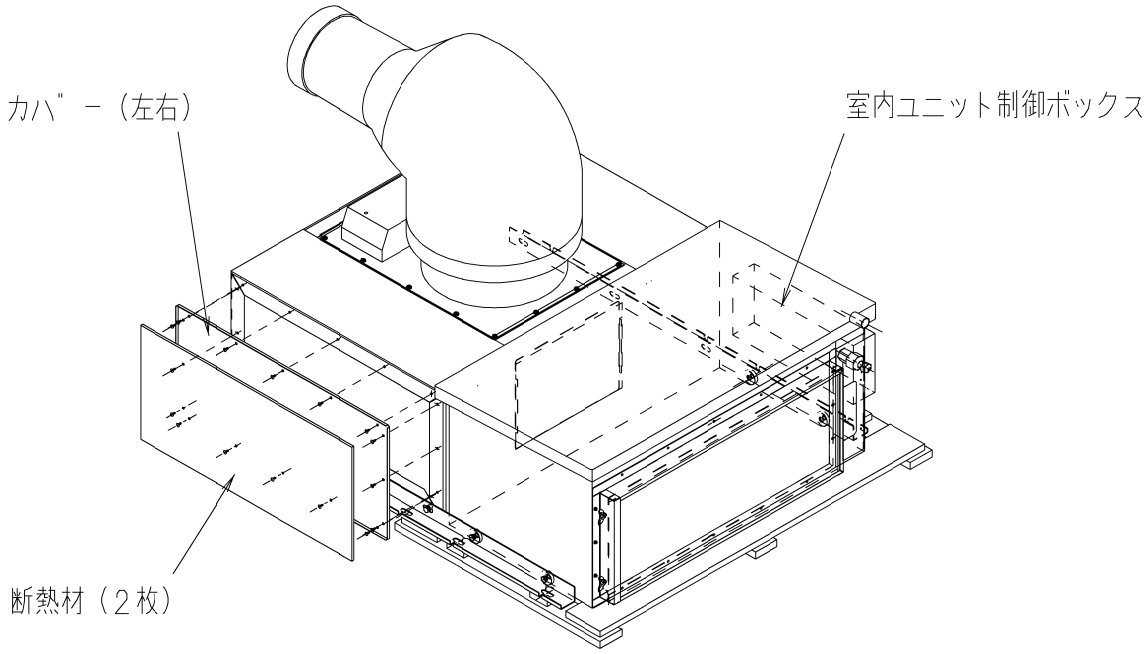
⑧ 吹出口ユニット（現地手配品）を用意してください。

⑨ 吹出口チャンバの内部に上記ユニットに付属する裏板金具を入れ、付属のＭ６ボルト（１４本）で ユニット取付穴とチャンバ取付穴を貫通させ、裏板金具のナット部で固定をしてください。



⑩ 吹出口チャンバの左右側面に、③ ではずしたカバーを付属のビス（左右各１６本）で取付けてください。

⑪ 左右側面のカバーに、付属の側面用断熱材を貼付けてください。



⑫ 脚立やリフトを用意して、組み上がったユニットを反転させ乗せてください。

⑬ 現地手配にて吊りボルト（Ｍ１０又は３／８”）８本、平ワッシャ１６コ、ナット１６コを用意してください。

⑭ 吊り金具の上下にナットと平ワッシャを使用し、上記吊りボルトでしっかりと固定をしてください。

⑮ 室内ユニット制御ボックスのカバーをはずし、ファンモータ用（９Ｐ白）コネクターを取出してください。

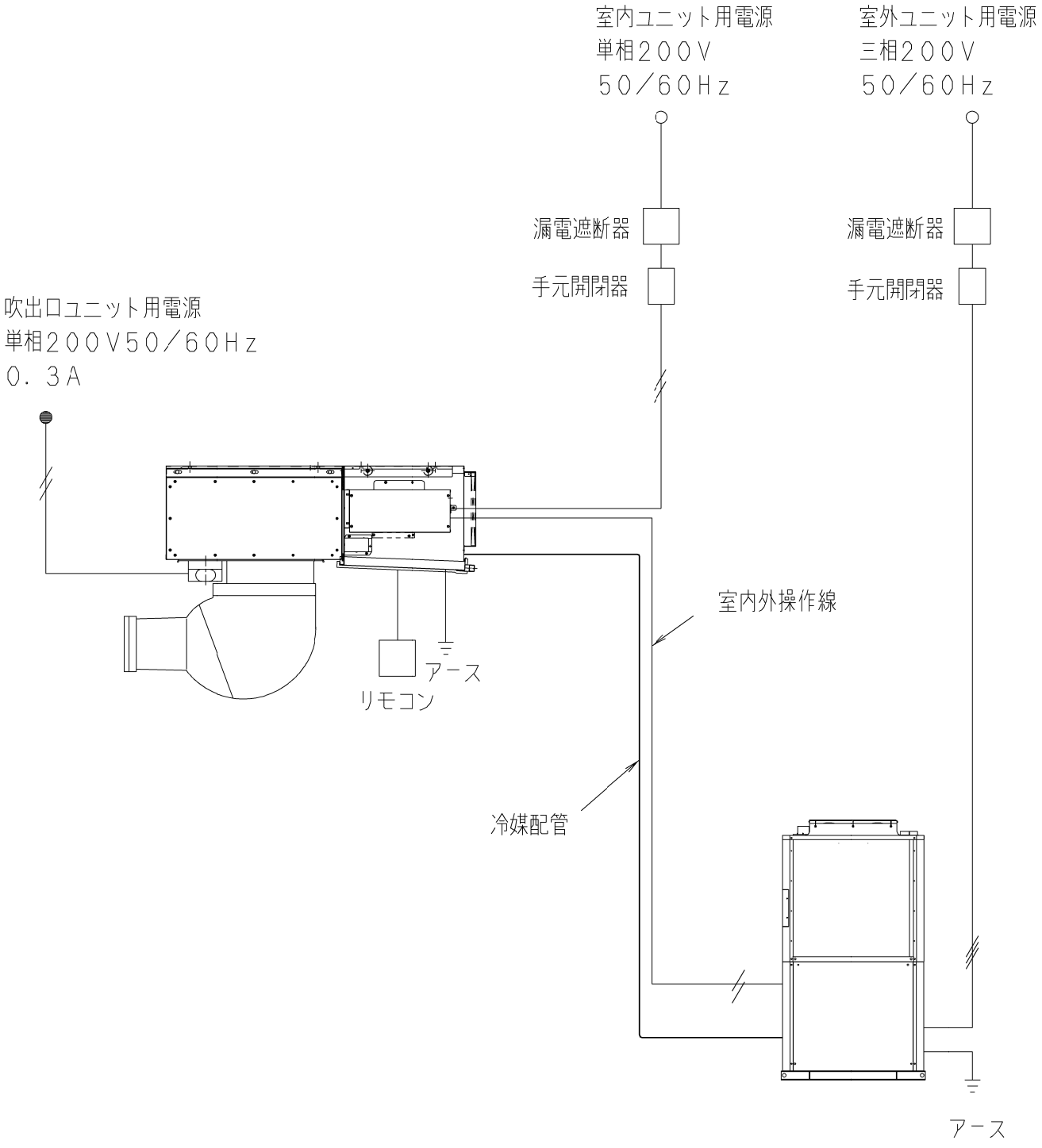
⑯ 上記コネクターをはずし、付属の風速変換用中継コネクターを間に入れてください。

⑯ コネクターを制御ボックスの中に収納し、カバーを取付けてください。

⑰ 室内・外ユニットに付属する『据付工事担当のかたへ』に従い、冷媒配管・ドレン配管を行ってください。

4．電気工事担当のかたへ

- **室内・外ユニットに付属する『電気工事担当のかたへ』に従い、電気配線工事を行ってください。**



5．使用上のご注意

- ﾊﾞﾘｱｿﾞｰﾝｼｽﾃﾑとは、人が活動する範囲に焦点を当てたｿﾞｰﾝ空調方式です。
- 特徴は、『冷房運転』時に『強い風』をプラスして体感温度を下げるというもので、『冷房』において効果を発揮するものです。
- 『暖房運転』では『強い風』が当たると不快感を感じる場合があります。
  その場合は吹出口ユニットのノズルの向きを、人に直接風が当たらない方向（例えば床面方向）に固定する等の、ご指導をお使いになる方へ行ってください。

●高性能フィルター（比色法 65%）

■仕様

名　称			高性能フィルター （比色法65%）					
品　番			CZ-56MFT		CZ-80MFT	CZ-160MFT		
適用機種			36･45形	56形	71・80・90形	112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	12.0	12.7	19.8	28.6	31.5	31.5
最終風量		m^3/min	8.5	9.8	10.7	16.2	17.3	17.3
初期圧損		Pa	17.6	19.1	22.2	22.4	25.7	25.7
最終圧損		Pa	59.7	73.5	65.0	70.5	97.7	97.7
フィルター寿命		時間	2300	2300	2000	2100	2200	2200
平均効率			比色法　65%（JIS　11種）					
使用濾材			ポリオレフィン系帯電繊維					
フィルター外形寸法	幅	mm	(373×2)		(508×2)	(716×2)		
	奥行	mm	257					
	厚み	mm	30					
	質量	kg	0.7		0.9	1.3		
フィルターチャンバー	品番		CZ-56FBCT		CZ-80FBCT	CZ-160FBCT		
	厚み	mm	45					
	質量	kg	2.3		3	3.3		

注記

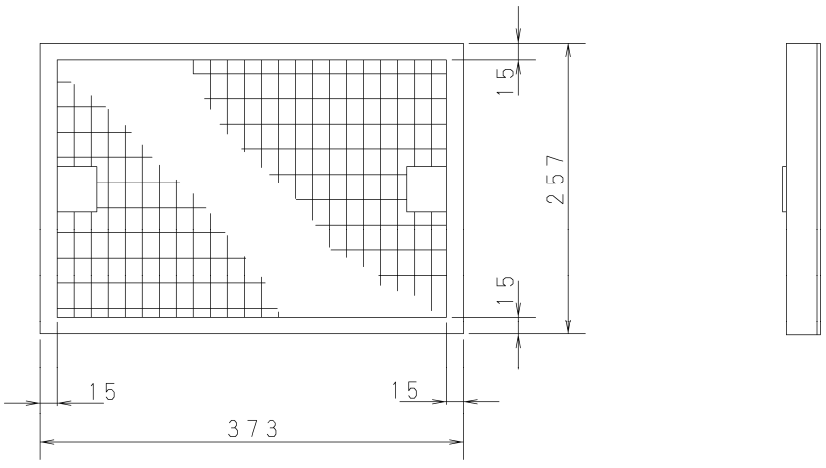
(1) 高性能フィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
　これを防止するため、チャンバー付属の据付工事説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
(2) フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m3（ビル管理法規制値）で算出した値を示します。（ダストJIS15種）
　フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。
(3) 高性能フィルターを組み込む場合は、フィルターチャンバーが必要ですのでご用意ください。
(4) 吸込グリル付属のエアーフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。
(5) 風量・圧損・寿命は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。

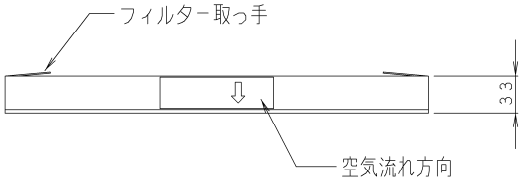
■外形寸法図

・CZ-56MFT

■ 高性能フィルター外形寸法図（比色法６５％）

適用機種	個数
３６~５６形	2

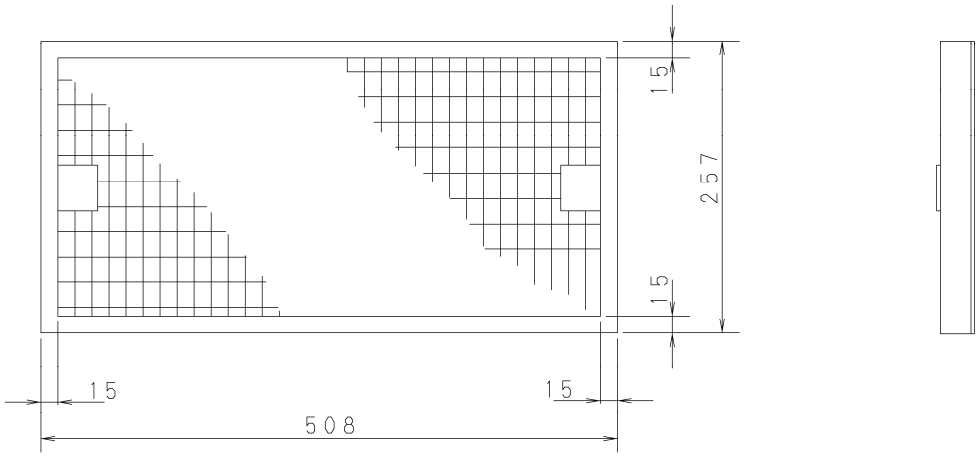


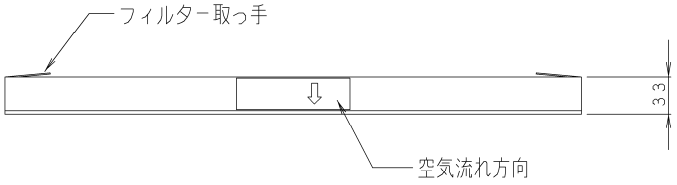


・CZ-80MFT

■ 高性能フィルター外形寸法図（比色法６５％）

適用機種	個数
７１～９０形	2

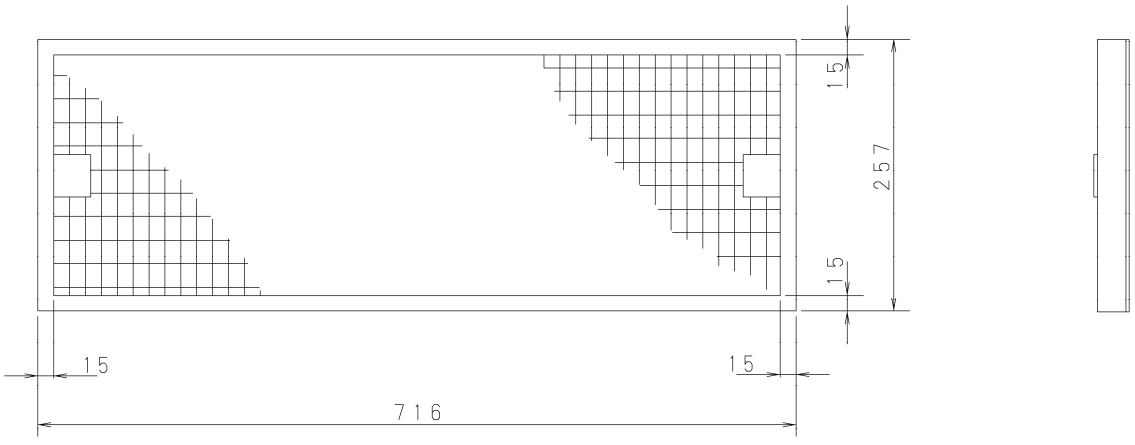


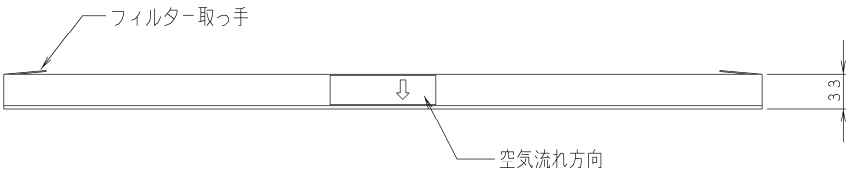


・CZ-160MFT

■ 高性能フィルター外形寸法図（比色法６５％）

適用機種	個数
１１２～１６０形	2





●超ロングライフフィルター（質量法 40%）

■仕様

名　称			超ロングライフフィルター（質量法40%）					
品　番			CZ-56LFT		CZ-80LFT	CZ-160LFT		
適用機種			36･45形	56形	71・80・90形	112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	14.2	14.8	22.0	29.6	32.7	33.3
最終風量		m^3/min	9.3	10.2	11.0	16.4	17.5	17.5
初期圧損		Pa	4.9	5.2	10.8	10.7	14.1	14.9
最終圧損		Pa	36.8	38.7	51.4	53.4	71.3	76.1
フィルター寿命		時間	5000	5000	5000	5100	5000	5000
平均効率			質量法　40%（JIS　15種）					
使用濾材			PPハニカム（防カビ仕様）					
フィルター外形寸法	幅	mm	(373×2)		(508×2)	(716×2)		
	奥行	mm	257					
	厚み	mm	30					
	質量	kg	1.1		1.4	1.8		
フィルターチャンバー	品番		CZ-56FBCT		CZ-80FBCT	CZ-160FBCT		
	厚み	mm	45					
	質量	kg	2.3		3	3.3		

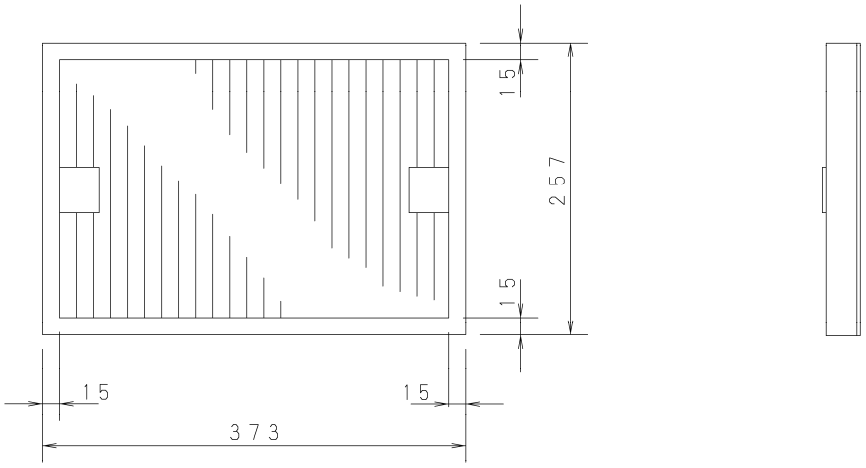
注記
(1) 超ロングライフフィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
　これを防止するため、チャンバー付属の据付工事説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
(2) フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m3（ビル管理法規制値）で算出した値を示します。（ダストJIS15種）
　フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。
(3) 超ロングライフフィルターを組み込む場合は、別売品のフィルターチャンバーが必要ですのでご用意ください。
(4) 吸込グリル付属のエアーフィルターは、取り外してご使用ください。
(5) 風量・圧損・寿命は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。

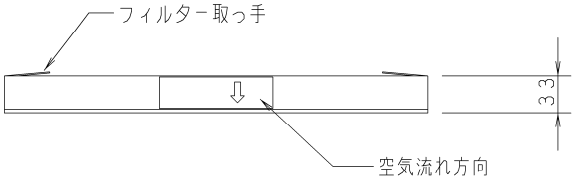
■外形寸法図

・CZ-56LFT

▩ 超ロングライフフィルター

適用機種	個数
36～56形	2

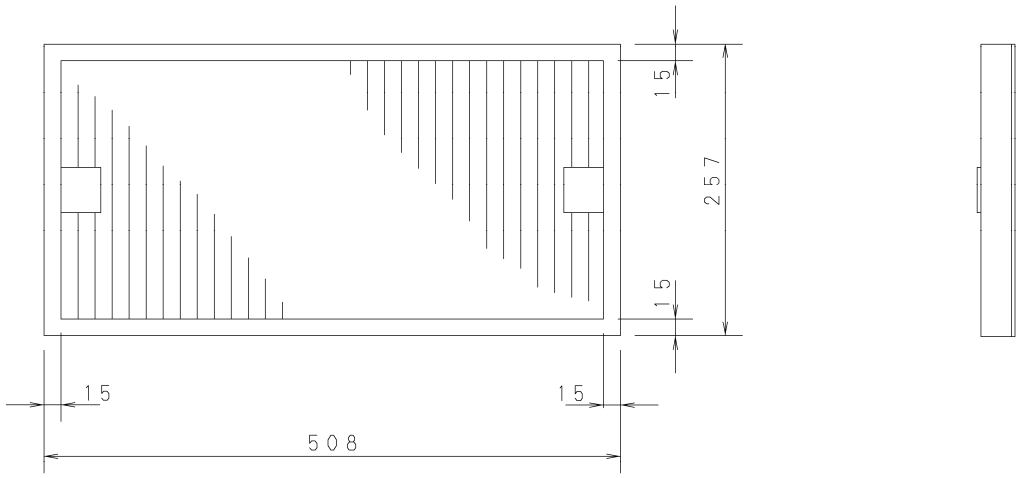


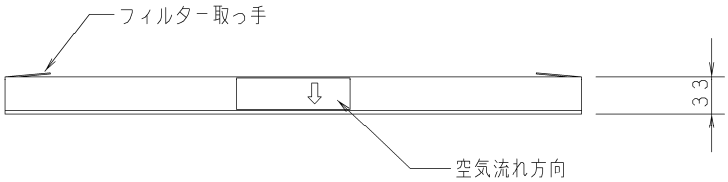


・CZ-80LFT

■ 超ロングライフフィルター

適用機種	個数
71 ～ 90形	2

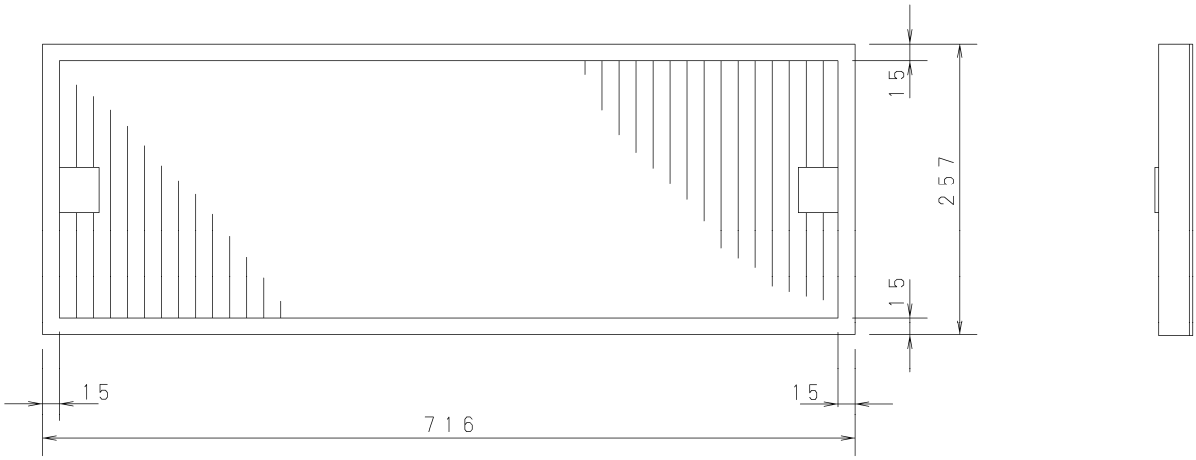


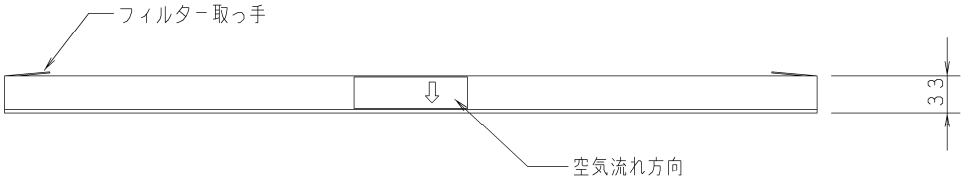


・CZ-160LFT

■ 超ロングライフフィルター

適用機種	個数
112~160形	2





■取付説明書

Panasonic

取付説明書　高性能フィルター・超ロングライフフィルター

品番　　CZ-56MFT　CZ-80MFT　CZ-160MFT
　　CZ-56LFT　CZ-80LFT　CZ-160LFT

適用室内ユニット　天井吊形　Tシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

- 取付説明書とフィルターチャンバーの据付説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
- 特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに「取付説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、「取付説明書」は、室内ユニットの「取扱説明書」、「据付工事説明書」と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。

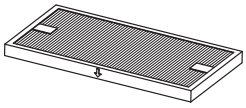
安全上のご注意　必ずお守りください

人へ危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

ご注意　別売フィルターを使用する場合は、フィルターチャンバーに付属の取付説明書に従い、ＤＣファンタップの設定変更を行ってください。
（行わない場合は、風量減少・露付により水漏れし、家財等を濡らす原因となります。）

□ 取り付け前の準備

高性能フィルターまたは超ロングライフフィルター	取付説明書
 2個 • 高性能フィルターは使い捨てです。 • 方向性がありますので注意してください。	1枚（本紙） （付属品）

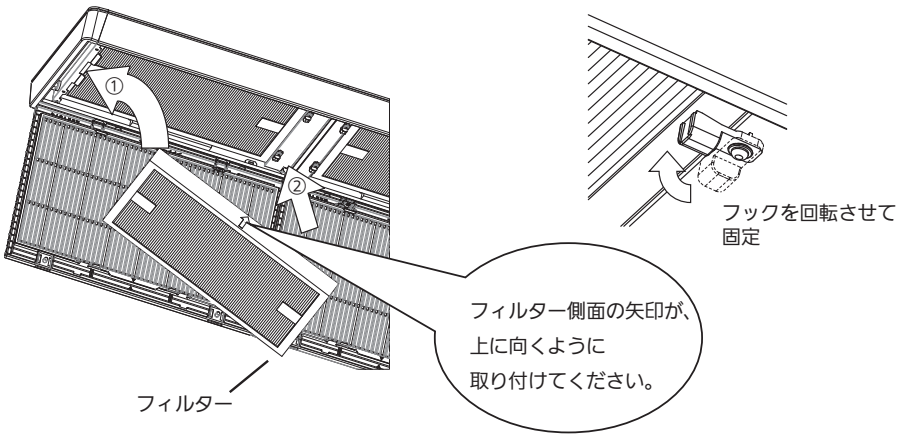
- 各フィルターとフィルターチャンバーの組合せは下記の通りですので、ご確認ください。

高性能フィルター（比色法６５%）	超ロングライフフィルター	フィルターチャンバー（別売品）
ＣＺ−５６ＭＦＴ	ＣＺ−５６ＬＦＴ	ＣＺ−５６ＦＢＣＴ
ＣＺ−８０ＭＦＴ	ＣＺ−８０ＬＦＴ	ＣＺ−８０ＦＢＣＴ
ＣＺ−１６０ＭＦＴ	ＣＺ−１６０ＬＦＴ	ＣＺ−１６０ＦＢＣＴ

□ 取り付けかた

1. 各フィルターの取り付けかた

各フィルターを下図のように取り付け、フックを回転させて固定してください。



ACXF60-21143
85464369758001
PA0813-30823

□ 取り付けかた（つづき）

2. 超ロングライフフィルターをご使用の場合

超ロングライフフィルターをご使用の場合には、吸込グリルに取り付けてあるエアフィルターを取りはずしてご使用ください。

3. 詳細設定

超ロングライフフィルターを取り付ける場合には、フィルターサイン点灯時間設定を変更してください。
ＤＣファンタップの設定変更方法は、フィルターチャンバーに付属の据付工事説明書をご覧ください。

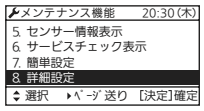
表１　フィルターサイン点灯時間設定表

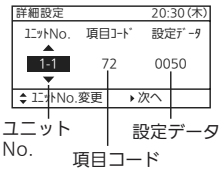
リモコンの設定データ 項目コード ７２	使用用途 / 別売品名称
0008（出荷時設定値）	エアフィルター（標準）・高性能フィルター（比色法65%）
0050	超ロングライフフィルター

（1）ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT4C）

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード72の設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

① 戻る ＋ 決定 ＋ ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▲ / ▼ ボタンで選択、 ◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、 決定 ボタンを押してください。
［詳細設定画面］が表示されます。
▲ / ▼ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◄ / ► ボタンで項目コードを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで項目コードを「72」に変更してください。
④ ◄ / ► ボタンで設定データを選択してください。
▲ / ▼ ボタンで設定データを表1で確認した値に変更し、 決定 ボタンを押してください。
⑤ ◄ / ► ボタンでユニットNoを選択後、 戻る ボタンを押してください。
［詳細設定終了画面］が表示されます。
「はい」を選択し、 決定 ボタンを押してください。

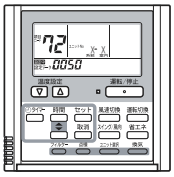


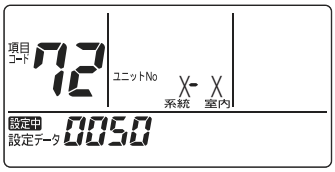


（2）ワイヤードリモコンで設定する場合（別売品：CZ-10RT3/CZ-10RT3A）

ご使用の用途、別売品に応じた「項目コード72の設定データ」を表1で確認してください。
〈手順〉ユニットが運転を停止した状態で行ってください。

①点検＋セット ＋取消ボタンを同時に４秒間以上押します。
②ユニット選択ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示します。
　このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
③ 温度設定▼／▲ボタンで項目コード「72」を指定します。
④ 時間▼／▲ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表１のようになっています。
⑤セット ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変わればＯＫ)
⑥点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。
　選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ
⑦点検ボタンを押します。通常の停止状態になります。





□ フィルター清掃および交換時期について

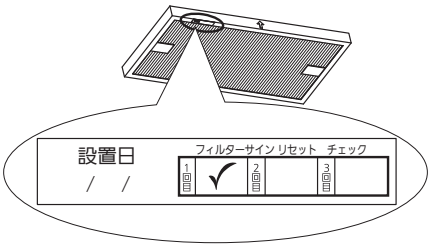
- リモコンにフィルターサインが表示されたときは、フィルターの清掃または交換時期です。

○高性能フィルターの場合

吸込グリルに取り付けてあるエアフィルターの清掃を行い、フィルターサインをリセットしてください。
高性能フィルターについているラベルにチェックをいれて、フィルターの交換時期を忘れないようにすることをおすすめいたします。
また、３回目のフィルターサイン点灯時は、高性能フィルターの交換もしてください。

○超ロングライフフィルターの場合

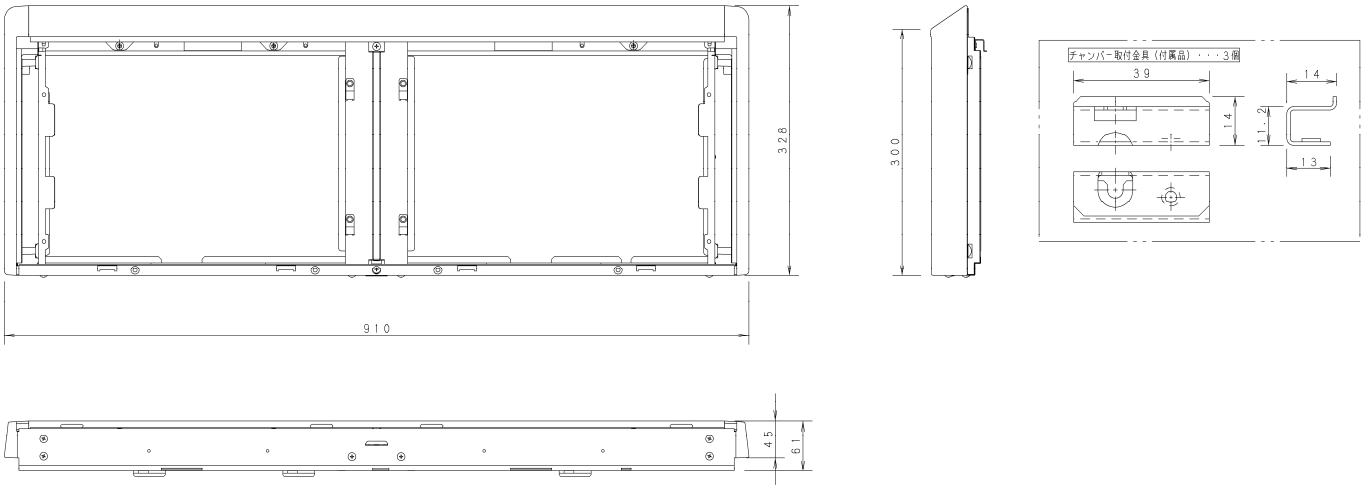
超ロングライフフィルターの清掃を行い、フィルターサインをリセットしてください。
※フィルターサインのリセット方法は、室内ユニットに付属の取扱説明書をご覧ください。



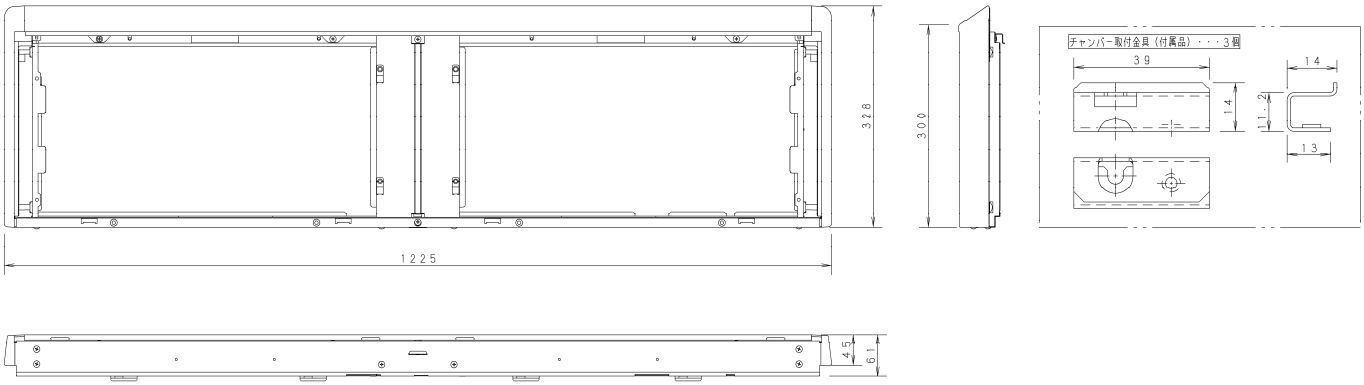
●フィルターチャンバー

■外形寸法図

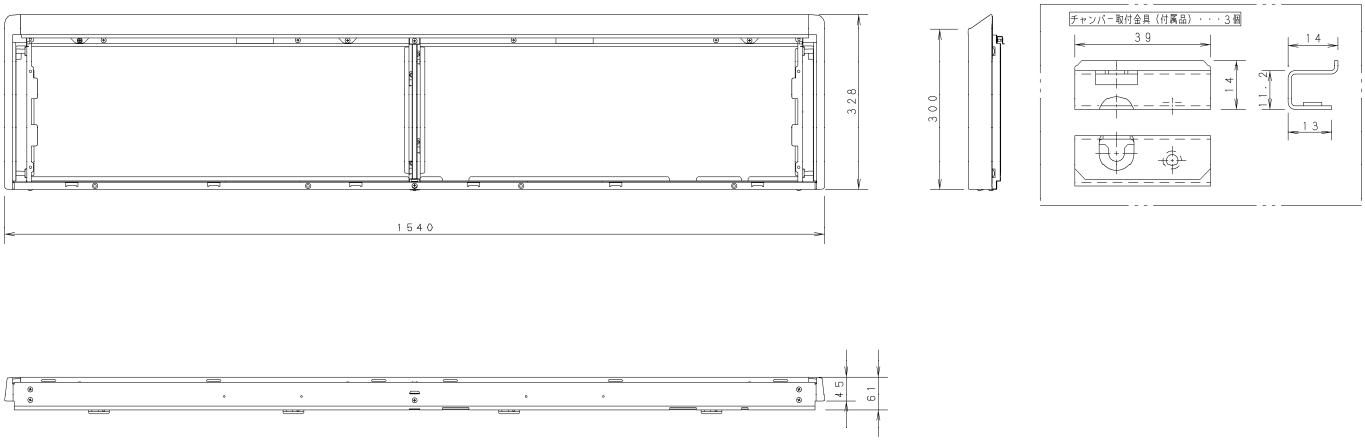
・CZ-56FBCT



・CZ-80FBCT



・CZ-160FBCT



■工事説明書

Panasonic

据付工事説明書　　フィルターチャンバー

品番　　CZ-56FBCT　CZ-80FBCT　CZ-160FBCT

適用室内ユニット　　天井吊形　Tシリーズ＊
（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

- 据付工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
- 特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに「据付工事説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。　また、「据付工事説明書」は、室内ユニットの「取扱説明書」、「据付工事説明書」と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。

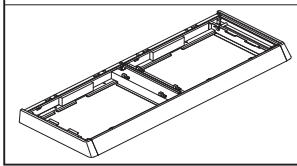
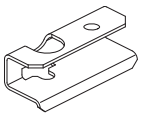
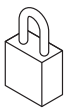
安全上のご注意　必ずお守りください

人へ危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

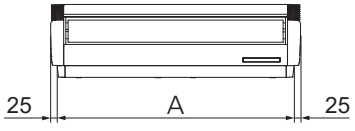
ご注意　フィルターチャンバーは、室内ユニット本体の据付作業完了後に取り付けてください。
試運転により、振動やビビリ音等の異常音がないことを確認してください。
別売フィルターは、他の別売フィルターとの併用はできません。

□ 付属品

フィルターチャンバー本体	取付金具	取付ネジ	短絡コネクタ	据付工事説明書
	 56形：　3個 80形：　3個 160形：　4個	（M4×L10） 56形：　7本 80形：　7本 160形：　8本		1枚（本紙）

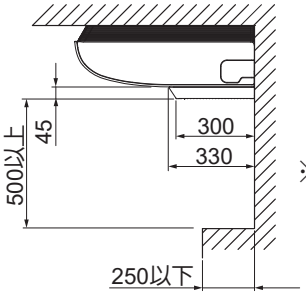
□ フィルターチャンバー取付図

正面



フィルターチャンバー形名	A寸法
CZ−56FBCT	910
CZ−80FBCT	1225
CZ−160FBCT	1540

側面



※吸込口の下側に障害物がある場合は、左図寸法を守ってください。

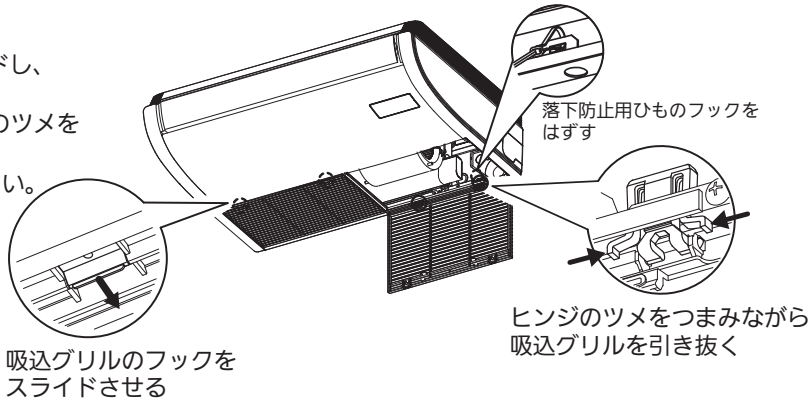
ACXF60-21083
85464369749001
PA0813-30823

□ 取り付けかた

- フィルターチャンバーは、室内ユニット本体の据え付け作業完了後に取り付けてください。

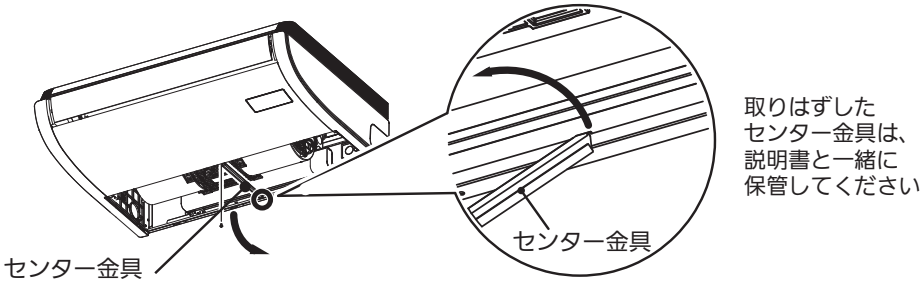
1. 吸込グリル取りはずし

吸込グリルのフックを矢印方向にスライドし、
吸込グリルを開いてください。
吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジのツメを
押して吸込グリルを引き抜いてください。
落下防止用ひものフックをはずしてください。



2. 室内ユニットのセンター金具の取りはずし

室内ユニット中央部のセンター金具固定ネジ（1本）をはずし、センター金具をはずしてください。
センター金具をはずした後、固定ネジ（1本）を元の位置に締め付けてください。



3. DCファンタップの設定

別売フィルターを取り付ける場合、ワイヤードリモコンまたは室内コントロール基板(付属の短絡コネクタ使用)からDCファンタップの設定を変更します。

※設定変更を行わないと、風量減少・露付の原因となります。

ワイヤードリモコンから設定する場合（推奨）

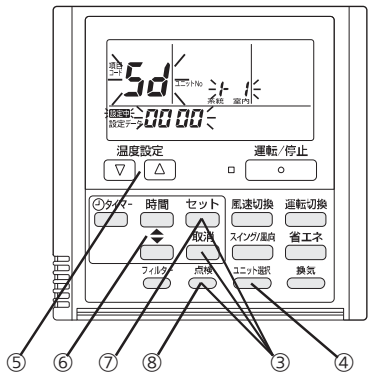
① この設定は運転停止中に行ってください。
② ご使用になるフィルターによって設定値が異なります。設定は表1をご確認ください。

表1　DCファンタップ設定表

リモコンの設定データ 項目コード 5d または 5D	使用用途 / 別売品名称
0000	標準（出荷設定）
0001	超ロングライフフィルター
0003	高性能フィルター（比色法65%）

● ワイヤードリモコン　CZ-10RT3 または CZ-10RT3A で設定する場合

③ 点検 ＋ 取消 ＋ セット ボタンを同時に4秒以上押します。
④ ユニット選択 ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNo を順次表示します。　このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。
⑤ 温度設定 ▽ / △ ボタンで項目コード「5d」を指定します。
⑥ 時間 ボタンで設定データを変更します。
設定データの内容は表1のようになっています。
⑦ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
選択している室内ユニットを変更したい場合は④へ
⑧ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。



3. DCファンタップの設定（つづき）

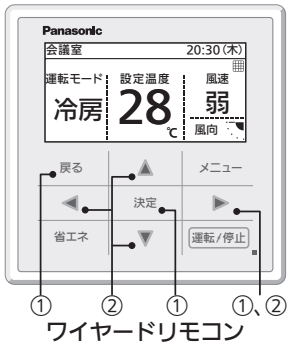
● ワイヤードリモコン　CZ-10RT4シリーズ で設定する場合

メンテナンス機能画面の表示（ユニットが停止中に行ってください。）

① 戻る + 決定 + ► ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

② ▼ / ▲ ボタンで選択、◄ / ► ボタンでページが切り替わります。
必要な機能のページを表示し、選択してください。

メンテナンス機能画面



ワイヤードリモコン

詳細設定方法（ユニットが停止中に行ってください。）

- ▼ / ▲ ボタンで**8.詳細設定**を選択し、決定 ボタンを押してください。詳細設定画面が表示されます。
- ◄ / ► ボタンでユニットNo./項目コード/設定データの選択を切り替えてください。

【ファン風速設定方法の例】

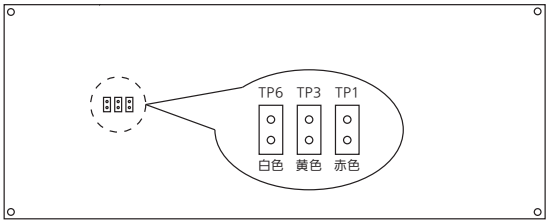
- ▼ / ▲ ボタンでユニットNo.:設定するユニット/項目コード:5D/設定データを選択し、決定 ボタンを押してください。続けて別の系統を設定する場合はユニットNo.を変更し、決定 ボタンを押してください。
- 戻る ボタンを押し、再起動:“はい”を選択し、決定 ボタンを押してください。

詳細設定画面

室内コントロール基板から設定する場合

① 漏電しゃ断器をOFF にして、基板への電源供給を停止してください。
② 電装ボックスの蓋を開き、室内コントロール基板を確認してください。
③ ご使用される別売フィルターの種類ごとに、付属の短絡コネクタ（2P：黄色）を室内コントロール基板に接続してください。

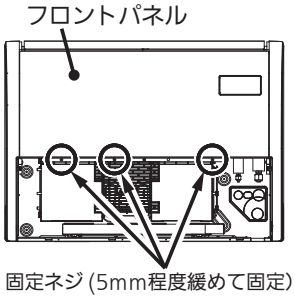
● 超ロングライフフィルターをご使用の場合　：TP1（2P 赤色）に接続
● 高性能フィルター(比色法65%)をご使用の場合　：TP3（2P 黄色）に接続



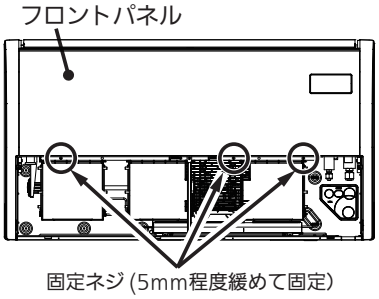
室内コントロール基板

4. フィルターチャンバー取り付け準備

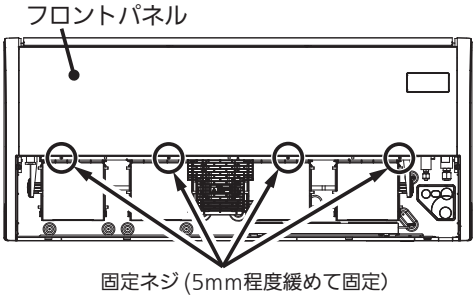
室内ユニットのフロントパネル固定ネジ（センターバー固定部を除く：56･80形:3本、160形:4本）を5mm程度緩め、付属の取付金具（56･80形:3個、160形:4個）を緩めた固定ネジにスライドさせた後、固定ネジを締めこみ固定してください。



固定ネジ (5mm程度緩めて固定)
取付金具固定位置 (56形)

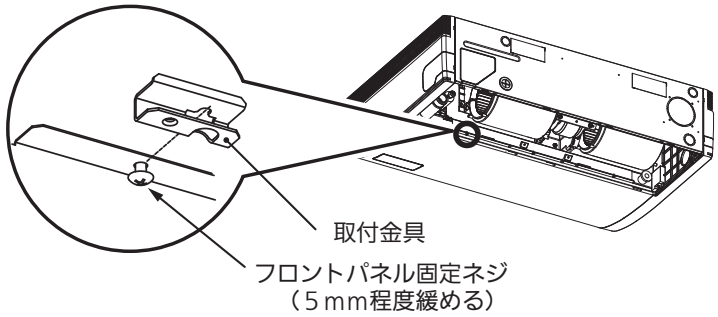


固定ネジ (5mm程度緩めて固定)
取付金具固定位置 (80形)



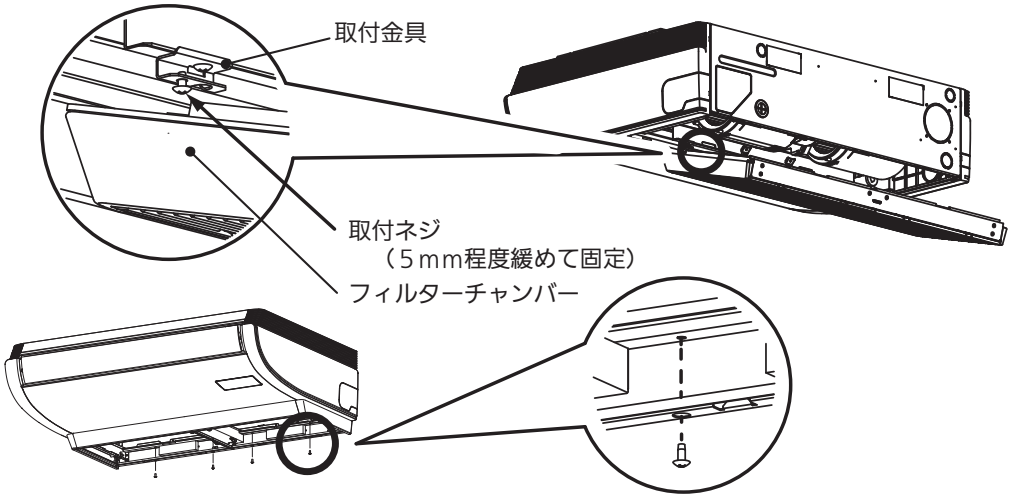
固定ネジ (5mm程度緩めて固定)
取付金具固定位置 (160形)

□ 取り付けかた（つづき）



5. フィルターチャンバー取り付け

4で室内ユニットに取り付けた取付金具に付属の取付ネジ（56・80形：3本、160形：4本）を5mm程度緩めて取り付けます。フィルターチャンバーを取り付けた付属の取付ネジに引掛けた後背面側を付属の取付ネジ（4本）で固定してください。固定金具側の取付ネジを締め込んでください。

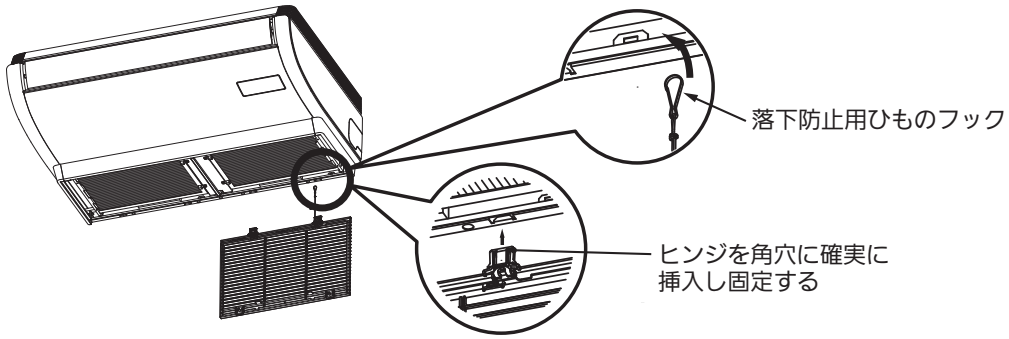


6. 別売フィルターの取り付け

別売フィルターの取り付けは、各フィルターに付属の取付説明書をご覧ください。

7. 吸込グリルの取り付け

1 ではずした吸込グリルのヒンジをフィルターチャンバーの角穴に挿入して取り付けてください。
吸込グリルの落下防止用ひものフックをフィルターチャンバーの角穴に固定してください。



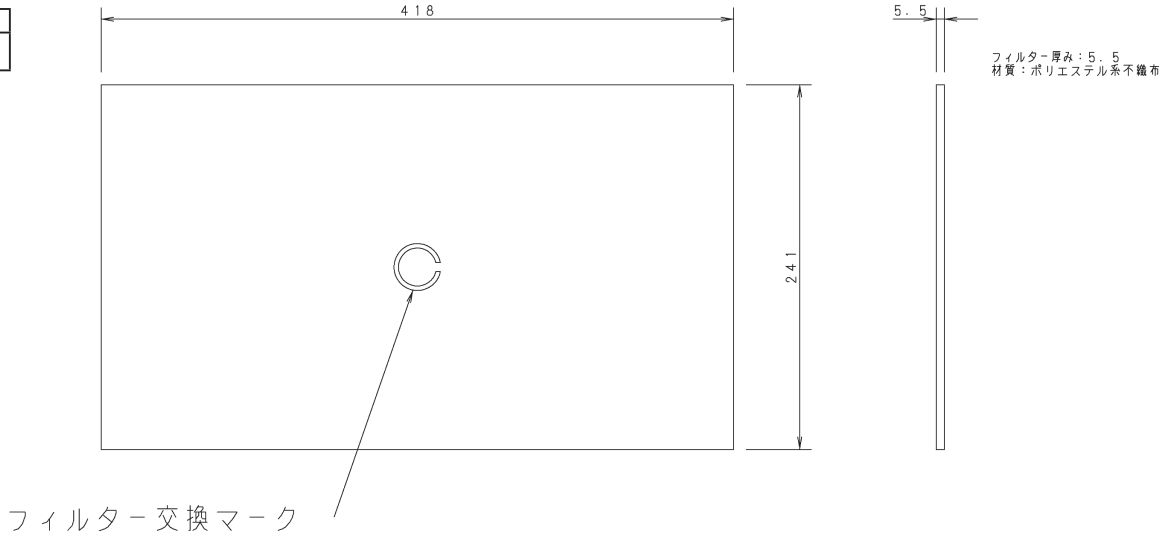
⚠ 注意　吸込グリルは室内ユニットに確実に取り付けること。
（取り付けが不完全な場合は、吸込グリルの落下により、けがの原因になります。）

●オイルミストフィルター

■外形寸法図

・CZ-56FBT

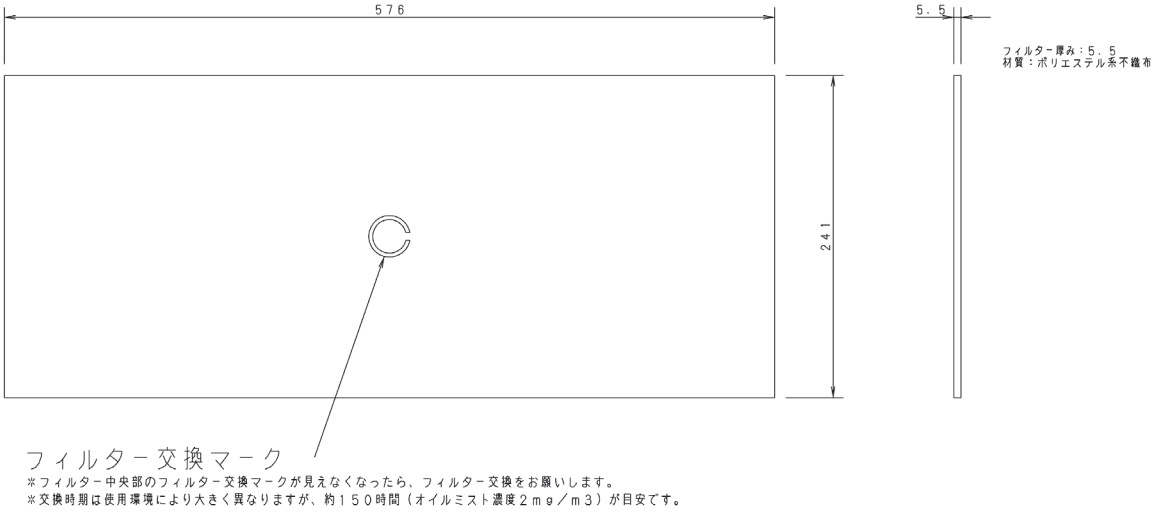
適用機種	個数
36 ～ 56形	2



※フィルター中央部のフィルター交換マークが見えなくなったら、フィルター交換をお願いします。
※交換時期は使用環境により大きく異なりますが、約１５０時間（オイルミスト濃度２ｍｇ／ｍ３）が目安です。

・CZ-80FBT

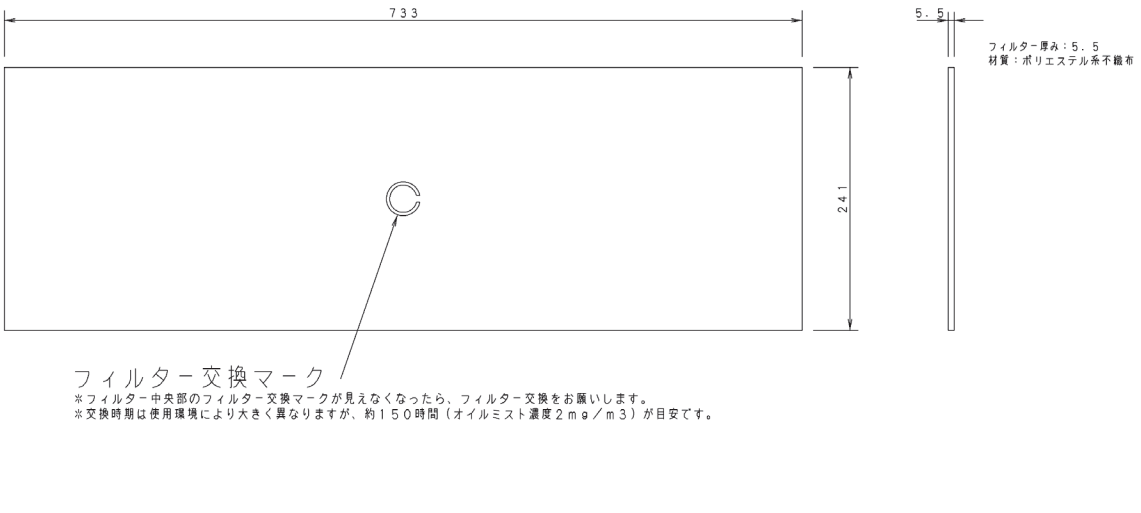
適用機種	個数
71 ～ 90形	2



※フィルター中央部のフィルター交換マークが見えなくなったら、フィルター交換をお願いします。
※交換時期は使用環境により大きく異なりますが、約１５０時間（オイルミスト濃度２ｍｇ／ｍ３）が目安です。

・CZ-160FBT

適用機種	個数
112 ～ 160形	2



※フィルター中央部のフィルター交換マークが見えなくなったら、フィルター交換をお願いします。
※交換時期は使用環境により大きく異なりますが、約１５０時間（オイルミスト濃度２ｍｇ／ｍ３）が目安です。

■取付説明書

Panasonic®

取付説明書　オイルミストフィルター

品番　CZ-56FBT　CZ-80FBT　CZ-160FBT

適用室内ユニット　天井吊形　Tシリーズ＊

（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

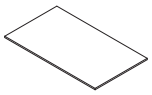
- 取付説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
- 特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに「取付説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。　また、「取付説明書」は、室内ユニットの「取扱説明書」、「据付工事説明書」と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人へ危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

オイルミストフィルター	取付説明書
 50枚	1 枚（本紙）（付属品）

※ オイルミストフィルターは室内ユニットの保護を目的とするもので、店内に発生する油煙を捕集するものではありません。

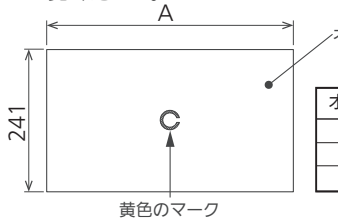
フィルター交換サインについて

オイルミストフィルターの中央部に黄色のマークがあります。（汚れではありません）

このマークが目立たなくなりましたら、オイルミストフィルターの交換をお願いします。

交換時期は使用環境により大きく異なりますが、およそ150時間（オイルミスト濃度：2.0mg／m^3）が目安です。

エアフィルターの掃除について、詳しくは本体の取扱説明書をご覧ください。



オイルミストフィルター形式	A寸法
CZ-56FBT	418
CZ-80FBT	576
CZ-160FBT	733

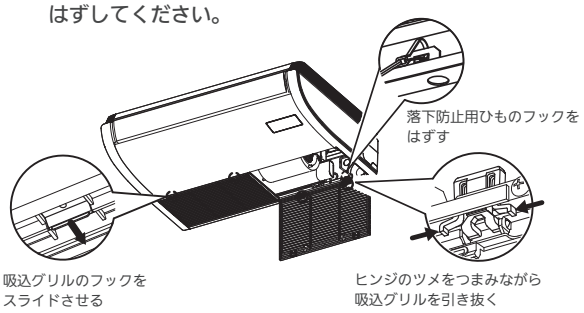
詳細設定について

はじめてオイルミストフィルターをご使用になる場合は、室内ユニットのDCファンタップ設定変更が必要です。

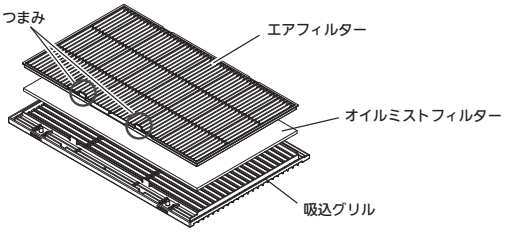
詳細は、お買い上げの販売店または弊社窓口にご相談ください。

フィルターの取り付け方および交換のしかた

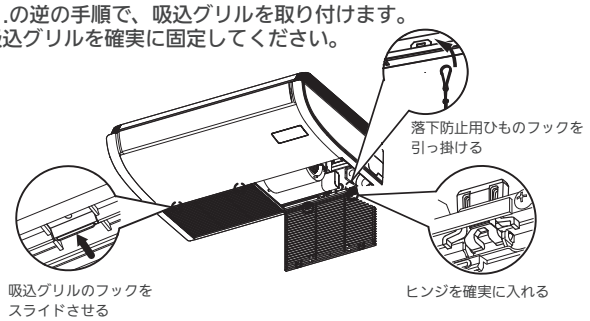
1. 吸込グリルのフックをスライドし、吸込グリルを開いてください。吸込グリル後部ヒンジのツメをつまみながら吸込グリルを引き抜いてください。落下防止用ひものフックをはずしてください。



2. エアフィルターのつまみを押し上げて、吸込グリルからはずしてください。
吸込グリルのうえにオイルミストフィルターを置き、エアフィルターを取り付けます。
オイルミストフィルターの黄色のマークが、吸込グリル側になるよう取り付けてください。



3. 1.の逆の手順で、吸込グリルを取り付けます。
吸込グリルを確実に固定してください。



⚠ 注意

- 吸込グリルは室内ユニットに確実に取り付ける。
取り付けが不完全な場合は、吸込グリルの落下により、けがの原因になります。

お願い

ご使用済みのフィルターは可燃物として処理してください。

ACXF60-21153
85464369759001
PA0813-30823

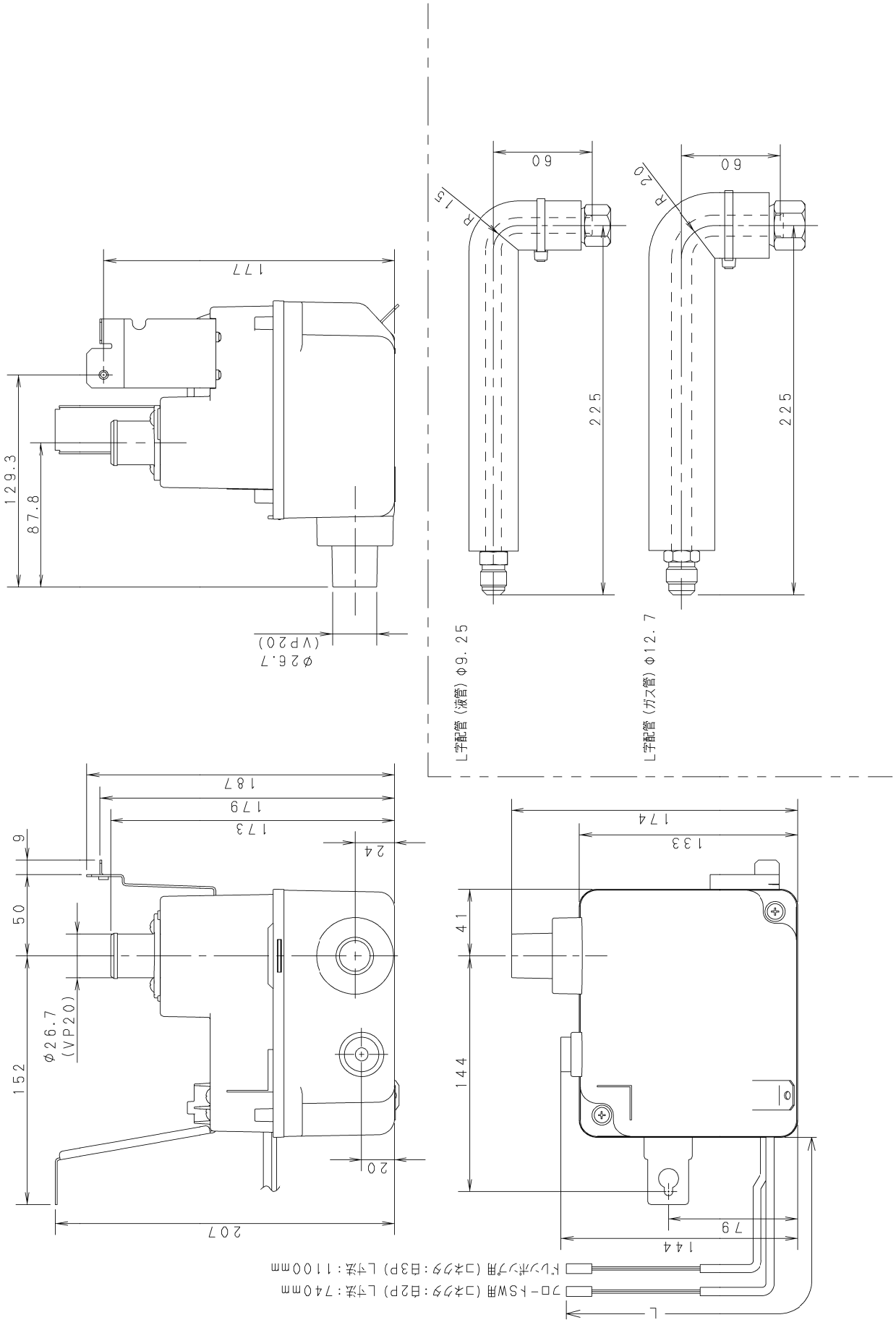
●ドレンアップキット

■仕様

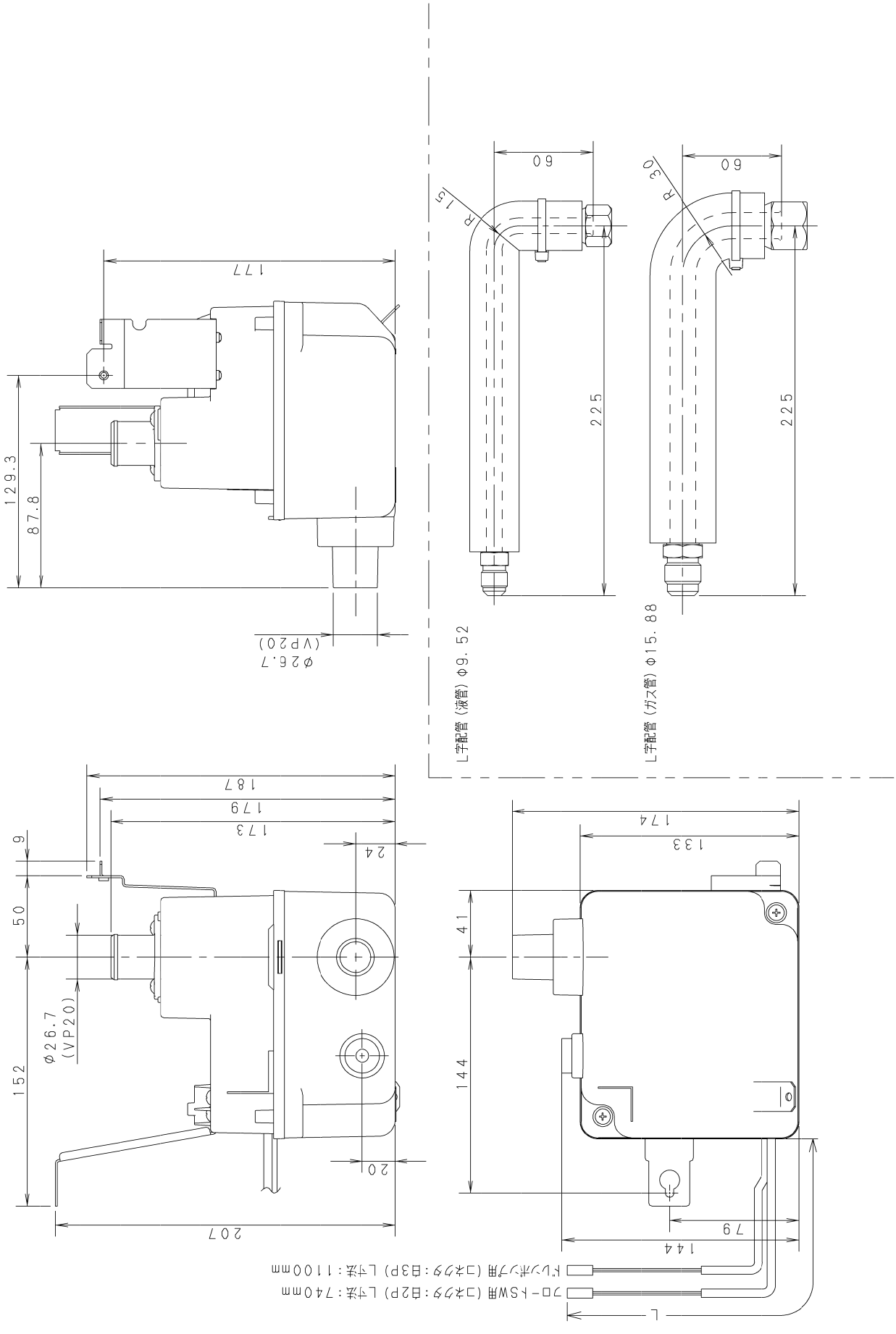
形　名		天井吊形（T1）	
ドレンアップキット品番		CZ-56DMTA	CZ-160DMTA
適用機種		36～56形	71～160形
ドレンアップポンプ	液管	φ9.52	φ9.52
	ガス管	φ12.7	φ15.88
	使用	ドレン水	
	使用温度	液体温度　0～35℃ 周囲温度　-10～45℃ (湿度ＲＨ95%以下)	
	吐出量	水位10mmで400cc/min *水位とは、ポンプ本体の先端部から水面までの距離	
フロートスイッチ		液面が下降して接点ＯＮ	

■外形寸法図

・CZ-56DMTA



・CZ-160DMTA


177
129.3
87.8
φ26.7
(VP20)
60
R15
225
60
R30
225
L字配管（液管）φ9.52
L字配管（ガス管）φ15.88
187
179
173
24
9
50
152
φ26.7
(VP20)
20
207
174
133
41
144
79
144
ドレン水ﾉｽﾞﾙ用（コネクタ：白3P）L寸法：1100mm
ﾌﾛｰﾄSW用（コネクタ：白2P）L寸法：740mm
L

■工事説明書

Panasonic®

据付工事説明書

本体内蔵ドレンアップキット

適用室内ユニット 天井吊形

品番
CZ-56DMTA
CZ-63DMTA
CZ-160DMTA

●取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この据付工事説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この据付工事説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

❗
- ■ 据付・電気工事は、販売店か専門業者に依頼する
  （感電・火災等の原因）
- ■ 据付工事は、室内ユニットの「据付工事説明書」に従って行う
  （感電・火災等の原因）
- ■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
  （ユニットの落下による、けがの原因）
- ■ 据付作業中に冷媒が漏れたときは換気する据付工事完了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する
  （冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因）
- ■ 電気工事は、電気工事士が下記に従って行う
  - ●電気設備に関する技術基準
  - ●内線規程
  - ●据付工事説明書
  （感電・火災の原因）
- ■ 配線は、所定のケーブルを確実に接続・固定する
  - ●端子接続部に、ケーブルの外力が伝わらないようにする。
  （発熱・火災等の原因）
- ■ 工事は、ユニットの漏電しゃ断器を切ってから行う
  （感電の原因）

⚠注意

⃠
- ■ドレンアップキット取り付け時には、必ず付属品のL字配管を使用してください。
  （指定の部品を使用しないと、冷媒漏れの原因になります。）

■据付工事説明書に記載されていない方法や、各説明書に記載されていない本体および付属品への追加工、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

ACXF60-33423
BE0718-30423

1. 付属品

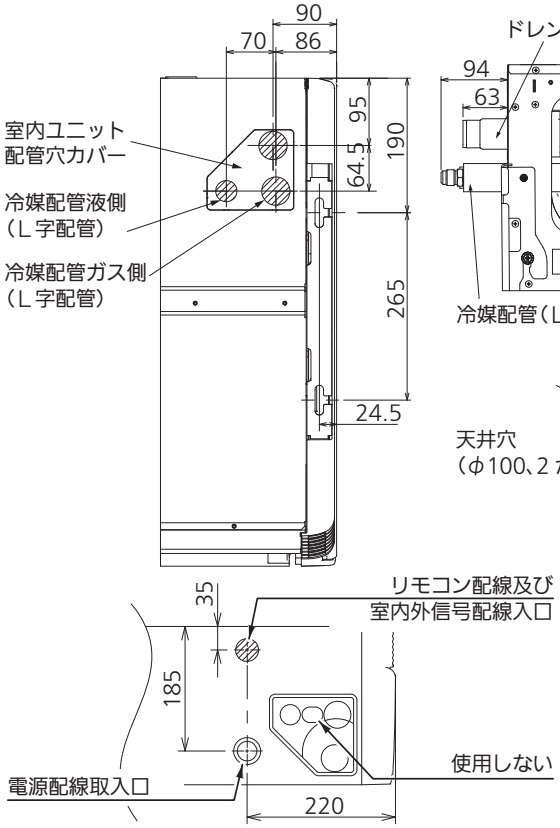
付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

ドレンアップキット（本体）（1 個）	銀イオン用ラベル（1 枚）	本体固定用ネジ（3 個）	冷媒配管用			
			L字配管（各 1 個）		フレア断熱材（各 1 個）	
			細管（液管）	太管（ガス管）	液管用	ガス管用
			ドレン配管接続用			配線固定用
	ドレンホース（1 個）	断熱材 ドレンホース用（1 個）	ホースバンド（2 個）	断熱材（1 個）	結束クランパー（大）（6 個）	結束クランパー（小）（2 個）

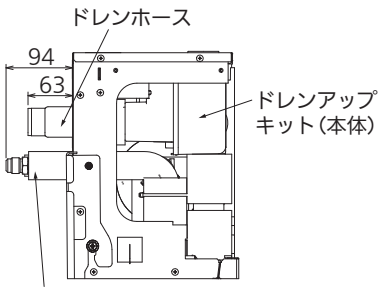
2. 取り付け準備

■ 取り付け時の注意事項

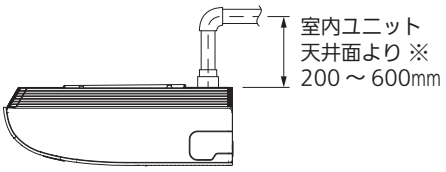
① ドレンアップキット取り付けの場合は、同梱のL字配管を使用した上配管取り出し以外はできません。
② ドレン配管は全て断熱処理をしてください。
③ 据え付ける天井面に冷媒配管・ドレン配管を貫通させるために天井穴（φ100、2か所）を開けてください。
④ 据え付ける天井面に450角の点検口を設けてください。
⑤ ドレンアップキット取り付け時は、リモコン配線及び室内外信号線を必ず、下図”室内ユニット穴位置”に示す取入口より引き込んでください。
⑥ 各穴にすき間があかないよう、必ずパテや断熱材（現地調達）でシールしてください。
（ほこりの侵入による熱交換器の目詰まりや、小動物の侵入による故障の原因になります。）



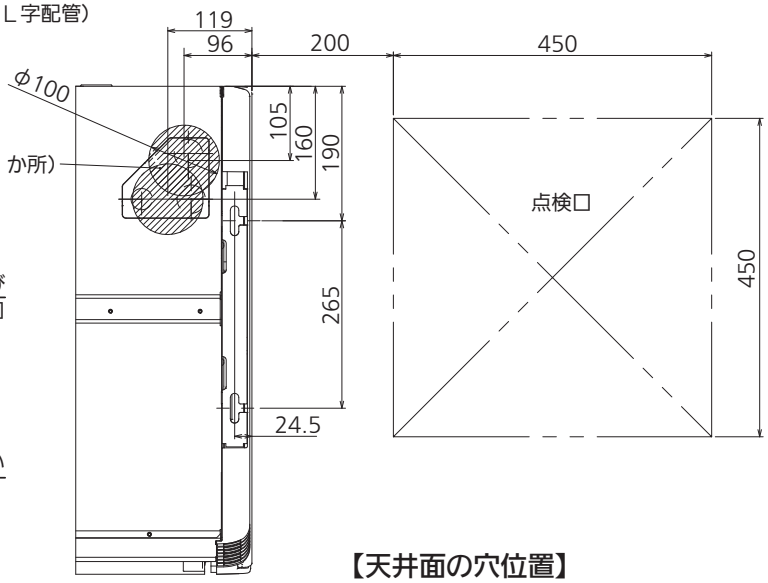
【室内ユニット穴位置】



【ドレンアップ高さ】



※附属品のドレンホースを使用するため、最低 200mm の高さが必要となります。必ず附属品のドレンホースを使用してください。



【天井面の穴位置】

3．取り付け手順

<1. 取り付けのまえに>

■ 配管穴カバー（天井面側）取りはずし

① 配管を通す箇所をカッターナイフ等で切り取り、穴を開けます。（斜線部）

② 加工後、元の位置に戻してください。

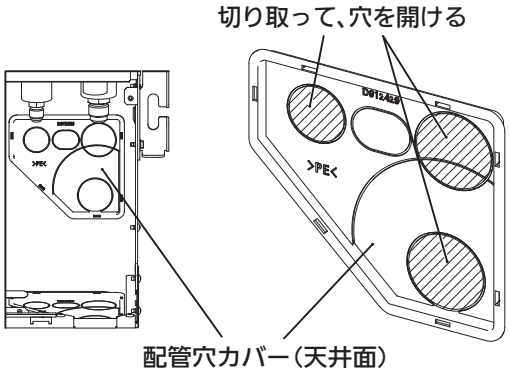


図 1

■ 吸込グリル取りはずし

① 室内ユニットの据付工事説明書にそって、ユニットを吊り下げてください。

② 吸込グリル、サイドプレート、センター金具、電装ボックスのふたを取りはずした状態にしてください。

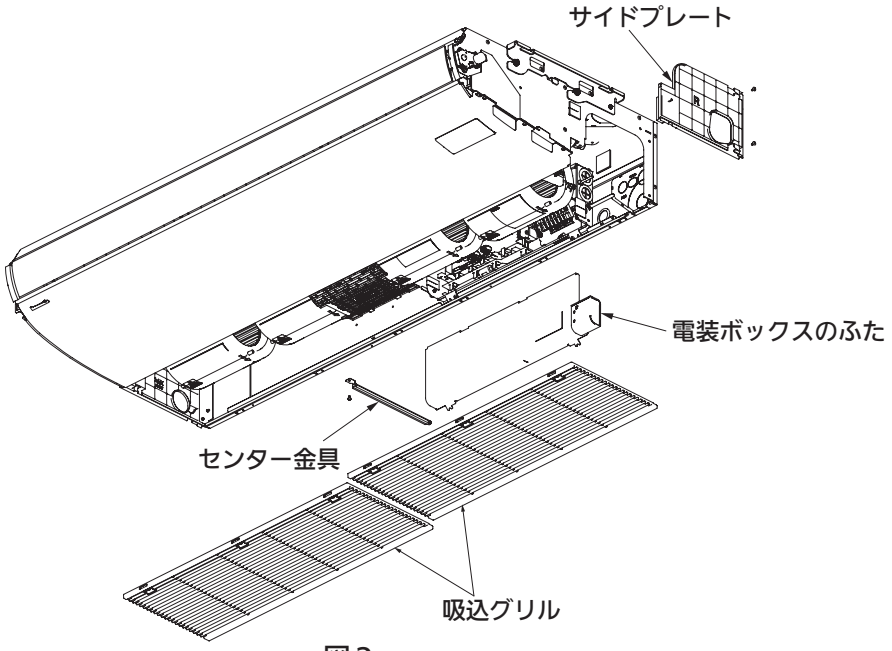


図 2

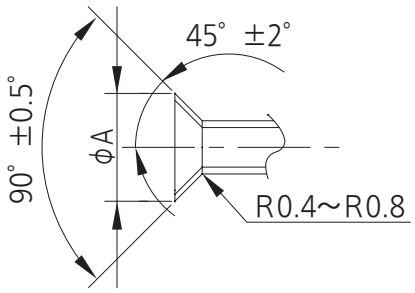
<2. L 字配管接続>

- **配管接続部のフレアナットをはずすときおよび配管接続の際にフレアナットを締め付けるときは、必ずトルクレンチを用いダブルスパナにて行ってください。**
  （フレアナットを締め過ぎると、フレア部を破損し、冷媒漏れによる酸欠事故の原因になります。）
- **フレアナットの締め付けトルクは、次ページの表を目安に締め付けてください。**
- **フレア接続時フレア部に塗布する冷凍機油は、少量のエステル油またはエーテル油をご使用ください。**
  その際、ネジ部や樹脂部分に油が付着しないようにご注意ください。
  （強度が弱くなり割れや露付き、水漏れの原因になります。）
- **使用される環境の温湿度が30℃またはRH80%を超えると思われる場合は、断熱を強化してください。**
  （断熱しないと結露することがあります。）

3. 取り付け手順（つづき）

■ 室内ユニットにL字配管（ドレンアップキット付属品）の接続

- 室内ユニットのフレアナットをはずします。
- L字配管を配管穴カバー（天井面側）に通し、フレア接続します。
- フレアナットの締付トルクは下表を目安にしてください。



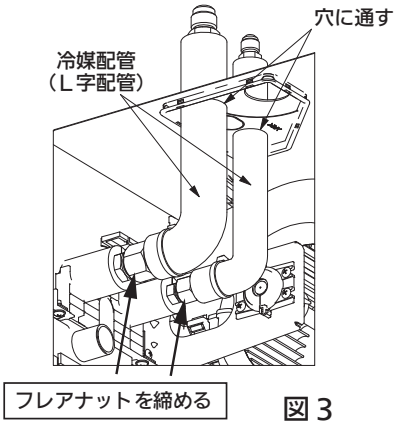


図 3

パイプ径（mm）	締付トルク N・m（kgf・cm）	銅管肉厚（mm）	フレアφA寸法（mm）	使用工具の推奨腕長さ
φ6.35（1/4″）	14 ～ 18 (140 ～ 180)	0.8	8.7 ～ 9.1	150 mm 程度
φ9.52（3/8″）	34 ～ 42 (340 ～ 420)	0.8	12.8 ～ 13.2	200 mm 程度
φ12.7（1/2″）	49 ～ 61 (490 ～ 610)	0.8	16.2 ～ 16.6	250 mm 程度
φ15.88（5/8″）	68 ～ 82 (680 ～ 820)	1.0	19.3 ～ 19.7	300 mm 程度

<3. 断熱処理 >

■ 配管の断熱のしかた

下図に従って液管・ガス管とも、断熱してください。それぞれの配管接続部には、フレア断熱材（ドレンアップキット付属品）を巻き付け、結束クランパー（室内ユニット付属品）2個で結束してください。断熱しないと水漏れの原因になります。

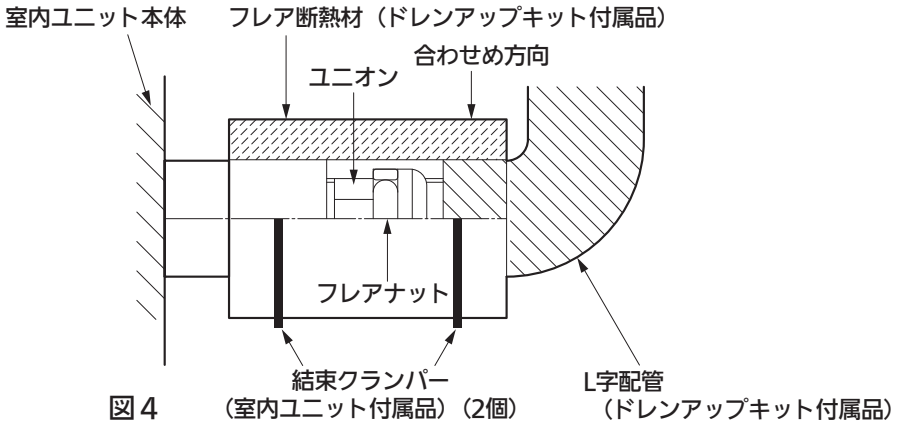


図 4

【室内ユニット本体-L字配管の接続】

<4. 冷媒配管接続 >

- 室内ユニットの“据付工事説明書”にそってL字配管のユニオンに冷媒配管を接続してください。

3. 取り付け手順（つづき）

<5.ドレンアップキット（本体）取り付け>

■ドレンホース（室内ユニット付属品）の取り付け（図 5，図 6）

① ドレンアップキットに、ドレンホース（室内ユニット付属品）を取り付けてください。
② ホースを突き当たるまで挿入してください。
③ ホースバンド（室内ユニット付属品）をドレンホースのテープに合わせて
取り付けてください。（締付トルク：3.0〜3.5N･m）
④ ホースバンドにドレン配管接続用断熱材（ドレンアップキット付属品）を
取り付けてください。
また、はがれを防ぐためにビニールテープ（現地調達）を巻いてください。
ホースバンドの金属部が露出しないようにしてください。
（結露の可能性があります）

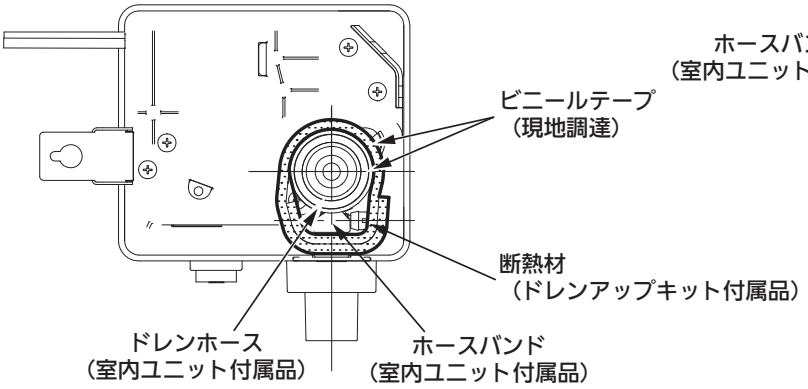


図 5

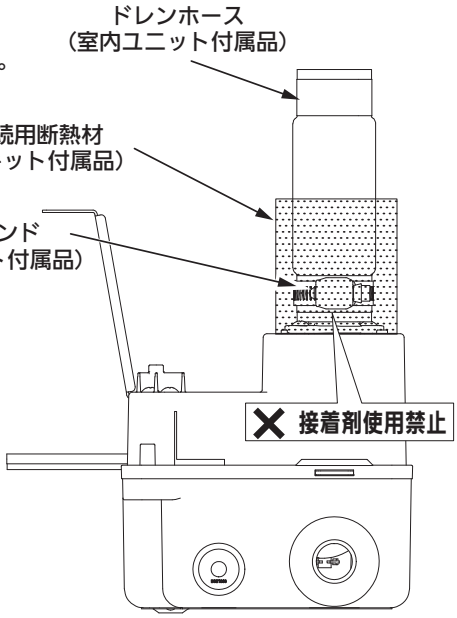


図 6

■ドレンアップキット（本体）の取り付け

① 室内ユニットの天井面に、付属品のネジ（1個）を仮止めしてください。（図 7，図 8）
② ドレンアップキット（本体）を室内ユニットに取り付けます。
天井面の配管穴カバーに開けた穴に、ドレンホースを通してください。
仮止めしたネジと右側面の角穴にドレンアップキット（本体）を引っ掛けてください。
3点のネジを締めて、ドレンアップキット（本体）を固定してください。

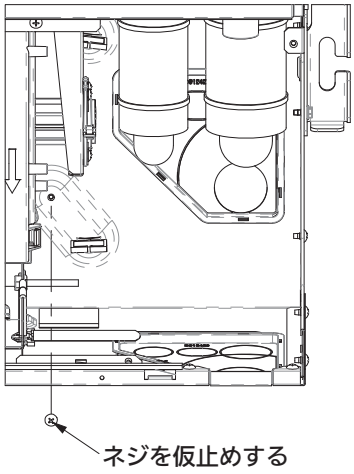


図 7

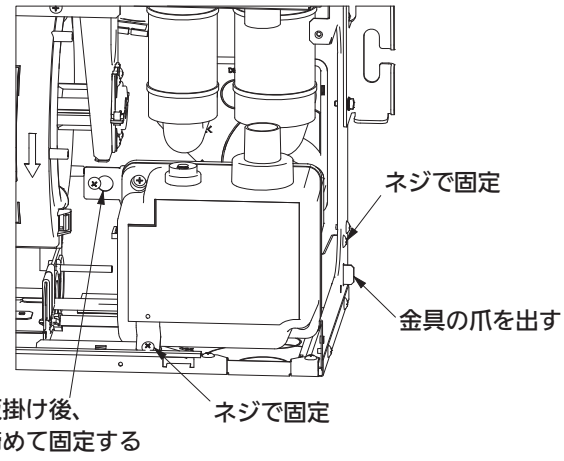


図 8

3. 取り付け手順（つづき）

<6. 室内ユニット側ドレンホースの接続 >

■ドレンホースの取り付け（図9, 図10, 図11）

① ドレンホース（ドレンアップキット付属品）にホースバンド2個（ドレンアップキット付属品）を緩めた状態で取り付けてください。

② 室内ユニットのドレンパンとドレンアップキット（本体）をドレンホースで繋いでください。必ず奥まで挿し込んでください。
ホースバンドをテープに合わせて締め付けてください。（締付トルク：3.0〜3.5N･m）
（接着剤は使用しないでください。接着剤をご使用になると、室内ユニット排水口が破損し、水漏れする可能性があります。）

③ ホースバンドに断熱材（室内ユニット付属品）2個を取り付けてください。
ホースバンドの金属部が露出しないようにしてください。（結露の可能性があります）

④ 図のように、ドレンホース断熱材をホースバンドに巻いてください。また、はがれを防ぐためにビニールテープ（現地調達）を巻いてください。

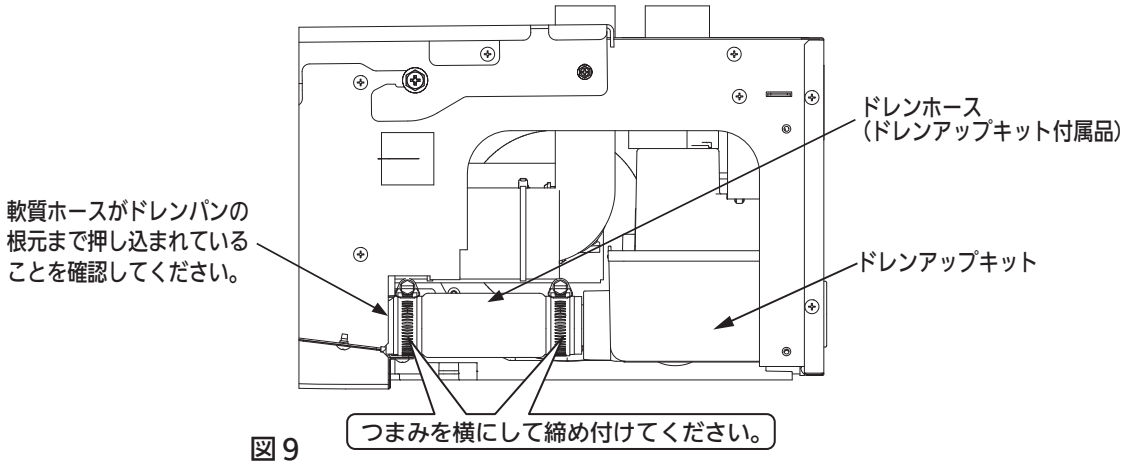
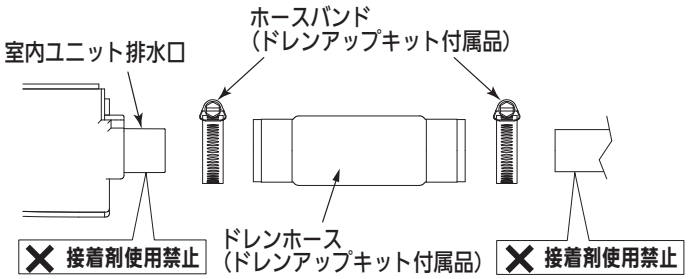


図 9



塩ビ系接着剤をご使用になると室内ユニット排水口が損傷し、水漏れの原因になります。

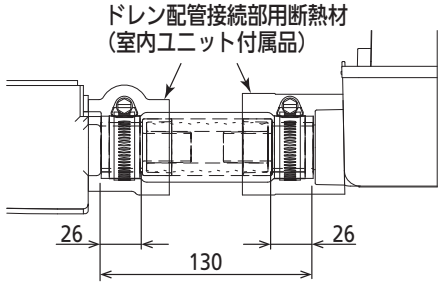


図10

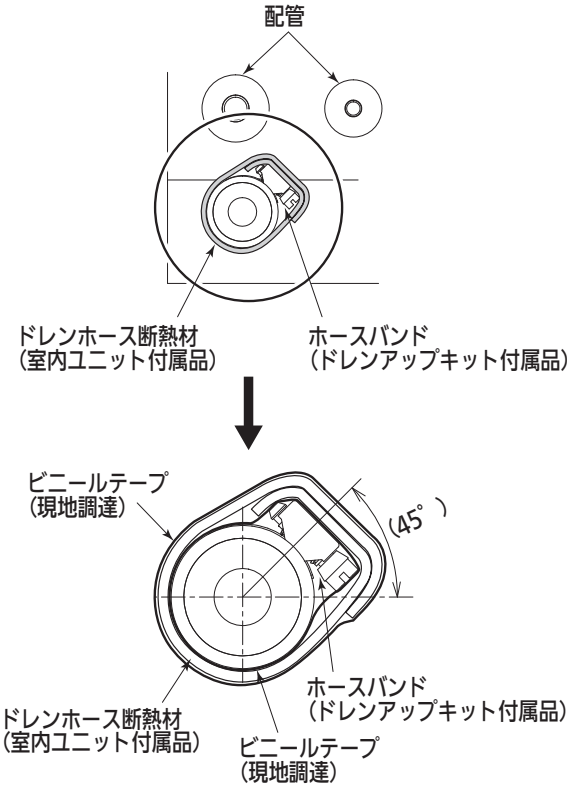
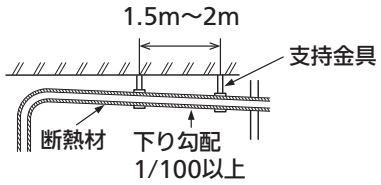


図11

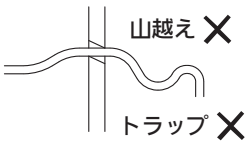
4. ドレン配管のしかた

<1. ドレン配管施工上のご注意>

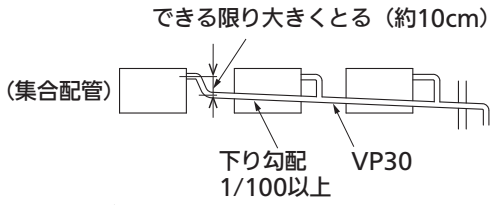
- 必ず付属のドレンホースを使用してください。
- ホースバンドは、付属のドレンホースの両端から約5～25mmの間で取り付けてください。
- アンモニア臭やイオウ系ガスが発生する下水などにはドレン配管を直接接続しないでください。下水の成分がドレン配管を通り室内ユニットの熱交換器を腐食させる可能性があります。(冷媒漏れの原因になります。)
- 市販のホースバンドで固定するとドレンホースにしわができ、水漏れするおそれがありますので付属のホースバンドを使用してください。またホースバンドをスライドさせる時ドレンホースをきず付けないようにしてください。
- **付属のドレンホースと室内ユニット排水口の接続には接着剤を使用しないでください。(排水口の破損による水漏れの原因になります。)**



- 付属のドレンホース断熱材を巻いて接続部をすき間のないように断熱してください。(室内部分にあるドレン配管は必ず断熱してください。)
- 室内のドレン配管の断熱を確実に行ってください。
- ドレンアップキットとの接続部も必ず断熱してください。断熱が不完全になると結露の原因になります。
- ドレン配管は下り勾配（1／100以上）とし、途中に山越えやトラップを作らないでください。水漏れや水飛び、異常音の原因になります。



- ドレン配管の横引きは20m以下にしてください。配管が長い場合は、1.5～2m間隔で支持金具を設け、波打ちを防止してください。
- 集合配管は右図のように施工してください。
- エアー抜き管は付けないでください。ドレン水が吹き出し、水漏れの原因になります。
- ドレン配管との接続部に力を加えないよう注意してください。ドレン配管接続口との接続には、必ず付属のドレンホースを取り付けます。必ず付属のホースバンドで固定してください。ドレン配管接続口の破損や水漏れの原因になります。



- 断熱を施した後、取出口と配管（断熱材）のすき間をパテ等（現地調達）でふさいでください。ほこりの侵入による熱交換器の目詰まりや、小動物の侵入による故障の原因になります。
- ドレン配管は必ず下り勾配（1/100以上）とし、トラップのできる配管は絶対しないでください。上り勾配及びトラップ配管の場合にはドレンパンに水がたまり、水漏れや水飛び、騒音発生の原因になります。

<2. ドレン配管の接続>

■ドレン配管の接続

① ドレンホースとドレン配管を接続してください。(図12)
ドレン配管は硬質塩ビVP20(現地調達）を使用してください。

② 接続時、ドレンホース側と硬質塩ビ管継手には両方とも接着剤を塗ってください。(約2g)
はみ出た接着剤はウエス等で拭き取ってください。

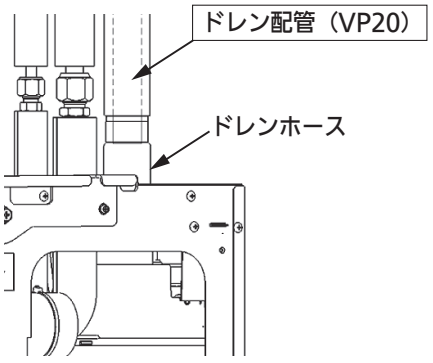


図12

5. 配管穴カバーのシール

■ 室内ユニットの天井面の配管穴カバーと各配管のすき間をパテ等（現地調達）でふさいでください。
（ほこりの侵入による熱交換器が目詰まりや、小動物の侵入による故障の原因になります。）

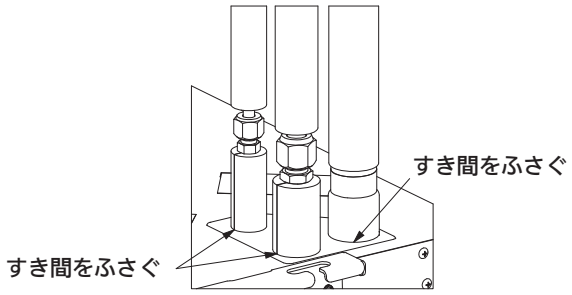


図13

＜1. 断熱＞

■ 円筒形の断熱材を取り付け、結束クランパー（大）（ドレンアップキット付属品）で固定してください。
■ 配管の接続部が露出しないようにしてください。
（結露の原因になります）

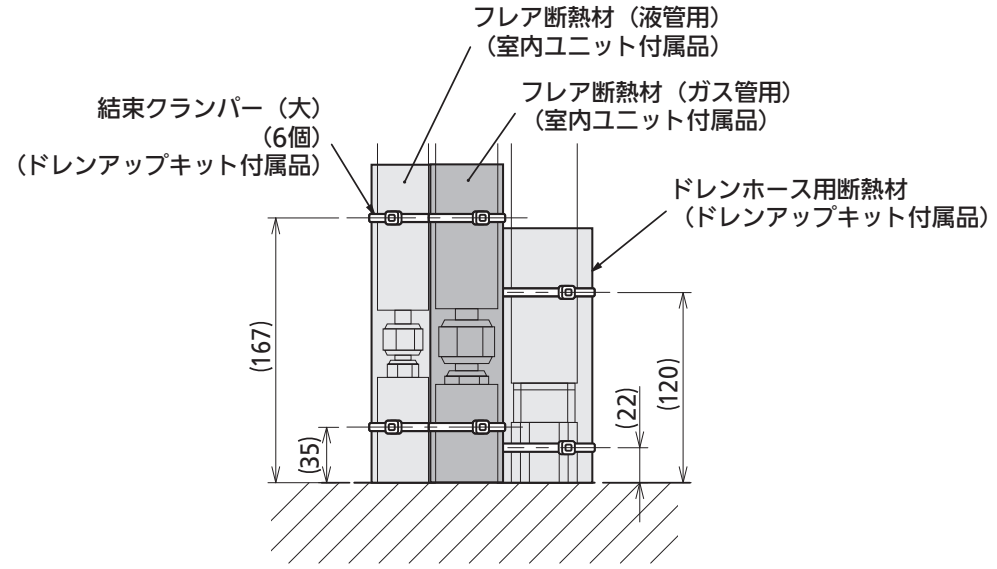


図14

6. 配線接続

■配線の引き込みと板金のエッジ処理

室内外操作線およびリモコン線は、室内ユニットの背面上部にある穴を切り開いて引き込んでください。
配線に傷が付かないよう、板金のエッジを処理してください。

⚠ 注意　リモコン配線、室内外操作線は必ずリモコン配線･室内外操作線取入口から引き込んでください。

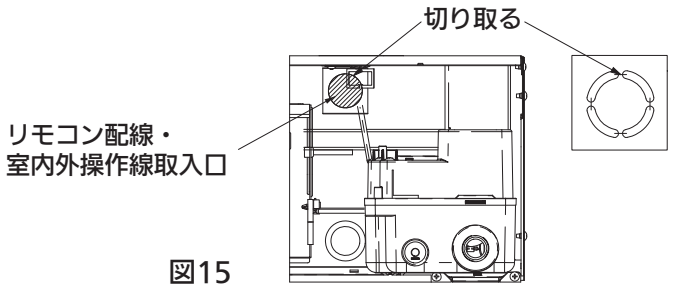


図15

① 電装ボックス左のツイストクランパーをほどき、ファンモーターの配線を緩めてください。
② 電装ボックスを固定しているネジをはずして、電装ボックスを引き出してください。
③ ドレンアップキットの配線（ドレンポンプ電源線 白 3P、フロートスイッチ配線 白 2P）を、電装ボックス右側奥の穴から引き込みます。ドレンアップキットの配線は、室内ユニット内配線と同じルートで引き回してください。
④ 再生クランパーには通さず、結束クランパー（小）（ドレンアップキット付属品）でユニット内配線に固定してください。
⑤ ドレンポンプ電源線（白 3P）をCN068に、フロートスイッチ用コネクタ（白 2P）をCN034に接続します。このとき、CN034の短絡用2Pコネクタをはずして接続してください。
⑥ 室内ユニットの電源線・室内外操作線・リモコン線を接続してください。
室内外操作線およびリモコン線の接続後、リモコン配線・室内外操作線取入口をパテ等でふさいでください。
（ほこりの侵入による熱交換器の目詰まりや、小動物の侵入による故障原因になります。）
⑦ 電装ボックスを元の位置に戻してください。電装ボックスの爪が室内ユニット背面の穴にはまっていることを確認してください。
（はずれている場合、運転時の騒音につながる可能性があります。）
⑧ ファンモーターの配線をツイストクランパーでたばねてください。

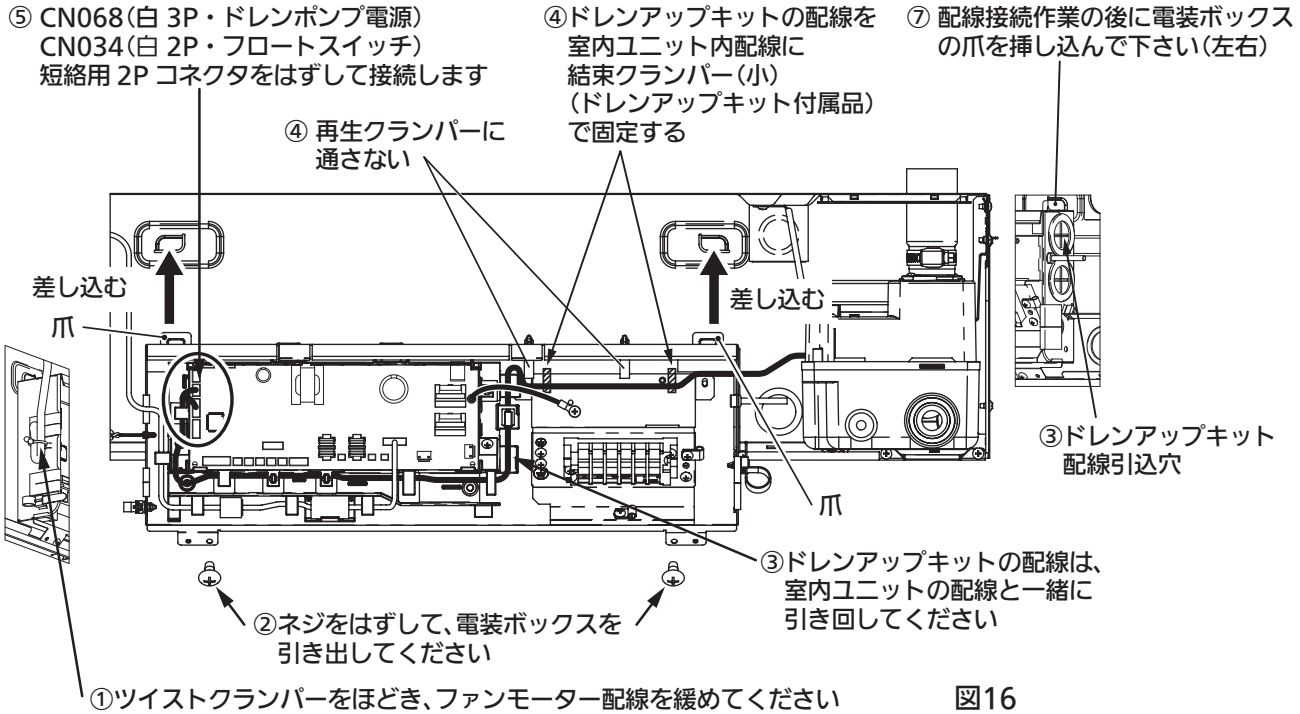


図16

7. 試運転

<1.ドレン排水状態の確認 >

ドレン配管接続工事の完了後に、排水が確実に行われること、および配管接続部から水漏れのないことを確認してください。
（作業前にバケツやウエスを用意してください。）

- 右図の通り、ドレンパン吹出口よりドレンパン内に排水確認用の水を約１Lを少しずつ入れてください。

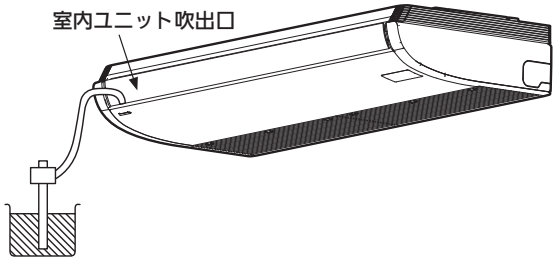


図17

A　電気配線が完了している場合

A-1 冷房運転をしながらドレン水が排水されていることを確認してください。また、ドレン配管からの水漏れがないか確認してください。

B　電気配線が完了していない場合

B-1 電装ボックス内の電源端子板（R,S端子）に単相200Vを接続してください。

B-2 室内コントロール基板のCHK（6Pプラグ⑤ー⑥間）をワニグチクリップ等で短絡してください。
※CHK（6Pプラグ⑤ー⑥間）を短絡すると、ファンが回転しますので注意してください。
（けがをするおそれがあります。）

B-3 電源を入れるとドレンポンプが運転しますので、室内ユニットの本体排水口（透明）部から排水がされているかを確認してください。
また、ドレン配管からの水漏れがないか確認してください。

B-4 排水確認が完了したら電源を切り、CHKの短絡をはずしてください。

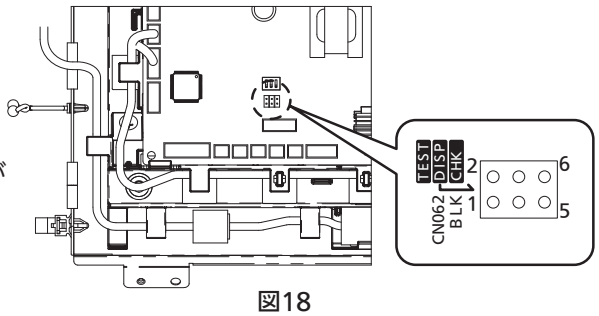


図18

⚠注意

室内コントロール基板のCHK（6Pプラグ⑤ー⑥間）を短絡すると、ファンが回転しますので注意してください。
けがをするおそれがあります。

ドレンポンプに異常がある場合“P１１”が表示されます。

8. 銀イオン系抗菌剤について

■本製品には銀イオン系の抗菌剤を標準装備しております。

銀イオン系抗菌剤は消耗品で、ご使用いただける期間の目安は、一般事務所で２シーズン（冷房運転時間が2,500時間）となります。付属品の銀イオン用ラベルに運転開始日を記入し、室内ユニットのファンケーシングに貼り付け、交換の目安としてください。

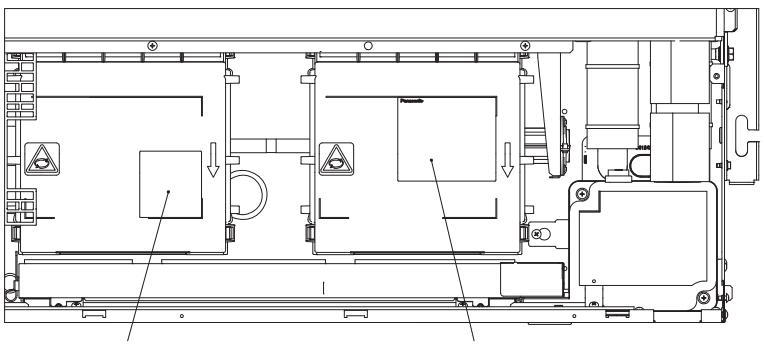


図19

9. 銀イオン系抗菌剤　交換手順

■水抜き

① 室内ユニットの運転を停止し、ドレンポンプが停止するまでお待ちください。（1 分ほど遅れて停止します）

② 漏電しゃ断器を切ってください。

③ 排水管の中に残っている水が全て水受け皿に戻って来てから、水受け皿のゴム栓をはずして中に残っている水を出してください。

■水受け皿の取り外し

① 水受け皿を固定しているネジ（3か所）をはずしてください。（図20）

② 水受け皿を吹出側に少し動かし、爪をはずします。（図21）

③ 下側に引き出し、銀イオン系抗菌剤（1個）を交換してください。
抗菌剤は水受け皿の側面にあるポケットに挿し込んでください。

④ ゴム線をドライバー等で押し込んでください。

⑤ 元に戻し、ネジを固定してください。

⑥ ファンケーシングに貼られているラベルに交換年月日を記入してください。
室内ユニットを元の状態に戻し、作業は完了です。

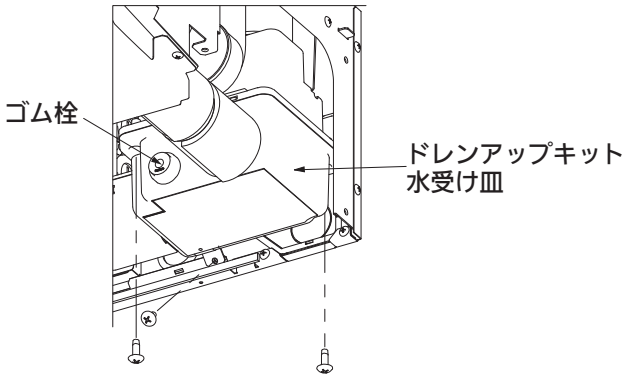


図20

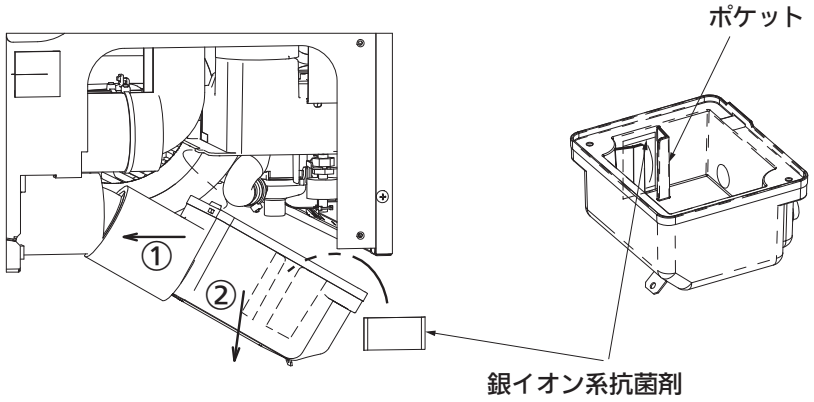
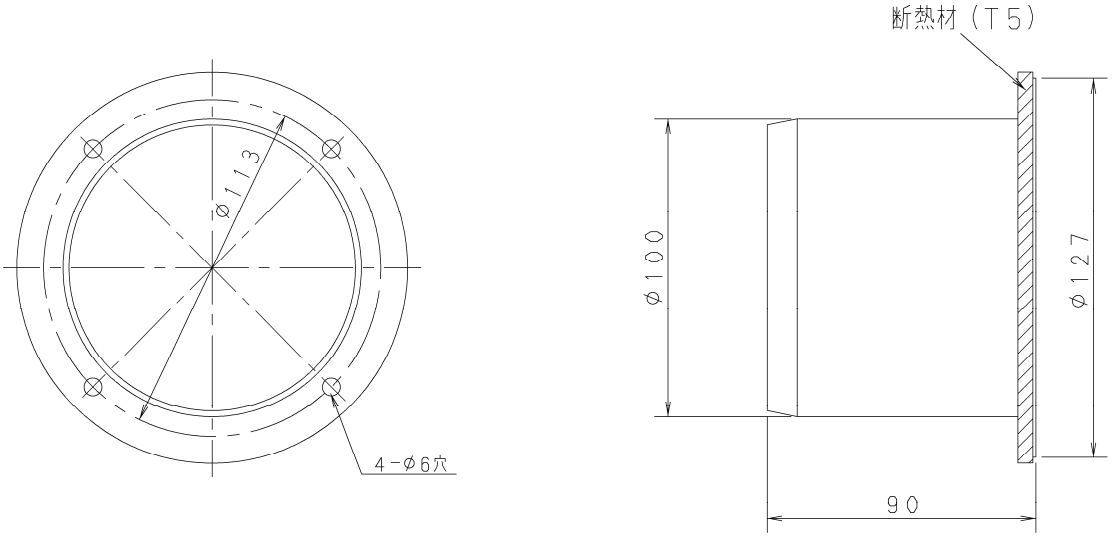


図21

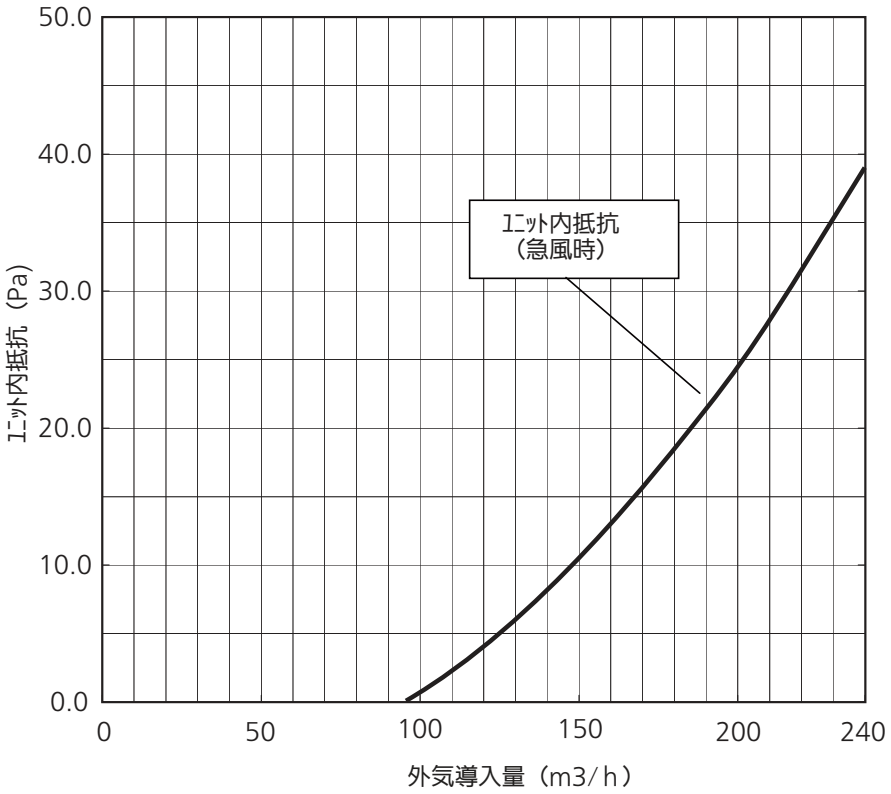
●丸合いフランジ<外気取入れ用>（φ 100）〈CZ-DA100〉

■外形寸法図



■外気導入量とユニット内抵抗特性

外気導入量とユニット内抵抗特性



本体に直接外気を取り入れる場合(CZ-DA100使用時)の外気導入可能風量

形式	36～56形	71形	80,90形	112形	140形	160形
可能風量 (m^3/h)	170	200	210	240	240	240

■工事説明書

Panasonic

据付工事説明書

丸合フランジ（φ100）

品番　CZ-DA100

適用室内ユニット　天井吊形（Tシリーズ）＊

（＊対象機種の詳細は、カタログもしくは設備設計資料でご確認ください。）

●据付工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この「据付工事説明書」をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この「据付工事説明書」はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容（禁止事項）です。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

■ 据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■ 据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う
（ユニットの落下による、けがの原因）

■ 付属品は当社指定の部品を使用する
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠ 注意

■ 周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■ 据付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 使用上のご注意
・別売品のご使用については、組み合わせ制限がありますので、カタログ・設備設計資料等をご確認ください。
・この据付工事説明書は、室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管してください。

ACXF60-31574
PA0518 - 40823

1. 付属品

付属品は据付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

名　　称	個数	名　　称	個数	据付工事説明書	個数
丸合フランジ（φ100）	1	取付ネジ（M4×12）	4		1

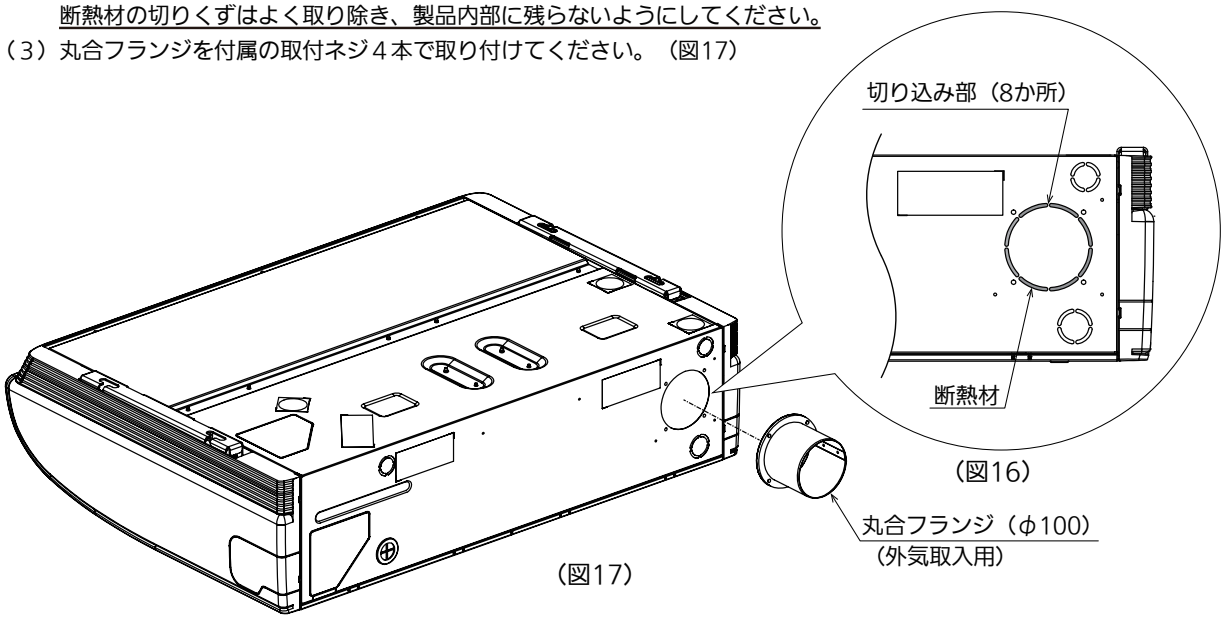
2. 取り付けかた

●天井吊形の場合

（1）室内ユニット背面の切り込み部を、ニッパ等で切断してください。（図16）

（2）室内ユニット断熱材をカッターナイフ等で切り込みに沿って切断し、切り取ってください。
断熱材の切りくずはよく取り除き、製品内部に残らないようにしてください。

（3）丸合フランジを付属の取付ネジ４本で取り付けてください。（図17）

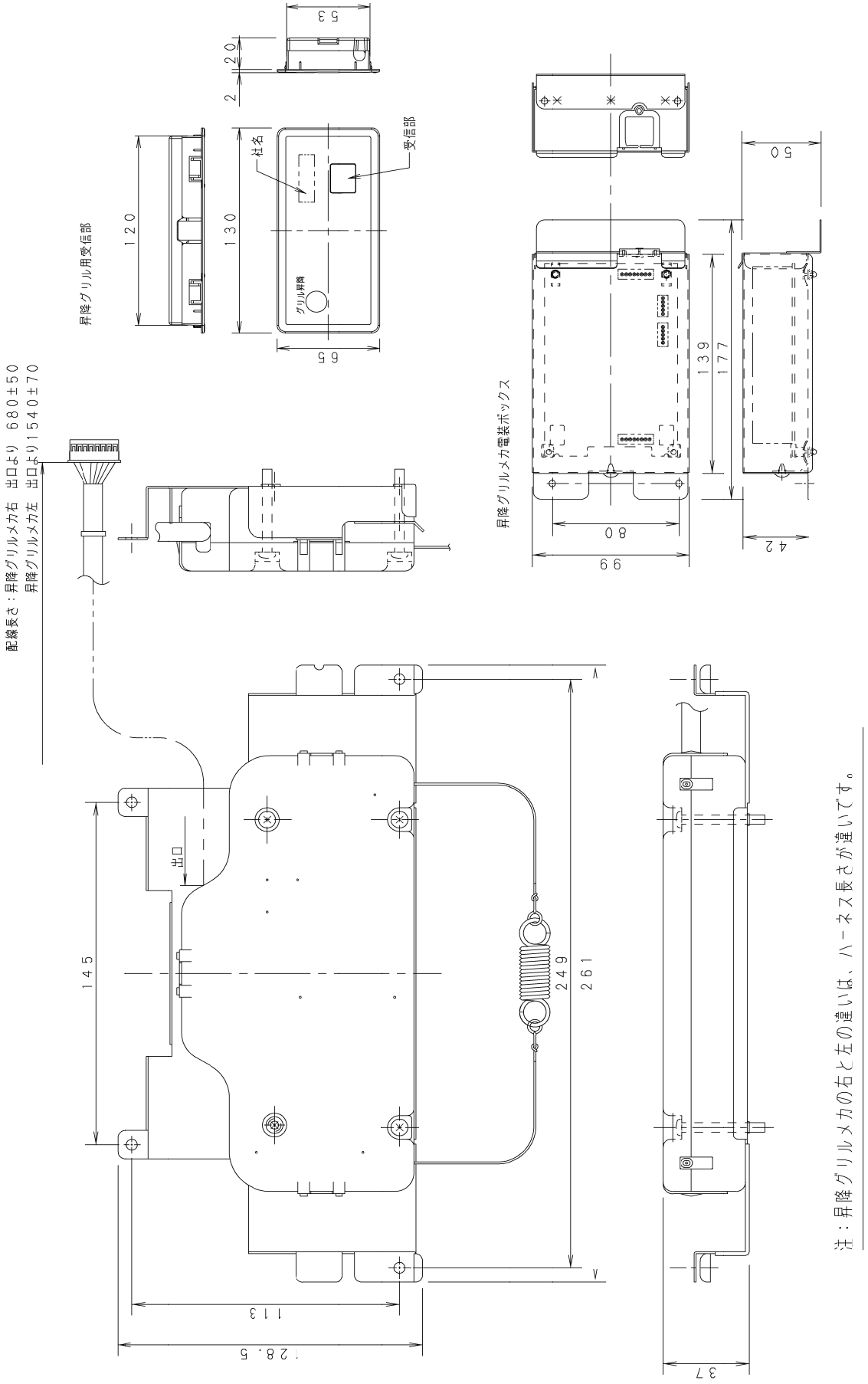


（図16）

（図17）

●昇降グリルメカキット（CZ-06KSKD3）

■外形寸法図



注：昇降グリルメカの右と左の違いは、ハーネス長さが違いです。

■取付説明

昇降グリルメカキット取付説明書

● 電気配線工事は、ユニット本体同梱の「電気工事担当のかたへ」または「据付工事説明書」の説明に従ってください。

安全上のご注意

■ 据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
■ ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに “取扱説明書” にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。また “据付工事担当のかたへ” 、“電気工事担当のかたへ” または “据付工事説明書” は、“取扱説明書” とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。

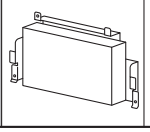
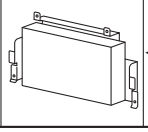
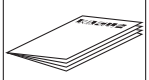
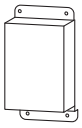
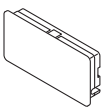
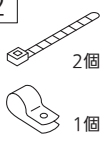
⚠ 警　告

- 据付、電気工事は、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 据付工事は、“据付工事担当のかたへ” “電気工事担当のかたへ” または “据付工事説明書” に従って確実に行ってください。据え付けに不備があると、冷媒漏れ、水漏れ、感電、火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および “据付工事担当のかたへ” “電気工事担当のかたへ” に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電気回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は換気をしてください。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
- 設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。

⚠ 注　意

- 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

付属品　付属品は取付工事に必要なため、工事が完了するまで捨てないでください。

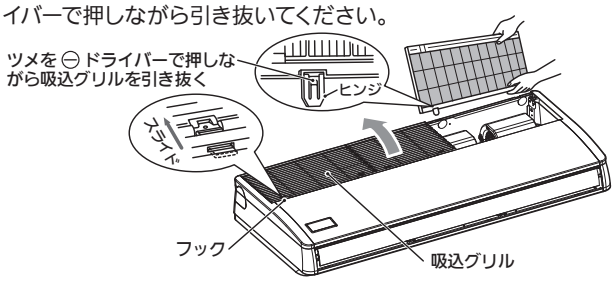
品名	昇降メカA	昇降メカB	取扱説明書	取付説明書	電装ボックス	受信部	ネジ	コードクランプ	ブッシング
個数	1 (短配線)	1 (長配線)	1	各1	1	1	11 4×10	2	1
形状									

天井吊形に取り付ける場合

1.昇降グリルメカキット取り付け前の準備

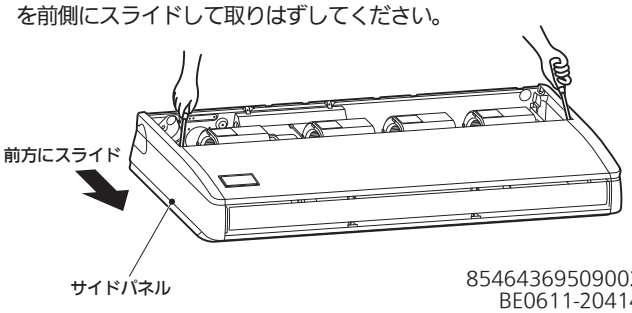
1. 吸込グリル取りはずし

吸込グリルのフック (2か所) を矢印方向にスライドし、開いてください。
吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジ (2か所) のツメを⊖ドライバーで押しながら引き抜いてください。



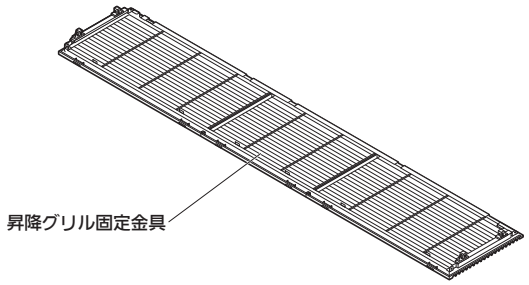
2. サイドパネル取りはずし

サイドパネル固定ネジ（左右各1本）をはずした後にサイドパネルを前側にスライドして取りはずしてください。



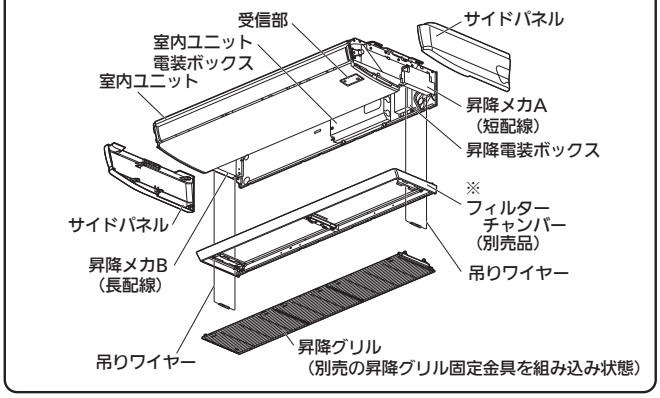
85464369509002
BE0611-20414

3. 別売部品の昇降グリル固定金具で昇降グリルを組み立てる
昇降グリルの組立方法は、昇降グリル固定金具に付属している取付説明書に従ってください。



〈注意〉吸込グリルに使用していたフック・ヒンジは応急時に使用しますので、お客様で保管いただくように依頼してください。
室内ユニットに取り付けないでください。

昇降メカ取付図



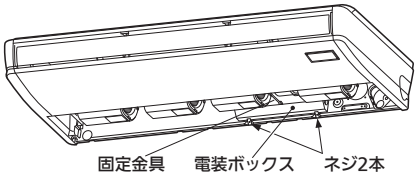
※フィルターチャンバー（別売品）と同時に取り付けることができます。

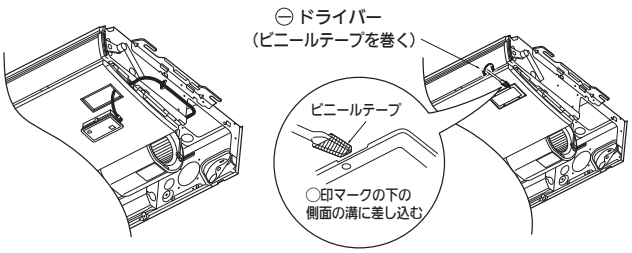
2.受信部の取り付け

1. 固定金具をはずします。
2. 電装ボックスのカバー取付ネジ（2か所）をゆるめてカバーをはずします。（右図）
3. 受信部を室内ユニットに取り付けます。
① ㊀ ドライバーの先端にビニールテープを巻き、カバーの○印の下の側面の溝に差し込んでこじるようにしてください。（下図右）
② パネルにリード線を通してから受信部をパネル穴に取り付けます。
③ 受信部のリード線は、ルーバモーターの配線を固定しているクランパーに固定します。（下図左）
ワイヤレスリモコンをご使用になる場合は、別紙の“昇降グリルメカキットとワイヤレスリモコンを併用する場合”の説明書に従って取り付けてください。

〈注意1〉受信部の配線は電源引込線などといっしょにより合わせると誤作動の原因となりますので避けてください。

〈注意2〉ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルターを取り付ける等の処置が必要です。

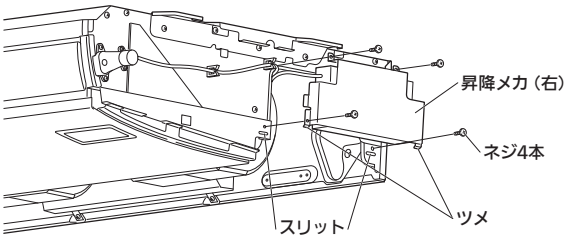




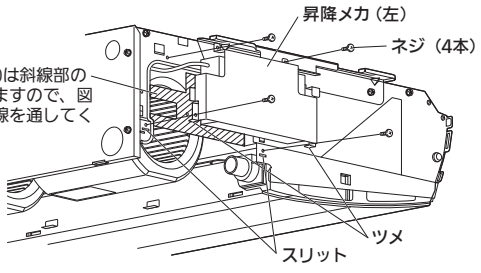
3.昇降メカの取り付け

昇降メカの取り付けは、冷媒配管・ドレン配管接続後に行ってください。

1. 昇降メカのツメ2か所を室内ユニット側面のスリットに押し込み、付属のネジ（4本）で取り付けます。
※昇降メカは左右違いますのでご注意ください。
※昇降メカの吊りワイヤーとばねの入ったビニール袋は、工事が終わるまで取りはずさないでください。
※左ドレン配管を行う場合は、昇降メカの吊りワイヤーとドレン断熱材が接触しないように注意してください。

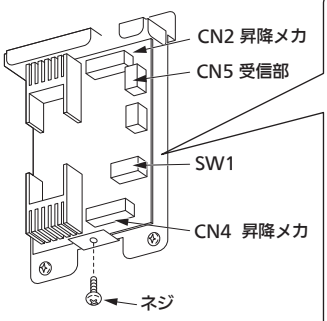


形式63～90は斜線部の金具がありますので、図のように配線を通してください。

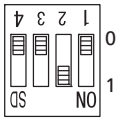


4.昇降高さおよび機種切替の設定のしかた

1. 昇降電装ボックスのネジ（1か所）をゆるめ、カバーをはずしてください。
2. ご使用になる高さにあわせて、右図のように基板上のスイッチを設定してください。
出荷時は2.0m天井吊形の設定になっています。
3. 昇降電装ボックスを室内ユニットに取り付けてください。
室内ユニットの差し込み部に昇降電装ボックスを差し込み、付属のネジ（2か所）で固定してください。



グリル下降距離設定（SW1）
（出荷時設定=2.0m天井吊形）



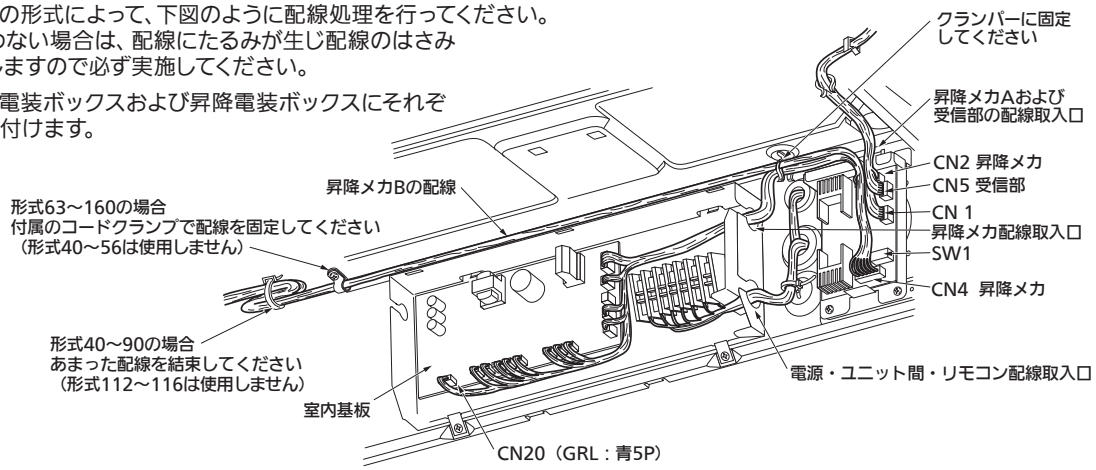
※

[m]	1	2	3	4
1.0	0	0	0	0
1.5	1	0	0	0
2.0	0	1	0	0
2.4	0	1	1	0
2.7	1	1	0	0
3.1	1	1	1	0

※ 4 は機種の切替です。天井吊形は出荷時の位置“0”から動かさないでください。

5.配線のしかた

1. 昇降メカから出ている配線コネクタを昇降電装ボックスに接続します。それぞれ昇降メカA（短配線）をCN2、昇降メカB（長配線）をCN4に接続します。
2. 受信部から出ている配線・コネクタを昇降電装ボックスのCN5に接続します。
3. 昇降電装ボックスのCN1から出ている配線コネクタを室内ユニットのCN20（GRL：青5P）コネクタに接続します。
4. 各室内ユニットの形式によって、下図のように配線処理を行ってください。
   配線処理を行わない場合は、配線にたるみが生じ配線のはさみ込み等が発生しますので必ず実施してください。
5. 室内ユニットの電装ボックスおよび昇降電装ボックスにそれぞれカバーを取り付けます。

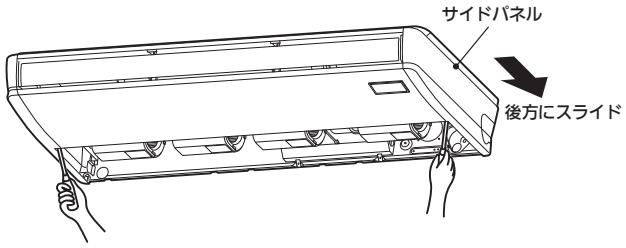


6.サイドパネル・昇降グリルの取り付け

A.サイドパネルの取り付け

① サイドパネルを後方にスライドして取り付け、固定ネジで取り付けてください。

● **サイドパネルを取り付けるときは、吊りワイヤーおよび配線をはさまないように気をつけてください。**



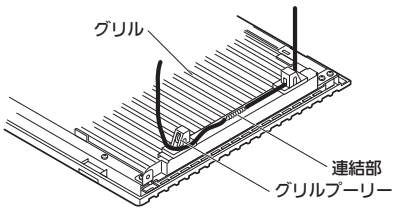
B.昇降グリルの取り付け

昇降メカに貼り付けてあるビニール袋から吊りワイヤーとばねを取り出してください。

① 図のようにグリルプーリーへワイヤーを確実に通してください。

● **取り付けが終わったらもう一度次の確認をしてください**
- **吊りワイヤーの連結部がはずれかけていませんか**
- **グリルの吊りワイヤーが配線などと接触していませんか**
- **吊りワイヤーがプーリーからはずれたり、はさまったりしていませんか**

グリルの吊り方



② 通電の有無で次の対応を行ってください。

エアコンに電源が通電されている場合

① 吸込グリルのフック（2か所）をはずして昇降グリル固定金具に付属しているシールを貼り付けてください。
ヒンジはそのまま取りはずしてください。
ヒンジ・フックは、取付説明書といっしょに保管してください。

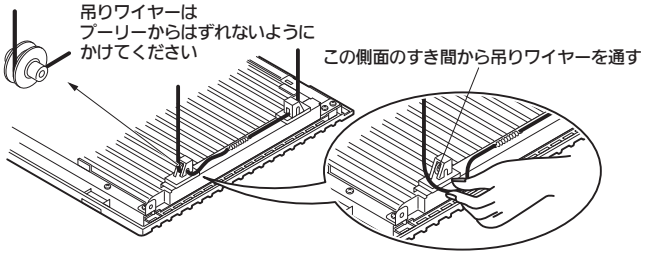
② ヒンジ・フックが取り付けられていないのを確認し、昇降グリル用リモコンで吸込グリルを上昇させます。

エアコンに電源が通電されていない場合

① 電源が通電されるまで吸込グリルに取り付けてあるフックとヒンジをそのまま使用し、吊りワイヤーが外に出ないように吸込グリルを取り付けてください。

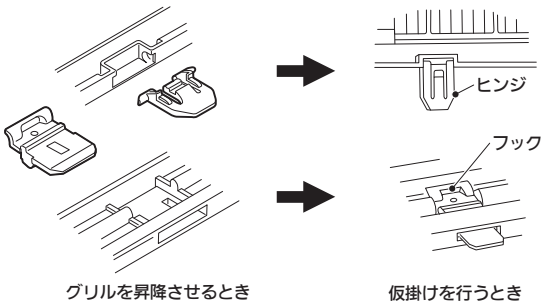
② 通電されたら、必ず上記の“エアコンに電源が通電されている場合”の説明に従い、作業を行ってください。

グリルプーリーへの吊りワイヤーの通し方



ヒンジ・フックの取り付け方（応急時）

仮掛けを行う場合には、室内ユニットのグリルに取り付けてあったフックおよびヒンジを使用してください



7.据え付け後の設定・その他

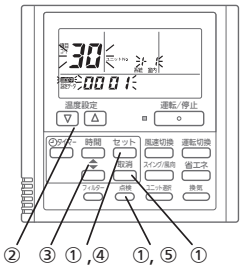
(1) 据え付け後の確認

● 配線接続が確実にされていることを確認します。
※接続されていないと、グリルの昇降動作ができなくなります。

(2) 昇降グリルをワイヤードまたはタイマーリモコンから操作するための設定方法

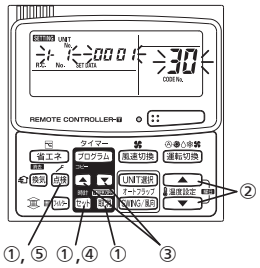
ワイヤード（タイマー）リモコンの フィルター ボタンでグリルを操作するためには必ずワイヤード（タイマー）リモコンから下記設定を行ってください。
この設定をしないと フィルター ボタンを長押ししても“この機能は使用できません”または“ ⃠ ”が表示されます。

ワイヤードリモコン
CZ-10RT3/CZ-10RT3A



① 点検 ＋ 取消 ＋ セット ボタンを同時に4秒間以上押します。
※昇降グリルを設置している室内ユニットを含むグループ制御を行なう場合は親機に対して設定する必要があります。最初に表示されるユニットNoはグループ制御の親機の室内ユニットアドレスですので ユニット選択 ボタンを押さないでください。
②温度設定 ▲ ／ ▼ ボタンで項目コード「30」を指定します。
③時間 ▲ ／ ▼ ボタンで設定データを「0000」から「0001」に変更します。
④ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
⑤ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。 フィルター ボタンを4秒間以上押して液晶表示部に“フィルター 昇降 ”または“ 🏛 ”と表示されることを確認してください。再度 フィルター ボタンを4秒間以上（または、2回）押すと通常の停止状態に戻ります。
※ワイヤードリモコン（CZ-10RT4）をご使用の場合は、付属の「据付工事説明書 試運転編 補足」を参照してください。

タイマーリモコン
CZ-10RT3W



ワイヤレスリモコン対応の場合

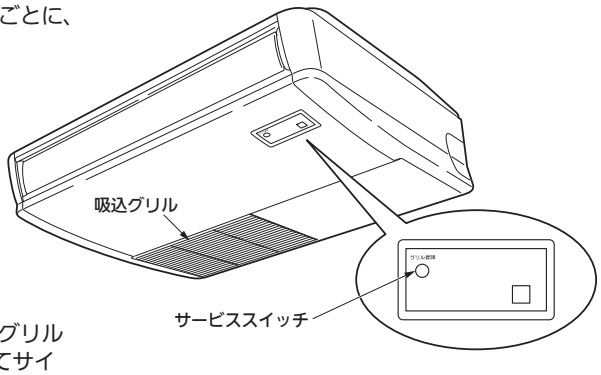
● 別売品の昇降操作専用リモコンでも昇降グリルの操作が可能です。
● 別売ワイヤレスリモコン（本体組込受信部タイプ）を併用する場合は、別紙「昇降グリルメカキットとワイヤレスリモコンを併用する場合」を参照してください。

(3) 据え付け後の動作確認

●(2)の設定終了後に、動作確認を行ってください。
●電源投入時、初めて操作した場合は、下げるを押しても上昇動作をします。
●昇降グリルが室内ユニットにきちんと収まると、収納動作を2回くり返した後、モーターが停止します。
●上昇動作途中で停止の場合は、再度上げるを押して、収納を確認してください。

(4) サービス時

● リモコン（ワイヤード・昇降操作専用リモコン・ワイヤレス）を使用しなくても、右図のサービススイッチにて、昇降が可能です。サービススイッチは押すごとに、上昇、停止、下降をくり返します。



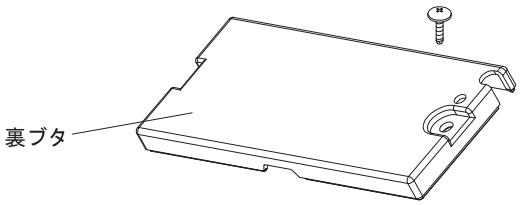
サービススイッチでも動作しない場合に、昇降グリルをはずす時は、昇降グリルを下方に引き下げ、サイドパネルを固定しているネジ（2か所）をはずしてサイドパネルをはずします。
昇降メカを固定しているネジをはずして、昇降メカといっしょに昇降グリルをはずしてください。

上記項目を確認した後、この説明書とユニット本体および別売部品の説明書等の一式全てとヒンジ・フックをお客様へ渡してください。
その際、ユニット本体の取扱説明書に記載されたフィルターの清掃の説明を必ずお客様へしてください。

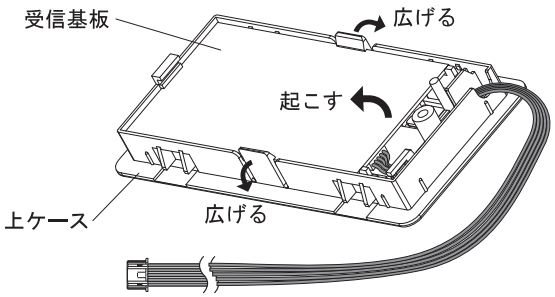
8546575911 8001

昇降グリルメカキットとワイヤレスリモコンを併用する場合

①昇降グリルメカキット付属の受信部およびワイヤレスリモコンの受信部の裏ブタをはずします。
（右の図は昇降グリルメカキット付属の受信部の例です）

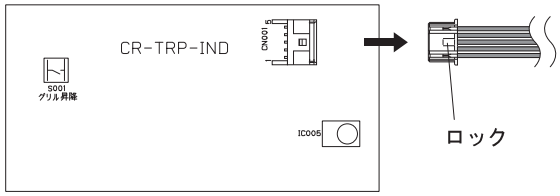


②それぞれの受信基板を上ケースからはずします。このとき、基板両サイドの爪を広げながら、配線側を起こすようにはずしてください。



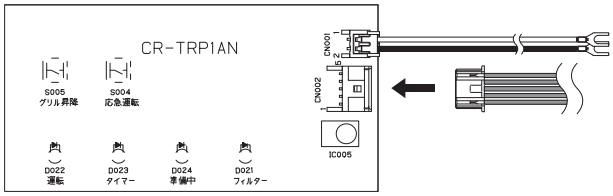
③昇降グリルメカキット付属の受信基板から配線をはずします。コネクタにはロックがありますので、押さえながら抜いてください。

昇降グリルメカ付属の受信基板

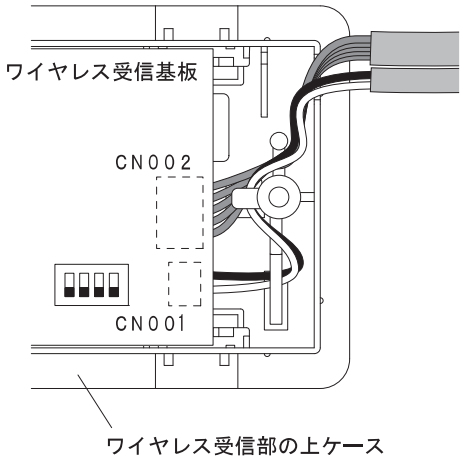


④昇降グリルメカキット付属の受信基板からはずした配線を、ワイヤレス受信基板のCN002に接続します。コネクタがロックするまでしっかりと挿入してください。

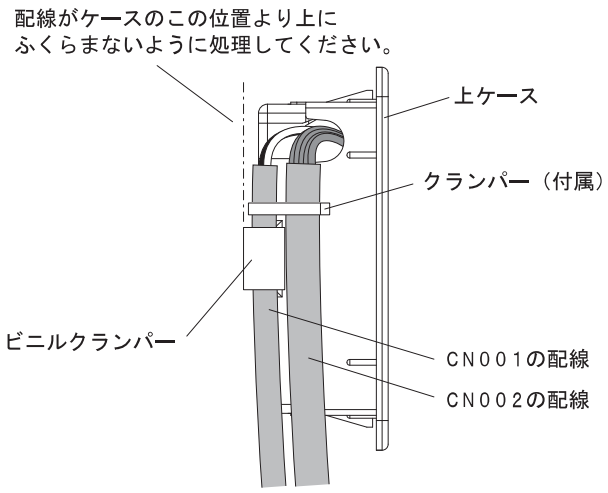
ワイヤレス受信基板



⑤ワイヤレス受信基板をワイヤレス受信部の上ケースに取り付け、それぞれの配線を下図のように処理してください。



⑥配線をはさまないように裏ブタを取り付け、CN001の配線（２本）をビニルクランパーでケースと共締めし、CN002の配線を付属のクランパーでCN001の配線と下図の位置で結束してください。

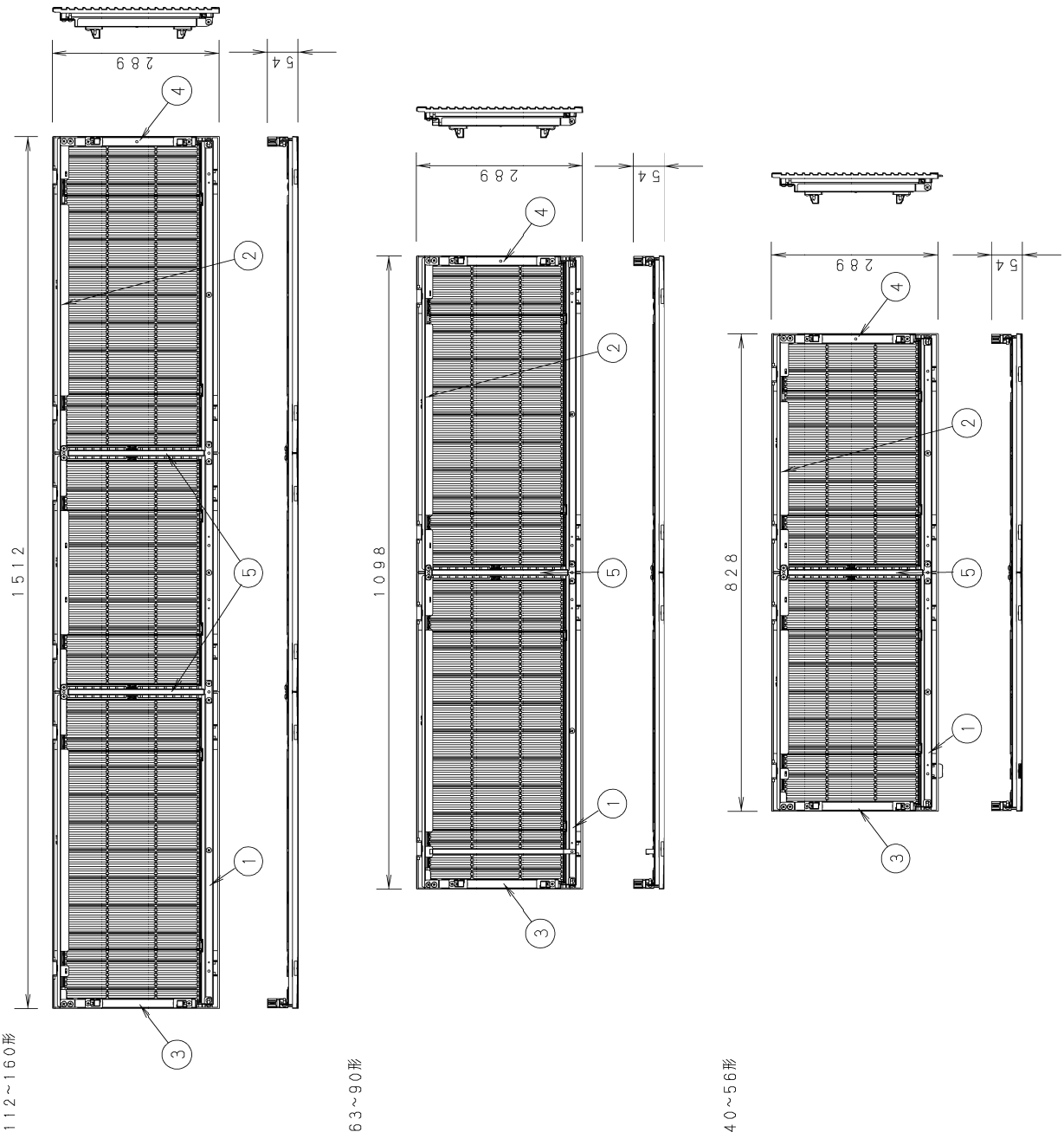


※受信部の室内ユニットへの取り付けは「昇降グリルメカキット取付説明書」および、ワイヤレスリモコンの「据付(電気)工事担当およびサービス担当のかたへ」を参照してください。

●昇降グリル固定金具（GRL-T56AU,GRL-T80AU,GRL-T160AU）

■外形寸法図

①	金具A
②	金具B
③	プーリー台A
④	プーリー台B
⑤	中央固定金具



■取付説明書

85464359576001

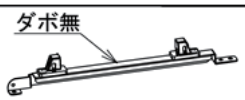
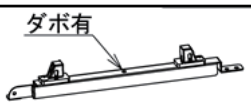
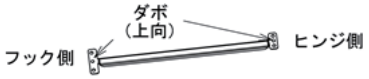
天井吊形　昇降グリル固定金具　取付説明書

型名：GRL−T56AU、T80AU、T160AU

ご注意

・取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
　この取付説明書は昇降メカキット取扱説明書と一緒に保管してください。
・固定金具の取り付けは、必ず付属のビス（４×１２）を使用してください。
・吸込グリルに取り付けてある落下防止用ひもは、取りはずしてください。

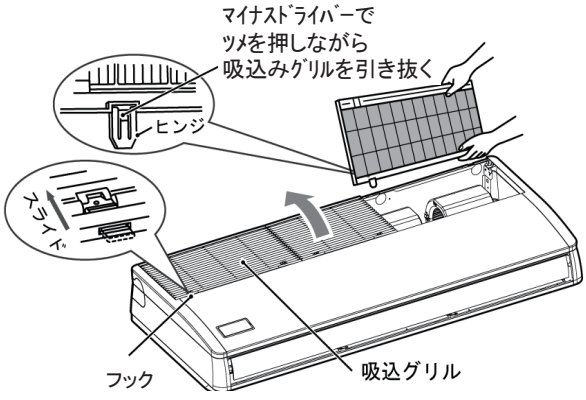
構成部品

図番	品名	形状	員数	備考
①	金具A		1	T56AU T80AU T160AU
②	金具B		1	T56AU T80AU T160AU
③	プーリー台A （ダボ無）		1	T56AU(バランスウエイト付) T80AU,T160AU共用
④	プーリー台B （中央にダボ有）		1	T56AU(バランスウエイト付) T80AU,T160AU共用
⑤	中央固定金具		1 1 2	T56AU T80AU T160AU
⑥	ビス　4×12		14 14 19	T56AU T80AU T160AU
⑦	シール材	（白色）	4 4 6	T56AU T80AU T160AU

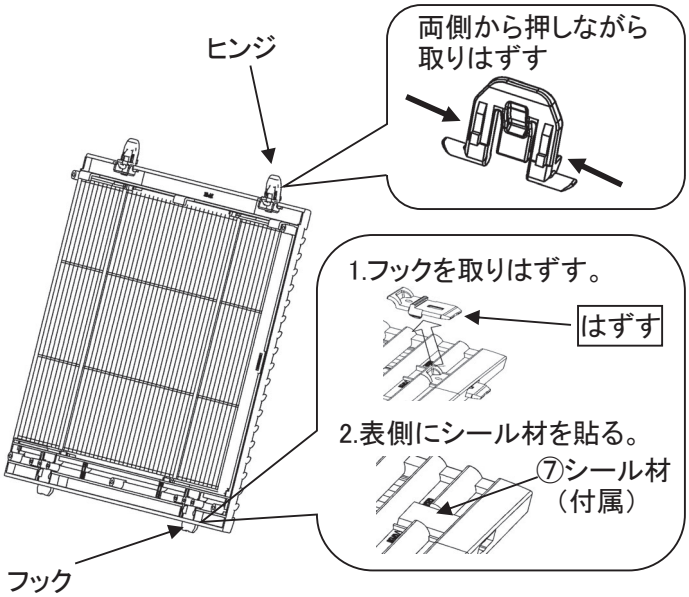
1.＜昇降グリル固定金具取り付け前の準備＞

（1）吸込グリル取りはずし

・吸込グリル固定フックを矢印方向にスライドし
　吸込グリルを開いてください。
・吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジのツメ部を
　マイナスドライバーで押してながら吸込グリルを
　引き抜いてください。



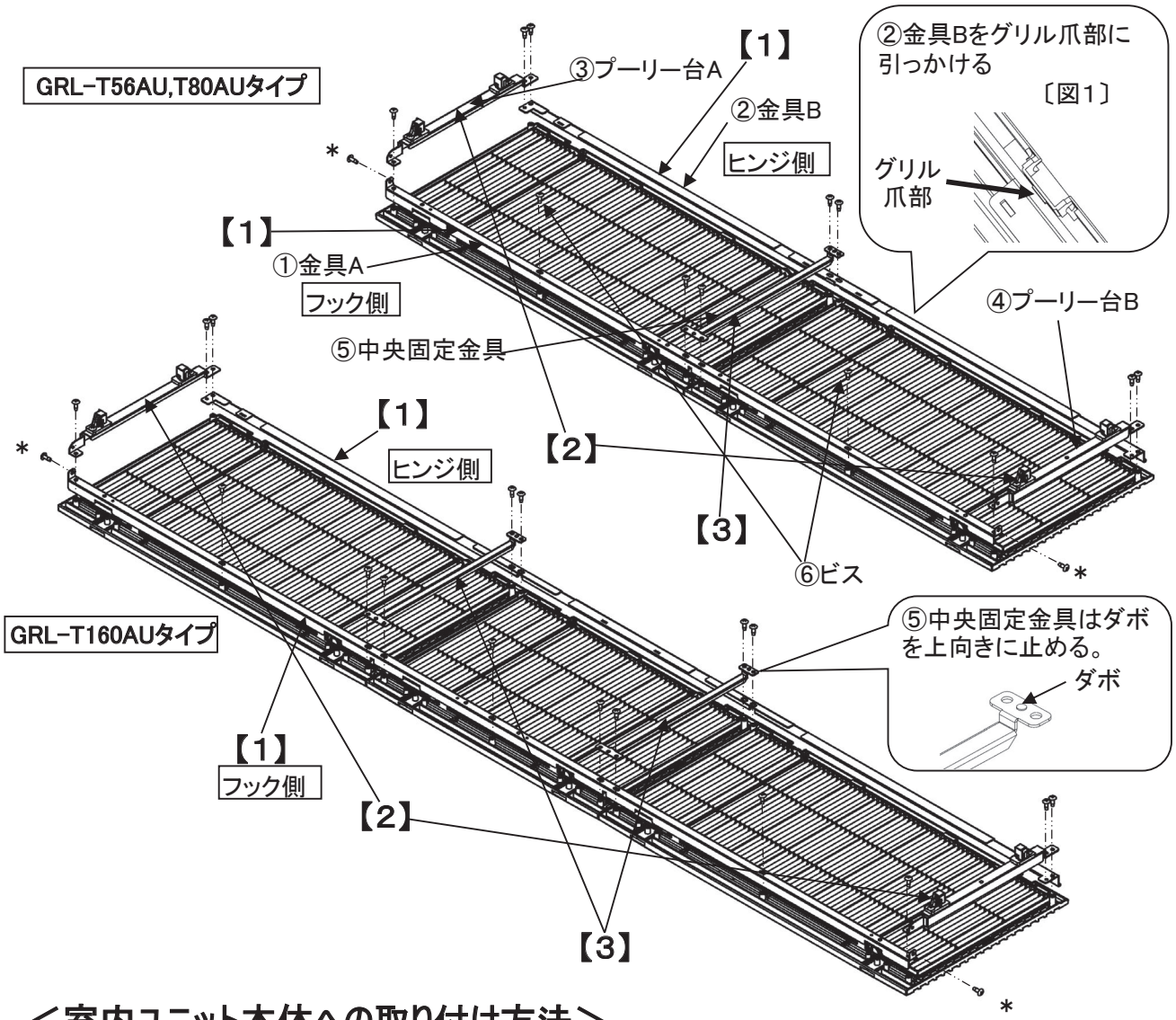
（2）フックとヒンジの取りはずし



取りはずしたヒンジとフックは、昇降グリル固定金具取付説明書と一緒に保管してください。

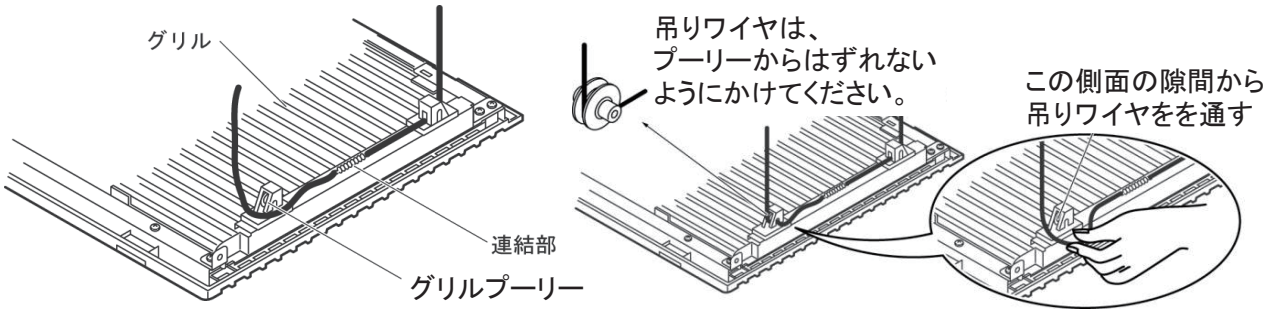
2. ＜昇降グリル固定金具の取り付け手順＞

【1】グリルのフック側に①金具Aを、グリルのヒンジ側に②金具Bを乗せてください。
　②金具Bを乗せる際にグリル爪部に引っかけるように差し込んでください。〔図1〕
【2】グリル左側に③プーリ台Aを乗せビス4本で止めてください。（＊印のビスを4番目に止めてください）
　グリル右側に④プーリ台Bを乗せビス4本で止めてください。（＊印のビスを4番目に止めてください）
【3】⑤中央固定金具をダボが上向になるように乗せビス4本で止めてください。
　各グリルの中央部のボスと①金具Aをビス止めしてください。



3. ＜室内ユニット本体への取り付け方法＞

2で組み立てたグリルを、別売品昇降グリルメカキットの取付説明書を参照して室内ユニットに取り付てください。



●高性能フィルター（比色法 65%）

■仕様

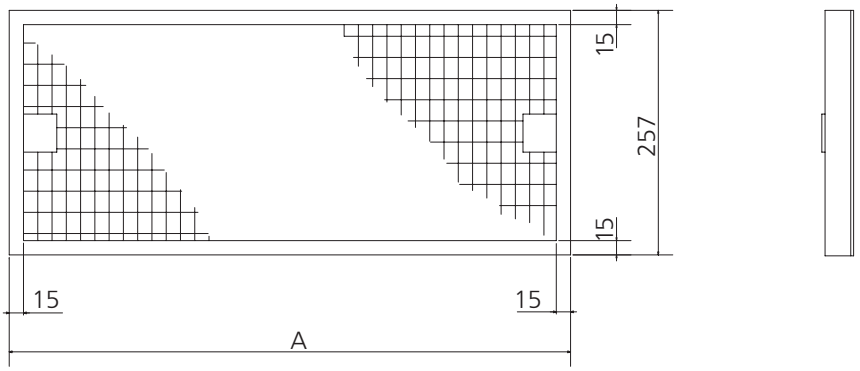
名　称			高性能フィルター （比色法65%）						
品　番			AFT-MT56A		AFT-MT80A		AFT-MT160A		
適用機種			36･45形	56形	71形	90形	112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	11.6	12.7	18.2	19.3	26.5	29.0	30.8
最終風量		m^3/min	8.6	9.3	13.6	14.3	19.8	21.8	23.0
初期圧損		Pa	6.2	6.8	7.3	8.0	9.7	11.3	12.5
最終圧損		Pa	45.2	52.8	53.3	60.0	65.7	77.3	86.5
保塵量		g/ﾕﾆｯﾄ	95	100	140	145	215	240	250
フィルター寿命		時間	2300	2200	2100	2100	2300	2300	2300
平均効率			比色法　65%（JIS 11種）						
使用濾材			ポリオレフィン系帯電繊維						
フィルター外形寸法	幅	mm	（373×2）		（508×2）		（716×2）		
	奥行	mm	257						
	厚み	mm	30						
	質量	kg	0.7		0.9		1.3		
フィルターチャンバー	品番		CMB-FT56A		CMB-FT80A		CMB-FT160A		
	厚み	mm	45						

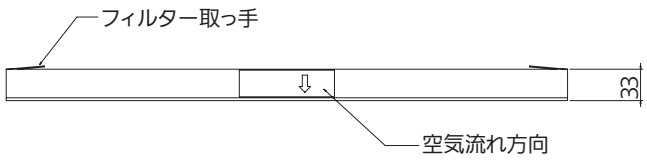
注記

(1) 高性能フィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
　これを防止するため、チャンバー付属の取付説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
(2) フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m^3（ビル管理法規制値）で算出した値を示します。（ダストJIS15種）
　フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。
(3) 高性能フィルターを組み込む場合は、フィルターチャンバーが必要ですのでご用意ください。
(4) 吸込グリル付属のエアーフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。
(5) 風量・圧損・保塵量・寿命は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。（取扱説明書参照）

■外形寸法図

適用機種	フィルター品番	A寸法	個数
36～56形	AFT-MT56A	373	2
71～90形	AFT-MT80A	508	2
112～160形	AFT-MT160A	716	2





●超ロングライフフィルター（重量法40%）

■仕様

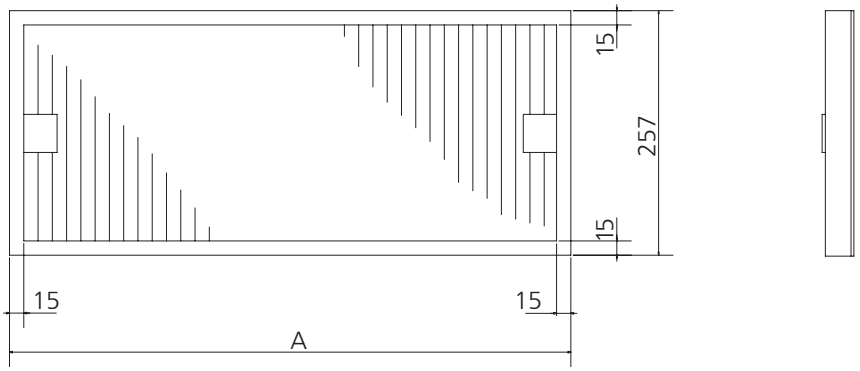
名　称			超ロングライフフィルター（重量法40%）						
品　番			AFT-LT56A		AFT-LT80A		AFT-LT160A		
適用機種			36･45形	56形	71形	90形	112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	12.2	13.0	18.6	19.8	27.1	29.5	31.5
最終風量		m^3/min	8.7	9.5	13.9	14.8	19.1	21.2	23.1
初期圧損		Pa	2.1	2.4	2.1	2.3	4.3	5.1	5.7
最終圧損		Pa	17.6	19.4	18.9	20.8	27.8	31.1	33.7
保塵量		g/ﾕﾆｯﾄ	550	580	840	890	1250	1320	1410
フィルター寿命		時間	5000	5000	5000	5000	5100	5000	5000
平均効率			重量法　40%（JIS 15種）						
使用濾材			PPハニカム（防カビ仕様）						
フィルター外形寸法	幅	mm	（373×2）		（508×2）		（716×2）		
	奥行	mm	257						
	厚み	mm	30						
	質量	kg	1.1		1.4		1.8		
フィルターチャンバー	品番		CMB-FT56A		CMB-FT80A		CMB-FT160A		
	厚み	mm	45						

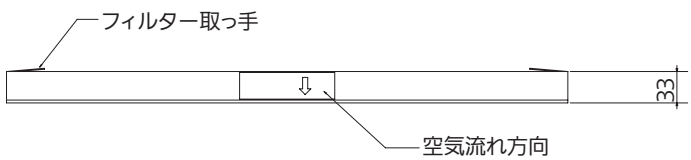
注記

(1) 超ロングライフフィルターを組み込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
　これを防止するため、チャンバー付属の取付説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
(2) フィルター寿命は、塵埃濃度0.15mg/m^3（ビル管理法規制値）で算出した値を示します。（ダストJIS15種）
　フィルター寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。
(3) 超ロングライフフィルターを組み込む場合は、別売品のフィルタチャンバーが必要ですのでご用意ください。
(4) 天井パネルのエアーフィルターは、取り外してご使用ください。
(5) 風量・圧損・保塵量・寿命は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。

■外形寸法図

適用機種	フィルター品番	A寸法	個数
36～56形	AFT-LT56A	373	2
71～90形	AFT-LT80A	508	2
112～160形	AFT-LT160A	716	2





■取付説明

■ご注意

●取付前に本説明書とフィルターチャンバーの取付説明書をよくお読みください。

●この取付説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管しておいてください。

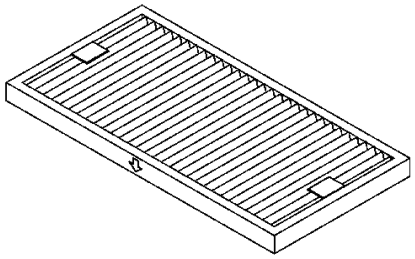
●フィルターを使用する場合は、フィルターチャンバー付属の取付説明書に従い、ファンタップの変更を行ってください。行わない場合は、風量減少・露付の原因となります。

■取り付け前準備

各フィルターとフィルターチャンバーの組合せは下記の通りですので、ご確認ください。

高性能フィルター	超ロングライフフィルター	フィルターチャンバー（別売品）
AFT-MT56A	AFT-LT56A	CMB-FT56A
AFT-MT80A	AFT-LT80A	CMB-FT80A
AFT-MT160A	AFT-LT160A	CMB-FT160A

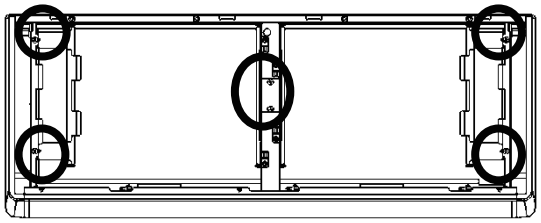
■付属品

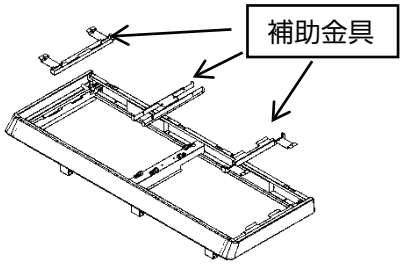
名称	個数	備考
高性能フィルターまたは超ロングライフフィルター 	2	●高性能フィルターは使い捨てです。 ●方向性がありますので注意してください。

■補助金具の取外し

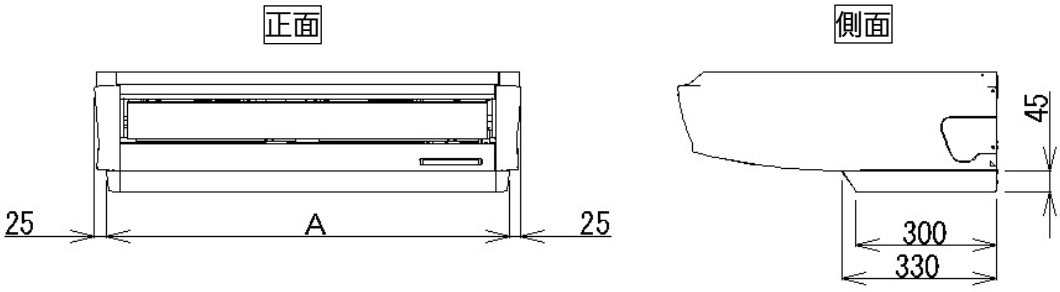
高性能フィルター・超ロングライフフィルターを使用する場合はフィルターチャンバーに取り付けてある補助金具が不要となりますので、下記の通りビス(各 2 本)をはずして補助金具を取りはずしてください。補助金具とビスは、この説明書と一緒に保管していただくようお客様にご依頼ください。

○内のビスをはずして補助金具を取りはずしてください



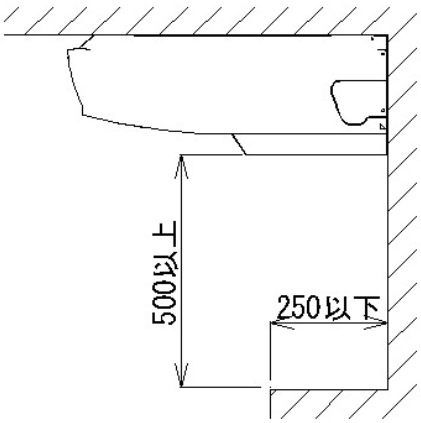


■フィルターチャンバー取付図



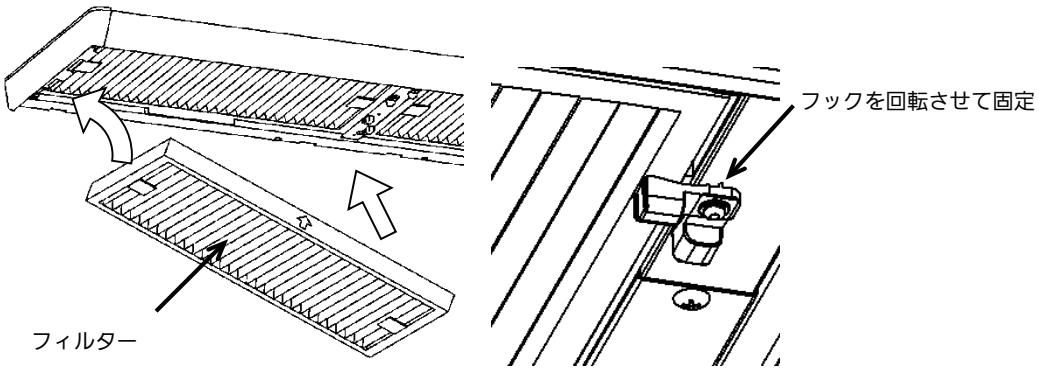
フィルターチャンバー形名	A寸法
CMB-FT56A	860
CMB-FT80A	1130
CMB-FT160A	1545

※吸込口の下側に障害物がある場合は、
右図寸法を守ってください。



■各フィルターの取り付け方

各フィルターを下図のように取り付け、フックを回転させて固定してください。



■超ロングライブフィルターをご使用の場合

超ロングライフフィルターをご使用の場合には、吸込グリルに取り付けてあるロングライフフィルターを取りはずしてご使用ください。

●デオドラントフィルター（AFT-DT56A、AFT-DT80A、AFT-DT160A）

■仕様

名　称			デオドラントフィルター						
品　番			AFT-DT56A		AFT-DT80A		AFT-DT160A		
適用機種			36･45形	56形	71形	90形	112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	12.1	13.2	18.4	19.5	27.0	29.7	31.5
最終風量		m^3/min	8.6	9.3	13.6	14.3	19.8	21.8	23.0
初期圧損		Pa	4.2	4.6	6.5	7.1	8.3	9.6	10.3
最終圧損		Pa	45.2	52.8	53.3	60.0	65.7	77.3	86.5
脱臭性能	初期脱臭性能		75%（JEM1467準拠）						
	交換目安		約6ヶ月						
集塵性能	初期集塵性能		比色法 65%						
	交換目安		1800時間（600時間毎にフィルター掃除を行なった場合）						
使用濾材			除塵シート（帯電ポリプロピレン） 脱臭層（活性炭+ゼオライト吸着剤） 抗菌シート（抗菌難燃性ポリエステル/レーヨン不織布）						
フィルター外形寸法	幅	mm	(310×2)		(445×2)		(652×2)		
	奥行	mm	225						
	厚み	mm	15						
	質量	kg	0.50		0.66		0.90		
フィルターチャンバー	品番		CMB-FT56A		CMB-FT80A		CMB-FT160A		
	厚み	mm	45						

●アンモニア脱臭フィルター（CZ-02FET3、CZ-03FET3、CZ-06FET3）

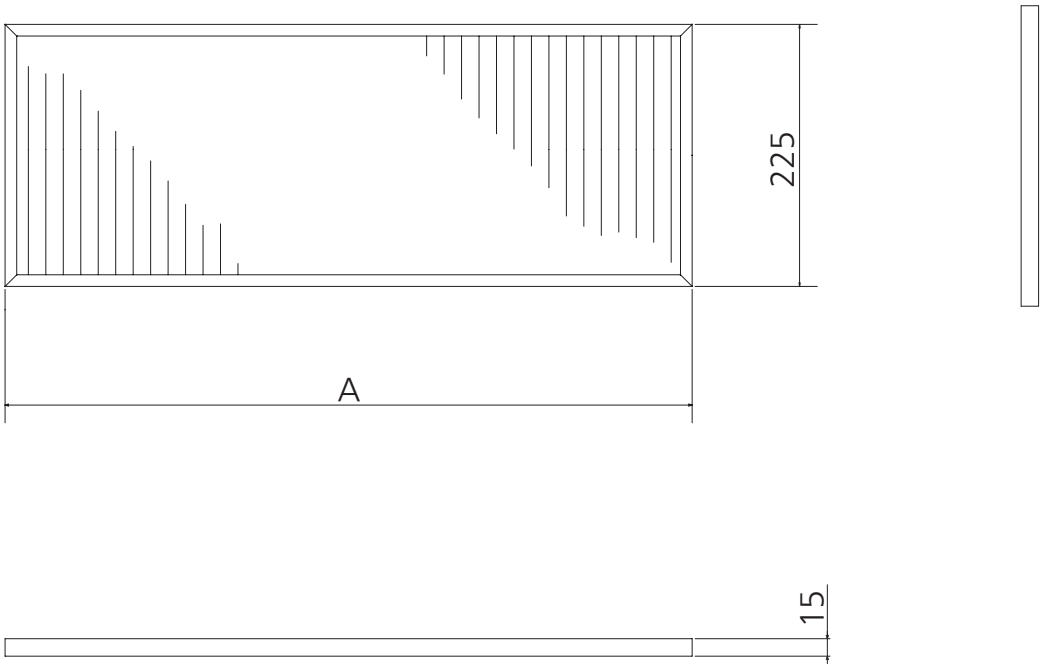
■仕様

名　称			アンモニア脱臭フィルター						
品　番			AFT-DT56A-AM		AFT-DT80A-AM		AFT-DT160A-AM		
適用機種			36･45形	56形	71形	90形	112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	11.8	12.6	17.9	19.0	25.8	28.1	30.1
最終風量		m^3/min	8.7	9.5	13.9	14.8	19.1	21.2	23.1
初期圧損		Pa	3.5	3.9	4.3	4.7	7.5	8.7	9.7
最終圧損		Pa	17.6	19.4	18.9	20.8	27.8	31.1	33.7
脱臭性能	初期脱臭性能		90%（JEM1467準拠）（アンモニアのみ）						
	交換目安		約6ヶ月						
集塵性能	初期集塵性能		比色法 65%						
	交換目安		1800時間(600時間毎にフィルター掃除を行なった場合)						
使用濾材			除塵シート（帯電ポリプロピレン） アンモニア脱臭抗菌シート（難燃性塩ビ系繊維+アンモニア吸着剤+抗菌剤）						
フィルター外形寸法	幅	mm	(310×2)		(445×2)		(652×2)		
	奥行	mm	225						
	厚み	mm	15						
	質量	kg	0.45		0.58		0.78		
フィルターチャンバー	品番		CMB-FT56A		CMB-FT80A		CMB-FT160A		
	厚み	mm	45						

注記
(1) 本フィルタを込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
　これを防止するため、本製品に付属の取付説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
　（取付説明書参照）
(2) 初期脱臭性能、交換目安（ﾃﾞｵﾄﾞﾗﾝﾄ、ｱﾝﾓﾆｱ）は、JEM1467に準拠して算出した値を示します。
　また寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。
(3) 本フィルタを組み込む場合は、フィルターチャンバーが必要ですのでご用意ください。
(4) 吸込グリル付属のエアフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。
(5) 風量・圧損は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。
(6) ﾃﾞｵﾄﾞﾗﾝﾄ、ｱﾝﾓﾆｱﾌｨﾙﾀｰは２ヶ月に一度掃除を行なってください。（取付説明書参照）

■外形寸法図

適用機種	フィルター品番	A寸法	個数
36～56形	AFT-DT56A CZ-02FET3	310	2
71～90形	AFT−DT80A CZ-03FET3	445	2
112～160形	AFT−DT160A CZ-06FET3	652	2



■取付説明

ご注意

●ご使用になるまでフィルターを開封しないでください。
（デオドラントフィルター、アンモニア脱臭フィルターの寿命が短くなります。）
●フィルターの交換方法は本紙を参照してください。
●デオドラントフィルター・アンモニア脱臭フィルターの取り付けには、フィルターチャンバーが必要です。
●この説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管しておいてください。
●デオドラントフィルター、アンモニア脱臭フィルターは本体付属のロングライフフィルターと必ず併用してください。
●デオドラントフィルター、アンモニア脱臭フィルターは、他の別売フィルターとの併用はできません。

デオドラントフィルター・アンモニア脱臭フィルターの取り付けかた

本フィルターの取り付けかたには、Ⓐ フィルターチャンバーに取り付ける場合 と Ⓑ 昇降グリルを使用し、吸込グリルに取り付ける場合 があります。
ご使用になる状況に応じて以下に示す取り付けかたを参照してください。

Ⓐ フィルターチャンバーに取り付ける場合

●フィルターチャンバーが必要です。

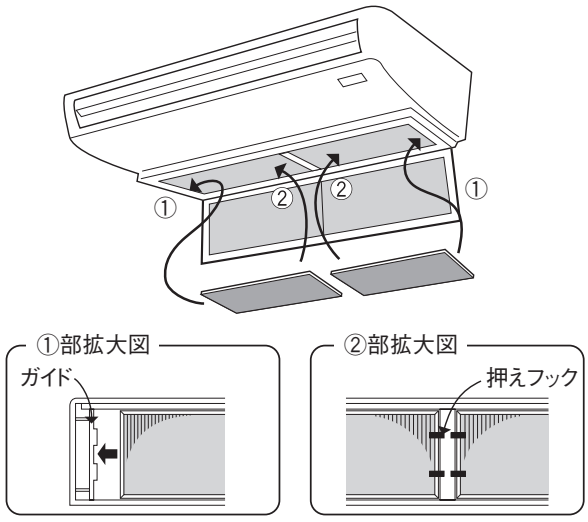
1 室内ユニットにフィルターチャンバーを取り付けます。
※フィルターチャンバーの取り付けは、フィルターチャンバーに付属の取付説明書を参照してください。

2 フィルターチャンバーにデオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターを入れます。

①フィルターチャンバー内部の両端にあるガイドにデオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターを挿入します（左右、各々について行ないます）。

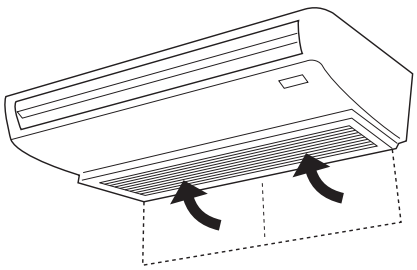
お願い
フィルター本体に貼り付けてあるラベルに風の流れる方向を示す矢印が書かれています。矢印が上を示すように取り付けてください。

②デオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターを上側に突きあたるまで押し込み、フィルターチャンバー中央部に設けられた「押えフック」をフィルターの縁の上にくるように回転させて固定します。



3 吸込グリルを閉じ、つまみをスライドさせて確実に固定します。

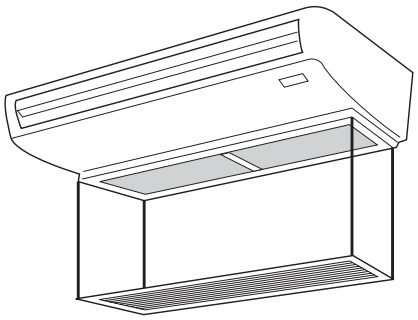
お願い
デオドラントフィルター・アンモニア脱臭フィルターを取り付ける場合は、フィルターチャンバー付属の取付説明書に従い、ファンタップの変更を行ってください。行わない場合は、風量減少・露付きの原因となります。



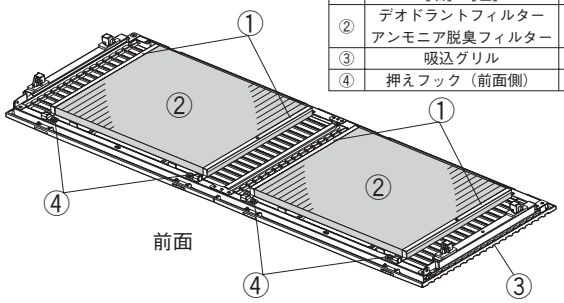
＊本フィルターをフィルターチャンバーに取り付けた場合にも、昇降グリルを取り付けることができます。
●取り付けには、フィルターチャンバーの他に、昇降グリルメカキットと昇降グリル固定金具が必要です。
※昇降グリルを取り付ける場合は、昇降グリルメカキット（および昇降グリル固定金具）に付属の取付説明書を参照してください。

Ⓑ 昇降グリルを使用し、吸込グリルに取り付ける場合

●取り付けにはフィルターチャンバーの他に昇降グリルメカキットと昇降グリル固定金具が必要です。



番号	名　　称	個数
①	脱臭フィルター固定金具［右］［左］	各2（計4）
②	デオドラントフィルター アンモニア脱臭フィルター	2
③	吸込グリル	1
④	押えフック（前面側）	4



■取り付け方法

1 **室内ユニットに昇降グリルメカキット（および昇降グリル固定金具）、フィルターチャンバーを取り付けます。**

※昇降グリルメカキット（および昇降グリル固定金具）、フィルターチャンバーの取り付けは、昇降グリルメカキット（および昇降グリル固定金具）、フィルターチャンバー各々に付属の取付説明書を参照してください。

2 **デオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターを吸込グリルについている本体に付属のロングライフフィルターの上にのせて、フィルターチャンバーに付属の脱臭フィルター固定金具で確実に固定してください。**

※フィルターチャンバーに同梱されている「押えフック」を昇降グリル固定金具にネジで固定してください。

＜フィルターの固定方法＞

①背面側の角穴に脱臭フィルター固定金具を右図のようにはめ込みます。

②脱臭フィルター固定金具をフィルターの縁の上にくるようにのせ、前面側の凸部分に脱臭フィルター固定金具の穴をぴったりはめ込みます。

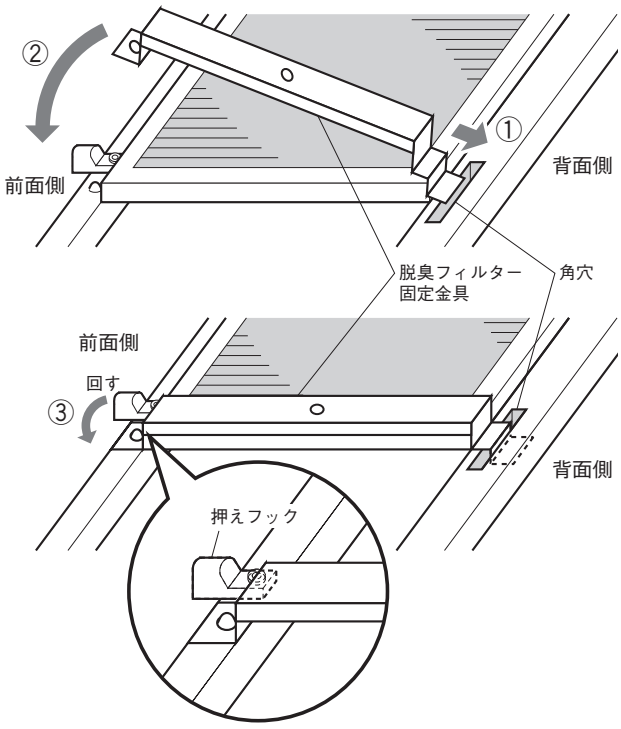
③「押えフック」を脱臭フィルター固定金具の上にくるように回転させて固定します。

④フィルター1枚につき両端をそれぞれ固定します。

お願い

●フィルター本体に貼り付けてあるラベルに風の流れる方向を示す矢印が書かれています。矢印が上を示すように取り付けてください。

●デオドラントフィルター・アンモニア脱臭フィルターを取り付ける場合は、フィルターチャンバー付属の取付説明書に従い、ファンタップの変更を行ってください。行わない場合は、風量減少・露付きの原因となります。



フィルターのお手入れ

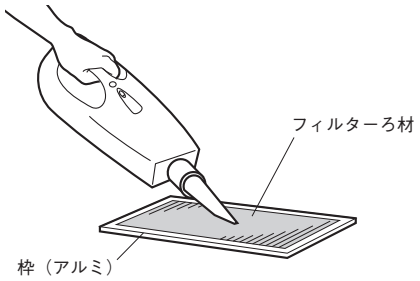
■デオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターのお手入れ方法

●2ヵ月に一度は掃除をしてください。

1 デオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターを取り出してください。

Ⓐ フィルターチャンバーに取り付ける場合 または Ⓑ 昇降グリルを使用し、吸込グリルに取り付ける場合 を参照して、フィルターを取り出してください。

2 デオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターのホコリを掃除機で吸い取ってください。



3 デオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターをもとどおりに確実に固定してください。

フィルターの交換時期

●デオドラントフィルター、アンモニア脱臭フィルターは、再使用できません。交換時期は、使いかたや使用場所により異なりますが、6ヵ月～1年に1回が目安です。

お願い

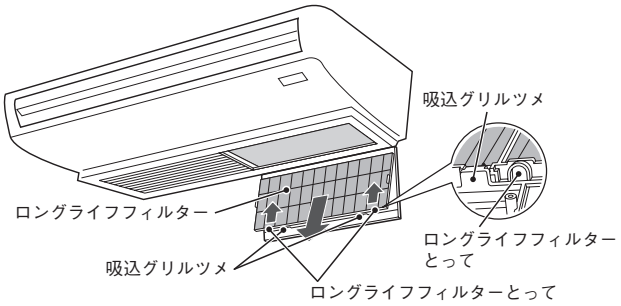
ご使用済のフィルターはフィルターろ材と枠を分離して、フィルターろ材は可燃物として、枠（アルミ）は資源ゴミとして処理してください。

■本体に付属のロングライフフィルターのお手入れ方法

●デオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターのお手入れの際には、室内ユニット（吸込グリル）に付属のロングライフフィルターをあわせて掃除してください。

1 ロングライフフィルターのとってを押し、吸込グリルのツメをはずします。ロングライフフィルターを手前に引き、取り出してください。

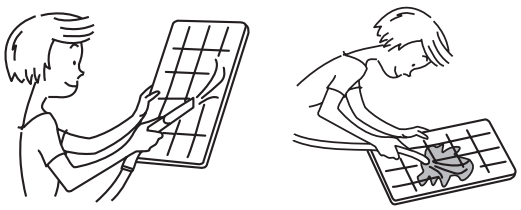
※昇降グリルを使用し吸込グリルにデオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターを取り付けている場合は、デオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターを先に取りはずしてください。（4ページ参照）



2 ロングライフフィルターのホコリを掃除機で吸い取るか水洗いしてください。

●汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗うと効果があります。

●水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。



3 ロングライフフィルターを取り付けて、吸込グリルを閉じ、「つまみ」を手前側にスライドさせて確実に固定してください。

※昇降グリルを使用し吸込グリルにデオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターを取り付ける場合は、ロングライフフィルターを取り付けた後に、デオドラントフィルターまたはアンモニア脱臭フィルターを取り付けてください。（4ページ参照）

●光再生脱臭フィルター（CZ-02FDT3、CZ-03FDT3、CZ-06FDT3）

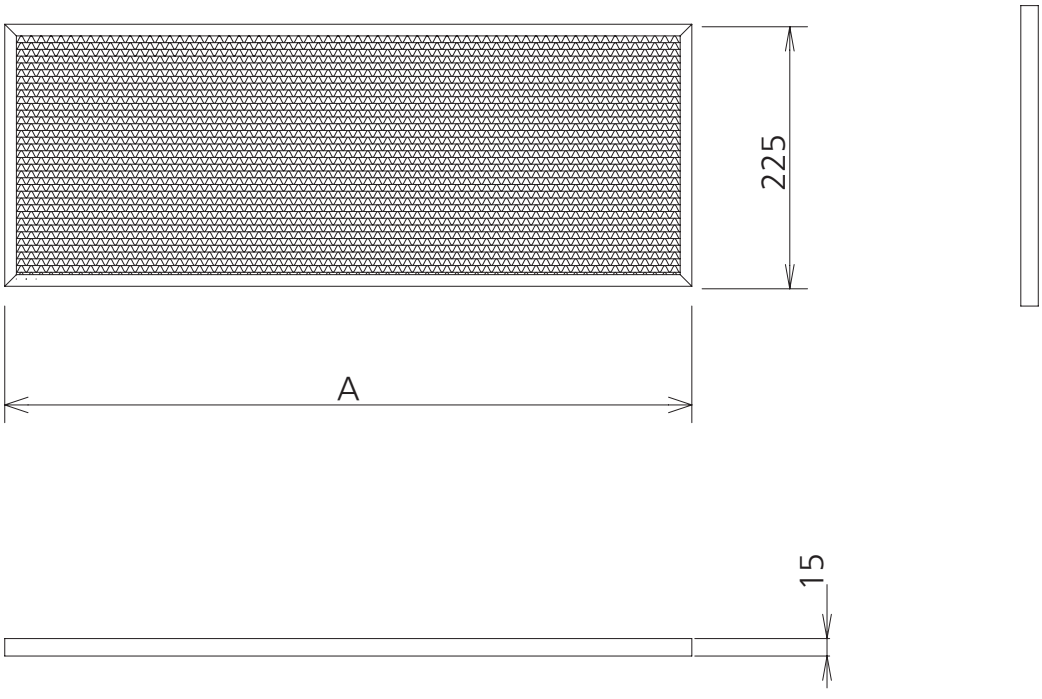
■光再生脱臭フィルター仕様

名　称			光再生脱臭フィルター						
品　番			AFT-DT56A-PC		AFT-DT80A-PC		AFT-DT160A-PC		
適用機種			36･45形	56形	71形	90形	112形	140形	160形
初期風量		m^3/min	12.5	13.4	19.0	20.1	28.1	30.5	32.6
最終風量		m^3/min	8.7	9.5	13.9	14.8	19.1	21.2	23.1
初期圧損		Pa	0.9	1.0	1.0	1.1	2.0	2.5	2.8
最終圧損		Pa	17.6	19.4	18.9	20.8	27.8	31.1	33.7
脱臭性能	初期脱臭性能		70%（JEM1467準拠）						
	再生目安		約6ヶ月（天日干しによる再生で約6年使用可能）						
使用濾材			難燃性塩ビ系不織布　（光触媒性酸化チタン、特殊ゼオライト含有）						
フィルター外形寸法	幅	mm	（310×2）		（445×2）		（652×2）		
	奥行	mm	225						
	厚み	mm	15						
	質量	kg	0.40		0.58		0.70		
フィルターチャンバー	品番		CMB-FT56A		CMB-FT80A		CMB-FT160A		
	厚み	mm	45						

注記
(1) 本フィルタを込むと風量がダウンして、弱風運転の場合は保護装置が作動する恐れがあります。
　これを防止するため、本製品に付属の取付説明書に従い、ファンタップ変更を必ず行なってください。
　（取付説明書参照）
(2) 初期脱臭性能、再生目安（光再生）は、JEM1467に準拠して算出した値を示します。
　また寿命は、現場条件により異なりますのでご注意ください。
(3) 本フィルタを組み込む場合は、フィルターチャンバーが必要ですのでご用意ください。
(4) 吸込グリル付属のエアフィルターは、プレフィルターとしてそのまま使用します。
(5) 風量・圧損は、急風時（ファンタップ変更後）の値を示します。
(6) 光再生ﾌｨﾙﾀｰは6ヶ月に一度掃除を行なってください。（取付説明書参照）

■外形寸法図

適用機種	フィルター品番	A寸法	個数
36～56形	CZ-02FDT3	310	2
71～90形	CZ-03FDT3	445	2
112～160形	CZ-06FDT3	652	2



■取付説明

ご注意

●ご使用になるまでフィルターを開封しないでください
（光再生脱臭フィルターの寿命が短くなります。）
●フィルターの交換方法は本紙を参照してください。
●光再生脱臭フィルターの取り付けには、フィルターチャンバー（CMB-FT56A, FT80A, FT160A）が必要です。
●この説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管しておいてください
●光再生脱臭フィルターは本体付属のロングライフフィルターと必ず併用してください
●光再生脱臭フィルターは、他の別売フィルターとの併用はできません

光再生脱臭フィルターの取り付けかた

本フィルターの取り付けかたには、Ⓐ フィルターチャンバーに取り付ける場合 と Ⓑ 昇降グリルを使用し、吸込グリルに取り付ける場合 があります。
ご使用になる状況に応じて以下に示す取り付けかたを参照してください。

Ⓐ フィルターチャンバーに取り付ける場合

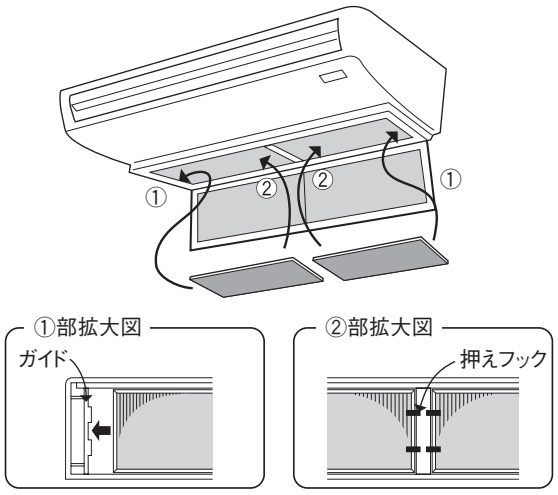
●フィルターチャンバーが必要です。

1 室内ユニットにフィルターチャンバーを取り付けます。
※フィルターチャンバーの取り付けは、フィルターチャンバーに付属の取付説明書を参照してください。

2 フィルターチャンバーに光再生脱臭フィルターを入れます。
①フィルターチャンバー内部の両端にあるガイドに光再生脱臭フィルターを挿入します（左右、各々について行ないます）。

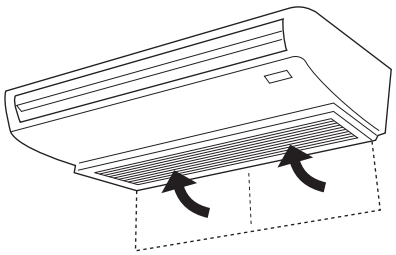
お願い
フィルター本体に貼り付けてあるラベルに風の流れる方向を示す矢印が書かれています。矢印が上を示すように取り付けてください。

②光再生脱臭フィルターを上側に突きあたるまで押し込み、フィルターチャンバー中央部に設けられた「押えフック」をフィルターの縁の上にくるように回転させて固定します。



3 吸込グリルを閉じ、つまみをスライドさせて確実に固定します。

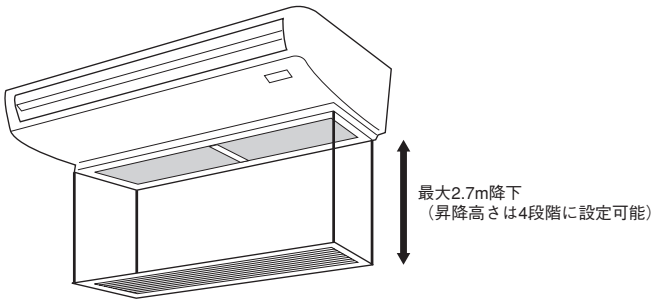
お願い
光再生脱臭フィルターを取り付ける場合は、フィルターチャンバー付属の取付説明書に従い、ファンタップの変更を行ってください。行わない場合は、風量減少・露付きの原因となります。



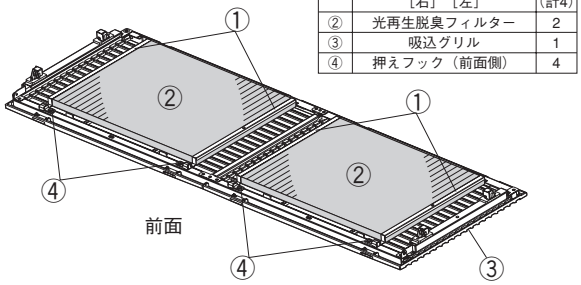
＊本フィルターをフィルターチャンバーに取り付けた場合にも、昇降グリルを取り付けることができます。
●取り付けには、フィルターチャンバーの他に、昇降グリルメカキットと昇降グリル固定金具が必要です。
※昇降グリルを取り付ける場合は、昇降グリルメカキット（および昇降グリル固定金具）に付属の取付説明書を参照してください。

B 昇降グリルを使用し、吸込グリルに取り付ける場合

●取り付けにはフィルターチャンバーの他に昇降グリルメカキットと昇降グリル固定金具が必要です。



番号	名　　称	個数
①	脱臭フィルター固定金具［右］［左］	各2（計4）
②	光再生脱臭フィルター	2
③	吸込グリル	1
④	押えフック（前面側）	4



■取り付け方法

1 **室内ユニットに昇降グリルメカキット（および昇降グリル固定金具）、フィルターチャンバーを取り付けます。**

※昇降グリルメカキット（および昇降グリル固定金具）、フィルターチャンバーの取り付けは、昇降グリルメカキット（および昇降グリル固定金具）、フィルターチャンバー各々に付属の取付説明書を参照してください。

2 **光再生脱臭フィルターを吸込グリルについている本体に付属のロングライフフィルターの上にのせて、フィルターチャンバーに付属の脱臭フィルター固定金具で確実に固定してください。**

※フィルターチャンバーに同梱されている「押えフック」を昇降グリル固定金具にネジで固定してください。

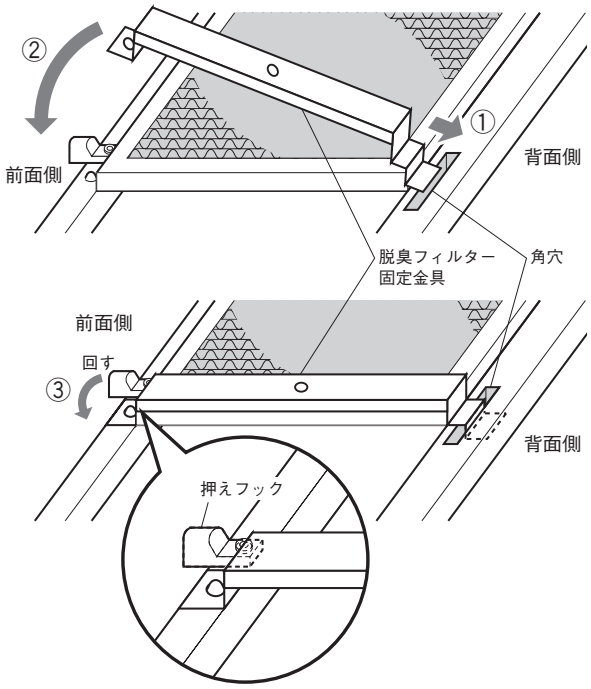
＜フィルターの固定方法＞

①背面側の角穴に脱臭フィルター固定金具を右図のようにはめ込みます。

②脱臭フィルター固定金具をフィルターの縁の上にくるようにのせ、前面側の凸部分に脱臭フィルター固定金具の穴をぴったりはめ込みます。

③「押えフック」を脱臭フィルター固定金具の上にくるように回転させて固定します。

④フィルター1枚につき両端をそれぞれ固定します。



お願い

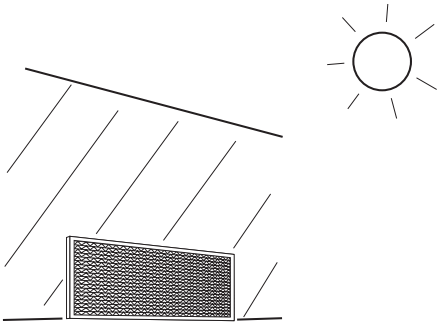
●フィルター本体に貼り付けてあるラベルに風の流れる方向を示す矢印が書かれています。矢印が上を示すように取り付けてください。

●光再生脱臭フィルターを取り付ける場合は、フィルターチャンバー付属の取付説明書に従い、ファンタップの変更を行ってください。行わない場合は、風量減少・露付きの原因となります。

フィルターのお手入れ

■光再生脱臭フィルターのお手入れ方法

●6ヵ月に一度は掃除をしてください。



1 光再生脱臭フィルターを取り出してください。

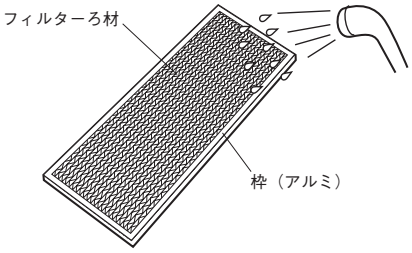
Ⓐ フィルターチャンバーに取り付ける場合 または Ⓑ 昇降グリルを使用し、吸込グリルに取り付ける場合 を参照して、光再生脱臭フィルターを取り出してください。

2 光再生脱臭フィルターを軽くたたくなどしてホコリを落とし、6時間以上天日干ししてください。

3 光再生脱臭フィルターをもとどおりに確実に固定してください。

フィルターを水洗いする場合

●フィルターを天日干しできるところに水平に置き、シャワーなどの流水で水洗いをしてください。水洗いをしたあとは、そのまま乾くまで放置してください。このときも 6時間以上天日干ししてください。



ご注意

フィルターを水に濡れたまま取り扱うとフィルターが破損するおそれがあります。

お願い

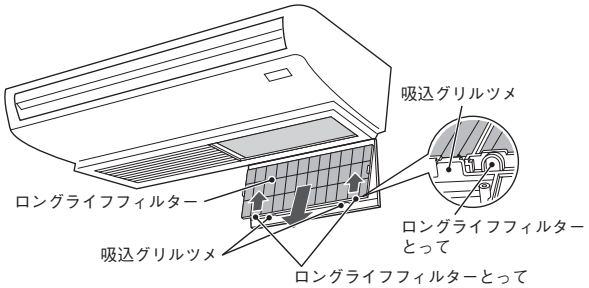
ご使用済のフィルターはフィルターろ材と枠を分離して、フィルターろ材は可燃物として、枠（アルミ）は資源ゴミとして処理してください。

■本体に付属のロングライフフィルターのお手入れ方法

●光再生脱臭フィルターのお手入れの際には、室内ユニット（吸込グリル）に付属のロングライフフィルターをあわせて掃除してください。

1 ロングライフフィルターのとってを押し、吸込グリルのツメをはずします。ロングライフフィルターを手前に引き、取り出してください。

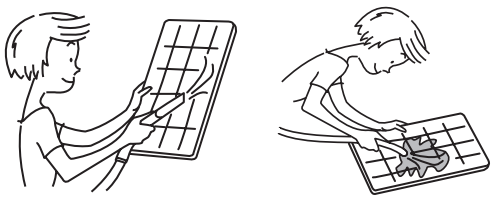
※昇降グリルを使用し吸込グリルに光再生脱臭フィルターを取り付けている場合は、光再生脱臭フィルターを先に取りはずしてください。（3ページ参照）



2 ロングライフフィルターのホコリを掃除機で吸い取るか水洗いしてください。

●汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗うと効果があります。

●水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。

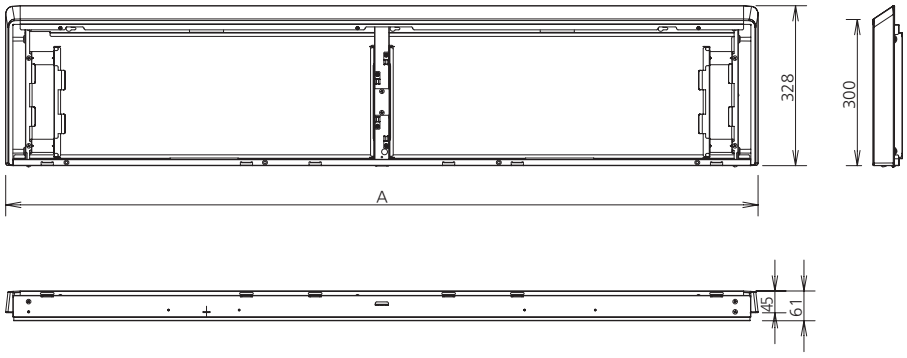


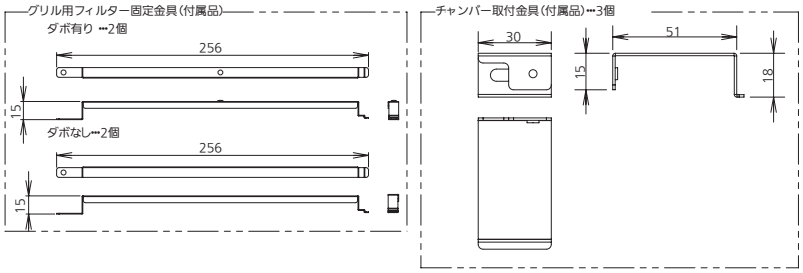
3 ロングライフフィルターを取り付けて、吸込グリルを閉じ、「つまみ」を手前側にスライドさせて確実に固定してください。

※昇降グリルを使用し吸込グリルに光再生脱臭フィルターを取り付ける場合は、ロングライフフィルターを取り付けた後に、光再生脱臭フィルターを取り付けてください。（3ページ参照）

●フィルターチャンバー（CMB-FT56・80・160A）

■外形寸法図





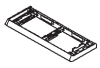
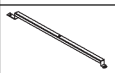
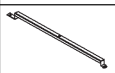
寸法 / 品番	A
CMB-FT50A	860
CMB-FT80A	1130
CMB-FT160A	1545

■取付説明

■フィルターチャンバー取付時の注意

●フィルターチャンバーは、室内ユニット本体据付作業完了後に取り付けてください。
●この取付説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管しておいてください。
●試運転により、振動やビビリ音等の異常音がないことを確認してください。
●各別売フィルターは、他の別売フィルターとの併用はできません。

■部品一覧

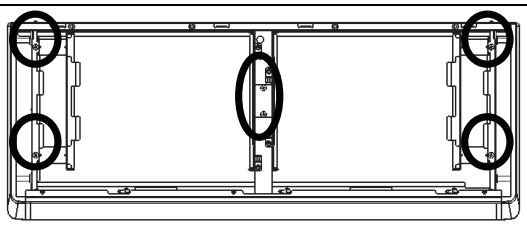
No	名称	形状	個数	No	名称	形状	個数
①	フィルターチャンバー		1	⑥	DCタップアップ 変更手順		1
②	チャンバー取付金具		3	⑦	グリル用脱臭フィルター 固定金具（ダボ有）		2
③	ビス		7	⑧	グリル用脱臭フィルター 固定金具（ダボ無）		2
④	短絡コネクタ		1	⑨	グリル用脱臭フィルター 押えフック		4
⑤	取付説明書		1	⑩	グリル用脱臭フィルター 段付ビス		4

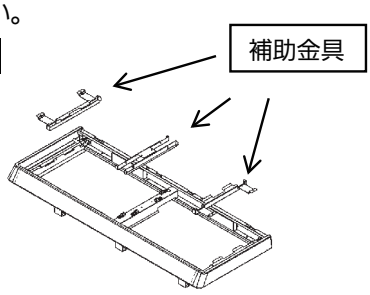
(注意)⑦～⑩は昇降グリルに脱臭フィルターを取り付ける場合に使用します。昇降グリルに脱臭フィルターを取り付ける場合は「■昇降グリルと併用する場合」を参照してください。昇降グリルに脱臭フィルターを取り付けない場合、各部品はこの説明書と一緒に保管していただくようお客様にご依頼ください。

■高性能フィルター・超ロングライフフィルターを使用する場合

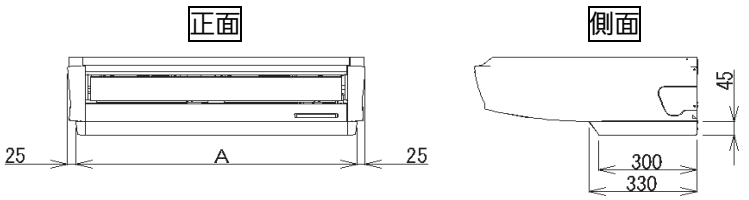
高性能フィルター・超ロングライフフィルターを使用する場合は補助金具が不要となりますので、下記の通りビス(各２本)をはずして補助金具を取りはずしてください。補助金具とビスは、この説明書と一緒に保管していただくようお客様にご依頼ください。

○内のビスをはずして補助金具を取りはずしてください



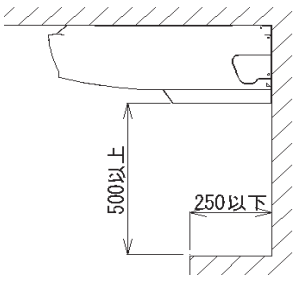


■フィルターチャンバー取り付け図



フィルターチャンバー形名	A寸法
CMB-FT56A	860
CMB-FT80A	1130
CMB-FT160A	1545

※吸込口の下側に障害物がある場合は、
右図寸法を守ってください。

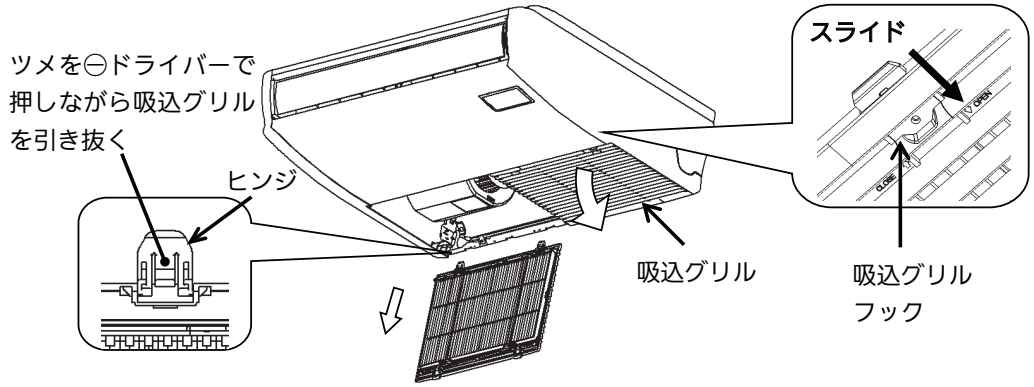


■フィルターチャンバー取り付け

●フィルターチャンバーは、室内ユニット本体据付作業完了後に取り付けてください。

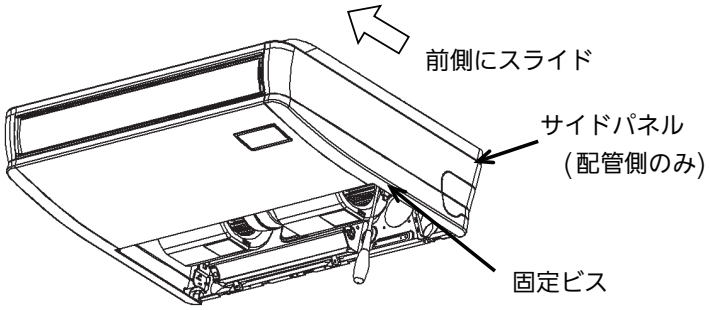
1　吸込グリル取りはずし

吸込グリルのフック(2ヵ所)を矢印方向にスライドし、吸込グリルを開いてください。
吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジ(2ヵ所)のツメ部を押して吸込グリルを引き抜いてください。



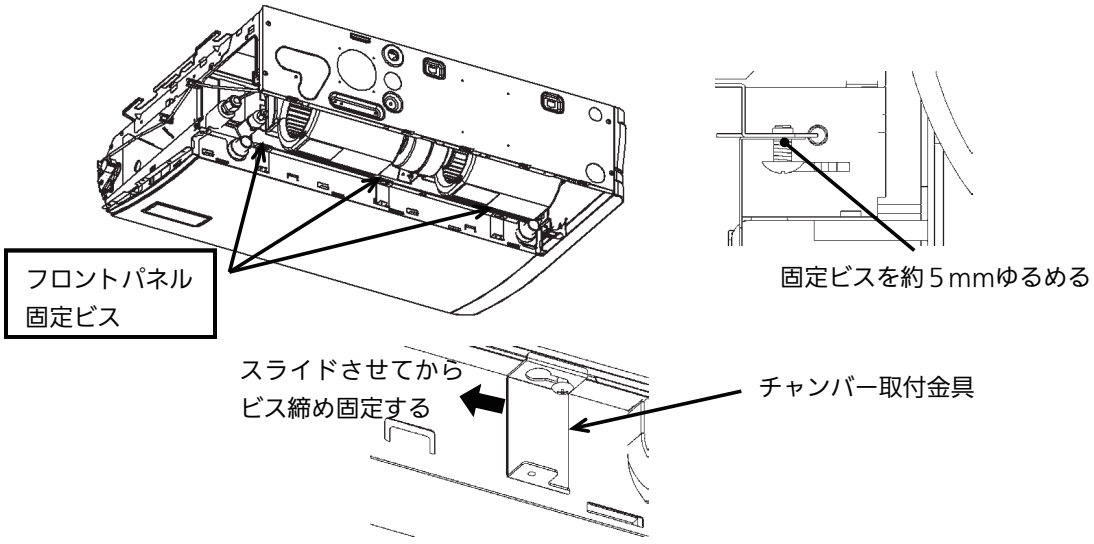
2　室内ユニットのサイドパネル取りはずし

サイドパネル固定ビス(１本)をはずした後にサイドパネル(配管側のみ)を前側にスライドして取りはずしてください。



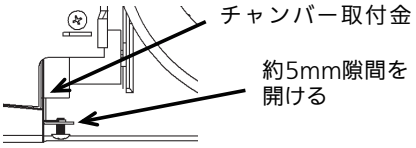
3　フィルターチャンバー引掛け準備

室内ユニットのフロントパネル固定ビス(3本)を5mm程度ゆるめ、付属のチャンバー取付金具(3個)をゆるめた固定ビスに引掛けてスライドさせてからビス締め固定してください。

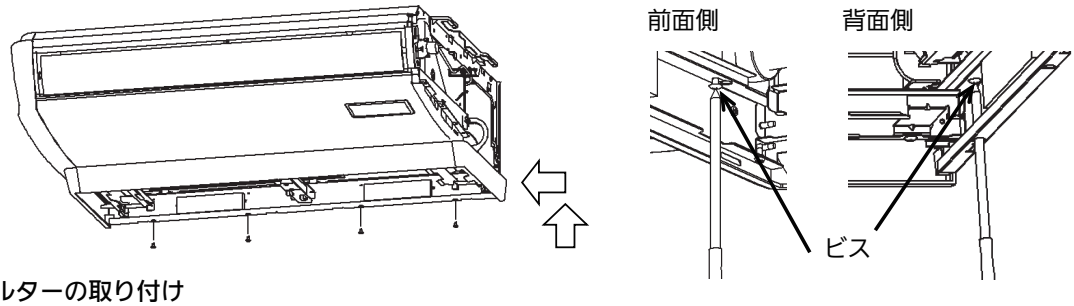


4　フィルターチャンバー取り付け

3で室内ユニットに取り付けたチャンバー取付金具に付属のビス(2本)を5mm程度隙間が開くように取り付けます。

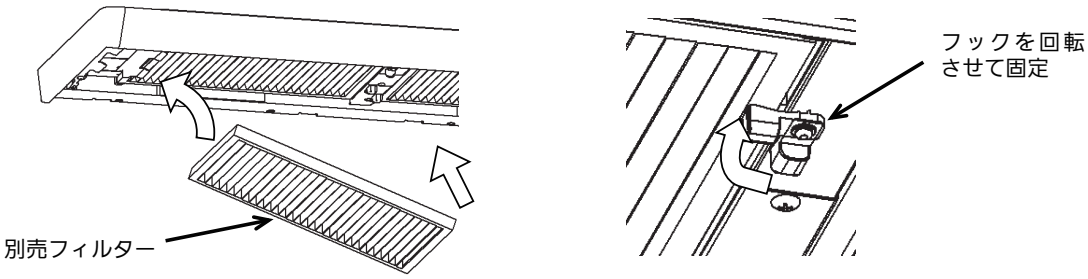


フィルターチャンバーを取り付けた付属のビスに引掛けて、左側にずらしビス締め固定してください。
また、背面側は付属のビス(4本)で固定してください。



5　フィルターの取り付け

別売フィルターを下図のように取り付け、フックを回転させて固定してください。
（各フィルターの取り付けは、各フィルターに付属の取付説明書をご覧ください。）

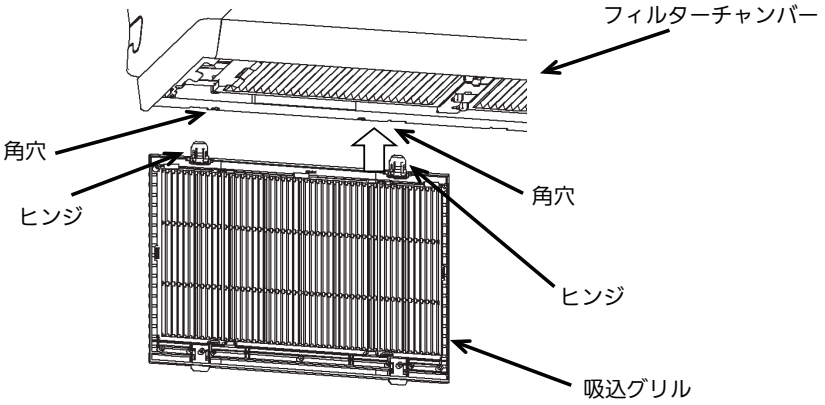


6　室内ユニットのサイドパネル取り付け

2と逆の手順でサイドパネルを後側にスライドして取り付けた後、固定ビス(1本)でサイドパネルを固定してください。

7　吸込グリルの取り付け

1ではずした吸込グリルのヒンジをフィルターチャンバーの角穴に挿入して取り付けてください。



8　吸込グリルを閉じる

1と逆の手順で吸込グリルを閉じた後、フック(2ヵ所)をスライドしてください。

9　**別売フィルターを取り付ける場合には、ワイヤードリモコンまたは室内基板（付属のコネクタ使用）にてDCファンタップの設定変更を必ず行ってください。設定方法は別紙の説明書に従って行ってください。**
※設定変更を行わない場合、風量減少・露付の原因となります。

■昇降グリルと併用する場合

●昇降グリルと併用してご使用の場合、本品の他に別売部品の昇降グリルメカキットと昇降グリル固定金具が必要です。

1　昇降グリルメカキットの取り付け

昇降グリルメカキットを室内ユニットに取り付けてください。

（昇降グリルメカキットの取り付けは、昇降グリルメカキットに付属の取付説明書をご覧ください。）

2　昇降グリル固定金具の取り付け

吸込グリルに昇降グリル固定金具を取り付けます。

（昇降グリル固定金具の取り付けは、昇降グリル固定金具に付属の取付説明書をご覧ください。）

3　フィルターチャンバー補助金具の取りはずし

本説明書の「高性能フィルター・超ロングライフフィルターを使用する場合・昇降グリルと併用する場合」をごらんになり、フィルターチャンバーから補助金具を取りはずしてください。

補助金具とビスは、この説明書と一緒に保管していただくようお客様にご依頼ください。

4　フィルターチャンバーの取り付け

本説明書の「フィルターチャンバーの取り付け方」をごらんになり、フィルターチャンバーを室内ユニットに取り付けてください。

5　フィルターの取り付け

～高性能フィルター・超ロングライフフィルターの場合～

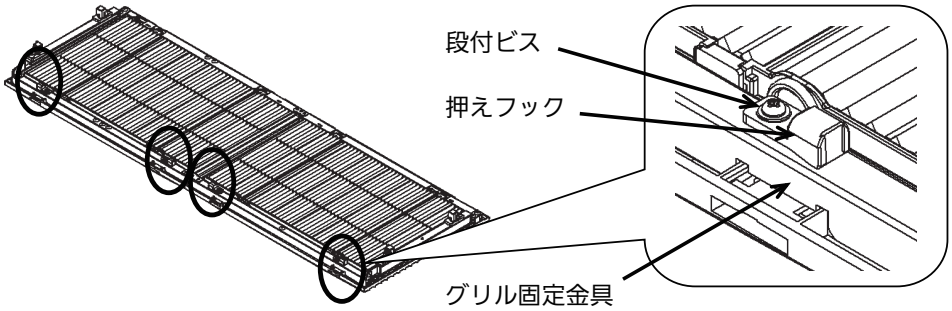
1）各フィルターに付属の取付説明書に従い、フィルターを取り付けてください。

～脱臭フィルターの場合～

1）押えフックの取り付け

付属の押えフック(4個)を付属の段付ビス(4本)で吸込みグリルに取り付けてください。

※押えフックがゆるまないようにしっかり取り付けてください。

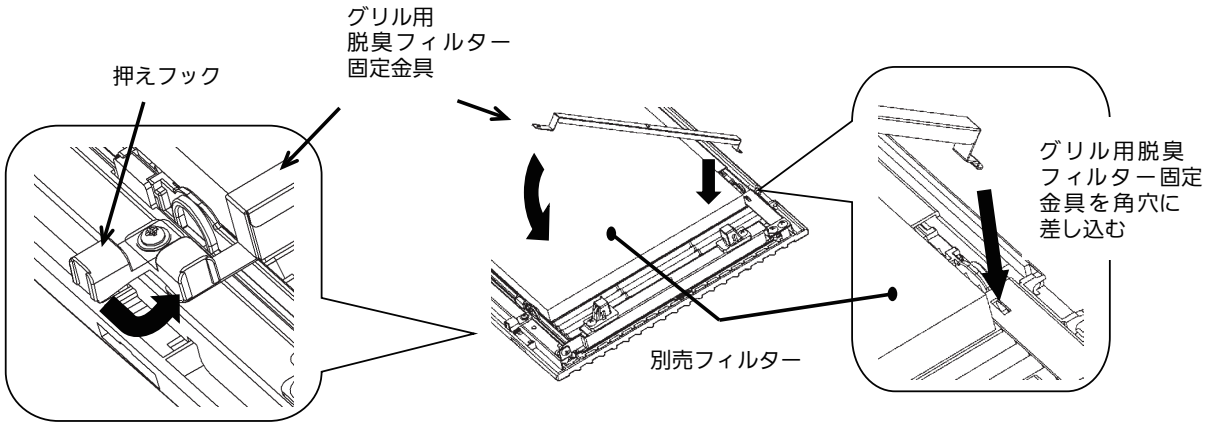


2）フィルターの固定方法

（フィルターの取り付けは、各フィルターに付属の取付説明書をご覧ください。）

別売フィルターを下図のように昇降グリルに乗せてください。

付属のグリル用脱臭フィルター固定金具（左右異なりますで注意してください）を昇降グリル固定金具の角穴に入れ、押えフックを回転させて固定してください。



●ドレンアップキット（DP-TR160AN）
●L 字配管キット（DP-TR34LA、DP-TR35LA）

■仕様

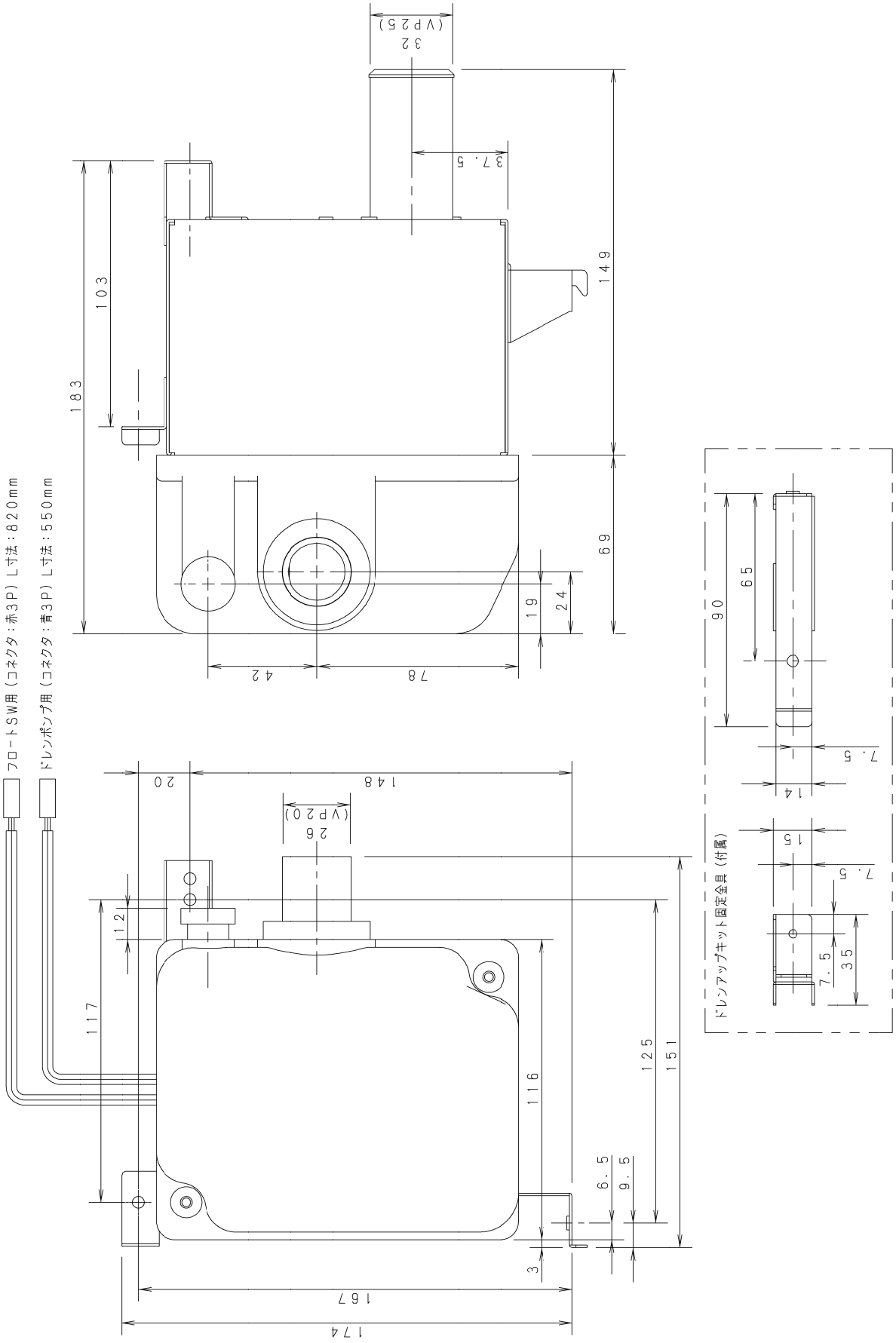
形　名			天井吊形（S1）	
ドレンアップキット品番			DP-TR160AN	
L字配管キット品番			DP-TR34LA	DP-TR35LA
適 用 機 種		エスパ	36～56形	71～160形
ドレンアップポンプ	電　圧	（V）	単相200（50/60Hz）	
	電　流	（A）	0.12/0.10（50/60Hz）	
	入　力	（W）	12/11（50/60Hz）	
	使　用		ドレン水	
	使用温度		液体温度　　0～35℃ 周囲温度　-10～45℃ （湿度ＲＨ95%以下）	
	吐 出 量 (cc/min)		水位10mmで400cc/min ＊水位とは、ポンプ本体の先端部から水面までの距離	
フロートスイッチ			液面が下降して接点ＯＮ	

■L 字配管キットの配管サイズ

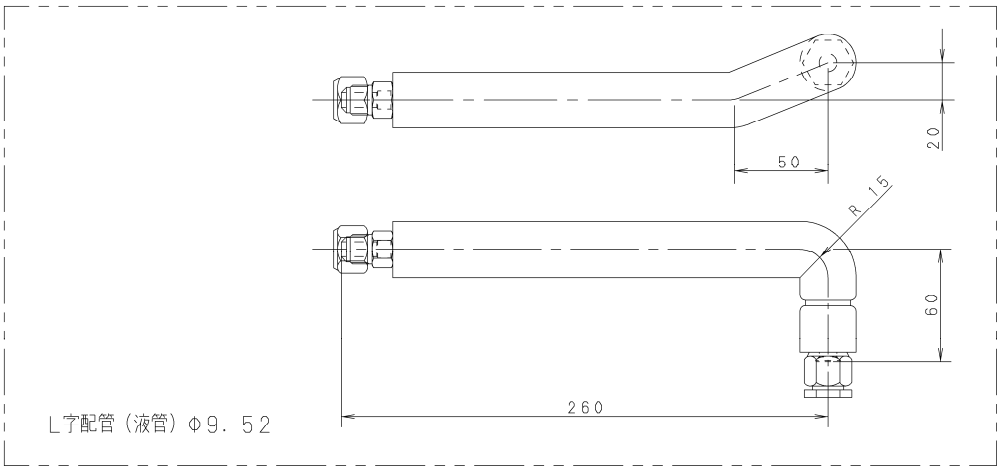
品　番	DP-TR34LA	DP-TR35LA
液　管	φ9.52	φ9.52
ガ　ス　管　用	φ12.7	φ15.88
個　数	1	1

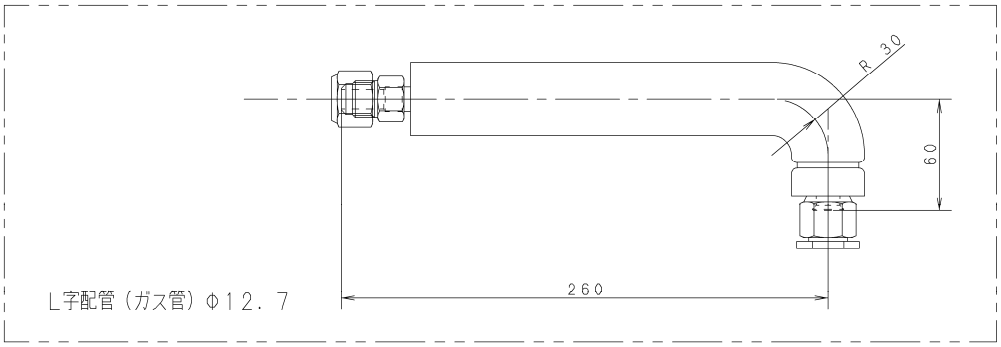
■外形寸法図

・ドレンアップキット（DP-TR160AN）

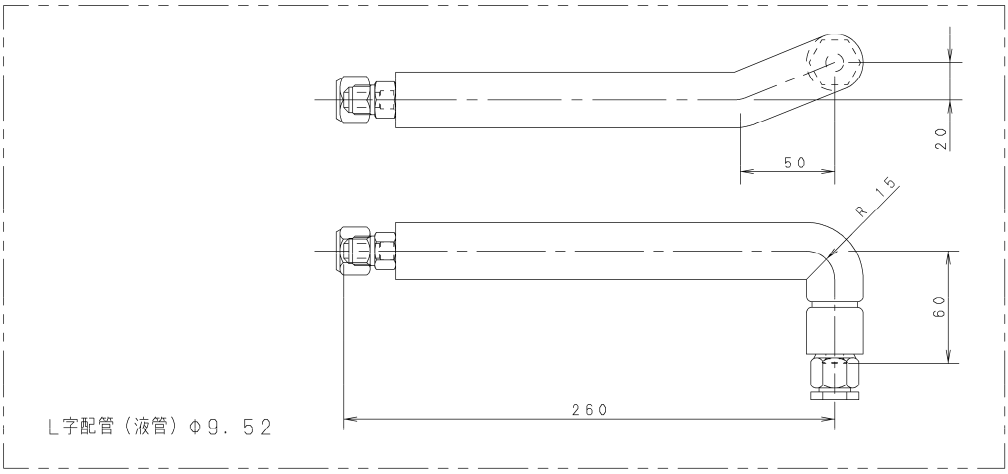


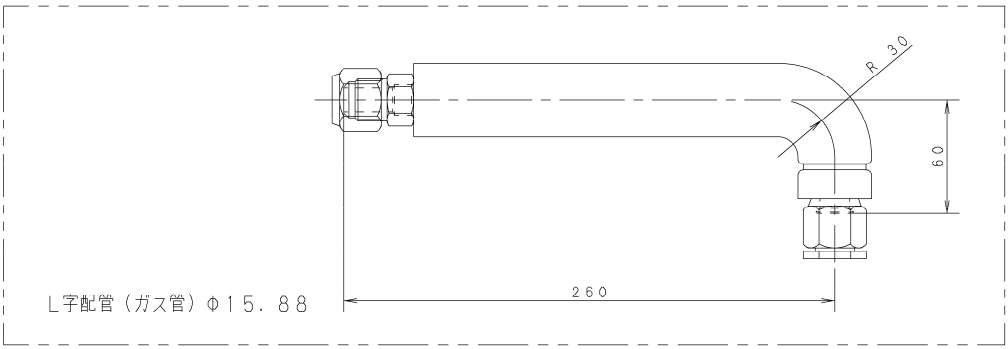
・L 字配管キット　DP-TR34LA





・L 字配管キット　DP-TR35LA





■ドレンアップキット取付説明

85464359569005

天井吊形ドレンアップキット取付説明書（HFC系冷媒用）

●取り付けの前に、本説明書と室内ユニットの「据付工事担当のかたへ」をよくお読みになり正しい取り付けを行ってください。

⚠ 注意　ドレンアップキット取り付け時には、必ず別売品のL字配管キットを使用してください。

仕様

ドレンアップ高さ	天井吊形：室内ユニット上面から600mm以下
	換気moぐっぴー：室内ユニット上面から500mm以下

構成部品

部品名	個数	形状	用途	部品名	個数	形状	用途
ドレンアップキット	1		――――――	ドレンホース固定バンド	2		ドレンホース固定用
ドレンアップキット取付金具	1		ドレンアップキット取付用	ドレン接続部用断熱材	2		ドレンホース接続部断熱用
ドレンホース	1		ドレンアップキット塩ビ管接続用	天面シール用断熱材	1		室内ユニット天面取出口　ノックアウトシール用
断熱パイプ	1		ドレンホース断熱用	ビス	4		ドレンアップキット固定用 ドレンアップキット取付金具固定用
				取付説明書	1	（本紙）	お客さまに必ず渡してください。

安全上のご注意

- 据付工事、電気工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告　取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

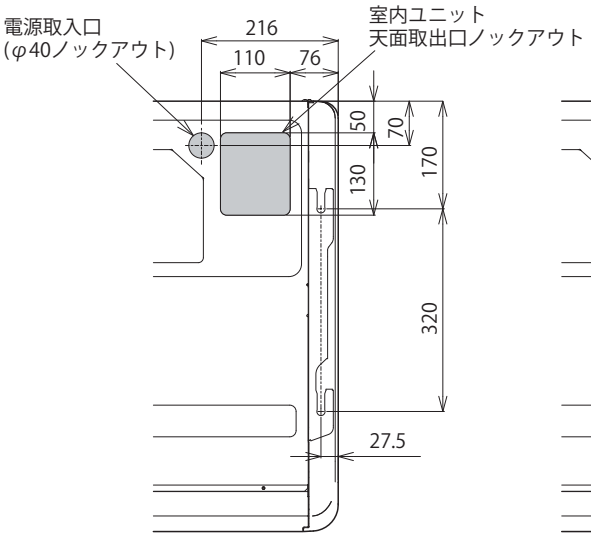
⚠ 注意　取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するともに“取扱説明書”にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。また“据付工事担当のかたへ”、“電気工事担当のかたへ”は、“取扱説明書”と共に、お客様に保管いただくように依頼してください。

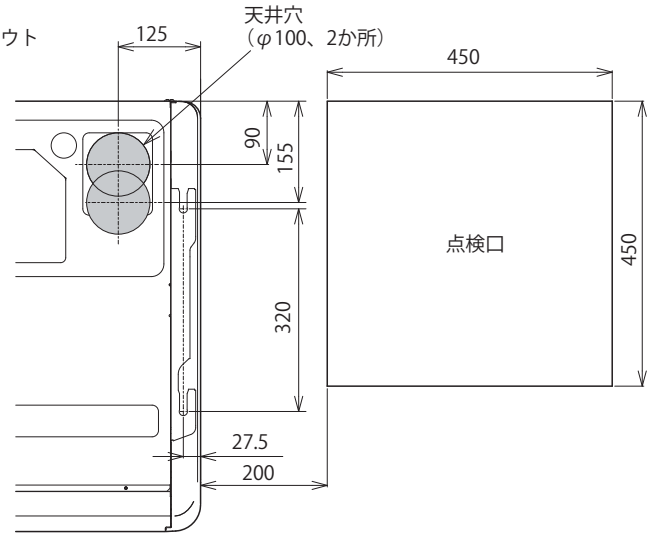
1.ドレンアップキット取り付け準備

取り付け時の注意事項

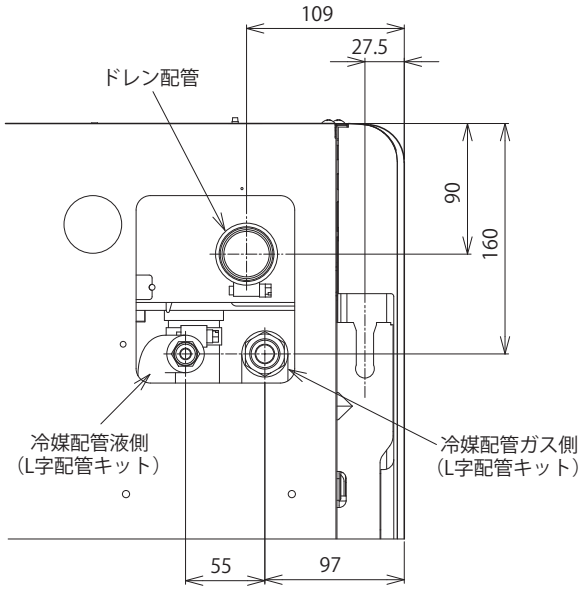
- ●ドレンアップキット取り付けの場合は、上配管取り出し以外はできません。
- ●ドレン配管は全て断熱処理をしてください。
- ●据え付ける天井面に冷媒配管・ドレン配管を貫通させるために天井穴（φ100、2か所）を開けてください。
- ●据え付ける天井面に450角の点検口を設けてください。

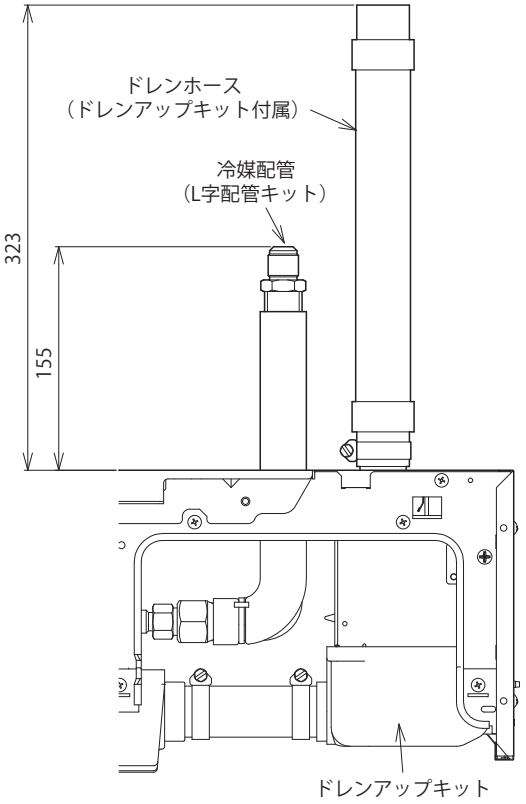


室内ユニット天面ノックアウト位置



天井面の穴位置





冷媒配管およびドレン配管位置

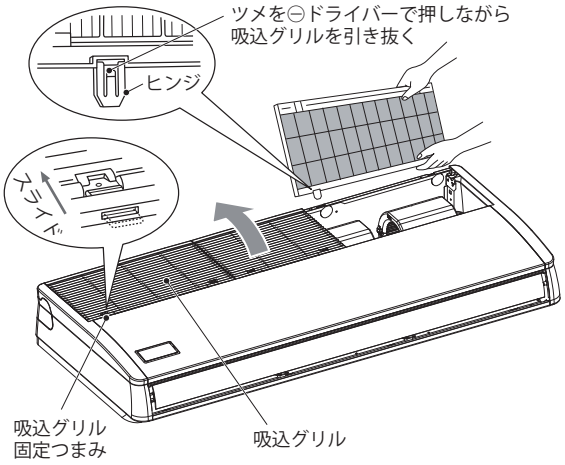
2.ドレンアップキットの取り付け手順

据え付けのまえに

1.吸込グリル取り外し

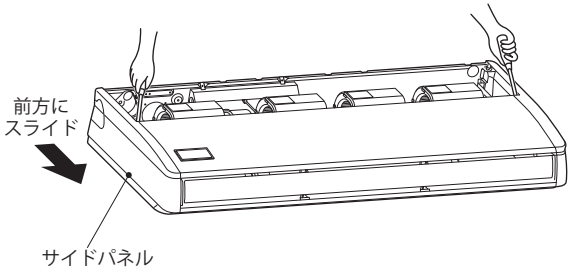
吸込グリル固定つまみ（2か所）を矢印方向にスライドし、吸込グリルを開いてください。

吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジ（2か所）のツメ部を押して吸込グリルを引き抜いてください。



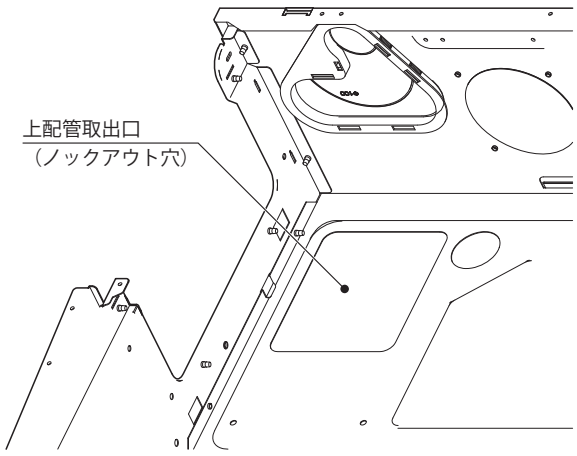
2.サイドパネル取り外し

サイドパネル固定ビス（左右各1本）を外した後にサイドパネルを前側にスライドして取り外してください。



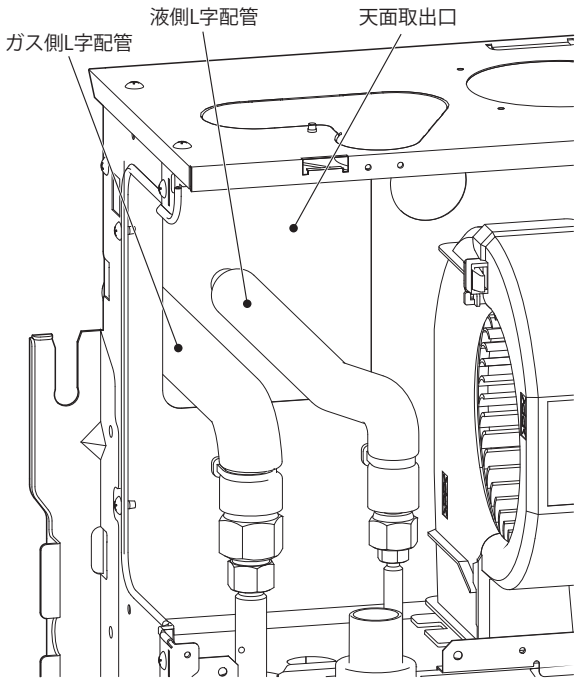
ノックアウト穴

天面の取り出し口（ノックアウト穴）を外してください。



L字配管キット接続

室内ユニットに別売の「L字配管キット」を接続してください。



パイプ径	締付トルク	銅管肉圧
φ6.35（1/4″）	14～18 N・m（140～180 kgf・cm）	0.8 mm
φ9.52（3/8″）	34～42 N・m（340～420 kgf・cm）	0.8 mm
φ12.7（1/2″）	49～61 N・m（490～610 kgf・cm）	0.8 mm
φ15.88（5/8″）	68～82 N・m（680～820 kgf・cm）	1.0 mm
φ19.05（3/4″）	100～120 N・m（1000～1200 kgf・cm）	1.0 mm

●フレア配管接続部の締付トルク

R410AはR22に比べ、圧力が約1.6倍と高　くなります。従って、室内・室外の各ユニットを接続するフレア配管接続部は、トルクレンチを使用して規定の締付トルクで確実に締め付けてください。接続に不備がありますとガスリークだけでなく、冷凍サイクル故障の原因にもなります。

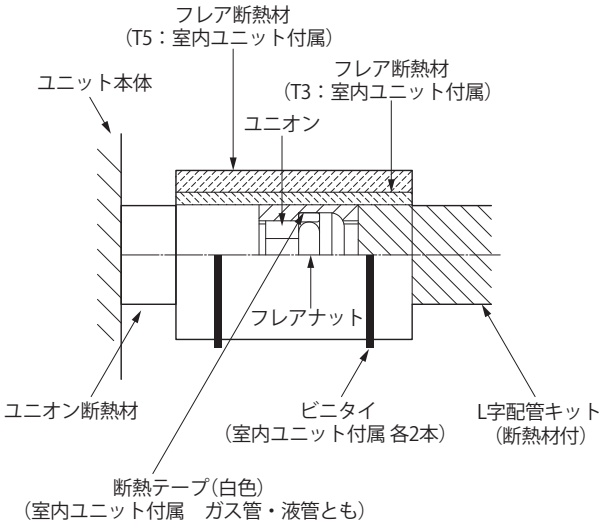
お願い

トルクをかけ過ぎますと、据え付け条件によってはフレアナットが割れる場合があります。

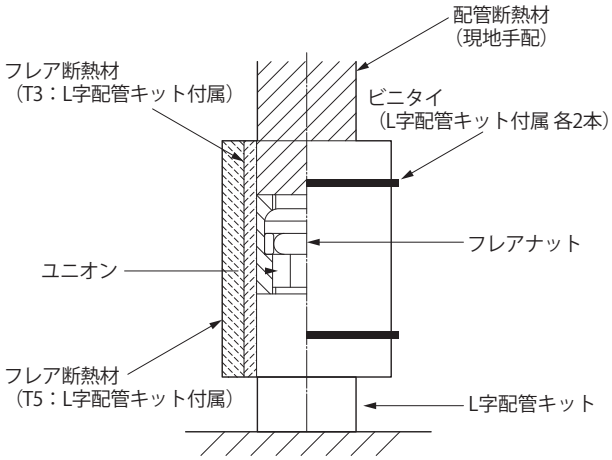
断熱処理

⚠ 注意

〈ユニット本体-L字配管キット -現地配管の接続〉
●ガス管・液管とも、必ず断熱をしてください。
また、フレアナット部に断熱テープ（白色）を巻き付けてください（ガス管・液管とも）。そして、配管接続部には付属のフレア断熱材を巻き付けビニタイ2本で結束してください。
断熱しないと水もれの原因になります。



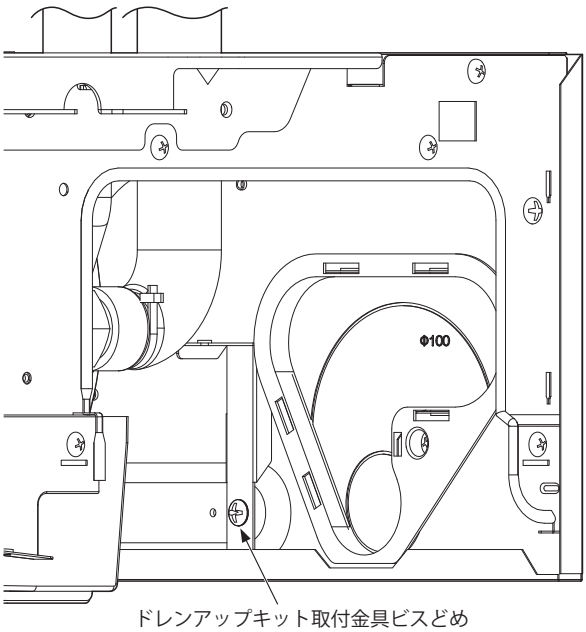
〈ユニット本体-L字配管キットの接続〉



〈L字配管キット -現地配管の接続〉

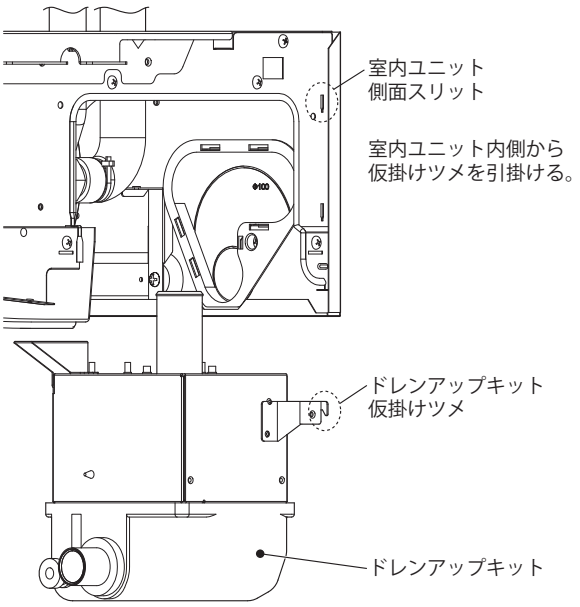
ドレンアップキット取り付け

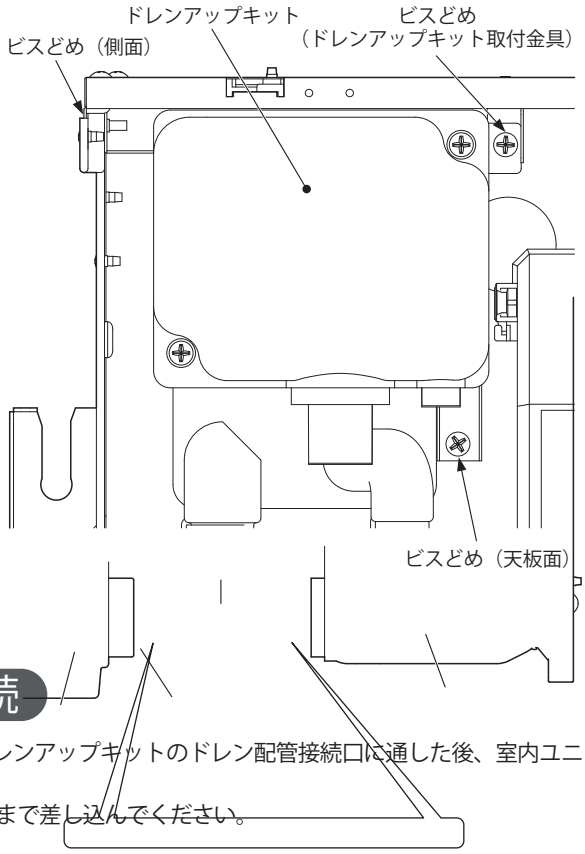
1.ドレンアップキット取付金具を室内ユニット内側背面に取り付けます。（ビス1本）



ドレンアップキット取り付け （つづき）

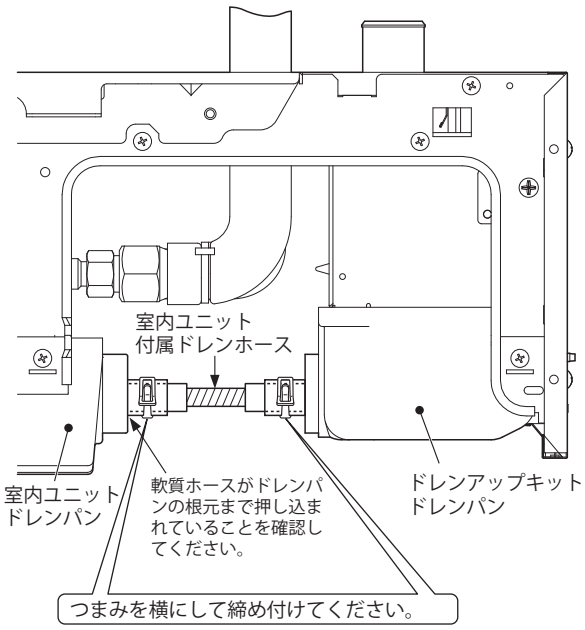
2.ドレンアップキット仮掛けツメを室内ユニット 側面スリットに内側から引掛けます。
ドレンアップキットを室内ユニットにビスどめします。
（ビス3本：天板面、側面、ドレンアップキット取付金具）

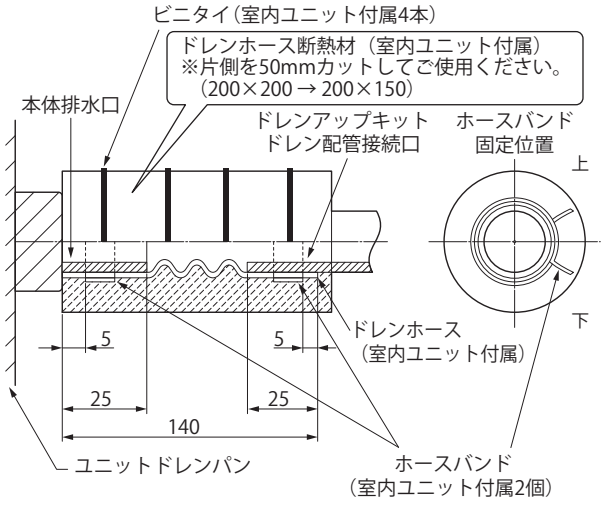




室内ユニット側ドレンホースの接続

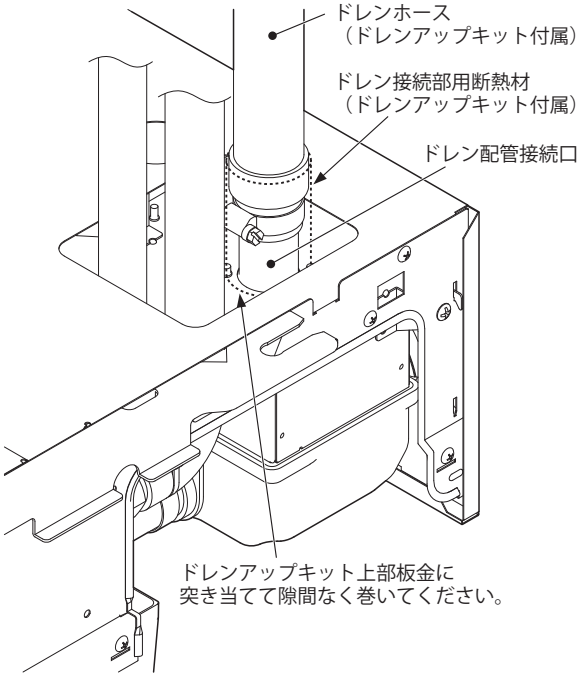
1.室内ユニットに付属のホースバンドを室内ユニットの排水口とドレンアップキットのドレン配管接続口に通した後、室内ユニットに付属のドレンホースを接続します。
ホースバンドをプライヤーでつまみながら、ドレンホースを根元まで差し込んでください。

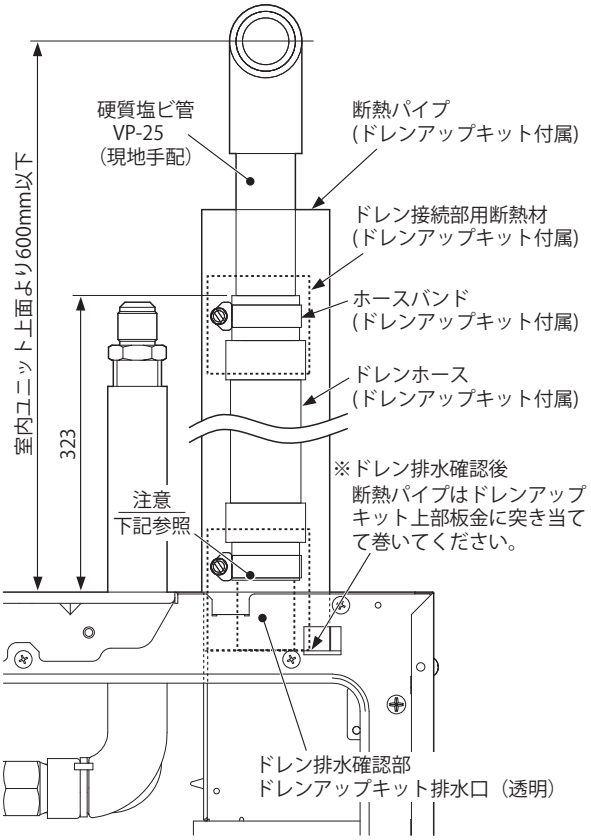




ドレンアップキット側ドレンホースの接続

1.ドレンアップキットに付属のドレンホースをドレンアップキット上部のドレン配管接続口に挿入します。
2.ドレンアップキットに付属のホースバンドを配管接続口の端に合わせ、しっかり締めてください。
3.ドレンアップキットに付属のドレン接続部用断熱材をドレン排水確認後、ドレンアップキット上部板金に突き当ててドレンホースを被うように隙間なく巻いてください。





⚠ 注意
- ホースバンドの固定部が排水口の側面になるように取り付けを行ってください。（上図参照）
- ホースバンドは、ホースの端に合わせてひも出しにかからない様に締め付けてください。

※室内ユニット上面より150mm以下で使用する場合、エルボを使わないで直接付属のドレンホースを（なるべくRを大きく）曲げて接続してください。

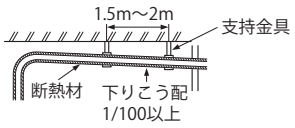
3.ドレン配管

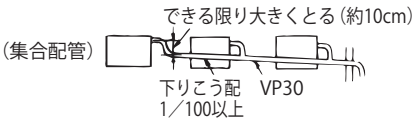
⚠ 注意

- ドレン配管は、据付説明書に従って確実に排水するよう配管し、結露が生じないよう断熱すること
  配管工事に不備があると、屋内に水漏れし、家財などをぬらす原因になることがあります。
- 「据付工事担当のかたへ」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
  また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 付属品は必ず当社指定の部品を使用してください。
  指定外の部品を使用すると、室内ユニット排水口の破損による水漏れのおそれがあります。

お願い

●室内のドレン配管の断熱を確実に行ってください。
●ドレンアップキットとの接続部も必ず断熱してください。断熱が不完全になると結露の原因になります。
●ドレン配管は下り勾配（1／100以上）とし、途中に山越えやトラップを作らないでください。水漏れや水飛び、異常音の原因になります。
●ドレン配管の横引きは20m以下にしてください。配管が長い場合は、1.5〜2m間隔で支持金具を設け、波打ちを防止してください。
●集合配管は右図のように施工してください。
●エアー抜き管は付けないでください。ドレン水が吹き出し水漏れの原因となります。
●ドレン配管との接続部に力を加えないよう注意してください。
●ドレンアップキットのドレン配管接続口に直接硬質塩ビ管を接続することはできません。
　ドレン配管接続口との接続には、必ず付属のドレンホースを取り付けます。
●ドレンアップキットのドレン配管接続口（硬質ソケット）には、接着剤の使用はできません。
　必ず付属のホースバンドで固定してください。
　ドレン配管接続口の破損や水漏れの原因になります。





配管材料・断熱材およびサイズ

配管工事および断熱処理には下記の材料を現地手配してください。

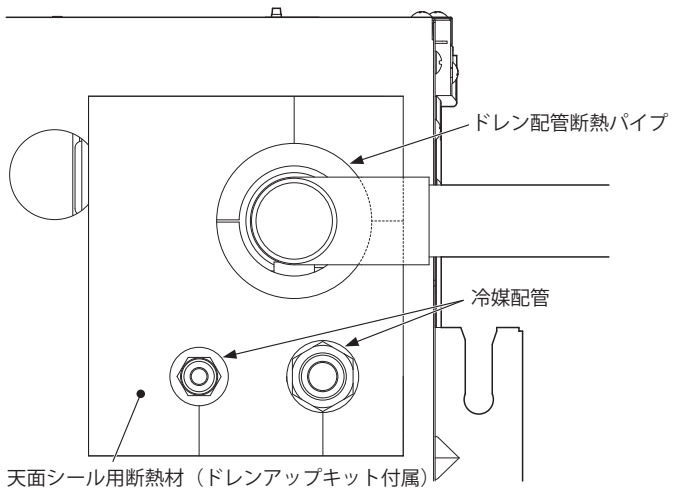
配管材料	硬質塩ビ管ソケット	VP25用
	硬質塩ビ管	VP25　（外径φ32mm）
断熱材	発泡ポリエチレンフォーム	厚さ10mm以上

ドレン配管の接続

●取り付けた付属のドレンホースに、硬質塩ビ管（現地手配）を接続します。

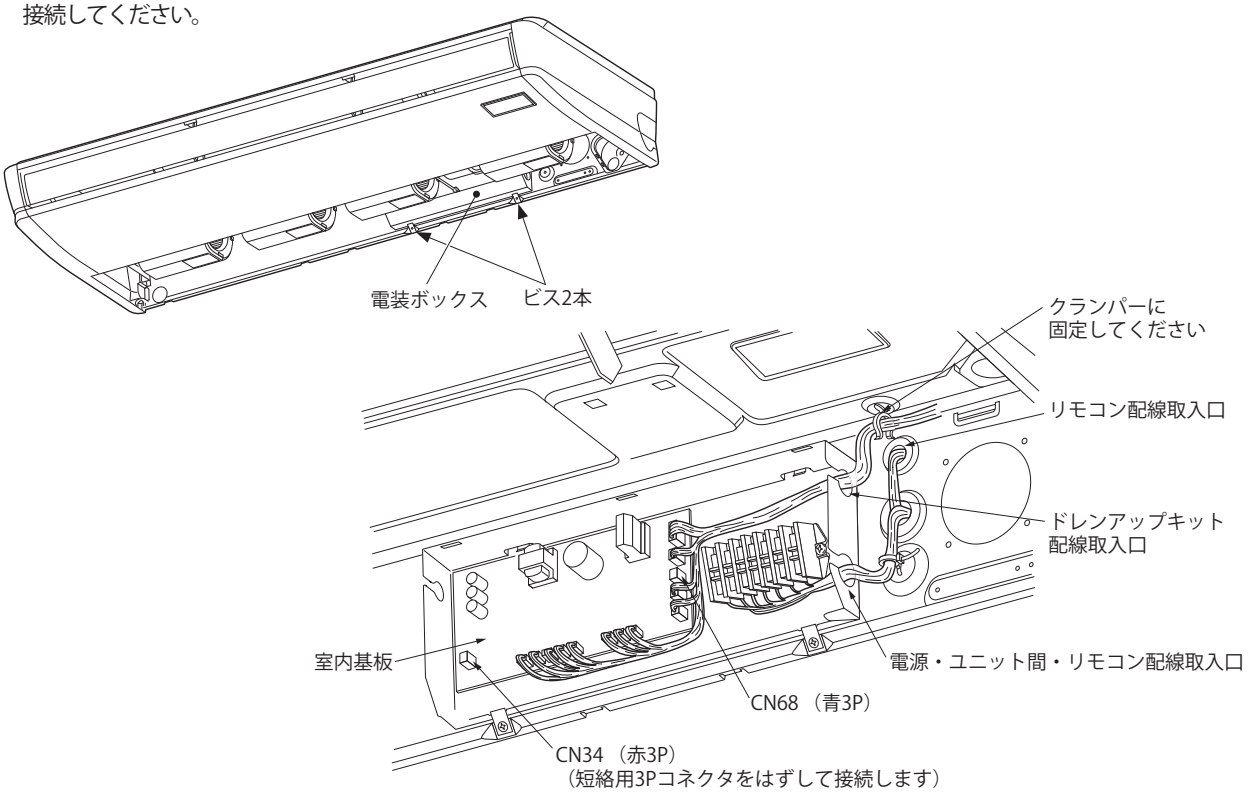
4.天面シール用断熱材

ドレンアップキット付属の天面シール用断熱材を冷媒配管とドレン配管の位置にあわせ貼り付けます。
すき間はパテ等（現地手配）でふさいでください。
（ほこりの侵入により、熱交換器が目詰まりする原因になります。）



5.配線接続

1. 電装ボックスのカバー取付ビス（2か所）をゆるめてカバーをはずします。
2. ドレンアップキットのドレンポンプ用コネクタ（青 3P）を室内ユニット基板 CN68（青 3P） 、フロートスイッチ用コネクタ（赤 3P）を室内ユニット基板 CN34（赤 3P）に接続します。　このとき、CN34（赤 3P）の短絡用3Pコ　ネクタをはずして接続してください。



6.試運転

ドレン排水状態の確認

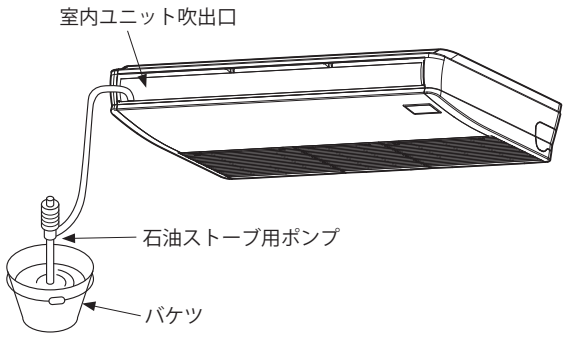
配管工事・電気工事完了後、冷房運転をしてドレンがスムーズに排水することを確認してください。
長時間冷房運転ができない場合は、室内ユニット吹出口より石油ポンプなどを使って水（約1200cc）を入れ、排水　がうまく行われるか確認してください。
また、各接続部から水漏れのないことも確認してください。

〈200Vの電源　がきている場合〉

電装ボックス内の電源端子板（R,S端子）に電源をを接続してください。

〈100Vの電源　がきている場合〉

昇圧トランスを使用し、電装ボックス内の電源端子板（R,S端子）に電源を接続してください。



●室内ユニット吹出口の開口部よりドレンパン内に排水確認用の水（約1200cc）を少しずつ入れてください。
●室内コントロール基板のCHK（2Pプラグ）をワニグチクリップ等で短絡してドレンポンプを運転し、水の流れと水漏れの有無を確認してください。

⚠ 注意

室内コントロール基板のCHK（2Pプラグ）を短絡すると、ファンも回転しますので注意してください。ケガをするおそれがあります。

●排水確認が完了したらCHK（2Pプラグ　）のワニグチクリップ等をはずします。
●昇圧トランスおよびドレンポンプ排水確認のための仮電源もはずしてください。

■L字配管キット取付説明

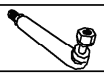
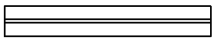
85464359570001

天井吊形L字配管キット取付説明書

ご注意

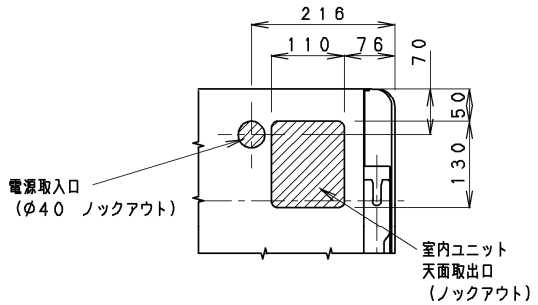
- ○ 詳しい据付方法につきましては、室内ユニット付属の”据付工事担当のかたへ”をご覧ください。
- ○ ドレンアップキットと合わせて据付を行う場合、ドレンアップキット付属の取付説明書をご覧ください。
- ○ この説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管しておいてください。

付属品

	名称		形状	個数	備考
①	L字配管	液管		1	
		ガス管		1	
②	フレア断熱材		T3	2	ガス管・液管接続部用
			T5	2	ガス管・液管接続部用
③	断熱テープ		白色（耐熱用）	2	ガス管・液管フレアナット接続部用
④	ビニタイ			4	フレア断熱接続部用
⑤	天面シール用断熱材			1	天面シール用

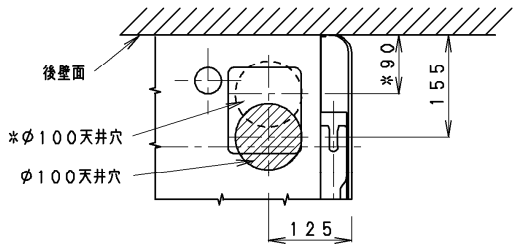
L字配管キット取り付け準備

＜ユニット上面より図示＞



天面取出口　【図　1】

＜ユニット上面より図示＞

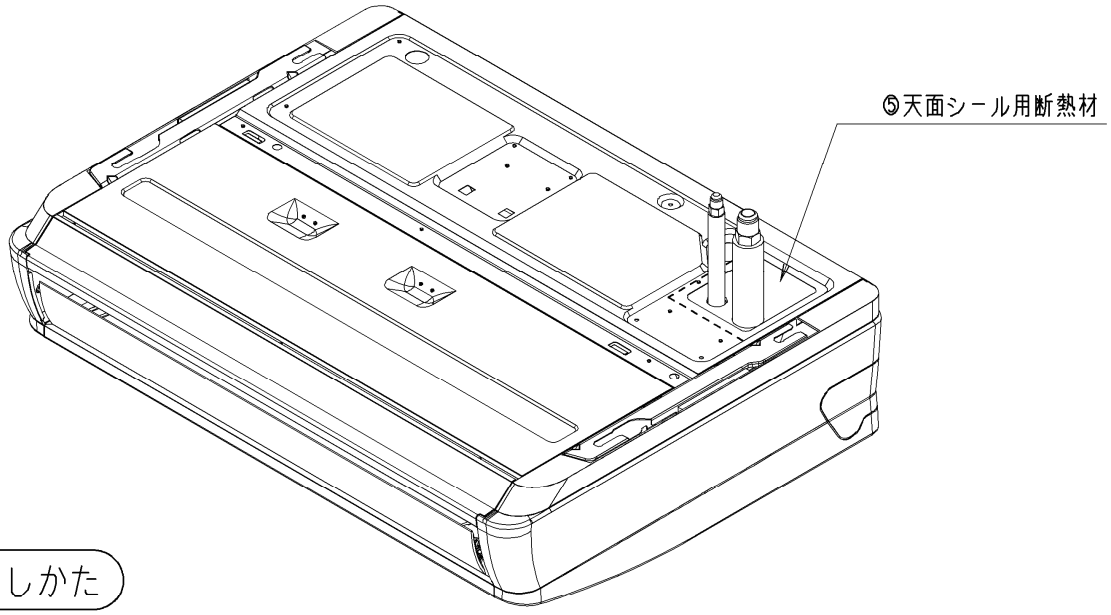


天井面の穴位置　【図　2】

1．上記図1に従いユニット天面取出口ノックアウトを開けてください。
2．上記図2に従い天井面にφ１００穴（１箇所）を開けてください。
3　別売ドレンアップキットを取り付ける場合は、点線のΦ１００（＊印部）も開けてください。

L字配管キット取り付け

○室内ユニットに取り付けられているフレアナット、ボンネット（ガス管、液管）は、取り外し後、
　L字配管キット（製品外側）の配管接続に使用してください。
　又は、L字配管キットに仮止めし、ゴミ等が入らない様にしてください。
○天面シール用断熱材で隙間をシールしてください。
○ドレンアップキット使用時は、ドレンアップキットに付属の天面シール用断熱材を使用ください。



冷媒配管のしかた

警告

1．冷媒配管のしかた.

○配管接続部のフレアナットを外すときおよび配管接続後にフレアナット
　を締め付けるときは、必ずモンキーレンチやスパナ等２丁掛けで行ってください。
　フレアナットを締め過ぎると、フレア部を破損し、冷媒漏れによる酸欠事故
　の原因となります。
○フレアナットの締めすぎによるフレア部の破壊を防ぐため、右表を目安に締め付けてください。
○液側配管のフレアナットの締め付けは、呼び寸法２００のモンキレンチ等で行ってください。

パイプ径	締付トルク
φ6.35(1/4″)	14～18 N·m (140～180 kgf·cm)
φ9.52(3/8″)	34～42 N·m (340～420 kgf·cm)
φ12.7(1/2″)	49～61 N·m (490～610 kgf·cm)
φ15.88(5/8″)	68～82 N·m (680～820 kgf·cm)
φ19.05(3/4″)	100～120 N·m (1000～1200kgf·cm)

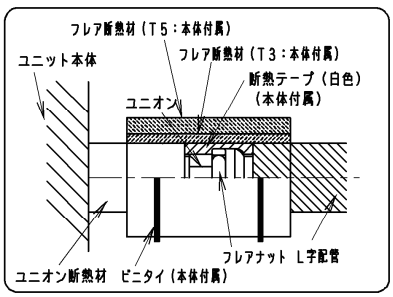
注意

2．配管の断熱

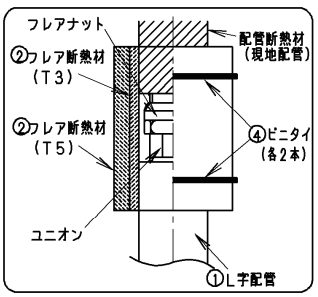
<ユニット本体－L字配管－現地配管の接続>

○液管・ガス管とも、必ず断熱をしてください。
　また、フレアナット接続部に付属の断熱テープ（白色）を巻き
　付けてください。（液管・ガス管とも）そして、配管接続部には
　付属のフレア断熱材を巻き付け、ビニタイ２本で結束してください。
　断熱しないと水もれの原因になります。

パッケージエアコンは〝高圧ガス保安法〟、〝冷凍保安規則〟
および高圧ガス保安協会制定の〝冷凍装置の施設基準〟を
満たすように設置し、必要なものは届出をしてください。



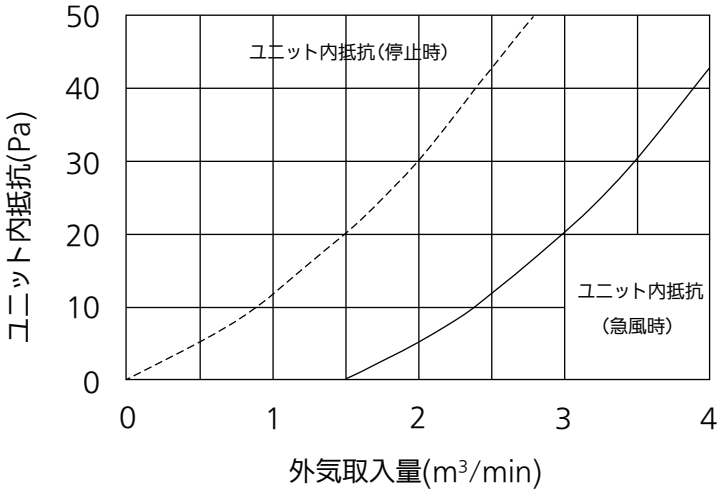
<ユニット本体－L字配管の接続>



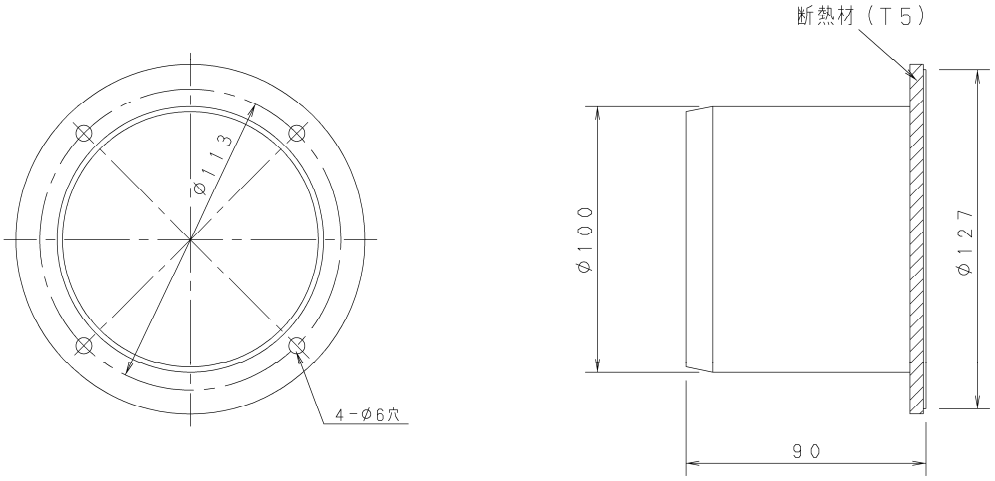
<L字配管－現地配管の接続>

●外気取り入れ・本体用ダクトフランジ（DKT-MF10AN）

■外気取入量とユニット内抵抗特性



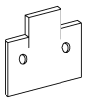
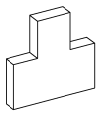
■外形寸法図



■取付説明

丸 合 フ ラ ン ジ の 取 り 付 け か た

1．付属品

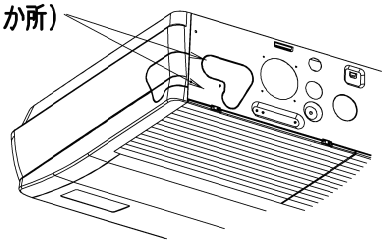
名　称	個数	名　称	個数
丸合フランジ （φ１００・外気取入用）	1	取付ねじ （４ｘ１２）	4
シール用断熱材　A （４方向天井カセット用） 	2	シール用断熱材　B （４方向天井カセット用） 	2

2．取り付けかた

（1）室内ユニットの切り込みを目印に、断熱材（スチロール）ごと、ニッパー・カッターナイフ等で切断し、切り取ってください。

＜天吊の場合＞

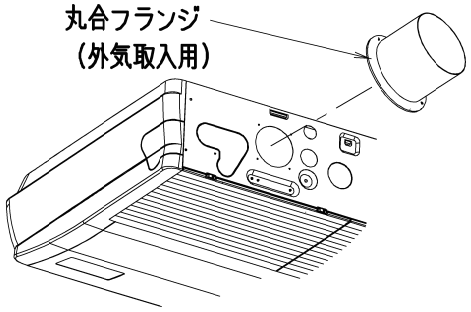
ニッパー等で板金を
切断する（４か所）



（3）室内ユニットに丸合フランジを付属の取付ねじ４本で取り付けてください。

＜天吊の場合＞

丸合フランジ
（外気取入用）



●背面カバー（STK-PT160A）

ご注意

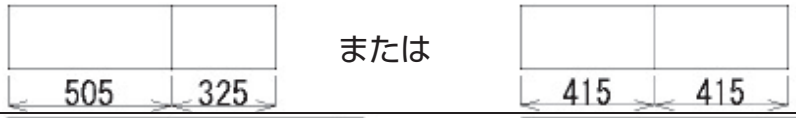
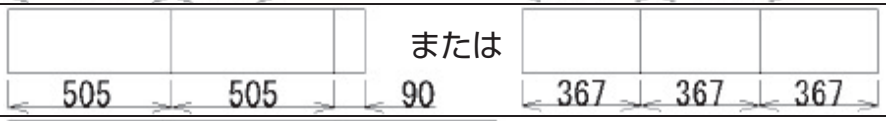
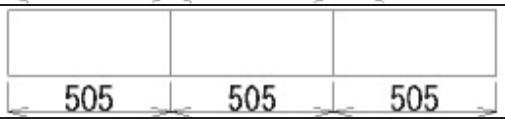
●背面カバーの貼り付けは、必ず本体吊り下げ前に行ってください。
●この説明書は室内ユニットの取扱説明書と一緒に保管しておいてください。

部品一覧

名称	形状	個数
背面カバー	２００mm×５０５mm	4

背面カバーの準備

背面 カバーは機種によって使用枚数が異なります。また、寸法に合わせて切断する必要がありますので、下記寸法表をご覧になり必要に応じて加工してください。

	貼付面寸法	使用枚数	背面カバー貼付寸法（表中 505mmの場合は、切断不要です。）
45, 56 形	200mm × 830mm	2枚	
71～ 90 形	200mm × 1100mm	3枚	
112～ 160 形	200mm × 1515mm	3枚	

フィルターチャンバーに貼り付ける場合

背面カバーを幅45mm(45mm×505mm)に切断
上表と同様の長さに切断してご使用ください。

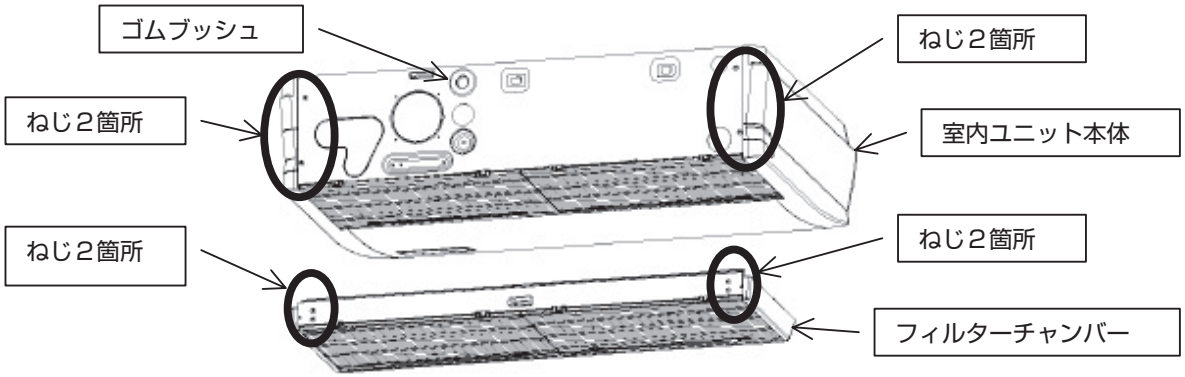
背面カバーの貼り付け

背面カバーの貼り付けは、必ず本体吊り下げ前に行ってください。

室内ユニット本体に取り付ける場合は、背面側左右ねじ(各２箇所)とゴムブッシュを取りはずしてから背面カバーを貼り付け、その上から先ほどはずしたねじを取り付けてください。

フィルターチャンバーに貼り付ける場合

室内ユニット本体と同様に背面側左右ねじ(各２箇所) を取りはずしてから背面カバーを貼り付け、その上から先ほどはずしたねじを取り付けてください。



配管または配線を後取りする場合は、背面カバーを貼り付け後カッターなどで配管穴・配線取り入れ口を切り抜いてください。その後、配線取り入れ口については背面カバー貼り付け時に取りはずしたゴムブッシを取り付けてください。

●DC ファンモータータップ
■DC ファンモータータップ設定変更手順

DC ファンモータータップの選択（天井吊形）

ご使用になられる用途、別売品を下表 1 でご確認ください。

表1　DC ファンモータータップ設定表

設定 No	リモコンの設定データ 項目コード 5d	使用用途／別売品名称
	0000	標準（出荷設定）
（1）	0001	高天井設定
		超ロングライフフィルター
		アンモニア脱臭フィルター（JIS 比色法 65%）
		光再生脱臭フィルター
（3）	0003	高性能フィルター（JIS 比色法 65%）
		デオドラントフィルター（JIS 比色法 65%）

基板から設定する場合

＜手順＞停止中に行なってください。

①電装ボックスの蓋を開き、室内コントロール基板を確認してください。（図 1）

②表 1 の DC ファンモータータップ設定表で確認していただいた設定 No に応じて、別売品に付属の**短絡コネクタ（2P：黄色）**を室内コントロール基板の短絡ピンに接続してください。

設定 No（1）の場合　短絡コネクタを室内コントロール基板の**短絡ピン TP1（2P：赤色）**に接続してください。

設定 No（3）の場合　短絡コネクタを室内コントロール基板の**短絡ピン TP3（2P：黄色）**に接続してください。

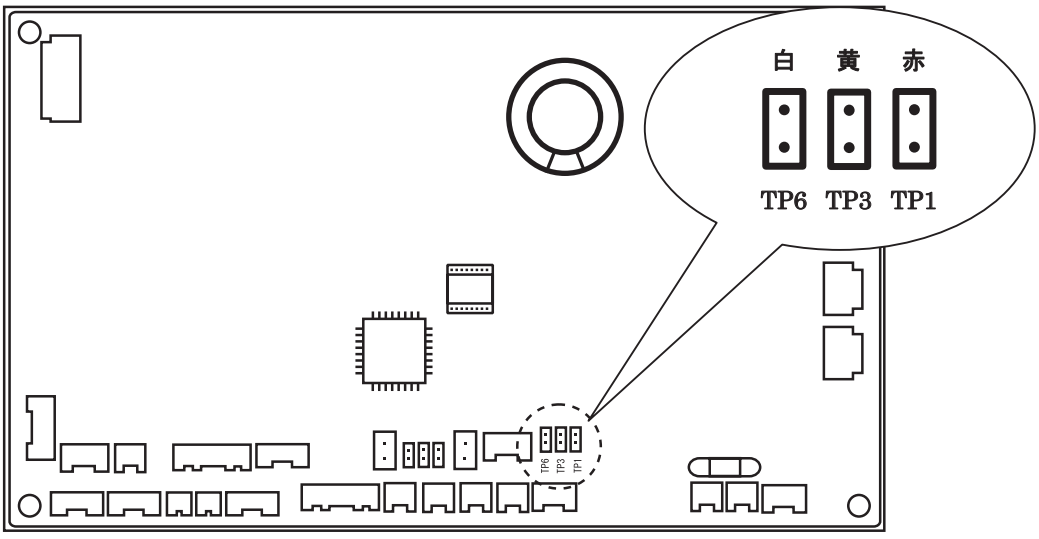


図1　室内コントロール基板

ワイヤードリモコンで設定する場合

＜手順＞停止中に行なってください。

（1）リモコンの品番をご確認ください（品番は、リモコンの扉裏側に貼ってあるラベル（図2）をご参照ください）。

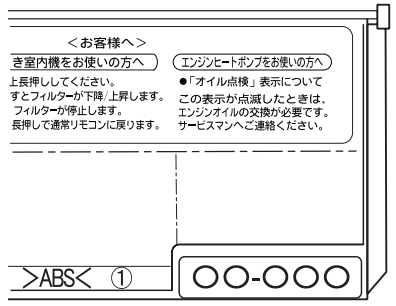


図 2　CZ-10RT3/3A の場合
手順（2）で作業ください。

（2）リモコンが CZ-10RT3/3A の場合

① 点検 ＋ 取消 ＋ セット ボタンを同時に4秒以上押します。

② ユニット選択 ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニット No を順次表示します。このとき、選択されている室内ユニットのみファンモーターが運転します。

③温度設定 ▽ ／ △ ボタンで**項目コード「5d」**を指定します。

④時間 ボタンで設定データを変更します。設定データの内容は表1のようになっています。

⑤ セット ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変われば OK）
選択している室内ユニットを変更したい場合は②へ

⑥ 点検 ボタンを押します。通常の停止状態になります。

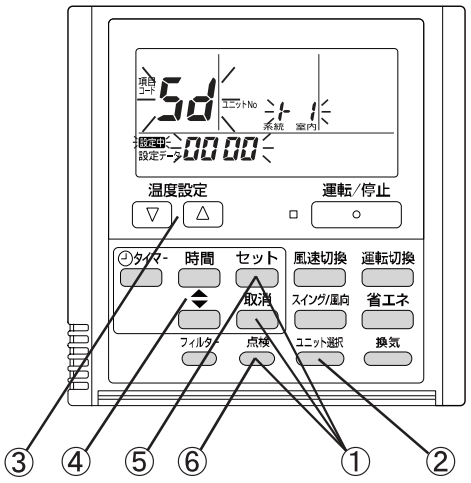
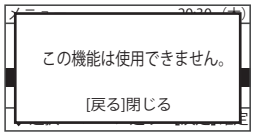


図3

■ 多機能ワイヤードリモコン CZ-10RT4 シリーズで設定する場合

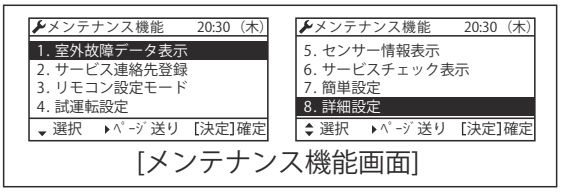
● 昇降グリルを操作するための設定方法

多機能ワイヤードリモコンで昇降グリルを操作するためには必ず（ワイヤードリモコンから）下記設定を行ってください。
この設定をしないと、昇降グリル操作時に
“この機能は使用できません。” が表示されます。



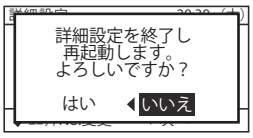
多機能ワイヤードリモコン

① 戻る + 決定 + ▶ ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
② ▼ / ▲ ボタンで選択、◀ / ▶ ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
[詳細設定画面]が表示されます。
▼ / ▲ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。
③ ◀ / ▶ ボタンで項目コードを選択してください。
▼ / ▲ ボタンで項目コードを「30」に変更してください。
④ ◀ / ▶ ボタンで設定データを選択してください。
▼ / ▲ ボタンで設定データを「0000」から「0001」に変更し、 決定 ボタンを押してください。
⑤ ◀ / ▶ ボタンでユニットNoを選択後、戻る ボタンを押してください。
[詳細設定終了画面]が表示されます。
「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。



[メンテナンス機能画面]

[詳細設定画面]



[詳細設定終了画面]

● 風量アップの設定方法

使用する用途、別売品を下記DCファンモータータップ設定表より確認のうえ設定してください。

〈手順〉停止中に行ってください。

① 戻る + 決定 + ▶ ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。

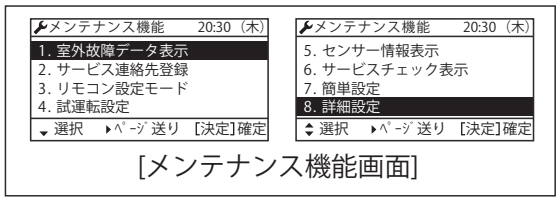
② ▼ / ▲ ボタンで選択、◀ / ▶ ボタンでページが切り替わります。
「8.詳細設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。
[詳細設定画面]が表示されます。
▼ / ▲ ボタンで変更するユニットNoを選択してください。

③ ◀ / ▶ ボタンで項目コードを選択してください。
▼ / ▲ ボタンで項目コードを「5D」に変更してください。

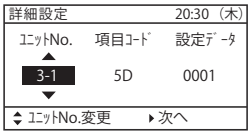
④ ◀ / ▶ ボタンで設定データを選択してください。
▼ / ▲ ボタンで設定データを変更し、決定 ボタンを押してください。
※4方向カセット形でしゃ風材をご使用の場合は、③〜④と同様の手順で
項目コード「62」の設定データを「0000」に変更してください。

⑤ ◀ / ▶ ボタンでユニットNoを選択後、戻る ボタンを押してください。
[詳細設定終了画面]が表示されます。
「はい」を選択し、決定 ボタンを押してください。

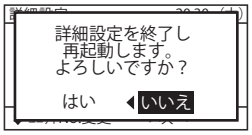
多機能ワイヤードリモコン



[メンテナンス機能画面]



[詳細設定画面]



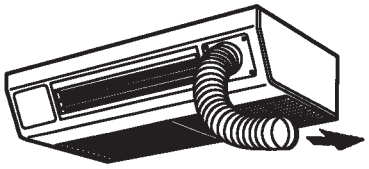
[詳細設定終了画面]

DCファンモータータップ設定表〈天井吊形〉

設定 No	リモコンの設定データ 項目コード 5D	使用用途／別売品名称
	0000	標準（出荷設定）
（1）	0001	・高天井設定　　・超ロングライフフィルター
（3）	0003	・高性能フィルター（JIS比色法65%）

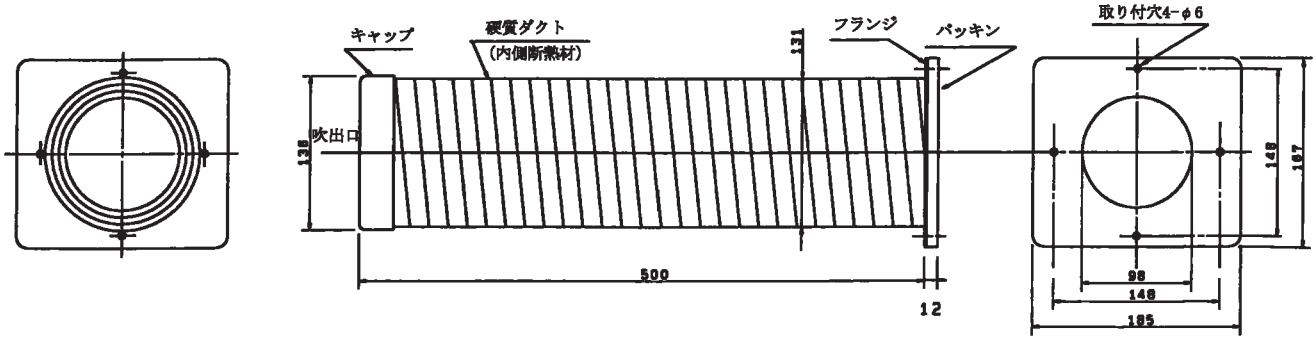
●スポットダクト

DKT-TKH1005



自由度の高い専用吹出口でスポット的にも使用できます。
その際、ユニット吹出口のしゃ風は不要で取り付けは簡単です。２本取り付けることも可能です。

■接続口：片側(左・右どちらか)もしくは両側
■ダクト：長さ500㎜、左右共通
径　100㎜
断熱材付き



●交換用フィルター

SPW-KF71 （80形）
KF125（112,140形）

・不織布
・50枚入り
・寸法
SPW-KF71　606×420㎜
SPW-KF125　790×420㎜

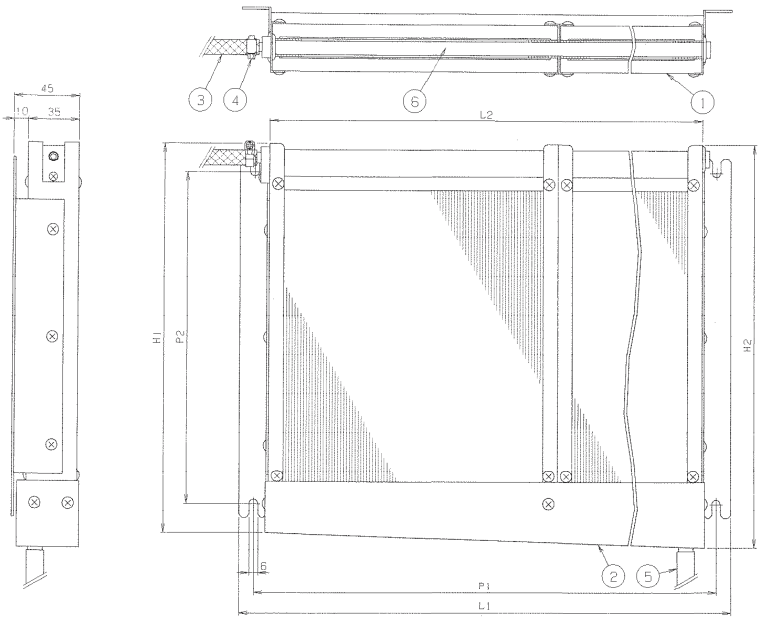
●自然気化式加湿器（RH-EN30E・45E1・45E・90E）

■仕様

製品名		気化式加湿器			
適用機種		224形		280形	
加湿器品番（RH-）		RH-EN30E	RH-EN45E1	RH-EN45E	RH-EN90E
加湿性能（kg/h）		3.0	4.5	4.5	9.0
給水量 *1 （L/h）		8.3～9.0	18.4～20.0	18.4～20.0	29.8～32.6
圧力損失		コイル面風速 3m／s 以下の時　10Pa以下			
電源電圧		単相　AC200V　50／60Hz			
定格消費電力		10W			
本体質量(重量)(kg)		3.0	3.5	3.5	5.5
使用条件	周辺温湿度	加湿器本体　：　5～60℃　90%RH 以下給水ユニット　：　5～40℃　80%			
	給水水質	RH以下水道法水質基準に準ずる飲料水			
	給水圧力	0.05～0.5MPa			
	給水温度	5～40℃			
備考		*1）給水量は給水圧力範囲（0.05～0.5MPa）において、 0.05MPa時に最小となり、0.5MPa時に最大となります。			
梱包内容		●加湿器本体梱包 ①加湿器本体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1台 ②給水ホース(φ6×φ11×1.5m)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1本 ③排水ホース(φ8×φ12×2m)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1本 ④給水ホース用ホースバンド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2ケ ⑤給水軟銅管(φ6.35×2m)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1本 ⑥給水継手(R1/2)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1ケ ⑦取付ブラケット固定金具・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2ケ ⑧取付説明書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1冊 ●給水ユニット梱包 ⑨給水ユニット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1ケ ⑩給水ユニット固定金具・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1ケ ⑪取付ビス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式 ●取付ブラケット梱包 ⑫取付ブラケット(取付ビス)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式			

・自然気化式加湿器とヒーター(電気・温水・蒸気ヒーター)との組合せはできません。
・加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。
　公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン(型式認可品：現地調達) をご使用ください。

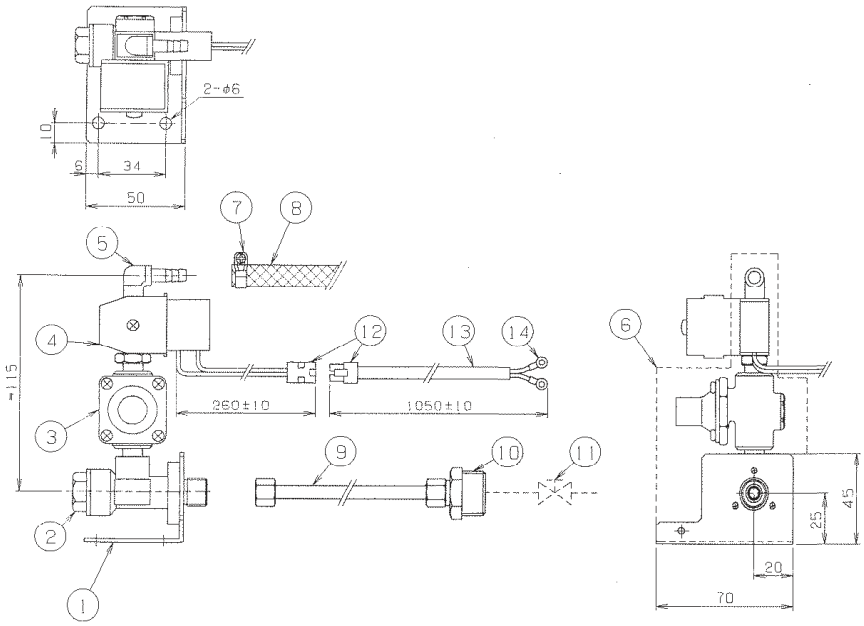
■加湿器本体外形寸法図：RH-EN30E・45E1・45E・90E



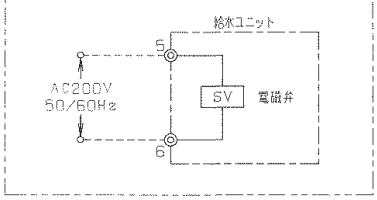
適用機種	加湿器品番	L1	L2	H3	H2	P1	P2
224形	RH-EN30E	440	400	270	280	420	230
	RH-EN45E1	640	600	270	285	620	230
280形	RH-EN45E	640	600	270	285	620	230
	RH-EN90E	940	900	345	365	920	305

番　号	部　品　名	仕　　様
①	加湿モジュール	
②	ドレンパン	SUS304
③	給水ホース	φ6×φ11×1.5m
④	ホースバンド	
⑤	排水ホース	φ11×φ16×2m
⑥	給水ヘッダ	銅管

■給水ユニット外形寸法図：RH-EN30E・45E1・45E・90E

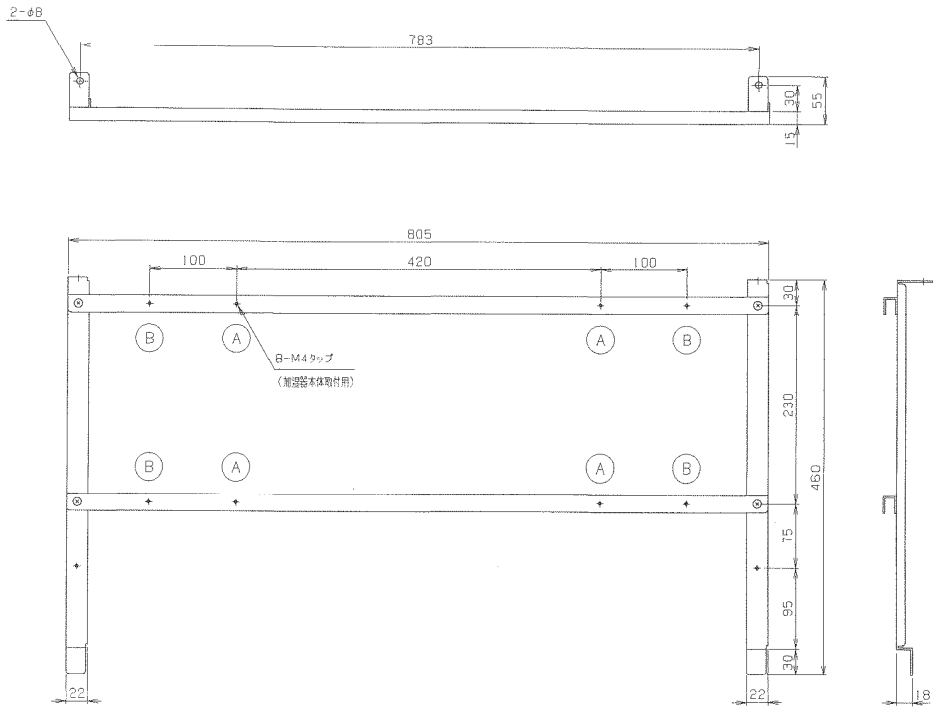


電気結線図



番号	部品名称	仕　　様	番号	部品名称	仕　　様
①	取付板	SGCC　t 2	⑧	給水ホース	φ6×φ11 1.5m
②	給水ストレーナー	T型	⑨	給水軟銅管	φ6.35 .2m
③	減圧弁	MAA-00A0-23	⑩	給水継手	R1／2
④	電磁弁	MAA-00A0-26	⑪	給水サービス弁	現地手配
⑤	給水ホース口		⑫	コネクタ	
⑥	断熱材		⑬	接続コード	VCTF0.75mm² 2C
⑦	ホースバンド		⑭	絶縁被覆付丸端子	TMEV1.25-3.5S (または相当品)

■加湿器取付用ブラケット外形寸法図：RH-EN30E・45E1用

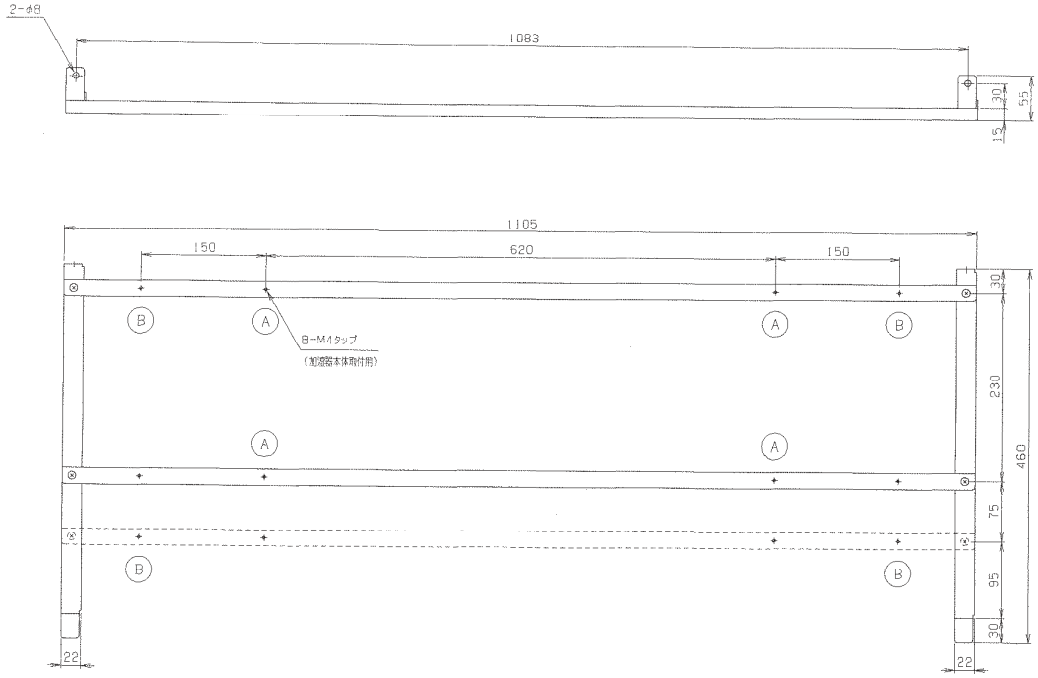


・ブラケット　：SGCC　t 2
・付属ビス　：M4（ブラケット組立 / 加湿器取付用）
M6（ブラケット固定用）

適用機種	加湿器品番	加湿器取付位置
224形	RH-EN30E	Ⓐ4ヵ所
	RH-EN45E1	Ⓑ4ヵ所

※現地組み立てとなります。（ビス4本使用）
※ブラケットを完成させてビス4本にて加湿器を取り付けた後、
ユニット内に取り付けてください。

■加湿器取付用ブラケット外形寸法図：RH-EN45E・90E用



・ブラケット　：SGCC　t 2
・付属ビス　：M4（ブラケット組立 / 加湿器取付用）
M6（ブラケット固定用）

適 用 機 種	加湿器品番	加湿器取付位置
280形	RH-EN45E	Ⓐ4ヵ所
	RH-EN90E	Ⓑ4ヵ所

※現地組み立てとなります。（ビス4本使用）
※ブラケットを完成させてビス4本にて加湿器を取り付けた後、
ユニット内に取り付けてください。
※図はRH-EN90Eを取り付ける状態を示します。
RH-EN45Eを取り付ける際は、下部ステ-を点線位置にしてください。

■取付方法:RH-EN30E・45E・45E1・90E

●自然気化式加湿器使用説明

1.概　要

1−1. 加湿器のしくみとはたらき

●RH−ENタイプは、床置形パッケージエアコン室内機のコイル2次側に取り付け、コイルを通過した暖房空気を取り入れて濡れた加湿材を通過させることにより水を気化して加湿する方式の気化式加湿器です。

給水は減圧弁と給水用電磁弁の組み合わせによりエアコンの運転に連動して自動的に行われ、給水圧力に左右されることなく安定した給水量を保ちます。また、加湿量プラスαの給水量を流すことにより加湿材の自己洗浄機能を持たせており、加湿材に付着する汚れを含んだ余剰水はドレンとして排水されます。

1−2. 仕　様

製品名		気化式加湿器(床置形パッケージエアコン用)			
適用機種		224形		280形	
機種名		RH-EN30E	RH-EN45E1	RH-EN45E	RH-EN90E
標準加湿量		3.0kg/h	4.5kg/h	4.5kg/h	9.0kg/h
給水量 (*1		8.3~9.0kg/h	18.4~20.0kg/h	18.4~20.0kg/h	29.8~32.6kg/h
能力条件	コイル面風速	2.5m／s			
	通過空気温湿度	40℃·15%RH			
定格電源		単相　AC200V　50／60Hz			
定格消費電力		10W			
本体質量(重量)		3.0kg	3.5kg	3.5kg	5.5kg
使用条件	周囲温湿度	加湿器本体：5~60℃　90%RH以下 給水ユニット：5~40℃　80%RH以下			
	給水水質	水道法水質基準に準ずる飲料水			
	給水圧力	0.05~0.5MPa(0.5~5.0kg/cm^2)			
	給水温度	5~40℃			
備　考		*1)給水量は給水圧力範囲(0.05~0.5MPa)において、0.05MPa時に最小となり、0.5MPa 時に最大となります。			

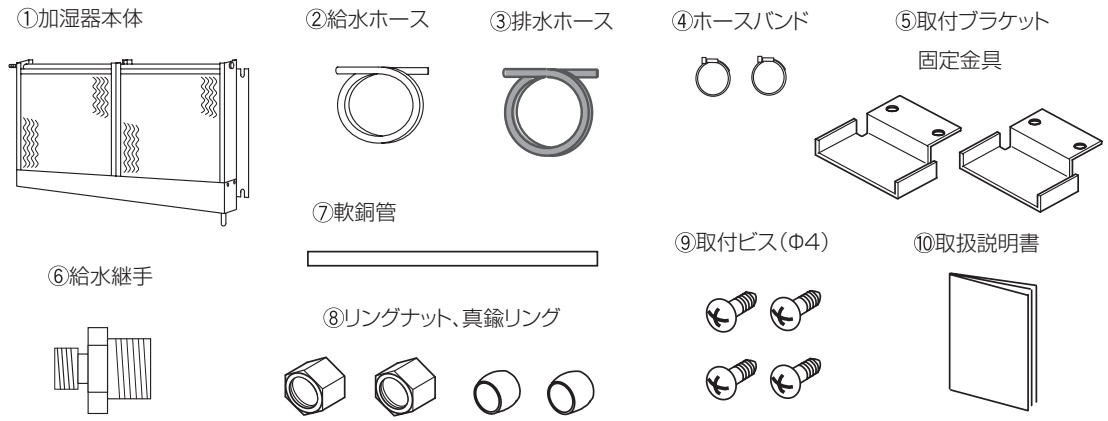
2. 取　付

2−1. 付属品一覧

※梱包開封後は、直ちに付属品の内容を確認してください。

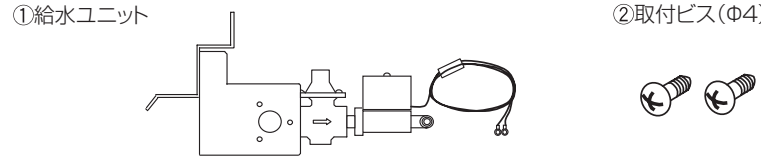
・加湿器本体梱包

部品名称		
	①加湿器本体……1台	⑥給水継手(R1/2)……1ケ
	②給水ホース(半透明、1.5m)……1本	⑦軟銅管(Φ6.35×2m)……1ケ
	③排水ホース(黒色、2m)……1本	⑧リングナット、真鍮リング……各2ケ
	④ホースバンド……2ケ	⑨固定金具取付ビス(Φ4)……4本
	⑤取付ブラケット固定金具……2ケ	⑩取扱説明書(本書)……1部



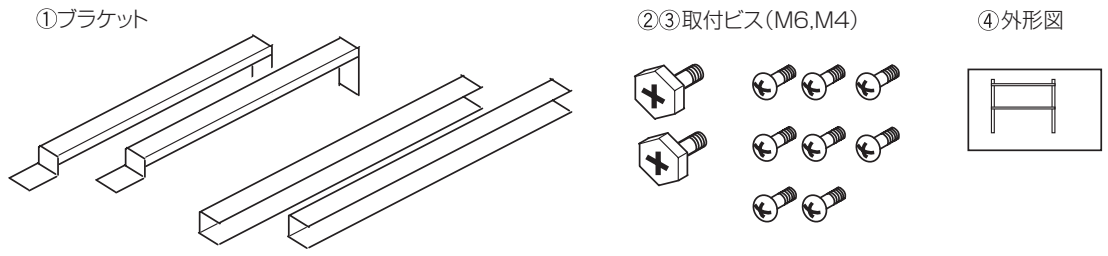
・給水ユニット梱包

部品名称		
	①給水ユニット……1台	②取付ビス(Φ4)……2本



・ブラケット梱包

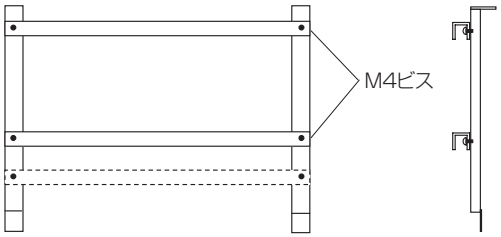
部品名称		
	①ブラケット……一式	③取付ビス(M4)……8本
	②取付ビス(M6)……2本	④外形図……1枚



2−2. 取付上の注意事項

2−2−1. 加湿器本体の取付

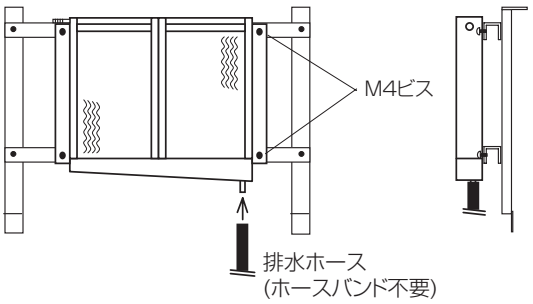
(1)図−1のように取付ブラケットをM4ビス4本で組み立てます。RH-EN90Eの場合はブラケットを破線の位置にして組み立ててください。



図−1　取付ブラケットの組立

(2)図−2のように組み立てた取付ブラケットにM4ビス4本で加湿器本体を取り付けます。

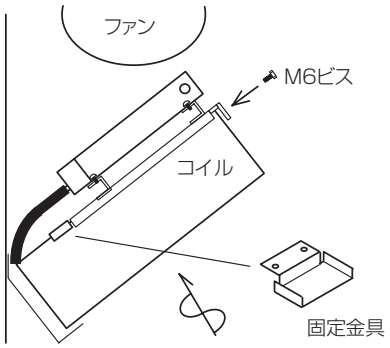
(3)加湿器ドレンパンに排水ホースを差し込んでください。このときホースバンドは不要です。



図−2　加湿器本体の取付

(4)パッケージエアコン室内機の吸込口および上部前面パネルを外して、図−3のように室内機のコイル2次側に組み立てた加湿器本体を組み込みます。

加湿器取付後にパッケージエアコンの輸送などがある場合には、コイルフランジにブラケット固定金具を取付け、取付ブラケット下部がその固定金具に収まるように取付ブラケットを面に沿ってスライドさせてください。また、取付ブラケット上部は付属のM6ビス2本で固定してください。

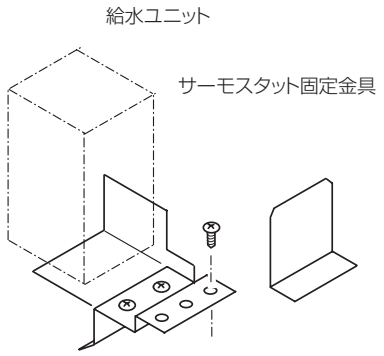


図−3　加湿器本体の組み込み

(5)加湿運転中排水ホースからは常時少量のドレン水が出ますので、確実に排水が行われるよう排水ホースを適度な長さにカットし、ホース先端がドレンパン上になるように配管してください。この際排水ホースがコイルフィンに接触しないようにしてください。

2−2−2. 給水ユニットの取付

(1)ビス2本を使用してサーモスタット固定金具の横に給水ユニットを取付てください。(図−4)



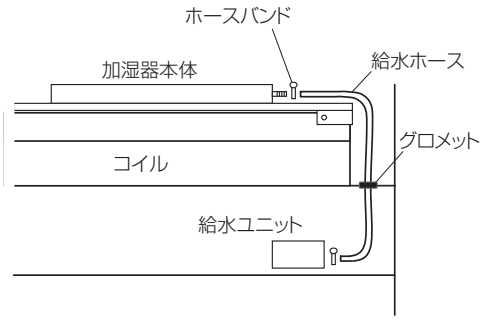
図−4　給水ユニットの取付

2−2−3. 給水ホース／給水軟銅管の接続

(1)加湿器本体ホース口に給水ホースを差し込み、給水ホース用ホースバンドで固定してください。

(2)図−5のように給水ホースはコイル右側のグロメットを通して給水ユニットに接続します。給水ホースは折れや極端な曲がりがないように適度な長さにカットして給水ユニットのホースに差し込み、給水ホース用ホースバンドで固定してください。この際に給水ホースがコイルフィンに接触しないようにしてください。

(3)給水ユニットに給水軟銅管を接続します。給水軟銅管はエアコンの加湿給水口よりエアコン内部に取り入れてください。給水軟銅管の接続部はリングジョイント式となっています。リングナットの締め付けトルクは10N·m(100kgf/cm)程度としてください。



図−5　給水ホース／給水軟銅管の接続

注)軟銅管は継手部付近からの急な曲げ加工は行わないでください。漏水の原因となることがあります。

(4)エアコン外部での給水軟銅管と現地の給水配管との接続には給水継手を使用してください。なお、給水配管を接続する前には、通水して**必ず配管のフラッシングを実施してください。**

2−2−4. 給排水配管について

- 給水配管には水道法水質基準に準ずる飲料水をご使用ください。
- 加湿器への給水は公共の水道管から直接接続はできませんのでご注意ください。
- **給水サービス弁(現地手配)**を必ず各加湿器ごとに設けてください。
- 給水圧力は0.05〜0.5MPa、給水温度は5〜40℃の範囲でご使用ください。
- 給水配管、排水配管ともに、凍結および結露を防止するための断熱処理をしてください。

2−2−5. 電気配線について

- 給水ユニットの電磁弁コードの丸端子をエアコン制御盤内の端子台5、6番に接続してください。

3. 運　転

3−1. 施工後はじめての運転

● 給水配管に設けてある給水サービス弁が開いていることを確認してください。

● エアコンを暖房運転すると、加湿器が自動的に運転します。

3−2. 日常の運転管理

● 加湿器の運転はエアコンに連動しますので、加湿器の運転スイッチ等は特に設けていません。

3−3. 加湿休止期の処置

● 加湿のオフシーズンには、給水配管に設けてある給水サービス弁を閉めてください。

● シーズンオフ時およびシーズンイン時には、後記「4. 保守点検」を参照してそれぞれ必要な保守作業を必ず実施してください。

● シーズンイン時には忘れずに給水サービス弁を開け、試運転を行って漏水の無いことを確認してください。

4. 保守点検

4−1. 作業上の留意点

● 加湿器を正常に運転させるため、保守点検作業は必ず実施してください。

● 作業にあたっては、安全に十分ご配慮ください。

● 工具類は適正サイズのものを使用し、締め過ぎ・締め不足にご注意ください。

● 部品交換の際は必ず純正部品をご使用ください。

4−2. 保守点検作業一覧

作業内容	作業時期	必要工具など
(1)給水ストレーナ掃除	・運転開始後1〜2日目 ・シーズンイン時 ・その他汚れに応じて適宜	モンキーレンチ(125mm程度)
(2)給水配管のフラッシング	・施工後 ・シーズンイン時	モンキーレンチ(125mm程度) ウエスなど
(3)加湿材洗浄	・シーズンイン時 ・その他汚れに応じて適宜	プラスドライバ 洗浄剤(家庭用酸素系漂白剤) 洗浄用容器(加湿材が入るもの)
(4)給水ヘッダ水抜き	・シーズンオフ時	プラスドライバ

4−3. 保守点検作業要領

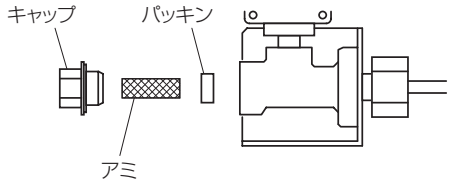
(1)給水ストレーナ掃除

■ 必要工具：モンキーレンチ(125mm程度)

● エアコンの運転を停止し、給水サービス弁を閉めてください。

● エアコンの吸込口を開けてください。

● 給水ストレーナのキャップを外してください。筒状のアミが出てきます。



● アミの内側を掃除し、きれいな水で洗ってください。

● 元通りセットしキャップを取り付けてください。※キャップ締付トルク：5〜10N·m

● 給水サービス弁を開けて通水し、漏水のないことを確認してください。

(注)シーズンオフ時には、確認後、給水サービス弁を閉めてください。

● エアコンの吸込口を元通りにしてください。

(2)給水配管のフラッシング

■ 必要工具：モンキーレンチ(125mm程度)

● エアコンの運転を停止し、給水サービス弁を閉めてください。

● エアコンの吸込口を開けて、給水ストレーナのキャップを外してください。筒状のアミが出てきます。

● 給水サービス弁を徐々に開けて放水します。水がきれいになるまで十分に放水してください。

(注)給水サービス弁は数回にわけて徐々に開いてください。開きすぎると水が飛散します。

● 給水ストレーナから取り出したアミを元通りセットしキャップを取り付けます。アミが汚れている場合は掃除してください。※キャップ締付トルク：5〜10N·m

● 給水サービス弁を開けて通水し、漏水のないことを確認してください。

(注)運転開始まで期間がある場合は、確認後、給水サービス弁を閉めてください。

● エアコンの吸込口を元通りにしてください。

(3)加湿材洗浄

この洗浄は目に見えている汚れを落とすものではなく、 親水性(吸水性)が落ちた加湿モジュールに再度、親水性を復活させて、加湿能力を回復させるためのものです。

■ 必要工具：プラスドライバ、洗浄剤(家庭用酸素系漂白剤)、洗浄用容器(加湿材が入るもの)

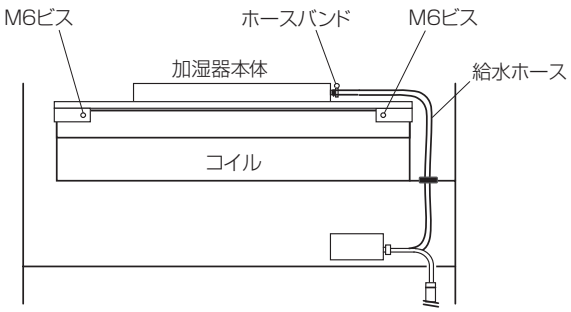
● エアコンの運転を停止してください。

● エアコンの吸込口および上部前面パネルを開けてください。

● 加湿器本体に接続している給水ホースのホースバンドをゆるめ、ホースを抜いてください。

● 取付ブラケットを固定しているM6ビス2本を外し、加湿器本体を取付ブラケットごとエアコンから外してください。

● 加湿器本体を固定しているM4ビス4本を外し、加湿器本体を取付ブラケットから外してください。



(注)加湿材のステンレスケースは絶対に分解しないでください。

● 洗浄用容器の中に加湿材を浸せる量の洗浄液を作ります。家庭用酸素系漂白剤を「シミ抜き」程度の濃さに希釈してください。

● 加湿材を洗浄液の中に浸し、30分程度つけ置きしてください。

● つけ置きした後、流水にて十分に水洗いを行ってください。

● しばらく静置して水気を落としてから、元通りに組み付けてください。

(注)洗浄しても吸水性が回復しない場合は新しい加湿材と交換してください。

● 給水ホースは加湿器本体のホース口に差し込み、ホースバンドでしっかり固定してください。

● 給水サービス弁を開けて通水してください。

(注)運転開始まで期間がある場合は、給水サービス弁を閉めてください。

● エアコンの吸込口および上部前面パネルを元通り取り付けてください。

(4)給水ヘッダ水抜き

■ 必要工具：プラスドライバ

● エアコンの運転を停止し、給水サービス弁を閉めてください。

● エアコンの吸込口を外してください。

● 給水ユニットに接続している給水ホースのホースバンドをゆるめて給水ホースを外し、給水ホース内および加湿器本体内蔵の給水ヘッダ内に残っている水を抜きます。

● 残水を抜いた後は元通り給水ユニットに給水ホースを接続し、ホースバンドでしっかり固定してください。

5. 故障時の処置

5−1. 故障と思われる前に

● 加湿器が運転しない場合、必ずしも故障が発生しているとは限りません。故障と思われる前に、以下の項目をご確認ください。

□ 給水サービス弁は開いていますか?

□ 元電源はONになっていますか?

□ エアコンは暖房運転していますか?

5−2.故障の原因と処置

状 態	原 因	処 置
運転しない	正しい電圧AC200Vが供給されていない	正しい電源を供給する
	加湿器を組み込んでいる空調機が停止している	
給水しない	給水サービス弁が閉まっている	給水サービス弁を開ける
	給水ストレーナの目詰まり	ストレーナを掃除する
	加湿器の電磁弁コードが外れている	ソケット・端子台の接続を確認する
	給水用電磁弁の故障	電磁弁を取り替える
	減圧弁の故障	減圧弁を取り替える
加湿不足	給水ストレーナの目詰まり	ストレーナを掃除する
	給水圧力が低く給水量が不足している	給水圧力を調整する
	加湿モジュールが汚れて吸水性が悪い	洗浄または交換する
漏水	配管接続部からの漏水	増締めする
	給水管への結露	断熱処理を施す
	排水不良	修正する
	通過風量が使用条件範囲を超えている	風量を調整する
異常音	給水圧力が使用条件範囲を超えている	給水圧力を調整する
	電磁弁のうなり音	電磁弁を取り替える
	減圧弁の振動音	配管内のエア抜き
異臭	水質が悪い	加湿モジュールを洗浄または交換すると同時に水質をチェックし改善する
	加湿モジュールがひどく汚れている	洗浄または交換する
	ドレンパン、配水管などが汚れている	掃除する

●自然気化式加湿器（RH-EN60T・120T）

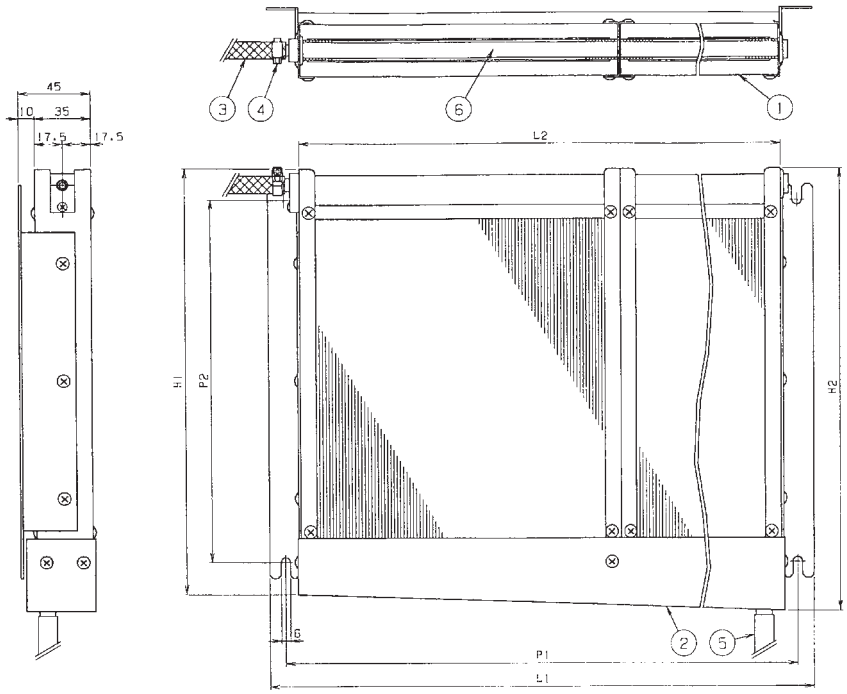
■仕様

適用機種			355・450形	
加湿器品番			RH-EN60T	RH-EN120T
加湿性能		kg/h	6	12
給水量 *1		L/h	19.2～20.6	40.8～43.6
能力条件	コイル面風速		2.5m／s	
	通過空気温湿度		40℃・15%RH	
電源電圧			単相　AC200V　50／60Hz	
定格消費電力			10W	
製品質量（重量）		kg	4.5	6.5
使用条件	周辺温湿度		加湿器本体　：　5～60℃　90%RH以下 給水ユニット　：　5～40℃　80%RH以下	
	給水水質			
	給水水質		水道法水質基準に準ずる飲料水	
	給水圧力		0.05～0.5MPa	
	給水温度		5～40℃	
備考			*1)給水量は給水圧力範囲（0.05～0.5MPa）において 0.05MPa時に最小となり、0.5MPa時に最大となります。	

※加湿器性能は能力条件により変化します。上記条件と異なる場合は補正が 必要になります。室内ユニットが暖房標準、標準風量で運転する場合の加湿性能（有効加湿量は）400：4.3/8.5　450：5.3/10.6です。（適用機種：RH-EN60T／RH-EN120T）

※加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。
公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン(型式認可品：現地調達)をご使用ください。

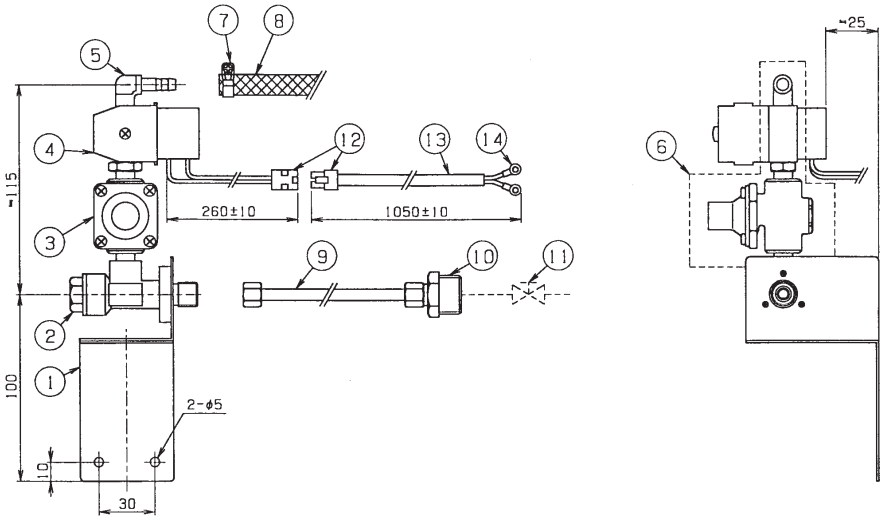
■外形寸法図

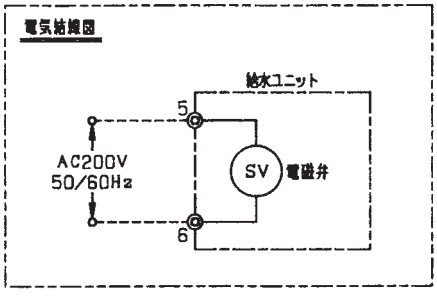


適用機種	加湿器品番	L1	L2	H1	H2	P1	P2
355形 450形	RH-EN60T	840	800	270	285	820	230
	RH-EN120T	1240	1200	345	370	1220	305

番号	部品名	仕様
①	加湿材	
②	ドレンパン	SUS304
③	給水ホース	φ6×φ11×1.5m
④	ホースバンド	
⑤	排水ホース	φ11×φ16×2m
⑥	給水ヘッダー	銅管

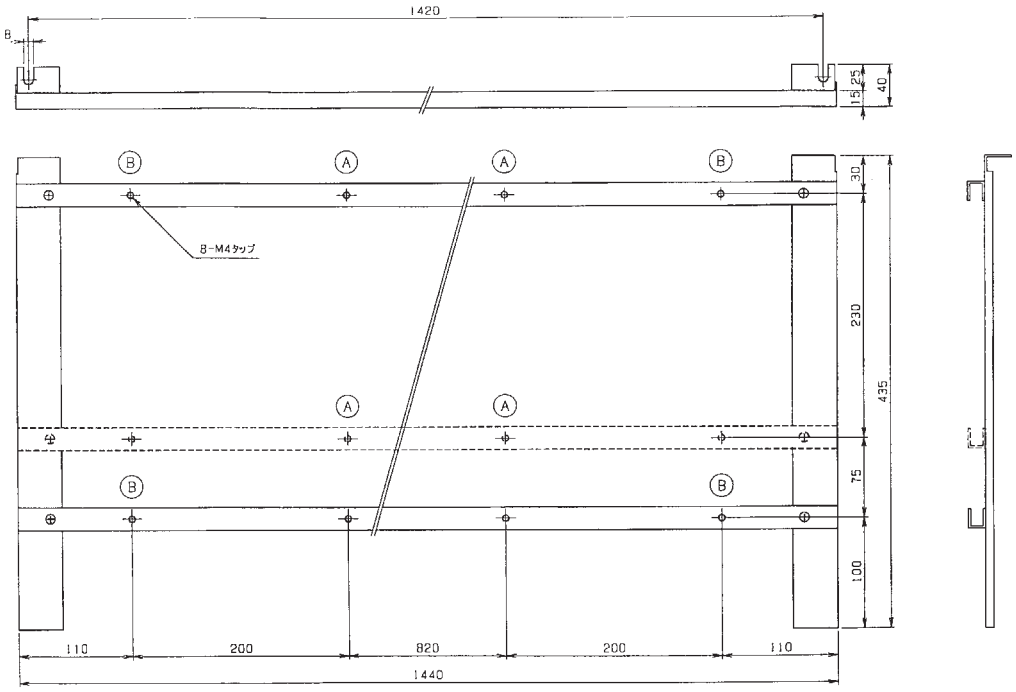
■給水ユニット外形寸法図：RH-EN60T・120T





番号	部品名称	仕様	番号	部品名称	仕様
①	固定金具	SGCC t2	⑧	給水ホース	φ6×φ11 1.5m
②	給水ストレーナー	T型	⑨	給水軟銅管	φ6.35 2m
③	減圧弁		⑩	給水継手	1／2B おねじ
④	給水用電磁弁	AC200V	⑪	給水サービス弁	現地手配
⑤	給水ホース口		⑫	コネクタ	Lコネクタ
⑥	断熱弁		⑬	接続コード	VCTF0.75mm^2 2C
⑦	ホースバンド		⑭	絶縁被覆付丸端子	TMEV1.25-3.5S (または相当品)

■加湿器取付用ブラケット外形寸法図：RH-EN60T・120T用



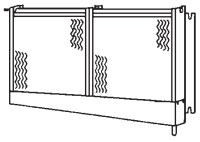
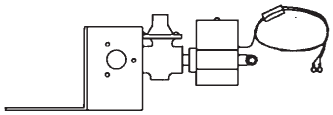
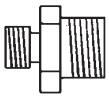
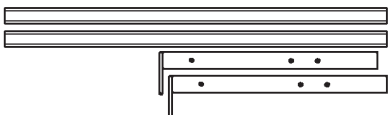
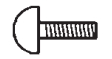
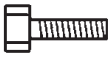
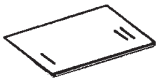
※現地組立てとなります。（ビス4本使用）
※ブラケットを完成させてビス４本にて加湿器を取り付けた後、ユニット内に取り付けてください。
※図はRH-EN120Tを取り付ける状態を示します。
RH-EN60Tを取り付ける際には、下部ステーを点線位置にしてください。

・ブラケット：SGCC　t2
・付属ビス：トラスビス　M4×8L（SUS）

適用機種	加湿器品番	加湿器取付位置
355形 450形	RH-EN60T	Ⓐ4ヵ所
	RH-EN120T	Ⓑ4ヵ所

■取付方法

●付属品一覧
※梱包開封後は、直ちに付属品の内容を確認してください。

部品名称	形　　状	個数	備考
①加湿器本体		1	
②給水ホース		1	半透明、1.5m
③排水ホース		1	黒色、2m
④給水ホース用 ホースバンド		2	
⑤給水ユニット		1	給水ストレーナー、減圧弁、 給水用電磁弁、固定金具 電磁弁コード1.3m
⑥給水軟銅管		1	φ6.35×2m
⑦給水継手		1	1/2Bおねじ
⑧取付ブラケット		一式	
⑨取付ビス	 	8 4	M4ビス M6ビス
⑩取扱説明書		1	

■取付上の注意

(1) 加湿器本体の取付

●取付ブラケットをＭ４ビス４本で組み立てます。
（図－1 参照）

●組み立てた取付ブラケットにＭ４ビス４本で加湿器本体を取り付けます。
（図－2 参照）

●加湿器ドレンパンに排水ホースを差し込んでください。ホースバンドは不要です。

●室内ユニットの吸込口および上部前面パネルを外します。室内ユニットのコイル２次側に、組み立てた加湿器本体を組み込みます。
（図－3参照）
室内ユニットのコイルフランジにスライドさせるようにして、取り付けブラケット下部をコイルフランジの突起金具に引っかけてください。また取り付けブラケット上部は付属のＭ６ビス２本で固定してください。

●加湿運転中は排水ホースから常時少量のドレン水が流れます。確実に排水が行われるように排水ホースを適度な長さにカットして、ホース先端が必ずドレンパン上になるように配管してください。この際排水ホースがコイルフィンに接触しないように注意してください。

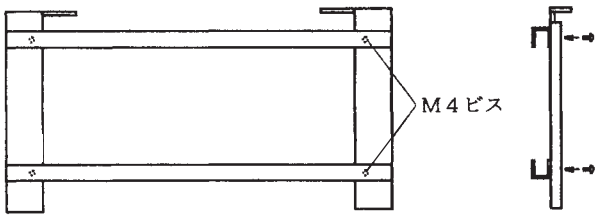


図-1　取付ブラケット

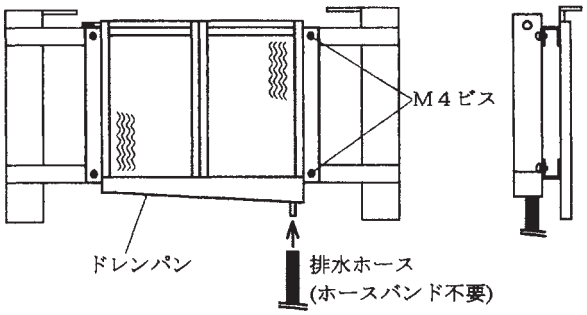


図-2　加湿器本体の取付

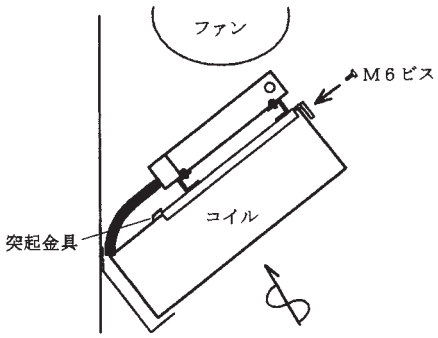


図-3　加湿器本体の組込

【注】加湿器本体を室内ユニットへ組み込む際、コイルフィンの破損にご注意ください。

(2) 給水ユニットの取付

●エアコン内部のサーモスタット固定金具のビス２本を外してください。

●取り外した２本のビスを使用してサーモスタット固定金具と給水ユニットを共締めしてください。(図－4 参照)

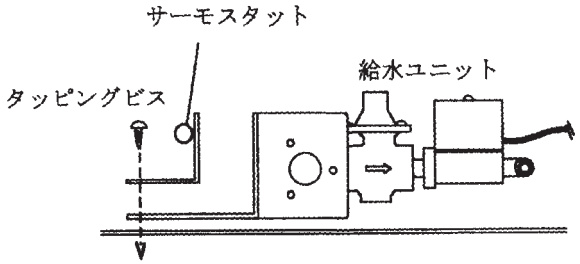


図-4　給水ユニットの取付

(3) 給水ホース／給水軟銅管の接続

●加湿器本体ホース口に給水ホースを差し込み、給水ホース用ホースバンドで確実に固定してください。

●給水ホースはコイル右側のグロメットを通して給水ユニットに接続します。給水ホースは折れや極端な曲がりがないように適度な長さにカットして給水ユニットのホース口に差し込み、給水ホース用ホースバンドで固定してください。この際給水ホースがコイルフィンに接触しないように注意してください。（図－5参照）

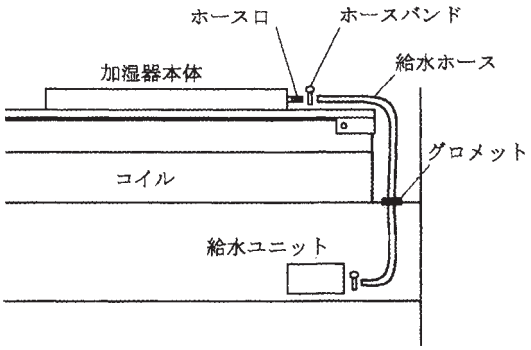


図-5　給水ホース／給水軟銅管の接続

●給水ユニットに給水軟銅管を接続します。給水軟銅管はエアコンの加湿給水口よりエアコン内部に取り入れてください。給水軟銅管の接続部はリングジョイント形式となっています。
リングナットの締め付けトルクは10N・m程度としてください。

【注】軟銅管は継手部付近からの急な曲げ加工は行わないでください・漏水の原因となることがあります。

●現地の加湿器用給水配管と給水軟銅管の接続には給水継手を使用してください。なお、給水配管を接続する前には、通水して必ず配管のフラッシングを実施してください。

(4) 給水配管について

●給水には水道法水質基準に準ずる飲料水をご使用ください。
●加湿器への給水は公共の水道管から直接接続はできませんのでご注意ください。
●給水サービス弁（現地手配）を必ず各加湿器（エアコン）ごとに設けてください。
●給水圧力は0.05～0.5MPa、給水温度は5～40℃の範囲でご使用ください。
●給水配管、排水配管ともに、凍結および結露を防止するための断熱処理をしてください。

(5) 電気配線について

●給水ユニットの電磁弁コードの丸端子をエアコンの制御盤内の端子台５，６番に接続してください。

■運　転

１．施工後初めての運転

●給水配管に設けてある給水サービス弁が開いていることを確認してください。
●エアコンを暖房運転すると、加湿器が自動的に運転します。

２．日常の運転管理

●加湿器の運転はエアコンに連動しますので、加湿器の運転スイッチ等は特に設けていません。

３．加湿休止期の処置

●加湿のオフシーズンには，給水配管に設けてある給水サービス弁を閉めてください。
●シーズンオフ時およびシーズンイン時には、それぞれ必要な保守作業を必ず実施してください。
●シーズンイン時には忘れずに給水サービス弁を開け、試運転を行って漏水の無いことを確認してください。

●パン形加湿器（RH-K3N・K4N・K5N・K6N）

■適用機種

	RH-K3N	RH-K4N	RH-K5N	RH-K6N
適用機種	S-G224BE形 S-G224BD形	S-G280BE形 S-G280BD形	S-G355BE形 S-G355BD形 S-G450BE形 S-G450BD形	S-G355BE形 S-G355BD形 S-G450BE形 S-G450BD形 S-G560BE形※ S-G560BD形※ S-G900BD形※ S-G1120BD形※ S-G1400BD形※

※操作用のWIRE-K(特注手配)が別途必要です

■仕様

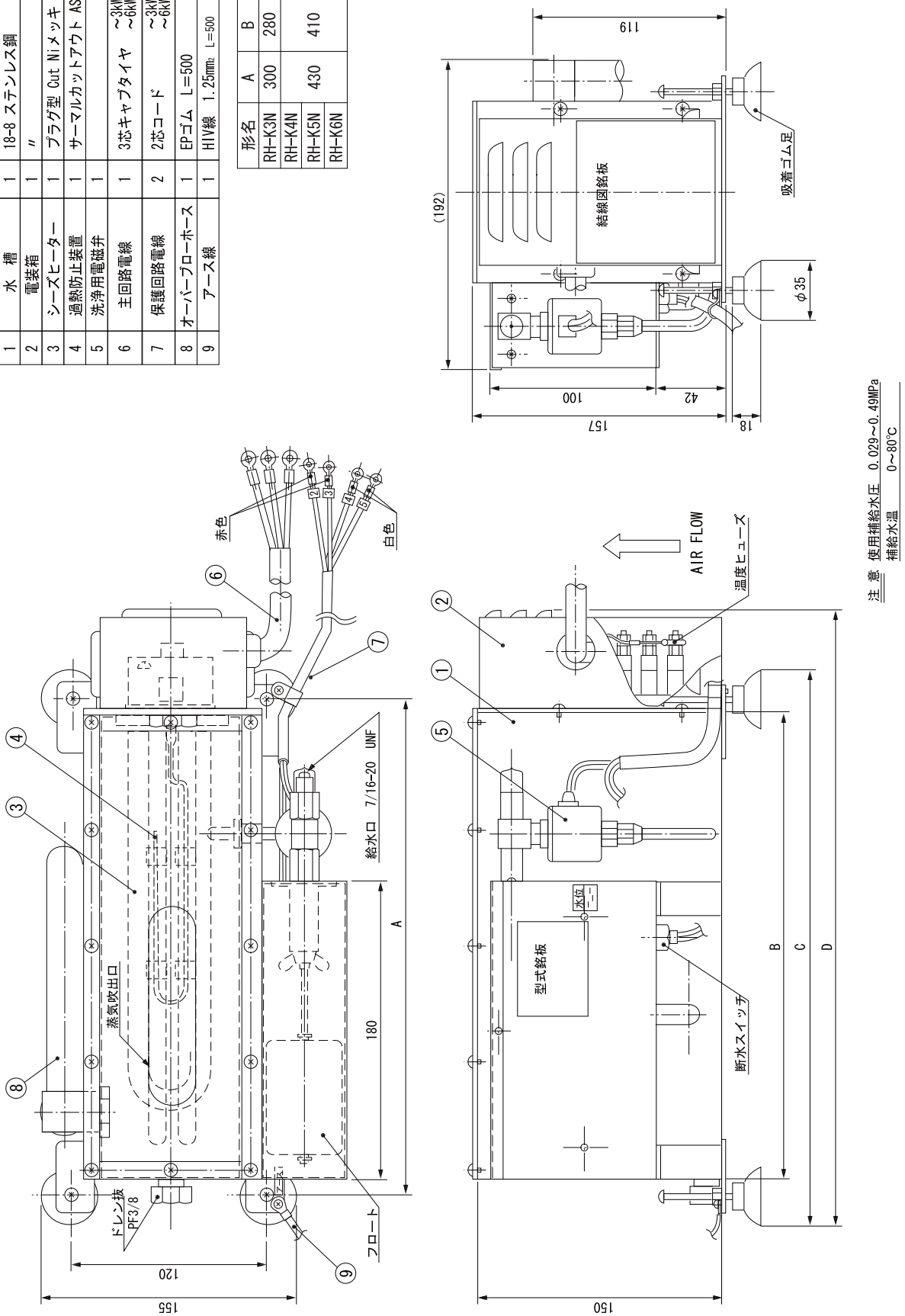
形名			RH-K3N	RH-K4N	RH-K5N	RH-K6N
加湿能力		kg/h	3.9	5.2	6.5	7.8
電気特性	電力	kW/h	3	4	5	6
	電圧	V	3φ 200V			
	電流	A	8.7	11.6	14.5	17.4
	結線方法		△			
寸法	長さ	㎜	371	501		
	奥行き	㎜	192			
	高さ	㎜	175			
製品重量		kg	4.6	5.8	6.3	
安全装置		1次	断水スイッチ　水位低下による操作回路OFF			
		2次	サーマルカットアウト　150℃±15℃にて主回路しゃ断			
		3次	温度ヒューズ　119℃にて主回路しゃ断			
付属品		1	取扱説明書　1部			
		2	鋼管φ6（フレアーナット付）L=900㎜　1本			
		3	ハーフユニオン UNF7/16×PT1/2　1個			
		4	コントロールボックス（5時間タイマー組み込み型　）　1個			
		5	操作コード2芯×1.7m　1本			
		6	取付金具 左右　各1個			
		7	取付用板（RH-K3Nのみ）　1個			
		8	φ4×8タッピンねじ（RH-K3Nの時）（1個予備）　15個 φ4×8タッピンねじ（RH-K4N～K6Nの時）（1個予備）　13個			
備考			湿度調節は現地手配です（加湿し過ぎによる水漏れ防止の為必要です）。			

・加湿器への給水は、公共の水道管に直接接続することはできません。
公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン(型式認可品：現地調達)をご使用ください。

■外形寸法図

番号	品　名	個数	仕　様
1	水 槽	1	18-8 ステンレス鋼
2	電装箱	1	〃
3	シーズヒーター	1	プラグ型 Cut Niメッキ
4	過熱防止装置	1	サーマルカットアウト AS-3A型
5	洗浄用電磁弁	1	
6	主回路電線	1	3芯キャブタイヤ　～3kW L=1.5m ～6kW L=2m
7	保護回路電線	2	2芯コード　～3kW L=1.5m ～6kW L=2m
8	オーバーブローホース	1	EPゴム L=500
9	アース線	1	HIV線 1.25mm² L=500

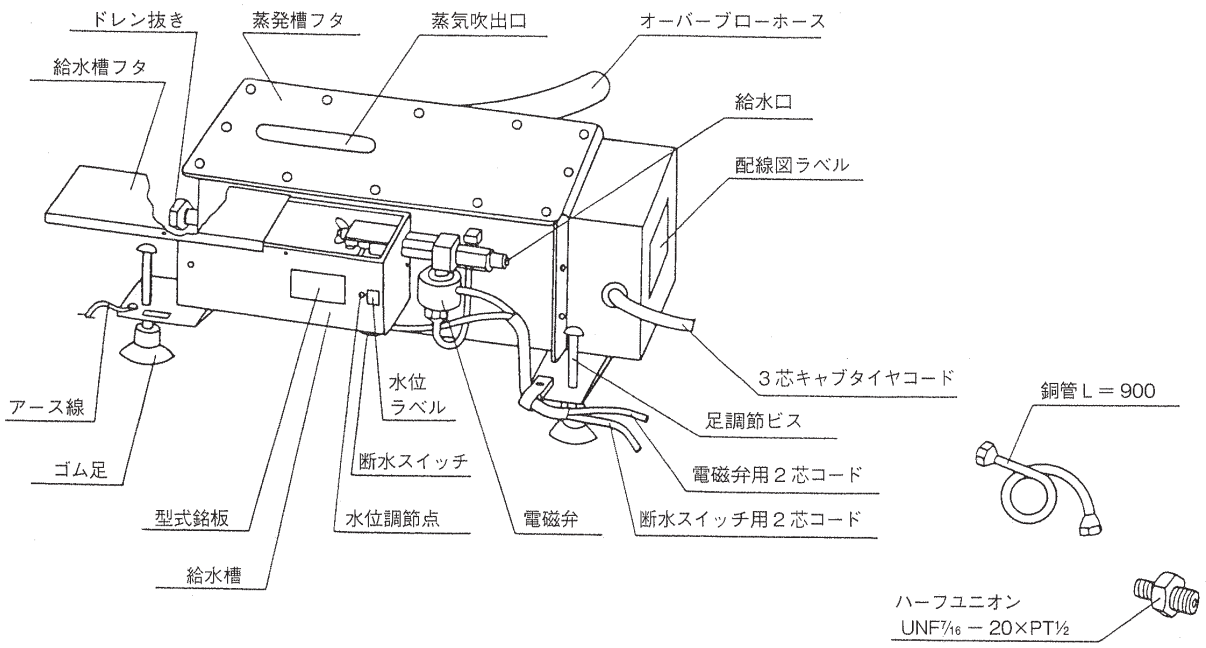
形名	A	B	C	D
RH-K3N	300	280	335	371
RH-K4N				
RH-K5N	430	410	465	501
RH-K6N				



注意　使用補給水圧　0.029～0.49MPa
　　補給水温　0～80℃

■パン形加湿器使用説明

各部の説明



●高性能フィルター（比色法65%）
●高性能フィルター（比色法90%）
●ロングライフフィルター

■高性能フィルター　仕様（比色法65%）

品番			AFT-ME224E	AFT-ME280E	AFT-ME450T	
適用機種			G224BD形	G280BD形	G355BD形	G450BD形
初期風量		m^3/min	64.0	80.0	105.0	130.0
初期圧損		Pa	32.0	28.0	40.2	53.9
最終圧損		Pa	80.0	70.0	100.9	134.3
保塵量		g/ﾕﾆｯﾄ	706	843	1,126	1,130
フィルター寿命		時間	3,680	3,510	2,405	2,410
平均効率			比色法65% (JIS 11種)			
仕様濾材			ポリオレフィン系帯電繊維			
質量		kg	7.5	11.0	9.2	
フィルター寸法	幅	mm	842	571	1,542	
	高さ	mm	571	571	406	
	奥行	mm	200	200	200	

■高性能フィルター　仕様（比色法90%）

品番			AFT-HE224E	AFT-HE280E	AFT-HE450T	
適用機種			G224BD形	G280BD形	G355BD形	G450BD形
初期風量		m^3/min	64.0	80.0	105.0	130.0
初期圧損		Pa	46.0	40.0	53.9	73.5
最終圧損		Pa	115.0	100.0	134.3	183.3
保塵量		g/ﾕﾆｯﾄ	469	544	870	870
フィルター寿命		時間	2,440	2,260	1,858	1,860
平均効率			比色法90% (JIS 11種)			
仕様濾材			ポリオレフィン系帯電繊維			
質量		kg	7.5	11.0	9.2	
フィルター寸法	幅	mm	842	571	1,542	
	高さ	mm	571	571	406	
	奥行	mm	200	200	200	

■ロングライフフィルター　仕様

品番			AFT-LE224E	AFT-LE280E	AFT-LE450T	
適用機種			G224BD形	G280BD形	G355BD形	G450BD形
初期風量		m^3/min	64.0	80.0	105.0	130.0
初期圧損		Pa	8.5	7.5	10.8	14.7
最終圧損		Pa	22.0	19.0	27.4	36.3
保塵量		g/ﾕﾆｯﾄ	579	749	1,004	1,000
フィルター寿命		時間	1,000	1040	858	860
平均効率			重量法28% (JIS 15種)			
仕様濾材			ＰＰハニカム（防カビ仕様）			
質量		kg	1.5	2.5	3.6	
フィルター寸法	幅	mm	842	571	1,542	
	高さ	mm	571	571	406	
	奥行	mm	50	50	50	

注意事項
1）フィルター寿命（時間）は、塵埃濃度0.15mg／m^3（ビル管理法規制値）として算出しています。
　寿命（時間）は現場条件により異なります。
　表中の保塵量は、ダストJIS15種での値を示します。現場保塵量は現場条件により異なります。
2）ユニットに取り付ける場合は、下記別売部品（※）も必要ですので同時手配下さい。

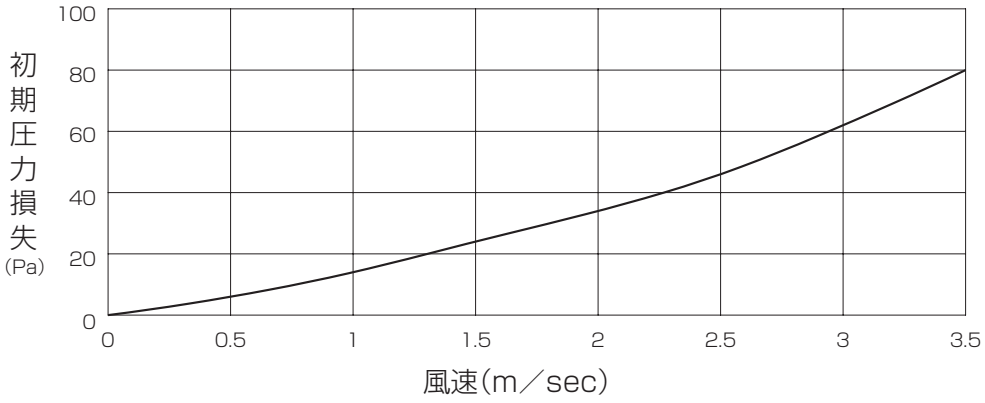
※フィルターチャンバー・吸込口ダクトフランジ・前面閉塞用化粧パネル

適用機種			G224BD形	G280BD形	G355BD形	G450BD形
フィルターチャンバー	品番		CMB-FE224E	CMB-FE280E	CMB-FE450T	
	厚み	mm	538		376	
	質量	kg	21.0	25.5	23.0	
吸込口ダクトフランジ	品番		DKT-RFD224E	DKT-RFD280E	DKT-RFD450T	
	厚み	mm	30		30	
	質量	kg	2.5	3.0	1.6	
前面閉塞用パネル	品番		PNR-E224E	PNR-E228E	PNR-E450E	
	質量	kg	3.5	4.5	8.2	

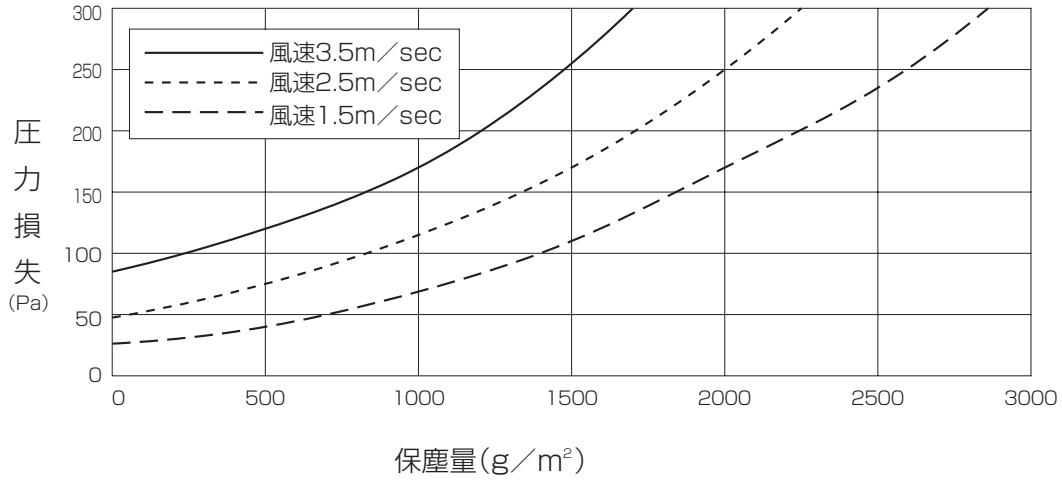
■圧力損失と保塵量特性

・高性能フィルター（比色法90%）
AFT-HE224・280E [適用機種：G224・G280BD形]

風速と初期圧力損失



保塵量と圧力損失



・高性能フィルター（比色法90%）
AFT-HE450T [適用機種：G355/G450BD形]

図1　風速と初期圧力損

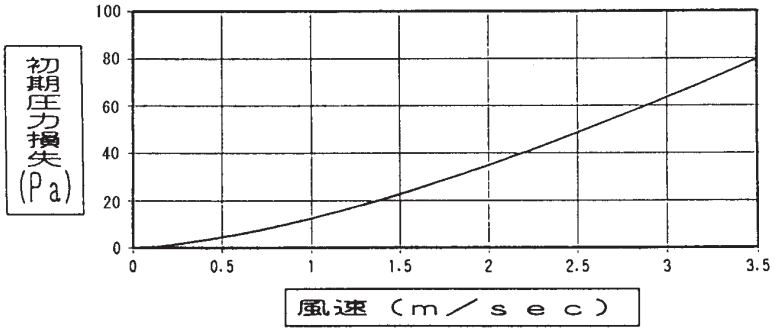
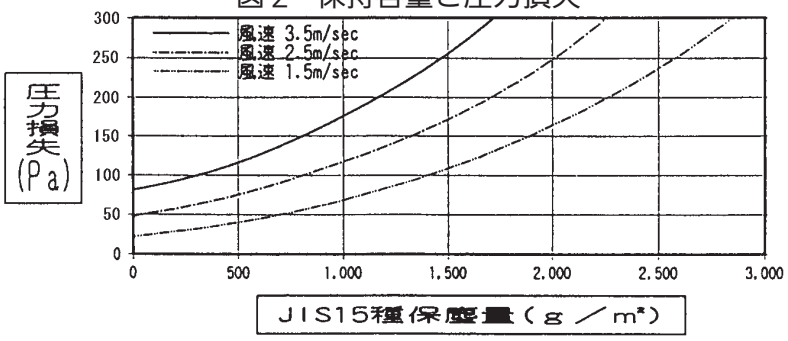
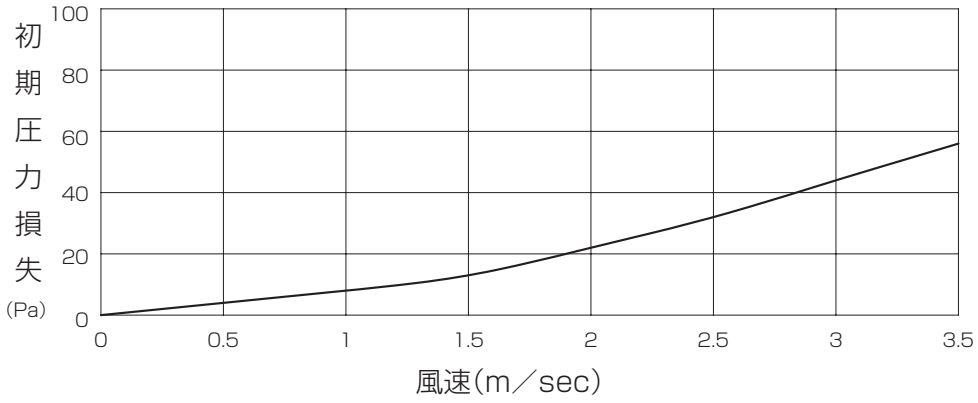


図2　保持容量と圧力損失

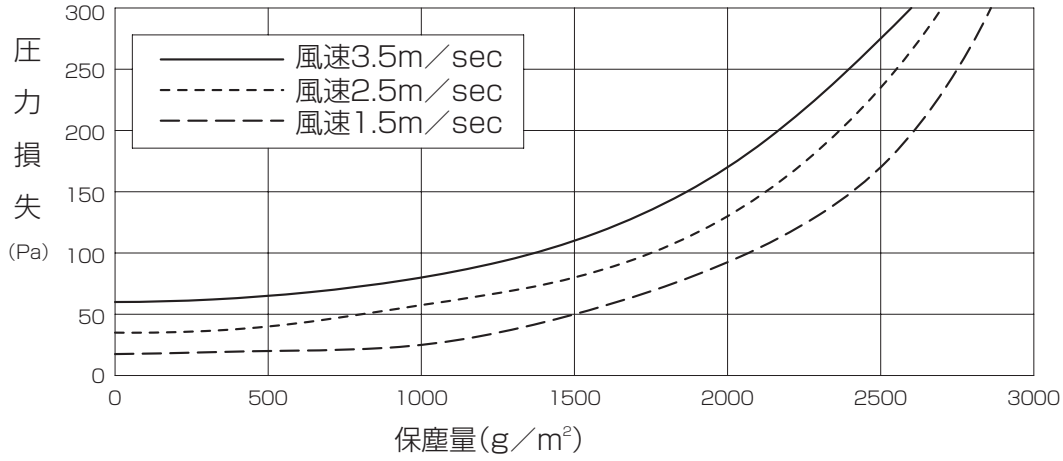


・高性能フィルター（比色法65%）
AFT-ME224・280E [適用機種：G224・G280BD形]

風速と初期圧力損失



保塵量と圧力損失



・高性能フィルター（比色法65%）
AFT-ME450T [適用機種：G355/G450BD形]

図1　風速と初期圧力損

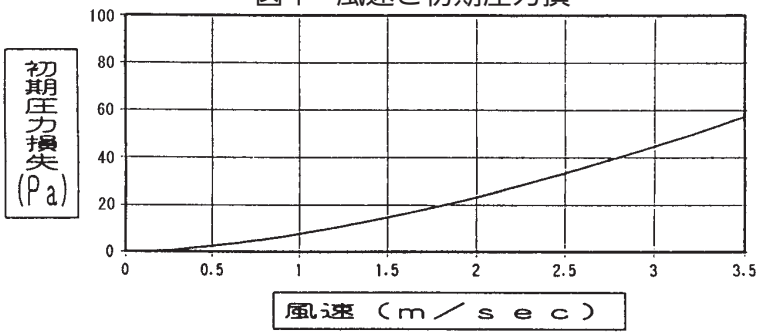
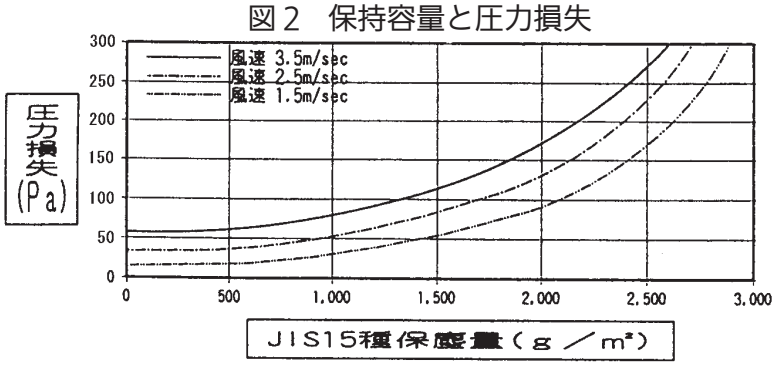
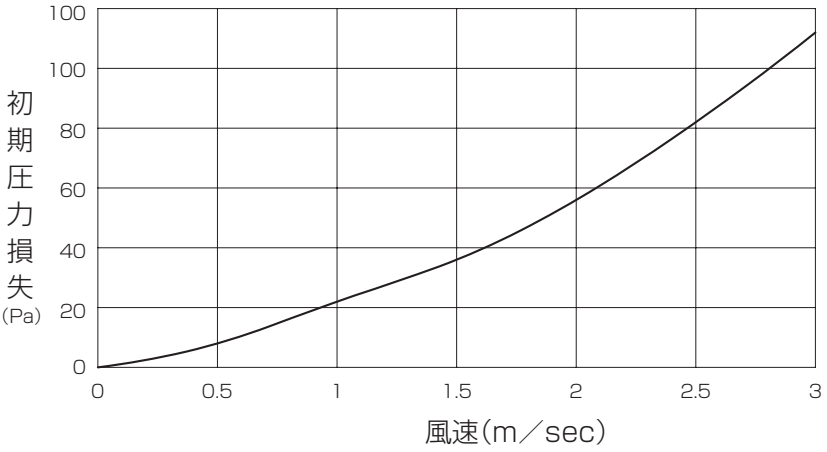


図2　保持容量と圧力損失

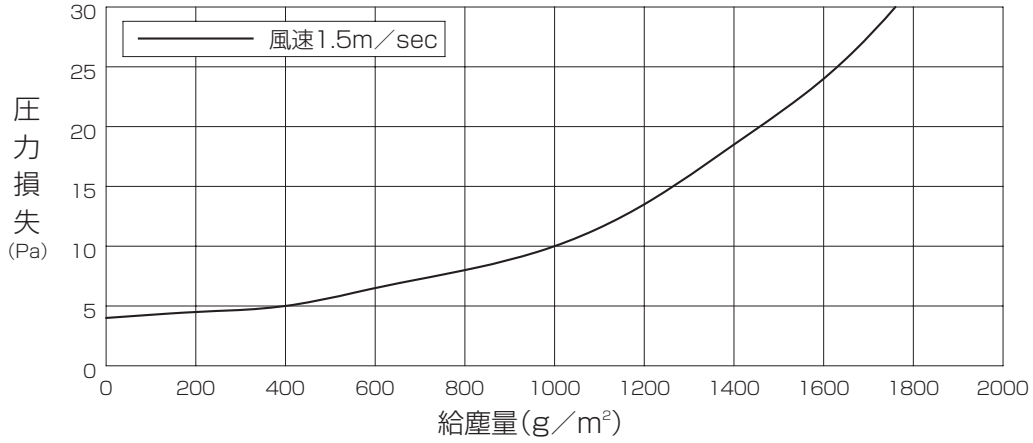


・ロングライフフィルター（比色法65%）
AFT-LE224・280E [適用機種：G224・G280BD形]

風速と初期圧力損失



給塵量と圧力損失



・ロングライフフィルター
AFT-LE450T [適用機種：G355/G450BD形]

図1　風速と初期圧力損

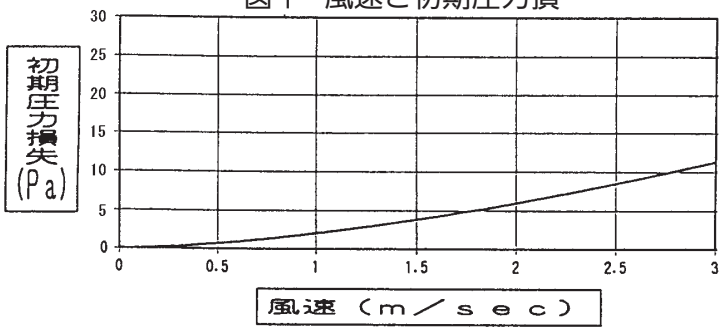
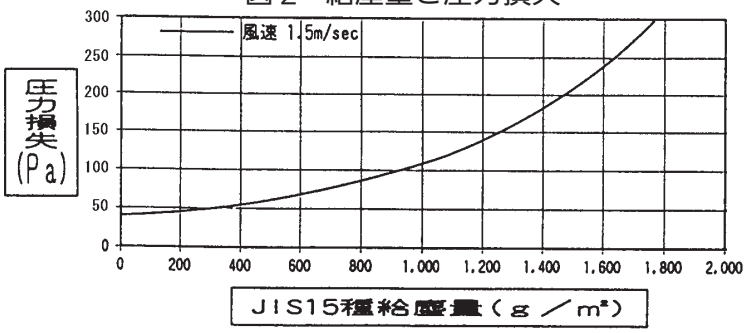


図2　給塵量と圧力損失

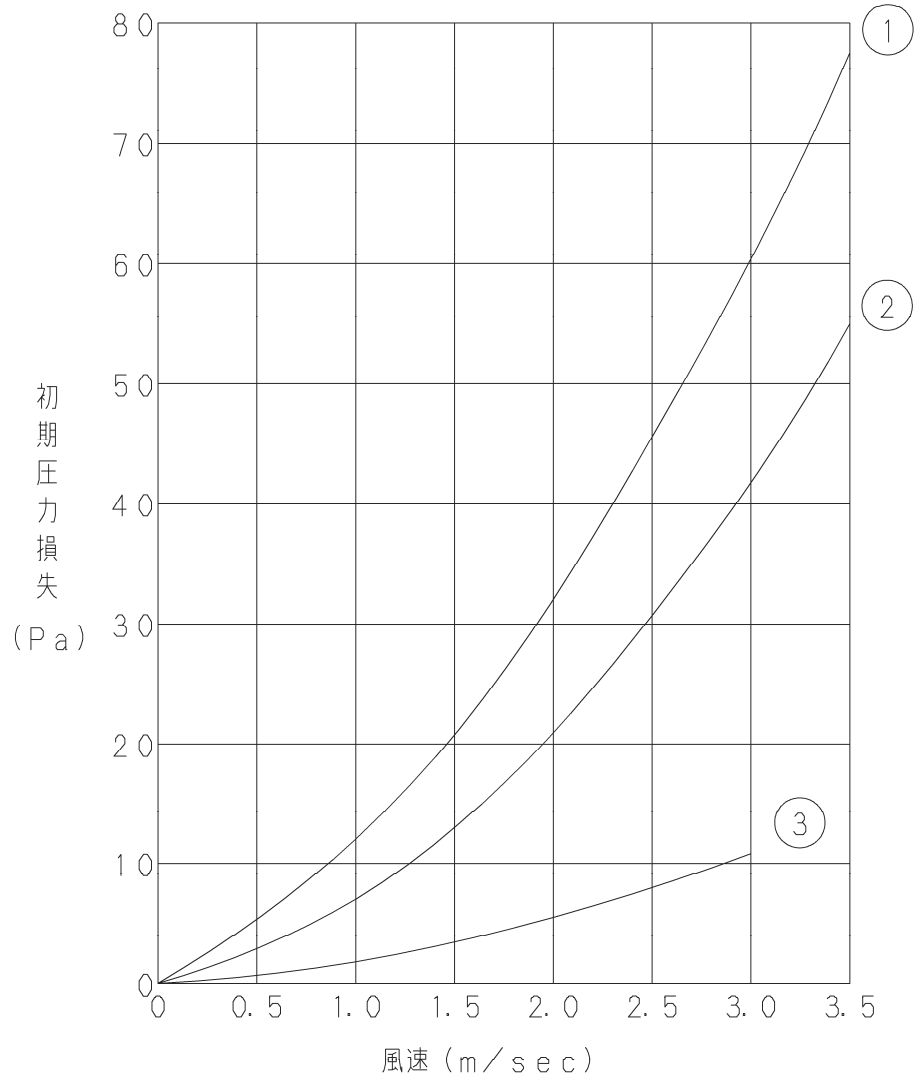


■風速-圧力損失線図 [適用機種:G355・450BD形]

① 高性能フィルター（ＡＦＴ－ＨＥ４５０Ｔ）

② 高性能フィルター（ＡＦＴ－ＭＥ４５０Ｔ）

③ ロングライフフィルター（ＡＦＴ－ＬＥ４５０Ｔ）

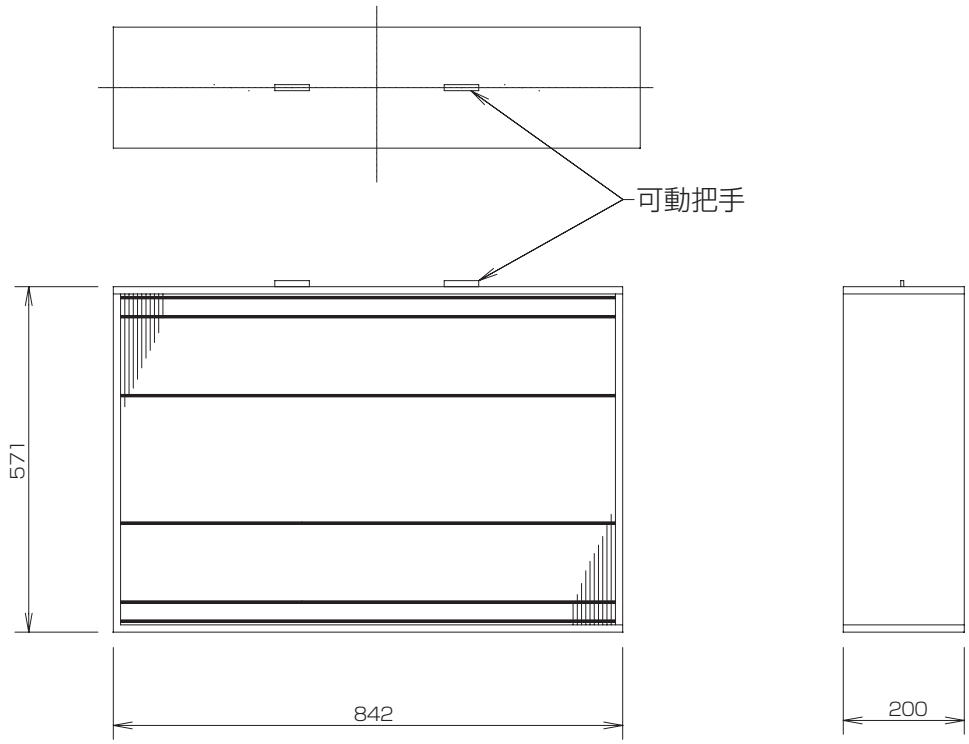


■高性能フィルター外形寸法図

・AFT-ME224E
・AFT-HE224E

製品質量	7.5kg

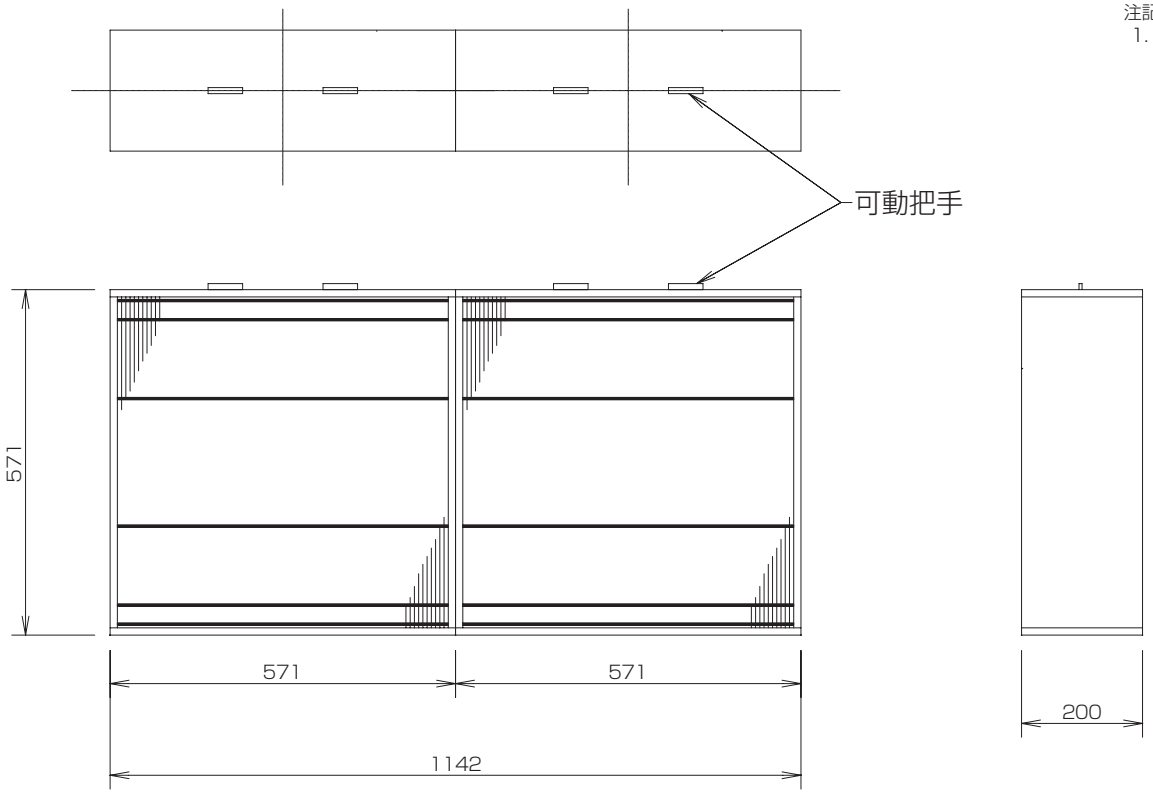
注記
1. 外枠 : 合板(T12)



・AFT-HE280E
・AFT-ME280E

製品質量	11kg

注記
1. 外枠 : 合板(T12)

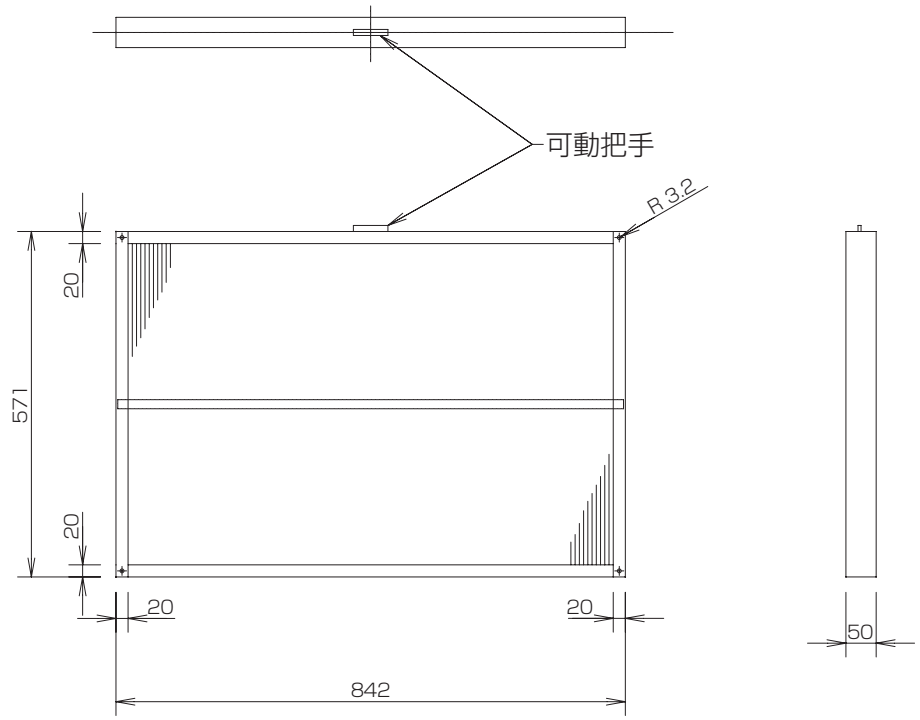


■ロングライフフィルター外形寸法図

・AFT-LE224E

製品質量	1.5kg

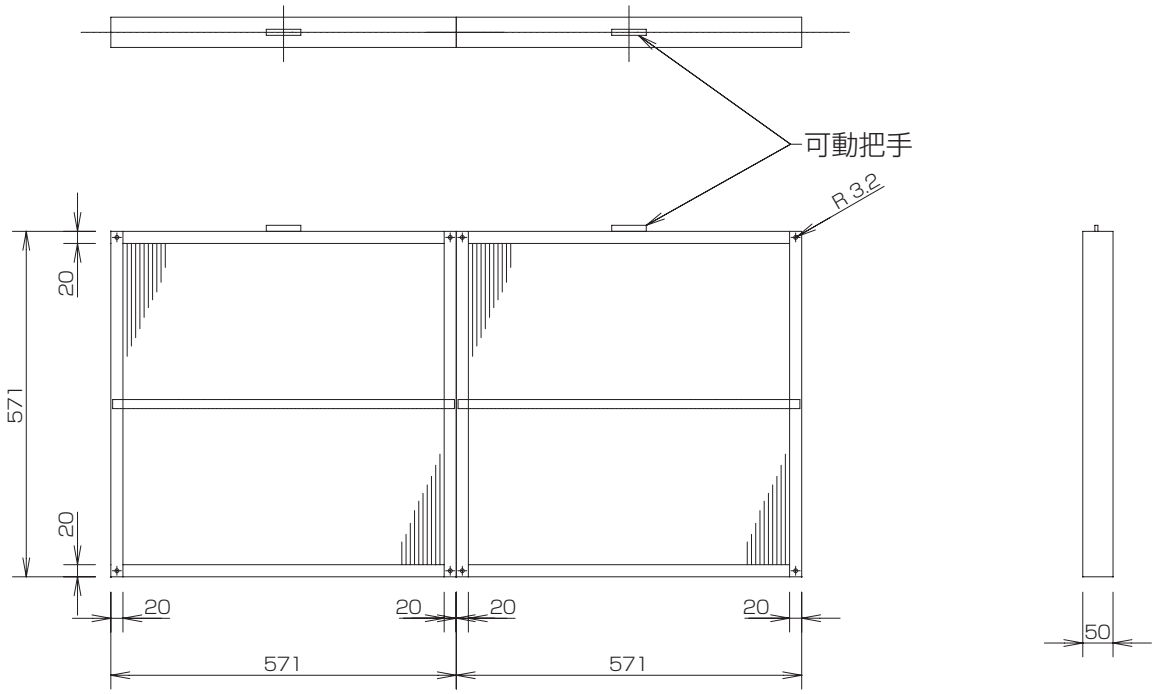
注記
1. 外枠：アルミ押出型材



・AFT-LE280E

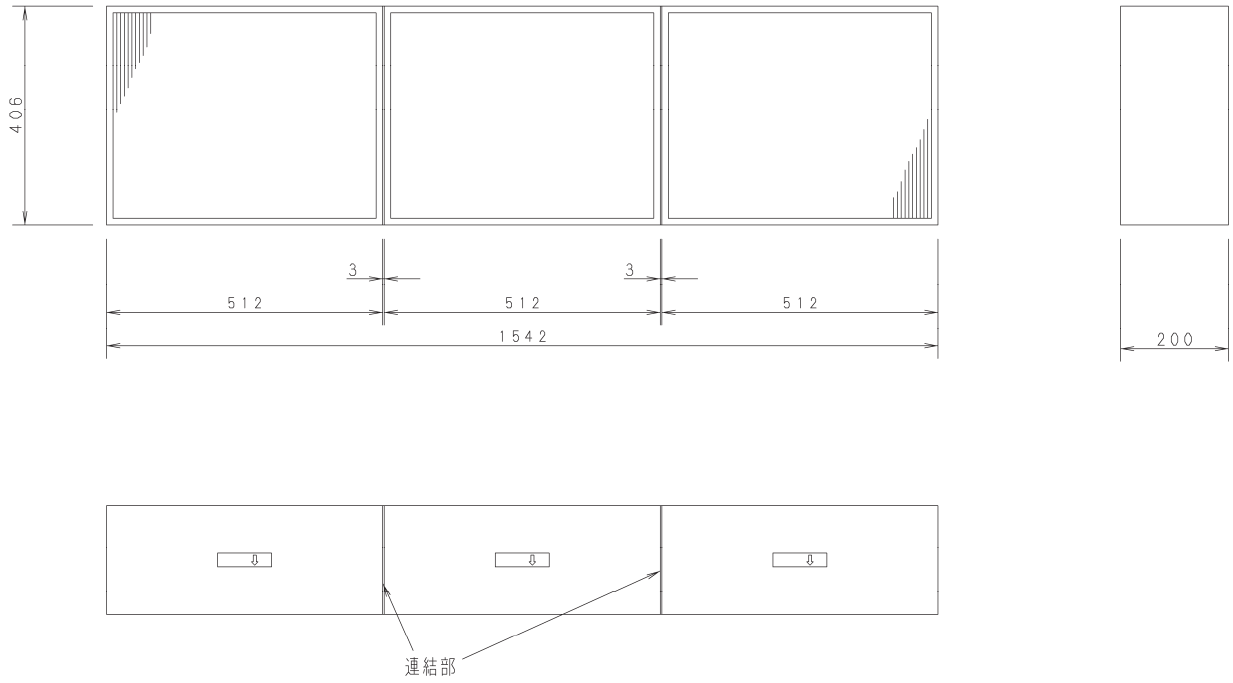
製品質量	2.5kg

注記
1. 外枠：アルミ押出型材



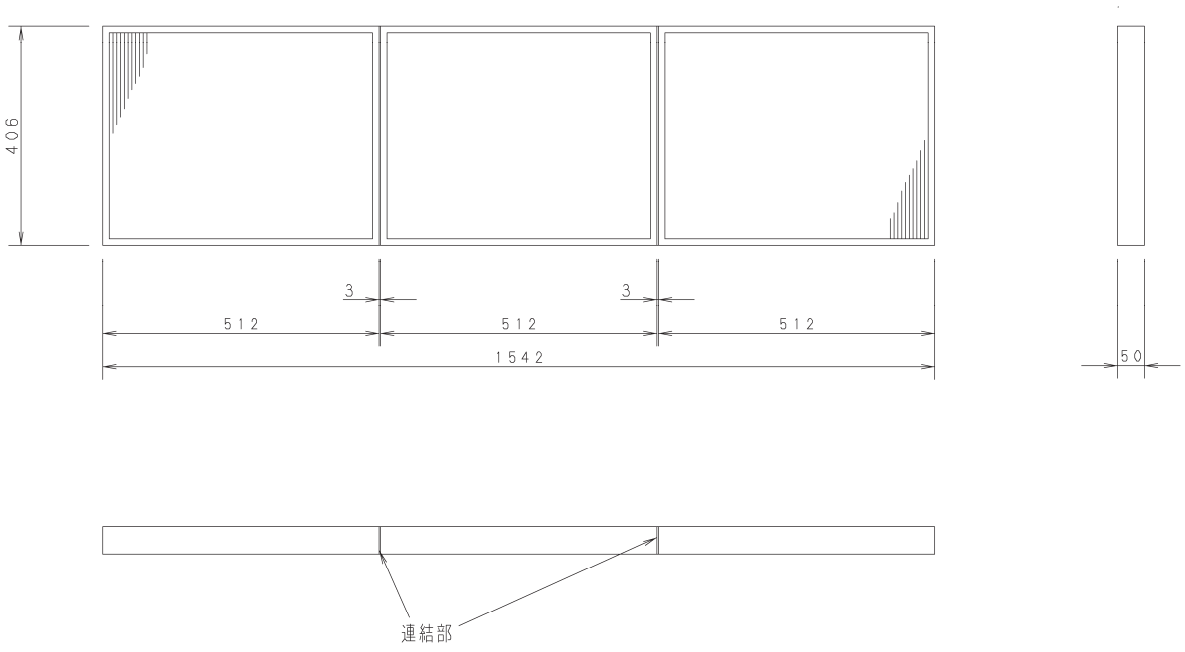
■高性能フィルター外形寸法図
・AFT-ME450T
・AFT-HE450T

注記
1．外枠：合板（Ｔ１２）



■ロングライフフィルター外形寸法図
・AFT-LE450T

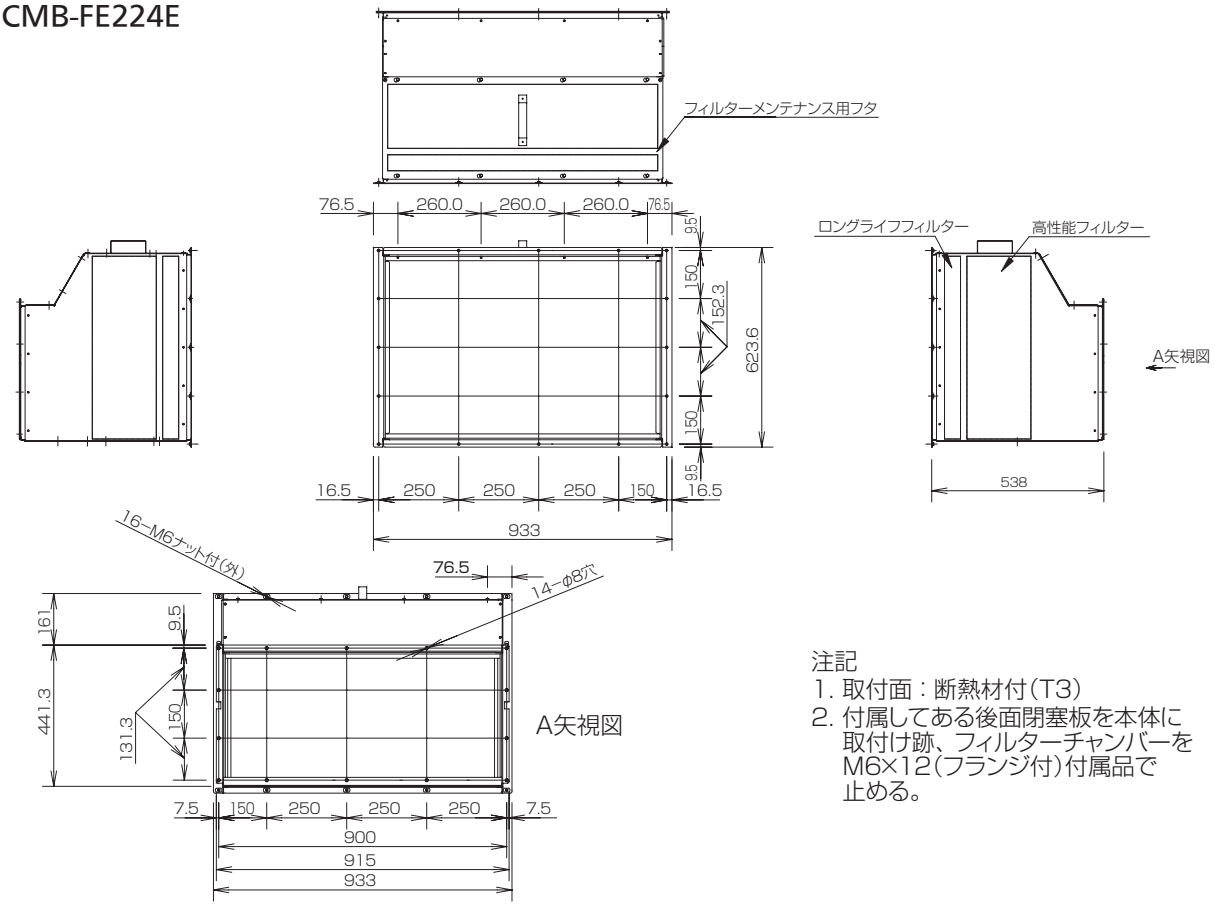
注記
1．外枠：アルミ押出型合材



●フィルターチャンバー（CMB-FE224・280E/CMB-FE450T）

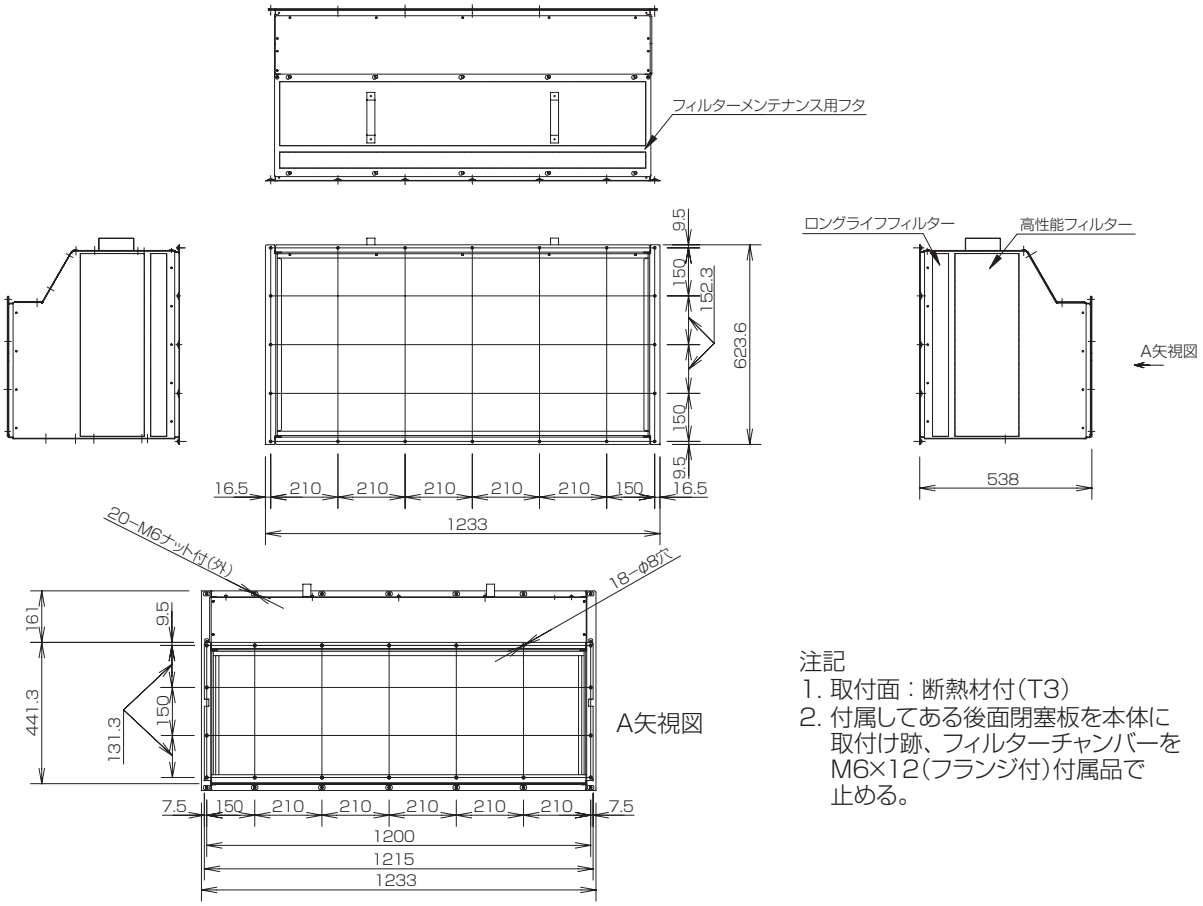
■外形寸法図

・CMB-FE224E



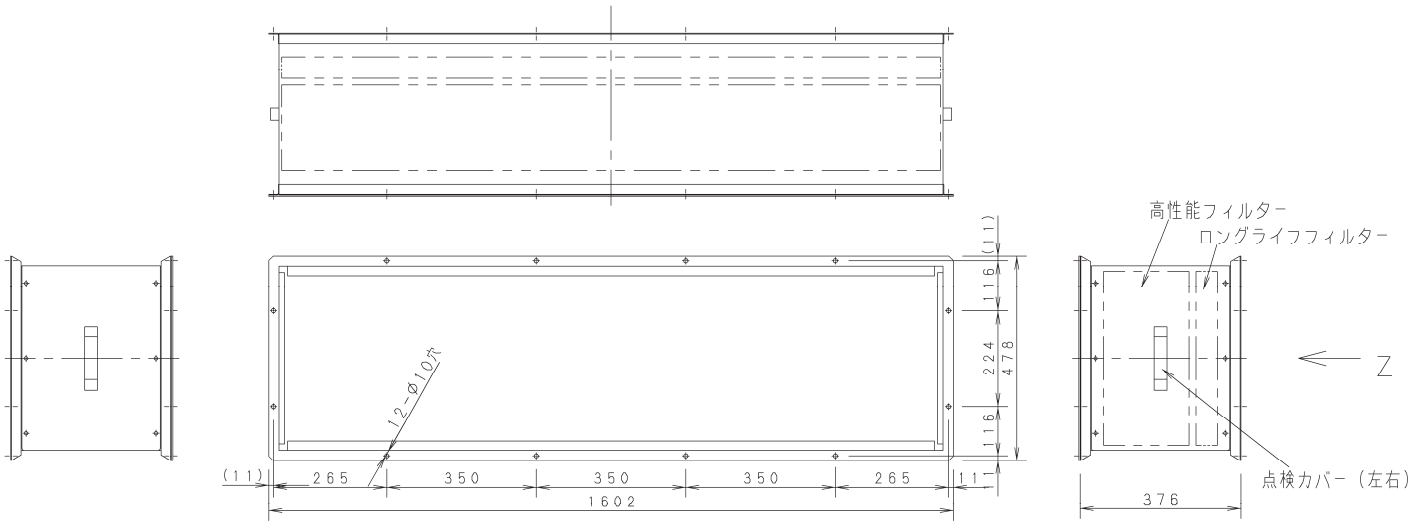
注記
1. 取付面：断熱材付(T3)
2. 付属してある後面閉塞板を本体に取付け跡、フィルターチャンバーをM6×12(フランジ付)付属品で止める。

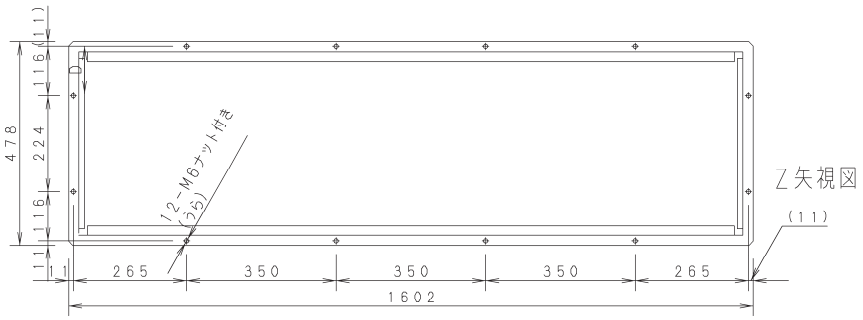
・CMB-FE280E



注記
1. 取付面：断熱材付(T3)
2. 付属してある後面閉塞板を本体に取付け跡、フィルターチャンバーをM6×12(フランジ付)付属品で止める。

・CMB-FE450T





注記

1．取付面：ＰＫＧ付（Ｔ３）
2．点検カバーの固定はワンタッチ止めファスナーです。

■取付方法：CMB-FE224・280E

8546575928000 2

床置ダクト形

フィルターチャンバーの取り付け方

1．付属品

CMB　品番	適用PAC	付属品		
		取付ボルト　M6	裏カバーパネル	取付説明書
CMB-FE224E	224形	14個	1個	1枚（本説明書）
CMB-FE280E	280形	18個	1個	

2．フィルターチャンバーとフィルターの組み合せ

CMB　品番	高性能フィルター（どちらかを使用）		ロングライフフィルター
	比色法（65%）	比色法（90%）	
CMB-FE224E	AFT-ME224E	AFT-HE224E	AFT-LE224E
CMB-FE280E	AFT-ME280E	AFT-HE280E	AFT-LE280E

3．取り付け前の準備

1．適用PAC（パッケージエアコン）はダクト形が基本です。技術資料等でフィルター圧損を確認のうえ、風量・機外静圧　等のダクト仕様が適切であることを再確認してください。

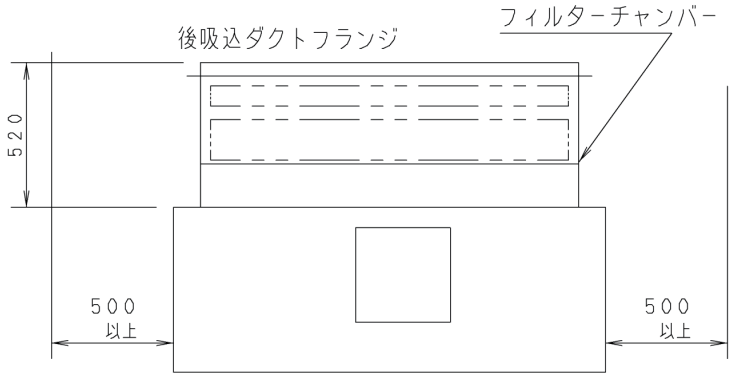
2．フィルターチャンバーを取り付ける場合、下記の”前塞ぎ化粧パネル”および”後吸込ダクトフランジ”が必要です。（別売　特注対応品）

CMB　品番	前塞ぎパネル	後吸込ダクトフランジ
CMB-FE224E	PNR-E224E	DKT-RFD224E
CMB-FE280E	PNR-E280E	DKT-RFD280E

3．取付スペースおよびフィルターのサービスに必要なスペースは（図1）の通りです。

※フィルターは上部取り出しです。8馬力、10馬力機種は幅が広いため左右にスペースを取ると作業が楽になります。

（図1）



ユニット本体　前面
（天面から見て）

4．フィルターチャンバーの取り付け

1．まず、ユニット本体の後吸込パネルを取り外します。取り外したＭ６ボルトは、フィルターチャンバー取り付けに使用します。　（図２）

2．裏カバーを取り付けます。

3．取り外したＭ６ボルトおよび付属ボルトを使用して、ユニット本体にフィルターチャンバーを取り付けます。（図２）

※チャンバーのフランジ面にパッキンが貼ってあり、面積の小さい方がユニット本体側です。

※フィルターの取り出し側が上側になる様に取り付けてください。

※チャンバー下側の取り付けボルトはチャンバーの内側から取り付けます。

5．高性能・ロングライフフィルターの組み込み

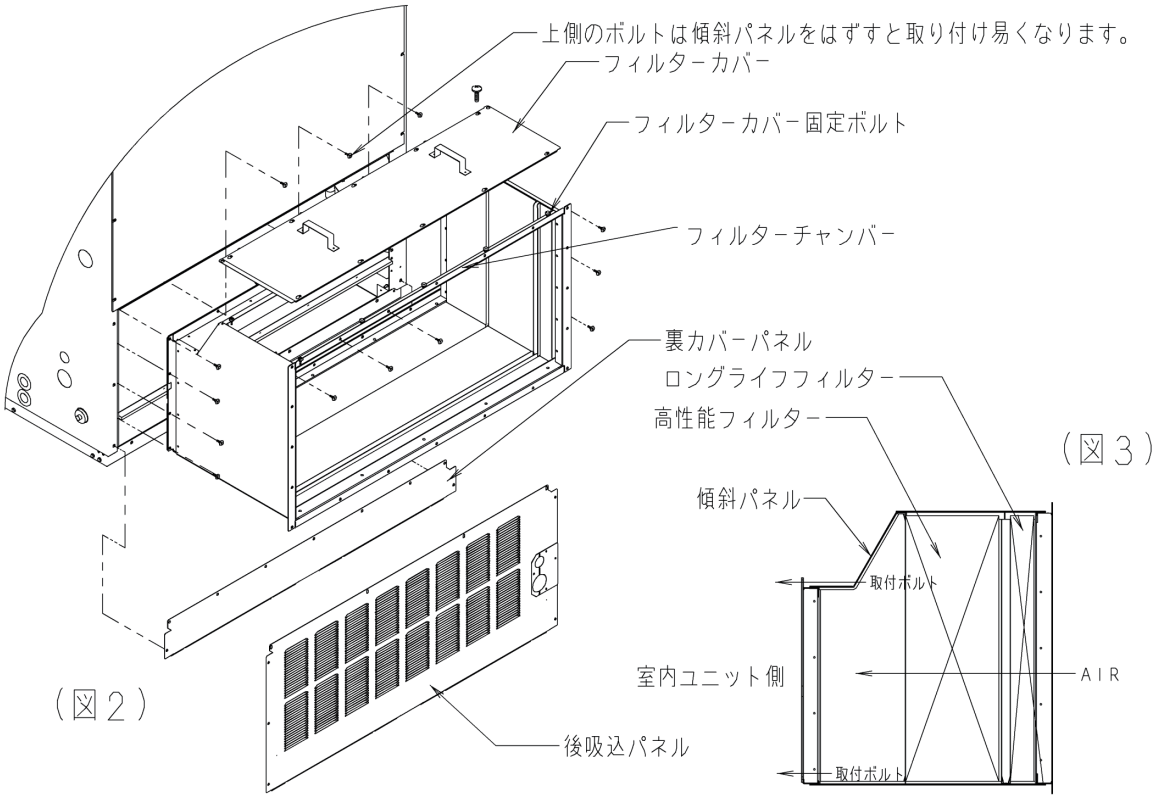
1．フィルターカバーを固定しているボルトを緩め、フィルターカバーをスライドさせて外します。（図２）

2．ユニット本体側に高性能フィルター、手前側にロングライフフィルターを組み込みます。　（図１、３）

※２８０形用高性能フィルターは２個分割されていますので、順次組み込んでください。

※フィルター天部に空気の流れ方向を示す〝矢印マーク〟がありますので、方向を合わせてください。

3．フィルターを組込後、フィルターカバーを取り付けます。だるま穴に合わせてＭ５ボルトを締めてください。



（図２）

（図３）

6．前面閉塞用パネルおよび後吸込ダクトフランジの取り付け

1．前面ＰＮＲをはずし、内蔵のプレフィルターを取り外した後、”前面閉塞用パネル”を付属のボルトで取り付けてください。
前面ＰＮＲは前塞ぎパネルにかぶせるように取り付けます。

2．フィルターチャンバーの吸込口フランジ面に後吸込ダクトフランジを付属のボルトで取り付けてください。

■取付方法: CMB-FE450T

85464759722003

床置形 フィルターチャンバーの取り付け方

1.付属品

CMB品番	適用PAC	名称
CMB-FE450T	450形	フィルターチャンバー 取付説明

2.フィルターチャンバーとフィルターの組合せ

CMB品番	高性能フィルター(どちらかを使用)		ロングライフ フィルター
	比色法(65%)	比色法(90%)	
CMB-FE450T	AFT-ME450T	AFT-HE450T	AFT-LE450T

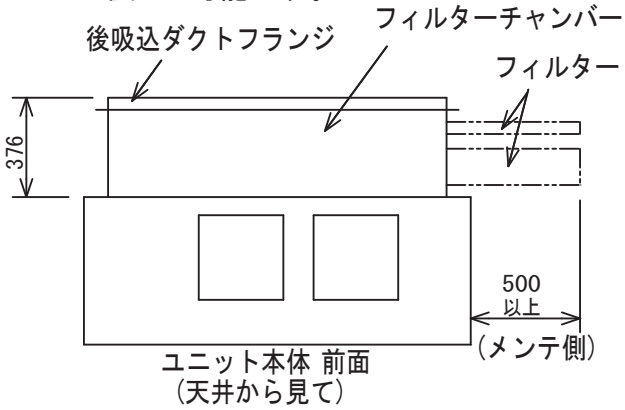
3.取付け前の準備

1. 適用PAC(パッケージエアコン)はダクト形が基本です。技術資料等でフィルター圧損を確認のうえ、風量・機外静圧　等のダクト仕様が適切であることを再確認してください。
(プレナム形の場合は送風機の増速が必要ですので、別途　お問い合わせ願います。)
2. フィルターチャンバーを取り付ける場合、下記の“前塞ぎ化粧パネル”および 後吸込ダクトフランジが必要です。(別売　特注対応品)

CMB品番	前塞ぎ化粧パネル	後吸込ダクトフランジ
CMB-FE450T	PNR-E450T	DKT-RFD450T

3. 取付けスペース　および　フィルターのサービスに必要なスペースは(図1)の通りです。
*. フィルターは左右取出し可能です。

(図1)

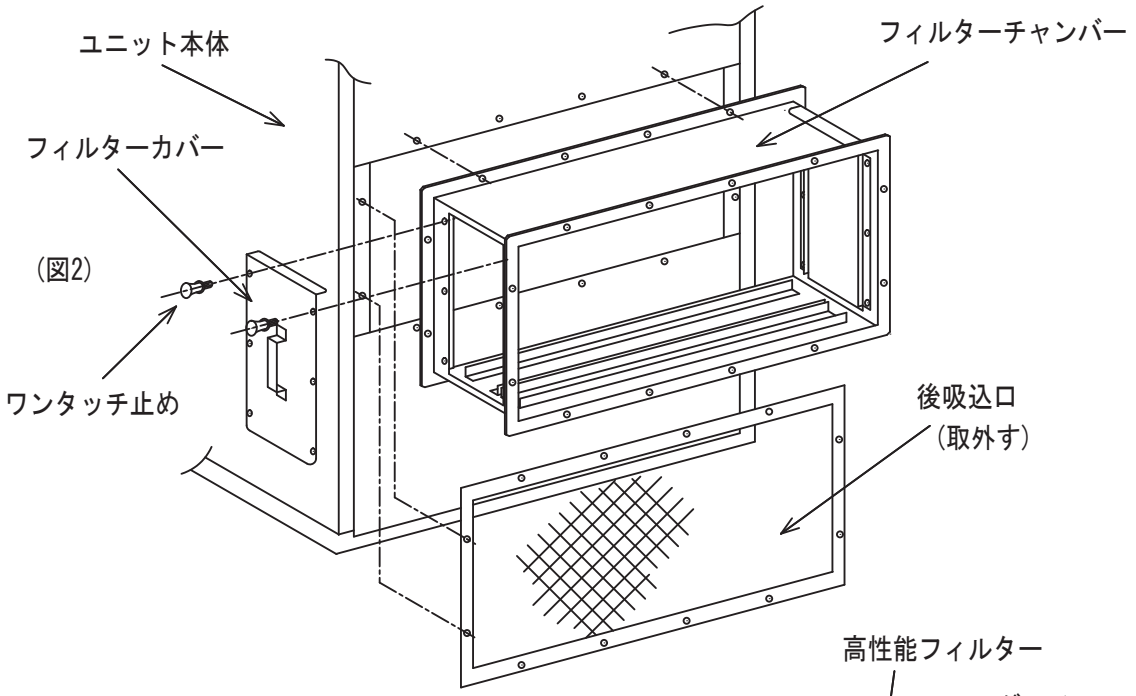


4. フィルターチャンバーの取付け

1. まず、ユニット本体の後吸込口を取外します。取外したＭ６ボルトは、フィルターチャンバー取付けに使用します。（図 2）
2. 取外したＭ６ボルトおよび付属ボルトを使用して、ユニット本体にフィルターチャンバーを取り付けます。（図 2）
   *. チャンバーのフランジ面にパッキンが貼ってある方がユニット本体側です。
   *. 両側にあるフィルターカバーのフランジ部が上面になるようにしてください。

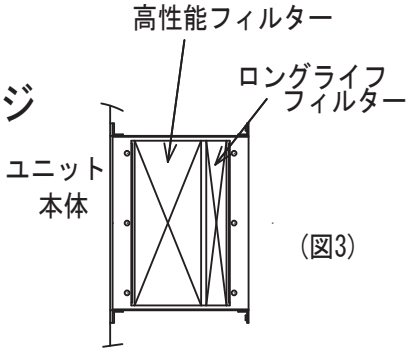
5. 高性能・ロングライフフィルターの組込み

1. フィルターカバーを固定しているワンタッチ止めを外し、フィルターカバーを外します。（図 2）
   *. 左右どちらでも可能です。(どちらかに決めてください)
2. ユニット本体側に高性能フィルター、手前側にロングライフフィルターを組込みます。（図 1, 3）
   *. フィルターは分割されていますので、連結しながら 順次組込んでください。
   *. フィルター天部に空気の流れ方向を示す“矢印マーク”がありますので、方向を合わせてください。
3. フィルターを組込み後、フィルターカバーを取付けます。（図 2）



6. 前塞ぎ化粧パネルおよび後吸込ダクトフランジの取付け

1. 前面吸込グリル(樹脂)、内蔵のプレフィルターを外した後、“前塞ぎ化粧パネル”を付属のビスで取付けてください。
2. フィルターチャンバーの吸込口フランジ面に“後吸込みダクトフランジ”を付属のボルトで取付けてください。



(図3)

●プレフィルター　重量法 76%・内蔵形（AFT-1PE224・280E、AFT-1PE450T）
　　重量法 82%・内蔵形（AFT-2PE224・280E、AFT-2PE450T）

■仕様

・プレフィルター重量法 76% 内蔵形

名　　称		プレフィルター（重量法 76% 内蔵形）	
品　　番		AFT-1PE224E	AFT-1PE280E
適　用　種　機		224 形	280 形
標準風速	m/s	2.5	2.5
初期圧損	Pa	64.0	64.0
終期圧損	Pa	200.0	200.0
平均効率		重量法 76%（JIS15 種）	
使用濾材		ポリエステル / モダアクリル	
質量	kg	2.0	2.6
フィルター外形寸法 幅×高さ×厚み	mm	752×687×15	512×687×15（2 枚組）

・プレフィルター重量法 82% 内蔵形

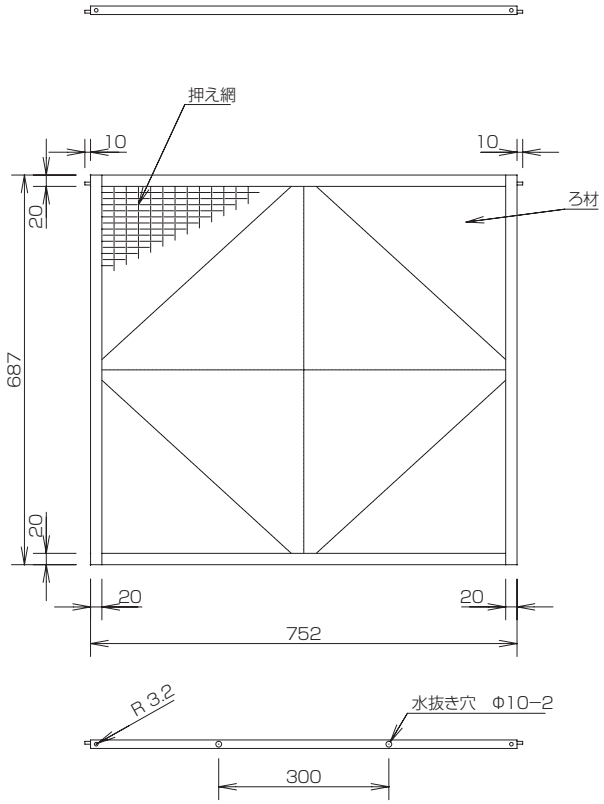
名　　称		プレフィルター（重量法 82% 内蔵形）	
品　　番		AFT-2PE224E	AFT-2PE280E
適　用　種　機		224 形	280 形
標準風速	m/s	2.5	2.5
初期圧損	Pa	93.0	93.0
終期圧損	Pa	200.0	200.0
平均効率		重量法 82%（JIS15 種）	
使用濾材		ポリエステル / モダアクリル	
質量	kg	2.5	3.2
フィルター外形寸法 幅×高さ×厚み	mm	752×687×20	512×687×20（2 枚組）

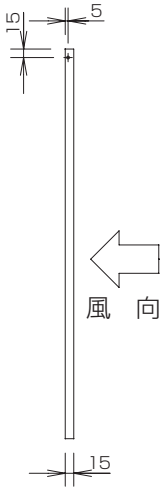
■外形寸法図

・AFT-1PE224E

製品質量 2.0kg

注記
1. 外枠：アルミ材(T1.0)



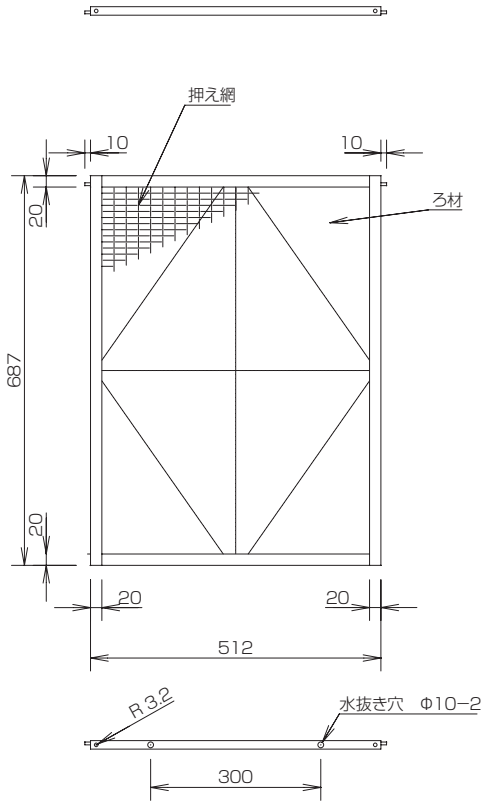


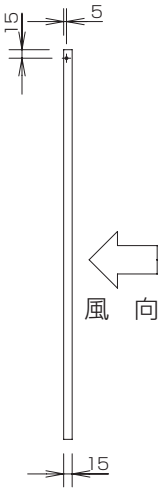
<特注対応品>

・AFT-1PE280E

製品質量 2.6kg

注記
1. 外枠：アルミ材(T1.0)
2. 2枚で1セット



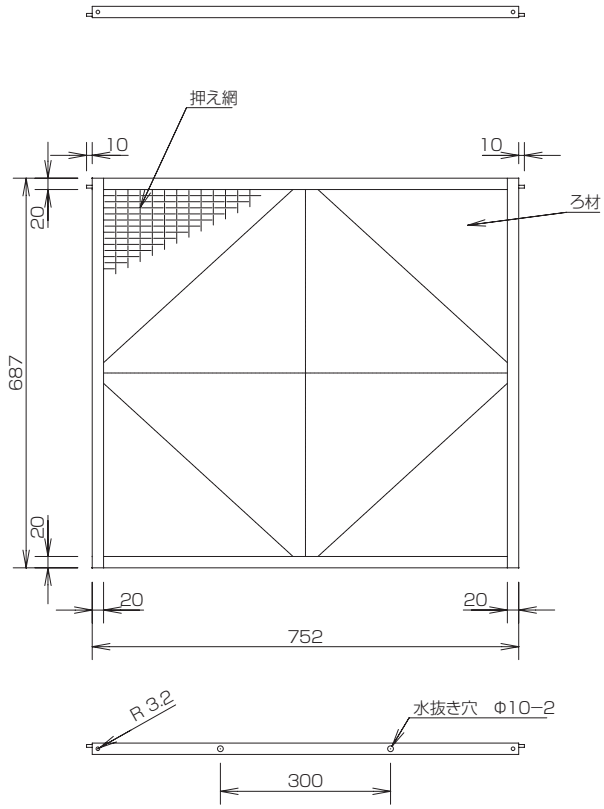


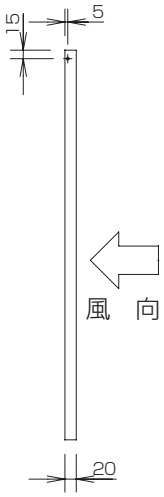
<特注対応品>

・AFT-2PE224E

製品質量	2.5kg

注記
1. 外枠：アルミ材(T1.0)



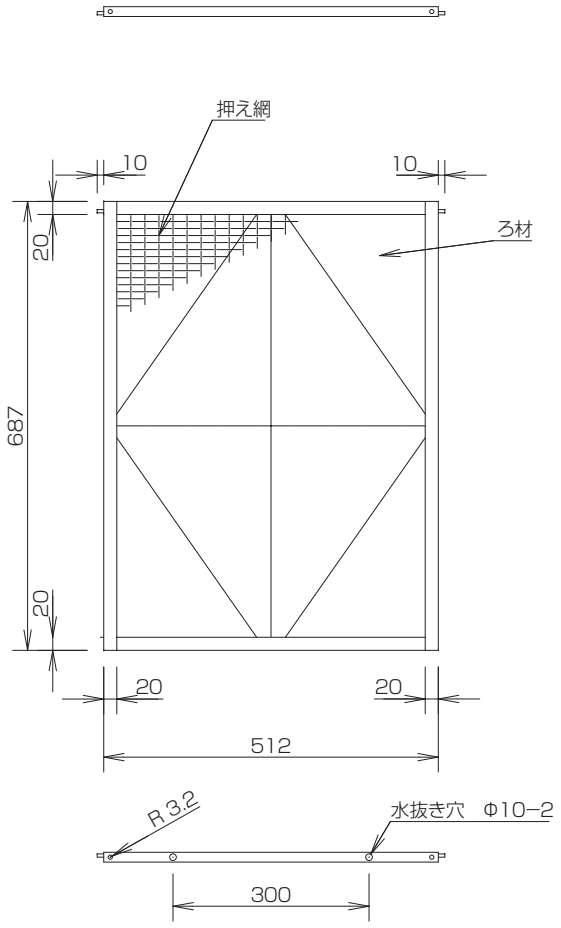


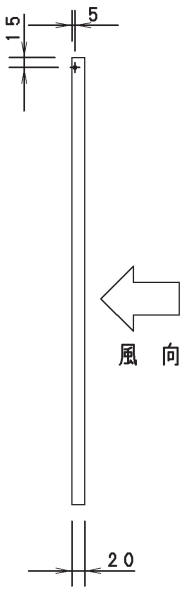
<特注対応品>

・AFT-2PE280E

製品質量	3．2kg

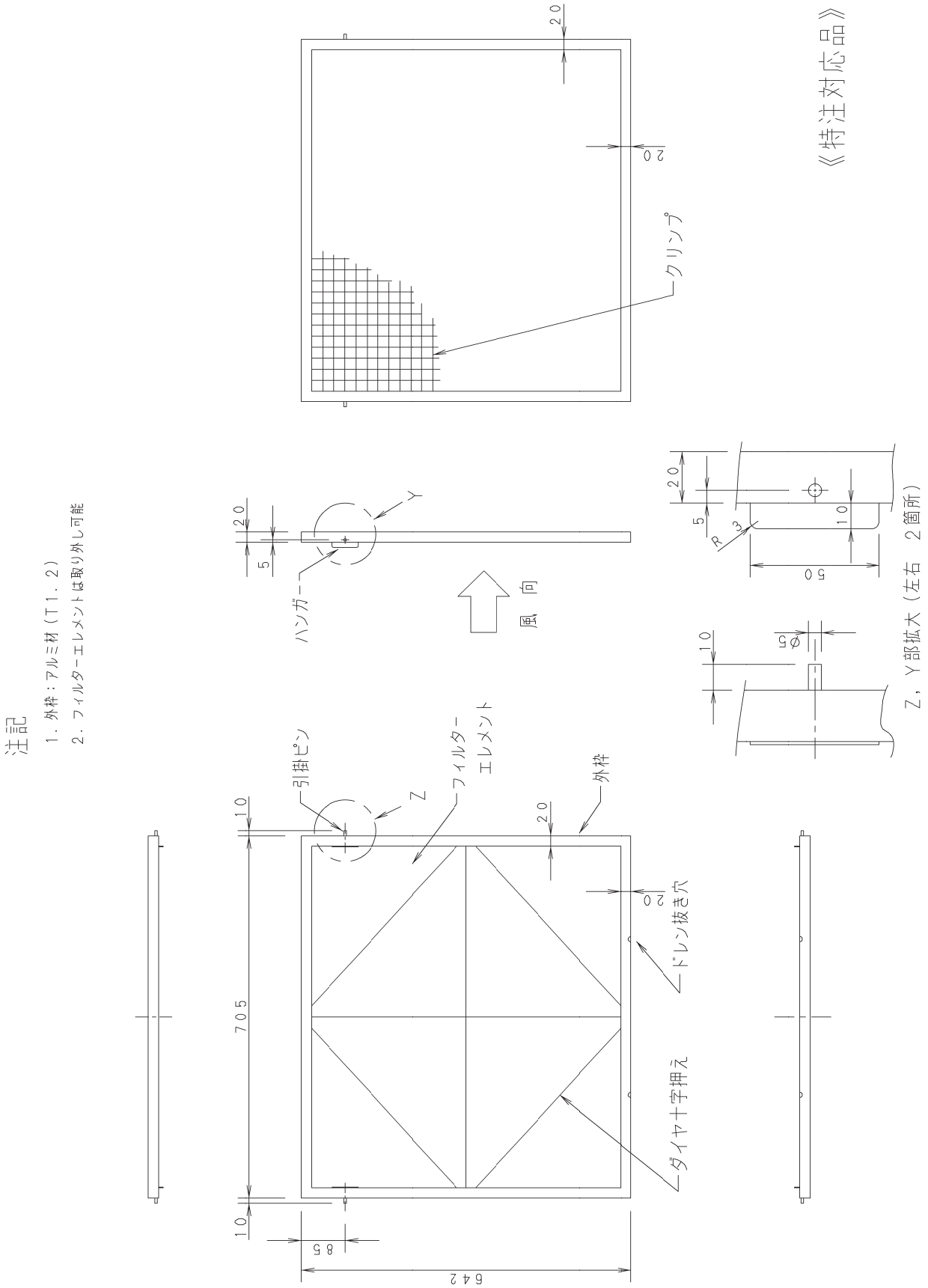
注記
1．外枠：アルミ材（T1．0）
2．2枚で1セット





<特注対応品>

・AFT-1、2PE450T



●高性能フィルター（比色法65%）

■仕様

品番		CZ-140HKWN4	CZ-224HKWN4	CZ-280HKWN4
適用機種		S-G140WNS1 S-G140WS1	S-G224WNS1 S-G224WS1	S-G280WNS2 S-G280WS2
定格風量	m^3/min	44.0	64.0	80.0
最終風量	m^3/min	39.5	51.0	62.5
平均効率		比色法　65%　（JIS 11種）		
初期圧損	Pa	43	53	55
最終圧損	Pa	147	147	196
フィルター寿命	時間	2,960	2,380	2,800
使用濾材		ポリオレフィン系帯電繊維		
外形寸法	巾	385	490	615
	奥行	458	458	458
	高さ	150	150	150
有効面積	m^2	0.323	0.415	0.525
使用個数		2	2	2

●高性能フィルター（比色法90%）

■仕様

品番		CZ-140SHWN4	CZ-224SHWN4	CZ-280SHWN4
適用機種		S-G140WNS1 S-G140WS1	S-G224WNS1 S-G224WS1	S-G280WNS2 S-G280WS2
定格風量	m^3/min	44.0	64.0	80.0
最終風量	m^3/min	38.5	48.0	66.0
平均効率		比色法　90%　（JIS 11種）		
初期圧損	Pa	64	74	74
最終圧損	Pa	196	196	196
フィルター寿命	時間	3,050	2,460	2,270
使用濾材		ポリオレフィン系帯電繊維		
外形寸法	巾	385	490	615
	奥行	458	458	458
	高さ	150	150	150
有効面積	m^2	0.323	0.415	0.525
使用個数		2	2	2

注意事項

1、最終圧損、寿命は定格風量時の値です。

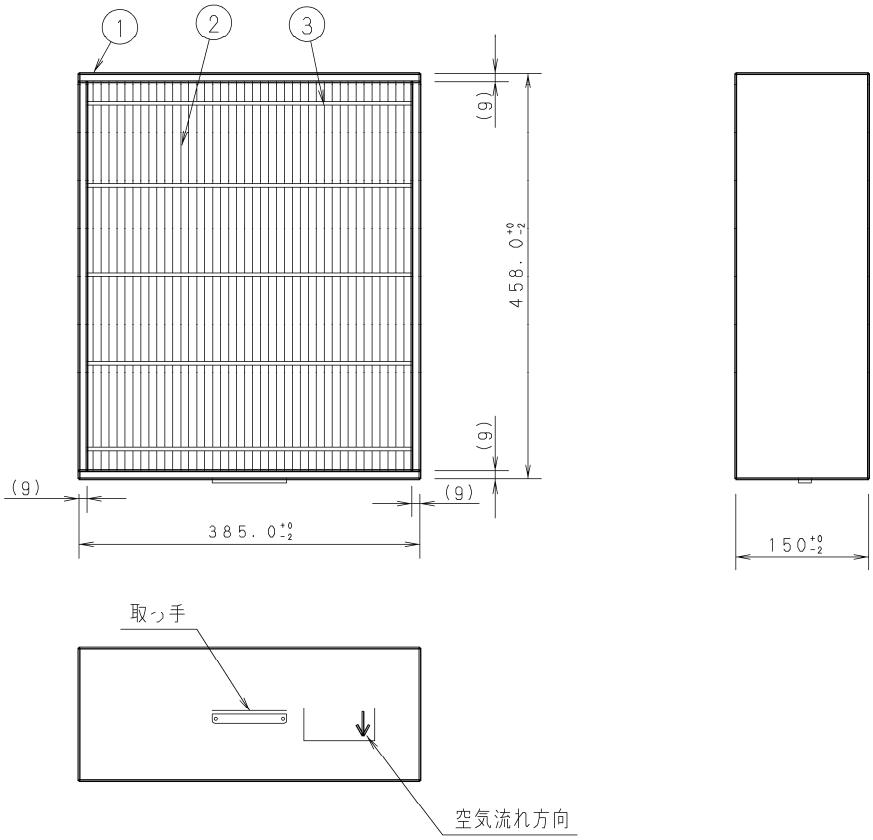
2、フィルター寿命(時間)は塵埃濃度0.15mg/m^3（ビル管理法規制値）として算出しています。
　寿命(時間)は現場条件により異なります。

3、保塵量はダストJIS15種での算出値です。現場保塵量は現場条件により異なります。

■外形寸法図

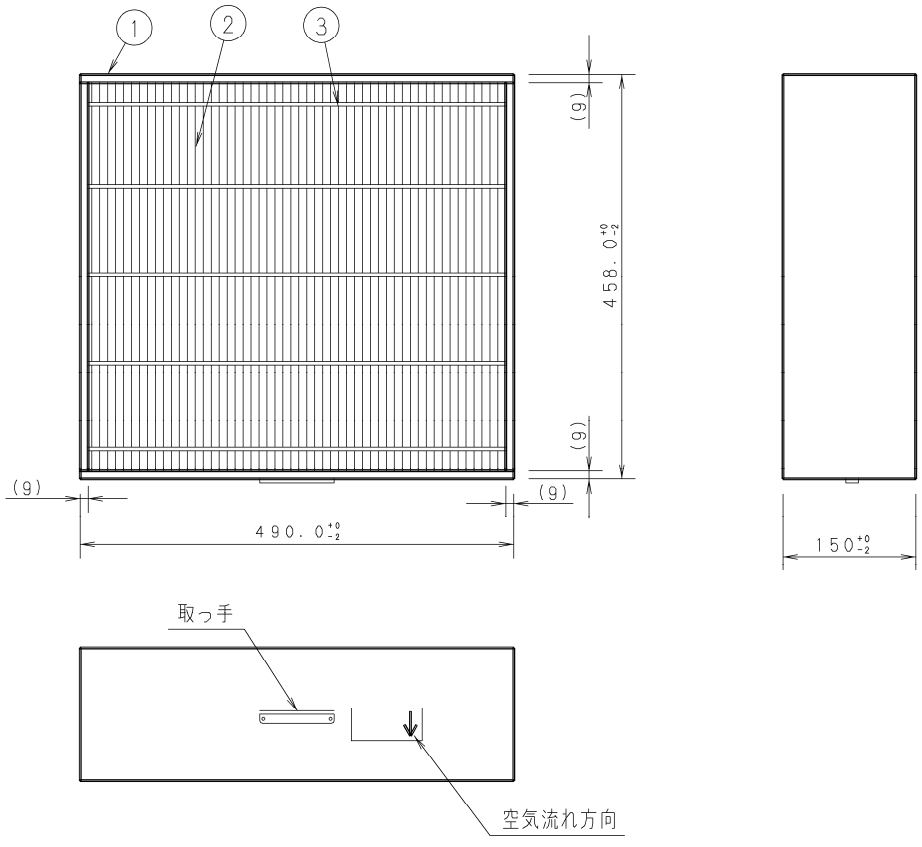
・CZ-140HKWN4,140SHWN4

番号	部品名称	材質
3	スタビライザ	難燃紙
2	濾材	不織布
1	フイルター枠	合板



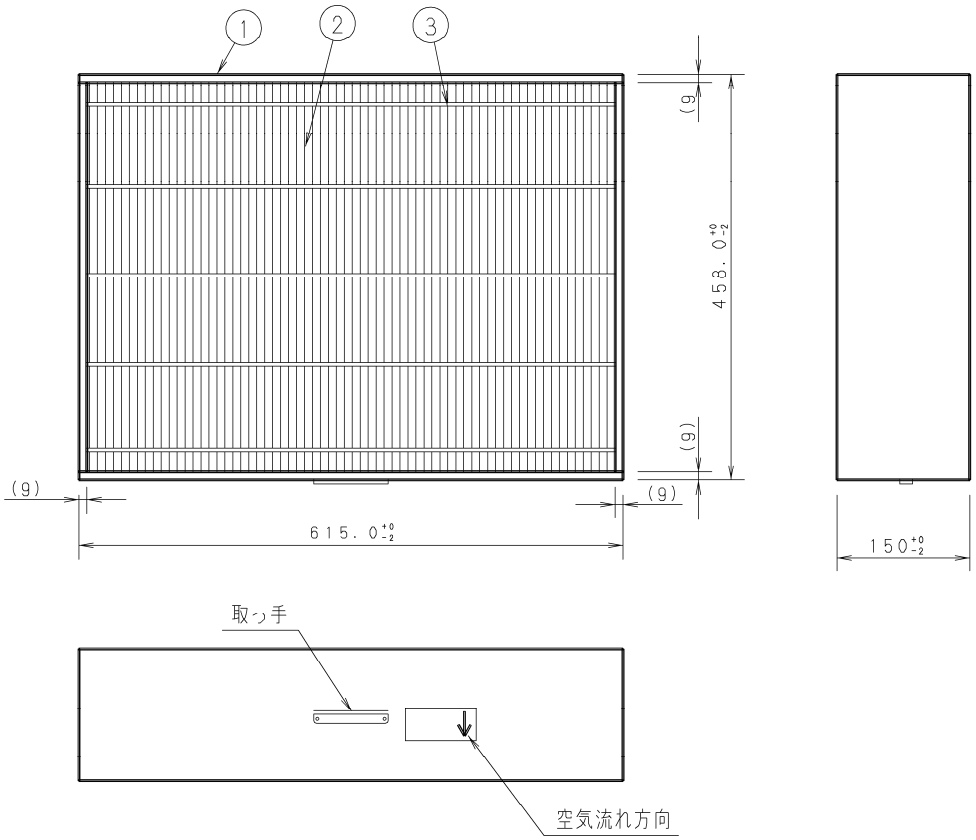
・CZ-224HKWN4,224SHWN4

番号	部品名称	材質
3	スタビライザ	難燃紙
2	濾材	不織布
1	フイルター枠	合板



・CZ-280HKWN4,280SHWN4

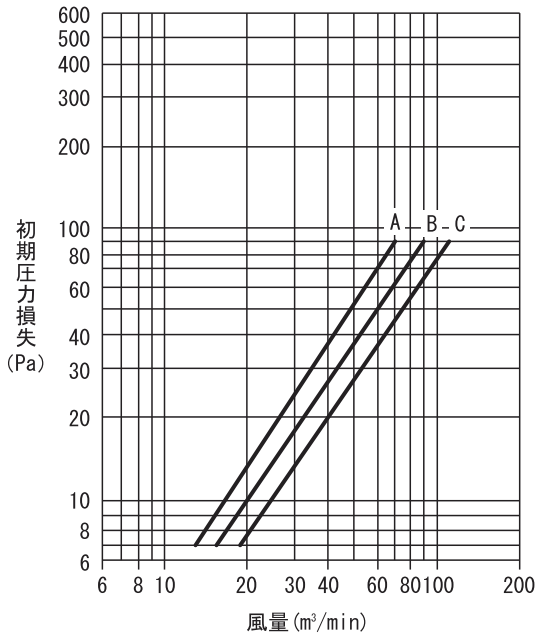
番号	部品名称	材質
3	スタビライザ	難燃紙
2	濾材	不織布
1	フイルター枠	合板



■風量 - 圧力損失特性図

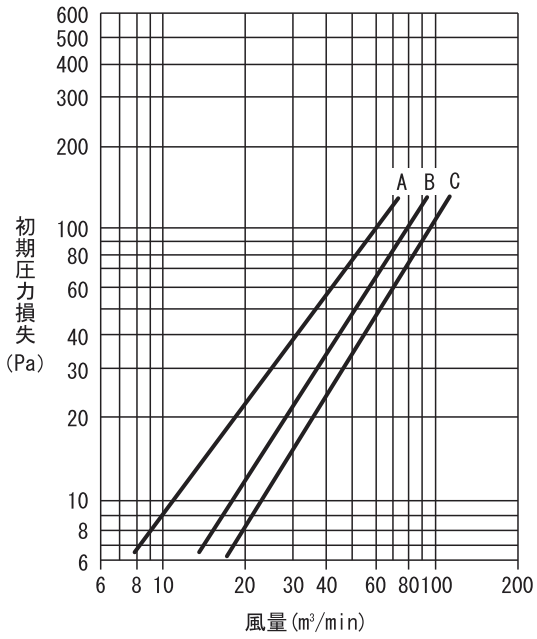
高性能フィルター（比色法65%）

グラフ記号	部品品番	壁ビルトイン
A	CZ-140HKWN4	140 形
B	CZ-224HKWN4	224 形
C	CZ-280HKWN4	280 形

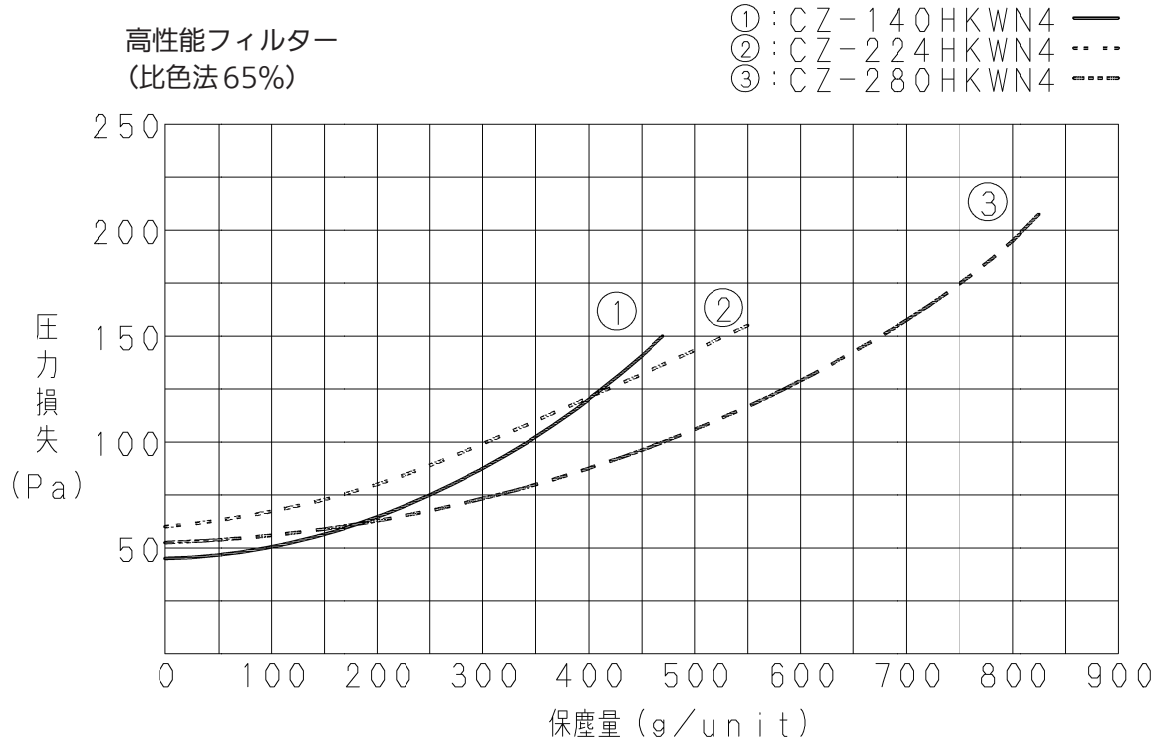


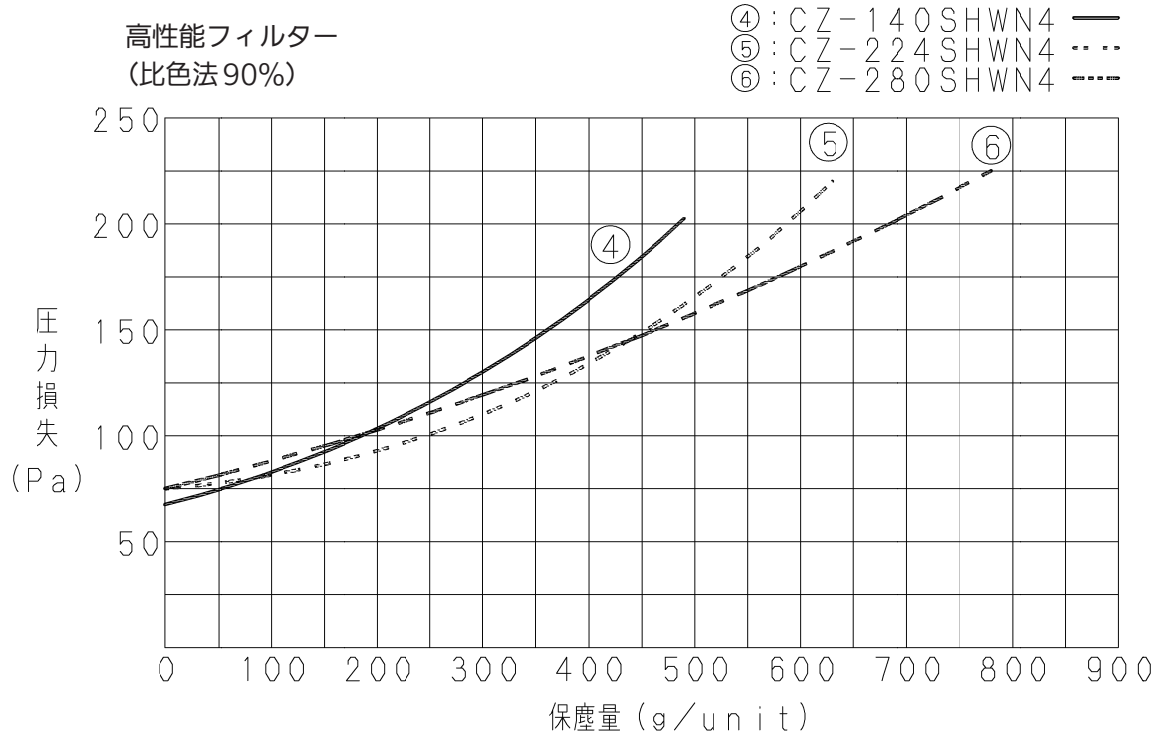
高性能フィルター（比色法90%）

グラフ記号	部品品番	壁ビルトイン
A	CZ-140SHWN4	140 形
B	CZ-224SHWN4	224 形
C	CZ-280SHWN4	280 形



■保塵量に対する圧力損失





適用機種	高性能フィルター (比色法65%)	高性能フィルター (比色法90%)
140形	①：CZ-140HKWN4	④：CZ-140SHWN4
224形	②：CZ-224HKWN4	⑤：CZ-224SHWN4
280形	③：CZ-280HKWN4	⑥：CZ-280SHWN4

■取付説明書

取付説明書　高性能フィルター

品番　CZ-140HKWN4　CZ-224HKWN4　CZ-280HKWN4
　　CZ-140SHWN4　CZ-224SHWN4　CZ-280SHWN4

取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この取付説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この取付説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

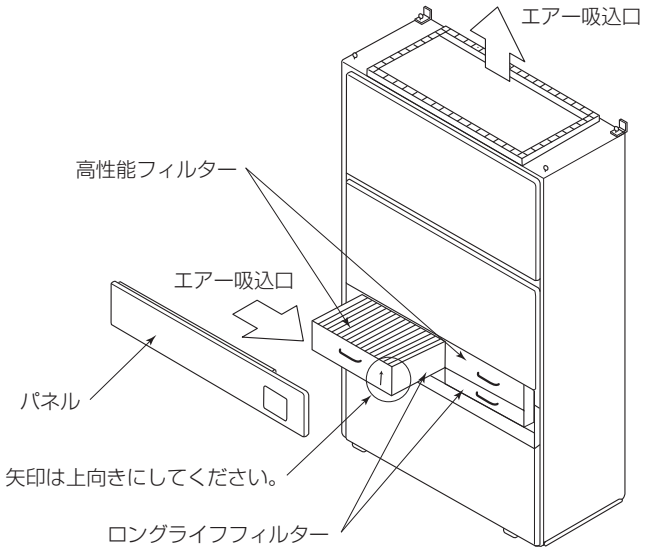
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

⚠注意
■室内ユニットのアルミフィンにさわらない （けがの原因）

■高性能フィルターの取り付けかた

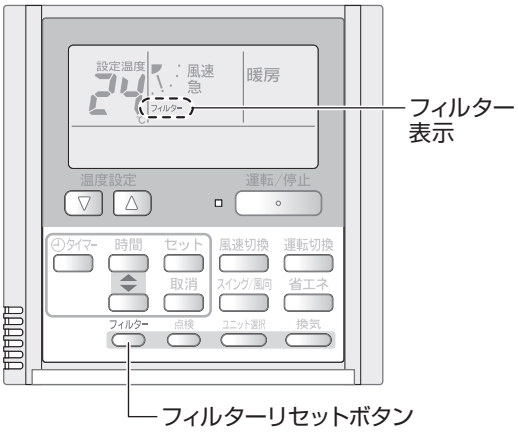
作業はユニットが停止中に行ってください。
①パネルのネジをはずし、やや持ち上げぎみにしてパネルをはずします。
②高性能フィルターを取り付け、パネルを取り付けます。

[壁ビルトイン形]
注：壁ビルトイン形は必ず矢印を
　　上向きに取り付けてください。



■ フィルター交換のしかた

●ワイヤードリモコン
CZ-10RT3 シリーズの場合



●多機能ワイヤードリモコン
CZ-10RT4 シリーズの場合

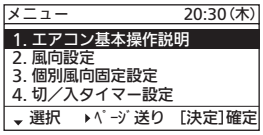
“フィルター”表示または“▦”フィルターサインが表示されたときを目安に交換してください。
フィルター交換した後は、フィルター表示またはフィルターサインをリセットしてください。
このフィルターは洗って再使用できません。ほこりや油汚れの多い環境でご使用の場合は、表示に関係なく、こまめにホコリを掃除機で吸い取ってお手入れしてください。
フィルターのお手入れをしない場合は、水漏れの原因になることがありますので、ご注意ください。

[リセット方法]

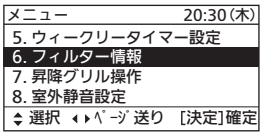
●ワイヤードリモコンの場合
ワイヤードリモコンのフィルターリセットボタンを押す。(表示部の“フィルター”が消灯)

●多機能ワイヤードリモコンの場合

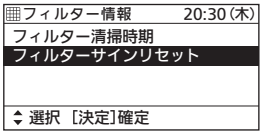
1 メニュー画面を出す
メニュー を押す



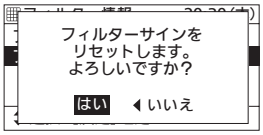
2 「フィルター情報」を選ぶ
▲ ▼ → 決定 を押す



3 「フィルターサインリセット」を選ぶ
▼ → 決定 を押す



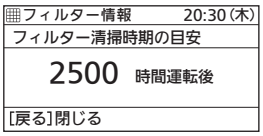
4 「はい」を選ぶ
◀ → 決定 を押す



5 トップ画面に戻る
メニュー を２回押す

■次回のフィルター交換時期は
手順 3 で「フィルター清掃時期」を選ぶ。

清掃までの運転時間を確認して
メニュー を２回押す



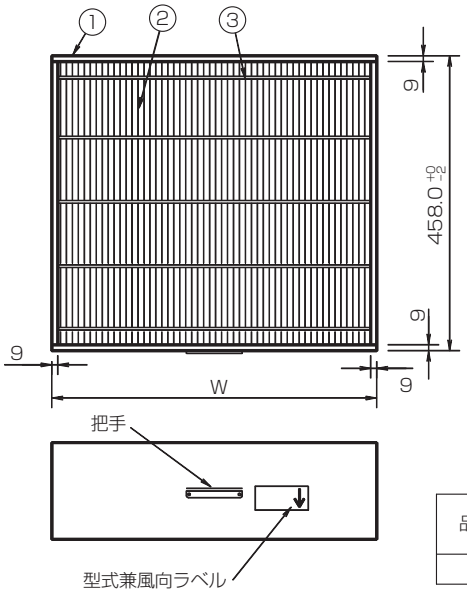
■適応機種

○壁ビルトイン形

名称			高性能フィルター					
品番			CZ-140HKWN4	CZ-140SHWN4	CZ-224HKWN4	CZ-224SHWN4	CZ-280HKWN4	CZ-280SHWN4
適用機種			140形		224形		280形	
定格風量		m³/min	44.0	44.0	64.0	64.0	80.0	80.0
最終風量		m³/min	39.5	38.5	51.0	48.0	62.5	66.0
初期圧損		Pa	43	64	53	74	55	74
最終圧損		Pa	147	196	147	196	196	196
寿命		時間	2,960	3,050	2,380	2,460	2,800	2,270
平均効率		ー	比色法 65%（ダスト JIS11 種）	比色法 90%（ダスト JIS11 種）	比色法 65%（ダスト JIS11 種）	比色法 90%（ダスト JIS11 種）	比色法 65%（ダスト JIS11 種）	比色法 90%（ダスト JIS11 種）
使用濾材		ー	ポリオレフィン系　帯電繊維					
フィルター外形寸法	幅	mm	385×2	385×2	490×2	490×2	615×2	615×2
	奥行き	mm	458					
	厚み	mm	150					

注意事項
1. 最終圧損、寿命は定格風量時の値です。
2. フィルター 寿命（時間）は塵埃濃度 0.15mg/m³（ビル管理法規制値）として算出しています。寿命（時間）は現場条件により異なります。
3. 保塵量はダスト JIS15 種での値です。現場保塵量は現場条件により異なります。

■外形寸法図



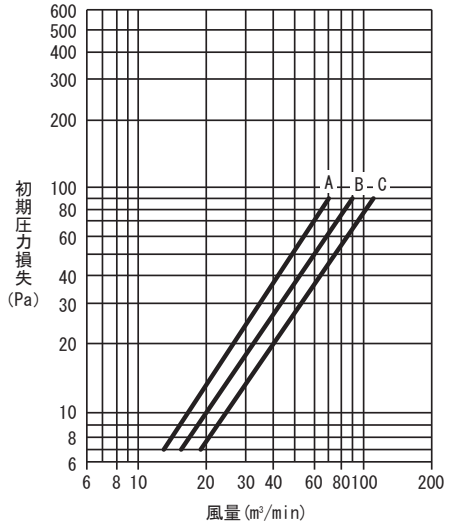
番号	部品名称	材質
1	フィルター枠	合板
2	濾材	不織布
3	スタビライザ	難燃紙

品番	CZ-140HKWN4	CZ-224HKWN4	CZ-280HKWN4
	CZ-140SHWN4	CZ-224SHWN4	CZ-280SHWN4
W	385（+0,-2）	490（+0,-2）	615（+0,-2）

■圧力損失

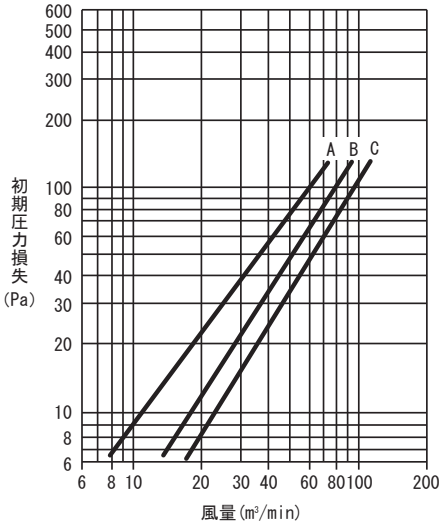
高性能フィルター（比色法 65%）

グラフ記号	部品品番	壁ビルトイン
A	CZ-140HKWN4	140 形
B	CZ-224HKWN4	224 形
C	CZ-280HKWN4	280 形



高性能フィルター（比色法 90%）

グラフ記号	部品品番	壁ビルトイン
A	CZ-140SHWN4	140 形
B	CZ-224SHWN4	224 形
C	CZ-280SHWN4	280 形

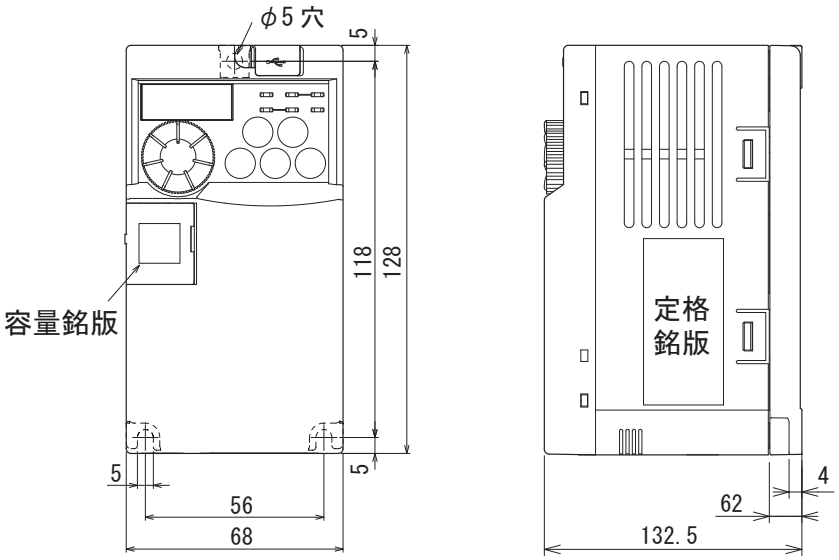


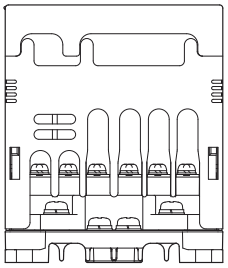
85464369712004

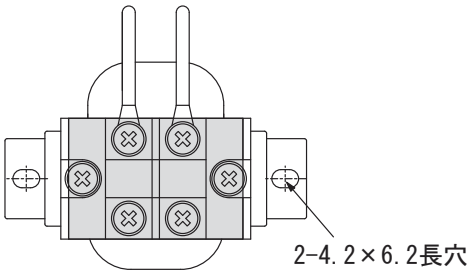
●ファンインバーター

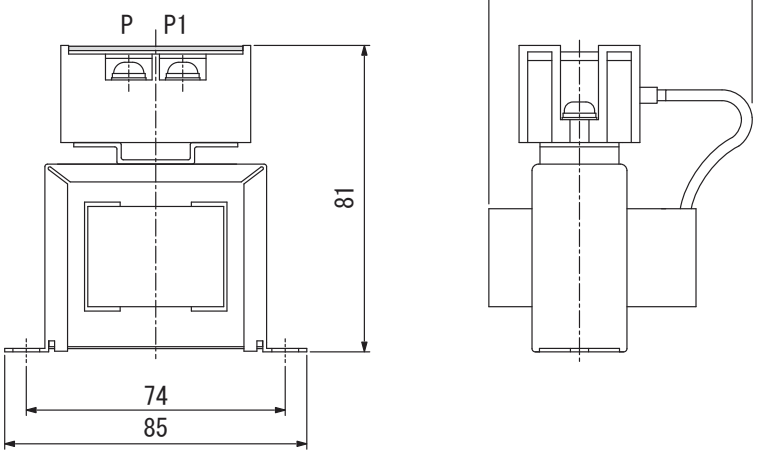
■外形寸法図

・CZ-C140FVC



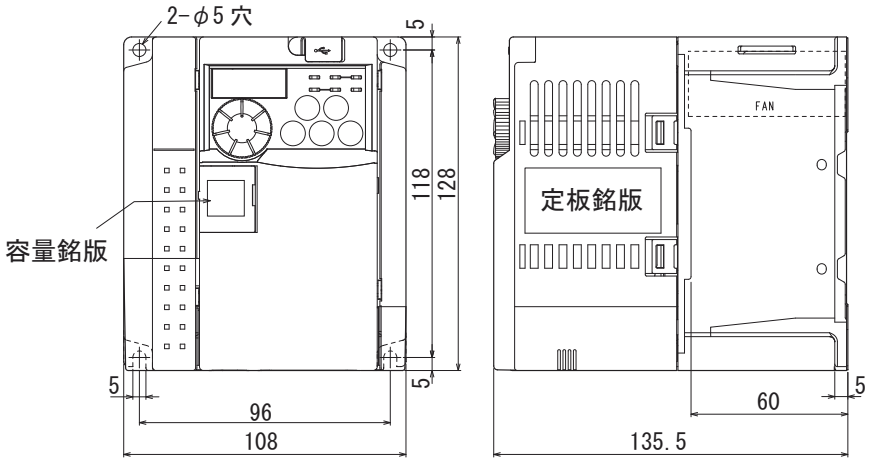


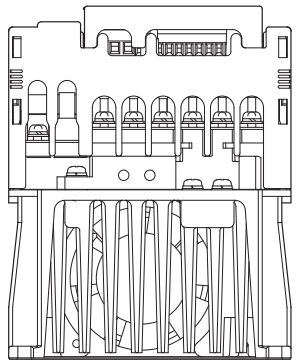


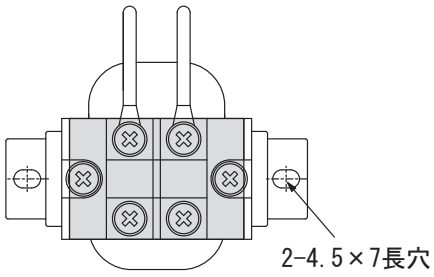


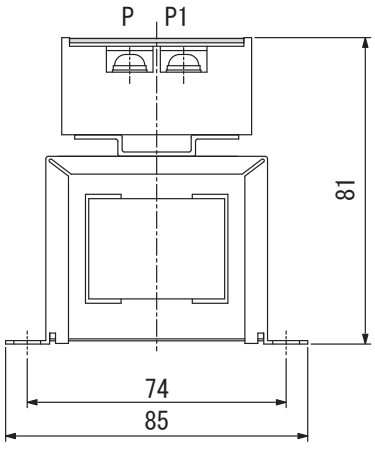
■外形寸法図

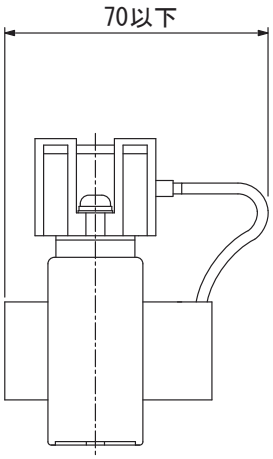
・CZ-C224FVC、CZ-C140FVCS





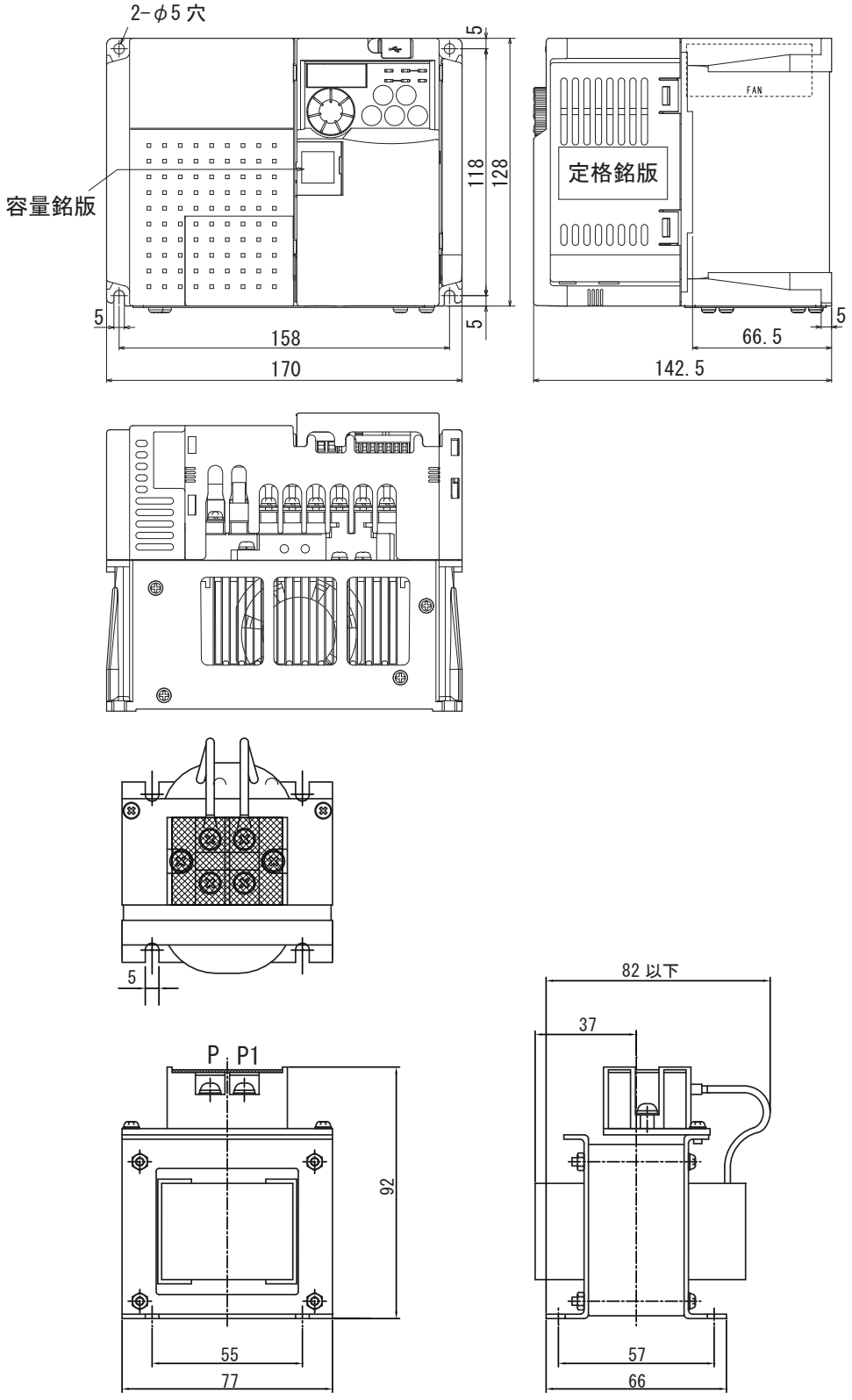






■外形寸法図

・CZ-C224FVCS



■取付説明書

取付説明書　ファンインバーター

品番　CZ-C140FVC　CZ-C224FVC
　　CZ-C140FVCS　CZ-C224FVCS

取り付け工事の前に室内ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この取付説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この取付説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠　してはいけない内容（禁止事項）です。

❗⏚　実行しなければならない内容（強制事項）です。

据え付け上の注意事項

⚠警告

電源配線をバンドなどで束ねて収納しない
（発熱、火災の原因）

配線は途中接続しない
（接触不良や絶縁不良、許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因）

据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）

ファンインバーター等の別売品は必ず当社指定の製品を
ファンインバーター等の別売品は、必ず、当社指定の製品を使用してください。
また、別売品の取り付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取り付けをされ、不備があると、感電や火災、水漏れの原因になります。
別売品は当社指定の製品を

配線をはさまないように、カバーは元どおり確実に取り付ける
（感電、火災の原因）

電気工事（アース工事含む）は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの「据付工事説明書」に従って施工する
（感電、火災のおそれ）

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
（故障や発熱、火災の原因）

アース工事（D 種接地工事）を行う
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話などのアース線に接続しない（感電の原因）
アース線は、ベランダの手すりにとらない
（感電の原因）

取付説明

1.付属品

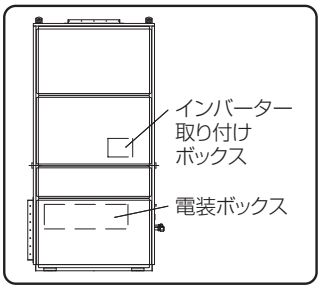
	名　　称	個数
付属品	ファンインバーター	1
	DCリアクトル	1
	電気回路図	1

＊インバーターとDCリアクトルの組合せ

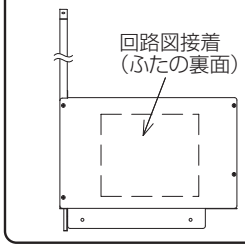
インバーター	DCリアクトル
FR−E720−0. 75K−S2	FR−HEL−0. 75K
FR−E720−1. 5K−S1	FR−HEL−1. 5K
FR−E720−2. 2K−S1	FR−HEL−2. 2K
FR−E720−3. 7K−S2	FR−HEL−3. 7K

2.ファンインバーターおよびDCリアクトル（付属品）の取付手順

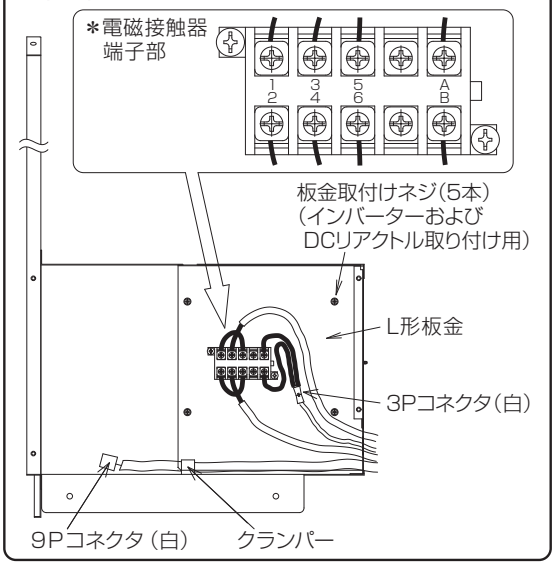
(1) ファンインバーター取り付け用ボックス内の室内送風機電磁接触器（以下、電磁接触器とする）の配線6本（端子1・3・5の赤・白・黒および端子2・4・6の赤・白・青）をはずします。（図1）
(2) 電磁接触器のコイル端子A・Bからの配線3Pコネクタ（白）の結合をはずします。（図1）
(3) L形板金は、固定しているネジ5本をはずし、取りはずします。（図1）
(4) 電磁接触器をL形板金から取りはずし、固定していたネジと(3)ではずしたネジでファンインバーターおよびDCリアクトルを取り付けます。（図4）
(5) 付属の電気回路図を、サービス用にファンインバーター取り付け用ボックスのふた裏面に、貼り付けておいてください。（図2）



（図2）電気回路図貼付位置



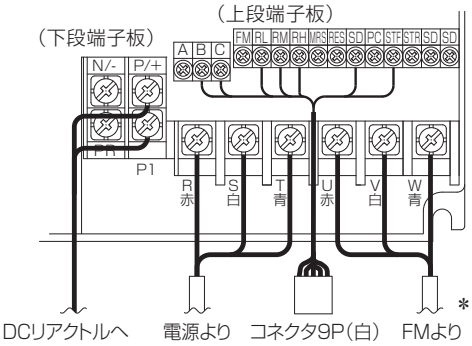
（図1）ファンインバーター取り付け用ボックス内部



3. 配線の手順

(1) ファンインバーターの下段端子板の端子R・S・TおよびU・V・Wに、取付手順1−（1）で電磁接触器からはずした配線6本を誤配線のないよう、インバーター本体カバーのスリット穴を通して接続してください。（図3）

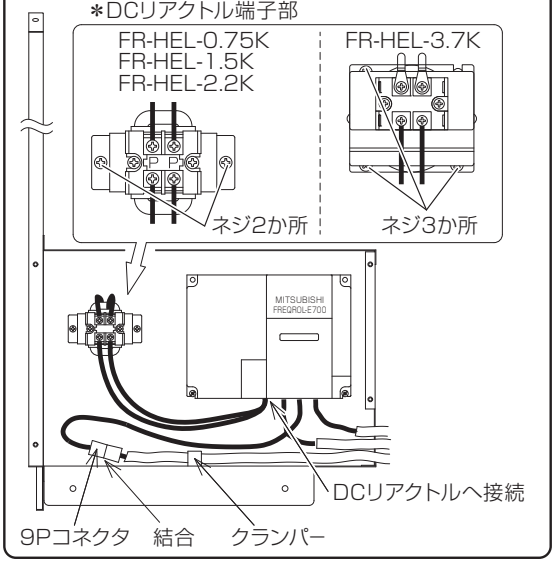
（図3）ファンインバーターの端子板配線図



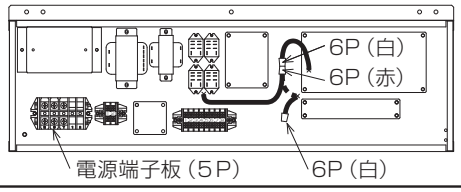
注）すべての配線はインバーター本体カバーのスリット穴に通してから、端子R・S・Tには赤・白・青、端子U・V・Wには赤・白・青（それぞれチューブに3本、通してあります）を接続してください。
誤配線するとファンインバーターが破損しますので注意してください。

(2) 下段端子板の端子P・P1からの配線はスリット穴を通してあることを確認し、DCリアクトルの端子P・P1に接続してください。（図3）
(3) 上段端子板からの配線9P コネクタ(白)は、ファンインバーター取り付け用ボックス内の9P コネクタ(白)と結合してください。（図4）
(4) 電装ボックス内の6Pコネクタ(白)をはずし、6Pコネクタ(白)とファンインバーター用の6Pコネクタ(赤)を結合してください。（図5）
注意）単相機種の場合は、電源端子板（5P）のR. Sに電源ケーブルを接続してください。

（図4）ファンインバーター、DCリアクトルの取付位置



（図5）電装ボックス



取付説明（つづき）

4. 風速切換について（ユニットの停止中に行ってください）

ファンインバーターを使用して風速切り換えを行う場合、リモコンから詳細設定操作により風速設定を変更する必要があります。（インバーターを使用しても風速切り換えを変更しないで使用する場合は、設定不要です。）
風速設定しないと、リモコンより風速切り換えの選択ができませんのでご注意ください。
下記に示す操作方法を参考に室内の設定を変更してください。
（機種によって項目コード、設定データが異なります。設定表を確認のうえ選択してください。）

●ご注意

・詳細設定はシステムの動作にとって非常に重要な項目の設定です。誤った設定をすると不具合を生じますので、十分慎重に設定を行ってください。
・他の項目コードも表示されますが、これらの設定データは工場出荷時に機種別に最適な設定をしておりますので、変更しないでください。

〔ワイヤードリモコン　CZ-10RT3シリーズで設定する場合〕

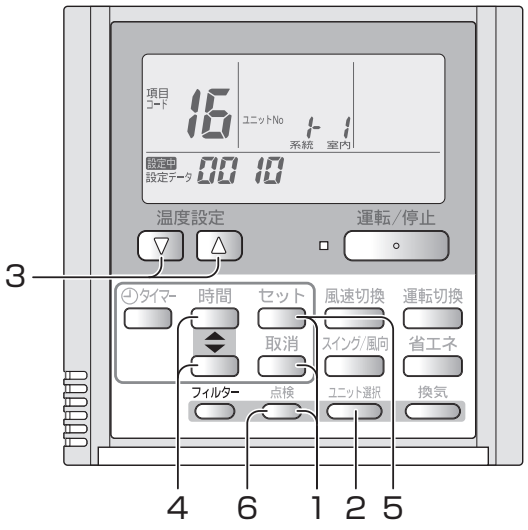
・操作方法

1. ワイヤードリモコンの 点検 と セット と 取消 ボタンを3つ同時に4秒以上押して、リモコンの 設定中 表示が点滅することを確認し、詳細設定モードに入ったことを確認します。
2. ユニット選択 ボタンを押すごとに、室内ユニットが選択されます。
（この時、選択しているユニットのファンが回転します。）
3. 温度設定 ▽ △ ボタンを押して項目コード（設定表）を選択してください。
4. 時間 ボタンを押して設定データ（設定表）を選択してください。
5. セット ボタンを押して 設定中 の表示が点滅から点灯に変化したことを確認してください。
（セットボタンを押さないと、設定データは変更されません。）
6. 点検 ボタンを押して、リモコンの表示が消えたことを確認します。（詳細設定モード解除）

設定表

適用室内ユニット	CS-＊＊	S-＊＊
項目コード	16	10
設定データ（出荷設定）	0009	0021
設定データ（変更設定）	0010	0022

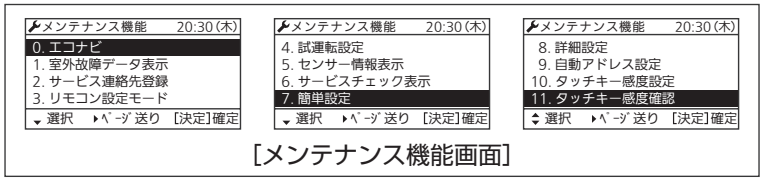
［ワイヤードリモコン］



〔多機能ワイヤードリモコン　CZ-10RT4シリーズで設定する場合〕

・操作方法

1. 戻る + 決定 + ▶ ボタンを同時に4秒以上押します。メンテナンス機能画面が表示されます。
2. ▼ / ▲ ボタンで選択、◀ / ▶ ボタンでページが切り替わります。
   必要な機能のページを表示し、選択してください。



[メンテナンス機能画面]

[多機能ワイヤードリモコン]

3. ▼ / ▲ ボタンで「8.詳細設定」を選択し、決定 ボタンを押してください。詳細設定画面が表示されます。
4. ◀ / ▶ ボタンでユニットNo.／項目コード／設定データの選択を切り替えてください。
   ※設定する項目コード、設定データの値は、設定表の適用室内ユニットに対し、設定してください。
   また、下記の設定方法の例を参考に設定作業を行ってください。

   [CS-＊＊で設定する場合の例]
   - ▼ / ▲ ボタンでユニットNo.：設置するユニットを選択します。
   - ◀ / ▶ ボタンで項目コードを選択し、▼ / ▲ ボタンでデータを16に変更してください。
   - ◀ / ▶ ボタンで設定データを選択し、▼ / ▲ ボタンでデータを0010に変更し、
     決定 ボタンを押してください。
     （工場出荷時の設定データは、0009（風速HH.LL）です。）
     続けて別の系統を設定する場合はユニットNo.を変更し、決定 ボタンを押してください。

5. ユニットNo.、項目コード、設定データの変更が終わったら、戻る ボタンを押し、
   再起動：“はい”を選択し、決定 ボタンを押してください。（設定を終了し再起動します。）
   （5.の操作で再起動を行わないと、設定データは変更されません。）

[詳細設定画面]

設定表

適用室内ユニット	CS-＊＊	S-＊＊
項目コード	16	10
設定データ（出荷設定）	0009	0021
設定データ（変更設定）	0010	0022

85464369716003

●高性能フィルター　比色法65%（AFT-MGU50E、AFT-MGU100E）

■仕様

名称		高性能フィルター		
除去効率		比色法 65%		
補修方法		ろ過方式		
構造		ユニット交換形		
品番		AFT-MGU50E	AFT-MGU100E	
適応機種		50形	75形	100形
初期風量	(m^3/h)	500	750	950
最終風量	(m^3/h)	350	525	665
初期圧損	(Pa)	24	16	24
最終圧損	(Pa)	75	50	75
補塵量	(g/ﾕﾆｯﾄ)	17.6	29.3	35.2
フィルター寿命	(時間)	2,500	2,500	2,500
平均効率		比色法 65%（JIS11種）		
使用濾材		ポレオレフィン系帯電繊維		
フィルター外形寸法（mm）	縦	605	605（1,210）※1	605（1,210）※1
	横	212	212	212
	厚さ	20	20	20
	分割枚数	1	2	2
フィルター重量（kg）		0.5	1.0	

注記

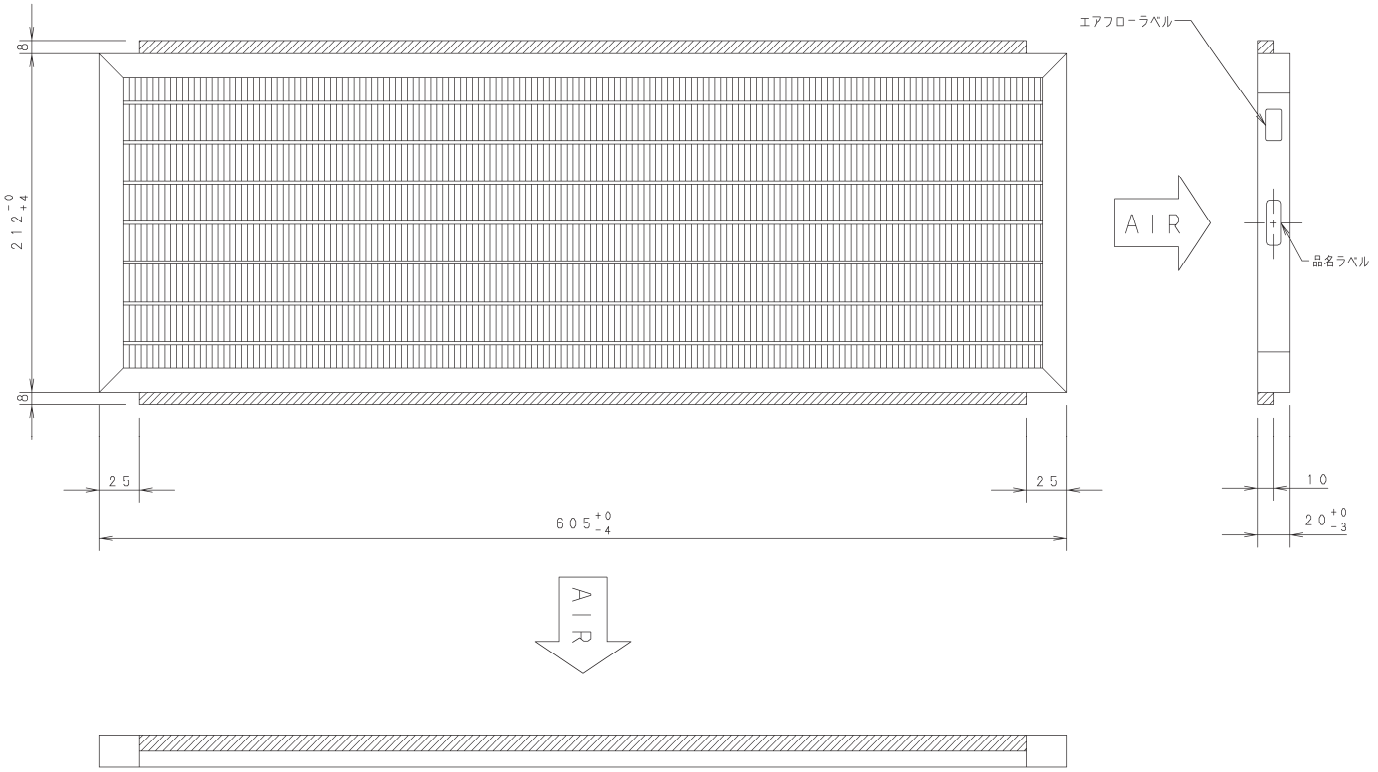
※1：(　)内の値は、フィルター分割枚数2枚使用時の寸法値を示します。

※　：フィルターはフィルター枠に貼ってある矢印の方向が風の流れと一致するようにセットしてください。

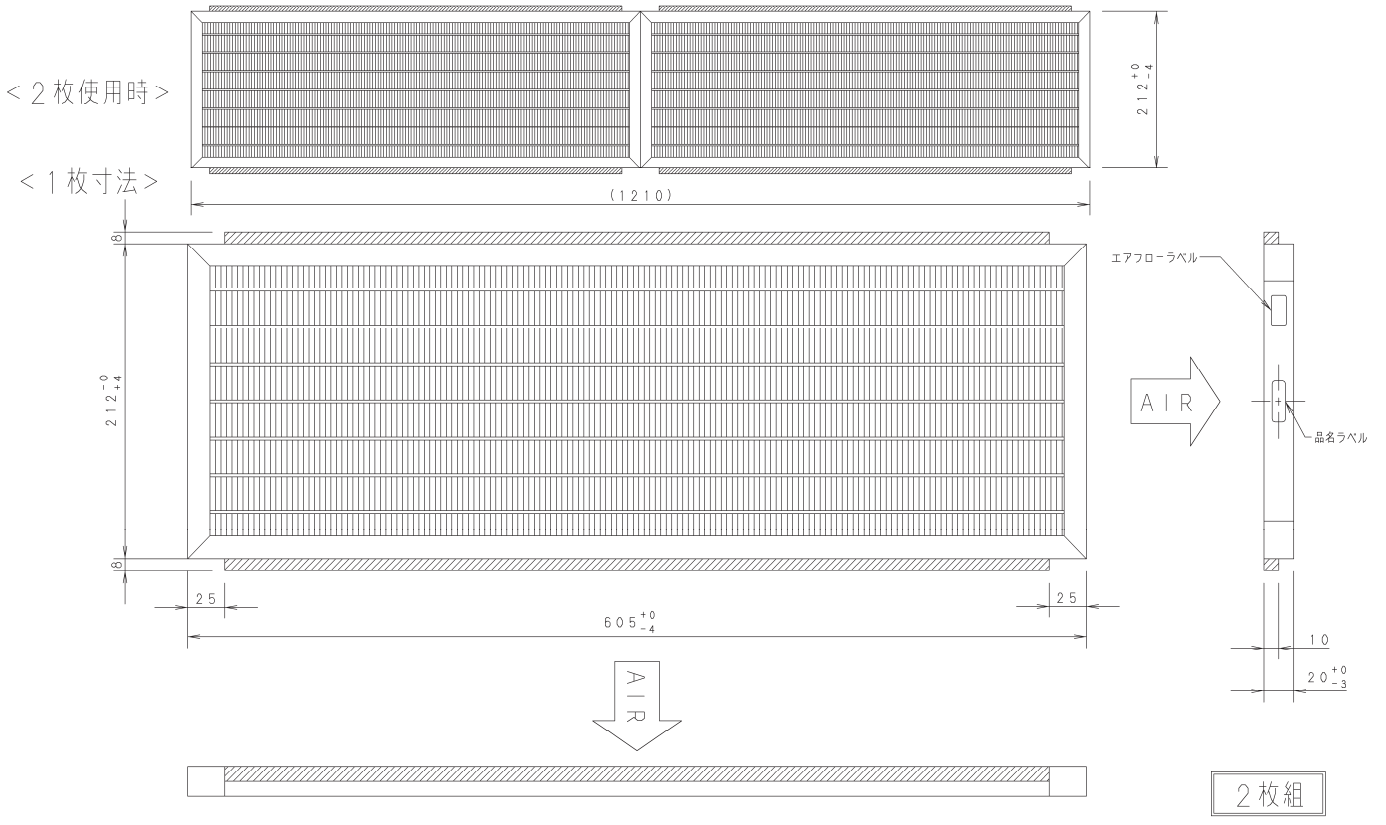
※　：フィルターの寿命は現場条件により異なりますのでご注意ください。

※　：風量・圧損・補塵量・寿命は、急風時の値を示します。

■外形寸法図（AFT-MGU50E）



■外形寸法図（AFT-MGU100E）



●高性能フィルター　比色法65%（AFT-MD250S）
比色法90%（AFT-HD250S）

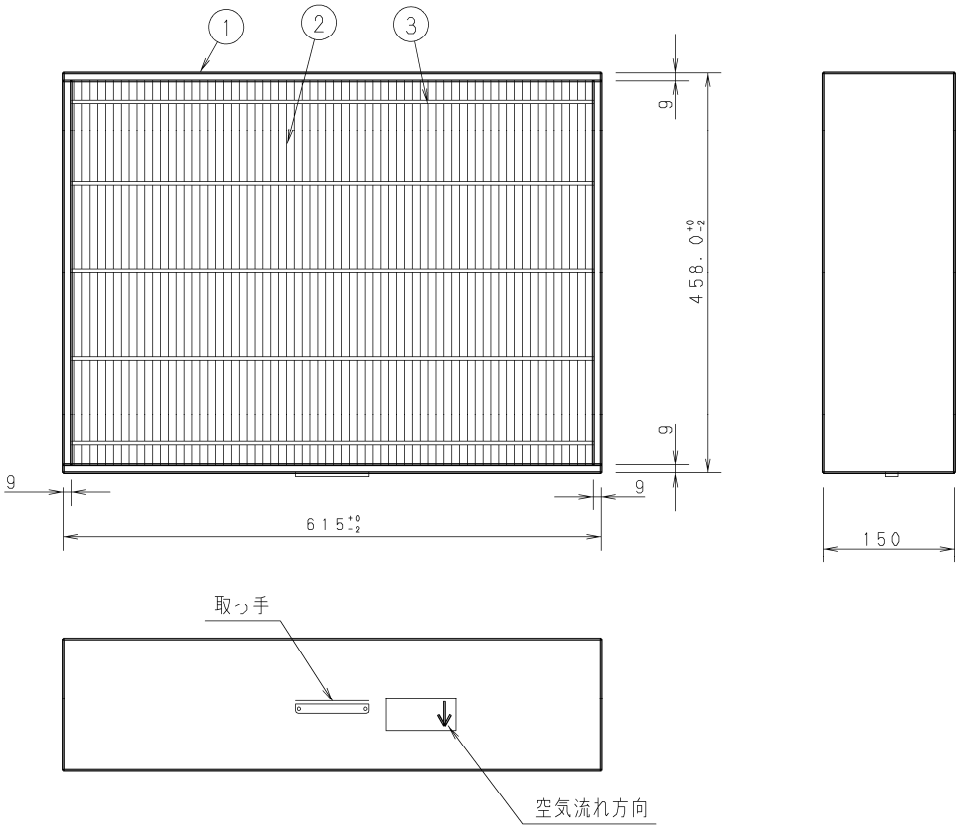
■仕様

名　称			高性能フィルター	
品　番			AFT-MD250S	AFT-HD250S
適用室内ユニット			200形	200形
定格風量		m^3/min	33.3	24.4
最終風量		m^3/min	30.0	17.2
初期圧損		Pa(mmAq)	14.7(1.5)	38.1
最終圧損		Pa(mmAq)	83.3(8.5)	62.9
保塵量		g/ユニット	594	140
フィルター寿命		時間	5,000	1,600
平均効率		ー	比色法　65%（ダストJIS11種）	比色法　90%（ダストJIS11種）
使用濾材		ー	東洋紡-EF60NK（難熱材）	
繊維		ー	ポリオレフィン系 帯電繊維	
フィルター外形寸法	幅	mm	615×2	
	奥行	mm	458	
	厚み	mm	150	

注意事項
1. 最終圧損、保塵量、寿命は強タップ（HH、H）または最大周波数時の値です。
2. フィルター寿命（時間）は塵埃濃度0.15mg/m^3（建築物衛生法規制値）として算出しています。
　寿命（時間）は現場条件により異なります。
3. 保塵量はダストJIS 15種での値です。現場保塵量は現場条件により異なります。

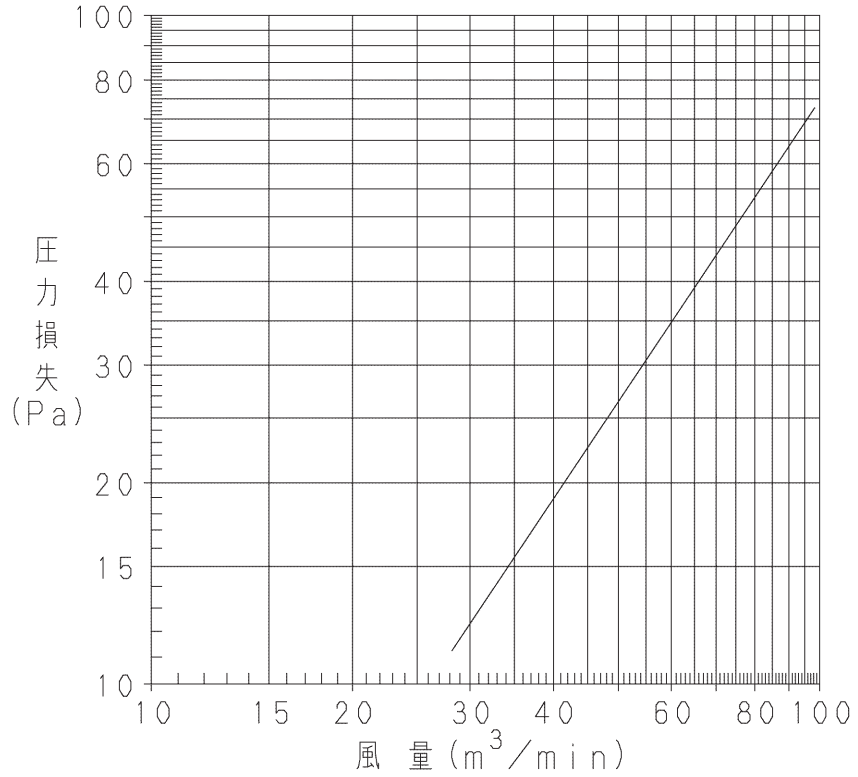
■外形寸法図

番号	部品名称	材質
3	スタビライザ	難燃紙
2	濾材	不織布
1	フイルタ枠	合板



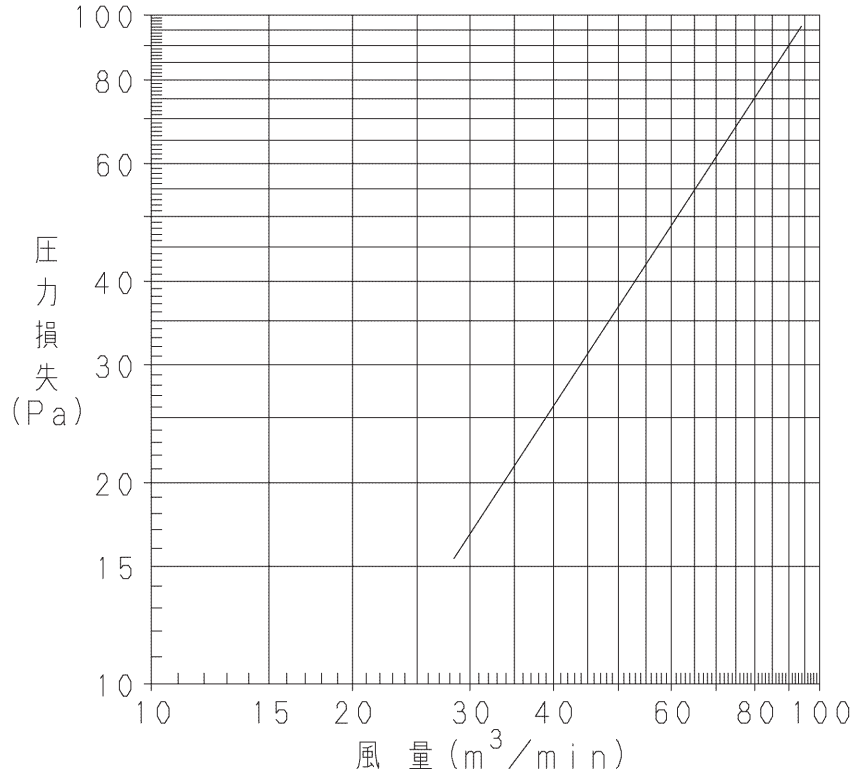
■風量-圧力損失特性図

高性能フィルター（比色法６５％）



部　品　品　番
AFT-MD250S

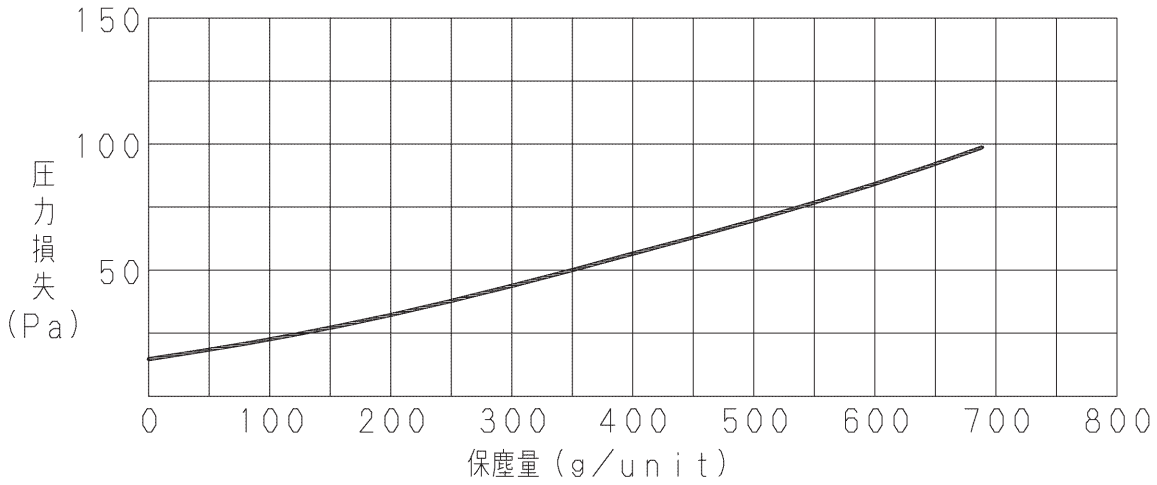
高性能フィルター（比色法９０％）



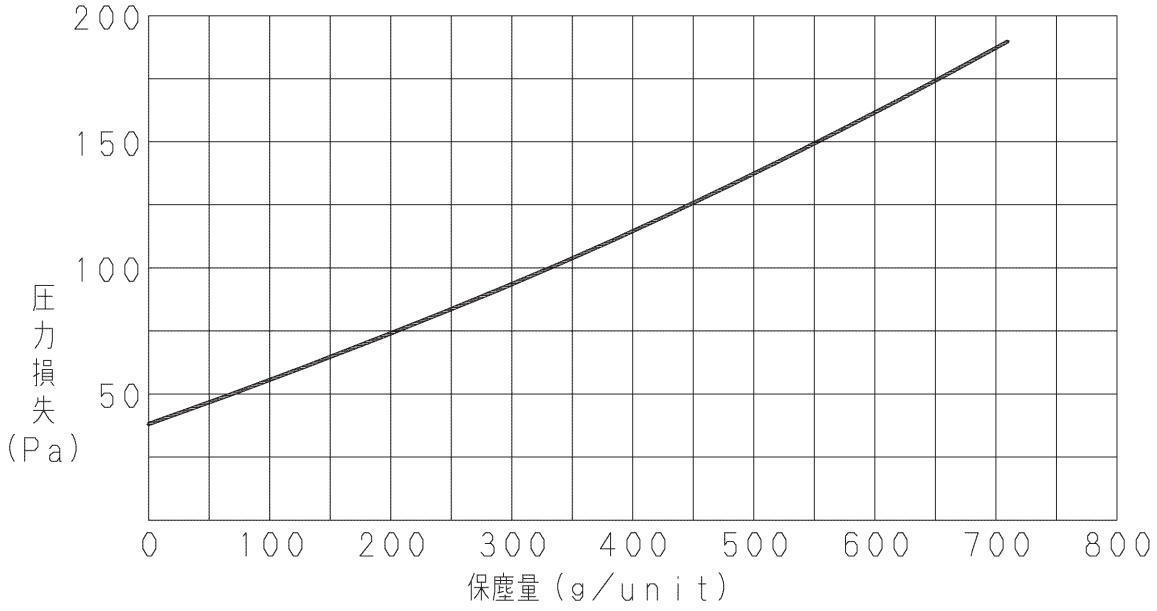
部　品　品　番
AFT-HD250S

■保塵量に対する圧力損失

高性能フィルター
（比色法６５％）



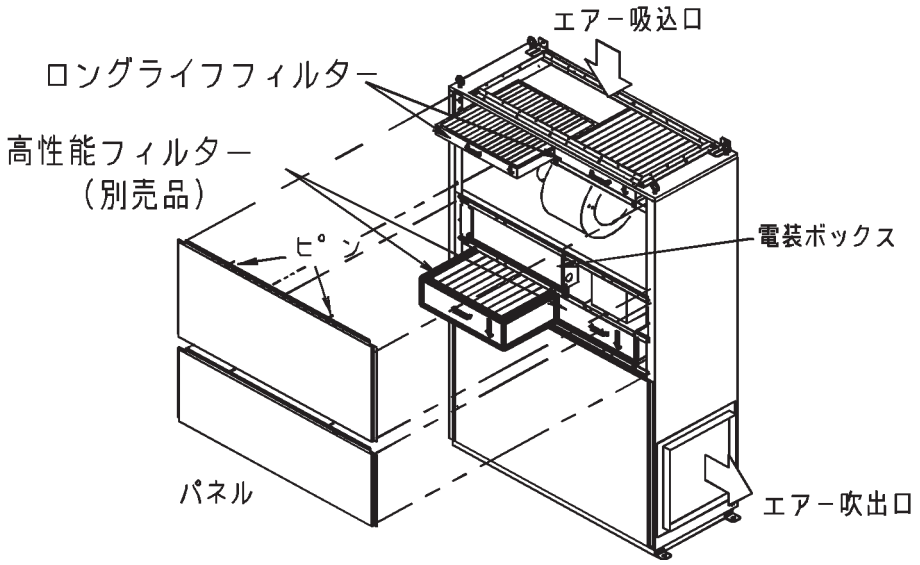
高性能フィルター
（比色法９０％）



室内機タイプ	適用機種	高性能フィルター（比色法６５％）	高性能フィルター（比色法９０％）
ハイフレ	S-G200WXS2	AFT-MD250S	AFT-HD250S

■取付方法

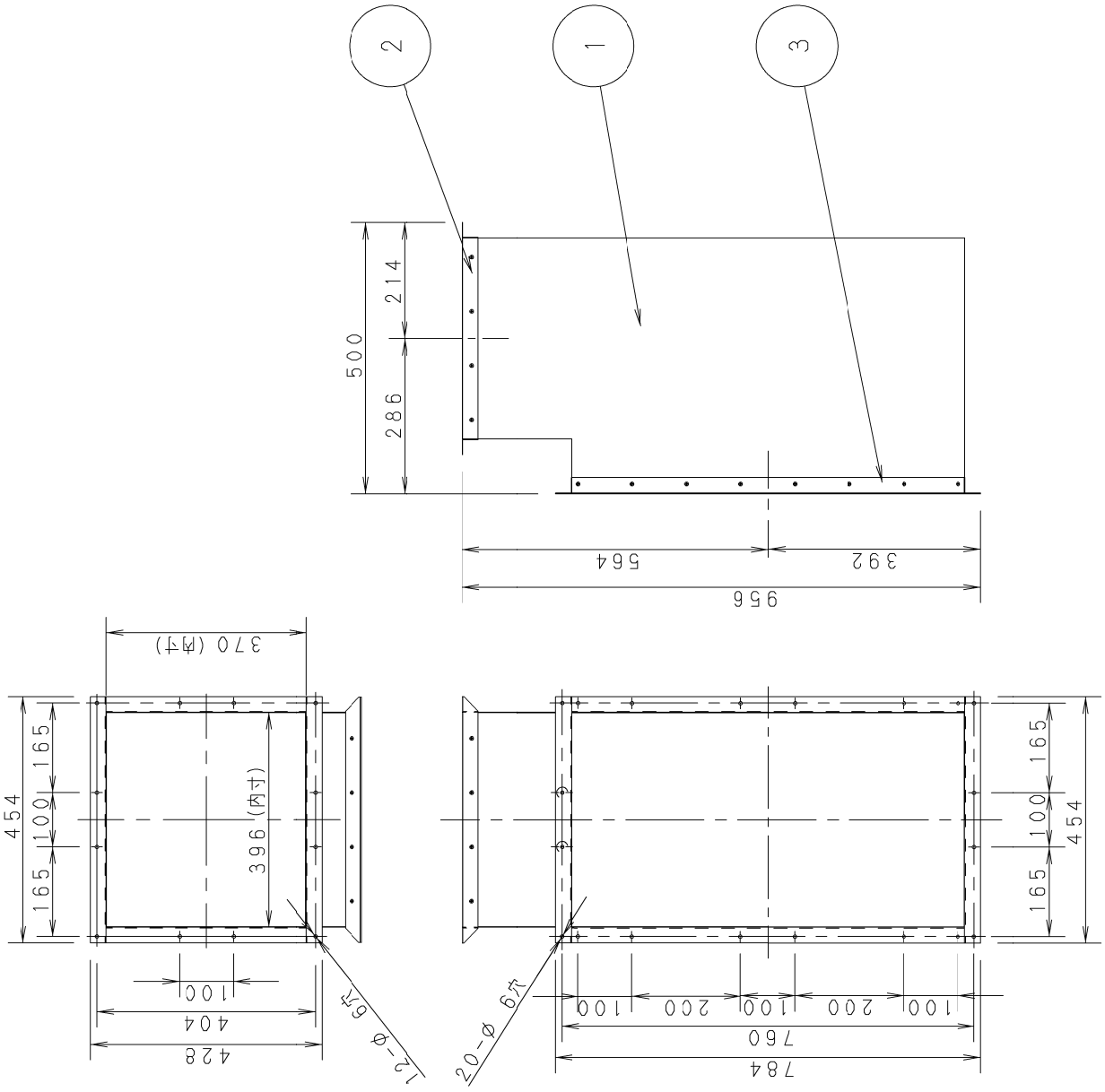
フィルターは必ず矢印を下向にして取り付けてください。
パネルをはずす場合、パネルが落下しないよう注意して下さい。
パネル上部はピン2本で引っかかっていますのでパネルをやや持上げぎみにしますと外れやすくなります。



●吹出しチャンバー（CMB-GUF）

■外形寸法図

1	チャンバー
2	吹出側ダクトフランジ
3	本体取付用フランジ

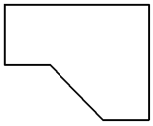
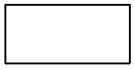
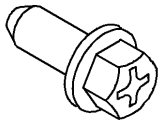


■取付説明書

取付説明書

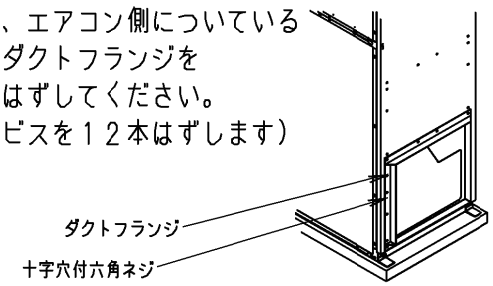
1　適合エアコン

2　付属部品

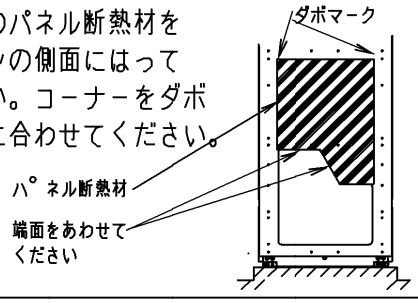
名　称	パネル断熱材	ダクト断熱材	十字穴付六角ネジ
形　状			
個　数	1	1	32
備　考	厚さ　15　（粘着剤付）		

3　取付け方法

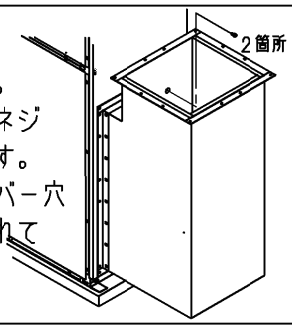
1、エアコン側についている
ダクトフランジを
はずしてください。
（ビスを12本はずします）



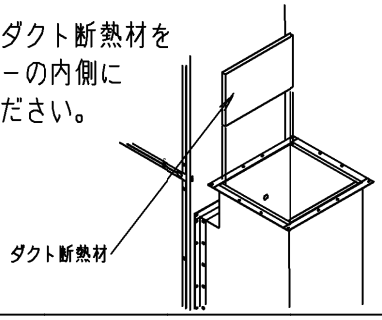
2、付属のパネル断熱材を
エアコンの側面にはって
ください。コーナーをダボ
マークに合わせてください。



3、吹出チャンバーを
取り付けてください。
付属の十字穴付六角ネジ
20本でとりつけます。
うち2箇所はチャンバー穴
よりドライバーを入れて
とめてください。

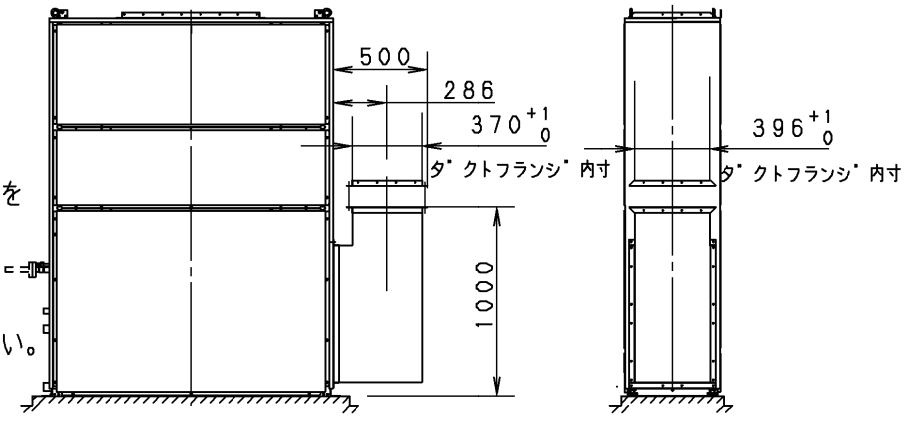


4、付属のダクト断熱材を
チャンバーの内側に
はってください。



4　取付後の寸法

吹出チャンバーへの
ダクト接続は、3－1で
はずしたダクトフランジを
使用してください。
フランジどうしの結合は
付属の十字穴付六角ネジ
12本を使用してください。



85464759432003

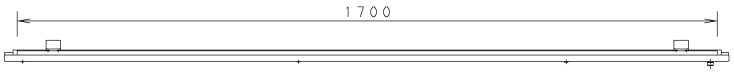
●吸込一体形用パネル、壁下吸込形用パネル

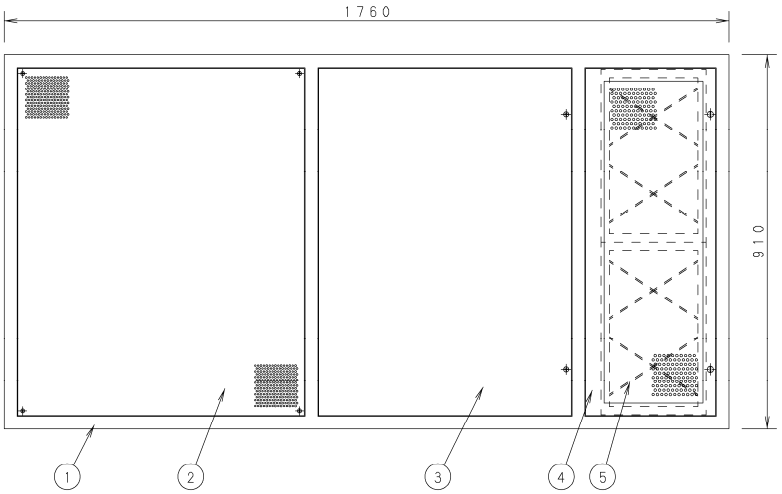
■外形寸法図　吸込一体形用パネル

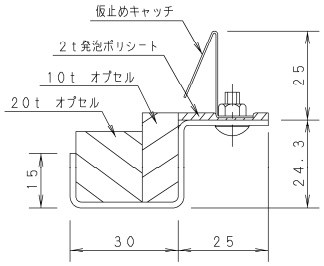
・CZ-45KPCK4

	部品名	数量
①	天井パネル枠ＡＳＳＹ	1
②	吹出パンチング	1
③	点検パネルＡＳＳＹ	1
④	吸込みパネルＡＳＳＹ	1
⑤	プレフィルター	2

パネル質量：２２ｋｇ







天井パネル枠断面

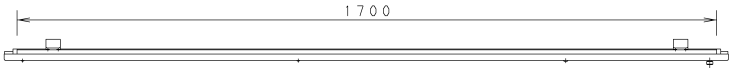
単位：ｍｍ

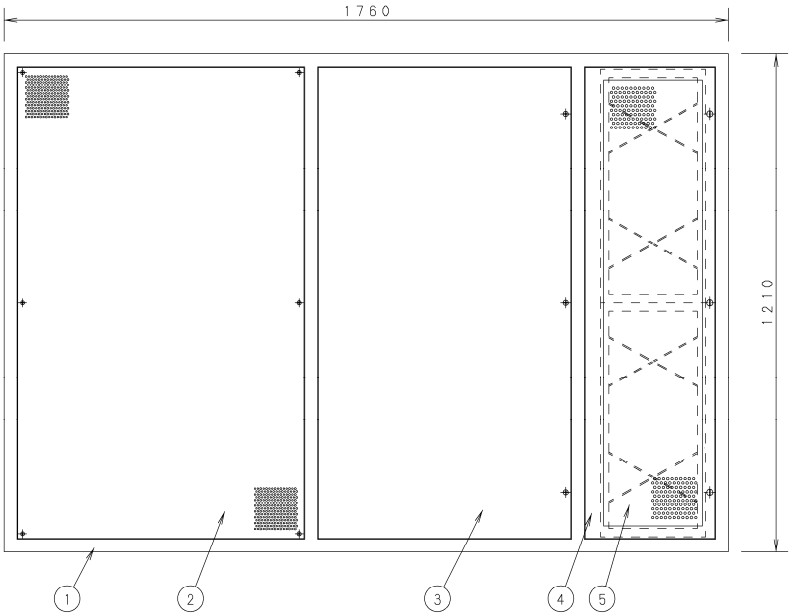
■外形寸法図　吸込一体形用パネル

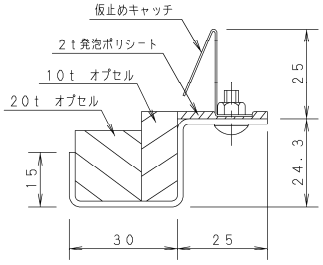
・CZ-56KPCK4

	部品名	数量
①	天井パネル枠ＡＳＳＹ	1
②	吹出パンチング	1
③	点検パネルＡＳＳＹ	1
④	吸込みパネルＡＳＳＹ	1
⑤	プレフィルター	2

パネル質量：３０ｋｇ







天井パネル枠断面

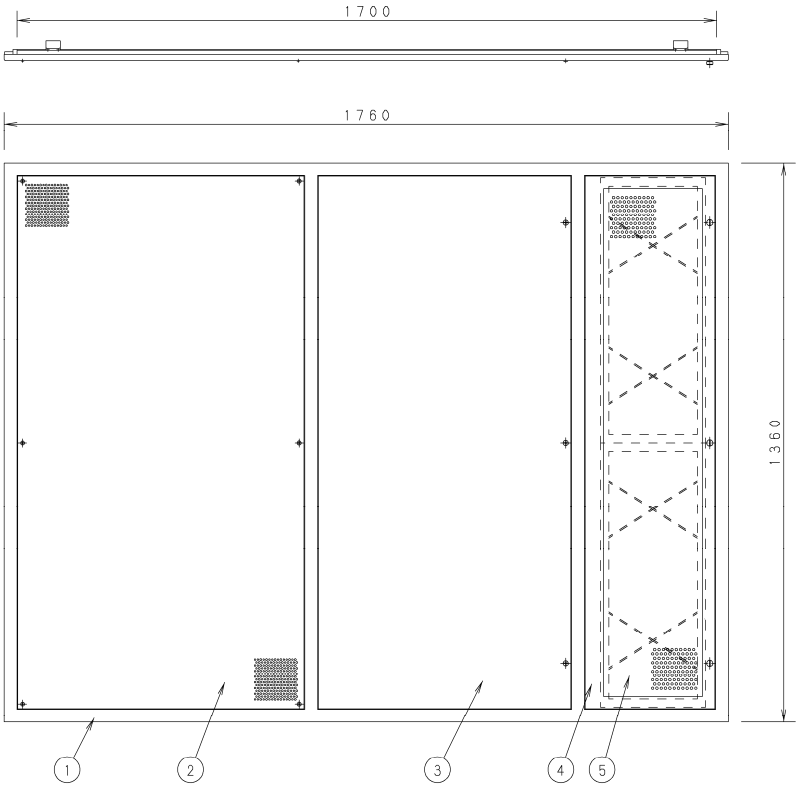
単位：ｍｍ

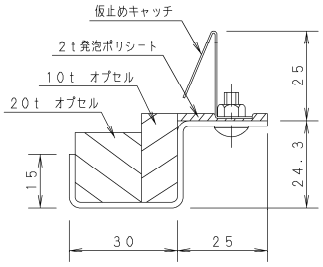
■外形寸法図　吸込一体形用パネル

・CZ-71KPCK4

	部品名	数量
①	天井パネル枠ＡＳＳＹ	1
②	吹出パンチング	1
③	点検パネルＡＳＳＹ	1
④	吸込みパネルＡＳＳＹ	1
⑤	プレフィルター	2

パネル質量：３２ｋｇ





天井パネル枠断面

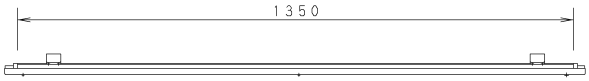
単位：ｍｍ

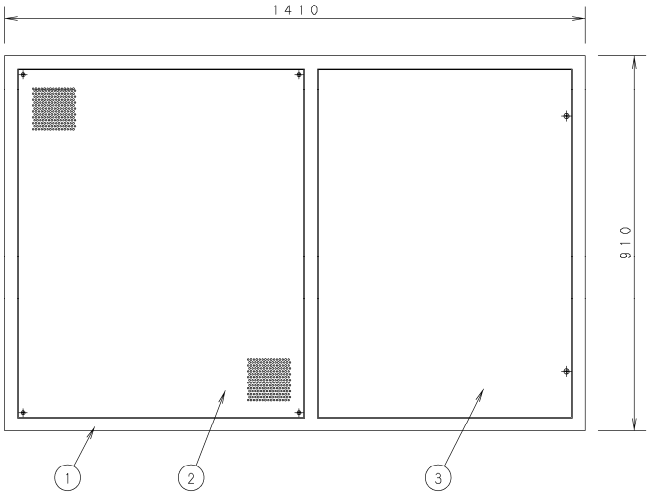
■外形寸法図　壁下吸形用パネル

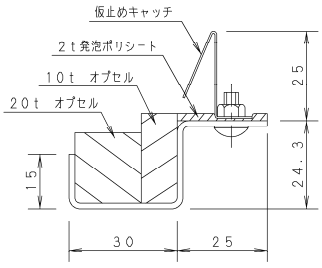
・CZ-45KPCD4

	部品名	数量
①	天井パネル枠ＡＳＳＹ	1
②	吹出パンチング	1
③	点検パネルＡＳＳＹ	1

パネル質量：１７ｋｇ







天井パネル枠断面

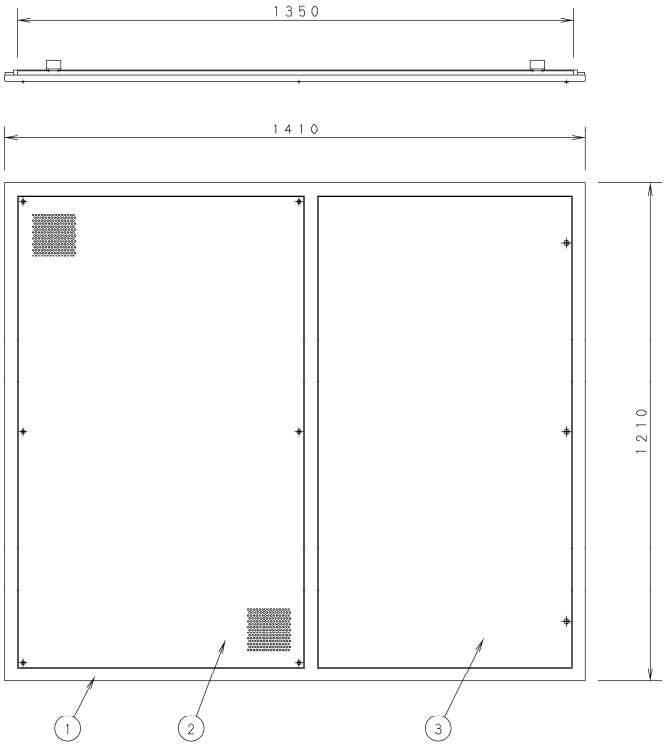
単位：ｍｍ

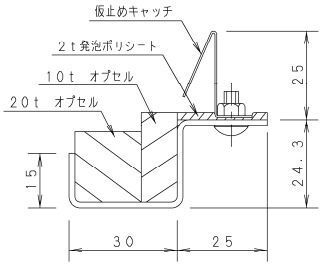
■外形寸法図　壁下吸形用パネル

・CZ-56KPCD4

	部品名	数量
①	天井パネル枠ＡＳＳＹ	1
②	吹出パンチング	1
③	点検パネルＡＳＳＹ	1

パネル質量：２３ｋｇ





天井パネル枠断面

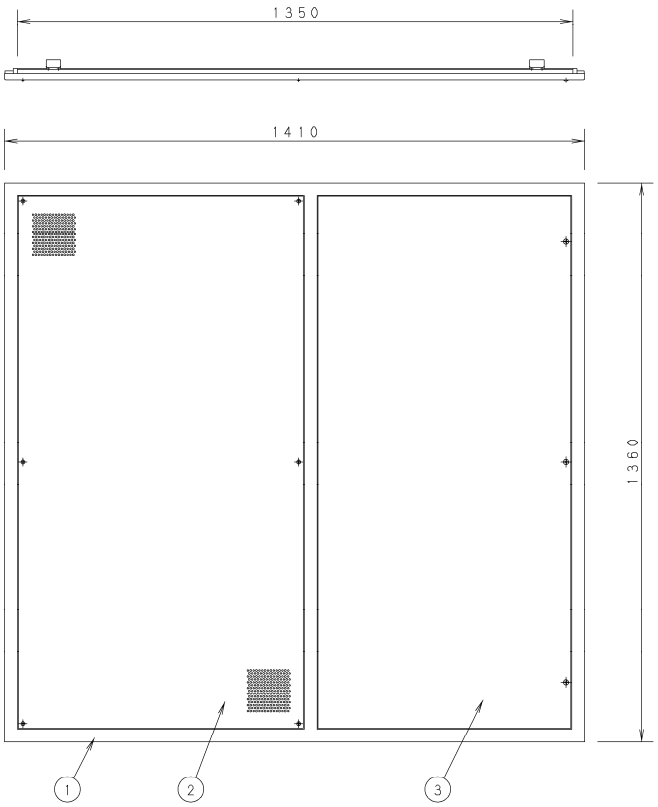
単位：ｍｍ

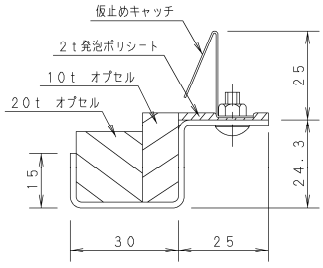
■外形寸法図　壁下吸形用パネル

・CZ-71KPCD4

	部品名	数量
①	天井パネル枠ＡＳＳＹ	1
②	吹出パンチング	1
③	点検パネルＡＳＳＹ	1

パネル質量：２５ｋｇ





天井パネル枠断面

単位：ｍｍ

■取付説明書

取付説明書　吸込一体形用パネル
壁下吸込形用パネル

品番	CZ-45KPCK4	CZ-56KPCK4	CZ-71KPCK4
（吸込一体形） 適用室内ユニット	S-G45CKS15 S-G45CKS16	S-G56CKS15 S-G56CKS16	S-G71CKS15 S-G71CKS16

品番	CZ-45KPCD4	CZ-56KPCD4	CZ-71KPCD4
（壁下吸込形） 適用室内ユニット	S-G45CDS15 S-G45CDS16	S-G56CDS15 S-G56CDS16	S-G71CDS15 S-G71CDS16

取り付け工事の前に室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この取付説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
また、この取付説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

❗	実行しなければならない内容（強制事項）です。

据え付け上の注意事項

⚠ 警告

据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う
（ユニットの落下や水漏れ、感電や火災の原因）

❗

パネル等の別売品は必ず当社指定の製品を
パネル等の別売品は、必ず、当社指定の製品を使用してください。
また、別売品の取り付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取り付けをされ、不備があると、感電や火災、水漏れの原因になります。

❗
別売品は当社指定の製品を

据付け説明

付属品

形体	品番	天井パネル取付ネジ		
		必要数量（本）	予備数量（本）	合計･付属数量（本）
吸込一体形	CZ-45KPCK4	22	2	24
	CZ-56KPCK4	32	2	34
	CZ-71KPCK4	32	2	34
壁下吸込形	CZ-45KPCD4	18	2	20
	CZ-56KPCD4	26	2	28
	CZ-71KPCD4	26	2	28

1. 天井パネルの取り付けかた

ご注意

■作業はヘルメット、安全靴を着用して行ってください。
着用しないと、落下物によるけがなどの原因になります。

天井パネル取り付け

1）天井パネルに取り付けられている吹出パンチング板を取りはずしてください。（図1）

●天井パネル上面には仮止めキャッチ（4か所）が付いていますので、室内ユニットの角孔開口部に差し込む事により仮り止めできます。（図2）

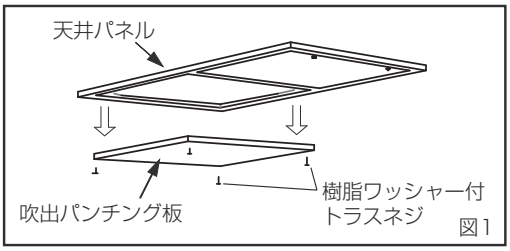
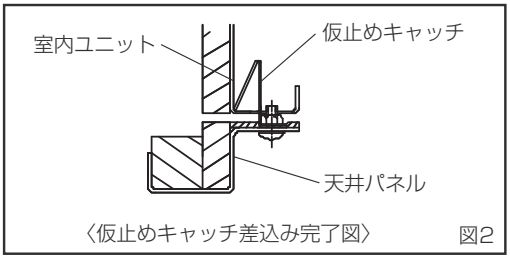


図1



〈仮止めキャッチ差込み完了図〉 図2

2）天井パネルを持上げて、室内ユニットに押し当てて仮り止めしてください。（図3）

●仮止めキャッチ（4か所）が確実に引掛かっているか確認してください。

●天井パネルは仮り止めですので、すぐに次の作業を行ってください。

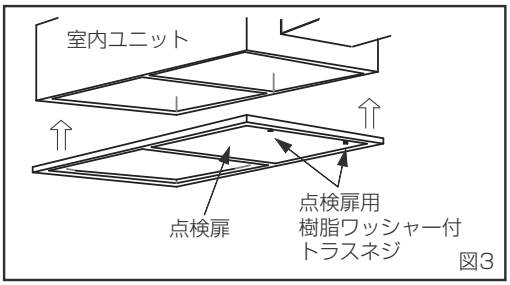


図3

3）点検扉を止めている、樹脂ワッシャー付トラスネジをゆるめて開けてください。（図4）

4）点検扉を開けた奥と吹出しパンチング板をはずした奥に、天井パネル取り付け穴がありますので、付属のトラスネジで、天井パネルを室内ユニットに取り付けてください。（図4）

●吸込一体形は吸込パンチング扉を止めているローレットビスもゆるめて、吸込パンチング扉を開けて天井パネルを取り付けてください。

●吸込一体形の吸込パンチング扉にはプレフィルターが付いていますので、確認してください。

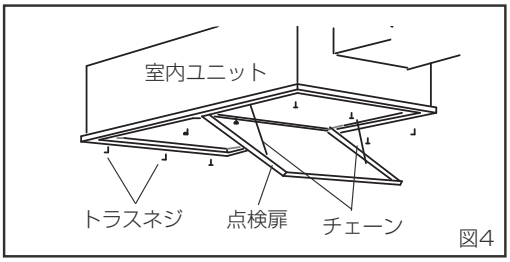


図4

5）吊りボルト部をシール材でコーキング処理をしてください。（図5）

6）室内ユニットにあるチェーンを点検扉に付けて、樹脂ワッシャー付トラスネジ（締付トルク 0.9～1.0N·m）で閉じてください。

7）吹出パンチング板を樹脂ワッシャー付トラスネジ（締付トルク 0.25～0.3N·m）で取り付けてください。

8）天井仕上面と天井パネル枠の隙間をコーキング処理をしてください。（図5）

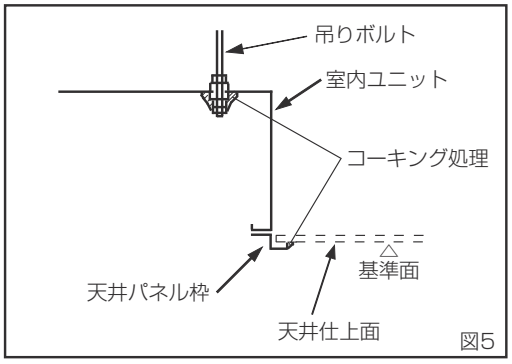


図5

2. プレフィルターの取り付けかた

プレフィルターの取り付け

◆壁下吸込形の場合

・壁下吸込形には、プレフィルターは付いていません。
・必要に応じてプレフィルターを取り付ける場合は、壁面吸込口のふたの寸法に合せて裁断し、裏側に取り付けてください。

◆吸込一体形（逆流防止ダンパー付）

・プレフィルターはあらかじめ、吸込パンチング扉内に取り付けてあります。
・プレフィルターが付いているのを確認し、吸込パンチング扉を閉じてください。（図6）

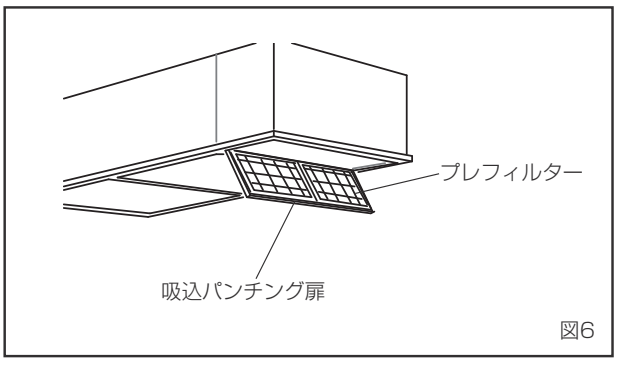
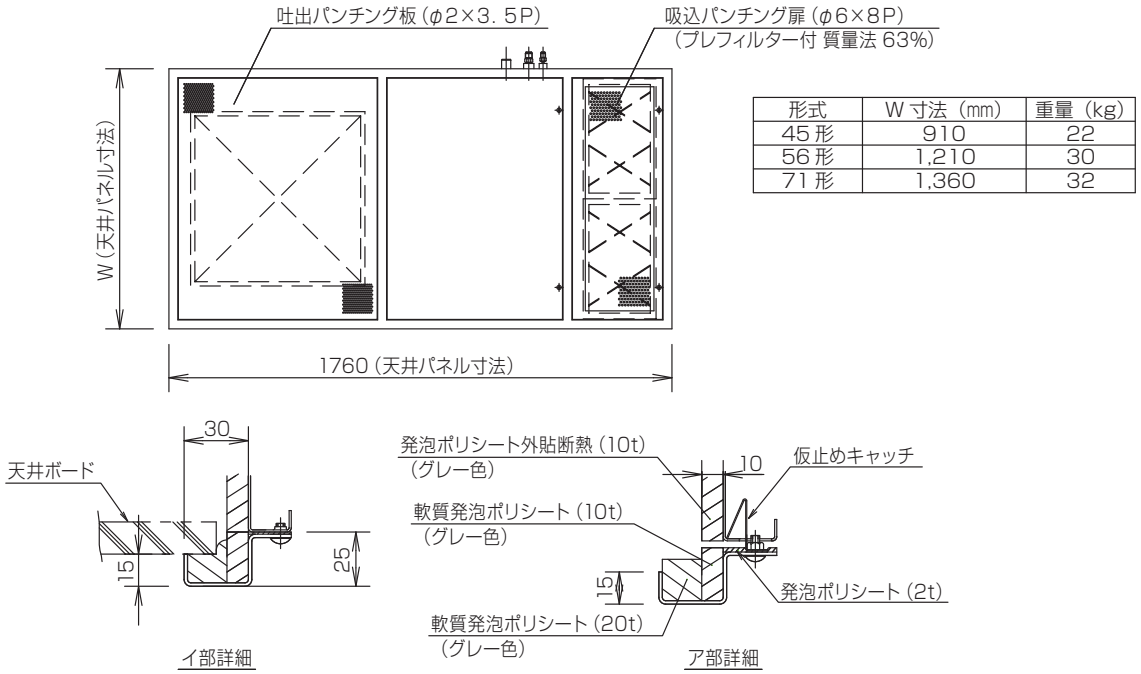


図6

据付け説明（つづき）

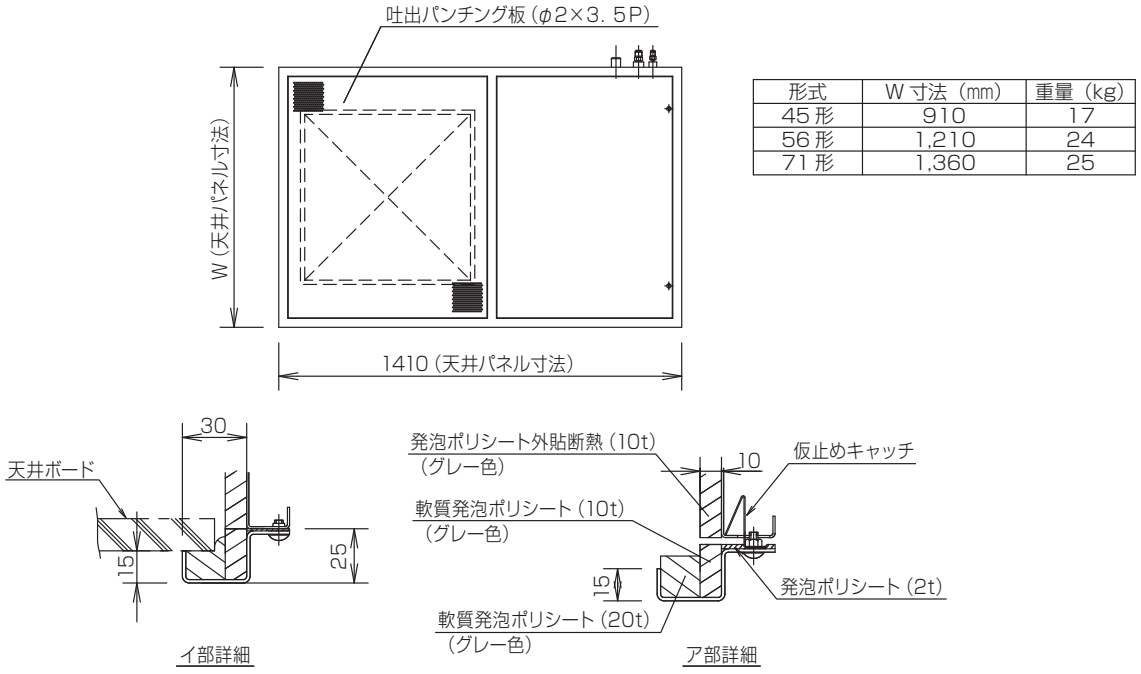
3. 製品の構造

■吸込一体形



形式	W 寸法（mm）	重量（kg）
45 形	910	22
56 形	1,210	30
71 形	1,360	32

■壁下吸込形



形式	W 寸法（mm）	重量（kg）
45 形	910	17
56 形	1,210	24
71 形	1,360	25

85464369715002

●HEPAフィルター
■取付説明書

取付説明書　HEPA フィルター

品番	CZ-28SHCK4A
	CZ-45SHCK4A
	CZ-56SHCK4A

取り付け工事の前に室内ユニット、室外ユニットに同梱されている「据付工事説明書」と、この取付説明書をよくお読みのうえ取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。また、この取付説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ 注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

■**据付工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼し、工事には必ず指定の部品を使って確実に行う**
（ユニットの落下や水漏れの原因）

■**据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
（ユニットの落下による、けがの原因）

■**付属品は当社指定の部品を使用する**
（指定の部品を使用しないと、ユニットの落下、水漏れの原因）

⚠注意

■**周囲に可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置しない**
（万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

■取付工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で取り付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その取り付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

2.HEPA フィルターの取り付けかた

ご注意

■フィルター表面を上下のスタッドボルトに当てないように、注意してください。

■作業はヘルメット、安全靴を着用して行ってください。
着用しませんと、落下物によるけがの原因になります。

■HEPAフィルターの交換作業は保護具として、手袋、マスク、保護メガネを着用してください。
着用しませんと、ちり、ほこりなどを吸い込み健康を害する原因になります。

■HEPAフィルターの固定の目安は、HEPAフィルターを室内ユニットに押しあてた状態で、HEPA押さえ金具を取り付け、ナットが突きあたるまで締めます。その状態からナットを2～3㎜締め込んでください。

HEPAフィルター取り付け

● フィルター表面をスタッドボルトに当てないように、注意してください。

1）吹出パンチング板をはずしてください。（図3）

2）スタッドボルトに付いている、HEPA押さえ金具とナットをゆるめてください（1つのHEPAフィルターに対し4か所）。

3）HEPA押さえ金具を外側に向けてください。（図3）

4）HEPAフィルター取り付け面のゴミ・汚れを取り、表面をきれいにしてください。

5）HEPAフィルターのパッキン側を上にして、本体ユニットに押し込んでください。（図4）

6）HEPAフィルターを室内ユニットに押し込んだ後、HEPA押さえ金具を回してHEPAフィルターの枠に引っ掛けてください。

7）パッキンを2～3㎜押しつぶす程度にナットをボックスレンチ等で締め付けてください。
パッキンの押しつぶし目安は、上記ご注意を確認してください。

8）吹出パンチング板を樹脂ワッシャー付トラスネジ（締付トルク 0.25～0.3N·m）で取り付けてください。（図5）

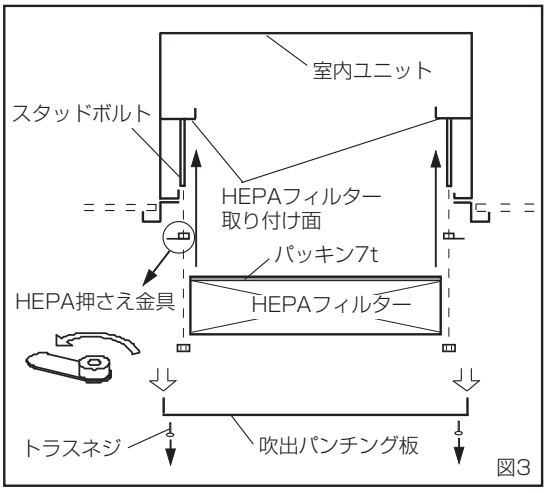


図3

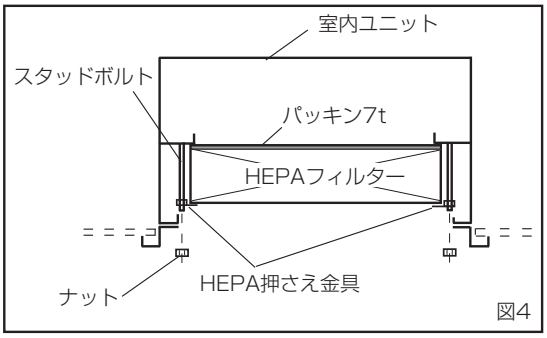


図4

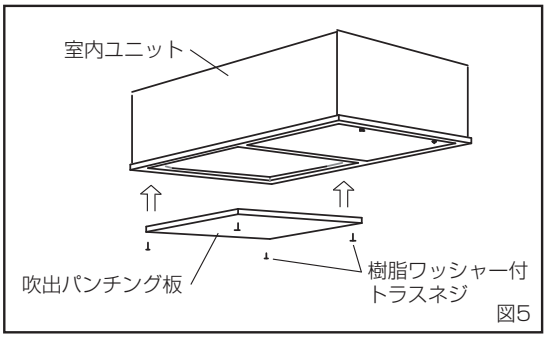


図5

取り付け説明

1.HEPA フィルターの取り扱い

ご注意

■HEPAフィルターを取り扱う際には枠の部分を持ち、決してフィルター表面は触らないでください。フィルター表面は痛みやすく、破損した場合フィルターからの空気漏れの原因になります。

■HEPAフィルターを梱包していますポリ袋は、ちり、ほこり付着防止のため取り付ける直前に、取りはずしてください。

■HEPAフィルターの輸送・保管時は、横積みをしないでください。
水平にして輸送すると振動・衝撃などによってろ材が破損し、フィルターからの空気漏れの原因になります。

■HEPAフィルターは洗浄などによる再生使用はできません。
性能が低下した場合は必ず新品と交換してください。
なお、交換時期の目安は約3年です。

1.輸送

・持ち運びには、滑り止め手袋を着用してください。
・持ち運び方は、ダンボール箱を傾けて箱の対角線上の２つの角を持って運んでください。
・床に置く時は、フィルター底面が平均に着地するように静かに置いてください。
・車に積む時は、３段以上積み重ねないでください。
・製品の上に乗ったり、寄り掛かったり、また無用な外力を与えないでください。
・梱包ダンボール箱外側に明示してある諸注意の記号に注意して、作業してください。

2.保管

・保管場所は温度、湿度の変化が少なく、直射日光、風雨を避けられるところにしてください。
・角材を下に敷くなどして直接床に置かないでください。
・水漏れ汚染等が考えられる場所では、保管しないでください。

3.開梱

●開口部を上にした状態で、HEPAフィルター本体を持ち、抜き取らないでください。

1）平坦な床面に置き、ダンボール箱のシールテープをはがしてください。
2）フィルターに付いている仕様銘板の型式を確認してください。
3）箱のふたを外側に開き、当板を垂直に抜き取ってください。（図1）
4）開いた箱の口を、静かに下に向けて、HEPAフィルターを床面に接地させてください。
5）箱を垂直に抜き上げて取り去ってください。（図2）
6）ポリ袋は、取り付ける直前に取りはずしてください。

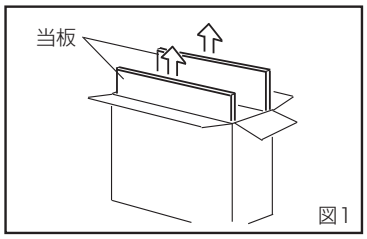


図1

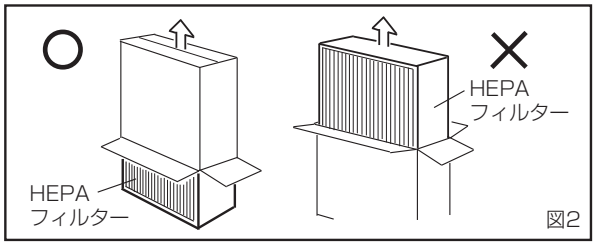


図2

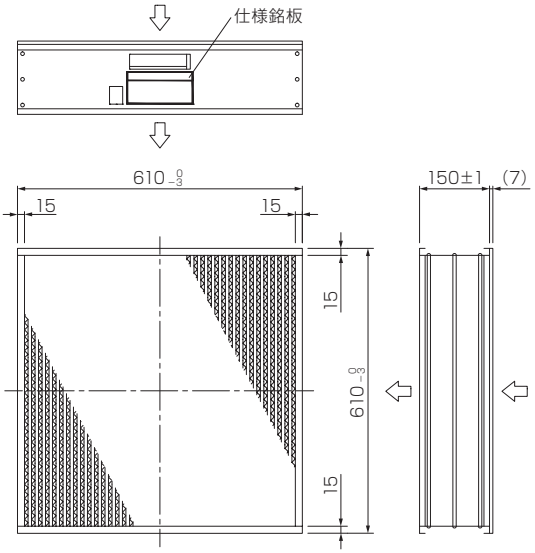
仕様・外形寸法図

■仕様

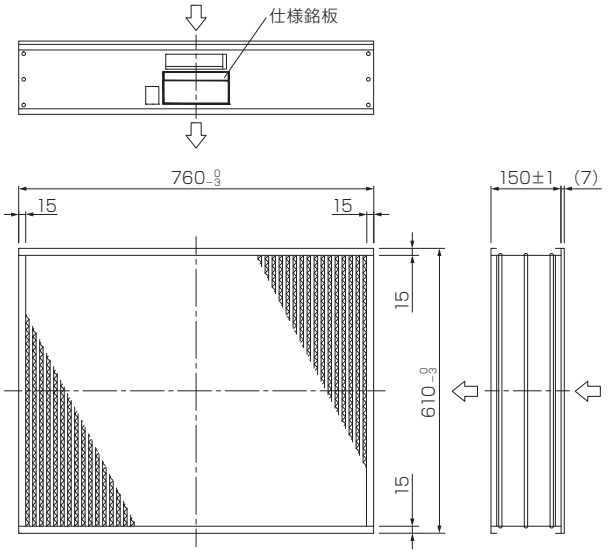
		仕様		
型式		CZ-28SHCK4A	CZ-45SHCK4A	CZ-56SHCK4A
外形寸法（W×H×D）	mm	610 × 610 × 150	760 × 610 × 150	915 × 610 × 150
捕集効率		0.3 μmPA0 にて 99.97 %以上	0.3 μmPA0 にて 99.97 %以上	0.3 μmPA0 にて 99.97 %以上
ファンユニット 標準風量時圧力損失	50Hz	25.0 m³/min 初期 91 Pa ～最終 182 Pa	17.5 m³/min 初期 126 Pa ～最終 252 Pa	20.0 m³/min 初期 118 Pa ～最終 236 Pa
	60Hz	26.5 m³/min 初期 96 Pa ～最終 192 Pa	20.0 m³/min 初期 144 Pa ～最終 288 Pa	23.0 m³/min 初期 136 Pa ～最終 272Pa
質量	kg	7.5	10.5	12.5

■外形寸法図

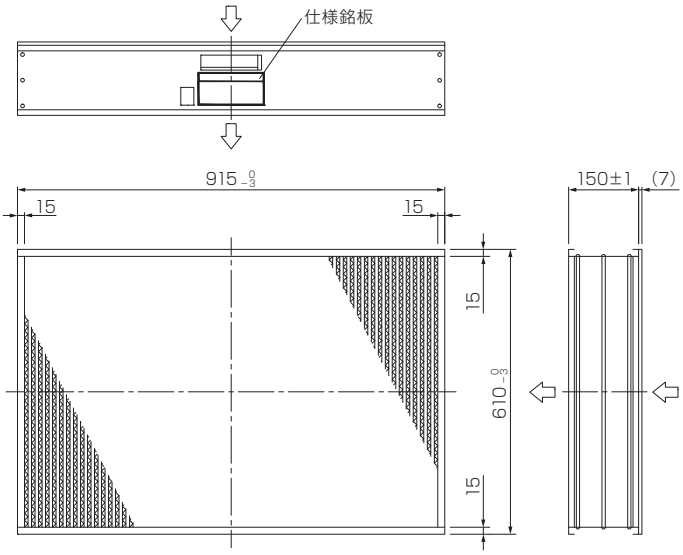
CZ-28SHCK4A



CZ-45SHCK4A



CZ-56SHCK4A



85464369996000
ACXF60-29950